告訴状2013（作成途中）

廣野秀樹

# 告訴に至る経緯

## 告訴状の作成を開始します。2013年6月6日

長い間、作成を中断していましたが、考えもまとまったのでいよいよ作成に取りかかろうと思います。以前に書いた部分も少しはあったのですが、間が開きすぎたこともあり一から書き始めることにします。

## インターネットを利用、連携した情報公開と[社会]邸問題の提起及び、それに伴う利用法や技術的な説明について

### 趣旨と目的

#### インターネットと連携した本告訴状の趣旨・目的について　2013年6月17日

今月6日以来の記述になります。いろいろと考えるところもあってまたしても長い間の中断となりました。まず本書面の作成方法ですが、Emacsというテキストエディタを使って文章を入力しつつ一行ごとにTwitterに投稿していきます。このあたりの処理はプログラムを自作し自動化してあります。

私はかなり以前からTwitterを利用しており現在３つのアカウントを持っているのですが、このうち 告発-金沢地方検察庁御中ツイッター @kk\_hirono という2番目に作成したアカウントを当分の間、この告訴状の下書き専用として活用します。

自分がTwitterを使い始めたのは2010年4月2日となっております。Twitterは今や報道番組でも取り上げられることが多く、社会的に影響力もあるツールであることは周知のことと思います。ただ私自身Twitterの利便性を強く意識するようになったのは比較的最近のことです。

Twitterの特徴としてあげられるのはリアルタイム性と情報の特定、細分化ではないかと思います。リアルタイム性はTwitterに限った特徴ではないですが、伝える早さと拡散性が際だっているのではと思います。状況の変化に応じやすくきめの細かい対応も可能かと思うわけです。

このことは一つに社会の理解を得ること、質疑応答に対応することも意味します。私は自分がインターネットで発信する情報に一切の制限をかけていません。ただし平成21年の9月以降に大きな変化がありました。そのあたりの経緯、事情の説明も不可欠と考えています。

私自身、パソコンやインターネットは平成9年の4月頃より使っています。比較的経験も長い方かと思いますし、独学で普通とは異なるパソコンの使い方もやってきました。現在主に使っているパソコン環境も一般的ではないLinuxというものです。

もともとがコンピュータプログラムの開発環境という面が強いもので、各種プログラム言語の利用も比較的容易な環境となっています。これらを駆使して利便性を高めつつ、独自のスタイルでパソコンとインターネットを活用しています。

パソコンを動かす基本ソフトが通常と異なるので文字コードにも違いがあるのですが、そのあたりの違いを吸収して違和感なく使えるようにしてくれているのもインターネットです。現在はいわゆるクラウドが主流にもなりますが、そのあたりも意識した上での活用になっています。

パソコン内の告訴事件に関するデータは、いずれDVDを記録媒体として提出する予定でもありますが、私はそのデータの全てもGitという分散型バージョンシステムを使い、さらにネット上のサービスと連携させ、すべてを公開するというスタイルを採用しております。

とにかく独学、独自の部分が多いです。前例も自分の知る限り見かけたことはないです。言い換えれば常にテスト、開発環境での作業でもあります。とにかく体一つでもありますので、出来る限りの作業の効率化というものをずっと前から心がけ、自分なりに鍛錬を積み重ねてきました。

LinuxというのはもともとUNIXという種類のOSですが、EmacsとVimというテキストエディタがあります。いずれも多機能で拡張性の高いソフトです。テキストエディタというのはもともとプログラムのソースコードを書くためのソフトですが、自分は通常の文書作成に使っています。

最終的にはワープロソフトかあるいは印刷用の組版処理に適したLaTeXを使ってPDFファイルを作成し、それを使って印刷し書面を提出します。これが最終工程になるはずですが、目処はたっていません。状況に応じて柔軟に対処すること、問題を取り込みつつ処理することを考えています。

EmacsはEmacs-Lispというプログラミング言語を使った拡張性が高く、有志により数多くのパッケージを利用できる環境になっています。自分が主として利用するのはorg-modeというパッケージです。アウトラインによる文書の作成を支援するもので管理しつつ書面を仕上げていきます。

具体的には見出しごとの文章の階層化が扱いやすくなります。さらに見出しごとブログの記事として投稿することも予定しています。またHTMLファイルとして変換することも簡単に出来るようになっています。リンク付きの見出しの目次も自動的に生成してくれるようになっています。

つまりまとめると、個別の最新情報はTwitterで、ある程度まとまった情報はブログの記事として、全体像はHTMLファイルとしてインターネット上で閲覧できるというものです。

#### 告訴状作成の中断と再開及び今後の方針変更について　2013年8月27日

ざっとみたところ7月18日以来の記述ということでまるまる一月以上の空きができていたみたいです。後に説明する予定ですが、お盆休みの前に目立つ行動は控えた方がよいかなという考えがありましたが、そのあともしばらく時間が掛かってしまいました。

お盆の連休前に告訴状の内容を予定より大幅に縮小しA4用紙で4，50枚程度にまとめることに方針を変更したのですが、現在はさらに短くまとめた方がよいかとも考えています。書くべき内容は頭の中でイメージ出来ているので、これから文章に書き起こしていくだけです。

この告訴状自体はできるだけ簡潔にまとめるつもりでいますが、20年以上に及ぶ長い期間と多数の関係者が絡む問題なので、その性質上、具体的に事実を説明するとなると、それなりの分量というか情報量になることも避けられないと考えています。どこまで情報を公開すべきかも問題であると考えています。

社会的にどのような情報をどの程度必要とされるかということも反応を見極めつつ考えていきたいと思いますが、本来は刑事告訴事件としての捜査と非常上告という刑事手続きの職権発動を促す手段であると私は考えています。その問題性と必要性を社会に理解してもらうという意味を含めて。

しかしながら刑事裁判や刑事弁護に対する社会というか世間の、理解というのは独特のものとして形成されていると考えます。はっきりいって自分の経験や知識とはかけ離れた差異を感じております。おそらくは弁護士がマスコミ等を巻き込み歴史的に形成してきた社会観ではと考えます。

そういうことはずいぶん前から漠然と抱くイメージでしたが、近年になって検察の不祥事やいわゆる冤罪の再審無罪の判決が相次ぎ、一方的に検察を批判する弁護士やジャーナリストの言動をみるうちに、著しいバランスの欠如と欺瞞性を危機的状況として考えるようになってきました。

一昔前までは弁護士などの専門家が専門誌等にまとめお膳立てした情報にしか接する機会がなかったものが、情報化社会の発達で、より多くの情報を得ることで、様々な綻びや欺瞞性が発見できより広くより深く考えることが出来るようになってきました。YouTubeの動画と同じくないものはないですが。

ともあれ検察、警察に対する不信や批判には座視できない深刻なものがあると私はとらえています。確かに不祥事や問題点はあるにせよ、それ以上に膨らませて、検察、警察を悪者に仕立て、不安と期待を煽って利益につなげようとする弁護士の活躍あるいは暗躍があるように思えてならないのです。

逆に言えばそのような傾向がより顕著になってことで、木梨松嗣弁護士らの犯罪性にようやく気がつくことが出来、このように刑事告訴という正式手続きに及ぶことが出来たという一面もあるかと思います。そこまで20年ほどの道のりがありました。気づかなかったのは私だけではありません。

あるいは気づいた上で、無視という態度に終始した弁護士も多かったのではないかと考えています。痛烈な打撃を与えてくれたモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）のような弁護士もいます。都合の悪い事実、問題は無視する、それが弁護士の習性であり宿命であるのかもしれないとも考えています。

今日、「あまちゃん」という人気ドラマで、薬師丸ひろ子演じる大物女優が「やめたの。正直に生きることをやめたの。」という場面があり、なるほどと思いました。数日前から岡田進弁護士も木梨松嗣弁護士も他の関係した弁護士も、事実を無視する選択をしてくれたことが・・・と考えていました。

### ブログについて

#### 本告訴状の下書きに対応した「非常上告-最高検察庁御中Blogge」というブログについて　2013年6月17日

非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://bit.ly/1254XoA> というブログです。

これはEmacsからorg-googlecl-blogという追加のプログラムのようなものを使って投稿しています。下書きと言っても内容には誤字以外手を加えない方針です。あとで見出しの階層を再配置する予定です。

ブログのタイトルは、「非常上告-最高検察庁御」になっています。本書の告訴手続きと事実関係は全く同じです。私の希望として最高検察庁に判断をしてもらいたいということと、そのための資料という意味があります。なおこのブログはBloggerという名称ですがGoogelのサービスの一つです。

Googleは世界最大のインターネットサービスと言ってもいいかと思います。クラウドとして大容量のデータを保管、管理することも出来ますが、正直使い込むと扱いづらいと思う点もあるのです。自分は主にWordPressとブログを使い分けています。

Bloggerというブログサービスは一千ぐらいのブログを保持・管理できるようになっているはずです。事実上は無制限に近いです。ただ余り数を増やしすぎても管理が難しくなるので、一年単位を目安に考えています。過去のブログは別の管理になっています。

とにかくまとめると「非常上告-最高検察庁御中Blogger」というブログは直近の方針として2013年度の告訴状と内容を同じにします。ブログ名の変更というのも容易に出来るので、いずれは2013というキーワードを加えて変更するかもしれません。暫定的な名称となりうるかもしれないです。

まだ説明の足りない部分もあるかと思いますが、「非常上告-最高検察庁御中Blogger」に関してはひとまず置きたいと思います。APIを使った投稿がほとんどなのですが、一度に30件を超えると認証に支障が起こり、メインのブログをWordPressに変えたということもあります。

#### ブログでの情報公開及びこの告訴状における参照としての利用について　2013年7月4日

まず3つのブログに同一内容の記事を投稿するというかたちにしておりますが、まったく同じものではなく、それぞれの役割と補完関係を持たせております。技術的にこまかな説明はしませんが、プログラムを使って処理を自動化している部分が多いです。

メインとなるブログはレンタルサーバ上に設置したWordPress.orgのブログです。「WordPress.com と WordPress.org の違い」と検索すれば情報は得られると思います。簡単に言うとWebで出来ることの自由度はMAXに近いかと思います。

私が重視する特徴の一つとしてMySQLというデータベースに直接データを保存、管理できることです。レンタルサーバ上でも直接MySQLの操作管理が出来ます。MySQL自体が個人使用であれば、無償で利用できるデータベースサーバです。

データベースのバックアップや復元、複製も比較的容易です。万が一、データの改変を受けた場合でも、対処しうることが多いのではと思っています。現在のところ1389件の記事のようですが、MySQLでダンプしたバックアップファイルはサイズが4.9MB程度でした。

このメインのブログは、告発-金沢地方検察庁御中2013-WordPress <http://hirono-hideki-01.sakura.ne.jp/wp2013k/> です。年間5千数百円程度のレンタルサーバです。

#### Bloggerのブログとの連携再開と、見出しに対応した内容の記載に立ち戻る方針変更について　2014年03月12日

これまで2014年1月1日から同年3月12日まで「年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄」という見出しというか項目に日付を付けて、雑多な記載をしてきましたが、これからは出来るだけ項目と内容を関連づけ、整理された書面の体裁を重視したいと思います。

理由として一つは書きながら思い出したことを説明したりしているうちに多岐亡羊のような状態に陥り、自分でもどこのことどこまで書いたのか把握するのが困難になってきたということがあります。書き漏らしを起こさないためにも確認しやすい状態を構成的にも維持したいと思いました。

もう一つは今テレビなどで取り沙汰されているSTAF細胞の論文撤回や過去の引用問題があります。元はと言えば研究成果の公表で大きな注目を集めたものの、資料の流用の可能性などを指摘され、時間の経過とともに大問題に至っている様を目の当たりにしたことです。

自分は研究論文を作成しているわけではありませんが、プライバシーの問題を含んだ刑事事件について公益上の観点と、個人の人権の救済を目的に、その必要性を根拠を示しながら社会に訴えかけているという側面があります。

事件の関係者の刑事告訴という手続きは実質的にも過去の自分の不当判決の撤回及び救済を求めるものであって、本来ならば再審請求という手続きを踏むべきところを、私は告訴事件と同一事実の対象に対して検察庁による非常上告の職権発動を求める基本方針です。

おそらくは全く前例のないことかと思いますが、実際に再審請求を繰り返し、その事実関係について新たな発見があったことで、これは憲法上保障された刑事裁判の権利を奪われ、踏みにじられた結果だと確信するに至りました。

その誤判の重大な原因を作ったのが控訴審の私選弁護人であった木梨松嗣弁護士なのです。私が考える木梨松嗣弁護士の法的責任、罪となるべき事実等についてはまたの機会に別の項目で述べる予定にしています。

私は自分が書く内容、事実については相応の自信を持っていますが、客観的な評価や指摘を受ける機会があるやもしれません。いかなる展開にも的確、迅速に対応できるよう、予め書く内容についても整理しておく必要を感じた次第です。

本書において何度か書いていると思いますが、私は書いている内容の全てを、一行のツイートとしてTwitterに投稿するようにしています。

自分で取得したAPIアプリの認証と自分で作成したプログラムを利用しています。一般的ではないと思いますが、さほど特殊なことでもなく、高度な技術を使うものでもありません。

ただ、投稿の通信においてエラーが生じて失敗することはありがちなことだと思っていますし、それに似たことも何度か経験しています。確実な投稿という信頼性はおいていませんが、100回に1回もない程度のことだと思っているので、いちいち確認もしておりません。

これとは別に見出しの項目をタイトル、その内容を投稿内容としてブログに投稿するようにもしていました。最初の頃はミスもあったかもしれません。余り必要とも考えずにおまけのような感じでの投稿をやっていたようにも思います。

この投稿も独自の方法を用いています。とってもこの場合は自作のプログラムではなく、Emacsの追加機能として出回っているorg-googlecl-blogというコマンドを使っています。

カーソルのある行の見出しをタイトルと内容にわけて投稿してくれるものです。処理としては送信用の一時ファイルを作るとともに、googleclという外部コマンドを呼び出して実行しているようです。

情報量も少ないのでgoogleclも知られてはいないと思いますが、コマンド単体でPicasaウェブアルバムにも投稿できます。しかし、これにちょっと問題があって、同じパスの配下だと以前のアルバム名を使って追加投稿するようなことがありました。

要するに記録しておいたのとは別のアルバムに追加のファイルをアップロードしてしまうのです。気がついたもののリンクもあちこちに張っているので修正も困難と判断し、Googleで別のアカウントを作成しました。これも既に説明を書いているとは思います。

Picasaへの投稿はその後、Pythonというプログラム言語のAPIを使ってアルバムの作成と投稿、既に作成済みのアルバムへの追加投稿を出来るようにプログラムのスクリプトを作り直しました。

非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/> ←本書の内容に対応させたブログです。内容は告発、告訴とまったく同じですが、手続き的な違いの観点を意識し、刑事司法のより大きな視点から検討して頂くため、このタイトルにしました。

これとは別の役割分担として２つのブログを用意していますが、一つはすでにいくつかURLの援用もしているかと思います。もう一つはあるいはまだかもしれないですが、内容的には最も膨大となっています。ブログとしては2013と2014にも分けていますが、Bloggerのブログでのことです。

なお、見出しの階層は4つになっていると思いますが、org-googlecl-blogで投稿されるのは最下層の4つめの見出しだけです。その他の階層の見出しは大分類、中分類という感じの方向性としてまとめるスタイルで行きたいと思います。これまでの構成に違いは多少あるかもしれませんが。

Twitterの方では全ての見出しを投稿するようにしています。その際、行頭に＊のアスタリスクが半角文字でついているかと思いますが、これは数が多いほど下層の見出しであることを示すものであり、org-modeの処理としては自動で連番を振ったり、特別な働きをしてくれるものです。

#### Bloggerのブログにおけるエラーと制限について　2014年03月12日

本日、他1件と2014年1月1日から2月17日までの見出しをorg-googlecl-blogを使って「非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/> 」に投稿しました。

毎日欠かさないように一つは項目を書くようにしてきたので、確認はしていませんが漏れがなければ全部で39件の投稿をしたのではと思います。これまでの経験でも一日に30件以上の投稿をAPIからすると、認証エラーがでて投稿が出来なくなっていました。

違うブログですが同じBloggerのブログです。一日辺りの回数に制限があるものと思われますが、頻度が関係していることも考えられます。具体的な基準があるのか調べてみたのですが、満足な情報は見つからなかったです。

同じGoogleのサービスであるGoogle+でも一日に投稿が200件を超えるとエラーのメッセージは出ないものの投稿を受け付けなくなっていました。これは12時間ほどで元に戻ったのですが、調べても具体的な制限はわからなかったです。

Bloggerのブログは英語関係の情報も多く、日本人の利用者もさほど多くないという印象があります。色々と癖もあって、仕様が把握しづらくもあり、ふいに仕様変更になる可能性も比較的高い方ではないかと見ています。

以前はBloggerのサービス自体がなくなることも考えていました。Googleのサービス全般にいえることですが、実際にGoogleリーダーのようになくなっているサービスもあります。そういうこともあり以前は本格的な活用にやや消極的でもありました。

ブログとしてはシンプルな使い方をしていると思うので、サービス自体がなくならない限り、仕様の変更で改善される点はあっても、不都合が生じる可能性は今後少ないだろうと、私は考えています。

### ツイッターについて

#### ツイッターアカウント 告発-金沢地方検察庁御中ツイッター @kk\_hirono について　2013年6月17日

これから告訴事件に関してメインに使っていく予定のツイッターアカウントですが、3つあるアカウントの中では一番使っていなかったものではと思います。500フォロー 498フォロワー 3リスト、という状況です。

2013年6月17日7時6分現在、先ほどから集中的にツイートを行っていますが、それでもツイート数は1,067となっています。これからです。

<http://twilog.org/kk_hirono> で確認したのですが、このアカウントのTwitter歴は872日（2011/01/28より）となっています。一週間か10日ほどの間にフォロワー数が500を超えたと思うのですが、その後は放置状態も多く、変動は少ないはずです。

フォロワー数の推移は、twilogのサービスとしても次のように確認できました。→　【チャート - フォロワー数推移】 <http://twilog.org/kk_hirono/stats/7-3>

とにかく今後、社会の関心、反応をうかがう上でも参考になるTwitterアカウントです。急激にツイートの数が増えるので、フォローを外される（リムーブ）アカウントも増えるかもしれないです。内容で勝負していくつもりなので、ここがスタートラインでもあります。

ブラウザ上の画面をキャプチャーとして記録しました。よく使う手法でもあります。→　告発-金沢地方検察庁御中ツイッター2013年06月17日06時17分22秒.jpg pic.twitter.com/tIY9cOTvZg

画像ファイルの保存先は @hirono\_hideki という別のツイッターアカウントです。Twitterのサービスに直接アップロードしたものです、画像のサイズが小さくなっていて細かい文字が識別しづらいかもしれません。

画像ファイル自体は、別のWebサービスにも保存するようにしていますし、資料としてDVDにファイルを含める予定にしています。なお、すべての資料用ファイルはGitのリポジトリとして管理しています。

### インターネットにおける資料の公開

#### 添付資料をWeb上で公開するGoogleのサービスについての説明　2013年7月13日

Google+というサービスを利用していますが、Googleの写真サービスは、Picasaというサービスとも重なる部分があり、時折仕様変更もなされているようなので、少しややこしくなっております。

Picasaウェブアルバム、においてファイル名で検索することは困難のですが、一度Google+で共有したものは、Google+からのファイル名での検索が出来るようになります。

Google+は、FacebookやTwitterのようなSNSの一つで、大手検索サービスのGoogleが後発で始めたSNSなのですが、他に比べると知名度も低いようで、テレビや新聞でもサービス名を見かけることはほとんどありません。

Google+で検索をするには、アカウントを作成しログインする必要があるかもしれません。Google+に登録すると一定サイズ以下の写真・画像ファイルが容量無制限でアップロードできるという事情もありますが、APIを使ってコマンドから投稿することも出来るので主に使っています。

拡張子にjpgもしくはjpegとあるものは、そのまま写真画像のファイル名です。重複して異なるアルバムに保存しているものもあるかと思います。数年前から保存しているものも多く、アップロードした当時のことは正確に思い出せなくなっています。

比較的最近アップロードしているものは、ブラウザを使わず、パソコン上のコマンドラインからスクリプト（簡単な自作プログラム）を使って管理するようにしています。内容の同期というかたちですが、追加分は手動なのでアップロードし忘れることもあるかもしれません。

最近のアルバム名は次のような形式になっています。→　経緯及び社会の反応/モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）/廣野秀樹さん｜2006年10月5日

斜め線のスラッシュという記号で区切られているかと思いますが、これはそのまま添付資料のDVDに書き込む予定のフォルダ構成に対応しています。アルバム作成時にパスの階層から自動的に文字列をぬきとってアルバム名を登録するようにしています。

Googleの写真サービスは、少しややこしくなっており、Google+で表示される場合と、Picasaウェブアルバムで表示される場合があります。管理の場合はPicasaでないと不都合な場合もありますが、そのあたりの切り替えもややこしくなっています。

どちらの場合か忘れましたが、ファイル名に日本語を含んでいると拡大表示ができないという現象が起こることもあります。自分の経験上、Windowsパソコンの Internet Explorerという標準ブラウザだと大丈夫なようです。個人的には滅多に使わないのですが。

Google+の写真の場合、画面右側の「写真の詳細」という部分をクリックするとファイル名などの細かい情報が表示されますが、これも大方の人には気づきにくいのではと思われます。

Picasaウェブアルバムの写真の場合は、さらにややこしく一見するとリンクには見えない「写真の情報」という部分をクリックすることになりますが、私自身も長い間気がつくことができませんでした。なお、普通のリンクではないのでJavaScriptが無効だと機能しないかもしれないです。

Google+の写真として表示されるか、Picasaウェブアルバムの写真として表示されるかは、閲覧する側のユーザのGoogleの使用状況によって異なるかも。具体的には保存されているクッキー情報によって、処理が異なるということですが、以前そのような情報を見かけてことがあります。

どうもPicasaウェブアルバムではファイル名での検索は出来ないもののアルバム名だとできるようです。ただし日付によく使う半角のハイフンなどの記号が含まれていると検索がうまくいかないことがあるみたいです。試した上で確認しました。

#### Googleの写真サービスを使った添付資料の公開に関する仕様変更について　2013年7月16日

先日、DVDで添付する予定の写真ファイルをフォルダ構成に対応するかたちでGoogleのアルバム名にしていると書いたと思いますが、アルバム名においてパスの区切り文字である／（スラッシュ・実際は半角）を取り除くことに仕様を変更しました。

たとえば、次のようなかたちになります。→　一件記録・写真H04-10-6事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士　実際は「一件記録・写真」が親フォルダ名なのですが、スラッシュの区切りが省かれたかたちとなります。

なぜそうなったかというと、そもそも7月13日に添付資料を一つ援用したのですが、不具合があったことを思い出しました。それまで使っていたアップロード用のスクリプトで複数のファイルをアップした際、すべてが同じファイル名になってしまうと言う問題でした。

これではアルバムのURLは特定できても、言及の対象となるファイル名を特定することが出来ず、致命的な不具合だと思いました。結局、スクリプトの作り直しをしたのですが、それまで使っていたbashのスクリプトでは同時に複数の配列を処理することが出来ませんでした。

配列の処理が容易なRubyでスクリプトを作り直すことにしたのですが、パス名から必要な部分だけ取り出す文字列操作のメソッドを使ったところ、自動的にスラッシュが削除されることに気がついたのです。

もともとスラッシュはファイル名に使えない記号ですし、トラブルの原因ともなりうるので、アルバム名に記号を含めないようにしておこうと思いました。

と書いてきたのですが、やはり区切りがないとわかりにくいと思いました。スクリプトのプログラムに処理を追加し、半角のスラッシュを全角のスラッシュに置き換えることにしました。次が最終形のアルバム名の書式になると思います。

一件記録・写真／H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <http://ow.ly/n06e3>

### 本書作成の技術的方法及び、その仕様について

#### 本書内の見出しや表記法の大幅変更（2014年3月25日以降）について

<2014-03-25 火 09:27> [　←これからの記述範囲の開始時刻]] 3月12日の記述の後、10日以上の内容的な中断があったことになるかと思いますが、この間、本書の作成方法について調べたり品柄、いろいろと工夫を凝らしていました。

まずこの項目（見出し）の冒頭につけたように記述の開始時刻を表記するようにしました。別の内容の項目の記述に写る際にはその場で終了時刻を表記し、再度再開する場合にも同様の記載を行っていきます。

どの内容の事柄をどの範囲で何時記述したのかと言うことを明確にしておきたいという趣旨です。

軽く20年以上の事実が対象になっている問題でありますし、記憶が曖昧になっていたり勘違いが出てくる可能性があり得ます。訂正が必要になったり間違いの過程の説明もいるかと思います。従って基本的にはより新しい内容の記述が正しいものとご理解願いたく、これは遺言の決まりとも同じかと思います。

これまでは見出しに書いた日の日付を含ませるという方法をとっていましたが、これだといたずらに見出しの数が多くなり、作成者の私自身、どの内容をどこに書いたのか、ほとんど把握できない状態になっていました。従ってこれからは、同じ内容の事柄は関連性を持たせできるだけまとめるかたちにします。

記載の日時ですがこれはorg-modeのアジェンダという機能を使ってプログラム的に時刻を挿入しています。本来的にはC-u C-c .に割り振られたものですが、Emacs-Lispの関数を使って呼び出すようにしました。

一応はプログラムのソースコードなのですが、ご理解と自身の備忘をかねてブログの記事にしました。次のURLです。

org-modeのタイムスタンプを利用した関数 | 日暮途遠（Linux） <http://bit.ly/1li4Ll4>

本書においてこれまでにも何度かご説明を書いているかと思いますが、私のパソコン環境はＯＳがWindowsではなく、Linuxです。

本書の文書作成に使っているのはワープロソフトではなく、Emacsという多機能エディタです。エディタは本来、テキスト文書を直接扱うものでプログラムの作成に使われます。

Emacsにはプラグインのような拡張機能が色々と出回っていますが、org-modeもその一つであり、標準でも組み込まれているかと思いますが、標準とは別のバージョンを読み込んで使うことも出来ます。

Emacsではプラグインというような概念は見たことがなく、パッケージという呼び方を見かけることはありますが、それはEmacs-Lispというプログラム言語で書かれたファイル群であり、Emacsの本体ではメジャーモードというかたちで動作するものが多いと思います。

マイナーモードという補助的な機能追加もあったかと思いますが、最近では見かけないですし、Emacs-Lispが扱えれば自分でメジャーモードやマイナーモードを作ることも出来ます。また、バイトコンパイルというかたちで処理をいくらか高速化することもあります。

ワープロソフトと違って印刷機能などは最低限の物しか備わっていませんが、文字で文章を作成すると言うことに限れば、基本的な違いもないかと思います。ワープロソフトでもテキストファイルは扱えますが、多くの人は形式を意識せずにワープロソフトで文書を作ったり、印刷をしていると思います。

Emacsの場合はメジャーモードで振る舞いも全く異なってきます。メジャーモードにはメールソフトやブラウザもありますが、org-modeはアウトラインプロセッサに様々機能が付加されているものです。

その重要な付加機能の一つにエクスポートというファイル形式の変換があります。これについては別の項目で説明を書いておきたいと思いますが、そちらの方がorg-modeを使う最大の意義とも言えます。ワープロソフトにも同じ機能はあるはずですが、HTMLのエクスポートです。

org-modeのHTMLのエクスポートにはorg-mode本体と連動した機能が多く備わり、自動的にHTMLファイルを作成してくれます。具体的にはキーボードで、C-c C-e hとやるだけです。ショートカットキーに似ていますが、Emacsの場合はより多機能ですが複雑でもあります。

Emacsの場合はキーバインドやキーマップとして説明されているかと思いますが、これはコマンドと結びついています。プログラム的には関数ですが、Emacsでは対話的に呼び出しできる関数をコマンドとしているようです。

このキーバインドは独自に編集、変更も出来ますが、モード毎に違うキーマップになっていることも多いです。

モードの違いに関わりなく通用するキーバインドはグローバルとして次のように設定しています。Emacs-Lispの式として評価することで有効になりますが、普通は起動時に読み込む設定ファイルに記載して使います。

(global-set-key [f9] 'h-ruby-twit)

F9というファンクションキーにコマンドを割り当てていますが、これは私が独自に作成した関数です。関数の働きは現在の行のテキスト内容を引数として渡し、Linuxのシステムの外部コマンドを実行します。外部コマンドはRubyというプログラム言語で作っています。

Emacs-Lispの関数としてはcall-process-regionという関数を呼び出すことで実装しています。リージョンという言葉が含まれていますが、これもEmacsには独自の概念で、通常の範囲選択をより高機能にしたようなものです。コールプロセス、というのはシステムコールにも似ています。

コマンドサーチパスの通った場所からプログラムを読み出すという点では、Windowsの環境と基本は同じです。パスの通った場所に実行属性のついたスクリプトファイルを置いているので、呼び出して実行することが出来るのです。

とにかくEmacsで文章を作成しながらF9のボタンを押せば、その行のテキストの内容がTwitterに投稿されます。Twitterには140文字という制約があるので、まずは文字数を計算し140文字を超える場合は、処理を行わずに、超過文字数などのメッセージを返すようにしています。

この項目（見出し）では、見出しの表記について書くつもりでしたが、離れた説明になったとも思います。まあ、項目をモードに見立てれば、全体に関わるグローバルな説明にも及んだことになるかと思います。すべてを項目毎に切り分け、割り振ることも困難です。

Emacsのorg-modeというメジャーモードで、モード固有の機能を使っていることをご説明したかったのですが、かなり踏み込んだ内容になったかと思います。見出しに関して言えば、その機能の一つとしてTAGをこれからは活用していく予定でいます。

TAG（タグ）については既に使っている部分もあ利増すが、それはorg-googlecl-blogというコマンドを使ったときに自動で挿入されているタグです。「:gblog」となっていると思います。出回っているelファイルを読み込んで使っています。

Emacs-Lispの式を書いたファイルはelという拡張子がついています。org-modeを拡張するものですが、googleclというコマンドの使用を前提にしているはずです。ややこしいですがこれはパッケージ名であり、コマンド名はずばりgoogleになっています。

Googleの提供する各種サービスをコマンドラインからテキストのコマンドで利用するものです。Windows用のパッケージもありますが、つかいかっては良くないという印象でした。

既に説明を書いているかもはっきり思い出せないのですが、googleclに関しては元々、Picasaウェブアルバムのアップロードをメインで使っていました。しかし、既存のアルバムに追加のアップロードをしたとき、意図したのではない別のアルバムに保存される場合があるという問題が。

これについては説明済みかと思いますが、PythonのAPIを直接使うように手段を変えました。リンク切れなどの修正も困難だったので、Googleのアカウントを別に作成し、そちらのPicasaウェブアルバムを使うようにしたことも説明済みかと思います。

Picasaウェブアルバムの活用についても今後はより積極的にしたいと考えています。その意味でも、見出しにタグを付けるようにしました。これは本文ではなく、別の資料というかたちで末尾にまとめていきたいと考え、そのための用意も済ませてあります。

タグに関してはorg-modeのファイルの先頭に「#+TAGS: Picasaウェブアルバム(p) Twitter画像(g) ツイート(t) ブログエントリー(b) 参考資料(s)」と記載してあります。これはヘッダという部分でファイル全体に適用される独自の定義を宣言する部分です。

具体的にはorg-modeのファイルの見出しにカーソルがある状態で、C-c C-cとやると、専用のバッファが出てリストの選択が可能な状態になります。ここで例えばｔとやると、その見出しにツイートというタグが付けられることになります。

タグの内容についてはまだ検討中ですが、どうもショートカットの文字を一つ割り振る必要があるようなので、数も自ずと限られてくるかと思いますし、おおまかな目印としての簡単な利用を考えています。

まとめると、見出しの表記については年月日の記入をやめると言うことと、タグを使う場合があるということです。煩瑣にもあるのでタグの利用は、「参考資料」のエリアに限定しようと考えています。「:gblog」は別になりますが別途のご説明に譲ります。以上です。

<2014-03-25 火 11:35> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### org-modeの内部リンクに関する説明

<2014-04-04 金 13:52> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

<> <#LINK-ID_3>告訴状作成作業及び閲覧方法に関する説明等／画像ファイル - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

ファイル名: org-modeの内部リンク2014年04月04日13時11分17秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998292892433398338>

org-modeのリンクのマウスオーバー2014年04月04日13時13分07秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998292930498032594>

org-modeの内部リンクのジャンプ先2014年04月04日13時13分54秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998292995663987410>

初めに収録したPicasaウェブアルバムのアルバム名とURLを参考資料へのリンクとしてご紹介しました。この形式についてもまだ説明はしていないと思いますが、なるべく先に済ませておきたいと思います。

次にPicasaウェブアルバムに含まれる画像ファイルの固定URLを個別に３つご紹介しました。Picasaウェブアルバムの仕様として「写真の情報」という部分にファイル名を含めた詳細は情報があるのですが、デフォルトの状態だと内容が折りたたまれて中身が見えなくなっているようです。

説明という部分がデフォルトで表示されるのですが、ここにはファイル名を記入するようにAPIを使ったプログラムによる投稿時に仕込んでおります。ファイル名が添付のDVDの資料にも一致することは、既に何度か説明済みかと思います。

言葉では説明しきれない部分もあるのでパソコンの画面を画像ファイル化したスクリーンショットで示しました。org-modeで水色のような青色の文字色になっている部分がリンクです。マウスオーバーをするとリンク先の情報が表示されています。

HTMLだと普通のリンクですが、リンクの箇所のHTMLは次のようになっています。

<a target="blank" href="#sec-2-3-1-2">\*被告訴人KYNとの最後の会見と会話の録音</a>

1番目の階層の2項目目の2番目の階層の3項目目の3番目の階層の1項目目の4番目の階層の2番目の項目ということになるのかと思いますが、これはHTMLへのエクスポート実行に似割り振られたものです。secというのはセクションの略なのかとも想像されます。

HTMLのaタグはリンクを生成するものです。tartget属性のblank指定は、本来リンクを別のウィンドウで表示する意味だったと思いますが、最近のブラウザではほとんどの場合、新しいタブとして表示されるのではないかと思います。

href属性はリンクで開くURLの指定です。普通のWeb上のリンクだとhttpかhttpsで始まる場合がほとんどかと思います。そういうURLの指定がなく#から始まっているものはページ内のアンカーリンクになります。

アンカーというのは錨という意味があるそうですが、HTMLのブロック要素として段落扱いを意味するdivタグに、ID属性をつけるのが普通の使い方だと思います。ID属性はclass属性と違い、ページ内に一意でのみ存在するという決まりにもなっているはずです。

実際にリンクをクリックしたときのジャンプ先のHTMLは次のようになっています。

<h5 id="sec-2-3-1-2"><span class="section-number-5">2.3.1.2</span> 被告訴人KYNとの最後の会見と会話の録音</h5>

spanタグはインライン要素の代表格です。class属性には対応するcssの設定をすることで、インライン要素内の文字列の、文字の大きさや色などの就職を施すことが通例になっているかと思います。

org-modeとしては［［＊リンクを張りたい見出し］］という記法を使っていますが、実際のカギ括弧とアスタリスクは半角です。実際に半角を使ってしまうとその場で特別な働きをしてしまうので、全角文字を使って表現しました。

見出しになる部分には自動でID属性がつくようになっていますが、divタグではなくh5タグになっていました。文字の大きさが大きい順にh1からh6まであるものですが見出しとして使われるタグです。調べるとこれもブロック要素で前後に改行が入るとのことです。

org-modeでは半角のアスタリスクで始まる行頭が見出しとして扱われ、アスタリスクの数で階層が深まっていきます。通常は３階層までが見出し扱いですが、私はファイルのヘッダ部分の指定で４階層まで見出しになるようにしています。見出しになるとリンクのついた目次にも登録されます。

これとは別にorg-modeではラジオターゲットものがあって、私は今のところ参考資料のリンク先から戻るマークとして使っています。こちらはaタグのname属性というものを使っているようです。

name属性というのは私自身よく知らなかったのですが、リンク元のaタグのherf属性のリンク先に#を付けたIDを指定しているようです。リンク先でもaタグが使われそのname属性に、リンク元のhref属性から#を外した値が使われていました。

ややこしいですが、リンク先のname属性に向かって多対一の関係でのリンクの使用を想定したものではと思われます。具体的なことは「参考資料」の説明において行いたいと思います。私自身まだ完全にはのみ込めていないので、なおさら説明の必要も感じています。

これとは別に「参考資料」の内部リンクでは「CUSTOMID プロパティ」というものも使っています。これは次のWebページで知ることが出来たのですが、日本語では他に情報が見つからないほど珍しいものになっているようです。

Emacs org-modeを使ってみる: (7) ハイパーリンク - 屯遁のパズルとプログラミングの日記 <http://d.hatena.ne.jp/tamura70/20100209/org>

org-modeのプロパティ自体の情報が乏しいのですが、どうも見出し毎にプロパティとして個別の情報を持つことができるようになっているようです。org-modeで予め用意された属性はCUSTOMIDもそうだと思いますが、全て英語の大文字として表記しているようです。

本文中における「参考資料」への内部リンクには、内部リンクの側のCUSTOMIDを#をつけて指定するようにしています。ページの全体が膨大になりつつあるので、いちおう戻るための目印としてラジオターゲットを使っています。

具体的なことは「参考資料」におけるリンクの活用として説明しますが、参照される側の「参考資料」の各項目では、内部リンクが張られている先を「参照元」としてラジオターゲットを使いたいと思っています。

つまり「参考資料」の項目と、それを参照する側のページ内の各リンクとは一対多の関係になるわけです。今のところそういうケースは使っていないかと思いますが、同じ資料に対する参照を場面の異なる本文内で行うことを想定しています。ややこしくなるのでなるべく避けたいとも思いますが。

<2014-04-04 金 18:09> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 「参考資料」の活用とorg-mode及びエクスポートされたHTMLファイルにおける内部リンクの関係

<2014-04-04 金 18:12> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

まず初めに、org-modeには脚注というとても便利で簡単な機能がありました。[[1]](#footnote-48)　実際に使った見たところですが、添え字のように文字が小さくなりリンクになっています。１から順番に数値の番号が割り振られていくようです。

これだととても簡単なのですが、HTMLにしたとき、リンクの部分がわかりづらいという難点を感じています。参照元から参照先に戻るのも相互にリンクが自動で出来るので、文章の作成としても負担が少なく済みます。

org-modeで文章の作成中は、リンクも目立ってほとんど問題ないですが、HTMLにすると、気をつけないとリンクがあることを見落としそうです。わかりやすくするため実際の画面のスクリーンショットをご用意しました。

org-modeの脚注のリンク・参照元2014年04月04日18時31分34秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998369544423124466>

org-modeの脚注のリンク・参照先・ページ末2014年04月04日18時32分21秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998369572856096226>

org-modeの脚注のリンク・参照元・Webページ2014年04月04日18時34分59秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998369629371393634>

org-modeの脚注のリンク・参照先・ページ末・Webページ2014年04月04日18時36分37秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998369677879621474>

org-modeはLaTeXとしてもエクスポートできますが、いろいろとややこしい問題があって、不完全なものになってしまいます。数年前はEmacs-Lispを使って問題の起こる箇所を自動で修正したりしていたのですが、それでも特殊文字の扱いとかには気を遣っていました。

LaTeXは学術的な論文として使われているものだと聞いています。印刷に適したPDFファイルを作ることが出来ますが、そのの原型のようなものかと思います。まだ羽咋市に住んでいた頃なので5年以上になるかと思いますが、力を入れて勉強をした時期がありました。

そもそもLaTeXのコンパイルが出来る環境を作ることが大変でした。色々とパッケージ化されているものもあって方法も様々なのですが、同梱されている細かい機能のあるなしによっても、エラーが出たり、面倒なことが満載でした。

ようやくコンパイルができるLaTeXの環境を整えても、ＯＳを再インストールすると全て消えてしまいます。アップグレードという方法もあるのですが、不具合が出たり調子が悪くなるので、私はクリーンインストールをしています。

Linuxそのものに関心も強いので、安定したバージョンを長く使い続けるよりは、再審のものを半年に一回、クリーンインストールしてきました。ただ、今度のUbuntuのバージョンからは多少事情が変わって、アップデートによる更新が今までより長く続くようです。

HTML以上にLaTeXは特別な働きをする特殊文字の数が多く、その働きを抑えるためのエスケープ処理もよりややこしいものになっています。特にWeb上から引用などしていると、特殊文字が入り込む可能性も高いです。

いまのところ最終的な書面の印刷の方法として考えているのは、エクスポートしたHTMLをブラウザで表示した状態で全部をコピー、それをフリーのワープロソフトで貼り付けて、レイアウトを整えるという方法です。

LaTeXは学術論文の作成に多く利用されていると聞きましたが、もっとも5年以上前の情報なので現在は変わっているのかもしれません。そのLaTeXの勉強の過程でちらほら目にしていたのが、脚注における参考文献や出典の明示でした。

私の場合、書籍からの引用というのもほとんどないと思いますが、インターネット上の情報を参照することは大いに活用したいと考えており、それらはそれらでまとめておいた方が良いと考えました。

文献でもないので「参考資料」ということにしました。細かいことは書きませんが、他のorg-modeの機能や、シェルスクリプトを使って、なるべく手間の掛からないように自動生成しています。

説明のため、パソコンの画面のスクリーンショットを4つ新たに用意しました。

org-modeの参考資料へのリンク2014年04月05日15時21分10秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998692289093496610>

org-modeのリンクを辿った参考資料2014年04月05日15時22分06秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998692307317881778>

Webページでの参考資料へのリンク2014年04月05日15時24分50秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998692336452050066>

Webページでのリンクを辿った参考資料2014年04月05日15時25分47秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH#5998692351530447010>

LINK-IDに番号を振った部分が参考資料へのリンクです。その前にあるMARK-IDに番号を振った部分がorg-modeのラジオターゲットになります。

リンクを開く度に、ブラウザのタブが増えるかと思いますが、同じページで遷移するより、比較もしやすいのでこの方が良いかと思います。面倒かもしれませんが適宜、タブを閉じながらご覧願います。新たに開かれる前のタブにもともと見ていた状態が残っているはずです。

なお、org-modeのプロパティ、つまりPROPERTIESの部分はHTMLにエクスポートできないようです。本当は出来るようにしたいと思って時間を掛けて調べたのですが、これも情報を見つけることは出来ませんでした。不可視情報の扱いとなるようです。

参考資料には今のところPicasaウェブアルバムしか使っていないと思いますが、Twitterやブログも考えてはいます。ただ、インターネットへの本質的な依存は避けたいとも思っているので、見当しながら記述を進めていきたいと思います。必要に応じてまたご説明を用意します。

<2014-04-05 土 15:51> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### Emacs　org-modeでの告訴状の作成状況の紹介と記録＿2014年06月12日

<2014-06-12 木 16:51> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

▶ Emacs　org-modeでの告訴状の作成状況の紹介と記録＿2014年06月12日10時44分05秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=RYPDyjJML5k>

上記URLは、今日の午前中に作成してアップロードしたデスクトップの動画キャプチャです。これまでと作成の手順、方針を大幅に変更する予定なので、ご理解いただくための参考として記録しました。

Ubuntuのバージョンがこの4月にUbuntu 14.04になって、Emacsのメジャーバージョンが24になりました。これに伴って若干ですが、使えなくなった機能もあります。以前のバージョンの23もインストールしてあるので、状況に応じて使い分けたいと考えています。

その一つとしてorg-googlecl-blogというコマンドがあるのですが、これはorg-modeでカーソルのある項目のリージョン（Emacs特有の機能としての指定範囲）をブログに投稿するものです。

内部的にはUbuntuのシステムコマンドであるgoogleコマンドを呼び出して使っています。コマンド名はgoogleですが、パッケージ名はgoogleclです。

googleコマンドは投稿以外に次のような使い方も出来ます。ブロクの記事の一覧を表示させていますが、新しいものと古いもの順序を変えるためtacコマンドを、表示件数を50件に絞るためtailコマンドをオプション付きで使っています。

% google blogger list –blog '非常上告-最高検察庁御中Blogger'|tac | tail -50

2014-06-12-172509\_％　google　blogger　list　–blog　’非常上告-最高検察庁御中Blogger’｜tac　｜　tai.jpg pic.twitter.com/XxVLSPg8jn　←　こちらは実行画面のスクリーンショットです。

Bloggerのブログについては、項目を改めて説明を書いておきたいと思います。あと、org-modeの機能を使ってHTMLのエクスポートをやっていますが、Emacs24の方は、独自に設定したcssのスタイルシートの設定が反映されていませんでした。

言葉では説明が難しいところもあるので、一連の作業を動画としてご紹介しました。これからの変更点との違いをつかむ上での参考にもしていただければと思いますし、経過の記録にもしていただければと思います。

プログラムで使われる用語でありますが、こういうのも参考にしていただければと思います。　→　スナップショット (ファイルシステム) - Wikipedia <http://bit.ly/1uaJoSh>

<2014-06-12 木 17:47> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### スクリプトでファイル名を一括変更し、Picasaウェブアルバムにスクリプトでアップロードする資料作成の手順の紹介と記録＿2014年6月13日

<2014-06-13 金 11:32> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

▶ スクリプトでファイル名を一括変更し、Picasaウェブアルバムにスクリプトでアップロードする資料作成の手順の紹介と記録＿2014年06月13日10時37分39秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=2IyHBO9vg74&feature=youtu.be>

作業の手順を上記YouTube動画にしました。説明自体は前にもやっていると思いますが、DVDに収録予定のフォルダと対応させています。アルバムの作成を伴った初期の投稿には次のコマンドを実行しています。

for f in `ls \*.jpg`;do h-picasa-album-post.py $f; sleep 6; done

bashのスクリプト言うよりワンライナーのコマンドです。for文は繰り返し処理です。コマンド「ls \*.jpg」の処理結果を一行ずつｆという変数に代入し、その変数を引数にコマンド「h-picasa-album-post.py」を実行しています。

\*.jpgの部分はワイルドカードです。.jpgという拡張子がついたファイル名がすべて対象になります。これは「2014-06-16\*.jpg」という使い方も出来るので、次回以降のファイルの追加ではそのように使うこともあります。

h-picasa-album-post.pyコマンドを初めに実行すると次の２つのファルを生成するようにしています。→　albumid.txt albumphotoslist.txt

albumid.txtはその存在をチェックすることで、まだ存在しない場合にのみアルバム名の入力を促し、アルバムを作成します。次回以降のはその内容であるアルバムIDを参照して、アルバムを指定してアップロードをするようにしています。

albumphotoslist.txtは、Picasaウェブアルバムから登録済みの写真のタイトル名名を取得してファイルに書き込んでいます。f.write("%s" % photo.title.text)というコードが実際の処理を行う部分です。

わかりにくいかもしれませんが、パソコンのシステムにある情報ではなく、Picasaウェブアルバムから取得したデータをテキストファイルとして書き込んでいるものです。通信を介して込み入った処理なので、過程においてエラーが出て不正確になる可能性は経験的にもあるかと思っています。

登録済みかどうか自身が持てない時のために、確認用として作ったファイルだったと思います。新たに作ったファイルはすぐにアップロードするようにしているので、重複の問題も起きにくかと思っています。

言葉では説明がわかりづらい部分もあるかと思うので、コマンドの実行の様子をスクリーンショットにしたものを次に３つご用意しました。catは引数に指定したファイルの内容をそのまま端末の標準出力に表示するコマンドです。

2014-06-13-121903\_％　cat　albumid。txt.jpg pic.twitter.com/LUZdvwwn3q

2014-06-13-121103\_％　cat　albumphotoslist。txt.jpg pic.twitter.com/aLILPcmfFf

2014-06-13-121342\_％　cat　url。txt.jpg pic.twitter.com/x3c9ZBcUds

% echo -e "`xsel -b`" > ./url.txt && cat ./url.txt　←　というコマンドを締めくくりにしていますが、事前に取得したURLとタイトルのクリップボードの内容をお決まりのファイル名に書き出し、確認を兼ねて内容を表示させています。

2014-06-13-114858\_　％　echo　-e　”｀xsel　-b｀＼n”　＞　。／url。txt　＆＆　cat　。／url。txt.jpg pic.twitter.com/OsnptevtxZ

Linuxの端末では上記スクリーンショットにあるようにURLの部分がリンクとなり、すぐにブラウザでページを開くこともできます。これでアルバムの状態を確認してから追加の投稿をやったり、追加の投稿がうまくいったか確認することもあります。

2014-06-13-125630マイ　フォト＞資料写真／2007年7月21日撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場.jpg pic.twitter.com/IVZMk6JRQX

上記のスクリーンショットが実際にブラウザで対象のPicasaウェブアルバムを開いたところです。Googleにアカウントを持っていないかログインしていない場合などは、Google+のアルバムとして表示されるかもしれません。

Picasaウェブアルバムのアルバムは全体を参考にしていただくもので、説明には個別の写真を使う予定です。これまでも使ってきたと思いますが、本格的な説明に使うのはこれからです。それだけに念入りに説明をさせてもらっています。

PicasaウェブアルバムとGoogle+のアルバムとの違いについて新たな発見があったので、項目を別に作って説明をしておきたいと思います。アップロードと管理については必要なご説明をしたと思います。

<2014-06-13 金 14:14> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### 電話連絡と相談

#### 2013年6月24日金沢地方検察庁への電話について　2013年6月24日

13時過ぎに金沢地方検察庁に電話をしました。金沢地方検察庁への電話は5月13日以来ということになりそうです。「警察の方に告訴状を出すんでしょ」という言い方もされましたが、よくあるわざとらしい感じでした。

説明を書いた告訴状を出してもらわないとなにもできない、というようなことを言われましたが、これも当然のことかと思います。誰の目にみても理由があるような、という言い方もされ、社会の納得や理解を得ないと検察は動きにくい、という感じでした。

私の方から「検察は国民の税金を使って捜査をする以上、社会に必要性が認められなければならない、ということでしょうか？　と言うと、「それにつきます。」という返事で、締めくくりになったという感じです。

金沢地方検察庁の方では、私との会話を録音されインターネットで公開されることも前提に受け答えをしていると思いますが、私の判断で録音もしていないので、会話を公開することも不可能です。

以前は検察に根深く根強い不信を抱いている人のためにも、情報を公開しておいた方がいいかと思い、そのようなこともやった上で、Twitterに＠付きで、紹介したこともあったのですが、全く意味もなく逆効果にしかならなかったという感じです。

金沢地方検察庁がどの程度、事実関係を把握し問題意識を持っているのかわからないですが、社会や世間と言った存在を意識した上で、民主的な解決を目指す方向性では、という感じです。

#### 2013年9月2日の金沢地方検察庁への電話連絡について　2013年9月2日

電話を掛けたのは9時5分を40秒ほど過ぎていた頃かと思います、電話を終えてパソコンの時刻を見ると9時8分でした。

#### 2014年2月25日の金沢地方検察庁への電話連絡について　2014年02月25日

15時前に金沢地方検察庁に電話を掛け、宮さんと話をしました。非常上告の具体的な方法について相談したいのであらかじめよろしくお願いします、というのが主な内容でした。来年度の担当の話をしましたが、これまでと同様にわからないし、4月以降に連絡をしてもらうしかないとのこと。

14時ぐらいだったと思いますが生活保護の担当者が今回は二人で来ました。他の用事で来たのですが、今後のことについても相談を持ちかけ、それもあって金沢地方検察庁に電話をしておこうという気持ちになりました。

### 金沢地方検察庁の担当者について

#### 金沢地方検察庁の担当者について　2013年6月25日

5月13日の電話で、ツイッターをみて欲しいとお願いした可能性が高そうです。現在の金沢地方検察庁の担当者は「ミヤ」という人です、今年の4月で3年度目の担当になります。それまでの担当者は平成15年以来、決まって年度ごとに別の人になっていました。

## 石川県警への連絡とその対応について

### 電話連絡と相談

#### 2013年6月21日の珠洲警察署への電話について　2013年6月24日

まず担当者と言われている人に、第281条の4についてご存じですか？と質問しました。なんのことなのか全くわからないと言われたので、20分ほどしてから電話をかけ直すので、調べて条文に目を通しておいてもらいたいとお願いしました。

なぜ私がこの条文にこだわったのかと言いますと、再審請求や非常上告は目的外使用の対象外とされており、手続きだけではくその準備まで明文において認められていると読めるからです。珠洲警察署の刑事さんらは私の情報公開について否定的であり注意を促すような態度でもあったからです。

その条文について比較的最近になって知ったことを話し、珠洲警察署を含めたこれまでの石川県警の対応で、不安を覚えたり、いけないことをしているような感覚にとらわれたと伝え、条文は再審請求等に関する救済を保証するものではないのか、などと言ったと思います。

けっきょくのところ裁判の記録をインターネットで公開することは非常識、という警察の認識、感覚が大きく変わったとも思えなかったですが、条文の存在は知ってもらえたかと思います。

話が前後しますが、20分ほど経って電話をかけ直したとき、対応に出たのは担当者ではない別の警察官でした。前の電話を掛けたのが午前10時55分頃、掛け直したのが11時15分頃でした。

珠洲警察署にはけっこうな回数電話を掛けていますが、初めはほとんどの場合、女の人が出て、生活安全刑事課の担当者の名前を出すことで取り次ぎをやってもらっています。この際、名前を聞かれないことがほとんどです。一方、金沢地方検察庁は必ず聞かれます。

ついでなので、ちょっと書いておきますが、金沢地方検察庁も以前は名前を聞かずに取り次ぐことが多かったです。検察庁の仕事の大半は交通違反の反則金の徴収のような処理だと、平成15，16年ころになるかと思いますが、たまたまテレビでみたこともありました。7割程度だったかもしれないです。

自分がいつも金沢地方検察庁に電話をしているところは、「告訴、告発の係」と何度か聞かされたことがあります。以前は「捜査官室」と聞いたこともあり、平成9年当時は、「特別刑事部」と言われたことも憶えています。

金沢地方検察庁の電話番号というのもひとつになっているはずです。総合的な受付で、各部署に取り次ぐ体制になっていると思われます。しかしながら平成18年の秋当時というのは、取り次ぎの際に名前を聞かれないだけでなく、直接担当者が電話をとることがよくありました。

しかもワンコールや、2コールというスピードの対応でした。ナンバーディスプレイに電話番号が表示されていたことも当然考えられますが、それだけでは考えられない金沢地方検察庁の対応のはやさでした。

先ほどモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）について過去のことを調べていたところ、自分がとても大きな勘違いをしていたらしいことに気がつきました。初めにコメント欄に投稿したのは2005年の平成17年11月だったみたいです。なぜか平成18年の11月だと勘違いしていました。

この平成18年の秋というのは自分にとって一番重要な時期であったし、また、金沢地方検察庁の対応が一番積極的にも感じていた時期でした。ワンコールとかがあったのもこの時期だったと思います。最高検の検事総長に上申書を提出した時期でもありました。

20分ほどあとにかけ直したとき、別の警察官が出て、担当者の人は仕事が出来て外に出て行ったというような言い方をされました。その前の電話でも担当者の人は今年に入ってからとても忙しいと話していました。その場で電話を切ろうかと思ったのですが、いつかけても忙しそうなので。

その別の警察官の人に用件をメモしてもらい、その上で今度担当者が電話に出たときに説明を省略させより実のある話をしたいと考えました。代わりに出た人は名前も名乗っていましたが、記憶にはとどめなかったです。初めて聴く声ではないような気もしましたが、説明をはじめると。

威圧感を与えるような口調、態度を感じるようになりました。こういうのは警察もそうですし、刑務所の刑務官ではより沢山経験してきたことなので、そういう役割なのかと思いました。別の言い方をすれば身構えたような真剣さでもありましたが、丁寧にメモをしている雰囲気も伝わりました。

説明を始めてさほど時間も経っていなかったと思います。「以前、名誉毀損で告訴を相談した京都の弁護士のことですが、一年ほどの間、様子を見ながらよくよく考えた上、告訴は必要不可欠だと判断しました。」、だいたいこんな説明をしたところで、担当者が帰ってきたのでかわりますと。

なお、次のブログエントリーが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログで探し出した今のところ、自分のコメントとして一番古いものです。bit.lyの短縮URLを使っています。

検察官の名前は記憶にありませんが、名古屋高裁金沢支部で、国選弁護人は、小 堀秀行 ／廣野秀樹 | 非常上告-最高検察庁御中Blogger bit.ly/12cXzMm

現在の担当者というのは今年度の4月からになると思いますが、前任者と交代になった人です。前任者は移動になったと言われました。以前この現在の担当者の人にもう一人の人（前任者）が担当なので、私はお話を聴くことができないと言われたこともありました。

その前任者の人は2012年の3月、まだ能登警察署が通常の警察署だった頃、実際に能登警察署のなかで告訴の話をした刑事であり、持参した書面も印刷していました。ほどなく4月になって能登警察署は珠洲警察署に吸収され生活安全刑事課は丸ごと移動になったみたいです。

現在も能登警察署は珠洲警察署能登庁舎として残されていますが、交通関係の一部の業務だけを行っているように聞いています。また、常時滞在する警察官が数人いるようにも聞いています。

#### 2013年6月21日の珠洲警察署への電話について　2013年6月25日

京都の弁護士の名誉毀損での告訴のことを話したところ、担当者の態度はあっさりしたもので一言、そうですか、という感じでした。それから刑訴法の目的外使用について話をしたように思います。インターネットで慎重に情報公開をするつもりですが、関係者への。

関係者への迷惑や影響についても自分個人では把握も仕切れないので、定期的に自分のツイッターを検閲して問題があれば連絡の上、指摘して欲しいとお願いしました。同様の趣旨のことはかなり前から行っていると思いますが、再確認のつもりでした。

以前は出来るだけ見るとか、全部というのは無理があるので理解して欲しいということを言われていました。けっきょく、必要があればそれのうち見るとかいう曖昧な返事でしたが、まだみていないとも言っていたかもしれません。

ツイッターのアカウントについて説明しようとすると、検索すればわかります、と言っていました。もともと３つのアカウントについては、だいぶん前に具体的な説明をしているはずです。

金沢地方検察庁の方も同様にツイッターをみて欲しいと言ったのですが、先月（5月）の時であったか、まだまったく見ていないという返事がありました。メモがわりのツイートによると5月13日の電話は今年度初の電話だったようです。そう考えると、その時にツイッターをみて欲しいと。

#### 2013年9月2日の珠洲警察署への電話について　2013年9月2日

電話を終えたのが部屋の2，3分進んだ時計で9時40分ぐらいかと思います、電話を掛けたのが金沢地方検察庁に電話をした後で、9時15分ぐらいではと思います。30分ほど話したようにも感じましたが、20分ぐらいではと思います。内容のあるお話が出来ました。

## 社会・世相・時代の参考情報

### いわゆるPC遠隔操作事件に関連する警察、検察に対する不信と批判について

#### 主任弁護人の佐藤博史弁護士は「決定的な証拠はなく、無実を明らかにできる」としている。　2013年7月11日

いわゆる,PC遠隔操作事件のことですが、この問題について取り上げ踏み込むべきか否か迷いがありました。佐藤博史弁護士は再審無罪となった足利事件の弁護人としても著名であり、再審や冤罪の第一人者、大御所という評価も受けているようです。

また、この,PC遠隔操作事件においてはオウム真理教の事件で一躍有名になったジャーナリストの江川紹子氏がひときわ熱心に取り上げ、警察検察に対する批判と不信感を大々的に取りざたしております。

PC遠隔操作事件は警察が4人の誤認逮捕を行ったという経緯もあり、世間の注目をあつめましたが、佐藤博史弁護士や江川紹子氏がマスコミに激しい檄を飛ばし、検察を批判する一方、テレビではほとんど取り上げられることもなくなり、世間一般の関心も明らかに薄れているようです。

このことに対して、佐藤博史弁護士らはマスコミが警察や検察におもねて真相の追求を放棄したかの論調で、同時に検察の暴走などと片山祐輔容疑者を冤罪被害者として位置付け、無罪ではなく無実だと公言しております。

このような刑事裁判のエキスパートのごとき活躍をする弁護士は他にも数多いるようですが、ある意味、それらの活躍や功績が冤罪問題や刑事再審の流れを歴史的にかたちどり、世間の問題に対する認識や認知ともなっているものと考えられます。

私は平成4年という21年前になった事件の法的救済を求めるため現行法の再審という制度の枠の中で活路を探し、長い間自分の事件とその問題について考え続けてきました。それは刑事弁護に対する不信感につながり、さらには関わる弁護士らの欺瞞と利己心が世を覆い尽くすのが現状ではと。

また私は、プログラムについても素人ですが、ある程度の知識と経験があるので、佐藤博史弁護士や江川紹子氏の主張する根拠が非常に希薄で乏しいものだと考えることが多いです。彼らもプログラムの素人であることは自認しているようですが、無知を都合良く利用し、世間に誤解をばらまいている印象です。

より重大なことは世間から片山祐輔容疑者を隔離したことです、事実上は検察が接見禁止をやったことになっておりますが、佐藤博史弁護士が横っ面を張り倒すようなあからさまな挑発を行い、検察が接見禁止をするように仕向けたという印象がぬぐえません。

5月28日の勾留理由開示のことだと思いますが、片山祐輔容疑者は、出口のないトンネル、自殺した方がまし、などと述べたらしく。また、このときかどうかは確認していないですが、佐藤博史弁護士は精神的に不安定となり相当な頻度で問題行動を警察署内で起こしていると公言しています。

その後にも別の事件での勾留理由開示を行い、直後に記者会見も行っていたようですが、その時は片山祐輔容疑者は在廷したものの発言はしなかったということで、その辺りから佐藤博史弁護士を通じた片山祐輔容疑者の声も全く伝わらなくなった気がしています。東京拘置所に移送になったのも同じ頃かと。

PC遠隔操作事件における佐藤博史弁護士や江川紹子氏の対応は、刑事裁判を考える上でとても興味深いものであり、自分なりに情報を収集し分析してきたつもりです。また特に考えさせられる情報は主に佐藤博史弁護士らの記者会見の動画であり、その中での発言です。

主にYouTubeの動画ですが、再生回数はあれだけ全国的に注目を集めた事件であり、佐藤博史弁護士らが精力的に検察を批判しているのにかかわらず、信じ難いほど少ないものです。長いものは1時間近いような再生時間であり、まともに視聴した人はさらに数が少ないものと考えられます。

そのような世間の反応の鈍さも反映してのことか、佐藤博史弁護士らの情報発信も減りつつあるようです。片山祐輔容疑者の現状については、ほとんど知ることが出来なくなっています。少し前の情報だと弁護人は5，6人で、毎日のように交代で接見を行い、精神的にも支えているような話でした。

#### ”職場で仕事の片手間にウイルス作成？／ジャーナリスト江川紹子”について　2013年7月12日

職場で仕事の片手間にウイルス作成？／ジャーナリスト江川紹子 at 告発-金沢地方検察庁御中2013-WordPress <http://bit.ly/18Q0lM1> でブログの記事としました。

まだ十分な説明をしていませんが、参考及び資料としていただきたい情報については別途、ブログの記事として作成、公開しております。URLは短縮URLを使っています。文字数を少なくするという意味もありますが、プログラムとして特別の働きをする特殊文字の排除も大きいです。

特に社会的な影響もありそうな記事の該当部分に関しては、記述者の真意を尊重する上でも前後の脈絡を含め、なるべく広範囲に引用することを心がけています。

このようにジャーナリストの江川紹子氏は、佐藤博史弁護士の記者会見等を踏まえて、独自の意見を交えつつ、文字起こしのようなかたちでブログの記事にしてくれることが多いです。今のところ佐藤博史弁護士ら弁護団がブログを含め活字で情報発信をしているのは見たことがありません。

佐藤博史弁護士ら弁護団の情報公開はYouTube等の動画にて配信されているものですが、有料サイトの動画として限定的に公開されているものもあるようで、情報の公開に対する一貫したポリシーというものは感じられないですが、マスコミに猛省を促すようなメッセージも含まれているぐらいです。

さて、引用した参照部分に対する私の言及ですが、ここでも佐藤博史弁護士らは被疑者である片山氏が職場でせっせとウィルスプログラムを作成したかのような誤解を与えています。むろんその可能性を全く否定できるわけではありませんが、何を持ってウィルスの作成としているのかそこが重要な問題です。

この記事を読むと時間と手間暇を掛け、せっせとプログラムのソースコードを職場での作業として行っていたという印象です。佐藤博史弁護士ら弁護団や江川紹子氏が理解しているかは別にして、プログラムのソースコードというものはおしのべて単なるテキストファイルです。環境を選ぶことがほぼないはず。

極端に言えば作業効率は別として、スマホや携帯電話でも作成は可能なはずです。メールの本文として送受信することも可能。ワープロソフトで作ったものであっても最終的にテキストファイルとして保存できれば用は足りるはずです。注意点があるとすれば日本語を使った場合の文字コードの扱いぐらいかと。

日本人向けに日本語のメッセージやラベルが必要な場合は、そうなるでしょうが、問題のウィルスプログラムに日本語の処理が必要だったとは考えにくいので、必要なのはASCIIコードのみ、別の見方をすれば日本語環境すら必要でない作業環境であったことが考えられます。

ソースコードというのは英数字記号を使った単なるテキストファイルです。普通はテキストエディタというソフトを使って作成しますが、ワープロソフトで同じものを書いても、テキストファイルの形式として保存すれば結果は同じことです。繰り返しますが、作業環境は効率を除けば問題外です。

ソースコードがプログラムの原型というか基になるものですが、開発はできても、実際にプログラムとしてコンピュータ（パソコン）を動かすことは出来ません。そこで必要となるのがコンパイルという作業です。これは使用したプログラム言語に応じた環境が必要になります。

このPC遠隔操作事件で問題になっているのがC＃というプログラム言語です。このC＃のコンパイラを含んだ統合開発環境が検察が派遣先PCにインストールの痕跡が発見されたというVisual Studio2010です。専用のエディタや膨大なマニュアルを含めた専用ソフトのはずです。

私自身パソコンを始めて1年目ぐらいの平成10年頃になりますが、当時は主流だったC＋＋というプログラム言語の似たような製品を買ったことがあります。同じMicrosoftの製品です。価格は2万円程度でした。高いものは10万円から20万円ぐらいしていたと思いますが、安い製品でした。

コンパイラ自体は同じものだったと思いますが、価格帯に大きな開きがありました。この違いも作業効率を支援する環境の充実度ではないかと思いましたが、アカデミックパックを含め、内容の違い以上に、敷居を低くして普及を促進するようなメーカーの戦略意図も大きいのではと想像します。

なお、Microsoftの製品では今でもコンパイルという言葉よりビルドという言葉を使うことが多いのではと思われます。成果物は実行可能なプログラムの生成です。悪意を持って作られたプログラムがウィルスと呼ばれているはずですが、実体は同じプログラムの実行コードのはずです。

この実行コードは単なるバイナリファイルです。わかりやすく言えば画像ファイルと同じものです。コンピュータのデータはバイナリとテキストに二分できると言われています。要するにテキストファイルは簡単に開いて中身が読める文字の集合であり、それ以外をバイナリというのかもしれないです。

バイナリファイル自体は１か０の出来たるデータの羅列です。そのデータに見合ったソフトを使うことではじめて本来の働きをすることが出来ます。ワープロソフトのデータがワープロソフトを必要とし依存するのと同じことです。言い方を変えるともはや開発環境はいらないですが、実行環境が必要になる。

くだんのC＃ですが、最近のMicrosoft社製のいわゆるWindowsパソコンであれば、ほぼ標準的に実行環境を備えているようです。ライブラリやランタイム、DLLファイルと呼ばれることもあるはずですが、以前はユーザが独自でインストールする必要が多かったです。

説明が長くくどくなったと思いますが、要するに開発中のソースコードは普通のファイルとして持ち運びも容易です。スマホからパソコンに無線通信を通じて転送することもパソコンからスマホに転送することも、メールとして受信したテキストの内容をコピペで貼り付けて作業を再開することも同じく。

別のかたちでまとめますと、ウィルス作成に必須だったのはVisualStudio2010に含まれるコンパイル環境。ソースコードはどこにでも作成でき、USBメモリでも受け渡しが可能。コンパイルに必要な時間は、他の作業との併行も当然可能。

佐藤博史弁護士は片山氏が仕事でjavaを使っており、C＃は扱えないということを無実の大きな根拠としてあげています。あたかも中国語と韓国のハングル文字での読み書きに相当するような大きな違いを印象づけています。日本と中国では一部、筆談での疎通も可能と聞きますが、ハングルとなると。

プログラム言語には手続き型、関数型などの違いがあると言われています。私自身、関数型のEmacs-Lispも多少扱いますが、慣れればさほど大きな違いがあるとも思えず、基本は同じと考えていますが、ソースコードの見た目の違いは確かに大きいです。

私自身、C＃は全く使ったことがありませんが、C＋＋を進化させた後継と聞いたことがあります。C＋＋やjavaと同じく手続き型を進化させたオブジェクト指向プログラムのはずです。したがって構造はかなり似通っている部分が多いと思われます。

日本語と韓国語あるいは英語の単語の数というのは、それぞれ相当な数になるはずで、文法に対する理解も必要になることでしょう。プログラムの世界で単独で特別な意味を持つ言葉というのは、予約語という扱いをされているはずです。C＃についてネットで調べると、ざっと見たところ50もなさそうです。

これらは他のプログラム言語とも概ね一致するものが多いはずです。例えば繰り替え処理なら、for、while、each、条件分岐であれば、if、else、switchなどが定番のはず。あとはライブラリの呼び出しですが、これも必要に応じて調べるものの、機能は似通ったものが多数あるはず。

VisualStudio2010は同じMicrosoft社のOfficeと同じようなソフトだと思います。購入するのに身分証明や署名が必要なことはないとおもいますが、Officeと同じく継続して使うにはアクティベーションの登録が必要かもしれません。

この問題さえクリアできれば、簡単にインストールも削除も出来るはず。登録前の使用制限がどの程度のものなのかわかりませんが、コンパイル作業自体は出来ると思われ、再インストールを繰り返すことで、試用期限の問題はある程度クリアできるのかもしれません。

Officeと同じく、インストール時の機能選択もより細かくできるはずです。必要最低限の構成にすれば、インストールに伴う時間もディスク容量も抑えることが出来ると考えられます。

VisualStudio2010を使うには前提として基本ソフト（ＯＳ）としてのWindows環境が必要になるはずですが、近年は仮想マシンと言って、LinuxやMacなどの別のプラットホームでもゲストOSとしてインストールし、普通に使うことも可能なはずです。

この場合、ファイルがOSとして見立てられるので、痕跡を残りにくくすると言う利点も大きいかもしれません。私自身、最近は使っていないですが、VMware Playerや他のものも使った経験があります。LinuxにWindowsXPとか色々やりました。

一台のパソコンに複数のハードディスクを接続し、単体あるいはそれぞれに複数のOSをインストールすることも可能ですが、特定のハードディスクを物理フォーマットすれば、より確実に痕跡を消せることも考えられます。

そもそも使い捨てのようなノートパソコンでVisualStudio2010のインストールやC＃のコンパイルは可能なはずです。その辺りもTwitterで江川紹子氏に指摘したことがあるのですが、仮にそういうことがあっても廃棄処分したノートパソコンの立証は検察の責任だとか言っていました。

江川紹子氏には、フォロワーでもないのに因縁をつけるという理由で、ブロックされました。この件に関してはPC遠隔操作事件だけの問題ではなく、反応を確認しておきたい意図から、多少行き過ぎた発言（＠付きのツイート）をしたという経緯もありました。

江川紹子氏は検察のあり方委員会、とかいう検察の命運を左右するような委員会の15人の一人にも選ばれた人物ですが、このPC遠隔操作事件に関する発言、態度を見るようになって、疑問を本格化させました。相応の支持と理解も得ているはずで、影響力も当然にあると考えられます。

江川紹子氏はこのPC遠隔操作事件を冤罪や誤判の問題とも結びつけた上で、辛辣に警察、検察を批判しているようです。冤罪はともかく誤判の救済を求める立場の私としては、看過できない問題だと考えられますが、ある程度知識と経験もある分野に重なるので、比較的分析もしやすいです。

PC遠隔操作事件に限らず、警察、検察やさらにはより大きな枠組みとしての司法に対する批判として、権力の監視を使命とするともいうジャーナリズムを担う人物として、批判が的を得ているのか、大いに疑問に感じるところがあるわけです。

また、弁護士とジャーナリストとのコラボレーションという意味でも、ある意味斬新な活動として、注目しております。ジャーナリストの情報源としての弁護士のあり方、弁護士は監視すべき権力の対象外なのかとか、いろいろ考えさせられる材料に事欠かず、情報を共有しながら問いかけもしたいです。

#### ”ＰＣ遠隔操作、片山祐輔被告に求刑１０年　東京地裁公判”に関する高島章弁護士（@BarlKarth）のツイート　2014年11月21日 POST

<2014-11-21 金 18:40> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

以下、TwitterAPIを利用した自作のスクリプトで得たツイートのデータです。ご説明や言及については他の記事とあわせて行います。リツイートを含んでおりますが、既に何度か本書で取り上げている書式（フォーマット）です。

なお、今回では告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）における個別のAPIツイートは行わないことにします。内容そのものをまとめてブログの記事としますので、一つのブログの記事という単位での取り扱いと致します。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 17:26 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535710739797798912> 遠隔操作事件，判決の量刑が１０年に近くても，５年を割っても学者が論文を書くだろう。原田先生，城下先生，井田先生あたりか？　そうだ天才刑法学者井田先生に聞いてみようか。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:57 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535703617307570176> １０年の求刑はポピュリズム，応報感情への配慮でさえない。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:56 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535703339837579264> 新潟女児監禁事件では，「７年では刑が軽すぎる」という社会感情は確かにあっただろう。しかし，片山氏に関しては，「３年（４年半）では軽すぎる。１０年でも軽すぎる」と言う声はあまりないだろう。

リツイート）→ 　投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:47 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535701061697150976> RT @twit\_chu: 求刑10年のアレをみて新潟監禁事件の併合罪のアレを思い出したけど多分詳しい人が解説してくれるだろうからそれ待ちマン（なげやり） 元のツイート）→　投稿者：twitchu（イシダP＠残念な俺達の青春事情。） 日時：2014/11/21 16:34 ツイート： <https://twitter.com/twit_chu/status/535697822721388544> 求刑10年のアレをみて新潟監禁事件の併合罪のアレを思い出したけど多分詳しい人が解説してくれるだろうからそれ待ちマン（なげやり）

リツイート）→ 　投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:42 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535699781390057473> RT @terayasan: 今回の件は，むしろ，求刑を重くしたいがために，起訴の時点からあえて業務妨害罪と特別法の関係にあるハイジャック防止法を持ち出しているわけで，このような求刑が出てくるというのは当然に予想されたところ。是非は別としてね。 元のツイート）→　投稿者：terayasan（てらやさん☆） 日時：2014/11/21 16:12 ツイート： <https://twitter.com/terayasan/status/535692114118447104> 今回の件は，むしろ，求刑を重くしたいがために，起訴の時点からあえて業務妨害罪と特別法の関係にあるハイジャック防止法を持ち出しているわけで，このような求刑が出てくるというのは当然に予想されたところ。是非は別としてね。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:34 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535697735056257024> 弁護人は，さすがに懲役１０年は予想してなかったのではないか？　こうなったら，弁論でハイジャック防止法違反不成立というのもよいかもしれない。同法違反が無罪になると，威力業務妨害罪の併合罪加重で，最高刑は，４年半。

リツイート）→ 　投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:31 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535696903057313792> RT @motoken\_tw: しかし、やったこととのバランス感覚で言えば、高島先生の懲役４年は、軽過ぎる気がする。たしかに冤罪防止は警察や司法機関の責任ではあるのだが、冤罪の原因となるかなり強力な情況証拠を作出していることが否定できない。威力業務妨害罪として最悪の部類と言って… 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/11/21 16:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/535695204503023616> しかし、やったこととのバランス感覚で言えば、高島先生の懲役４年は、軽過ぎる気がする。たしかに冤罪防止は警察や司法機関の責任ではあるのだが、冤罪の原因となるかなり強力な情況証拠を作出していることが否定できない。威力業務妨害罪として最悪の部類と言っていいと思う。異論はあるだろう。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:09 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535691567990718465> だいたい，「併合罪中あまり重点が置かれていない罪」の最高刑を科する（求刑する）というのはせんだつ的求刑・判決である場合が多いだろう。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:07 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535690978519048192> 片山被告の量刑だが，せいぜい懲役４年くらいだろう。未決もある程度入れてあげないと。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:04 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535690148004909056> まぁ，落合先生がメディア向けにコメントしてくれるだろう。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:02 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535689707762356225> だいたい誤認逮捕・起訴は警察・検察の問題だろう。片山氏に対する責任転嫁じゃないか。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 16:00 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535689300327677952> このたびの１０年の求刑は，新潟女児監禁事件より悪質だ。あの事件は，メインである監禁罪の犯情があまりに悪質で，刑法が予定している懲役７年を超えた犯情だから，ああいう便法を使った。この事件ではそうではない。犯罪でもない行為を実質的に処罰しようという者で許されない。

リツイート）→ 　投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:58 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535688736332193792> RT @kyoshimine: @BarlKarth 構成要件上の結果ではない、「冤罪を作りだした」というところを重視することに問題を感じます。本件で冤罪被害者は「被害者」ではないので。 そこを重視して量刑してほしいのなら、監禁罪の間接正犯で起訴するとかが必要ではないかと。 元のツイート）→　投稿者：kyoshimine（弁護士 吉峯耕平（カンママル撲滅委員会）） 日時：2014/11/21 15:57 ツイート： <https://twitter.com/kyoshimine/status/535688378650357760> @BarlKarth 構成要件上の結果ではない、「冤罪を作りだした」というところを重視することに問題を感じます。本件で冤罪被害者は「被害者」ではないので。 そこを重視して量刑してほしいのなら、監禁罪の間接正犯で起訴するとかが必要ではないかと。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:58 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535688625283801088> 「犯情が刑の上限」で一般情状は，「刑を軽減する要素」とみるべきだろう。確か原田先生も同旨。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:56 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535688266515615744> しかし，犯情がさほど悪質でないのに，一般情状が悪い場合，犯情に基づく量刑を超えて，刑を科することは許されないだろう。先ほどと同じ話で，罪刑法定主義違反と言ってよい。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:54 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535687767091470337> もちろん，先に述べた逃亡や弁解や誤認逮捕の件は，「一般情状」（犯情の対義語）として量刑に反映されてもそれ自体不当ではない。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:53 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535687456775884800> そういう意味から，犯罪でない行為を犯罪として裁いているわけで，罪刑法定主義に違反している。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:52 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535687293286113280> ではどのような情状事実が懲役１０年に反映したのかと言えば，誤認逮捕者が複数いたこと，法廷で巧妙な嘘をついたこと，保釈中逃亡したことなどだろう。 しかし，これらの行為は，それ自体何らの犯罪も構成しない。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:51 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535686887155851264> ハイジャック防止法違反の件は，その犯情が最高に悪質とはとうていいえない。それなのに１０年の求刑というのは，実質的には，それ以外の情状事実で刑を重くしているのであって，罪刑法定主義の精神に著しく反する。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:49 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535686420317229057> 監禁が１０年継続したというのに同罪の刑の上限が７年では軽すぎると言うことで，万引きを窃盗で起訴し，懲役１０年にしたという事件だ。それとそっくり，あるいはそれ以上に不法な求刑だと思う。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:47 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535685911128719360> 新潟女児監禁事件というのがあった。今回の求刑はそれと似ている。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:46 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535685767998087168> 実際，新聞報道等を見てもハイジャック防止法違反という点はほとんど報道されていない。私も「なんで懲役１０年」と思って検索してみて初めて知った。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:45 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535685390510747648> 航空機運航阻害の最高刑（懲役１０年）を求刑するためには，同罪の犯行それ自体の情状（犯情）が最高に悪質である場合でなくてはならない。 しかし，同罪による起訴は，こじつけとまでは言わないが，まぁ，ついでにという程度だったはずだ。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:40 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535684178075860992> 懲役１０年は，ハイジャック防止法の最高刑に依拠したわけだ。威力業務妨害の上限は３年。

投稿者：BarlKarth（高島章（弁護士）） 日時：2014/11/21 15:39 ツイート： <https://twitter.com/BarlKarth/status/535683929324281856> 片山被告人に対する懲役１０年の求刑は，量刑理論上不当だろう。原田國夫先生あたりがコメントしてくれないだろうか。

<2014-11-21 金 18:48> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### ”ＰＣ遠隔操作、片山祐輔被告に求刑１０年　東京地裁公判”に関するジャーナリスト江川紹子さん（@amneris84）のツイート　2014年11月21日 POST

<2014-11-21 金 19:45> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 15:53 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535687304472305664> 検察官向けの、「効果的な論告情状編の書き方」講座を開きたい鴨

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 15:41 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535684397081456640> 事実関係・犯人性のところは、分かりやすく過不足なく書けているのに、情状の部分が冗長。しかも「類を見ないほど卑劣で悪質」なんていう最上級の形容は、被害状況や関係者の供述を淡々と綴って、最後に一回、バシッと言うから効果的なのであって、のべつまくなしに連発していると、「あ〜またか」状態

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 15:28 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535681146076401665> 同じフレーズの繰り返しで、全然文学してないですにゃ RT @kyoshimine: いい加減、文学で裁判を乗り切ろうとするのを、やめてほしいですね……。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 13:31 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535651620558622722> 【PC遠隔操作事件】検察の論告は、「類を見ない悪質さ」「捜査機関を愚弄した」など、同じフレーズが繰り返し繰り返し繰り返されていて、もう少し推敲した方がよいと思った。検察の憤りを繰り返しで表現したかったのかな、とも思うが…

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 13:25 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535650279241154560> 【PC遠隔操作事件】検察の論告が読み上げられる間、片山被告は前かがみでノートに何かを書いていた。弁護人に配られた書面は欠席の弁護人もいて余っていたし、論告を聞いてメモしていたわけではなさそう。求刑の瞬間も、眉がやや動いただけで、ほとんど無表情だった。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 11:48 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535625872909148160> 【速報】PC遠隔操作事件の裁判で、検察側は片山被告に懲役１０年を求刑した

<2014-11-21 金 19:46> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### 刑事事件における再審請求という制度に対する個人的な疑問と不信、及びその現状について

#### 【再審請求・恵庭ＯＬ殺害事件】炎の新目撃証言で「完全なるアリバイが成立」と弁護団(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース、を読んで

<2014-04-21 月 10:57> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

初めにこの項目の見出しというかタイトルをいったんTwitterに送信してから変更しました。変更後も同じく送信しましたが、もともとTwitterは告訴状の下書きの速報的なものなので、特に修正はしないでおこうと思います。

【再審請求・恵庭ＯＬ殺害事件】炎の新目撃証言で「完全なるアリバイが成立」と弁護団(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20140420-00034669/>

今朝読んだ上記のジャーナリスト江川紹子さんの記事について感想や、私が木梨松嗣弁護士に対する刑事告訴や非常上告に及ぶことになった経緯との関連性について書いておきたいと思います。

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター (kkhirono)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/kk_hirono> ←　何度か繰り返しご紹介していると思いますが、ほぼ同期で内容を投稿しているアカウントです。

そういえば、昨日も写真ファイルのTwitterAPIを使った投稿で、２，３回エラーが出ているのを確認しました。プログラムの実行時間の間隔が短すぎたという要因はあるかと思いますが、やはりエラーで投稿できていないと言うことはありうることです。

端末からの実行だとエラーが分かることが多いのですが、Emacsから間接的に実行しているのでエラーが確認できず、手間も掛かるので逐一確認はしておりません。

これまでもジャーナリストの江川紹子さんについては取り上げようか迷ったことがずいぶんとありました。ツイッターのフォロワー数でみると今現在、 132,715 という数になっているようです。ざっと見たところここ２ヶ月ほどで１万ほど増えたような印象も受けます。

もともと私が江川紹子さんに注目するようになったのは数年前に「検察のあり方委員会」のようなものがあり政府主催のものであったと思います。これはこれでちゃんとしたことを調べて書いておくべきかとも思うのですが、とりあえず大雑把に済ませておきたいと思います。

当時、私は他のことでも忙しかったり時間の余裕もなかったので詳しいことも調べなかったのですが、検察の命運をも左右するような委員会に選ばれた一人が江川紹子さんでした。

委員会というべきか会議と書くべきかはさておき、メンバーにはもう一人、私が注目する人物が含まれていました。平成１８年当時の検事総長だった人で、私が最高検察庁に検事総長宛で上申書を提出したときの検事総長だった人です。

名前の方をすぐには思い出せないのですが、退官後に弁護士となり、その会議に参加されていたはずです。ネットで調べてみます。

但木 敬一（ただき けいいち、1943年7月1日 - ）は、日本の弁護士（森・濱田松本法律事務所客員弁護士）。元検察官。2006年から2008年まで検事総長。埼玉県出身。、という情報を次のURLから得ました。

但木敬一 - Wikipedia <http://bit.ly/1joK5le>

URLエンコードが含まれていて特殊文字になっているので、念のため短縮URLに変換しました。日本語をURLに含めて送るときに施される暗号化のようなものです。復号化のことをデコードと呼ぶはず。最近のブラウザでは日本語として表示されている思います。

2006年から2008年まで検事総長をつとめたと書いてあるようですが残念ながら月の記載はないようです。私が上申書を郵送したのは平成18年の11月ではなかったかと思いますが、回答のような書面を受けたのは12月の10日頃ではなかったかと記憶しています。

検事総長宛に上申書を送るには事前に検察庁のホームページで、但木敬一検事総長の顔写真まで確認していたことを記憶しています。

検察の在り方検討会議（けんさつのありかたけんとうかいぎ）は、日本の法務大臣の私的諮問機関。、という情報を次のURLで得ました。

検察の在り方検討会議 - Wikipedia <http://bit.ly/1eW2DOi>

この平成18年の秋から翌年3月一杯という時期は、私にとってとても大切な時期でした。3月一杯というのは被告発人・被告訴人らを殺人未遂の罪に問う15年の公訴時効の期限であったからです。

結果を言えば金沢地方検察庁は、かなりわざとらしく露骨なかたちで、公訴時効を迎えさせました。実質的に公訴時効など問題にしていないという意思表示とも思えましたが、当時公開していたブログでの具体的顛末に説明に対する関心は乏しかったと思います。

それでもブログで変化のようなものがあったのは最高検の検事総長宛に上申書を提出し、内容も公開していたように思いますが、その辺りを境にブログに対する批判的攻撃的なコメントをみることはなくなったようにも記憶しています。

もっともそれが好意的な理解とは考えにくいものではありましたし、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が主催するブログでの問題も同時進行的だったと思うし、最終的な評価を突きつけられたのも自分のブログでのコメント欄でした。

別にスレッドのような項目を作ってそちらの方で説明を書いてからまたこちらの項目に戻ってきたいと思います。

<2014-04-21 月 12:28> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### ”服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検”という再審請求に関する問題をブログの記事にしたまとめ　2014年11月21日 POST

<2014-11-21 金 22:37> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

"服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9227>"

"人の供述、証言で事実認定する危うさ、怖さ、冤罪は常にこのようにして生み出されるものであるということを、今後明らかになる本件の真相を見つつ、教訓として導きだし役立てなければならないでしょう／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9251>"

"検察が強姦被害者に騙されて起訴、１２年の実刑が確定し３年半も服役していた。（続く／郷原信郎弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9253>"

"大阪地検が「強姦被害者」に騙されて起訴したのと同様、名古屋地検は贈賄供述者中林に騙されて藤井市長を起訴した。その中林への再度の追及の場が今日の公判での証人尋問／郷原信郎弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9255>"

"今日の藤井美濃加茂市長事件の公判での証人尋問の模様を伝える記事⇒【＜美濃加茂市長事件＞異例の「対質」尋問／郷原信郎弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9257>"

"当然警察検察は捜査して起訴するのだろうね。 自分たちのミスがあったといってもそれをしないとほんとにクズだよ。／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9259>"

"無罪方向の客観証拠、一貫して否認しててもそのときは調べなかったんでしょ 社会正義といいながら有罪獲得マシンになってないの？／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9261>"

"被害者と証人を信用して有罪にした機関が、今度はその被害者と証人を有罪にする。／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9263>"

"被害者証言のほかにどういう証拠があったのか。分析が必要。／谷山智光弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9265>"

"虚偽証言による強姦事件で懲役12年 人が人を裁く刑事裁判の恐ろしさ | 元特捜部主任検事のざわめき | デイリー・ダイヤモンド／前田恒彦　－元特捜部主任検事のつぶやき","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9279>"

"地検は男性の弁護人の意向や、プライバシーの保護などを理由に、男性の年齢や詳しい確定判決の内容、捜査時の証拠の詳細を明かしていない。","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9292>"

<2014-11-21 金 22:38> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月21日 POST

<2014-11-21 金 23:10> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

時刻は11月21日11時12分を過ぎたところです。本書の記述を再開したのも本日のことで久しぶりになるかと思いますが、昨日はようやく理想に近い準備と環境が整ったところでした。それは新しいブログ及びそれと連携したデータベースで、必要な過去記事の登録が完了したことです。

新しいブログのことについては後日、ご説明をしたいところですが、記憶と体験が新しいうちに書いておきたいことがあるので、そちらを優先します。

たまたまになりますが、次の記事が過去記事の再投稿の最後、作業完了の記事となりました。

衰亡する国、というのは、こんなものなのかも。勇ましさで売るリーダー、もてはやす人々はいても、大きな流れは止められない／落合洋司弁護士 | 告発-金沢地方検察庁御中2014 <http://bit.ly/1z2NxLF>

URLに日本語のURLエンコードが含まれ記号の羅列が多すぎたので短縮URLを使いました。無料で使っているWordPress.comのサービスですが、基本的に記事の固定URLは日本語を含めた記事のタイトルの要約が使われるようです。

この記事の個別URLはパーマリンクとも呼ばれるはずですが、WordPressでも.comの無料版なので、形式の選択はできないようです。ただし、次のIDを使ったリクエストパラメータの形式でのページを開くことが出来ますが、瞬間で別の形式のURLにリダイレクトされます。

<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9225> ←　これがIDを指定した固定URLです。このIDはデータベースでも使われている記事を特定する一意のものです。ただWordPressのデータベースの仕様上、一つ置きの順番には並んでいません。

投稿の順序では次の記事が、次に投稿したものになります。

"服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9227>"

APIを使ったWordPress.comへの投稿とlocalhostのデータベースへの登録は、スクリプトの処理上ほぼ同時刻です。それによると前者は2014-11-20 15:33:11、後者の過去記事再投稿完了後の記事は2014-11-21 22:04:12となっております。

昨夜の22時過ぎに落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイッターで知ったブログの記事を読んだことになりそうですが、問題の刑事事件に関しては昼か午前中のうちに目にして知っていたようにも思います。

ともあれ、今日は寝たきりで入院している母親の面会に行ってきました。前回の面会の時と同じく意識がはっきりした感じでしたが、この時初めて仕事のことについて尋ねられました。これまでも不思議には思っていたのですが、寝たきりになって以来一度もそういう話をしてきたことはなかったのです。

今日は衆議院の解散総選挙が正式に決まったというニュースがテレビで多かったように思いますが、母親が寝たきりになったのは民主党が勝利して自民が政権を失った総選挙の翌朝のことでした。2009年の8月31日になるかと思います。

今日、病院に向かう直前まではテレビでミヤネ屋という情報番組を見ていました。15時前後にニュースがありますが、それが終わってから出かけました。

<2014-11-21 金 23:59> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月22日 POST

<2014-11-22 土 00:03> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

テレビではニュースZEROが始まったところです。ミヤネ屋と同じチャンネルはテレビ金沢で日テレ系になるようです。昼にミヤネ屋を見ていたのも、当日は気になる裁判の論告求刑があったからです。いったん今日と書いたのですが、さきほど日付が変わったことを思い出し訂正しました。

PC遠隔操作事件の論告求刑です。すっかり忘れていたのですが、正午前後にジャーナリスト江川紹子さんのツイートを見たのが、知るきっかけだったと思います。

APIで探したところ次のように確認ができました。私のリツイートの時間ですが、読んですぐではなく2,3分の経過後だったような気がします。 リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/21 12:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/535641931171115008> RT @amneris84: 【速報】PC遠隔操作事件の裁判で、検察側は片山被告に懲役１０年を求刑した 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/21 11:48 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/535625872909148160> 【速報】PC遠隔操作事件の裁判で、検察側は片山被告に懲役１０年を求刑した

リツイートした時間が12時52分になっているので、テレビでNHKの連続テレビ小説「マッサン」の再放送を見ながらのリツイートだったことになりそうです。数時間前のことですが、そんなことも細かくは覚えていませんでした。昼食を食べながらだったような気もします。

それから13時半過ぎに思い出してテレビをつけなおし、ミヤネ屋の前の「ヒルナンデス」という番組でまもなくニュースが始まり、２つか3つ目のニュースで、PC遠隔操作事件の論告求刑を取り上げていたかと思います。

病院の帰りにはAコープ能都店に寄って少し買い物をしてきました。家に戻って外はすぐに暗くなったと思いますが、夕方はテレビをつけずにいました。近頃はテレビでドラマもほとんど見なくなり、テレビをつけている時間も短くなっています。

19時のNHKニュースは毎日録画するように設定しています。それを後から早送りで見たのですが、PC遠隔操作事件に関する報道はなかったと思います。報道ステーションも選挙のニュースが終わった頃を見計らってチャンネルを変えましたが、取り上げてはいそうにない感じでした。 今テレビをつけているニュースZERO でも今のところ取り上げてはいないと思いますが、この番組の構成上、終わり近くに短いニュースの特集があるので、そちらで取り上げられる可能性はありそうです。

大阪地検の再審請求で受刑者釈放のニュースは、一度もテレビではみていないと思います。インターネットでも知ったのは20日の夜ではなかったかと思いますが、18日になんとかという記事も見かけたように記憶にあります。

Twilogで調べたところ。私自身のツイートとしては次のものが取り上げた最初になるようです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/19 09:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/534868741776220161> Yahoo!ニュース - 強姦罪で服役の男性釈放＝被害は虚偽、「無罪の可能性」―再審請求受け・大阪地検 （時事通信） <http://t.co/Jk2eHy6TRP> 受刑者が再審開始決定前に釈放されるのは極めて異例で、「足利事件」の2009年6月以来とみられる。

日付をみると11月19日の朝9時40分になっていますが、これも意外でした。たしかに最初は余り関心を覚えないニュースだったのですが、昨日あたりから強く意識するようになったので、昨日に知ったものと勘違いしていたのかもしれません。

余り記憶に自信が持てないのですが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログの記事を紹介するツイートを見たのが、初めてだったようにも思います。次のツイートです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/11/19 18:35 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/535003392427294720> 服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検 <http://t.co/bmOWcyCZvI>

上記のツイートにあるURLは落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログの記事のリンクです。既に本書でも取り上げたことが一度はあるように思いますが、2005年に私が初めてブログを始めた頃には既に存在していたブログです。

Hatena::Diaryのブログですが落合洋司弁護士（東京弁護士会）は設定をブログモードではなく日記モードにしているらしく、個別の記事のタイトルが取得しづらくなっています。実際、次のようになって日付の取得しかできません。

2014-11-19 - 弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/20141119#1416389721>

Hatena::Diaryのブログをやっていないとわからないと思いますが、記事を日付単位のデータとして登録・管理する仕様になっているようです。正確にはブログではなくダイヤリーということで日記スタイルなのかもしれません。後で出たサービスでは「はてなブログ」という別物もあります。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）の場合もHatena::Diaryの設定で、Twitterへの連携で投稿時のTwitterへの同時投稿がなされているものとおもわれますが、そちらでは記事のタイトルが取得できるようです。記事のツイートボタンでも記事のタイトルは取得出来るはずです。

Hatena::Diaryの仕様自体が他のブログとは違って、特異というかややこしくなっているのですが、ツイートの方の書式もコメントと見分けのつかないタイトルとURLのみなので、なおさらわかりづらくなっています。

やはり落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログ記事の方で初めて知ったニュースのように思いますが、記事の冒頭にあるニュースのリンクの方は開かずにいたらしく、日付が変わった昨日の夕方になりますが、私にとってはその件に関する最後の情報にもなりました。

ところで、気になって確認したところ次のツイート以来の再開ということになるようです。

投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2014/10/24 11:53 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/525480231918764033>

やがて一月近く中断をしていたことになりそうですが、データを掌握管理する不満と先行きの不安の現状から打開の道が開けたところで、出会った情報が大阪地検の再審請求に伴う受刑者の釈放の問題でした。

データベースとの管理連携で新規にスタートさせたブログの方に、記事として情報をまとめたのですが、それを本書の項目としてまとめたのと同じ内容が、次のブログ記事です。

”服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検”という再審請求に関する問題をブログの記事にしたまとめ　2014年11月21日 | 告発-金沢地方検察庁御中2014 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9307>

割と多くの弁護士がツイートで言及をしていましたが、インターネットのニュース記事も比較的多く見たように思います。そういうツイートやニュース記事を読みながら私なりに認識が出来ていたのですが、先ほど紹介した最後に読んだ記事で認識が一変しました。

報道やニュースの記事、内容に違いがあるのは常ですが、これほど根本から認識を一変させたのは、最も極端な例とも思えるぐらいです。他にも時間の経過とともに、報道のあり方、取り上げ方に疑問を感じるところがあります。

インターネットで見ていたニュース報道を、その後にテレビで見ることも珍しくはないのですが、テレビで見かけないニュースというのもそれはそれで気になるものです。

ここ最近はテレビでニュースや情報番組を見る機会も少なくなっていたので、確認も出来ないのですが、大阪地検の再審請求での釈放に関してもテレビでは見かけていません。情報量としてはインターネットの方が圧倒的に多いと思いますが、テレビで大きく取り上げられていたのがぴたりとやんだ問題も。

Twilogで他の捜し物をしていて、次のツイートが目に入ったのですが、これを読んでみると初めに大阪地検の再審請求と釈放の問題を知ったのはジャーナリスト江川紹子さんのツイートだった可能性が高そうです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/19 09:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/534866728480956416> 昨夜、Twitterの方で見かけていた再審関係の問題ですが、懲役12年で服役中だったとは驚きました。ジャーナリスト江川紹子さんのツイッターだったと思いますが、相変わらず刑事弁護における弁護士の対応の問題点は目を向けないという感じ… <http://t.co/YmizxPqP1L>

捜し物ですが、Twilogではみあたらず、ブログの記事の方で探してみるとすぐにみつかりました。廣野秀樹（@hironohideki）のツイートにはしていなかったようです。次のブログの記事です。

【韓国カメラ窃盗事件】富田選手の弁護士　第二の片山祐輔被告になってしまうと危惧 | 告発-金沢地方検察庁御中2014 <http://bit.ly/11KT13p>

WordPressのIDの確認にはいったん記事の編集画面に入るか、データベースで検索する必要があるので、さほど重要性のない情報として短縮URLを使いました。

新規ブログに投稿するAPIのスクリプトでは、元になった記事のファイル名とスクリプトの処理を実行した時間を記事の末尾に副めるようにしています。管理上の目的が大きいですが、判別しやすい付加情報となっています。

それによるとファイル名は201411201728.txt。これはデータファイルの作成日時をファイル名にしています。スクリプトでの処理時間が2014-11-20 17:29:12です。

一時期、テレビで大々的に取り上げ、代理人の弁護士が熱弁を振るって無実や冤罪を主張していた問題ですが、ある日を境にぴたりとテレビでの報道を見かけなくなって、忘れかけていた問題でした。

記事のタイトルにも含まれているような話は、テレビで全くみかけておらず、ネットで見たのもそれが最初で最後でした。それもかなりの偶然という感じでした。久しぶりにPC遠隔操作事件関連の情報を見たと思っていたら、その翌日と思われる21日に論告求刑の情報に接することになったようです。

競泳の選手の窃盗事件に関しては、カメラが競技場から持ち帰ったのとは別のバックの中から見つかったとか、代理人である弁護士の大々的な釈明会見を見る前から、どうかと思える情報をテレビで見かけていました。

真実犯人であるような不利な情報がある中で、世間を納得させるような説明があったとは思えず、それでも強行突破のようなかたちで会見を主導した代理人の弁護士。第二の片山さん、という見方はは会見を開く前の状況判断としてなかったのか大いに疑問です。

第二の片山さんというより第二の佐藤博史弁護士という印象が私個人としては強くもあるのですが、佐藤博史弁護士の場合は本人が望んだもののテレビ番組での報道枠を大幅に割いた大々的な会見というのは実現しなかったようで、佐藤博史弁護士は痛烈な批判もマスコミに向けていました。

STAP細胞問題における三木秀夫弁護士の代理人としての振る舞いも似たような感じでしたが、もともと厳しい追及が向けられていたので、いくらか事情もことなるのかもしれません。平の研究員に格下げになったとか短い報道をテレビで見かけましたが、ごく短いものでネットでも話題は見かけていません。

あれほど世間を騒がし、全世界を巻き込んだともいえるSTAP細胞問題も、今年になって始まったことかと思いますが、移り行きが激しいものだとも改めて感じたところです。

他に気になる事件、裁判としては「藤井美濃加茂市長事件」があります。冤罪事件として郷原信郎弁護士が精力的に取り組んでいるようですが、ジャーナリスト江川紹子さんがフォローというか後押ししているあたりにも一連の共通点を感じます。

ブログの方でも記事にしたかとも思いますが、URLの関係での面倒もあるので、郷原信郎弁護士の最近のツイートからストレートにご紹介をしておきたいと思います。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 23:55 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/535083872183013377> 今日の藤井美濃加茂市長事件の公判での証人尋問の模様を伝える記事⇒【＜美濃加茂市長事件＞異例の「対質」尋問――贈賄側社長の証言は信用できるか】 <http://t.co/kn66VhPlgT>

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 07:30 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534836046358269952> 続き）今日は藤井浩人美濃加茂市長事件の公判の最終局面、贈賄供述者中林と元隣房者の証人尋問が異例の「対質」で行われる。大阪地検が「強姦被害者」に騙されて起訴したのと同様、名古屋地検は贈賄供述者中林に騙されて藤井市長を起訴した。その中林への再度の追及の場が今日の公判での証人尋問。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 07:29 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534835720062791681> 首相の解散表明のニュースに隠れているが、昨日、検察にとって重大な問題が明らかになっている⇒【（毎日）大阪地検:冤罪で受刑者を釈放…被害者証言翻す】http://t.co/8VoYEKAJeR　検察が強姦被害者に騙されて起訴、１２年の実刑が確定し３年半も服役していた。（続く

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 07:10 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534831144122859520> 続き）解散の理由は、現時点で民意を問う理由にも争点にもならない「増税先送り」、勝敗ラインは「与党で過半数」だという。議席を８０減らしても「勝ち」だと言われたのでは、その犠牲になる自民党議員にとってたまったものではない。与党衆院議員というのは、その程度の「首相の手駒」でしかないのか

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 07:02 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534828938950742016> 最後まで何かの間違いであってほしいと思っていたが、安倍首相は、本当に衆議院解散を表明してしまった。ブログ【現時点での衆議院解散は憲法上重大な問題】http://t.co/OtWyy3B59F を書き、「立憲国家日本を壊すな！」と繰り返しツイートしたのに・・・。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/18 17:51 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534630037899575296> 安倍首相は、この後、午後７時過ぎから記者会見を行うとのこと。【現時点での衆議院解散は憲法上重大な問題】http://t.co/OtWyy3B59F 　解散表明をギリギリで思いとどまってもらいたい。安倍首相に重ねて言いたい。「立憲国家日本を壊すな！」

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/18 08:10 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534483783236333569> 今日の衆議院解散は、絶対に思いとどまるべき。安倍首相に言いたい。「立憲国家日本を壊すな！」

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/18 07:06 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534467580577083392> 【現時点での衆議院解散は憲法上重大な問題】http://t.co/OtWyy3B59Fでも書いたように、今回の解散が憲法上許されないのは明らか。注目⇒ 【１票の格差:「次期衆院選無効」提訴へ　弁護士グループ、投開票翌日に】http://t.co/PKANqJPPj9

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/17 13:00 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534194220001525761> 【現時点での衆議院解散は憲法上重大な問題】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒　http://t.co/OtWyy3B59F

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/12 08:03 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/532307634594906113> 【訂正】一昨日、《今年５月にＷＯＷＯＷで放映された、ドラマＷ「トクソウ」http://t.co/IJxqYEFiOU 　が、本日から、TSUTAYAでレンタル・販売開始。》とツイートしましたが、レンタル・販売開始は来年１月で、一昨日は「情報解禁日」でした。お詫びして訂正します。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/11 11:57 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/532004064846815232> 経済産業委員会では、小渕優子大臣を追及し、大臣辞任に追い込んだ今井雅人議員が、今度は、法務委員会で美濃加茂市長事件を取り上げるとのこと。要注目！ RT @imai\_masato 明日、午前10時55分から、法務委員会で美濃加茂市長起訴について取り上げたいと思います。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/10 08:25 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/531588319654576128> 続き）このドラマの原作「司法記者」http://t.co/76ruLT0YDTは、２０年前のゼネコン汚職事件をモデルに書いたもの。「検察の暴走」とメディアとの歪んだ関係が女性司法記者殺人事件に発展するというフィクション。「検察暴走の結末」は、美濃加茂市長事件の現状と重なる。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/10 08:21 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/531587372740128768> 今年５月にＷＯＷＯＷで放映された、ドラマＷ「トクソウ」http://t.co/IJxqYEFiOU　が、本日から、TSUTAYAでレンタル・販売開始。ここで描かれている「引き返せない検察」の構図は、名古屋地裁での公判で露呈しつつある美濃加茂市長事件での「検察の泥沼」と同様（続く

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/01 21:37 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/528526196200329217> 検察問題は、小沢派の政治家の方々にとって、他人事のように冷静にコメントできる話なのでしょうか。陸山会事件での「特捜検察の暴走」と「検審騙しの起訴議決への誘導」で壊滅的なダメージを受けたのに、何一つ反撃できなかったことへの反省が、まず必要なのでは？@miyakeyukiko35

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/01 10:57 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/528365251406753792> 昨日の中日朝刊【司法取引は容疑者不利　誘導の恐れ】 <http://t.co/g8xzvP7vCG>　法制審が答申した「日本版司法取引」の問題点を指摘する良記事。しかし、一方で、中日新聞は、藤井美濃加茂市長事件での「闇司法取引」の問題を殆ど取り上げない。報道姿勢の検証が必要では？

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/27 15:57 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/526628679535718400> 【必読】検察から完全無罪を勝ち取った経験者八田隆さんの公判傍聴記です。RT @thatta0529 被告人質問を傍聴し、私が感じたことを述べたいと思います。#検察なう (428) 「美濃加茂市長事件藤井氏被告人質問傍聴記」　http://t.co/W3vZQlBdAB

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/27 15:40 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/526624442319777792> 【必読】江川さんの記事、美濃加茂市長事件の公判の現状が詳細に書かれています。→ 【コラム 江川紹子】藤井美濃加茂市長収賄容疑事件:俄然「やる気」の裁判長、またもや検察の権威失墜か <http://t.co/9xSJnVevkv>

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/27 12:52 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/526582209600159744> 【「空振り」被告人質問に象徴される検察官立証の惨状】と題してブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒　http://t.co/LxzgDRz1RR

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/25 12:35 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/525853113790386177> 【重要閣僚の資質を疑う宮沢経産大臣の問題発覚後の発言】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://t.co/4MmNAnRJIH 昨日、被告人質問が行われた藤井美濃加茂市長事件の公判については、これから執筆します。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/25 09:29 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/525806359963774977> 続き）唖然とするのは、昨日の公判を報じる各紙の記事。フツーの公判の展開だったような感じ。検察官が、会食後に藤井氏が中林に送ったメールで「すいません」ではなく「いつもすいません」と書いていることが賄賂を受け取った証拠だと執拗に質問しているのを見れば、フツーではないことはわかるはず

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/25 09:15 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/525802844239036419> 昨日の美濃加茂市長事件の公判での被告人質問。藤井市長は、現金授受は全くなく、浄水機の導入に向けての活動も、中林の依頼ではなく、美濃加茂市民のための防災対策として積極的に取組んでいたことを具体的かつ詳細に述べた。一方、警察、検察の不当な取調べ、検察立証の根拠の希薄さも明白に。（続く

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/24 07:49 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/525418854223478784> 今日は、美濃加茂市長事件の第６回公判。午前１０時から藤井浩人市長の被告人質問が行われる。一貫して無実を主張してきた藤井市長が、初めて、事件について、公判で詳細な供述を行う場だ。自らが潔白であることを、本人の言葉でしっかり述べてもらいたい。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/22 21:28 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524900086233325569> 中日新聞、今日の夕刊で、藤井美濃加茂市長の弁護人が告発していた贈賄供述者の中林の４０００万円の融資詐欺での追起訴を報じる。昨日午後の地検での記者会見を全紙が朝刊で報じているのに、中部地区で圧倒的発行部数を誇る地元紙が、敢えて「特落ち」にした理由は？このような場合の社内処分は？

リツイート）→ 　投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/22 11:08 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524744120850317312> RT @SFUJItwitte2: @nobuogohara 中日新聞も今このタイミングなら引きかえせると思います。これまでを改め、逆にここで検察・警察の罪を暴くくらいの姿勢でこの事件に臨めば、今後というか、将来的に朝日新聞のような事態に陥ることはないと思います。繰り返しますが… 元のツイート）→　投稿者：SFUJItwitte2（SFUJItwitte2） 日時：2014/10/22 08:18 ツイート： <https://twitter.com/SFUJItwitte2/status/524701279667228672> @nobuogohara 中日新聞も今このタイミングなら引きかえせると思います。これまでを改め、逆にここで検察・警察の罪を暴くくらいの姿勢でこの事件に臨めば、今後というか、将来的に朝日新聞のような事態に陥ることはないと思います。繰り返しますが、、このタイミングを逃したらだめです。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/22 07:59 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524696625482985473> 中林追起訴、中日新聞は黙殺。警察、検察側の情報で中林の贈賄供述をあれだけ垂れ流していたのに、その中林が、藤井弁護団の告発で４０００万円の融資詐欺で追起訴され追い込まれているという重要な動きは報じない。それで、読者にこの事件の捜査・公判を正しく伝えたことになるのか。

リツイート）→ 　投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/22 07:26 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524688174077849600> RT @ozyszm: 美濃加茂市長“収賄裁判”で疑惑の証言者が検察との協力関係を手紙に綴っていた：江川紹子／週プレ <http://t.co/QV9jVdFtqR「証言は彼の生の体験ではなく検察官との合作。ヤミ取引を含め、検察とのやりとりを明らかにする必要がある>」…郷原さん、グ… 元のツイート）→　投稿者：ozyszm（zumi） 日時：2014/10/22 03:02 ツイート： <https://twitter.com/ozyszm/status/524621773925400576> 美濃加茂市長“収賄裁判”で疑惑の証言者が検察との協力関係を手紙に綴っていた：江川紹子／週プレ <http://t.co/QV9jVdFtqR「証言は彼の生の体験ではなく検察官との合作。ヤミ取引を含め、検察とのやりとりを明らかにする必要がある>」…郷原さん、グイグイ来てるω

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/22 07:18 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524686115454734336> 美濃加茂市長事件の贈賄供述者中林を、弁護人の告発に基づいて融資詐欺で追起訴したのは、名古屋地検にとって余程不本意だったのだろう。昨日、起訴通知が藤井弁護団側に届きマスコミに連絡、それを受け地検側が会見で公表⇒http://t.co/Uj0SnneMmJ　実際の起訴は前日の２０日。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/21 22:51 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/524558518599172097> 藤井美濃加茂市長事件、弁護人による贈賄供述者の告発 <http://t.co/CxA6C2fix7について、本日、名古屋地検から起訴通知が届いた。当然の起訴だが、半年早く立件・起訴していれば虚偽の贈賄自白はなかったはず。いずれにしても、検察が、確実に追い込まれつつあることは確か>。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/16 08:45 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/522533715742703616> 続き）検察改革で打ち出された「引き返す勇気」に、かすかに期待していたが、空しかった。特捜部長以下の問題に矮小化できた大阪地検不祥事とは違い、今回は、「検察の組織として対応」が問われる。ここまで来ると、もはや、誰にも、ブレーキをかけることはできないようだ。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/10/16 08:40 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/522532549063483392> 今日は、藤井美濃加茂市長事件の第５回公判、検察官が請求した「苦し紛れの証人」２人の尋問。昨日、検察官が出してきた意見書を見る限り、「引き返す気」は全くないようだ。⇒【藤井美濃加茂市長事件、検察にとって「引き返す最後の機会」】 <http://t.co/dikzB3Afwo（続く>

ぎりぎり140文字というのを少なくとも3件確認しましたが、すべて告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）にTwitterAPIで投稿できたようです。連投だったので投稿が失敗しているのもあるかもしれないですが少なくとも文字数オーバーでのエラーは出ませんでした。

これまでにも何度か本書で取り上げようという衝動にかられた郷原信郎弁護士とジャーナリスト江川紹子さんのツイートがありましたが、とりわけ気になったのが次の日時のツイートかと思います。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/11/19 07:30 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/534836046358269952> ←　11月19日7時30分

ツイートが投稿された日時と、私が最初に読んだ日時とは当然にタイムラグがあると思いますが、19日の早朝というのは意外に早い時間です。やはり前日の18日にはインターネット上に流れていた情報の可能性が高そうです。

確認をかねて調べたのですが、次のツイートが大阪地検の再審請求の問題に関するジャーナリスト江川紹子さんの最初のツイートのようです。私としてはその後の２つほどのツイートを初めに見て、このツイートまでさかのぼったように思います。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/11/18 17:10 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/534619530492776448> 詳報が待たれる RT @taniyama: 被害者証言のほかにどういう証拠があったのか。分析が必要。 RT @47news: 速報:強姦罪などで受刑中の男性を大阪地検が釈放。有罪の決め手となった被害者らの証言が虚偽だったことが判明。 <http://t.co/DpmSKNlEEe>

あらためて見ると谷山智光弁護士のツイートをジャーナリスト江川紹子さんがコメント付きの非公式RTしたようです。元は47newsのツイートだったようですが、固定URLではないらしく、記事が特定出来ませんでした。

今一度Twilogで調べ直したところ、私はジャーナリスト江川紹子さんのツイートを18日の21時頃にリツイートしていたようです。リツイートしているということは当然に内容を読んでいたはずです。スクリーンショットを使いました。次のツイートです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535864296312299520> 2014-11-22-033608廣野秀樹（@hironohideki）／「詳報が待たれる」の検索結果　-　Twilog.jpg <http://t.co/3diHOB5Usa>

「大阪地検　再審」というキーワードでTwitter検索をしました。スクリーンショットを撮りましたが、このキーワードでは一応全てを網羅したことになりそうです。個人的に検索機能のさほどの信頼性をおいてはいませんが、ざっと見たところ弁護士、弁護人の文字は見つけることが出来ませんでした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535869270425481216> 2014-11-22-035554大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/tPSkWSpqLN>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:55 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535869117736030208> 2014-11-22-035519大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/ckZKBhx9zZ>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868979995095040> 2014-11-22-035446大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/yJGtxhvxgD>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868845999656960> 2014-11-22-035414大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/AY2kImDd2Z>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:53 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868698175631360> 2014-11-22-035339大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/aWNhUHIcrn>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:53 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868554168381441> 2014-11-22-035304大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/K32K8gTqtg>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868392809709568> 2014-11-22-035225大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/l2pBeqLvIO>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868224357666816> 2014-11-22-035146大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/NAW1Wrfyue>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535868066815410176> 2014-11-22-035108大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/qbcXwoFIYR>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 03:50 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535867934510301184> 2014-11-22-035036大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/A0HXbg9VIx>

今まで見た記事とは読んだ印象も違ったので、廣野秀樹（@hironohideki）の方でツイートにしました。次のツイートです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/22 04:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/535874854189559808> 大阪地検:冤罪で受刑者を釈放…被害者証言翻す - 毎日新聞 <http://t.co/lI71Pxgpvn> 地検は男性の要望やプライバシーを理由に、事件の詳細や２人の虚偽供述の経緯は明らかにしていない。←　この記事では弁護士、弁護人は出てこないみたいです。

時刻は22日10時17分になっています。30分ほど前に目がさめました。起きてから再度、ツイッター検索のスクリーンショットを撮りましたが、私以外の最新ツイートはないようでした。次のスクリーンショットです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 10:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535960920963313664> 2014-11-22-100007大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/3f4XR6ZOMz>

夜中から「大阪地検　再審」をキーワードにしたツイッター検索の結果を眺めていても、受ける印象は最後に見た新情報を読む前とほぼ同じだったので、大方の印象もそれに近いまま認識が出来上がっているように思えます。

私が最後に見た新情報は、本文からの引用の文言を使ったタイトル名としてブログ記事にしています。

こちらです。→　"地検は男性の弁護人の意向や、プライバシーの保護などを理由に、男性の年齢や詳しい確定判決の内容、捜査時の証拠の詳細を明かしていない。","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9292>"

目にした状況を明らかに記録するためスクリーンショットも撮っていたと思います。

Twilogで調べたところすぐに見つかりましたが、13時間前と表示されていました。いろいろとやっていることも多いので頭の整理もつけにくいのですが、今が10時半を過ぎたところなので昨夜の21時半頃になりそうです。夕方だと思っていたのですが、記事を初めに読んだ時間と開きがあるのかも。

posted at 20:39:52、という表示をみつけました。どうもこの時刻の投稿のようですが、13時間前というのは一時間ほどのズレがありそうです。細かい分単位はすべて切り捨てられているのかもしれません。

次のスクリーンショットです。本書でこれまでに説明を書いているように思いますが、自作のスクリプトを使ったスクリーンショットの作成で、ファイル名にコマンド実行時の時刻を含めるようにもしております。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/21 20:39 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535759497768079360> 2014-11-21-203943地検は男性の弁護人の意向や、プライバシーの保護などを理由に、男性の年齢や詳しい確定判決の内容、捜査時の証拠の詳細を明かして.jpg <http://t.co/1qI96toOvP>

あらためて元のネットニュースの記事を開くと、東京新聞で、2014年11月19日朝刊という記載がありました。次の記事です。

東京新聞:服役中の男性釈放　被害者証言うそと判明　大阪地検:社会(TOKYO Web) <http://www.tokyo-np.co.jp/article/national/news/CK2014111902000110.html?ref=rank>

ネットで知ったというか見かけた情報ですが、東京新聞というのは名古屋に本社を置くと思われる中日新聞の系列か子会社のような関係であるようです。首都を冠した名前が立派なだけに意外性もありましたが、もう2年ほど前になるかと思います。

最近は新聞も開かないことが多いのですが、購読している北陸中日新聞の11月19日の新聞を探しだして開いたところ、確かにそれらしい見出しの記事がありました。

どうも北陸中日新聞の記事は、東京新聞の朝刊と全く同じ内容と思われました。スマホで写真を2枚撮影しました。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 10:55 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535974736329572352> 2014-11-2210.51.03.jpg <http://t.co/IEgsfNmwiq>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/22 10:55 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/535974698421456897> 2014-11-2210.50.25.jpg <http://t.co/2gB90kHGvx>

ファイル名はスマホかそれに関連したのアプリが、撮影日時のファイル名を自動で作ってくれるのですが、半角スペースが含まれているので、次のコマンドを実行するようにしています。→　rename s/\ /\_/ ./\*

PC遠隔操作事件に関しても書くつもりでいたのですが、Twitter検索でも佐藤博史弁護士関係の新情報は全くない様子です。迷惑的な影響も多々受けてきたと思うので、書いておきたいことも沢山あるのですが、機会があればまたということにしようかと思います。

そういえば佐藤博史弁護士がDNA鑑定で再審請求をするというニュースもあって、NHKを含めテレビでも取り上げていましたが、続報はないようです。強姦事件ということだったと思いますが、中部地方の男性となっていたので、大阪地検とは関係もなさそうです。

データベースの方で調べたのですが見つからず、どうもブログの記事にはしていなかったようです。Twilogの方でみつけました。8月4日のニュースで見たようです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/04 10:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/496112622467833857> 「ＤＮＡ鑑定は誤り」再審請求へ　NHKニュース - Mozilla Firefox <http://t.co/Z8GW7Wno8M> 裁判で男性を弁護し、「足利事件」でも再審請求を行った佐藤博史弁護士は当時、ＤＮＡ鑑定が決定的な証拠のように過大に評価されていたと指摘しています。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/04 01:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/495973145267175424> 録画していた19時のNHKニュースを見ていたところ、20年前のDNA鑑定の結果が誤りと再審請求をするという弁護士は、なんと佐藤博史弁護士だった。顔出しのインタビューが出ている。佐藤博史弁護士に関する最新情報は全く見ていなかった。

これも北陸中日新聞で記事になっていたように思います。NHKニュースのネット記事は削除されたらしくリンク切れになっていました。

確認のため調べたのですが、PC遠隔操作事件の論告求刑は21日の公判ということで、今日が22日なので昨日ということになりそうです。もう2,3日、日が経ったような感覚でいたのですが、あらためて昨日のことのようです。

ＰＣ遠隔操作:懲役１０年を求刑…検察「卑劣な犯行」 - 毎日新聞 <http://mainichi.jp/select/news/20141121k0000e040220000c.html>

22日である今朝の北陸中日新聞を見たのですが、PC遠隔操作事件の記事は見当たりませんでした。目的の記事は見当たらなかったものの、ネットでも見ていない気になる記事を発見しました。

「富田選手冤罪訴え正式裁判申し立て　窃盗事件で仁川地裁に【ソウル−共同】」という見出しになっています。そういえば朝からテレビは一度もつけていません。

犯行状況を撮影したビデオ映像の存在が決定的力を持つ証拠という報道ですが、PC遠隔操作事件における初期の江ノ島の猫に首輪をつけた瞬間という問題と、似通った共通点を感じます。佐藤博史弁護士はあるならだせと、強硬に申し入れをし、世間にもアピールしていました。

PC遠隔操作事件では屋外の防犯カメラということもあって、犯行を判別できる映像の存在が争点になっていたかと思います。私の当初の見立てでは、判別しうる映像が存在するものの警察、検察は佐藤博史弁護士の要求に応じて、存在を認めていないという感じでした。

似たような防犯カメラの映像の鮮明さと識別が争点になって、逆転無罪の根拠とされた重大事件もありました。私が大きく関心を持つ事件の一つで、舞鶴女子高生殺害事件です。

無罪が確定した被告人が、新たに殺人未遂事件を起こしたのもつい最近のニュース報道でしたが、事件の翌日ぐらいの間は大々的な報道がテレビであったのもの、その後ぴたりと報道、情報を見かけません。まだ一月も経っていないように思います。

舞鶴女子高生殺害事件は、その悲惨さ理不尽さも際立った印象がありますが、弁護士の対応、反応が目を見張る特異なものでした。刑事弁護の真髄を知らしめた事件と言いたいです。

<2014-11-25 火 18:32> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月25日 POST

<2014-11-25 火 19:01> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

昨夜も実に考えさせられる看過しがたい弁護士のツイートが目につき記録をしていたのですが、午前中にはより問題性が大きいと感じる情報に接して、すぐに本書で取り上げるつもりでいたのですが、色々とありすぎて整理をつけがたく、記述にとりかかれずにいました。

ある面、私にとっては棚から牡丹餅です。素材が成り行きで集まってくれたので、レシピに迷いも生じます。このところこだわるようになった釣ってきたアジの調理にも似ているかもしれません。新鮮なアジを持ってこれることが多いのですが、生物なので取り扱いにも気を使います。

インターネット上の情報でも鮮度のようなものがあって、移り行きの早さを感じます。先日主として取り上げたのは大阪地検の再審請求にともなう受刑者の釈放というニュースでしたが、今朝もTwitter検索で確認したところ、関連した新規の情報は見当たりませんでした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/25 12:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/537087502041903104> 2014-11-25-123644大阪地検　再審　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/i0BI9hj3OT>

この問題に関しては、タイトルがはっきりしないので取り扱いも難しいです。たとえばPC遠隔操作事件とか舞鶴女子高生殺害事件、光市母子殺害事件や袴田事件であれば、情報を探すにも検索キーワードが指定しづらく、取り扱いにも難儀します。

プライバシーを理由に特定されない配慮がなされた情報であるということも大きいと思いますが、ずいぶんとあやふやなところも感じてすっきりしません。疑念や不信も少なからず湧いてきます。

大阪地検の件は、次席検事だったかが実名でコメントをしていたので、公開に問題はなかったと思いますが、弁護士を含めた報道のありかたとして、どうなのかという思いも強いです。それだけ関心の乏しい、需要の乏しい情報だったのかもしれませんが、一般の人にはそうだったのかもしれません。

昨夜からの気になる、というか主に看過しがたい情報はブログの方に記事にしたので、そちらをざっとご紹介したいと思います。私自身、一日も経っていないものであっても、時系列の順序などはっきりと把握はできていないと思います。

自分とこの都合しか考えてない検察と実務を知らない学者がいけしゃあしゃあと･･･／弁護士柴田幸正 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9325> こんなに連日働いているのに、なか卯でそばやうどんをかきこむ、しがない弁護士、で、どこか取材してくれんかな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9327> 日本が、右寄り前のめり、金持ち大企業偏重のいびつな国に堕して行くか、戦後に目指してきた平和で諸外国とも協調しつつ国民全体で豊かさを享受できる国／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9329> 淘汰された人のしりぬぐいを他の弁護士がするというのは不自然。／坂本正幸弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9331> そういう弁護士を選んでしまった，見抜けなかった依頼者の自己責任ということになるような。／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9333> 弁護士増えたらそもそも収入が各自減るわけで、「資力に乏しいけど困っている依頼者」への供給が満たされる前提は現れないような／坂本正幸弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9335> 小学生偽装騒動見てると、やってることというかそのメンタリティーは弁護士会と似通っていると思うところもあるな／坂本正幸弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9337> 光市の事件で，未だに誤解がまかり通っているのはなんとかならないのでしょうか。／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9339> これからは，冤罪事件に莫大な労力を注ぐ弁護士がいなくなるのでは，という指摘・危惧があります。／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9341> 冤罪とか絶対に増えてしまうと思うのですが…。いや，冤罪は冤罪とすら認識されなくなるから，結果的に冤罪はなくなるのか…／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9343> 冤罪は救われず，接見一つも自由に出来ない時代に逆戻りするのか…。 滑稽なのは，その不利益を受けるであろう人たちがそれを歓迎していること／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9345> 誤報をなくすためには報道しないことです。 政権選択を誤らないためには，投票しないことです。 冤罪をなくすためには，逮捕・勾留・起訴をしないことです／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9347> 私が被告人だったら「この事件の真犯人は分かりませんが，いつも冤罪を製造している真犯人は今分かりました。」って嫌み言いたくなるレベル／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9349> 災害にかかわらず、人権擁護活動、冤罪の弁護で荒稼ぎ！っていいますが、それらで稼ぐ方法があったら、是非教えて頂きたいものです…／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9351> 【ＰＣ遠隔操作事件】片山被告への論告で、情状に関する部分は３３ページ。頻度の高かった形容表現は、「悪質」５６回、「卑劣」２６回／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9353> これ書きました～　→【コラム 江川紹子】共犯者供述の危うさ、日本版「司法取引」は新たな虚偽をうむ? ／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9355> 光市事件の報道によって、弁護士とはどういうモノか、誤解した一般市民も少なくないでせう RT／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9357> フォロワーさんでもなく、もっぱら因縁つける系の方、ブロックさせていただきました。／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9359> あなたのツイートのことですにゃ RT @s\_hirono それぐらい程度が低く、社会の利益にもならないということですよ。／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9361> 黙秘は正義か、可視化時代「黙秘は武器になる」という日弁連戦術は本当か：イザ！ <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9363> 【美濃加茂市長事件、「検察の迷走」を象徴する実質審理の幕切れ】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更／郷原信郎弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9366> その「つぶやき」は犯罪です－知らないとマズいネットの法律知識（新潮新書）／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9368> 落合コメントが突如として登場。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9370> 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月21日 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9372> 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月22日 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9374>

データベースで確認したところ初めの柴田幸正弁護士のツイートを記事にしたものの投稿時刻が、2014-11-24 15:14:51になっていました。夜遅い時間とばかり思っていたのですが、15時過ぎに読んでいたようです。

とりわけ重要だと思ったものは情報の確実性を保証するためにもスクリーンショットを撮るようにしています。次のコマンドでファイル名をご紹介しておきたいと思います。

% locate -r '2014-11-.\*\.jpg'|grep -v 'カメラアップロード'

スマホで撮影した写真ファイルはgrepコマンドのｖオプションで除外しています。

2014-11-24-140116このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg 2014-11-24-140155審理が続いてたって、間違いは早く改めるべし　→美濃加茂市長事件.jpg 2014-11-24-140443美濃加茂市長事件　｢賄賂と同額の口座記録が決め手｣は誤報.jpg 2014-11-24-151149自分とこの都合しか考えてない検察と実務を知らない学者がいけしゃあしゃあと･･･.jpg 2014-11-25-020854そういう弁護士を選んでしまった，見抜けなかった依頼者の自己責任ということになるような。.jpg 2014-11-25-092657\_”冤罪”　from：fukazawas　-　Twitter検索.jpg 2014-11-25-092746\_”冤罪”　from：fukazawas　-　Twitter検索.jpg 2014-11-25-103006あなたのツイートのことですにゃ　RT　@shirono　それぐらい程度が低く、社会の利益にもならないということですよ。.jpg 2014-11-25-103459これ書きました～　→【コラム　江川紹子】共犯者供述の危うさ、日本版「司法取引」は新たな虚偽をうむ？　.jpg 2014-11-25-110000\_　LIKE　’％@amneris84％’　AND　｀posttags｀　LIKE　’％ブロック％’.jpg

非常上告-最高検察庁御中ツイッター(@s\_hirono)/「2014-11-24-140116このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg」の検索結果 - Twilog <http://bit.ly/1pimFaF>

本書で何度かご説明をしていると思いますが、上記の形式のスクリーンショットはTwitterとPicasaウェブアルバムに画像投稿するように自動化しております。上記のようにTwilogでファイル名をキーワードに検索することでも、スクリーンショットの画像をご覧いただけると思います。

<2014-11-26 水 09:11> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月26日 POST

<2014-11-26 水 09:13> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜は22時過ぎからテレビでドラマを見た後、眠くなっていつの間にか寝ていました。夜中に一度目がさめてテレビも消したのですが、ドラマが終わった後、どれぐらいの時間起きていて眠りに入ったのかも憶えていません。

19時頃からつけていた番組のチャンネルが北陸放送で、21時45分ころになって台所に立ち洗い物をしていたところ、洗い物が終わりかけた頃に、テレビから番宣で見かけたことのあるドラマの場面が聴こえてきました。弁護士らしい場面でしたが、番線の方は深夜ドラマかと思っていました。

番組のドラマについてネットで調べたのですが、とても弁護士や裁判がテーマのドラマとは想像もつかないタイトルで、あとあと考えるとそれも新鮮に思えてきました。検察を舞台にしたのがHEROですが、それも弁護士（法律事務所）版という感じです。

次はドラマを調べた時のツイートです。普段のツイートは廣野秀樹（@hironohideki）でやっています。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/25 22:09 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/537231607644831744> 女はそれを許さない - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://t.co/K3ASiyGGZL> たまたまつけていたチャンネルで始まっていましたが、タイトルを見ても弁護士のドラマとは見当もつかないです。初めてみました。番宣では少し見かけた気もするけど、深夜かと。

ドラマの中でとても印象深い発言というかセリフの場面が二つありました。あとで見た方は、メモを兼ねてツイートにしました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/11/25 22:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/537238803032080384> その真実に向かって必死にあがいている。徹夜もなんとか。司法修習生のバッチの話から。今やっているドラマ。弁護士の。

前に見た方は迷ったもののメモにはしなかったですが、法律事務所というのは困った人が救いを求めてくる場所、という趣旨のセリフで、いずれも指導役の弁護士が司法修習生を叱咤激励するような場面だったと思います。

指導役と思われる弁護士役の俳優の名前はわかりませんが、これまでにもたびたび刑事ドラマで見てきた俳優だと思います。刑事ドラマでは冷静な知能犯係役というイメージも出来上がっていたので、熱血的な弁護士役には驚きも感じました。弁護士界の意向が反映されているような気もしました。

10時45分です。中断していました。食パンを焼いて食べたり、洗濯もしているのですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の黙秘権に関するツイートをまとめたり、黙秘権について少し調べていました。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）がツイートで取り上げていたのは次のニュース記事です。事件事故のニュースとは違いますが、新聞社の関係の記事らしいのでニュース記事ということにしておきたいと思います。

【日本の議論】「黙秘」は正義か、合理的か…可視化時代「黙秘は武器になる」という日弁連戦術は本当か（1/4ページ） - 産経ニュース <http://www.sankei.com/premium/news/141122/prm1411220006-n1.html>

私自身、この記事は数日前に読んでいました。どこかのツイートで見かけたのがきっかけだったと思いますが、それも思い出せなくなっています。なかなか考えさせられる内容であり、総本山とも言える日弁連の取り組みという印象も受けたニュース記事でした。

一般の方かと思いますが、「真実を知りたい立場の人にとっては、黙秘権は辛いところです。」というモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する＠付きツイートに対して、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が次のような返信を返していました。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/11/26 09:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/537410084444200960> .@seikoakina 疑いをかけられた無実の人にとっては強力な防御方法です。

誤解を与えかねないので告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）でのツイートは、上段の部分だけにしました。通常の＠付き返信のようですが、直前にドットが付いています。

これはTwitterに返信としてのやりとりとしてではなく、一般のツイートとしてタイムラインに流れる対象を広くする効果があるようです。返信だとやりとりの双方をフォローしている人のタイムラインにしか流れないからだという話です。

前に試したところ、この方法だとTwitterの高度な検索で、やりとりとして結果が出なかったように思っていたのですが、確認のためやってみると結果として該当の出てきました。副作用的な発見ですがもともとやりとりのある相手方ではなかったようです。

from:motokentw to:seikoakina - Twitter検索 <https://twitter.com/search?q=from%3Amotoken_tw%20to%3Aseikoakina%20&src=typd>

基本的な英語かと思いますが、fromが送り主、toが送り先ということになるようです。Twitterではこういうやりとりも調べることができますが、＠はコメントの先頭にある必要があり、複数の＠では最初のものだけが対象になっていたかと思います。仕様変更の可能性はあるかもしれませんが。

Twitterの高度な検索は、キーワードを指定したものや日付を基準にしたものがありますが、私個人の経験として、多少結果の精度に疑問を覚えることもあり、Twilogの検索の方が精度が高いような印象を受けたことがあります。

Twilogの場合、アカウントがTwilogでユーザ登録をしていないと、過去に遡って検索をすることが出来ませんが、Twitterの高度な検索の場合、そういう制限はなさそうな感じです。

「真実を知りたい立場の人にとっては、黙秘権は辛いところです。」というツイートですが、ツイートの関連性で、別のツイートでも出てくることがあります。初めに見た時は印象も薄かったのですが、次に目にすると実に奥深い問題性をはらんでいると感じました。

被疑者の立場ではモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が言うように、黙秘権が最大の武器になる場合もあるのかもしれません。

考えられるのは検察の手持ちの証拠が弱い場合です。単純な比較は出来ないと思いますが、無実である場合は無関係であることを指し示す事実があることも多いかと思われます。無関係であることを捜査官に説明すれば誤解が解けて釈放されることもあるのでしょう。

黙秘というのは経験もないのでわかりにくいところもありますが、そういう説明や説得の機会を自ら放棄して、頑なに対話を拒絶する態度という印象を受けます。要因が複雑に絡み合ったごくごくまれなケースでは、他にましな選択肢がないということもあるのかもしれませんが、極めて例外的かと思われます。

改めて産経ニュースの記事だと確認しましたが、産経新聞というのも私が住む能登半島の地域では馴染みもない新聞です。ネットでは弁護士の評価が悪いというイメージはあって、落合洋司弁護士（東京弁護士会）などは「惨経」などとしばしば揶揄もしていたかとも思います。

いい加減なことは書けないので、確認を兼ねて調べたところ「惨経」では落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートに該当はなく、暫くして思い出したのが「惨軽」でした。これで検索をやり直すと、ぞろぞろと結果が出てきました。数えていませんが20件以上はありそうな感じです。

"惨軽" from:yjochi - Twitter検索 <https://twitter.com/search?q=%22%E6%83%A8%E8%BB%BD%22%20from%3Ayjochi&src=typd>

洗濯物を干して戻ってからになりますが、スクリーンショットも撮っておきました。落合洋司弁護士（東京弁護士会）の発言には慣れきっているので、軽いほうかと思いましたが、弁護士で元検事となると、衝撃を受けたり、にわかに信じ難いと思う人もいるかもしれません。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/11/26 12:14 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/537444169409507330> 2014-11-26-121400\_”惨軽”　from：yjochi　-　Twitter検索.jpg <http://t.co/DYfCwRrMFt>

落合洋司弁護士（東京弁護士会）の「惨軽」のことは時間の関係もあって終わりにしようかと思っていたのですが、批判の根拠が気になって、検索結果のツイートに一通り目を通しました。具体性のある根拠らしいものは見つからなかったですが、気になるものを新発見したので記事にします。

惨軽のほうがより深刻な脅威だろう。（笑）→【産経抄】裁判官が日本を滅ぼす　５月２３日 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9404>

<2014-11-28 金 10:28> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月28日 POST

<2014-11-28 金 11:18> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

またしばらく中断をしていましたが、ここ数日ブログの記事にしたものをご紹介しておきたいと思います。データベースからSQLのコマンドを実行して得たものですが、最新のものから順になっています。URLのIDの数値が大きいほど新しいという確認も出来ます。

火遊びの好きな既婚者向け：「客食えば　嫁が泣くなり　法隆寺」 ／小倉秀夫弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9441> マスコミに、文字どおりの意味で公正中立を求める方が間違ってるんじゃないのかな。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9439> 求刑通りの判決もあり得るのでは。→Reading:ＰＣ遠隔操作事件 弁護側「求刑厳しすぎる」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9437> 地検は男性の弁護人の意向や、プライバシーの保護などを理由に、男性の年齢や詳しい確定判決の内容、捜査時の証拠の詳細を明かしていない。／大阪地検再審請求で受刑者釈放 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9435> 弁護士ドットコムでは、片山被告人が法廷で読み上げた意見の「原文テキスト」を弁護人から入手した。以下、最終意見陳述の全文を紹介する <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9433> 弁護側は「検察の求刑は４人が誤って逮捕されたことを重視しているが、警察が正しい捜査をしていれば誤認逮捕は防ぐことができた。厳しすぎる求刑で、適切な判決をしてほしい」と主張 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9431> 主任弁護人の佐藤博史弁護士らが最終弁論を行った。検察側は２１日の論告で、誤認逮捕について「刑事司法制度への挑戦」としたうえで、「他に類を見ない卑劣かつ悪質で重大な犯罪だ」と指摘し、懲役１０年を求刑 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9429> 公判廷で，検察官のなりふり構わない振る舞いを見ることほど，面白いものはない(－∀－)／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9427> 今年９月に男性の弁護人が大阪地裁に再審請求を申し立てた。地検が再捜査を進めたところ、女性と目撃者が証言を翻し、男性の犯行を否定する／大阪地検再審請求で受刑者釈放 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9425> 富山連続婦女暴行冤罪事件とは【大津英一】 - NAVER まとめ <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9423> ドキュメンタリー「陽炎　えん罪被害の闇」＼富山連続婦女暴行冤罪事件 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9418> 富山連続婦女暴行冤罪事件 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9416> 弁護士会の倫理研修だん。／小倉秀夫弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9414> 講義は、多分、今年で終わり。もう、刑訴法講義をすることはないが、良い経験、勉強になった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9412> 一時的であれ、教授、という肩書きがつく日が来るとは、思っていなかった。貴重な経験だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9410> 布川事件　冤罪被害者　桜井昌司さん　インタビュー１ <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9408> ＜再審無罪＞富山の強姦事件　捜査員らを地検に２６日告発（毎日新聞） - Y!ニュース／坂本正幸弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9406> 惨軽のほうがより深刻な脅威だろう。（笑）→【産経抄】裁判官が日本を滅ぼす　５月２３日 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9404> 疑いをかけられた無実の人にとっては強力な防御方法です。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9402> 黙秘権の行使は、有効な場合と無効な場合があるが、無効な場合は有害でもあることが多い。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9400> 「黙秘」は正義か、という問いかけが的外れではないのかな？ ／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9398> 容疑者に丁寧に説明するべきだ」に同意するが、デメリットを十分理解していない弁護士がかなりいそうで不安／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9396> そもそも、小学生になりすました大学生のことって、内閣総理大臣がコメントするレベルの話なのでせうか…。／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9394> 新聞、雑誌、その他のメディアも、誤報だらけで、情報には、確度の高いものもあればガセもある。誤報を一切出すなということになれば、メディアは廃業だろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9392> 福島みずほと並べて叩くのはやめてくれないかな。こちらはしがない弁護士なので。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9390> 安倍ちゃんをヒトラーになぞらえるつもりはないが、ことさらに敵を作って叩く、という手法は、ユダヤ人を徹底攻撃してドイツを率いようとしたヒトラーと似た面が／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9388> 小さな奴。小物。→安倍首相の単独インタビュー、朝日新聞を徹底的に冷遇　スポーツ紙より後回し、産経グループはすでに3紙／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9386> 国民の一部を目の敵にして叩いたり、きーきー、きゃーきゃー騒いだりはしゃいだりするようでは、器を問われるよな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9384> 馬脚を現す、というわかりやすい例では。→安倍首相がFacebookで「保守速報」紹介、波紋広げる ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9382> 国会議員は、どれだけの情報を頭に入れて法律案の賛否を決めてるのかな。／弁護士柴田幸正 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9380>

後手に回ってしまいましたが、大阪地検の再審請求に対する受刑者釈放に関しては、「大阪地検再審請求で受刑者釈放」というタグを、富山の氷見の強姦冤罪事件には「富山連続婦女暴行冤罪事件」というタグをそれぞれ設けました。

大阪地検の問題に関しては、特に内容が一目でわかって検索も効率よく出来るように記事のタイトルのつけかたを工夫しました。

「今年９月に男性の弁護人が大阪地裁に再審請求を申し立てた。・・・」というタイトルの記事がありますが、これは投稿のちょっと前に見つけたニュースでした。ニュース記事には日時の記載がありましたが、18日になっていたと思います。

18日というのはニュースとして報道された当日ということになるはずですが、私にしてみれば最後に読んだ最新情報です。弁護人が再審請求を申し立てたと明確に記載され、具体的な時期の特定もあるので、とても参考になる情報です。

いましがた、大阪地検　再審 - Twitter検索 <http://bit.ly/1vqRlHs> 上記のツイッター検索で調べてみたところ、新たに見るコメント付きのツイートが散見されました。警察検察や裁判官に対する不信や問題意識を内容とするものですが、この場でも不思議と弁護人、弁護士の対応を問題視する発言は見ることがなかったです。

弁護人が再審請求を行ったという点にも注目や言及しているコメントが全く見当たりません。警察、検察あるいは裁判所の問題として対処すれば解決できる、あるいは解決すべき問題として疑いもなく考えている人が、あるいは多いのかもしれません。

弁護士の超絶的なデタラメぶりを身をもって経験した私にすれば、とても看過の出来ないあり得ないことなのですが、その辺りにも一般と私個人とのキャップを最新式あるいは再確認するところです。

<2014-11-29 土 15:25> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月30日 POST

<2014-11-30 日 11:16> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

いくつかブログの記事を追加したので、そちらからご紹介したいと思います。

「取り調べで誘導や誤導があった可能性を指摘」したという。ちゃんと取調べ過程を録画しておかなかった警察検察の落ち度だ <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9472> 弁護士が依頼人の犯罪・不法行為を幇助したとされるケースは日本にもある。一時期、強制執行不正免脱罪の責任を弁護士にも追及したことが目立った <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9470> 安倍と修正主義者と差別排外主義者とネトウヨ連中が日本の国際評価を下げるのに歯止めが掛からない。RT <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9468> 光市の事件では、第四の権力たるマスメディアがアホなタレント弁護士による懲戒申立ての扇動を許し、結果として統計的に特異なほど懲戒申立てが刑事弁護人に対して寄せられたのである <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9466> ＞ＲＴ まさに平成の司法改革。／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9464> 劣化する祖国を見るのは辛いが、それも、人生。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9462> 今後の日本は、いろいろなことが、裏目裏目に出て、暗転すると思う。坂道を転がり落ちるような状態で、徐々に加速するだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9460> 代理人が立つということがあるが，「顧問でいらっしゃるんですね」とかさらっていうと，「違います！」って即座に否定される謎現象／深澤諭史弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9458> 無理筋を強引に受けて着手金事件ばかり増やしても、弁護士としてのスキルは伸びない。／弁護士柴田幸正 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9456> そんな片山被告に出版業界が注目している。ある出版関係者は「片山被告の告白本となれば、公益性も話題性もある。真剣に考えたいですね」と／PC遠隔操作事件 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9454> 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月28日 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9452> 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月26日 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9449> 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月25日 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9447> ところが、起訴検察官でもある関口検事は、Ｂ氏に対する反対尋問で、名誉を著しく傷つける質問を何度も行った＼藤井美濃加茂市長事件／郷原信郎弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9445> その怒りの正体も分からず、手段のためには目的を選ばないような犯行をくり返したのは、他の誰が悪いわけでもなく、私自身が弱く未熟だったからです＼PC遠隔操作事件 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9443>

告訴事件に関する記述が長い間中断していると思いますが、立ち止まる気持ちになったのは、ブログで取り上げ紹介している弁護士の影響も大きいです。

深澤諭史さんはTwitterを使っています: "その「つぶやき」は犯罪です－知らないとマズいネットの法律知識（新潮新書） <http://t.co/1u2EdgwKxG> 電子書籍版も発売です。 ネットの書き込み等がどういうときに犯罪になるのか。 また，ネット上でまことしやかに流れる「神話」「デマ」についても徹底解説しています。" <https://twitter.com/fukazawas/status/535682105087238144>

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）では改行を入れて二つのツイートとして投稿しましたが、上記が深澤諭史弁護士が固定もしているツイートです。

いろいろと考えさせられることが多いのですが、ある面、脅威にも不安要素にも感じています。自分がインターネットの中で拠って立つ基盤の強化の必要性を勁く感じさせられたという点では刺激を受けてプラスにもなったかと思えなくはないですが、説明しきれないもやもや感も色濃く漂っています。

弁護士としての社会的待遇に強い不満をもって、平成の司法改革とやらに批判の矛先を向けているような発言も目立ちますが、同じような意識を持つ弁護士も多そうです。実際、小倉秀夫弁護士とは価値観も共有し波長も合うのか、リツイートによる紹介もしているようです。

小倉秀夫弁護士に関しては本書で何度か取り上げていると思いますが、とりわけ国選弁護人に関しては、まったく理解を超えた、脅威と憤慨の念が入り混じるような発言が多く、一貫してぶれるところもないという感じです。

数も多くなると思いますが、データベースと連携した新しいブログの記事として、データベースの検索結果として列挙し、記録とともにご紹介をしておきたいと思います。

"冤罪を晴らすことができる弁護士を常に相当数プールするために国費を費やすのは費用と便益のバランスが悪い／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=327>" "それで、既存の弁護士たちは何も困らないような。RT 被告人が無罪を訴えている事件を含めて、初公判の日に初めて被告人と会い、記録の閲覧も事前にしない効率的な経営／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=397>" "「国選弁護したことにつけ込む」って意味がわかりませんね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=697>" "現状の国選弁護報酬は、無罪弁護をまともにやるとマクドナルドの時給にも劣るとされていますが、その程度の報酬を払っているのだから満足すべきだということですね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=729>" "価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2134>" "国選は手抜き、私選は最低1000万円から、ということになっても、市場原理の結果なら無問題。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2817>" "国選をやらなくとも事務所が維持できる弁護士は国選など引き受けず、国選は国選おじさんだけに任せておけば良いんじゃないの？／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2819>" "国費を費消してでも無実の被告人は無罪とされるべきだ、というのは、法学系特有の「一段階論理の正義」なのだから、そりゃ賛同得られないよな。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2829>" "市場原理主義を貫徹させるのであれば「逮捕されたときに一流の弁護士が求める報酬を支払えないのであれば、ろくな弁護を受けられず／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3033>" "「国選報酬が１時間あたり６００円程度では事務所維持費用すら捻出できない」と文句を言うと「特権意識が鼻をつく」とまた悪態をつかれそうです。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3137>" "証人尋問４時間に対して３万００００円が支払われるという報酬体系においては、事前に尋問事項メモを１時間かけて作成すると／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3383>" "朝一で国選取得会場に赴き、楽そうな事件だけをがさっと持って行って大量に受任し、接見もせず、記録も謄写せず／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3742>" "被告人が執行猶予で拘置所から出てきても弁護人は迎えに行くべきでないし、その日泊まるところ／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3898>" "被告人が執行猶予で拘置所から出てきても弁護人は迎えに行くべきでないし、その日泊まるところがなくても放置しておくのがベストということだ。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=4058>" "「国選弁護したことにつけ込む」って意味がわかりませんね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=4060>" "国選は手抜き、私選は最低1000万円から、ということになっても、市場原理の結果なら無問題。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=4066>" "価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され、真面目に無罪弁護を行う非効率的な事業者は／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=4222>" "そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=6679>" "ただ、国選刑事事件がいくらあっても、それで生計を立てられるかといわれると何とも。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7794>" "冤罪の再審請求とか、コストに見合った報酬ってなかなか払えませんよね。弁護団を組むことで１人あたりの作業量を減らしているから、つきっきりにはならないにせよ／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7800>" "そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7802>" "自称被害者の人権を尊重している人にどんなに罵声を浴びようとも、被疑者公選や国選弁護人としてその人を弁護することになったらできうる限りのことをする弁護士の／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7804>" "実際、「国選弁護専業で年収600万」とか、よほど手抜きをしないと実現できない報酬体系は依然維持されたまんまだし。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7806>" "ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7808>" "「私が被疑者・被告人となったときは、被害者の望む刑罰を私に加えてください」と望む人は平時に事前登録しておく仕組みってできないかなあ。被害者への配慮こそ最重要という人も／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7810>" "富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が高まるが、貧乏人を起訴しておけば国選弁護人が／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7812>" "生活に余裕がある弁護士がプロボノとして国選を担ってきた時代から、生活に困った弁護士が事務所維持の柱として国選弁護を担う時代に移行／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7814>" "健康保険を使用する診療だけの開業医と同じ程度の所得を、国選弁護専業の開業弁護士がえられないなんておかしいよね／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7816>" "採算ベースで考えると、国選弁護では５〜６時間しか使えませんからね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=7820>" "国選弁護、やらなくていい？RT ／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=8662>" "yamebun／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=8849>" "国選弁護というシステム自体、GHQにより押し付けられたものだとして敵意を抱いている愛国者様がいても不思議ではないよね。江戸しぐさ的には、自白の任意性など問題にする方がおかしいわけで／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=8875>" "弁護士会も、「労働生産性が低い」という理由で、国選弁護制度を廃止するように求めたらいいんじゃないかなあ。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9159>"

下から2番めのだけ143文字で文字数オーバー、APIから投稿できなかったので、ブラウザから投稿しました。その前の下から3番目のものは、タイトルの付け方を失敗していたようです。直しておこうかと思います。

次がタイトルを付け直したものです。

起訴前弁護って、虚偽自白とらせないために、ほぼ毎日接見に行かなければならないので、通常の国選より遥かに大変というのが、弁護士の感覚。／小倉秀夫弁護士 <http://hirono2014k.wordpress.com/?p=8849>

抽出結果の表示の書式など別ですが、検索そのものは次のSQL文で行っています。→　FROM `wpposts` WHERE `posttags` LIKE '%@HideoOgura%' AND `posttags` LIKE '%国選弁護%'

次に、”国選弁護”の部分を”光市”に置き換えて、SQL文を実行したのが次の結果です。

"光市母子殺人事件の時も、オウム真理教事件の時も、弁護士は何であんな悪い奴の肩を持つんだってひどく糾弾されたのを思い出すね。／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2731>" "光市母子殺人事件の弁護人に対する執拗な批難は、「正当と一般の人にみなされている」から攻撃にはあたらないと／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=2733>" "実際、光市母子殺人事件では、あるテレビ番組で煽られた大衆によって露骨な業務妨害が／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=3233>" "決めつけて特定の弁護士の個人攻撃に走るって、光市母子殺人事件の時に経験しているわけですよね、弁護士業界では／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=8466>"

<2014-12-03 水 21:57> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月3日 POST

<2014-12-03 水 21:59> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

11月30日から丸三日間ほど中断していたことになりそうです。頭の中ではいろいろと思いを巡らし、選択すべき道筋を模索していたのですが、今回もこの間参考資料と記録を兼ねてブログの記事にしていたものをまずはご紹介しておきたいと思います。

"アトム、ネットより非弁を堂々と求人する方がまずいだろ。スクショでだれか保存して弁護士へ通報を！／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9586>" "令状出した裁判官はどういった論理で考えたのかを知りたいものだ。こういった扱いをする以上は裁判官は説得的な理由を持っているはずだ／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9584>" "【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人梅野博之の供述調書縮小版（2014年9月21日撮影）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9557>" "【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人多田敏明の供述調書縮小版（2014年9月21日撮影）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9541>" "【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人安田繁克の供述調書縮小版（2014年9月21日撮影）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9528>" "同じ容疑で２度逮捕するって、あっていいわけ？　→ろくでなし子さんと北原みのりさん「逮捕」 ――今回は「わいせつ物公然陳列」容疑も|／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9523>" "ろくでなし子さんによるスピーチに続いて行われた質疑応答では、米国を始めとする海外メディアの記者からさまざまな質問が飛んだ","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9521>" "「ろくでなし子弁護団」の南和行弁護士によると、ろくでなし子さんは12月3日、警視庁の家宅捜索を受け、逮捕されたという。","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9519>" "ワンセグでニュースを観ていたが、安倍の自慰演説など聴きたくも無いので消した。／弁護士柴田幸正","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9517>" "規範意識薄弱な事務所が「刑事事件に強い」とは、笑わせる。／弁護士柴田幸正","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9515>" "この忙しい時期に、党首が集まってうだうだつまらんことばかり言って、馬鹿じゃないの。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9513>" "Yahoo!ニュース - 関根元弁護士、着服で実刑＝ロッキード事件担当―東京地裁 （時事通信）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9511>" "猪野氏の弁護士事務所の担当者は「弁護士は入院している。無断欠席した詳しい事情は分からない」と釈明。第二東京弁護士会は「個別の事案にはコメントしない」としている","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9509>" "チープなものしか書けない奴ほど、書いたブログで報酬を、とか浮き足立ちがち。お前のくだらない文章で、金なんか取れんわ。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9507>" "ヤフーに乗っかって小銭もらおうという志の低さで既に負けてるな。→「Yahoo!ニュース 個人」の書き手の支援を強化／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9505>" "日本の歴史は、暴走する権力を正そうという人々、勢力が適時に出現することで発展してきたと思う／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9503>" "人の良いところを見ようという姿勢と悪いところを探して攻撃しようという姿勢の違いとも言えるかも／矢部善朗弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9501>" "自分の武器を最大限活かすというのも大事だが，それ以上に，不利な事情から逃げ回らないことが大事／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9499>" "ツイッターで、くだらないことで絡んでくるアカウントをブロックする瞬間の爽快さが良い。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9497>" "頑張って知名度を上げて、若狭先生のように、参議院にも衆議院にも、立て続けに請われて出馬できるレベルを目指さないと／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9495>" "自分が政界を目指すとすれば、鎌倉時代の元寇、敗戦直前の本土決戦間近、のような、日本存亡の危機、という状況かな／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9493>" "自分がブロックしたアカウントにつるんでからんでくる、同種のくだらないアカウントも次々とブロック。エボラ出血熱に立ち向かうWHOの気持ち／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9491>" "遠隔操作事件の片山さんを支援していた一部の人達は、結局彼の無実を信じて支援していたに過ぎず、手続の不当さに怒っていたわけではないのだろう","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9489>" "なんかなぁ、みんなが冤罪だと思い込んでいた頃が懐かしい気がする。→【PC遠隔操作事件】弁護団は「鑑定人と十分なコミュニケーションが","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9487>" "日本が劣化するのに、自分が何もできないのは残念だが、せめて納税はしっかりやって頑張るくらいかな。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9485>" "金くれる奴のほうを向くのが政治。→＜電力関連会社＞自民党へ３２２８万円献金　５社・３年で／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9483>" "アベノミクスは成功しますという、国家的詐欺の被害者は、結局、国民。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9481>" "国民の生活は良くならないのに、秘密保護法など監視国家化は進み、拝米路線の中、沖縄の現状は改善せず集団的自衛権など国民を戦乱に巻き込みかねないリスク／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9479>" "いるんだろうと思い込む程度のチープな頭に、アベノミクスは魅力的に見えるんだろう。バカノミクス。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9477>" "気が多少良くなったとしても、弁護士業界には薄日もささないだろう。日本が壊滅する前に壊滅／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9475>"

本当は一つ一つの記事に対して言及したいのですが、膨大な文字数、情報量にもなるので、ざっと要約として見出しとURLを列挙しております。必要に応じて言及するため再度取り上げたり、関連した物事の参考になる部分もあるので、出来る範囲で目を通していただきたいところです。

前回の11月30日付の項目では、小倉秀夫弁護士に関して終わりに光市母子殺害事件に触れるかたちになったかと思います。その場で一気により核心的で重要な問題に踏み込み記述を進めようかと思ったのですが、とりわけ重要な部分であるので、より整った状態の機会に行いたいと思います。

ブログの記事にもしておりますが、本日は告訴事件の核心に触れる具体的事実の資料として３つの写真資料を公開しました。デジカメでの撮影が本書作成の大幅な中断にもなったのですが、本日作業の再開に伴い確認をしたところ、撮影日が9月21日になっていました。

昼にファイルの情報として確認していたのですが、ただいま写真ファイルのExif情報をプロパティから確認したところ、やはり撮影日時が9月21日になっていました。

作業を再開して気がついたことですが、一時的なフォルダを作成し、そのなかにデジカメの写真ファイルを入れていましたが、ファイル名の変更も行わず、デジカメで生成されたファイル名のままにしていました。

正直言うと、ファイルの保存場所も記憶になかったのですが、locateコマンドで保存場所を見つけ出したところから始めました。コマンド実行のスクリーンショットを撮っていますので、次にご紹介しておきます。

非常上告-最高検察庁御中ツイッターさんはTwitterを使っています: "2014-12-03-1547089月　21　15：07　DSC09652。JPG.jpg <http://t.co/HEtTozrJrJ>" <https://twitter.com/s_hirono/status/540034515364614144>

今日が12月3日で9月というのは自分の記憶の感覚としても、誤差が大きすぎたので、あらためてこういうスクリーンショットの必要性も感じました。テキストで文字にするより、誤変換など間違いが起こる可能性も少ないと思いますし、他に手がかりとなるような情報も含まれることになります。

9月の21日からずっと考えてきて、ようやく本日公開に踏み切ったということにもなるのですが、考え抜く時間もふんだんに使ったので、今は迷いもありません。付随する説明を先にするかも迷ってきたのですが、自分の判断で公開に踏み切ることを先にしました。

本日は「はやぶさ2」のロケット打ち上げのニュースもありましたが、ここ数日に2回の打ち上げ中止があり、夕方のニュースではこのまま数日間天候不順があれば10年先に延期になっていたかもしれないという報道もありました。

打ち上げが無事成功したのはなによりですが、この先のミッションは長期に及んだ未知への挑戦とのことです。ものすごい事業なのだとあらためて思いましたが、成功を喜ぶ人々の姿も非常に眩しく見えました。

私個人の問題として、平成4年の4月1日から刑事司法の闇、ブラックホールの中をさまよい、漂い続けているという思いも新たにしたところです。

時刻は23時42分になっています。改めてこの項目の見出しを確認したところ、再審と弁護士の対応がテーマになっていました。広い意味では重要な論点ではありますが、再び個別の具体的な論点、問題点を中心に言及するというスタイルを優先的に切り替えようかと思います。

この項目に関連した論点も言及がまだまだ不十分ですが、常に最新の動向を追いかけるようにはしており、それがブログの記事とも連動しています。富山の冤罪事件のことも、よい機会ではあったのですが、思ったほどの重要性も次第に薄れ、何かの折に触れる程度でも良いかとも考えています。

私は個人的な理解よりも客観的な資料の提示を重視、優先しておりますし、それがブログの記事としての公開とデータの蓄積にもなっています。その場その場で都合の良い発言が目につくモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のような弁護士もいますのでその辺りは代償的に学習の機会にもありました。

光市母子殺害事件に関しても、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）との関わりによるところが大きく、多大のマイナス影響も受けてきたと思いますが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の個人的な問題というよりは、弁護士業界に共通した歴史的な問題という意識が強くなっています。

6年間の旅が始まったとテレビで言っています。はやぶさ2のニュースです。

<2014-12-04 木 00:00> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月4日 POST

<2014-12-04 木 00:07> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

日付が変わったので昨日になりましたが、被告訴人安田繁克と被告訴人多田敏明そして被告訴人梅野博之の3人の供述調書をブログの記事として公開しました。昨日のURLの紹介はWordPressのブログになっていますが、写真に関してはBloggerのブログの方が見やすいです。

どちらも写真の画像をクリックすれば拡大されますが、WordPressの方は単体のリンクとして移動先のページが表示されます。Bloggerだと拡大された同じページの写真がグループ化されており、キーボードの矢印キーを使ったりマウスのクリックでもページめくりのように次へと開けます。

ブラウザでJavaScriptが有効になっている必要などあるかと思いますが、写真のPicasaウェブアルバムとブログのBloggerは同じGoogleのサービスなので、連携の機能が強化されているようです。リンクのhtmlコード自体をBloggerの編集場面から取得しています。

2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人安田繁克の供述調書縮小版 （2014年9月21日撮影） <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/12/2014-2014921.html>

2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人多田敏明の供述調書縮小版 （2014年9月21日撮影） <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/12/2014-2014921_3.html>

2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 【写真資料】一件記録・写真／2014年作成／被告訴人梅野博之の供述調書縮小版 （2014年9月21日撮影） <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/12/2014-2014921_57.html>

上記3つがBloggerの方の記事のURLです。ページのタイトルの取得にブログ名が含まれていますが、これもBloggerならではの仕様のようです。

偶然的なところが大きいのですが今回は3人の被告訴人の供述調書に絞っています。他に被告訴人松平日出男、被告訴人池田宏美、被告訴人安田敏の供述調書もあるのですが、9月21日に撮影したのはこの3つの被告訴人だけです。

実はそれも付随的な成り行きで撮影したものでした。他に思いがけない大きな発見があって、そちらの撮影が目的だったのですが、たまたまその場に3つの被告訴人の供述調書もあったので、ついでに撮影したものです。

大きな発見というのは被害者AAさんの母親の供述調書です。2年から3年ぐらい行方がわからなくなっていたのですが、思いがけない場所から見つけ出すことが出来たのです。それも掃除機の故障でドライバーを探しまわっている時に、偶然見つけることが出来たのです。

被害者AAさんの母親の供述調書は金沢西警察署のものと金沢地方検察庁のものの2部です。こちらは公開の仕方に決心がついていなので、公開は未定の先送りにしました。被害者家族の立場としても極めて重要な意味を持つ書面です。より慎重に然るべき機会を選んで判断することになります。

小早川隆景の「小事の思案は重くせよ。大事の思案は軽くせよ。」という言葉を座右の銘としておりますので、軽く素早く高度することもあれば、動かざること山のごとし、ということもあるかと思います。同じく座右の銘で中国の方ですが「運用の妙は一心に存す」です。

本書で繰り返し何度か説明をしていると思いますが、供述調書で縮小版とあるのは、平成5年の12月に上告審の国選弁護人となっていた斐川雅文弁護士から郵送されてきたものです。

私の記憶では11月の終わり頃に郵送での差し入れを受けたという通知があり、房内所持の仮下げの手続きが土日の免業日でも挟んだためか、比較的時間がかかって手元に入ってきたように思っているのですが、それでも長くて通知を受けてから4,5日後だったように思います。

事件の関係者の供述調書に関しては、控訴審の私選弁護人だった被告訴人木梨松嗣弁護士に何度も差し入れや閲覧を頼んでいたのですが、まったく相手にされず返事もなかったので、すっかり諦めかけてもいたように思います。

平成5年は9月7日に控訴審の判決があったのですが、判決を受けて拘置所に戻った直後に問題を起し、3日ほど保護房に入れられ、そのうち49時間ほどの時間は革手錠をつけられていました。革手錠の使用は現在禁止されているとも聞きます。

拘置所というか刑務所の判断として最も強硬な処置をしたのだと思いますが、保護房を出てからも自殺防止用らしい特別な房に入れられていました。突起物のない部屋とも聞かされていましたが、特別な構造の部屋です。その場で自殺防止とは説明されなかったと思いますが後になってそれらしいと知りました。

拘置所や刑務所で規律違反の問題を起こすと、懲罰審査会とかいう刑務官会議にかけられます。雰囲気的にも昔の映画に出てくるような軍法会議のようなものでしたが、処分が出るまでは「取り調べ」ということで、独居房で生活させられます。

その時の私の場合は、懲罰に関する知識もなにもなかったのですが、取り調べの間を突起物のない部屋で過ごしたことになります。これが10日から2週間ぐらいではなかったかと思います。

母親に郵送で差し入れてもらった本をその突起物のない部屋で読んでいたことを憶えているのですが、自分の趣味ではなく何でもいいから適当に選んだ小説を送ってくれるように、その時だけは頼んでいました。

それで送られてきたのが夏目漱石の「こころ」という本と、「私は忘れない」という本でした。どちらも単行本でした。他にもあったのかもしれないですが、記憶に残っているのはこの2冊だけです。

<http://Amazon.co.jp> ： 私は忘れない (新潮文庫): 有吉 佐和子: 本 <http://ow.ly/FizlM>

「こころ」の方は難解でほとんど理解も出来ないという感じでした。「私は忘れない」の方も本の内容はほとんど記憶に残っておらず、なんとなく離島が舞台の作品だったようにイメージがあるだけです。

懲罰は25日間だったと思います。突起物のない部屋にいるときは裁判のことはしないで、のんびりと読書をして過ごしていたと思います。特別な監視下という雰囲気もあり、じたばたしても仕方がないという心境でいました。

懲罰になると本を読むことも出来なくなりました。強いて読むことが出来たのは備品である「所内生活の手引」という冊子ぐらいでした。仮就寝という時間になると、通路側の正面に向かった正座または安座という懲罰から開放されたので、その手引を読んだりして過ごしていました。

食事の量が減ったり風呂にも満足に入れなくなるということもありましたが、とにかく懲罰の間は、本を読むこともラジオを聴くことも出来ず、ほとんどの一日を座って過ごしていました。筆記用具の持ち込みも出来ないので手紙を書くことも出すことも出来ません。

懲罰が始まった時期については余りはっきり憶えていないのですが、終わって開放されたのは10月の中頃だったように思います。ようやく普通の未決囚として拘置所での生活が出来るようになったわけです。

受刑者だと懲罰を受けた場合、等工が下がったり、作業賞与金が没収になったり、累進処遇の級が下がったりと失うもの不利益が多かったのですが、未決囚の場合、そういう処遇上のマイナスというのはなかったです。

ただ、裁判をするための時間というのはまるまる奪われたので、その時間的労力的な損失がとても大きいことは自覚していました。

革手錠もきつかったです。昼の12時か13時頃につけられて、外してもらったのは翌々日の13時か14時ころのことでした。いっときでも耐え難い苦痛が49時間ほど延々と続くわけですから、それはきつかったですが、そちらの痛みに集中できたおかげで、大きな気晴らしと気分の転換が出来ました。

当時の状況を改めて細かく書くのは、木梨松嗣弁護士の目的と狙いの一つが、私を精神的に追い込むことでの精神と記憶の破壊、事実関係の隠蔽であった公算のあることです。それを殺人未遂の実行行為とまで評価することは出来ないはずですが、廃人にしても殺人と同様の効果はあったはずです。

本書の作成を中断する前に書いていると思いますが、木梨松嗣弁護士からは説明も面会もないままに、いきなり判決期日の知らせが届いて、それで刑務官とももめていいたのです。

拘置所の建物は金沢刑務所の敷地の中にあり、入り口には「拘置舎」という札のようなものもありました。3階建ての建物で直線構造、建物自体はちょっと古い公営住宅や校舎の一部にも見えましたが、2階と3階は独居房が26室ずつならんでいたはずです。

各階の敷地面積は同じはずで、2階と3階にも手前の方には物置のようなスペースや個室の浴場、それに小さい理髪室もありました。独居房以外のスペースが4分の1ぐらいでしょうか。独居房の並びは一直線で、反対側は一本の通路になっていました。

独居房の部屋の長さというか奥行きと、通路の幅が同じぐらいだったとも思います。小木分校の校舎より直線が短かったような気もするのですが、小木分校は一学年40人定員の一クラスで、3年生まで教室が並んでいたように記憶しています。

拘置舎の一階の方は、手前から女子区、職員室、小さい取調室、集団用の浴室があって、その先に雑居房が３つかあるいは４つ並んでいました。

とても小さい建物だということがわかると思いますが、それでも金沢刑務所の拘置所は名古屋高裁金沢支部の管区なので、石川県内だけでなく、富山県内、福井県内の拘置所からも控訴をした被告人が移送されてくると聞いていました。上告審もそのままです。

居房は手前の方から2階なら201という風に順番に番号がふってあり。最後が226になっていたので26室と思っています。今のことは知らないですが、以前、病院では４や9という死や苦しみを思われる番号は使わないという話になっていましたが、拘置所ではそういう欠番はなかったと思います。

先ほどの突起物のない部屋というのは201号になっていましたが、隣の202号も同じ構造と後になって小耳に挟んだようにも思います。番号の小さい手前側の居房ほど、担当台から近いので監視をされやすいという特徴もあったという感じです。通路の行き帰りでも目に触れる機会が多くなります。

拘置所というのも生活を経験した人、する人はごく少数だと思いますが、ドラマや映画に見るものと基本的には違いは少ないと思いますが、実際に生活してみると倉庫や収納ケースというイメージが強く、機能的に良く出来た構造になっています。

拘置所と刑務所の生活の違いというのも想像を超えたものがありましたが、拘置所では刑務官というか職員との接触自体が最小限という感じでした。中には例外的に立ち話の長話をする場面もありましたが、伺い難い個別の事情もあるという感じでした。

私は平成4,5,6年、平成11,12年の金沢刑務所での拘置所生活は、すべて2階での生活でしたが、基本は担当と副担当の二人で2階の収容者全ての管理、世話をするという感じでした。

拘置舎では担当の上に二人の上司がいるという感じでした。一番上と思われる人がたぶん区長と呼ばれていた人です。初めのうち私は「ふちょう」と聞こえ、当時は看護婦の婦長という言葉を思い浮かべたのですが、「ふ」で別の漢字の見当がつかず、注意深く聞いているとそのうち「くちょう」ではと。

拘置所の生活ではどんな些細な疑問でも尋ねる相手がいませんでした。情報も人との接触もごくわずかです。干渉もほとんどなかったですが、それが法律上の配慮とも思えました。

区長と呼ばれた拘置舎で一番の上司と思われる人物のことは今でも顔の方はよく憶えているのですが、名前の方は一度も見る機会、聴く機会がなかったように思います。

強面だけど普段は優しそうな顔や話し方をしていたと思います。ほとんど名古屋弁という感じでもありました。判決期日のことで私が繰り返しごねていると、最後は獅子舞が頭を震わすように凄い形相で怒っていました。

刑務官に裁判のことでごねたり苦情を言っても始まらないのですが、木梨松嗣弁護士が全く面会にも連絡にも応じない以上、私としても切実な問題で外との接触は刑務官しか相手はいなかったのです。

革手錠と保護房、そして懲罰の印象が記憶にも強く刻まれていて、その前に刑務官ともめていたときの状況が、余り具体的鮮明には思い出せないのですが、とにかく私としても焦りと戸惑いが大きい状態でした。

拘置舎は金沢刑務所の敷地内の一画でしたが、拘置所で生活している時と受刑者の生活では全く別世界のような想像を超えた違いがありました。刑務官は巡回や面会や出廷時の連行で見覚えのある顔が多かったのですが、まったく違いのない人員で顔ぶれであることも、受刑生活になって強く感じました。

受刑生活では同じ刑務官の顔も違って見えることが珍しくなかったのですが、必要以上に刺激や警戒心を与えない場を和らげる雰囲気作りというのも、刑務官としての役割なのかと思いました。説明しきれないところが大きいですが、ドラマや映画ではおそらく見ることのない世界だったかと思います。

金沢刑務所は暴力団関係者の多い再犯刑務所でもあったので、受刑者との関係を含めて、複雑なものがあるのだろうという印象は受けていました。初犯刑務所である福井刑務所とは、いろいろな面で、想像を超えるような違いを感じることが多かったです。

また、金沢刑務所の拘置所では刑務官と弁護士との対立というのも全く感じることがなかったです。面会室は受刑者と同じだったと思うので、面会は拘置所というより金沢刑務所の管理だったと考えられますが、刑務官の言動振る舞いからは、弁護士に対する配慮、尊重という感じしか受けなかったです。

今思い返してみると、あえて私にはそういう態度を見せていたのかもしれませんが、というのも今夜書いているうちに、木梨松嗣弁護士の対応を刑務官としても問題視していた可能性が高いように思えてきたからです。

刑務所の刑務官が弁護士と衝突するという話は刑事弁護の専門的な本において早い段階から目にしていました。なので、まったく弁護士と対立のないようなほのぼのとした雰囲気の金沢刑務所の拘置所では、その点でも専門書の弁護士サイドの話との違和感は感じていたのです。

別冊ジュリストでも弁護士が接見のことで警察署と激しく対立したという事例が紹介されていて、それも富山県の魚津警察署となっていたような記憶が印象的に残っています。国賠のような裁判を弁護士が起こしたような話にもなっていたかもしれませんが、そこまでは至っていなかったような気もします。

3冊の別冊ジュリストについては本書でも既に触れたような気がしますが、はっきりとは思い出せません。パソコンで編集中のファイルなので検索をすればすぐに確認は出来そうです。

別冊ジュリストは、私の手紙での頼みに応えて、被告訴人大網健二が書店で購入をして差し入れてくれたという話になっていたかと思いますが、当時から法律の素人が選べる本とは、とても思えない点が不信にも近いわだかまりのようになっていました。

被告訴人大網健二本人には、柿ノ木畠の宇都宮書店で買ったと、直接聞いたことがあったようにも思います。今もあるのか知りませんが、当時は金沢市、さらには石川県で一番に品揃えの多い大型書店だったと思います。片町や竪町という金沢市の中心部に近いです。

うつのみや - 知性と情操をお届けして135年。金沢を本店に石川、富山、福井のネットワークを通じ、本・文具・CD・DVD・楽器の販売とカルチャー教室の運営をしています。 <http://www.utsunomiya.co.jp/>

初めて調べたように思うのですが、柿木畠本店という情報がありました。ずっと栃木県の宇都宮市をイメージしていて、関東の方に本店でもあるのかと思っていたのですが、そうでもなかった感じです。

ネットですぐに情報が見つかったところを見ると、今でも存続していそうですが、石川県内では王様の本という大型書店がいきなり一斉に全滅的な倒産をしたこともあったので、どうなのかとは思っていました。

その宇都宮書店の柿木畠店に関しては、金沢刑務所の本の購入先とも聞いたことがありました。長い間金沢市には行ったことがないので、最近の事情はわかりませんが、専門書の品揃えのある大型書店は他にもあるものの、柿木畠が階数が多いことを差し引いても、やはり品揃えは一番だったかと思います。

柿木畠店は金沢市内の中心部で金沢市役所にも近いですが、他の大型書店は郊外の方に多いという気もします。香林坊の109の方にも大きな書店はありましたが、法律事務所の多い裁判所の周辺でも書籍の御用達は地理的にも近い柿木畠店が多いという気はします。

差し入れをしてもらった別冊ジュリストは3冊あって、刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法に分かれていたかと思います。その辺りも法律の素人が選べたとは考えにくいところですが、ただ単に被告訴人大網健二が木梨松嗣弁護士に相談をしてアドバイスを受けたという可能性はあるかとも思います。

別冊ジュリストに関しても母親が選んで差し入れてくれたという可能性も現在の私の記憶の状態では否定しきれないところですが、やはり具体的に被告訴人大網健二との間にやりとりがあったような憶えもあるのです。母親であればアドバイスを受けても選ぶことがかなり難しい選択であったとも思えます。

被告訴人大網健二にしろ私の母親にしろ、木梨松嗣弁護士が書店に同行までしたとは考えられないところですが、言葉でのアドバイスで選べたものか、それも引っかかるところです。

grepコマンドで調べてみたのですが、只今の記述以外に過去に本書のファイルで「ジュリスト」と書いた箇所はなさそうでした。なさそうというか検索では見当たらなかったです。もはや目視では確認が不可能に近いデータの分量にもなっているかと思います。

ジュリストに関しては、それほど前でもない時期に言及した記憶があるので、Twilogの方で調べてみようかと思います。

意外なことに廣野秀樹（@hironohideki）のTwilogでも「ジュリスト」に言及したツイートは見つかりませんでした。別冊ジュリストは写真にも撮影してインターネットで紹介した記憶があるのです。

腑に落ちないところがあるのですが、パソコンのファイルシステム内で検索しても、Googleで検索をしても私が言及した情報は見つかりませんでした。数年前はファイル名にも日本語の利用は避けていたので、その辺りも見つけにくい要因にはなっているのかもしれません。

2009年の9月にプライベートモードにしたHatena::Diaryのブログで検索したところ、ようやく別冊ジュリストに関する記事とそこにある写真を見つけたのですが、記事の日付が2006年8月13日になっていました。思っていたよりずいぶんと前のことでした。

プライベートモードのブログでの写真を含めた記事は、一部をスクリーンショットに記録しました。次のものです。

非常上告-最高検察庁御中ツイッターさんはTwitterを使っています: "2014-12-04-052059\_[写真資料]写真資料についての説明　.jpg <http://t.co/8wCr1EROOM>" <https://twitter.com/s_hirono/status/540239337313406976>

<2014-12-06 土 18:21> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月6日 POST

<2014-12-06 土 18:22> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

2,3日、間を開けてしまったかなと思っていたのですが、編集画面では昨日の中一日が開いただけだったみたいです。今日はいろいろと収穫が多いです。いろいろな種類のお魚を沢山釣ってきて、これからどのように調理しようかと迷う気分と似ています。

インターネットで網を仕掛けているつもりはないのですが、その方面での収穫です。私の地元、宇出津はこれから寒ブリが本格シーズンに入るところですが、採るのはほとんどが大敷網と呼ばれる定置網だと聞いています。

今日は4時40分ぐらいに目がさめました。目が覚めた後、しばらくパソコンでピグライフなどやっていたのですが、すぐに寝直すつもりが、寒さで眠れませんでした。その間、眠る努力はしつつ、今後の本書の方針を考えていました。

眠るのを諦めて起きてパソコンをつけたのは7時を過ぎてからだったようにも思います。能登町役場からは7時と12時18時に音楽が聞こえているので、その時間は目をつむっていても時間がわかります。

ひらめきのようなものを得て起きたのですが、パソコンを始めるとすぐに大きな情報が飛び込んできました。情報自体はそう大きなニュースではないのですが、取り上げ方や表現が、客観的にわかりやすかったのです。とても直接的で、物語るところが大きいものです。

このような情報は率先してブログの記事として記録するようにしています。最近になってより一層そのことを強く意識して運用するようになっています。

先程も一つ記事にしましたが、当初はそうとは思わなかったものの、拙い私の説明、表現力を補うには格好の素材を捕獲できたというのも正直なところです。

まずは、12月3日の続きということになるようですが、追加したブログの記事を最新まで全てご紹介します。先に出るものが新しく、URLのパラメータにもなっているIDの数値が大きい物ほど新しいということになります。このご説明は今後繰り返さないかもしれないのでご確認をお願いします。

"典型的な中止犯だな。神よ、この母子に救いと恵みを。→長男の首絞めたが泣き出し中止…母に猶予判決／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9612>" "国民への告げ口役を国会議員に担わせて欲しいって？そんな視野の狭いこと言ってる政党に、一国の舵取りを／弁護士柴田幸正","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9610>" "今日は，弁護士やっていて一番腹立たしい日であるな。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9608>" "憲法が変わるまではある程度司法が国民を守れるかもしれないけど、憲法を変えられてしまえば、司法は無力化するし／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9606>" "日本は、再度、焼け野原にならないと、真の再生は無理なのかも。戦争で、ではなく、経済的、精神的な意味で／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9604>" "テレビで、政見放送を時々見るけれども、人が、実に薄っぺらい。人材の払底は危機的だと思う。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9602>" "アトム法律事務所の「パートタイム弁護士」募集（弁護士登録不要）を「非弁」とするTweetへの削除要請","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9600>" "深澤諭史弁護士がリツイートしていた主に司法制度改革に関するツイート＿2014年12月4日のまとめ／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9598>" "さて問題です。事情聴取が面倒臭いからと書類をでっち上げて済ませた警官の所属はどこの警察でしょう／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9596>" "タイタニック号は立派な客船です、沈むはずがありません、と信じて乗っていても、沈むものは沈むわな／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9594>" "非弁業者のやり口というか，勧誘の方法って，振り込め詐欺に似ているところが多々あるな。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9592>" "同じ容疑で２度逮捕するって、あっていいわけ？　→ろくでなし子さんと北原みのりさん「逮捕」 ――今回は「わいせつ物公然陳列」容疑も／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9590>" "そんな無機質なモノで「徒に性欲を興奮又は刺激せしめ」ちゃったり、「普通人の正常な性的羞恥心を害し」ちゃったりするもんなのでせうか？／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9588>"

データベースのクエリーで確認したところ、「そんな無機質な」で始まるジャーナリスト江川紹子さんのツイートを記事にしたものが12月4日付、そのあとの2件が同月5日付になっていました。

「さて問題です」で始まるジャーナリスト江川紹子さんのツイートを記事にしたものからが本日すわなち12月6日付の投稿記事になります。その初めの投稿のAPIの処理時刻は「2014-12-06 07:32:15」となっていました。

記事にするのも多少時間のかかることですし、読んですぐに作業に取り掛かるとも限りません。周辺の事情を含めより細かいことは廣野秀樹（@hironohideki）のツイートか、そのアカウントのTwilogでご確認していただければと思います。これまでも同じようなご説明は書いているかと。

<2014-12-07 日 04:27> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月7日 POST

<2014-12-07 日 04:35> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿しているので確認できるのですが、昨夜の19時16分から中断していたようです。夕食を作って食べた後、テレビで新・情報７daysニュースキャスターという番組を見ていたのは憶えているのですが、テレビを消した後寝ていました。

3時頃に目が覚めたのですが、また寒さもあって寝直すことも出来ません。無理に眠ろうとしても時間の無駄になるので、少しでも作業を進めたいと思います。昨夜も中途半端なところで中断してしまいました。

普段は余りやらないことなのですが、Emacsの画面を二分割して昨日分の記事を参照しながら書いていこうと思います。

作業中のパソコンの画面は次のスクリーンショットような感じになっています。

2014-12-07-044536emacs23.jpg pic.twitter.com/MQVLYQ4z8X

一日でも時間を置くと考えて書くことのまとまりも悪くなるのですが、昨日は言及に適した素材が多かったので、出来る限りその素材を活かした説明を書いておきたいところです。

A）"さて問題です。事情聴取が面倒臭いからと書類をでっち上げて済ませた警官の所属はどこの警察でしょう／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9596>"

上記A）の記事から言及したいと思います。既に本書では何度かご説明を書いていると思いますが、本書の内容は出来る限り、一行書くごとに独自に作成したプログラムを使いTwitterに投稿しております。

TwitterのAPIを利用しているだけで大したことはしていないのですが、具体的にはキーボードのF9ボタンを押すことで、カーソルのある行の内容をツイートするようにしています。

端末から直接コマンドを実行すると送信に失敗した場合、エラーのメッセージが内部のプログラムの状況とともに表示されるのですが、Emacsから間接的に利用しているため、いちいち確認は出来ないことになっています。

Emacsの方でも外部コマンドの返却値でエラーを判別してそれに応じた処理をするということも可能かとは思いますが、そこまではやっていないので、投稿されないまま気づかないこともあるかと思っています。

私の経験上、APIの失敗というのは割と出るものと思っています。と言っても500回から一千回にぐらいの頻度ではと私は考えています。Twitterの方で徹底的な同期を図る必要も私は考えておらず、無視できる程度の誤差かと考えています。

文字数オーバーでのエラーは、投稿以前にチェックをするようにしているので回避できているはずです。

それはそれとしてTwitterでは、同じ内容のツイートを一定期間受け付けないという仕様になっているはずです。細かく言えば投稿に使うAPIが異なれば、同じ内容でもツイートは出来たかもしれません。

具体的な問題としては昨日に本書で記載し投稿した記事とURLの行を、今日も同じように投稿できないということなるか思います。そういう不都合を回避するためA）という記号を行頭接頭辞として用いてみました。

今後は既にご紹介した記事を扱うのに次のようにもしてみようかと思います。つまりは接頭辞に日付の情報を入れます。

20141206）"さて問題です。事情聴取が面倒臭いからと書類をでっち上げて済ませた警官の所属はどこの警察でしょう／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9596>"

本書では各見出しに日付をつけるようにしていますので、索引のような使い方も出来るかと思います。なるべく情報の重複を避けたいという理由もあります。

過去の記事に言及する場合、当日の当該見出しのなかでは、A）とかB）とか一意に識別出来る記号を行頭つけて取り扱いをしたいと思います。「上記Aの記事」などという感じで指し示します。

【実験】ツイッターで同じ内容の投稿をするには？｜株式会社ECS 社長ブログ <http://www.web-ecs.com/blog/2011/05/31/687>

確認もかねて調べてみたのですが上記のネット上の情報によると、思ったほど同一内容のツイートの制限はきつくないようです。丸一日空けば、問題なさそうな感じです。

これまでは日記のようなスタイルで同じ日に一つの見出しとして書くという傾向が、このところずっと続いてきたかと思いますが、これからはそういう日々の流れをベースの本線として、個別の問題は適材適所の見出しとして配置するようにしたいと考えました。

そのベースとしての本線には今のところ二つのものを考えています。一つは現在の見出しにもなっている再審請求というテーマです。見地という言い方をした方がいいかもしれませんが、手続き上の目的を反映する方針です。

もうひとつのテーマとして2,3日ほど前から頭に浮かんできたのは、非常上告という手続きです。これは3つのTwitterアカウントの一つにもブログにも使っているテーマで、だいぶん前から看板の一つのようなものにしております。最重要テーマの一つです。

現在は再審請求というテーマをポイントというか軸にしておりますが、これはこれまでの経緯として、私の立場と認識の変化を物語るもので、後ろ向きな見方、過去の総括、精算、整理という意味合いを含むものです。

私は平成4年の傷害・準強姦被告事件に対する是正と法的救済を求めていますが、その方法、手段としてずっと考え関わっててきたのが再審請求でした。

実際の再審請求は平成15年が最後です。その後も準備を進め、金沢地方裁判所の方にも電話を掛けてお話をし、提出をするということでやってきましたが、実行することはありませんでした。

いつ頃まで再審請求のことをやっていたかというと、思い出しにくくなってはいるのですが、東日本大震災の当日にも金沢地方裁判所に電話をして書記官と話をしていたことは、鮮明な記憶として残っています。かけ直すか連絡待ちの間に大地震のニュースが飛び込んできたからです。

Twilogで当日のことを調べてみようかと思い立ちました。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/2011年03月11日 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/date-110311>

TwilogのURLは、リクエストパラメータも使わず、とても完結でわかりやすいものになっているかと思います。2011年の部分は11と省略されていますが、一度見れば理解できる書式かと思います。

書記官のお名前のこともすっかり忘れていましたが、ざっと目を通したところ、他にも意外な発見があって記憶の片隅には残っているものの、大震災の当日だったとは驚きました。

思いつくキーワードで検索をしたのですが、直接には見つからず、有力なヒントとなる次のツイートを発見しました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/06/11 19:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/344408080559243265> 2013年6月11日柳田温泉笹ゆり荘 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <http://t.co/tYDLpaoq5K> 昨年の11月の20日頃、無料の法律相談に行き、相談が終わってから温泉に入りました。ロッカーのない浴場でフロントに財布とか預けました。

廣野秀樹 <https://www.facebook.com/hirono.hideki/media_set?set=a.444961208885366.97074.100001144727722&type=3&l=93876b61bb>

上記はFacebookの写真アルバムです。当日の法律相談のことをTwitterには具体的に投稿せず、Facebookの写真アルバムをリンクにしてありました。Facebookには次のようなメッセージが書いてありました。長いので2,3行に分割します。

1）今日は、能登町柳田の「ささゆり荘」で無料の法律相談を受けてきました。予約をしたのは8月の下旬だったかもしれないです。宇出津の能登町役場から松波の庁舎の方へ電話をして予約をしました。警察官検察事務官を含め具体的な名前は一人も出さずに相談をしました。

2）午前中は珠洲警察署と金沢地方検察庁にも電話をしました。昔は鳳至郡柳田村でした。正式には「やなぎだ」と読むのだと思いますが、自分の世代では、まだ「やないだ」呼ぶのが普通でした。

やっかいなことにFacebookでは投稿の日付もわからなそうです。1年以上前となっているだけです。他にもFacebookでは写真を投稿した場合、ファイル名はおろかExif情報の写真のデータそのものが全て破棄される仕様となっているようです。

Twitterの方では次のように投稿がなされているので、法律相談のあった日は11月20日に間違いないかと思います。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/11/20 18:50 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/270826335700672512> Facebookのアルバム「能登町柳田・無料法律相談」に写真を7枚アップロードしました <http://t.co/HkwOhskf>

確実な日付を特定したかったのですが、やはり2012年11月20日かと思います。これも再審請求における大きなターニングポイントとなっています。当時の金沢地方検察庁の担当者はミヤさんだったと思います。

ミヤさんとの話では頭にくることが多く、衝突も多かったのですが、そのなかで木梨松嗣弁護士や岡田進弁護士の対応の意味を深く掘り下げて考えるきっかけとなっていきました。

ミヤさんの方からもそれまでは判決が確定している以上、裁判所に再審請求をするしかないと、繰り返して断言を受けていました。

2012年11月20日の無料の法律相談は、能登町柳田の笹ゆり荘でありました。担当の弁護士の名前は記憶にもないですが、テレビでも紹介されているのを見たことがある人でした。能登半島の北部というか輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の全ての地域でただ一人輪島にいる弁護士ということでした。

相談の前後に金沢地方検察庁に電話をしてミヤさんと話をしていましたが、相談の前と後で前言を翻すようなことをミヤさんが言い出したのです。弁護士との無料相談は前のミヤさんの発言を前提にしていたので、法律相談の意味もなくなってしまうようなことになったのです。

この時は私も猛反発をしたように思います。この時だったか調べてでもみないと確証は持てないですが、ミヤさんの代わりに電話に出た上司の岸田さんとの話で、告訴状を提出するという話になったのです。それが再審請求の手続きから告訴の手続きに方向転換した瞬間でした。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「岸田さん」の検索結果 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=%E5%B2%B8%E7%94%B0%E3%81%95%E3%82%93&ao=a>

上記のようにTwilogで調べたところ、意外なことに2010年5月以前のツイートしか見つかりませんでした。長谷という担当事務官の名前が出てきて、そういえばと思いだしたのですが、どんな声の人だったかやりとりもほとんど思い出せなくなっています。たぶんミヤさんの前任者と思われます。

時刻は7時59分です。先ほどいつものようにツイッターを眺めていたところ、落合洋司弁護士（東京弁護士会）がまたどうかと思われるツイートをしていました。検察庁に触れていましたが、馬鹿とも読めるあるいは馬鹿としか読めないツイートでした。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）よりさきにジャーナリスト江川紹子さんについて言及するつもりでいたのですが、いまのところ変更までは考えていません。

私がパソコンの前にいるとき、一日に何度も欠かさずツイートをチェックしているのはジャーナリストの江川紹子さん、落合洋司弁護士（東京弁護士会）、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のアカウントです。

このうち落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関しては随分前からブロックをされているので接点のない全くの一方通行の可能性が高いですが、廣野秀樹（@hironohideki）に関しては他の二人には今のところブロックされておらず、リツイートもしています。

異常な執着と思われているかもしれず、そうでなくても誤解を招く可能性もありうるので、告訴事件の具体的本題に入る前に、ある程度の経緯と事情を説明し、公開の情報としておきたいと判断したところです。

それに適した素材というかツイートが集まってきたことは、先日辺りから述べているところです。まずこの3人のジャーナリストと元検察官でもある弁護士は、私の人生、裁判における判断、意思決定に大きな影響を及ぼしてきましいた。

このうち法的制裁を検討しその旨公言しているのはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）だけです。本人がそのことをどれほど意識し自覚しているのかは不明ですが、他の二人とは違い、私の発する情報をある程度は読んでいる可能性もあるかと思います。

今のところ本人に読ませることを私は意識しておりませんし、あえて説明の必要もないと考えています。公開している発言の内容は私の場合、全て等しく同じです。全てオープンな場でオープンなかたち、方法でやっております。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と落合洋司弁護士（東京弁護士会）に言及するとなると、2005年の11月辺りまで遡ることになり、記憶の整理にも手間取るところもあるかと思います。

ジャーナリストの江川紹子さんに関しては、いわゆるオウム真理教の事件で、一躍注目の人なったかと思います。私は事件の当時、福井刑務所に服役中でしたが、それでもテレビでジャーナリストの江川紹子さんのことは見て知っていたように思います。

基本的に福井刑務所ではテレビを見れる時間が限られていて夜の19時から21時前が主でしたが、それでもオウム真理教の事件と阪神大震災の報道は大々的だったので、見る機会は多かったと記憶しています。

あるいは19時からのNHKのニュースでも、江川紹子さんの姿を見ていたのかもしれません。オウム真理教の事件に関心の薄かった人は別として、ジャーナリストの江川紹子さんの知名度は相当に高かったと思われます。

その後も数年前まで、日曜日の朝の報道番組「サンデーモーニング」のコメンテーターとして姿を見ていましたが、降板してからはテレビで見る機会はほとんどなくなりました。それでもたまにNHKのニュースでもコメントをしている姿を見ることはあります。

体を張ってオウム真理教の事件を追跡取材した気骨のあるジャーナリストとというイメージを漠然と持っていましたが、Twitterでアカウントを知る前は、たまにブログの方のコラムを見ることがある程度でした。それもモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでの紹介だった気もします。

次にジャーナリストの江川紹子さんに注目するようになったのは、検察への不信が社会問題化してからのことで、ジャーナリストの江川紹子さんはその問題の熱心な旗振り役だっただけではなく、公的な委員会のメンバーの一人にもなっていました。

その辺りは本書でも既に取り上げていると思いますし、公知の事実でもありますので、大幅に割愛したいところですが、委員会のメンバーには、私が平成18年の秋に郵送で最高検に提出した上申書の、当時の検事総長が含まれていました。

平成18年だったのか確信が持てなかったので、パソコンのデータを調べたところ、最高検から受けた書面の日付が平成18年12月5日となっていました。

<2014-12-08 月 06:36> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月8日 POST

<2014-12-08 月 23:07> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

時刻は23時07分です。本日も1時間を切っておりますが、今日は大きな前進がありました。この前、ブログの記事を当日の紹介として識別する接頭辞をつけると書きましたが、そのような局所的な対処ではなく、大域的グローバルな情報として識別、一意に取り扱う方法を確立しました。

つまりブログの記事の紹介、引用方法のことですが、次のような形式にしました。前回紹介したより後のものから最新の投稿記事になります。

"2014k9614","自分が検察庁辞めた時は、人が手当て出来る年度末までいてくれと言われ、即、辞めたな。馬鹿には付き合えない。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9614>" "2014k9616","今回の逮捕をめぐっては、週刊金曜日やアジア女性資料センターが抗議声明を出したほか、多数の識者らが「不当逮捕だ」とする声を上げていた","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9616>" "2014k9618","初めから身柄拘束は不当な事件。それにしても、警察はどんな疎明資料出して逮捕状とったんだろ／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9618>" "2014k9620","自作自演の“真犯人メール”で馬脚を現したPC遠隔操作事件。5月22日、会見で目に涙をためながら発言したのは、主任弁護人の佐藤博史氏","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9620>" "2014k9622","困惑と遣り切れなさとで現実感を失ってしまうのではないだろうか。ゾンビ状態でふらふらと自白調書に署名をしてしまっても不思議ではない／『検事失格』 （市川寛 著）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9622>" "2014k9624","週刊文春の記事は、容疑者の筧千佐子には法律のアドバイスをした弁護士がいる。その弁護士が黒幕だという内容","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9624>" "2014k9628","被疑者刑事弁護活動において，勾留を「阻止」するには，取り調べへの適切なアドバイスはもちろん，ＰＪへの意見書提出，Ｊへの面談申し込みが重要／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9628>" "2014k9630","司法と福祉の連携で，危惧するのは，刑事司法が「福祉化」することで，刑罰が極端な目的刑化，社会防衛の過度な重視につながりかねない／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9630>" "2014k9632"," Yahoo!ニュース - ＤＶやストーカー被害に国が弁護費用、法律相談は無料化　法改正方針 （産経新聞）","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9632>" "2014k9634","岡山弁護士会の元弁護士は依頼者からの預かり金など総額約９億円を横領していた。また、依頼者から約４億７０００万円をだまし取ったとされる福岡県弁護士会の","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9634>" "2014k9636","弁護士に自由競争で淘汰合戦やって欲しいのか， それとも，今まで通り資力に乏しい人のためにも公益活動をして欲しいのか／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9636>" "2014k9638","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年11月30日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9638>" "2014k9640","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月3日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9640>" "2014k9642","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月4日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9642>" "2014k9644","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月6日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9644>" "2014k9646","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月7日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9646>" "2014k9648","「実刑確実」の事案について，色んなテクニック（完黙し全面的に事実関係を争う表技，お弁当をのらりくらりと食するような裏技）で執行猶予をとったり／高島章弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9648>" "2014k9650","被疑者刑事弁護活動において，勾留を「阻止」するには，取り調べへの適切なアドバイスはもちろん，ＰＪへの意見書提出，Ｊへの面談申し込みが重要／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9650>" "2014k9652","同僚弁護士が，またまたまたまた勾留却下をゲットしたとのこと／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9652>" "2014k9654","よく「●●事件の示談金の相場を教えて下さい」っていう質問電話を受けるけれど，人に聞かないと解らない人は／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9654>" "2014k9656","ろくでなし子：「まんこ党・・・ですか？（笑）　弁護士さんと相談します（笑）」","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9656>" "2014k9658","だが、対面した当番弁護士から「罪を認めたらなし子さんは活動できなくなりますよ」「けど こんな事で捕まるなんておかしいですよ」と言われたことで気持ちが変わった","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9658>" "2014k9660","江川紹子さんの原稿です。我々の生活に引きつけ、国民審査を白紙委任状と捉えた時に生じる問題をわかりやすく解説されています。 / 【総選挙2014】最高裁国民審査","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9660>"

表計算ソフトでも読み込んで使えるcsvのファイル形式になっています。フィールドというかカラムは３つになっています。追加したのは一番目のフィールドというか項目です。

これまでの記事の紹介とは異なり、最後のデータが最新の記事になっています。それを例にすると"2014k9660"となっていますが、2014kの部分はWordPressのブログの名前になっています。つまり次のURLです。

告発-金沢地方検察庁御中2014 <https://hirono2014k.wordpress.com/>

簡潔でわかりやすいURLも私の好みですが、wordpress.comでは一つのアカウントで複数のブログを持つことが出来ます。きちんと管理できる範囲で特に制限は設けていないとも書いてありました。hirono2014kの部分が個別のブログの識別になっています。

まもなく3週間ほどで来年になりますが、その時は新規にブログを解説して「hirono2015k」とする予定でいます。つまりhirono2015kになります。取り扱う文字数はなるべく減らしたいので重複する部分を除いて現在は2014kとしております。

2014kの部分がブログのURLの識別になりますが、半角ので区切られた後半の部分は、そのブログ内での記事のIDになります。データベースで管理された一意の値ですが、URLのリクエストパラメータにも用いられている数値なのは、紹介しているURLのｐの値と同じです。

例えば、http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9660 の場合、ブログ名とIDの部分を、それぞれ当てはめれば、グローバルなインターネット上で"2014k9660"というフィールドを使いブラウザの直URLで閲覧することが出来るはずです。

ただでさえ膨大になりつつある本書の文字数、情報量を抑えるためにも言及する記事は"2014k9660"というように取り扱いたいと思います。一意で個別の記事ですが、この例示に使った記事は、これまでになく大きな意味を持つ参考情報でもあります。

<2014-12-09 火 00:16> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月17日 POST

<2014-12-17 水 10:53> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

幾つか方針を変えて、今後は一行書くごとにTwitterに投稿するのでなく、ファイルとしてまとめてあとで投稿することがあります。自宅以外の場所で編集をやっており、そこにはネット環境がないからです。ネットに繋がっていないのでTwitterに投稿できません。

このところ数日間中断をしていましたが、いろいろな社会の動きもあって考えることが多くありました。ようやく落ち着いたという気持ちもありますし、考えの方も整理が出来たかと思います。

他に新たに決めたことは本書の項目をブログに記事にする場合、タイトルの語尾に「＼金沢地方検察庁御中」という文字列を含めることです。タイトル自体も項目の内容に則した要約のようなものにしたいと考えています。

既にご初回しているかと思いますが、ブログの記事は自分のパソコンのデータベースで管理するようにしています。先日は３つほどデータベース操作のスクリプトを作りました。

そのスクリプトを使って本書での紹介以降に作成投稿した記事の一覧をご紹介、掲載しておきます。中断の間の流れもだいたいつかめるかと思います。具体的には"2014k9660"よりあとの記事になります。

"2014k9662","某同期弁護士は，去年に引き続き，今年も勾留却下（準抗告認容を含む）は２桁を達成とのこと／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9662>" "2014k9664","もちろん、抗告して取り消させましたが。若い弁護士だからといって舐めてもらっては困りますね／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9664>" "2014k9666","公開されているからといって，無断転載・利用をしてもよい，というわけではない。むしろ，ほとんど全く関係ない／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9666>" "2014k9668","全国放送のテレビドラマを配信して捕まる人なんか，決して珍しくも何ともない。写真もツイートも全く同じ。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9668>" "2014k9670","増員したら司法過疎が改善した，とかいう言説にはものすごい怒りを感じずにはいられない。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9670>" "2014k9672","弁護士が身銭を切って司法過疎対策に尽力したというのに，無謀な増員で／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9672>" "2014k9674","弁護士会は、いつから権力に阿る烏合の衆に堕したのだ！ ＜秘密保護法＞反対の街頭活動「公選法抵触のおそれ」中止に／弁護士柴田幸正","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9674>" "2014k9676","昨日も無罪判決があったが、これは７月に逆転無罪となった当事者インタビュー　→リアル“それでもボクはやってない！”痴漢冤罪／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9676>" "2014k9678","政治団体というより、政治的に無力な団体なのでは。だから政治団体ではない。→東京新聞:金沢弁護士会　秘密法反対活動を自粛／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9678>" "2014k9680","次から次へと事件が落ちたが，作らないといけない原稿もたまっていて，まだまだ休めそうにない…。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9680>" "2014k9682","金沢弁護士会の見識が問われる。 日本弁護士連合会／弁護士柴田幸正","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9682>" "2014k9684","総選挙期間中における特定秘密保護法についての街頭宣伝等の活動に関する日弁連コメント","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9684>" "2014k9686","首相になったからといって小さな器は大きくならないということじゃね？→あまりに感情的な「安倍フェイスブック」 ／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9686>" "2014k9688","まずは、あなたから、どうぞ、戦場へ。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9688>" "2014k9690","米軍人が、日本人を殺したり強姦したり好き放題やって、軽い処分で済んでいるのに文句言わずへいこらしているところが、「永続敗戦」／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9690>" "2014k9692","首相になったからといって小さな器は大きくならないということじゃね？→あまりに感情的な「安倍フェイスブック」 ／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9692>" "2014k9694","研究室にマヨネーズを持ってきた。研究室用に買ったのに自宅にそのままだったので忘れずに。／坂本正幸弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9694>" "2014k9696","岡田裁判長は「女性が精神的混乱から抵抗することが著しく困難だったことは明らか。しかし、男性がそれを認識していたとまでは認められない」と判断。","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9696>" "2014k9698","やっぱり，刑事弁護の最大の敵は「あきらめ」だな，と思い知るなど。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9698>" "2014k9700","その「つぶやき」は犯罪です―知らないとマズいネットの法律知識―鳥飼重和／監修、神田芳明、香西駿一郎、前田恵美、深澤諭史／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9700>" "2014k9702","ツイートがたくさんRTされているんだけど、どんな人がRTしてるのかちょっと興味がわいた。痴漢冤罪の不安を深刻に感じている人が多いのかな？／矢部善朗弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9702>" "2014k9704","ひき逃げで被害者意識不明の重体なのに、逮捕されずに書類送検。これぞ、"在日特権＂でないの？／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9704>" "2014k9706","一人一票国民会議が、一人一票を認めない裁判官に×をつけて、法治国家を実現しようと呼びかけている。／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9706>" "2014k9708","「【みんなで検証】えっ！地下鉄の運転手さんがスマホでゲームしてる!?」をお気に入りにしました。嘘がきちんとばれた一例ですね／矢部善朗弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9708>" "2014k9710","平成の司法改革の「改革」って，正面装備ばかり一見豪華にして，信頼性とか兵站とか置き去りにした旧日本軍みたいだ／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9710>" "2014k9712","また食品から針　札幌・厚別のスーパー、１７本目に－北海道新聞[道内] ","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9712>" "2014k9714","ペヤング騒動の広報対応は「空気」を読めていなかった？ 広報コンサル社長に聞く|弁護士ドットコムニュース","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9714>" "2014k9716","衆院選時にもう一つの投票　「最高裁裁判官の国民審査」を考える - 2014/12/12 20:00開始 - ニコニコ生放送／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9716>" "2014k9718","刑法の理屈で不起訴になったとき、警察が検事に理由を質問するんだが、それで理解できない県警が弁護人に聞いてくることがある。教えてやるけどな／弁護士奥村徹","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9718>" "2014k9720","弁護人「最初から無罪やいうてるやんけ」 刑事「捜査は無駄だったということでっか？」 弁護人「最初から無駄やったな。」／弁護士奥村徹","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9720>" "2014k9722","ああいうワガママ娘は矯正不可能だろう。→大韓航空会長「教育間違えた…」　娘の激怒問題を謝罪 - 朝日新聞デジタル／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9722>" "2014k9724","福井の中３殺害事件、再審認めない決定　最高裁：朝日新聞デジタル","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9724>" "2014k9726","「福井市女子中学生殺害事件の再審認めず、二審の判断が確定」　News i","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9726>" "2014k9728","一票の格差訴訟では、一人一票のまっとうな判断をした鬼丸、山本両裁判官だったが、冤罪の救済にはこの残念な対応。／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9728>" "2014k9730","冤罪は国家の犯罪。それを防ぐ、あるいは冤罪被害者救済の最後の砦であるべき最高裁が、自分の罪を軽くしたい暴力団関係者の口車で犯人に／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9730>" "2014k9732","Ｌｉｓｔｅｎｉｎｇ:＜福井・中３殺害＞再審取り消し確定　最高裁、特別抗告を棄却 - 毎日新聞","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9732>" "2014k9734","裁判員裁判の判決文って、感銘力という点からはどうなんだろう。自白事件なんか、ちょろって書いてあるだけで、過払いとかなんかより全然シンプル／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9734>" "2014k9738","若手弁護士の孤立の問題で恐ろしいのは，非弁提携の問題ですね。現にそれを狙う非弁業者もあります。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9738>" "2014k9740","当サイトについて：冤罪（誤判）防止コム","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9740>" "2014k9742","そうやって苦労した判決も，執行するには更に費用がかかり，空振りになれば持ち出しで終了…。／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9742>" "2014k9744","安部さんには、中国に対し、過去の日本が侵略を行い、多くの中国人を殺害・レイプするなどの過ちを犯したことを認めたうえで、今の日本は過去とは違う、という断絶感を示してもらいたい／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9744>" "2014k9746","「手紙の内容確認していれば…」不起訴の弁護士が被告に謝罪　被害者威迫事件で証人尋問 - 産経ニュース","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9746>" "2014k9748","選挙で口のうまいやつに投票すれば幸せになれるのなら、ヒトラーを支持した当時のドイツ国民も幸せになったはず／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9748>" "2014k9750","投票していれば日本が良くなると信じ込んでいる、おめでたい人がうらやましい。宗教みたいなものかな。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9750>" "2014k9752","政治屋の薄汚い顔ばかり見させられて、それだけでうんざりだしテンション下がるわ。見たくなくても目に入ってくる。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9752>" "2014k9754","特殊詐欺に騙され、総選挙で日本はこの道で必ず良くなると騙され、騙されっぱなしの一年だったという人もいるだろう／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9754>" "2014k9756","選挙って、実にくだらない。明日は朝からゴルフへ。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9756>" "2014k9758","法クラの各位におかれては，すでにご存じのことかとおもいますが，投票日当日の選挙運動は，ネット上のものも含めて禁じられておりますので／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9758>" "2014k9760","会社の名誉を害するということで名誉毀損罪になり，あるいは商品の信用を害すると言うことで信用毀損罪に問われる可能性があります／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9760>" "2014k9762","例外として，①公共の利害に関わり，②公益目的であり，かつ，③真実であることの証明か，そう信じる相当の理由があれば，適法化されます／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9762>" "2014k9764","やっぱ、国民が基本的人権を保障されるなんてもうやめにしたいんでしょうか？RT／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9764>" "2014k9766","当然ですよ。まともに生きていれば、世の中は、その思い通りにならないものなのですよ。RT／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9766>" "2014k9768","平成の司法改革が、狙い通りになっていったということです。RT ／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9768>" "2014k9770","「年収2000万円未満お断り」のローストビーフ　シェフが「日本一高い」理由を激白！（J-CASTニュース） - Y!ニュース／弁護士奥村徹","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9770>" "2014k9772","冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月8日","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9772>" "2014k9774","政治家になる気はないが、自分が選挙に出たらどこまでできるかは、試してみたい気がする。当選したら困るが。しないか。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9774>" "2014k9776","政治家になりたければ、とっくの昔に政治、政治と騒いで何かやってるよな。こんなところでぶつぶつつぶやいたりしていない。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9776>" "2014k9778","嘘ばかりついて暮らすのは嫌だな。最低。まだ、しがない弁護士のほうがマシ。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9778>" "2014k9780","詐欺師は、まず自分から騙すというが、政治も似てる気が。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9780>" "2014k9782","かわいそうなのは、いつも騙され裏切られる庶民だろう。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9782>" "2014k9784","なんと！今回も罷免ゼロ！日本の裁判官は優秀だなぁ。／阿曽山大噴火","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9784>" "2014k9786","ツイッターは犯罪自慢に向いてるし、選挙速報を見る限り多くの人に知れ渡る事も証明されたかな。RT／","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9786>" "2014k9788","時々、ネットで自分のことを検索してみると、あちらこちらにウイルスみたいに広がっている感じで気持ち悪い。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9788>" "2014k9790","知名度を足がかりに、一気に国政へと羽ばたく、若狭先生のようなことは、とてもじゃなく無理。笑／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9790>" "2014k9792","そういう結果になったのは、有権者がわざわざ投票所に足を運んで投票したからだ。それこそが民意だ／矢部善朗弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9792>" "2014k9794","裁判所が「絶対通らない主張はするな」というけれど，そもそも，裁判っていうのとは，各当事者が「通る」「通らない」について見解の相違が／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9794>" "2014k9796","裁判所が弁護人・被告人に無理な主張はするな，合理的な主張をしろっていうのであれば，人質司法を止めてからにしてほしい／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9796>" "2014k9798","弁護人が自由に被告人の人生を処分できるかのように，誤解している／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9798>" "2014k9800","刑事弁護で絶対通らない主張をする弁護人云々ってありますけれど，裁判所や検察官みたいに，自分の意思だけで主張が／深澤諭史弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9800>" "2014k9802","不真正不作為犯・・ 【社】 4人死亡火災、住人の女逮捕 火の不始末放置の疑い、鹿児島／弁護士奥村徹","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9802>" "2014k9805","勝率ゼロへの挑戦-史上初の無罪はいかにして生まれたか-八田-隆 出版社からのコメント／","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9805>" "2014k9807","【話の肖像画】大勢の人を救いたい　弁護士・清水直（８０）（１）　大勢の人を救いたい - 産経ニュース／弁護士奥村徹","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9807>" "2014k9809","「人権課題に興味がある」、「弁護団事件をやってみたい」という司法修習生の皆さんをバックアップする法律事務所説明会です。","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9809>" "2014k9811","2年近く、警察にはたらきかけていた刑事の告訴事件が、なんとか告訴状受理になった。年末をしみじみと感じる／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9811>" "2014k9813","年収300万円以上を求めるなと言われても、弁護士にさえなれればそれでも構わないと思っていたのですか？RT ／小倉秀夫弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9813>" "2014k9815","今日の朝日朝刊の、ろくでなし子事件の記事で、自分のコメントが出ていた。最後に総括している感じ。／落合洋司弁護士","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9815>"

"2014k9815 "が自宅を出る前に投稿した最新の記事になります。中断前の記事の最新記事が"2014k9660"になりますが、記事のタイトルは次のようになっています。

"江川紹子さんの原稿です。我々の生活に引きつけ、国民審査を白紙委任状と捉えた時に生じる問題をわかりやすく解説されています。 / 【総選挙2014】最高裁国民審査"

この記事とURLのリンクは中断前の12月8日に編集した項目でご紹介済みになっていました。この情報に出会ったことが、一つの転機となり、熟考を要する中断にもなりました。

これまでにも何度かやろうと思ったのですが、実行には至らない宿題のようなものでした。その宿題の 資料とする材料としてはこれまでで最良の情報を得たとも言えます。

タイトルの付け方が私には悩ましいところではありますが、このあと独立した具体的な項目として記事にもしたいと思います。既に何度か説明をしていると思いますが、本書の4階層目の項目は、そのままブログの記事にしております。

ただ他のブログの記事とは一見して見分けがつけにくいので、先ほどのご説明の通り、語尾に文字列を付加することにしました。これだとタイトルに含まれる文字列から絞り込んでグループ化することも出来ますし。検索もやりやすくなります。

本書では期日範囲の開始時刻と終了時刻をプログラムで挿入するようにしておりますが、これは記述内容の前後関係としても参考にしていただきたいところです。今まではずっと放置していた後、次の記事の作成へ移るときに時刻を刻印していることもありました。

今後はどうしょうかまだ迷いがあるのですが、記述範囲の終了をしてから新たな項目の作成にとりかかるのか、それとも同時並行で複数の記事を編集するのか、という問題です。

複数同時に並行して編集したほうが内容としてのまとまりは良くなるかと思いますが、あちこちに飛ぶのはかえって混乱にはならないかとも思います。

本書の記述、編集に使っているパソコンソフトは一般には馴染みのないEmacsですが、ブックマークの機能も充実しているので、さほど管理に負担を感じることはないとも考えています。

私が項目を独立した記事とする一番の目的は、記事のURLを参照として使うことです。個別の記事はその場に応じて、"2014k9815"のようなデータを使う場合と、タイトル名を使うことがあるかと思います。

"2014k9815"という書式の意味についても、中断前にご説明をしているかと思います。同じ説明の繰り返しは避けたいので、そのあたりも工夫して運用をしていきたいところです。

なお、ツイッターの告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿する内容も、ブログの記事として投稿する内容も、あくまで告訴状の下書きになります。項目の見出し名や構造的な位置関係も後日見直す可能性があります。

作成範囲の開始時刻と終了時刻というのは、プログラミングにおける構造あるいは作法というものを参考にしています。一般的なプログラム言語ではひと纏まりの文をカッコで括るというのが決まりになっていますし、取り扱いの容易さにもなっていると思います。

このようなまとまりは局所的なものから大域的なものがあります。私が思うもっとも大域的な領域がグローバルなインターネットであり、ブログの記事にするということはそのなかで一意に識別でき、取り扱うことの出来るデータのまとまりになります。

その辺りのことも私は強く意識していますが、これはパソコンのみならず、普及していると聞くスマホでの利用も想定したものとなっております。

本書の内容についてはより局所的にインターネットと対応させるため、Twitterへの投稿をやっております。本書の一行と一つのツイートが内容として同一であることを意識しております。

文字数の関係で対応させるのが難しい場合もあり、あまり無理をしないで取り組みたいところでもありますが、参考とするような客観的な情報を別にすれば、私の生の声をツイッターと同期させるよう一貫して行きたいと考えています。

これはより広くより的確に、反論、意見の機会を提示し、検証による情報の精度を極限まで高めるという目的があります。ツイッターは私の知る限り、一度した投稿を編集することは出来ず、出来るのは削除だけということになっています。

勘違いや誤字のたぐいはあるかもしれませんが、その時どきの私の認識というのも重要視しているので、出来る限り時刻の特定にもこだわっています。

本来ならば自宅のインターネットに接続した環境で、一行書くごとにF9ボタンで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿したのですが、今日の冒頭で述べたように、今はそれができない環境なので、自宅に戻ってからまとめてツイッターに投稿になります。

今後の方針について一通りのご説明を文字として記述することが出来たかと思いますjので、そろそろ独立した記事の作成に取り掛かりたいと思います。

私が日付や時間の経過を過度に重視するのは自身のこれまでの経験によるところが大きいかと思います。取り扱いたいと考える情報量も大きいので、その整理を付ける意味でも日付や時刻は重要かと考えております。

一日に一つの記事（項目）は基本線としてベースにしたいので、他の記事へ編集を移るたびに、その都度、記述範囲の開始と終了時刻は刻印をしたいと思います。

現在はインターネットを使えない状況なので、検索で調べて確認することも出来ませんが、主にデータベースの情報を頼りに、いろいろと書いていきたいと思います。まずはジャーナリストの江川紹子さんについてです。

<2014-12-17 水 12:28> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 冤罪と再審請求に関する弁護士の対応及び責任に関する疑問点の再確認　2014年12月18日

### 藤井浩人美濃加茂市長の収賄被疑事件に関連した弁護士、ジャーナリストの反応

#### 藤井美濃加茂市長の接触禁止３０人 という条件付き保釈に関連した弁護士、ジャーナリストの反応　2014年8月26日のまとめ分 gblog

＃：　 以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイート　落合洋司弁護士（東京弁護士会）のリツイートを含む

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/25 09:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/503706572246495232> 検察が注文をつけたんだろうけど、検察はそんなに自分の立証に自信がないのか？

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/25 09:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/503706267353747456> RT @yjochi: ロッキード事件の田中角栄だって、こんな無茶苦茶な条件はついていなかった。やはり、名古屋痴呆裁判所？ 元のツイート）→　投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:47 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503705247902998528> ロッキード事件の田中角栄だって、こんな無茶苦茶な条件はついていなかった。やはり、名古屋痴呆裁判所？

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/25 09:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/503706201062797313> RT @yjochi: 捜査も弁護もやったことがない奴が、裁判官なんかやってるから、ああいう非常識な保釈条件つけるんじゃないの。証拠を確保するのが捜査だし、それ前提の公判で、その公判段階で、市長と市の幹部の接触禁止するなんてやり過ぎだろう。 元のツイート）→　投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:47 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503705114075344896> 捜査も弁護もやったことがない奴が、裁判官なんかやってるから、ああいう非常識な保釈条件つけるんじゃないの。証拠を確保するのが捜査だし、それ前提の公判で、その公判段階で、市長と市の幹部の接触禁止するなんてやり過ぎだろう。

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/25 09:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/503706152203329537> RT @yjochi: 著しく非常識な保釈条件だな。笑えない間抜けさ。→保釈条件に市幹部との接触禁止　起訴の美濃加茂市長 - 朝日新聞デジタル <http://t.co/k0dOY9F1ay> 元のツイート）→　投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:39 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503703113920815104> 著しく非常識な保釈条件だな。笑えない間抜けさ。→保釈条件に市幹部との接触禁止　起訴の美濃加茂市長 - 朝日新聞デジタル <http://t.co/k0dOY9F1ay>

＃：　以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関するジャーナリスト江川紹子さんのツイート

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/26 15:25 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/504152535272148992> 検察の顔色を伺ってばかりの裁判官には、いつ何時、災害とか市民の安全に関わる問題に市長が対応しなければならない事態があるかも、という想像力が働かないのでせうね　→美濃加茂市長が公務復帰…副市長らとの接触禁止（読売新聞） - Y!ニュース <http://t.co/DMMIknUbPw>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/25 19:05 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/503845597250461697> 「検察では取調べが録音・録画されていたが、警察でも必要だったのではないだろうか」と　→「美濃加茂市を焼け野原にするぞ」と警察に言われた――保釈された藤井浩人市長が会見（弁護士ドットコム） - Y!ニュース <http://t.co/P8aoZYFmKc>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/25 11:53 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/503736779640274944> こんな保釈条件を付けた裁判所は検察の顔色をうかがいすぎでわ…　→岐阜）完全復帰は困難　保釈の藤井市長、接触禁止３０人 - 朝日新聞デジタル <http://t.co/Y4gLYk6HIr>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/24 20:32 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/503505087080067073> 美濃加茂市長、ようやく保釈が決まったが、３０人以上と接触禁止だとか。勾留中、接見禁止を解除されていた副市長とも接触するなとか、どゆう意味があるのかしらん？検察にバカみたく気を使う裁判所。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/24 20:28 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/503504007466188801> 明日にも保釈 →美濃加茂市長の保釈決定　汚職事件で名古屋地裁 - MSN産経ニュース <http://t.co/KRF3dKt6v2>

＃：　 以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関する落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイート

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 10:20 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503713452150358016> 裁判やるためには、美濃加茂市政がどうなってもよい、というのは、裁判所の独善以外の何ものでもないだろう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 10:14 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503711927906754560> 捜査も弁護もやったことない奴が、裁判所で令状いじるのを禁止でもしないと。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:47 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503705247902998528> ロッキード事件の田中角栄だって、こんな無茶苦茶な条件はついていなかった。やはり、名古屋痴呆裁判所？

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:47 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503705114075344896> 捜査も弁護もやったことがない奴が、裁判官なんかやってるから、ああいう非常識な保釈条件つけるんじゃないの。証拠を確保するのが捜査だし、それ前提の公判で、その公判段階で、市長と市の幹部の接触禁止するなんてやり過ぎだろう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/25 09:39 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503703113920815104> 著しく非常識な保釈条件だな。笑えない間抜けさ。→保釈条件に市幹部との接触禁止　起訴の美濃加茂市長 - 朝日新聞デジタル <http://t.co/k0dOY9F1ay>

＃＃：　 以下、テレビドラマ「HERO」に触発されたと思われる弁護士、検察庁、裁判所、警察に関する落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイート

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:31 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503550064426377217> 検事からも警察からも、どちらからも嫌われ、馬鹿にされているのが弁護士。弁護士は警察や検察庁を嫌い馬鹿にする。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:28 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503549297355276288> 検事というのは、それだけ高給取りで、警察に面倒なことはやらせて、上がってきたものになんだかんだとケチつけるから、警察にはひがまれ嫌われるわけで。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:20 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503547308953186304> 判検事の俸給は、歴史的に、弁護士にあわせて設定されてきたわけで、弁護士がこれだけ落ち込んでいる以上は、それにあわせて水準を落とす、ということに、今後なることは避けられないだろう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:15 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503546095448756224> 自分がやめたのは検事任官後12年目の途中だったが、11年目の時点で、年収が1200万円をちょっと切るくらいだった記憶。公務員は薄給、というイメージであの人達を見てはいけない。普通の弁護士よりよほど高収入。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:05 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503543650148577281> 「HERO」久利生検事の年収と恋愛 <http://t.co/JvsaPvQANo>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:29 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503549786557927424> ドラマの今やっているHEROでは、警察が検事にそんざいな口聞いてるけど、実際は、表向きは、検事さん、検事さんと立てて、おだてて、裏では「あの馬鹿検事が」と、警察内ではこきおろしたりしている。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/24 23:35 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/503551195089084416> フジテレビが、2000年11月に、自分のところに、HEROの法律監修してほしいと依頼してきた際に聞いた話では、その前に、有名なヤメ検の弁護士に頼みに行ったら、GパンにTシャツの検事なんてあり得ないと断られたということだった。笑

＃：　 以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関する郷原信郎弁護士のツイート

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 18:49 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503841590314418176> 本日保釈された藤井美濃加茂市長が、夕方、美濃太田駅北口で市民のお詫びと感謝の街頭演説　⇒ニコ生http://t.co/aJH31Wag2t 今日の名古屋拘置所前囲み取材、美濃加茂市役所での記者会見、ニコ生独占インタビュー、４番組すべてオープンで視聴できます。

リツイート）→ 　投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 18:30 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503836811496402944> RT @bengo4topics: 「美濃加茂市を焼け野原にするぞ」と警察に言われた――保釈された藤井浩人市長が会見 <http://t.co/Fl6BGmLyLJ> 美濃加茂市の藤井市長と（@HirotoMinokamo）と郷原信郎弁護士（@nobuogohara）らの記者会… 元のツイート）→　投稿者：bengo4topics（弁護士ドットコムトピックス） 日時：2014/08/25 18:18 ツイート： <https://twitter.com/bengo4topics/status/503833690321858560> 「美濃加茂市を焼け野原にするぞ」と警察に言われた――保釈された藤井浩人市長が会見 <http://t.co/Fl6BGmLyLJ> 美濃加茂市の藤井市長と（@HirotoMinokamo）と郷原信郎弁護士（@nobuogohara）らの記者会見をまとめました。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 12:32 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503746812511932418> 今日午後３時から、藤井美濃加茂市長の記者会見、ニコ生でも放映します。 ⇒http://t.co/RYDGkqb2hM

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 11:45 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503734981101760512> 藤井美濃加茂市長、午前１１時半過ぎ、名古屋拘置所から釈放。６２日ぶりに、市民と市役所職員が待つ美濃加茂市に向かっている。我々も、美濃加茂へ。午後３時から、市役所で記者会見の予定

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 07:23 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503668970574970880> 続き）【藤井市長を人質に籠城する検察】 <http://t.co/qTVw6meNEc>　でも書いたように、「人質解放」にギリギリまで必死に抵抗した検察に、裁判所が配慮したのであろう。しかし、保釈条件の下でも、しっかり市長職を務めてもらえるよう、これから弁護団で検討する。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 07:20 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503668133509341184> 【（朝日）保釈条件に市幹部との接触禁止　起訴の美濃加茂市長】http://t.co/hoiGgSEvBM　で書いているように、藤井美濃加茂市長の保釈については、市幹部を含め多数の関係者との接触禁止が保釈条件とされた。（続く

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/25 06:59 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503662819779170304> 本日、藤井美濃加茂市長、６２日ぶり釈放の予定。７時の新幹線で名古屋に向かう。 午前中に名古屋拘置所での釈放に立ち会い、午後から美濃加茂へ。保釈条件とされた市職員との接触禁止への対応等を協議した後、市長の記者会見に同席。その後、再び名古屋に。「最も長い一日」になりそう。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/24 11:35 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503370098468323328> 【藤井美濃加茂市長ようやく保釈、完全無罪に向け怒涛の反撃】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://t.co/ZOm5sA6jw9

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/23 23:22 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/503185549704695809> 藤井美濃加茂市長、昨夜、４回目の保釈請求が却下されたのに対して、ただちに準抗告していたが、本日夜、準抗告が認容され、保釈許可決定が出た。逮捕からちょうど２か月、長い道のりだったが、何はともあれ、良かった。明日は日曜日なので、保釈金を納付し、実際に釈放されるのは月曜日になる見通し。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/17 07:49 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/500776501860503555> 続き）金融機関を食い物にする悪辣な犯罪者達を叩くための捜査を尽くさず、逆に彼らを利用して、全国最年少市長を陥れようとし、誤りに気付いても引き返そうとしない「権力悪の構図」がおぼろげながら見えてきた。人質・藤井市長を、検察が自ら解放しないのであれば、“真実の力”で必ず奪還する。

#### 藤井美濃加茂市長の接触禁止３０人 という条件付き保釈に関連した弁護士の反応　2014年8月2７日のまとめ分 gblog

＃：　 以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関する小倉秀夫弁護士のツイート

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/27 02:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/504314552343752704> 被疑事実って「市長選への立候補表明後の２０１３年５月、中林社長から同社の浄水設備の設置を依頼され、その見返りとして２回に分けて現金計３０万円を受け取った疑い」なんですよね。副市長や産業振興部長、防災安全課長、秘書係長等々と口裏を合わせる云々って考える余地ないんじゃないの？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/27 02:05 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/504313721049456640> 収賄被告事件ということを考えたときに、「副市長のほか、産業振興部長、防災安全課長、秘書係長ら市職員１３人」との接触を禁止する理由って理解できないんだけど。市長としての仕事を意地でもさせないという以外には。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/27 02:01 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/504312643482435586> 現役の市長がほぼ自称贈賄側の供述だけで逮捕・勾留され、取調中に市長を辞めるように取調官に求められ、保釈されても副市長や職員らとの接触が禁止される国の大学教授から、自分に対する名誉毀損被疑事件について警察が捜査を開始しただけで「人の支配だ」云々といわれる大統領も難儀だなあ。

＃：　 以下、岐阜県美濃加茂市長の条件付き保釈に関する郷原信郎弁護士のツイート

リツイート）→ 　投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/27 08:07 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/504404740189343745> RT @1961kumachin: 郷原先生の市長保釈に関するブログで着目されるのは、郷原さんと森炎さんとの対談本が近日出版予定で、その中で森炎さんが裁判官の令状判断について「（検察官の）言いなりになるというより、むしろ、積極的に検察にもたれかかりたいという精神性」を指摘してい… 元のツイート）→　投稿者：1961kumachin（中村元弥） 日時：2014/08/24 17:23 ツイート： <https://twitter.com/1961kumachin/status/503457453975945217> 郷原先生の市長保釈に関するブログで着目されるのは、郷原さんと森炎さんとの対談本が近日出版予定で、その中で森炎さんが裁判官の令状判断について「（検察官の）言いなりになるというより、むしろ、積極的に検察にもたれかかりたいという精神性」を指摘しているという部分である。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/26 19:30 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/504214248088559616> それにしても、検察から、出し遅れの証文のように追加の証拠請求が出てくるが、凡そ証拠とも言えない「出がらし」のようなものばかり。保釈許可後も、弁護団は、明後日の第３回公判前整理手続期日に向けて、連日、立証準備に追われている。呆れるような検察証拠の中身が世間に知れる日も近い。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/26 19:27 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/504213636231860224> 続き）藤井市長を人質に「籠城」していた検察、人質を奪還されると、今度は、美濃加茂市の市政の邪魔をして「嫌がらせ」をするのか。凡そ「公益の代表者」のやることではない。今回の事件で「完全無罪」を勝ち取り、彼らに、美濃加茂市民の前で「土下座」をしてもらおう。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/26 19:18 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/504211197227311104> 藤井美濃加茂市長の保釈許可決定で、市役所職員と「接触禁止」が付いた件、証人尋問の可能性がないことが明らかな副市長、秘書係長について、接触禁止を解除する請求を裁判所に出したのが昨日午前。ところが、検察官の意見が裁判所に戻ったのが今日午後、丸１日もかけて何をしていたのか（続く

### 「平成元年司法修習終了（４１期）。平成元年検事任官。東京地検公安部等に勤務し平成１２年退官。ＩＴ企業勤務を経て現在に至る。東海大学法科大学院特任教授。」という経歴を持つ落合洋司弁護士（東京弁護士会）について

#### 「ブロック、というのは、自分のタイムラインに、くだらないツイートが紛れ込んで読みにくくなるのを防衛する措置だから。正当防衛。笑」という主に2014年8月21日の一連ツイート gblog

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー ＃：　 h-api-twitter-search.py '"ブロック" from:yjochi' の実行結果 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 18:29 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502024575350108160> 今日は、ツイートも結構したが、たまったメールをチェックしたり、書くべきものをいろいろ書いたり、仕事も結構して、その合間にかなりブロックもして、手が良く動いた一日だった。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:58 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501986644291878913> 笑いながらブロックとかしてて、顔真っ赤になんかなっとらんわ。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:54 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501985718395092992> @tipatipa 再読する価値がなく、ブロックしてしまっているのでご紹介できません。済みません。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 14:05 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501958148286988288> ブロックしながらメールチェックしていたら、手の動きが素早くなったのか、いつもより早めにメールがチェックできた。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 13:52 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501954876977315840> ブロック数なんて、手がだるくて迷惑なだけで、自慢にはならんわな。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 13:49 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501954272263540737> ブロック、というのは、自分のタイムラインに、くだらないツイートが紛れ込んで読みにくくなるのを防衛する措置だから。正当防衛。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 13:47 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501953647610044416> 人が連続してツイートしている、その中のごく一部だけ見て、的外れなことを言って来る、というのもいつものパターンだな。ブロック、ブロック。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 13:05 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501943049723711488> 今日は、ブロックが多くて手の運動になるな。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 13:01 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501942112091254784> あー、ブロックする手がだるい。手の運動にはなるが。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:52 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501939914213040128> 仕事しながらツイートして、ブロックまでするので手がだるい。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:17 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501931024117288960> 馬鹿な軍事おたくはブロックするから。笑

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー ＃：　 h-api-twitter-search.py '"侮辱" from:yjochi' の実行結果 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 18:08 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502019360580313088> 馬鹿、という言葉を使わざるを得ない場面はある。しかし、直接相手に対し馬鹿呼ばわりすることは、侮辱罪、民事上の不法行為になる。そこは切り分けないと、というのが自分の認識。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 17:14 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502005695038775296> あ、直接、馬鹿などと言ってきた人は、侮辱罪で刑事告訴するかもしれないから、首でも洗って待っててね。イスラム国みたいに首は切ったりしないけど、手錠くらいはかかるかもしれないので。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/15 08:56 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/500068497959833600> 政治家に対する批判で、キモい、では、名誉毀損にも侮辱にもならんだろう。→山本氏、テリー伊藤氏や橋下氏にも反論「いかなる名誉毀損行為も許されるのか」（スポーツ報知） - Y!ニュース <http://t.co/yOWjVJHPxV>

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー ＃：　 h-api-twitter-search.py '"馬鹿" from:yjochi' の実行結果 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 18:10 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502019790798462976> 今まで、自分も、馬鹿、という言葉をネット上で繰り返し使ってきたが、直接、特定人に馬鹿、と言ったことはないはず。ちゃんと省みてるんだよ。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 18:08 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502019360580313088> 馬鹿、という言葉を使わざるを得ない場面はある。しかし、直接相手に対し馬鹿呼ばわりすることは、侮辱罪、民事上の不法行為になる。そこは切り分けないと、というのが自分の認識。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 17:49 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502014665551929344> 自分は、特定人に向かって、馬鹿、なんて言わないし、そこまで馬鹿じゃないから。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 17:14 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/502005695038775296> あ、直接、馬鹿などと言ってきた人は、侮辱罪で刑事告訴するかもしれないから、首でも洗って待っててね。イスラム国みたいに首は切ったりしないけど、手錠くらいはかかるかもしれないので。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 16:17 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501991338884100096> だから、釣りじゃなくて、馬鹿が勝手に食いついて釣りみたいになったわけで。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:50 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501984623660789760> フォロワーが3万以上いる人が、馬鹿を釣っても仕方がない、というのがわからんかね。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:49 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501984298333777920> これだけ馬鹿が多い日本の今後が、真剣に心配になってきた。（笑）

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:30 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501979676688916480> 人が生き埋めになっている、それについて、国民が、こうしたほうがいいのではないか、こういう方法があるのではないかと、素朴に、感じたことを言うのは当然のことで、それができるかできないかは、現場の状況に応じての専門性を踏まえた判断によるだろう。そういうことがわかっていないから馬鹿。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 15:20 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501976961426935808> 釣りの意図はなかったが、馬鹿がいっぱい釣れちゃったな。何のメリットもないが。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:48 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501938773559500801> 馬鹿な軍事おたくと話している暇はないので。今も、ツイートだけしているわけではなく、仕事中。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:38 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501936376422469634> 馬鹿な軍事おたくも、兵力の逐次投入が良くない、というのは知ってるよな。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:23 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501932493319065600> 未明に被害が出て、今はもう昼過ぎているのに、現場の映像に自衛隊員の姿がない。それを見て、国民の一人として、自衛隊をもっと早く大量に投入してほしい、生存者を救助してほしいと思うのは当然。それがわからない馬鹿な軍事おたくは、どこかで蝟集して専門馬鹿の話でもしてろ。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 12:17 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501931024117288960> 馬鹿な軍事おたくはブロックするから。笑

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー ＃：　 h-api-twitter-search.py '"情報弱者" from:yjochi' の検索結果 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー 投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 16:30 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501994646831001601> 情報弱者、という言葉をどこかで覚えて、誰かに使ってみたかったのかな。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/20 16:27 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/501993831022092289> この自分が情報弱者ねー。笑える。情報弱者なんて、なかなか言ってもらえないので新鮮。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

### 1981年から日本弁護士連合会（日弁連）が人権擁護委員会内に「袴田事件委員会」を設置し弁護団を支援したという所謂「袴田事件」について

#### 2014-08-31Twitter　／　検索　-　袴田事件　from：HideoOgura.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/06/18 20:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/479224417323470848> まあ、そういう事件もある。袴田事件とか。RT @dee\_nack: 何？死刑判決は裁判官のせいなの？くっだらね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/14 19:59 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/455661626704662528> 袴田事件って、かなり早い段階から、日弁連が自信を持って冤罪だといえる事件だったのに、なんで裁判官たちは必死にかばおうとしたんだろうね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/12 12:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/454823539585978369> 袴田事件の弁護とか、たぶん赤字でしょうし。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/03 02:10 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/451406438015848448> もちろん、袴田事件のような冤罪事件において採算度外視して弁護活動を行うなんて、借金まみれの若手弁護士には期待してはいけませんよね。RT @amkud: また一般の国民からしても、初年度から企業法務で大金を稼ぐ弁護士も全部まとめて給費制という違和感がなくなるでしょう。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/03/28 14:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/449425383104868352> 多数の人を長い間信じ込ませる捏造という意味では、「ゴッドハンド」にかなう人はいない。袴田事件の場合、途中でばれていたので。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/03/28 10:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/449352208560050176> 袴田事件の場合、ほとんどの専門家は冤罪であると確信していたのに、長らく救済されなかった点でも特殊ですね。RT @lawkus: @dee\_nack 袴田さんの場合は死刑確定囚として過ごした歳月なので、単に拘禁期間の問題でもなく、やや特殊ですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/03/28 09:51 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/449348065548566528> 袴田事件って、日弁連が確信を持って冤罪だと言い切っている事件の一つですからね

#### 2014-08-31Twitter　／　検索　-　袴田事件　OR　袴田　from：motokentw.txt POST

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/05 21:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/496637643904385025> この件、もっと突っ込んだ報道をしてほしい。＞袴田事件、衣類５点写真ネガ存在　検察側、従来説明を謝罪　 - スマホ版 - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/3T5Y34RoPx>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/21 07:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468886205828825088> 袴田事件:４８年　「捏造」生んだ「信念」　「犯人視」捜査記録明記 - 毎日新聞 <http://t.co/mzF3uWunlX>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/31 19:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/450584627120709634> 昔からの悪い癖ですね。立場上せざるを得ない、と考えてるのかも知れませんけどね。RT @nan5o: 袴田さんの再審開始決定に即時抗告　静岡地検 - (<http://t.co/tp7zfN3pJf>) <http://t.co/lyZjAwP5qS> いつまで検察はがんばるんでしょうか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/29 17:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/449825360712982528> 「Ｂ」という表示はが何を意味するのかは、当然捜査が尽くされるべき事項で、それなしで縮んだと認定した裁判官は犯罪的だ。＞「刑事司法の理念からは耐え難い不正義」――袴田事件で再審開始＆釈放を命じた決定を読む(江川 紹子) - <http://t.co/OjyLDksPtM>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/29 17:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/449818683469070336> 警察、検察、裁判所の共同正犯事件だ。＞「刑事司法の理念からは耐え難い不正義」――袴田事件で再審開始＆釈放を命じた決定を読む(江川 紹子) - Y!ニュース <http://t.co/OjyLDksPtM>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/29 17:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/505271464509964288> 被告人が「偶然○○した」と言った場合、それを信じる裁判官も検察官も殆どいない。＞開示ネガは「偶然発見」　静岡県警釈明　袴田事件（朝日新聞デジタル） - Y!ニュース <http://t.co/dyWz760TDO>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/29 13:53 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/449771297325608960> 袴田事件を契機にして冤罪を語ると、袴田事件のことだけを念頭において批判する人がいる。しかも報道されたことを鵜呑みにして。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/28 09:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/449345093611171840> 筋の問題ではないでしょ。RT @tokunagamichio: モーニングバード：ヤメ検大澤孝征弁護士が「袴田再審決定で検察が即時抗告するのは筋が通っているんです。一審、二審、最高裁で死刑判決を受けた事案ですから、その判決の重さに対して検察は抗告するわけです」というようなことを言

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/27 18:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/449109868142927872> 本当に予想外だったのなら検事としての資質が問われるんじゃないかな。RT @jijicom: 再審開始「予想外」＝袴田事件で静岡地検 <http://t.co/ueJBaEmoOX>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/27 10:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/448995429766557696> 確定してから30年以上執行できない死刑判決というだけでおかしな事件と見るべき。報道されるたびに疑問だったのは、ズボンというのは味噌につかるとそんなに縮むのか？縮むという証拠があったのか？＞袴田事件:再審開始を決定　静岡地裁 - <http://t.co/78LnZBzxjj>

#### 2014-08-31Twitter　／　検索　-　袴田事件　OR　袴田　from：yjochi.txt POST

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/04/07 20:35 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/453133884629069824> 自分のコメントも。→【袴田事件の即時抗告審】 高裁、１年以内に判断か　ＤＮＡ再鑑定が焦点 : 47トピックス - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/jRzaNhZwXw>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/04/03 19:39 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/451670343577370624> 袴田事件の､味噌タンク内の衣類は、警察がでっち上げた可能性とともに、真犯人が工作した可能性もありそう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/04/02 00:31 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/451019002425257984> 【袴田巌さんの再審請求】　苛烈極めた取り調べ　虚偽自白、生まれる背景 <http://t.co/6rzFJ0DM0L>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/03/28 15:48 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/449437776602497024> CNNで、袴田事件について報じていた。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/03/27 11:03 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/449003805779058688> 袴田事件の再審開始決定を導いたのは、やはり、証拠開示だろう。再審を含む、あらゆる段階の、証拠開示制度強化の必要性を感じる。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2013/11/23 15:06 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/404128730781478912> この点はアリバイにはならないだろう。再審に特にプラスにならないと思う。→袴田事件:弁護団の新証拠、地検「影響なし」−−再審可否　／静岡 <http://t.co/cZYDfbsvMo>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/12/07 12:32 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/11986480272515072> 袴田事件で地検が新たに証拠開示　弁護側は補充書提出　静岡 <http://bit.ly/ee0KLA>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/02/14 23:21 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/9099337112> 私が静岡地検にいた当時の静岡県警は、かなり慎重だったが、島田事件や袴田事件の反動があったのかも。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/02/14 23:10 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/9099013308> 袴田事件も難事件。

#### 2014-09-01Twitter　／　検索　-　袴田事件　OR　袴田　from：amneris84.txt POST

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/05 21:53 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/496640097341566976> なんだ、これは…。検察は今まで隠してきた証拠を出してきて反論、と発見→Reading:「袴田事件」で新たな証拠隠し　NHKニュース <http://t.co/5BLLgJMZC4>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/30 15:02 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/505596496788471809> 〈心底驚いているのは、袴田事件で即時抗告した検察の対応だ。「到底理解できない。日本の刑事司法の問題点が、この事件に凝縮されている」〉と　→（ひと）デビッド・ジョンソンさん　日本の刑事司法を研究する米国の社会学者 - 朝日新聞 <http://t.co/6F5hIP9aTZ>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/07/09 12:09 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/486708813492269057> 袴田事件についての２冊。いずれも、わらしが解説を書いてます。 <http://t.co/aZXgI9PuoN>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/06/13 23:07 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/477452209517785089> 解説はわらし → RT @KPf\_M: 尾形誠規『美談の男』は、『袴田事件を裁いた男—無罪を確信しながら死刑判決文を書いた元判事の転落と再生の四十六年』と改題の上、朝日文庫から出版されたのですね。 <http://t.co/vDy9N0a4fV> #fb

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/04/22 22:33 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/458599399535296512> 袴田さんの姉の秀子さんは、「２度と起きないようにしてほしい」と　→Reading:袴田事件教訓に証拠開示など要望　NHKニュース <http://t.co/NJZQuhdC91>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/04/16 00:00 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/456084681939623937> 袴田事件の袴田さんへの補償額がいくらとか書いてるサイトがあるが、何を考えてるんだろ…。まだ再審開始が確定したわけでもなく、何の補償のあてもないまま、入院費も生活費も必要で、多くの人のカンパを呼びかけて基金を作ろうとしている時なのに。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/04/10 14:12 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/454124663837175809> 昨日の段階でも、お姉さんのことが分かったり分からなかったりする状態、とのこと。治療にも、再審実現にも、まだまだ時間がかかりそう…　→【ご寄付のお願い】袴田巌さんのための募金 <http://t.co/mduFpSOVVl> #rblog

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/04/04 01:07 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/451752892899160064> これまで、弁護人が証拠を報道関係者に提供して国民に事実を知らせることを、検察は「証拠の目的外使用だ！」として圧力をかけてやめさせるようにしてきたが、袴田事件で捏造証拠の隠蔽すら疑われている検察が、弁護人をそうやって攻撃してきたら、どうゆうことになるのか…。酷刑ですらあるにゃ。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/31 20:32 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/450596415991840768> 袴田巌さんを支える袴田救済ファンドの募金先は、 ゆうちょ銀行　二三八支店　普通３８３３３９１　名義人：岡島順治 郵便局から振り込む場合はこちら↓ 記号：１２３５０　番号：３８３３３９１１　名義人：岡島順治 （番号が似ているけど違うので気をつけて！）

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/31 20:29 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/450595697482403840> 袴田巌さんは入院ちぅ。退院しても、とても働ける状態ではないことは明らか。再審公判で無罪になり刑事補償を受けるまでは相当の時間を要する間、その生活やリハビリを支えるために、弁護団が袴田救済ファンドを作り、募金を呼びかけている。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/30 21:14 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/450244696095211520> 「私は母の悲しそうな姿が忘れられず、弟を支援することが親孝行だと思って活動してきました」と。 長く支援を続けてきた人たちに心からの敬意を表したい　→Reading:袴田さん支援集会 姉が感謝　NHKニュース <http://t.co/3glFxTfcnA>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/29 12:50 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449755476150861824> 20日には記者の問いに「話すことはありません」と答えていた　→袴田事件:被害者長女が死去 - 毎日新聞 <http://t.co/LwR7zaTtGY>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/29 12:48 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449754949107216384> 激同　→〈今回の再審開始決定を書いた村山コートの慟哭と気概を、私たちは汲み取り、刑事司法制度の本当の改革に向けて一歩を踏み出すべきである〉と→　袴田事件再審開始決定が明らかにした日本の刑事司法の闇をどう突破するか <http://t.co/HsqLEZYQv3>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/29 09:28 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449704644969648128> ですね RT @taky5566: 検察が今回の裁判所の決定を受け入れないのは、 『検察の理念』が絵に描いた餅で終わっていることを示す。看過できない。 → 袴田事件で再審開始＆釈放を命じた決定を読む（江川 紹子）- <http://t.co/E2XYjWq7Qo>"

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/29 00:17 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449565863406891008> Yahoo!ニュースで記事を公開しました。 「刑事司法の理念からは耐え難い不正義」――袴田事件で再審開始＆釈放を命じた決定を読む（江川 紹子）- Yahoo!ニュース <http://t.co/E2XYjWq7Qo>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/28 13:17 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449399874979495937> 証拠どころか事件そのものをでっち上げた志布志事件、検事の証拠改ざんを組織ぐるみで隠蔽した郵便不正事件を経てなお「想定外」？　→袴田元被告　異例の即日釈放　捜査を全面的に否定（産経新聞） - Y!ニュース <http://t.co/sl2V3j675y>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/28 13:01 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449395781405900801> 【「袴田事件」再審決定　参加新聞社の社説（４）】　日本の刑事司法制度の構造的な問題を浮き彫りにした : 47トピックス - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/tLfDQv080Y>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/28 13:00 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449395690880241664> 【「袴田事件」再審決定　参加新聞社の社説（３）】　苦難と忍耐はまさに想像を絶する : 47トピックス - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/6lunKryYjy>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/28 13:00 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449395624333430785> 【「袴田事件」再審決定　参加新聞社の社説（２）】　裁判所が自ら言及した通り、「耐え難いほど正義に反する状況」である : 47トピックス - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/eC23ZE901V>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/28 12:59 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449395411409584129> 【「袴田事件」再審決定　参加新聞社の社説（１）】　捜査から起訴、裁判に至るまで、人権や正義がないがしろにされたことを裏付けている : 47トピックス - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/vj6L7ySp1C>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 23:38 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449193815295803392> あのね、袴田さんやお姉さんと喜びを分かち合ったり、これまでのことや今後のことを語り合ったりするのは、長年、本当に長年彼らを支えてきた弁護団だったり支援者だったりするわけですよ。今日の決定が出て、あたふた動き始めた番組じゃなくて。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 22:42 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449179770824060928> さっきのメーリングリストの話で、どどっと涙腺決壊。袴田さん、ゆっくり自由に慣れてね。それにしても、拘置の執行停止をつけたのは村山裁判長らの英断だった。一般の人には当たり前に思えるだろうけど、とにかく初めてのことをやるのは大変だと思う。とかく、裁判所という機構の中では。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 22:29 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449176369457410048> 「なくせ冤罪！市民評議会（SNOW）」のメーリングリストで釈放後の袴田さんの様子が伝えられている。車で宿泊先に向かう途中、車酔いで休憩。少し周囲を歩いた時に、同行した弁護士が「自由に歩けるでしょう、釈放されたこと分かりますよね」と言うと、「有難う」と一言言われた、と。涙出るにゃ…

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 16:54 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449092004224319489> 検察側は静岡地裁に拘置停止を職権で停止するよう求めたものの、地裁は職権発動せず、と。ゴビンダさんの時と同じパターン。袴田さんが病院で診察と治療を受ける段取りも整った、とのこと。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 16:48 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449090457209810944> 【速報】袴田巌さん、本日中に釈放の見込み。検察も釈放の手続に入ったもよう。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 14:44 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449059339970437120> 〈捜査機関の違法、不当な捜査が存在し、又は疑われる。国家機関が無実の個人を陥れ、４５年以上にわたり身体を拘束し続けたことになり、刑事司法の理念からは到底耐え難いことといわなければならない〉（袴田再審決定より）

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 13:46 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449044675488280577> ４）なっている以上、あり得ないなどとしてその可能性を否定することは許されない〉（袴田再審開始決定より）

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 13:45 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449044606907195392> １）〈証拠が後日ねつ造されたと考えるのが最も合理的であり、現実的には他に考えようがない。そして、このような証拠をねつ造する必要と能力を有するのは、おそらく捜査機関（警察）をおいて外にないと思われる。警察は、袴田を逮捕した後、連日、深夜にまで及ぶ長期間にわたる取り調べを行って…

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 12:44 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449029233495396352> 検察は、袴田事件の静岡地裁決定について対応する前に、自ら作った『検察の理念』を読み直すべし。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/03/27 12:33 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/449026318416371712> 白鳥の「疑惑の銃弾」もあるにゃ RT @thatta0529 冤罪三大捏造証拠―「袴田事件　味噌樽の犯行着衣」（再審開始決定）、「狭山事件　鴨居の万年筆」（再審請求中）、「高知白バイ事件　バスのスリップ痕」（再審請求中）

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/01/14 14:57 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/422970783082610688> 「「袴田事件」 早期再審求め７万４千人分の署名提出」　News i - TBSの動画ニュースサイト <http://t.co/jdqV6tE4qW>

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/01/13 17:41 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/422649565284544512> 今日の袴田支援集会は、布川事件の桜井昌司さんと杉山卓男さん、死刑再審の免田栄さんに赤堀政夫さんが話をしたのに加え、ネパールからゴビンダさんが、カナダからルビン・ハリケーン・カーター氏がビデオメッセージを届けるという豪華版…ってゆうか、国際色豊かなもので、充実していた。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2013/12/08 13:38 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/409542545580904448> 無実の死刑囚を救え！集会にゃう。名張毒ぶどう酒事件と袴田事件の裁判所の判断は間違っている、と語る大出良知東京経済大学教授の講演にゃう。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2013/11/18 07:01 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/402194746157703168> 検察が主張に反する証拠類を隠していたからでせう RT @iQQu\_1420 ”袴田死刑囚、「出火直後、寮に」　元同僚証言　http://t.co/4yOPQnnEUh ”　どうして同僚の証言がいまごろ出てくるのか…

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/04/29 20:56 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/196568546673819649> 【本】『美談の男』（尾形誠規）を読了。袴田事件の主任裁判官として死刑判決を書きながら、後に無罪の心証を抱いていたと告白して、良心の人と脚光を浴びた人の人物像に迫ろうとした作品。メディアはシンプルな物語にして伝えがちだけど、人間って、そんな単純じゃないよねってことをしみじみ。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2011/12/05 09:25 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/143486022666293249> 検察は変わってないな。真実や正義より、自分たちの面子と確定判決が大事、と　"@mitsuya\_niwa: 袴田再審請求：検察、弁護側証人呼び出し…批判され撤回 - 毎日ｊｐ(毎日新聞) <http://t.co/cAhhOFqt> "

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2010/10/24 14:57 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/28570353067> @motoken\_tw 裁判所が「冤罪と認める」ことを拒否したケースでも、多くの人々が「冤罪と認める」事件がある。帝銀事件、狭山事件、袴田事件、名張毒ぶどう酒事件…。足利事件や布川事件も、裁判所が「冤罪と認める」に至るまでにはすごく時間がかかった。裁判所の認定が正しいとは限らない

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2010/07/22 13:19 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/19227432847> 今朝の東京新聞特報面。金沢地検が無罪論告をした窃盗事件で、物証に関する杜撰な捜査を検証。他にもDNA型データベースの利用を誤って別人の逮捕状を取ったり（神奈川県警）、無関係のペルー国籍の男性を誤認逮捕したり（茨城県警）、物証の扱いをめぐる問題続出、と。袴田事件にも触れている

### 検察官が開示した証拠に係る複製等の目的外使用の禁止（刑事訴訟法２８１条の４）について

#### 2014-09-01Twitter　／　ジャーナリスト江川紹子さん（@amneris84）の「証拠の目的外使用」に関するツイートのまとめ.txt POST

### 国選弁護制度及び国選弁護人に対する弁護士の意見と、現状認識について

#### 2014-08-21小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）の2014年8月15日から同月21日の歴史認識と社会観、そして国選弁護制度に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/21 01:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/502127067803045888> 私も、若いころはそれなりに国選もやりましたよ。東京の場合は、控訴審も上告審もやろうと思えばできましたしね。ただ、そうやって、刑事弁護の経験値を分散していくのが本来よいことなのかは問題なんですよね。国選の報酬水準が安すぎるので「負担はみんなで分担」みたいな感覚でいたわけですが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 23:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/502092898746109952> つまり、探すなと？RT @Tuba56: 小倉さんは、損害を被ったと考える者はその損害の回復のため相手方の人格権を制限する権能を持ちうるとお考えなんですか？ RT @hideo\_ogura: 万引きの犯人に対しては、目的物の返還請求権や損害賠償請求権を行使しうる立場に店舗側はあ

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 22:28 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/502084716078452736> 憲法肯定。人権肯定。平和肯定。安倍首相批判。RT @sakaima: 実に簡潔でわかりやすい。他にもあるかな？ RT @gen177 炎上のコツは「上から目線」「マジョリティ否定」「若者dis」「紋切り型の説教調」です。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 18:42 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/502027766636634112> 万引きの犯人に対しては、目的物の返還請求権や損害賠償請求権を行使しうる立場に店舗側はあるので、犯人がどこの誰なのかについての情報を求めるための防犯映像の公開って、法的にも正当化されそうには思うのですけどね。RT @sakaima:自救行為の禁止っていう原則があってこうなるわけだよ

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 16:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501992948221747200> まんだらけの件で昨日報道ステーションから電話取材があったけど、結局、使われなかったようだ。それはいいんだけど、結局、どういう論調の人のコメントが採用されたのだろうか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 16:20 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501992093233860609> その点に関して池田さんを超える人がいるのだろうか。RT @scg\_asami: 落合弁護士という人がブロック数を自慢気にツイートしてるけど、竹野内真理さんの足許にも及ぶまい。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 15:47 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501983729313525762> 日弁連も法科大学院も、弁護士の新しい活動領域の開拓なんて確度の低いことを目指す前に、ボランティア領域の生業化を目指した方がいいんじゃないかなあ。法科大学院の教授陣だって、「国選弁護報酬をもっと引き上げろ」というロビー活動に参加することくらいできますよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 13:39 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501951631424892928> まあ、ヤメ検とはいえ、現役の弁護士が、殺意を持つことを規制する方が問題だという見解を許容できない時代ですからね。RT @tarareba722: 面白かったし説得力もあった。ただ「どぶろっく」はとばっちりではないか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/20 11:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501913298543976449> とりあえず、次の日弁連会長になる人に望むことは、国選弁護の専業化が可能となる程度に報酬水準を引き上げることですね。手を抜かずに、それでいて（ボランティア枠ではなく）生業として成り立つラインがいかほどか、現場は判っているわけではないですか。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/08/19 13:54 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/501592917928976384> 医師の過疎地対策→国や地方公共団体がお金を出して招聘 弁護士の過疎地対策→弁護士がお金を出し合って公設事務所を設立

お金のない人への医療サービス→健康保険制度。健保の報酬基準で経費は償える お金のない人への法律サービス→国選・扶助。赤字のリスク高い。弁護士の持ち出し。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 10:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501539804379484160> 国選弁護というシステム自体、GHQにより押し付けられたものだとして敵意を抱いている愛国者様がいても不思議ではないよね。江戸しぐさ的には、自白の任意性など問題にする方がおかしいわけで。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 09:10 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501521451988443136> 「弁護士どもは、いくら叩いても、きちんと国選弁護をこなすはずだ。奴らは、処遇を引き下げれば、国選を諦めるより、国選で手を抜くより、ホームレスとなり、あるいは成仏する道を選ぶはずだ」という前提で司法改革を進めていけばいいんじゃないですか。弁護士法上、国選受任義務はないんですが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 08:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501517447703187456> この種の弁護士に対して無駄に敵対的な意見に引きずられた状態で司法改革を行ったわけで、上手くいかなくなるのは当然ですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 08:52 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501516918650462208> たぶん、事務所維持費用も出ませんけど、きっと「流しの弁護士」を想定されているのですね。RT @ahiru119: @Hideo\_Ogura @YYOI 往復1時間、接見4時間でも十分な儲けですね 専門分野に特化した人がいるから誰でも弁護人になれるようにすれば訴訟は安くなるのに

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 08:50 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501516588701331457> 警察署はそうでもありませんね。RT @ahiru119: @YYOI 県内だよね 警察署、拘置所、裁判所は便利な場所にある少額の電車賃は微々たるもの まあ、30分8,000円とか訳のわからん価格で金銭感覚が麻痺してるのでしょう #弁護士 は

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 06:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501488026975883264> このような人たちがいるおかげで法律扶助予算は、低額のままなんだろうね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 06:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501487850181758976> 現在、民事法律扶助を受けられない人は、民事法律扶助を受けるのにそもそも値しないと言うことですね。RT @Tuba56: 被疑者国選弁護制度の勾留段階全件への拡大もされる方向ですが、他に何が足りませんか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 06:55 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501487471956205568> 接見場所への往復時間こみで2.5万円で元が取れる時間だけ接見すれば十分ですよね。RT @ahiru119: @Hideo\_Ogura @YYOI 接見するだけで1回2.5万、時給5万円 公判1回で2.5万、時給8,000円、おいしい仕事だけどな 複数持てば高給取り、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 02:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501413260227133440> 形式的な手続だけちゃんとこなせばそれ以上のことはしなくても違法とはならないと言うことを明確化した上で、国選弁護を競争入札にかければ、もっと税金は節約できるでしょうね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501412558834638849> 実のところ、国選弁護人に就任した弁護士が、事前に接見し、事前に訴訟記録を検討し、そのために一旦自腹を切って訴訟記録を謄写することは、明文化された義務とまでは言えないよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501411868141842432> 「国選弁護人には、刑事訴訟法に定める手続を進めるのに必要な限度で仕事をしてもらうことしか期待しない。それ以上の活動を趣味の一環として行うのは自由だが、行わなかったとしても違法とはならない」という風なルールに変えるのは一つのアイディアだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:50 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501410799265402880> まあ、そういう意味では、国選なんて、黒字化するために徹底的に手抜きをする弁護士に任せておけばいいんじゃないかと思わなくはないですね。「安かろう、悪かろう」を認めれば良いんですよ。RT @kamemura2: 正常な競争が行われている業界では、ブルーオーシャンなんて長続きしないもの

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501409521231593472> 憲法上は、全ての被告人に弁護士による弁護を受けさせる義務を国が負っているのであって、弁護士が義務を負っているわけではないので、国選専門では事務所経営が成り立たないような報酬水準にしてはいけないんだと思うんだけどね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:35 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501407002052935680> で、これって、いざ自分が国選弁護人に弁護してもらうような羽目に陥ったときに困ることになるんだよね。検察官と比べて圧倒的に刑事裁判経験の少ない人が国選弁護人に付いてしまうリスクを高めているので。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:33 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501406506021953538> 診療報酬って、普通に患者が入って回っている診療機関なら、設備投資のために行った借金を返済するなどした後に相応の報酬を医師たちに残せる程度のラインに設定されているのに対し、国選報酬って、そういうことが可能なラインに設定されてませんからね。RT @ericcarpton7

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501405648844644353> 生活費はアルバイトで稼ぎ、いざ必要とあらば採算度外視して働けばいいのだと言われたって、そんなところに人材は集まらないよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:27 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501404962140585985> そんなことはないよ。RT @kamemura2: @Hideo\_Ogura そもそも○○一本でやっていける業界のほうが珍しいと思うよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:24 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501404207220391937> そもそも学生時代、民法系より刑法系の方が好きだった人たちって、結構多いんだから。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:22 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501403762481577985> 国選報酬が十分に高ければ、国選を中心として、刑事弁護専門の弁護士が育っていったはずだと思うんだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:18 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501402666560282624> 医師は保険診療一本でやっていかれるのに、弁護士は国選一本でやっていけないというのは不自然なんだと思いますよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/19 01:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501402037611806720> つまり、今法律扶助の枠から外れている人は枠から外れたままでよいと？RT @Tuba56: 法テラスで民事刑事合わせて350億円超の予算でもまだ増額要求しているんです

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/18 12:53 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/501215231519899648> 【江戸しぐさ】判決言渡しに際して、常に主文を後回しにし、且、判決理由を述べる際には、片肌を脱いで啖呵を切りながら、被告人の弁解を排斥する。まれに、証人等に対して刑の言渡しを行う。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 17:31 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500922916700028929> 「あなたのお気に召さない法律は全て違憲無効ですよ。ああ、そういう判例が作れるのであれば、弁護士は喜んで無償奉仕しますよ。そのために餓死したとしても喜んで成仏するはずです」と言っていれば、感情を害さずに済みましたね。RT @marco11: 人間には感情がありますから、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 17:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500922262195679232> 弁護士が、被疑者のために働くか、被害者のために働くかは、どちらから依頼されたかによるんですけどね。「被害者のために働く弁護士が少ない」と憤る人たちって、被害者に対して率先して「あなたのために無償で奉仕させて下さい」と弁護士が申し出ることを当然の前提としているよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 16:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500902272130224128> 「でもね、法律はこうなっているんですよ」→「お前が、俺様の希望に添った判例を作ればいいじゃないか！えっ、俺様のために判例も作れないのか！子どもに寄り添う弁護士は岡山にはいないのか！！！」みたいな話か。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 16:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500900686096125955> まあ、無駄なことのために他人にただ働きをさせようとしていたと。RT @kanmin765: 人を馬鹿にして楽しむのは悪趣味。 あのさぁ、今まで「実情に沿った判例が無い」なら作る。それ意外ないだろ？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 15:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500899323949760512> どこぞの弁護士がやってきて、「わかった。今すぐ、議会を武力で占拠して、民法798条但書を過去に遡って無効化する法律を作らせるから、待っているんだ」と約束してあげればよかったのですか？RT @kanmin765: では、弁護士に助けてもらえず子どもが自殺すればよかったんですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 15:50 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500897437825773568> で、子どものために餓死することを辞さない弁護士が現れるまで、弁護士を罵り続けるのですね。RT @kanmin765: 貴方は弁護士を雇う金が無い奴には人権は無くて仕方ないと同じ意味を言ってるじゃん？現場を知ってても中を変えようともしてない人だし、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 15:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500884836433674241> 弁護士法1条は、弁護士に餓死するまで無償で働くことを義務づけたものと読むわけですか。RT @kanmin765: あるえ？ 「社会正義より金が〜」ってさっきのO弁護士は言ってたが…弁護士法の弁護士の使命を毎日声を出して読んだ方がいいん違うか？ と思いっきり弁護士法を読んで思ったわ

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 12:10 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500842115757113345> 平成の司法改革の時は「知り合いに弁護士がいない」人が多いので大幅に増やせという話になったんだけど、それって、「知り合いならただで相談できる」という以上の意味はないよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 12:01 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500839769606090753> そのうち、16歳の子どもが「お金ないけど、部屋貸して下さい」といってきたときにこれを断ると、「不動産業者らは、お金がない人間には、路上生活せよというのか。子どもによりそう不動産業者はいないのか」というクレームを受けるようになるんだ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:55 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500838209220141057> 「偉いですね」と言っているのですよ。RT @kanmin765: 間接的にですが私をバカにするのは良いんですが、私の担当弁護士を侮辱までしますか？ 貴方本当にふざけるのもいい加減にしなよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:48 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500836523449651200> 仮に慰謝料額として30万円認容されたとして3万円かぁ。3万円でフルスペックの訴訟を引き受けていたら、餓死路線ですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:46 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500835934510649346> そこで認容される「弁護士費用相当損害金」しか支払わない約定で引き受けてくれる弁護士さんって偉いですね。RT @kanmin765: あなたの考えるような単純な養子縁組無効確認では無いので。慰謝料請求を行うか考慮中とだけ言って起きます。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:30 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500832041236062211> 不法行為に基づく損害賠償請求が認容された場合に認容額の1割程度が「弁護士費用」として加算されるだけです。RT @kanmin765: 「敗訴者負担制度」はかざりだと。了解しました。 ネットでは民事が多いですが相手方の弁護士費用も取れている例も多いですが気のせいなんですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:28 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500831589677293568> で、弁護士の数を大幅に増やせば、リアルに霞を食って生きていかれる弁護士が出てくるだろうって期待したわけだよね。まあ、出てこないんだけど。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:27 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500831335162712066> 「お金がないために弁護士による救済が受けられない人がいる」問題の解決策って、この国ではひたすら「弁護士がもっとただ働きすれば良い、弁護士が所得を減らせば良い。弁護士が食えなくなることを覚悟すれば良い。」ということで図ろうとしてきたと言うことだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:22 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500829966196408321> そこでいう「訴訟費用」に弁護士報酬は含まれません。RT @kanmin765: 裁判に関する費用は、相手方持ちとすることができますよ。相手の資産とかにもよりますが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:18 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500829061812211713> 「お金のない子どもたちの役に立つことができるのだから、それで餓死したとしても本望ではないか」と言われても、なかなかそういう人材は見つかりません。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:17 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500828721930989569> 「とにかく弁護士がただ働きすれば済む話だよね」ということで法律扶助予算の大幅な増額を拒み続けた以上、弁護士のボランティア枠を外れた部分は救済されずに残るのは致し方ないことであり、それで弁護士が責められてもどうにもなりません。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500828231214190593> そういう制度にしなかったのは国民の意思です。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:14 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500827896865226753> 結局、岡山の弁護士が、民法797条1項の違憲無効訴訟をボランティアで引き受けなかったのが問題だと言うことなのだろうか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500826626846760960> 彼の言う「子どもによりそう弁護士」って、「こどものためにただ働きをする弁護士」ってことだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500826040592125952> 法律扶助予算を飛躍的に増額せよなんて話は、弁護士会はずっとやっていますよ。でも、「弁護士が持ち出しで対処すれば良いよね」という皆様のおかげでこれを果たせないだけで。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:04 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500825438302662658> でも、「食券をまずお買い求めいただきませんと、料理をお出しすることはできません」と料理屋が言っても、「あなたたちは、お金のない人間は飯を食うなと言うのですね」とはたぶん言わないんですよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 11:01 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500824716517466112> つまり、あなたは、弁護士にただ働きを求めているわけですね。RT @kanmin765: .@Hideo\_Ogura あなたの言う通りなら人権を損なわれた人を助けないでも良いって。その菊に天秤のバッチは示してると言うことですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500824032665538561> ここのところは、高橋宏志先生の薫陶を受けた東大ロー卒の弁護士に、「ひたすら無償で事件を引き受けてついに成仏する、新時代の弁護士」を目指していただきたいところです。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500823703232319491> お金のない子どもたちのために無料で食事を提供してあげなくても飲食店は「お金持ちしか相手にしない」とは言われないのに、弁護士はただ働きをしないと「お金持ちしか相手にしない」と言われるんだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:51 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500822151746695169> でも、「困っている人のためにただ働きする弁護士」に、無償で住居・事務所を提供する大家も、無償で飲食物や衣服を提供する店舗も、無償で電気ガス水道等を提供する企業もないんですよ。RT @kanmin765:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:49 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500821569472442368> 「私たちのためにただ働きしない＝金持ちしか相手にしない」と言い換えれば良いですか？RT @kanmin765: すげー飛躍w としか言えない。他にも同じ悩みがある人がいると言う考えに行きつかないのか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:47 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500821287107710977> いきません。それで何とかできるならとっくに何とかしています。RT @kanmin765: 「六法」を駆使して、制度をもっと利用しやすくする方向にはいかないんですね。@HideoOgura

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:47 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500821067779162114> で、弁護士に恨み言を言ってお終い。RT @kanmin765: 本気で法務省とか管轄省庁に「六法」を駆使して訴えないからでは無いですか？ 訴える力が足りないからですよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:46 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500820905413447681> だって、「現行制度の枠内で弁護士による救済が受けられないのは、お金を払ってくれる人のためにしか仕事をしない弁護士が悪い」で終わってしまいますから。RT @kanmin765: 本気で法務省とか管轄省庁に「六法」を駆使して訴えないからでは無いですか？ 訴える力が足りないからですよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500820584511442945> で、「俺のためにただ働きしない弁護士は、金持ちしか相手にしないんけしからん弁護士だ」という考えを国民が捨てない限り、枠は増えません。RT @kanmin765: 本気で法務省とか管轄省庁に「六法」を駆使して訴えないからでは無いですか？ 訴える力が足りないからですよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:43 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500820136110989315> 「六法」を駆使しても、制度の範囲を超える扶助は受けられません。制度の範囲を変更するのは政治の役割であり、弁護士だけが声を上げても何も変わりません。RT @kanmin765: 本気で法務省とか管轄省庁に「六法」を駆使して訴えないからでは無いですか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:41 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500819666571247618> まあ、たまにいますけどね。「俺はこんなに困っているのだから、ただでやれ。印紙代もお前が出せ」と言ってくる人って。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500819448509374465> 「私のためにただ働きをしない」＝「金持ちしか相手にしない」なんですね。RT @kanmin765: 小倉弁護士は金持ちしか相手にしないと言う認識に私の中ではなった。 この人は国選もやらないだろうな。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:37 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500818692502863872> あなたのためにただ働きしなかった岡山の弁護士が悪いということですね。RT @kanmin765: 養父・実母とは一切暮らして無いのに親権だけ濫用される現実を壊したかった。 そんな未成年の依頼人を以前岡山県弁護士会は見捨てた。 これ以上でも以下でも無い。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:35 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500818164066689024> 法テラスに対する要求なんて弁護士はずっとしていますよ。でも、皆様が「弁護士がただ働きし、費用も自分で負担すれば良いよね」ということで予算増額に消極的だから、何も動かないんですよ。RT @kanmin765: 「必要だから法テラスにカバーしろ！」と訴えるのではなく…ふるい分けて、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:32 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500817458920316928> 相手方の裁判所での期日に出廷するための旅費も日当も請求しない弁護士が玉野市にいなかったことが問題なわけですね。RT @kanmin765: 因みに家裁事件は相手方の裁判所で行う原則なのはご存知ですよね？ 自分の場合新幹線で3時間かかる上に医療問題があるから自庁処理を行うしか無いが

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:30 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500816918006079490> つまり、あなたのために採算を度外視してくれなかったことを恨んでいるわけですね。RT @kanmin765: そこだよ、イレギュラーだから断る。じゃ、弁護士様とか嫌味になるんだよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:26 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500815925361135617> 法テラスがカバーしない部分は、ひたすらボランティアの無償労働で働けということですね。RT @kanmin765: 話がちげーよ、弁護士がもっと児童に身近になれ！ってことだよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:25 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500815712999333888> そりゃ、予算が乏しいんだから、イレギュラーなケースまで完璧にはカバーできないでしょうね。で？RT @kanmin765: では問う、あなたは自庁処理失敗したら遠方の裁判所に行く家裁事件案件を法テラス制度で引き受けるか？@HideoOgura

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500815214632120321> 市民法律相談からの直受は、おそらく葛飾区が先駆けだけど、それでももう少し後の話で。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:21 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500814744832339968> 平成二年当時だと、法律相談からの直受はおそらく禁止されていたんじゃないかなあ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:20 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500814406238740480> だから、まあ、AVを強要される女子高生は弁護士に相談せずに食われてしまえと。RT @kanmin765: 平成2年、当時16歳の子どもの意見に耳を傾ける弁護士がいなかった事実を述べてるだけです。玉野市の市民法律相談に何度か足を運んでいましたが？ “

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500813366269448193> 発展途上国未満の法律扶助予算という現実を前に、精一杯「ボランティア枠」で不採算の事件処理を行ってきたんですよ。私たちは、「社会のために役に立てば、それで飢え死にしても成仏できるはずだ」との罵声を浴びてやってきたんですよ。RT @kanmin765:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500812446760591361> 法テラスとか、ちゃんと仕組み作ったんですよ。しかも、担当弁護士の犠牲のもとで漸く成り立つ仕組みを。RT @kanmin765: 私自身が今、弁護士を立てて争う家裁事件なんて、中高生の時からどうにかしてくれと、弁護士に訴えてきたが、誰も相手にしーへんかった。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 10:05 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500810543242813440> さまざまなところで無料法律相談が行われています。RT @kanmin765: 未成年の(お金もなさそうな)相談に乗る弁護士がいない現実が抜けています。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 09:37 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500803589917270016> 「困ったときは弁護士に相談する」ということを中学・高校できちんと教えて欲しい。RT @hahaguma: <http://t.co/LjuFeiGuQV「違約金の恐怖におびえ、親に相談できずに、法的な知識もない若い女性の無知と困窮に乗じて、性行為とその撮影を強要する>、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 09:35 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500803086718234624> 因果関係というのは、客観的な問題です。生き残った日本人に対する感謝の心を持って下さい。RT @tenseikaikaityo: 心の問題です。 正しい、間違いではない。戦争犠牲者を悲惨、可哀想としか思えないから違うと言えるのです

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 09:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500797228428967937> 違いますよ。そんな無謀な戦争をし、大敗を喫したにもかかわらず、生き残った人々が頑張ったからですよ。RT @tenseikaikaityo: 【スマホ】を日本で日本人として、いじってられるのは ２４６万６５８４人の靖國神社 に祀られている方たちがいたからです。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 00:50 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500670852828905472> 最近は原発が爆発しても人体に悪影響がないから大丈夫という路線に変わっていますね。RT @Redips00: &gt;RT 原発やめると電気料金が上がる上がると、そうやって脅して都合の良い方に誘導するんだよな。原発があることで被っているハズの負担については黙ってるだけなのに。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/17 00:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500658409297813504> 「記者様に情報を献上仕る」と表現すべきでしたね。RT @hosoi\_to: 「情報を出してやる」という文章に上下関係を意識させますね。「犬に餌をやる」みたいにな。もっとも「あげる」と謙譲表現をする必要はありませんが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/16 18:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500577953026015233> 政局に大きな影響を与えられれば、ターゲットが無罪となってもお咎めはないんだと思いますが。RT @nobuyoyagi: で、これで美濃加茂市長が無罪ということになったら、検察と警察は世紀の大失態だな。だから必死になるのだろうけど。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/16 18:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500575003587276802> 小保方さんは十分すぎるほど叩かれていますよ。RT @euroseller: 理研か代理人かは知らないがもし小保方氏が男性なら野村竜太郎のように叩かれるはずだから明らかなジェンダー差別 RT @MORI\_Natsuko:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/16 18:26 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500574308775628801> 誰か、フェミニストとネトウヨとの共通性について研究しないかなあ。結構、共通する部分が大きいと思うんだ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/16 16:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500542385151959040> メディアスクラムが組まれているときって、記事になる程度に情報を出してやらないと、通常業務に支障が生じるんですよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/16 16:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500541667066146817> 笹井さんが自殺した後の小保方さんの状況については、理研が積極的に広報したというより、メディアからの照会に応じざるを得なかったんじゃないかと思いますがね。RT @MORI\_Natsuko: その事実をわざわざ公表する理研の広報戦略に苦言を呈しているのですが……。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/15 14:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500145103558557696> 歴史的事件を実体験したと称する人々からその証言を聞き取って記事にしたり書籍化したりという作業をする場合、報道価値がある証言ほど客観的資料の裏付けがないので、客観的資料の裏付けがないのに云々で朝日を叩いている報道機関は、自分の首を絞めることになりそうですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/15 13:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500141313438658561> 矢部先生は、矢部先生の高橋先生への絡みが何か立派な動機に基づくものだと思ってもらえるのだと思っていたのかなあ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/15 11:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500101533552226305> しかし、今の日本の新聞では、そこに書かれているに過ぎないことは「客観資料の裏付けがない」から取り上げるべきでないと言われてしまいますね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/15 09:31 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/500077259110105088> こんな現代史ですら捏造されるのか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/15 00:42 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/499944234086961153> 他人の供述を信じて、これを元に記事を作成した場合、結果的にその供述を裏付ける資料を集めることができなかったとしても、「捏造」とはいいません。RT @bakur0xyz: @Hideo\_Ogura いいえ。捏造は事実でないことを事実よのうにでっちあげることです。

#### 2014-09-02よっぽど手抜きをしないと実現できない報酬体系ともいう小倉秀夫弁護士の2013年4月11日から2014年6月28日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/06/28 20:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/482850976856936448> もういい加減、国選と法テラスを切り離せばいいのに。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/29 10:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/460947345815769088> そういう意味では、弁護士は当面国選の受任を辞めるべきですよね。RT @sakaima: 就業もそうだし、消費もそうだけど、ブラックだとか、歪曲だとか批判する前に、まず自分で就職しない、買わないことだ、というものは多い。誰も雇えなくなったり、誰も買わなくなれば、企業も変わらざるを得

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/03 02:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/451405965254877184> そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。RT @amkud: また一般の国民からしても、初年度から企業法務で大金を稼ぐ弁護士も全部まとめて給費制という違和感がなくなるでしょう。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/02/09 22:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/432501422060347392> 自称被害者の人権を尊重している人にどんなに罵声を浴びようとも、被疑者公選や国選弁護人としてその人を弁護することになったらできうる限りのことをする弁護士のことも忘れないであげてください。RT @akoustam: 自称平和主義者にどんなに罵声を浴びせかけられようとも、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/14 11:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/400819947288281088> こ、国選弁護が…。RT @KIYO147: その仕事だけで生計を立てられる金額を稼がないと「おこづかい稼ぎ」と言われてしまう気がします。RT @ynabe39: 自分の能力を発揮して何かを生み出して報酬を得ていることを「仕事」と「おこづかい稼ぎ」にわざわざ分けることの理由って

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/03 19:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/396943702901284864> だから「国選は、8時間かければ、手抜きではないものと判断する」って日弁連が宣言してしまえばいいじゃないですか。それ以上の質を求めるのなら、私選で何百万円も払えばいいわけで。RT @sofrightened: でも「質は良いけど高い,そこまでの質は要らない」でオワリ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/03 17:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/396916935826223104> 「国選だったら、被疑者が無罪だといっていようとも、8時間かければ無問題」くらいの指針を日弁連で打ち出せばいいんだと思うんだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/08/03 10:33 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/363472626095632384> さて、この場合の国選弁護報酬はいくらになるでしょう。http://t.co/Mk4pK7XKmI

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/05/29 10:53 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/339560086668181504> 貧困故にやむなく風俗業界に身を投じてしまった人との接点は、経済学者よりは弁護士の方が多いんだけどね。特に、債務整理系や、国選とかをやっている人たちだとね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/05/18 12:46 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/335602336699392000> 国選弁護（被疑者公選を含む）のみを、手抜きせずに行って、経費を引いた手取りが年６００万円程度に達するような仕組みを作るべきだったと思うんですけどね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/04/18 13:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/324737013955850240> 医師は保険診療等の公的な仕事だけでかなり裕福な生活が出来ますが、弁護士は、国選弁護等の公的な仕事だけでは、まともな消費生活を送ることが出来ません。RT @DUTCH\_ACCOUNT: @Hideo\_Ogura 知りませんでした。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/04/11 11:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/322169343100203008> 実際、「国選弁護専業で年収600万」とか、よほど手抜きをしないと実現できない報酬体系は依然維持されたまんまだし。

#### 2014-09-02増大したコストは、国選弁護報酬の引き下げで賄えば足りますね、ともいう小倉秀夫弁護士の2013年3月6日から2012年2月27日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/06 18:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/309237150879191040> ジャーナリスト様のご要望に応えることによって増大したコストは、国選弁護報酬の引き下げで賄えば足りますね。RT @akami\_orihime: 注目を浴びている事件に提供される傍聴席の席数はどう考えても少なすぎると思いますが、傍聴席を増やすこと自体がコストになる構図を踏まえると、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/04 17:32 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/308495247179124736> 司法制度改革に携わっている人たちは先刻ご承知です。でも、彼らが弁護士たちに望むのは「地の塩」となり、人々に感謝される代わりに滅び去っていくことなので。RT @oishihi: 国選での受任義務及び報酬の安さと、当番での弁護士会の善意はあまり知られていないのではないでしょうか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/04 16:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/308486713444012034> 国選弁護等は誰も受任しなければ刑事裁判が始まらないだけの話ですね。 RT @oishihi 受任義務はあるのですか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/03 11:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/175768446372552706> 即日起案に不満をぶちまける司法修習生は多いと思うけど、即日起案で与えられた時間、タイムチャージ制だったら依頼者にいくら請求することになるか考えてみるといいよね。国選だったら、弁論要旨の起案にそんなに時間をかけていたら、それだけで赤がでてしまうんだ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/27 18:25 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/174062672441126912> 問題は、国選を事務所経営の柱に据えようと思うと、多分に手を抜かなければいけないところですね。RT @sakanosi: 私選の１０分の１も費用が出ない経営者弁護士にとっては赤字の種の国選も、今や奪い合いの時代なのだ・・・・・・orz・・・・・。 ホントにこれで良いのか！！

#### 2014-09-02弁護士を市場原理にさらしておきながら、ともいう小倉秀夫弁護士の2012年2月21日から2011年12月17日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/21 09:05 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/171747348614090752> 刑事弁護人に求められているのは、記録を読まず、接見もせず、十年一日の決まり切った一般情状を最終弁論で述べるだけの国選おじさんの良識。RT @take\_judge: @brain\_catcat 弁護団が良識のある人たちだったら、結果はどうあれ、裁判は早く終わったでしょうね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/21 00:53 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/171623608832102400> 弁護士を市場原理に晒しておきながら、弁護士が市場原理に基づいて振る舞ったら成り立たない仕組みを温存する方がおかしい。RT @ROBO\_GAKUCHO: が、小倉弁護士のように「国選弁護人しかつけられない貧乏人は冤罪で死刑になっても構わない。市場原理から言って当然」と抜かす

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 16:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167880197956317186> 日本の司法改革を歪めている要因の一つが、「国選報酬の異常な安さ」にあることは否めないけどね。「国から依頼される仕事」にターゲットを絞っていたら事務所が維持できないっているのは、ある種異常だからね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 16:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167879761803223041> それ以前に、医師の場合、「健康保険診療」で十分食べていけるわけだし（弁護士の場合、国選だけで食べていくのは難しいのと対照的）。RT @NOV1975: 小倉先生の弁護士資格者増に対する態度は前から一貫しているんだけど、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 09:18 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167764287782260736> 何十年も言い続けています。RT @SF\_yomi: 国選さんは社会に法的正義を供給してる訳なので、もっと支払え(税金出せ)って議論もできる。@HideoOgura

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 09:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167762914051231744> 「この人は無実に違いない」と確信したからって、ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？RT @SF\_yomi: 平均的な労働生産性を下回るコストパフォーマンスを制度によって得てる人を既得権益と呼びたい

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/12/19 10:35 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/148577146401587200> あと、弁護士過疎地は国選需要の比率が高いのだから、国選の報酬水準を引き上げることは弁護士過疎解消の後方支援たり得たのですけどね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/12/17 23:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/148042037323759617> たかだか数件の国選事件を傍聴しただけで、その国選弁護人の能力がわかった気になれるものなんだなあ。

#### 2014-09-02乏しい国選弁護費用のリソースを、冤罪での処罰を望まない人に集中した方がいい、ともいう小倉秀夫弁護士の2011年11月26日から2011年7月14日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/11/26 19:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/140383637299408896> 「私が被疑者・被告人となったときは、被害者の望む刑罰を私に加えてください」と望む人は平時に事前登録しておく仕組みってできないかなあ。被害者への配慮こそ最重要という人もいるようだし。乏しい国選弁護費用のリソースを、冤罪での処罰を望まない人に集中した方がいいような。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/11/16 01:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/136475706057162752> 国選弁護費用が安すぎるため、国選中心の弁護士が育たない。RT @tarareba722: 具体的にはどういうところに「お金が足りてない」とお考えなんでしょうか？　個々の案件における調査費用とか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/10/05 11:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/121409126747213825> 小規模単位会が「地方には弁護士が足りない」と言っていたのは、国選だとか弁護士会の会務だとか、儲からない仕事をやってくれる人が足りないという意味であって、しかし、儲からない仕事だけをしに新人が地方に行っても経済破綻しか待っていませんからね。RT @rionaoki:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/28 11:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/96413572665589761> そうなった場合、国選専門の弁護士が、健康保険診療専門の開業医と同レベルの所得水準になるくらい、国選の報酬基準を上げるんですよね。RT @chokudai2002: 給費制。「高額所得者にまで給費を行う必要はない」との論者は、法曹の養成は国家の責務ではないとの立場と同義。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/15 09:47 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91670280283492352> この種の「弁護士憎し」系の人の目指すポイントってよくわからないんだなあ。RT @Tuba56: 法テラスで国選弁護費を増やしてこの有様ですから、給費制を維持して国選弁護が真っ当になる事は考えられませんね

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/14 02:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91194085766987776> 国選で400時間を費やして、一人の被告人を無罪とする弁護士は、淘汰されるべきというのは、市場原理から言えば、正解なんでしょう。RT @AyReboot: それ、誰かに嫌がらせされて無い限り才覚無いんじゃない？

#### 2014-09-02国選は手抜き、私選は最低1000万円から、ともいう小倉秀夫弁護士の2011年3月31日から2010年8月29日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/03/31 12:31 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/53298433691353088> 国選は手抜き、私選は最低1000万円から、ということになっても、市場原理の結果なら無問題。

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39833167741325312> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/02/22 08:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39833167741325312> それはもうやめようというのが平成の司法改革。でも、国選専業で暮らしていけるほど国選報酬は増えず。RT @blackcat009: 誤解があれば教えて欲しいです。弁護士は他の案件での高い報酬と引換に国選弁護人の責を負ってるのでは無いのですか？

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39830171208908800> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/02/22 08:33 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39830171208908800> 国選専業で事務所を回しても、手抜きをせずに開業医並の所得が確保できる程度に国選の報酬水準が上がれば、弁護士の増員をそこで活かすことはできますよ。RT @Nitakichi: 弁護士は待遇をよくするけれど、というご意見ですね。

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/18712058048552960> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/12/26 01:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/18712058048552960> 酒を飲まず、ゴルフをせず、委員会活動をせず、国選弁護を受任せず、なので大丈夫です。RT @hihihirokane: 小倉先生すげーわ。弁護士でここまで喧嘩腰もとい論破腰または説得腰の人がいるもんなのだと理解。空き時間相当使ってるように思うんだけど、大丈夫か？

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5100019564675073> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/18 12:28 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5100019564675073> 国選の報酬体系は個々の弁護士がどうこう言って変わるものではない。マスコミは弁護士に対しては採算割れせよの第合唱。“@NLHippie: 裁判官が無能なのと工夫のコストを合理的に説明して従量制で請求できず、丸めの定額であると言う料金費用体系の問題という事では？

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5049472807608320> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/18 09:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5049472807608320> 最近痴漢えん罪系では、再現ビデオを作って検察官のストーリーが成立しないことを立証することが増えているけど、国選だと、その費用は、弁護人の持ち出しだね。RT @NLHippie: 国選で出来る範囲では裁判所は正確な判断をしない場合もある？

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/4816371552620544> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/17 17:41 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/4816371552620544> 「国選弁護」という国の仕事を受注しているだけでは食べて行かれないという方が不健全だと思うけど。RT @NLHippie: 資格は剥奪しなくても良いけれど、資格さえあれば食っていけるのは不健全かな…

<https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22397532448> 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 10:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22397532448> 医師の場合、健康保険の枠内だけで仕事をしていると診療所を維持しつつ、豊かな生活を享受することが可能。弁護士の場合、国選弁護の枠内だけで仕事をしていたら、大変なことに。RT @tamai1961: 医師を見ていると、 @rionaoki @hKodama: RT @taniyama

#### 2014-09-02富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が、ともいう小倉秀夫弁護士の2010年8月29日から2010年8月23日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 09:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22394471803> 誰が真犯人であるのか確信がもてないときに、富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が高まるが、貧乏人を起訴しておけば国選弁護人がついてささっと上げてくれるということになれば、検察官は迷ったときには貧乏な方を起訴してくれる。 @kobayashi\_masa:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 03:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22373475638> 価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され、真面目に無罪弁護を行う非効率的な事業者は、「国選弁護」という市場からは排除されるということでしょう？RT @kazemachiroman:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:32 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22370552090> それで、既存の弁護士たちは何も困らないような。RT 被告人が無罪を訴えている事件を含めて、初公判の日に初めて被告人と会い、記録の閲覧も事前にしない効率的な経営をしている弁護士に全部国選をお願いしてしまえば、RT @ttakimoto @rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22369669138> まあ、極端だと思うなら、修習生に借金負わせて、プロボノする気を失わせてみたらいいんじゃない？RT @ttakimoto: また、国選全体に占める無罪弁論の比率なども考えると極端な事例から一般論を引き出しているようも思います。 @rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:13 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22369251824> でも、修習生の時に給与を支払ってもらったというのは、資格取得後プロボノ活動をしないといけないという動機づけの一部になっていることは事実なんですけどね。RT @ttakimoto: 給付があるから国選やるという因果関係は弱いと思います。@rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:10 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22369091454> では、そういう方にだけ国選をやっていただけばいいですね。RT @ttakimoto: わかりやすい例だと国選大好き、高い釈放率を誇る某四大事務所シニアアソシエイトは給付されたからでやっているわけではないです@rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/24 02:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21929065340> 国選の報酬を私選並みに引き上げることが出来れば、刑事弁護専門の弁護士が各所で開業できます。また、民事の法律扶助予算が拡充すれば、弁護士が手弁当を覚悟しなくとも貧しい人が弁護士を代理人につけて訴訟を提起することができます。RT @Tuba56: 10分の1でも法外に巨額ですが、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 15:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21891712877> そこまでいうなら、諸外国並みにまともに国選弁護費用払おうよ。国選１件あたりで国際標準より２０万円くらい安いから、国選弁護費用を国際標準にしてくれれば十数件で元が取れてしまうから。RT @motoyuki: 新しい貸与制度でも非常な厚遇。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 11:04 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21877393311> 朝一で国選取得会場に赴き、楽そうな事件だけをがさっと持って行って大量に受任し、接見もせず、記録も謄写せず、示談交渉もせず、被告人の家族等に情状弁護をお願いすることもなく、ありきたりな一般情状弁護だけを行う超ベテラン弁護士のこと。RT @kaotatsu: こっそり教えて下さい。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 10:38 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21875668072> 国選をやらなくとも事務所が維持できる弁護士は国選など引き受けず、国選は国選おじさんだけに任せておけば良いんじゃないの？RT @kaotatsu: 法曹会が優秀な人材を逃すのは社会的な損失だと認知されれば、給付制は維持するということになるかもしれませんし、

#### 2014-09-02国選弁護を担う時代に移行させてしまったがゆえの悲劇、ともいう小倉秀夫弁護士の2010年8月19日から2010年8月11日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 08:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21528068264> 生活に余裕がある弁護士がプロボノとして国選を担ってきた時代から、生活に困った弁護士が事務所維持の柱として国選弁護を担う時代に移行させてしまったがゆえの悲劇。RT @GS\_shinryu\_SR: 低廉な国選弁護士報酬を誇る方もいるが、これが今の悲しい現実。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 08:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21527786053> 国選報酬自体は接見も準備もしないことを前提に算定されているけど、ほとんどの国選弁護人は接見も事前準備もしているのが実情。 RT @GS\_shinryu\_SR: 安いけど接見していないらしいです（笑）http://t.co/JKJGmtC

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 07:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21527484647> これくらい。http://bit.ly/apCLrM RT @himoninaritai: 国選が安いってのは具体的にいくらだから安いのですか？RT @GS\_shinryu\_SR

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 00:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21497396529> なお、国選弁護の基準報酬額が他の先進国並みに３０万円程度になると、年４件国選を受任する弁護士の収入は６０万円程度増える。これなら、修習期間中の生活費相当額を１０年分割で返済しても元が取れてしまう。RT @GS\_shinryu\_SR

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/18 23:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21494059110> 修習生時代に税金で養っていただいたという意識があるからこそ、低廉な価格で国選弁護等を引き受けてきたのだと思うが（先進国で日本ほど国選弁護報酬が低い国を知らない。）RT @GS\_shinryu\_SR: その割には税金で養ってもらっているという意識が希薄なのでは？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/11 01:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/20806001141> 裁判官の大幅増員や国選費用の大幅増額等の形で政府の役割を増やす運動なら大歓迎。さらに弁護士にただ働きをさせようというなら賛成できず。RT @tamai1961: それが市場原理の修正と称して政府の仕事を増やす運動なら、およそ賛成できない。

#### 2014-09-02手抜き弁護で御茶を濁す弁護士が国選市場に残るので、国民も本望、ともいう小倉秀夫弁護士の2010年7月24日から2009年12月10日の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/07/24 11:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/19389481489> 国選は国選で採算を取ろうというヒトたちにおまかせすればいいのでは？丁寧な仕事をする人は市場で淘汰され、結局市場が望む手抜き弁護で御茶を濁す弁護士が国選市場に残るので、国民も本望。RT @bwpotato: 本気で修習給与制を維持したかったら、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/05/20 15:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/14345036504> 採算ベースで考えると、国選弁護では５〜６時間しか使えませんからね。RT @armorpon: つまり弁護士側はじっくり取り組めない台所事情ってことなのか…

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/05/12 13:44 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/13832096668> 例えば、オウム事件の時は、麻原担当国選弁護人の事務所経費の一部を事実上補助したり。RT @isologue: 会計士協会とかもいろいろやってますが、基本は無償奉仕かと。担当弁護士にそれなりにフィーを払ってる負担？スタッフが多い？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/04/15 09:44 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/12194014162> 生活のために国選を受任している弁護士さんって、一件にどの位の時間をかけているのだろう。また、本格的な否認事件に当たってしまったらどうする気なのだろう。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/04/03 20:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/11530182332> 国選等を除けば選べていると思うけど。@HITOMIchang 弁護士も自由業なのだからサービスを商品に淘汰されるべき業界ではないでしょうか？もっとオープンに顧客が先生を選べるべきですよね

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2009/12/10 17:43 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/6526159651> @teramakojp 支部管轄ごとに弁護士過疎か否かを判断する場合、弁護士集中地域との交通の便のよい支部管轄地域は人口あたりの開業弁護士が少なくなりがちです。例えば、千葉地裁一宮支部なんて、国選・被疑者公選を除けば、地元に弁護士が事務所を開いている必要はありませんし。

#### 2014-09-01廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントで、リツイートしているだけでブロックされた深澤諭史弁護士 （@fukazawas）の国選弁護に関するツイート.txt POST

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/07/04 12:43 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/484905191532032001> 弁護士会は，弁護士がほとんどいない，そして採算も取りにくい地域に対し，開業弁護士に援助をしたり，あるいは経済的な保証を与えて，司法過疎の解決に貢献しています。 また，国選弁護で難事件に遭遇した場合，基金から援助をしたりもしています。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/06/19 09:02 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/479413762487635968> 是非，法テラス常勤の人，特に役員の皆様におかれては，通勤手当は国選弁護基準でお願いしたい。

いっぱい，いっぱい歩くことが出来て，多分健康にいいですよ！ (･∀･)

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/05/09 10:56 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/464584670446116864> 国選弁護が安いっていうのは，結構一般市民にも知れ渡っていますが，

報酬設定が，弁護対象者と利益相反の関係にあるということは，全然知られていないと思う。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/03/08 17:14 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/442211801124450304> なお，一連のツイートは，現に国選弁護人を務めていらっしゃる先生方を揶揄することを意図するものではありません。

ただ，まるで国が，国選弁護人に，悪徳になれ，依頼者を裏切れとそそのかそうとしているかのような報酬体系を設定していることは，知って欲しいです。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/03/08 17:11 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/442210952486744064> 被害者「お願いです！釈放しないで下さい！起訴して下さい！」 検察官「うーん，でもねぇ…。（私は公益の代表者だからね。）」

国選弁護人「お願いです！釈放しないで下さい！起訴して下さい！」 検察官「」

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/11/22 11:18 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/403708995526860800> もちろん，多くの弁護士は，そんな条件にもかかわらず，真摯に国選弁護を行っています。

しかし，経済的合理性としては，そういうことになっています。

昨今，弁護士は淘汰だ成仏だ，市場原理だなどといわれていますが，弁護士が市場原理に忠実になったら，国選弁護なんて怖くて頼れません。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/10/05 14:55 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/386368974390177793> 法テラスは，判事補の職務経験先にしたり，検事の出向で人員確保すればいいのでは？ 身分の不安定さの問題，辞めた後の転身のリスクは概ね解決できますし，しかも，貧困層や国選の現状について，ＪやＰにしってもらうという意味もあります。 ただ，出向Ｐが国選弁護を…という問題はありますね

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/09/27 11:48 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/383422893981331457> それにしても国選弁護報酬って金額の問題を無視しても，被疑者・被告人にとっては，恐ろしい報酬体系ですよね。 もちろんあってはならないことですが，弁護人には，何もせずに被疑者段階は接見だけ繰り返し，起訴を誘発するインセンティブが設けられているという…。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/05/07 09:35 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/331567945564172288> 民事法律扶助・国選弁護報酬を質・量共に改善する。質においては労力比例とし，量においては標準的な事務所が経費を償える程度にすること。 #真の司法改革

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/03/25 10:08 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/315993543237840898> ただ，一方で，記事で読んだ話なんですが，被告人から裁判所に届く手紙のなかでも，結構な数が，国選弁護人に関する不満なのですよね。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/03/25 10:07 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/315993223141150720> 同期弁護士が，国選弁護に並々ならぬコストを費やして励んでいるのを見ると，弁護士への市場経済・自由競争の導入について，すこし考え込んでしまう。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/03/04 17:24 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/308493154611523584> @akami\_orihime 医療ほど深刻には思えないというのはありますよね。国選弁護みたいに，保険診療の診療報酬は通院回数だけから算出し，薬代も重さ２００グラムを超えるまでは病院負担，なんてシステムになったら，怖くて保険診療なんか受けられません（汗）

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/03/01 21:38 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/307469971733229568> 国選弁護の報酬体系は自白強要を推奨するが如きものであることも指摘しておかねばなるまい／わいせつ行為、犯罪証明なく無罪＝「弁護士が自白強要」と被告—神戸地裁 - <http://t.co/foIF6g9qeO> <http://t.co/NC2I2NwrbN> @WSJさんから

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2013/01/26 11:56 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/295002153792176131> ＲＴ　うちの業界では，国からの依頼の報酬が，個人からの依頼の数分の１（経費もちゃんと出ないので持ち出し多し。）というのがざらです。まあ，国選弁護の話なんですが（＾－＾；）

#### 2014-09-02鹿児島大学准教授ともプロフィールにある坂本正幸弁護士（@sakamotomasayuk）の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/01 15:22 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/506326150591696897> 国選シンポ行きますので名古屋方面の方、よろしく。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/05/21 14:32 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/468987627212136449> 控訴審の国選や最高裁の国選やってたときに証拠からして絶対に有罪判決をひっくり返せないよ、という場合はしっかり説明して、それでも無罪主張するというなら本人の主張を前提に証拠を判断して書面を作成していた。 これは当然のことだ。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/04/28 11:16 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/460603485809950721> 国選は勉強になる、ということもあって低価格でもよいという流れになっていたのか、もともと報酬を決めるのが裁判所だったから文句言わなかったのか、そのあたりは分からないけど不採算部門であることは間違いない。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/02/15 22:05 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/434674813152419840> 私選も国選も同じだ、というのが私のやり方なんだが、国選だと安いんですね、といういい方になればいいが、私選だと高いんですか、と言われるとつらい。 で徐々に価格が低くなりかねないという。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2013/09/30 11:30 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/384505458322460673> 私選だと１００万以上のレベルのことを国選でしっかりやる弁護士のほうが多いイメージなんだけどね。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2013/09/30 11:29 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/384505273081008128> 保釈もそう。私選のあの人は保釈できたのに、国選だと、という人がいるが、保証金が準備できないことがほとんどなので比べてはいけないのです。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2013/09/30 11:28 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/384505073901903872> 国選の場合はお金がなくて示談が難しいことが多いため量刑が重くなることが多い、という説明はよくしている。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2013/09/19 11:59 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/380526600900464640> @yinoue1975 国選はやめたほうがいいと思います。古い人は昔の感覚だし、けっこう安易に考えているような話も聞きます。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2013/01/08 12:51 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/288493059057012737> 国選と私選の違いは「示談」。国選はもともと弁護士費用の負担ができないから国選になっているわけで、示談に回すお金がない。その結果として刑が重くなることがあるが、それは手を抜いたのではなく被害弁償ができないから。他には違いがあるとは思っていない。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2012/12/26 14:34 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/283807989251571712> 年末年始、当番や被疑者国選にあたっている弁護士さんにはほんとに頭が下がる。私は今全然やってないから。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2012/10/23 12:54 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/260590070023720960> @satoshihamada @kiwi250r 自白事件のポイントの示談ができないのは量刑上大きいけど、国選だと資力要件考えても難しいのに。同じことするけど、これだけは違うよ、という説明は必ずしていた。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2012/09/12 23:35 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/245893489957670913> 高裁で被告人が出頭しなかったという経験は２回。一度は最初の国選弁護人が何もしないということで激怒して拒否。解任後私が選任。話をきちんとして趣意書書いて、本人は納得してくれたが、それでも出頭しません、と手紙を送ってきた。その手紙を裁判所が確認して不出頭のまま審理・判決。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2011/12/20 21:49 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/149109218589409280> 私の刑事事件（国選だけど）の経験で他の弁護士と違うところは、死刑を争う事件を上訴審だけど３回やったということかな。２人は死刑が確定した。１人は無期判決で私が弁護人権限で上訴した。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2011/10/20 11:15 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/126844011494391808> 以前のように刑事事件もやろうかな？私選になるけど（東京で国選取るのは無理よ～）奥村先生のように全国をさすらうのもいいかもしれない。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2011/05/06 18:43 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/66438047071350784> ここのところの私のツイートは刑事弁護の国選弁護人の本質にかかわるものとシュールストレミングにかかわるもので占められているなぁ。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2011/02/28 17:57 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/42146400842170368> 国選の接見の費用を考えてみる。遠距離じゃなくて頻繁に接見に行ける環境。そして頻繁に接見する。交通費、出ない。往復で都内でもそれなりにかかるよね（もちろん公共交通機関で）。時間を割けば割くほど評価されてもいいのにね。もちろん詐欺の問題があったけど裁判どうなったのかな

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2011/02/28 17:53 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/42145335191150592> 国選の報酬。東京から松本まで行ったのに加算されたのは８０００円。時間を考えるとなかなかできなくなってしまうなぁ。控訴審なので、一審の先生の苦労と報酬を考えると安いとは言いにくいが、一審が安すぎるよね。時間をかければかけるほど時給換算で下がるし。１時間数百円とかになるよね。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2010/12/14 15:14 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/14563738023632896> 日本でこのような制度を導入しようとすると、国に弁護士が支配されるという意見が出る。　RT @nyanmayu 韓国には、裁判所が公募して採用する、国選専担弁護士（国選事件のみを取り扱う弁護士）がいる。給与は裁判所から支給され、日本円で５０万円程度。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2010/11/17 00:17 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/4553641688039425> @tigertakahiro 日弁連の委員会無報酬だし、東京だと事務局とかになるし、国選は時給計算すると宅配の仕分けのほうがいいかもしれない。それでもやるべきことはやっている。これは給与だったから恩返しと思っているわけではない。現にそこにやることがあるからにすぎない。

#### 2014-09-02落合洋司弁護士（東京弁護士会）（@yjochi）の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2013/11/03 23:02 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/397000894299897856> @1961kumachin 国選の受任を競うパン食い競争とか、おもしろそうな競技があったら行くかもです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2013/08/25 16:50 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/371540023671128064> 法テラスは、国選弁護の金をなかなかくれないと、色々な弁護士が騒いでいるが、おみやげにポールペンはくれるし、クオカードはくれるし、金がないわけじゃないみたいだ。（笑）

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2013/03/15 12:11 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/312400590036692992> 手紙の活用。“@okumuraosaka: 国選って楽しようと思うのか「謝りに行くと逆に傷つける」とか言って慰謝の措置をとらず、量刑理由で「なんら慰謝の措置を講じていない」って書かれてしまうのだが、控訴審裁判所的には、傷つけようが、１回は謝罪しておく方がプラスだ。豆知識”

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/12/26 13:55 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/283798202732388354> 差し引きするとブラス、だから良いという話でもないな。“@yucaseemedia: 国選弁護過大請求409万円、過少請求1000万円 <http://t.co/gFZoNhOa> #followmejp”

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/12/25 12:29 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/283414219674750976> 電子的に管理するシステムを導入すべき。なんとか警察にチェックインとか。Reading:国選弁護報酬 弁護士１５０人余過大請求　NHKニュース <http://t.co/LG0x7BeS>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/12/16 16:54 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/280219379189293057> 第１２回国選弁護シンポジウム「みんなで担う国選弁護−全ての被疑者に弁護人を−」 <http://t.co/YqzSb9op>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/12/14 14:14 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/279454231776358400> そういえば、岡山では、国選報酬の詐欺事件があったな。だからここでこのシンポジウムやってるのかな（影の声）。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/12/07 21:34 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/277028301619466240> 地獄の業火に焼かれたりするのは、横浜弁護士会の国選担当者ではなく、借金踏み倒してB787飛ばしてるような奴じゃないか。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/11/30 00:21 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/274171116103294976> 学者が国選弁護やると、ろくなことないな。岡山で国選絡みで詐欺事件起こした奴も、元検事といっても、元をたどれば学者だし。学者→副検事→検事→弁護士。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/10/05 22:30 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/121578079465390081> 国選弁護やると、時給800円どころか、もっと低くなる事件もある。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/08/30 19:39 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/108489005309501440> 文句があっても、法テラスとの契約切れば国選弁護はできなくなるし、それでは、たちまち困る、という弁護士も少なくないだろう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/08/30 19:34 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/108487806766166017> 法テラスが国選弁護を担当する、という態勢が、徐々に、弁護士の締め付け、締め上げに有効な手段になってきつつあるんじゃないかな。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/08/30 19:28 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/108486290399444992> 国選連絡メモを、裁判所から法テラスへ渡す、という制度は、かなり危険なものを感じるな。弁護士を事件ではめてやろうと警察や検察庁が考えると、まず、ここを狙ってきそうだ。怖い怖い。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/08/04 12:06 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/98952798540017664> そういうカルチャーの中で法曹になって、手弁当で冤罪、再審事件に取り組んだり、雀の涙程度の報酬で何年も国選の刑事事件を一生懸命やったりする人がいて、社会に貢献してきていた。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/06/28 00:52 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/85375014521671680> 自分の場合、検事を11年余りやって、弁護士になってからも国選、私選で刑事事件は相当数担当し、選挙違反、脱税事件、特捜部起訴の事件といったものもそれなりにこなしているから、刑事専門を標榜しても許されるとは思うが、刑事だけという、間口を狭めることはあまりしたくないので、やっていない。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/06/07 18:48 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/78035585582903296> 同感。少なくとも国選の場合はそうすべきでしょうね。RT @ToshimitsuDan: 原審弁護人がへぼかったというのをやむを得ないに含めて欲しいところです。RT @yjochi: ありがち。RT @nan5o: 請求証拠をすべて却下して即日結審は普通にありますね…

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/06/07 18:42 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/78034169652981760> ありがち。RT @nan5o: 請求証拠をすべて却下して即日結審は普通にありますね… RT @toshimitsudan: 証拠制限せつないっすよ。RT @yjochi: 刑事控訴審限定で、国選弁護に復帰するかな。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/04/25 12:27 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/62357028491886592> ありがちなこと。日常茶飯事。 RT @takane\_hideki: 刑事事件控訴審の国選弁護人となったので記録を取り寄せたら，第一審の弁護人は弁論要旨を８行しか書いていない上，そのうち４行は被告人に不利な事情だった。ありえないのですが・・・

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2011/02/16 23:12 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/37876883576205312> 実話。RT @nyanmayu マジで？！　RT @tonaben489: 問　国選弁護人が被疑者段階で接見に行かなかった理由は何か？　答　被疑者が接見禁止だったから　ジョークとしては一流だけど現実だから笑えない…

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/12/14 14:49 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/14557463860740096> 東京では国選事件を奪い合っているのに、地方では国選事件の担い手が不足してるという、バランスの悪さも問題。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/12/14 14:22 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/14550810016878593> 最近、刑事は私選しかやらなくなったが、国選に復帰することは十分あり得るので、報酬についての説明を聞いている。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/08/29 11:59 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/22404767730> ことは、国選弁護に限らない。民事の法律扶助とか、弁護士が出血大サービスという公的な分野は結構ある。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/08/29 11:58 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/22404675929> 国選弁護が、できの悪い弁護士に担われて、しかも、現在の数倍の報酬を支払わないといけない、というのが、真に国民のためになるかどうかということだろう。常識的に考えて、ならないと思うが。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/08/29 11:49 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/22404095232> 国選弁護の報酬なんて、完全に、国が弁護士に甘えているとしか思えないもの。特に、否認事件とか大型事件では。従来は、ここまで育ててもらったのだから、と、不満を持ちながら我慢して頑張っていた世界。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/08/29 11:46 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/22403898016> 国費で養成された弁護士も、その後の法曹生活で、低廉な報酬で国選弁護をやったりして、数十年の間に、投じられた国費を上回る貢献をする、というのが、従来の制度設計だったと思うのだが、その辺も見直しが必要になってくるだろう。このままなら。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2010/02/20 19:08 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/9378407308> 司法修習生の指導担当弁護士は、国選をやるのが原則、とされているようだが、私選で手いっぱいの弁護士が指導する場合、国選はやらなくてもいいのかな？

#### 2014-09-02モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）（@motokentw）の国選弁護に関するツイートのまとめ.txt POST

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/06/13 10:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/212720972904660995> おっと、国選弁護費用も同じ。RT @holmesdenka: ですね　RT @motoken\_tw: 司法予算少なすぎ。検察庁も同じRT @asty\_md: しかし裁判所つうとこは予算と人員の拡充という方向ではなく各職員の気合いと頑張りで何とかしようという傾向があるっぽいからなあ

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/08/31 16:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/108799162274951169> 日本語むずかしすw RT @okumuraosaka: 奥村弁護士に相談したら、重くなるぞ」と言った国選弁護人 なんで相談で重くなるんだ?

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/06/15 13:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/80847960434425856> 完全否認事件については、黙秘権は専守防衛的には最強。RT @r723: @motoken\_tw そもそも黙秘権自体、凄く曖昧。黙秘を続けて不利はあっても、有利な事ってあるんでしょうか？ 相当な腕の達つ弁護士がいるケースは別として、国選弁護士なんかだった場合、圧倒的に不利だと思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/15 21:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/37483718704627712> ビギナーズラック？地獄の始まりw RT @yinoue1975: 意外と通ったりして。RT @1961kumachin: 新人弁護士君が，初の国選事件で張り切って保釈請求書を出しに行った。これから砂を噛むような思いを数々味わって成長していくのだ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/13 12:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3289508065841152> 弁護士もいろいろ。国選なんかで相性が悪くてコミュニケーションが取れなくなる場合もあります。RT @amneris84: 海上保安官はなんで弁護人を解任しちゃったんだろう。

#### 2014-09-022011年に国選弁護を担当した元被告女性を迎えき行き、食事に誘って翌朝まで弁護士事務所で一緒に過ごしたという懲戒請求事案に対する主に弁護士のツイートのまとめ.txt POST

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/04/06 09:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/320332328670998528> 「国選弁護したことにつけ込む」って意味がわかりませんね。RT @nyanmayu: 　実名でた。うーん、これは弁護士と被告人だった女性の言い分がだいぶ食い違ってそうだし、県弁としての事実認定には限界がありそうな事案っぽいかな。だから戒告なのかな、と。推測ですが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/27 01:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/316584470243328000> 迎えに行かないと、そのまま拘置所に逆戻りもあり得ますしね。RT @asty\_md: 僕こないだ迎えに行きましたよ。その足で生保の申請行ったんで RT @nan5o: 国選弁護人って，執行猶予付き判決で拘置施設まで迎えに行っちゃうんだ…　そこまでしたことがない…

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/26 16:22 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/316450153223565312> 判決後ならいいんじゃない？って気もするけど。RT @satoseiichi: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ（読売新聞） <http://t.co/XjtpvbkwCs> 報道によれば，国選弁護人は公判終了後に被告人の女性と深夜まで飲食店などで過ごした後、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 16:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316454762537172992> RT @s\_hirono: 国選弁護を担当した弁護士は判決日に、女性が勾留されていた警察署に女性を迎えに行った後、「食事に行こう」などと誘ったとされる。　　／: 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/PfY0QIpVwp> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2013/03/26 16:38 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/316454185665196034> 国選弁護を担当した弁護士は判決日に、女性が勾留されていた警察署に女性を迎えに行った後、「食事に行こう」などと誘ったとされる。　　／: 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/PfY0QIpVwp>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 16:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316457707047620609> 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ（栃木県弁護士会） - 弁護士と闘う - Yahoo!ブログ <http://t.co/EcX9otLAD1>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 17:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316472401208688640> RT @kamatatylaw: 徹夜で控訴準備の打ち合わせをしたんだろう？ RT @hanabusa\_2010: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/KV7fohNogm> 元のツイート）→　投稿者：kamatatylaw（高橋雄一郎） 日時：2013/03/26 17:47 ツイート： <https://twitter.com/kamatatylaw/status/316471518630658048> 徹夜で控訴準備の打ち合わせをしたんだろう？ RT @hanabusa\_2010: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/KV7fohNogm>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 17:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316472474680299520> RT @yassiyassiyassi: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/PyIyipAASh> 元のツイート）→　投稿者：yassiyassiyassi（千葉県 弁護士 坂口靖 ） 日時：2013/03/26 17:48 ツイート： <https://twitter.com/yassiyassiyassi/status/316471823674011648> 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/PyIyipAASh>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 18:07 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316476490931896321> さらに深夜まで女性と飲食店などで過ごした後、同市内の弁護士の事務所で翌朝まで一緒に過ごしたという。　／ 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/8xTgxgCjH6>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 18:27 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316481505440460800> RT @s\_hirono: 「国選弁護を担当した当時２０歳代の女性に対し不適切な対応をしたとして、栃木県弁護士会が、宇都宮市内の男性弁護士を懲戒処分する方針を固めたことが２６日、県弁護士会関係者らへの取材でわかった。　／のまとめ」をトゥギャりま.. <http://t.co> … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2013/03/26 18:23 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/316480578683805696> 「国選弁護を担当した当時２０歳代の女性に対し不適切な対応をしたとして、栃木県弁護士会が、宇都宮市内の男性弁護士を懲戒処分する方針を固めたことが２６日、県弁護士会関係者らへの取材でわかった。　／のまとめ」をトゥギャりま.. <http://t.co/H0gplpcAlF>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 18:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316487990014799872> .@s\_hirono さんの「国選弁護を担当した当時２０歳代の女性に対し不適切な対応をしたとして、栃木県弁護士会が、宇都宮市内の男性弁護士を懲戒処分する方針を固めたことが２６日、県弁護士会関係者らへの取材でわかった。.. <http://t.co/ayEYRBddDc>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 21:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316525552842440704> RT @K\_Nakajo: 懲戒の定めは弁護士法56条以下。「懲戒処分する方針を固めたこと」が「県弁護士会関係者らへの取材でわかった」の部分が気になる。～～～元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http:/> … 元のツイート）→　投稿者：KNakajo（弁護士中所克博） 日時：2013/03/26 20:20 ツイート： <https://twitter.com/K_Nakajo/status/316509988401074177> 懲戒の定めは弁護士法56条以下。「懲戒処分する方針を固めたこと」が「県弁護士会関係者らへの取材でわかった」の部分が気になる。～～～元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/4a2a3VUWex>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/26 21:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/316525569946820608> RT @K\_Nakajo: 懲戒相当の議決が下るまで，秘密を貫き通すべきではないのか？「懲戒処分する方針を固めた」段階で情報提供がなされて良いのか？～～～元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t> … 元のツイート）→　投稿者：KNakajo（弁護士中所克博） 日時：2013/03/26 20:28 ツイート： <https://twitter.com/K_Nakajo/status/316512066305413120> 懲戒相当の議決が下るまで，秘密を貫き通すべきではないのか？「懲戒処分する方針を固めた」段階で情報提供がなされて良いのか？～～～元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/4a2a3VUWex>

### 司法制度改革や弁護士会のありかた及び弁護士業務に対する、弁護士の意見や現状認識に関する資料としてのご紹介

#### 2014-09-03社会も，弁護士会も，そして裁判所ですら，弁護士を打ち出の小槌か何かと勘違い、や、人権を人質にすれば弁護士は言うことをきくと思われているの、という弁護士のツイート.txt POST

投稿者：ora3298（ora(swlo)） 日時：2014/09/03 13:27 ツイート： <https://twitter.com/ora3298/status/507022007074963456> 検察庁も裁判所にも感じるときあるけど、あんたらお金もらって仕事してるのね。引き受ける弁護士の対価考えて話そうね。

投稿者：ora3298（ora(swlo)） 日時：2014/09/03 13:30 ツイート： <https://twitter.com/ora3298/status/507022901472542720> 俺らはこんなに少年や被疑者被告人のためにやってる、弁護士もやったらどうなのと考える前にさ、自分のやってることがボランティアか仕事なのかよく考えて欲しい。

投稿者：ora3298（ora(swlo)） 日時：2014/09/03 13:36 ツイート： <https://twitter.com/ora3298/status/507024208400875521> 勾留担当してる裁判官との協議会で、裁判官が、「私らは弁護人がついてないから被疑者の家族に電話まですることがある。被疑者の身柄のために、勾留前に全件当番で呼べるよう、弁護士会が毎日警察署に逮捕された人を確認する電話をかけたらどうですか。」とかえらそうに言われたことがあった。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/09/03 13:38 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/507024744143519744> 社会も，弁護士会も，そして裁判所ですら，弁護士を打ち出の小槌か何かと勘違いしているのではないでしょうかね。 (＃･∀･)

投稿者：okumuraosaka（TORU OKUMURA） 日時：2014/09/03 15:47 ツイート： <https://twitter.com/okumuraosaka/status/507057395428638720> 応募条件＜必須要件＞ 67期司法修習生　もしくは　経験弁護士 勤務地福岡県 給与固定月240～360万＋個人受任の売上利益の70％ <http://t.co/us98vfGIc7>

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/09/03 15:52 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/507058410831900674> ＞ＲＴ ふむ。年俸で４０００万円くらいか。 悪くないな(･∀･)

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/09/03 16:06 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/507061972760682497> 法クラが群れをなして志願する法律事務所か。 (･∀･；)

投稿者：igaki（弁護士 井垣孝之） 日時：2014/09/03 20:36 ツイート： <https://twitter.com/igaki/status/507130038987149312> 年配の方のようですが…認めであっても被疑者段階で精いっぱい動いて捜査機関削った方が、仮に公判請求されてもやりやすいと思うんですけどねえ。RT @fukazawas: @igaki あるあるあるある(･∀･；；；)

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/09/03 20:38 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/507130499895029761> ＞ＲＴ なんか、この間も、契約まではすごい親切だったのに、契約してお金を払った途端に、急に何もしてくれなくなったとか、そんな相談を受けました。

同じ弁護士として責任を感じないわけでもないので、いろいろと詳細にアドバイスをしたのですが…。 (･∀･；)

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/02 23:27 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/506810711763197952> 国選付添人のツイートが流れてきているが、弁護士会は裁判所にまでナメられてるのか？

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/03 13:44 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/507026246148960256> 奉仕というのは仕事ではないんだよね。 貴族が高貴な義務を、ってのは普段庶民に食べさせてもらっているというのが前提にあるんじゃない？

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/03 13:45 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/507026498084020224> たこ足だよなぁ。弁護士会のしてることって。 職業性を否定してきたのは弁護士会ではないのかな？ お金のあるところからとってそうでないところから、と言っていたのはいいんだけど、弁護士が必要なトラブルに巻き込まれるのはたいていお金のない人なんだよね。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/03 17:30 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/507083291308982272> 舌の肥えた法クラにバカにされるかもしれないが、築地で寿司るかな

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/09/03 18:12 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/507093720714317824> 人権を人質にすれば弁護士は言うことをきくと思われているのだね

### 再審開始が決定したいわゆる袴田事件に関する検察に対する不信や批判について

#### 2014−10−24Twitterでブロックされている坂本正幸弁護士による袴田事件に関する検察の証拠捏造という問題提起らしきもの

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/10/24 11:23 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/525472652207484928> 袴田さん弁護団が反論書 - 朝日新聞デジタル <http://t.co/c8QgLAG0L9> 検察はねつ造の動機はない、と主張したそうだが、あの県警だし、しかも起訴した以上は有罪にする、ひっくり返されてはならん、という体質があれば動機は十分あるんじゃない？ 誰も信用しないと思うけど

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/10/24 11:25 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/525473035885617154> 検察も動機がない、なんて反論したら、動機がある、って反撃されて、必ずしも得策ではないと思うんだけどね。 犯罪者を作りだす組織だと思われたくないのはわかるけど。 でもポイントはそこじゃないだろう。 ほんとにねつ造があれば当時の関係者を非難してこそ信頼回復だろう。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/10/24 11:27 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/525473504347435008> 組織として「そういう空気」だったから無理やり犯人を作りだした、というのはあってもおかしくないだろう。 個々人が動機としてもっていなくてもそれがあったらそこが問題なのでは。

## 経緯及び社会の反応

### その他

#### あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を

<2014-04-21 月 16:03> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

<> <#LINK-ID_4>

あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を記載しており、これらの 人の名誉を侵害しており〜ジェイ | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/2013/03/blog-post_5149.html>

まずは以前投降したブログの記事のURLを上記に掲載しました。ブログの記事はエントリと呼ばれることも多く、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）もそういう書き方がブログでは多かったように記憶しています。

エントリはエントリーと書くこともあるのかもしれません。ブログのサービスの仕様によっても記事とするものとエントリとするものがあったと思いますが、Hatena::Diaryもエントリという扱いであったと記憶しています。

エントリというのはやや専門的な言葉で、私自身最近は余り見かけていないような気もするのですが、ニュースの記事と区別するためにも、ブログの記事のことはなるべくエントリと表記するようにしておきたいと考えています。

当時私がメインで使っていた次のブログもHatena::Diaryでした。問題のコメントもそのブログに対して行われたものです。

日暮れて途遠し <http://d.hatena.ne.jp/hirono_hideki/>

このブログは平成21年の9月の10日頃からプライベートモードに設定したので、ログインした私以外の閲覧は出来ない状態、つまり非公開の状態になっています。

非公開にした原因については当時の能登警察署の大家刑事に事件の関係者の名前を出すな、匿名にでもしろと言われたことが原因でした。結果としてはそれに応じたかたちにもなるのですが、前後を含め実際の問題はかなり複雑と思われ、大家刑事の本心というのも測りがたいものがあります。

最終的に私は能登警察署の別の警察官に電話だったと思いますが、大家刑事とどうしても話をしたい、話をする必要があるので連絡をつないでくれるように頼んだのですが、全く応じてもらえなかったと思います。すでに能登警察署にはいないとは言われていました。

実際のやりとりを私はパソコンで録音し、音声データをYouTubeで公開していました。今もそのままになっているかと思いますし、音声ファイルも参考資料としてDVDには収録する予定でいます。

音声データ自体はmp3というファイル形式だったと思いますが、YouTubeにアップロードするには動画ファイルとして変換し直す必要があり、flvというファイル形式にしていたのではないかと思います。

能登警察署を巡っては珠洲警察署に併合されるという事情もありました。建物自体は宇出津に残っていますが、交通関係などの業務を一部に残して、生活安全刑事課自体は完全に珠洲警察署の方に移されたようです。

ネットで調べると次の情報が出てきます。

能登警察署は、石川県警察がかつて管轄していた警察署の一つである。 2012年4月1日に珠洲警察署と統合し廃止。現在は、珠洲警察署能登庁舎となっている。 ウィキペディア

私自身、正確な時期を忘れがちなのですが、現在が2014年の4月なのでちょうど2年を過ぎたところになりそうです。

まだ能登警察署に生活安全刑事課があった頃のことですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）を名誉毀損で刑事告訴すると言うことで、相談に行ったこともあります。3月の中頃でした。

そういう経緯を含め、主にパソコン画面のスクリーンショットの画像ファイルを、資料としてのDVDには添付します。ただ、細かい説明となると時間も紙幅もばかにはならないので、取り上げるかどうかは今後次第です。準備として用意したものでもあります。

名誉毀損の刑事告訴の相談に関しても、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログにおける経過がつながりを持っています。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の主催するブログですが、はじめは「元検弁護士のつぶやき」というタイトルのブログだったと思いますが、途中で「モトケンブログ」とかに変わっていたような気もします。

本当は調べて確認した方が良いかとは思いますが、今はそれほど重要な問題として位置づけていないので、おおまかな説明にして進めます。

ジェイという人物のコメントがわかりやすい経過の説明にもなってくれているのですが、長い間、無視されたり、そのうちに集中砲火を浴びてコメント欄からの出入り禁止にされました。

そのことを自分のブログで書いていたところ、ジェイというハンドル名での投稿があったのですが、長い間、閲覧していたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでも、ジェイというハンドル名は一度もみた記憶がありませんでした。

常連のコメント投稿者が多いブログではありましたが、そのほとんどが匿名のハンドル名でした。同じものを使うとつながりもわかるので、一時的に「ジェイ」というハンドル名を使用した可能性はあるかと思います。内容的には常連以外には考えられず、矢部善朗弁護士本人かと考えてこともありました。

このジェイという人物のコメントも、当時相当のダメージを受けましたが、今読んでも相当に不快な気持ちにさせてくれます。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）は、主催するブログでブログ主を名乗りながら采配をふるい。それなりの影響力も与えていたと思われます。

秋葉原無差別殺傷事件に関するコメントから発展して、コメントの投降禁止を申し渡されました。一連の流れはほぼその全てをスクリーンショットとして記録してあります。禁止と言われただけでするつもりはなかったのですが、コメントは見つけ次第削除するとも言われたように記憶しています。

今、ちょっと確認をして最終通告とみられるモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のコメントを発見したので、Twitterの方に画像ファイルを投降しました。URLを確認します。

Twitter / hironohideki: 死刑に対する朝日の見識55.jpg <http://t.co> … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/458184562825125888>

2008年6月23日9時12分の投降時刻となっているようです。私がはじめにこのコメントを目にした時間帯は記憶にないですが、朝だったというのは少々意外でした。

Linuxの「cal 6 2008」というカレンダーのコマンドで確認したところ、当日は月曜日のようです。当時の私の勤務形態として仕事中であったことは間違いなさそうです。

当時は派遣社員として羽咋市内のアパートに住み、近くの鋳物工場に通勤していました。途中までは毎日朝8時か8時半ぐらいから残業があって終わるのが20時でした。砂型を扱う工場だったのでもの凄く体が汚れ、ほとんどは工場で風呂に入ってから帰宅していました。

21時ぐらいに帰宅することが多かったと思いますが、買い物に行ってから戻ることもあったと思います。ちなみに羽咋市には24時間営業のマックスバリューというスーパーもありましたが、どのスーパーもアパートから離れ、往復だと馬鹿にならない時間も掛かっていました。

記述範囲の開始時刻が4月21日の16時となっているようですが、おそらく当日辺りから長い間中断をしていました。現在は4月27日の午前9時12分を過ぎたところです。

羽咋市のマックスバリューのことまで書いていたことも忘れていましたが、この間にいろいろと新しいことをやって、それにともない今後の方針と構想を自分なりになっていたところです。

羽咋市に住んでいた頃のことは、御庁つまり金沢地方検察庁に告発と告訴を繰り返し、その都度不受理の対応を受け続けていたという現在につながる時期、期間であって、その過程に大きな影響を与えたのがモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）でした。

この項目ではそのモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が主催するブログでの関わりにおいて大きな節目となったジェイというハンドル名のコメントをご紹介しました。頼んだわけでもないのですがとても分かりやすいかたちでのメッセージとなっております。

そもそも私がモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログのコメント欄に書き込みの投稿をするようになったのは、彼の被害者感情に関する感情論という発言がきっかけであったと記憶しています。

当時はまだTwitterやFacebookなどのいわゆるSNSが普及する前でもありました。ネット上の個人の情報発信はブログが主流であったと思います。モトケンというのも元検と書かれることがまだ多い時代だったとも記憶しています。近頃は漢字の表記である元検は見かけていない気もします。

常連のコメンテーターというか実質的な取り巻きのようなハンドル名で、ヤメ検という一般に使われ知られている言葉は侮蔑的な意味を含むので、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が元検という造語を独自に使ったという解説も添えられていました。

元検事の弁護士が主催するブログであって多数の意見やコメントが寄せられている、というのは当時他にはなかったと思いますし、私の知る範囲ですが現在も見たことがありません。法律の専門家として、時事ネタや裁判、事件、ニュースを取り上げ、活発な議論の場となっていました。

私は実名でコメントをしていましたが、大多数のほとんどは匿名のハンドル名だったと思います。ROM専とも呼ばれるコメントをしない読むだけという人も多かったとは思いますが、全体的なアクセス数などは分かりやすい形態のブログではなかったように記憶しています。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）は自分が管理するレンタルサーバ上でMovableTypeのブログを運用しているとたびたび発言していました。

私自身、MovableTypeそのものはサーバで運用したことがないのですが、似たようなものでWordPressの方はけっこう使い込んできたので、だいたいは同じようなものかと考えてはいます。サーバの管理をしていると、IPアドレスを含め得られる情報も多いはずです。

IPアドレスではなくドメインとして把握をすればより多くの傾向がつかめるはずです。例えばac.jpで終わるのは大学関係が多く、go.jpは日本の政府機関ではなかったかと思います。133で始まるIPアドレスも大学が多かったと記憶しています。ドメインから社名が分かることも多いでしょう。

しかし、そういうのもサーバに管理者としてログインできてわかる情報であって、それ以外は管理者が公開設定した情報にしかアクセスすることは出来ません。管理者はコメントの内容を書き換えることも事実上出来るのではないかと思います。

私はそういうこともあって情報の信頼性の担保がしにくいことから、自分が管理するサーバでの情報公開をしないようになりました。

確認を兼ねてずいぶんと久しぶりにブログのページをブックマークから開いてみたのですが、以前見たときと同じような状態で現在も公開はされているようです。TwitterにURLとスクリーンキャプチャーの画像を投稿しました。次のものです。

Twitter / hironohideki: 元検弁護士のつぶやき … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/460225495179603971>

資料の数が増えすぎてもどうかと思いますし、手間も掛かるので、簡単な方法でスクリーンキャプチャを画像ファイルとして保存し、それをTwitterに投稿するようにしました。画像サービスとしてのTwitterの利用になりますが、これはまた別のところで説明をしておきたいと思います。

またしても長い中断があったのですが、4月28日月曜日の18時49分を過ぎたところです。直前の書き込み時刻はTwitterの投稿日時でも確認できるかと思います。これからのご説明にも役立つと思うのでツイートそのもののURLとタイトルを取得してみます。

Twitter / kkhirono: 資料の数が増えすぎてもどうかと思いますし、手間も掛かるので、 … <https://twitter.com/kk_hirono/status/460229169452814336>

10:29 - 2014年4月27日　←　投稿日時はこのようになっていました。2,3日間を空けてしまったような気分でいたのですが、昨日の午前中まで記述をしていたことになりそうです。この間に、大きな一仕事を無事終えることが出来ました。

パソコンのOSをUbuntu 13.10からUbuntu 14.04にクリーンインストールで入れ替えていました。一つうっかりしたミスで、割と大きな失敗をしてしまったのですが、それについては別に項目を作って記述します。結果をいうとファイルのタイムスタンプ情報を失わせてしまいました。

新しいパソコン環境のEmacsで先ほどこの初めて開いて気がついたのですが、この「あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を」という項目は3階層目に本文を書いていたようです。他とのバランスでどうかとも思いましたが、資料に関しては2階層にしているかと思います。

あまり細かいことにこだわらないで書いていこうと考えています。2,3日前にはWordPressのブログの方で、タイトル名が壊れたかたちで投稿されていることに気が付きました。どうも特殊記号が含まれていたようです。手直しも手間がかかり、逐一確認するのも負担なので放置することにしました。

以前はWordPressのブログをメインにBloggerのブログの方を補助的に考えていたのですが、Bloggerのブログの方を重点的に管理し、おかしいと思った時は確認をして不具合があれば修正するようにしています。ブログの説明についてもまたの機会にしたいと思います。

ここ一週間ほどの間に、重要なことがいくつかあり、その説明だけでもけっこう手間がかかると思いますが、核心に触れるような重要事項でもあります。

この「あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を」という項目についても十分な説明はできていないと思いますが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）との関わりの一部分ではあります。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）との関わりというのは、再審、冤罪、犯罪被害者、刑事弁護というテーマとの大きな関わりであるとともに、これまでに受けた影響と、今後の影響についても視野に入れて取り上げていく予定でいます。

それと優先順位を繰り上げてこの問題に言及したのは、他にも看過しがたい出来事があり、自分自身の立場、現状について改めて考えるところもありました。同じ「経緯及び社会の反応」の部分木というか範疇にもなる問題です。絡み合ってきた可能性もある枝葉の節目です。

また他で、多少触れることはあるかもしれませんが、他の説明、記述に移るため、この項目は終わりにしたいと思います。

<2014-04-28 月 19:32> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### ツイッターでブロックされた実名弁護士アカウントについて　2014年9月15日

<2014-09-15 月 10:19> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日になるかと思いますが、ツイッターでリツイートをするとき、ブロックされたアカウントのツイートだと、ブロックされている旨、明確なメッセージが表示されるようになっていました。

確認と記録を兼ねてスクリーンショットを撮ったのですが、さきほどブロックされていたことをたぶん忘れていた実名弁護士のアカウントのツイートをリツイートしようとしたところ、ブロックされていることに気が付き、そのツイートの内容も考えさせられるものなので、記事にすることにしました。

まずはスクリーンショットも含めて、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の最近のツイートを次にご紹介します。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/15 09:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511317643563765760> 2014-09-15-095630このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg <http://t.co/pv7nbCExBO>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/15 07:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511287287120814081> ［09月14日］のつぶやきをまとめました ▶RTされたつぶやきは「2014-09-14-1204212014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会…」 <http://t.co/fhmxbtagwR> #gbrt

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/15 00:18 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511172213773316096> 2014-09-15-001834\_【「弁護人による告発」と「司法取引」制度の導入～悪質融資詐欺の告発で虚偽の贈賄自白の背景に迫る～】と題して、.jpg <http://t.co/xJnwgkTAMk>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 23:41 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511162899704733696> 2014-09-14-234134喜んで成仏する人材が山のように現れるはず、というのが、平成の司法改革だったんだな.jpg <http://t.co/jrdEkqLxxd>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 23:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511161660757659648> 2014-09-14-233640このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg <http://t.co/366TSLZmTj>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 23:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511161518025498625> 2014-09-14-233607このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg <http://t.co/o9Y5oEmUnQ>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 23:35 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511161347438936064> 2014-09-14-233526このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg <http://t.co/nXi2SFXpeF>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 23:32 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511160674655809536> 2014-09-14-233245このユーザーにブロックされているためリツイートすることができません。.jpg <http://t.co/qs2PcO0UUz>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 20:30 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/511114710188429312> 2014-09-14-203005原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的.jpg <http://t.co/JRlmOEEgAe>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/14 12:04 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510987446729728000> 2014-09-14-1204212014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版.jpg <http://t.co/dgEwEXg3Wx>

細かく書くと長くなってしまうのですが、どうかと思われる発言（主にツイートまたはブログの記事として）をしている弁護士に限って、ブロックをしてくるという傾向性も窺えるところなのですが、彼らは本業であり、影響を受け、今後も影響を受ける可能性は私を含めてあるので、注視しています。

問題のツイートは、次の実名弁護士アカウントのリツイートとして目に止まりました。

＜2014年09月15日(月) 10時31分42秒にTwitterAPIで取得したokinahimeji（櫻井光政）のプロフィール情報＞ 渋谷・桜丘法律事務所の所長弁護士。認証保育所「きらきら保育園」理事長。会計人コース/中央経済社と季刊刑事弁護/現代人文社にコラムを連載中。季刊刑事弁護のコラムをまとめた単行本「刑事弁護プラクティス」，好評発売中。

櫻井光政弁護士に関しては、連続小説ドラマ「あまちゃん」を視聴するきっかけにもなった弁護士で、言及しかけたことがあったかと思いますが、ブロックはされていないようで、リツイートもできています。

問題を感じたのは櫻井光政弁護士がリツイートをした次の実名弁護士アカウントのツイートです。

投稿者：igaki（弁護士 井垣孝之） 日時：2014/09/09 18:30 ツイート： <https://twitter.com/igaki/status/509272655501852672> 司法試験に落ちた人がリベンジするには、つまらないプライドを捨て、自分の不合格答案を人に見てもらい、徹底的にダメ出しをしてもらうこと。そして、ダメ出ししてもらったコメント群を抽象化して、自分のダメなところの本質を自分で腑に落とすことです。変な見栄やプライドがある人は、また落ちます。

ツイートを前段と後段に分けると、「司法試験に落ちた人がリベンジするには、つまらないプライドを捨て、自分の不合格答案を人に見てもらい、徹底的にダメ出しをしてもらうこと。」が前段。

「そして、ダメ出ししてもらったコメント群を抽象化して、自分のダメなところの本質を自分で腑に落とすことです。変な見栄やプライドがある人は、また落ちます。」が後段になるかと思います。

司法試験ということで、弁護士だけでなく裁判官や検察官も対象になるのだとは思いますが、であればこそ、深く考えさせられるところもあります。また、法曹になる前段階のことでもありますが、成功者からのアドバイスという意味もあるのでしょう。

似たような発言はモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）にも散見されますが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の方は、元ロースクールの教員でもあったらしいので、発言の資格は当然にあることでしょう。

並ならぬ努力と私生活の犠牲の上で、弁護士になったという人も少なくはないはずで、その達成感や優越感というのも、一般には想像を超えたものがあるのかと思われます。これは小倉秀夫弁護士のツイートを見ていて、よく感じるところですが、昨日辺りスクリーンショットで記録したツイートもそんな感じ。

小倉秀夫弁護士のツイートをご紹介したいところですが、さきにブロックされていることのわかった実名弁護士アカウントのツイッターでのプロフィールをご紹介しておきます。

＜2014年09月15日(月) 11時00分01秒にTwitterAPIで取得したigaki（弁護士 井垣孝之）のプロフィール情報＞ 弁護士(大阪) /NPO法人GeniusRoots代表理事/ウィズダムバンク株式会社(ロースクール・ポラリス)代表取締役/その他写真館等複数経営/FP 【法学部・ロー生へ】勉強方法等アドバイスするので遠慮なくリプライください。 【一般の方へ】DMで相談応じます。「弁護士に相談すべきかわからない」という相談でもOKです。

プロフィールの内容は文字数オーバーでツイートできなかったので、ツイッターアカウントのURLを次にご紹介しておきます。

弁護士 井垣孝之(igaki)さん | Twitter <https://twitter.com/igaki>

タヌキのようなアイコンには数年前から見覚えがありますが、詳しいプロフィールの内容を見たのは今回が初めてかもしれません。もちろんプロフィールの内容は書き換えが出来るものなので、以前とは内容が異なっている可能性というのも、普通にあるはずです。

深澤諭史弁護士のリツイートしてみかけたのですが、思ったよりずいぶんと前のツイートのようで、小倉秀夫弁護士は人一倍ツイート数が多いので、本人のタイムラインでは繰り返し再読み込みをしても、見つけることが出来ませんでした。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/07/09 01:14 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/486543869996068865> で、とにかく弁護士の数さえ増やせば、ありとあらゆる事件を採算度外視して受任し、そして喜んで成仏する人材が山のように現れるはず、というのが、平成の司法改革だったんだな。

「で、とにかく弁護士の数さえ増やせば、ありとあらゆる事件を採算度外視して受任し、そして喜んで成仏する人材が山のように現れるはず、というのが、平成の司法改革だったんだな」という内容の小倉秀夫弁護士のツイートです。

信念を貫くようにまったくぶれることのない、小倉秀夫弁護士の思考と発言です。

私は専門家でもないので詳しいことはしりませんが、平成の司法改革以前の弁護士業界の状態が望ましいと小倉秀夫弁護士は考えているようです。

あえて調べもしませんが、平成の司法改革という言葉を見かけるようになったのは、少なくとも平成15年ではなかったかと思います。私自身、それ以前は余り自由にインターネットを使える環境ではなく、他のコンピュータ関係のことに専念していたので、その方面の情報を見る機会もなかったとは思います。

具体的には金沢刑務所を満期出所したのが平成13年12月31日で、5日ほどでパソコンを使えるようにしましたが、インターネットの接続となると、長くて一月ぐらい間があったかもしれません。

記憶が薄れているのではっきりしませんが、通信速度が低速なISDN回線を使っていたように思います。そう長くないうちに、ADSL回線に切り替えたはずですが、平成14年の11月下旬には羽咋市のアパートに引っ越していました。

その頃から専念して取り組んだのが、Linuxのサーバー構築と運用でした。Webアプリの作成やPHP,javaなどのプログラム言語の勉強も、書籍を買い込んだり、ひんぱんに書店に足を運んで調べたり、勉強をしていました。

多くの時間と労力を投入したと思いますが、現在もLinuxでプログラムを使った自動処理や管理をやっているので、役立つところは大きく、力になっているとは思います。ツイッターもAPIレベルで理解し、活用しているつもりです。

客観的な事実として「平成の司法改革」というものがいかなるものか、次に確認をしておこうと思います。

司法制度改革審議会 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B8%E6%B3%95%E5%88%B6%E5%BA%A6%E6%94%B9%E9%9D%A9%E5%AF%A9%E8%AD%B0%E4%BC%9A>

上記ページによると、次のようにありました。

司法制度改革審議会（しほうせいどかいかくしんぎかい）とは、日本において、司法制度改革審議会設置法によって1999年7月27日から2001年7月26日までの間、内閣に設置された審議会のこと。法科大学院や裁判員制度の骨格もこの審議会で決定された。

どうも、法科大学院の設置と裁判員裁判制度の導入がセットになっているようです。そういえばという気がしましたが、これを読むまでは裁判員制度のことは、考慮の他になっていました。

1999年ということは平成11年になるかと思いますが、その年の8月12日に私は逮捕されているので、そのちょっと前から始まっていたことになりそうです。裁判員制度の話というのも、見かけるようになったのは羽咋市で生活するようになってからだと思っていたのですが数年前から出ていたようです。

いずれにせよ、司法改革がいなかるものか、素人である私には全く手に余る問題ですが、私が人生を狂わされたと見ている、木梨松嗣弁護士や岡田進弁護士、長谷川紘之弁護士、若杉幸平弁護士が私に対して影響を及ぼした時期は、司法制度改革以前の時代の弁護士業界の姿ということになります。

小倉秀夫弁護士のような考えが持ち主の弁護士の存在を炙りだしてくれただけでも、司法制度改革には大きな成果があると私には思えるのですが、それでもなお、理解を超えているというのが現実で、なるべくありのままにご紹介することを心がけています。

うまく説明が出来ませんが、木梨松嗣弁護士や岡田進弁護士、長谷川紘之弁護士、若杉幸平弁護士らがやったことを説明するとき、同時に合せ鏡のように、弁護士とその業界全体に対する想像の翼を広げていただきたいというのが、私の目的です。

弁護士業界の体質が生み出した必然性があるように思いますし、よくもまあ、こんなデタラメ業界を放置しているものだと、社会に対して訴えかけ、告発しなければなりません。

まだ、羽咋市に行く前で、仕事を探している頃だったと思うのですが、平成14年の秋になるかと思います。宇出津の図書館でたまたま見つけた「検察の疲弊」という本と「東電OL殺人事件」という本を借りてきて読んだことがありました。

考えてみるとこれでも10年前になりそうですが、それだけに記憶もおぼろげになっています。同じ頃だったと思いますが、検察か裁判所に関しては、「病巣」というタイトルを頻繁に目にした時期がありました。それも本のタイトルであったのかもしれません。

調べたところ、次の本の可能性が高そうです。2002年という時期も、平成14年ということで符合しそうです。

Amazon.co.jp： 司法の病巣: 産経新聞司法問題取材班: 本 <http://www.amazon.co.jp/%E5%8F%B8%E6%B3%95%E3%81%AE%E7%97%85%E5%B7%A3-%E7%94%A3%E7%B5%8C%E6%96%B0%E8%81%9E%E5%8F%B8%E6%B3%95%E5%95%8F%E9%A1%8C%E5%8F%96%E6%9D%90%E7%8F%AD/dp/4048837427>

病巣という言葉が印象的に記憶に残っているのですが、本の内容に関してはほとんど思い出すこともありません。たぶん当時の乏しい情報環境で、気になる問題だったので、読み始めれば読破していたと思いますが、買って読んだという記憶はありません。

司法ということは、裁判官、検察官、弁護士の法曹三者が対象になるはずですが、弁護士に向けた批判を本で読んだという記憶は、それ以外を含め全くと言っていいぐらいないです。

弁護士が裁判所や検察庁に、批判の矛先を向けることはありふれたことですが、弁護士を批判するマスコミ、ジャーナリストというのも見ることが非常に少ないです。

そのような時代の風潮もあって、私は自分の法的救済の問題に関しても、再審請求以外に道はないと考え、警察や検察、そして裁判所に問題の目を向けるようになっていました。今考えると、魔法に掛けられたような状態と言っても過言はなさそうです。

焼きそばを作って食べ、片付けをしていたのですが、気になるツイートのことをひとつ思い出したので、それもご紹介しておきたいと思います。

投稿者：okinahimeji（櫻井光政） 日時：2014/09/12 22:22 ツイート： <https://twitter.com/okinahimeji/status/510418282940071936> 先ほど，全盲の少女に暴行を加えた男性が逮捕された旨の記事について，いい年をした大人が障害を持つ未成年者に暴力を振るうなど絶対に許せない旨のツイートをしましたが，その後，男性が知的障害者だとの報道に接しましたので，同ツイートを削除しました。

「先ほど，全盲の少女に暴行を加えた男性が逮捕された旨の記事について，いい年をした大人が障害を持つ未成年者に暴力を振るうなど絶対に許せない旨のツイートをしましたが，その後，男性が知的障害者だとの報道に接しましたので，同ツイートを削除しました。」という内容のツイートです。

精神障害者や知的障害者に対しては、弁護士という職業柄特別な見識というかこだわりをお持ちであることがうかがわれるツイートです。文献的学術的にも裏打ちされた理論に基づくのでしょうが、それはそれとして一つの見方と態度として、参考になりました。

業界ならではの共通認識というのは他にもいろいろとありそうです。私が精神鑑定を受けたことは木梨松嗣弁護士によって既成の事実化をされましたが、本来は同じ業界の社会的信頼を裏切った背信行為という見方も出来そうだと、私自身思っていたこともあります。

櫻井光政弁護士に関しては、伝統的に誠実な弁護士と見える一面があります。私自身、もっともあるいは唯一誠実な対応を受けたとも思える弁護士が、平成11年の事件の上告審で国選弁護人となった山口治夫弁護士でした。同じ渋谷区桜丘の住所地にある法律事務所であるということは既に書いているかと。

山口治夫弁護士（東京弁護士会）からは2度、手描きの手紙を受け取り、それも公開をしていますが、被害者との話し合いは国選弁護の対象外だという言葉が、明快でわかりやすくなおかつ印象的でした。

平成11年の事件は平成4年の事件の続きのようなもので同じだと、刑務官にも言われましたが、その続きの事件の裁判で、前の平成4年の事件の問題を是正することは不可能なことだとも痛感しました。見方を変えれば前の事件の弁護士の対応が決定的な影響力をもったという証明にもなろうかと思います。

木梨松嗣弁護士は何をしたか、精神鑑定を受けさせた以外は、ほとんどないない尽くしです。おそらく弁護士にありがちな対応なのだとは思いますが、必要がないと判断したことは全く取り合わないし、目も向けません。ブロックにも通じそうな性格性でもありますが、業務のスタイルとも見えます。

木梨松嗣弁護士の数回接見の中には、割と具体的な発言もありました。一つは、「誰か一人の責任を問うことが出来るかもしれないけど、それならば私は受けない。」という正義感をあらわにしたような発言でした。本書ではまだ書いていないかもしれませんが、ネットでは以前書いていると思います。

もうひとつは、被害者の容体に関して、私が直接謝罪をして元気づけたい、と言ったところ、病態は物理的な問題なので精神的な励ましなど全く無意味だ、というようなことを力強く言い返してきたことです。

これはインターネットでは平成15年以降、初めての記述になるかもしれません。上申書等には何度か書いているはずで、具体的な時期とかもそちらの方では確認も期待できそうです。

今改めて考えてみると、それが木梨松嗣弁護士との最後の接見の場であったのかもしれません。判決の見通しもなんら説明することなく、公判期日以外にいきなり判決期日が決まって、判決後もどれほど手紙や電報で、説明や面会を求めても連絡はなかったのですから、最後の接見の時期もはっきりしません。

精神鑑定が終わって拘置所に戻ったのが平成5年3月31日で、そのあと一度は木梨松嗣弁護士が接見に来たことははっきりしています。

精神病棟で見た、実際とは異なる日付や曜日を強く訴えかける患者のことを話したところ、かんたんに「おかしい」とだけ手短に答えていた場面が、一つだけ思い出せますが、私自身の手元になり記録でも読み返さない限り、新たに思い出すことは難しそうです。

また被害者の病態の話の時だったと思いますが、被害者は事件のことは余り思い出せず、無理に思い出させようとすると症状が悪化する可能性がある、というようなことを言いにくそうに話していましたが、かなり曖昧な言い回しで、さらに不安を与えるような態度でした。

実際の被害者側の状態や考えというのは、平成9年1月18日の福井刑務所の満期出所後、平成11年8月までの被害者の父親とのやりとりから間接的に推し量るしかないですが、木梨松嗣弁護士と話をしたとも連絡を受けたとも言う話は聞かなかったし、刑務所の中にいた私には想像さえ難しいところです。

木梨松嗣弁護士に関しては、情報を与えず拘置所の独居房で悶々とさせ、私の精神を破壊することを狙っていた可能性も高いですし、その方向に向けた実行行為という対応として、法的評価をするのが相応しいと思います。

このあたりの問題は、数カ月前に最新開始決定が出た袴田事件に通じるところもあるかと思っています。

午後からは本日解禁になった小木港にアオリイカ釣りに行っていました。決まりがあるのは小木港だけです。21時14分ぐらいからだと思いますがテレビで検察庁が舞台のテレビドラマ「HERO]を観ています。今回も落合洋司弁護士（東京弁護士会）の批評のツイートがリアルタイムで出ているようです。

番組が始まったと思われる21時以降の落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートを次にご紹介しておきます。

リツイート）→ 　投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:42 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511495369822183425> RT @cx\_mezamashi: 加藤綾子キャスターと山﨑夕貴アナがドラマ「HERO」に出演！なんと二人が木村拓哉さんと共演しちゃうよ！今夜のHEROは要checkだね(﹡֦ƠωƠ֦﹡)21時から放送だよ♪

#めざましテレビ <http://t.co/L9xJoubWq6> 元のツイート）→　投稿者：cxmezamashi（めざましテレビ） 日時：2014/09/15 14:17 ツイート： <https://twitter.com/cx_mezamashi/status/511383219078299648> 加藤綾子キャスターと山﨑夕貴アナがドラマ「HERO」に出演！なんと二人が木村拓哉さんと共演しちゃうよ！今夜のHEROは要checkだね(﹡֦ƠωƠ֦﹡)21時から放送だよ♪

#めざましテレビ <http://t.co/L9xJoubWq6>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:39 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511494528419647488> 調書破ってなかったか？公用文書毀棄罪なんだが。検察庁は、取った調書を捨てない。警察はシュレッダーにかけたりするけど。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:36 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511493654309916672> こういう人は、特捜部には向かない。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:32 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511492704039997440> 表参道じゃないか。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:30 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511492351357755394> 検察OBが、なぜ捜査に協力せねばならんのだ？馬鹿か。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:27 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511491559632543744> 特捜部の応援に行って、シナリオに反する調書取ろうとするような検事は、即、応援解除。行きたくない人はこれやるのが有効だろう。二度と呼ばれない。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:21 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511489903138328576> 思い込みが激しいのは、副部長っぽい。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:18 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511489144489381888> 弁護士が検事にこういう物言いはせんわな。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:12 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511487796129705984> 全然、副部長という感じじゃない。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:12 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511487620497424385> なんでフジの女子アナが店にいるんだ。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:10 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511487228527136770> ブツ読みするのに、わざわざ検事の応援いらんだろう。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:06 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511486241779355649> 副部長が大部屋の端にいる、おもしろい特捜部だな。笑

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:04 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511485696259788800> 事務官は、労多くして何の益もないのを知ってるから、特捜部の応援で喜んだりしない。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/09/15 21:03 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/511485346052202497> 特捜部の応援で喜ぶのは、名前知ってもらいたい、実態を知らない、A庁入り前のジュニアな検事くらいでは。

検察官経験者ならではの感想もあるのだと普通に思います。個人的には他にも思うところはありますが、ありのままにご紹介です。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）は、以前同じシリーズの「HERO」という番組で、法律監修とかをやっていたそうですが、それ故の思い入れや感慨もありそうです。それを知っているかいないかで、受け止めにも違いがありそうな気がしますが、専門家であり検察官経験者であることは客観視しています。

中途半端になっているかと思いますが、袴田事件に関しても別の機会に大きく取り上げる予定でいます。

<2014-09-15 月 21:58> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する名誉毀損での告訴の準備と資料

#### 2014-08-24Twitter　／　検索　-　リーク　from：motokentw.txt gblog

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/21 12:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468949478339526656> 同感RT @kyoshimine: @phtaiken 捜査は秘密が原則ですから、衆知を集めるというのは難しい側面があります。本件で不信を招いたのは、第一にいい加減なリーク報道（報道機関にも問題あり）、第二に勾留しながら公判まで時間がかかったことでしょう。 @nobuyoyagi

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/20 08:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468539400859942912> おまけにリークされたまんまの垂れ流しで、批判的に検討しないですからね。RT @reservologic: ですね。だって紙面を埋めるのにリーク待ちだもん。RT @motoken\_tw: @reservologic マスコミの見識が問われるところですが、現状は悲観的。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/19 18:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468321814603915264> 警察はよく捜査情報のリークをするが、全ての情報をリークするわけではないことは当然のこと。従って、警察のリークによると思われるマスコミの記事の内容が不自然であったり整合性がないとしても、警察が持っている情報全体が不自然、不整合とは限らない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/23 00:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/315120638304075776> 責任感はあっても情報源が限定され過ぎていて証拠の全体像がわからない。RT @amneris84: @motoken\_tw 元を隠してリークする警察・検察関係者と違って、名前も顔もさらしての情報発信は、はるかに責任感のある対応だと思いますし、彼が嘘つきだとは思いません。が、

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/10 01:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/310424065322151937> 遠隔操作事件で最近警察のリーク報道が少ないのは、リークしたがる幹部連中が理解できないレベルの話で捜査が進んでいるからではないかと憶測w

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 19:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308523770581225472> 警察から捜査情報が全くリークされなくなったらどうなるか考えてみるのも興味深い。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 01:36 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308254481370456065> リークした奴は最低最悪。RT @amneris84: 世の中に害悪ふりまいてますよね RT @motoken\_tw 具体的にどのコメントか分かりませんが、基本的に何の役にも立ってないでしょう。RT 匿名の「幹部」たちのコメントは世論誘導にめちゃくちゃ奏功しているようですが、…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 21:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304200074982985728> だから受け手にとっては同じ。RT @Kajiyong: では一連の警察リークはどう思われますか？ RT @motoken\_tw: 江川さんが佐藤弁護士に取材して記事にすること自体を批判する意図はないのだが（佐藤弁護士の発言については議論はあろうが）、その意味するところは考え…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 16:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304128610686603264> それは別問題としてあるでしょうね。RT @buvery: 判決後の元被告人の生活には影響大なのではないでしょうか。RT @motoken\_tw: 警察や弁護人が自分に有利な情報をリークしたり取材に応じたりしてマスメディアに掲載…裁判官が影響されるとは思えないんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 15:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304114698712915968> ところで、根本的な疑問として、警察や弁護人が自分に有利な情報をリークしたり取材に応じたりしてマスメディアに掲載させることが、裁判の結論（有罪無罪）について何かいい影響があるのだろうか、という疑問がある。裁判官が影響されるとは思えないんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 15:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304109385997762561> 佐藤弁護士の発言だって正確性を担保する手段はないのですよ。RT @buvery: 警察リークも公式に記者発表をしているのなら、方向性が逆というだけで良いと思います。実際には、警察は非公式に機密を漏洩しているから、責任を取らずに済み、不正確な情報となりがち。RT

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 14:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304104827472977920> 警察がリークしてマスコミがそれを報道するのと、江川紹子さんが佐藤弁護士に取材して記事を書くのと、どう違うのかと考えてみたが、情報の受け手としての観点で言えば、方向が違うだけで機能的にはどっちも同じと見る方がよさそうな気がする。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/18 11:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/303326009892143104> 目的は同じでしょ。方向は対抗的だけど。RT @kyoshimine: 被疑者に対し守秘義務を負うだけですし、堂々とやっているので、リークとは言えないように思います。一般的に、情報開示は慎重にすべきと…。 @motoken\_tw …弁護人が接見内容を漏らすのもリークと言えばリーク。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/18 10:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/303312567386923009> 佐藤弁護士は積極的に情報操作をするタイプのようだな。弁護人が接見内容を漏らすのもリークと言えばリーク。RT @2ch\_matome: #2ch ゆうすけ　「へぇ、僕が首輪つけた映像あるんですか？見せてくださいよ」　警察「…」 <http://t.co/knyus7E9>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/11 22:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/300959693453541377> ぽくない。RT @excaliburnimue: 真犯人か否かというのは別にして、警察をおちょくった犯人への意趣返しか警察がマスコミに事前に個人情報リークしたっぽい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/11 12:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/300806364614250496> ブログエントリを修正しました。【ヤベラボ】: どうしてリークするのか？【遠隔操作ウイルス事件】 <http://t.co/h0MaPQ7T>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/11 12:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/300803755140595713> 端緒を得たマスコミが突っ込んだら言わんでもいいことまでべらべらと、という感じでは。RT @thermalpaper00: @motoken\_tw 産経の報道を見ると、どうも「意図的なリーク」というより、「抜かれた結果」というのが正しいみたいですねえ。ただ、早い段階で「捜査が進展…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/11 01:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/300637750200246273> ブログでも述べましたが、利敵行為としかいいようがない。RT @morimori\_naha: @motoken\_tw そう思います。では逮捕前にマスコミにリークすることが、被疑者を有罪にすることに有効…なのかな、やっぱり。裁判官の心証を形成するのに。裁判員はいわずもがな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/09/02 20:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/109595911541370880> 捜査情報をいくらマスコミにリークしても問題にならないけどな。＞捜査資料漏えい事件、捜査１課警部懲戒免職 : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/dKtlsqi> via @yomiuri\_online

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/08/16 17:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/103385562228064256> 限界は微妙な感じですが。RT @ERnanchan: @motoken\_tw @47news あ、そうなんですか。ただ、マスコミにしたら、リークしてもらった方が自らのメリットになるから、そういう視点をわざわざマスコミが警察を叩くことはあり得なさそうですね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/08/16 17:10 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/103378011675570176> こういう情報をリークする意図は何なのか教えてくれないかな、警察の誰かさん。馬鹿かお前ら。RT @47news: 複数の刃物で一斗缶遺体切断か　部位により形状異なる <http://t.co/XclBnqF>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/06/15 11:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/80822814487232512> 論点ずれ。RT @yukiokb: 警察や検察はマスコミに一方的な情報をリークして世論を煽り、捜査を自らのシナリオ通りに進めるのに利用していると思われる節あり。 RT @motoken\_tw: 殺人事件の裁判で被告人が否認したり黙秘すると、遺族が被告人に真実を語って欲しいと言い、

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/04/28 01:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/63271727689506816> なぜ批判封じになるのか分からんな。RT @yoshidamasaki: 「ホリエモン収監！」最高裁が司法クラブに事前リークで「批判封じ」 <http://t.co/VcZftPn>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/03/03 15:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/43199738270597120> どうせリークするなら逮捕状の被疑事実を正確にリークしてほしい。そうしたら、まともな議論ができる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/28 16:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/42118261860614144> そうだとすると、そのほうが重大な事件になりそう。RT @kazemachiroman: 事前に問題を入手していて、ただ単に試験時間中にリークしただけではないのかなぁ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/16 23:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/4545334021726208> 刑事政策論を議論するのになぜビビる必要があるんですか？RT @ledline: そりゃそうだけど、ビビって手が出せなくなってるの事実かと…リーク多用して大騒ぎしてたのは今に始まったことじゃないしロッキードだって酷かった… RT @motoken\_tw 個別事件捜査と政策論は違う

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/14 15:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3699891108843521> 秘密性と責任の軽重に影響してくると思います。どこも調べませんけどね。RT @oki\_ben: 上の容認は組織内の問題で、法的責任とは別。この件を捜査するなら、リークも調べて欲しい RT @motoken\_tw: 違いと言えば、警察や検察は上層部がリークを容認してるんですよね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/14 13:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3659128815747072> 起訴されたら争点にできる話。だから及び腰なのかな。RT @zakmustang: マスコミに情報をリークするような警察/検察/政府関係者も全て「犯罪者」（by仙石）扱いをして法の俎上に乗せるべきじゃないかい？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/14 12:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3648881908781056> ないですよ。RT @madhat2001: 上層部のリークにも法的根拠があるとは思えんが。RT @motoken\_tw: そうですね。ただし、違いがあると言えば、警察や検察は上層部がリークを容認してるんですよね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/14 12:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3647858276311040> そうですね。ただし、違いがあると言えば、警察や検察は上層部がリークを容認してるんですよね。RT @saorititi: @motoken\_tw 航海士の件も合わせ、素人的には警察や検察がマスコミに情報を流すのと同じ様にしか思えない・・・法を学ぶ方にはかなり違うのかも知れないが。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/08 09:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/1429512231321601> 同感です。RT @kazu1961omi: だから、リーク問題を守秘義務違反問題にするのは違和感があります。RT @motoken\_tw: リーク問題の本質はメディアの甘えと怠慢ですね。RT @kazu1961omi:メディアの存在意義のひとつは、権力が独占している情報を取ってき

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/08 09:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/1423759915352064> 要するに、リーク問題の本質はメディアの甘えと怠慢ですね。RT @kazu1961omi: いわゆるリークが問題とされるのは、メディアが権力の意向に沿った情報拡散をすることかと。メディアの存在意義のひとつは、権力が独占している情報を取ってきて、みんなに伝えることだと思ってます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/20 12:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/27898907432> こういうのは弁護士によるリークと言うのだろうか？RT @asahi\_tokyo: 前特捜部長の大坪弘道容疑者（５７）が弁護士に「（前田元検事に）プレッシャーを与えたとしたら、申し訳ない」。http://t.asahi.com/jl1

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/17 18:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/27622035531> @Gerge0725 若狭弁護士がそんなことを言ったんですか。全く根拠がないです。あの人大丈夫かな。というか、特捜部というのはそういう感覚でいるのかも知れませんね。だからリークするんでしょう。しかし、東京地裁の特捜部への信頼はかなり以前から崩れています。大阪は壊滅的ですね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/17 08:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/27584511144> やっと出た公判部長のリーク情報。予想どおり。しかしこの公判部長、私の同期なんだな～。＞公判部長も改ざん疑惑認識　前特捜部長「任せてほしい」 <http://t.asahi.com/ivh>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/06 15:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26529644320> これも検察の誰かがリークしているのは間違いないですが（仮にそうでなければ捏造記事になりますが）、検察は確実な事実としてリークしてるんでしょうね。そうでなければ公判で自分の首を絞めかねませんよ。 <http://ow.ly/2Pb3N>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/06 08:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26502891478> 検察審査会側からのリークについて、誰か問題にしているのかな？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/06 07:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26498089950> @crusing21 ここまでの検察審査会の内部情報がリークされたのは初めてのように思うのですが、どうでしょう？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/03 10:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26222378576> 第三者機関による検証の際には、検察によるリークの当否も対象にすべきだと思います。RT @kazemachiroman: こういう報道自体がどうなんだろうね。～「…」と言われたと最高検に供述していることが捜査関係者の話で分かった～asahi <http://bit.ly/aUBB0i>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/03 09:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26218443046> 落合先生が批判されているようにあまりにもあからさまなリークですね。二人に対する揺さぶりのつもりなんでしょうか。＞前特捜副部長ら改ざん隠し指示か　告白され「任せろ」 <http://t.asahi.com/fyy>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/01 10:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26035260680> www RT @o40kisha: マスコミが検察や政治家から匿名を条件に情報を得ることを「リーク」として、厳しく糾弾している某有名ジャーナリストが「私が得た内部情報によれば」って……。それと「リーク」の違いを教えて！(笑)

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/09/04 09:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/22934658063> その一文を明記するようになっただけ進歩 RT @powerpc970: 新聞記事で気になるのは「県警への取材によると」の一文。簡単に捜査情報を「お互いの都合よく」リークする馴れ合い関係が怖い

#### 2014-08-24Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士　OR　佐藤弁護士　from：motokentw.txt gblog

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/22 19:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/469432409985794048> 刑事裁判の情状弁護というのは、弁護士が被告人をどれだけ理解しているかが重要だと考えている。その意味で、片山被告人を今最も理解している弁護士は佐藤弁護士だろう。辞任されなくてよかったと思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/22 19:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/469425005525098496> ログインしなければ読めない部分だが、佐藤弁護士が被告人の人生を考えていることがよく分かる法廷だ。＞「真犯人」に戻った瞬間（きょうも傍聴席にいます） - 朝日新聞デジタル <http://t.co/jZwHMRjL6L>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/22 11:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/469296978627952640> 佐藤弁護士を批判ないし非難するツイートも流れてくるが、私は佐藤弁護士を尊敬する。 佐藤弁護士は、被告人の主張を弁護していたのではなく、被告人を弁護しているのだと思う。 さらに言えば、被告人の人生を弁護している。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/20 19:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468706900612112384> 読み応えがあった。誤字が多いけど。＞詳報・遠隔操作事件・佐藤弁護士会見その3：iesysを作るくらいのC#スキルはあった　「取り調べ可視化されていればもっと早く解決したのではないか」 (1/3) - ITmedia ニュース <http://t.co/raGiDrRN3e>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/19 15:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/468278427188203520> 「知っている」というのは不正確だな。RT @ld\_blogos: 佐藤弁護士は「片山さんがこのメールを作った人ではないということは私自身が一番知っている」と強調。 ／【速報】"自ら送信"との報道を受け会見…片山祐輔被告は姿を見せず <http://t.co/PjZR31Pd8g>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 02:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322403513961418752> いいえ。佐藤弁護士も同じように考えるだろうと。T @k\_sob: つまり佐藤弁護士の考えは異なる可能性があると？ RT @motoken\_tw: 大抵の刑事弁護士はそう考えるということ。QT ksob: @motoken\_tw おっしゃりたいことは【佐藤弁護士は私同様有能だから

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 01:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322387301630095362> 私が言ったのは、佐藤弁護士は有能だから再逮捕を想定しているはず。その想定が実行されたのは予測可能性が増加したという意味で歓迎すべき事態だということ。何度言わせるんですか？RT @amneris84: @motoken\_tw で、…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 01:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322379257135394817> 佐藤弁護士が一連のやりとりを読めば苦笑するかなw RT @amneris84: @motoken\_tw いろんな考えあると思うけど、佐藤弁護士が再逮捕を「歓迎」していると言ったところが、そもそも間違いだと思いますよ。今後もう少し言葉には慎重になっていただければ、と

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 01:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322378740082548738> 冤罪を主張している佐藤弁護士が、再逮捕を歓迎するなんて言うはずはないじゃないですか。しかし、捜査状況の認識としては、ようやく来たか、と思ったはず。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 00:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322375058943258624> 論理まで失ったか。「再逮捕を歓迎しない佐藤弁護士は無能だ」とは言ってない。RT @amneris84: @discusao そう。弁護士もいろいろ流儀の違いがあるから、再逮捕を歓迎しない佐藤弁護士は無能だ、と言うなら、それはそれでありうることだと思うんですよ　@GoITO

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 00:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322374477423984641> 本音と建前。RT @discusao: @GoITO 江川さんも参加している佐藤弁護士の会見等参照すると、モトケン氏とのスタンスはかなり違っています。再逮捕を歓迎するという言い方はまずしなさそうで、無能な弁護士という見方をされる可能性もありそうな。そういった対立構造

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 00:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322371703005134848> 感情の話をしてるんじゃないです。客観的に見て望ましい事態かどうかの問題です。RT @totemo512: @motoken\_tw @amneris84佐藤弁護士が「歓迎」＜受け入れられない＞のどちらの感情も持ってるなら、お2人の予想は両方間違ってるし、部分的にどちらもあっています

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/11 23:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322355765480415232> 佐藤弁護士ほどの有能な弁護士が想定してないはずはない、ということなんですけど。RT @amneris84: @motoken\_tw 歓迎してない、と言ったら、想定してなければ無能だ、とおっしゃいましたね。なぜ、「歓迎しない」を、「想定しない」にすり替えるのですか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/11 23:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322351877087956992> もう一度言いましょうか。有能な佐藤弁護士は、再逮捕があることを当然想定していた。いつあるかが問題であり、どうせあるなら早い方がいい。それがようやくきた。という感じですよ。RT @amneris84: @motoken\_tw へ？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/11 23:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322351085949968385> 佐藤弁護士は当然想定していると言ってるんですよ。RT @amneris84: @motoken\_tw　喧嘩なんか売ってませんよ。歓迎していない＝想定していない＝無能みたいなことを言われるから、それは違うんじゃないですか、と申し上げているだけ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/11 22:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322344442235322370> 再逮捕を想定してなかったら弁護士として無能です。想定された事態が明確になると言うことは弁護のためには有益です。RT @amneris84: されてませんでしたが RT @motoken\_tw: 片山被告人の再逮捕は、佐藤弁護士も歓迎しているはず。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/25 19:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/316133875036323841> もうすぐ来そうだな。真犯人だと名乗るメールが。RT @yjochi: 佐藤弁護士に、真犯人からメール来てませんか、と聞かれ、来たら真っ先に先生にお知らせします、と答えた@弁護士会館のシンポジウム会場

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/22 22:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/315091330579705856> これ以降の連投ツイートを読んだ。RT @iwakamiyasumi: 以下、連投。 RT @IWJ\_ch4: 1.3月22日（金）16時15分から行われた「PC遠隔操作事件 佐藤博史弁護士＆木谷明弁護士 記者会見」の模様を報告ツイートいたします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/06 09:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/309104943418195968> しかし、被疑者が、検事からこんな不当なことを言われた、と弁護人に言い、それが著名なジャーナリストによって広く報道された場合、検事がそんなことは言っていないと立証するには可視化しかない。佐藤弁護士がどうかは別にして、可視化しないと今後印象操作をする弁護士が出てきても不思議なない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 10:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308395892954787842> 問題なのは、佐藤弁護士が不可能と言い切っているところ。RT @ponkom: それはわかりませんが、個人的にはその情報は犯人であることもないことも示していないと思います。 QT @motoken\_tw 佐藤弁護士や警察検察がそれを理解しているか？RT 開発現場の一般的な…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 10:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308395002751508480> 佐藤弁護士や警察検察がそれを理解しているか？RT @ponkom: @motoken\_tw （被疑者の普段の業務もウィルスの詳細もわからないので一概には言えませんが）開発現場の一般的な感覚からすれば、「Javaで10年も仕事してんならＣ＃ぐらいすぐできんだろう」ぐらいです。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 10:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308394360859414528> 佐藤弁護士の話を鵜呑みにできない可能性を示したもの。鵜呑みにして判断してる人が多そうなので。RT @halt\_haru: @motoken\_tw 警察から十分かつ正確な情報が提供されないと、誰も判断できないと思います

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 10:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308393897489481728> 佐藤弁護士は不可能だと強調したが、ほんとにそうなのかという疑問を提示しただけ。RT @kokuramusen2282: @motoken\_tw そうかもしれないが「普段慣れていない言語を使ってバグが出やすいことを恐れないのか」「C#を使えるのに、就職先で仕事内容制限や報酬が下がる

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 10:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308391025838276608> 佐藤弁護士の話で一番気になるのが、C#に関するところ。被疑者は、CやC++を全く読めないのかな？読めるとすると、C＃をいじることも不可能とは言い難いと思う。 <http://t.co/dpOHJnTjCQ> これを読んだだけの素人考えだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 09:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308368971093139456> 一般論としては、弁護士の多くは捜査段階の弁護人（今の佐藤弁護士の立場）が接見情報等を公にすることには批判的だと思います。光市事件のときにも議論になりましたけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 01:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308257573935661057> 世論誘導というより、接見情報の開示が問題。RT @morikuni\_net: 接見した佐藤弁護士の世論誘導等が被疑者の不利益になる場合があるとすれば、それはどんなケースが考えられるでしょうか？ @motoken\_tw よくわからない。接見してるわけじゃないし。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 01:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308253979064807424> よくわからない。接見してるわけじゃないし。RT @morikuni\_net: どのようにすれば、より被疑者のためになるとお考えでしょうか？ @motoken\_tw 佐藤弁護士の世論誘導はかなり奏効していると思うけど、それがどれだけ被疑者のためになっているのかはよく分からない

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 01:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308252312927883265> 具体的にどのコメントか分かりませんが、基本的に何の役にも立ってないでしょう。RT @amneris84: 匿名の「幹部」たちのコメントは世論誘導にめちゃくちゃ奏功しているようですが、それが警察のためになっているのでせうか RT @motoken\_tw 佐藤弁護士の世論誘導はかなり

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/04 00:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308236774289850368> こんなことを言うとまた何か飛んできそうだけど言っちゃおうw 佐藤弁護士の世論誘導はかなり奏効していると思うけど、それがどれだけ被疑者のためになっているのかはよく分からない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/03 11:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/308039256310419456> この記事で一番共感できるのは「警察は内偵中だった片山氏の存在をメディアに嗅ぎ付けられ、証拠の隠滅を恐れて証拠固めが不十分なまま逮捕に踏み切った可能性が高い」の部分。警察の自業自得だけど＞遠隔操作ウィルス事件・佐藤博史弁護士に聞く - <http://t.co/RVTgNK4Ka6>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/03 00:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/307879810556891136> まあ、否認している被疑者の弁護人が有罪だと言うわけがないのですが。RT @tjimbo: 「片山さんは犯人ではない」遠隔操作ウィルス事件・佐藤博史弁護士に聞く(ビデオニュース・ドットコム） <http://t.co/1khOO8C12u>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/27 01:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/306445528848285697> そこが問題なら佐藤弁護士がとっくに主張しています。RT @amneris84: @motoken\_tw 今回の事件は、愛知県のPCを操作して、掲示板に犯罪予告を書き込んだ、というものですが、被疑事実ではPCのを「操作」をしたことも書かれてなければ、そのために本人が「いつ、どこで…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 17:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304140800642662400> 江川さんが佐藤弁護士に取材して記事にすること自体を批判する意図はないのだが（佐藤弁護士の発言については議論はあろうが）、その意味するところは考えたほうがいいんじゃないのかな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 15:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304112792229781504> 依頼者ともめれば問題になるでしょうが、明確な嘘を言うとは限らないし。RT @buvery: …弁護士が明確に嘘を言っている場合、後で何らかの責任を取ることにはなりませんか。RT @motoken\_tw: 佐藤弁護士の発言だって正確性を担保する手段はないのですよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 15:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304109385997762561> 佐藤弁護士の発言だって正確性を担保する手段はないのですよ。RT @buvery: 警察リークも公式に記者発表をしているのなら、方向性が逆というだけで良いと思います。実際には、警察は非公式に機密を漏洩しているから、責任を取らずに済み、不正確な情報となりがち。RT

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 14:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304108083838332928> 違いがあるのは当たり前でしょ。RT @buvery: 警察リークは情報源が不明だけれど、佐藤弁護士の方は明確という明らかな違いがある。（書いているのがしょこたん、というのも違うけれど）RT @motoken\_tw: 警察がリークしてマスコミがそれを報道するのと、江川紹子さんが佐藤

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/20 14:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/304104827472977920> 警察がリークしてマスコミがそれを報道するのと、江川紹子さんが佐藤弁護士に取材して記事を書くのと、どう違うのかと考えてみたが、情報の受け手としての観点で言えば、方向が違うだけで機能的にはどっちも同じと見る方がよさそうな気がする。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/19 23:53 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/303879949880799232> 私は被疑者の作為を感じるわけで。RT @amneris84: @motoken\_tw 当然ながら刑事弁護の経験豊富な弁護士が、そういう引っ掛かりを覚える人が出るのは分かっていながら、それをあえて語るところに、佐藤弁護士の作為のなさを感じるし、その彼が語る内容に対する信頼感を抱く…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/18 19:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/303446785425285120> DNA鑑定には強かったようです。RT @Billie\_Jean0000: 佐藤博史弁護士つったら足利事件で菅家さんを無罪に導いた人だな・・・。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/18 10:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/303312567386923009> 佐藤弁護士は積極的に情報操作をするタイプのようだな。弁護人が接見内容を漏らすのもリークと言えばリーク。RT @2ch\_matome: #2ch ゆうすけ　「へぇ、僕が首輪つけた映像あるんですか？見せてくださいよ」　警察「…」 <http://t.co/knyus7E9>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/02/15 10:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/302221999332286464> 否認するならそういうことになりますわな。最後の佐藤弁護士のコメントは正論かつ意味深ですが。－－容疑者「別に真犯人」と潔白訴え　遠隔操作事件（中日新聞）http://t.co/w5jkxCQP

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/08/14 15:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/235268333392498688> うちのローに佐藤博史弁護士と菅家利和さんが来て講演したときは大勢の学生が聞いてたよ。RT @graywolfintokyo: 学生方とお話ください。“@motokentw: 彼が極端例外でない可能性の指摘ということで。 RT @keita\_adachi:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/03/26 13:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/11073084248> 佐藤弁護士が一番憤っていたのは、裁判官に対してだったように思います。RT @yukiokb: 捜査を担当した警察官と検察官こそ謝罪すべきなのに。RT @otsubo: RT @oishikenichi 裁判官が菅谷さんに頭を下げて謝罪した。胸が熱くなるニュースです。（略）

#### 2014-08-26Twitter　／　検索　-　素人　OR　専門家　from：motokentw.txt gblog

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 19:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500232332323069952> 匿名アカウントを相手にする限り、自分のほうが知っている、という自己催眠をかけることが可能かも知れないが、明らかに専門家であることがわかる人を相手にする場合でも俺のほうが知っていると言えるというのは、やはりどこか常軌を逸している部分があると見る他ない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/16 08:13 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/467080315127996416> どんな問題でも、相手より自分のほうが知識があって理解が深い、と考えるのは、専門家が素人を相手にするときにだけ合理性がある。ツイッターでは相手が素人かどうか分からない場合も多い。 @herobridge 氏はいまだにこれが分からない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/08 20:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/442254098923257856> 問題は、自分にわけの分からない自信を持っている人は、指摘してきた人が専門家だとは思えない（または思いたくない）ところだろうか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/03/05 15:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/441098091828371456> 素人は記事に書いてあることしか判断の基礎にできない。プロは、記事に書いてある事実の前提になっている事実や推測できる事実をも基礎にして判断できる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/02/19 19:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/436085309626130432> 素人が専門領域に関する嘘をつくと、専門家から見ればすぐにばれる。専門家が嘘をついてもばれると思うが、素人の嘘は見るからに不自然。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/02/16 19:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/435002498945134593> 刑事告訴されたり被疑者として捜査対象になった場合に、被疑事件について沈黙するかどうかはケースバイケースだけど、発言する場合は、その目的と効果を慎重に検討する必要がある。そして、多くの場合、そういう問題について素人は的確な判断ができない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/02/12 21:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/433585709232832513> 弁護士というのは、考え方の違いがとても大きい。穏健派と武闘派がいる。そして厄介なことに、どっちが自分の望む結果をもたらしてくれるか、素人にはよく分からない。まして、依頼者自身が何を望んでいるのか混乱してる場合は、深刻な誤解が生じる可能性がある。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/02/07 22:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/431783090776571904> 以前にも書いたけど、プロと素人の判断や意見の違いは、プロの方が圧倒的に多くの情報を処理した結果であること。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/10/20 10:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/391738726508167169> プロと素人の話がかみ合わない場合は、素人側の知識不足も原因の一つなんだけど、そういう自覚がない素人さんはかなり厄介。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/10/19 23:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/391572720623710209> ツイッターには、俺が一番知ってるんだ、だから俺の言うことが正しいんだ、と思ってる人が多いみたい。そのノリでプロに絡むド素人さんもいるんだが、それはツイッターに限ったことではないな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/12 18:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/378091280506429440> プロボクサーも格闘技に縁のない素人も暴力団も、 刑法の適用においては平等ですが、プロボクサーか素人か暴力団かは、正当防衛の成否や情状面で考慮されるらべき個別事情ではあります。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/08/13 17:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/367204454321651712> ある分野の専門家でも別の分野ではド素人であることを、今日も確認。読む側からすれば、ある分野の有名人の話だからといって、どんな内容の話でも信用できるわけではないことに注意。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/06/29 14:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/350844630801190913> 一般人に専門家の真似をしないよう注意喚起するのは、または専門家の真似をしている一般人に気をつけるように注意喚起するのはダメですか？RT @iqqu\_1420: @motoken\_tw ジャーナリストや専門家ならともかく一般人にそこまで求めるのは緩いTwitterに必要？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/06/29 10:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/350782868018049027> 法律の素人さんが法律問題について間違ったことを言うのをよく見てるので、経済の素人の私が間違ったことを言う可能性を自覚してるつもり。しかし、あの国語教師さんは、全てのことについて専門家並みの自覚があるらしい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/21 22:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/336838122140733440> 御意。RT @motoyuki: セキュリティの専門家と同じで、最悪の事態を想定して対処法を練るのが仕事ですよね… RT @motoken\_tw 最大限不利な見方ができなければ弁護なんてできないんだけどな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/29 09:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/328673218850324481> 3.11以降、専門家の話は信用できないという意見がたくさん述べられるんだけど、だからといって素人の話が信用できるということにはならないわけで、やはり徹底した情報公開と専門家同士の忌憚のない議論とそれをわかりやすく説明してくれる翻訳者が必要だと痛感。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/23 00:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/326351522839535616> 素人の法律用語を使ったツイートを専門家つまりその法律用語の意味を分かっている人間が読むと、全くイミフなツイートがときどきあるんだけど、突っ込むと懲戒請求するぞという人がいるので躊躇するなw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/21 16:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/325877589069668353> 被疑者または被告人の立場になった場合、黙秘権を行使することは常に自己に有利に働く、と考えない方がいい。有利に働く場合もあれば不利に働く場合もある。しかし、素人がそれを判断することは難しいので、弁護士に相談することをお勧めします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/12 08:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/322492081400582144> 刑事弁護人が相手をしているのは警察検察と裁判官。検事や裁判官が法律無知の一般人と同じ感覚でものを考えてるわけないじゃないですか。弁護士はそのような人間を相手にどうすれば被疑者の利益を最大化できるか考えている。それをド素人感覚で批判されてもなあ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/07 19:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/320851513222250496> 今度は「専門家」というレッテルか。やれやれ。RT @herobridge: 権威付けだけで威張りたい専門家って本当に醜悪だね。… Twitterは専門家が如何に幼稚なメンタリティしか持っていないのかという事を世間に晒したという点では、大いに評価できるね。… まさに裸の王様。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/06 20:53 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/320504600442585088> ため息が出るほどの無理解。RT @herobridge: 専門家はあくまでもその分野における知識が一般の人より多いに過ぎない。アニメオタクはアニメに詳しいがそれで一般人よりも的確な状況認識や状況判断ができるわけではない。知識は詳しい人から聞けばいいが、決断は専門家に委ねるのは危険

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/31 23:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/318373521191481344> 分かりやすく説明することは心がけてるけど、ツイッターでは限界がある。言っとくけど、こっちは法律知識で飯を食ってるんですよ。RT @nsodod: いつも「そっちのけ」にできる側だという考えが専門家のおごりではないですか？議論したければ歩み寄ってこいという差別的な発想が。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/21 03:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/314438123515949056> 自分が無知なド素人であるという自覚がないと、そこそこ知ってる人の話を平気で「嘘だ」と言えてしまう。間違いを指摘されて訂正すればいいんだけど、へんなプライドに囚われて間違いを認めないとこういう状況になる。 <http://t.co/kF3Oj0O70O>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/12 11:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/311298730794037248> 弁護士を名乗る匿名アカウントの場合、弁護士から見れば本当に弁護士かどうかほぼ確実にわかる。多分、弁護士以外の専門家、例えば医師も同じだろう。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/01/23 09:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/293875314709364737> 言い換えると、専門分野でない問題について根拠なく専門家をdisるのは、根本的に信頼性のない人物と看做せます。RT @motoken\_tw: 他分野の専門家を尊重できない人に相談するのはとても危険。RT @ichitaro\_xyz: @motoken\_tw ダメケンくん、…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/03 10:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/275410383660019712> どんな専門家だって具体的な情報なしにまともな意見を述べられるはずがない。述べたら詐欺師並に信用できない三流専門家。どんな名コックだって食材なしに料理を作れない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/11/06 00:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/265480683558952960> あなた、私の批判ツイート何も読んでないでしょ。RT @pririn\_: そういう専門知識の非対称性が有るから弁護士は食っていける。それなのに君はその専門性を武器にして相手にネチネチ嫌がらせを一年以上継続してきた。これは専門家による素人への専門知識を武器に使った嫌がらせだよ？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/10/27 22:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/262186208166281216> 弁護士をしてて頻繁に経験することは、裁判でこういうことを言ったら有利なのか不利なのかという判断が、素人とプロとでは正反対のことがあるということ。裁判官は法律の論理に従ってものを考えるということを素人は分からない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/10/21 01:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/259695034197213184> ある領域の専門家と素人の差は、一つの問題を考えるときに処理している情報量が圧倒的に違うのと、処理の的確性が桁違いに違うということ。それが分からないのが素人だとも言えるけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/24 18:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/250167604273090560> 法科大学院制度を設計した人間は、ド素人が三年で司法試験合格レベルに達するためにはどれくらいの勉強をする必要があるか考えたことがあったのかな？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/23 23:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/249871870374064129> うますぎ。例えが。RT @tsubasae3: 民意で選ばれた素人にフグを料理させるようなもの。食べた人の自己責任では済まない。RT @\_nakim\_:やばい、とは…？？(っ・ω・c)？？RT @motoken\_tw 好き嫌いの問題じゃなく、やばいよ。RT nakim\_

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/05/24 23:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/205663823334617090> 以前にも書いたことだけど、プロがその専門領域についてものを言うときというのは、素人が想像するのと桁がいくつか違う量の情報を処理していると考えた方がいい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/05/12 23:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/201311578723852289> それが簡単にできれば苦労はしない。私はその話で金を稼いでいることもお忘れなく。RT @powerpc970: 私に向けての言葉だと思いますが、私としては、モトケンさんには「素人にはわからん」と単純に否定されるのではなく、専門家として分かりやすく教えて頂ければと思ってます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/05/08 23:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/199869973773033473> 素人の無知を責めるつもりはないが、プロの言葉が理解できないなら、いきなり詭弁だとか言う前に質問をするべきでしょうね。RT @kikko\_no\_blog: @motoken\_tw 詭弁にもほどがあります。こんな言い訳をして恥ずかしくありませんか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/05/03 13:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/197911390814605312> 法律の専門家同士が、日本の法律について日本語で議論しているのを横で聞いていて理解できる日本人はどれくらいいるだろうか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/04/30 20:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/196920346102874112> 論理なんか追求しなくてもいいから、専門家の話を聞く耳を持ったほうがいい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/28 02:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/184692871734116352> 専門家は知ってるから専門家なのではなくて、やってるから専門家なんだと思う。本を読んだりするだけではなかなか専門家の領域には達しない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/07/27 09:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/96019372920938498> 玄人が素人に対して論で破れることは滅多にないし、素人を論で破ろうとすることもしない。ただし、前提事実が違えば結論は変わる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/05/29 11:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/74661671477587968> マスコミが捜査機関の判断を歪めるという事態はあり得ますね。RT @amneris84: なのに、大衆の期待に合わせて、いくばくかの可能性があるような発言をする専門家と、一部の発言を強調するメディアによって、期待は高まり、時に世論となって捜査機関に押し寄せる

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/03/02 00:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/42613829909221376> 素人と玄人の差は何か、という問いの答の一つとして、結論を出すまでに処理している情報量が圧倒的に違うということが指摘できると思う。つまり、発せられた言葉の重みと含蓄が桁違いに違うということ。だから、専門家ほど専門外のことに謙虚だと思う。例外も多いみたいだけど　（＾＾；

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/12/10 09:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/13025945870929920> 専門家の専門分野に関する発言というのは、素人の発言に比べて、発言までの間にはるかに多くの情報を処理している。その意味で深さが違うということはできる。しかし、出てきた結論が必ずしも正しいわけではない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/14 12:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3647858276311040> そうですね。ただし、違いがあると言えば、警察や検察は上層部がリークを容認してるんですよね。RT @saorititi: @motoken\_tw 航海士の件も合わせ、素人的には警察や検察がマスコミに情報を流すのと同じ様にしか思えない・・・法を学ぶ方にはかなり違うのかも知れないが。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/13 14:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/3323233759666177> 当然、専門家も謙虚さを欠いてはいけない。素人さんから有益な示唆を受けたことは数知れない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/09 23:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/2006786626289665> 著名で実績のあるジャーナリストでも、専門外の分野ではド素人同然というのは別に珍しくもなんともないので、それ自体は軽蔑に値するものではないけど、ド素人同然であることの自覚くらいは欲しいな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/08 09:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/1424834554765312> 個人によるネットの情報発信とマスメディアの違いは、情報収集の専門家である記者を擁しているかどうかだと思う。しかし、最近の記者は情報収集の専門家たりえているのだろうか？記者クラブ問題の本質もここらあたりにあるような。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 09:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28644586865> 相手が知らないことを自分が知っている場合があるのと同時に、自分が知らないことを相手が知っている場合がある。まして相手が何らかの専門家なら当然相手の知識と理解が多くて深い。議論に勝ちたがる人は、自分の知らないことを知る機会を自ら放棄している。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/06 22:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26549660499> 裁判において、どんな話が不利でどんな話が有利かについて、素人はしばしば逆の判断をする。玄人もときどきするけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/09/18 12:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/24817330133> ツイッター（に限らないですが）で専門家と素人が話をする場合、発言の前提としている情報量が桁違いに違うので、誤解が生じる可能性大。というか常に生じると思ったほうがいいようです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/09/15 21:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/24564616032> 問題視されるべきだと思う。RT @h1pster 押尾学氏への求刑が「軽すぎる」と大見出し取ったスポーツ紙があった。専門家のコメントではあるが、裁判員にプレッシャーかけようという意図が見え見えだった。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/04/06 23:41 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/11701499324> @ESQ\_JPN ジャーナリストが専門領域について勉強不足なのは同意ですが、最高裁の性格をツイッターで素人に説明するのは難しいと思います。

#### 2014-08-28Twitter　／　検索　-　弁護　OR　刑事　AND　無知無理解　from：motokentw.txt gblog

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/06/07 10:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/475086156972171265> 刑事弁護人の職責というのは、ほんとに理解されてないな。新聞記者が刑事司法に無知・無理解なのは検事当時から身に染みているが。＞RT

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/15 19:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/334616768293257217> 橋下氏は、光市事件裁判の頃から刑事弁護についての無知無理解を晒していたのだが、刑事弁護に無知無理解な弁護士が犯罪について理解があるとは思えない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/06/28 10:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/218161637889282050> “悪魔の弁護人”て初めて聞いた。マスコミがそう呼んでいるなら、ほんとにマスコミって無知無理解だ。＞毒カレー、オウム真理教、光市母子殺害……“悪魔の弁護人”と呼ばれる男の素顔『死刑弁護人』 <http://t.co/Hcynqlby> @cyzo #cyzoさんから

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/02/24 10:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/172859248559128576> 不当な内容の批判に基づいて懲戒煽動したこと。RT @yquem1973: 貴職は、彼が懲戒を教唆したことか、弁護団を批判したことか、どちら(またはどちらも)を「刑事弁護に対する無知無理解」とお考えですか？ RT @motoken\_tw: … @YutaBossun

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/02/24 09:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/172837980241793026> 大きな理由として、光市母子殺害事件弁護団に対する懲戒煽動発言。弁護士でありながら、刑事弁護に対する無知無理解を晒し、弁護人たちに不必要な負担を強いた。RT @yutabossun: @motoken\_tw なぜ評価が低いのでしょう？僕は橋下が嫌いですが。

#### 2014-08-28hironohideki（廣野秀樹）の2012年3月4日から3月17日のツイートの抜粋.txt gblog

＃＃：　 以下、2012年3月4日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 05:14 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176037857880850432> RT @Hanzai\_Guide: 福井女子中学生殺害事件「再審開始を早く」 弁護側が集会 - 日本経済新聞 <http://t.co/3k80vxbG> 元のツイート）→　投稿者：HanzaiGuide（犯罪ガイド） 日時：2012/03/04 03:52 ツイート： <https://twitter.com/Hanzai_Guide/status/176017273352491008> 福井女子中学生殺害事件「再審開始を早く」 弁護側が集会 - 日本経済新聞 <http://t.co/3k80vxbG>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 05:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176038630350008321> RT @nosaibaninko: 裁判員候補者のみなさん、裁判所から呼び出し状が来ても出頭しなくて大丈夫。今まで罰せられた人はいません。でも、出頭してＰＴＳＤになった人、仕事を辞めざるを得なくなった人はいます。出頭しなければ選ばれる心配もありません！拒否しましょう。無視 … 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/02 22:04 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/175567305147809792> 裁判員候補者のみなさん、裁判所から呼び出し状が来ても出頭しなくて大丈夫。今まで罰せられた人はいません。でも、出頭してＰＴＳＤになった人、仕事を辞めざるを得なくなった人はいます。出頭しなければ選ばれる心配もありません！拒否しましょう。無視しましょう。ご相談は大運動までどうぞ

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 11:59 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176139687344353280> RT @motoken\_tw: 目的のために手段を選ばないとこうなるわけね。謝る相手が違う気もするし。＞コハクチョウ：湖から姿消す…撮影クルー爆竹で脅し　滋賀 - 毎日ｊｐ(毎日新聞) <http://t.co/XQLUHSBu> @mainichijpnewsさんから 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 11:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176132084962824192> 目的のために手段を選ばないとこうなるわけね。謝る相手が違う気もするし。＞コハクチョウ：湖から姿消す…撮影クルー爆竹で脅し　滋賀 - 毎日ｊｐ(毎日新聞) <http://t.co/XQLUHSBu> @mainichijpnewsさんから

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 13:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176166313260105729> RT @motoken\_tw: 司法試験受験生と予備校を思い出した、と言ったら失礼だろうか？＞この国はきっと滅びる!就活のバカたち 学生もバカなら、面接官も大バカ <http://t.co/kbzkz0fy> 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 12:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176143824488366081> 司法試験受験生と予備校を思い出した、と言ったら失礼だろうか？＞この国はきっと滅びる!就活のバカたち 学生もバカなら、面接官も大バカ <http://t.co/kbzkz0fy>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 14:20 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176175364203233280> 2012-03-041137金沢地方検察庁2012年3月1日の電話-再生回数15.jpeg <http://t.co/1Qaub8sC>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 14:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176175675458338817> 2012-03-041138能登警察署2012年3月1日の電話-再生回数17.jpeg <http://t.co/z8DX28rH>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 17:20 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176220570818584576> RT @sollamame: 裁判所は真実を白日の下に明らかにしてくれる機関である，というあらぬ期待をしている人ってどのくらいの割合で存在するのでしょうかね 元のツイート）→　投稿者：sollamame（そらまめ© ） 日時：2012/03/04 17:12 ツイート： <https://twitter.com/sollamame/status/176218646329294848> 裁判所は真実を白日の下に明らかにしてくれる機関である，というあらぬ期待をしている人ってどのくらいの割合で存在するのでしょうかね

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 17:47 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176227302047358977> 今月の右脳インタビューは落合洋司さんです。落合さんは弁護士としてご活躍ですが、もともとは検察庁のご出身ですね。　"右脳インタビュー　落合洋司さん" - <http://t.co/sIk5FGSm>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 17:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176228378733576192> RT @sollamame: 会社を経営してる友人が，月20万も法律顧問費用を払っていたので「どんな仕事頼んでるの」と聞いたところ「ウチの案件を最優先でやってくれる条件になってる」と言っていた。最優先オプションって一企業にしか提示できないはずだよね。 元のツイート）→　投稿者：sollamame（そらまめ© ） 日時：2012/03/04 17:44 ツイート： <https://twitter.com/sollamame/status/176226581327519745> 会社を経営してる友人が，月20万も法律顧問費用を払っていたので「どんな仕事頼んでるの」と聞いたところ「ウチの案件を最優先でやってくれる条件になってる」と言っていた。最優先オプションって一企業にしか提示できないはずだよね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/04 17:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176228594509557760> RT @taniyama: 論告が見据える敵は弁護人だが，弁論で見据えるべき敵は検察官ではない。弁論で見据えるべき敵は実は裁判官。それが今の刑事裁判の実情。論告に勝って，判決に負けたと感じる弁護人は少なくないはず。 元のツイート）→　投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2012/03/04 17:51 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/176228353085419520> 論告が見据える敵は弁護人だが，弁論で見据えるべき敵は検察官ではない。弁論で見据えるべき敵は実は裁判官。それが今の刑事裁判の実情。論告に勝って，判決に負けたと感じる弁護人は少なくないはず。

＃＃：　 以下、2012年3月5日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/05 01:20 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176341358041235456> RT @thermalpaper00: @shinya\_sena 「か弱い被告人の権利保護が最優先」なんでしょう。被害回復も真相解明も重要視していない方も多いようですし。 元のツイート）→　投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2012/03/03 18:04 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/175869253923246080> @shinya\_sena 「か弱い被告人の権利保護が最優先」なんでしょう。被害回復も真相解明も重要視していない方も多いようですし。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/05 01:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176343427049467904> RT @thermalpaper00: 「実積作って出世する」よりも「昇任試験合格で出世する」方が遥かに効率がいい。 元のツイート）→　投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2012/03/03 08:20 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/175722360928862210> 「実積作って出世する」よりも「昇任試験合格で出世する」方が遥かに効率がいい。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/05 09:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176469948225429504> RT @NewsIshikawa: 金沢・主婦殺害：「被告は真実語らず」 遺族、裁判員ら心情吐露－－判決公判 ／石川 <http://t.co/kGxz7qhD> #ISHIKAWA #石川 元のツイート）→　投稿者：NewsIshikawa（NewsIshikawa） 日時：2012/03/04 10:17 ツイート： <https://twitter.com/NewsIshikawa/status/176114181446176768> 金沢・主婦殺害：「被告は真実語らず」 遺族、裁判員ら心情吐露－－判決公判 ／石川 <http://t.co/kGxz7qhD> #ISHIKAWA #石川

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/05 15:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176552356962512896> RT @motoken\_tw: 髙橋先生 @herobridge は議論にソースがいらないとまでは言ってないかも知れないが、「俺が意見を述べるときに俺がソースを出す必要はない。俺の意見の根拠はお前が探せ。」と言ってるんですよ。変だと思いませんか？大抵の人は他人の頭の中のこ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176550619287523329> 髙橋先生 @herobridge は議論にソースがいらないとまでは言ってないかも知れないが、「俺が意見を述べるときに俺がソースを出す必要はない。俺の意見の根拠はお前が探せ。」と言ってるんですよ。変だと思いませんか？大抵の人は他人の頭の中のことは分からない。 RT @hig10:

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/05 23:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176678985428779010> 長崎ストーカー殺人、３県警が連携不足を謝罪 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/gYdayx7L> 警察庁は、暴力に発展する恐れのある男女のトラブルに関する全相談と１１０番について警察本部と署長が把握して指揮することなどを、全国の警察に指示した。

＃＃：　 以下、2012年3月6日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/06 01:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176706533726490626> 「東電は責任を取れ」　総額５兆5千億円、株主代表訴訟 : 田中龍作ジャーナル <http://t.co/bEDIzqlW> 弁護士にも言えるんじゃないかと思います。あらゆる結果責任が追及できることになりそうな気もします。言いたい放題→　●日本では個人責任を取らせないと何も変わらない。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/06 10:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/176844967472402432> RT @motoken\_tw: 誰にものを…RT @kz0217: お気づきになられましたね… QT @motoken\_tw: 外国は知らんけど、日本の裁判官は、被疑事実が重大だと証拠つまり嫌疑が薄くても人の自由を簡単に拘束する。証拠が薄い被疑事実なんて警察・検察の作文に … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 10:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176840174041432064> 誰にものを…RT @kz0217: お気づきになられましたね… QT @motoken\_tw: 外国は知らんけど、日本の裁判官は、被疑事実が重大だと証拠つまり嫌疑が薄くても人の自由を簡単に拘束する。証拠が薄い被疑事実なんて警察・検察の作文に過ぎないんだけど。少なくとも、裁判官は…

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/06 22:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177030056739213314> RT @hirougaya: 「日本の警察は世界一優秀」なんていっていのは報道が言っていたおべんちゃら。「検察が起訴すれば９９％有罪」なんてのは裁判所が怠慢でチェックしてないだけ。報道と裁判所の怠業で、日本は警察と検察は無能なくせに権力を振り回す暴走機関になりました。 元のツイート）→　投稿者：hirougaya（烏賀陽（うがや）弘道） 日時：2012/03/06 22:15 ツイート： <https://twitter.com/hirougaya/status/177019637056278528> 「日本の警察は世界一優秀」なんていっていのは報道が言っていたおべんちゃら。「検察が起訴すれば９９％有罪」なんてのは裁判所が怠慢でチェックしてないだけ。報道と裁判所の怠業で、日本は警察と検察は無能なくせに権力を振り回す暴走機関になりました。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/06 22:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177030138184212481> RT @s\_hirono: @thermalpaper00 @motoken\_tw つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/MhmIk6RP> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029885972328448> @thermalpaper00 @motoken\_tw つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/MhmIk6RP>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/06 22:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177030172225191937> RT @s\_hirono: 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/MhmIk6RP> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029827847651328> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/MhmIk6RP>

＃＃：　 以下、2012年3月7日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 00:16 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177049950398578688> RT @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 23:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177034476654821376> @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 00:16 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177049984217255936> RT @s\_hirono: これからです。こちらはリアルな問題です。公益性もあると思いますよ。 RT @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/07 00:15 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177049825123115009> これからです。こちらはリアルな問題です。公益性もあると思いますよ。 RT @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 00:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177054775895003140> RT @tuigeki: 東電はブラックというより日本という国家に巣食うテロ企業。検察が何もしないなら超法規的ことが起こっても不思議でない。むしろ期待する空気すらある。法で裁けぬ悪ならば仕置き人の出番⇒割高関連会社との契約、競争入札に見直し要求　東電に猪瀬都副知事 htt … 元のツイート）→　投稿者：tuigeki（おくあき まさお） 日時：2012/03/07 00:24 ツイート： <https://twitter.com/tuigeki/status/177052087505526784> 東電はブラックというより日本という国家に巣食うテロ企業。検察が何もしないなら超法規的ことが起こっても不思議でない。むしろ期待する空気すらある。法で裁けぬ悪ならば仕置き人の出番⇒割高関連会社との契約、競争入札に見直し要求　東電に猪瀬都副知事 <http://t.co/JxTDGkPk>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 02:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177085983714578434> RT @yjochi: 同期で任官した検事が、法務省某局の課長になっていたのにはびっくり。片や、自分はいつまでたってもしがない弁護士。笑 元のツイート）→　投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2012/03/06 21:57 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/177015014534807553> 同期で任官した検事が、法務省某局の課長になっていたのにはびっくり。片や、自分はいつまでたってもしがない弁護士。笑

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 11:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177226624381616129> Twitter / @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからや … <http://t.co/5nuT91B1>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 12:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177227263731970048> RT @s\_hirono: 追加しました。→　Twitter / @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからや … <http://t.co/MoXnAWku> <http://t.co/MhmIk6RP> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/07 11:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177226905999777792> 追加しました。→　Twitter / @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからや … <http://t.co/MoXnAWku> <http://t.co/MhmIk6RP>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 12:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177232748354875392> RT @tennsinowa: 無期懲役の母親らの再審開始決定　大阪女児放火殺人 <http://t.co/T2zdAcSr> 『開かずの扉』と言われた「再審」の判決が、次から次へと出る。いかに今まで、検察・警察による冤罪（証拠捏造･改竄・自白強要による）作りが行われてたこと … 元のツイート）→　投稿者：tennsinowa（てっ辺禿鷹） 日時：2012/03/07 11:38 ツイート： <https://twitter.com/tennsinowa/status/177221683285991424> 無期懲役の母親らの再審開始決定　大阪女児放火殺人 <http://t.co/T2zdAcSr> 『開かずの扉』と言われた「再審」の判決が、次から次へと出る。いかに今まで、検察・警察による冤罪（証拠捏造･改竄・自白強要による）作りが行われてたことか！裁判官も御身大事であった証拠！

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 12:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177237784833175552> RT @motoken\_tw: 私のツイートを誰がRTしようがそれは自由でしょう。改変さえしなければ。また、DMについて表で言及するつもりはありませんが、誤解される言い方をされると公開せざるを得ませんよ。RT @mad\_richard: @motoken\_tw …しかし私 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176526256370757632> 私のツイートを誰がRTしようがそれは自由でしょう。改変さえしなければ。また、DMについて表で言及するつもりはありませんが、誤解される言い方をされると公開せざるを得ませんよ。RT @mad\_richard: @motoken\_tw …しかし私は貴方に幻滅しています。…

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 12:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177237886779916288> RT @motoken\_tw: もっとわかりやすく書いてくれないかな。例えば、私のツイートを特定して、それがどうおかしいのか指摘してほしい。RT @hig10: @motoken\_tw 質問者がソースを要求？ この返答に違和感を感じませんか? 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 12:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176508612083068928> もっとわかりやすく書いてくれないかな。例えば、私のツイートを特定して、それがどうおかしいのか指摘してほしい。RT @hig10: @motoken\_tw 質問者がソースを要求？ この返答に違和感を感じませんか?

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 12:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177237971181899776> RT @motoken\_tw: 何らかの間違いを犯した場合、間違いを訂正する人（大抵の人はそうだと思うが）と、間違いを認めずにそれを正しいものとして壮大な虚構の世界を構築しようとする人がいる。そしてその虚構の世界を正しいと信じる人もいる。所詮虚構だから遅かれ早かれ破綻する … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176499632875118593> 何らかの間違いを犯した場合、間違いを訂正する人（大抵の人はそうだと思うが）と、間違いを認めずにそれを正しいものとして壮大な虚構の世界を構築しようとする人がいる。そしてその虚構の世界を正しいと信じる人もいる。所詮虚構だから遅かれ早かれ破綻するんだけど。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 13:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177243302574305280> RT @nagano\_t: 東住吉にしても過去に取り上げたのはザ・スクープSPだけだし、心配される方には安心には応えるマスコミ態勢かと。@rryoushin: @nagano\_t 難しい問題ですね。散々マスコミが叩いて世論がそちらになびいた挙句、無罪・・取り扱いは慎重に … 元のツイート）→　投稿者：naganot（長野智子） 日時：2012/03/07 12:49 ツイート： <https://twitter.com/nagano_t/status/177239500790038528> 東住吉にしても過去に取り上げたのはザ・スクープSPだけだし、心配される方には安心には応えるマスコミ態勢かと。@rryoushin: @nagano\_t 難しい問題ですね。散々マスコミが叩いて世論がそちらになびいた挙句、無罪・・取り扱いは慎重にして頂きたいものですね。”

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 13:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177243374791835649> RT @nagano\_t: 私はきちんと取材・検証をした上でおかしいと思うことは報道すべきだと思っています。これについては皆さんの意見も伺いたいなと。“@satonosumomo: @nagano\_t ガソリンの性質が考慮されてない？公平で科学的な裁判をしてほしい。非科学 … 元のツイート）→　投稿者：naganot（長野智子） 日時：2012/03/07 12:28 ツイート： <https://twitter.com/nagano_t/status/177234157095759873> 私はきちんと取材・検証をした上でおかしいと思うことは報道すべきだと思っています。これについては皆さんの意見も伺いたいなと。“@satonosumomo: @nagano\_t ガソリンの性質が考慮されてない？公平で科学的な裁判をしてほしい。非科学的な判決・・云々・・判決を

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 19:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177341447434018820> 宇出津駅を取り壊していました。解体工事中のようでした。全然知らなかったです。NHKでアニメの聖地巡礼を見ていて思い出しました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 21:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177371343199809538> この弁護士はゴミか汚物にしか思えないです。 RT @hideo\_ogura: 日本国憲法破棄論って、国民を説得する必要がないので、大日本帝国憲法の下で、違憲立法審査権など気にせずに国民の権利を制限したい人たちに人気があるんだなあ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/07 22:14 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177381736492171265> RT @crusing21: メンツだけですね。RT @Kajiyong: これも自白偏重の事件ですよね。なぜ検察はオウムのように即時抗告するのですか RT @crusing21: 大阪市東住吉区ま放火事件について、２人の受刑者についての大阪地裁の再審開始決定を不服とし、 … 元のツイート）→　投稿者：crusing21（Yamashitay） 日時：2012/03/07 22:12 ツイート： <https://twitter.com/crusing21/status/177381292160204801> メンツだけですね。RT @Kajiyong: これも自白偏重の事件ですよね。なぜ検察はオウムのように即時抗告するのですか RT @crusing21: 大阪市東住吉区ま放火事件について、２人の受刑者についての大阪地裁の再審開始決定を不服とし、大阪高裁に即時抗告をする方針

＃＃：　 以下、2012年3月8日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 12:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177593764146192385> いんこさんは弁護士でも弁護士事務所の関係者でもないとお聞きしましたが、阿蘇山大噴火のような、マニアの一種との理解でよろしいでしょうか？　RT @nosaibaninko さて、今からもう一仕事です＼(＾◇＾)

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 12:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177597113222447104> RT @thermalpaper00: 警部が紛失証拠すり替え＝無関係の吸い殻拾い代用—隠滅容疑で書類送検へ・大阪府警（時事通信） - Y!ニュース <http://t.co/67RTFkej> なにやってんのよ。 元のツイート）→　投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2012/03/08 12:06 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/177590990465544192> 警部が紛失証拠すり替え＝無関係の吸い殻拾い代用—隠滅容疑で書類送検へ・大阪府警（時事通信） - Y!ニュース <http://t.co/67RTFkej> なにやってんのよ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 13:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177614066737627136> RT @s\_hirono: 「裁判員いらなインコ ‏@nosaibaninkoさんの気になるツイート（2012.3.8）」をトゥギャりました。 <http://t.co/C06k2N2D> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/08 13:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177613841742577664> 「裁判員いらなインコ ‏@nosaibaninkoさんの気になるツイート（2012.3.8）」をトゥギャりました。 <http://t.co/C06k2N2D>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 14:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177624607891791872> RT @motoken\_tw: そこを読み取ってもらえるとうれしい。告訴の件は数は関係ないです。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 無理でなく難題と書く先生が素敵です。…東電を100万人くらいで個別に告訴していけば…というﾂｲを目にした事があり … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 14:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177620985749581825> そこを読み取ってもらえるとうれしい。告訴の件は数は関係ないです。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 無理でなく難題と書く先生が素敵です。…東電を100万人くらいで個別に告訴していけば…というﾂｲを目にした事がありますが、こういうの効くのですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 17:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177674575138668544> Twitter / @motoken\_tw: 大きな理由として、光市母子殺害事件弁護団に対する懲戒 … <http://t.co/3EOnCIm1>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 18:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177683993205022721> RT @taniyama: モトケン先生の生の声を始めて聞いたかも。 @motoken\_tw 元のツイート）→　投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2012/03/08 18:08 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/177682230301298688> モトケン先生の生の声を始めて聞いたかも。 @motoken\_tw

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 18:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177684684350820353> RT @taniyama: そろそろ椅子がなくなってきた。京都弁護士会の半数に近い弁護士が集結。 元のツイート）→　投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2012/03/08 16:38 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/177659541536784384> そろそろ椅子がなくなってきた。京都弁護士会の半数に近い弁護士が集結。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/08 23:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177760383631769600> RT @crusing21: 橋下市長の言動は、憲法や人権の感覚からいかに外れているかがよく分かるからでは？RT @YutaBossun: @crusing21 橋下は何故弁護士業界での評判が最悪なのですか？ 元のツイート）→　投稿者：crusing21（Yamashitay） 日時：2012/03/08 23:16 ツイート： <https://twitter.com/crusing21/status/177759697317793792> 橋下市長の言動は、憲法や人権の感覚からいかに外れているかがよく分かるからでは？RT @YutaBossun: @crusing21 橋下は何故弁護士業界での評判が最悪なのですか？

＃＃：　 以下、2012年3月9日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 10:59 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177936650691817472> RT @atombengo: 被害者警官が、勾留中の被疑者に、府警の内規違反にあたる雑誌の回し読みをさせたことをネタに恐喝。「違反発覚を恐れた」ため30万円を書留で支払い。 RT @Hanzai\_Guide: 留置場の警官への恐喝事件、男を逮捕 京都府警 - 朝日新聞 h … 元のツイート）→　投稿者：atombengo（アトム法律事務所 岡野武志） 日時：2012/03/09 10:48 ツイート： <https://twitter.com/atombengo/status/177933767661453313> 被害者警官が、勾留中の被疑者に、府警の内規違反にあたる雑誌の回し読みをさせたことをネタに恐喝。「違反発覚を恐れた」ため30万円を書留で支払い。 RT @Hanzai\_Guide: 留置場の警官への恐喝事件、男を逮捕 京都府警 - 朝日新聞 <http://t.co/9jJSz0f5>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 11:14 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177940282048921600> YouTube Jupiter（ジュピター）／平原綾香 - YouTube <http://t.co/7maHSOUi> すばらしい曲です。繰り返し聴いていると。日本の弁護士業界が暗黒星群に思えてきました。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 11:47 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177948755423805441> RT @hiroya\_nakatani: ところで、弁護士って一般的に釈放の出迎えには行くのかしら？？　ぼくは昔からできる限り行くようにしてるんですが、出迎えに行っても特に報酬増えるわけではないし・・（むしろ、たくさん待たされて大変なことが多いのに） 元のツイート）→　投稿者：hiroyanakatani（中谷　寛也） 日時：2012/03/09 11:38 ツイート： <https://twitter.com/hiroya_nakatani/status/177946547005300737> ところで、弁護士って一般的に釈放の出迎えには行くのかしら？？　ぼくは昔からできる限り行くようにしてるんですが、出迎えに行っても特に報酬増えるわけではないし・・（むしろ、たくさん待たされて大変なことが多いのに）

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 11:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177950041506455552> RT @s\_hirono: 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 11:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177949911541743616> 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177951981703397376> RT @motoken\_tw: 指摘してるでしょう。 RT @s\_hirono: 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 11:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177951062538452992> 指摘してるでしょう。 RT @s\_hirono: 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177952348491087873> RT @motoken\_tw: そういう弁護士は他の弁護士のカモになるだけですが。RT @tuba56: その傾向は弁護士さんにもあるような。モトケンのことではないですが。 RT @motoken\_tw: いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 20:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177356063782346752> そういう弁護士は他の弁護士のカモになるだけですが。RT @tuba56: その傾向は弁護士さんにもあるような。モトケンのことではないですが。 RT @motoken\_tw: いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、…

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177952425443983360> RT @motoken\_tw: いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、少なくとも相手より知っている、と思ってしまうのかも知れない。知らないということを知らないと恥をかいたこともわからない。ある意味幸せだけど。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 14:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177265026372075521> いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、少なくとも相手より知っている、と思ってしまうのかも知れない。知らないということを知らないと恥をかいたこともわからない。ある意味幸せだけど。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177952479022039040> RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。RT @s\_hirono: 追加しました。　 <http://t.co/vtLTtAMx> <http://t.co/laK> … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 13:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177249445673570304> いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。RT @s\_hirono: 追加しました。　 <http://t.co/vtLTtAMx> <http://t.co/laK3G7E7>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177953201142771712> @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております。検察を促すというかたちにもなるか思いますが、そのあたりを含めよくよく勉強し説いて下さいね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:26 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177958579461042176> RT @motoken\_tw: 原発肯定してる人ってどんな人なんだろう？ RT @sncomn: 原発肯定してる人は｢お金もらってる人｣か｢お金もらってる人にだまされている人｣のどちらかということですね。@herobridge 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 12:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177952778952523777> 原発肯定してる人ってどんな人なんだろう？ RT @sncomn: 原発肯定してる人は｢お金もらってる人｣か｢お金もらってる人にだまされている人｣のどちらかということですね。@herobridge

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177964802528907265> RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 12:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177964679375753217> 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 13:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177967275171786752> RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人にな … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 12:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177964816512716800> 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 13:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177967732720009216> RT @s\_hirono: いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 13:02 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177967653955178496> いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 14:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177986960961445889> RT @motoken\_tw: じゃあ、出ると思ってればいいです。RT @s\_hirono: いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるとい … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 13:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177968049377382401> じゃあ、出ると思ってればいいです。RT @s\_hirono: いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 …

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 14:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177989101969092608> RT @motoken\_tw: 証拠のねつ造が確認されれば直ちに公訴棄却が正しいと思う。RT @nobuyoyagi: 「検察が審査員を錯誤に陥れる故意があったとしても関係なく、錯誤に陥っても議決の効力に影響ない」という方が無茶苦茶な理屈に見えますが RT @amneri … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 13:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177969055658024960> 証拠のねつ造が確認されれば直ちに公訴棄却が正しいと思う。RT @nobuyoyagi: 「検察が審査員を錯誤に陥れる故意があったとしても関係なく、錯誤に陥っても議決の効力に影響ない」という方が無茶苦茶な理屈に見えますが RT @amneris84: 検察官が証拠評価を誤ること…

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 14:50 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177994802435080194> RT @s\_hirono: 感情論みたいですが、いずれ、社会が決めることになるかもしれないですね。ところで一つだけ確認しておきたいのですが、私のことで金沢地方検察庁や石川県の警察署に電話などの連絡を入れたことがありますか？　RT @motoken\_tw: じゃあ、出ると思 … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 14:49 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177994622881107968> 感情論みたいですが、いずれ、社会が決めることになるかもしれないですね。ところで一つだけ確認しておきたいのですが、私のことで金沢地方検察庁や石川県の警察署に電話などの連絡を入れたことがありますか？　RT @motoken\_tw: じゃあ、出ると思ってればいいです。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 15:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178007340501573632> RT @s\_hirono: そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人的な問題というのもあなたの判断ですが、影響はしっかり受けてきたとも思っています。持ちかけ、というのも変ですね。 RT @motoken\_tw: 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけな … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 15:40 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178007250848329728> そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人的な問題というのもあなたの判断ですが、影響はしっかり受けてきたとも思っています。持ちかけ、というのも変ですね。 RT @motoken\_tw: 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけないでくれと何度も言ってますよね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 16:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178012864555130881> マツダ工場１２人殺傷、元期間社員に無期懲役 : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/0MO1guid> （引用→）引寺被告は起訴後の精神鑑定で「妄想性障害」とされ、刑事責任能力と殺意の有無が争点となった。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 16:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178016660588994562> Twitter / @s\_hirono: そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人 … <http://t.co/H0alOwBZ>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 16:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178017219610034177> RT @s\_hirono: 追加しました。直後にブロックされた可能性がありそうです。→　Twitter / @s\_hirono: そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人 … <http://t.co/R0zs3zK0> <http://t.co/e4Uf6gYc> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 16:18 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178016915279708160> 追加しました。直後にブロックされた可能性がありそうです。→　Twitter / @s\_hirono: そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人 … <http://t.co/R0zs3zK0> <http://t.co/e4Uf6gYc>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 17:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178035840906309632> RT @amneris84: 論告では謀議の日時や場所、そこでの会話などの事実は明らかにできず。被告人の命令か石川主導かも明らかにできない、と。それでも被告人が石川氏にすら巨額の現金の保有を隠していた、秘書には虚偽記載をする利害がないなどから、「被告人の指示・了解ないこと … 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/09 16:57 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/178026588640780288> 論告では謀議の日時や場所、そこでの会話などの事実は明らかにできず。被告人の命令か石川主導かも明らかにできない、と。それでも被告人が石川氏にすら巨額の現金の保有を隠していた、秘書には虚偽記載をする利害がないなどから、「被告人の指示・了解ないことはありえないと断言できる」と強調。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 18:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178042610831720449> かちかち山 - Wikipedia <http://t.co/AcZeEmIs> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされたみたいです。２つのアカウントで確認しています。昨夜読んだこちらを意識した訳ではないのですが・・・・妙な展開になりました。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 18:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178043161468346368> RT @s\_hirono: ほう、弁護士が救うべきもの、ってあるんですか？　 RT @hideo\_ogura: 例えば成人女性を含む全成人に選挙権が認められたことにより、成人男性の投票価値は相対的に減少しています。ただし、弁護士が救うべきものだとは思いません。RT @ro … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 18:02 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178042984644886528> ほう、弁護士が救うべきもの、ってあるんですか？　 RT @hideo\_ogura: 例えば成人女性を含む全成人に選挙権が認められたことにより、成人男性の投票価値は相対的に減少しています。ただし、弁護士が救うべきものだとは思いません。RT @ron\_7770211: 初めて聴きまし

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 19:10 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178060214258507779> RT @amneris84: 清水勉弁護士からのメールより→今夜（３月９日）１０時からTBSラジオで、黒木昭雄さんが取り組んでいた岩手事件を取り上げてくれることになりました。昨夜、私に出演の打診があり、出演することにしました。いま裁判で問題にしていることをわかりやすく説明 … 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/09 18:46 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/178054176843120640> 清水勉弁護士からのメールより→今夜（３月９日）１０時からTBSラジオで、黒木昭雄さんが取り組んでいた岩手事件を取り上げてくれることになりました。昨夜、私に出演の打診があり、出演することにしました。いま裁判で問題にしていることをわかりやすく説明してきたいと思います。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 19:26 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178064131625197568> RT @motoken\_tw: いい授業にはいい生徒が必要ですね。もっと食いついてきてくれれば面白かったかも。 RT @kmuramatsu: @motoken\_tw 結論は出なくても、二つの立場にそれぞれなかなかしっかりした理由があることに気付いてもらえれば、法教育的に … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 17:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178041353224192001> いい授業にはいい生徒が必要ですね。もっと食いついてきてくれれば面白かったかも。 RT @kmuramatsu: @motoken\_tw 結論は出なくても、二つの立場にそれぞれなかなかしっかりした理由があることに気付いてもらえれば、法教育的には、OKかなと。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 19:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178064680454070273> モトケン (motokentw) は Twitter を利用しています <http://t.co/C1wM5Bfz> 今日改めてブロックされたので公式RTは出来なくなったのですが、HootSuiteの検索で他の人がRTしたのをRTし直すと、自分が公式RTしたようになるみたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 19:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178065476138713088> モトケン (motokentw) は Twitter を利用しています <http://t.co/1hGHV6DI> にブロックされた証です。 <http://t.co/mU2NcngT> 予告も告知もなかったみたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 20:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178073529827344384> 京都弁護士会 死刑廃止決議を否決 : 京都 : 地域 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/Ui7wnVO1> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされた（いったん解除されていました）当日にこういうニュースを見かけるというのも奇遇です。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 22:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178107655771013120> RT @amneris84: 東京地裁元裁判長の山室恵弁護士は、今日の小沢公判の論告について「説得力がない。（指定弁護士は）苦戦している」とコメント（NHK） 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/09 21:42 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/178098534803980288> 東京地裁元裁判長の山室恵弁護士は、今日の小沢公判の論告について「説得力がない。（指定弁護士は）苦戦している」とコメント（NHK）

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 22:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178114944875765760> RT @crusing21: これが普通の裁判官の感覚でしょう。RT @amneris84: 東京地裁元裁判長の山室恵弁護士は、今日の小沢公判の論告について「説得力がない。（指定弁護士は）苦戦している」とコメント（NHK） 元のツイート）→　投稿者：crusing21（Yamashitay） 日時：2012/03/09 22:40 ツイート： <https://twitter.com/crusing21/status/178113039550251009> これが普通の裁判官の感覚でしょう。RT @amneris84: 東京地裁元裁判長の山室恵弁護士は、今日の小沢公判の論告について「説得力がない。（指定弁護士は）苦戦している」とコメント（NHK）

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 23:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178118014468763648> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ(2012.03.09) - Togetter <http://t.co/9XtEMBgW> 今日はモトケン祭りにもなりましたが、内容の濃い一日だったと思います。「そうですか。」のツイートの後短い時間でブロックされました。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 23:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178121948021276672> RT @amneris84: 新聞もテレビも「間接証拠の積み上げ」と言ってるけど、本当に「積み上がって」いるイメージあるのかな～。なんか惰性でゆってる気がする。 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/09 22:59 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/178117717688193026> 新聞もテレビも「間接証拠の積み上げ」と言ってるけど、本当に「積み上がって」いるイメージあるのかな～。なんか惰性でゆってる気がする。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 23:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178125949295013888> 『発生から3年8ヶ月・・・ 岩手17歳女性殺害事件とは一体、 何なのか？』 <http://t.co/tQVl4DFg> 先ほど聴き始めたところですが、音声だけだとちょっわかりにくいです。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 23:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178129090816126976> RT @tuigeki: なぜこんなことになるのか？新聞は責任を負いたくないから。役所が発表したものを書いてれば、間違ったら役所のせいにできる。自ら取材すると大変だし、間違ったら責任を取らなければならない⇒「政府発表がないから報じられない」世界が呆れた日本の新聞 http … 元のツイート）→　投稿者：tuigeki（おくあき まさお） 日時：2012/03/09 23:39 ツイート： <https://twitter.com/tuigeki/status/178127890146271232> なぜこんなことになるのか？新聞は責任を負いたくないから。役所が発表したものを書いてれば、間違ったら役所のせいにできる。自ら取材すると大変だし、間違ったら責任を取らなければならない⇒「政府発表がないから報じられない」世界が呆れた日本の新聞 <http://t.co/KGRdKR24>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 23:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178132475103551490> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされる直前、最後の発言となったツイートです。問題がすり替えられているような気がしてならないです。持ちかけたつもりはない。RT @motoken\_tw: 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけないでくれと何度も言ってますよね。

＃＃：　 以下、2012年3月10日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 00:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178140628260106242> RT @amneris84: 察するに、刑事裁判の原則に基づいていたら、有罪の論告は書けなかったということだろう。そういう場合、指定弁護士が公訴を取り下げたり、論告を放棄したりする権限や手続きについて法に明記しておかないのは、制度上の欠陥ではないだろうか。 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/09 16:15 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/178016189098893312> 察するに、刑事裁判の原則に基づいていたら、有罪の論告は書けなかったということだろう。そういう場合、指定弁護士が公訴を取り下げたり、論告を放棄したりする権限や手続きについて法に明記しておかないのは、制度上の欠陥ではないだろうか。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 00:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178141171850285056> 全く理解できないです。阿世？ RT @amneris84: 察するに、刑事裁判の原則に基づいていたら、有罪の論告は書けなかったということだろう。そういう場合、指定弁護士が公訴を取り下げたり、論告を放棄したりする権限や手続きについて法に明記しておかないのは、制度上の欠陥ではないだろ

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 00:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178147269659475970> 崔杼弑君をご存じでしょうか？　RT @amneris84: 察するに、刑事裁判の原則に基づいていたら、有罪の論告は書けなかったということだろう。そういう場合、指定弁護士が公訴を取り下げたり、論告を放棄したりする権限や手続きについて法に明記しておかないのは、制度上の欠陥では

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 01:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178159833663537152> ブロックされてます。→RT @motoken\_tw: 情報操作 RT @un\_chan: 具体的には？ “@motokentw: 民主党は陰謀体質だと思う。多分、民主党は与党時代の自民党のことを陰謀体質だと思っていて、権力を持ったら陰謀を使うべきなんだ、と思ってるんじゃなかろ

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 01:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178160982449864705> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）には再びブロックされたので公式RTは出来なくなりました。自分がされたブロックについてもこれに近い発言していたと思います。　RT @motoken\_tw: 不愉快ですね。発言者の改変は最低です。 RT @mitaikenS: 改変してみました

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 01:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178161676141596675> 特異な発想ですね。普段何を考えているのか、測りがたいです。 RT @hideo\_ogura: ナイフ業界あたりが4月10日を「私闘の日」と位置づけて宣伝し始めたら怖い。RT @Khachaturian: また業界がでっちあげてきたのか。^^; なぜ消費の拡大を図ろうとするかなぁ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 02:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178167948882608129> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ(2012.03.09) - Togetter <http://t.co/2ZfLwbEV> 0 fav 223 viewです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 03:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178183761270292480> @nosaibaninko 裁判員いらなインコさん、改めてフォローしました。リフォロー宜しくです！！

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 08:27 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178260673090949120> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ(2012.03.09) - Togetter <http://t.co/4uYzoeEh> 0 fav 281 viewになりました。一方的に断りもなくブロックされました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 08:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178261641450885120> 死刑に対する朝日の見識 - 元検弁護士のつぶやき <http://t.co/zK9gX7D4> 私たちの運命を変えたと言っても過言でない掲示板です。削除はされていないようです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 08:49 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178266215964352514> そうなんですか？　RT @TriggerJones42: 結局、世の中の厳然たる掟あるいはルールってのは「弱い奴はさっさと死ね」ってことなんでしょうなぁ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 08:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178266759000891392> RT @nobuyoyagi: ちなみに、私は前田元検事も田代検事も刑事告発して追い詰める側だが、彼らを憎んでいるわけでも叩きたいわけでもない。むしろ、彼らをそうさせたのが何かを知りたいからやっている 元のツイート）→　投稿者：nobuyoyagi（Nobuyo Yagi 八木啓代） 日時：2012/03/10 01:19 ツイート： <https://twitter.com/nobuyoyagi/status/178153123712479233> ちなみに、私は前田元検事も田代検事も刑事告発して追い詰める側だが、彼らを憎んでいるわけでも叩きたいわけでもない。むしろ、彼らをそうさせたのが何かを知りたいからやっている

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 09:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178282353582546944> RT @s\_hirono: 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）の感情論に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/RX7QtrmB> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/10 09:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178282209768247297> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）の感情論に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/RX7QtrmB>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 09:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178282367734136833> RT @s\_hirono: @hirono\_hideki @motoken\_tw @s\_hirono つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/RX7QtrmB> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/10 09:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178282251803566080> @hirono\_hideki @motoken\_tw @s\_hirono つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/RX7QtrmB>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 10:09 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178286377312600065> マツダ無差別殺傷　無期判決の被告「茶番じゃ」 ― スポニチ Sponichi Annex 社会 <http://t.co/UZ7go4e8> 集団ストーカー行為」が否定され、裁判長が「被告は妄想を抱いていた」と説明すると、顔が見る見る赤くなった。　←　今、北陸中日新聞で知りました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 10:10 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178286619558821889> （引用→）閉廷が告げられ、刑務官３人に取り囲まれると、「この裁判では集団ストーカー行為は“妄想”と判断したのですか」と不満げに裁判長に詰め寄り、「この裁判は茶番じゃ。よく報道しておけ」と怒気を込めた声で叫びながら法廷を後にした。 <http://t.co/CFPrRYvQ>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 11:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178309604210507779> 金沢地方検察庁2012年3月1日の電話 - YouTube <http://t.co/FCbuMSbN> 再生回数18です。→　 <http://t.co/b4wyJ8o8>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 13:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178329883892645890> ブロックされているので公式RTはできないです。　RT @motoken\_tw: 自分がなにを言っているのかを自分で考えたことのない人が多いのではなかろうか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 22:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178474364432420864> ブロックされています。　RT @motoken\_tw: それまでの人生では名もなき一市民だった人がどんどん注目されてくる。そりゃあ快感だろうな。それが大いなる勘違いだとしても。問題はどんな人にどのように注目されているのかだと思うけど。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 22:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178478061170331648> （引用→）検察という組織の「ヘン」なところは，検察修習などを通じて少しは知っていたつもりだが，やはり想像以上。異常だと感じた個所は多数あるが，特に，いったん決めた（思い込んだ）ことは，たとえその後，それに沿う証拠が得られなくとも，矛盾する <http://t.co/QSfLw3Dm>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 22:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178478586909556736> RT @thermalpaper00: その快感に依存するようになっていくんだなあ、麻薬中毒のように。 RT @motoken\_tw: それまでの人生では名もなき一市民だった人がどんどん注目されてくる。そりゃあ快感だろうな。それが大いなる勘違いだとしても。問題はどんな人に … 元のツイート）→　投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2012/03/10 21:19 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/178454958432194560> その快感に依存するようになっていくんだなあ、麻薬中毒のように。 RT @motoken\_tw: それまでの人生では名もなき一市民だった人がどんどん注目されてくる。そりゃあ快感だろうな。それが大いなる勘違いだとしても。問題はどんな人にどのように注目されているのかだと思うけど。

＃＃：　 以下、2012年3月11日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 11:49 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178674015764889601> RT @motoken\_tw: 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 10:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178653319831633921> 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 11:50 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178674297659867136> 自分は底が深いと言うこと？ブロックしておいて RT @sv400s\_dracin: RT @motoken\_tw: 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 11:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178676148115488768> 人に深刻な影響とジレンマ与えておいてブロック　RT @sv400s\_dracin: RT @motoken\_tw: 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 12:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178676783095357440> 個人的問題を持ちかけられたと勝手に結論　 RT @sv400s\_dracin: RT @motoken\_tw: 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 12:50 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178689260755484673> ブロックされているので公式RTはできないです。RT @motoken\_tw: 裁判官にも聞かせたいツイート。RT @sakamotomasayuk: 黙秘権を行使する被告人の弁護人が悪く言われるのは捜査側に人権感覚がないからだろうね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 12:50 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178689384281948160> ブロックされているので公式RTは出来ないです。RT @motoken\_tw: これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認するしかないのにね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 16:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178744457963905024> RT @s\_hirono: @crusing21 @hirono\_hideki @motoken\_tw @hoshimasahide @harukazechan つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/jO> … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/11 16:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178744033101873153> @crusing21 @hirono\_hideki @motoken\_tw @hoshimasahide @harukazechan つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/jOJ226ec>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/11 17:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178753059755798529> ブロックされたモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイート（2012.3.11） - Togetter <http://t.co/xv5UNlCZ>

＃＃：　 以下、2012年3月12日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 00:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178858007885660160> 金沢弁護士会　弁護士会からの意見表明 <http://t.co/uEAylm0c> 光市母子殺害事件弁護人への脅迫行為に対する会長声明

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:13 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178906488562130944> そんなこともないと思いますがね。判事の目に届くと言うことは起訴され、相当の嫌疑もあるということ。ブロックされて RT @key\_bm: RT @motoken\_tw: これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認するしかないのにね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178908065792401408> 逮捕状とか勾留請求を判断するのも裁判官でしたね。普通、起訴後の通常の裁判を思い浮かべるとは思いますが。 RT @key\_bm: RT @motoken\_tw: これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認するしかないのにね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178911144663199744> RT @motoken\_tw: 議論の余地なく同意。RT @inve333: 同意 RT @DS1221: 思い出したかのように追悼とか絆とか言うのではなく、忘れててもお金だけは毎月自動引き落としでNPOに送金するとかのが多分役に立つだろうな。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178684379269300225> 議論の余地なく同意。RT @inve333: 同意 RT @DS1221: 思い出したかのように追悼とか絆とか言うのではなく、忘れててもお金だけは毎月自動引き落としでNPOに送金するとかのが多分役に立つだろうな。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178911265102635009> RT @motoken\_tw: やっぱり、被災地にとって最も必要なのはお金じゃないかな。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178686145549443073> やっぱり、被災地にとって最も必要なのはお金じゃないかな。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178911299810504704> RT @motoken\_tw: 昨日、テレビで水産業者さんの話を聞いて、仕事を作るにも先立つものは金と実感。RT @rijin\_nakamura: 仕事も必要ですね。 QT @motoken\_tw 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178690352268578817> 昨日、テレビで水産業者さんの話を聞いて、仕事を作るにも先立つものは金と実感。RT @rijin\_nakamura: 仕事も必要ですね。 QT @motoken\_tw

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178911473060425729> RT @motoken\_tw: 貧乏の経験がないのかな？ RT @herobridge: そろそろ出かけます。でもこれだけは言っておきたい。本当に原発はいらない。そしてお金に縛られる生き方もいらない。お金は必要な分だけあればいい。お金じゃ夢は買えないよ。買えると思ってる人 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 10:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178651772955529216> 貧乏の経験がないのかな？ RT @herobridge: そろそろ出かけます。でもこれだけは言っておきたい。本当に原発はいらない。そしてお金に縛られる生き方もいらない。お金は必要な分だけあればいい。お金じゃ夢は買えないよ。買えると思ってる人は本当の夢を知らないんだ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178911950581936128> RT @1961kumachin: 無実なら堂々と釈明して裏付け捜査で早期釈放してもらえばいいのに、黙秘するなんてそもそも怪しい、とお考えかと RT @motoken\_tw: これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認する … 元のツイート）→　投稿者：1961kumachin（中村元弥） 日時：2012/03/11 12:37 ツイート： <https://twitter.com/1961kumachin/status/178685995062001664> 無実なら堂々と釈明して裏付け捜査で早期釈放してもらえばいいのに、黙秘するなんてそもそも怪しい、とお考えかと RT @motoken\_tw: これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認するしかないのにね

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178913493414715392> 元々インチキくさいか、インチキくさい人の多い業種なので、必然性もありそうです。弁護士ね。被ブロック中なので　RT @motoken\_tw: 時々経験する。 RT @nerinanarineyo: しかし、専門家にその分野で素人がケンカを売ると言うセンスがちょっと信じられない。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178913989139513344> 振り込め詐欺とか、かなり似た部分あると思っています。藁をもつかむ相手も多いことでしょう。被ブロック中です。RT @motoken\_tw: 時々経験する。 RT @nerinanarineyo: しかし、専門家にその分野で素人がケンカを売ると言うセンスがちょっと信じられない。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178914371383205889> 信頼を得ない仕事をしていれば、仕事も離れていくことでしょう。被ブロック中です。　RT @motoken\_tw: 昨日、テレビで水産業者さんの話を聞いて、仕事を作るにも先立つものは金と実感。RT @rijin\_nakamura: 仕事も必要ですね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 03:47 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178915050390700032> 魔法のような、恫喝とか排除とか手管も色々あると思いますね。都合次第で。占い師にも近そう。被ブロック中です。RT @motoken\_tw: 時々経験する。 RT @nerinanarineyo: しかし、専門家にその分野で素人がケンカを売ると言うセンスがちょっと信じられない。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 12:12 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179042227224449024> @nosaibaninko 今回もフォロー返しはいただけなかったようですね。こちらも解除させて頂きます。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 13:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179064001718784000> 金沢弁護士会に対する人権救済の問題について、金沢地方検察庁に電話をかけ、田中さんに相談しました。録音済です。あとでYouTubeにアップロードします。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 15:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179084344093179904> 金沢地方検察庁20120312.wmv - YouTube <http://t.co/V66lDtJ1> 金沢地方検察庁の担当者は田中さんです。金沢弁護士会に対する人権救済に伴い、不正があった場合の対応について相談しました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 17:24 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179120562822594560> <http://t.co/mRs5jXff> ブロックしてくれたモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）@motokentw １７時間ツイートがないみたいです。ブログの方も突然停止したままそのままになっていますが最後のツイートが素人にケンカになっています。受け取り方自体にも問題ありそう

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 17:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179122059224416256> togetterで特定のユーザーからのまとめを禁止する方法 - nanapi Web <http://t.co/mvTEp9aQ> こういう方法もあるみたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 17:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179123984233807872> 金沢地方検察庁20120312.wmv - YouTube <http://t.co/EfzaUFQM> この度、モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）@motokentw にブロックされたことにより、本気で的を絞って弁護士の責任を追及することにしました。刑事責任も視野にいれて。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 18:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179140929620426753> RT @s\_hirono: @hirono\_hideki @tetsumah @motoken\_tw @503E つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/L7DhBkiQ> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/12 18:44 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179140780907167744> @hirono\_hideki @tetsumah @motoken\_tw @503E つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/L7DhBkiQ>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 18:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179140992849559552> RT @s\_hirono: 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされてから本気で弁護士の責任追及を決心した経緯」をトゥギャりました。 <http://t.co/L7DhBkiQ> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/12 18:44 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179140684589187072> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされてから本気で弁護士の責任追及を決心した経緯」をトゥギャりました。 <http://t.co/L7DhBkiQ>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 19:08 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179146791315443713> 外しました。 RT @tetsumah: 私の呟きは外して下さい。関係ないので。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 19:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179157686418554881> 再審請求金沢地方裁判所御中current: 廣野氏のコメントの多くこそ私怨に基づくコメ欄汚しと感じている。　モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会） <http://t.co/OXpyiLRL> 再審請求書の本文中で引用する予定です。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/12 22:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179201699918000131> RT @Hideo\_Ogura: 昔の判例集は、強姦事件の被害者まで実名でそのまま載せていましたからねえ。RT @matimura: jugement:判例集に実名が載って名誉毀損と・・ <http://t.co/k5pE9t4c> 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/12 22:36 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/179199299488448512> 昔の判例集は、強姦事件の被害者まで実名でそのまま載せていましたからねえ。RT @matimura: jugement:判例集に実名が載って名誉毀損と・・ <http://t.co/k5pE9t4c>

＃＃：　 以下、2012年3月13日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 00:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179224222130913281> RT @s\_hirono: .@otss645 さんの「検事失格」をお気に入りにしました。 <http://t.co/fy2nwqfk> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 00:15 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179224131739455488> .@otss645 さんの「検事失格」をお気に入りにしました。 <http://t.co/fy2nwqfk>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 01:27 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179242253041152001> RT @s\_hirono: 風が臭いです。RT @motoken\_tw: 指定弁護士の立場なら無罪論告はしないでしょうね。 RT @nobuyoyagi: ちなみにmotokenさんなら無罪論告派ですか？　RT @motoken\_tw: 典型的には、当てにならない情況証拠 … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 01:17 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179239643533946881> 風が臭いです。RT @motoken\_tw: 指定弁護士の立場なら無罪論告はしないでしょうね。 RT @nobuyoyagi: ちなみにmotokenさんなら無罪論告派ですか？　RT @motoken\_tw: 典型的には、当てにならない情況証拠に基づき憶測を重ねる。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 02:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179262017146863617> RT @s\_hirono: 人様に迷惑かけたという意識はまるでないみたいです。　（ブロックされています。　）→　RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 02:45 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179261847797633024> 人様に迷惑かけたという意識はまるでないみたいです。　（ブロックされています。　）→　RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 03:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179265944571490304> RT @s\_hirono: 「元検弁護士の王国」以外には考えにくいです。今考えると、この人はもとも特異に病的な性格だったんだな、関わるべきではなかったと悔やまれなくもないです。　看過に耐えなかった訳ですけど。RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、い … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 02:55 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179264246750773248> 「元検弁護士の王国」以外には考えにくいです。今考えると、この人はもとも特異に病的な性格だったんだな、関わるべきではなかったと悔やまれなくもないです。　看過に耐えなかった訳ですけど。RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 03:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179270986699505664> 印象操作 - モトケンの小倉秀夫ヲッチング <http://t.co/U4g5nLed> 小倉秀夫弁護士から、「　『印象操作』に造詣が深い矢部教授」という賛辞をいただきましたｗ　←　こういうのもあったんですね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 11:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179394053178273793> 金沢地方検察庁20120312.wmv - YouTube <http://t.co/9XSAEDWo> 今後の方向性について金沢地方検察庁の担当者に話をしておきました。警察・検察の責任より弁護士の責任追求に重点を置きます。再生回数49回です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 12:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179415868726444032> 相当インチキ臭いとは思っていますね。 RT @nosaibaninko: @s\_hirono インコの刑事裁判や検察・裁判所批判のツイに迷惑していると仰っていませんでしたか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179416861836967937> 全く無責任な偽善者とも言えますね。率直に。 RT @nosaibaninko: @s\_hirono インコの刑事裁判や検察・裁判所批判のツイに迷惑していると仰っていませんでしたか？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:13 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179419766665129984> RT @nosaibaninko: おまえのツイは、迷惑だ、偽善だ、インチキ臭いと言いながら、「フォローしてくれ」ってどういうことなんだろう？　鳥頭には理解不能だ／(ー◇ー)＼ 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/13 13:08 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179418585356185600> おまえのツイは、迷惑だ、偽善だ、インチキ臭いと言いながら、「フォローしてくれ」ってどういうことなんだろう？　鳥頭には理解不能だ／(ー◇ー)＼

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179421939889213440> @nosaibaninko どうしてもというわけではないですが。警察・検察にも協力を求めていきたい以上、後々とやかく言われても迷惑なのです。http://t.co/zQvlggi4 のような問題です。とりわけ貴方の裁判所、警察、検察への批判ぶりをみていると尋常ではないですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179427457588408320> RT @nosaibaninko: @hirono\_hideki あなたが警察・検察にご協力を求められることと、インコの警察、検察、裁判所批判のツイは関係ないでしょう？　インコはあなたのことを一言っておりません。それで迷惑だといいながら、フォローしろって？です。 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/13 13:31 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179424391824805888> @hirono\_hideki あなたが警察・検察にご協力を求められることと、インコの警察、検察、裁判所批判のツイは関係ないでしょう？　インコはあなたのことを一言っておりません。それで迷惑だといいながら、フォローしろって？です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179428261628084225> 思想・信条の自由の限度を超え、貴方のやっていることは犯罪に近いと思っています。そこに迷惑性もあります。 RT @nosaibaninko: @hirono\_hideki あなたが警察・検察にご協力を求められることと、インコの警察、検察、裁判所批判のツイは関係ないでしょう？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179430047810195456> RT @nosaibaninko: @hirono\_hideki インコの検察・警察・裁判所批判のツイは犯罪ですか？　そう思われるなら、お願いですからインコにこれ以上絡まないで、ツイを寄越さないでください。 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/13 13:49 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179429049616171009> @hirono\_hideki インコの検察・警察・裁判所批判のツイは犯罪ですか？　そう思われるなら、お願いですからインコにこれ以上絡まないで、ツイを寄越さないでください。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 13:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179430278811496448> 批判の根拠も極めて不合理、薄弱ですね。間違いなく迷惑です。 RT @nosaibaninko: @hirono\_hideki インコの検察・警察・裁判所批判のツイは犯罪ですか？　そう思われるなら、お願いですからインコにこれ以上絡まないで、ツイを寄越さないでください。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 15:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179447164995518464> RT @s\_hirono: 業務妨害罪で逮捕されると良いですね。RT @nosaibaninko: インコの検察・警察・裁判所批判のツイは思想信条の自由を超えた犯罪的ツイなんですと。世の中にはいろんな人がいるもんだなぁ。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 14:57 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179446060668813312> 業務妨害罪で逮捕されると良いですね。RT @nosaibaninko: インコの検察・警察・裁判所批判のツイは思想信条の自由を超えた犯罪的ツイなんですと。世の中にはいろんな人がいるもんだなぁ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 15:20 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179451939954757632> RT @s\_hirono: 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT @nosaibaninko: インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそれだけの影響を司法界に与えた鳥がいただろうか　ｴﾍﾝ　RT shirono: 業務妨害罪で逮捕さ … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 15:20 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179451873386954752> 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT @nosaibaninko: インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそれだけの影響を司法界に与えた鳥がいただろうか　ｴﾍﾝ　RT shirono: 業務妨害罪で逮捕されると良いですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 15:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179457180712439808> RT @s\_hirono: いずれにせよ。逮捕されても納得です。きっぱり。RT @nosaibaninko: ですってwww RT shirono: 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT : インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそ … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 15:41 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179457088261599232> いずれにせよ。逮捕されても納得です。きっぱり。RT @nosaibaninko: ですってwww RT shirono: 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT : インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそれだけの影響を司法界に与えた鳥

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 15:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179457266439819266> RT @nosaibaninko: ですってwww RT shirono: 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT : インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそれだけの影響を司法界に与えた鳥がいただろうか　ｴﾍﾝ　RT : 業務妨害罪 … 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/13 15:25 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179453107351203840> ですってwww RT shirono: 問題外だから違法性も帯びるのでしょうね。RT : インコのツイが検察・警察・裁判所の業務妨害になるなんてすごい！過去にそれだけの影響を司法界に与えた鳥がいただろうか　ｴﾍﾝ　RT : 業務妨害罪で逮捕されると良いですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 16:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179461948776263680> RT @nosaibaninko: 警察・検察・裁判所、特に裁判所は最高裁ね、この組織に対する批判と問題追及の手羽先は緩めません。それで「業務妨害だ、逮捕されろ」っていう人いますけど。逮捕されてもインコは、人語を解しても人語を喋ることができないから必然的に完黙だね ♪　 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/13 15:56 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179460849881190400> 警察・検察・裁判所、特に裁判所は最高裁ね、この組織に対する批判と問題追及の手羽先は緩めません。それで「業務妨害だ、逮捕されろ」っていう人いますけど。逮捕されてもインコは、人語を解しても人語を喋ることができないから必然的に完黙だね ♪

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/13 22:06 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179554040563249153> より深刻で悩ましい人です。→　RT @motoken\_tw: 高度の実名性を持つアカウントでもアホなことを言う人がいるのが悩ましい。

＃＃：　 以下、2012年3月14日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 08:12 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179706419719831552> RT @s\_hirono: 「検察・警察・裁判所を批判する裁判員いらなインコ@nosaibaninkoとのやりとり（2012.3.13）」をトゥギャりました。 <http://t.co/wt1hCPPe> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/14 08:10 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179706102290722818> 「検察・警察・裁判所を批判する裁判員いらなインコ@nosaibaninkoとのやりとり（2012.3.13）」をトゥギャりました。 <http://t.co/wt1hCPPe>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179738154553716737> @thermalpaper00 @okumuraosaka @Hideo\_Ogura @yjochi @masahiko\_masuda つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/cICrTjVz>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179738305502527489> @grail\_corp @hirono\_hideki @amneris84 @o2441 @yamebun @taniyama つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/cICrTjVz>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:20 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179738797775400960> @TriggerJones42 @takapon\_jp @hga02104 @t\_ishin @crusing21 つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/cICrTjVz>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179739040432660480> @harrier0516osk @nosaibaninko @sho\_ya @kazu1961omi つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/cICrTjVz>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179740662688776193> RT @s\_hirono: 「刑事司法、刑事弁護の現状について考えさせらルツイートをまもめました。(2012.3.14)」をトゥギャりました。 <http://t.co/sENNtUS5> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/14 10:16 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179737701187207168> 「刑事司法、刑事弁護の現状について考えさせらルツイートをまもめました。(2012.3.14)」をトゥギャりました。 <http://t.co/sENNtUS5>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179740852191625216> RT @s\_hirono: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にはブロックされています。頭から無視することにされたのでしょう。相当の経緯があります。RT @motoken\_tw: 頭から無視することと悩んだ末に従わないことは違う。RT @tsuchiba\_kakeru 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/14 10:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179740544770121729> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にはブロックされています。頭から無視することにされたのでしょう。相当の経緯があります。RT @motoken\_tw: 頭から無視することと悩んだ末に従わないことは違う。RT @tsuchiba\_kakeru

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 10:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179745107736657921> 刑事司法、刑事弁護の現状について考えさせらルツイートをまもめました。(2012.3.14) - Togetter <http://t.co/T52hpHqY> 0 viewのままなのが気になります。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 11:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179753359937507328> RT @Hideo\_Ogura: 彼の弁護士時代の仕事っぷりを調べ上げるジャーナリストがいても良さそうなんですけどね。RT @amneris84: それにしても、橋下市長は「マネジメント」という言葉が好きですにゃ～。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/14 11:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/179750827941040129> 彼の弁護士時代の仕事っぷりを調べ上げるジャーナリストがいても良さそうなんですけどね。RT @amneris84: それにしても、橋下市長は「マネジメント」という言葉が好きですにゃ～。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 14:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179802326100484096> 暗黙のルールや黙示の協定みたいなものもありそうですね。 RT @hideo\_ogura: 私が呟いていることなんて、弁護士の中では常識の部類に属することばかりです。RT @hirono\_hideki: 小倉先生こそ青史に名を刻まれるべき奇形弁護士さんだと思います。列伝

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 15:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179820677824659456> RT @Hideo\_Ogura: 弁護士としての実績は、橋下市長よりは大分上だと思うけど。RT @CCWonline2: この人本当に弁護士か？橋下市長なんか足元にも及ばないおこちゃまなんだけど(￣▽￣) @Hideo\_Ogura #大阪チキンの会 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/14 15:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/179820452284342272> 弁護士としての実績は、橋下市長よりは大分上だと思うけど。RT @CCWonline2: この人本当に弁護士か？橋下市長なんか足元にも及ばないおこちゃまなんだけど(￣▽￣) @Hideo\_Ogura #大阪チキンの会

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 15:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179822412785922048> かって新宿バス放火事件で意中の判決を得た安田好弘弁護士みたいです。 RT @hideo\_ogura: 弁護士としての実績は、橋下市長よりは大分上だと思うけど。RT @CCWonline2: この人本当に弁護士か？橋下市長なんか足元にも及ばないおこちゃまなんだけど(￣▽￣)

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 16:11 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179827180077985792> 褒めたつもりは無いですね。今後世間が注目するような大きな裁判では、裁判官に同類視回避のバイアスも掛かりそうですね。 RT @hideo\_ogura: なぜか褒められている。RT @hirono\_hideki: かって新宿バス放火事件で意中の判決を得た安田好弘弁護士みたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 16:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179833248174702592> インコさんがいる限り裁判員制度は不滅でしょう。自分も絶対必要だと再確認させてもらった。 RT @nosaibaninko: インコは非国民でいいです RT @ikez2: キミガヨ拒否すりゃ非国民、ガレキ拒否すりゃ非国民。自分の頭で考える人間はみな非国民。げに恐ろしきはニッポン国

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 16:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179837939180765184> 幼子2人を放置死させた“鬼母”に無期懲役を求刑 - リアルライブ <http://t.co/UoI3telp> 12日に結審で16日に判決とは意外でした。通常の裁判員裁判としては普通なのかもしれないですが、埼玉の連続不審死事件では判決まで丸一月置いたみたいです。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 16:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179838495743934465> RT @nyanmayu: 私は宇都宮先生に入れました。理由は色々あるけれど、根っこには、東京の派閥による、「投票の強制と管理」がキライだからというのがあります。会員室占拠して、投票後に立ち寄れ、投票しましたちゃんと入れましたとの報告せよ、と毎回やるという実態が、私の人権 … 元のツイート）→　投稿者：nyanmayu（非非実在弁護士 にゃんまゆ） 日時：2012/03/14 16:51 ツイート： <https://twitter.com/nyanmayu/status/179837180661862400> 私は宇都宮先生に入れました。理由は色々あるけれど、根っこには、東京の派閥による、「投票の強制と管理」がキライだからというのがあります。会員室占拠して、投票後に立ち寄れ、投票しましたちゃんと入れましたとの報告せよ、と毎回やるという実態が、私の人権感覚ではカルチャーショックだった。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179840420191272960> リアクションに対してブロック。RT @motoken\_tw: 脅かされてないと思います。発言にはリアクションが生じるという当然の話。RT @ggcaprotti: 河村市長が「発言を控えたい」とされましたね？それでも「撤回はしない」というのはすごい勇気。それにしても「言論の自由

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179843647548833792> 弁護士ご都合主義と防御権の濫用に尽きるでしょう。→　 RT @nosaibaninko: 裁判員制度はインチキ。裁判員の負担を軽くと被告や弁護人の防御権が奪われています。国民に負担をかけないためなら動員しないのが一番。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179846664973070336> 金沢地方検察庁20120312.wmv - YouTube <http://t.co/BFLbhxzC> <http://t.co/vimQI4Kz> 再生回数75です。伸びてはいないです。弁護士全体の運命を変える録音資料になるかもしれないです。それなりに時間も置いています。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179846836155195392> RT @okaguchik: 弁護士から裁判官になった弁護士任官者の嘆き 「弁護士時代は，毎年冬になると，依頼者等からみかんやデコポンを頂いていたものですが，今は，当然のことながら，自分で買わなければなりません。」＠自由と正義今月号６９頁 元のツイート）→　投稿者：okaguchik（岡口基一） 日時：2012/03/14 17:22 ツイート： <https://twitter.com/okaguchik/status/179844964904218624> 弁護士から裁判官になった弁護士任官者の嘆き 「弁護士時代は，毎年冬になると，依頼者等からみかんやデコポンを頂いていたものですが，今は，当然のことながら，自分で買わなければなりません。」＠自由と正義今月号６９頁

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179848875480330240> 3人の裁判官で個人の運命が操られるのであれば、なおさら監視が必要ですね。無条件、盲目的に弁護士を信頼しろということでしょう。 RT @nosaibaninko: プロが3人いれば素人6人なんて簡単に操れると。しかも裁判官が気に入らなければ協議の邪魔と辞任させられるし、判決は市民が

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179852488462184448> 氷見の強姦冤罪事件の時、富山弁護士会の会長が9９．8％捜査機関に責任があると声明出していましたね。 RT @crusing21: そうですね。外国人が聞いたら驚かれます。「それが裁判か」と。RT @LesMasakinQsir: 起訴されたら99.9%有罪。先進国の中では異常

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 17:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179853452669751297> 富山えん罪事件についての報告書 by 富山県弁護士会 <http://t.co/N9NzQC5p> 98％ぐらいだったかなと記憶していたのですが、調べてみると99.8%だったみたいです。ちょっと在り得ないような数字だと思いますが、実際的な刑事弁護の有様を露呈しているようです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 18:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179855641014308864> 闘うにしても未決拘留の負担がどれほど大きいか説明している弁護士はみたことないですね。 RT @crusing21: もちろん、そうですね。ただ、最近は戦わない弁護士も増えているようです。RT @LesMasakinQsir: 弁護士に全て任せるのではなく、一緒に闘う姿勢が必要だと

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 18:14 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179858010670239744> どうも、現実離れした人間として成長していくのも弁護士の特徴みたいですね。 RT @okaguchik: 弁護士から裁判官になった弁護士任官者の嘆き 「弁護士時代は，毎年冬になると，依頼者等からみかんやデコポンを頂いていたものですが，今は，当然のことながら，自分で買わなければなりま

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 18:25 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179860820585492480> 刑事司法、刑事弁護の現状について考えさせらルツイートをまもめました。(2012.3.14) - Togetter <http://t.co/1mV2Ex6F> 残念ながら閲覧数も伸びていないです。警察、検察、裁判所にみてもらうため選りすぐったものです。→　226 view

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 18:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179861923377061888> @realitykicks 昔、たまたま古本屋で立ち読みしたのですが、10年以上勾留（もしかすると14年ぐらいかも）されて、判決確定と同時に7年の懲役がその場で満了した被告人がいたそうです。女性だったような気もします。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 18:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179863773190959104> 参考までにもう一つあげれば、半年ほどの上告審で、未決通算で算入されたのは20日。RT @realitykicks: 完全否認の際、勾留記録は最高何日くらいですか？さすがに１年とかはないですよね？ “@crusing21: そうですか。私はそれを説明して、本人に選択してもらってい

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 19:25 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179875990644854785> RT @okumuraosaka: 非弁の相談料って、５万とか１０万とか高いし、しかも、知識も弁護士に劣ってて、最後は「弁護士に相談して下さい」で終わる。最初から弁護士に相談してよ。 元のツイート）→　投稿者：okumuraosaka（TORU OKUMURA） 日時：2012/03/14 19:24 ツイート： <https://twitter.com/okumuraosaka/status/179875584569122816> 非弁の相談料って、５万とか１０万とか高いし、しかも、知識も弁護士に劣ってて、最後は「弁護士に相談して下さい」で終わる。最初から弁護士に相談してよ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 22:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179922845277753344> ブロックとスルーは違うのか？　RT @motoken\_tw: 仕事柄、そうできない場合も多いw RT @minimalcoke: 実社会ではスルーが最大の防御かと。 RT @motoken\_tw: 攻撃は最大の防御というのは、攻撃が有効な場合の話だよね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/14 22:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179923960639668225> RT @motoken\_tw: 反応してくれると目的が達せられてうれしいけど、それが分かってても一言言わざるを得ないみたい。RT @yamadax9999: ブロックしてる相手のツイートに反論し続ける方が気持ち悪いです先生…… RT @herobridge: 自分の読解力がないっ 元のツイート）→　投稿者：（） 日時： ツイート： <https://twitter.com//status/>

＃＃：　 以下、2012年3月15日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 00:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179953694090084352> RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/15 00:26 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/179951687451148291> 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 00:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179955620898799616> 私のことですかね。根拠と資料は上げてありますよ。http://t.co/cyJauv94 これは古いですが。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 01:08 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179962328018726912> ちゃんとチェックしておかないと、あなた方が裁判員制度とともに強硬に否定、反対する共謀罪の成立に繋がるかもしれないですよ。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 01:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179970200526000129> 良かったですね。 RT @TriggerJones42: 考えてみれば、ツイッターのおかげでたくさんの方々と知り合い、暖かいお言葉をいただき、支えていただいた。ツイッターがなかったら、僕はとっくの昔に朽ち果てていただろう。ありがとう、ツイッター。ありがとう、みなさま！

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 01:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179971157469044736> RT @nyanmayu: 弁護士クラスタで一時期話題持ちきりだった例のブログ。先日封鎖されたのはこのせいだったのかしらん。遅かれ早かれそうなるだろうとは思ったけど。RT @okaguchik: 裁判所職員のぶっちゃけ時事放談というブログがあるんですね。http://t. … 元のツイート）→　投稿者：nyanmayu（非非実在弁護士 にゃんまゆ） 日時：2012/03/15 01:35 ツイート： <https://twitter.com/nyanmayu/status/179968940171214848> 弁護士クラスタで一時期話題持ちきりだった例のブログ。先日封鎖されたのはこのせいだったのかしらん。遅かれ早かれそうなるだろうとは思ったけど。RT @okaguchik: 裁判所職員のぶっちゃけ時事放談というブログがあるんですね。http://t.co/udxQypi4

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 01:55 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179974101874651137> 矢部 善朗 <http://t.co/ntdIiN7N> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）のFacebookアカウントのページ。前にも見たことあったと思うけど、検事を13年やっていたとは、思っていたより（10年ぐらいかな）長いです。落合洋司弁護士（東京弁護士会）よりも少し長そう。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179979932254998529> 警察や検察の笑いものになりそうですね。油断大敵ということで足元掬われないように気をつけて欲しいですが。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179983594188578816> まあ、低能ではなさそうですが。そのまんま自身を物語っているみたいです。乞食性もありそうですが。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179985307393990656> 乞食性というのは言い過ぎかもしれないので訂正します。真摯ならなおさら悲劇ですし、社会の傍迷惑なのは間違いなさそうです。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179986298193461249> HPとフォロー数を見ていると、大変な赤字で負債も抱え込んでいそうです。無知蒙昧の悲劇です。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179989337314836480> RT @aritayoshifu: 「オセロ」中島さん問題は、ご自身の家族や知人が遭遇したらいかにという想像力とともに、オウム事件の負の遺産として警察庁、法務省、厚労省が研究しつつも具体的対応ができなかった難題として捉えるべき。「芸能人のこと」などと低める感性が私には全く … 元のツイート）→　投稿者：aritayoshifu（有田芳生） 日時：2012/03/14 23:22 ツイート： <https://twitter.com/aritayoshifu/status/179935648013238273> 「オセロ」中島さん問題は、ご自身の家族や知人が遭遇したらいかにという想像力とともに、オウム事件の負の遺産として警察庁、法務省、厚労省が研究しつつも具体的対応ができなかった難題として捉えるべき。「芸能人のこと」などと低める感性が私には全く理解できない。人間的なことはすべて課題だ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 02:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179989458010124288> RT @masaki\_kito: マインドコントロール状態と言っても、精神の病気ではないから、外からはまったく普通に見えるし普通の会話は一般人と一緒。通常は見抜けない。なぜ僕が、これまで見抜けてきたのかというと、内部情報など調査に基づく。現在の中島さんの状態は周りの専門家 … 元のツイート）→　投稿者：masakikito（弁護士紀藤正樹 @Masaki\_Kito） 日時：2012/03/14 17:10 ツイート： <https://twitter.com/masaki_kito/status/179841822934315008> マインドコントロール状態と言っても、精神の病気ではないから、外からはまったく普通に見えるし普通の会話は一般人と一緒。通常は見抜けない。なぜ僕が、これまで見抜けてきたのかというと、内部情報など調査に基づく。現在の中島さんの状態は周りの専門家のみ知るというのが実情だろう #osero

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 03:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/179991455207669760> 勉強が出来るという意味では、知的能力は高そうですね。知識も随分豊富みたいです。総合的には身の程知らないだと思いますが。 RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 11:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180121110833135616> ＠外していますね。RT @nosaibaninko: 裁判員制度廃止、共謀罪反対です→ hironohideki: ちゃんとチェックしておかないと、あなた方が裁判員制度とともに強硬に否定、反対する共謀罪の成立に繋がるかもしれないですよ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 11:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180121463230185473> 確かにこれがハイレベルかもRT @nosaibaninko: フォロワーは数で勝負ではなくインコは質で勝負ですね。ハイレベルな方がほとんどなので　ｴﾍﾝ　RT　hironohideki: HPとフォロー数を見ていると、大変な赤字で負債も抱え込んでいそうです。無知蒙昧の悲劇です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 11:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180122337629315074> 変わったこともあるもので、11時20分頃外に出たところ、玄関先に小鳥が一羽死んでいました。なぜか死に場所に選んでくれたみたいです。抹茶のような緑色の鳥です。インコではないと思いますが、鶯なのかも。そういえば、今年はまだ鶯の声を聞かないです。そろそろか。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 11:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180122895832457216> ＠をつけて来なくなったものの否定のツイートがないところを見ると、やはり私に向けたもののようです。公明正大とはいけないのでしょう。RT @nosaibaninko: 自己中心的曲解思考の粘着質タイプを相手にするって大変だろうなぁ。さすがのインコも警察と地検に深く深く同情。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 12:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180133865657085952> RT @nosaibaninko: @hirono\_hideki どうしてご自分宛だと思われるのでしょうね？　被害妄想もたいがいになされて、なんでも自分に宛てたものだとお考えにならない方がよろしのでは？　インコに絡まないでくださいとお願いしたので、否定のお返事も差し控えただけです 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/15 12:18 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/180130709913079808> @hirono\_hideki どうしてご自分宛だと思われるのでしょうね？　被害妄想もたいがいになされて、なんでも自分に宛てたものだとお考えにならない方がよろしのでは？　インコに絡まないでくださいとお願いしたので、否定のお返事も差し控えただけです

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 12:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180136739262828544> <http://t.co/qRNCAfck> 今朝家の前に死んでいた鳥です。後々、裁判員いらなインコさんに不吉なツイートだとか、因縁付けられても面倒なので、写真に撮って来ました。土に還してあげるため場所は移動しています。都合次第で鳥のような発言をするのもインコさんの特徴です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 12:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180138487515856896> 裁判員いらなインコ (nosaibaninko) は Twitter を利用しています <http://t.co/o5bhIZXT> このインコさんを見ていると、鳥もさぞかし迷惑ではないかと考えることが多かったです。堤防で海釣りをしているときカモメの姿をみながら、しみじみと。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 15:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180179176094048257> RT @s\_hirono: @nosaibaninko @hirono\_hideki つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/Av3YBp4I> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 15:29 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180178990605139969> @nosaibaninko @hirono\_hideki つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/Av3YBp4I>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 15:30 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180179203923259392> RT @s\_hirono: 「裁判員いらなインコ@nosaibaninkoさんの主張に疑義を挟み意見を述べていると粘着性から被害妄想と言われちゃいました。(2012.3.15)」をトゥギャりました。 <http://t.co/Av3YBp4I> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 15:29 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180178944660746241> 「裁判員いらなインコ@nosaibaninkoさんの主張に疑義を挟み意見を述べていると粘着性から被害妄想と言われちゃいました。(2012.3.15)」をトゥギャりました。 <http://t.co/Av3YBp4I>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 16:16 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180190713588350976> 【平野区母子殺害放火】義父の刑務官に逆転無罪　大阪地裁差し戻し審判決（1/2ページ） - MSN産経west <http://t.co/15jp8v30> 一本のタバコの吸い殻で、死刑か無罪の運命の分かれ目になるというのも恐ろしい話ですが、他にも疑いはあったみたいですね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 17:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180215443347353600> 強制わいせつ：１０歳の告訴能力、「幼い」理由に否定　「地獄だった、重い罰与えて」も届かず - 毎日ｊｐ(毎日新聞) <http://t.co/APBVYmyX> これは自分の再審請求にもいろいろ参考になりそうな問題です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 18:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180221538887413760> 中学教師、競艇場で一勝負…合間に通知表記入 : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/XfSs9PAL> そういえばこのニュース、昨日のお昼のNHKニュースでもやっていました。NHKが全国放送で流すような問題なのかとも考えました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 18:55 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180230810861977600> コミックス×ブログ 裁判長!ここは懲役4年でどうすか 第2巻／原作：北尾トロ、漫画：松橋犬輔 <http://t.co/RLvsfxwF> 2008/03/14(金)になってます。モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）のブログのコメント欄を追い出される前から、公刊されていたみたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 19:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180240784325492737> Aコープ能都店に行ってきました。ついにカードを作りました。どんたく宇出津店とクスリのアオキに続き、お買い物のカードはこれで３枚目です。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 22:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180277465938276352> RT @s\_hirono: 自分の都合や価値観だけで相手をブロックでは筋も通らんでしょう。RT @motoken\_tw: 筋の通った話ができるというのは、信頼の根拠の一つなんだけど。 RT @herobridge: 多分論理的である事が世の中で1番大事だとか、意見には名前 … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 21:58 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180276857441234944> 自分の都合や価値観だけで相手をブロックでは筋も通らんでしょう。RT @motoken\_tw: 筋の通った話ができるというのは、信頼の根拠の一つなんだけど。 RT @herobridge: 多分論理的である事が世の中で1番大事だとか、意見には名前も肩書きも関係ないとか言っている人は

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 22:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180277492844736513> RT @s\_hirono: 実績とプロフとのことです。　RT @motoken\_tw: 私は、意見については実名垢も匿名垢も区別しない。情報については実績とプロフを参考にする。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 22:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180277265429561344> 実績とプロフとのことです。　RT @motoken\_tw: 私は、意見については実名垢も匿名垢も区別しない。情報については実績とプロフを参考にする。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 22:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180281473813843968> 大阪母子殺害差し戻し審、刑務官に無罪 : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/5JODDET6> 報道ステーションで時間を割きずいぶん詳しくやっていました。被告の顔写真や被害者の顔写真も出ていましたし、母親のような人も顔出しインタビュー。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/15 23:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180293439538212864> RT @motoken\_tw: 裁判官が判決で言うところの「社会通念」というのは、「その」裁判官が社会通念だと考える社会通念、つまりとても個人的な感覚で客観性などない、と授業でも言ってる。RT @ynabe39: そもそも実際「社会通念という概念は人によって異なる」んじゃ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 10:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180109984279965698> 裁判官が判決で言うところの「社会通念」というのは、「その」裁判官が社会通念だと考える社会通念、つまりとても個人的な感覚で客観性などない、と授業でも言ってる。RT @ynabe39: そもそも実際「社会通念という概念は人によって異なる」んじゃないかなあ。

＃＃：　 以下、2012年3月16日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 05:07 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180384786873987072> RT @motoken\_tw: それが正義かどうか誰が検証すると言うのだろう？RT @myoyoshinnyo: 上杉隆は昨日「正義のためにはウソやデマも時にはありだ」というようなことを言ったらしいけど、それは政治家や経営者のように責任を負って勝負をする者の姿勢であって、 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 22:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180288720279322625> それが正義かどうか誰が検証すると言うのだろう？RT @myoyoshinnyo: 上杉隆は昨日「正義のためにはウソやデマも時にはありだ」というようなことを言ったらしいけど、それは政治家や経営者のように責任を負って勝負をする者の姿勢であって、ジャーナリストがやっていいことではない。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 05:09 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180385168010387456> RT @motoken\_tw: なしだと思う。証拠見てないから憶測半分だけど。立法措置の必要性を感じてしまう。RT @minimalcoke: @motoken\_tw 話全然ちがうけど、このニュースみてびっくりしてしまった。こんなのアリなの？　http://t.co/Jx … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 01:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180326390544072704> なしだと思う。証拠見てないから憶測半分だけど。立法措置の必要性を感じてしまう。RT @minimalcoke: @motoken\_tw 話全然ちがうけど、このニュースみてびっくりしてしまった。こんなのアリなの？　http://t.co/Jxi2IV0d

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 05:09 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180385348470312960> RT @motoken\_tw: 検事がトチ狂う率が高くなってる。RT @triggerjones42: 裁判所には失礼な言い方になるかもしれないが、やはり検事がトチ狂って起訴するところから悲劇が始まると思う。ダメな事件は検事が防波堤になって潰さないと、起訴したが最後、訳の … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 00:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180321641434316801> 検事がトチ狂う率が高くなってる。RT @triggerjones42: 裁判所には失礼な言い方になるかもしれないが、やはり検事がトチ狂って起訴するところから悲劇が始まると思う。ダメな事件は検事が防波堤になって潰さないと、起訴したが最後、訳のわからない「力」が働いて、なぜか有罪にな

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180473788163567616> @wanttoknowtruth 代理ミュンヒハウゼン症候群について調べてみましたが、半年ぐらい前か「世界丸見え」のような番組でやっていました。死刑廃止の安田好弘の奇怪な弁護手法も、これだと理解できそうです。お供え物は自ら発言する場、機会のない弱者です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:04 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180474706124746752> 代理ミュンヒハウゼン症候群を知っていますか？＠代理ミュンヒハウゼン症候群研究ブログ <http://t.co/qfvtj3xK> 刑事司法や弁護士業界の病理にも通じるものがありそうです。ちょっと貴重な発見です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180478222763433984> @wanttoknowtruth 職権乱用型の代理ミュンヒハウゼン症候群、というのは取調官や弁護士にも多くありそうですね。供述調書を作成する取調官は自らを「本職」、書面を書く弁護士は「当職」とすることが多いみたいですが、まさに職権行為です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180480802893737984> モトケン (motokentw) は Twitter を利用しています <http://t.co/YKSH754l> 公式RTできないので、ブロックの解除はされていないみたいです。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180480969856389120> RT @s\_hirono: これはこれは。ブロックは解除されたのでしょうか？　RT @motoken\_tw: 冒頭でリンクされているブログエントリで「感情論」を検索すれば、まとめ主が他人の発言をまともに読めていないことが明白です。 <http://t.co/RX7QtrmB> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 11:25 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180479861566091265> これはこれは。ブロックは解除されたのでしょうか？　RT @motoken\_tw: 冒頭でリンクされているブログエントリで「感情論」を検索すれば、まとめ主が他人の発言をまともに読めていないことが明白です。 <http://t.co/RX7QtrmB>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180498595353591808> Twitter / @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き … <http://t.co/YqlR0eJP> 許可されていないのでツイートが見られません、などと出たり、出なかったり。まだブロックはされているようですが、たまに開ける。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180499200147066881> Twitter / @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き … <http://t.co/wl8GnpcQ> 公式RTでエラーが出たので、やはりブロックは解除されていないみたいです。期待もしてませんが。ブロックしたままとやかく言うのも・・。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180499420113149952> RT @s\_hirono: 愚者RT @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的 … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 12:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180497048095821825> 愚者RT @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ RT @motoken\_tw:

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180500010717298688> ブログもまさに王国でしたね。RT @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 13:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180516892274982914> RT @s\_hirono: タイトル名の横に鳥の死骸の写真が表示されるようになっていることを確認しましたが、特に意味はないです。家の前で鳥が死んでいたので、何かを訴えに来たのかなどと多少想像はしましたが、それよりインコさんの刺激的なツイートと連.. <http://t.co> … 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 13:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180516712561655808> タイトル名の横に鳥の死骸の写真が表示されるようになっていることを確認しましたが、特に意味はないです。家の前で鳥が死んでいたので、何かを訴えに来たのかなどと多少想像はしましたが、それよりインコさんの刺激的なツイートと連.. <http://t.co/Av3YBp4I>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 14:25 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180525165636091904> あの方は特別だったと思いますね。肩書きの明示も含め、発言の影響力もあったと思いますし、反論の必要性も感じました。一方的過ぎて噛み合わなかったですが。RT @minomax: ブログってそもそもそうなのでは？RT @hirono\_hideki: ブログもまさに王国でしたね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 14:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180526715209138176> 「利益のないところとは付き合わない態度」というミヤネ屋のコメンテーターの発言。北朝鮮のことらしいですが、こういうのって、弁護士に顕著な傾向がありそうです。被害妄想とか逆恨みにもされがちな感じです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 14:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180529472787841024> @minomax 昔の常連さんのようですね。モトケンさんの采配も大きく影響していると思いますよ。また、ご遠慮なくご意見なり、コメントなり、質問なりして下さい。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:11 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180536868700553216> RT @s\_hirono: 了解です。　RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 14:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180533836604645376> 了解です。　RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:12 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180536886878670848> RT @motoken\_tw: 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 14:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180533839549050881> 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:12 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180536910068981760> RT @s\_hirono: 呼び捨てでけっこうです。文字数の関係で。RT @motoken\_tw: 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 15:01 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180534349605781504> 呼び捨てでけっこうです。文字数の関係で。RT @motoken\_tw: 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:16 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180538027699998721> @motoken\_tw ブロック解除ありがとうございます。出来れば@shironoの方も外しておいてもらえないでしょうか。個人的な裁判に関するツイートや問題はそちらにまとめるようにしていきたいのですが、ごらんの通りフォロー数が問題外に少なすぎる状況です。よろしくお願いします。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:24 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180540000331509760> そうですか。関与はこちらもご勘弁願いたいです。RT @motoken\_tw: 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180541662806814720> @motoken\_tw こちら@shironoのブロックは解除されていないみたいですね。後々の誤解や行き違いを避けるためにも、元の発言を明示する公式RTを使いたいのです。保存や管理にも手間が掛かり、間違いの原因にもなりかねないので、是非お願いします。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180541742494396417> RT @motoken\_tw: 関心だけは持ってほしいということですか？それはこちらから勘弁願いたい。RT @hirono\_hideki: そうですか。関与はこちらもご勘弁願いたいです。RT @motoken\_tw: 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180540654248665089> 関心だけは持ってほしいということですか？それはこちらから勘弁願いたい。RT @hirono\_hideki: そうですか。関与はこちらもご勘弁願いたいです。RT @motoken\_tw: 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180542464627707904> RT @motoken\_tw: @siranlre 群馬の先生じゃなくて、ブログ当時からときどき自己中心的に絡んできた人。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180537023684284416> @siranlre 群馬の先生じゃなくて、ブログ当時からときどき自己中心的に絡んできた人。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180542508261060608> RT @motoken\_tw: @siranlre 一人に宣戦布告したからうっとおしかったら適当にリムッといて。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180535583926530048> @siranlre 一人に宣戦布告したからうっとおしかったら適当にリムッといて。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180542576502386688> RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 14:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180532646496043009> @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180543969221021697> RT @nosaibaninko: 果たして検察という組織に自浄能力があるのでしょうか？ RT @keisukekudou: 田代検事だけが人身御供で終わりませんように：石川議員の虚偽報告書、上司指示で書き換えか　複数検事、関与の可能性 - MSN産経ニュース http: … 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/16 15:38 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/180543562751016960> 果たして検察という組織に自浄能力があるのでしょうか？ RT @keisukekudou: 田代検事だけが人身御供で終わりませんように：石川議員の虚偽報告書、上司指示で書き換えか　複数検事、関与の可能性 - MSN産経ニュース <http://t.co/1sd6fz0i>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180544716306264064> 貴方の受け取り方次第ですが、既にもの凄い爆弾を抱え込んでいると思いますよ。気づいていただければとYouTubeのリンクもご紹介したのですが、その時もブロックされましたね。RT @motoken\_tw: 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180547317068341248> RT @motoken\_tw: 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw こちら@shironoのブロックは解除…元の発言を明示する公式RTを使いたいのです。保存や管理にも手間 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180543402050453505> 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw こちら@shironoのブロックは解除…元の発言を明示する公式RTを使いたいのです。保存や管理にも手間が掛かり、間違いの原因にもなりかねないの

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180549128084930561> 「ブロックは現実逃避。スルーは知性。 」と言っていた人ですね。RT @minimalcoke: 迷惑って言われてるんだからやめようよ。大人として最低限のマナーでしょ。ストーカーみたいに見えますよ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:08 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180551152520278016> 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任、自業自得でお願いします。　RT @motoken\_tw: はっきり言ってもらいましょう。誰がどんな爆弾を抱えているんですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180552931349762048> 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki 逃げるんですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180556138666917889> 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）さん。RT @motoken\_tw: 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:33 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180557481460776960> 【大阪２児虐待死判決】殺意認定、下村早苗被告に懲役３０年　大阪地裁判決 - MSN産経ニュース <http://t.co/gHsTjb9B> ミヤネ屋は１５時頃の短いニュースだけでした。逮捕時の過熱した報道と比較すると、どうなのかなと思いました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180562760248197120> 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまでもボロクソにこき下ろされて、ストーカー扱いされてきたわけですし。　そう言う姿勢ではご自身のためにもならなそうですよ。　RT @motoken\_tw: そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180568336990605312> そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoken\_tw: つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180571352783273984> 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。耳を傾ける姿勢とも思えませんが。RT @motoken\_tw: あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180574564588339200> 刑事ですか？　民事ですか？　場合によっては大歓迎ですよ。　RT @motoken\_tw: じゃ、私なんか相手にしないほうがいいですね。いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:47 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576125544693760> RT @motoken\_tw: 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。R … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180553618355793920> 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。RT @motoken\_tw:

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576160256761856> RT @motoken\_tw: 私の受け取り方は既に述べた。それに従って対応します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180553370489192448> 私の受け取り方は既に述べた。それに従って対応します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576190195712000> RT @motoken\_tw: そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。RT @hirono\_hideki: 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180560850329939969> そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。RT @hirono\_hideki: 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576207132311552> RT @motoken\_tw: つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。RT @hirono\_hideki: 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまで … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180564840463601664> つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。RT @hirono\_hideki: 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまでもボロクソにこき下ろされて、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576238170148864> RT @motoken\_tw: あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。RT @hirono\_hideki: そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoke … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180569012449705986> あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。RT @hirono\_hideki: そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoken\_tw: 答えないということですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576267026968577> RT @motoken\_tw: 私の立場に対する配慮はなにもないんですね。ブログではかなりあなたのコメントを許しましたよ。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるので … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180571998437642241> 私の立場に対する配慮はなにもないんですね。ブログではかなりあなたのコメントを許しましたよ。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。耳を傾ける姿勢とも思え

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:48 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576296575836161> RT @motoken\_tw: じゃ、私なんか相手にしないほうがいいですね。いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだった … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180572870978711552> じゃ、私なんか相手にしないほうがいいですね。いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:49 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576504529420288> RT @motoken\_tw: 一度、当事者訴訟してみるかな。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180573572127916033> 一度、当事者訴訟してみるかな。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:49 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180576548036943872> RT @motoken\_tw: あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。RT @hirono\_hideki: 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180551752569978880> あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。RT @hirono\_hideki: 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任、自業自得でお願いします。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180577423585329153> 貴方は既に私の名誉を毀損しているとも思うので、こちらは刑事面として対抗しますよ。まあ、軽率な言動は厳に謹んでもらいたいですが・・・。RT @motoken\_tw: あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180577519437758464> RT @motoken\_tw: しまった。そういうタイプの御仁だということを忘れていた。実名でも恥も外聞もない人は最強。RT @hirono\_hideki: 刑事ですか？　民事ですか？　場合によっては大歓迎ですよ。　RT @motoken\_tw: …いい加減にしないと法的 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180575150767489024> しまった。そういうタイプの御仁だということを忘れていた。実名でも恥も外聞もない人は最強。RT @hirono\_hideki: 刑事ですか？　民事ですか？　場合によっては大歓迎ですよ。　RT @motoken\_tw: …いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180579458116354048> RT @motoken\_tw: 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。具体的に指摘されれば反論も反省もできるんだけど。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180578417689890817> 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。具体的に指摘されれば反論も反省もできるんだけど。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180580095063367680> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？　証明希望。RT @motoken\_tw: どこが？RT @hirono\_hideki: 貴方は既に私の名誉を毀損しているとも思うので、こちらは刑事面として対抗しますよ。まあ、軽率な言動は厳に謹んでもらいたいですが・・・。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:10 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180581737460535296> そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。T @hirono\_hideki: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:10 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180581841168904193> RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。T @hirono\_hideki: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？　証明希望。RT @motoken\_tw: どこが？ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180580822183723008> わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。T @hirono\_hideki: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？　証明希望。RT @motoken\_tw: どこが？RT @hirono\_hideki:

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:11 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180582078486806528> RT @motoken\_tw: つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんばんは。(ﾂｲｯﾀｰでの議論は余り存在しないので)口喧嘩で弁護士さんに勝てる人はいないと思います。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180581233963712512> つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんばんは。(ﾂｲｯﾀｰでの議論は余り存在しないので)口喧嘩で弁護士さんに勝てる人はいないと思います。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:13 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180582503596310528> 漫画のような展開に驚いています。　RT @motoken\_tw: つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんばんは。(ﾂｲｯﾀｰでの議論は余り存在しないので)口喧嘩で弁護士さんに勝てる人はいないと思います。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180583667427586048> RT @motoken\_tw: 依頼の趣旨次第ですね。RT @yquem1973: 「負け」の意味にもよりますね。負け筋の被告事件で最大限セーブできたら「勝ち」とも言える。 RT @motoken\_tw: 被告側から依頼を受ければ受けてたつしかないです。依頼の趣旨に応じて … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583126978920448> 依頼の趣旨次第ですね。RT @yquem1973: 「負け」の意味にもよりますね。負け筋の被告事件で最大限セーブできたら「勝ち」とも言える。 RT @motoken\_tw: 被告側から依頼を受ければ受けてたつしかないです。依頼の趣旨に応じて。RT @toshi\_fujiwara:

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180584468959068160> なぜ？　RT @motoken\_tw: じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッター

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180584521056534528> RT @motoken\_tw: 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe: 弁護士以上にロ達者な人もいるってことですな。 RT @motoken\_tw: 見通しを誤るとと負けますw 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180584109746294785> 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe: 弁護士以上にロ達者な人もいるってことですな。 RT @motoken\_tw: 見通しを誤るとと負けますw

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180584758051487745> 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。RT @motoken\_tw: 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe: 弁護士以上にロ達者な人もいるってことですな。 RT @motoken\_tw: 見通しを誤るとと負けますw

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180584860572852224> RT @motoken\_tw: 将棋の読みみたいなもんですw 経験でだいぶ違ってきますよ。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe 見通しができるのが凄い。先に感情に走るとできないですもん、女の身では難しいです（苦笑） 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583937775648768> 将棋の読みみたいなもんですw 経験でだいぶ違ってきますよ。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe 見通しができるのが凄い。先に感情に走るとできないですもん、女の身では難しいです（苦笑）

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:26 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180585900059791360> RT @motoken\_tw: じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582350701334530> じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180586625997344768> RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。RT @hirono\_hideki: 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。RT @motoken\_tw: 事実と論理は尊重しますから。RT @ba … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180585607855214592> あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。RT @hirono\_hideki: 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。RT @motoken\_tw: 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe:

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180586661892202496> RT @motoken\_tw: あなたは答えない。つまりコミュニケーションを拒否してます。RT @hirono\_hideki: なぜ？　RT @motoken\_tw: じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180584741614010368> あなたは答えない。つまりコミュニケーションを拒否してます。RT @hirono\_hideki: なぜ？　RT @motoken\_tw: じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180588383825969152> それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。RT @hirono\_hideki: 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180589960821342208> 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180593908026322946> @motoken\_tw 貴方のブログでの私に対する対応や発言は、金沢地方検察庁や石川県警の警察官も閲覧していた可能性が高いと思います。そのあたりの影響なんかも、後日問題になるかもしれないですね。無視しあるいは見落としてきた事実も大きいと思いますよ。注意義務とかもあるでしょう。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180593964494241792> RT @motoken\_tw: 誰が挑発したんですか？あなたも発言を捏造するのか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180590741381316608> 誰が挑発したんですか？あなたも発言を捏造するのか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki:

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180593985981657088> RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180589165694562305> それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180595525563854848> 今日も挑発しまくりではないですかね。もう因縁レベルですね。RT @motoken\_tw: 私があなたを挑発した事実を一つでも示せますか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180595667562012673> 現実的に理解しがたいです。RT @tokotokosan194: @hirono\_hideki さんはじめまして。余り良く見えないのですが、漫画のような展開とは？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:19 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180599237459976192> そうですね。私以外の人から、将来的に責任を問われる可能性があるかもしれないと考えています。影響は出ていますから。RT @jinseitoiumeiro: @hirono\_hideki @motoken\_tw こんばんは…おそれながら、注意義務とは法的なものですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180603130189328384> 平成１８年より前だったことは覚えているのですが。その辺りで自分の時計も止まっていますね。動き出せばお分かり頂けるかもRT @jinseitoiumeiro: @hirono\_hideki @motoken\_tw 影響！？そんな大事になっているのですか！？あの・・例えばどんな・・？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180603694981713920> うまく説明できなくて申し訳ないですね。RT @tokotokosan194: @hirono\_hideki それは（苦笑）私自身が漫画みたいな人生歩んでますから珍しくはないです。ですが私には他者に説明できない事はありません、事実なら堂々と書いちゃいます、顰蹙買いますが。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180607487655952384> はい。RT @jinseitoiumeiro: @hirono\_hideki @motoken\_tw ずいぶん昔なんですね（＾＾；）あと、すみませんがあなたの時計が動き出しても、自発的には私はわからないです・・あなたの時計が動き出せば説明していただけるということでよろしいですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:55 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180608112607236096> またモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされていました。面白すぎだという捨て台詞みたいです。→　　 <http://t.co/to7RKvYr>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 20:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180609548913090560> それもありますね。金沢中警察署と能登警察署の刑事にも言われましたが。RT @tokotokosan194: @hirono\_hideki ﾃﾞﾊﾞｶﾞﾒですが。思うに、ﾋﾛﾉさんは何かしらの言葉で傷ついたのでは？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 20:27 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180616200814993408> RT @s\_hirono: 「一時的ブロック解除によるモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）からのツイート（２０１２．３．１６）」をトゥギャりました。 <http://t.co/gXlG7p9g> 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 20:25 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180615890163871744> 「一時的ブロック解除によるモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）からのツイート（２０１２．３．１６）」をトゥギャりました。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 20:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180617308526489600> 弁護士が謝ることはないみたいです。検察も言っていました。→　http://t.co/BFLbhxzC RT @tokotokosan194: @hirono\_hideki 謝って欲しいって真っ先に立ちません？私そうだったから。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 21:49 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180637028587802624> RT @Yquem1973: 客単価3万未満の料亭はやっぱショボいな。料理もさることながら、ホスピタリティも中途半端だ。 元のツイート）→　投稿者：Yquem1973（憂國辯護士） 日時：2012/03/16 21:26 ツイート： <https://twitter.com/Yquem1973/status/180631163667361792> 客単価3万未満の料亭はやっぱショボいな。料理もさることながら、ホスピタリティも中途半端だ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 21:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180637892371165186> 丸ごとおかしいんじゃないですかね。RT @iarayashiki: RT @motoken\_tw: 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 21:56 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180638629629136896> これも自分（廣野秀樹）のことかな。RT @minomax: @motoken\_tw 群馬の先生の支離滅裂さより面白い支離滅裂ではないですか。ブロックは勿体無い気がします。めちゃくちゃなまとめは迷惑だと思いますがw

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 22:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180654295958560769> RT @s\_hirono: 内容的に応じかねますね。不愉快なのはこちらも同じです。RT @minimalcoke: 不愉快なので使わないで下さい。 元のツイート）→　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:58 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180654199443423233> 内容的に応じかねますね。不愉快なのはこちらも同じです。RT @minimalcoke: 不愉快なので使わないで下さい。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 23:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180658675327836160> Togetterで何かありましたら、モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を正式に刑事告訴することになると思います。検事に証人喚問されるかもです。RT @minimalcoke: @s\_hirono 悪意をもったまとめという事ですね。ログをTogetterに渡し、抗議します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 23:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180659085149077505> 自己防衛のためのまとめです。RT @minimalcoke: @s\_hirono 悪意をもったまとめという事ですね。ログをTogetterに渡し、抗議します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 23:32 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180662859322245120> @minimalcoke Togetterでモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）さんのツイートを全部消されたみたいです。これでは意味がなく、貴方にも誤解や迷惑が及ぶ可能性もあるので、ご要望通り削除しておきます。

＃＃：　 以下、2012年3月17日分のhironohideki（廣野秀樹）のツイート

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 00:18 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180674509739794432> そう言って頂ければ、こちらもありがたいです。RT @minimalcoke: ご理解ありがとうございます。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 00:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180679344572743680> @minimalcoke 痛い目に遭ってきたトラウマで、過剰に反応してきたところもあるかと思います。失礼しました。自分自身の説明不足もよくわかっているのです。また、よろしくお願いします。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 19:02 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180957225970450433> RT @nosaibaninko: @morikawa7771 森川さん、インコを無視してフォローしてくれないのはなぜ？といっても、インコも今、森川さんのアカウント知ってフォローしたんだけどさ ♡ 元のツイート）→　投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2012/03/17 18:42 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/180952165060321280> @morikawa7771 森川さん、インコを無視してフォローしてくれないのはなぜ？といっても、インコも今、森川さんのアカウント知ってフォローしたんだけどさ ♡

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 19:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180957514295279617> RT @morikawa7771: 太郎ちゃん、大丈夫？いつでも呼んでね♪ちなみに、枝野は弁護士の同期なんだけどね。ふざけるな!!って感じだね。 元のツイート）→　投稿者：morikawa7771（森川文人） 日時：2012/01/18 22:26 ツイート： <https://twitter.com/morikawa7771/status/159627668013330432> 太郎ちゃん、大丈夫？いつでも呼んでね♪ちなみに、枝野は弁護士の同期なんだけどね。ふざけるな!!って感じだね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 22:06 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/181003520495984640> 金沢地方検察庁20120312.wmv - YouTube <http://t.co/bnTByrsg> 再生回数89です。 <http://t.co/UCjnjrDa>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 22:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/181015393685618689> RT @motoken\_tw: まともな検事が絶対に必要。 RT @ryuuu\_w: 『検事失格』読了。読み進めていく中で、検事を目指すの止めようかと思ったり、やっぱり検事を目指そうと思う気持ちが強くなったり、すごく心を揺さぶられた。今読めて良かった。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 22:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181003853498548224> まともな検事が絶対に必要。 RT @ryuuu\_w: 『検事失格』読了。読み進めていく中で、検事を目指すの止めようかと思ったり、やっぱり検事を目指そうと思う気持ちが強くなったり、すごく心を揺さぶられた。今読めて良かった。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 23:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/181030592501133313> RT @motoken\_tw: いや、彼の場合は継続的に見てるから変なところが見えやすいので指摘しやすい。 RT @roarmihoko: フォロワーが多くて変だと感じた人みんなにそうしてるんですか、RT @motoken\_tw: フォロワーが多いから。あれがまともなツイ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181025712386478080> いや、彼の場合は継続的に見てるから変なところが見えやすいので指摘しやすい。 RT @roarmihoko: フォロワーが多くて変だと感じた人みんなにそうしてるんですか、RT @motoken\_tw: フォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 23:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/181030691012743169> RT @motoken\_tw: 理由を一つあげればフォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。 RT @wara33: ですよねぇ…（私怨とおっしゃっていますがね） RT @roarmihoko: しかしなんでモトケンさんはあんなに執拗に絡み … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181024404304707584> 理由を一つあげればフォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。 RT @wara33: ですよねぇ…（私怨とおっしゃっていますがね） RT @roarmihoko: しかしなんでモトケンさんはあんなに執拗に絡み続けてるんだろ。非生産的な…

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/17 23:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/181031642079567872> RT @motoken\_tw: 君の私怨だからだよw RT @herobridge: キャベ @Cabagine は罵倒に近いTweetを寄越して来るのだが、なんかあまり不快にならない。それに対してモトケンは一見論理的で批判を装ったTweetを返してくるが、もう生理的に受 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180823936156712960> 君の私怨だからだよw RT @herobridge: キャベ @Cabagine は罵倒に近いTweetを寄越して来るのだが、なんかあまり不快にならない。それに対してモトケンは一見論理的で批判を装ったTweetを返してくるが、もう生理的に受け付けない。この違いはなんだろうね？

#### 2014-08-28motokentw（モトケン）の2012年3月4日から3月17日のツイートの抜粋.txt gblog

＃＃：　 以下、2012年3月4日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 10:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176122174241898497> 話せば分かる人かどうかが人物評価の重要な基準。 RT @zakmustang: web等で数多くの議論を目にして痛感するのは、「話せば分かる」というのは大嘘だ、ということだ(´・ω・`)

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 10:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176123669297364995> 「是々非々」という言葉に多くの人はどういう印象を持っているのだろう？ご都合主義だとバカにする向きもありそうだが、とても大事なことだと思う。「是々非々」に対置されるべきは、「レッテル貼りの思考停止」だ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 10:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176124356265648128> 私の観測範囲では、弁護士で東電免責派はかなり少数だと思います。 RT @Premordia: @motoken\_tw 追加の質問をご容赦願いたく。先にご紹介頂いた解釈は、法律家の相場感覚として主流であり、余り議論の余地がないものなのか、@WATERMAN1996

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 11:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176132084962824192> 目的のために手段を選ばないとこうなるわけね。謝る相手が違う気もするし。＞コハクチョウ：湖から姿消す…撮影クルー爆竹で脅し　滋賀 - 毎日ｊｐ(毎日新聞) <http://t.co/XQLUHSBu> @mainichijpnewsさんから

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 11:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176137348931792897> 後付けで見ると、全ての犯罪は、あの犯人がいなければあの事件は起こらなかった、ということになる。某所参観中。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 12:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176143824488366081> 司法試験受験生と予備校を思い出した、と言ったら失礼だろうか？＞この国はきっと滅びる!就活のバカたち 学生もバカなら、面接官も大バカ <http://t.co/kbzkz0fy>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 20:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176269025666531328> 一年たつけど、依然としてTLには腹立たしい話が多い。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 22:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176302734289551361> 高橋先生のフォロワーの半数が先生に心酔しているとして、ネットコミュとはそう言うものだ、と思っちゃう人がたくさん出てくるのが一番まずいことだと思う。 RT @herobridge: よくソースを出せという人がいるがソースを出すと何かが分かるのだろうか？…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 23:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176311079394222080> このツイートは、要するに、髙橋先生は、他人のソースを示したツイートから何も読み取っていないことを示している。多くのことが読み取れるのに。読解力の重要部分の欠落を自白している。 RT @herobridge: よくソースを出せという人がいるがソースを出すと何かが分かるのだろうか？…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 23:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176312103668420609> ソースは立論の根拠。だからソースを示したツイートからは、論者が何を根拠にしているか、その根拠を理解しているか、根拠から立論までに論理的整合性があるかなど、論理的議論において重要な情報がたくさん読み取れる。換言すると、ソースを示さない人は論理的な議論をしたくない人だと言える。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 23:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176316160051130368> 私もちゃんとエゴサーチしたほうがいいかなw <http://t.co/3brUIfAY>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 23:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176317949089558530> 刑法ネタをほんの少し。初学者が一番理解したつもりで理解してないのは故意だと思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/04 23:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176319764510158848> 事例問題で、「これは故意か？」と聞くと、一発で正解が返ってくることのほうが少ないかも。突っ込むと間違いに気づく学生が多いので救われるけどw

＃＃：　 以下、2012年3月5日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 00:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176321488864030720> 動機や目的と故意を峻別できてない人がけっこういる。犯意などという曖昧な言葉もあるし。例によって、定義から考えるといいんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 00:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176323447352336386> 愛です、と答えた学生はまだいない。教室ではw RT @botaro50: 「これは恋か」と聞いて RT @motoken\_tw: 事例問題で、「これは故意か？」と聞くと、一発で正解が返ってくることのほうが少ないかも。突っ込むと間違いに気づく学生が多いので救われるけどw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 00:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176324037893554177> まとめに突然自分の名前が出てくると焦るw RT @khachaturian: @motoken\_tw しなくていいと思います。（笑）

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:16 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176461096734048256> ソースを確認することはその意見の理解を深めるのにとても有益なんだが、ソースの提示を拒否するというのは理解してほしくないということか？ RT @cor\_hydrae1999: …それにソースがあったとしても都合悪けりゃ捏造だというだろし。第一そんな輩は理解する能力が欠乏してます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176461586981076993> だからソースつまり根拠が重要になる。 RT @hawksmo: 　情報が錯綜し何が真実かわからないですよね。ネットの普及は色々な情報を得る自由を与えたけど、その分どれを信じていいかわからないような混沌も作り上げた。結局のところ何を信じるかは受けて次第ということかもしれません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176462454778363904> 理解できない人は無視か？理解したと言ってる人がソースなしでどれだけ理解してるのかわからんけど。 RT @rubato6809: ギャラリーには理解できる人が十分存在する &lt; @herobridge: よくソースを出せという人がいるがソースを出すと何かが分かるのだろうか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176462789064409088> 通常は、理解しようとするからソースを求める。 RT @herobridge: RT @foxx1980: @herobridge そういう人間は結局、ソースを出そうが出すまいが「理解出来ない」のでしょうね。する気もないというか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176463703925981184> 議論の放棄または議論からの逃亡。 RT @Ackky\_Chan: @herobridge 俺は日本人だから醤油しか使わん！と、華麗にスルーパスしましょう(笑)

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176464286586118144> 誰が理解できるというの？ RT @sara21math: 無視ではなく、理解できる人が理解出来ない人に分かり易く説明すればいいのでは？ RT @motoken\_tw: 理解できない人は無視か？ @rubato6809: ギャラリーには理解できる人が十分存在する

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176464509093937153> 理解できたとしても、ソースなしで信じられる？ RT @sara21math: 無視ではなく、理解できる人が理解出来ない人に分かり易く説明すればいいのでは？ RT @motoken\_tw: 理解できない人は無視か？ @rubato6809: ギャラリーには理解できる人が十分存在する

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176465717955264512> 選別の重要な資料として論者の意見がどんなソースに基づいてるかが重要なんじゃないですか。 RT @hawksmo: @motoken\_tw 根拠は大事ですよ。でもそのソースの信憑性はどうやって検証するのでしょうか。結局のところ個人の考え方が情報の選別、取捨選択に反映されるのでは

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176467851677417472> そういうことはソースを出してから言うべきでしょう。傲慢ですよ。 RT @foxx1980: @herobridge そういう人間は結局、ソースを出そうが出すまいが「理解出来ない」のでしょうね。する気もないというか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 09:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176469598068162560> いろんな意見があっていいのだが、議論のルールと技術を共有しないと、建設的な議論ができない。中学の教師が間違ったルールを公言してるのは看過できない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176488012794970113> 決議反対派（＝死刑存置派）と言っていいのでしょうか？（素朴な疑問）RT @nabeteru1q78: 京都弁護士会は、死刑廃止を求める決議を上げるか否かで活発な議論が行われている。決議反対派（＝死刑存置派）の会員の方が被害者の立場に立った反対討論のメモを配布したのだが、…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176489676885078016> いくつかの反対論理がありそうですね。私も今回の総会は出席していろいろな意見を聞かせていただきたいと思っています。RT @nabeteru1q78: 確かに「時期尚早派」はあり得ますね。僕もそこで悩んでますので。 RT @motoken\_tw: 決議反対派（＝死刑存置派）？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:13 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176490619668152320> たしかに日本は宗教と占いの境界線があいまいかも知れない。そもそも宗教とはとか占いとはがよく分からんのでは？RT @kurage313: ふと思ったんだが、日本において宗教はいくらたたいてもかまわないもの、って意識がけっこうあるんじゃないか？中島洗脳問題はその延長線上にある…？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176491935912046593> A「私はこう思う。」、B「なぜ、そう思うのか？」、A「こういうデータがあるからだ。」というのは典型的な議論の一場面なんだけど、ここでいう「データ」が「ソース」に他ならない。この流れだとAがソースを示すのはあまりにも当然のことなのだが、 @herobridge はそれを否定する。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176495956487970816> 私の論理的帰結がおかしいと？RT @hig10: @motoken\_tw 論理帰結がおかしいので一連のツイートを読み直すべきかと 突然失礼しました

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 11:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176499632875118593> 何らかの間違いを犯した場合、間違いを訂正する人（大抵の人はそうだと思うが）と、間違いを認めずにそれを正しいものとして壮大な虚構の世界を構築しようとする人がいる。そしてその虚構の世界を正しいと信じる人もいる。所詮虚構だから遅かれ早かれ破綻するんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 12:13 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176505642763300864> どこが？RT @hig10: @motoken\_tw はい。そちらがどこからのツイートで判断したのかわかりませんが おかしいです

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 12:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176508612083068928> もっとわかりやすく書いてくれないかな。例えば、私のツイートを特定して、それがどうおかしいのか指摘してほしい。RT @hig10: @motoken\_tw 質問者がソースを要求？ この返答に違和感を感じませんか?

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 12:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176510112121372672> ソースというのはどこかのURLのことじゃない。「単なる俺の思い込みだ。」というのもソースの提示ではある（ソースの定義如何によれば、ソースがないことの提示かも知れないが）。その提示の結果、「その程度の意見か。」と思われるだろうけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 12:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176510955553964033> ↓　ちょっと不正確だったな (^^; URLもソース足り得る。つか、URLを示す場合は多い。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176519370405711872> なにこれ？私の発言を文脈無視で引用するのはやめてほしいな。RT @kado\_ken: RT @Mad\_Richard: あらま、猫パンチですか。RT @motoken\_tw: そもそなだが、これは自己矛盾だろうな。 RT 文句言うなら真っ向から言えよ。猫パンチだかなんだか知らんが

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176520645411209216> あの髙橋先生のツイートも殆ど支離滅裂ですよ。どう読めばいいというの？RT @hig10: @motoken\_tw 訂正まずこの発言をあきらかに読み違えてますよ 発言をよく読まない者へ苦言であり それに対応しなければならない愚痴であり 支離滅裂というわけではではありません

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:16 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176521626010136576> 喧嘩売ってるのかな？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176524399476875264> とは言うものの、あそこはどっちもどっちというのは否定しがたいw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176526256370757632> 私のツイートを誰がRTしようがそれは自由でしょう。改変さえしなければ。また、DMについて表で言及するつもりはありませんが、誤解される言い方をされると公開せざるを得ませんよ。RT @mad\_richard: @motoken\_tw …しかし私は貴方に幻滅しています。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176527417328943105> DMについては言及しない方がいいと言ってるんですよ。もともと非公開前提なんだから。その存在も含めて。存在を明らかにしただけで憶測を呼ぶというのが分かりませんか？はっきり言って迷惑です。RT @mad\_richard: @motoken\_tw 誤解？じゃあ公開すればいい。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 13:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176531642473644033> ちょっとつけないねwww RT @ohagiya: ワシは、まだモトケン先生 とはお会いもしてないし、お声も知らんねんけどw。お前、むちゃくちゃやの〜ww .@Mad\_Richard いままで中立だったが考えるってことはおはぎにつくのか？ギャグだな(笑)

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 14:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176546830522396672> あなたこそ読み間違えてるね。RT @hig10: @motoken\_tw それを読み取れたのは僕だけでありませんし＞発言をよく読まない者へ苦言それに対応しなければならない愚痴 議論することにソースがいらないと発言してるとは読めませんし むしろ相手にソースを要求させないほど準備…？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176549001024389120> 思いきり誤解させようとしているなwww <http://t.co/hG7mESKC>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176550619287523329> 髙橋先生 @herobridge は議論にソースがいらないとまでは言ってないかも知れないが、「俺が意見を述べるときに俺がソースを出す必要はない。俺の意見の根拠はお前が探せ。」と言ってるんですよ。変だと思いませんか？大抵の人は他人の頭の中のことは分からない。 RT @hig10:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176555759709061121> 昨日から今朝にかけての彼のツイートを見たらどうですか？ RT @HIG10: @motoken\_tw それを高橋先生が言われたと?申し訳ありませんがどの部分でしょう？ご指摘願えますか？もし言っておられるならばこちらの読み違えということで謝罪させていただきますのでよろしくお願い…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:36 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176556655083925504> ソースは自分で探せと言ってるでしょ。 RT @HIG10: @motoken\_tw 見た上での発言ですが？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176558441664495616> あなたはいつから彼のツイートを見てますか？ RT @HIG10: @motoken\_tw それはたしかにいっていますが なぜそこに繋がるか理解できません &gt;俺の意見の根拠はお前が探せ

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 15:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176559503351873536> それを何度指摘されても受け付けないところは能力以外の問題を疑わしめる。 RT @chief1206: 英雄橋はソースのことを誰が言ったかという程度にしか思っていない。ソースの根拠やデータの信頼性が自分の発言の信憑性に関わることがわかっていないんです。RT @motoken\_tw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 16:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176569521899978752> 髙橋先生が自説の根拠を問われてそんなものを示す必要はない、と言ったのを何度も目撃してます。聞くまでもない。RT @hig10: @motoken\_tw それこそ高橋先生に聞いてください 「相手の意見を」これを「俺の意見を」に取り違えていることを指摘だけですから

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 16:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176573423949066240> 取り違えてませんよ。あまりにもおかしな考え方だから疑問に思うのは無理もないと思うけど。RT @hig10: @motoken\_tw そのスタンスが好ましいか後で高橋先生にお伺いしておきます ので質問の後半にお答えください&gt;「相手の意見を」これを「俺の意見を」に取り違えている

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 16:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176575870125879296> 髙橋先生の回答が楽しみです。RT @hig10: @motoken\_tw では後でお聞きしておきます お付き合いアリガトウございました

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 16:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176577041653694464> これは注目すべき訴訟だな。RT @47news: 東電経営陣に株主代表訴訟提訴　５兆５千億円の賠償請求 <http://t.co/Eu11VK1V>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176579998935818240> 主任検事にどうせ起訴できない事件なんだから勾留延長しないでくれ、と言ったけど１０日間の勾留延長請求されて、それが認められて、準抗告も棄却されて１０日延長になっちゃったけど、検察庁が６日で釈放した。ほんの少しだけ検察庁の見識を評価することにする。皮肉半分だけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176580299847766016> 前半だけならねw RT @yuu\_sho\_: @motoken\_tw 発言者が #英雄橋 でなければ、結構真っ当な意見にも見えます(笑)

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176580779202191360> 問題ないです。そのとおりだからw RT @chu\_chtu: @motoken\_tw 一昨日のツイートで不用意にモトケンさんの名前をだしてご迷惑をかけてすみませんでした。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176586442653442048> やっぱり裁判官のほうが人の自由を拘束することの重大性について鈍感なのかも知れない。検察が敏感と言ってるのでは断じてないけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176587488092098560> いや〜、よくあそこまで粘着できるな、と日々思っておりますよw RT @ohagiya: .@Mad\_Richard 　①『モトケン氏 @motoken\_tw もよく笑いながらおはぎと会話ができるよな。おはぎに言説を何度利用されても愛想浮かべてたし・・』だそうで〜すww

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 17:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176589536397238273> 誤解ならお詫びしますし、捨て置いてくださってけっこうです。RT @rubato6809: お二人共、何か誤解されてる気もしますが、私何か返答する必要ありますか？w &lt; @sara21math: 私はソースあって理解出来ない人の話と勘違いしてた。済みません

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 23:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176680626068533248> @hawksmo 当然、根拠が必要なツイート限定の話ですけどね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/05 23:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176683068294316032> @hawksmo 仕事では常に根拠を意識してますので、根拠不要の掛け合いリプライは楽しいですね (^^)

＃＃：　 以下、2012年3月6日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 10:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176840174041432064> 誰にものを…RT @kz0217: お気づきになられましたね… QT @motoken\_tw: 外国は知らんけど、日本の裁判官は、被疑事実が重大だと証拠つまり嫌疑が薄くても人の自由を簡単に拘束する。証拠が薄い被疑事実なんて警察・検察の作文に過ぎないんだけど。少なくとも、裁判官は…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 12:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176866232979566593> ラベリング思考をする人というのはラベリング思考をする人に共感するんだろうな。典型的な類は友を呼ぶパターン。そんなの思考とは言わないけどw

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 12:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176869037077307392> RT @Hideo\_Ogura: 他者が自分の損得で行動すること自体を糾弾する人が、自分の損得を考えない利他的な人生を送っている例を探し当てることは難しい。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/06 11:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/176861024199258114> 他者が自分の損得で行動すること自体を糾弾する人が、自分の損得を考えない利他的な人生を送っている例を探し当てることは難しい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 14:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176906986200383488> 講義とゼミはちょっと違うかも知れませんが、私は講義でもよく学生に質問します。RT @slpbty1001: 教員がしゃべりすぎちゃうのはダメだと思うんだよなぁ。あと口調もかなり気を遣わないとダメだと思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 14:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176907473880489984> 相互理解って相互好意でなくてもいいわけで、わかってると冷静になれる。RT @kuribom: そもそも話せる人が相手にいないと相手のことまるで分かりませんからね。色々。 QT @motoken\_tw: 時間がかかってもそれが一番。仲良くなるだけでもだいぶん違ってくる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 23:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177034476654821376> @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。

＃＃：　 以下、2012年3月7日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 13:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177248645412954114> ソースという言葉は使わないほうがいいかも。多義的だから言い逃れもしやすい。髙橋先生を批判する側は、多くの場合、根拠または根拠となる情報、データ、資料などの意味で使っている場合が多いと思うけど、髙橋先生はいろいろ使い分けてるみたい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 13:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177249445673570304> いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。RT @s\_hirono: 追加しました。　 <http://t.co/vtLTtAMx> <http://t.co/laK3G7E7>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 14:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177265026372075521> いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、少なくとも相手より知っている、と思ってしまうのかも知れない。知らないということを知らないと恥をかいたこともわからない。ある意味幸せだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 14:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177265843032432640> 車の運転に慣れてきた頃に大きな事故を起こすことが多いという話を聞くが……

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 14:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177268355219210242> そうですよ。相手は中学生じゃないけど。同時に弁護士です。RT @cabagine: モトケン先生も教員では RT @motoken\_tw いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、少なくとも相手より知っている、と思ってしまう…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 20:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177356063782346752> そういう弁護士は他の弁護士のカモになるだけですが。RT @tuba56: その傾向は弁護士さんにもあるような。モトケンのことではないですが。 RT @motoken\_tw: いつも自分より圧倒的に知識量が少ない人間ばかりを相手にしていると、つい自分はなんでも知っている、…

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 23:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177395218931392513> RT @amneris84: 裁判所がまともな判断する時の判決文や決定書は、日本語としてもまっとう。「◯◯でないからといって××ではないとは言えない」みたいな文章の羅列の時は、中身も不健全。日本語のまともさと判断のまともさは、相関関係にある 元のツイート）→　投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2012/03/07 22:47 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/177390128833114113> 裁判所がまともな判断する時の判決文や決定書は、日本語としてもまっとう。「◯◯でないからといって××ではないとは言えない」みたいな文章の羅列の時は、中身も不健全。日本語のまともさと判断のまともさは、相関関係にある

＃＃：　 以下、2012年3月8日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 11:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177578647866191872> 根拠を考えずに他人を批判できる人は羨ましいな。反論らしき言葉を並べればいいんだから時間を使わずにすむし。でも、根拠のない批判は言葉遣いにかかわらず誹謗であり中傷だと思うけど。で、誹謗・中傷はしたくないから本当は羨ましくないw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 11:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177580189130297345> まともな（←ここが重要）議論においては、根拠と論理は車の両輪。ハンドルの切り方は人それぞれだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 11:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177584336034480130> 文字中心のネットコミュで一番嫌われるのがダブスタだと思う。わかりやすい例をあげれば、他人に厳しく自分に甘い。他人には根拠を求めるけど、自分は根拠を示さないだけでなく示す必要がないと言い張るとかw ←嘲笑のwですよwww

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 12:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177596900277633025> ダブスタと同じくらい嫌われるのが、誤りを認めないことだと思う。誤った場合の論理的な批判に対しては訂正と謝罪が最大の防御なんだけど、論理より感情または面子を優先する人はそれができない。論理軽視のツケは自分にはね返る。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 12:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177600542644772866> 仮に第三者の判定によって論争に勝ち負けをつけるとする場合、その結果が判定者のレベルによって真逆の結果になることはよくあることだと思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 13:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177614533601402880> 根拠なく発言する者は、他人の発言の根拠も考えないのでは？ RT @Kirokuro: 「放射脳」呼ばわりされて「差別だ！」と騒ぐ前に、「なぜ放射脳と呼ばれるんだろう？」と真摯に考えることが出来ればもう少しましな活動が出来るだろうに。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 13:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177616952062259201> 国をとっちめるのは、いつでもどんな事件でも難題。まずは東電でしょう。株主代表訴訟に注目。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんにちは♪ちょっと質問ですが、事故後の現状で法的に国をとっちめるのは無理難題ですか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 14:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177620985749581825> そこを読み取ってもらえるとうれしい。告訴の件は数は関係ないです。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 無理でなく難題と書く先生が素敵です。…東電を100万人くらいで個別に告訴していけば…というﾂｲを目にした事がありますが、こういうの効くのですか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 14:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177626041081266176> 根拠をもった論理的な主張の応酬がなされるのがまともな議論と言い換えましょうか？RT @hashiwo: @motoken\_tw まともと言うのは人によってブレがありませんか？ 某クラスタなんか支離滅裂なこと言っておいてマトモだと思ってる訳ですし…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 21:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177732000797564929> 実名も余計。 RT @minomax: 「国交省職員」は余計ではないでしょうか…RT @motoken\_tw: 誰が一番悪いか、とても分かりにくい事件＞国交省職員を傷害容疑で逮捕　妻とホテルに入る男性殴る - 47NEWS <http://t.co/hoN1eyj0>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/08 23:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177765118979997697> オフ会、いいですね。 RT @taniyama: 先生の意見勉強になりました。今度Twitterオフ会しないといけませんね。 RT @motoken\_tw: ww 終わりましたか？ RT @taniyama: モトケン先生の生の声を始めて聞いたかも。 @motoken\_tw

＃＃：　 以下、2012年3月9日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 11:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177937741177298945> 対話の重要性を自覚するものが忍耐力を発揮しないと対立者との対話は成立しない。 RT @herobridge: やっぱり必要なのは対話だと思う。そう言うとお前は話を聞かないと言われそうだが、本気で対話をする気があるなら不誠実な揚げ足取りはやめて欲しい。　反対派と推進派　二項対立克服

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 11:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177951062538452992> 指摘してるでしょう。 RT @s\_hirono: 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 12:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177963239823511552> あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 12:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177964816512716800> 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 13:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177968049377382401> じゃあ、出ると思ってればいいです。RT @s\_hirono: いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 …

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 13:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177969055658024960> 証拠のねつ造が確認されれば直ちに公訴棄却が正しいと思う。RT @nobuyoyagi: 「検察が審査員を錯誤に陥れる故意があったとしても関係なく、錯誤に陥っても議決の効力に影響ない」という方が無茶苦茶な理屈に見えますが RT @amneris84: 検察官が証拠評価を誤ること…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 13:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177969352832851970> 裁判官と同様、相手方の代理人も選べません。RT @kyoukichiku: Twitter上でだけで知り合った弁護士同士が法廷で争うこともあるんですか。あなたがミクの･･･みたいな。@motokentw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 15:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178004489427619841> 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけないでくれと何度も言ってますよね。RT @s\_hirono: 感情論みたいですが、いずれ、社会が決めることになるかもしれないですね。ところで一つだけ確認しておきたいのですが、私の…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 17:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178028466023829505> 京都弁護士会のお歴々が３時間議論してもまとまらない話ですよw RT @kmuramatsu: モトケン先生の無料公開法教育授業がはじまるかとおもって期待したのですがｗ

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 17:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178041353224192001> いい授業にはいい生徒が必要ですね。もっと食いついてきてくれれば面白かったかも。 RT @kmuramatsu: @motoken\_tw 結論は出なくても、二つの立場にそれぞれなかなかしっかりした理由があることに気付いてもらえれば、法教育的には、OKかなと。

＃＃：　 以下、2012年3月10日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 01:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178153642422059011> 情報操作 RT @un\_chan: 具体的には？ “@motokentw: 民主党は陰謀体質だと思う。多分、民主党は与党時代の自民党のことを陰謀体質だと思っていて、権力を持ったら陰謀を使うべきなんだ、と思ってるんじゃなかろうか？原発事故に関する情報操作とかの報道を見るとそう思う

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 12:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178328381295837186> 自分がなにを言っているのかを自分で考えたことのない人が多いのではなかろうか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 21:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178453793225191425> それまでの人生では名もなき一市民だった人がどんどん注目されてくる。そりゃあ快感だろうな。それが大いなる勘違いだとしても。問題はどんな人にどのように注目されているのかだと思うけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 21:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178463249417773056> ツイッターで声が大きい、というのはわかりにくい表現だけど、私的にはフォロワーが多くて発言頻度も多い人というイメージ。

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 21:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178464634116902913> RT @sakamotomasayuk: 放射能の影響を声高に唱えている人達は、仮に彼らの心配しているような事態が発生したらどうするのだろう。医療の充実に走ったりして未来を切り開こうとするのだろうか？私には「だから言うことを聞かないおまえらがバカなんだ」と発言しそうに見え … 元のツイート）→　投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2012/03/10 21:48 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/178462356601446400> 放射能の影響を声高に唱えている人達は、仮に彼らの心配しているような事態が発生したらどうするのだろう。医療の充実に走ったりして未来を切り開こうとするのだろうか？私には「だから言うことを聞かないおまえらがバカなんだ」と発言しそうに見えて仕方ない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/10 21:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178465100649340930> ほぼ確実にそう言いそうな人が一人思い浮かぶ。 RT @sakamotomasayuk: 放射能の影響を声高に唱えている人達は、仮に彼らの心配しているような事態が発生したらどうするのだろう。…私には「だから言うことを聞かないおまえらがバカなんだ」と発言しそうに見えて仕方ない。

＃＃：　 以下、2012年3月11日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 03:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178541222728704002> まともと見るならば、話にならないくらい無能だったということ。 RT @ohagiya: 朝生：細野氏の明確な極めてまともな説明。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 10:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178653319831633921> 苦渋の決断というのがある。重大かつ深刻なジレンマの中で一方を選ばざるを得なかったのに、結論だけを見て批判するのは侮辱に他ならない。批判する者の底の浅さが露呈する。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178684880094371841> 裁判官にも聞かせたいツイート。RT @sakamotomasayuk: 黙秘権を行使する被告人の弁護人が悪く言われるのは捜査側に人権感覚がないからだろうね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178684972239044608> これも裁判官こそ読むべき。RT @sakamotomasayuk: 犯人でなければ黙秘か否認するしかないのにね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 23:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178857525477773312> 時々経験する。 RT @nerinanarineyo: しかし、専門家にその分野で素人がケンカを売ると言うセンスがちょっと信じられない。

＃＃：　 以下、2012年3月13日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 00:41 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179230665793998848> 証拠が薄ければ強弁にしかならんでしょうね。誰が書いても。 RT @nobuyoyagi: なるほどと納得するが、一方でメルマガを読む限りでは、郷原先生がもし指定弁護士でも、無罪論告はされないようだ。その場合、どういう論理展開で論告されるのだろうか、興味ある。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 00:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179232776745259009> 典型的には、当てにならない情況証拠に基づき憶測を重ねる。 RT @nobuyoyagi: だから、それを知りたいと思う私はドＳですかね RT @motoken\_tw: 証拠が薄ければ強弁にしかならんでしょうね。誰が書いても。 RT @nobuyoyagi: 郷原先生がもし指定

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 01:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179242193209393152> 自由にものが言える社会は、自由にものを言われる社会でもある、 RT @herobridge: 僕は原発がなくても自由にものが言えない社会より、例え原発があっても自由に発言できる社会を選ぶ。その社会では、いつか原発をなくす事ができるかもしれない。ものが言えない社会では常に原発に変わ

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 01:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179246524595843073> 私も事実評価を重視してます。解釈論なんか一つ理解してれば十分。RT @akagilaw: @motoken\_tw 高レベルを求めるならそうだと思いますが、今のローにそこのレベルができれば、思いっきり撥ねると思います。残念ながら、ロー教育では、そのレベルはまず困難では…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 02:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179256244589178880> 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 09:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179357322584408065> RT @igaki: ただ「基本が大事である」と言うだけでなく、何が基本なのか？なぜそれが基本なのか？なぜその基本が大事なのか？基本と応用の関係は？基本の正確な理解とはどういうことか？ということまできちんと教えられる教員の育成および教育の方法論が研究テーマのひとつです 元のツイート）→　投稿者：igaki（弁護士 井垣孝之） 日時：2012/03/12 22:13 ツイート： <https://twitter.com/igaki/status/179193375558352897> ただ「基本が大事である」と言うだけでなく、何が基本なのか？なぜそれが基本なのか？なぜその基本が大事なのか？基本と応用の関係は？基本の正確な理解とはどういうことか？ということまできちんと教えられる教員の育成および教育の方法論が研究テーマのひとつです

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 12:36 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179410607978717185> 想像力欠如による自己中心主義の可能性は高そうですね。RT @asuna0107: @motoken\_tw 恐らく、停電では自身へ危害が及びにくい、と考えているのでは。

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 12:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179411509917659137> RT @sakamotomasayuk: @motoken\_tw 停電の不安で東京の病院から地方の病院に移ったうちの彼女のようなのもいます。 元のツイート）→　投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2012/03/13 12:38 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/179410997356937216> @motoken\_tw 停電の不安で東京の病院から地方の病院に移ったうちの彼女のようなのもいます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 19:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179512678920880128> 匿名垢でも悪いことをすれば実名がばれるということが周知されれば、匿名垢でアホなことを言う人間が減るだろうということです。RT @tw\_devgiri: すみません、リンク先記事見ても？？？だったのですが、実名垢で「バスジャックする」だの「殺す」だのtweetしたってこと？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/13 19:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179514914384261121> 高度の実名性を持つアカウントでもアホなことを言う人がいるのが悩ましい。

＃＃：　 以下、2012年3月14日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 10:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179743508314341376> 損害額の算定が面倒そうだけど、損害賠償請求もの。こういう人生設計に影響するミスは大学として責任が重いと思う。＞１級建築士の受験できるはずが…大阪市大、資格なし <http://t.co/egbGeNN3>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 10:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179747921330319361> 左翼系の人というのは、変に、もといとても潔癖な人が多いと、修習生当時の検察取調べ修習拒否を知ったときから感じている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 15:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179816031605366785> 被害者だけじゃなく、起訴される人間のことも考えましょ、ということ。加害者とは限らないんだから。RT @kyoukichiku: 社会が変わらないといかんってことですか。 @motoken\_tw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 20:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179887672637145088> 正しい一般化ができない人は、間違った一般化をする傾向があるように感じられる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 20:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179895842046607361> 相手をブロックすると、その相手からの批判に対しては、全て粘着という反論が可能らしい。反論になるのかどうかはギャラリーの判断だと思うけどw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 21:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179899790140776448> 攻撃は最大の防御というのは、攻撃が有効な場合の話だよね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 21:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179900197177008128> 攻撃が有効であると見せかけることに成功すれば防御たり得るかも知れないが。見せかけられるお仲間限定だけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 22:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179915715866935296> 袖の下 RT @nabeteru1Q78: 文春の調査能力が凄いな。どうやって嗅ぎつけたんだろう。 / “キムタクがスピード違反「社会人として恥ずかしいことをした」 （産経新聞） - Yahoo!ニュース” <http://t.co/8o2hUbWp>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/14 22:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/179928380924379136> 弁護士になってまず思ったのは、民事の立証ってルーズだな、ということです。 RT @amneris84: @motoken\_tw その違いを、お時間のある時にでも、伺えれば。。。。

＃＃：　 以下、2012年3月15日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 10:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180109984279965698> 裁判官が判決で言うところの「社会通念」というのは、「その」裁判官が社会通念だと考える社会通念、つまりとても個人的な感覚で客観性などない、と授業でも言ってる。RT @ynabe39: そもそも実際「社会通念という概念は人によって異なる」んじゃないかなあ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 11:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180112348906930180> 「社会通念」に客観性などないとすると、刑法理論においても、できるだけ「社会通念」などという言葉は使わない方がいいと考えている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 21:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180274518646988801> 筋の通った話ができるというのは、信頼の根拠の一つなんだけど。 RT @herobridge: 多分論理的である事が世の中で1番大事だとか、意見には名前も肩書きも関係ないとか言っている人は、現実であまり他人とコミュニケーションが取れない人なんだろう。普段の生活で論理を優先して行動し

＃＃：　 以下、2012年3月16日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 00:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180317968352288768> 結果つまり現在の状況には、それ以前の過去（１秒前かも知れない）にその原因があると考えるのが論理的だし常識的だし自然な考え方。絡まれるにはそれなりの理由があるということ。いい悪いとか責任の有無は別にして。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 00:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180321641434316801> 検事がトチ狂う率が高くなってる。RT @triggerjones42: 裁判所には失礼な言い方になるかもしれないが、やはり検事がトチ狂って起訴するところから悲劇が始まると思う。ダメな事件は検事が防波堤になって潰さないと、起訴したが最後、訳のわからない「力」が働いて、なぜか有罪にな

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 09:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180444251098845186> 議論において、論争相手の匿名性を攻撃した時点でそれはもはや議論ではない。人格攻撃。人格攻撃が常に悪いと言う訳じゃないけど、そういう認識は必要。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 10:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180466798376927234> 冒頭でリンクされているブログエントリで「感情論」を検索すれば、まとめ主が他人の発言をまともに読めていないことが明白です。 <http://t.co/7V8vxfbR>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 11:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180477201530097664> 批判でも、絡みで、難くせでも、攻撃でもいいけど、ともかく誰が何を言ったかだけはきちんと踏まえるべきだと思う。人が言ってもいないことを言ったとして批判するのは最低の行為だと思う。過失なら直ちに訂正すべきだし、故意なら人間としてクズと言うべき。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 11:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180488018522669056> ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ RT @motoken\_tw:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 14:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180532646496043009> @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 14:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180533839549050881> 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180535583926530048> @siranlre 一人に宣戦布告したからうっとおしかったら適当にリムッといて。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180537023684284416> @siranlre 群馬の先生じゃなくて、ブログ当時からときどき自己中心的に絡んできた人。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180538542634713088> 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw ブロック解除ありがとうございます。出来れば@shironoの方も外しておいてもらえないでしょうか。個人的な裁判に関するツイートや問題はそちらにまとめるようにして…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180540654248665089> 関心だけは持ってほしいということですか？それはこちらから勘弁願いたい。RT @hirono\_hideki: そうですか。関与はこちらもご勘弁願いたいです。RT @motoken\_tw: 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180543402050453505> 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw こちら@shironoのブロックは解除…元の発言を明示する公式RTを使いたいのです。保存や管理にも手間が掛かり、間違いの原因にもなりかねないの

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180546488793964545> そういう印象操作が目立つからブロックしたんですよ。RT @hirono\_hideki: 貴方の受け取り方次第ですが、既にもの凄い爆弾を抱え込んでいると思いますよ。気づいていただければとYouTubeのリンクもご紹介したのですが、その時もブロックされましたね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180546749138604032> はっきり言ってもらいましょう。誰がどんな爆弾を抱えているんですか？RT @hirono\_hideki: 貴方の受け取り方次第ですが、既にもの凄い爆弾を抱え込んでいると思いますよ。気づいていただければとYouTubeのリンクもご紹介したのですが、その時もブロックされましたね

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180549560144367617> @hirono\_hideki なぜ私の質問に答えないのかね？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180550643214319616> @hirono\_hideki 逃げるんですか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180551752569978880> あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。RT @hirono\_hideki: 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任、自業自得でお願いします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:17 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180553370489192448> 私の受け取り方は既に述べた。それに従って対応します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180553618355793920> 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。RT @motoken\_tw:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180560850329939969> そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。RT @hirono\_hideki: 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180564840463601664> つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。RT @hirono\_hideki: 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまでもボロクソにこき下ろされて、

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180569012449705986> あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。RT @hirono\_hideki: そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoken\_tw: 答えないということですね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180569818095812608> 口を滑らせたのならすみませんと謝ればいいものを。なぜか、謝らないばかりにいつまでも突っ込まれる人が私の周囲だけでも複数いる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180571998437642241> 私の立場に対する配慮はなにもないんですね。ブログではかなりあなたのコメントを許しましたよ。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。耳を傾ける姿勢とも思え

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180572870978711552> じゃ、私なんか相手にしないほうがいいですね。いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180573572127916033> 一度、当事者訴訟してみるかな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180575150767489024> しまった。そういうタイプの御仁だということを忘れていた。実名でも恥も外聞もない人は最強。RT @hirono\_hideki: 刑事ですか？　民事ですか？　場合によっては大歓迎ですよ。　RT @motoken\_tw: …いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180575443617980416> あら、江川さんも早速。タイプは？RT @amneris84: 画面が明るくてきれい～♪私は初代からの乗り換えなので余計そう思うのかもしれないけど。 RT @motoken\_tw NewPadを入手した人のツイートを読みたい。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180577679202992129> どこが？RT @hirono\_hideki: 貴方は既に私の名誉を毀損しているとも思うので、こちらは刑事面として対抗しますよ。まあ、軽率な言動は厳に謹んでもらいたいですが・・・。RT @motoken\_tw: 答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180578417689890817> 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。具体的に指摘されれば反論も反省もできるんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180579327161810944> 深く考えずに、レッテルを貼れば攻撃になると思ってるんでしょう。RT @litosnowfield: @motoken\_tw 自分の地雷を晒す事になるから…でしょうか(・o・)？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180580822183723008> わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。T @hirono\_hideki: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？　証明希望。RT @motoken\_tw: どこが？RT @hirono\_hideki:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180581233963712512> つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんばんは。(ﾂｲｯﾀｰでの議論は余り存在しないので)口喧嘩で弁護士さんに勝てる人はいないと思います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582115111485442> 被告側から依頼を受ければ受けてたつしかないです。依頼の趣旨に応じて。RT @toshi\_fujiwara: 負ける裁判も（以下同文）とかですか？ RT @motoken\_tw: つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582350701334530> じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582784526594049> 見通しを誤るとと負けますw RT @bandit1200fe: なるほど！！ RT @motoken\_tw: つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583126978920448> 依頼の趣旨次第ですね。RT @yquem1973: 「負け」の意味にもよりますね。負け筋の被告事件で最大限セーブできたら「勝ち」とも言える。 RT @motoken\_tw: 被告側から依頼を受ければ受けてたつしかないです。依頼の趣旨に応じて。RT @toshi\_fujiwara:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583692052336640> それはおぐりんにw RT @toshi\_fujiwara: @motoken\_tw @tokotokosan194 真面目にお返事されてしまった…。了解です。でも依頼受けたら、出来たら勝って下さいね！（そういえば民事訴訟検討しなきゃいけなんだけど、フランスの裁判所になるんですよね

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583937775648768> 将棋の読みみたいなもんですw 経験でだいぶ違ってきますよ。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe 見通しができるのが凄い。先に感情に走るとできないですもん、女の身では難しいです（苦笑）

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180584109746294785> 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe: 弁護士以上にロ達者な人もいるってことですな。 RT @motoken\_tw: 見通しを誤るとと負けますw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180584741614010368> あなたは答えない。つまりコミュニケーションを拒否してます。RT @hirono\_hideki: なぜ？　RT @motoken\_tw: じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180585607855214592> あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。RT @hirono\_hideki: 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。RT @motoken\_tw: 事実と論理は尊重しますから。RT @bandit1200fe:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180586884710404096> こう言えばどう反論されるかな？そうしたらどう再反論しようかな？とか考えてると面白いですよw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe なるほどo(^-^)o鍛練できるのが分かって安心です♪

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180589165694562305> それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180590741381316608> 誰が挑発したんですか？あなたも発言を捏造するのか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180591441955921920> 独りよがりにならないコツでもあります(^^) RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe あ、アドバイス貰えた、嬉しい♪ちょっとｼｭﾐﾚｰﾄしたら本当、面白いですね。思考も柔軟になりそう！

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180592427457982465> 私があなたを挑発した事実を一つでも示せますか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180594635096338433> 恨むなら東電を恨め。 RT @noiehoie: まともなビジネスマンなら怒って当然。 RT @harada\_hirofumi: わざわざ言わないと分らないんだ！ 経産相、配当維持なら値上げ不可　赤字電力会社で <http://t.co/8OpRW5zo>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180595134499532800> やっぱり具体的に指摘できないんだね。 RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw 貴方のブログでの私に対する対応や発言は、金沢地方検察庁や石川県警の警察官も閲覧していた可能性が高いと思います。そのあたりの影響なんかも、後日問題になるかもしれないですね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180596039676473344> これ以上あなたにかかずらわっている暇はない。ブロックします。暇ができたら気分次第で解除するかも。 RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw 貴方のブログでの私に対する対応や発言は、金沢地方検察庁や石川県警の警察官も閲覧し

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:10 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180596786048675841> 京都、統一できてない。 RT @aphros67: 【日弁連／死刑判断、全員一致⑦】　その前に日弁連はやることがあるだろうと。京都弁護士会がやったように会員の意思を統一してから議題に乗っけたほうがいいと思います(･ω･)（了）

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180597778827849729> おいおいw RT @hirono\_hideki: 今日も挑発しまくりではないですかね。もう因縁レベルですね。RT @motoken\_tw: 私があなたを挑発した事実を一つでも示せますか？ RT @hirono\_hideki: 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180598056524320768> ブロックするには面白過ぎたかなw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180599316967211008> 賛否両論があるのは健全なことだろうな、やっぱり。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 22:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180645132318687233> 合理的な説得の努力を放棄した運動はカルト化するのでは？ RT @shinkaisame: @motoken\_tw これどうぞｗ @hideinu 工作員はすべてブロックしまうす

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 22:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180646925488500736> また少しTLが面白くなくなった。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 22:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180652378662502400> 私には、国がまともな仕事をしているようには見えません。 RT @tokotokosan194: @motoken\_tw それを国が抑えてしまってるんです。で、感情論に走る人も同じ知識はありますが、なんせ感情的なので反対意見と思うと意見そのものを拒否してしまうようです。私から見て

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 23:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180657777310572544> 字数制限があるからオブラートに包めないw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生言葉がきついというか論点しか言わないから刺さるんですよ多分、グサッと（笑）…

＃＃：　 以下、2012年3月17日分のmotokentw（モトケン）のツイート

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 09:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180808542272487425> 主張系のツイートをして、ブロックすれば批判を免れると考えることが間違い。 RT @GoodBye\_Nuclear: @herobridge そうですね！ブロックしているのに文句言い続ける。まさにストーカーです。警察に届け出るときにはサイバー関連部署か、ストーカー規正法関係部署か…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 09:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180814152539967489> 批判を悪口と言い張ればいいと考えるのは、反論能力のない人。議論からの逃避。良い子はマネしないように。 RT @herobridge: 悪口と批判の区別がつかない人間が弁護士やってんだから恐ろしい。ま、勝手にやってれば。こっちは見えなきゃ別に不快にもならんし、何の影響力もない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 09:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180815365847265280> 批判と悪口の区別の基準はなんなんだろう？彼の場合は「自分に対する批判＝悪口」という基準のようなのだが。 RT @herobridge: 悪口と批判の区別がつかない人間が弁護士やってんだから恐ろしい。ま、勝手にやってれば。こっちは見えなきゃ別に不快にもならんし、何の影響力もない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 09:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180817949903429632> 反論があるなら、レッテルを貼るんじゃなくて、具体的に批判すべきだな。レッテルを貼る人は批判できるだけの論理性がない人が多いけど。 RT @japanwings: 枝野さんからしてそうだから、弁護士ってやつが一番…RT @herobridge @cabagine

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:02 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180821400599269376> おはようございます。でも、様はやめてね。王国とか言って揶揄する輩が出てくるからw RT @sunatsu846: @motoken\_tw モトケン様。おはようございます♡

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180823936156712960> 君の私怨だからだよw RT @herobridge: キャベ @Cabagine は罵倒に近いTweetを寄越して来るのだが、なんかあまり不快にならない。それに対してモトケンは一見論理的で批判を装ったTweetを返してくるが、もう生理的に受け付けない。この違いはなんだろうね？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180825298596675584> 議論の基本を述べたらブロックされたw 論理性のなさを自ら証明したわけだ。 RT @japanwings: …何だその上から目線は。反論があるならじゃないよ。ブロックでお答えしよう。RT @motoken\_tw @herobridge @cabagine

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180825818933641218> すごく主観的だな。自分が嫌いな人間からの批判は悪口認定するんだろうな。でも、それって感情論だよ。 RT @herobridge: いえ、発信側の意図がどこにあるかです。RT @jinseitoiumeiro: @herobridge @motoken\_tw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180826649628127232> 私にとって付き合う価値の重要な判断基準はレッテル貼りをする人かどうかです。 RT @japanwings: ツイート一つで付き合う価値なしと分かる方ですねRT @herobridge @motoken\_tw

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180827230522458112> 理性的な人は腹が立ってもそれをコントロールできるんですけどね。 RT @psychokinetica: 批判が当たってる、と言う事でしょう。人間、図星を突かれると腹が立つそうですから RT @motoken\_tw: 君の私怨だからだよw RT @herobridge: … 元のツイート）→　投稿者：（） 日時： ツイート： <https://twitter.com//status/>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180827628083752960> 誤解を訂正しないから批判を受け続ける。つまり、言行不一致。 RT @herobridge: 伝わったと思ってるだけだからでしょう。いざこざの多くは誤解から発生します。RT @jinseitoiumeiro: @herobridge 自分の意図が正しく伝わってなお、いざこざが起きる

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180831611603001345> 悪くなくないですw RT @sunatsu846: モトケン王国ですかw悪くないかも♡RT"@motoken\_tw: おはようございます。でも、様はやめてね。王国とか言って揶揄する輩が出てくるからw RT @sunatsu846: @motoken\_tw モトケン様。おはよう…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 11:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180837613836570625> 法律家は法律や判例に従って仕事をしているけど、常に法律や判例の妥当性について考えている。なぜなら、法律も判例も常に変更される可能性があるから。おかしな法律や判例は改正されるべきと考えている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 11:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180845442886664192> マッチポンプの一種だな。 RT @herobridge: …ブロックされてもしつこくリプしてくる輩に至っては、対人関係に重大な欠陥があるとしか思えない。対話する相手を思いやらない会話をしている時点でコミュニケーション不全だ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 22:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181002796080963584> 以前からネットでの議論とかコミニュケーションに興味があったんだけど、その観点ではやっぱり群馬の先生とその周辺がネタの宝庫。いろいろ勉強になりますよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 22:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181003853498548224> まともな検事が絶対に必要。 RT @ryuuu\_w: 『検事失格』読了。読み進めていく中で、検事を目指すの止めようかと思ったり、やっぱり検事を目指そうと思う気持ちが強くなったり、すごく心を揺さぶられた。今読めて良かった。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181024404304707584> 理由を一つあげればフォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。 RT @wara33: ですよねぇ…（私怨とおっしゃっていますがね） RT @roarmihoko: しかしなんでモトケンさんはあんなに執拗に絡み続けてるんだろ。非生産的な…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181025712386478080> いや、彼の場合は継続的に見てるから変なところが見えやすいので指摘しやすい。 RT @roarmihoko: フォロワーが多くて変だと感じた人みんなにそうしてるんですか、RT @motoken\_tw: フォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。

#### 2014-08-28shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）の2012年3月6日から3月17日のツイートの抜粋.txt gblog

＃＃：　 以下、2012年3月6日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029827847651328> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/MhmIk6RP>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029885972328448> @thermalpaper00 @motoken\_tw つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/MhmIk6RP>

＃＃：　 以下、2012年3月7日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/07 00:15 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177049825123115009> これからです。こちらはリアルな問題です。公益性もあると思いますよ。 RT @motoken\_tw: @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/07 00:20 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177051083980541954> 再審請求金沢地方裁判所御中current: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ(2012.03.06)再審請求金沢地方裁判所御中current: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関する… <http://t.co/AsoILEg2>

＃＃：　 以下、2012年3月9日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 11:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177949911541743616> 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 11:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177949953509957632> RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。RT @s\_hirono: 追加しました。　 <http://t.co/vtLTtAMx> <http://t.co/laK> … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/07 13:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177249445673570304> いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。RT @s\_hirono: 追加しました。　 <http://t.co/vtLTtAMx> <http://t.co/laK3G7E7>

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 12:18 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177956405993684992> RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております。検察を促すというかたちにもなるか思いますが、そのあたりを含めよくよく勉強し説いて下さいね。 元のツイート）→　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177953201142771712> @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております。検察を促すというかたちにもなるか思いますが、そのあたりを含めよくよく勉強し説いて下さいね。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 12:47 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177963788476227584> RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 12:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177963239823511552> あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 12:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177964679375753217> 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？　RT @motoken\_tw: あなたが私のツイートをまとめることは望んでません。どんな裁判でも私があなたの事件で証人になることはないでしょう。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 13:02 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177967653955178496> いよいよおかしな断言ですね。勾引状が出れば実質逮捕でしょう。法律を無視しますか？　 RT @motoken\_tw: 出ないと断言できる。RT @s\_hirono: 断言できるというのもおかしな話ですね。 召喚状が出ても拒絶しますか？

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 14:49 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177994622881107968> 感情論みたいですが、いずれ、社会が決めることになるかもしれないですね。ところで一つだけ確認しておきたいのですが、私のことで金沢地方検察庁や石川県の警察署に電話などの連絡を入れたことがありますか？　RT @motoken\_tw: じゃあ、出ると思ってればいいです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 15:34 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178005760503062528> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ(2012.03.09)」をトゥギャりました。 <http://t.co/e4Uf6gYc>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 15:40 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178007250848329728> そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人的な問題というのもあなたの判断ですが、影響はしっかり受けてきたとも思っています。持ちかけ、というのも変ですね。 RT @motoken\_tw: 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけないでくれと何度も言ってますよね。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 16:18 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178016915279708160> 追加しました。直後にブロックされた可能性がありそうです。→　Twitter / @s\_hirono: そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人 … <http://t.co/R0zs3zK0> <http://t.co/e4Uf6gYc>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 18:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178042618469560320> かちかち山 - Wikipedia <http://t.co/sbkqGNkx> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされたみたいです。２つのアカウントで確認しています。昨夜読んだこちらを意識した訳ではないのですが・・・・妙な展開になりました。

＃＃：　 以下、2012年3月10日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/10 09:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178282209768247297> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）の感情論に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/RX7QtrmB>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/10 09:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178282251803566080> @hirono\_hideki @motoken\_tw @s\_hirono つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/RX7QtrmB>

＃＃：　 以下、2012年3月11日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/11 16:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178744003443961857> 「ブロックされたモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイート（2012.3.11）」をトゥギャりました。 <http://t.co/jOJ226ec>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/11 16:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178744033101873153> @crusing21 @hirono\_hideki @motoken\_tw @hoshimasahide @harukazechan つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/jOJ226ec>

＃＃：　 以下、2012年3月12日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/12 18:44 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179140684589187072> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされてから本気で弁護士の責任追及を決心した経緯」をトゥギャりました。 <http://t.co/L7DhBkiQ>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/12 18:44 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179140780907167744> @hirono\_hideki @tetsumah @motoken\_tw @503E つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/L7DhBkiQ>

＃＃：　 以下、2012年3月13日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 00:04 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179221401612460034> Twitter辞めたわけではなかったみたいです。→　RT @motoken\_tw: ようやく大感謝祭を見れた。最高の出来だと思う。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 01:17 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179239643533946881> 風が臭いです。RT @motoken\_tw: 指定弁護士の立場なら無罪論告はしないでしょうね。 RT @nobuyoyagi: ちなみにmotokenさんなら無罪論告派ですか？　RT @motoken\_tw: 典型的には、当てにならない情況証拠に基づき憶測を重ねる。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 02:12 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179253438771765248> 言うだけ言って自由にブロックも出来るということなんでしょう。RT @motoken\_tw: 自由にものが言える社会は、自由にものを言われる社会でもある、 RT @herobridge: 僕は原発がなくても自由にものが言えない社会より、例え原発があっても自由に発言できる社会を選ぶ。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 02:45 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179261847797633024> 人様に迷惑かけたという意識はまるでないみたいです。　（ブロックされています。　）→　RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 02:55 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179264246750773248> 「元検弁護士の王国」以外には考えにくいです。今考えると、この人はもとも特異に病的な性格だったんだな、関わるべきではなかったと悔やまれなくもないです。　看過に耐えなかった訳ですけど。RT @motoken\_tw: 昔のブログを読み返してみると、いろいろ言ってるなと我ながら苦笑w

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/13 17:05 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179478298341027840> ？　RT @motoken\_tw: 実名アカウントとしては頼もしいニュース＞ツイッターで殺人予告、容疑の中３男子を書類送検 <http://t.co/vQdeLK8p>

＃＃：　 以下、2012年3月14日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/14 10:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179740544770121729> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にはブロックされています。頭から無視することにされたのでしょう。相当の経緯があります。RT @motoken\_tw: 頭から無視することと悩んだ末に従わないことは違う。RT @tsuchiba\_kakeru

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/14 11:29 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/179756076584013824> 潔癖？　RT @motoken\_tw: 左翼系の人というのは、変に、もといとても潔癖な人が多いと、修習生当時の検察取調べ修習拒否を知ったときから感じている。

＃＃：　 以下、2012年3月15日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 21:58 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180276857441234944> 自分の都合や価値観だけで相手をブロックでは筋も通らんでしょう。RT @motoken\_tw: 筋の通った話ができるというのは、信頼の根拠の一つなんだけど。 RT @herobridge: 多分論理的である事が世の中で1番大事だとか、意見には名前も肩書きも関係ないとか言っている人は

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/15 22:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180277265429561344> 実績とプロフとのことです。　RT @motoken\_tw: 私は、意見については実名垢も匿名垢も区別しない。情報については実績とプロフを参考にする。

＃＃：　 以下、2012年3月16日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 05:07 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180384708880908290> RT @motoken\_tw: 裁判官が判決で言うところの「社会通念」というのは、「その」裁判官が社会通念だと考える社会通念、つまりとても個人的な感覚で客観性などない、と授業でも言ってる。RT @ynabe39: そもそも実際「社会通念という概念は人によって異なる」んじゃ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 10:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180109984279965698> 裁判官が判決で言うところの「社会通念」というのは、「その」裁判官が社会通念だと考える社会通念、つまりとても個人的な感覚で客観性などない、と授業でも言ってる。RT @ynabe39: そもそも実際「社会通念という概念は人によって異なる」んじゃないかなあ。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 05:07 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180384812647981056> RT @motoken\_tw: それが正義かどうか誰が検証すると言うのだろう？RT @myoyoshinnyo: 上杉隆は昨日「正義のためにはウソやデマも時にはありだ」というようなことを言ったらしいけど、それは政治家や経営者のように責任を負って勝負をする者の姿勢であって、 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/15 22:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180288720279322625> それが正義かどうか誰が検証すると言うのだろう？RT @myoyoshinnyo: 上杉隆は昨日「正義のためにはウソやデマも時にはありだ」というようなことを言ったらしいけど、それは政治家や経営者のように責任を負って勝負をする者の姿勢であって、ジャーナリストがやっていいことではない。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 05:09 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180385319168909312> RT @motoken\_tw: 検事がトチ狂う率が高くなってる。RT @triggerjones42: 裁判所には失礼な言い方になるかもしれないが、やはり検事がトチ狂って起訴するところから悲劇が始まると思う。ダメな事件は検事が防波堤になって潰さないと、起訴したが最後、訳の … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 00:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180321641434316801> 検事がトチ狂う率が高くなってる。RT @triggerjones42: 裁判所には失礼な言い方になるかもしれないが、やはり検事がトチ狂って起訴するところから悲劇が始まると思う。ダメな事件は検事が防波堤になって潰さないと、起訴したが最後、訳のわからない「力」が働いて、なぜか有罪にな

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 11:25 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180479861566091265> これはこれは。ブロックは解除されたのでしょうか？　RT @motoken\_tw: 冒頭でリンクされているブログエントリで「感情論」を検索すれば、まとめ主が他人の発言をまともに読めていないことが明白です。 <http://t.co/RX7QtrmB>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 12:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180497048095821825> 愚者RT @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ RT @motoken\_tw:

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 14:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180533836604645376> 了解です。　RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki ブロック外しました。正面から批判させていただきます。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 15:01 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180534349605781504> 呼び捨てでけっこうです。文字数の関係で。RT @motoken\_tw: 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 20:25 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180615890163871744> 「一時的ブロック解除によるモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）からのツイート（２０１２．３．１６）」をトゥギャりました。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 20:26 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180615917301018624> @WantToKnowTruth @hirono\_hideki @s\_hirono @hoshimasahide つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 20:26 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180615919570124801> @minimalcoke @oka3ds @Yquem1973 つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:31 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180647361687724032> よろしければ、お気軽に質問して下さい。一度にご理解いただける説明は難しいかもしれないですが。参考にさせて頂きます。RT @chief1206: あの人、何をしてる人なのか？何が言いたいのかさっぱりわからなかった。 RT @motoken\_tw ブロックするには面白過ぎたかなw

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180652461978173440> 申し出があったので、１件削除しました。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:52 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180652647102169090> 削除対応しました。RT @oka3ds: 問題ありです。削除お願いしますー　@shirono @minimalcoke @Yquem1973 つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180653326977863680> 申し出があったので、もう１件削除しました。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180653757196013569> 削除対応しました。　RT @yquem1973: お断りします。削除してください。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 22:58 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180654199443423233> 内容的に応じかねますね。不愉快なのはこちらも同じです。RT @minimalcoke: 不愉快なので使わないで下さい。

＃：　 削除されたアカウントのようなので、スクリーンショットで代替します。⇓ ＃：　 　2014-08-28-082115\_@s\_hirono　悪意をもったまとめという事ですね。ログをTogetterに渡し、抗議します。retweeted　at　.jpg pic.twitter.com/CPNOTT7Cx7

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 23:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180663175765692417> 申し出により３件削除しました。 <http://t.co/gXlG7p9g>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/16 23:45 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/180666106053271552> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）@motokentw本人のツイートが丸ごと消えたみたいです。Togetterに削除依頼された可能性がありそうです。 <http://t.co/gXlG7p9g>

＃＃：　 以下、2012年3月17日分のshirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）のツイート

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/17 22:53 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/181015420638203904> RT @motoken\_tw: まともな検事が絶対に必要。 RT @ryuuu\_w: 『検事失格』読了。読み進めていく中で、検事を目指すの止めようかと思ったり、やっぱり検事を目指そうと思う気持ちが強くなったり、すごく心を揺さぶられた。今読めて良かった。 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 22:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181003853498548224> まともな検事が絶対に必要。 RT @ryuuu\_w: 『検事失格』読了。読み進めていく中で、検事を目指すの止めようかと思ったり、やっぱり検事を目指そうと思う気持ちが強くなったり、すごく心を揺さぶられた。今読めて良かった。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/17 23:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/181030650663542786> RT @motoken\_tw: いや、彼の場合は継続的に見てるから変なところが見えやすいので指摘しやすい。 RT @roarmihoko: フォロワーが多くて変だと感じた人みんなにそうしてるんですか、RT @motoken\_tw: フォロワーが多いから。あれがまともなツイ … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181025712386478080> いや、彼の場合は継続的に見てるから変なところが見えやすいので指摘しやすい。 RT @roarmihoko: フォロワーが多くて変だと感じた人みんなにそうしてるんですか、RT @motoken\_tw: フォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/17 23:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/181030718300889089> RT @motoken\_tw: 理由を一つあげればフォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。 RT @wara33: ですよねぇ…（私怨とおっしゃっていますがね） RT @roarmihoko: しかしなんでモトケンさんはあんなに執拗に絡み … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 23:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/181024404304707584> 理由を一つあげればフォロワーが多いから。あれがまともなツイートだと思われると悪影響が大きい。 RT @wara33: ですよねぇ…（私怨とおっしゃっていますがね） RT @roarmihoko: しかしなんでモトケンさんはあんなに執拗に絡み続けてるんだろ。非生産的な…

リツイート）→ 　投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/17 23:58 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/181031670290452480> RT @motoken\_tw: 君の私怨だからだよw RT @herobridge: キャベ @Cabagine は罵倒に近いTweetを寄越して来るのだが、なんかあまり不快にならない。それに対してモトケンは一見論理的で批判を装ったTweetを返してくるが、もう生理的に受 … 元のツイート）→　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/17 10:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180823936156712960> 君の私怨だからだよw RT @herobridge: キャベ @Cabagine は罵倒に近いTweetを寄越して来るのだが、なんかあまり不快にならない。それに対してモトケンは一見論理的で批判を装ったTweetを返してくるが、もう生理的に受け付けない。この違いはなんだろうね？

#### 2010年10月25日の、名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）とのやりとりとなったツイートのまとめ.txt POST

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/10/25 14:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/28664129857> 初めてリプライします。まずは糞味噌の判断が大前提ですね。RT @motoken\_tw: 検事になった時、先輩から「検事は恨まれてなんぼだ」と言われました。恨まれる取り調べをした自覚はありませんが。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/10/25 14:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/28664560091> 時よ時節は変わろうとままよ、という歌がありましたが、自分が問題にしているのは個別の問題ではないです。RT @motoken\_tw: 時節柄思いっきり誤解を招くツイをしたみたいですねRT @hirono\_hideki: 初めてリプライします。まずは糞味噌の判断が大前提ですね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/10/25 14:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/28664850801> なにか勘違いされていません？ RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki ブログでも申し上げたと思いますが、あなたの個人的経験を前提とする議論をするつもりはありません。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/10/25 19:11 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/28676862826> @motoken\_tw 一つだけ言っておきますが、貴方は議論という枠を超えて私を攻撃したと思っています。ダメージ大きかったです。感情的な問題だけでなく、対外的な評価も含めてです。いずれそれが貴方自身の社会的評価として跳ね返ることを慮り、覚悟という言葉を使いました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/10/25 19:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/28678356796> [弁護士]モトケン弁護士、食事中かな。久しぶりにに訪問してみたけど、以前活発だったブログは2009年8月11日から放置状態。理由も全く不明。Twitterはやっている。 / モトケンブログ <http://htn.to/vAEKnN>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 08:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28637512095> @amneris84 検察は自分が関与する手続の適正を確保する職責があると思いますので、この疑惑が真実であれば、検察は直ちに公表するべきです。検察審査会の判断の当否に介入できないとしても、手続に関しては不適正な手続を黙認できないはず。検察がおかしいのか所詮疑惑なのか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 09:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28644415961> 議論をして勝ちたがる人というのは、とっても損をしていると思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 09:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28644586865> 相手が知らないことを自分が知っている場合があるのと同時に、自分が知らないことを相手が知っている場合がある。まして相手が何らかの専門家なら当然相手の知識と理解が多くて深い。議論に勝ちたがる人は、自分の知らないことを知る機会を自ら放棄している。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 10:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28646084302> ひょっとしたら自分は間違っているんじゃなかろうか、と自問自答するところから「知」というものが始まると思うのだが、そういう意識が感じられない人にはリプライする気力が失せる。義務もないしね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 14:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28663839352> 検事になった時、先輩から「検事は恨まれてなんぼだ」と言われました。恨まれる取り調べをした自覚はありませんが。RT @okumuraosaka: 裁判所や検察庁、弁護士事務所はこれまで以上に警戒が必要になってくると思う」としているhttp://bit.ly/aylql7

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 14:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28664294677> 時節柄思いっきり誤解を招くツイをしたみたいですねRT @hirono\_hideki: 初めてリプライします。まずは糞味噌の判断が大前提ですね。RT @motoken\_tw: 検事になった時、先輩から「検事は恨まれてなんぼだ」と言われました。恨まれる取り調べをした自覚はありませんが

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 14:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28664743157> @hirono\_hideki ブログでも申し上げたと思いますが、あなたの個人的経験を前提とする議論をするつもりはありません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 22:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28689903004> 被疑者・関係者・取調官のプライバシーとか情報提供者の保護RT @ledline: 「落とせなくなる」以外に有力なのあったっけ? RT @motoken\_tw @kazu1961omi @LedLine 可視化を強く主張しているジャーナリストが可視化反対論の主要な理由を知らないなん

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 22:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28690406688> 取調室の中の情報を全て公にすると回復不可能な被害が生じる可能性があります。情報管理をどの程度実効的に徹底できるかどうか。RT @ledline: それらは対策することで解決出来る問題でしょ? RT @motoken\_tw 被疑者・関係者・取調官のプライバシーとか情報提供者の保護

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 22:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28690545381> @motoken\_tw @ledline 取調室でそういう情報を取り扱わなければいいという意見もあるでしょうが、そうするとどうなるか容易に想像できますよね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 22:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28692776340> やっぱり裁判員に死刑の当否を判断させるのは無理だと思います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28694274421> @tukinohachi 私は裁判員の能力を問題にしているのではない。負担を問題にしてるんです。深刻な精神障害の恐れもある。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:21 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28695296897> @ledline @takahamu @takanoyosh 取調べの録画が弁護人に開示された場合、弁護人はその中の全ての情報を被告人の利益のためにあらゆるテクニックを用いて利用するでしょう。その結果として被告人以外の第三者にどんな不利益が生じるとしても。それでいいのかという問題

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28695689140> @takanoyosh 全て公にしなかった結果回復不可能な被害が生る場合もあれば、全て公にした結果回復不可能な被害が生じる場合もある。だから、制度論としてはバランスの追求が必要になるわけです。一つの利益だけを追求して他は無視してもいいわけではありません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28696316338> @takahamu 答えについては技術的な問題を含めて難問ばっかりという感じです。録画なんか簡単だろうという意見が多いですが、刑事司法の各方面に影響が及びますし、バランスを取ろうとすると司法取引とかを考える必要もありそうで、きちんと問題提起して衆知を集める必要があると思います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28696481137> @ledline 可視化は必要だが、制度化するにあたってはいろいろ解決しなければならない問題があると、以前から言ってます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 23:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28698025925> @ledline いろんな選択肢があったはずですが、裁判員に死刑の判断をさせることにしたのは最低の選択だったと思います。

#### 2011年1月2日の、名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）とのやりとりとなったツイートのまとめ.txt POST

w投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 09:51 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21367988854718464>

#### 2011年2月25日の、名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）とのやりとりとなったツイートのまとめ.txt POST

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/02/25 19:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/41080536659136512> 選択の余地のなかった現実なのだから白々しい言葉や、無関心よりましかもしれない。 RT @motoken\_tw: ありがとうございます。ほかの皆さんにも感謝。見ました。ぶち切れそうになりました（怒） RT @mabow: <http://goo.gl/hWAC3>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/02/25 20:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/41099594104442880> そこまで過剰に受け取る必要があるのかなと、 感じただけですが、本人が知れば、プラスにはならないとも思いました。RT @motoken\_tw: .@hirono\_hideki 今それを突きつけなきゃいかんのかな。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/02/25 21:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/41110621110022144> @motoken\_tw 今回のこととは直接関係ありませんが、貴方との関係は「被害者の感情論」という発言に端を発しております。心にとめておいてください。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 17:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41055377055285248> iPhoneなんで確認できないんだけど、これ事実？RT @tw\_news\_jp: フジテレビ、地震で足切断して救助された少年に「もうスポーツできませんね」とインタビュー RIDE THE WAVE 2ch: <http://bit.ly/eMPvCh>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 17:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41056686584102912> .@sakamotomasayuk 確認感謝。前後の文脈が気になりますが、ものすごく無神経に感じます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 17:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41057317579538432> ご本人の発言に起因する流れなら理解できますが。RT @kuribom: 言葉尻を取っただけの可能性もある模様です。流れでその質問に達したという話も。RT @motoken\_tw: iPhoneなんで確認できないんだけど、これ事実？RT @tw\_news\_jp: フジテレビ、

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 18:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41074081747046400> ありがとうございます。ほかの皆さんにも感謝。見ました。ぶち切れそうになりました（怒） RT @mabow: @motoken\_tw フジテレビの件Youtubeに上がっていました。 <http://goo.gl/hWAC3>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 19:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41079844557160448> お涙頂戴の番組に仕上げたつもりなんだろうな。 <http://ow.ly/43dhg>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/25 19:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/41080954575527936> .@hirono\_hideki 今それを突きつけなきゃいかんのかな。

#### 2012年3月6日の、名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）（@motokentw）とのやりとりとなったツイートのまとめ.txt POST

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029885972328448> @thermalpaper00 @motoken\_tw つぶやきを使わせていただきました。問題ありましたら対応しますのでご連絡ください。 <http://t.co/MhmIk6RP>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/06 22:56 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/177029827847651328> 「モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）に関するツイートのまとめ」をトゥギャりました。 <http://t.co/MhmIk6RP>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 11:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177951062538452992> 指摘してるでしょう。 RT @s\_hirono: 人のことをとやかく言う前に、どこに問題があるのか具体的に指摘するべきですね。RT @motoken\_tw: いろんな文脈のツイートを羅列的にまとめるのは誤解の元だからそのまとめは不適切だと指摘しておきます。あなたの見識を疑います。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/10 08:31 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/178261641450885120> 死刑に対する朝日の見識 - 元検弁護士のつぶやき <http://t.co/zK9gX7D4> 私たちの運命を変えたと言っても過言でない掲示板です。削除はされていないようです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2012/03/09 15:40 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/178007250848329728> そうですか、そうですか。確認できて良かったです。個人的な問題というのもあなたの判断ですが、影響はしっかり受けてきたとも思っています。持ちかけ、というのも変ですね。 RT @motoken\_tw: 一切ありません。あなたの個人的な問題を持ちかけないでくれと何度も言ってますよね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/09 12:05 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177953201142771712> @motoken\_tw @s\_hirono 専用コースがお望みという訳ですね。あなたには将来的に公判廷への出頭要請も考えております。検察を促すというかたちにもなるか思いますが、そのあたりを含めよくよく勉強し説いて下さいね。

投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2010/07/12 18:11 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/18341637684> 私のTL上に、自身が関係する刑事事件の調書等の証拠を再審請求のためと称して延々とHPにアップしている人がいる。今後取調べ可視化が実施された場合、上記のような事態を想定しておかなければ、自分の知らない所でプライバシーが垂れ流しとなる危険性がある。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/25 14:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28664743157> @hirono\_hideki ブログでも申し上げたと思いますが、あなたの個人的経験を前提とする議論をするつもりはありません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/11/09 23:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/2006786626289665> 著名で実績のあるジャーナリストでも、専門外の分野ではド素人同然というのは別に珍しくもなんともないので、それ自体は軽蔑に値するものではないけど、ド素人同然であることの自覚くらいは欲しいな。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 10:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21379017215057920> @motoken\_tw [[2]](#footnote-1983)元検弁護士のブログについて＜１＞ （Hatena::Diary　2008-06-23の記事から転載） | 告発／再審請求:<http://bit.ly/hJWy60> 見ていますか？　眼中無いですか？　誰に対する私怨なのか聞いておきたいです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/01/02 11:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/21392543988056064> @hirono\_hideki 私のブログのコメント欄は私の家の庭です。ただし、新しいブログは新しい家です。

投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2011/01/20 18:42 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/28024433469820928> それが一番確実だと思います。あとは被疑者(弁護人ではなく)への開示拒否権の付与か。 RT @sou54: 具体的には起訴後のみ弁護人に閲覧のみ認める(謄写不可)。 もっともこの案が大方の弁護士の賛同得られるか疑問

投稿者：thermalpaper00（感熱紙(サイコフレーム)） 日時：2011/02/27 19:33 ツイート： <https://twitter.com/thermalpaper00/status/41808120476995584> ぶっちゃけ可視化されても取調べのやり方を変えるつもりはないし、別に困ることもない。もちろんそれが絶対守秘義務を持つ人間以外に公開されない事が大前提だがね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/08/06 12:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/99689251016417280> @hirono\_hideki ブロック解除したけど、個人的問題を＠するのはやめてね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/02/24 09:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/172837980241793026> 大きな理由として、光市母子殺害事件弁護団に対する懲戒煽動発言。弁護士でありながら、刑事弁護に対する無知無理解を晒し、弁護人たちに不必要な負担を強いた。RT @yutabossun: @motoken\_tw なぜ評価が低いのでしょう？僕は橋下が嫌いですが。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 10:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/176840174041432064> 誰にものを…RT @kz0217: お気づきになられましたね… QT @motoken\_tw: 外国は知らんけど、日本の裁判官は、被疑事実が重大だと証拠つまり嫌疑が薄くても人の自由を簡単に拘束する。証拠が薄い被疑事実なんて警察・検察の作文に過ぎないんだけど。少なくとも、裁判官は…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/06 23:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/177034476654821376> @s\_hirono オープンな場でのツイートだからやめろとは言いませんが、趣旨と意図がよくわかりませんね。

#### 2012年3月16日の、名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）（@motokentw）とのやりとりとなったツイートのまとめ.txt POST

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 23:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180658675327836160> Togetterで何かありましたら、モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を正式に刑事告訴することになると思います。検事に証人喚問されるかもです。RT @minimalcoke: @s\_hirono 悪意をもったまとめという事ですね。ログをTogetterに渡し、抗議します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 22:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180644945844109312> 参考にします。RT @tokotokosan194: @hirono\_hideki 突然ポンとﾂｲして長々とごめんなさい。ただﾓﾄｹﾝ先生見てて結構ﾁｬｰﾐﾝｸﾞだから静観してじっくり理解してみたらどうだろう？感情抜きの議論言葉は意外と刺さる時があるけど時期に慣れると思います。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 21:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180637892371165186> 丸ごとおかしいんじゃないですかね。RT @iarayashiki: RT @motoken\_tw: 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 19:55 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180608112607236096> またモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にブロックされていました。面白すぎだという捨て台詞みたいです。→　　 <http://t.co/to7RKvYr>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180589960821342208> 関心ありすぎて、挑発しすぎたのが間違いの始まりだとも思いますがね。RT @motoken\_tw: それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180588383825969152> それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。RT @hirono\_hideki: 他人の抱える事実無視して、畳みかけてますよね。明らかに。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 18:10 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180581737460535296> そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。T @hirono\_hideki: モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）様ご本人でしょうか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:53 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180577423585329153> 貴方は既に私の名誉を毀損しているとも思うので、こちらは刑事面として対抗しますよ。まあ、軽率な言動は厳に謹んでもらいたいですが・・・。RT @motoken\_tw: あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180571352783273984> 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。耳を傾ける姿勢とも思えませんが。RT @motoken\_tw: あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 17:17 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180568336990605312> そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoken\_tw: つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:54 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180562760248197120> 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまでもボロクソにこき下ろされて、ストーカー扱いされてきたわけですし。　そう言う姿勢ではご自身のためにもならなそうですよ。　RT @motoken\_tw: そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:28 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180556138666917889> 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）さん。RT @motoken\_tw: 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 16:08 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180551152520278016> 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任、自業自得でお願いします。　RT @motoken\_tw: はっきり言ってもらいましょう。誰がどんな爆弾を抱えているんですか？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 15:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180544716306264064> 貴方の受け取り方次第ですが、既にもの凄い爆弾を抱え込んでいると思いますよ。気づいていただければとYouTubeのリンクもご紹介したのですが、その時もブロックされましたね。RT @motoken\_tw: 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 14:25 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180525165636091904> あの方は特別だったと思いますね。肩書きの明示も含め、発言の影響力もあったと思いますし、反論の必要性も感じました。一方的過ぎて噛み合わなかったですが。RT @minomax: ブログってそもそもそうなのでは？RT @hirono\_hideki: ブログもまさに王国でしたね。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180500010717298688> ブログもまさに王国でしたね。RT @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180499200147066881> Twitter / @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き … <http://t.co/wl8GnpcQ> 公式RTでエラーが出たので、やはりブロックは解除されていないみたいです。期待もしてませんが。ブロックしたままとやかく言うのも・・。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 12:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180498595353591808> Twitter / @motoken\_tw: ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き … <http://t.co/YqlR0eJP> 許可されていないのでツイートが見られません、などと出たり、出なかったり。まだブロックはされているようですが、たまに開ける。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/16 11:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/180480802893737984> モトケン (motokentw) は Twitter を利用しています <http://t.co/YKSH754l> 公式RTできないので、ブロックの解除はされていないみたいです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 23:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180657777310572544> 字数制限があるからオブラートに包めないw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生言葉がきついというか論点しか言わないから刺さるんですよ多分、グサッと（笑）…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 23:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180657487563849730> 民主党は表面的な辻褄合わせで誤魔化そうとするところが無能さの証明です。 RT @tokotokosan194: @eriewildcat @motoken\_tw …焼却灰の処理含め、瓦礫は難題ですから本来は国が技術の粋を集めて新規が望ましいのですが声は届きませんでした。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 22:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180645132318687233> 合理的な説得の努力を放棄した運動はカルト化するのでは？ RT @shinkaisame: @motoken\_tw これどうぞｗ @hideinu 工作員はすべてブロックしまうす

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180596039676473344> これ以上あなたにかかずらわっている暇はない。ブロックします。暇ができたら気分次第で解除するかも。 RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw 貴方のブログでの私に対する対応や発言は、金沢地方検察庁や石川県警の警察官も閲覧し

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 19:01 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180594635096338433> 恨むなら東電を恨め。 RT @noiehoie: まともなビジネスマンなら怒って当然。 RT @harada\_hirofumi: わざわざ言わないと分らないんだ！ 経産相、配当維持なら値上げ不可　赤字電力会社で <http://t.co/8OpRW5zo>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180589165694562305> それはあなたの受け取り方。私には関係ない。放置は攻撃？RT @hirono\_hideki: それでは一方的な攻撃ですね。実際、事実、大きなダメージ受けてきましたよ。RT @motoken\_tw: あなたの抱える事実には関心がないから。だから議論のテーマにしてないでしょ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180586884710404096> こう言えばどう反論されるかな？そうしたらどう再反論しようかな？とか考えてると面白いですよw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe なるほどo(^-^)o鍛練できるのが分かって安心です♪

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180583937775648768> 将棋の読みみたいなもんですw 経験でだいぶ違ってきますよ。RT @tokotokosan194: @motoken\_tw @bandit1200fe 見通しができるのが凄い。先に感情に走るとできないですもん、女の身では難しいです（苦笑）

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582350701334530> じゃ、そろそろブロックということでいいですか？RT @hirono\_hideki: そうですか。色々と想像も超えていたみたいです。RT @motoken\_tw: わはは。そう来たか。あなた今まで誰にリプしてたの？私にはツイッターの仕様をいじれる実力はないよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180582115111485442> 被告側から依頼を受ければ受けてたつしかないです。依頼の趣旨に応じて。RT @toshi\_fujiwara: 負ける裁判も（以下同文）とかですか？ RT @motoken\_tw: つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180581233963712512> つか、負ける喧嘩はしないだけですw RT @tokotokosan194: @motoken\_tw 先生こんばんは。(ﾂｲｯﾀｰでの議論は余り存在しないので)口喧嘩で弁護士さんに勝てる人はいないと思います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 18:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180579327161810944> 深く考えずに、レッテルを貼れば攻撃になると思ってるんでしょう。RT @litosnowfield: @motoken\_tw 自分の地雷を晒す事になるから…でしょうか(・o・)？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180578417689890817> 私を批判（または誹謗中傷）する人には、私のどの言動が批判（または誹謗中傷）に値するのかを聞くんだけど、具体的に指摘してくる人は本当に少ない。群馬の先生は全く指摘できない。具体的に指摘されれば反論も反省もできるんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180577679202992129> どこが？RT @hirono\_hideki: 貴方は既に私の名誉を毀損しているとも思うので、こちらは刑事面として対抗しますよ。まあ、軽率な言動は厳に謹んでもらいたいですが・・・。RT @motoken\_tw: 答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180575150767489024> しまった。そういうタイプの御仁だということを忘れていた。実名でも恥も外聞もない人は最強。RT @hirono\_hideki: 刑事ですか？　民事ですか？　場合によっては大歓迎ですよ。　RT @motoken\_tw: …いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180572870978711552> じゃ、私なんか相手にしないほうがいいですね。いい加減にしないと法的手段をとりますよ。←常套文句だけど。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180571998437642241> 私の立場に対する配慮はなにもないんですね。ブログではかなりあなたのコメントを許しましたよ。RT @hirono\_hideki: 排除やブロックをしなければ、溝も広がらなかったと思いますよ。相手の立場を考える配慮とかなさ過ぎだったのもあるのではないでしょうか。耳を傾ける姿勢とも思え

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180569012449705986> あなたのツイートは陰険な攻撃そのものです。そうでないと言うなら答えてください。RT @hirono\_hideki: そういうわけではないです。もう少し冷静にも願いたいですね。こちらは攻撃を目的としているわけでもないです。RT @motoken\_tw: 答えないということですね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 17:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180564840463601664> つまり、答えないということですね。人に何か重大な問題があると匂わせて、それはなんだと聞いても答えない。あなたの本性が見えました。RT @hirono\_hideki: 理解いただくのも無理っぽいですね。　揚げ足とるのが目的でしょう。　これまでもボロクソにこき下ろされて、

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180560850329939969> そっちはいいから、爆弾のほうを答えてもらいましょう。RT @hirono\_hideki: 政治家とか公人は敬称つけないのが普通だったと思いますし、弁護士の名前にさん付けする例も余り見なかったですね。さんとか様とかつけた方が誤解も受けそうですが。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180553618355793920> 相手を呼び捨てにする礼儀知らずと認定します。RT @hirono\_hideki: 言っておきますが、私は貴方つまりモトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）を法律家として破滅させようと思ったことは一度もないです。思っていたより一方的過ぎますね。RT @motoken\_tw:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 16:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180551752569978880> あなたの答を聞きたいんですよ。答えないなら、あなたは私の名誉と信用を毀損しているとみなします。RT @hirono\_hideki: 受け取り方次第だと言いましたね。貴方は既に答えを出しましたね。個人的問題としてブロックしたわけで。　自己責任、自業自得でお願いします。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180546749138604032> はっきり言ってもらいましょう。誰がどんな爆弾を抱えているんですか？RT @hirono\_hideki: 貴方の受け取り方次第ですが、既にもの凄い爆弾を抱え込んでいると思いますよ。気づいていただければとYouTubeのリンクもご紹介したのですが、その時もブロックされましたね

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180543402050453505> 私はあなたに私の発言を管理されたいとは思わない。的外れなまとめは迷惑です。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw こちら@shironoのブロックは解除…元の発言を明示する公式RTを使いたいのです。保存や管理にも手間が掛かり、間違いの原因にもなりかねないの

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180540654248665089> 関心だけは持ってほしいということですか？それはこちらから勘弁願いたい。RT @hirono\_hideki: そうですか。関与はこちらもご勘弁願いたいです。RT @motoken\_tw: 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 15:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180538542634713088> 私はあなたの裁判に関与するつもりも関心もありません。RT @hirono\_hideki: @motoken\_tw ブロック解除ありがとうございます。出来れば@shironoの方も外しておいてもらえないでしょうか。個人的な裁判に関するツイートや問題はそちらにまとめるようにして…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 14:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180533839549050881> 何か言いたいことがあるのであれば、はっきり言ってもらいましょうか。 @hirono\_hideki さん。一応「さん」を付けましたが、呼び捨てのほうがいいならそうしますけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 11:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180488018522669056> ブログ当時から議論の流れを無視して個人的な問題を書き込んできた人です。ブロックしたら恨まれたようです。RT @minomax: 何のためのまとめかさっぱり分かりませんね。やり取り拝見していますがまとめは恣意的すぎ RT @motoken\_tw:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 11:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180477201530097664> 批判でも、絡みで、難くせでも、攻撃でもいいけど、ともかく誰が何を言ったかだけはきちんと踏まえるべきだと思う。人が言ってもいないことを言ったとして批判するのは最低の行為だと思う。過失なら直ちに訂正すべきだし、故意なら人間としてクズと言うべき。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/16 10:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/180466798376927234> 冒頭でリンクされているブログエントリで「感情論」を検索すれば、まとめ主が他人の発言をまともに読めていないことが明白です。 <http://t.co/7V8vxfbR>

#### 2014-09-06名誉毀損での刑事告訴を予定するモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の主に「人権」に関する、資料としてのツイートのまとめ.txt

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 22:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507876750853169152> 安倍総理には、法務省というのは行政権における人権保障の中核であるという認識がないんだろうな。あんな人権のじの字も分かってない人を法務大臣にするなんて。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 21:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507874898685870081> 余計な事を言って火に油を注ぐかも。RT @bugbird: @motoken\_tw 死刑執行の際に話題になりますね（黒

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 21:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507874355271852032> ただし、法務大臣は大臣の中で最も無力な大臣だから、実害は限定的だと思うけど…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 21:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507873521750401024> 端的に言えばそうですね。RT @numachinomajo: @motoken\_tw 私のＴＬに流れてきた分はそんなレベルじゃなく人権って何かが判ってなさそうな凄さでした…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 21:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507872231293063168> まとめで再確認したが、松島みどり法務大臣はかなり危ないですよ。刑事司法や刑事政策とか全然わかってない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 20:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507846622445715456> 松島みどり（新法務相）の過去の発言がいろいろ流れてくるけど、かなり問題のある人みたいだな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/09/05 11:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/507724169144856576> こういう人が記者だというのは嘆かわしい。RT @ishiitakaaki: モトケンは気持ちが悪い。頭がおかしいのではないだろうか。朝から晩まで群馬県教育界の嫌われ者に粘着して。一緒に無駄な時間を仲良く過ごせばいいのだ。私は忙しい @motoken\_tw @herobridge

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/31 21:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/506061411152572416> この夫婦は、平気でこういう侮辱的なことを言うのだが、その根拠の指摘を求めると一切説明せずに無視して逃げる。実名の卑怯者と言う所以。RT @roarmihoko: 人権感覚の非常に貧しい人も弁護士になれちゃうわけだからなあ。その辺は大変勉強になっている。あざす！

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/31 21:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/506059502211588096> 宣戦布告と考えていいですよね。今後粘着とは言わせませんよ。RT @roarmihoko: 人権感覚の非常に貧しい人も弁護士になれちゃうわけだからなあ。その辺は大変勉強になっている。あざす！

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/20 22:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/502088333632479232> 逮捕されると人権を否定するのがマスコミ。RT @livedoornews: 【まんだらけ】万引き犯の顔公開中止→逮捕されてマスコミが素顔公開 <http://t.co/9ap9xhzavY>

マスコミが素顔を公開したことに、批判や、違和感を抱く人が多いようです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/29 20:35 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/471978087937110016> 人権には多面性があるんだけどな。RT @herobridge: 「人々が被ばくし続けている現状を人権問題としてとらえ、改善しないといけない」そう、これは人権問題なのだ。被曝を軽んじる人間達の人権意識の希薄さが実に象徴的。ネトウヨとの親和性も高い。:「美味しんぼ」登場の荒木田氏

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/05/14 08:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/466358563775205377> しかし、実名報道する事件とは思えない。マスコミにはバランス感覚というものがないのか？実名報道の弊害を何も考えていないのだろう。つまり、マスコミは人権無視集団。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/02/03 09:15 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/430132475780558848> 弁護士に相談して助言に従うべき。相談だけなら1万円前後ですよ。RT @ahare\_asayaka: @motoken\_tw 人権擁護を身上とする弁護士としてのまともな意見はございませんか？　@mariscontact @Unshiu3kan

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/12/13 09:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/411298362424426496> 死刑の執行指揮をした法務大臣を人殺しと罵ることも、犯罪者には人権がないからとっとと死刑にしろと放言することも、ともに品性と無知を疑う発言だなあ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/11/13 11:03 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/400443780127797248> 特定秘密保護法案というのは直ちに憲法問題を生じさせる法案なのに、その立法関与者である礒崎氏 @isozaki\_yousuke が憲法の人権規定に鈍感だというのはとても問題。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/11/05 23:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/397727260116930560> 犯罪者に人権はない、と同じ感覚。RT @todorokiikoro: 「婚外子の不平等な扱い」に賛成する女性も結構いる。「もし、旦那が外で愛人作って子どもできてその子が自分の子どもと同じ扱いならやだ！」みたいな意見。…その想像力は「もし自分が婚外子なら」に使ったらどうかと思うわ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/10/25 09:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/393539886705561600> ネットでよく見る、犯罪者には人権はない（ ≒ 犯罪者は人間じゃない）、と言ってる人も裁判員になる可能性があるし、現になってるんだろうな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/28 10:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/383764006772547584> 人権保障の眼目は少数者の保護だからなあ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/24 22:52 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/382502823545823232> 自分は絶対に性犯罪は犯さないという自信はどこからくるのだろう？RT @2theparadise: @motoken\_tw 連続殺人や監禁致傷、強姦等の性犯罪者については、そもそも脳の造りが違う。 …彼等は…、ほぼ確実に反社会的行動を繰り返します。 …人権の剥奪・抑制が妥当。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/24 22:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/382496924760563712> 犯罪者には人権はない、と考える人は、差別をいけない、ということの本当の意味が理解できないのだろうと思う。たった一つでも例外的に差別を認めたら、全ての差別を正当化することになってしまう。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/14 14:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/378746192303497217> 「犯罪者に人権はない。」と言う人達は、人はいつから「犯罪者」になると考えているのだろう？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/14 13:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/378744904262107136> 「人権」という言葉に変な手垢がついてるのは分かってるんだけど、他に言葉がないしな。人権が問題になる場面を自分のこととして考えれば少しは理解できると思うんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/14 13:53 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/378743394669199360> 自分は絶対に犯罪は犯さないし、疑いをかけられることもないという楽天的な人ですね。RT @pop\_children: 一度人権とはなにか、市民と犯罪者の差とは何かを勉強してみるといいですよ。上っ面の正義感は何も産まないどころか、まじめに生きてる僕らに迷惑なのでやめていただけますかね

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/09/14 11:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/378710303342485506> ヤクザにも人権があるわけで。RT @ynabe39: なんか「ヤクザ排除基準でヤクザじゃない人が排除されること」には怒っても「ヤクザが排除されること」にはなんの疑問も感じないみたいなのにはちょっともにょる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/06/26 13:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/349744336151388160> 無法地帯と考えたほうがよさそう。実力勝負ですね。RT @gartheimer: @motoken\_tw そうすると現状匿名性が高いネットでの炎上騒ぎは、加害者の特定が困難なので…人権侵害があったとしても救済は難しいのですね…メディアスクラム（ネットも含めて）とか恐ろしいです…。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/28 00:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/339035085544247296> 市長としてどれだけ心を痛めているのか聞いてみたい。マジで。死ななくてもいい人が死ぬというのは、最大最悪の人権侵害だよ。＞ @t\_ishin

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/19 15:57 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/336012804505104384> 特に、ものの言い方（言葉遣い、表現）が問題なってるのに、一方当事者のツイートだけで事実認定をしてしまって、それを前提にして、他方を人格攻撃的に罵倒していた人がいる。しかも、相手は商売人。結果論的な批判は甘受すべきだけど、直ちに人権問題に持って行くのは軽卒過ぎるのではないかな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/05 20:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/331001620261380097> 憲法や法律の改正というのは、言葉が変われば意味が変わるというのが基本。自民党案が人権規定の言葉を変えるのは条文の意味を変えようという意図があるから。どういう意図なのかな？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/03 23:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/330332356567248896> やっぱり憲法改正の議論、特に改正規定や人権規定の改正を議論するときには、憲法って何？ということをまず議論すべきだな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/05/02 23:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/329964530555822082> 憲法の、少数派の保護という最も重要な機能が失われかねない。RT @cochonrouge: 自民党の憲法草案「公益及び公の秩序に反しない」とある。 見落としていたけど、これだけの規定だと私権（人権）同士が衝突した場合、調整不能になるから力で決まりかねないよね。。。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/20 14:34 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/325482476141166592> 刑事告訴という手もある。RT @knobonzo: まぁ京都市の人権も結構だけど、こういうのを放置するのって、結局、地元市民の意識とか疑われかねないんだよね。外部の目は、こういうのを暗部として意外と気にするし、観光客なら尚更なんじゃ… <http://t.co/hh7DDBJKb4>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/08 23:13 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/321264529642246144> これは正論。RT @hatatomoko: 小沢代表、96条改正について「手続き部分だけ先行するのは邪道。憲法の在り方、国家像を明示して議論すべき」と言明。憲法4大原則『国民主権・基本的人権の尊重・平和主義・国際協調』を容易に改正させない為に96条の規定（硬性憲法）がある。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/04/02 08:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/318869837650722816> 押し付け憲法論者が主張する改憲案の中身というのは、大抵、人権規定の効力を限定または後退させているような気がする。９条だけに目を奪われずに、人権規定の改正案にこそ最も注目すべきだと思う。人権規定を後退させるということは、誤った改正の再改正をできなくするものだから。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2013/03/13 08:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/311614460286619649> 法論理としては論理的帰結だがその法論理の出発点は個人の尊厳という超越的価値、と言うのが一応の説明かな。RT @ynabe39: 「人権は守らなければいけない」「差別はいけない」というのは「何かの論理的な帰結」なのか「超越的な価値」なのか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/23 12:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/282696054351216640> 人権、愛国に続いて、民意にも手垢がつきつつあるな。自分に都合のいいように使う人が大杉。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/23 01:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/282520742808129536> 自衛隊にはきちんとした憲法的位置づけを与えたほうがいいと思う。その観点での９条改正には必ずしも反対しない。自民党の改正案の容認できない問題は人権条項のほう。あの人権条項では９条改正の歯止めがかからなくなる恐れがある。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/21 16:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/282029534809833472> 人権という言葉もそうだけど、愛国という言葉にもすごく手垢がついちゃったな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/09 10:10 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/277580844984578050> 小中高では、天賦人権論をどのように教えているのかな？それとも全然教えてないのか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/08 00:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/277078878974013441> 痴漢冤罪を知らないのかな？RT @aya\_\_sato: 「俺は被告人になどならない！」の一点張りならたくさんみたことがあります……。 QT @motoken\_tw: 犯罪者の人権というと片山さつきマンセーになるかも知れないが、自分が被告人になったときの被告人の人権を一度考えて…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/12/08 00:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/277077362695360513> 犯罪者の人権というと片山さつきマンセーになるかも知れないが、自分が被告人になったときの被告人の人権を一度考えてみたほうがいいと思うよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/16 09:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/247130485262807040> 基本的人権の尊重は11条だよ。12条の前ね。大切なことだから。 RT @kantomi: 憲法にもちゃんと書いてあるけれど、みんな第十四条（基本的人権の尊重）から入る。 中学で憲法を習うときも、第十四条をやっても、第十二条はやらないからね。 でも、大切なことほど先に書いてるのよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/16 09:25 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/247128985400651778> そんなこと書いてない。 RT @kantomi: 人権はあるけど濫用したらアカンの。 『常に公共の福祉のためこれを利用する責任を負ふ。』 つまり、常識ない奴の人権は要らんって書いたあるわけや。 オタクが常識を持って社会と折り合い付けないなら、人権はないのよ。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/15 10:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/246779893424197632> あなたの考える「良い社会」が本当に良い社会かわからない、ということなんですが。だから人権が大事。RT @kantomi: 「良い社会にしたい」が先ずあってからの人権や。 人権を一番に守って、社会を悪くしてどないするねん。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/09/15 09:59 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/246775271800324097> 「人権より社会」になったら終わりなんだけど。RT @kantomi: 「権利（人権）を守る」というのがなぜ重要か？ それを侵害したら社会が良くならないからや。 少なくとも「人権」なんて概念を理解していた当時の人達は「社会より人権」となるとは思ってなかったやろう。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/08/04 00:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/231410644967104515> 私は、最大の人権侵害である殺人を許すことはできない。RT @maeda\_keiko: 私は、最大の人権侵害である死刑制度を許すことはできない。他のどんな人権問題を立派に語っても「あんな奴は死刑だ」と最後は国家に殺してもらうことを求めるというのが理解できない。治安や秩序といった理由

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/07/06 12:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/221083982417244163> 学校もコミュニティの一つとして見れば、いじめの責任がない生徒にもいじめを防ぐ責任はある。責任を伴わない人権論は非教育的だ。RT @news\_0: 【クズ】　大津市教「自殺の練習をさせてたかなんて聞けない。いじめた側にも人権はあるのだから」 <http://t.co/kXTGhSCv>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/07/06 09:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/221032649895051265> こいつらは、教育とはなんだと考えているのだろう。こういう姿勢でどういう人間が育つのだろう。＞いじめた側にも人権…「自殺練習」真偽確認せず : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/fVIzvH93>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/07/06 09:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/221032331060854786> 子供の人権という言葉が市教委の責任逃れのために使われている。反吐が出そう。彼らに事実確認の意思も能力もない。死んだら人権も何もないのに。＞いじめた側にも人権…「自殺練習」真偽確認せず : 社会 : YOMIURI ONLINE（読売新聞） <http://t.co/fVIzvH93>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/05/16 19:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/202714089292693504> 死者の名誉は刑法上も保護の対象です。マスコミの不見識。 RT @ryuryu444: @motoken\_tw 亡くなった被害者がすぐ実名報道されるのは、死亡時点で人権を喪失するからでしょうか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/04/24 19:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/194735933126483970> 弁護士は基本的に依頼者が大事なので、依頼者と相手方が対立すれば（ほとんど対立するのだが）相手方より依頼者が大事ということになる。人権関係なしに。RT @ryuryu444: @motoken\_tw 「被害者より加害者が大事な弁護士」と定義している人はちょくちょく見ます…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/04/24 13:20 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/194641963360862209> なりません、と言うべきか。 RT @asty\_md: まず「少年法をメシの種にしている人権派弁護士の人」がいません

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/04/24 11:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/194619572442251264> いや、それはあり得ない。意外な展開がない限り。 RT @UG\_2012: 裁判になったらまた出てくるんだろうな、自称人権派の弁護士。きっと声高に主張するんだろうよ、死刑反対！反省しており更正の可能性が！ってな

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/11 12:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178684880094371841> 裁判官にも聞かせたいツイート。RT @sakamotomasayuk: 黙秘権を行使する被告人の弁護人が悪く言われるのは捜査側に人権感覚がないからだろうね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/03/09 15:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/178009236041760768> これは間違った考え方。RT @harukazechan: 人権をうばった人に人権を主張する権利はないとおもいます（ω）もしひとごろしの人権が守られたとしても、少しでも人間なら、みずから権利をすてるべきです（ω） RT @TSM\_RK: @harukazechan

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2012/02/29 09:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/174654766272614400> 外国は知らんけど、日本の裁判官は、被疑事実が重大だと証拠つまり嫌疑が薄くても人の自由を簡単に拘束する。証拠が薄い被疑事実なんて警察・検察の作文に過ぎないんだけど。少なくとも、裁判官は人権の守り手ではないことを日々実感する刑事弁護。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/12/10 12:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/145348133549899776> 人間でない、という主張は人権主体であることを否定してます。RT @tikani\_nemuru\_m: つながってもよいのではないでしょうか？　例えば、犯罪者の人権がある程度制限されるのはやむをえないわけで。 RT @motoken\_tw: 犯罪者は人間ではない、という考え方に繋がる

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/11/21 22:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/138605628892520448> どないせいちゅうのかな？ RT @amneris84: ＜法曹全体が、死刑判決を受けた被告人の人権を守り、法廷による真実の解明を求める姿勢に欠けていたと言わざるを得ないのではないか&gt;(東京新聞) 何で今さら？ そう思うなら今までいくらでも言う機会あったでしょ。キャンペーンはれば

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/10/29 23:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/130286006694977538> 検事より裁判官のほうがひどい。RT @dimnana306: 元検察官でもそうなんですか⁈ RT “@motokentw: 刑事裁判官の人権感覚の鈍麻にはあきれていますRT @kasumi\_shiro: 検察だけではない… RT @motoken\_tw : 検察の劣化

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/10/29 23:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/130285098426843136> 正直言いまして、刑事裁判官の人権感覚の鈍麻にはあきれていますRT @kasumi\_shiro: 検察だけではないのかもしれないです… RT @motoken\_tw : 検察の劣化はいろんな面で進行しているな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/10/25 01:07 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/128502933947023360> 多かれ少なかれどこの国でもある話。RT @siranlre: それに同じ弁護士でも権力に屈して人権侵害の共犯になったり、弁護士という名を使ってサギやってるヤツとかも居るな。＞@motokentw: どんなニュアンスなのかな？＞中国ではかなり使ってるね。＞@fhizikata:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/10/25 00:46 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/128497669827084289> 人権という言葉に変な手垢が付きすぎてる。RT @f\_hizikata: 人権派弁護士という言葉は、つくづく不思議な言葉だと思う。弁護士のミッションって人権擁護だと思うんだけどな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/08/03 22:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/98751749313150976> 人権って全ての人にあるんだよね。RT @ssk\_ryo: えーっと、確か弁護士には、そもそも人権を擁護する使命が・・。 RT @syashingo: @ssk\_ryo にん弁。人権を守る弁護士。とか？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/07/20 20:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/93642175274946561> しかも強制起訴の根拠になった調書がグダグダなのに。RT @fukken01: 民主党には人権派と言われる弁護士センセイが多い。センセイに聞きたい、冤罪と闘い、推定無罪の原則の下に真実を追求する人がどうして「…小沢一郎」の党員資格停止異議申立を…「思考停止」してあっさり却下する？

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/07/06 19:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/88550714313424896> 犯罪の原因はいろいろでして。RT @nanami666: 再犯防止が何より重要なら、どうして「初犯は執行猶予」なんて判決が多々出るのやら。きちんと教育刑を受けさせるべきだろう。やはり、犯罪者への行き過ぎた人権思想は害悪だとしか思えない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/07/06 18:41 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/88543032344985600> 刑事政策の最大の課題は再犯防止です。犯罪者を人間扱いしないで再犯防止を語ることはできない。RT @nanami666: 被害者に落ち度のない場合の、犯罪者に対する人権思想は害悪だ、と思う。良くも悪くも、それが修正される時代が来るのではないか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/06/19 20:45 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/82413685968093184> 正義感の強さがわかる。RT @TriggerJones42: 私が知っている「いわゆる人権派弁護士」は、検察修習の時、被疑者取調で激しく机を叩く余り、机の上に置かれていたガラス製のデスクマットが割れたそうです。RT @happybook 修習生の取調べで机を叩きまくっている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/05/25 18:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/73322239361163264> ヤクザに人権はないという教育を受けているのは検事だけではないかも知れませんね。RT @bacon\_emily: @motoken\_tw いえ、まだ３０前の方で、最初から弁護士です。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/05/24 08:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/72801228354105344> こんなの「教育」じゃないでしょ。RT @yalisan: ということだったのか＞＞「ヤクザと外国人に人権はないと教えられた」 元検事が暴露した驚くべき「新人教育」の実態(NCN) - エキサイトニュース <http://t.co/QDpHcti>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/02/24 12:53 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/40620366485262336> 私は、犯罪の予防こそが究極かつ最大の人権の擁護だと思っています。RT @kmuramatsu: @motoken\_tw 検挙率低下、治安悪化に対する国民の納得をあまりに強調されるのは、いかがかと。刑事手続のど真ん中、まさに人権が問題なのではないでしょうか。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/12/30 11:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/20308814100172800> 私は死刑廃止論者じゃないですよ。どんな人の人権も大事だと考えた上での政策的判断ですけどね。RT @live\_at\_life: @crusing21 @motoken\_tw (cont) <http://tl.gd/7pqpdp>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/23 09:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/28456233665> @LedLine 私が言いたいことは、最高検を批判しようとするあまり、前田元検事個人の人権が無視されていないか、ということなんです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/19 09:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/27783640104> 人を何人も殺した殺人犯でも基本的人権の主体であることを否定されない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/10/02 14:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/26151240186> @nyanmayu 捜索をするしないを問題にするならば、捜索した状況におけるその捜索の影響を問題にせざるを得ない。そしてその影響の主要なものはマスコミの報道になります。それが被疑者の人権に直結するのですから。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/09/22 15:48 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/25190343216> だから国民の多数がそう考えればいいんですよ。問題はこのバランス論を国民がどう考えるかです。可視化されれば検察は困る、という声をよく聞きますが、特捜部以外は困らない。RT @shiraga0516: それは被疑者（＝犯罪者とは限らない）の人権を守るために社会が払うべきコストです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/09/22 09:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/25167894315> @takuzoutokunaga @Izaya2nd その際に、「デタラメ捜査」、「でっちあげ捜査」、「人権蹂躙の取調べ」の証拠資料を開示するということは、被告人に有利な証拠を開示するということですから、それを積極的に行った場合、公判担当弁護士としての職責に反する恐れがあります。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2010/04/15 14:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/12207759548> @motoken\_tw &gt;指「定弁護士も「被疑者の人権にも配慮する」として、」 この記事の書き方ではこの言葉がどういう文脈で発せられたのか、必ずしも明瞭でない。

## 中断していた告訴状の作成と、年末年始に渡る今後の方向性について　2013年12月20日

### 2013年11月8日以来の告訴状作成の再開について　2013年12月20日

見出しごとに年月日の日付をいれるようにしているので、だいたいのところを把握できるのですが、どうも11月8日以来中断をしていたことになりそうです。ランダムに階層ごとの追加を行うので、あるいは多少の勘違い、間違いが生じる余地はあるのですが。

いろいろと考えがまとまらないこともあり何度も作成を手がけようと思いつつ、本年もあと10日ほどというところに来てしまいました。時間を掛けただけ準備は出来たと考えていますが、理解を得るためには先だって相応の説明をしておく必要を感じた次第です。なのでこのような上位の見出しをつけました。

この再開についての見出しの階層においては自由形式で、これから掘り下げて書くことの整理を道筋をつけ、まずはなるべく大勢の人に読んでもらえるような説明をしておきたいと考えました。これまでも頭の中では練り上げてきた事柄ですが、実際に文章にするのはぶっつけ本番です。

書いていく過程でさらに思い出すこともあるかと思います。20年以上に及ぶ期間を対象にした問題でもありますので、取捨選択や方向付けにも迷うところがあります。私自身の能力的な問題もありますので、自由形式というアプローチで取りかかっていくことが、全体像を浮かび上がらせることにもなるかと。

前回11月8日までの記述内容は、本件の事実関係の具体的内容であったかと思います。しかしながらこのような具体的事実は、御庁や金沢地方裁判所に繰り返し書面で提出してきた内容と同じかと思います。記憶の方は薄れているはずなので、いくらか鮮明でなり部分も出てくるかとは思いますが。

繰り返し書くことで信憑性を補強することにもなるかとは思いますが、平成9年の2，3月頃に具体的で膨大な資料の写しがあることも発見しました。内容はほとんど見ていませんが、自分でも意外なぐらい膨大に事細かく書いてある内容でした。手元の資料を読み返して書き直すことも事実上は可能。

客観的な真実性の担保としてさほど意味がないようにも思え、むしろ世間の理解が得られない状態で関係者の危機感を与え、身の危険を招くことも慮りました。

その身の危険の具体的な程度について説明をすることは、必然的に関係者のプライバシーに影響を与えることにもなるかと思います。一般的に個人のプライバシーの利益こそ重要だと考えている人も多いように見受けられるので、反発や情報公開を継続しがたい致命的な不利益を被ることも危惧してきました。

警察、検察の十分なチェックを受ける態勢は平成15年に始めたインターネット中における情報公開において、常にくどいぐらいに意を払ってきたことかと思いますが、似たような前例を見かけることもなく、現時点で世間的な理解を得ることは難しく、また、そのような判断に至る反応を受けてきました。

## 被害者とその家族との関係及び弁護士、警察、検察の対応について

### 平成9年福井刑務所を出所後の被害者家族との関係について

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月01日

年が変わって2014年になりました。年内もいろいろと考えていたのですが、より慎重を期すため大晦日と元旦に差し障りを招くような変化は避けることにしました。何から説明を書くかと言うこともずいぶんと迷いました。

私自身、被害者との関係においては理解しがたいこともあり、接触自体も断絶しているの知る範囲も限られています。私自身の記憶の整理もかねて経過の説明からしておきます。被害者のことをAA、被害者の父親のことを以降AKと表記します。

まず不思議にも思えることですが、平成4年6月18日に初公判があり同年8月3日に判決があった金沢地方裁判所の一審の公判において、被害者家族の姿を見ることは一度もありませんでした。

ただいま私自身の記憶によってのみ記述をしているので、正確な時期を特定しかねますが、控訴審の初公判があったのが平成4年の10月頃ではと思います。控訴審の初公判のことは割と印象的に憶えています。

まず裁判長が浜田武律という珍しい名前の人でした。浜田は濱田という字が正確かもしれません。新聞か何かで名前には見覚えがありました。何か戦国武将や軍人を連想させる名前でしたが、実際そのような感じの人物でした。

名前とともにいかめしい第一印象があったかと思いますが、弁護人である木梨松嗣弁護士に向け、心神喪失などの主張を確認し、砕けたような感じで、「ならば無罪じゃないか？」と言いました。

私か事件に対し、珍しい不思議さで臨んでいるようにも思えましたが、本心はわからず、次回以降に持ち越すような切り上げ方のごく短い公判であり、具体的な質問というのもなかったと思います。

この公判は午後に行われ、天気が悪くてそとがどんよりと薄暗く、法定内の電気が明るく感じられたという印象が残っています。北陸の冬特有の天候ですが、10月頃という時期を考えると、よほど雲が厚くてどんよりした天気だったのかもしれません。

次回の公判の時、裁判長が替わっていました。小島裕史裁判長です。この時も顔合わせだけのような短い時間の公判ではなかったかと思います。

いきなり裁判長が替わってずいぶん驚いたような気がするのですが、前もって書面が届けられるのが普通ではないかとも思えます。そういう書面を受け取ったという記憶もないのですが、その後、平成5年になってから陪席の裁判官一人も交代になっているはずです。

当時の名古屋高裁金沢支部の法廷は、裁判官の席に向かって左側が一般の通路、右側が外になっていましたが、間にそう幅の広くない通路があり、一階の被告人の控え室のようなところに階段で行き来するようになっていました。

その被告人が連行される通路で3階への階段というのはなかったと思います。金沢地方裁判所の建物自体が2階建てだったようにも思うのですが、現在は取り壊しの上、新庁舎になっているはずです。

法廷の外側の窓が被告人が連行される通路になっている構造なので、直接ではないですが、法定内には外の光もガラス越しに入るようになっていたはずです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月02日

二度目の控訴審公判と思われる日は、午前中か昼過ぎの早い時間ではなかったかと思います。法廷にはいるとき、陽光が差し込むような明るさを感じたことが印象に残っています。

金沢地方裁判所の一審の時も同じでしたが、傍聴席の人の数はまばらでした。若干多く感じたのは控訴審の判決前の公判の時ではなかったかと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月03日

たぶん残っている裁判の資料からある程度の確認は出来ると思うのですが、今現在の自分の記憶によると、平成4年中の控訴審の公判は3回か多くても4回だと思います。12月の20日頃にも公判があったような記憶も残っています。

控訴審の全体を通して被告人である私本人が法廷で自分で説明をするような機会があったのはただ一度ではなかったと思います。補充的なものは他にもあったかもしれないですが、ごく簡単で短いものではなかったかと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月04日

平成5年に入ってからの公判は2月が最初ではなかったかと思います。木梨松嗣弁護士の請求による精神鑑定の決定があったのもこの公判の時だったと思います。この公判も天気のよくない夕方に近い午後で、法定内の電灯がやけにはっきりしていた印象が残っています。

前後に木梨松嗣弁護士の接見があったことは憶えていますが、精神鑑定に対する相談のようなものはなく、一方的でかなり強引な手続きの運び方でした。木梨松嗣弁護士は控訴審の早い段階で精神鑑定の実施を疑いもなく、決めつけ名古屋高裁金沢支部に請求していたはずです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月05日

私の記憶ですが判決前の最後の控訴審の公判は平成5年の6月中で、下旬ぐらいではなかったかと思います。判決があったのは同年9月7日です。普通はだと思うのですが、判決期日というのは結審となった審理の最後の公判で告げられるのではないかと思うのです。報道などをみてもそんな印象を受けます。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月06日

判決前の最後の公判だと思っているのですが、その公判においては被害者の父親と母親と思われる二人の姿がありました。傍聴席のたぶん一番後ろの列で、さらに通路側の出入り口の側という場所でした。あえてそのような場所を選んだことに意味がありそうだとは考えました。

平成5年9月7日の判決公判においては、被害者の父親の姿もありませんでした。あえて判決の公判に来なかったことに意味があるものと、ずっと考えあるいは思いこんできたのですが、ただいま考え直すと、父親は判決公判の期日を知らされずにいたという可能性もあるのかもしれないです。

平成5年中のことは20年ほど前と言うこともあり記憶もそれなりに劣化していますが、3月の1日から同月31日までの間、金沢大学付属病院で精神鑑定の鑑定留置を受けた他は、ずっと拘置所の独居房での生活でした。精神鑑定が終わってから始めたのではないかと思いますが、

事件の全体像を記録する上申書を作成していました。思ったよりはかどらずというか、書いておきたいことが多すぎてまだ3分の2ぐらいかなと思っていた頃、判決の公判期日の書面が届きました。夏だったと思います。何となくですが、8月のお盆休みの後だったかもしれません。

判決公判の期日は平成5年9月7日でした。事前に決まった期日が変更になったのは一審の初公判の平成4年5月28日の時だけだったと思います。準強姦罪で追起訴され併合審理にされたためらしく、裁判官の数も川口泰司裁判官の一人から合議制の3人にも変更になりました。

判決の期日が決まるというのは普通に考えて審理の打ち切りを意味します。なによりも作成途中の上申書のことで私は動揺し、不服の向け場もないので、それを拘置所の刑務官にぶつけ、逆に怒鳴られるということもありました。これが判決当日の革手錠の使用にもつながった可能性があると思っています。

もちろん木梨松嗣弁護士にも連絡を入れ、接見と説明を求めたはずですが、完全に無視されたはずです。控訴審判決後においてもそれは同じで、判決が出た以上、私選弁護人の説明は不可欠だと思っていたので、繰り返し手紙を送り、電報も送りました。電報は金額も高かったと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月07日

現在の私の記憶によると、精神鑑定後の公判というのは6月中ではないかと思っています。9月7日の判決との間に多くて2回の公判があったと考えられます。はっきり憶えているのは精神鑑定を行った山口成良金沢大学教授の証人尋問があったということです。この時は法定内に日差しが差し込む天候と記憶。

この時の公判かはっきり出来ないですが、他に公判において印象的なことが二つあり、どちらも精神鑑定後の公判であったと思います。まず一つは法廷の小島裕史裁判長の面前に、うずたかい書面が置かれ、それを小島裕史裁判長が満足そうに見つめていたと言うことです。見方に寄れば呆れ果てた表情にも。

それは私が作成して郵送で提出していた上申書に間違いないと思いました。かなり圧縮された印象も受けましたが、ざっとみたところ一つの綴りで30センチぐらいの高さはありそうでした。書面はある程度のできあがりを数回にわけて郵送していたはずです。

もう一つは木梨松嗣弁護士が法廷に白衣を着た医師のような人物を同伴させていたことでした。この時も小島裕史裁判長は、上機嫌な様子で、気さくに木梨松嗣弁護士に、どうかされたのですかという感じで軽く声を掛けたところ、木梨松嗣弁護士は真剣な感じで手短に、体調不良のように説明していた。

いずれも木梨松嗣弁護士のややこった演出のように見受けられました。医師の同伴は精神鑑定を受けた私の不安を、力強く払拭する手当のように見え、気合いのこもった誠実な態度に思えました。

その時の医師は割と若い感じで30代ぐらい、細身で背が高くみえました。普通、刑務官のような制服の上から羽咋を来ている姿というのは、ほとんど見ることがないと思いますが、実際、拘置所を含めた金沢刑務所内ではごく普通の光景で、また同じような背格好の医務の職員がいたのでなおさら印象的。

拘置所では週に3回ぐらいだったと思いますが、医務の職員が台車をおしながら、声かけの巡回をして、健康に不調がないか確認をしていたので、全くおなじみの光景だったのです。だいたい二人の白衣を着た医務の職員がいて、背が高いのは部下のような若い職員でした。

ともあれ、弁護士が白衣を着た医師を同伴して公判に臨むというのは普通にあり得ないと思えました。木梨松嗣弁護士に体調が悪そうな様子は全くなく、むしろしっかりと力強い毅然とした態度で医師を伴いながら法廷に入ってきたからです。既に小島裕史裁判長ら裁判官3人は席に着いていたはず。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月08日

そのほかの公判では例外なく、弁護人と検察官が先に席に着いていて、時にはけっこうな時間待たされた後で、3人の裁判官がそろって、背後のからくり扉のような出入り口から、登場していたはずです。木梨松嗣弁護士はあえて、時間を遅らせて現れたとしか思えなかったです。

その医師がどんな服装であったかはっきりとは憶えていないですが、制服のようなスーツの上から白衣を着ていたことは間違いないと思います。それは通常の病院での医師の姿とは異なる異様なものだったので、そちらの方に気がとられ、またその時の公判自体も、顔合わせ程度の短いものだったような。

精神鑑定があったのは3月1日から同月31日までの丸一ヶ月間でした。拘置所の金沢刑務所から金沢大学付属病院というのは金沢市内でも比較的近い場所でしたが、全ての荷物を持って出て、完全に出所して、また入所するのと同じ手続きだったと思います。

金沢大学付属病院では閉鎖病棟ではあるものの他の入院患者と同じような生活をしました。ちょっと変わった個室でしたが、少なくとも消灯前の時間は比較的自由な行動が出来ました。鑑定留置だったのは自分だけでしたが、閉鎖病棟内は割と広く、ロビーでテレビも自由に見ることが出来たと思います。

この間、弁護士を含め母親の面会も一度もなく、また、許可がおりなかったのか外部に手紙を出すこともなかったと思います。

その精神鑑定の実施が決定されたのは20日ぐらい前の公判の時でした。午後の遅い時間で天気も悪かったのか、外は暗い感じで、法定内の電灯の明かりが強く感じられたことを憶えています。まるで夜のようにも思えましたが全体を通して自分の公判で17時を過ぎるようなことは一度もなかったと思います。

精神鑑定自体、木梨松嗣弁護士は控訴審の早い段階から主張していたはずですが、なぜ必要なのか、説明のようなものは一度もなかったです。そもそもとっかかりすら与えられない状態だったので、不安が先行していたと思います。どの公判においても事前の打ち合わせのようなものはないに等しいものでした。

あったとすれば事前準備書というものが郵送されたぐらいです。具体的な内容の打ち合わせのようなものはなく、全くのぶっつけ本番の公判で、どれぐらいの時間が与えられているのかもわからず、全く見通しのたたないものでした。

木梨松嗣弁護士から具体的なアドバイスのようなものがあったのは、裁判所に宛、上申書を出すということでした。上申書に書いた内容は、裁判官の面前において話したのと同じ効果があると、真摯な表情で、切実に訴えかけるぐらいの意気込みで説明をしたことがありました。

現在はっきりとは思い出せないのですが、上申書はカーボン紙を使って2部を作成し、一部を木梨松嗣弁護士に郵送していたような気がします。控訴趣意書においては同じくカーボン紙を使って5部必要だったので、2部であってもずいぶん楽に思いました。割り印と訂正印も必要なので手間が掛かりました。

これも記憶が曖昧ですが、平成5年に入ってからの木梨松嗣弁護士の接見というのは、精神鑑定を挟んで前後に1回ずつではなかったかと思います。木梨松嗣弁護士から郵送が届くことはありましたが、事前に何時接見に行くという連絡は、ただの一度もなかったように思います。

木梨松嗣弁護士からの郵便で印象に残っているのは、「貴殿におかれては益々ご清栄のことと」といった書き出しのものでした。こういう形式の文面を見たこともなかったのですが、拘置所の独房に収監されている被告人に対して、どうにも理解に苦しむ違和感を覚えたからです。

木梨松嗣弁護士から郵送があったのは被害者の病状照会の回答書と事前準備書で、一緒に送ってきたもので、時候の挨拶もその時につけられていたものと考えられます。だとすると、木梨松嗣弁護士から郵便物があったのか、この時1回だけということになりそうです。平成4年の10月頃ではと思います。

私が具体的な供述をした、供述の機会を与えられた公判というのは、その事前準備書が用意されたただ一度の公判の時だったと思います。平成4年の10月か11月なのですが、12月の20日頃の公判でも具体的なやりとりがあったような憶えもかすかに残っています。クリスマスも近く考え込む時期でした。

控訴審における供述は公判記録として残されており、ほぼ私の記憶とも一致していたかと思いますが、一つに編綴されていたものをばらばらにしていたためもあってか、別々の公判が一つにまとめられていたような気もするのですが、公判の期日が特定し難かったという憶えが残っています。

平成5年になってからの公判だと思いますが、陪席裁判官の一人が交代になっていました、そのあとだったように思いますが、裁判官から公判で質問を受ける機会があり、陪席裁判官に陰茎について質問を受けたことが、とりわけ印象に残っています。まるで通じていないような無力感と失望感を感じました。

もっと早い段階、10年以内ぐらいに控訴審の公判の状況をしっかり整理し記録にしておけばよかったと悔やまれるのですが、控訴審の判決が小島裕史裁判長の真意によるものとは、どうにも理解が出来なかったです。最近では木梨松嗣弁護士の口車に乗せられ、利用されたのかと思えるのですが。

当時は、真相解明の手段として、孤立無援で極めて不利な状況にある自分が、まずは精神鑑定を受けて精神と記憶に問題がないことを証明しなければならないのかと考え、そんな方向に理解と納得を持ってゆこうと努めましたが、なすすべもなく推移を見守り、成り行きに任せる他はなかったです。

控訴審の全体を通して、最近の私の記憶の整理では、平成4年中に多くて4回の公判、平成5年中は判決を入れて多くて4回の公判ではなかったかと思います。

ほぼ全ての公判で被告訴人OKNの姿が傍聴席にあったという印象と、被害者の父親AKさんの姿を傍聴席で、OKNと一緒に見たことは一度もなかったような印象が残っています。

本格的な被告人質問のあったただ一度の公判においては被告訴人OKNの姿があったという印象がかすかに残っています。富来出身の友人OTの姿が傍聴席にあったのもその時であったかもしれません。OTが傍聴に来ていたのはその時一度だけだったと思います。今し方、数年ぶりに思い出しました。

OTは被告訴人が本陣不動産株式会社に入社するきっかけを作った人物であり、彼の紹介で入社することになったと聞いていました。OTは同じ本陣グループでも本陣住宅の所属で、別会社と聞いていたかと思います。他に本陣建設があったはずで、以前はテレビCMでも本陣グループとして見かけていました。

OTは金沢西警察署の留置場にいた頃も、一度面会に来てくれたことがあり、沢山のお菓子を差し入れてくれたことを憶えています。この時は一人で来ていたはずです。

拘置所にも一度だけ面会に来たことがありましたが、OTは被告訴人OKNとHMの3人でした。HMは結婚で婿養子となり姓が変わりました。少なくとも平成9年には新しい姓になっていて、そちらはNMです。

平成9年の夏には、被告訴人の口添えで、NMが部長になっていた建設会社で仕事をした時期もありました。長くで3ヶ月ぐらい。辞めたのは10月頃だったと思います。

このOT、HMとの付き合いは、昭和59年の夏以来で、すでに本書においてある程度の説明をしているかと思います。OTは私と同じ時期、平ボディだったと思いますが、同じ金沢市内の運送会社で4トン車の長距離運転手をしていたこともありました。

なにがきっかけだったのか細かい話は忘れましたが、本陣住宅で不動産の仕事をするようになり、まもなく被告訴人OKNを紹介して、同じ不動産の仕事をするようになっていました。運転手をしていた頃は、電車の野々市駅だったかの近くのアパートに住んでいました。

野々市と言っても、外れの方で松任市に近かったと思います。そこのアパートにはちょくちょく遊びに行くこともあったかと思います。不動産の仕事をするようになってからは、河北郡内灘町で小さな家を建てて住んでいました。多くないですが何度か遊びに行きました。

冬のイワシの運搬の時期にも、イワシを運搬する平ボディのトラックに乗って彼の家に遊びに行ったことを憶えていますが、その頃には会う機会もずいぶん少なくなっていたと思います。

私が初めにイワシの運搬の仕事をしたのは昭和63年の12月頃だったと思います。まもなく一緒にイワシの仕事をダンプでやっていたOMと一緒に臨時で、茨城県水戸市内のデパートに展示会の荷物を運ぶことがあり、ちょうどその頃に昭和天皇の崩御のニュースがあったので、よく憶えています。

そのイワシの仕事が始まった頃、被告訴人OKNは彼女と一緒に金沢港に近い金沢市無量寺のアパートに住むようになっていました。既に入籍は済ませ、結婚していたことも考えられます。その半年ぐらい前までは、兵庫県の神戸市内に住んでいたはずです。

神戸市内の山手の閑静な住宅地に住んでいると聞いていましたが、結局一度も遊びに行く機会はありませんでした。初めは宝塚市のステーキ店で住み込みで働いているような話をしていて、その後、長距離トラックの運転手をして、神戸に移り住んだ頃は、中古車のブローカーをしているような話でした。

金沢市場輸送で石7599という10トン保冷車に乗務していた頃、宮崎県の都城市から輸出用と思われる大きなタイヤを積み込み、中一日を挟んだ神戸降ろしというような仕事がありました。その荷物を降ろした後だったと思いますが、神戸の市場の近くの倉庫で、彼と落ち合ったことがありました。

その時も彼はプジョーとか言うフランス製の変わった車に乗ってきていました。その後ではなかったかと思いますが、お盆休みに帰省したときも同じフランス製の車に乗ってきていたかと思います。兄の妻と折り合いが悪いという愚痴のような話もその時していたかと思います。

その兄の被告訴人OSNですが、1年ほど東京に行っていた時期があったと思います。何かのセールスの仕事をしていて、出張中の岡山県内で事故を起こし、けっこう大きな怪我をして、金沢市内の病院に入院していました。市内入江の病院だったと思います。

保険がらみで融通が利くという噂の病院でした。その病院には酔っぱらってダンプと相撲を取ったという被告訴人KYNも入院していた時期がありましたので、その病院には何度か見舞いにいきましたが、似たような若者が何人か集まっていて、楽しそうに過ごしていました。

被告訴人OSNは、そのまま東京には戻らず、再び金沢で生活するようになったと思います。妻となる女性が住んでいた増泉のアパートで一緒に生活するようになっていて、そこにも2，3度遊びに行った憶えがあります。

被告訴人OKNが神戸からお盆に帰省していたのは昭和63年の8月だったと思います。私の長男を含め、宇出津新港の堤防でカメラ撮影したのは、長男の成長の具合からも昭和63年であったと思います。宇出津新港は数年前に出来ていたはずですが、それまでまともに足を踏み入れることもなかったかと。

そのことから考えると昭和63年の秋の早い段階で被告訴人OKNは神戸から戻り金沢に住むようになっていたはずです。初めは車のブローカーのような仕事をしているという話を聞いていました。確か福田自動車という名刺も持っていて、市内高畠辺りに会社があるような話を聞いていました。

いろいろと人間関係のつながりの細かい話を聞いたような憶えもあるのですが、余り憶えてもいません。ただ、UHが関わっているような話は聞いていたように思います。UHは一年ほど交通刑務所に行っていたはずですが、その時期もはっきりとは憶えていないです。

イワシの仕事が始まった12月のことは印象的に憶えています。それもイワシの運搬の初日だったと思います。イワシの仕事はもう少し早い時期から始まっていましたが、シーズンの初めと終わりの方は漁獲も少ないので、ダンプと八戸の白ナンバーのグループが中心でした。

まだ市場急配センターとして独立する前の金沢市場輸送の市内配達で顔見知りの二人が、被告訴人OKNとの車の売買をめぐるトラブルを、いきなり私のところに持ちかけてきたのです。それも待機中のイワシの現場でした。

一人はよく知る顔ですぐにわかったのですが、もう一人はいかにもチンピラのようなやくざ風の男でパンチパーマの髪型でした。その髪型でしばらくわからなかったのですが、その男も顔見知りの市内配達の運転手でした。どちらも上の名前は憶えていますが、S田とS藤としておきます。

S田はM田という確か同級生の友達がいて、二人とも早い段階で金沢市場輸送の市内配達の仕事をしておりました。入社も同時ではなかったかと思いますが、とにかくいつも決まって二人でいるという間柄でした。少女だとよく見かける二人連れのタイプでしたが、男となると珍しくもあり印象的でした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月09日

被害者の兄とは一度だけ電話の応対を受けたことがありましたが時期がはっきり思い出せないです。被告訴人YSNの話ではロックバンドをやっていて片町で遊び回っているような話でした。この話を聞いたのは平成3年の秋だったと思います。計画的に作り上げられた被害者のイメージの一つかと思われます。

被害者の父親が自宅の電話に出たのは2回でした。1回目は平成4年1月21日の夜だったと思いますが、被告訴人HTNの自宅アパートから掛けた電話の時だったと思います。ものすごく丁重な対応で、戻ったばかりなのでわかりませんというような説明を受けました。ほとんど経験のない丁重さでした。

2回目は2月の中頃だったように現在の記憶の範囲では思われます。短い対応でしたが、側に被害者本人がいて、出るのかでないのか意思を確認したような様子でした。不在だとは言われましたが、なにか戸惑いが伝わる雰囲気でしたが、警戒する様子はなく手短すぎるとも思える対応でした。

居留守を使う目の前の娘に、ちょっと怒ったような雰囲気が伝わりましたが、干渉する親子関係ではないという感じで、強くて自然な信頼関係があるようにも思えました。母親との関係でも似たようなものを感じましたが、一度だけ警戒心を露わにするような反応がありました。

それは平成4年1月25日の夜に掛けた電話の時だったと思います。その日、彼女は珍しく17時の10分ほど前に、俯きながら泣いたような様子で小走りに退社していきました。私は事務所一階の運転手の控え室のような部屋から前を通り過ぎる彼女の姿を見ていました。

その日、彼女は真冬なのにセーター一枚の服装で目立つように金色のネックレスを首に掛けていました。クリスマスプレゼントとして自分が渡したティファニーのネックレスとも思えたのですが、それにしては長さがかなり違うような印象を受けていました。どちらかが長く短かったのです。

セーターの色は黒だった気がします。ネックレスの長さも含め現在は記憶が薄れています。寒い時期にそのような薄着をすることは事務所内でもなかったと思います。事件当日の4月1日、より露骨に薄い長袖のシャツで、線のはっきりしないパンクぽいデザインでしたが、ピエロ（道化師）の絵がありました。

長袖シャツにピエロの絵が描かれていると言うことは気がつくにも時間が掛かったと思いますが、その場の成り行きで忘れるのも早かったという気がします。宇出津には昔、横浜と同じピエロという暴走族があったということもあり、ピエロは印象的でした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月10日

平成4年1月25日以降、彼女の家に電話をすることは余りなかったかと思います。母親が心配し警戒した様子だったので、電話を掛けることを控えていたと思いますが、依然と違って彼女自身が電話に出るようになっていたので、母親が対応して声を聞く機会がなくなっていたようにも思います。

平成4年2月14日の前後にも彼女の家に電話をしたような気もする。同年3月5日は、会社への電話で自分のアパートの方に電話をしてくれるように頼んだように思う。始めに彼女が会社に指輪をつけてきた日のこと。午前中は、七尾市内の川沿いで、栃木県葛生町から積んできた石灰を粉まみれで荷下ろし。

平成4年3月23日も会社で彼女に自分のアパートに電話をしてくれるように頼んだ。電話を掛けてきた彼女は、外にいるといい久安にいると答えた。車が通るような音が電話口に聞こえていたので、てっきり外にいるものと思っていた。

午後に被告訴人MHKが間に入って会社の近くの金石街道沿いのフランディとかいう名前の喫茶店で会っていた。この時のきっかけは2回目の指輪が原因で、静岡県清水市おろしのミールを積み込んだ日のこと。金沢市内高畠付近の倉庫、五高倉庫という名称だったと思う。

清水市行きのミールは確か積み置きで、翌々日おろしだったと思う。間に挟んだのは休日だったと思う。清水市で荷下ろししてから向かったのは茨城県古河市の青果市場の定期便だったと思う。急いではいなかったはずなので、翌日済みで向かったはず。

東名高速で神奈川県内に入ったパーキングエリア（レストランもガソリンスタンドもない）から会社に掛けた電話で、彼女を罵倒し、彼女はすごいショックを受けた様子でそのまま電話に出なくなった。かわって電話に出たのが被告訴人MHK社長。

被告訴人MHKは初めに「お前いったいあの子に何ゆうたんや。」とかいい、続けて「あの子のこと好きなんか、あきらめや、彼氏おるし」などとあらかじめ用意していたようなことを言った。会社辞めると言って泣いて帰った、とも言っていたような気もする。

さらにこれもあらかじめ用意していたように帰ったら3人で話をしよう、と言い出した。この運行から戻ったのが3月23日の月曜日。古河市の青果市場の仕事は山三成果の定期便。市場急配センターにおける一番のメインの仕事でもあった。

現在記憶の整理をする必要があるけど、山三成果の仕事はもともと金沢市場輸送でやっていたもので、当時から金沢港のイワシの運搬の仕事と同じく、市場急配センターが受けた仕事を、金沢市場輸送にやらせるというかたちになっていたはず。なにか税金対策の意味があるとは聞いていた。

金沢市場輸送で山三青果の仕事を本格的するようになってまもなく、日野自動車の新車の10トンウィング車に乗務するようになった。新車の納車は朝早く、日野自動車がトラックを持ってきたと記憶。ちょうどその時、会社のテレビで湾岸戦争勃発イラク攻撃開始のニュースをやっていた。

1月17日であったことは何となく記憶していたけど、先ほどネットで検索すると平成3年だったみたい。ウィング車が来る前は、冷凍機付きの保冷車に乗務していたと思うけど、12月の10日あたりから、ちょこちょこ山三青果の仕事が始まっていたと思う。

初めに古河の青果市場に野菜に積みに行ったのは10トン保冷車に乗務するようになって間もない昭和62年の5月か6月頃だったと思う。4月に新車で乗務するようになった石7599号で初めての運行は、タケノコを四国の松山市内まで運び、翌日に徳島県内からニンジンを積んで、翌日に東京都内の市場で荷下ろし。

東京都内のニンジンのおろし先の市場は4カ所ぐらいだったと思う。世田谷の市場では明るい時間に荷下ろしをしていたことを憶えている。翌日の朝には千葉県銚子市に行っていたと記憶。場所を探しているうちに、昔漫画で見たような犬吠埼に出て、イカ焼きを買って食べたようなことも憶えている。

銚子では白菜かキャベツを積んで金沢に戻ってきた。地図を見ながら道を選んで、国道4号線を横切ったのが古河市内だった。こんなところに出てくるのかと印象に残っていたところ、暫くして古河の青果市場に行くことがあったので余計に憶えている。

これは金沢の日榮運送の仕事であったような気もする。日榮運送では九州から青果物を積んで北陸に帰ってくるという仕事が多かった。長崎市の長与農協のみかんの仕事は冬場のみかんの時期の定番の仕事だった。他の時期は熊本市近くがメインで、スイカなど野菜を運んだ。

日榮運送は九州から青果物を北陸に運ぶ仕事をメインにしていたけど、長野県からリンゴを運ぶ仕事も定期便にしていると聞いていた。一度、長野県の飯田市からリンゴを4トン車に摘み、滋賀県の大津市内まで運んだこともあった。まだ大型車の保冷車に乗務する前で昭和61年の12月か翌年初めの冬かと。

この時は臨時の仕事で同乗者がいて、大Nの息子の友達で市内配達をしていたU。大Nの息子らはほぼ3人同時に入社したように思う。3人ともに当初から色々問題を起こしたり、人を驚かせる行動をやっていた。昭和61年の9月か10月頃から市内配達の仕事をするようになっていたと思う。

Uは藤江の陸橋の近くに住んでいるといい、だいたいの家の場所を教えてくれていた。前は松任市内になると思われる8号線バイパス沿いのけっこう名の知れたレストランで働いていたとも話していた。テレビCMをやっていたかもしれない。

大Nは昭和59年に自分が初めて金沢市場輸送に入ったときに、大型保冷車の運転手をしていた。丁髷ではないけど髪型や頭の形が織田信長の肖像画に似ていて、一緒にイワシの運搬をしていた頃であったか、50歳になったとか話していた。当時の50歳というのは仕事面では現在の70歳に近い感覚かも。

自分が金沢港のイワシの運搬の仕事をしたのは2シーズンで、初めの時が昭和63年の12月の終わりぐらいから翌平成元年の2月一杯ぐらいまでだと思う。12月の20日頃には配車係のYTを同行して石巻市内まで、オモチャを運んだことを憶えている。たぶんハローマック石巻店。オープン前後の時期。

イワシの仕事自体は11月中か12月の初めには始まっていたと思うけど漁獲量が少なく、本格化するのは1月2月で、3月も漁獲が落ちて4月中も少しはやっていたと思う。漁獲の少ない時期はダンプと八戸の白ナンバーグループでやっていたので、自分ら平ボディに出番はなかった。

イワシの仕事が始まってまもなく、臨時に頼まれて大Nと一緒に茨城県水戸市のデパートに展示会の荷物を運んだことは既に書いていると思います。大Nはダンプに乗務していました。

金沢市場輸送でイワシの運搬の仕事をするようになったのはその前のシーズンで昭和62年のことと思いますが、2台のダンプが納車されたのが3月ぐらいと思われ、シーズンの終わりに近く試験的な段階であったように思います。

2台のダンプはどちらもイスズのトラックでした。自分が新車で乗務した7599号もイスズのトラックでしたが、半月から一月ほど前にダンプの姿を見るようになったと記憶しています。

その昭和61年の12月から昭和62年の4月頃までのイワシのシーズン。金沢港からのイワシの運搬というのは試験的な段階でしたが、そのイワシを原料に加工したミールという魚粉の運搬はすでに本格的にやっており、自分も従事することが多かったと記憶しています。

ミールの仕事は金沢市内と松任市内の倉庫への移動と、名古屋方面への運搬が主でした。名古屋は知多半島が多かったと思いますが、養鶏場の餌として運ぶこともあり、他県への運搬もあり、九州の福岡や、四国の徳島にも運んだことがありました。

初めにダンプに乗務したのがM浦でした。もう一人連れがいて、もう一台のダンプに乗務していたのですが、昭和63年12月の2度目のシーズンにが姿がなく、変わってもう一台のダンプに乗務したのが大Nだったのです。

この時はシーズンにあわせて5台の平ボディ車が全て新車で納入されました。平ボディにFRPの大きな水槽のようなものを乗せていました。特殊な水槽で和歌山県の田辺市の工場に発注したようです。一度、その田辺市までトラックを引き取りに行ったこともありました。南紀白浜の近くのようです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月11日

ようやく思い出した気がするのですが九州で日榮運送に変わり青果物の仕事を請け負うことになった富山市内の運送会社は池田運輸だったと思います。日榮運送の配車係の紳士的な人物は以前金沢市場輸送の事務所にもちょくちょく姿を見せていたのですが、深刻な仲違いがあったようです。

どうも配車係の被告訴人MTKが相当な不義理をしたような話でした。具体的な話としては記憶に残っていないのですが、山三青果の仕事ももとは日榮運送の仕事だったと聞いたような気もします。

日榮運送は個人の運送会社としてはずいぶん待遇がよいとも聞いていました。全体にしっかりした経営で信用もある運送会社だったようです。日榮運送の仕事をしなくなってから九州の青果物の帰りには池田運輸がほとんどではなかったかと思います。高田農協に駐在の担当者がいました。

自分より少し年上ぐらいで20代後半という若さではなかったかと思いますが、富山ではなく地元九州jの人だったように思います。A川という名前だったような気もします。

古河の青果市場の仕事を専属でするようになるちょっと前は、群馬県内の館林市など埼玉県にも近い農協などからキュウリなどの野菜を運ぶ仕事を何度かした憶えがあり、それも池田運輸の仕事だと聞いていたように思います。請負先は日報にも記載する必要がありました。

2度目のイワシの運搬のシーズン、市場急配センターの社員で金沢港の現場を管理するようなことをやっていたのが小林健一。小林に間違いはなかったと思いますが、健一というのは現在ちょっとだけ記憶に自身がもてなくなっていますが、9割以上は間違いないと思います。

すでに本書においても昨年（2013年）中に書いていると思いますが、あえて名前を書いておく必要があると判断した人物です。その彼に前橋市内の国道50言線で、信号待ちで停車中に声を掛けられたのも、池田運輸の仕事で群馬県の埼玉県境にキュウリを積みに向かっているときだったかもしれません。

あるいはすでに古河の青果の定期便が始まっていた頃かもしれません。その運行は、まず富山県内から熊本県の八代市の古くて大きい港のような場所にアルミサッシを運びました。なにか戦前の軍港をイメージさせるような独特の雰囲気がある場所でした。

八代でアルミサッシの荷物を降ろした翌日だと思いますが、鹿児島市内の市場から白菜を積みました。荷物の行き先は長野県内の市場、2カ所だったと思います。一つは長野市内だったと思いますが、夜のうちに荷物をおろしおえました。長野県内の市場というのは余り行く機会がなかったと思います。

長野から夜中のうちに群馬に向けて移動し、碓氷峠を下りてから右側に何件もある大型ドライブインのひとつに入って食事をし、そのまま朝まで仮眠をしました。そして午前中だったと思いますが、前橋市内で大型バイクに乗った小林健一に声を掛けられたのです。

ろくな挨拶もなく、逃げるようなかたちとも言えなくはない感じで会社からいなくなっていました。実際にいなくなる結構前に、父親が体調を崩したので実家に帰らなければならなくなった、というような話をしていたような気もするのですが、辞めていなくなる前は、不審さが目につく印象でした。

既に書いていると思いますが、彼と入れ替わりのようなかたちで、金沢市場輸送の事務所で姿を見るようになったのが、被害者AAさんだったのです。彼女の場合、一日中事務所にいることはなく、初めのうちは中央市場内の仲買の事務員が仕事に来ているのかと思っていました。

彼女は当時、斬新なデザインとして発売されるようになったホンダのトゥデイという軽四の新型車に乗っていたので、会社の駐車場に車が止まっているとそれだけでも目立ちました。昭和50年代以前のホンダのシビックなどのどうかと思うデザインを知っている世代なので、ホンダ車の変化は大きかったです。

辞める前の小林健一は、周囲の様子をかなり気にして後ろめたそうだったので、なにかそれだけの理由があって噂があったのかと今は考えますが、私の耳にはいるような話はなく、運転手や社員の間で彼のことが話題になるようなこともほとんどなかったと思います。

一応、運転手と社員を分けて書いたのは、当時はすでにけっこうな割合で、トラックを持ち込みで仕事を請け負う形態の運転手がいたからです。他に傭車という運転手もいました。イワシの運搬のM浦なども社員ではなく、特別な契約で仕事をしているような感じでした。

小林健一がイワシの運搬の現場責任者のようなことをやっていた時期というのは平成元年の12月から平成2年の3月いっぱいぐらいだったと思います。4月中にもイワシの水揚げで現場に出向くことはあったのかもしれないですが、暇を持てあますような姿が多かったと思います。

昼間から近くのラーメン屋で酒を飲んだりしていましたが、彼の場合飲むのはほとんどが焼酎ではなかったかと思います。当時、大きなペットボトルの焼酎というのは出始めた頃で、銘柄も樹氷ぐらいしか自分は知らないぐらいでした。

その樹氷のペットボトルだったと思いますが、彼はイワシの運搬の金沢港の現場でも常にその焼酎のペットボトルを携帯していたような気がします。飲酒運転に関してはけっこう寛大で罰則も緩い時代だったとは思いますが。大きな焼酎を携えて仕事をするというのは、やはり尋常ではなかったかもしれません。

酔っぱらって車を運転する姿を見たというはっきりした記憶もないのですが、現場での待機時間が長いことはあっても、かなりアルコールの残った状態で運転をしたり、責任者ということで急に用事が入って運転することの可能性も高かったことが考えられます。

新たに思い出したことですが、小林健一は石川県警で警察官をしていた頃、加賀温泉のソープランドで出てきたソープ嬢が交通事故の処理をした相手で驚いたとか慌てたとか話していたことがありました。山代温泉と言っていたような気もします。他に山中温泉、片山津温泉などがありますが。

人命救助の活動で酸素ボンベなど潜水道具一式を自費で揃えたとか言っていたのは小松警察署の時と話していたような気もします。それを10万円だったかで買わないかと言われ、彼の家まで現物を見に行ったのはその時だったように思います。

海の潜水に関心はあったのですが、呼吸法などの作法があり間違えると死ぬこともあるとか説明されて、面倒だと思い買うことはなかったです。彼の家に行ったのはその時一度だけでしたが、玄関先より中に入ることはありませんでした。

それというのも家の中から、ただならぬ彼の妻の声が聞こえ、追い払われるような拒絶的対応を受けました。初めて行った家で、そのような経験を受けた経験はなかったと思います。出て行けと塩をまかれたり、警察を呼べと言われて逃げた経験はありましたが、息子の不良付き合いを心配した親の対応でした。

彼には二人の小さい子供がいて二人とも女の子だったように思います。幼稚園児ぐらいだったような気がするのですが、その子供の姿は何度か見かけた憶えがあるものの、妻の姿を見ることは一度もなかったように思います。

その家というのも貧乏長屋のような一角でした。住所としては若宮町になるのではと思いますが、出雲町に隣接したようなあたりで、金沢市内にこういう場所があるのかといささか驚いたぐらいでした。長屋と言っても同じような古い一軒家の集まりだったように思います。

なにか特別な映画の舞台セットのような異様な雰囲気が感じられる場所でした。建物自体が古いだけでなく見たこともない感じだったのですが、なによりも彼の妻の対応に驚いて、その場の雰囲気にのまれたことが、不思議な映画のワンシーンのような強烈な印象になったのかもしれません。

家の外側が途端で赤茶色の錆止めの色になっていたような気もします。同じような家が並んでいたのですが、前後の家の間は何もないスペースが広かったという印象も残っています。舗装されたスペースではなく、時代劇に出てくる土埃が舞い上がるような状況として記憶に残っています。

金沢市内でもずいぶんと古い町営住宅のような建物やアパートというのは珍しくなかったのですが、後にも先にも見たことのない町並みの一角でした。そういう場所に住んでいる不満が、訪問者に対する攻撃的な態度につながったことも考えられますが、相当の恐妻であることは間違いなさそうでした。

けっこうくどく説明を書いたと思いますが、これには他に理由があります。その後、この時といくぶん似たような経験をしたことがあり、そちらの方は思わぬ急展開もあったので、比較の上でもできるだけ詳しい説明をしておこうと考えた次第です。

小林健一は私が24歳ぐらいの時に、27歳かあるいは28歳と言っていたように憶えています。今思えばさほど年も離れていなかったようですが、普段は落ち着いた雰囲気でかなり年配という感覚で接していたように思います。話し方もきれいな標準語に近かったような気がします。服装も小ぎれいでした。

大型のバイクの他、車も所有していたと思いますが、車の方はかなり低価格な中古車という印象が残っています。やけにこざっぱりした服装も落ち着いた物腰と話し方も、今思えばいかにも警察官らしい特徴でした。服装は作業着が多かったと思いますがいつも新品のようなものを身につけていたような。

バイクはスポーツタイプではなく落ち着いたツーリングタイプという感じでした。白バイ隊員をやっていたというぐらいなので、バイクは相当に好きだという感じですが、スピードを出すのが好きだという風ではなく、トラックでも普通以上にゆっくりとした運転をしていたように思います。

酒も相当に好きな様子でしたが飲むと決まって陽気になり、終始笑い続けていたという印象も残っているぐらいです。焼酎のボトルをラッパ飲みしていたような記憶もあるのですが、今思えば水で割ることもなく、常にストレートで焼酎を飲んでいたことが考えられます。

仕事に対する姿勢はまじめそのものという感じでしたが、仕事の内容については余り一緒にしたという記憶もなく、特に仕事が出来るとか頑張っているという話も耳にすることはなかったと思います。初めは10トンの平ボディで石川県内や富山県内のローカルの仕事をしていたようです。

仕事の内容が違うので運転手としては一緒に仕事をする機会も少なかったですが、イワシのダンベの仕事では一緒になることがあったと思います。ダンベというのは平ボディの大型トラックに全部で16個平積みで乗るような水槽で、水槽の一つ一つはフォークリフトで運べるものでした。

小分けに区切られている分、走行中に揺られて魚が傷むことも少なく、養殖ハマチの餌として冷凍加工する工場に運ぶことが多い仕事でした。私自身は三重県の白塚町というところに運ぶことが多かったとも記憶しています。四国や石巻に行くこともありましたが、まとまった台数の仕事でした。

小林健一が平ボディ車以外に乗務するのを見た憶えはなく、臨時で保冷車に乗るような仕事をしたという話は聞いておらず、無理な配車をすることが多かった被告訴人MTKには頼まれることもあったとは思われますが、強く拒絶していたのではと思われます。

保冷車と平ボディでは仕事の内容がかなり異なるのですが、平ボディの仕事はミールとダンベが多かったはずです。特にイワシの運搬がある冬場の時期は。ミールの方は加工品なので他の時期も仕事はあったと思いますが、やはり冬場がメインでした。

さきほど説明が途中になったと思いますが、5台の平ボディが新車で入りました。トラックはイスズが2台、三菱ふそうが3台ではなかったかと思います。初めのシーズン、運転手もおらず、まともに稼働していたのは2台だけと思います。

二人ほど運転手が乗務しましたが、どちらもすぐに辞めていったと思います。一人は富山県の福光市から来たというサラリーマンのようないい年の人でした。名前も憶えておらず、とにかくすぐにいなくなったと思います。

もう一人は浜田というよくある名前の人だったと思います。新潟県の直江津でガソリンスタンドで働いていたような話で、女性と一緒に不倫か何かで駆け落ちしてきたような話でした。この人物の容貌が江村正之検察官によく似ていたので、悪夢を見るような気持ちになったこともありました。

短い間で余り話をした憶えもなく特に接触もなかったように思いますが、イワシを石巻まで運んだとき、大勢で荷下ろしの後、食堂に入ったときその浜田という人と彼女のような女の人の姿があったことは、なんとなく印象的に憶えています。そのうち姿を見なくなりましたが長くはいなかったはずです。

もう一人、名前の方は思い出せないですが、漫画のゴルゴ13のような雰囲気もある人物でした。M浦の紹介で入ったように聞いたと思うのですが、他の誰とも話をすることがなくいつもトラックの中で一人でいるような人物でした。身だしなみもしっかりしていて筋の入ったヤクザもののようにも見えました。

実際話してみると、そう暗い感じでもなく人付き合いを拒絶するようなタイプにも思えなかったですが、現場では仕事にのみ専念すると割り切っているようにも思えました。シーズンの初めからはいなかったような気もするのですが、途中で辞めることもなく終わりまでいたように思います。

彼も平ボディに大きな水槽を積んだものに乗務していました。イスズのトラックだったと思います。自分もイスズのトラックを選んでいました。どうせ空いているので三菱ふそうのトラックに乗務することもありましたが、他社に比較しブレーキ性能が格段によかったイスズ車がほとんどだったと思います。

イワシの運搬の仕事というのは時間的にずいぶんと不規則で待機時間も長いものでした。長い待機時間に会わせて自宅に帰ったりしていましたが、基本的に24時間態勢で漁船と工場の都合に合わせるという仕事でした。

工場の機械は原料であるイワシがなくなると機械を停止するしかなく、いったん停止してしまうと、次に動かすとき70万とか80とか言う費用が掛かるという話でした。

漁船の方も金沢港の港を出てすぐのところに大量のイワシがとれることもあれば、片道十数時間とか掛けて舞鶴沖や、新潟県の佐渡島の近くまでイワシを探しに行くという話でした。工場の機械のトラブルで荷下ろしが出来ないと言うこともあったように思います。

待機時間が長いと暇を持てあますこともあり、外食も多かったと思います。初めのシーズンの時は、大Nと一緒にいることが多く、おまけに食事のほとんども彼が私におごってくれていました。以前から能登では遠洋漁業の漁師の先輩や友達におごってもらう習慣は多かったのですが、金沢では珍しかったです。

さすがにどうかと思うぐらい頻繁におごってもらっていました。一緒に食事に行くと決まって支払いをしていてもらっていたように思います。年は親子ほど離れていましたが、けっこう気の合うところもあったのか、退屈することもなかったです。

大Nはその後、金沢市場輸送を辞め、守田水産輸送で運転手をしていたこともあったのですが、そのうち守田水産輸送で鮮魚の中継の仕事の現場を任されるようになっていました。

以前から金沢市場輸送の石巻、塩釜の定期便では富山県の高岡の市場行きの分を守田水産輸送に中継として出していました。富山市の市場は高速道路のインターからも近く、直接おろしていたと思います。福井の市場分は、自社の4トン車が初めの頃より中継をしていました。

金沢市場輸送で一番多い仕事だったと思いますが、東北陸運の仕事で石巻と塩釜から、それと塩釜の宮城陸上の仕事も別にやっていました。宮城陸上の仕事はおでんなどの練り製品が比較的多く、東北陸運の塩釜では北海道の苫小牧からフェリーで運ばれてきた荷物が多かったです。

季節によってサンマや鱈などの荷物が多いこともありましたが、荷物の量も時期によって倍以上の違いがありました。正月前など多いときは一日に大型車4台分以上の荷物がありました。4トン車の数は少なかったですが、プラスになることもありました。

市場関係の仕事では帰り荷がメインというのがほとんどでした。その帰り荷の積み込みに合わせ、現地で泊まりになるということも多い仕事でした。泊まりといってもトラックの中で寝るだけというのがほとんどです。

このような時間を持てあますうちに、パチンコやパチスロで散在するようにもなったのですが、そのうち完全にやめていました。そのうち泊まり自体をずいぶんと苦痛に感じるようになり、泊まりの多い金沢市場輸送をやめるという動機の一つにもなりました。

仙台おろしの荷物だと荷下ろしをしてすぐに積んで帰るという仕事も多かったのですが、配車の調整で泊まりになると丸一日に近い待機時間になりました。九州では連休などをはさむと、2，3日の連泊というのもありました。

市場急配センターに移ってからは極力泊まりは避けて欲しいとも配車に頼んでいました。ウィング車だったので魚を運ぶことはなかったですが、青果でも泊まりになることはありました。数が少なかったのでその分記憶にも残っているのですが、その一つが静岡県清水市での荷下ろしでした。

長距離特に市場関係は時間に追われることもあり、免許の点数を失う可能性が高いものでした。スピード違反もそうですが重量オーバーも神経を使いました。時間があるときは、取り締まりの可能性のあるインターから高速に乗ることを避けたりもしていましたが、走行中にパトカーに引っ張られることもある。

免許証を失ってはもともこもありませんし、次第に市内配達かローカルの中継のような安定志向の仕事をしたいとも考えるようになっていました。大型車は高速でも最高速度が80キロなので雪道や渋滞のロスを考えると120キロ以上で走行することも多く、常に一発で長期免停のリスクと背中合わせでした。

自分の場合、結婚し子供が生まれた頃、長期の免停とかで人一倍難儀した経験もあるのですが、その後は違反なしの満点の期間も長く、一度に沢山の点数を失う違反で捕まるようなこともありませんでした。

金沢市場輸送でのストライキ絡みのごたごたもあって、私は守田水産輸送の大Nに中継の仕事で使ってくれないかと頼んでいました。こういう仕事は空きも少ないはずなのですぐにというのは期待せず機会があればと声を掛けていたのです。守田水産輸送の中継は都商事という会社名になっていたかと思います。

後にも先にも大Nから自宅のアパートに電話があったのはその時だけだったという憶えもあるのですが、忘れた頃になって中継で使ってもらえるという連絡がありました。しかし、それは市場急配センターで仕事をすることが決まった直後のことでした。あるいは当日かもしれません。夜でした。

金沢市場輸送と守田水産輸送の間にはいくつか運転手の行き来もありましたが、定期便を一緒にするという時期も1年かもう少し長い期間がありました。もともと守田水産輸送がやっていた青森の定期便を一日交替でするようになり、帰り荷として守田水産輸送のトラックが石巻、塩釜の定期便をするように。

金沢市場輸送の事務所が西念から二口町の新事務所に移転した頃を挟んでいましたが、移転してしばらくの間は、守田水産輸送のトラックが事務所と一緒につくったスタンドに給油に来ていたぐらいでした。そのうち仕事のやりとりはなくなりましたが、はっきりした理由を耳にすることはなかったかと。

この頃、守田水産輸送では宇出津のTという人が大型車に乗務しているという話でした。自分よりかなり年上で7歳ぐらい年長のように聞いていたと思います。私より被告訴人OKNの方がよく知っている人のようでしたが、そのうちトラブルがあったらしく、Tにひどい仕打ちを受けたように話していました。

特に関心のある話でもなく聞き流し、突っ込んだ話も聞いていないので記憶にもよく残っていないのですが、これも車の売買を巡る問題ではなかったかと思います。被告訴人OKNはずいぶん腹を立てた様子で、ずいぶんといい加減な人間のようにTのことを話していました。

Tとは仕事で顔を合わすこともあり、何か話をする機会もあったように思うのですが、これも記憶には残っていません。ただ噂に聞いていたのとは印象が違い、がっしりしているものの体も小柄に見えたように憶えています。

どちらが先か後か重なる時期であったかどうかもはっきり思い出せないですが、もう一人、宇出津の人が守田水産輸送の運転手をしていたことがありました。名前はN田としておきますが、自分と同じ町内にある名前で、一つ年上に同じ名前の人がいました。被告訴人OSNの同級生でした。

同じグループで遊び仲間だった時期もあるはずです。宇出津の一部の町内でしか聞いたことのない名前でしたが親戚である可能性は高く、そういう話もして否定はされなかったようにも思います。

一度、石巻で一緒に泊まりになったことがあり、魚市場の前にトラックをとめて、じっくり話をしたことがありました。年齢はかなり年上で40歳ぐらいではなかったかと思います。守田水産輸送には長い間はいなかったと思います。

その後数年ぶりに再会したのが平成4年の2月頃のことで、場所が市場急配センターの一階の休憩室でした。休憩室というよりは運転手の控え室という感じでしたが、出来て間もない頃に、運転手は用事があるとき以外は2階の事務所ではなく、この部屋にいるようにというお達しがあったからです。

決まった呼び名もなかったと思いますが、そういうことで実質を踏まえた控え室ということで説明をしたいと思います。N田さんの姿を見たときも驚きましたが、被告訴人東渡好信と輪島のHさんとは以前から顔見知りだったらしく、彼らを訪ねてきたという様子でした。

以前から顔を出していたことも十分考えられますが、私が顔を合わせたのはその時が初めてで、その後も3月の10日前後に一回、姿を見たことがあったようなないような曖昧な記憶しか残っていません。彼はその時、木材を運ぶトレーラーに乗ってきていたように思います。

城山運輸という少ししっている運送会社のトレーラーだったとも記憶しています。東渡好信や輪島のHさんは、以前木材の運送の仕事をしていて、どちらもトレーラーに乗っていたという話だったと思います。木材と言うよりは丸太だと思いますが、金沢港では丸太置き場のような土地も広がっていました。

この丸太を運ぶ、トラックやトレーラーの話は前から聞くことがあったのですが、急ブレーキを踏んだ場合、後ろから丸太が飛び出して運転席を突き破り即死するという話で、とてもやる気にはなれないと自分としては考えていました。

被告訴人東渡好信はHらに「さんちゃん」と呼ばれることが多かったのですが、なぜ名前にない言葉が出てくるのか不思議に思い、控え室で輪島のHさんに質問してみたことがありました。普段は気さくに受け答えする人でしたが、答えは返らず、それ以上の質問はしませんでした。

その時の会話の内容だったのか、これも現在の記憶でははっきりしませんが、N田さんが木材のトレーラーの仕事をするようになったのは、比較的最近のような様子に私には感じられたと記憶に残っています。3人ともかなり前からの顔見知りで最近になって知り合った関係ではないとははっきり感じました。

小木運送にいたという話は前に聞いていましたが、この小木運送という会社も自分にはよくわからないところがあります。昔からある同じ宇出津の漁運会輸送ですら、私はほとんどしらないのですが、そういえば被告訴人OKNが一時期、漁運会輸送で仕事をしていたということがありました。

小木運送のある小木港は現在は宇出津と同じ能登町ですが、確か平成17年の、合併以前は珠洲郡内浦町小木でした。宇出津は寒ブリも名産ですが定置網などが主体の地場の漁の港です。一方の小木港は遠洋漁業が主な港で、イカの町ともいうぐらい船内凍結イカが名産になっている港です。

現在ではイカ漁の規模も小さくなっているようですが、以前は北洋のサケマス漁もやっていました。遠洋漁船に乗る若者も多く、昔付き合いのあった友人知人も、遠洋漁船の経験者が多かったです。金沢市場輸送の運転手で能登の人間のほとんども、小木の漁師の経験者でした。

小木の遠洋漁業がふるわなくなったのは国際問題となった二百海里問題が起こってからで、拿捕や操業停止という深刻な問題もが立て続けに怒っていました。その影響は漁業にとどまらず、大工なども失業して、出稼ぎに出ると人が多いと聞いていました。

宇出津でも夜逃げをしたり自殺する人が相次いだと聞いていました。それはちょうど自分が初めに金沢市場輸送に入社した昭和59年の時期とも重なっていました。その年の春頃に大型運転手として入社してきた珠洲市若山のTという人も大工をしていたけど仕事がなくなって金沢に出てきたと話していました。

その若山のTさんは、その後、守田水産輸送に移って運転手をしていましたが、たまたまなのかそのうち顔を合わす機会がなくなりました。同じく珠洲市若山に家があると聞いていたSさんは、小木運送の運転手でした。

珠洲市若山のSさんは一時期、金沢市場輸送の傭車として専属的に仕事をしていたことがありました。けっこう長い間だったと思います。一緒に仕事をする機会も多かったので、色々と話も聞いたように思いますが、ないときは自分で仕事を探すという普通の運転手とは違う会社との関係のようでした。

同じく金沢市場輸送で傭車をしていたKさんはトレーラーを持ち込みで所有していましたが、以前は小木運送の運転手だったとも聞いていたと思います。さらに小木運送の金沢の事務員だった女性と結婚したとか。Kさんも小木中学校だったはずですが、小木の近くの集落だと聞いていました。

余り具体的に書くことを避けますが、この小木の近くの集落では他に二人、金沢市場輸送で仕事をしていた人がいました。一人は昭和59年に私が入社したときにいたTさんですが、小木の漁師で、漁のない時期だけ金沢市場輸送で運転手をしていると話していました。

基本的に小木の遠洋漁船の漁師は5月か6月頃に出漁して12月の中頃に戻り、次の出漁まで休みになるという話でしたが、ちょうど自分の友達が漁師をするようになった頃には漁の仕事だけでは生活が厳しくなって、休漁の期間は出稼ぎに出たり他の仕事をするということが普通になりつつあったようです。

その一昔前は、3ヶ月ほどで500万円ほど稼げることもあり、休漁の期間は酒を飲み歩いて遊んで暮らす人が多かったとも聞いていました。

2度目のイワシのシーズンで一緒になったTさんもそんな小木の漁師という話だったと思います。彼も小木の町ではなく、他の二人と同じ集落だと話していたように憶えています。12月中にその姿はなく、1月中華途中から参加していたように思います。三菱ふそうの平ボディに乗務していました。

イワシの運搬を一緒にやったTさんとは、T林と3人で片町に飲みに行ったこともありました。無口で自分から話しかけるようなことも少なく、タイプはかなり違いますが前のシーズンにいたゴルゴ13似の人に、どこか通じるようなところもあったという気もします。

T林は長距離の保冷車の運転手でしたが、私の2度目のイワシのシーズンでは、同じく平ボディでイワシの運搬の仕事をするようになっていました。けっこう偏屈なところもありましたが、彼とは一緒にいる時間も長く、おごってもらうことが多かったです。食事より飲み屋が多かったと思います。

彼とは長距離運転手をしていた頃からの付き合いでした。入社は私より遅く、昭和61年の12月頃ではなかったかと思います。改めて考えてみると被告訴人IHKや被告訴人UHKと同じ頃の入社かと思います。幾分少しだけ早かったかもしれません。初めのうちは4トン車に乗務していたと思います。

昭和63年には新車でイスズの冷凍機付きの10トン保冷車に乗務していたと思います。この時の新車からナンバーがそれまでの「石」から「石川」に変わっていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月12日

T林は以前石川トヨタで働いていたと話していました。車の営業の仕事をやっていたとも話していたと思います。その話を聞いていた時点で、現在でもブローカーとしてオークションに参加する権利のようなものを持っていると話していました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月13日

久しぶりに思い出したことがあるので先に書いておきたいと思います。金沢市場輸送の女性事務員のことです。まず大きな変化として事務所の移転がありました。昭和63年の7月頃だったと記憶しています。なんとなく7月ですが、それも初めの頃だったと思っています。

それまでの事務所は私が初めに入社した昭和59年1月当時から西念町の中央市場前にありました。こちらも昨年中にGoogleマップやストリートビューを利用して説明のための画像ファイルを作成してあります。パソコンの画面の状態を画像ファイルにしたものですが、スクリーンショットです。

インターネット上のリンクとタイトル名を次に掲載します。ファイル名は→　金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日01時43分36秒.jpg

資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ - 105782624485753679454 - Picasa ウェブ アルバム <http://bit.ly/1j27RIu>

基本的に写真などの資料は、Picasa ウェブ アルバムを中心に使いたいと思います。パソコンのシステムデータから独自に作成したプログラムを使ってPicasaに登録するようにしています。GoogleのサービスがPicasaのAPIを公開しているので出来ることです。

パソコンのシステムデータと書きましたが通常のハードディスクに保存しているファイルのことです。Windowsパソコンではフォルダというかたちでファイルが階層的に保存、管理されているはずです。この一つのフォルダを丸ごと添付用のDVDに書き込み、本書と一緒に提出する予定です。

なお、自分の場合、パソコンは業務用としても通常使われていることが多いWindowsパソコンとは異なり、LinuxというOSを使っており、コンピュータのシステムとしてはUNIXの仲間になります。フォルダのこともディレクトリと呼びますが、中身はほぼ同じはずです。

より大きな違いはテキストデータの文字コードがUTF-8であることと改行のコードがUNIXになっていることです。Windows標準のメモ帳などで開くと改行が認識されていなかったり、文字化けを起こしているかもしれませんが、最近のワープロソフトなどであれば普通に読み込むことが可能かと。

パソコン内のファイル名をそのままWebサービス上のタイトル名やラベル名として識別できるように心がけています。なお、このファイル名もWindowsパソコンのOSの古いものだと文字化けを起こすかもしれません。そのような文字コードの問題もWebサービスは吸収してくれるはずです。

Windowsパソコンも私の知る限りWindows7以降のOSはずいぶんとよくなっていてUNIX環境との違いもうまく処理してくれている感じです。なによりシステム内のファイル名検索がWindowsXPの頃に比べると格段によくなっていると思います。

ネット上のサービスを使った情報はそれなりに改ざん等のりすくもあるかと思いますので、一つの原本のようなかたちで添付DVDのファイルを保存してもらえればと思います。ファイル数も多いのでDVDに書き込む前の状態を完全に保証することはできないですが、二重三重に対策を講じています。

あと本書におけるインターネット上のURLですが、本来のURLでは文字数と含まれる特殊文字で不具合を起こす可能性があるので、短縮URLを使うようにしています。またTwitterやGoogle+のサービスでもリンクを使っているので、検索機能を活用した方が早い場合もあるかもしれません。

Web上の検索についてはけっこう気を遣っている部分があります。なにより自分自身が過去の記事やデータを探し出すのに難儀し時間を無駄にした経験があるからです。検索の精度自体に疑問のあるサービスもありますし、時間が掛かったり、エラーを起こす場合もあります。

短縮URLは無料のサービスなので5年後、10年後となるとリンクが切れてしまうという可能性も考えております。サービス自体がなくなる可能性というのも、Webサービスに共通する可能性かと思います。従ってファイルシステムとWebサービスの一致、統合と言うことに出来るだけ配慮しています。

西念町の金沢市場輸送の前の事務所に的を絞って説明するため「Picasa ウェブ アルバム」上においてファイルをコピーし別のアルバムを作成しました。なお、直接のリンクではなく間にGoogle+ページを使いました。

告発／告訴金沢地方検察庁御中 - Google+ - 金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム… <http://bit.ly/1aVtjqr>

クラウドとも呼ばれるWebサービスには様々なものがありとても便利なのですが、サービスごとに異なる違いや扱いにくい癖があったりします。直接リンクを開いていると管理をしている側においても戸惑ったり不便を感じることがあります。

そのようなサービスごとの違いを級数する意味でも私はGoogle+ページを軸にネットを使ったプレゼンのようなことをしたいと思います。Google+では長すぎるタイトルをTwitterでも支障が出ない文字の長さに適切に処理してくれるという仕様になっているので、とても都合がよいです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月14日

スクリーンショットの画像ファイルですが、アプリを使ったものとプログラムを使ったものがあります。プログラムのものは自動でファイルの作成時間をファイル名に含めるようにしています。

スクリーンショットの場合はjpegとpngの両方のファイル形式を使っているかと思いますが、プログラムはjpegを使うようにしていると思います。デジカメの写真ファイルはすべてjpegファイルになっているはずです。

デジカメのjpegファイルはExif情報というものを持っており、この情報から自動でファイル名に日付と日時を含めるようにしている場合もあります。なお、Exif情報は変更も容易に出来るようです。偽造も同じかと思います。

一つの注意点としてWindowsパソコンではファイルの作成日時を情報として保持しているようですが、UNIX環境ではファイルの変更情報のみを保持しているようです。タイムスタンプと呼ばれることもありますが、コピーの仕方により情報が変わってしまう場合もあります。

管理する私自身ですらファイルの作成日時を把握できなくなるおそれもあるので、なるべくファイル名にファイルの作成日時に関する情報を含めるようにしています。偽造変造のチェックという意味、目的もあります。変化の見落としというのもあり得ることかと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月15日

「嫌われ監察官 音無一六〜警察内部調査の鬼〜」という刑事ドラマを昼に見ていたところ、新たにいくつか思い出すことがありました。長い間忘れていたことですが、どうして忘れていたのかと不思議にも思いましたが、思い出してよかったとも安堵しました。

私が岐阜県海津町から戻って金沢市場輸送で市内配達の仕事をするようになったのは昭和６１年の8月の25日頃のことでした。9月中か10月頃だったと思いますが、輪島のMYという男が入ってきました。最初は市内配達の運転手として入社したはずです。

中央市場内の売り場で初めて顔を合わせたことを今も憶えていますが、毎朝、同じ場所で鮮魚や青果物を積み込んでいたのですが、同じ場所で彼と顔を合わした回数は少なく、ごく短い間だったと思います。

彼はすぐに4トン車で長距離の仕事をするようになったと思います。彼は思い出話としても何度か、市内配達でサンテラスユニーに行き、食品売り場の中で青果物をのせた台車を押していて知人に会い、とんでもない恥をかいたとか話していました。

サンテラスユニーというのは金沢市中村町にあるデパートで1階が食料品売り場になっていました。この中村町の周辺の白菊町や増泉というあたりは、水商売関係や暴力団関係者が居住する割合の高い地域でもありました。金沢市内の中心部にも近く、徒歩の通勤も可能なエリアかと思います。

そのあたりはアパートも多かったので居住する若者も多かったと思います。金沢市内は戦災に遭っていないので古い町並みも残っており、同じ中心部でも他の辺りはアパートの数も比較的少なかったという気がします。

金沢市内の中心部というのは片町や香林坊のことですが、以前は県庁も香林坊の近くにありました。金沢市役所は今もその近くにあるのではと思います。その辺りは自分の市内配達の受け持ちコースでもありましたが、大通り以外は道も狭く駐車のスペースも少ないです。

輪島のMYは早い段階で長距離の仕事をするようになっていたはずですが、大型保冷車に乗務するようになったのは昭和62年4月の自分より遅かったように思われ、その分4トン車に乗務していた期間が長かったように思われるのですが、仕事内容が違っていたためか、顔を合わす機会は少なかったかも。

今となっては細かいことを思い出すのは困難ですが、彼も大型免許を取得したのは金沢市場輸送に入社した後ではなかったかと思います。彼は私より学年で２つ年上だったので、年齢や普通免許の経験という条件は問題なかったはずです。

私は昭和61年の11月27日に大型免許を取得しましたが、普通免許の取得自体が半年以上遅れていました。昭和57年の6月、自動二輪免許で1年間の免許取消処分を受けていたためです。大型免許には普通免許を取得してから2年か3年の経過という条件があったはずです。

大型免許を取得した日付を憶えているのは誕生日の翌日だったからです。市内配達をしながら会社に時間の都合を作ってもらい一発試験で合格しました。7回目ぐらいの合格ではなかったかと思います。試験自体は1回1500円の費用であったと記憶しています。実技試験自体も時間は短かったはず。

実技試験に合格したときだけは、手続きの時間も多少長くなり、費用も多少掛かったとは思いますが、プラスで2千円か3千円程度ではなかったかと思います。4トン車の経験があれば、5回ぐらいの回数が平均的とも聞いていたように思います。

試験に10回通っても2万円も掛からないぐらい、平均より若干少ない回数で合格すれば1万円程度の費用で済んでいたはずです。時間のやりくりも会社が面倒をみてくれていたので、仕事を休む必要もありませんでした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月16日

大型免許について細かく書いたのは、ついでに平成3年の被告訴人YSNの大型免許取得についても触れる必要があるからです。YSNの場合は大型免許の取得を目的に金沢市場輸送に入社し、市場急配センターで市内配達の仕事をするようになりました。

金沢市場輸送への入社が決まった翌日ぐらいには市場急配センターで市内配達をするようになっていたはずで、金沢市場輸送で仕事をする姿は一度も見ていないはずです。そのあたりの手回しのよさにも、なにか計画性があるのではと考えることがありました。

YSNは金沢市場輸送に入社するとき、大型免許の取得の費用と借金の返済にもお金が必要だと私に話していました。最初は20万円必要と話していたようにも思いますが、すぐに30万円に額を上げ、さらには50万円必要だと言い出して、すぐに金沢市場輸送との間で50万円の前借りが決まったはずです。

YSNは私の紹介というかたちで金沢市場輸送に入社が決まり、50万円の前借りをして、私がその50万円の保証人ということになりました。YSNの非常識で不可解な言動はそれにつれて始まりましたが、実際に給料引きで支払いを始めたのはその年の11月か12月のことだったと思います。

翌年である平成4年の2月14日には、私が北國銀行中央市場支店で25万円を降ろして、残債を完済する形で被告訴人MHK社長に、これで借金はなくなったのでいつでもクビにして欲しい、今後一切の責任は負えないと口頭で伝えました。それまでも色々あったのですが、当日の午前中にあったことが原因。

私の記憶は薄れているので説明も十分には出来なくなっていると思いますが、東名高速の豊橋インターで、50箱ぐらいの白菜をウィング車から散乱させたという話でした。これもにわかに信じ難い話でしたが、後ろに停車した観光バスの乗客が降りてきて、白菜を持ち去ろうとしたとも話していました。

被告訴人YSNの異常性について話が私の耳にはいるようになったのは平成3年の秋でした。なにか危険な運転をしているという話でした。私に注意するように言ってきたのも被告訴人MHK社長、それに配車係をするようになった被告訴人東渡好信、それに輪島のHさんでした。

出勤時間が遅かったり連絡が取れないという苦情を私に向けてきたのもその3人でした。とにかく私の方から被告訴人YSNに注意をして欲しいと繰り返し言うので、私の方から彼のアパートに電話をしたのですが、電話はつながらず、彼は電話の線を元から抜いているとも話していました。

当時彼が住んでいた金沢市内花里のアパートは、ちょっと変わっていて民家の2階の一部屋だけがアパートになっているという感じでした。8DKではなかったかと思います。割と広いダイニングキッチンと奥の一部屋だけでした。その部屋の奥の方の半分近くはベッドが占めていました。

ダブルベッドかセミダブルベッドでしたが、部屋自体が狭かったのでベッドが大きく見えていたようにも思えます。そのアパートの部屋はYSNが交際していた女性がもともと住んでいたももので、彼が転がり込んで同棲するようになったという話でした。車も彼女のものと聞いていました。

車種の方は忘れましたが1000CCか1300CCの小型車だったと思います。かなりポンコツな車で、内部も飾り気がなく小汚くも感じられまるで建設会社の現場通勤に使うような車という印象でした。YSN自身は車を所有しておらず共有していたので彼女が会社に送り迎えに来ることも少なくなかった。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月17日

平成14年の4月の初め頃、被告訴人YSNを自宅に招いて話をしました。翌日に宇出津新港の職業安定所で顔を会わせたという記憶もあるのですが、偶然だったのか、ちょっと気になってきました。会話の内容など記憶に残っていることも少ないのですが、私の認識の甘さがあったようです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月18日

被告訴人YSNから連絡があったんは平成3年の4月の終わり頃であったと思います。現在の記憶ではなんとなくですが、ちょうど4月の終わり頃に金沢市場輸送への入社が決まったように思います。一方で、彼が仕事をするようになったのは5月の連休の後であったような気もします。

私が金沢市場輸送の長距離の仕事で最後の運行になったのは神戸市内の港の方で、たしかミールをおろし、帰り荷がなくって空車で戻った運行でした。輪島のYと一緒でした。彼は大型保冷車の払い下げを受け傭車の持ち込み運転手として、金沢市場輸送の仕事をしていたはずです。

保冷車にミールを積むということは余りないことでしたが、たまにはあることであったと思います。今考えると、2台とも空車で戻ったというのは、どうかという気がします。

神戸市内の四国行きのフェリー乗り場から会社に帰り荷のことで電話をしていました。側で、電話で別れ話の喧嘩をしているような若い女性がいました。ドラマのような迫力で印象的だったので、これまでの記録なかでも何度か書いていると思います。魚崎だったかもしれません。

細かいことは思い出せないのですが午前中には荷下ろしが終わり、帰り荷のことで何度か会社に電話を掛けながら神戸で待機をしていたはずです。ずいぶんのんびりしていたと思うのですが、夜中には福井県の敦賀にいました。国道8号線沿いのガソリンスタンドで給油した憶えもあります。

道路上に金属の固まりのような物体が落ちていて走行中に危険な思いをしたということもありました。敦賀ではガソリンスタンドの近くで食事をした憶えもあるのですが、会社に着いたのは翌日の朝だったと思います。家には寄らず、神戸から直接会社に着いたように思いますが、現在記憶はないです。

その場で金沢市場輸送の社長であり配車係の被告訴人MTKの挑発的な言動があって、私は会社を辞めるといい、その場で家に帰ったように憶えています。すぐに九州の方に走るように言われたのが原因でしたが、繰り返しで積もった不満や、会社内におけるトラブルで愛想が尽きたのです。

書いているうちに思い出したのですが、これは被告訴人YSNが金沢市場輸送に入社して市場急配センターで市内配達をするようになった後のことだったと思います。

金沢市場輸送の会社内におけるトラブルというのは、被告訴人東渡好信が率先して行ったストライキで、古参の社員運転手が同調していました。私も形の上ではストライキに参加する者と同じように会社を休んでいたと思いますが、辞めるということも決心を固めつつ口にしていたように思います。

Tという当時45歳ぐらいの金沢市場輸送の社員運転手がいて、当時二十歳ぐらいかあるいは未成年の女の子と同棲していたのですが、彼のアパートにも一度だけ遊びに行ったことがあり、ストライキを実行中の東渡ら4，5人ぐらいがその場に集まっていたことを憶えています。

Tは見た目も性格も年齢よりはかなり若い感じでしたが、仕事の働きぶりは芳しくないような話も聞いていました。比較的中央市場にも近い場所のアパートで、中央市場と同じ西念か、その外れに隣接した南新保のアパートでした。

どちらを先に行ったのかはっきり思い出せないですが、被告訴人HTNのアパートもそのすぎ近くにあり、そちらの住所は南新保でした。彼の供述調書の住所も南新保になっていたはずです。初めにHTNのアパートに行ったのは昼でした。夕方に近い、仕事が終わった後の時間だったと思います。

HTNに誘われて行ったように思いますが被告訴人YSNが一緒だったと思います。さらに後になって姫出身のNKさんが来ました。NKさんはその年の3月頃まで、市場急配センターで持ち込みの運転手をしていたと聞いていましたが、不義理のようなかたちで独立というか、別の業者の専属になったと。

NKさんについては昨年中に本書においてもいくつか触れていると思います。被告訴人MHKが新しくなった二口町の金沢市場輸送の事務所に姿をみせるようになった直後、古い2トントラックを持ち込みで、市内配達の仕事をするようになっていました。

昭和63年のことと思います。自分の記憶ではその年の7月の初め頃に、金沢市場輸送の事務所が西念町から二口町に移転しました。MHKの姿を初めて見たのは、その年の8月の終わりか9月の初めだったように憶えています。NKさんの姿を見るようになったのもほぼ同時期でした。

姫のNKさんに初めて会ったのは昭和56年の12月頃のことで、宇出津の白山神社の近くに住んでいた私の二つ年下の友達の家でした。小木の漁師で漁が終わったところだと聞いていました。

厳密に言うと、当時は珠洲郡内浦町小木にあるのが小木港で、能都町姫にある漁港も同じく北洋の遠洋漁船の港でした。姫の船に乗船していても、余り区別せず、小木の船に乗っているとか小木の漁師だと呼ばれていました。

厳密にいえば小木にも姫にも地場で漁をする小さな漁船はいるのですが、小木の漁師だという場合は決まって北洋の遠洋漁船のことでした。厳密に言えば、イカ漁とか中部船と呼ばれるサケマス漁の違いもありましたが、小木といえば遠洋の港でした。

基本的に小木の遠洋漁船は12月に帰港し、5月や6月に出漁すると聞いていました。昭和56年頃の時点では二百海里問題の起こる前でもあり、休漁中は、遊び回っている人が、少なくとも自分の周りの若い漁師には多いと聞いていました。

私などもそのような休漁中の漁師と一緒によく遊び回っていたのですが、漁師の共通点はほぼ例外なく酒好きで、飲み歩くことの多い人もいました。十代で酒の飲み過ぎで肝臓を壊したりする人も何人かいたようです。

NKさんは私より4つぐらい年上と聞いていたように思いますが、はっきりした年はわからなかったです。実際の年齢よりかなり年長者にも見えていました。直接連絡を取り合ったりする仲ではなかったですが、共通の友人が多く、遊びに行った先で一緒になったり、一緒に行動することも多かったです。

私は昭和55、56年と一年ちょっと石川県立小木分校に通学していたこともあり、小木とも姫ともなじみはありました。電車通学の真脇駅と小木駅の中間ぐらいに学校があったので、どちらの駅も利用していました。駅のあるのは小木の町ではなく市ノ瀬という九十九湾の遊覧船乗り場の近くでした。

内浦町の中心は小木ではなく松波というところでした。宇出津からだと十八束という山沿いの国道で行くことが多く、小木を経由の場合は海沿いの遠回りになります。現在でも珠洲行きのバスは、二通りのコースがあります。

平成17年だったと思いますが、珠洲郡内浦町と鳳至郡だった能都町と柳田村は市町村合併で、鳳珠郡能登町になりました。現在でも能都中学校、小木中学校、松波中学校に分かれているのではと思います。能都町には他に鵜川中学校がありました。

被告訴人YSNはこの能都町鵜川の者でした。いずれも中学校も親戚でもない限り、交友や付き合いというのはほとんどなかったと思います。交友の場が一気に広がったのは、高校に入ったり、中学校を卒業した後のことでした。

当時、宇出津から行く人の多い高校は、宇出津高校、石川県立水産高校本校、同じく小木分校、珠洲市内にある珠洲実業高校、飯田高校、柳田村の柳田農業高校でした。

例外的に輪島市の町野高校に行く人もいました。町野高校は柳田村から行く人も多く、輪島市内から来る人も多いと聞いていました。私の周りでは一つ年上のTYという人が町野高校に行っていました。彼とは中学生の頃も別の友達を介した付き合いがあり、その後も多少付き合いがありました。

町野高校に行っていたTYは、輪島市内の暴走族ともつながりがあるとも聞いていました。金沢市内で活躍していた輪島の暴走族のリーダーKTとも同級生かと思います。

現在ではそのような話を耳にすることも全くなくなったのですが、当時の輪島といえば、海士町（あままち）という特別な地域があって、それ以外の輪島の人と区別されていました。海女漁の町でもあり、江戸時代からの特別な伝統もある地域なのですが、当時は暴力団に近いようなイメージが強かったです。

漁師町で気が荒いと言うこともあったと思いますが、近親婚を繰り返した血脈や団結心が異常に強く排他性があって攻撃性が強いと聞いていました。うわさ話が先行したような部分も大きかったと思いますが、お祭りのヤクザの屋台でもぶちこわすという話でした。

昔の小木も似たようなところがありました。こちらは事情が違って、父親が遠洋漁業で不在であることが多く、暴力性に影響を与えていたという話もありました。父兄が真摯な取り組みをした結果、ずいぶん改善されたとも聞いていますが、良くなったのは私の３つ年上のあたりとも聞きました。

小学校の高学年で町中でタバコを吸っている児童がいましたし、小学校のトイレで先生の横でくわえタバコをしていた生徒が注意を受けて、先生に暴力を働いたという問題もありました。自分が小学校の低学年の頃だったと思います。自分は親戚もいなかったので小木に行く機会は滅多になかったです。

とにかく小さい頃から小木というのは暴力的で怖い町というイメージがありました。宇出津でも似たようなことはあったのですが、当時は今とは比較にならないほど、暴力性があったり、いろいろと人間関係の厳しさも強かったような気がします。上下関係もきつさや難しさがありました。

別の見方をすると漁業の町として勢いと活気があった時代でもあったと思います。姫も小木とは似たようなところがありましたが、姫の生徒は真脇小学校から宇出津の能都中学校に来ていたので、中学校になった頃から交遊がありました。姫の同級生の家は立派で部屋も豪華なものが多かったです。

姫は住宅の新築率が石川県で1位という時代もあったと聞きます。宇出津でも小木の船に乗る人が多く、地場の漁も盛んだったので、崎山台地が開けてからは、新築の住宅が多くなりました。自分が小さい頃は一面の畑ばかりで、民家というのはほとんどなかったという記憶もあります。まもなく造成でした。

小木の漁師になる友達も多く、漁の話もいろいろ聞いていたのですが、耳で聞くだけでよくわからないところもありました。はっきりしていることは生死の危険をともにする仲でもあり、結束の強い独自の人間関係もあったということです。丘の人間とは違うと言うことを口にする人もけっこういました。

なかには逆に仲が悪くて海に落として殺したのではないかという話を聞くこともありました。基本的に作業中に海に落ちると、落ちるところを見ていても停止、旋回して落ちた場所に戻ることが難しく、潮の流れも速いので救出できる可能性はとても少ないと聞いていました。

いじめというのか、暴力を伴った厳しいしごきも新人のうちは当たり前だと聞いていましたし、血を吐くほどの船酔いや、時化では生きているのが不思議なぐらいのもの凄い状況になると聞いていました。小さい船だとなおさらひどいという話でした。

そういう言葉としての話だけではなく、実際に漁を経験して戻ってきた友達は、数ヶ月ほどの間に、手のひらがまるでグローブのように分厚く大きくなっているのを目で見ることもありました。機械も発達していなかったのか、相当な重労働でもあったようです。

小木の漁師の間では船頭という言葉を聞くことも多かったです。出漁前にまとまった額の前借りをしたという話や、身内の話としていろいろ言っていましたが、部外者にはわからない話でした。船頭の他に漁労長やボースンとかいう役職のような言葉もあったので、船頭というのは船主のことかもしれません。

船主というか船を所有する水産会社は小木にいくつかあったようですが、なかには金沢市の駅前のホテルや、パチンコ店をやっている小木の水産会社もあると聞いていました。駅前のホテルは、都ホテルのことかと思います。

パチンコ店は石川郡野々市町のシーパレスという大きなパチンコ屋でした。野々市町は現在は野々市市になっているじゃないかと思います。金沢市に隣接していて金沢工業大学があったり、学生の街という雰囲気もありました。

いつころか憶えていないですが、そのシーパレスというパチンコ屋にヤクザのダンプが突っ込んだという事件というかニュースもありました。パチンコ屋の業界に所属せず、出玉も多くして繁盛していたため、被害にあったという話でした。パチンコ屋のほとんどが在日の韓国人か朝鮮人という時代かと。

もともと石川県というのは暴力団というかヤクザの多い地域だったと聞いています。特に加賀の温泉は山口組の有力な資金源とも聞いていました。昭和の時代勢力を2分していたのも、小松市に本拠を置くという紺谷組と能登の七尾市に本拠を置く福島組でした。七尾市には和倉温泉があります。

暴対法が実施される前、ヤクザというのは身近な存在で、服装も一見してわかるようなものであることがほとんどでした。数年前から新聞でもテレビでも石川県内の名前を聞くことは皆無に近いと思います。地下に潜っているのかも、情報がないのでさっぱりわかりません。トラブルという話もきかない。

暴対法の実施が何時頃であったのか、自分の現在の記憶でははっきり思い出せないですが、平成に入って頃にはヤクザ風の人の姿を見かけることは少なくなっていたような気がします。福島組はその後、昭成会と呼ばれるようになっていましたが、平成11年頃にも名称は聞いていたような気もします。

また、昭和50年代後半、特に小木の漁師など宇出津近辺の人は暴力団やヤクザを嫌う傾向がすこぶる強かったと思います。被告訴人HTNが暴力団員になったのは昭和55年か56年かと思いますが、暴力団員である間は真脇の実家に一度も帰らなかったという話も、人から聞いていたように憶えています。

被告訴人HTNは金沢でやっていた暴力団員をやめてから小木の漁師をするようになったはずです。昭和56年の秋の時点では金沢で暴力団員をやっていました。その後、覚醒剤で捕まり小立野の少年鑑別所に入ったと、うわさで聞いていました。組の方は捕まったことで破門になったと聞いていました。

昭和60年の5月か6月には、姫の漁港に出漁の見送りに行ったことを憶えています。4，5人ぐらいであったかまとまった数の友人が同じ船に乗っての出漁でした。300トンという小木や姫では最大級の漁船と聞いていたようにも憶えています。HTNもそのうちの一人だったような気もするのですが。

その姫の漁港の出漁の後、私は昭和61年の3月に結婚したという事情もあるのですが、以前の漁師の友達とも疎遠になっていきました。彼らのほとんどもその1，2年の間に漁師をやめ、数人のグループは大阪の方に行ったとも聞きましたが、音信不通になりました。

被告訴人HTNがまだ漁師をしている頃、特に仲良くなっていたのが宇出津のHSでした。彼は私の同級生であり付き合いは小学校の頃からありました。小学校は4組、中学校は5組だったと思いますが、同じクラスの時の付き合いが多いという傾向もあったと思います。

特に親しくなったのは高校1年の頃でした。彼は水産高校の本校でした。校舎は現在の能登高校としても残っていますが、グランドの奥の波返しにあった海の大半は、昭和の終わりか平成の初めに大規模な埋め立て工事があり、現在の宇出津新港になっています。

HSとは仲が良かったというか、とにかく一緒にいる時間、一緒に遊ぶ時間が長かったです。仲がよいとか意識することはなく、お互いにけなし合いをするような間柄が、少年時代ほど多かったと思います。友人関係は他にも多かったので、仲がどうとか特に意識することもなく付き合っていました。

次第に距離を置くようになったのは私の方からだったとも思います。長距離運転手という仕事柄も、普通の生活とはリズムが異なり不規則なので、会う機会も少なくなりましたが、子供が出来てからは付き合いが悪くなっていきました。HSにも不満を与え気分を悪くさせたと思うこともありました。

先ほど0時を15分ほど過ぎた辺りで一度気がついていたのですが、すぐに忘れてしまい、項目の日付を変えることをし忘れていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月19日

付き合いが悪くなった原因には子供や家族との時間を優先させたということもありますが、漁師との付き合いは酒のはいることも多く、少年時代先輩に無理に酒を飲まされてひどい目にあったという経験もあったので、酒の席は避けるという傾向もあったかと思います。飲めはしましたが好きではなかったです。

自分で缶ビールなどを買って飲むようになったのは昭和62年か63年頃からだと思います。限られた仮眠時間の調整として早く寝入るため、いわば睡眠薬の代わりような感じで読むようになりましたが、市場の仕事の付き合いとして飲む機会も増えました。おごってもらうことが多かったです。

漁師時代のHSが最後に私のアパートに遊びに来ていたのは昭和60年の終わりか61年の初め頃かと思います。小木の一つ年下のHKといつも一緒にいるという感じでした。小木のHKは他のグループとともに大阪の方に行ったとも聞いています。比較的最近聞いた話です。

大阪に行ったグループも仕事は鳶職と聞いたような気もするのですが、はっきりとは思い出せません。昭和60年頃、金沢市場輸送で4トン車に乗務していて岐阜県内の山奥でトラックを崖下に転落させ、そのままとんずらしたというOTも一時期、大阪にいたと話に聞いたことがありました。

OTは私の二つ年下でした。被告訴人OSNが金沢市の高畠のアパートに住んでいた頃も、ちょくちょく顔を出していた様子で、岐阜から逃げたという話も直接、顔を合わせて話を聞いたような気がします。当時、金沢市場輸送の社長だった被告訴人TSKは、探し出す懸賞金を掛けるという鼻息でした。

OTは私が昭和59年の10月に金沢市場輸送をやめただいぶんあとに、金沢市場輸送に入社したと聞いていたように思いますが、姫のNKさんは、入れ替わりにも近いような感じで金沢市場輸送に入社し、けっこう長い間、金沢市場輸送にいたように聞いていたようにも憶えています。

姫のNKさんは4トン車の長距離でしたがその後市内配達で2トン車に乗るようになり、10トン車に乗ることはなかったようです。野々市の運送会社でも4トンの長距離に乗っていると聞いていた時期がありました。

その後、さきほど書いたように昭和63年の8月の終わりか9月の初め頃から金沢市場輸送で市内配達の仕事を古い2トン車の持ち込み運転手としてするようになったのですが、会社ではとにかく不思議なぐらい寡黙でした。声を聞くことすらなく、横を見る姿もなかったような気がするぐらいです。

二口町の金沢市場輸送の運転手の休憩室で姿を見る機会は多かったです。テーブルに座って長い時間もくもくと伝票の整理をしていました。そういう姿が印象的でしたが、昔、一緒に遊んでいた当時の面影はまったくなかったです。それだけまじめに仕事に打ち込んでいるようにも見えましたが。

姫のNKさんについて気になることは他にもあります。平成15年頃のことと思いますが、なんどか被告訴人UHKの自宅に電話を掛け、話を聞くことがありました。そんなとき、かなりわざとらしい感じで、NKさんの名字を出し、宇出津の人間として会社にいたと思わせぶりな話を始めたことでした。

気になって調べたところ、宇出津の小棚木という私と同じ町内に、同じ苗字の家があったので、そこの家に電話をして家族や親戚に市場急配センターで仕事をしていた人がいないかと訪ねたぐらいです。だいたいの家の場所は今でも憶えているので、あるいは直接家まで出向いたかもしれないです。

その同じ町内の人は全く関係がないと話していました。宇出津には他に聞いたことのない苗字でしたが、姫ではよくある苗字だったと思います。小木、姫、宇出津ともにその一部の地域だけに多い名前というのがいくつかありました。たとえば姫では桜井という苗字も多かったです。

全国的には桜井という苗字は珍しくないと思いますが、小木や宇出津では聞かない苗字で、そういうのが他にもありました。また、小木の蟹や行泊など、他の地域では全国的にも滅多にないような名前もありました。

いっぽうで干場など能登ではあちこちで見られるような名前もありましたが、特定の名前だとある地域の可能性が高いという名前がけっこうあったと思います。宇出津でも40近い町内に分かれているはずですが、正式な住所にはない地元の人しかしらないような町内名です。

宇出津も大きく分けると、棚木、新村、新町、町になるかと思います。自分が子供の頃は4月の春祭りにはこの４つの地域ごとに曳き山を出していました。現在は棚木と町だけです。棚木は白山神社、町は酒垂神社という一面もありますが、あばれ祭りの神輿は、それぞれの神社から2基になっています。

私自身、インターネット上の情報などで比較的最近になって知ったことですが、もともと宇出津の町というのは町という魚市場のある辺りが中心だったとのことです。自分が子供の頃は、マチという話し言葉だけで耳にしていました。漁師が多いと言うこともありますが、輪島の海士町にも似たところが。

昔ほど、その傾向が強かったらしく、子供の頃はよく母親からマチの子供とは遊ぶなときつく言われていました。やぐさい、という方言かと思いますが、粗暴とか野蛮という意味合いが強かったと思います。現在では全く耳もしなくなった昔話のようでもありますが、そういう時代でもありました。

とにかく宇出津の町全体が、昭和の時代とは激変しており比較すら難しいぐらいです。まずは人の数が少なくなりましたし、過疎化も進み、子供の姿を見ることも少なくなっています。正月やお盆ですら、さほど普段と変わりがあるようには思えず、スーパーに行くと人の数は多いぐらいです。

私が子供の頃、マチでは○○という苗字が多かったです。漢字で書くと二文字とも画数が少なくわかりやすい名前なのですが、宇出津以外では聞いたことがありませんでした。ところが姫に同じ漢字の名字で、別の読み方の苗字の人がいると聞きました。違うのは漢字の一文字目の読み方です。

その人物のことを姫のOさんということにしておきたいと思います。姫の出身だと聞いていましたが、そもそも能都の出身者という面影は感じられず、まるで都会の人になり切っていたという感じでもありました。東京を含め関東に親戚がいない自分には珍しいタイプの人でもありました。

それは昭和57年の春頃のことではなかったかと思います。被告訴人OKNの家は宇出津で自動車修理工場とプロパンバスの販売をやっていました。家の大通りに面した部分ではガス器具の販売もやっていたと思います。縦に長い家の5分の1ぐらいの部分だったでしょうか。

町内は大橋組でしたが、宇出津の町の中心部の通りに面し、川沿いに長い家でした。現在は跡形もなくなくなっています。梶川という小さい川ですが、町では唯一の川らしい川であり、現在もそうですが、あばれ祭りで神輿を川に落とす見所の場所でもありました。

最近になってインターネット上の情報で確認できたことなのですが、私は昭和50年の3月まで宇出津に隣接した辺田の浜というところに住んでいました。住所は藤波になっていました。藤波は辺田の浜、柳倉、間島に分かれ、宇出津に一番近いのが辺田の浜でした。現在は宇出津新港にも隣接しています。

私は昭和39年11月26日生まれですが、宇出津の小棚木にある中沢病院という小さい産婦人科の医院で生まれました。生まれて1歳ぐらいの時、父親がタイヤ屋の店舗を兼ねた住宅を辺田の浜に建て、そちらに移り住んだと聞いています。

父親は私が3歳ぐらいの時に、酒を飲んで帰ってきた玄関先で死んでしまったと聞いています。私自身の一番古い記憶は、玄関先で死んでいる父親を起こそうとしていたことです。そのうち母親の泣き叫ぶ声を聞いたようにも憶えていますが、記憶は全体としてぼんやりしています。

父親は働き者だったらしく死んだときには借金を完済し、何百万円かのお金を残していたと聞きます。200万か300万だったような気がするのですが、はっきりとは憶えていません。母親の手元に残ったのは100万円と聞いたように思います。小さい頃、繰り返し耳に入ってきた話でした。

廣野というのは宇出津にある名前ではなく、父親が養子に行った東京の家の名前だと聞いていました。父親は太平洋戦争にも従軍し、沖縄県の宮古島で終戦を迎えたものの、2年ぐらいの間は終戦を知らずに島で生活をしていたとも聞いていました。

その後のことはほとんど知らないのですが、辺田の浜に移る前は宇出津の中心部で小さなタイヤ屋をやっていたと聞きます。それらしい写真も家にはあります。現在も続いている茂平食堂のとなりだったとも聞きます。新町という宇出津の中心部の通りですが、町内は大橋組だったはずです。

被告訴人OKNと最初の付き合いがあったのは幼稚園児の頃ではなかったかとも思います。幼稚園の卒業写真にも彼の姿があります。前後のことは記憶にないのですが、一度辺田の浜の私の家に彼が遊びに来たことがありました。

私の家には当時のテレビ人気アニメ、タイガーマスクのキャラクターの人形数体とリングがありました。私自身、誰にいつどこで買ってもらったのか記憶にないのですが、その場面と、その後OKNにずいぶん強い感じで嫌みを言われていたことを憶えています。

小学生の低学年の頃もお祭りなどで、もらえる小遣いや買ってもらうオモチャの代金は千5百円以内という決まりがあり、金額を超える野球盤のゲームを買ってもらったところを、同級生に目撃され、先生に告げ口をするといわれて、しばらくの間不安な気持ちでいたことも憶えています。

昭和40年代のことですが、いろいろと現在とは違うきまりや価値観もあったかと思いますが、小さい頃のOKNは人一倍正義感というか、こだわりの強い一面もあったかと思います。中学生の頃も不良になった兄のことを毛嫌いし、ずいぶんと悪口を聞かされた憶えがあります。よほど不満も強かったみたい。

中学生の頃は勉強も熱心に頑張っているという感じでした。彼の家の大通り（国道249号線）を挟んだ向かい側には、宇出津で一番大きい書店がありました。漫画の本を立ち読みしたり、勉強の参考書を買うこともありました。

千間書店という店でしたが、数年前に梶川の橋の大きな工事があり、周辺の建物は取り壊しの立ち退きになって、書店の方も別の場所に移っていますが、新しくなってからは一度も店に入ったこともなくなっています。

夕方に千間書店で顔を合わせ、話をしたり、そのまま彼の家に遊びに行くこともあったと思います。泊まり込みで彼の家に勉強に行ったこともありました。成績が優秀という話は聞いたことがなかったですが、悪いとも聞いておらず、兄とは違い問題児でもなかったと思います。

兄の被告訴人OSNの方は小学生の頃よりけっこう問題を起こしていたようです。中学生の頃も素行が悪かったと思いますが、入学した水産高校の本校をやめてからは、さらに不良化が進んで髪型も服装も派手になっていました。家はたまり場で、家の建物が大きかったこともあり、人の出入りも多かったです。

宇出津の中心部の川沿いにたまり場の家があったので、それでなくても目立つ存在でした。私自身が付き合いをするようになったのは、昭和56年の6月頃のことでした。ちょうど小木分校を中退した頃でした。自分のヘルメットが欲しいと言うことで、私の一つ年下の二人ぐらいが予備に来たのです。

同じ町に住んでいたので顔なじみではありましたが、それまで付き合いというものはなかったです。弟のOKNの方に中学生の頃、愚痴を聞かされていた程度でしたが、家には私より二つ年下の妹の友人関係も含め、ひっきりなしに多数の少年少女が出入りをしていました。

OSNと初めに遊んだ日は早朝だったと記憶しています。私を呼びに来た一つ年下の2人を含め4人で、宇出津の町の外れにあるオオデラにクワガタムシをとりに行ったことを憶えています。オオデラは最近になって看板を見たことで大平と感じらしいと知ったのですが、ずっと大寺と思っていました。

OSNが水産高校にいた期間は短くてすぐにやめたと聞いていましたが、細かいことは憶えていません。長くて3ヶ月程度という話であったような気もします。彼が1年生の時の3年生だったのが被告訴人YSNでした。

当時は電車通学がほとんどでした。電車ではなく汽車と呼ぶのが普通でしたが、ずっとあとになって汽車というのは蒸気機関車のことだと誰かに言われたことがあったので、電車と呼ぶ人は誰もいなかったと思いますが、とりあえず電車としておきます。

昭和50年代はまだ国鉄だったと思います。電車は5両編成ぐらいが普通だったと思います。鉄道が廃線になったのも平成17年頃ではなかったかと思いますが、その頃は1両の電車以外はなかったような記憶です。能登でも穴水までは電車が残っています。

被告訴人OSNの家は国鉄の宇出津駅にも近く、電車の待ち時間で集まる学生も多かったと考えられます。私も、小木や姫の同級生の家でよく電車の待ち時間をつぶしていました。水産高校は珠洲方面から通う学生もけっこういたと思います。

水産高校には寮もありました。大棚木の赤灯台の近くでした。輪島市内や羽咋郡富来町辺りから来る生徒が寮に入っていて、少しですが金沢市内から来る生徒もいました。

珠洲市大谷のYSさんも寮に入っていたと思います。私は中学校1年生の頃から彼のことを知っていました。能都中学校で相撲部に入っていたからですが練習のほとんどは、水産高校の相撲部に通って行われていたからです。YSさんは私が中一の時の高校1年生でした。学年で言えば３つ年上です。

珠洲市でも大谷は輪島市内との境に近い町でした。観光地としては珠洲市の真浦海岸に近く、その真浦海岸の隣が観光地として知られている輪島市内の曽々木海岸でした。

YSさんについても、本書において昨年中にいくらか書いていることがあると思います。姫のNKさんと宇出津のK村さんの二人が一緒に金沢市場輸送で市内配達をするようになってどれぐらいでしょうか。現在では具体的に思い出すことが出来なくなっていますが、早ければ一月後、長くて半年後ぐらいか。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月20日

今日の昼、重要と思われる一つの事実を思い出したので、それを先行して書いていきたいと思います。他にも予定している事実はたくさんあります。全て繰り返し、裁判所や検察庁には提出済みのことばかりかと思いますが、ふとしたことで長い間忘れていても思い出すことがあるものです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月21日

まず七尾の被告訴人東渡好信のことですが、被告訴人のなかでもとりあえずの現段階で実名にしているのは彼だけです。被告訴人に関しては過去の段階では全てを実名で情報公開していました。なぜ東渡なのかというと、偽名の可能性も考えられるからです。重要な鍵を握る実在した人物です。

東渡好信という名前を知ったのは、市場急配センターの1階の部屋に火元責任者として彼の名前の札が壁に貼り付けてあったからです。後にも先にもそのような札を見た記憶がありません。可燃物を保管する倉庫や事務所であればあるのが普通とも考えられますが、気がつかなかったのか他には見ていない。

東渡好信が輪島のHさんと諸江のKさんの３人で、金沢市場輸送から市場急配センターに来たのは平成３年の９月に入ってすぐではなかったかと思います。９月の初めというのは間違いないですが、８月中ではなかったと思います。ただ、移動の話は８月中に決まっていたと考えられます。

これもその年の春のストライキの延長のような感じでした。７月中だったと思いますが、市場急配センターの事務所にやってきた東渡好信が２階で机に包丁を突き立て、戻ってきた被告訴人MHKを包丁を手に外まで追い回したという話がありました。

私自身、被告訴人YSNと一緒にその場にいて東渡好信が２階の事務所に入ってきたところは見ていたと記憶しています。異様な雰囲気ではありましたが、芝居がかっているとも思っていました。演技だとは思いつつも面倒なことだとは思っていました。

細かいことまで記憶していませんが、東渡好信が来てすぐに電話が掛かりました。東渡が来てから１０分以内か５分も掛からないタイミングではなかったかと記憶しています。電話を掛けてきたのは被告訴人YSKでした。尼御前のサービスエリアにいるという話でした。

４トン車で徳島行きの確かスイカを摘んでいるといい、４トン車の調子が悪いとか重量が重すぎるとか話していました。そういうことならばと相談に乗り、たぶん金沢市場輸送の１０トン保冷車を持って行って荷物を積み替え、４トン車を引き取ってきたように思います。

夕方明るい時間に尼御前のサービスエリアに行き、荷物を積み替えたことは体験した場面として現在も記憶しています。被告訴人YSNも同行させていました。ややこしいですが、両者の姓は同じです。全国的にもよくある名前です。３つめのNは能登、Kは金沢あるいは石川郡野々市町を意味するものです。

事務所に入ってきたとき東渡好信はずいぶんと興奮した様子でしたが、丸西水産輸送の社長が片町で射殺されたことを口走っていたと記憶しています。なにかあだ名か仲間内の呼び名のようなものを使っていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月22日

片町での射殺事件があったことは当日の朝刊の記事で読んでいたと記憶しています。片町と書きましたが、私の記憶では竪町という報道になっていたように思います。片町に隣接した商店街なので片町と呼ぶのもさほど違和感がないと思います。片町は金沢で一番大きな飲み屋の多い繁華街です。

平成９年に福井刑務所を出てからまだ宇出津にいた頃だったと思いますが、宇出津の図書館で北國新聞の縮小版を割と丹念に目を通したことがありました。その時、自分の記憶にあった時期と、その射殺事件の新聞記事の日付に、けっこうずれがあったような憶えがあります。

昨年中に作成したものですが、Googleマップというサービスを利用して、金沢市内の地図上に目印を作成しました。確認したところGoogleのアカウントでログインしていない状態でも見れるようですが、航空写真から地図への切り替えができるボタンが見当たりませんでした。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&gl=jp>

上が地図を利用したサービスのタイトルとURLです。けっこう癖のあるサービスになっているので、私自身使いこなせている自信もありません。３つのレイヤーに分けて使っていますが、上のURLだと「平成３年か４年」というレイヤーのみが表示されると思います。その状態のURLを使ったので。

「金沢市場輸送と市場急配センター」というレイヤーにもマウスのクリックでチェックを入れれば、市場急配センターと金沢市場輸送の事務所との位置関係もわかりやすくなるかと思います。レイヤーごとにマーカーの形状も異なっています。マップの左上に出ているメニューでの操作です。

左上に「被告訴人YSNの工事現場突入の場所」という項目があるのでその部分をクリックすると、ポップアップが出て強調表示されるかと思います。他の項目も同じ要領です。これはデータという扱いになっているのかと思われます。ラベルという意味は別にあるようですが、わかりづらいです。

このGoogleの地図のサービスはマイプレイスというもののようです。地図上の特定の場所につけるマークは目印ともアイコンとも呼ばれるみたいです。ヘルプを読みました。目印には名前と説明がつけれるようになっています。この名前の部分がメニューの項目に対応しています。

この目印そのもののURLは取得できないみたいです。つまり説明上十分な特定ができそうにないということです。そのあたりサービス上の特性を踏まえた上で参考にしていただければと思います。Googleのサービスは全般的にいきなり仕様変更されることも多いです。サービスの廃止も含めて。

仕様の変更についても事前のアナウンスはあるのかと思いますが、事前に知ったということはほとんどありません。PicasaウェブアルバムとGoogle+の写真サービスの統合などずいぶんややこしくなっている部分もあります。一般的な日本のサービスに比べるとずいぶん大雑把という気もしますが。

<https://maps.google.co.jp/maps?q=36.582349,136.633094> ←　別の方法でGoogleマップの位置情報を取得しました。緯度などの地球上のデータをリクエストパラメータに指定する仕様になっています。割と短いURLです。

リンクを開くとAというシェイプがでていると思います。住所と番地の情報も出ています。「石川県金沢市駅西本町５丁目６−２４」となっているかと思いますが、だいたい位置に目印をつけているので、当然番地までは正確でなく境界の場合は町名が異なる可能性もあると思います。

市場急配センターの住所も平成４年当時は金沢市二口町でしたが、たしか平成18年頃にはいつの間にか、駅西本町に変わっていたと思います。都市計画法の用途地域などの関係で変更になったのかと想像しますが、町名が変わるというのは他に見たことも聞いたこともないことです。

リクエストパラメータについては「リクエストパラメータとは」というキーワードで必要に怖じてインターネットで検索していただければと思います。URLのドメインがmaps.google.co.jpとなっているのも特徴ですが、以降はこの形式のURLにタイトルをつけて説明します。

以降、「平成3年秋の被告訴人YSNの工事現場突入事件」というタイトルをつけて説明をしたいと思います。事件というほどのものでもないのですが、これも説明の便宜上ということでご理解願います。以降、次のようなURLの紹介に続けて対象位置に関する説明に入ります。

平成3年秋の被告訴人YSNの工事現場突入事件 <https://maps.google.co.jp/maps?q=36.582349,136.633094>

さきほどご紹介したマイプレイスは主に昨年中に作成したものです。目印の名前というか項目名と、これから使うGoogleマップの緯度情報のURLに使う名前とは、完全に一致しないと思いますが今からの整合は手間も掛かるので、内容的に区別できると思いますので、その旨お願いします。

残念ながら現在の私の記憶では時期の特定が難しいのですが。平成3年の秋で、10月か11月のことだったと思います。あるいは9月の下旬だったのかもしれないですが、現在の記憶ではそれでさえ特定が難しくなっています。断片的な場面の記憶も数が少なくなっています。

先に湾岸戦争が始まった1月17日に自分が乗務する10トンウィング車が来たということを書いたと思います。これは日野のトラックで、同じものがもう一台同じ頃に入ったと思います。少し後だったと思うのですが、同じウィング車として三菱ふそう、のものも入りました。

この三菱ふそうのウィング車が何台であったか思い出せないのですが、最低1台はありました。たぶん日野が2台、三菱ふそうが1台ではなかったかと思うのですが、これらはいずれも従来の焦げ茶色と白もしくはクリーム色という金沢市場輸送のカラーとデザインのトラックでした。

いずれも平成3年の1月中に入ったものと考えられます。これとは別に4月ぐらいにも2台のウィング車が入りました。2台とも日野のトラックだったと思いますが、従来の金沢市場輸送のトラックとは全くことなるカラーとデザインになっていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月23日

金沢市場輸送の新しいカラーとデザインは白地のボディに赤と青のラインの入ったものでした。金沢市場輸送の社長であり配車係の被告訴人MTKの娘が考えたデザインらしいという話も耳にしたことがありました。

被告訴人MTKは当時私が住んでいた東力のアパートの近くで、丁目は違っていたように思いますが同じ東力の住所になっていたはずです。自宅のだいたいの場所も聞いていましたが、これだという家は知らなかったです。

そういえば東力に近い入江か間明の回転寿司に、同僚の運転手２，５人ぐらいで食事をしていたとき、テーブルを仕切る隙間があって、一緒にいた一人が輪島弁で「え、なんちゅうよう食うおなごかえ」などと驚きの声をあげたので、隙間を除くと家族連れの中にMTKの姿がありました。

回転寿司の皿を山積みにしていたのだと思いますが、その娘の顔や他の家族の顔というのも不思議と全く記憶に残っていません。子供が３人いるという話で、奥さんはMTKより年上だと聞いていましたが、その場に奥さんらしい、娘の母親のような姿はなかったようにも記憶しています。

一度何かの折りに、被告訴人MTKの奥さんは有線放送関係の会社で仕事をしているような話を聞いたようにも記憶してます。片町周辺の金沢市内中心部にある会社のようにもその時話を聞いたような気がするのですが、誰の口から聞いたのか細かいことは思い出せない状況です。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月24日

被告訴人YSNの彼女も有線の仕事をしていたと聞いたように記憶しています。それだけでなく金沢市内花里の彼のアパートで、アルバムの写真を見せてもらったとき、彼女が職場の同僚など４，５人で撮影された写真に、当時、名の知れた歌手が一緒に写っているのを見たように憶えています。

有線というのは有線放送のことですが、今ではなくなったのか聞いたことはないです。ジュークボックスという言葉もまったく聞かなくなって久しいですが、飲み屋などで色々と曲を流す事業ではなかったかと思います。当時は有線でのベストテンなどもあったと思いますが、最近は全く聞かなくなった。

初めて被告訴人YSNの花里のアパートに行ったのは平成３年の５月頃だったと思いますが、それからちょこちょこと何度かそのアパートに遊びに行っていました。のちに妻となる彼女はいるときといないときがあったと思いますが、仕事などしていない話ではなかったかと思います。

それでもいるときといないときがあったと思いますが、いるときはワンルームの部屋の大半のスペースを占めるベッドに寝転がっていて、かならず頭からタオルケットをかぶっていました。つまり決して顔を見せようとはしなかったのです。これは徹底していました。

それがあっさりと顔を見せただけでなく、出産直前のお腹の出た姿をジャージのようなお腹が目立つ姿を見せたのが平成３年12月21日の翌日か翌々日のことだったと思います。その21日の夜に被告訴人HTNに託そうと思いつつ言い出せなかったティファニーのネックレスを持って行った夜jのこと。

ネックレスの手渡しは私のお願い通りに一応実行してくれたのですが、数日の間、被告訴人YSNとは連絡が取れず、年内の栃木県足利市のガソリンスタンドから掛けた電話で連絡が取れましたが、その時点で彼女は出産を終えたと聞きました。つまり出産の4，5日前にジャージ姿で顔を見せていた。

妊娠中の女性は顔のむくみなどでも気に掛けて人目を避ける人もいるということを聞いていました。そのようにも解釈していたのですが、マタニティではなくあえてお腹が目立つようなジャージ姿で、彼女は突如姿を見せていたのです。顔も普通に見せていましたが、化粧も特にしていない感じでした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月25日

被告訴人YSNがアルバムを見せてくれたのは夏頃ではなかったかと思います。9月以降も行く機会はあったと思いますが、長距離の仕事をするようになってから会社以外で一緒に遊ぶ機会は少なかったと記憶しています。

平成3年10月6日には被告訴人YSNに同行して名古屋の北部市場に行ったと思いますが、彼のアパートには行っていないと思います。朝に出発したと思いますが、帰ったのも夕方でまだ明るい時間だったように思います。

Linuxのcalコマンドで確認しましたが、平成3年10月6日は日曜日になっていました。この翌日の月曜日だったと思うのですが、駐車場の奥の方に注射していたYSNの10トンウィング車がぶつけたとかぶつけられたとか、被告訴人MHKが疑いを私に向けて話しかけていました。

この時だけではなくMHKは、直接被告訴人YSNに対して注意をしたり問いただすということをまったくしようとしませんでした。別の言い方をすればずいぶんと遠慮がちで消極的な姿勢でした。君子危うきに近寄らず、という言葉のように様子見で警戒しているように見えなくもなかったのですが。

他の運転手や社員に対しても消極的で干渉しないというふうに見えていましたが、全く異なるような話も以前耳にしていたので、私としてはキャップも感じていました。会社の経営自体が安定期に入ったので、そう変わったのかと考えることもありましたが、実際のところはよくわかりませんでした。

前に聞いた話というのはMHKがO西さんの息子をクビにしたという話です。息子だけでなく息子の友達も一緒にクビにしたという話であったかもしれません。これも小林健一から聞いたような気がするのですが、だとすると自分の記憶とは一致しないところもあるように思われます。 O西さんの息子は市内配達の仕事をしていましたが、何度か会社の指示で長距離の仕事をやったこともあるようです。これは息子の友達も同じでした。私の知る限りその友達というのは2人いました。一人は前に書いているはずですが、一緒に長野から滋賀県の大津市にリンゴを運んだUです。

Uと別の一人は、名前を忘れていますが、Uとは異なり割とありふれた名前だったと思います。平成4年の秋だったと思うのですが、金沢刑務所の拘置所の廊下で、彼らしい姿の若者を見かけました。無口で暗い感じでしたが独特の雰囲気があったので、本人に間違いない可能性は高いと思います。

O西さんの息子に関しては、山中温泉キャッスルバーデンホテルの慰安会で一緒であったことをはっきり記憶しています。昭和62年の6月ではなかったかと思います。鶴来のHもいたはずかと思います。金沢市場輸送の事務所がまだ西念にあったことははっきりしていますが、もしかすると昭和63年かも。

鶴来のHとは輪島のMYと4人で内灘に海水浴場に行ったこともありました。鶴来の彼の自宅にも一度遊びに行った記憶があります。もう一人は同じく鶴来の若者でHよりは一つか二つ年下だったように思います。名前は忘れましたが割と長い間、金沢市場輸送で市内配達の仕事をしていました。

鶴来というのは石川郡鶴来町のことですが、ATOK X3 for Linuxのアシストによると現在は白山市になっているようです。Hの上の名前は今も憶えています。元暴走族とも話していたと思いますが、年の方はよく憶えていません。同級生か一つか二つ年下だったとは思います。

鶴来のもう一人ですが、当時はまだ成人前の18歳か19歳の少年だったような気がします。印象的に憶えている場面があるのですが、それは昭和59年と同じ金沢市場輸送の事務所でした。夕方に近い時間、当時市内配達の責任者をしていた高田という人物が、電話をとりました。

鶴来のHではない社員の父親が急死したという連絡を受けたようでした。高田も慌てた様子でしたが、すぐに本人が入ってきました。何の前触れも理もなくいきなり父親が死んだのですぐに家に帰るように高田は言いましたが、余りのストレートさに側にいた方も驚きました。

高田がいなくなったのもそれからしばらくした頃ではなかったかと思います。既に書いたような気もするのですが、行方をくらまし、富山の右翼団体の6人ぐらいが戦闘服のような格好で事務所に来たことがありました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月26日

右翼団体の若者の方が緊張しているようにも見えたのですが、被告訴人MTKがずいぶんと落ち着き払い、なれたような対応をしていたことも印象的でした。MTKと右翼団体の関係は平成3年の8月頃にも被告訴人YSKの口から出てくるのですが、後で忘れないように書く予定です。

既に書いていると思いますが、被告訴人YSNからひさしぶりの連絡があったのは平成3年の4月頃でした。下旬だったと思います。連休に入る直前ぐらいには彼の金沢市場輸送への入社が決まっていたようにも思います。面接には同席したことも憶えています。

他に憶えていることと言えば、金沢の金沢地方裁判所に近い大通り沿いの店にYSNに誘われて入ったことでした。居酒屋だったような気もしますがこじんまりした小料理屋だったような気もします。彼のアパートに向かう途中だったとも思いますが、夜の遅い時間だったと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月27日

被告訴人YSNには確か50万円、の前借りの保証人になりましたが、妻となった彼女から感謝のような言葉は全くありませんでした。それ以前に徹底して顔を見せようとしないという不可解な行動がありました。

YSNは12月の25日頃の誕生日だと話していたと思います。平成3年に生まれた娘もそれに近い誕生日だと話していたように思います。少なくとも平成3年の年内、正月休み前に生まれていたことは間違いないと思います。

なんという病院だったか忘れましたが、金沢市の寺町か平和町辺りにある有名な産婦人科の大きな病院だとYSNは話していました。費用も相場よりかなり割高という話であったと記憶しています。平たく言えばお金持ちがよく利用する病院という話でした。

調べてみましたがこちらの病院かと思います。住所が寺町、聞き覚えのある病院です。→　鈴木レディスホスピタル <http://www.suzukilh.com/index.html>

平成4年の正月休みですが、私は一番休みが短い方だったと思います。初めの運行で岐阜の市場に行ったような気がします。実質日帰りに近いような運行だったと思いますが、現在の記憶では細かいことは思い出せません。

まず年明けに市場急配センターの事務所で新年の顔合わせがありました。その後私は、被告訴人HTNと一緒に金沢市諸江のKHさんの家に行きました。HTNは能都町小浦の漁港で水揚げされたという天然ブリを持参し、玄関先の水道で調理をしていました。

本来、小浦の漁港は宇出津の魚市場で水揚げをするのではと思います。近年魚釣りをするようになって、朝方それらしい船が宇出津の港に入るのを見かけていると言うこともありますが、知り合いに分かれてもらったブリだったのかと思われます。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月28日

新年顔合わせの開始時刻は13時か13時半頃ではなかったかと思います。寝坊をしたのかどういう事情があったのか思い出せないのですが、私は一番遅れたようなかたちで2階事務所に入ったことを憶えています。一杯の人が集まっていましたが、ああいう集まりはその時だけでした。

机にお菓子などが並べられていたと思います。まるで高校一年生の時に経験したお別れ会のような雰囲気でした。もっとも耕一の時に経験したのはお別れ会ではなかったと思いますが、生徒が集まって教室でお菓子を食べる雰囲気でした。

お菓子といっても酒のつまみのようなものがほとんどではなかったかと思うのですが、職業運転手の集まりということもあり、その場にビールなどのアルコールはなかったように思います。

後から部屋に入ってきた私は台所などがある奥の方に座っていました。そこで被告訴人MHKが被害者であるAAさんに声を掛け、私のいる方向に皆の注目が集まったということもありました。AAさんに対する気遣いという感じでしたが、わざとらしい演出でもあったと思います。

なにか換気扇のことに関係していたような気もするのですが細かいことは思い出せません。ただ、AAさんの表情が心配事からほっとした安堵の表情に皮って見えたのが印象に残っています。

彼女との関係は平成3年12月21日のネックレスのプレゼントからとてもぎくしゃくしたものになっていました。私は年内に彼女と関係に決着をつけるつもりで年末に年度か彼女の自宅に電話を掛けたのですが、彼女は出ず、翌年に持ち越しという感じになっていたのです。

それと年末の大掃除の時には、会社の2階への階段の入り口のような場所のドアをいつまでも拭いている彼女の姿も印象的でした。私が声を掛けるのを期待し待っているようにもみえたのですが、とにかく自宅の電話には徹底して出ませんでした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月29日

平成4年の新年顔合わせですが、これは1月4日かあるいは3日であったと思います。私は遅れて出席しましたが挨拶程度の会合で散会も早かったと思います。残っている人も多くいたと思いますが、私は早い段階でその場を離れたと記憶しています。

その場で被告訴人HTNに誘われ、金沢市内諸江のKHさんの自宅へ行ったからです。諸江に家があるということは聞いていましたが、訪問したのは初めてでした。諸江の辺りは移転した石川県庁にも近いので平成4年当時とはずいぶんと様変わりしていることも考えられます。

平成4年当時はまだ県庁の移転の話すら本決まりにはなっていなかったのかもしれません。諸江の辺りは郊外の住宅地らしい感じでした。諸江といっても国道8号線バイパスをはさんで広いと思いますが、KHさんの家はバイパスの向こう側で問屋団地にも近い辺りだったと思います。

一戸建ての新しい家でした。HKさんが金沢市場輸送に来たのは昭和61年の12月頃ではなかったかと記憶しています。これは被告訴人IHKや被告訴人UHKの姿を見るようになったのとほぼ重なる時期です。イワシの運搬を一緒にやったT林も同じ頃でした。

平成1年の1月頃に能都町松波の港で自殺をした珠洲のTSさんも同じ頃で、浜田漁業金沢工場でミールの運搬の仕事が始まった頃でした。TSさんは宇出津の石川県立水産高校を卒業してすぐに金沢市場輸送に入社し、４トン車で長距離の仕事をしていたと聞いています。

水産高校　沿革 <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~hoksnh/suisan-e.htm> の情報によると石川県立水産高校は平成11年か12年頃まで続いたようです。

水産高校には機関科、漁業科、製造科が宇出津の本校にあり、小木分校には無線通信科がありました。製造科の9割以上は女子だと聞いています。漁業科は定員自体も少なかったようにも聞きましたが、退学者を含めると13人程度の人数だと聞いていました。機関科は30人以上はいたようです。

小木分校は40人が定員でした。製造科も似たような人数と退学率だと聞いていました。退学率は漁業科や機関科が高かったようです。漁業科は最も人気がなく、それに学力も最低という話で、自分の名前さえ間違えずに書ければ入試に合格できるという話でした。

なかには専門職を目指した優秀な生徒もいて金沢市などからも来ているとは聞いていました。小木分校には短大相当の専攻科がありましたし、本校にもあるとは聞いていました。

被告訴人YSNは漁業科だったはずです。卒業アルバムを見せてもらったことがありましたが、同じ漁業科のクラスメートとして珠洲のTSさんの姿もあったと思います。YSNは素行もよくなく学業の成績もよくなく、首の皮一枚で奇跡的に卒業したと本人も話していました。

小木分校でも確か謹慎が3回か4回でリーチが掛かり、次に謹慎相当の問題を起こすと退学処分になるというのが相場という話だったと思います。喫煙や飲酒も謹慎になっていました。YSNはこの謹慎の回数もリーチになっていたと話してきたように思います。

水産高校を卒業したYSNはそのまま金沢の中央市場にあるウロコ水産に入社したと聞きます。中央市場は鮮魚と青果に大別できますが、青果の釣り場は石川丸果だけでした。鮮魚の売り場は、石川魚市とウロコ水産の２つがありました。

なにか親のこねのようなものもあったらしくYSNはウロコ水産という大きく安定した会社に就職できたようですが、仕事そっちのけで遊び回って半年ぐらいで辞めたと聞きました。なお、ウロコ運送という鮮魚を運ぶ運送会社もありましたが、ウロコ水産とは別物と聞いていました。

ウロコ運送は九州の福岡市長浜の魚市場から鮮魚を運ぶ定期便をやっていて、金沢市場輸送と一日交替で10トン車を一台だしていました。行き荷はトナミ運送の雑貨で、富山中央店と砺波店から荷物を積み、おろし先は北九州市と福岡市の西武運輸でした。

福岡の魚市場にはウロコ運送の駐在員のような人がいました。STという人で金沢大学を卒業したとも聞きました。魚市場の近くのマンションに住んでいて、運転手の休憩所にもなっていたようです。私はよくそこに行っていました。金沢市場輸送の運転手で利用する人は多くない感じでした。

定期便では金沢行きの鮮魚を積んでいましたが新潟中継の荷物もあったので、夜の20時か21時には金沢に着いていました。中央市場の鮮魚の売り場が混み出すのも23時ぐらいからで、それより少し早い時間に荷物を全部おろし終わることが多かったと思います。

東北便だと早い時間で金沢の売り場に入るのが23時過ぎでした。荷物の少ない時期だと0時過ぎに仕事が終わることもあったと思います。遅い時間になるほど混雑と待ち時間も長くなるので、荷物が多い時期は4時過ぎになることもあったかと思います。

東北便ではおでんや笹かまなどの練り製品などで中央市場の外の食品会社におろしにゆく荷物も多かったですが、平均すれば深夜2時頃に仕事が終わることが多かったように思います。

福岡からの荷物をおろし終えないうちに自社の東北便のトラックを見ると終わりまで手伝うのが普通でした。少なくとも自分はそのようにしていました。東北便も自社便が2台というのが普通で多いときは4台ということもあったと思いますが、そうなると1台は傭車も含まれていたかと思います。

一緒になって荷物をおろし終わると近くの食堂で食事をするのが恒例でした。ビールなどアルコールも飲んでいました。けっこう長い時間、会社や仕事の話をするのもお決まりでした。普段一人で乗務していることが多く荷下ろしを終えた開放感もあってか、話も弾みました。

福岡の魚市場では定期便以外のフリーで鮮魚を積むために入ることもありました。ほとんどが泊まりだったと思います。大阪や東京行きの仕事が多かったように思います。ウロコ運送の社長の息子がしばらくいた時期もありました。

STさんなども金沢市場輸送の運転手のことはよく知っていたと思いますが、仕事ぶりのよくない運転手というのもいるような話もちらほらとは耳にしていました。不平や不満があったり扱いづらいということもあるような話しぶりだったと思います。

被告訴人HTNと招かれたKHさんの家ではHTMと私、それともう一人いたような気もするのですが3人だけでした。当時も少し変には思っていたのですが、今考えるとなおさらおかしな気もしないことはないです。

夕方暗くなってからではなかったかと思いますが、被告訴人MHK社長とカベヤの二人が来ましたが、長い時間はいなかったと思います。私も19時頃にはおいとまをしたように思います。一度会社に戻ってトラックの中で仮眠をしてから岐阜にむかったような憶えがあります。

カベヤというのはMHK社長といつも一緒にいた人物です。年も同じぐらいに見えたし、幼馴染みのような旧知の間柄にも見えました。人の話では内装工事か左官の小さな会社をやっているという話だったと思います。能登でそういう話を聞いたことはなかったですが左官のことをカベヤと呼ぶとか。

呉服屋の若旦那のようでもあり、いつも手元に小さな鞄をぶら下げて集金に回っているようにも見えた印象があります。MHK社長も会社にいないことが多かったですが、二人で戻ってくる姿を見ることも多かったです。個人的な付き合いとは思っていましたが、新年会にまで出席していました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月30日

先にS藤について書いておきたいと思います。割と最近まで思い出すこともなく、重要度も低いかと考えていたのですが、最近になって繰り返し思いだし考えるようになって問題の認識も変わってきました。

S藤ですが、私が最初に金沢市場輸送で見かけるようになったのは平成1年の9月頃ではないかと思います。イワシの運搬のM浦さんの愛人の息子が紹介で金沢市場輸送に入ったという噂話を耳にするようになったのと同じ頃だったような記憶になっています。

同じ頃に金沢市場輸送の運転手のY田さんの娘の彼氏というか婚約者が4トン車の持ち込みで金沢市場輸送の長距離の仕事をするようになったという話もあったと記憶しています。N口という若者でした。4トン車は日野の新車のトラックでした。保冷車でしたが冷凍機がついていたかは憶えていません。

このN口の方は噂話を耳にして早い段階で実際に姿を見ていましたが、M浦さんの愛人の息子というのは長い間顔を見る機会もなかったという記憶です。それは被告訴人YSKのことだったのですが、私は長い間、別の人物と取り違い勘違いしていたような憶えもあります。

被告訴人YSKは大柄で身長も180センチとかそれ以上あると聞いていたのでかなり目立つ存在でもあったはずです。しかしながら私が実際にYSKを会社で見かけるようになったのは、噂を聞いてからだいぶん後のことであったような気もするのです。

特に印象に残っているのは平成2年の2月か3月頃ではなかったかと思うのですが、金沢市場輸送の駐車場に雪が積もった寒い朝のことでした。YSKが2トン車を雪でスリップさせていたので、運転をかわって動けなくなっていたトラックを出してあげたことがありました。

その時に初めて見た顔ではなかったという記憶ですが、言葉を交わし接触したのはこれが初めてに近かったような気もします。それ以前にも、ちょっとは言葉を交わしたことがあったような気もするのですが、現在ではこまかく思い出せなくなっています。

平成1年の秋頃のS藤との関係も似たようなもので軽く言葉を交わす機会はあったと思うのですが、余り意識することもなく、細かいことも記憶に残っていません。ただ早い段階で、前に暴力団に入っていたヤクザ者だったとか、入れ墨を入れているという話は耳にしていた記憶があります。

そういえばS藤とは平成1年の秋頃の段階でバイクのことで話をしていたようなことを思い出しました。彼が400CCぐらいの中型バイクに乗って会社に来ていたことがきっかけだったような気がします。

私自身、同じ頃だったと思うのですが、ホンダのNSR250かスズキのガンマという２サイクルのレースマシンのような市販のバイクがむしょうに欲しくなり、自動二輪免許の再取得を真剣に考えた時期があったのですが、妻の反対と事情で断念したということがありました。

初めにあった頃のS藤は前髪を前に垂らした普通の髪型でしたが、あるいは少し茶髪にしていたかもしれません。顔つき自体が悪っぽい感じではありましたが、話し方などおとなしい落ち着いた感じでもありました。名古屋方面の話し方で、そちらから来たという話もしていたような憶えもあります。

入れ墨を見せてもらう機会もありましたが、まるでキャベツのような落書きであれほどひどいのは他に見た記憶がないほどです。素人彫りの入れ墨というのも見てはいたのですが、まるでキャベツにしか思えないもので、色合いもおかしい感じの入れ墨でした。

何時頃、どこで見たのかも記憶にはないのですが、一緒に銭湯に行ったという記憶もなく、上着を羽織らず半袖か長袖のシャツ一枚で過ごせる時期に、シャツを脱ぐではなく、引っ張って広げた状態で見せてもらったような気がします。キャベツみたいだったので強く印象に残っています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年01月31日

髪型を変えたS藤に金沢港で会ったことはすでに書いていると思います。それも被告訴人OKN絡みの問題でした。問題の当事者はS藤ではなくS田でした。彼は単なる付き添いだったと思いますが、パンチパーマの髪型はまるで借金の取り立てに来たチンピラヤクザという印象でした。

S田と被告訴人OKNとの間のトラブルは、その時に初めて聞いたのではなく、少し前に被告訴人OKNの方から愚痴のような感じで聞いていたように思います。車の売買を巡るトラブルだったとも知っていたように思いますが、余り具体的な話という印象は受けなかったと記憶しています。

その時点でS藤を連れたS田はトヨタのレビンかトレノという小型のスポーツタイプの車に乗ってきていました。デザインのわずかな違いで名前が違うというタイプの車だったと思います。マーク2とチェイサー、クレスタという感じで昔は多かったと思いますが、最近はほとんど聞かない感じです。

色は白だったと思います。その車に3人で乗って、金沢港の八幡のすし弁の近くにあるコンビニのような酒屋の前を通ったことを記憶しています。自販機も多くある店で、よく利用していた店でもありました。金沢ではコンビニがさほど普及していなかった頃だったとも思います。

髪型も変わっていましたが、かなり久しぶりに会ったという印象も強く、すでに忘れかけていていたような印象も残っています。

色々と当時のことを思い返してみたのですが平成1年はO西さんと一緒にやっていたイワシの運搬の仕事が2月いっぱいか3月に終わってから、私は長距離の仕事には戻らず、元々、小林健一が10トン平ボディでやっていたローカルの仕事をしようとしていたと思います。

その10トン平ボディのトラックは日通カラーになっていました。もともとは日通の仕事を専属でやるために作ったトラックだったと思いますが、私が初めに入社した昭和59年当時にあった新車で同じものが2台あって、原田さんと棟方さんという人が乗務していたと思います。

小坂さんという人も同じく10トン平ボディに乗務していたと思いますがその頃は日通カラーではないものに乗務していたように思います。あるいは型の古いイスズの10トン平ボディだったかと思います。この古いイスズの平ボディは私が大型免許を取って間もない頃ミールを運んだりしていました。

昭和61年の8月に入社した頃には棟方さんはやめていなくなっていたように思います。原田さんは私が中西水産輸送にいるときに金沢市場輸送をやめて移ってきました。ツーマンだったように思いますが、売上トップで表彰のようなものを受けていた様子も一つの場面として憶えています。

私の紹介というかたちで中西水産輸送で運転手をするようになり、その後配車係となって、昭和63年の12月頃には私の紹介というかたちで金沢市場輸送に移って配車の仕事をするようになったYTに聞いた話によると、原田さんは別の運送会社に移った後であったように憶えているのですが。

群馬県の高崎市付近の国道17号線で事故を起こし死亡したといいます。これと似たような話は平成15年頃か、被告訴人YSNの口からも聞きました。事故を起こした場所が群馬県の同じ辺りという話でしたが、死亡したという人は、市場急配センターで運転手をしていた大倉という人でした。

社員ではなく4トン車の持ち込み運転手というかたちだったと思います。平成3年の9月の初め、被害者AAさんが大倉さんのトラックに軽四をぶつけられたことがきっかけで、フィルム貼りの手伝いがあり、私とAAさんは急接近することになりました。8月中には意識する感じにはなっていました。

大倉さんもカベヤと同様に被告訴人MHK社長の友達という感じでした。風貌がゴリラーマンという人気漫画の主人公によく似ていると個人的に思っていたのですが、一目置かれるような存在でもあったのか、冗談でもそんなことを口にする人は私の知る範囲いませんでした。

ぱっと見た感じはいかつい顔立ちだったようにも思いますが、話し方や物腰はやわらかかったので、大人しい人とは思っていましたが、交友関係も広そうな感じでした。もとは社長として商売をしていたという話も、あるいは耳にしていたかもしれません。

大倉さんについて書き出して思い出したのですが、平成4年1月の片山津温泉せきや、での新年会のこと。大倉さんが被告訴人TTKら若い社員2，3人だったかを連れて、ソープランドをおごり、戻ってから麻雀で大負けしたような話があったように思います。あるいは20万円程度の負けだったかも。

金沢市場輸送の大きな特徴の一つに夕方17時頃から、毎日のように麻雀荘のようになっていたということがあります。私自身麻雀はおぼえなかったし、しませんでした。二口町に事務所が移転してからのことでしたが、市内配達の社員がいる頃は、そうでもなかったような気もしなくはないです。

中西水産輸送から来たYTもよく麻雀をしていましたが、彼は金沢市場輸送に来てから麻雀のルールをおぼえたと話していたように思います。連日のお決まり行事のようになったのは被告訴人東渡好信が来てからだったかもしれません。彼も常連メンバーの一人でした。

なかには余り見かけない市場急配センターの社員のような人もいましたし、会社とは無関係の人も交じっていたと思います。ゼンゴとか呼ばれた人物は、麻雀で見かけるようになった後に、しばらくイワシ関係の仕事をしていたように思いますが、細かいことは忘れてしまいました。

特に印象に残っているのは小木の元漁師という恰幅のよい人物でした。顔もなんとなく覚えていますが、体型が特徴的でした。マッチョという言葉がありましたが最近は余り聞かなくなっています。ボディビルダーのような体型ですが、それと相撲取りのような肥満型を合わせて割ったような体型。

金沢市場輸送に来た当初から傍若無人な振る舞いをしていた被告訴人東渡好信を小僧扱いでいびるような場面もありました。その割に他の人たちには配慮というか気を遣っているようにも見えました。確かに話し方も小木の人らしい感じでした。

私が生まれ育った宇出津と小木は距離にして10キロ弱で現在は同じ能登町でもありますが、話し言葉や発音にはかなりの違いがありました。他の金沢の人などには区別もつかないかもしれないですが、特有のものが数多くありました。

なかには遠洋漁業の漁師特有の言葉というのもあったように思います。たとえば妻や彼女のことを「じゃーま」と呼びますが、宇出津でも小木の漁師の経験者でもほとんど使う人はいないと思います。前にネットで調べたところ富山の方でも使うようです。

小木の漁師は、北海道の女性と結婚することが多く、母親が北海道の子供が多いとも聞いていました。人見知りをしない開放的な雰囲気というのも小木の方が現在でも強いような気もします。町の雰囲気も昔ほど違いが強かったですが、話し言葉も金沢の方に近くなり、聞かなくなった方言も多いです。

最近では減りましたが私は魚釣りで小木に行くことが多いです。宇出津より魚も釣れるし水深や風向きでも釣りがしやすいからです。特に大きいアジを狙えます。したがって今でも小木の人の話し方を耳にすることはありますが、年配者でも以前ほど、際だった特徴は薄れていると思います。

私が石川県立小木分校に入学した昭和55年頃は、クラスメイトとなった小木の女子が、「ゲッサァー」などと連発しているのに驚いたものでしたが、まったく耳にすることがなくなった言葉です。そういう言葉よりアクセントや方言の使い方に特徴が強かったと記憶しています。

金沢市場輸送の社長となった被告訴人MTKは最も常連の麻雀のメンバーでした。17時を心待ちにして麻雀を始める姿など見ていたので人一倍麻雀が好きなのだとは思っていましたが、彼の場合、配車係として配車の仕事を仕切るという意味合いでも会社にいる時間が長かったので仕事と一体化していました。

被告訴人MTKについては富山で飲み屋を数店舗経営していたことや静岡でサラ金をやっていたことなど、昨年中にいろいろ書いておいたことがあると思います。彼自身が語った経歴をあわせても、天才詐欺師のような雰囲気を身にまとっていました。

昭和59年の時点で金沢市場輸送で最古参の運転手だと聞いていましたが、それでも入社して7年か8年目という話であったとはっきり記憶しいています。それだけ人の出入りも多かったということになりそうですが、免許の停止や取り消しなど点数を失うリスクも多かったはずかと思います。

何時の時点であったかはっきり思い出せないですが、被告訴人MTKは50歳になったと話していました。まだ金沢市場輸送の社長になる前ではあったと思います。そのいくらか前だったと思いますが、運転手の武田さんから被告訴人TSKが還暦を迎えた赤いチャンチャンコを送るという話を聞きました。

当時の私は還暦という言葉の意味もわかっておらず60歳になった祝いということを初めて知ったようにも憶えています。それより辛口の評価が多かった武田さんが、TSKに贈り物をするという話をした方が、意外にも感じられました。

昔のことをいろいろ考えているうちに、マルモ整備のことを思い出しました。社長という人は当時50代だったと思いますが、柳田村の出身と話していました。現在は宇出津と同じ能登町ですが、以前は石川県鳳至郡柳田村でした。これも数年間長い間、すっかり忘れていたみたいです。

昭和59年の時は、武田さんは10トン車ではなく6トン車に乗務していたように思います。6トン車は2台いてもう一台に乗務していたのが越田さんでした。越田さんは10トン車に乗ることなくずっと6トン車に乗務していたと思いますが6トン車がなくなってからは4トン車に乗っていたかもしれません。

平成2年秋頃には金沢市場輸送にいたと思うのですが、もともと無口で存在感が薄い人でもあったので、いつのまにか辞めていなくなっていたのかもしれません。かなり地味な感じでしたが、話しかけると割と明るく受け答えしていたような印象もあります。

たまに会社に来ていた被告訴人TSK会長とは、ちょくちょく将棋をさすのを見かけていました。会社で将棋をするような人は他にいなかったと思います。ちょっと不思議な存在でもありましたが、6トン車は仕事内容も異なることが多い感じでした。

武田さんは昭和61年の8月に私が再度入社した時点では、10トン車に乗務していたと思います。保冷車なので他の運転手と同じく鮮魚の仕事が多いぐらいでした。野菜でも冷凍機をつけていないと積ませてもらえないとことになったのは昭和63年ぐらいからだと思います。

武田さんは被告訴人MTKよりいくぶん年が若かったと思いますが、いくぶん老けて見えたかもしれません。運転手というより技術者という雰囲気もあったように思いますが、本人も昔は電気工事の仕事をしていたようなことを話していたかもしれません。

武田さんとは仕事でよく一緒になりましたし、いろいろと話もしました。かなりの倹約家でもあり食堂に入って食事をするようなタイプでもなく、これも他の運転手とは異彩を感じさせるところでした。地味にも見えたのですが、連れ添いの年上の女性は派手でした。

水商売の女性のように見えましたが、とにかく衣装も化粧も際だって派手でした。独自の他には見ない服装で、いったいどこに売っているのかと不思議に思ったことも憶えています。戦後の一昔前の雰囲気を濃厚に持つ年配の女性でした。

はっきり聞いたのか、それも今となっては正確に思い出せませんが、正式な夫婦ではなく内縁関係にあるような感じでした。たまに長距離の仕事に同行していました。長崎県の長与農協で一緒になったことも憶えていますが、近所のスーパーに一緒に弁当を買いに行き、トラックで食べたと思います。

コンビニで買った弁当をトラックで食べるということはよくあったと思いますが、仕事先でスーパーに入って弁当や惣菜を買うという発想も経験もほとんどなかったと記憶しています。深夜の時間帯など近くに食べるところがなければ、コンビニの弁当で済ませるという感覚でした。

普段は倹約をしているけど、たまには連れ合いの人と、一人一匹の蟹を買ってきて贅沢に食べるとも話していましたが、長距離の仕事中の食事は、ずいぶんと切り詰めていたようです。今考えると一般の感覚ではそれが普通なのかもしれないですが、当時はずいぶんと変わって見えました。

その倹約ぶりというのは当時金沢市場輸送の社長だった被告訴人TSKの夫人にも通じるところがありました。吝嗇というのか徹底した倹約ぶりと聞いていましたが、その話の大半も武田さんに寄るところが多かったとも思います。

武田さんは金沢市内の寺町に住んでいるとも聞いていました。持ち家かアパートなどかとまでは聞いていなかったように思います。寺町は金沢の中心部にも近く、神社仏閣の観光地というイメージもあります。

チャンチャンコを贈ると言ったこともありますが、TSK夫妻とは特別な間柄なのかもしれないと考えることもありました。実際、会社のスパイではないかと言葉を漏らすような運転手もいたような憶えもあります。

TSK夫妻の家が金沢市の野町、それも石坂（いっさか）にあるということはしばしば聞いていました。地理的にも寺町に近いはずですが、昔の遊郭とか伝統のある場所とは聞いていました。近年では金沢の三大茶屋街の一つ西の茶屋街として知名度も上がり、観光地のようにもなっているようです。

TSKの夫人も以前は片町でスナックのような小さな飲み屋をやっていると聞いていました。昭和59年頃に聞いていた話では、暗い感じの店で、二度と行きたくないような店だという運転手もいました。若くない女の人が他に一人か二人いるような話でもあったと記憶しています。

TSKの夫人自体が、当時は地味で暗い印象でした。顔立ちなどはもともと美人だったという気もしますが、とにかく会社ではメガネを掛けて、机に向かってのみソロバンをはじいているという感じで、他の人と話をしたり周囲を見渡す様子も見た憶えがありません。

前にも書いていると思いますが、片町というのは金沢で一番、おそらく北陸3県でも一番の飲み屋の集中した繁華街です。そこで飲み屋をやっているとなると、華やかな印象も抱きがちですが、無愛想でギスギスした印象しか、当時は残っていません。

一つには金沢市場輸送の経営自体が、相当深刻に厳しい状態であったということが考えられますし、実際にそのような話を聞いていました。北浜太一さんの弟のように、給料日に給料がもらえるだけましという人もいました。

風向きが変わったのは金沢市場輸送だけでなく、日本社会自体が世に言うバブル景気に突入したというのが、何よりも大きな要因だったと思います。やり手の被告訴人MTKが配車係になったというのも金沢市場輸送としては大きかったというのも否定できない要因かと思います。

既に書いていることと思いますが、金沢市場輸送の事務所が西念町のテナントから二口町の新築事務所に移転したのが、昭和63年の7月だったと記憶しています。それと同時に、TSK夫人は片町の飲み屋の仕事をやめ、金沢市場輸送の会社の仕事にのみ専念することになったとも聞きました。

その頃よりTSK夫人の性格も別人のように明るく変わっていったという印象が残っていますが、とりわけ私に対しては、どうかと思うぐらい好意的に感じることがありました。長い間の苦境から脱したという安堵感と、業績を改善してくれたという感謝の気持ちが強かったようにも思われます。

近年になってより強く思うようになったことですが、そういう夫人の私に対する感情と評価はAAさんにも影響を与えたことだと思います。実際、平成3年の終わりか平成4年になった頃からは、輪島のHさんや被告訴人HTNが、TSK夫妻が私を養子にして会社を任せるつもりだとも言い出しました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月01日

S藤のことですが平成1年の12月にS田とともに金沢港で会って以来、ほとんど顔をあわす機会はなかったように思います。特に意識する相手でもなかったということもありますが、仕事内容も異なるので会う機会が少なかったということもあります。

大きな変化は市場急配センターの事務所が中央市場の裏側の側に出来て、運転手がまるごとそちらに移転したということでした。関係が続いたと言えば、市場急配センターのトラックが金沢市場輸送に給油に来ていたと言うことでしょうか。給油機の鍵は別になっていたと思います。

この給油は市内配達の2トン車や4トン車だけではなく10トンの大型車も同じでした。私自身、平成3年の11月か12月頃までは、金沢市場輸送の事務所に給油に行っていました。金沢市場輸送で給油した方が安上がりだという話でしたが、特に優先するようにしろという指示はなかったと思います。

というのも大型車の仕事の多くは長距離の仕事であり、県外で給油することが多かったからです。関東への運行であれば満タンのまま行き帰りが出来たので、県外での給油が不可欠というわけでもなかったのですが、給油のカードを持っていました。

もともと金沢市場輸送では昭和59年当時から一光のカードを使っていたのですが、途中から太陽鉱油のカードを使うようになったと記憶しています。金沢市場輸送の事務所と一緒に給油機が出来てから太陽鉱油を使うようになったような気もするのですが、はっきりしたことは憶えていません。

一光の場合だと8号線バイパス沿いにカードの使える給油所がありました。Googleマップで確認すると住所は磯部町になるのではと思います。金沢市民球場の近くです。当時は周りに何もないところでしたが、8号線バイパス自体がだいぶん前からにぎやかになってずいぶんと様変わりしています。

この一光の給油所だとどこへ行くにしてもさほど不便は感じませんでした。西念町に事務所があったころは高圧洗浄機もなかったので戦車にもよく利用していたはずです。特に魚を積む保冷車の場合、トラックの洗車自体より、他の荷物を積むための荷台の洗浄がけっこう重要でした。 一方、太陽鉱油の場合は金沢市内にカードの使える給油所がなく、国道8号線沿いではありましたが、河北郡津幡町まで行く必要がありました。富山方面ですが、金沢東インターを離れるとすぐに、国道8号線と高速道路である北陸道は、別の方向に枝分かれしていました。

ちなみに北陸道と国道8号線は富山県内でもほとんど交わることがなく離れた別のルートになっていました。逆方向の金沢西インターも福井方面の国道8号線とは、県境近くの加賀インターまで、かなり離れたルートになっていました。

高速と一般道が大きく外れていたと言うこともあり、通過点として津幡の給油所を利用することは少なく、能都方面の七尾市に向かうときは、さほど遠回りでもないということで、寄って給油することはあったかと思います。後で説明しますが市場急配センターでは七尾市からの積み荷が多かったです。

私の場合、運行の通り道ではなく給油のために津幡まで給油に行くことが多かったのですが、荷下ろしが終わった夜中に行ってそのままトラックで寝ることもけっこうあったと思います。アパートに帰って冷たい布団にはいるよりましということもあり、入浴をすることも出来ました。 長距離の大型トラックが利用するガソリンスタンドでは入浴設備のあることが少なくなかったです。有料というのは経験がないです。それに店員に頼むと、頼んだ時間に起こしに来てくれるので、寝過ごしの心配もなかったです。

自分の場合、平成3年の11月から平成4年の1月の間は、和歌山県のかつらぎ農協からミカンを摘んでくる仕事が多かったです。他の運転手が嫌がる仕事だったので、回ってくる割合が多かったですが、これは茨城県古河市の山三青果の仕事も同じでした。

古河の市場や山三青果についてはこれまでにも説明は書いていると思いますが、市場急配センターのメインの仕事で、この仕事のために長距離を始めたという感じでした。もとは金沢市場輸送でやっていましたが、これもイワシの仕事と同じく、市場急配センターの仕事を金沢市場輸送にやらせるかたち。

金沢市場輸送で山三青果の仕事を始めた頃は、行き荷もセットになってスタートしていました。一つはトナミ運輸の仕事で栃木県の宇都宮市への定期便でした。宇都宮市でも市内の外れか、あるいは住所自体が宇都宮市に隣接した別の市町村だったかもしれません。

もう一つは日通の仕事で金沢の高柳店から埼玉県の岩槻市と千葉県の千葉市の2カ所おろしという定期便でした。日通というのは日本通運のことですが、当時日本一の運送会社とも言われながら、組織や業務形態としてややこしいところがあって理解しがたい会社でもありました。

金沢市では増泉と高柳の日通が大きかったと思います。他にもあったと思いますが、私が仕事に行ったのもこの二つぐらいではなかったかと思います。どちらも支店になっていたように思うのですが、高柳の方は違っていたかもしれません。

金沢市の高柳と行ってもわからない人が多いと思いますが、金沢駅と東金沢駅の間にあって貨物ターミナルとしての物流の拠点という感じにもなっていました。線路の上に乙丸陸橋があって、市内の方に向かっておりた右側が浅野本町、少し行くと金沢東警察署もありました。

乙丸陸橋の反対側はしばらく走ると国道8号線バイパスにぶつかり、そこが田中の交差点とも呼ばれる交通の要所になっていました。右に少し行くと北陸道の東インターがあり、バイパスを突っ切って直進してしばらく行くと、右側に佐川急便の大きな建物がありました。木越という辺りです。

東インターを超えるとすぐ右側にはトラックステーションがありました。ここを左折するとこれも木越の方に行きますが、河北郡宇ノ気に至る農面道路と呼ばれる主要道路でした。木越の辺りは瑞樹団地なども出来てかなり様変わりしていると思います。

宇ノ気は能登路の玄関口のような歴史もあるそうです。現在は高松町と同じくかほく市になっているのかと思います。宇ノ気で国道159号線にぶつかりますが、能登方面に少し走ると、白尾インターから能登有料道路にのることが出来ました。昨年の4月あたりに無料化され、名称も変わっています。

金沢市内から能登方面に向かうにはこの白尾インターを使うことが多かったと思います。白尾インターの先には内灘料金所がありましたが、時間的にも違いは余りなかったように思います。内灘町も河北郡でしたが、隣接する粟崎は金沢市内だったと思います。

農面道路には少し離れた道沿いに金沢競馬場がありました。周囲は田んぼが多かったと思いますが、しばらく走ると右手に浜田漁業金沢工場がありました。金沢港からイワシの運搬をするときは、競馬場のあたりから入って東蚊爪のあたりを通過していました。

東蚊爪は石川県内では知られた場所だと思います。というのも運転免許センターがあったからです。昭和58年の時点では金沢市観音堂の方に免許センターがありましたが、昭和59年か60年あたりに移転していると思います。

私自身、平成21年の1月以来、もう5年ほど金沢市には一度も行っていないと思います。羽咋市から戻ったのがその年の3月の15日のことでしたので、それ以来、羽咋市より南の方にも行っていません。羽咋市は能登にはなるはずですが、石川県に住む感覚としても能登という感じよりは金沢に近いです。

金沢市内で生活をしていたのは平成11年の8月まででした、羽咋市には平成15年の11月の下旬から生活するようになり、金沢市内にはちょくちょく買い物にも行っていましたが、全体的に道も店も増えて、ずいぶんと様変わりしていました。ここでも時間が止まっているようなものです。

とにかく農面道路や競馬場、東蚊爪の周辺も以前は田んぼが多かったです。平成15年を過ぎてから感じたことの一つは、東蚊爪のあたりも工場や会社が増えていたということでした。被告訴人HTNの会社事務所を発見したのも、ほとんど偶然に目についたのがきっかけではなかったかと思います。

社名の方は平成11年の時点で知っていたはずです。運転免許センターの近くですが、用事や買い物で通るあたりではなかったと思います。たまたま気が向いて、車を走らせてみたというのがきっかけだったかもしれません。

反対方向にはなりますが同じく東蚊爪の運転免許センターの近くにあった北陸ハイミールの建物は、気になって目的意識を持って見に行ったことがあったと思います。廃棄物の処理場のようになっていて、昔の面影はほとんど残ってはいないという印象でした。

北陸ハイミールの工場の近くには河北潟が広がっていましたが、どうろから河北潟が見えることはほとんどなかったように思います。浜田漁業金沢工場も少し離れたところに河北潟がありました。浜田漁業金沢工場の前を通過して宇ノ気に行く道とは別に、手前から左折して宇ノ気に行く道がありました。

左折して少し行くと割と大きな橋があり、これが河北潟にかかっていたと思います。この土手のようなあたりで一度、被告訴人OKNに誘われて行き、ゴルフの練習をしたことがありました。平成3年12月22日のことであったと思います。

当日は金沢市場輸送の事務所の近くにあるパチンコオーロラのとなりぐらいにあった花屋に行き、そこで被害者AAさんの自宅に赤いバラの花を10本クリスマスの夜に届けてもらうように注文しました。

初めに行ったのが8号線バイパス沿いの県立中央病院にちかいあたりにある喫茶店のようなレストランだったと思いますが、今考えると、どこで待ち合わせをしたのかと考えてしましました。もともとの習慣として場所を決めて待ち合わせをするということは余りなかったと思います。 被告訴人OKNはその平成3年の4月頃に、それまで住んでいた金沢市無量寺のアパートから、金沢市大場町東の一軒家に引っ越していました。その時も、まず初めに大場町東の家を私が訪ねたように思います。

書いているうちに思い出したのですが、この時も私はどこかの店でショートケーキを買い、それを手土産に持参して大場町東の被告訴人OKNの家に行ったと思います。

大場町東も地理的に金沢競馬場に近い場所でしたが、OKNが引っ越しするまでは車で通るような場所でもなく、こんなところがあったのかという感じの住宅地でした。住宅地といっても古い感じの町で昔からの農家が多いという雰囲気も感じたように思います。

なんとなく記憶に残っている程度ですが、農面道路沿いのように田んぼではなく、大場町東のあたりは畑が多かったような気もします。はっきり憶えていることは、被告訴人OKN自身が、競馬場の話をし、近所には競馬場の関係者が多く住んでいると話していたことです。

記憶に自信がないですがなんとなく思い出したことがあり、その平成3年のいくらか前に、競馬場の関係者が絡んだ殺人事件があり、新聞で大きく報じられていたように思います。OKN自身も、その事件に関連して何か話をしていたような気もするのですが、直接関係のある話としては聞いていなかったです。

被告訴人OKN自身が競馬に行ったとか競馬をしているという話は聞いたことがなかったです。後年を含め仕事の時間つぶしにパチンコ屋に入ることはあると話していましたが、ギャンブルにのめり込んだという話を聞いたことがなく、父親の失敗を見て育っているので兄同様に可能性は少ないと見ていました。

イワシの運搬だけでなくミールの仕事でも、浜田漁業金沢工場に行くときは金沢競馬場の側を通っていたので、なんとなく身近に感じていたと思いますが、私自身、競馬には縁も興味もなかったです。

初めに競馬場に入ったのは、一緒にイワシの運搬をしていたO西さんの付き合いだったかもしれません。既に書いていると思いますが、このイワシの運搬は昭和63年の12月から翌平成1年2月一杯か3月の初めぐらいまでの時期です。このイワシの仕事が終わると、会うこと自体なくなっていったはず。

次の年のイワシの時期はO西さんの姿はありませんでした。同じようにイワシの仕事を一緒にやりながら行動を共にすることが多くなったのが、これも既に書いているはずですが、T林です。彼は金沢競馬場とも強い縁を持つ人物でした。

競馬にのめり込んだ時期があるという過去形の話であったと思います。きっぱり縁を切っていると思ったし、疑うことも全くなかったです。彼とはパチンコ屋に一緒に行くことはあったと思いますが、さめた感じでやっているという印象でした。

ギャンブルとしての競馬にのめり込んだのか、それより馬が好きだったのか、当時の会話はごく断片しか記憶していないのでわかりようもないですが、一番印象に残っているのは、彼の母親が競馬場で働いているとか、働いていたという話でした。

日付が変わっていることを忘れていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月02日

軽視できないのは被告訴人MHKが来てすぐに、T林がMHKの過去を語り出したということです。T林だけの話ではなかったのかもしれませんが、瞬く間に社内の誰もが知っているような周知の事実のようになっていたという印象が強く残っています。

T林の話によると被告訴人MHKは競馬にのめり込んで会社の金を横領し、クビになったということでした。刑事事件になったとまでは聞いていなかったような気もしますし、私の方からも突っ込んで話を聞くようなこともなかったと思います。

既に書いていると思いますが、被告訴人MHKの姿を最初に二口町の金沢市場輸送の事務所で見たのは、昭和63年の8月の終わりか9月の初め頃でした。その後、初めの頃はちょこちょこと顔を見ていたように思いますが、しばらくするとほとんど顔を見ることがなくなったという印象も残っています。

いずれにせよ金沢市場輸送の事務所にいることは少なかったですし、机や椅子に何かをしているという姿も見た憶えがありません。席自体がなかったのではと思います。顔を合わせて早い段階から車のセールスを持ちかけてきて、少し話をするとすぐに試乗車まで持ってきたことを憶えています。

新型になったカローラだったような気がします。カローラにはカムリという兄弟のような車種もありましたが、テレビのCMでも全く見かけなくなって久しいです。トヨタカローラという呼び方もあったと思いますが、小型の大衆車の代表格ではなかったかと思います。

しばらくすると態度が急変したように全く車のセールスの話をしてこなくなりましたが、私の妻のサラ金の借金のことで難があるとわかったことで態度を変えたという感じでしたが、それがかなり露骨な印象として残っており、むしろ演出というか演技ではなかったのかと考えることもありました。

市内配達の現場は会社ではなく、中央市場内の売り場ということは、市内配達の仕事をしていた経験もあるので人一倍理解はしていたつもりでしたが、それにしても物を書く仕事もあるだろうに、机もなしにどこでやっているものかと、不思議に思うことはありました。それだけ姿を見る機会が少なかった。

市場急配センターの新しい事務所では大きな社長の机がありましたが、そこに座っている姿というのも目にする機会は少なかったです。いつも空いているので、私などはその席に座ることも多かったです。机は大きいだけでなく、色々とおいてある物も多かったという印象はあります。 もともと被告訴人MHKは営業が得意という感じの強い人物でした。横領でクビになったという会社も石川トヨタでした。T林も同じ石川トヨタの社員だったと話していました。T林の話しぶりから察すると部署は違い、直属の上司ではないような感じでしたが、よく知っていると噛みしめてに話す感じでした。

石川トヨタといえば中古車を含め車の販売業界を代表するような会社であったと思います。金沢市内に大きな会社の建物もありました。増泉にも近かったと記憶しています。クラウンも取り扱い車種だったはず。

トヨタのクラウンという車種は現在でもテレビCMで見かけていますが、トヨタの国産車として代表的な高級車という位置づけでした。さらに上位にはセンチュリーという車もありましたが、日産のプレジデントと同様、一般とは異なる特別な車種だったと思います。

日産のプレジデントの方はさほどでもなかったかもしれません。かなり古い感じという印象も残っていますが、中西運輸商の社長の車もプレジデントでした。中西水産輸送と中西運輸商の違いは、昨年中に本書においても説明済みかと思います。

ついでに書いておきますが、被告訴人TSKは中西水産輸送の窮地を救ってやった恩人だと、自慢話をしていましたが、やけに熱の入った語り口でもありました。金額など具体的なことまでは話していなかったように思います。

私は中西水産輸送の社長本人の口から被告訴人TSｋのことに触れる姿も目の前で見たことがありました。TSｋか・・・と、しみじみ懐かしむと同時に呆れたように口にしただけで、それ以上のことは口にしませんでした。憎めいないやつというようなニュアンスと感謝の念のようなものもあるようには。

中西水産輸送の社長は、一言で言えば猛烈でめちゃくちゃな人物でした。昭和の時代の遺産というか現在ではあり得ないタイプの社長かもしれません。結局、中西運輸商が佐川急便の仕事をやめてからは噂を聞くこともなくなってので、その後のことはさっぱりわかりません。

中西運輸商の社長は見た目も体つきも、寺の門にある仁王像という感じの人物でした。仕事の電話で取引先の相手に、今からお前を海に鎮目に行ってやると、怒りまくっている姿を、目の前で見ていたこともあります。

中西運輸商の事務所は金石街道沿いの金沢市寺中町にありました。寺中町は畝田とも隣接していたと思いますが、畝田や藤江と違って町内の範囲は狭く、丁目は少なかったと思います。数百メートル先に行くと同じ金石街道沿いで金沢西警察署がありました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月03日

S藤について書いておきたいことがあるのですが、その前に事件の鍵を握る人物の一人、被告訴人TTKについて書いておきたいと思います。その方が、全体として問題の高さも伝わりやすいと考えるからです。プライバシーについてもその都度煩慮していますが、バランスをはかる意味でも参考に。

S藤について書いておきたいことも今から書く被告訴人TTKに関することも、平成4年4月1日の逮捕以降、取り調べや捜査、裁判に少なからぬ影響を与えたと思われる事柄です。あるいは認識を誤る落とし穴になったかもしれませんが、問題を解く重要な鍵になる可能性もあるかと思います。

もっともS藤に関しては偶然の要素が強いと思います。警察が偶然と捉えたかどうかは別問題ですが。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月04日

被告訴人TTKですが、被告訴人YSNが市場急配センターで市内配達を始めた当初、免停中で市内配達に指導を兼ねた同乗をしていたとYSNから聞いていました。内灘・高松コースだったはずです。本当に免停中だったのか、現在は疑問でこんなところもしっかり、調べる必要があると思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月05日

被告訴人YSNですが、市内配達をしている頃は自動車学校に大型免許の教習に通っていました。運転免許センターでの一発試験を強く勧めたのですが、全く聞く耳を持たないという態度でした。自動車学校の費用のことはよくわかりませんが、当時で10万円は最低かかったのではと思います。

そもそもなぜ私が50万円の前借りの保証人になったかというと、昭和58年の8月の終わり頃から11月の10日頃まで、金沢市内観音堂の彼のアパートに居候し、食事もよくおごってもらっていたからです。家賃も一円も出していませんでした、昔世話になったということが大きかったのです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月06日

先に書いておこうと思うことがあります。平成９年の11月ぐらいから平成12年の年末一杯ぐらいに、中心的な働きをした可能性の高い、被告訴人KYNのことです。彼の場合、他の被告訴人とは違って、純粋に利用されていた可能性が最も高いのですが、現場実行者のような役割になります。

被告訴人KYNについては平成19年頃まで繰り返し御庁に提出した告発状、告訴状には詳細に書いていると思いますし、それ以上に具体的な事実を上申書などとして金沢刑務所の拘置所にいる平成11年、12年頃に提出しているはずです。ずいぶんと注意深く観察しており、細大漏らさずのはずです。

ところで、何より重要と思うのは平成11年の秋、片町の性的サービスの店のことです。場所は大通りに面したオーロラビルのスクランブル交差点から向かって少し手前だったと思います。あるいはオーロラビルの先だったのかもしれませんが、手前の方だと認識していたと思います。 かたちのうえでは、呼び込みの若い男性に声を掛けられたのだと思いますが、けっこう長い間、その場に足を止めて、あるいは歩道の作のようなところに腰掛け、入るか入らないか思案している様子でした。私に直接、どうするかということは言わなかったように思いますが、かなり不自然な状況でした。

その場をさっそうと足早に歩いていったのが、木梨松嗣弁護士と思われる人物でした。かなりラフな服装でした。セーターの上に羽織る上着は着ていなかったようにも記憶しています。クリーム色のセーターがベースだったように記憶していますが、数秒間のことと思われるのではっきりとは記憶にないです。

うまく表現できないのですが、かなり気合いの入ったような様子で、力強く大股で歩いていたような印象も残っていますが、それ自体がかなり異様にも見えました。連れがいるような様子は全くなかったです。本来、酔客がほとんどとも思えるような金沢の繁華街のど真ん中でのことです。

私も酒は入っていたと思いますが、この時も気持ちは冷め切っていました。当時はファッションヘルスなどと呼ばれていた店だったと思います。女性が口を使って射精させるようなサービスで、その頃、片町でそのような店が増えているという話も、割と有名になっていたかと思います。

本来、金沢市は観光地であり加賀百万石の伝統文化を売りにしているので、繁華街の規制も厳しいと聞いていました。路上の屋台ですら禁止になっていると聞いていたので、片町もずいぶん変わったものだと思っていました。

その場にいたのは被告訴人KYNの設備会社のK君とM君です。K君の話で私が入ってまもなく、飲み歩くようになったと話していました。もともと給料日の日には、KYNの家族連れで焼き肉屋に行ったりするけど、それで終わりだったと以前の不満を口にしていました。

私が被告訴人KYNの会社で仕事をするようになって初めての時も、それまでと同じように焼き肉屋にのみ行きました。それも私にとって思い出深い店でしたが、考えてみるとあの店に行ったのは、あれが初めで最後だったようにも思います。

店の住所は私が以前住んでいたのと同じ金沢市東力だったように思いますが、余り近くもなく、新神田や糸田に近い場所でした。労働基準局のはいる合同庁舎の近くでもありましたが、当時はその周辺は空き地が多く、焼き肉屋は離れたところからも目立っていました。

店の名前は「飛天竜」だったと思います。流行っている感じの店だったので調べていませんが、今もその場所に店がある可能性はあるかと思います。その店に初めて行ったのは昭和59年の12月頃のことで、被告訴人OKNら数人と行きましたが、たまたま入って店という感じでした。

自分の東力のアパートから近かったので他にも行く機会はあったような気もするのですが、周辺には他にも焼き肉屋があったので、特には記憶に残っていませんし、意識することもありませんでした。

その焼き肉屋に対して特別な意識を持ったのは、平成3年の8月の終わり頃だったと思いますが、市場急配センターで飲み会があったからです。このような焼き肉屋の飲み会は、私がいるとき他には一度もありませんでした。

その時の飲み会の目的というか名目は２つほどあったように思うのですが、一つは「北食」とかいう会社から二人の運転手が市場急配センターに入社したということだったと思います。それまでは下請けの社員のような感じで市場急配センターの仕事をしていました。

「ホクショク」と呼ばれていたと思いますが、北のあとの感じははっきり憶えていません。小さい運送会社のような話でしたが、社長が右翼団体の幹事というような話も聞いていたかもしれません。今日まですっかり忘れていたので別のことかもしれず、正確に思い出すことは出来ないです。

もう一つは、浅野という被告訴人MHK社長の友人が入社したことで、それら3人の歓迎会というのが名目だったと思いますが、あるいは他にもなにかあったのかもしれません。本来、歓迎会や送別会をするような会社ではなかったと思います。

焼き肉屋では2階のような部屋の貸し切りだったように記憶しています。8月の終わりということもありますが、まだすっかり明るい時間から飲み会が始まったと思います。被害者AAさんが、ビールのお酌に回って、私にも何か一声掛けてくれたような気もしますが、会話のようなものはなかったと。

皆で焼肉店を出た後、私は被告訴人YSNに強制的にアパートに送り届けられました。飲み会の途中に、ふざけて彼に対して「地獄の○○を知らないか」などと節をつけて歌ったことです。彼は自分がシンナーで精神病院に入った過去などを酔った勢いで暴露されるのを警戒したような態度でした。

忘れないように書いておきますが、片町のファッションヘルスのような店には入りませんでした。店は小さいビルの地下にあるような感じだったと思います。片町のお踊りで地下にある店というのも珍しいように思いました。金劇の方は地下街のようになっていたと思います。

飲みに行くのが増えたのはM君が入ってからでした。彼ももとは同業者の小さい会社の社員で社長も若かったようですが、一応倒産したような話で、失業したところを被告訴人KYNが声を掛けて、すぐに入社したような感じでした。

平成10年の1月だったと思うのですが冬でした。M君が入ったときの初めの現場は河北郡津幡町の日本たばこ産業の現場の仕事でした。そこは金沢市場輸送の長距離の仕事でも何度か行ったことのある工場でした。小さい現場で、長くは通わなかったと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月07日

私が被告訴人KYNのところで配管設備の仕事をするようになったのは平成9年の11月頃だったと思います。被告訴人OKNの口利きというかたちというか、感じになっていました。初めにOKNが話を持ちかけたときは、KYNは仕事関係の人と沖縄旅行中でした。

昼にOKNとKYNの3人で、東京ストア西南部店の近くのそば屋で食事をしたときも、そのような話だったと思いますが、沖縄旅行の前か後かは憶えていません。旅行中を除き戻ってからは、割とあっさり話が決まったように思います。

被告訴人KYNの設備会社での最初の仕事は辰口町の和風のような大きめの旅館の雨樋の補修のような仕事であったと思います。たまたま仕事が終わりかけていたのか、この現場には2，3回しか行くことがなかったと思います。

辰口町は当時は能美郡辰口町だったと思います。現在は能美市になるのかもしれませんが、もともと辰口町自体が比較的大きな町だったので、違っているのかもしれません。金沢市内にも通勤可能なベットタウンのような一面もあったような気もします。

続けて連日のように行くようになった現場が、同じ辰口町の北陸先端大学でした。これはけっこう大掛かりな配管工事という感じでしたが、だいぶん前からやっている様子でもありました。K設備の応援の仕事でした。

K設備は被告訴人KYNの仕事仲間の一人でした。年は私たちより二つほど年上と聞いたようにも思います。私より二つほど年下の珠洲市蛸島出身という若者と二人で配管の仕事をやっていました。

会社といえるのかもわかりませんが、一人親方に近いような業務形態になるのかとも思われます。被告訴人KYNも私が入るまではK君と二人だけでやっていたので、ほとんど同じような感じでした。

違いといえば配管の加工をする作業場をK設備の方は持っていたと言うことです。事務所も兼ねていたと思いますが、プレハブの倉庫に近いような感じでした。周りには水田か畑が多かったので、農業機器とかビニールハウスのようなイメージも残っています。

もともと金沢市の外れか松任市の外れの海に近いあたり農村の人で自宅もそちらの方にあるというように聞いていたようにも思います。そのあたりはスイカなどを栽培する農家も多く、スイカを積みに行ったこともあったような記憶もあります。

金沢市内から美川町の方に行くのに御経塚の交差点からつながる道路を使うことがありましたが、その途中に近いあたりだったと思います。この道は途中で専光寺の方から来る道とも交差していました。左折すれば松任市内の駅の近くに入りました。

右折して専光寺の方に向かい少し行って左に入っていくと、そこは松任市の旭工業団地でした。さらに専光寺の方に進んで左に入っていくと、安原工業団地がありました。旭工業団地には被害者AAさんの父親AKさんが部長をする鉄工所がありました。

安原工業団地にはS設備がありました。被告訴人KYNの仕事仲間では一番大きな会社で細かくは忘れましたが10数人の社員という話でした。ほとんどが20代の若者で年配の人は少なかったです。社長とKYNは気のあった親子というような関係でもあり、共通したのは酒癖の悪さかかと。

私が被告訴人KYNのところで配管の仕事をしていたとき、一番大きな現場は石川動物園と辰口庁舎でした。石川動物園も山手の方でしたが辰口にありました。このどちらもS設備から請け負ったような仕事だったと聞いていました。

午前中Googleマップで調べたところS設備は今でも同じ場所にあるみたいでした。ストリートビューで建物の写真をみることもできましたが、余り印象は残っておらず、確かにこの建物だったという確信は得なかったです。住所は安原ではなく打木町東になっているようでした、安原に隣接しています。

他との区別もあるので以降、安原工業団地のS設備とすることがあります。文字数を減らすため、文脈によっては単にS設備とします。他にもう一つS設備と書く必要がある関連先があるからです。住所は若宮だと思っていたのですが、二口町の可能性がありそうです。

Googleマップで確認すると長田本町とも大豆田本町にも近いようです。私自身、金沢市の二口町と聞くと中央市場の側というイメージが強いのですが、かなり方角の違う場所です。若宮大橋に近いですが、この犀川に掛かる橋を含めた主要道路自体が、平成4年当時には影も形もなかったものです。

二口町と書くと私自身が勘違いする可能性もあるので若宮大橋の近くのS設備と書くことにします。こちらも被告訴人KYNの仕事仲間でした。社長というのは能登町姫の人だと聞いていました。Sというのは姫によくある名前です。全国的にけっこうありそうな漢字の名前です。

以前は遠洋漁船の漁師だとも聞いていたように思います。当時で50歳から55歳ぐらいだったでしょうか。年齢のことも聞いていたように思いますが、よく憶えていません。姫については小木と同様にこれまでも説明はしていると思います。

姫の人間であることは初めの方でしっていましたが、他の人間関係など聞かなかったし、聞かないようにもしていました。なぜなら気になる点が２つはあったからです。

姫のSさんは私たちのちょうど親の世代という感じでもありました。同級生にも同じSという女の子はいましたが、それ以外にもよく聞く名前でした。ただ、KYNの方からも誰それの知り合いなどという姫や周辺での人間関係を耳にすることがなく、世代が違うからと思いながらも少しは気に掛けていました。

若宮大橋の近くのS設備は、けっこうしっかりした感じの平屋の工場を作業場兼事務所にしていました。同じような建物が３つほど並んでいて、Googleマップのストリートビューで写真が見れましたが、自動車修理工場やバイク屋になっているような感じでした。

Sさんのところには他に二人の従業員がいました。安原工業団地のS設備は当時既に株式会社になっていたと思いますが、SさんのところはS設備であり、やはり社名とは考えにくいので社員というのはどうかという判断です。Sの部分はカタカナで4文字になっていたようにも思います。

一人は私と同じ年だったかもしれません。サザエさんのマスオさんのイメージも重なる感じで、見た感じ大人しくまじめそうな人でした。家が金沢市内諸江にあり、その家の前までは行ったことがあるのですが、中に入った憶えはないです。遊びに来るように誘われたこともあったようには思います。

もう一人は年配者で被告訴人KYNが山賊の親父と呼ぶ人でした。お互いに酒が好きで飲み仲間という関係も強そうでした。小柄でしたが野性的な感じで、軽量のプロボクサーとかジャングルに住んでいた旧日本兵というイメージもあったので、KYNもイメージから山賊と呼んでいたようです。

山賊という人は腕のよい配管の職人というイメージもありました。配管工の経験も長いようでしたが、前は別の仕事をしていたと聞いていたかもしれません。もとは安原工業団地のS設備にいたのを、姫のSさんが引き抜いたという経緯も聞いていました。

安原工業団地のS設備の社長は石川県鳳至郡穴水町の沖波の出身だと聞いていましたし、たしか山賊という人もその沖波か、その近くだと聞いていたと思います。話し言葉も能登の人間という感じであったと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月08日

山賊という人は、友達が右翼団体をやっていて、その部下というか手下の扱いや教育に呆れたような話をしていたことがありました。他にも暴力団員との関係があるような話を少し耳にしたような気もしますが、私の中の全体的なイメージとしては昔はともかく、割とまじめな生活をしている。

被告訴人KYNの○○設備工業は金沢市黒田にありまして、割と大きめの自宅を兼ねていました。家の裏の方にちょっとした物置のような早期があり、そこに初めは驚いたほどの仕事道具や配管の部品がおいてありました。小屋の外には家の裏庭のようなスペースがけっこう広かったです。

晴れていればその裏庭で少し作業をしたこともあったと思います。家の裏は川沿いの土手になっていました。犀川の支流です。Googleマップで見ましたが川の名前がわかりません。あるいは伏見川になるのかとは思います。

この川の土手沿いの道は東力に住んでいた私のアパートとも近かったので、昭和60年頃からそのあたりを裏道として通行することはありました。川沿いは辺鄙な場所でもありましたが、ゴミ処理場もありました。

川沿いの裏道は私が東力のアパートから高畠の被告訴人OSNのアパートに遊びに行くときもよく利用していた記憶があります。誰かに教えてもらった道でしたが、普通は気がつきそうにもない感じの道でした。

被告訴人KYNの会社を兼ねた家はやや細長い奥行きのある建物で、奥行きだけ見ると2軒分の家にも相当していました。向かって左手にある家がそうでした。左隣の奥の方の家には、朝など4，5人の鳶のような作業着の若者が集まったりしていましたが、そのうち人の姿を見かけなくなっていました。

書きながら当時のことを思い返しているうちに、新たに思い出したことがあるので先に書いておきたいと思います。それは一つ年下の姫出身のHのことです。以降、一つ年下の姫のH、文脈の流れで判別できる場合はたんにHと表記したいと思います。

まず学年ごとの人間関係や出来事について少し説明をしておきたいと思います。学年ごとの特色もありましたが、特に際立ったのは私の一つ年下の学年かと思います。最終的には新聞に大きく載るような暴力事件を起こしました。

隣接する柳田村の柳田中学校の生徒と宇出津の万寿山で、白昼、木刀を持ち寄り決闘をしたという事件です。細かいことは憶えていませんが、能都中学校の方は、私より一つ下の学年が10人ほど、二つ下の学年が3人ほどだったと思います。

もともと柳田中の生徒の方ははったりのつもりだったという話も聞きましたが、能都中の生徒は木刀で思いっきり殴りつけたと聞きます。木刀が折れたり、相手の頭が栗のように大きく割れ、血だらけになったと聞きます。

柳田村との公共の交通手段は今も輪島市まで行くバスしかありません。そのバスに血まみれの生徒が多数いたことで、乗客から警察に通報されて、問題化したと聞きます。

私はその現場にいた能都中の複数から話を聞いているのですが、たしか一面の雪が血の色で真っ赤に染まったと話していました。冬ということになりそうですが、3月の卒業の時期とは離れていたように思います。

地元紙の新聞ですが、一番大きく紙面に報じられ写真も載っていたような記憶があります。それでいて、鑑別所に送られるような生徒はいなかったはずですし、その後の高校進学にも本人の志望校という事情もありますが、ほとんど影響がなかったという感じでした。進学をしなかった生徒もいます。

この私の一つ年下の学年が急速に不良化したのは被告訴人OSNの影響が何よりも大きいと思います。OSNの家の方にも頻繁に出入りしている様子を目にすることがあったと記憶しています。

私の学年ではまじめというか勉強に専念する生徒が多かったです。目立った不良というのもいなかったですが、特異な存在が2名ほどいました。その一人が被告訴人KYNですが、もう一人がTYです。この二人は年下から恐れられ、おさえになっているような存在でもありました。

KYNとTYはタイプの違いはありましたが中学校の頃はいつも一緒にいました。私もTYに呼ばれて、よくKYNの家に行っていました。私もKYNに対しては割と好きなことが言えたのですが、TYは暴力で人を支配するような傾向があったので、かなり気を遣っていました。

私だけでなく、他の同級生も同じような感じだったと思います。本当に特異な存在だったのはTYだけとも言えたのですが、どうも年下の連中から見ると、KYNの方もTYと同じように見えていたようです。TYは口数も少ないこともあり、黙っていて人を威圧するような雰囲気もありました。

この二人は年下から恐れられる一方、年上の方からは目をつけられるようなところもありました。実際に被告訴人OSNは、けっこう長い間、KYNとTYの二人に制裁を加えるというようなことを、大々的ではなかったですが、私の前でも口にしていました。

単に生意気とか目立つという問題ではなかったと思います。やはり一番大きいのは被告訴人HTNのことかと思います。プライベートな問題でもあるので、書くのもどうかと迷うところはあるのですが、人間関係の理解をより正確にしておくことが関係者のより大きな利益の保護にも資すると判断しました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月09日

被告訴人HTNのことを書く前に被告訴人KYNの配管設備会社に入ったM君について書いておきたいと思います。M君が入ったのは平成10年の1月か2月のことです。津幡の日本たばこ産業での仕事が初仕事であったことも書いたと思いますが、この現場は規模も小さく短い工期だったと思います。

長野オリンピックにおけるスキージャンプ競技 - Wikipedia <http://bit.ly/1jnE7X3> で確認したのですがだ引退競技で日本チームが金メダルをとったのは2月17日のことのようです。

M君が入ったのは津幡の現場の終わり頃だったとも思いますが、次の現場が福井県武生市の現場であったと思います。なにか割と大きな工場の敷地内における新しい工場の建物の工事であったと思います。ここも長い現場ではなく、10日から長くて2週間程度だったかと記憶しています。

県外の現場というのもそれだけでしたが、現場の仕事が始まった初日か2，3日後には急遽、武生市内の民宿に宿泊することがありました。現場での宿泊というのもそれが最初で最後だったと思います。民宿に入る前に、焼き肉屋で食事をしたことも記憶しています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月10日

福井県武生の現場に通ったのも長くて3週間程度ではなかったかと思いますが、細かいことは思い出せません。ただ、現場での仕事が終わりに近づいた頃だったように記憶しているのですが、長野オリンピックでのスキージャンプの団体競技金メダルがありました。

当日は繰り返し金メダル獲得の場面をテレビで放送していたと思いますが、午後に現場事務所の2階で、その場面をテレビで見ていたことを印象的に憶えています。一棟建ての割と大きな現場事務所で2階が作業員の休憩所になっていたと思います。

他の現場では現場の監督や担当者と打ち合わせをしたり、その親会社の名前を知ることも多かったのですが、武生の現場では、そういう記憶がなく、どこの下請けだったのかも憶えていません。雪の降る寒い時期だったことはよく憶えています。

雪の中での作業をはっきり憶えているのは、津幡の日本たばこ産業の工場の現場とこの武生の現場ぐらいでしょうか。だいたいの時期の特定にもつながるのですが、他の現場では余り雪のことを記憶にしておらず、時期がはっきりしないことにもなっています。

辰口の石川動物園の現場は、雪がかなり積もった状況で一度仕事に行ったことがありました。事前の下調べのような感じで、雪かきなどから始めていたように思います。山間に近かったので、もともと雪の多い場所という感じもありました。

この下調べのような仕事の時は、安原工業団地のS設備のIさんも一緒だったと思います。Iさんについては、まだ説明をしていないと思いますが、S設備の番頭というか現場責任者、社長のナンバー2という感じの存在でした。当時40歳代ではなかったかと記憶しています。

被告訴人KYNが宇出津の山道という配管設備の会社で働いていた頃の先輩で、当時からの長く親しい付き合いだと聞きましたが、私が出会い、知ったのはKYNのところで仕事をするようになってからです。金沢市内入江のアパートに一人暮らしで住んでいました。

そのアパートにも一度は遊びに行ったのでよく憶えているのですが、歩いて近いところにアンカーインというスナックのような飲み屋がありました。KYNに連れて行かれ、その店でIさんに会ったのが初めのはずです。初めのうちは単なる知り合いになった常連客かと思っていました。

被告訴人KYNのところで仕事をするようになって1週間か10日ぐらい経った頃ではなかったかと思うのですが、仕事が終わり家に帰って22時ぐらいになって、電話が掛かりKYNに来るように言われたのもアンカーインでした。

店に行ったのはその時が2回目だったような気がします。店に行って一緒になってからKYNに、今日はお前の誕生日だろう。誕生日祝いに酒の席を設けてやったような趣旨のことを言われました。私自身誕生日のことは意識していませんでしたが、11月26日という日付ははっきりしています。

店に入った最初からそうだったのか記憶にないですが、カウンターの席に座っていたことを記憶しています。店に入ったときKYNの姿はなく、しばらく待ったような気もするのと、OKNもいたような気が少しはするのですが、前後のことや細かいことは現在思い出せません。

一番強く憶えていることは、後の方になってK君の彼女とその友達という女の人が来たと言うことです。あとでKYNがそれらしいことも話していましたが、私に対する彼女の紹介として連れてきたようでした。私の方がほとんど無反応だったので会話にもならなかったと思います。

K君の年ですが、これも現在は思い出せなくなっています。24歳ぐらいだったような気もするのですが、平成4年の時点で16歳だったという話が一番の目安にやりそうです。平成10年を基準に単純に6年をプラスすると22歳ということになりそうですが、二十歳でも未成年でもなかったとは間違いないと。

K君と初めて会ったのは平成9年の1月の終わりか2月でした。私が福井刑務所を満期で出所したのが同年1月18日であったことははっきりしていますが、それからしばらくしてのことです。宇出津の実家にいたところ、ある日の夜、事前の連絡もなくKYNが訪ねてきました。

家の中に招いた記憶もないので、被告訴人KYNはタクシーに乗ったまま訪問し、私に同乗するように誘ったと思います。タクシーはそのまま越坂の「天国」という飲み屋に直行しました。

越坂は小木の一部のような場所です。中学校も同じ小木中学校ですし、日本百景の一つにもなっていると聞く九十九湾があるところで、百楽荘などの観光ホテルもいくつかあるところです。小木も平成9年当時はまだ珠洲郡内浦町でしたが、平成17年より宇出津と同じ能登町になっています。

その天国という店のことは小学生高学年の頃から話としてしっていました。当時、宇出津にはマリモというキャバレーのような飲み屋があったのですが、小学生の子供の間でも何というか当時の世相も反映したかたちで特別な場所、商売として認識されていたのです。

友達の母親が小木の方にある天国というマリモと同じようなキャバレーのような店で会計の仕事をしていると聞いたのが初めでした。その母親は、その前にも小木にあるマルゲンというスーパーでレジの仕事をしていると聞いていました。

マルゲンというのは宇出津の駅前の近くにあったスーパーが本店でしたが、小木の店と同時に2，3年前にいきなり閉店しました。宇出津の方の店は半年ぐらい前かに改装されて、「のむら」という呉服屋の店舗になりました。

書いておこうと思っていたことですが、被告訴人OKNは一時期、そのうしつの「のむら」という呉服屋で仕事をしていたことがありました。2，3ヶ月ぐらいではなかったかと思いますが、私が金沢で生活していることもあり、余り会わない時期でもありました。

「のむら」より前だったように思うのですが、同じ宇出津で「漁運会」の保冷車に乗っていると話していたこともありました。。一応は運送会社のようですが、運転手はトラックの持ち込みで給与体系というか報酬も、かなり変わっているという話だったと思います。

平成26年になった現在でも宇出津の魚市場の近くを通ると漁運会のトラックを決まって2台ぐらいはみかけますが、ずいぶん数が減ったような印象もあります。どこか別のところにトラックの駐車場があって私が知らない可能性もあるとは思いますが、見かける機会も減っているとは思います。

同じ石川県内で鮮魚を運ぶ仕事をしていた時期もありましたが宇出津の漁運会については話を聞く機会もほとんどなかったです。小木運送とは前にも書いたように一緒に仕事をすることもあったのですが、どうも宇出津港からの鮮魚のみを運んでいたのではと思います。

被告訴人YSNも平成9年の1月の終わり頃の電話で、少し前まで宇出津の魚市場で金沢まで4トン保冷車で鮮魚を運ぶ仕事をしていたと話していました。新崎と言っていましたが、私は知らない会社でした。その後意識するようになり、魚市場でそういうトラックを見かけるようにはなりました。

「M君と被告訴人KYNがトラブルを起こした花屋」という項目をGoogleの地図サービスのマイマップに追加しました。URLは次になります。残念ながらURLのパラメータとして項目の特定まではできないみたいです。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&hl=ja>

「木梨松嗣弁護士と思われる人物が通行人だった性的サービスの店の辺り」という項目というか目印もついでに追加しておきました。先日に説明済みかと思います。花屋のことはまだでしょう。

「天国」の3女と知り合ったのは昭和58年の1月頃かと思います。昭和57年の9月の初め頃から同年12月一杯まで私は、名古屋市港区にいました。戻ってしばらくした頃だったと思います。場所は被告訴人OSN兄弟の家でした。

本書においてはまだ書いていないと思いますが、OSN兄弟には妹がいました。私より学年で二つ年下です。その年代の女子ではリーダー的な存在で、家の方もその友達や後輩のたまり場になっていました。天国の3女のHMも初めは妹の友達として遊びに来ていたようです。

HMは小木中学校でしたが、OKNの妹とは同級生でした。能都中のこの年代には目立った生徒が3人いまして、この3人も先日説明した万寿山の暴力事件に参加していました。暴力事件の主体は私より一つ年下の年代でしたが、ほとんどがほぼ更正の方向に進んでいました。

同じ暴走族のグループとしての付き合いがあったり、一人は小木の漁師としてよく付き合いのある時期もありましたが、私もOKNも二つ年下の年代との付き合いの方が、多くなっていきました。

被告訴人OKNが妹の同級生の友達であるMちゃんと付き合うようになったのも昭和57年の前半かと思います。これは別の先輩を介したところから知り合ったようです。先輩の親戚が同級生でMちゃんを連れて遊びに来ていたことがきっかけでした。

このあたりはプライバシーに配慮した方がいいと思う問題もあるのでぼかして書きますが、その先輩はもともと被告訴人OSNと仲がよかったのですが、決定的な対立となり、暴力団絡みの他の問題も起こったのですがグループの分裂にもつながっていきました。

昭和57年の春から夏のことでした。OSNが大きなはさみを振りかざして、倒れている先輩の馬乗りになり、突き刺そうとする場面もその場で目撃しています。私がホーク2というバイクに乗っていた短い時期だったので、5月頃のことかと思います。

その昭和57年の春頃になると、私は先輩の家に遊びに行くことが多くなっていました。二つ年上の先輩で宇出津の魚市場の近くに家がありました。そこでは被告訴人HTNとも何度か顔を合わせることがありました。姫のNさんも同様でした。

先輩とOSNが仲直りすることはありませんでした。初めのうちは先輩の方で気を遣っていたのですが、他のことで本気で怒るようになりました。共通の友人知人も多かったのですが、この辺りも人間関係を難しく、煩わしくさせていました。

もともとの原因は被告訴人OSNの父親にあったのですが、それもお金絡みの問題でした。外見的にはかなり似たような問題でOSNの父親は、2少年の殺人事件を起こしています。私が福井刑務所に服役中のことですが、知ったのは平成9年の2月頃でした。

被告訴人KYNがK君と二人で訪ねてきて一緒に「天国」に行った後のことであったと思います。半月ぐらい間が空いていたでしょうか。2月の10日か中頃のことであったように記憶しています。

夜の21時か20時前の石川県内ニュースでした。美川の二少年殺人事件というような見出しになっていたと思いますが、その控訴審の初公判が開かれたというニュースで、割と珍しい姓と聞き覚えのある名前の組み合わせで、O兄弟の父親の名前と顔写真がテレビに出たのです。

本人より先に、すぐに金沢の被告訴人KYNに電話を掛け、どうなっているのかと説明を求めましたが、すごく不機嫌そうに満足な説明はなかったと記憶しています。妹が泣いて大変だったというのが、一番印象に残っている話です。

1月18日には福井刑務所に被告訴人OSN、被告訴人OKN、被告訴人KYNの3人が私の母親を連れて3人で迎えに来ていました。事前の連絡がなかったというのも気になるところでしたが、それ以上に迎えに来たときの3人の重苦しい雰囲気が、ただごとではない気配を感じさせていました。

そもそも被告訴人OSNと被告訴人HTNは兄弟分ともいわれるような仲のよい関係でしたが、中途半端に知る私の立場から見ると、私とOSNの付き合いが始まった昭和56年の夏頃以降は、接点自体が少ない感じでした。能都中の中学時代に特に仲がよかったことは考えられます。

会話の中でHTNの話が出ても長い間会っていないような感じの話しぶりでした。そもそもHTNの人に知られたくはないだろうというヤクザになった経緯を、誰彼なく人前で話していたので、HTNがそれを知っていたとすれば、あきらめの一方、とんでもないと思っていたことでしょう。

被告訴人HTNに関しては昭和55年の6月頃、小木分校を退学になったのも、ずいぶんと不本意なことであったと聞いていますし、原因になった松波の同級生を長い間、すごく恨んで不満を繰り返し口にしていた姿は、私自身とても印象的に憶えています。

被告訴人KYNのところのM君ですが、彼も個性的な人物でしたが、いくつか被告訴人HTNに似ていると思うところがありました。はっきり共通する事実として耳にしたのは、M君も以前金沢市内の暴力団に所属した組員であったことがあるということで、それもHTNと同じ松元組でした。

M君をK君以上に重視する理由として、M君が仕事上のミスにかこつけて私に危害を加える可能性を仄めかしていたことです。態度や行動のことですが、仄めかしたと表現してよいでしょう。それを咎めもせず、協力、支援するような態度を見せていたのも被告訴人KYNでした。

最後の手段として作業事故を装い私を殺すか、酔っぱらった上でのケンカ沙汰を装って、これも傷害致死にするという可能性が考えられました。それはKYN個人の考えや意志と言うよりは、その方向に向かって背後から利用されていると言うことも考えられました。

そのような自分にとって最悪の結果を想定し念頭に置いた上で、私は彼らと仕事をし付き合いをしていました。とにかく、M君が入ってから飲みに行く頻度がすごく多くなったし、M君の粗暴な振る舞いも、常に喧嘩に発展する可能性がつきまとっていました。

ほとんど一緒にいたK君は笑いながら、いつも弱そうな相手に絡んでいるとも言っていましたが、地ならしのような事実の既成化であって、本番の示し合わせた相手だと傷害致死という目的に向けた、いろいろな演技演出もできるはずです。

M君が本当に松元組に所属していたかどうかも不明ですが、計画の材料だとすればHTNのことを意識したものであった可能性はより高いと言えるかもしれません。

そもそも私は平成9年1月18日に福井刑務所を出所してから一度も被告訴人HTNに会っていません。これは彼だけでなく周囲もかなり気を遣った上でのことであったことが考えられます。

実際は平成10年の宇出津のあばれ祭りの時、私はキリコを担ぎながら被告訴人HTMと思える人物を認め、手を振るか合図を送りました。相手は目を泳がせるように視線は逸らせ、気づかないようにしていました。本来盛り上がっているはずの祭りで、とても醒めた反応にも見えました。

被告訴人HTNと思しき人物は円を描くようなかたちで数人とたむろをするように座っていました。高田醤油屋の前です。ここは祭り2日目のメインとなる梶川の橋のすぐ側でした。橋の上から神輿を川に落とすのが、見所のひとつで人も大勢集まるところでした。

私が担いでいたのは被告訴人KYNの町内、酒垂のキリコでした。酒垂は町と呼ばれる9つほどの町内の一つで、これは宇出津の魚市場から警察署の範囲に相当しますが、昔からこの町の町内があばれ祭りの先頭を仕切るという決まりがあるのです。

つまり祭りの序盤でのんびりした時間帯でありました。酒垂のキリコは長い時間、梶川の橋の上にもとまっていましたし、こちらに歩いてくれば顔を合わす可能性も高かったはずですが、引き返してまで声を掛けようとは思わなかったので、それっきり会うこともありませんでした。

M君においては仕事中の手抜きも甚だしいものがありました。配管の仕事というのは最終的に専用の機器で漏れの検査をやらねばならず、機器に異常が出る間は、漏れの箇所を探し出して補修する必要がありました。

配管のつなぎ目の漏れの原因はいくつかありましたが、その一つが締めの足りなさです。場所によっては作業が困難な上、つながっている配管の継ぎ手の向きが変わって逆に締めすぎてしまうかもしれないという判断も必要であったかと思います。

配管というのはネジキリとも呼ばれる旋盤を使ってねじ山を作ることが多い作業でした。短い間隔で複数の部品を取り付けることも多く、そういうのは現場内における特定の場所で、ちょっとした作業台のようなものを使って組み立てることが多い作業でした。

実際の取り付けとなる現場では身動きもままならないということもあるぐらいで、そうでなくても高所の空中であったり、水も溜まった地下のピットの中であったり、まあ、作業のしにくいことが普通でした。なお、高所では脚立や高所作業車を使います。

M君は作業台を使ったネジ締めでも、「こんでたくさんやぁー」と言いながらゆるゆるのいい加減に目地を締めていることもありました。とにかく何をしようと被告訴人KYNがM君を咎めたり、注意することはなかったと思います。

M君が来て間もない頃の福井県武生市の現場においても、配管の漏れによる手直しはあったように思います。高所作業車で作業できたので比較的ましだったとは思いますが、配管が複雑だったので、一つの箇所を直すのに、すごい数の手直しが必要だと思い知らされたような記憶があります。

辰口庁舎の現場でもあったように思いますが、配管の漏れの箇所を探すだけでも、丸一日、あるいは2，3日と時間をつぶすことがあったと思います。M君が関わった場所に限って、そういう問題もあったと思います。基本的に辰口庁舎の担当はK君でした。

M君が担当ということになっていたのは石川動物園の現場でした。現場の作業が大詰めになった頃であったように思いますが、ここでも配管の漏れで、調べ回るという仕事に明け暮れたことがありました。この時、気に掛けたのは目の前の配管の爆発でした。

配管には大きく３つのつなぎ方がありました。ネジ式と接着剤とガス溶接の３つです。ビニール系の配管はほとんどが接着剤を使ったものでした。

他の観点からは給水、排水という区別も出来たと思います。排水では水圧の問題は余りなかったと思います。給水の場合は流れる水圧に応じた耐久性の違いがあったと思います。

私の記憶では一平方ミリセンチあたりに17キログラムの圧力が掛かるというのが、テストにおける最大の基準だったと思います。それはずいぶんとすごい圧力だとKYNらから説明を受けていました。あるいは平方センチだったのかもしれないですが、17㎏というのはよく憶えています。

消防車の放水した時の水圧はMAXどのくらいですか? - Yahoo!知恵袋 <http://bit.ly/1nothND> で調べてみたのですが最大で10㎏平方センチと書いてありました。普通の人が一人では持っていられないそうです。

17㎏の話を最初に聞いたのは河北郡高松の現場でした。現在は「のと里山海道」という名称になっているのかと思いますが「能登有料道路」を走行中にも見える建物だったと思います。Googleマップで調べると出てくるかもしれません。名前もなんとなく一部を記憶しています。

石川県かほく市高松丙１−５ 山越（株） - Google マップ <http://bit.ly/1h2SX55> ←　こちらでした。

外から見るとライスセンターのような建物でしたがかなりの高さがありました。私たちが作業をしていたのは反物を保管するような倉庫で、鉄骨の骨組みのようなものが3メートルほどの間隔でならんでいました。骨組みの高さは20メートルと聞いていました。

消防法で義務づけられたスプリンクラーの設置が仕事でした。反物を出し入れする1メートル半か2メートルぐらいの間隔でスプリンクラーを取り付けていたように記憶しています。大動脈のような本管は直径が15センチではなかったかと記憶しています。

配管はインチで呼ぶことが多かったようにも思います。おおよそ2，5ミリが1インチだと聞いていたので6インチになるのかと思います。定尺の長さは5メートルになっていたと思います。少し前までは7メートルのものがあったけど、廃止になったような話を聞いていました。

鉄製のような配管でしたがライニング管だったようにも思います。コーティングがされていて重量も重く値段も高いと聞いていました。一人で持つのはきつい重さでもあったと思いますが、正確な重量は知らないか、聞いても忘れました。

配管用炭素鋼管・ステンレス鋼管 <http://www4.ocn.ne.jp/~katonet/kagaku/paipu.htm> ←　こちらを参考に調べてみたのですが6インチは内径で1メートル辺り20㎏近くになりそうです。5メートルだと100㎏近く。

100㎏もあったら持つのは普通の人に不可能だと思うのですが、かなりの重量感はありました。こんなのを落とすと大変なことになる、音もなく鉄砲玉のようなスピードで落下し、破壊力ももの凄いだろうと想像しました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月11日

文字というか言葉だけの説明だと伝わりにくいこともあるかと思いますし、より的確に問題点をご理解いただくためにも、なるべく写真や画像の資料を使いたいと思います。昨年中から準備はしていたのですが、一歩進めて次のようにインターネットを活用したいと思います。

マイ フォト>資料写真／Nテックの事務所・西宅建株式会社の小屋／告訴状の資 料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post.html>

マイ フォト>金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成／告訴状の資 料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post_11.html>

ブログの記事にしておりますが、これだとURLも適度な長さで、リクエストパラメータに特殊文字も含まれておらず、将来的に無効になるかもしれない短縮URLも使わずに済んでいます。Bloggerのブログは動的ビューとして、全体を見渡しやすいようにすることも出来ます。

石川県かほく市高松丙１−５ 山越（株）／告訴状の資料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post_4251.html> Googleマップのリンクも使うようにしてみました。

山越という社名になっていますが、これは私の記憶とも一致するもので周辺に建物も少ないので、まず間違いないかと思います。山越という会社の業務内容までは調べていないのですが、当時、反物を保管する倉庫のように聞いたように思います。

もともと金沢周辺では繊維業が盛んだったらしく、昭和59年頃も繊維の反物を運ぶような仕事もちょくちょくやった憶えがありますが、そういう事実より、当時の私の認識をベースに説明をしておきたいと思います。

この山越の現場に通った時期ですが、現在あまり思い出せない状態です。後々こういうこともあるので、具体的なことは細かいことまで記載するようにも心がけ、これまでも記憶において心掛けてきたつもりです。

この現場に通うようになった頃は、M君は入社していなかったと思います。この現場におけるM君の話を聞いたのは、けっこう後日だったとも思うので、そういうことから考えるとこの現場に通ったのは平成9年12月中の可能性が高いかと考えられます。

その前と思われる北陸先端大学の現場も、そう長い間は通わなかったと思います。現場の仕事自体が終わりに近い時期にも思われました。もともとK設備の応援だったので、忙しくなくなれば応援の必要もなかったのかもしれません。

K設備のKさんについて先に書いておきますが、Kさんとは平成4年の2月ぐらいに、被告訴人KYNの金沢市内黒田のマンションで会った記憶がありました。仕事の打ち合わせに来ていたのだと思います。個人的に言葉を交わすこともなかったですが、顔はだいたい覚えていました。

金沢市黒田についても次のようにGoogleマップを利用した地図をブログの記事として作成しました。

石川県金沢市黒田／告訴状の資料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post_3884.html>

私自身、今初めて知ったのですが金沢市黒田は1丁目と2丁目しかないようです。被告訴人KYNの自宅兼事務所は1丁目でしたが、平成4年当時住んでいたマンションは2丁目です。地図で確認すると西金沢4丁目に近く、これもちょっと意外でした。

マンションといっても古い集合住宅という感じの建物でした。5階建て以上はあったかと思います。県営や市営の団地という感じが強かったですが、普通のマンションだと聞いていたと思います。KYNは1階に住んでいました。

この黒田のマンションには、自分の東力2丁目のアパートから近かったこともあり、余り間を開けず、よく遊びに行っていた記憶があります。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月12日

被告訴人KYNは同じ宇出津ですが、小学校、中学校だけでなく、高校も同じ石川県立水産高校小木分校無線通信科に進学しました。鉄道の通学だったので登下校時も一緒になることも多かったと思います。

小学生の頃も何度か遊んだことがありましたが、中学生の頃はたまり場にもなっていた彼の家によく遊びに行っていました。高校1年の時もそれに近い感じだったと思いますが、高校2年になった頃から学業に専念するようになった感じで、以前ほど遊びに行くこともなくなっていたと思います。

私自身は高校一年生で留年となり、しばらくもう一度一年生をやったあと、昭和56年の6月頃に自主退学しました。勉強しなかったのも原因ですが、欠席と遅刻が多くて単位が足りなかったようにも聞きました。入学したのは前年の昭和55年4月になるはずです。

中学校時代のKYNは剣道部の部活動にも熱心に取り組んでいました。剣道部は男子と女子が一緒になっていて女子の方が多かったような気もします。部活のリーダーというまとめ役で後輩の指導も熱心に取り組んでいたようです。

能都中学校には体育館が二つありました。普段学校の行事にも使われる行動とは別に、古くてやや小さい第二体育館がありました。ステージはなく、更衣室があって、更衣室の間にマットなどがおいてある用具室がありました。

講堂のある体育館ではバレー部とバスケット部。第二体育館では剣道部と卓球部が、毎日放課後になると部活の練習をしていました。私自身は、相撲部で水産高校本校の方に練習に行っていたので、放課後に校内に残っていたことは少なかったという記憶です。

そういうこともあって、放課後の部活の練習風景については記憶に残っていることも多くはないですが、校舎と通路をあわせると口の字になったような校内の廊下を各部員が走り回っているというのがいつものことでした。

被告訴人HTNは一つ年上でバスケット部でした。同級生の間でいじめのようなことをする乱暴者だとは聞いていました。私たちが1年生の頃も、3年生の方がまじめな生徒が多くしっかりしていて抑えもきいている、という感じでした。

それこそ戦前などの伝統を継承しているような時代で、年々薄れていたとは思いますが、上下関係も厳しかったです。基本的に登下校時は先輩を見ると挨拶をしなければならず、さん付けで呼ぶことになっていました。

金沢に出るとそういう上下関係はないと聞いたのも意外でしたが、当時は方言も強く、普通の日本語とはかけ離れたような言葉を普通に話していました。ずいぶん前から、学校の方でもしっかり標準語を教えるようになったとも聞いていますし、昔のような話し方をする人はいなくなっています。

上下関係のけじめがきつかったことや3年生の抑えがきいていたことを考えると3年生が卒業して、自分たちが2年生になってからだったと考えられますが、被告訴人KYNとTYが下克上のようなことを起こし、被告訴人HTNに体育館で土下座をさせたという話が広まりました。

土下座をさせる前に暴行があったのか否か、暴行があったとしてその程度はどれぐらいだったのか、ということを含め、私は詳しいことをしらなかったのか、憶えてはいません。土下座という言葉自体なじみがなく、聞いたことがなかったような気がします。

それだけ被告訴人HTNのいじめがひどかったというようにも聞いていましたが、当時の先輩後輩の関係の中で、土下座をさせられたHTNの屈辱感も並々ならぬものとして伝わり、詳細を聞くのがはばかれる、話題にするのもはばかれるというような雰囲気があったと記憶しています。

KYNはもともとガキ大将のような存在でしたが、中学生の頃になると率先して模範的な行動をするような一面もあったかと思います。たしか3年生の時は、生徒会長にもなっていたような憶えがあります。部活での後輩の面倒見もよい感じだったので、その延長で土下座をさせたのかもしれません。

TYの方は野球部でした。ふだんは外のグラウンドで練習をしていましたが、雨の日はどこで練習をしていたのかよく憶えていません。体育館でやっていたことも考えられます。KYNとTYの関与の度合いも、どちらが主導的だったのかも私にはよくわかっていません。

同じギターの趣味もあったので夜にはよくKYNの家に遊びに行っていましたが、そこでもHTNを土下座させたことを話題にするようなことは一度もなかったと思います。

体格のよかったTYらが相撲部に入部すると私はまもなく相撲部をやめました。熱心に誘われて入部してきた期待の選手で、体格も小さかった私は戦力外もいいところだったので、いるだけ無意味という気持ちにもなってやめたのです。

もともと好きで相撲部に入ったわけではなく、小学校の5年生ぐらいから付き合いのあった近所に住む一つ年上の先輩に誘われ、入部したのです。初めは同級生の部員は私ともう一人の二人だけでした。もう一人は100㎏を超えるような恵まれた体格で、期待の新人でした。

期待されただけの実績は残せず、大会で上位になったという話も聞かなかったと思いますが、体格や資質を買われたのか、相撲部の選手として金沢市の金沢高校に進学しました。推薦か何かは憶えていないですが、とにかく相撲をするために進学したと聞いています。

当時、地元における相撲の人気は根強いものがあったと思われます。大相撲では能登出身の横綱輪島関が現役で活躍している時代でもありました。輪島と言っても輪島市ではなく、七尾市の石崎の出身だということです。

相撲部の練習はほとんどが水産高校で高校生と一緒にやっていました。半透明のトタンで作ったような小屋に土俵が一つある練習場でしたが、私が中学一年生の年には金沢市の卯辰山の全国大会で、準優勝になっていました。練習も厳しかったです。

その4，5年前には同じ卯辰山の大会で全国優勝しました。考えてみると私が宇出津に引っ越した後だったと思います。町を挙げて祝福したり、パレードのようなこともやっていたような記憶があります。辺田の浜から宇出津の小棚木に来たのは昭和50年の4月でした。

静岡県の富士宮東だったかに決勝戦で負けて準優勝になったのは昭和53年の大会と思われます。そうやって考えると、全国優勝した人たちとも、これまで思っていたほどは年が離れてはいなかったようです。小学校4年生の時の高校3年生ということになると、これまでの認識と違いはないですが。

そういえば、被告訴人HTNが宇出津のあばれ祭りで、神輿にちょっかいを出し、強い制止を受けてけっこうな怪我をし、しばらく入院していたということがありました。怪我をさせた相手が全国大会で優勝した時の大将だと聞きました。あるいは個人戦でも全国優勝していたかもしれません。

高等学校相撲金沢大会｜歴代優勝校・優勝者 <http://hk-event.jp/sumou/winner.html> ←こちらに資料があったので確認できました。私の記憶には間違いがあり準優勝は昭和52年、優勝したのは昭和49年の大会になっていました。個人戦の優勝もなかったようです。

宇出津のあばれ祭りというのは現在7月の第一の金曜日と土曜日になっていますが、10年ほど前までは7月の7日と8日に決まっていました。祭りで怪我をしたHTNは、持木病院に入院したと聞いていたように憶えています。

同じ年ではなく翌年ではなかったかと思うのですが、輪島の祭りでも怪我をして、持木病院に入院していました。一度、病室に見舞いに行ったのもこの輪島での怪我の時ではなかったかと記憶しています。

どちらも金沢のヤクザをやめた後のことであったと思います。輪島の祭りというのは私自身見に行ったこともないのですが、近年の情報によると輪島大祭と呼ばれ、8月の23日から25日の3日間にわたって行われているようです。

7月も8月も本来、小木や姫の遠洋漁船の漁師は地元にはいない時期だと思います。中には日本海と呼ばれ、北海道の小樽港には行くものの一月に一回ぐらい陸に上がるか小木に戻っている漁もあると聞いていましたが、稼ぎも少なく若者は余り乗らないとも聞いていました。

輪島の祭りでは金沢でのヤクザ仲間数人といたらしく、「輪島がなんぼのもんじゃい」と啖呵を切ったところ、一緒にいた仲間が逃げ出していなくなり、大勢に袋だたきにされ、バットで殴られたという話も聞きました。

グループ同士で喧嘩になって、一緒にいた仲間が一斉に逃げ出して、袋だたきになり半殺しにされたような話は、他にも何度か聞いたことがありました。

大怪我にはならなかったようですが被告訴人KYNも片町で似たような目にあったと話していたように思います。それとは別に、ヤクザとトラブルになり面倒なことになったと話していたこともありましたが、それも黒田2丁目のマンションに移った後のことだと記憶しています。

当時の彼は災難続きだったのか車の事故のことでも、どこかの家に謝罪に行き、相手の家族がしゃぶしゃぶを食べていたとか話をしていました。一方的な彼の話だけ聞いていたのですが、相手が金持ちなのに理不尽なことになったような話だったと思います。

同じ事故の関連だったのかは憶えていませんが、自分の車を板金の修理に出したところ、エンジンを載せ替えたと言われ、びっくりするような請求を受けたと話していました。金沢市の専光寺の方にある川上板金という工場でした。「かわかみ」でしたが、漢字ははっきり憶えていません。

金石から松任市内に行く主要道から少し入ったところでしたが、周囲が田んぼばかりだったので、大きな建物ではなかったですが、割と目立つ建物でした。板金屋としては割と大きな工場だったと思います。

この板金屋のことは昭和58年頃から知っていたと思います。金沢市内観音堂の被告訴人YSNのアパートに転がり込んでいた頃のことですが、8号線バイパスの藤江の陸橋の側に、2階建ての割と大きなアパートがあり、輪島の暴走族のたまり場になっていました。

被告訴人YSNが乗務していたトラックのペンキの塗り替えで彼とこの川上板金に行ったのは平成3年の秋で、10月中ではないかと思います。あるいは11月中です。これには驚きましたが、YSNに昔話をすることはなかったと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月13日

被告訴人YSNの乗務していたのは2313号というナンバーだったと思います。ちょっと記憶に自信が持てなくなっていますが、以降2313号として説明します。三菱ふそうの10トンウィング車だったと思います。

既に書いているはずですが、平成3年1月17日に納車された日野の10トンウィング車に私は乗務しました。この車番というかナンバーが2315号だったと思います。登録順に番号の数が増えていくとも聞いたことがありますが、ほぼ同時に納車されたトラックです。

私が乗務したのは日野のトラックでしたが、同じ日野のウィング車がもう一台ありました。そちらの車番の方は記憶にしていませんが、それまでずっと保冷車に乗務していたKOが初めに乗務したと記憶しています。しかしそれも短い間で、次に乗務したのが小坂さんだったように思います。

なお、前にも少し触れていると思いますが、昭和62年の4月に納車されたイスズの10トン保冷車は「石」ナンバーでした。翌年の昭和63年に納車された10トン冷凍車は「石川」ナンバーになっていたはずです。なお、冷凍機付きの冷凍車は88ナンバーにという違いもありました。

冷凍機付きの保冷車と書いた方が良かったかもしれないです。たぶん現在では冷凍機付きでない保冷車というのは、ほとんど存在しないような気がします。昭和63年頃から冷凍機が積み荷の条件となりつつありました。レタスなどの野菜でも5度の低温で輸送するという指定です。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月14日

2313号に初めに乗務したのも小坂さんだと記憶しています。それまで小坂さんはずっと平ボディ車に乗務していたと思います。経験や好みも大きいのですが、平ボディ車は大きなシートを掛けることが多く、水濡れも常に気に掛けないといけないので、嫌がる人も多かったです。

一方で保冷車のような屋根がないので、パレットに載った荷物や、機械などフォークリフトで積み込んでもらえる荷物も多いので、その方が良いと考える人もいたようです。保冷車や冷凍車は箱車とも呼ばれていましたが、荷物の手積みが多いです。やはりそれを嫌がる人も少なくはなかったようです。

先に山越のことについて続きを書いておきますが、山越の現場での仕事が始まった頃、天井付近でのメインのような配管の仕事が多かったです。作業に必要なものはウィンチという機械で、天井から釣り上げることが多かったです。5インチと思われる配管ですが、あるいは4インチだったかもしれないです。

4インチだと内径は約125ミリということになるかと思います。それも配管としては大きく重いものです。そのほとんどはすでに天井の方に配置されていたように記憶しています。継ぎ目などの加工した配管はウィンチで吊り上げたような記憶もあります。

山越の現場での仕事が終わりの方になった頃のようにも記憶しているのですが、初めに定尺のメインのような配管を天井付近に吊り上げたのはM君もいたそうですが、M君はその配管をミスで落下させたと聞きました。あり得ないとも思いました、重量的にもとんでもない事態が想像されたから。

金沢市入江のアンカーインについてもまだ書いておくことがあるのですが、被告訴人KYNと安原工業団地のS設備の社長が、スナック内の床にビールをまき散らすなどして、出入り禁止になったと聞きました。一度はその場にもいたようにも記憶していますが、動機は全く不明のままでした。

山越の現場におけるウィンチのことですが、普通は重量物を取り扱う工場に設置されているUFOキャッチャーのような道具を想像されるかと思います。そうではなく携帯して手動で吊り下げて使う道具でした。おそらくはレンタルのものかと思われます。重量も2，30㎏程度かと思われます。

何が言いたいのかというと建物に構造的に組み込まれ設置されたものではないので、ただでさえ人為的なミスが発生する可能性は高かったと言うことです。言い換えれば危険性も高い作業です。

配管のパイプというのは定尺で5メートルではなかったかと思います。あるいは既に4メートルと書いているかもしれないですが、ちょっとはっきりとは思い出せません。鉄筋の場合は7メートルという定尺もあったかと思いますが、混同している部分もあるかもしれません。

いずれにせよ長いものなのでバランスが大事です。4インチの定尺のパイプを20メートル上の天井付近まで吊り上げる様子は私自身、見たような記憶がないですが、２点吊りでも、相当に危ない作業であったことは容易に想像がつきます。ウィンチの操作は安定したものでも難しいところがあります。

そもそも20メートルの上までウィンチで引き上げたのも疑問に思えるぐらいなのですが、たしかにこの現場の作業では、最初の方に天井付近でメインというか一番太い配管の作業をしました。

図面か写真でもあれば説明も容易かと思うのですが、絵を描くのも苦手なのでうまく表現できません。イメージで言えば、テレビゲームの中に出てくるステージのような現場でした。鉄骨のような骨組みは４つか６つのブロックになっていたと思いますが、ブロックの間の間隔は3メートル程度かと。

この間隔は通路にも相当するものでしたが、何か昇降式のフォークリフトのようなもので、倉庫の保管物を出し入れするという感じでした。天井から床の間の空間というのも、その通路部分だけだったので、その間にウィンチを据え付けていたはずです。

階段のようなものもなかったので、骨組みの間を上り下りしていたと思います。かがんで作業していたようにも思うので一段あたりの高さは高くても1メートル50センチ程度かと思われます。最終的には一段ごと1．5メートル間隔ぐらいでスプリンクラーのノズルのような配管を取り付けたと。

この現場では他にも変わったことがありました。私たちが作業していたのはたぶん外から見ると25メートルほどの高さの建物でしたが、奥の方には平屋の工場のような部分もあって、いろいろな業者が集まった現場になっていました。

他の現場と違って親会社の監督らしい人とのうちあわせというのも私は記憶していません。小さな現場事務所があったような気もしますが、中に入った憶えもなく、作業員の休憩所というのもなかったか、利用することがなかったように思います。

ただ、朝の朝礼には何度か出た憶えがあり、朝礼に出るようなお達しも出ていたように思います。ある程度の規模の現場になると、他にもそういうことは多少はあったと思いますが、とりわけこやかましい面があるようでした。おそらくその反感や反動があったものと思われるのですが、とんでもないことが。

現場には仮設のトイレがありました。大便用のボックスで２つぐらいだったでしょうか。この数は、比較的少ない感じでもありました。小便器の方は横にあって、外にむき出しの状態になっていたのですが、ある日、その小便器に一人分とは思えないような大量のウンコがしてあったのです。

誰がやったのかという話も聞きませんでしたが、現場における特殊な空気とその積み重ねがもたらした所産のようにも思えました。他の業者の人と話をする機会もなかったので、何もわからなかったですが、ほかにはない経験の現場でした。総括の監督に対する仕返しのようなことは耳にしました。

また、上からの落下物の可能性が際立って高い現場でしたが、そんなことに関する注意を監督の訓辞から受けた憶えもなく、現場のことを全く理解も把握もしていないように思えましたが、熱弁で演説をするような光景は、朝礼で目にしていた記憶が残っていますが、内容はさっぱりです。

この山越の現場の仕事は、若宮大橋の近くのS設備の応援だったと思います。応援のようでしたが、下請けに近かったようにも思え、S設備の人と一緒に作業をした回数も、少なかったような気がします。仕事自体にも慣れていない時期で、高所では気も張り、色々と余裕のない時期でもありました。

M君がこの山越の現場にいたという記憶はないのですが、M君のことを知ってすぐの頃、M君らが4インチの配管の搬送をしたと聞きました。その際に、配管を落下させたような話も既に書いていると思います。M君に対して不信感を持っていた時期ではなかったので、さほど真剣に話しも聞いていなかったと。

あの大きくて重いパイプを落下させたという話を聞いたときは驚きましたが、どの程度の高さから落としたとか、壊れたものがあったのかという話は聞いておらず、なにも質問することもなかったと思います。おかしいと思い始めたのは、配管の漏れと検査の問題が出るようになってからです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月15日

私と同じ日野の10トンウィング車に乗務したと記憶しているKOですが、彼も小木の遠洋漁船の元漁師でした。私が2度目に金沢市場輸送に入社した昭和61年8月の時点では、既に10トンの保冷車に乗務していたと思いますが、昭和59年10月の私が初めに辞めた時点では会社にいませんでした。

KOも小木中学校だったと本人から聞いていましたが、家は海岸線で小木と松波の中間に近い新保だと聞いていました。当時はいずれも珠洲郡内浦町でしたが、町役場があるのも松波でした。新保だと小木中学校にも松波中学校も好きな方を選べるけど、自分は小木中学校に行ったと話していたと。

何度も書いていると思いますが、小木も松波も平成17年に市町村合併で宇出津と同じ能登町になりました。紛らわしいですがそれまでの宇出津は鳳至郡能都町でした。「のとちょう」と「のとまち」と読み方も違っています。松波も宇出津から距離にして10キロ程度かと思います。

宇出津から小木も10キロ弱だと思いますが、そのまま小木を経由すると松波までは中間に近いという感覚があります。国道沿いに宇出津から松波に向かうのは国道249号線ですが、地元では途中の地名で「十八束」と呼びます。珠洲行きのバスは十八束経由と小木経由があります。

私たちの世代では宇出津と松波の交流は乏しく、小木との交流は多かったです。地域性のようなものもあったかと思いますが、相性がよくないという気もしました。近い割に情報も少なく、なじみも少なかったです。新保の周辺には白丸や川尻という集落もありますが、さらに知らない土地でした。

私の記憶にあるところ、KOはずっと一台だけだった三菱ふそうの10トン保冷車に乗務していました。確か冷凍機がついていたので冷凍車だったと思います。入社したての頃は、6トン車に乗務していたという話もしていいたかもしれません。

他に身近なところでは知り合った頃から、宇出津の私より一つ年下の女性と結婚していました。正確に言えば崎山だと聞いていました。たぶん住所では宇出津と崎山は区別されているように思いますが、地元では宇出津と同じ感覚ですが、宇出津のあばれ祭りでも参加の町内になっています。

崎山台地は私が小学生の低学年、昭和40年代の後半から造成された住宅地です。能都中学校から水産高校の方に行くときも崎山台地を歩いて通っていました。台地の斜面の宇出津港に面した辺りは、酒垂や大蔵町という宇出津の町内です。高台にある酒垂神社の社殿も崎山台地の一部という感じです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月16日

KOは北安江のアパートに住んでいたようです、何かの機会にアパートの前まで行った憶えがあるのですが、中になることはなかったです。木造の古いアパートで家賃も安そうでした。余り行くことのない辺りでしたが、平成9年頃にはそのあたりも随分と変わっていたと思います。

平成9年になると、北安江は中央市場の方から来る新しく広い道も出来ていました。その頃になると近くにアルプラザ平和堂という大きなデパートが出来たこともあり、金沢市内でもけっこうな一等地という感じになっていました。元々、駅西という金沢駅の近くだったのですがアパートの相場も安かったかと。

金沢市の駅西というのは元々、駅の裏手で辺鄙な感じだったのですが、大きな西口が出来てそのあたりの駅構内の店も増えていました。そのうち香林坊の近くにあった石川県庁が、駅西から8号線パイパスをこえた辺りに移転になりました。地名は鞍月だったかと思いますが、以前は田んぼだったと思います。

県庁が移転する前の感覚で言うと、駅西の真ん前あたりは別に、北安江を含め少しでも離れると、貧乏人や低所得者が多く住むというイメージあったかと思います。アパートの家賃の相場も安かったと思います。買い物など生活上の不便もあったかと思いますが、店も増えては行きました。

中央市場のあるあたりは西念ですが、昔から土の質が悪く畑にも適さないやせた土地であったと聞いたこともあります。周囲を含め、少し離れると空き地や田んぼ、あるいは畑の多い地域でしたが、平成9年の時点でもずいぶんと変わったものだと思っていました。

私自身、平成9年の7月の初めから北安江の借家で住むようになったのですが、それも思いも寄らぬことではありました。住むことが決まったのは入居する一月ほど前だったと思います。とんとん拍子でことが運んだのも被告訴人OKNのおかげではありました。

石川県金沢市北安江４丁目１５−３０ （株）北栄 - Google マップ <http://bit.ly/1mlfz2N> ←　思い出して調べてみたのですが住所はほぼ違っていないと思います。一時期、市内配達でよく行っていた配達先でした。

KOのアパートもこの北栄の近くであったと思います。北栄にはよく行っていましたが、長距離の仕事ではなかったと思うので、北都運輸の市内配達をしていた平成1年の春から秋だと思います。マヨネーズやドレッシング、ジャムを主に運んでいました。業務用が多かったとも思います。

KOが10トンウィング車に乗務したようなことは、割とはっきり記憶にあるのですが、その後、仕事でも余り顔を合わせなかったような気がします。今改めて考えてみると、平成3年の秋以降に、会うこともなかったような気もします。保冷車というか魚を運ぶ仕事に戻ったとは耳にしたように思っています。

既に書いたと思いますが、茨城県古河市の山三青果の仕事が始まったのは平成2年の12月の初め頃で、本格化したのは平成3年の1月に入ってからだと思います。私が乗務した日野のウィング車はイラク攻撃が始まった1月17日の朝に、納車になりました。

栃木へのトナミ運輸の定期便と、千葉と埼玉県岩槻市の2カ所おろしの日通の定期便があって、その2便が、復路の山三青果の仕事とセットになっていました。基本的に毎日大型車2台の積み荷というなっていたと思いますが、大型車一台分の荷物というのも少なくなかったと記憶しています。

山三青果の仕事では行き先というか荷物のおろし先が4カ所と決まっていました。富山、高岡、金沢、福井です。2台入っているときは、基本的に2カ所に分けて積み込んでいたと思います。一カ所だけ極端に荷物が多い場合は3カ所と1カ所になっていたと思います。

これが1台となると、4カ所おろしになりました。仕事内容はかなりきつくなりますが、1カ所おろしでも運賃も給料の歩合も違いはなかったと思います。今考えると、私は4カ所おろしが多かったという気がするのですが、嫌がる運転手が多かったので、これも集中的に割り当てられたのかと思います。

高岡の市場は高速道路である北陸道のインターからも離れていたので、それも手間でした。鮮魚では滅多に行くことはなかったですが、青果物では行くことの多い市場でした。富山の市場は高速のインターに近く、鮮魚の時も必ずに近く立ち寄っていました。

4カ所の場合でも福井の分は、金沢で4トン車に中継に出すことになっていました。ほとんどの場合、中継に来ていたのは被告訴人UHKか被告訴人TTKでした。被告訴人HTNは一度だけ来たようにも思います。福井まで同行したような記憶も残っています。

希に4トン車には乗りきらないほどの福井分があるときがあり、3回ぐらいでしょうか。被告訴人TTKを10トンウィング車に同乗させて、福井までおろしに行くこともありました。以前はこまかい日付まで、ほぼ特定できていたかと思います。

（株）古河中央青果地方卸売市場 - Google マップ <http://bit.ly/1b9GkSS> ←　それらしい名称になっていますが、山三青果が入っていた市場とは違っています。建物も比較的新しく見えます。ストリートビューで見ることが出来ました。

私の記憶にある古河の青果市場はバイパスではない国道4号線沿いで仙台方面に向かい、古河の中心部を抜けてすぐ、新幹線のような高架が交差する陸橋の手前を右に入った左手にある敷地でした。敷地の中には食堂も一軒ありました。山三青果を含め10にも近いような業者の数だったと思います。

茨城県猿島郡境町塚崎２８１７ 山三青果店 - Google マップ <http://bit.ly/1bVm8iI> ←　古河の市場の中の山三青果は出張所という感じで古くて狭い事務所でした。会社の住所はこのように猿島郡になっていました。

平成3年の9月にはいると、山三青果の仕事は金沢市場輸送から離れ、市場急配センターの仕事になりました。それにともない金沢市場輸送から被告訴人東渡好信と、輪島のHさん、諸江に自宅のあるKさんが、市場急配センターに移動してきました。

金沢市場輸送で乗務していたウィング車と一緒に移ってきたように思います。東渡とHさんは、その年の3月か4月に納入されたウィング車に乗務していました。どちらも日野だったと思いますが、あるいは東渡の方は三菱ふそうだったかもしれません。2台ともそれまでとは違うカラーとデザインでした。

諸江のKさんですが、初めにどのトラックに乗務していたのか思い出せません。しばらくして東渡が配車係をするようになってからは、それまで東渡が乗務していたウィング車に乗るようになっていたような気もします。長距離の出先の仕事で一緒になることもほとんどなかったように思います。

東渡ら3人が市場急配センターに来るような話は、実際に来る一月ほど前から話が出ていたと思いますが、被告訴人IHKも被告訴人UHKも当初は、不安そうなそぶりを見せたり、面白くなさそうな態度を見せていました。

被告訴人東渡好信が白昼に包丁を振りかざし、被告訴人MHK社長を追いかけ回したという話は既に書いていると思いますが、その原因と言うことになっていたのは、東渡が金沢市場輸送で乗務していた新車のウィング車を取り上げ市場急配センターに持って行くと話を決められたことに腹を立てたことでした。

被告訴人TSK会長と被告訴人MHK社長が相談も断りもなく勝手に決めたことに逆上したということになっていましたが、それが本当の事実とは思えませんでした。移動先の市場急配センターの方で反発を予想して、威嚇を込めた演出とも考えましたが、3者で通じているだろうとは思っていました。

実際に私が金沢市場輸送を辞めようと思った動機の一つは東渡好信の勝手な振る舞いがありましたが、市場急配センターに移ってからは割り切って考えるようにもなっていました。ただ、彼らが来るなら私が辞めると言い出すことを、彼らが予想したことは十分に考えられるとは思います。

そういえば思い出しましたが、平成4年の1月か、2月に入ってから日差ディーゼルの新車のウィング車が2台入ったように思います。一台は、被告訴人HTNが乗務したように思います。もう一台が諸江のKさんだったような気もしますが、2台だったかも記憶がはっきりしなくなっています。

ついでに思い出しましたが、3月になると保冷車か、それに冷凍機までつけた10トンウィング車が新車で入って、それに輪島のHさんが乗務したようなことを思い出しました。当時は鮮魚も運べる10トンの保冷のウィング車というのは珍しかったし、値段も高いと聞いていました。

金沢市場輸送のトラックはほとんどが極力安上がりに作られていました。冷凍機でも本来は6トン車に取り付けるものを10トン車に取り付け、体裁を取り繕っているとも聞きましたし、急ぎの鮮魚や冷凍魚など重量物を運ぶ運送会社としては、かなり珍しくターボ車を使っていました。

保冷車のエンジンはV型エンジンで8気筒のV8か10気筒のV10がほとんどでした。ターボ車は馬力はありましたが、坂道での力強さに欠け、下り坂でのエンジンブレーキのききもよくはなかったです。V型エンジンに比べると燃費が極端に良かったことも、会社にしては好都合だったようです。

イワシを運ぶトラックやダンプはすべてV型エンジンにはなっていたと思います。他にも細かいことまで色々ありましたが、極力安上がりのトラックするというのが金沢市場輸送の伝統的方針でしたが、市場急配センターのMHK社長の方は割と気前の良いところもありました。

初めに金沢市場輸送から市場急配センターに来たウィング車は、三菱ふそうのウィング車で車番が2313号だったと思います。2313号については、数日前にも説明を書いていると思います。9月に入る前の8月の終わり頃でした。

その2313号の初めの運行で、私は被告訴人YSNと二人で神奈川県に荷物を運びました。運行自体は9月にまたがっていたようにも思います。何を積んでいったのか憶えていませんが、貸し切りの雑貨のような荷物だったと思います。

神奈川県でも厚木市ではなかたかと思います。配送センターのような倉庫の前の広い駐車場にトラックを止めていたのですが、夜中に騒がしい音や声で目が覚め、外を見ると敷地内にあったファミリーレストランの店員が、酒盛りをして騒いでいました。

帰りの荷物は、荷下ろしをした午後に、東京の晴海で外果の果物を積みました。外国から輸入されてきた果物を外果と呼んでいましたが、バナナやオレンジ、キウィ、パイナップルなどがありました。

平成9年の9月から10月頃は、このように東京から外果を積む仕事が何度かあり、晴海の他、豊海にも積むところがあったような気もしますし、有明には2，3回行っていると思います。

金沢市場輸送で東京の港から外果を積むような仕事はなかったような気もします。大阪や神戸の方では時期的にけっこうあったと記憶しています。市場急配センターでも一度、泉北とかいう辺りの泉佐野市だったかにキウィを積みに行ったことがありました。

この泉佐野市の倉庫から会社に電話を掛けたときも、電話のなかで印象に残ることが被害者AAさんとの間にありましたが、これも現在は具体的なことが思い出せなくなっています。

このあと会社の指示で、被告訴人YSNと同乗して長距離の仕事に出たという記憶は、現在明確には浮かばないのですが、9月に入ってから市内配達の仕事をすることはなかったと思います。

考えてみると日野の新車のウィング車である3068号が納車されたのは平成3年10月12日だったので、それまでの間、どのトラックに乗務していたのか、どんな仕事をしていたのかも、現在はすっきり思い出せず、記憶の衰えを改めて感じました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月17日

3068号が新車で来たときのことを書いたので、ついでに当日の様子も書いておきたいと思います。昨夜まですっかり忘れていましたが、前後のことを計算に入れても10月12日で間違いないと思います。カレンダーでも確認しましたが土曜日です。

なおカレンダーはパソコンのLinuxでcalというコマンドを利用しています。「cal 1991」とコマンドを押すと、平成3年のカレンダーが表示されます。間違っているようなことはまずないと思っています。

新車は午後に日野の方から市場急配センターの会社に持ってきたと記憶しています。しばらく待たされたようなことも憶えています。被告訴人IHKと被害者AAさんが事務所にいて、IHKがトラックが来たら私たちを乗せて欲しいと言いましたが、私は返事をしませんでした。

IHKの発言にすぐに反応するようなかたちでAAさんは、「わたし、運転してみたいぞいね。」とも言っていました。この時も彼女はおだやかでしたが、ちょっと反省しているような感じでした。

私が初めてAAさんに付き合って欲しいと言ったのは、ちょうどその一週間前の平成3年10月5日のことで、これも土曜日でした。当時はまだ大きな会社や銀行などをのぞくと土日休みの週休二日というのは、さほど社会に浸透していなかったと思います。

9月の中頃に、フィルム貼りを手伝ってもらったことがあり、その後も会社で彼女の方から話しかけてくれることが何度かあったのですが、私は8月に離婚していたことも隠していたので、対応に戸惑い、満足に返事をすることもなかったのです。

8月に入った頃の段階で彼女のことは意識するような存在になっていました。まさかという思いも強かったのですが、彼女が仕事を中断してフィルム貼りの手伝いに来てくれたときは、本当に驚きました。

その場の目撃者は、被告訴人TTKと津幡のYTという運転手、そして被告訴人MHK社長の友人で頻繁に会社に出入りしていたカベヤとも呼ばれた人物。カベヤの直後には被告訴人TSK会長も歩いて通りかかり、ずいぶんと驚いた反応を見せていました。

一番わかりやすかったのは「カベヤ」ですが、「お前ら、夫婦やったんか？」と反射的な感じで声を掛けてきました。この質問自体があり得ないという気もしたのですが、演技をしていたようにも思えませんでした。

それと前回、マルモ設備について書いたときに思い出したのですが、マルモ設備のパンチパーマの整備士も、もの凄く驚いた顔をしていました。。私としても忘れかけていた人だったので、久しぶりに姿を見ただけでも驚いていました。

前回、どういう流れでマルモ設備のことを書いたのか、ちょっと思い出せないのですが、金沢市場輸送にいた頃、よく行っていた整備工場です。ちょっと説明しにくい場所なのでGoogleマップで調べてみます。金沢市なのか野々市町なのかも、微妙なあたりかと思います。

調べているところなのですが、私が金沢市内だと思っていた御経塚が、現在は野々市市になっているようです。御経塚までもが野々市市であれば、マルモ設備があった場所も野々市市内に間違いはなさそうですが、そもそも野々市市は最近出来たもので、以前は石川郡野々市町でした。

スーパーオートバックス・金沢野々市店 - Google マップ <http://bit.ly/1frUnPJ> ←　だいたいの場所になりますが、このカー用品点は隣にゲームセンターがあって、そのどちらかの裏手のちょっとはいったところにマルモ設備がありました。

つい最近新しくなったGoogleマップでは関連した店舗の写真を見ることが出来ましたが、野々市店だとすると平成の初め頃とは店舗がまるっきり違っていますし、駐車場自体がずいぶんと広くなっています。8号線バイパスに面しているはずですが、当時は店舗自体もほぼバイパスに面していました。

マルモ設備にはちょっとしたトラックの修理にも行っていたと思いますが、ほとんどはオイル交換が目的はなかったかと思います。会社の指定でオイル交換に行っていました。大きな不調とかになると、日野やイスズのトラックのメーカーの工場に行っていました。

私は2度目に金沢市場輸送に入社した昭和61年の8月以降は、移転した市場急配センターを含め、保険を使うような事故は一度も起こしていないので、事故の修理についても記憶には残っていないのですが、ちょっとした修理はマルモに行っていたと思います。

トラックのオイル交換は1万キロ毎、ということになっていたと思います。一月に1万5千キロぐらい走ることが多かったと思いますので、2ヶ月に3回という頻度で、マルモ設備にオイル交換に行っていたということになりそうです。

初めの頃は、直接トラックに乗ってマルモ設備に行っていたという記憶が多いのですが、そのうち会社に取りに来てもらうようになっていたような気もします。よくわかりませんが、平成2年頃になるとマルモ設備にはほとんど行っていなかったような気もします。

マルモ設備には何かのついでに行くことも多く、妻子を同乗させていることも多かったように思います。それでマルモ設備の整備士も、私の妻子のことはよく知っているはずで、それだけに驚きも多かったのだと思いますが、こちらが驚くぐらい衝撃を受けたような様子でした。

当時のことを思い出しているうちに、ぼんやりとですが、その後オイル交換は、会社で運転手が自分でするようになったような気もします。2回に一回だったかのオイルフィルターや、その取り外しの道具のこともなんとなく思い出しました。会社にオイルのドラム缶があったような気もしてきました。

20年以上前となると、細かいことで思い出すのも困難なことがありますが、地図や住所などを見ていると、わかっているはずの自分でも調べるのが困難で、時間が掛かりすぎると感じることもあります。

当時のマルモ設備は、いかにも自動車工場らしいという建物でしたが、同じような建物が敷地内に隣接していて、隣の方も別の自動車工場であったような記憶もあります。社長が一人と、整備士が2人の小さい工場で、整備士は2人とも、当時20代後半と聞いていたような気もします。

社長が柳田村の出身であるということは、既に何かの折りに書いたように思いますが、けっこう年配で50歳代にも見えました。昭和59年の段階では、マルモ設備というのはまるで縁のない工場で、全然知らなかったと思います。

似たような関係の会社で「金沢デンソー」という小さな会社がありました。従業員もいないような会社にみえました。主に電気系というの問題で、修理などに行っていました。昭和59年当時も何度か行っていたのですが、平成になった頃には縁も切れたのか、全く行かなくなっていたように思います。

しかし、個人の客として行ったのだと思いますが、平成4年になってから乗っていたアルトワークスの軽四のカセットの修理で店に行っていたように思います。当時はCDはカーオーディオとして普及していなかったので、カセットで音楽を聴いていました。

修理でカセットを直してもらったのは、平成4年4月1日の事件当日だったようなことも思い出してきました。

金沢デンソーのことで一番憶えているのは、昭和62年の4月頃、新車で乗務してまもなかった10トン保冷車の7599号で、カセットが鳴らなくなり、持って行ったところ、カセットの中から大量の小銭が出てきたことでした。これには主人も驚いていましたが、同乗していた長男が詰め込んだものです。

同じく事件当日は、西念町の歯医者にも行きました。50メートル道路に面した大きな交差点の角のようなところにある大きなマンションの上の方の階にある歯医者でした。中央市場に近いと言うことで、数年前から通っていました。

仕事をしていた妻の関係で、長男を連れて何度かその歯医者に行ったこともあったのですが、一度、黙ったまま診察室にはいると、長男が泣きながら後を追ってきて、数人の看護婦さんたちに取り押さえながら、手をさし伸ばしていた光景が印象的でした。

事件当日は新しく引っ越しをするワンルームマンションの入居の契約がスタートした月初めでもありました。鍵が使え自由に出入りできるようになった初めての日ということで、引っ越しは次の土曜日に予定していて、被告訴人OKNと被告訴人KYNも手伝ってくれることになっていました。

それまで住んでいた東力2丁目のアパートは、昭和59年の4月頃からずっと住んでいました。初めに被告訴人OKNと一緒に借りて住み、家賃を折半していたことも、昨年中には本書においてもすでに書いているかもしれません。契約上の名義は初めから私になっていたはずです。

結婚をし子供が生まれてからも、ずっとその東力のアパートで生活をしていました。6畳2間で風呂付きでしたが、家賃も比較的安かったです。初めは2万8千5百円でしたが、大家さんの好意らしく古くなったということで、途中から2万6千5百円になっていました。

平成3年10月12日のことに説明を戻します。時雨模様で雨が降っていたような気もするのですが、天気の良くない午後でした。新車のトラックが来ると、すぐに石川護国神社にお払いをうけに行きました。金沢市の中心部で兼六園の裏の方、Googleで確認すると住所も金沢市石引になっていました。

そのあと会社に戻ってから何をしていたのかよく憶えていないのですが、他の運転手の荷物の積み込みの手伝いに行っていたような気もします。私としては自分の荷物は一人で積め、という考えだったのですが、市場急配センターでは大勢でやることが少なくなかったです。

その日はなぜか遅い時間まで会社に被害者AAさんがいました。普段彼女は17時過ぎから遅くても17時半には帰っていたので、かなりの例外の一つです。10月の12日ということを考えると、日の暮れる時間というのも、まだそう早くはなかったのではと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月18日

宇出津・恵比寿の堤防／フグ・マハタ・キジハタ釣り2013年10月12日 <http://bit.ly/1dFcq8y> ←　参考としての日が暮れる時間です。Picasaウェブアルバムを使っています。

私は３つのGoogleアカウントを取得しているのですが、こちらは一番前から使っているものであり、プライベートななものを取り扱うようにしています。事件用に２つ目のアカウントを取得してけっこう長い間使っていたのですが、プログラムで写真をアップロードしていて不具合を見つけました。

大幅な手直しや混乱が生じると考えたので、３つ目のアカウントを取得し、写真資料に関しては、そのアカウントを使うようにしています。写真のアップロードの方も、直接、PythonのAPIを使うようにしました。自分のパソコンのデータとPicasaウェブアルバムを整合的に管理しています。

宇出津・恵比寿の堤防／フグ・マハタ・キジハタ釣り2013年10月12日17時47分08秒.jpg <http://bit.ly/1eK6tmg> こちらが最も日暮れに近い時間帯の写真でした。

このファイル名にはデジカメの撮影時間を含めるようにしています。デジカメのファイルにあるExif情報から時刻を抽出しています。ファイル名全体も、まとめて一括に変更するようにしていますが、プログラムをスクリプトとして使っています。

PicasaWebアルバムについても別の機会にご説明を書きたいと思いますが、Google+に登録していると、一定のサイズ以下の写真及び画像ファイルはデータ容量にカウントされなくなり、事実上、使い放題という感じです。FacebookのようにExif情報が消されることもないようです。

ところで先に書いておきたいことがあるのですが、昨夜見ていたテレビドラマの中に気になる場面がありました。「隠蔽捜査」という番組ですが、来日するアメリカ大統領の暗殺を狙うテロリストグループと日本人協力者という内容の展開でした。

そのなかで、警察の厳重な警備態勢の中、大きな交通事故が起こり、追突事故のトラックの運転手が現場から行方不明になるという場面がありました。2人死亡しているので、動転して逃走したというが上司を含め大方の見方でしたが、偏屈ものの刑事が疑問を持ち一人で調べを始めます。

数日前から私は本書において、旧珠洲郡内浦町松波について、割とくどい説明をしてきたかと思いますが、それは蛸島のTSさんが自殺をした現場というだけではなく、他にも理由があるからです。距離的にも10キロ程度しか宇出津とは離れていませんが、余り縁のない土地であり、情報も乏しいです。

新保のKOですが、彼から以前とても気になる話を聞かされたというか聞いたことがありました。ある人物が新潟運輸の運転手としてトラックに乗務していて、関越自動車道の群馬県内、渋皮インター付近で居眠り運転をしていたところ。

蛇行していたような話であったと思いますが、後続のトラックがそれを避けようとして横転。居眠りをしていた運転手が駆け寄ったところ、横転したトラックの運転手は反応がなく、死んだあるいは殺してしまったと思いこんだ居眠りの運転手は、自責の念に駆られ。

近くの陸橋から飛び降りて自殺したという話でした。あるいは渋皮インターではなく沼田インター付近と言っていたようにも思います。どちらにせよ、その辺りは坂道が多く、カーブは比較的緩やかなものがおおいですが、とんでもなく高い陸橋がいくつかあることは、よく知っていました。

その居眠り運転をして後続車を横転させ勘違いで自殺したという運転手は、松波中学校の私の一つ年上の人でした。KOとは同級生にもなるはずですが、KOの方は小木中学校に通っていたと聞いています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月19日

私の知る限り、当時金沢市内に新潟運輸の支店や営業所はなく、あるのは8号線バイパスから松任市内に入る道路沿いで、バイパスから入ってすぐに右手に大きな建物がありました。住所としてはあるいは野々市町になっていた可能性もあるかと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月20日

ちょっとパソコンの作業環境をWindows７の方に移行しようと準備を進めています。Windows環境のUNIXの対応は以前よりかなり悪くなっている感じもあり、長い時間を掛けたもののうまくいかなかったこともあって、仮想マシンをインストールしました。

このようなパソコン環境の話は個人的な問題のようですが、サイバー攻撃を受ける可能性もあるので、何かの場合はそくざに対応し、容赦も仮借もなく徹底的に相手を突き止めてください。そのための資料提供と、私自身のメモとして書いている事柄です。また、私個人の情報公開としての担保。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月21日

ここ2日ほどの間、Windows7でUNIX環境を構築していたのですが、予想以上に手間取ることが多く、時間も大幅に浪費してしまいました。以前はWindows8.1にまでアップグレードしていたのですが、TVチューナーを使えるようにするためWindows７をインストールし直しました。

結局、Windows7のEmacsからは自作のスクリプトでTwitterに投稿が出来なかったのですが、仮想マシンのUbuntuに共有フォルダのファイルとして同期し、そのUbuntuのEmacsからTwitterに投稿するようにしました。

Windows7の環境で作業する限り、今後は文章を書きながらその都度、ツイッターに投稿することは困難となり、ある程度まとめてから、Ubuntuの方でまとめて投稿することになると思います。

これまでたぶん半年以上、Windowsはほとんど使ってこなかったのですが、普通に使われているパソコン環境でもありますから、あまりブランクを長くするのもどうかと思いました。

それとUbuntuでの日本語の入力における漢字の変換効率が良くないのも、前々から不満に思っていました。UbuntuではATOK X3 for Linuxというのを使っていますが、インターネット上で購入してから、もう7年ぐらい経っていると思います。やはり効率が良くないです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月22日

今日は16時ぐらいにようやくWindows7のEmacsで、Twitterに投稿するスクリプトの実行に成功したのですが、夜からはUbuntuに戻っています。日本語の変換効率はともかく、操作性や文字の見やすさは、やはりUbuntuの方が良さそうです。

Windows8.1をアンインストールしたことで、それまでの環境が失われましたが、Windows7をインストールし直してから、UNIX環境が随分と運用しづらくなっていると感じました。アプリやライブラリのメンテナンスが滞っているの一因かと思われますが、余計に手間も掛かりました。

Windows7では仮想マシンとしてUbuntuをインストールしましたが、日本語変換にmozcというGoogle日本語入力のLinux版を使ってみたところ、アップデートで驚くほど機能が低下、制限されていました。他にも色々ありましたが、勉強になることが多かったです。

Linuxは特に無償のボランティアに支えられている部分が大きいので、メンテナンスがされなくなると、使えなくなる機能も出てきそうです。Windows環境ではそれをいくつか目の当たりとして経験しました。

Linux 版 Adobe AIRのサポートが終了してからそのような傾向を感じてはいましたが、残念であるとともに、Windowsパソコンの良さと不便さ扱いづらさも、改めて感じています。

平成15年当時、ハッカーに関する論文で、Windowsでプログラミングすることはギプスをはめてダンスを踊るようなもの、という表現は今も当て嵌まっているし、ある面その傾向も強まっていると感じました。重ねて残念です。

新たなWindows環境では、javaの開発環境もインストールして、以前自作したプログラムを実行できるようにしました。そもそも自作のjarファイルを忘れたまま削除していて、別のサーバに保存していたものを探し出したり、改めて勉強になったり、経験を積み重ねることが出来ました。

そもそも私がLinuxと出会うことが出来たのは、被告訴人KYNの設備会社に勤めていた頃で、辰口の石川動物園や辰口庁舎の現場に通っていた頃のことでした。たまたま時間があって入った辰口の王様の本という書店で、たまたま見つけた本体660円の本がきっかけでした。

「パソコンを鍛える」という本ですが、今数年ぶりに手にとって開き確認したところ、1998年10月19日第二刷発行になっていました。この発行以前とは考えにくく、雪が降る前の割と暖かい時期だとも記憶しているので、平成10年の11月頃に買った本だと推測されます。

この本で私はUNIXに出会ったのですが、本の中にあるLinuxは、自分が所有しているパソコンがNECの98パソコンだったのでインストールが出来ず、駅西の書店で見つけた情報で、同じUNIX系のOSであるFreeBSDをインストールして使い始めました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月23日

辰口の大型書店でUNIXに出会う本を買った頃というのは、平成10年の秋になるはずですが、それはちょうど被害者の父親のAKさん宛にゆうパックの段ボール箱一箱分のものを辰口から郵送した頃でした。細かくは記憶にないですが、郵便局から郵送したはずです。

それよりいくらか前になると思いますが、しばらくの間、松任市の旭工業団地にもちかい、主要道路の大きな交差点の角近くにある工場の現場に通う時期がありました。工場の名前は憶えています。以前はテレビCMもやっていたような気がするのですが、最近は社名を見かけなくなっています。

今も同じ場所に工場が残っているのか確証は持てないですが、Googleマップで調べてみます。その方が、情報も正確になるかと思います。私の曖昧な認識や記憶にこそ、意味がある場合もあると考えていますが、そういう必要はない問題です。

36.547277,136.574777 - Google マップ <http://bit.ly/1mAgVHh> 石川県白山市宮永新町３１６ ←　この辺りかと思います。Googleで検索したのですが、工場というかその社名自体の情報が見かけられなくなっていました。

社名は「若狭美術印刷」だったと思うのですが、「わかさ」の部分はあるいは別の漢字になっていたかもしれないです。東蚊爪の運転免許センターの近くにも同じ会社の建物があったような記憶もあるのですが、建物も小さく工場という感じではなかったです。

8号線バイパスから来る道と金石から来る道が交差して、松任駅の近くや美川方面にもつながる大きな交差点が「宮永」であったことは今回調べて気がつきましたが、近くに北陸道の白山インターが出来ていることも初めて知りました。

近くの工業団地も旭工業団地という現在の私の記憶は間違っていて旭丘が正しいようです。Googleマップでは、旭丘工業団地という名称はないようで、石川県白山市旭丘付近の工業団地と出ました。安原工業団地とは違うようです。

宮永交差点付近の印刷美術の現場では、大きな鉄の配管の溶接が仕事のメインになっていました。大きくて重い配管を支えて仮づけするのを手伝っていたのですが、わざとなのかわからないもののM君に何度か感電させられたことも印象に残っています。

溶接作業の感電は電気ショックのような衝撃を受けます。また、溶接作業中にも感電で死亡事故が起こることがあり、昔ほど多かったとも被告訴人KYNらに教えられていました。

仕事に余裕が出来たような時期にも思えたのですが、被告訴人KYNが私に、アーク溶接の練習と免許の試験合格を強く奨めた時期がありました。だいたいは平成10年の夏の終わり頃から秋の初めの方の時期だったと思います。

今、被害者の父親AKさんが当時部長をしていた旭丘工業団地の鉄工所についてインターネットで調べてみました。現在はグループという形態になっているようですが、規模がそれほど大きくなっているとは思えずグループも2社のようです。

ホームページを見たのも平成11年以来になるかもしれません。ホームページの内容も以前とはまるで違った印象も受けます。当時はAKさんの名前も記載され、職業安定所などの求人広告でも、AKさんが面接の担当者のように名前が掲載されていました。

現在も能登工場が珠洲市内にあると紹介されていますが、住所が珠洲市三崎町になっていました。能登半島の先端に近い辺りですが地図で確認すると三崎のなかでは手前側のようでした。以前は確か住所が正院になっていたような記憶があります。

廃止前の鉄道では、飯田駅の次が珠洲駅、その次が正院駅で、次が終着駅の蛸島駅だったと思います。蛸島は大きな魚市場のある漁港です。蛸島の先には鉢ヶ崎海水浴場があって日本の渚百選の一つにも選ばれていると聞きます。現在は近くに大きなホテルもあるようです。

私が子供の頃というのは、珠洲市に行くのに宇出津は国道沿いの通り道だったのですが、平成に入った頃には穴水から珠洲市に向かう山沿いの道が主要道路になりました。珠洲道路という看板もありますが、昔は農面道路とも読んでいました。舗装のない箇所もあったぐらいで、裏道に近い感じでした。

珠洲市の中心部は昔から飯田ですが、珠洲駅のあった辺りは野々江という地名のようです、買い物などに用事で行くときは野々江の方が多いです。珠洲市総合病院もその辺りになります。携帯ショップ以外でどうしても珠洲に買い物に行く必要はないのですが。

2011年の12月一杯ということになるかと思いますが、宇出津新港にあった橋本ホームセンターが閉店しました。同じ建物にホームセンタームサシがオープンしたのは昨年2013年の春頃ではなかったかと思います。

1年3ヶ月ぐらいの間、私が住んでいる宇出津の町にはホームセンターが不在でした。シメノドラッグというドラッグショップもあったのである程度のものはまかなえましたが、ホームセンターに行くため、珠洲に行く機会も何度かありました。

決定的に珠洲に行く必要性が出来たのは、宇出津にあった能登警察署が珠洲警察署に統廃合されたことです。昨年だったかなとも考えたのですが、ネットで調べると一昨年の2012年4月になっていました。

ついでに説明を書いておきますが、5年ちょっと住んでいた羽咋市から宇出津に戻ったのが2009年の3月15日のことで、そのあと珠洲市とは縁がありました。まず5月から8月の3ヶ月の間、パソコンの職業訓練で珠洲市飯田に通いました。バスで通いました。片道で900円ぐらいだったと思います。

ちなみに宇出津にあって珠洲市内にないものが宇出津新港にある職業安定所でした。羽咋市から戻った当初は真剣に仕事を探していました。その過程で職業訓練のことを知り、珠洲市に通うことになったのですが、委託された鉄工所の一部屋のような教室で、受講生も10人弱だったと思います。

宇出津の周辺で本格的な職業訓練所という施設は松波にありました。応募の面接などで2，3度、松波の職業訓練所にも行きました。募集の時期もずれていたので、パソコンでは珠洲の教室以外の選択がなかったのです。

結果的にワープロと表計算、どちらも2級の検定試験に合格することが出来ました。バスに乗って珠洲まで合格証書のようなものを取りに行ったのが、8月の20日過ぎではなかったかと記憶しています。

それからわずかに一週間ぐらいあとのことだったと思います。前の日の夕食に母親とサンマを焼いて食べたのですが、その翌日の朝、寝ている部屋に何度声を掛けても返事がなく、おかしいと思って部屋を開けると、ベットの上で母親が、少しも声を出せないぐらいにもがき苦しんでいました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月24日

今日の昼過ぎ、台所で昼食の支度をしているときに思いだしたことがあるので先に書いておきたいと思います。茨城県古河市の山三青果の定期便を金沢市場輸送が始めた頃のトナミ運輸の栃木便ですが、荷物を積むのは小松と金沢の二カ所ではなかったかと思います。

勧進帳

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月25日

石川県の小松市と行っても他県の人は全くわからない人が多いと思われます。石川県では金沢市が有名で人口もその周辺に集中していますが、小松市は金沢に次ぐぐらいの規模で距離にして30キロほど離れていると思います。

私がよく知る平成4年以前とは道路事情も含め随分と様変わりしているとは思いますが、以前は普通に小松市内の国道8号線を通過していました。市内の中心部は片側2車線の広い道でしたが、まもなく対面通行になり、もう少し行くと加賀市の看板が見えてきました。

その加賀市の境あたりの国道8号線沿いにトナミ運輸はあったと思います。福井方面に向かって国道の左側でした。自分の記憶では加賀市の看板を過ぎていたような気もするので、あるいは小松市内ではなく住所は加賀市内なのかもしれません。

金沢の会社からだと時間帯にもよりますが余裕を見て1時間の所要時間であったかと思います。福井から関西や九州方面に向かう場合は、福井の県境に近い加賀インターから北陸道に乗っていたはずです。金沢市場輸送では滅多にない経路だったと思います。

やはり小松で荷物を積んでから金沢に戻り、西インターの近くのトナミ運輸で追加の荷物を積んでいたはずです。この金沢のトナミ運輸からは、一時期、仙台か九州の福岡便もやっていたような気もするので、記憶があいまいにもなっています。

雑貨の仕事というのは夕方からの積み込みがほとんどでした。だいたい18時頃にはホームにトラックをつけて、積み荷が出来る状態にしていたように思います。高岡や富山の方が多かったと思いますが、よくあるパターンの仕事でした。

石川県金沢市神野町東２０２ トナミ運輸（株） 金沢支店 - Google マップ <http://bit.ly/1hNepv3> ←　現在も同じ場所にあるようです。住所は森戸かと思っていたのですが神野町になっているようです。そういえばそういう地名もあったかと思いました。

その金沢のトナミ運輸で事故を起こした社員の運転手が、幌車の荷台で首吊り自殺をしたという話を聞きました。これも内浦町新保のKOから聞いたように思うのですが、現在の記憶では判然としません。

ただその話を聞いたとき、私は具体的に金沢のトナミ運輸のホームで、ホームの前の方に駐車してあるトナミ運輸のトラックのことを、頭の中で具体的に想像していたことを、割と鮮明に記憶しています。

金沢の西インターのトナミ運輸がある敷地は、結構広く、今考えると石川県では一番広い運送会社の敷地だったような気もします。そこはトラックターミナルとも呼ばれたか、そのような看板が出入り口の辺りについていたような気もします。

他の運送会社も数社入っている敷地で、ちょっとした工業団地に近いものだったと思います。入り口左側に若松梱包があって、そこにも金沢市場輸送の仕事で一時期、何度か行ったように思いますが、その辺りの記憶も曖昧になっています。

一番行くことが多かったのも印象に残っているのもトナミ運輸だと思いますが、その金沢のトナミ運輸に行くようになったのは、私が大型車で長距離の仕事をしていた終わりの方であったと思うのです。定期便の仕事も増えた時期でした。

なお、トナミ運輸の雑貨は、九州の北九州と福岡ではいずれも西武運輸のホームに荷下ろしし、福島県の郡山と宮城県の仙台はいずれも第一貨物のホームに荷下ろししていました。

これとは別に、中越運送の定期便があり、これも郡山と仙台おろしだったと記憶していますが、砺波の雑貨のどちらかが、仙台市の手前の名取市おろしだったとも記憶しています。仙台の方は4号線沿いのとても大きなホームの第一貨物でした。

中越運送の定期便というのも雑貨でしたが、こちらは私が大型車で長距離を始めた初めの方にやっていて、その後いつの間にかやらなくなっていた仕事のように記憶しています。昭和63年の1月の時点ではまだやっていたと思います。

その後、仙台市内の国道4号線から塩釜方面に向かう広い道沿いの左側の運送会社ホームに雑貨の荷物をおろしていた記憶もあるのですが、それは日通の仕事で高岡市からのホームから積んでいた雑貨の仕事であったように思います。

その近くにはアルミサッシをよく持って行く倉庫もありました。アルミサッシの仕事も多かったですが、高岡市だけで新日軽、三協アルミ、館山アルミの仕事がありました。黒部市の吉田工業へも行きましたが、回数は少なかったと思います。

メイホグループ｜明穂輸送株式会社 <http://www.meiho-group.jp/meiho_yuso/> からもらうアルミサッシの仕事が特に多かったように思います。必ず付き添いで荷積みを手伝ってくれる人がいましたが、当時でも高齢に近かったと思います。パチンコ好きの人でした。

アルミサッシの仕事は九州が多く、福岡県内の他、鹿児島県の隼人町にも行っていました。明穂の仕事であったかどうかは記憶にないです。そのうち新日軽の仕事がアルミサッシでは多くなってような気もします。比較的小矢部市に近い辺りの工場での荷積みでした。

アルミサッシで思いだしたのですが、関東に行く仕事も多かったです。毎日かどうかは忘れましたがそれに近い感じで持ち回りをしていたと思います。おろし先ははじめ埼玉県の桶川市の古い倉庫のような場所でした。

それがその後、水海道市に変わりました。新社屋の配送センターという感じだったと思います。住所は茨城県になっていたかと思いますが、千葉県にも近いところで、かなりの町外れに配送センターはありました。

東京ストアの定期便は、このアルミサッシの仕事と組み合わせになることが多かったと思います。まだ、神田市場の頃でした。東京ストアの仕事は週3回と聞いていたように思います。丸二とヤマリという仲買から荷物を積んでいました。どちらかが野菜で他方が果物だったと思います。

秋葉原にも近い神田の市場はいつも混雑していて、ほぼ積み荷の時間に合わせて昼間に現地に入る必要もありました。都内だと待機する場所を探すのもままならず、豊海あたりに待機することも。その点、大田市場だと時間を問わずトラックを駐車できたので、ずいぶんと気も楽になりました。

東京ストアの荷物は金沢の市場の近くの古くて小さい倉庫に、早朝ずいぶんと早い時間に荷下ろししていました。ほとんどが暗い時間に荷下ろしを始めたことしか記憶にないぐらいです。東京ストアは金沢市内にチェーン店のあるスーパーです。

そのうち市場の近くの倉庫では荷下ろしをしなくなったように思います。一方で、都内の外れ高島平の近くにある板橋の市場から深夜に荷物を積む仕事が増えていきました。昼間から時間をつぶして、周辺で食事などしていたことも憶えております。

深夜の何時頃であったか憶えていないですが、板橋の市場で積み込む荷物というのは多くはなく、大半は早朝の8時ぐらいかに、長野県の山奥みたいなところまで行き、高原野菜を積み込んでいました。上田市の山の方であったと思います。

そのおろし先は新しくなった東京ストアの配送センターで、松任市の旭丘工業団地の中にありました。これは冷凍機付きの必要もあったと思うので、108号に乗務していた時期かと思います。ちなみに野菜の場合は、冷凍機の温度が5度指定になっていました。

早朝に長野で荷積みを終わって、午後には松任市の配送センターで荷下ろしをしていました。出来たばかりのような新しい建物だったと記憶しています。私としては野菜をおろす場所と言うより、カマボコ工場のようなイメージが拭えない建物でもありました。

七尾市のスギヨの仕事をしていたのもそれに近い時期かと思います。スギヨはカニかまを初めて製品にしたことでも有名かと思いますが、最近でもテレビのバラエティ番組で見ることがありました。全国的にも割と有名かと思います。私は、カマボコの類は滅多に食べないのですが。

七尾市は能登半島で一番大きな町ですし、歴史的には奈良時代から開け金沢より歴史があるとも聞いています。全国的に一番有名なのは、和倉温泉の加賀屋かもしれません。ずいぶんな記録を持っている老舗旅館ですが。テレビで見る以外、入ったこともないです。

七尾市は漁業の町でもありますが、それ以上に木材の港という印象が私としては強いです。魚を積むような保冷車で目立っていたのは共栄運輸でした。このトラックは1年ほど前にも、小木の漁協で見かけていますし、トラックのデザインも昭和の時代から変わっていない感じでした。

同じ保冷車か冷凍車ばかりの大きな運送会社に小林運輸があり、トラックの数も多いのか見かける機会が多かったですが、その小林運輸がスギヨの専属だと聞いていましたし、トラックの箱にもスギヨと書いたり、カニかまをイメージするカニの絵が描かれていました。

Gooleで「七尾市　小林運輸」と検索してみたのですが情報は少なかったです。会社自体は現在も存在しているようですが、ホームページは公開していない様子で、見覚えのあるカラーのトラックの写真を見つけたものの、スギヨの文字は入っていないようです。

金沢市場輸送でやったスギヨの仕事は、宮城県塩釜市の宮城陸上の請負ではなかったかと思います。私が大型車に乗務した頃は、宮城陸上の荷物の福井分とか一部を、東北陸運の荷物と積み合わせで積んでいたような記憶があり、4トン車でまかなえる荷物も多かったと記憶しています。

その頃は宮城陸上の自社便の大型車が金沢まで荷物を運び、帰りに七尾のスギヨから荷物をもらって塩釜に帰っていると聞いていました。塩釜市はカマボコだけでなくおでん種のような練り製品の本場のような土地柄でもありました。

私が昭和59年に金沢市場輸送にいた頃は、宮城陸上の仕事も東北陸運の仕事もなかったです。石巻には行きましたが、興勝運輸から仕事をもらっていました。立派なトラックのある会社でしたが、まもなく昭和62年頃には倒産したように聞いていましたし、トラックも見かけなくなっていました。

その興勝運輸の仕事で石巻の魚市場から生のマグロを積み、翌々日おろしで名古屋の市場まで運んだことがありました。被告訴人OKNと一緒にマグロを積み、彼の荷物の行き先は山梨県の甲府ではなかったかと記憶しています。

国道4号線を東京に向けて走り、翌日の午前中に栃木県の小山市で別れたと思います。私は国道50号線から前橋方面に向かいました。途中、福島県の二本松あたりのセブンイレブンの前の公衆電話から、東京の板橋に住むという同級生に電話を掛け話をしたことも記憶に残っています。

板橋で郵便局に勤めていると聞いたようにも思いますが、その年の夏のお盆に行われたと思う成人式で会ったのが最後ぐらいで、噂話を聞くこともなくなったように思います。なお、案内が来たこともありましたが、私は一度も同窓会などに出席したことはありません。

昭和61年の8月に2度目に金沢市場輸送に入社して市内配達をしていた頃も、何回か臨時で頼まれて、4トン車で石巻に行ったことがありました。その頃には宮城陸上の仕事も東北陸運の仕事も始まっていたと思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月26日

東北陸運は石巻と塩釜にありました。塩釜の方が本社だったと思います。苫東陸運というトラックもあってカラーやデザインが同じだったので、子会社化関連会社だと思います。もちろん北海道の苫小牧のことだと思っていました。フェリーで中継の荷物を積んできていました。

東北陸運に関しては半年ぐらい前にGoogleのストリートビューで見ることが出来たのですが、どちらも平成の初め頃と同じ場所に所在するようでした。

塩釜の方は建物も以前と同じに見えました。しかし本来は震災の被害を受けている可能性が高いと考えられるので、建物がそのまま残っているとは考えにくいとも思いました。塩釜の方は海から比較的離れていたとも思いますが、海抜はほとんどないような平地だったと思います。国道45線よりは海側でした。

信頼を得て任されるようになったのか、東北陸運の仕事はどんどん増えてきました。ちょうどバブル景気が始まった頃で、グルメとか美食という文化も出てきたご時世だったので、海産物の流通量自体が飛躍的に増えていたのかもしれません。

時期によっても荷物の量には違いがありました。サンマが多かったり種類による違いもありましたが、年末は特に荷物が多く、大型車4台でも乗り切らないことがあったと記憶しています。4トン車も入っていました。

東北便は、まず新潟県の糸魚川の市場で荷物をおろしました。面倒でしたがほとんど必ずあったと思います。面倒以上に困ったのは北陸自動車道の糸魚川インターの乗り降りでした。糸魚川に限ったことではないのですが、台貫場があって、重量違反の取り締まりを受ける可能性があったからです。

幸いなことに私自身は一度も台貫に引っ張られたことはなかったと思うのですが、同じ金沢市場輸送の他の数人が台貫で反則切符を切られ、その際の受け答えに問題があって、それが会社の不利に働き、なにか制限を受けるようになったと聞きました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月27日

糸魚川インターでの重量オーバー違反ですが、同時またはほぼ同時に３人ぐらいの運転手が反則切符を切られたと聞いたように思います。ただ、断片的な情報で理解しがたいところがありました。今改めて考えると捕まったのは全部が４トン車だったような気もします。

やはり３人はいたような気もするのですが、しばらくの間けっこうもめていたようです。運行の状況にもよるのですが同じ社員の運転手でも半年ぐらい顔を合わせないことがあると昭和５９年当時は聞いていたぐらいですから、一定期間、他の運転手と顔を合わさなかった可能性もあると思います。

昭和59年当時は大型車の仕事内容もずいぶんと違っていましたので、同じように見ることは適切ではないと思いますが、一月ぐらい顔を合わせないことは普通にあったような気もします。全ては配車係の采配であり、とりわけ権限を独占しワンマンでやっていたのが被告訴人MTNでした。

断片的に私の耳に入ってきた情報では、詰まるところ金沢市場輸送の会社や被告訴人MTNに対する不満を、糸魚川の警察でぶつけ、それが会社の不利益になったような話だったと思います。

具体的にはイワシの運搬に専属するため新車で納入された5台の平ボディ車になにか影響があったという話でした。名義と登録できず、浜田漁業に一時的に肩代わりをしてもらったような話であったような気もしますが、このあたりも記憶がかなり薄れています。

（株）丸北青果市場 - Google マップ <http://bit.ly/1fsLMvo> ←　Googleマップで調べたところ、丸北青果は昭和59年当時と同じ場所にあるようです。

中央市場口とか書いてある交差点から市場の方に向かうと、この丸北青果の間の道を右折していました。30メートルほど行くとやや変則の十字路があります。

言葉だけで説明するとかえってわかりづらくもなりそうなので、Googleで地図を作成しました。次のURLです。

金沢市場輸送のトラックの駐車場所等（平成59年から平成4年頃の間） <https://mapsengine.google.com/map/edit?authuser=0&hl=ja&mid=zWXtOqvyZ-Jo.ktHXsPOR6Gxs>

似たような地図は前にも作っていて本書においても紹介済みと思いますが、当面の説明の内容に合わせて、別の地図を作りました。作成したGoogleアカウントも前のものとは別になっているのではと思います。

変則の十字路と書きましたが、右折した道路は行き止まりになっていました。その道路上にイワシの平ボディ車が駐車されていることが多かったと記憶しています。保冷車も駐車していましたが、余り動かさないトラックを駐車することが多かったように思います。

もともとこの丸北青果の間を入った道は、一直線の道でした。変則になっている交差点に道路が交差していたかどうか憶えていませんが、その交差点があった場所の向こう側は、空き地や畑、あるいは田んぼが広がって、中央市場の裏の方を見るのに遮るものはほとんどなかったように記憶しています。

左手の空き地は金沢市場輸送の駐車場になっていました。舗装もしてなかったと思いますが、かといって雨でぬかるんでいたような憶えもないので、砂利を敷き詰めた駐車場であったような気もします。

駐車場を越えると交差する道がありましたが、これを右に行くと中央市場の裏側にある道路と一直線につながっていたと思います。道路と言うより農地の敷地内の道という感じでした。左に曲がると金石街道に出る道がありましたが、普通に車が通らないような狭い道だったと記憶しています。

右に曲がるとすぐに右手に民家が一軒あったと思いますが、そのとなりに小林運送がありました。民家も小林運送の社員というか運転手の一人が家族と住んでいる家と聞いたように思いますが、家族らしい姿をみることはなかったです。

時代をさかのぼることになりますが、昭和58年の3月から4月ぐらい、期間にして短くて一月半、長くて3ヶ月ぐらい、私はその小林運送で、長距離トラックの助手という仕事をしていたことがありました。

4階建てぐらいの古い建物だったと思いますが、映画の舞台にでも出てくるようなちょっと変わった建物でもありました。もともとは病院の建物という感じでした。一応、そこの一室で寝泊まりしていましたが、病院にあるようなパイプのベッドが一つ部屋の中にありました。

私にあてがわれた部屋は金沢市場輸送の駐車場も見える建物の正面側にありましたが、着替え程度しか荷物は持っていなかったので、テレビも何もなかったと思います。休日の日などは、外に遊びに出かけていました。

どういう建物だったのか細かいことは憶えていませんが、一階が高くなっていて修理工場のようにもなっていたような気もします。実際に大型車を中に入れて、ちょっとした整備やオイル交換などを行うようになっていたのかもしれません。

小林運送へは、職業安定所に出ていた求人で行きました。金沢の職安がまだ金沢駅にも近い芳斉にあった頃でした。職安の前にはいつものように自衛隊の勧誘のおじさんがいるような時代でもありました。

小林運送の仕事は金沢の市場での仕事がほとんどでしたが、青果物の運送でした。メインの仕事は愛知県内からの野菜や青果物の運送でした。愛知県でも静岡県との境にも近い、豊橋や渥美半島の仕事が多かったと記憶しています。

横浜の本牧ふ頭や大阪の方にも行ったことがありましたが、愛知県内の他は静岡県内からの仕事も多かったように思います。それも高価と思われるメロンを運んでくる仕事でした。

助手の仕事というのは、主に運転手が仮眠するときの目覚まし時計代わりという感じだったと思います。荷物の積み卸しの作業も手伝いますが、寝過ごしによる延着の防止が一番の目的ではないかと思えました。

市場の仕事というのは競りの時間があって、それに間に合わないと延着と言うことになり、翌日以降の競りに回されることになり、鮮度が落ちるような品物だと大きな損害が出ると聞いていました。

鮮魚の方が青果物よりシビアで時間にも厳しかったはずですが、筍のように競りに間に合わないと、品物がだめになってしまうというものもありました。大量の氷を掛けガスもでるタイプの筍でしたが、九州の熊本県では箱に乾いた状態で入れてある筍もありました。

金沢の筍の場合、出荷のあるのは5月から6月辺りの、長くて一ヶ月間ぐらいの時期でした。その筍の時期が終わる頃から、今度は金沢港でスルメイカの仕事が多くなると言うのが毎年の恒例でした。6月から7月の初めぐらいで、これも一月ぐらいだったかと思います。

小林運送で助手の仕事をしていた頃は、運転などするはずもなく、すべて運転手任せだったので、どこを走っているのかと言うことも余り気にする必要がありませんでした。

そんななかでも印象に残ったのが、愛知県の田原町というところでイチゴを沢山積みました。当時人気絶頂だった、田原俊彦という歌手の名前もあって、印象的だったのだと思います。

愛知県のどのあたりだったのかも記憶になく町の名前とイチゴのことだけ憶えていたのですが、自分自身が大型トラックを運転してその田原町を通りかかったのは、平成4年の2月のことであったと思います。あるいは3月。

市場急配センターが小林運送の仕事をするようになったという話は平成3年中から耳にしていました。12月ではなく11月中にも、そんな話を少し聞いていたと思います。

その割に私に小林運送の仕事が回ってくることはなく、忘れた頃にやってきたのが平成4年の2月だったと思います。

私が小林運送の仕事をしたのは2回だったと思います。一度は渥美半島の先端あたりからトマトを中心とした混載の荷物を積みました。小林運送の運転手ではなく助手のような若者をトラックに同乗させ、出荷場をまわりました。

助手席に乗せて話をしていたことは憶えているのですが、どこで乗せてどこで降ろしたのか記憶に残っていません。金沢から乗せていったようなことはまずあり得ないと思います。また、トマトは石川県加賀市の大聖寺の市場でも荷下ろししたように記憶しています。

大聖寺の市場というのは滅多に行かない市場でした。そのあと小松市の市場で大半の荷物をおろしたようにも記憶しています。その頃は、和歌山県のかつらぎ農協から積んでくるミカンの仕事でも、小松の市場での荷下ろしが多かったと思います。

小松の市場というのは国道8号線から山手の方に向かって市内を外れた場所にありましたが、国道8号線自体も高速道路である北陸自動車道から大幅にずれていました。北陸道は海岸線に近い辺りを通っていました。

具体的に言うと、愛知県からだと加賀インターを降りて国道8号線を走ることになり、小松の市場で荷下ろしをしてから再び高速に戻るのは効率もよくないので、そのまま国道8号線で金沢まで走るというのが普通の選択であったと思います。

簡単にいえば国道を走るのは面倒くさいのですが、個人差はあるもののそれをとても嫌がるような運転手もいたかと思います。国道の方がのんびり走れて、その方がよいという考えの運転手もいたかとは思いますが、そういう人は出来るだけ市場の仕事は避けるのではないかとも思います。

運送会社には高速道路や有料道路の使用を極端に渋る、避けることで経費を削減するという会社も多いと聞いていました。そういう会社は急ぎの仕事でもなく、傷むような食べ物を運ぶ仕事でもなかったはずです。

金沢市場輸送という会社は、伝統的にそのあたりも変わっていて、鮮魚を運んでいても一般道を走らせるような会社でした。国道や県道などの一般道のことを、下道（したみち）と呼んでいたので、以降は下道と表記します。

東京の築地市場に鮮魚を運ぶときにも、富山インターから飛騨高山方面に国道で向かい、安房峠から松本市辺りに出て、諏訪インターからようやく中央道の高速に乗るという運行や、国道18号線で群馬県内まで下道を走るという経験もありました。

関越トンネルが開通する以前だったので、現在のように関越道を全線走るという選択はなく、一番急ぐ場合は、大阪方面と同じように米原JCまで行き、東名高速を走って東京に行きましたが、走行距離が100キロほど余計に走ることにもなっていました。

昭和59年に4トン車に乗務した頃は、新潟県内に鮮魚を運ぶ仕事がメインでした。直江津、長岡、小千谷、新潟の4カ所おろしの市場でしたが、柏崎が加わることもあったとも思います。

北陸道は富山県内で朝日インターが終点で、次に乗るのは新潟県内の上越インターという時代でした。そのうち名立谷浜インターまでつながり、半年か一年ぐらいで対面通行が多かったものの、全線がつながりました。

富山県の朝日から新潟県の糸魚川の間には、親不知という難所があり、迂回路もない一本だけの国道でありながら、大型トラック同士がまともにすれ違い出来ないような箇所があったり、交通量も多くて時間が掛かりました。

昭和59年の1月や2月は雪も多かったです。とりわけ小千谷のあたりは十日町にも近く、日本一の豪雪地帯でした。高速道路も雪の壁のようになっていました。新潟市内の市場は混み合っていて荷物もおろしにくかったと記憶しています。

そのような交通状況などまるでおかまいなしに、金沢を出発してからは国道8号線をひた走り。許可されている高速道路の使用は、上越市を超えた先の柿崎インターから向こうだけでした。

そもそも出発前には朝の8時か8時半頃の出社が当然のように義務づけられていて、中央市場の中で他に出勤してきた運転手とともに魚の荷物を積み、抱き合わせの小口の冷凍食品の集荷に回ったり、他の運転手の積み込みを手伝ったりしていました。

午前中に魚は積み終えていたと思いますが、伝票の出る時間が遅く、新潟に向けて出発するのは午後の4時頃とかそんな時間であったように思います。富山県の魚津市辺りでは夕方の渋滞にもあいました。

大阪行きの荷物もいろいろありましたが、むしろ新潟の仕事より輪を掛けて面倒で条件の悪い、各駅停車のような仕事が多かったです。京都の日向市とかで真夜中に荷物をおろしたり、早朝の早い時間から大阪の生野区で荷物をおろしたりしました。

とは言ってものんびりしたムードもありましたし、苦労話をすることが目的でもないのですが、バブル景気の追い風もあったのか、仕事の条件はずいぶんとよくなっていきました。

東北便も、宮城と山形の県境に笹やトンネルが開通してからは、本当に楽になりました。国道の急斜面を走っていた頃は、凍結で上りきれなかったり、下り坂はそれ以上に神経を使い、渋滞で時間が遅れることもありました。

まあ、色々ありましたが、いいところと悪いところがあるというのは、どんな仕事や会社でもよくあることかと思っていました。ただ、市場急配センターの場合、本当に仕事が楽だと思っていました。

それでも割りの悪い、他の運転手が嫌がる仕事を多く押しつけられてはいたようです。余り楽をしすぎると、いざ難しい仕事に当たったとき慣れていない分、余計にしんどい思いをするというのも、自分なりの経験値と思っていたので、さほど不満でもなかったのですが。

たとえば九州から市場の荷物を積んで、関東の市場に行った場合、行ったことのない市場でも自分で探して見つけなければならないのですが、他にもまわるところがあるので、間違いは許されない状況。頼るのは自分だけです。集中して最善を尽くします。

その過程で得る経験値もありますが、他のそれほど条件の厳しくない仕事だと心に余裕も出来るのか、なんなく当たり前にこなせるようになっていました。そういうことも、自分が余り意識しないうちに、信頼や評価にもつながっていたのだと思います。

市内配達の場合、そういう運転手としての経験が全くないところから始める人も多かったように思いますが、なかには見ていて気の毒に思う人もいました。

輪島の航空自衛隊にいたという人もそうでしたが、なにか仕事上のミスが多かったらしく、被告訴人MHK社長が最終的にクビにしたとも聞きました。歯車が狂い焦りが出ると、ミスが多くなると言うことも、ずっと後になってよくわかるようになりました。

決まった仕事を同じように繰り返しているのが楽な仕事かとも思いますが、金沢市場輸送の仕事は内容も行き先もバリエーションが豊富で、それなりに楽しみながらというか、飽きずに仕事の出来る職場という一面もあったかと思います。何かと自由な面も多かったですが、自己責任とも一体でした。

もともと私は長く長距離の仕事を続けるつもりはなかったです。本当はそうしたい気持ちも強かったのですが、もともと視力が悪くて目の負担が大きく、長続きは出来ないと考えていました。夜間や雨の日、は特に目を酷使しました。

青果の仕事は鮮魚ほど神経も使わず、余裕もあったので、市場急配センターの長距離をするようになってからは、そのほど目の痛みを気にすることもなくなっていたとも思います。

それにしても長距離の仕事は免許の点数を失う可能性が高いので、安定しているとはとても思えませんでした。大型車は80キロが最高の速度制限でしたが、高速の流れで120キロで走行していても、40キロの超過になります。鮮魚の頃は当たり前のように140キロのメータを振り切っていました。

乗用車であれば平均時速100キロで走れば一時間に100キロメートル走れるはずですが、大型トラックで重量を積んでいると、高速道路でも50キロまで下がることはざらで、30キロ以上でないという急勾配の坂もありました。中国自動車道の荷卸峠などです。

渋滞の時間も差し引かなければならず、それ以上に荷物の降ろし先が多いと、荷下ろしでの順番待ちもあるので、なにかと余裕を作る必要がありました。雪道など特に、無理をしすぎると本当に命の関わる問題と考えるしかありませんでした。乗用車などぶつければ大破する他人の命にも関わる問題です。

市場急配センターの場合、金沢市場輸送と違って他の運転手の仕事が見えにくくもなっていました。金沢市場輸送の場合、大きな黒板に日程表があって全体の把握がしやすく、荷主に対応した運転手の名前も掲載されていたように思います。

市場急配センターでも似たようなものが作られたように思いますが、一度か二度、見た憶えがあるぐらいで、その後はどうなったのかもわからず、そもそも二階の事務所のわかりづらい場所にあったように思います。本来ならば運転手が多くある丸一階にこそ、置いてあるべきものです。

他の運転手の仕事を余り気にするのもいやらしく、かえって嫌な思いで仕事をすることにもなりそうだったので、ほとんど気に掛けずに仕事をしていたようにも思います。

仕事には好みの問題や条件のとらえ方の違いのあるのですが、私は大阪や名古屋方面で、重量オーバーしたまま米原のバリアの通過するのが嫌で、できるだけ避けたいと考えていました。これは九州から鮮魚を運んできていた延長でもあったと思いますが、どきどきしながらバリアの料金所を通過していました。

市場急配センターでは給料が月給で一律50万円と決まっていたので、仕事内容のえり好みをする人が出てくるというのも、もともと避けがたいところではあったとは思います。本来ならば運送会社というのは歩合制が多く、基本でもあったと思います。

平成3年の終わりから平成4年の初めというのは、社会史的にみるとバブル景気の崩壊以降で、景気も悪くなり始めた頃であったのかもしれませんが、テレビニュースや新聞も余り見ていなかったこともあったのか、景気が減速しているような実感も不安も、全くもたないままに生活していました。

平成10年頃、自営業者として仕事をしていた被告訴人KYNは、経済的な情報にも関心を持ち新聞に目を通しているとも話、東京の景気の状態は金沢に2年遅れでやってくる、と話していたこともありました。真偽の程は不明ですが、いくぶんそういう傾向はあるのだろうとは思います。

インターネットがそれほど発達していない時代でもありました。平成9年の1月に福井刑務所を出て、世の中が変わったと一番感じたのは、携帯電話の普及でした。携帯の小型電話を誰もが普通に持ち歩いている時代が来るとは考えたこともありませんでした。

ただ、投資の大暴落で芸能人やタレントでも一夜にして莫大な負債を抱えることになったという社会問題は、平成4年4月の逮捕以前に、テレビで見て知っていたようには記憶しています。それが景気全体に悪影響を及ぼし、自分にマイナスに関わってくるとは、考えていませんでした。

テレビや新聞は余りみなかったと思います。仕事柄テレビを見る時間というのも限られていましたし、ビデオは持っていたものの番組を録画するという習慣は全く持っていませんでした。面倒で敷居が高そうと言う機器に対する苦手意識もあったと思いますが、録画の必要性を感じることもなかったです。

身近なところでは北都運輸が倒産したという話がありました。トナミ運輸や日通など全国規模で事業展開しているようなものを別にした地場の運送会社では、昭和58年頃から石川県内で一番大きな運送会社と聞いていました。2番目が国勝運送。

昭和58年頃は、友人が2，3人北都運輸で米飯とか言う給食の配達のような仕事をしていたこともありました。野々市と聞いていたように思いますが、国道8号線の外れの方にトラックが沢山停まった会社があったことも記憶しています。

既に少し触れたように思いますが、私自身、平成1年の5月か6月ぐらいから10月か11月頃まで、専属で北都運輸の仕事をしたことがありました。野々市の中心部に近い倉庫でしたが、北都運輸の看板が出ているようなことはなかったように思います。

古くて小さな倉庫でしたが、配送センターという感じでした。マヨネーズやドレッシング、ジャムが中心でしたが、冷凍食品も少しあったように思います。取り扱いの品物としてもカナカンに行くことが多かったと記憶しています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年02月28日

またしても日付が変わっていることを意識しないまま記述を奨めていたので、記載の見出しの日付を改めました。

日付が変わっているので昨日になりますが、昼にAコープ能都店に買い物に行ったときに、カナカンのトラックを見かけていました。

カナカン - 伝えます食文化の香り <http://www.kanakan.co.jp/index.html> ←　ホームページを見つけました。鮮魚や青果物以外の食品の総合的な問屋、流通センターというイメージが強いです。トラックも営業所もあちこちで見かけていた気がします。

市場の周辺にもいくつかカナカンがあったと思います。大きな会社だと思いましたが、どういう会社なのか聞くことも話題になることもなかったと思います。青果物に限ってはいますが市場急配センターの方が目立つ存在にもなっているような気もします。

カナカンの本社が金沢市袋町となっていて、見当もつかない地名なので調べてみたところ、近江町市場と武蔵の近くのようでした。近江町市場というのも市民の台所として金沢では有名なようですが、検察庁や裁判所にも近い場所です。武蔵は片町に次ぐ中心的な商業地かとも思います。

その辺りは尾張町というイメージが強いのですが、袋町というのは武蔵側に尾張町と隣接しているようです。地図でみると尾張町というのは自分が思っていた以上には場所が広いようです。他の町名も近くに複数あるので、もっと狭い範囲かと思っていました。

尾張町に関しては2点、書いておくべきことを予定しています。やはり尾張町は金沢地方検察庁のある大手町とも隣接しているようです。その向こうの兼六元町というあたりが、一つの説明の中心になるかと思います。

北都運輸が倒産したという話は、被告訴人MHK社長がとても愉快そうに話していたことも印象的でした。話を聞いた場所は市場急配センターの一階でした。私はこれまで平成3年の7月頃のこととして考えていたような気もします。

しかし改めて考えてみると平成3年9月以降の可能性の方が高いかもしれないです。というのは、9月より前の一階は全く物置小屋のようなスペースでしかなかったので、そこで会話をしたというのは考えにくいからです。

物置といっても大したものは置いてなかったと思いますが、夏の頃は早朝に桃やブドウの仕分けとしてその場所が使われていました。ブドウや桃は山梨県から直接運んできているという話で、ほとんどが4トン車だったと思います。

山梨県から運んできていたのもほとんどが被告訴人UHKか、持ち込みの運転手をやっていた大倉さんだったと思います。夏と言っても真夏ではない比較的涼しい時期の7月中ではなかったかと思います。短い時間だったと思いますが、大勢で集まって仕分けの作業をしていました。

新たに思いだしたことですが、浜田漁業金沢工場のトラックには「両合物産」と書いてあったと思います。4文字ということはあり得ないので、たぶん両合物産株式会社ではないかと思います。

現在はどうか知らないし確認していませんが、平成4年当時も運送会社のトラックにはキャビンとも呼ばれる運転席の車両部分の後ろ側の小さな窓ガラスの横に、会社の名前が書いてありました。シールではなくペンキで描いてあったとも思います。

ちなみに一週間ほど前でしょうか、宇出津新港に買い物に行くとき魚市場を通りかかったとき、6トンの保冷車が目に入ったので、キャビン丈夫の速度表示灯を見たところ、それがないことに気がつきました。

少し先を行った氷会社の駐車場に10トン以上と思われるの大型車がいたので、それも確認したところ、やはり速度表示灯がありませんでした。

速度表示灯と呼ばれていたと思いますが、キャビン前方の上部に三つの緑色のランプがついていて、そくどに合わせて電気がつくというものでした。6トン車はタイヤの大きさをみないと4トン車と区別しにくいこともあったのですが、一番の見分けは速度表示灯の存在でした。

対向車がすぐに大型車とわかることもあって、すれ違いの際にも狭い道幅であれば、車幅も大きいとわかるので余計に速度を落とすという目安にもなっていました。なぜなくなったのか不思議にも思いました。夜間に大型車を見る機会はほとんどないのですが、違ったものがついていることも考えられます。

大型トラックについている三つのランプの意味は？ <http://homepage2.nifty.com/osiete/s475.htm> ← 調べてみたところ1999年に規制緩和と実効性がないということで廃止にされたようです。大型車の乗務経験で、あった方が遙かに安全安心だと思います。

時速40キロまでがランプが一つとも書いてありましたが、30キロまでだと思っていました。路面凍結の度合いでも対向車のランプの数がとても参考になる情報でした。ブラックアイスバーンは特に危ないです。

糸魚川での重量オーバーの影響がイワシ専用に導入された5台の平ボディ車に影響を与えたことは既に書いたと思いますが、キャビンの小さい窓の横には、金沢市場輸送ではなく両合物産と書いてあったのが、問題であったように思いだしました。

行政罰のようなもので一定期間、トラックの増車が出来なくなり、浜田漁業金沢工場に頼んで名義を貸してもらったような話だったと思います。私はそれを竹林から説明付きで聞いたように思います。

竹林に関してはこれまで○林として記述してきたように思いますが、小林健一同様に重要な参考人物であるので、明示しておいた方がよいと考えと方針を変えました。下の名前ははっきり憶えていないですが、竹林秀秋だったような、ちょっと違っているような感じです。

不動寺の辺りに家があり、一度遊びにいったこともありました。最近になって知ったことですが、津幡町の一部だと思っていた不動寺は、金沢市内のようです。

石川県金沢市不動寺町 - Google マップ <http://bit.ly/NBbsQl> ←　Googleの地図で確認しました。町がつくということは今回初めて知りましたが、地図でみると津幡よりは森本に近いようです。

森本も金沢市内になるのだと思いますが、自分の感覚や周囲の話し方でも金沢とは違うような観念がありました。まず能登から鉄道で金沢に向かうと、金沢駅の手前から、東金沢、森本、津幡ということにもなっておりました。

国道8号線で富山方面に向かうときも、津幡を超えてから不動寺を通過して県境に入るというイメージがありましたし、北陸道も東インターと県境の間に、不動寺パーキングエリアがありました。

森本に関しては平成10年頃のことですが、被告訴人OKNと幼稚園について書いておかなければならないことを予定しています。OKNは仕事上の付き合いで木梨松嗣弁護士に関係した仕事とも話していました。パートナーという言葉を使っていたかとも思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月01日

竹林に関してですが、平成1年の12月頃から始まったイワシのシーズンが終わるとまもなく金沢市場輸送をやめたように思います。一月や二月は、長距離の仕事に戻って保冷車に乗務していたかもしれませんが、人知れずいつの間にかいなくなっていたという感じではなかったかと思います。

輪島のMYがやめたのもそれに近い時期だったような気がします。福岡行きの仕事だったと思いますが、決まっていた仕事に出てこないで、夕方に被告訴人MTKから代わりに走ってくれと頼まれたことがありましたが、断ったことも憶えています。

ぼんやりした記憶ですが年末で12月の終わりの方ではなかったかとも記憶しています。プライベートな問題を被告訴人TSK会長が会社で吹聴したことで、出てこなくなった可能性がありそうでしたが、それっきり戻ることはなかったと思います。

輪島のMYの弟は守田水産輸送で大型車に乗務していた時期がありました。長い間はいなかったような気もするし、重なったのかどうかもわからないのですが、MYもしばらくは守田水産輸送に入社していた時期があったように思います。O西さんが関わっていた可能性もあったように思います。

その後、輪島のMYはピアノ輸送という運送会社で運転手をしていると聞くようになりました。たまに見かけるトラックでしたが、深い緑色でずいぶんと地味なデザインのトラックという印象も強かったです。

ピアノ運送（株） 北陸営業所 - Google マップ <http://bit.ly/1bTwdC1> Googleマップで調べたのですが、ピアノ輸送という会社自体は現在も金沢にあるようです。しかし、場所が全然違っていて現在は金沢港に近い無量寺にあるようです。

石川県金沢市神野町西６３４ - Google マップ <http://bit.ly/1bTxmtw> ←　私の記憶にあるピアノ輸送があった場所はこの辺りではなかったかと思います。

余り記憶がはっきりしませんが、西インターのトラックターミナルの裏の方のあたりであったように思います。めったに通るような道ではなかったですが、割と通る機会があり、その時はピアノ輸送の会社が目立っていました。

どこに向かうときにその道を通っていたのか思い出せないですが、西インターの方から松任駅の方角に向かって走っていると左側に会社があって、その前か後ろの方に大きなカーブがあったようなことも憶えています。

何時頃か思い出せないですが、誰かと一緒にそのカーブの道沿いにある居酒屋か焼き肉屋のような店に入って食事をしたことも憶えています。本来いく用事もなかった場所なので、その辺りで食事をしたこと自体珍しい体験として記憶しています。

一緒にいたのは竹林の可能性がもっとも高いと思いますが、違うとすれば輪島のMTか、あるいは配車係をしていたYTだったと思います。相手に誘われて入った店であることは間違いないですし、けっこうなじみになっている店という感じもあったような気がします。

輪島のMTは知り合った頃、金沢市神田の割と豪勢なマンションに彼女と住んでいました。その時も1回か2回遊びに行ったことがありました。

その後、中央市場の正面から見て、敷地の裏側の左側の角の辺りにある新築のような新しいアパートに住んでいました。市場急配センターの会社のすぐ近くでした。市場急配センターの前の道路ではなく、前からあった道路は裏の角から金石街道に出る通りがありました。

その道で金石街道に出る少し手前の左側に東京ストアーの倉庫があったこともありました。

ピアノ輸送のトラックに乗務するようになったとは聞いていたのですが、噂話のような感じだったと思います。その後、MTの話は余り耳にしなくなっていたようにも思います。

輪島のMTは、私以上に金沢市場輸送の発展に影響を与えた人物であったとも言えそうです。最後は被告訴人TSK会長に、得意満面でプライベートな問題を吹聴というか暴露され、それっきり姿を見せなくなったのですが、プライベートな問題なので。

ただ、真偽の程もわからず、被告訴人TSKの言動自体も、一般的な常識としては考えにくい、特異な社風、体質とも思えるので、本人に対する誤解を招かないためにも書いておいた方がよいとも思えます。

それは、裁判所から給料の差し押さえが来た、という話でした。被告訴人TSKは大喜びで、それを吹聴しまくっていたようです。私は夕方のすっかり暗くなった時間にその話をTSKから聞かされたと記憶しています。

よく考えてみるとそれはまだ、被告訴人TSKが会長ではなく社長の時代であったようにも思えます。あるいは市場急配センターが独立した直後の頃と思います。

被告訴人TSKが会長になって、金沢市場輸送の社長に被告訴人MTKが市場急配センターの社長に被告訴人MHKがなったという話を聞いたのは、晩秋から初冬に近い時期だったような記憶もかすかに残っています。

本日新たに重い出したことは、十分な記憶の自信は持てないのですが、平成3年の夏頃に、輪島のMYと市場急配センターの近くで顔を合わし、外でしばらく話をしていたことです。また、それと別の日だったのかもしれないのですが、2階の事務所でもしばらく話をしたような気もします。

MYとしては大型車の運転手として使ってもらいたくて顔を出したような感じもありましたが、被告訴人MHK社長の方で見切りをつけ、採用する気はさらさらないような態度をかいま見せてきたような気がします。余り重要視していなかったことなので、記憶の方もしっかり喚起できない状態です。

輪島のMYは私と一緒で、一時期パチスロに凝っていたことがありましたが、けっこう勝ったような話をしていたと思います。けっこう常勝でうまくやっているという感じでした。その後、競馬の方に凝るようになったという話があったかどうかは、はっきり思い出せません。

輪島のMYの紹介で初めに金沢市場輸送に入社したYAが、ずいぶんと競馬に凝り出したという話ははっきりと憶えています。ただ、それがMYがいなくなった後の可能性もあるので、なんともMYの競馬についてははっきりしないです。

YAは私の２つ年下でした。MYと同じ海士町だと聞いていましたが、YAと一緒に入社したOTが輪島崎であることを除いては、金沢市場輸送で大型車に乗務した輪島の若者は全員が海士町だと聞いていました。同時にOT以外は全員が小木港の遠洋漁船での漁師経験があるとも聞いたように思います。

YAとOTが金沢市場輸送に入社したのは昭和62年の6月ぐらいではなかったかと思います。ちょうど金沢港でスルメイカの仕事が多くなっていた時期であったとも記憶しています。なんとなくですが筍の時期にはまだいなかったような気もします。

YAとOTは金沢市新保のアパートに一緒に住んでいて、仕事もなく腹を空かせていたので、誘って紹介したようなことをMYは話していたと記憶しています。

金沢市には南新保と新保という地名というか町名があるのですが、場所は全然違っていて離れています。南新保の方は中央市場のある西念とは隣接していて市場にも近いです。新保の方は西インターの少し先で、西金沢にも近いあたりでした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月02日

昨日、ピアノ運送のあった場所について調べていたところ一つの問題に気がついてのですが、私は長い間、一つの勘違いをしたまま30年以上生活してきたように思いました。それは金沢市の上荒屋という住所についてのことです。

もともと金沢市で市内配達の仕事をしていた頃も、金沢市内の地図を見るということはなかったと思いますし、トラックに地図を置いておくということを考えたことすらなかったと思いました。

Google マップ <http://bit.ly/1g1A4sI> ストリートビューで場所を確認しました。アパートそのものは新しい建物になっていますが、周辺の状況は昭和57年当時ともさほど変わっていないように思えました。「ジャスミン」というアパートになっているようです。

住所はやはり「石川県金沢市南塚町１１−１」となっているようですが、私は昭和57年から昨日までずっと金沢市上荒屋だと思い込んでいました。

このアパートの前の道を入っていったあたりが上荒屋で、ちょっと左の方に進路を取って行くと、みどり団地になるという認識でいました。

このアパートは昭和57年の春先頃から宇出津の二つ年下の後輩が住んでいましたが、けっこう長い間たまり場のようになっていて、何度も遊びに行っていました。皆、そのアパートのことを上荒屋のアパートとも呼んでいたように記憶しています。

このアパートに行くときは8号線バイパスの松島北の交差点の方から来ていたと思います。松島北の交差点は陸橋の高架下になっていたと思いますが、野田専光寺線という主要道路と交差していました。ラジオの交通状況などでも、よく耳にしていた場所です。

平成10年当時には、松島交差点を通らずに、古府の方からちょっと地下道のようにもなっていた8号線バイパスの下を通り抜ける道を使って、みどり団地の方面に行っていました。よく通る道だったと思います。古くて昔からある道のように見えましたが、それまでは知らなかった道でした。

この道は金沢市黒田一丁目の被告訴人KYNの自宅兼事務所から、安原工業団地のS設備に向かうときにも当たり前に利用していた道だったと思います。また、みどり団地に自宅があったM君を送るときにも通っていた道でした。

金沢市みどり - Google マップ <http://bit.ly/NhOi1D> ←　Googleマップでは「金沢市みどり」などと町名を入れて検索すると、町内の範囲を枠線で表示してくれるようです。

みどり団地というのは現在ではほとんどテレビでも聞かなくなっていますが、小さい頃から金沢にその名称で大きな団地があるということは知っていました。団地の多くの建物がかなり古くなっていたので、昭和40年代がピークの団地であったとも想像されます。

それだけ大きな団地の割に、私の周辺で、みどり団地に住んだ人はおらず、前の通りを車で通過するだけでした。

みどり団地といえば、当然に団地を思い浮かべていましたし、おそらく石川県内で最大規模の団地であったと思います。県営なのか市営なのかは知りません。他にも市内に団地はあったと思いますが、破格に大きい規模の団地だと思います。

みどり団地と平仮名になっていますが、以前は緑という漢字であったような気もします。それでも緑といえばみどり団地、みどり団地といえば緑という認識が強かったと思います。

金沢市内から海の方角に向かってみどり団地の団地の建物を通り抜けたぐらいのところで、交差点を左折し、数百メートル走った右側にM君の家はありました。家の中に入ったことはなかったですが、家の前には何度か行きました。

M君自身は車を所有していなかったというか夫婦の兼用で、おおかたは妻が使っているようでした。妻の送り迎えがあって日中がずっと妻が車を使っているようでした。

帰りも携帯電話で時間を伝えて迎えに来てもらっていましたが、家の近くを通りかかったときなどに、直接家に届けることが何度かあったのです。金沢でも田舎の方では普通かと思いましたが、けっこう敷地の広い家で、家の前の庭も広い感じでした。

家のある側の通りには民家が並んでいたと思いますが、向かい側の方はずっと空き地か田畑が広がっていたと思います。とにかく、先祖代々ずっとその場所に住み続けてきた家系のように思えました。割としっかりした家柄といいますか。

M君自身は、かなり陳腐ら丸出しのような顔つきで、ヤンキーの漫画に出てくるようなキャラクターでした。大人しくしていればそれなりに大人しくは見えていたようにも思いますが、目が細く眉毛も細くて、そうでなくても人をにらんでいるように見えることがありました。

M君はときたま父親の話をすることもありました。仲のよい関係に思えましたが、普通の会社勤めで、ゴミ回収の運転手をしているような話であったかもしれません。

どこか西金沢の辺りの川の土手沿いを走っていたときだったと思いますが、父親の車にすれ違ったとか言い、車を止めて父親の車の方に行って、しばらく話をしていたこともありました。その時も父親の姿は見かけていないですが、優しくて大人しい父親というイメージは出来ていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月03日

あらためて長い時間思いだしてみたのですが、M君の父親の仕事についてははっきり思いだせないです。仕事でトラックの運転手をしていたということは間違いないですが、荷物を配達するような仕事ではないというイメージでした。ゴミ回収については割り引いて半々かなと思います。

仲のよい親子という印象も強かったですが、ずいぶんと大人しく優しい父親という印象もできあがっていました。実際に見た憶えはないので、全てM君の話から伝わるものであったと思います。母親の話は余り聞いた憶えがないですが、不満を口にするようなことはなかったと思います。

M君の妻は毎日のように車で送り迎えしていたので、それで顔を合わすこともあったと思いますが、車の中に乗っている姿を見たり、注意深く観察したことはありませんでした。

それでも一度は被告訴人KYNの家に上がって、話をしていたことがありました。女性としてはかなり大柄で、体型的にも女子プロレスラーにいそうな感じでしたが、デブという感じではありませんでした。愛想よくニコニコと話していましたが、客商売で慣れたような感じにも見えました。

実際に水商売というか飲み屋で働いていたという話も聞いたようにも思いますが、現時点では記憶に確証は持てないです。M君は妻との出会いというか馴れ初めについても話していたことがあったようにも思いますが、そこにも飲み屋が出てきたような気がします。

具体的な店の名前を挙げていたような気もするのですが、聞いた時点でも知っているような店ではなかったように思います。ただ、これも記憶に自信は持てませんが、間明のスナックのように受け止めたような印象もかすかに残っています。

被告訴人KYNの黒田一丁目の自宅兼事務所から自分が住んでいた北安江の借家に帰るのに、間明を通ることがほとんどだったとも思います。朝は違った道を通ることがあったようにも思うのですが、朝の方が時間も早く車も空いていました。7時の出勤ではなかったかと思います。

大きな交差点の渋滞を避けるために間明を通ることが多かったように思います。間明自体が大通りの野田専光寺線に面していますが、そうではない住宅地などがある路地の方です。

M君の妻は実家が、その間明か東力あたりにあると聞いていました。これもはっきりしたことが思い出せなくなっていますが、あるいは入江です。いずれにしても高岡中学校の校下であることは間違いなさそうでした。

校下という言葉に聞き覚えがあって使ったのですが能登ではなく金沢で聞いたように思います。ネットで調べたのですが学区とか校区というのが本来的な言い方で、校下は金沢弁の方言であるような情報も、検索結果に見られました。

M君の妻というのはM君より二、三年上と聞いたようにも思います。私自身計算をしてみたのですが、被告訴人YSKと被告訴人TTKのいずれかと同級生ではないかと思いました。

現在の私の記憶ではM君の当時の年齢もはっきり思い出せないのですが、24歳だった可能性が最も高く、ついで25歳ではなかったかと思います。26歳以上と言うことはまずなかったと思います。20代前半だったという印象が割と強く残っています。

被告訴人YSKは家が東力だと聞いていました。平成10年頃には大きな本屋が出来ていましたが、家はちょうどその裏あたりにあるようでした。供述調書に住所があったので少し調べたこともあったのですが、家までは特製しませんでした。

被告訴人YSKの年は、被害者AAさんと同じだと聞いていたので、私より６つ年下だと思っていました。供述調書でも生年月日まで確認していなかったようにも思いますが、昭和45年生まれだと思います。学年としては昭和46年の3月までの可能性はあるかと思いますが、46年とは見かけていないとも。

被告訴人YSKは供述調書を作成した平成4年4月の時点でも21歳になっていたと思います。昭和45年8月生まれの被害者AAさんも21歳になっていました。

同じく平成4年4月に金沢西警察署で供述調書を作成した被告訴人TTKは19歳になっていたと思います。もともと被告訴人YSKより二つと下だと聞いていました。平成3年の時点でも被告訴人TTKは自ら19歳だと話していました。

金沢弁(校下) <http://www.sakane.net/kanazawaben/kouka.htm> ←　やはり金沢独自の言葉であるようです。文化や伝統的にも私の育った能登とは、色々と違いもあると思います。まず、中学校の生徒の規模がまるで違うと聞いていました。

被告訴人TTKは知り合った頃より間明に家があると話していました。もっとも被告訴人TTKに関しては、事前に被告訴人YSNに仕込まれていたというか聞かされていた情報が多かったです。

すでに書いていると思いますが、被告訴人YSNが市内配達の仕事を始めた頃、被告訴人TTKは免停中で、同乗しながら配達コースの指導をしていたからです。内灘・高松コースと聞いていました。これだけ見ると金沢市ではなく河北郡でした。

そういえば2，3日前のテレビの石川県内ニュースで、市町村合併のさきがけとなった「かほく市」が10周年とやっていましたが、その時初めて、宇ノ気町、七塚町、高松町の３つが「かほく市」になったとしりました。以前は津幡町もかほく市になったのかと勘違いしていたこともあったと思います。

本書を作成しながら一月ほど前にふと思いだしたことですが、金沢市場輸送に被告訴人MHKが来た頃、七塚町の出身とか、七塚町の人間だと聞いたことがありました。

私が高校を中退して初めて金沢に出てきた昭和56年の夏、知り合った女友達の一人が、七塚町と話していました。家はどこというような問いかけに対する答えでしたが、七塚町というのを知ったのもそれが初めてだったと思います。

今初めて気がついたのかわからないですが、同じ七塚町だという女友達は、被告訴人MHK社長と同じ姓でした。徳川幕府の殿様によく出てくる名前なので全国的にも多い名前だと思いますが、金沢では他に聞かなかったと思いますし、能登でも聞いた憶えはありません。

以降、その女友達のことを七塚のMKという表記にしたいと思います。年は私より一つ年上で、知り合った昭和56年の8月当時、17歳でした。もともと被告訴人OSNの知り合いというか友達だったようですが、近くの小さな家をたまり場にする暴走族の一員でした。

より正確に言うと、ある暴走族のレディースの一員でした。サブリーダーとも聞いていました。その後摘発された新聞では、暴走族の服を着た姿で首から下の写真が掲載されていました。

七塚のKYは知り合った頃から、東金沢の方に家のあるMSと特に仲がよくいつも一緒にいました。MSは被告訴人OSNと付き合うようになったのですが、まともな男女の付き合いではなかったようです。それでもたまに連絡を入れたりはしていたようです。

私が金沢市浅野本町のアパートに住んでいたのは昭和57年の1月から4月頃の3ヶ月ぐらいだったと思います。その頃には何度か被告訴人OSNと二人でアパートに来ることもあったし、割と近いところの喫茶店で働いていたので、何度かその店に行くこともありました。

実家に近い場所の喫茶店で、その頃からすっかり落ち着いた生活をしているという印象でした。私も忘れた頃に、家に電話を掛けて話をすることがありました。会うこともありましたが、二人っきりで会うことはなかったです。

一方の七塚のKYですが、その後もヤクザの情夫のような生活を続けていたようです。住んでいる増泉のアパートに一時期被告訴人OSNらと何度か行ったことがありましたが、ヤクザと同棲しているという話でした。

ちょうど、その頃に共通した昔の友達というか知人が、入江の王様の本の前で起きた死亡事故に関連するということもありました。死亡した人間が運転していたように偽装したことが発覚したとかで、新聞にもニュースとして出ていたように思います。

七塚のKYがヤクザというか暴力団員と付き合い、同棲していることは聞いていましたが、具体的にどこの組員とか構成員という話は聞いていなかったと思います。根っからそういうヤクザの世界が好きな女とも思いました。

七塚のKYもそうだったと思いますが、東金沢のMSが私が知り合うより前に、被告訴人HTNと付き合いがあったということも被告訴人OSNから聞いたことがありました。

「王様の本」というのは金沢周辺に数店舗ある大型書店でしたが、平成17年ぐらいに全部が倒産しました。私が羽咋市に住んでいることで羽咋の店にもよく行っていたのですが、ある日店が閉まっていて破産管財人のような弁護士の張り紙があったので驚きました。

KYの増泉のアパートに行ったりしていたのは昭和57年の春頃かとも思います。その年の秋には私は名古屋に行っていたので、やはりそうなるかと思いますが、しっくり記憶の整理ができない部分もあります。

同じ頃ではなかったかと思いますが、宇出津の後輩らを連れた被告訴人OSNらが金沢で、流浪のような生活をしていた時期がありました。私も一緒にいたこともあるのですが、随分とお腹を空かした記憶も残っています。ちょっと前に栄養失聴者が出たという観音堂での被告訴人YSNとの生活以上でした。

とんでもない生活だったので私は極力それを避けるようにもしていたのですが、金沢の入江あたりで被告訴人OSNらがガソリンを盗んでいて警察に捕まったという話を聞きました。結局、お咎めなしで放免されたように聞きましたが、関係した人の口が重い雰囲気で、詳しいことを聞くことはなかったです。

被告訴人OSNは当時まだ試験観察中とも聞いていたので、よく警察が返してくれたものだと思っていましたが、周囲が異様に口の重い雰囲気で、相当のことがあったのかと想像しました。警察の度肝を抜くような謝り方をしたとか、そんな感じです。

その頃だったと思いますが、被告訴人OSNは同級生で被告訴人HTNと同じ真脇のSといつも一緒に行動するようになっていました。真脇のSさんは、水産高校小木分校の一つ先輩でもありました。学校時代は真脇の家にも何度か遊びに行った憶えがあります。

私個人としては部活も違うし、さほど親しい間柄でもなかったので、誰かと一緒に行っていたと思うのですが、それも思い出せなくなっています。同じ小木分校だった被告訴人KYNの方が、学校時代は親しい感じではあったと思いますが、卒業後の付き合いというのは記憶にないです。

民宿やまじゅう - Google マップ <http://bit.ly/1bZVHho> ← こちらの店だったと思います。ストリートビューでみたところ、右手の方に「海宝」という海鮮レストランか居酒屋のようなお店が見えますが、この建物は平成20年頃にも見ていなかったような気がします。

もう少し羽咋市の方に行った右手にパチンコ屋があって、その手前に弁当屋がありました。羽咋市から金沢市に行くときや帰り道に、その弁当屋で弁当を買って車の中で食べるということが何度かありました。

「やまじゅう」という店の名前も全く記憶になかったので以前は別の名前になっていたのかもしれません。ちなみに、「やまじゅう」というのは東北便の塩釜における荷物に多かった練り製品の会社だったので・・・。いや、それは「なべじゅう」だったかも。まあ、似ているので印象にも残ったかと。

やはり、なべじゅう、ではなく、やまじゅう、だったような気もするのですが、商品の箱には「津久浦水産」とも書いてあったように思います。おでん種の練り製品でしたが、カマボコ類では荷物の量も一番多かったように記憶しています。目立つパッケージでもありました。

次いで記憶にあるのが水野水産ですが、こちらは現在もどんたく宇出津店で商品を見かけています。店に売っているおでん種では一番、高級感もあり値段も高いという感じの商品です。

Googleマップで調べたところ「やまじゅう」という民宿になっていますが、私の記憶ではこのように大きな民家の一階が広い店になっていたというイメージです。海鮮をメインに強調している店ということは、外から見てもわかりましたが、中にはいるとほとんどが座敷で、居酒屋という感じでした。

その店に入ったのは一回だけでした。平成9年1月18日、福井刑務所の満期出所に迎えに来た被告訴人OSNが運転するワゴン車でその店に入ったのです。私の母親の都合で羽咋市内まで送ってもらうところでした。

気になったのはその前の彼らの行動でした。店は唯一の主要道とも言える国道159号線沿いにあったはずなのですが、初めに海の方に向かって入っていったのです。漁村の中の大通りから外れた道という感じでしたが、珠洲市の蛸島とよく似た風景でした。

何かを探している様子だったのですが、被告訴人OSNと被告訴人OKNと被告訴人KYNの3人の間で、あれこれ言葉を交わし、国道の方に戻って入ったのが、その店でした。食事のための店を探しているという話も、事前には出ていなかったと思います。

福井から高速道路である北陸道に乗っていたと記憶していますが、どこのインターで降りたのかは思い出せなくなっています。羽咋市に最短で向かうのであれば金沢東インターで降りていたと思います。

金沢東インターを降りてすぐのところにトラックステーションがあってなかにレストランもあったと思いますが、一般の人は余り入らないような店だったとも思います。そのまま津幡方面に国道8号線を走れば、店の数もありますが、遠回りにもなるので普通は選択しない道です。

農面道路を走って宇ノ気で国道159号線に出たと思います。少し走ると道路が大きく右にカーブしていて、そこを直進すると能登有料道路の白尾インターでした。カーブして直進すると、しばらくの間は片側2車線の広い道が続いていました。

そして対面通行の絞り込みが始まるあたりに、その海鮮の店がありました。しかし、その片側2車線の区間は平成9年1月の時点ではまだ出来ていなかったことも考えられます。

どこをどう通ったのかも憶えていないですが、漁村のような狭くて古い町並みの道路に出てから、海鮮の店のすぐ近くの国道に出たことは印象的に憶えています。とりあえず海鮮の店としましたが、大漁旗の飾りが店の前にあるようなずいぶんと目立つ店でした。

そういう店というのは他にも見た憶えがなかったのでずいぶん珍しく思いました。4年10ヶ月ぶりにいわゆる娑婆に出た直後でもありましたが、それだけ印象に強く残っています。店の中も客が多く、昼間だというのに随分と賑わっているのも印象的でした。

もう少し金沢寄りの宇ノ気は、クチ能登、とも聞いていました。これは福井刑務所にいるとき被告訴人YSNの知り合いでもあるY班長に聞いて初めて知ったことなのですが、能登の入り口という意味だと聞きました。

羽咋市内ですら能登という感覚が乏しかったのですが、高松を含む河北郡内灘町が能登と考えたことはなく、管沢の郊外のように考えていたので、それだけ意外だったのですが、歴史的には宇ノ気が能登路の玄関になるようです。

いずれにせよ高松あたりからの国道159号線はうらぶれ感も強かったので、あの派手な海鮮の店は意外でした。なお、能登の観光自体が昭和40年代辺りをピークに、ずいぶんと廃れています。廃墟になった店も国道沿いに散見されていました。

海鮮の店では何かのフライを食べたような憶えもありますが、食欲もなかったし、余り食べなかったと思います。支払いの代金は被告訴人OSNが払っていたような気もします。一応の出所祝いなのかと、感謝すべきとは思いました。

天候もどんよりしていたと思いますが、雨も降っていなかったように思います。ただ、福井刑務所の前で彼ら3人と会ったときから、理解のできない重苦しい空気を感じていたので、食欲も出なかったのかもしれません。

尋常でない重苦しさがありましたし、そもそも事前に被告訴人OSNらが迎えに来るとも知らされてはいませんでした。今思えば、木梨松嗣弁護士の接見にも似ていたと思います。連絡なしのいきなりです。

そもそも出所前には刑務所の職員から鉄道の切符を受け取っていました。国の制度的な補助で切符が出るような話は少し耳にしていたこともあったので、驚きはしませんでしたが、切符の行き先には、疑問を感じました。和倉温泉駅になっていたからです。

和倉温泉駅は七尾駅の次だったと思いますが、急行も止まる主要な駅だったと思います。しかし、七尾駅のように乗り換えの路線はなかったと思います。当時はまだ、宇出津駅まで鉄道がつながっていました。平成17年辺りに穴水駅より先が全て廃線になりました。

普通免許を取って車に乗るようになってから鉄道に乗ることはほとんどなかったと思います。水産高校小木分校に通学していた頃は、まだ国鉄だったと思います。列車も5両編成が普通だったと思います。

5両編成の昭和50年代でも、宇出津から金沢への直通というのはなかったか、あるいは少なかったと思います。穴水や七尾で乗り換えていたと記憶しています。

鈍行と急行がありました。鈍行は各駅停車で金沢まですべて鈍行で行った場合、昭和56年当時で1500円ではなかったかとも記憶しています。

私の方から申請をしたつもりも全くなかったのですが、出所する数日前に職員が来て、切符を渡す手続きをしました。そのまま居房内での所持は出来ないので、渡されたのは出所の時だったと思いますが、同時に必要ないだろうと言われ、没収のようなかたちになったとも思います。

満期出所の場合は出所する一週間前に工場を出て、釈前に入ったと思います。仮釈放の場合は2週間前で、2人から4人ぐらいのグループで、特別な区域に入り、そこで教育を受けながら、比較的自由な生活を送っていたようです。

これは金沢刑務所も同じでした。まだ書いていないと思いますが、金沢刑務所では金沢市場輸送の運転手仲間であった一人と再会し、私より先に仮釈放で出て行きました。一緒に釈前を受けていたのは、金沢中警察署で一緒だった元暴力団員でもありました。

金沢刑務所では新入時の新入教育の時も私は雑居房での集団生活を送らず、独居房で生活していましたが、工場に降りてからも独居房で生活していました。夜間独居とも呼ばれる生活です。これは希望者も多いと聞く生活でしたが、受刑者本人の希望で許可がおりるものでもなかったはずです。

福井刑務所の場合、舎房は大きく南寮と北寮の二つに分かれていました。通路でつながった別棟でしたが、どちらも4階建てで、南寮の方は雑居房ばかり、北寮の方は独居房ばかりになっていました。

金沢刑務所の方は建物が5つぐらいの棟に分かれていました。1階建てから4階建てまで、拘置所のある拘置舎の方から、高さが順番に違っていました。拘置所で生活していた頃は、東南アジアかネパールの遺跡の建造物のようにも見えていたのですが、受刑するようになってよく理解できました。

拘置舎に近い1階建ての建物は病舎だったと思います。この間にはけっこう広いスペースがあり、拘置舎側の手前の方は拘置所の運動場もありました。運動場といっても鉄線のような柵で囲んだ砂場のようなスペースでした。そういえば昔よくあった鉄線のような柵はまるで見なくなりました。

手前の方には扇形の個室の運動場がありました。問題ありと判断された未決囚は、集団ではいる運動場ではなく、個室の方で運動をするようになっていました。私も保護房に入れられてからは、ずっと個室に入る扱いを受けていました。

金沢刑務所の拘置舎は3階建ての建物でしたが、一階の手前の方に女子の収容スペースがあり、なかほどに職員室と隣に狭い取調室があって、その隣にあるのは集団ではいる浴場でした。その奥に雑居房が３つ並んでいたと思いますが、あるいは２つです。

二階には手前の階段の横から雑役の作業室のような狭い部屋があって、それから一人用の浴場が二つ並んでいたと思います。その隣には理髪の部屋がありました。その隣からだったと思いますが、独居房が26室並んでいました。一番奥にも右側に降りる階段がありました。

三階も二階とほぼ同じ作りだったと思います。理髪室がもう一つあったとは考えにくいですが、浴室の数も独居房の数も同じだったはずです。3階にはたまに入浴で行くことがありました。ほとんどは2階の浴場に入っていたのですが、同時進行で早く終わらせる場合に、割り振られることがあったようです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月04日

金沢刑務所の拘置所ではすべて２階で生活していました。ずっと独居ですが、雑居房というのは３つかあるいは２つしかなかったので、ほとんどの未決囚は独居で生活していたと思います。

拘置所の建物の入り口にはわかりにくい感じですが小さく「拘置舎」という看板のようなものがついていました。同じ金沢刑務所の敷地内ですが、正門に近く、正門から左手に唯一見えるのも、その建物だけではなかったかと思われます。

病舎の次には２階建ての建物がありました。２舎と呼ばれていたような気もしますが、通常の受刑者が生活する場所ではありませんでした。すべて独居だったと思います。

まず、未決で判決が確定した受刑者が、拘置所から連れてこられて分類審査を受けるための生活をする場所でした。他に、受刑者が取り調べや懲罰を受ける場所でもあったと思います。懲罰の場合は、わかりやすく札のようなものがつけられていたと思います。

他に、満期で出所するまでの間、生活する場所でした。他に「昼夜独居」という札のついている居房もありましたが、分類審査で通常生活が適切でないと判断された受刑者が、昼夜を問わず一日中、独居房で生活していたようです。

禁固刑と異なり懲役刑は労役刑なので、工場出役が大原則でした。工場にて刑務作業をすることで累進処遇制度の対象となり、居房内でテレビを視聴できたり、慰問に参加することも出来ました。昼夜独居の場合はそういう処遇もなかったようです。

私が金沢刑務所における受刑中に生活したのは３階建ての建物の３階でした。３舎３階とも呼ばれていたように思います。建物の長さは敷地の状況から拘置舎とほぼ同じだったと思いますが、浴場などなかった分、部屋数は少し多かったのかもしれません。

ただ、３舎３階の場合は、突き当たりに特別なスペースの一区画がありました。「新生寮」か「復帰寮」というような大きな看板が掲げられていたと思いますが、はっきりした名前は忘れてしまいました。説明の都合上、以降、仮に復帰寮と書くことにしたいと思います。

私はずっと、その復帰寮の出入り口から二つ手前の独居房で生活をしていました。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月05日

復帰寮の出入り口というのは長い通路の突き当たりになっていました。通常の通路沿いの居房であれば、左右の見通しに限界があるので、他の受刑者と話をしているときに職員に見つかるリスクも高かったです。

決まった場所や方法以外の受刑者同士の会話は「通声」ということで懲罰対象の規律違反になっていました。決まった場所とは食堂やレクレーションの講堂や運動場、決まった方法とは作業中における作業上必要な会話で、職員に許可を受ける必要がありました。

実際のところ、工場の作業中でも同じ班であれば、喋り放題に近いものがありました。「あげられる」と言いましたが、懲罰の前段階で取り調べに連行されることもありましたが、空気を読まなかったというかその場の状況で周囲が納得するようなタイミングで、職員に連行されていました。

居房内での通路越しの通声は、余りやらないことでもありましたが、見つかった場合は連行される可能性も高かったと思います。職員としても見逃しにくい状況と考えられるからです。工場ではほとんどが、お目こぼしでした。

私が金沢刑務所を満期で出所したのは平成13年12月31日でした。満期の場合は刑期満了日の翌日に出所することに決まっていると聞いていました。

満期日というのは判決が確定し、未決囚から受刑者の処遇になった段階で、具体的な日付が知らされていたと思います。私はずっとそれを平成13年12月21日と思い込んでいたし、そのように他の受刑者にも話していたと思います。

実際は出所する半月か20日ぐらい前になって、12月31日が出所の日になると知らされました。大事な日付なので間違って憶えていたはずもないのですが、紙に記録するようなものではなく、各自が頭で憶えていたものだと思います。

前もって満期日がわかっていれば、出所する当日に待ちかまえる人間が出てくる可能性のあるので、その辺りを配慮して職員が違った日付を私に教えていた可能性もあると思いますが、知らされたときは10日ぐらい損をした気分になって腹も立ちました。

金沢刑務所は再犯刑務所でした。大半が暴力団関係者とも言われていました。福井刑務所は初犯刑務所だったので、同じ刑務所でもいろいろな点で、まったく違うようなことがありました。

金沢刑務所ではハガキという習慣のようなものもありました。先に出所した受刑者が出所後の連絡を取るため、連絡先を書いたハガキを金沢刑務所に郵送するのです。郵送されたハガキは、出所の当日に、出所する受刑者に交付されます。

金沢市場輸送で長く一緒だった人物で、金沢刑務所で再会した人を以降Xと表記したいと思います。年下なので話しやすい相手でもありました。被告訴人HTNとは運転手をする前から面識があったようでした。更生の可能性もあるので、人一倍プライバシーの配慮も必要かと判断しました。

Xは、私が出所する2ヶ月か3ヶ月前に仮釈放で出所していきました。復帰寮にいたので通声をすることもありましたが、相手の方は仮釈放の取り消しにもなりうるので、私の方からも少ししか話をしませんでした。短い会話でしたし、何を話したのかも現在は憶えていません。昔話をすることはなかったです。

平成11年の事件では判決が確定したのが平成12年の9月の20日頃ではなかったかと思います。その後、分類審査を受け、金沢刑務所での受刑が決まってからも、2週間の新入教育がありました。5工場に配役されたのは、その年の11月の10日ぐらいだったように思っています。

私は11月生まれなのですが、金沢刑務所には誕生会というものがありました。その月が誕生日の受刑者が講堂に集まって、1時間程度の録画のテレビの放送を映画のスクリーンで見て、その時にコーヒーのような飲み物と、どら焼きのような饅頭も出たように思います。

刑務所では移動の際、必ず職員が付き添いましたが、それだけではなく、通路を歩くときは普通に歩くのではなく、行進をすることになっていました。一人の時は掛け声まではしなかったように思います。福井刑務所では一人の時は行進をしなかったようにも思います。

私は5工場でした。最近では見かけなくなりましたが、以前は一般社会でも割と見かけるような作りの工場らしい建物でした。その建物自体が2分されていて、通路から手前の方が5工場で、奥の方が6工場になっていました。

工場への出入り口は別になっていたはずですが、工場の中にも大きな仕切りの壁の間に扉があって、職員が6工場に出入りすることはありました。まともに6工場の中をのぞき見する機会はなかったのですが、そう広くはなく、全体の建物の3分の1か、4分の1のスペースかという感じでした。

私がいた6工場はだいたい60人前後で推移し、多いときで65人ぐらいだったと思いますが、金沢刑務所の中では一番人数の多い工場だと聞いていました。ミシン作業をする工場でした。

6工場の方は溶接作業をする職業訓練の工場だと聞いていました。人数も少なく、金沢刑務所の中で一番人数の少ない工場と聞いていたかもしれません。十数名と聞いていたようにも思います。

講堂からの誕生会の帰り、まず5工場の前で行進が立ち止まりました。職員が工場の出入り口の扉の鍵を開けるにも多少の時間が掛かります。その時に後ろから指でツンツンするような合図を受けて、振り返ったところ、Xがニコニコと笑っていたのです。

これは本当に驚きでした。まさかなぜこんな場所で、という疑問符で頭も混乱しました。Xに関する情報は、そのあとすぐに得ることが出来ました。

半年ぐらいと聞いたようにも思うのですが、何ヶ月か前までXは同じ5工場にいたと聞いたのです。福井刑務所も同じでしたが、同じ工場の受刑者が同じ雑居房で生活をするようになっています。

班が違っていましたが、以前Xと同じ雑居房で生活をしていたという受刑者からもXについて話を聞くことが出来ました。

誕生会というぐらいなので、その11月生まれの誕生会があったのは、平成12年の11月中であったと思います。工場での生活が始まったすぐあと、ということになりそうです。

そのあとだったと思いますが、どれぐらい後であったかは憶えていません。5工場内で、福井刑務所の2工場で一緒だったT班長が、6工場にいるとか6工場に入ったという話を聞きました。その後、運動会やソフトボール大会の時も注意深く見ていたのですが、直接T班長の姿を確認することはなかったです。

ソフトボール大会というのは工場対抗の催しでした。当然に運動場で行われるので、姿を見つけるというのは多少の無理があったような気もするのですが、6工場は人数も少ないので選手として出ていた可能性は高いとも思います。

離れたところからはそれらしい姿を見ていたことも考えられますが、間近に見たという記憶は全く残っていません。

他にバスケットボール大会というのもあったように思います。あるいは卓球大会というのもあったかもしれません。どちらも講堂で行われるので、探し出して姿を確認するのは、運動場よりはるかに容易だったと思います。講堂はかなり狭かったです。

そういうことも加味して考えるとT班長が6工場に入ったという話を聞いたのは平成13年の秋以降であったかもしれません。しかし、その話を聞いてからXが仮釈放で出るまでは、けっこう期間があったような気もします。

Xの仮釈放についても事前に情報を得ていたように思います。本来、同じ工場内での会話や情報のやりとりは容易でしたが、別の工場となると機械も大幅に限られていたと思います。たとえば各種講座の機会でしたが、それも一月に1回しかなかったように思います。

別のルートでの情報の流れはあったと思いますが、金沢刑務所の方が福井刑務所より難しいようにも思えていました。福井刑務所では講座の機会も多く、工場単位ではなく、舎房の階数単位でのレクリエーションの機会もあったからです。

福井刑務所が雑居の南寮と独居の北寮という建物に分かれていたことは既に書いているはずです。また、南寮の4階は2級生が生活するということにもなっていました。つまり3級生と4級生は同じ舎房に生活していましたが、2級生になると4階に上がって別の舎房に移ることになっていました。

北寮も4階建てでしたが、4階は特別な区画で準1級者生活する場所があり、親和寮と呼ばれていたように思います。累進処遇制度では1級まであると聞いていましたが、これは例外中の例外で福井刑務所には一人もいないと聞いていました。名古屋刑務所では少数いるとも聞いたことがあります。

親和寮の準1級者のほとんどは外部の一般の工場に通勤しているとも聞いていましたが、私がいた2工場で初めから長い間、雑役をしていた人は親和寮にいる準1級者でした。仮釈放の本面接から半年以上工場にいるとも聞いていました。

本面接から2週間ぐらいで釈前教育に入るのが相場とも聞いていたように思います。あるいは3週間です。釈前に入ると2週間後には仮釈放で娑婆に出られることが約束されていると聞いていました。

仮釈放にはカリメンと呼ばれる仮面接とホンメンと呼ばれる本面接がありましたが、ホンメンに入る前にはパロールと呼ばれる、アンケート用紙のような書面の記入と提出がありました。雑居房にいるとき現物を見たことがありました。夏休みの宿題のような感じで、記入の分量も多くなかったです。

福井刑務所では、そのカリメンだけを受けました。病気なのかとも思いましたが小学生のような体の大きさの若い面接官でした。再審の請求をやっているというだけど、驚いたような呆れたような顔をしていました。言いたいことをぐっとこらえたようにも見えましたが、真意は測りかねました。

金沢刑務所ではカリメンすらなかったと思いますが、ちょうど刑務所の収容過剰が社会問題のピークになっているような時期で、再犯刑務所でも現役の暴力団員以外は、積極的に仮釈放の恩典を与えられているという感じでした。

現役の暴力団員であっても脱退届を出せば、仮釈放の対象になるという話で、個別に脱退のための相談や指導も行われていたようです。私の場合は、出所後の生活についてもなんの相談もないまま、仮釈放の話が出ることもなかったです。

もともと他の受刑者と立場が違うと言うことは刑務官の側でもよくよくわかっていたと思います。特別な意味のあるような演出や講堂も続き、警察のスパイではないかと疑いを掛けられることもありました。

そういう中には暴力団の組長という人も何人かいましたが、普段から会話をすることも多かったので、目的は被告訴人TSKらにあると思います。外で調べればすぐにわかると思いますと、説明していました。あえて注目を集めるような立場にも置かれていたのだと思います。

金沢刑務所は金沢市内にありますので、地元の暴力団と金沢刑務所で服役した他の都道府県の暴力団員との交流という話も聞きました。暴力団員の出所祝いには大勢で出迎えをするとも昭和57年の頃から具体的な話を聞いていました。

一方で地元の暴力団員と他の地方の暴力団員の間にトラブルがあったとも刑務官に聞かされていました。それまで工場内での自由時間のようになっていた休憩時間が、2階の食堂に集まって席に着いた状態で行われるようになっていて、そんな理由があると聞かされていたのです。

同じ金沢刑務所でも5年ほど前とは、処遇がずいぶんと変わったという話も受刑者から聞いたように思いますが、施設毎の違いだけでなく、上になった人の考えや方針でも、処遇がまるっきり異なることがあると、刑務官からも聞かされていました。

福井刑務所の北寮ですが、1階は金沢刑務所の2階建ての建物と同じようになっていました。ただ、昼夜独居というのは見かけなかったと思います。精神的に問題が大きいと判断される場合が多いとも考えられるので、医療のために医療刑務所に送られることが初犯の場合はより多かったのかもしれないです。

北寮の一階は「キタイチ」と呼ばれていました。取り調べや懲罰の代名詞のようになっていましたが、奥の方は満期釈放前の釈前のための独居として使われ、私も満期前はそこで生活をしていました。多少の教育もありましたが、ほとんどは独居の中でテレビを見て過ごしていました。

仮釈放の場合は、親和寮と同じ北寮の4階で生活すると聞いていましたが、私には縁のない話でした。ただ、一度だけ何かの機会に、北寮4階の中には入ってことがありました。通路に入っただけだったので、部屋の中を見ることはなかったです。

福井刑務所に移送されたのは平成6年の3月17日であったように記憶しています。1週間か10日、あるいは2週間の間は分類審査として、北寮2階の奥の方の独居房で生活をしていました。カーテンのカタログにサンプルの生地を貼るような作業をしていました。

そのあとに新入教育がありましたが、4人で受けていたと思います。1工場の中で軽作業をやりながら、色々と教育を受けていました。ここでも行進の訓練が多かったと思います。レクリエーションの時間は、他の受刑者と同じように過ごしていました。

レクリエーションは一般社会では全く聞いたこともないなじみのない言葉でしたが、運動を含めた自由時間です。天気が良ければ外の運動場で、雨など降っていれば講堂で行われていました。冬の間は、風邪の流行防止もあったのか、全く外には出れなかったようにも記憶しています。

金沢刑務所の方では冬でも運動場の土の状態がよければ、外に出ていたようにも思います。思えば、福井刑務所の方が風邪になる人が多かったように思います。風邪で薬をもらうと、禁止ではないと聞きましたが入浴を辞退させられることになっていました。

福井刑務所の方が保護的にも思えそうですが、金沢刑務所とはとんでもない違いが一つありました。それは免業日と呼ばれる休日に行われる理髪でした。日曜日と決まっていたようにも思います。3週間に1度ということにもなっていたと思います。

バリカンで坊主頭にするのですが、舎房に戻ってから中の水道で頭を洗ってもよい、ということになっていました。雑居房にいたのは半年の間だけで冬でもなかったですが、理髪の後、頭を洗わないという人は見かけなかったです。

使い回しのバリカンで頭を刈るということもあり、私は必ず頭を洗っていました。独居の場合は水の出方も弱く、洗面台も小さかったので、余計に時間も掛かりましたが、真冬のどんな寒い日でも、水道の水で頭を洗っていました。洗面台と言っても便所の手洗いと同じです。

金沢刑務所では入浴の直前に、講堂で理髪を行っていました。福井刑務所の場合はバリカンを持つ人も決まっていましたが、金沢刑務所では各自で相手を見つけて刈りあっていました。すぐに入浴も出来るので、言うことなしでした。

金沢刑務所の入浴場は講堂の前にありましたが、広くて新しい浴場でお湯の出方も抜群だったように思います。福井刑務所の方は古くて狭い、まるで保育所のプールのような浴槽でした。全体的なお湯の量も少ないためか、垢かフケのようなものが、銀輪のように大量に煌めいていることもありました。

しかし、不思議とそういう不満というのは耳にすることもなかったです。なかにはご飯に小蠅が交じっていても刑務官に申し出ることもなく、よけながら食べている人もいました。学校での坊主頭が人権侵害だと弁護士が騒いでいる時代にも近かったと思います。

金沢刑務所の新入教育は教育のための部屋で行われていました。7人ぐらいいたような気がします。ちょっとしたお堂のようなイメージのある部屋でしたが、なかにトイレもありました。水の節約のために小便は全員で行い最後の人が水を流すようにも指導を受けていました。

本当は全員が同じ雑居の居房で生活していたようですが、私だけは別の独居で生活していました。御庁つまり金沢地方検察庁に提出するための上申を作成していたからという理由もあったとは思います。

拘置所も同じでしたが上申書のような書面を作成するためには、認書（にんしょ）作成、という許可が必要でした。許可が必要なことは他にもいろいろありましたが、「願箋（がんせん）」という定型の用紙に書いて提出するのがお決まりになっていました。

まだ分類審査中に認書作成の願箋を出していたのだと思いますが、新入教育が始まってすぐに許可がおりたというのも、普通はあり得ないことかと考えていました。

認書の作成はその後も何度もやっていたと思いますが、再審請求をしたようには憶えていないので、その全ては御庁への上申書ではなかったかと思います。

認書の作成には50枚が一冊になった縦書きの全罫紙を使っていたと思います。カーボン紙を使って控えをとるようなことは一度もなかったと思います。私の手元にもなにも残っていません。

まとまった記述が出来るのは土日祭日の免業日だけでした。一日に何枚ぐらい書いたか今は思い出せなくなっていますが、とにかく文字の隙間なくびっしりと書き詰めていたと思います。読みづらいのはわかっていましたが、一文字の追加も出来ないようにしました。

Xの仮釈放の釈前教育は3人だったと思います。前に少し触れているはずですが、一人は金沢中警察署の留置場で同じ部屋で生活していた人でした。金沢中警察署に逮捕されたのは平成11年8月12日だったと記憶しています。

初めの20日ぐらいは東京の山口組の暴力団員の人と二人で同じ部屋にいました。その人が不起訴で出て行って、まもなく入ってきたのがその人でした。実名を書くつもりは当然ありませんが、考えてみたところ長く思いだすこともなかったので、名前が浮かんでこなくなっています。

思いだしました。金沢近郊のある地名と同じ3文字の名前でした。年は私よりけっこう上だったようにも思いますが、見た感じも若くて余り年の違いを感じずにいたように思います。元暴力団とも聞きましたが、刑務所も5回目になるというような話だったと思います。

多少関連する可能性もあるので外せないですが薬物関係の人でした。どこかサウナにいたところいきなり逮捕されたような話でしたが、警察の都合と気分次第で逮捕されたようにも思えるような話で、本人もしっくりこない逮捕だったようです。

初めは冤罪とか言っていましたが、薬物反応が出たと刑事に言われると、すっかり観念した様子でした。二人っきりで同じ部屋にいた時間も長かったので、いろいろと会話もありましたが、今となってはほとんど記憶にも残っていません。

平成4年の事件に比べて残っている資料も少ないので、はっきりしたことはわかりませんが、金沢刑務所の拘置所に移送されたのは9月の20日頃ではなかったかと思います。不本意ではありましたが、一度行って慣れてもいるし、今回は人の命の問題もなかったので、気も楽に拘置所に入ったと思います。

福井刑務所にいた体の大きな刑務官に会ったときは、少々驚きましたが、そういえば逆に金沢刑務所の拘置所でよく見かけていた刑務官が、福井刑務所に来たと言うこともありました。すっかり忘れていましたが、ふと思いだしました。

金沢中警察署で一緒だった人のことを仮に、「金沢中警察署で一緒だったT」と表記することにしたいと思います。少々長くもあるので、文脈で通じる場合は、省略するか単にTと表記したいと思います。書くことは多くないです。

Tさんとは拘置舎でも1，2度顔を合わせるようなことがあったと思いますが、集団の運動にでも一緒にならない限り、会話はできず、受刑者より監視ははるかに厳しかったので、片言の言葉を交わすのも難しかったと思います。

受刑中、なにかの機会で姿をみることがあり、同じ金沢刑務所での服役になったと思っていたのですが、ある機会に割と長い話をすることが一度だけありました。

その部屋は、受刑者が購入した本や雑誌の仕分け作業にも使われている部屋でした。何度か入ったことのある部屋だったのですが、そこで床に体育座りをするような場面があったのです。かなりの数の人がその場にはいたと記憶しています。

人数も多かったので、近くによって目立たないように会話をすることも出来たのです。そういう部屋の中で体育座りをするような機会は他になかったと思うのですが、なぜそこに集まったのかを含め、前後のことが思い出せません。

何年の刑を受けたというような話を聞いたようにも憶えていますが、会話といってもそんな内容でした。何工場にいたのかも当時は知っていたと思いますが、今はそれも思い出せなくなっています。

そういえば当時の金沢刑務所では同じ工場で、ホンメン後1週間で釈前に入ったという人もいたように思います。

釈前に入るときは、それらしい温厚そうな刑務官が迎えに来て、担当が本人を呼んで荷物をまとめされるというのが、福井刑務所でのお決まりのパターンでした。刑務作業中の工場で、人知れず迎えに来た刑務官とともに去っていくというのがよくある光景でしたが、見落としていなくなっていたということも。

金沢刑務所ではまるで事情が違っていました。刑務官の迎えがあるのは同じでしたが、その場所と時間が決まっていました。昼食の後の昼休み時間の間でした。場所は屋根裏部屋のような工場2階の狭い食堂です。

誰かに促されるようなことはなく、当然のように階段の出入り口の前に立って、最後の挨拶をするのが恒例でした。長くでも30秒以内だったようにも思います。簡潔な挨拶でしたが、同じように大きな拍手で見送られていました。仮釈放も満期出所も同じです。

Xがそろそろ仮釈放になるという情報は事前に知っていたように思います。同じ頃に同じ5工場から仮釈放になるという人もしっていました。年は同じぐらいで埼玉県の人だと知っていましたが、ほとんど言葉を交わしたことのない人でした。無口なタイプでもありましたが、私のことも知っていたはず。

ちょっと気になる話も耳にしていましたが、人のプライバシーに触れるのは必要最低限にしたいと考えています。ただ、その後のXとの関係については、

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月06日

金沢刑務所の復帰寮ですが、なにか違った名称の看板が大きく掲げられていたように思い出しましたが、名称の方は思い出せません。そのまんまというわかりやすい言葉で寮を入れて3文字だったとは思います。

通路の突き当たりの出入り口は頑丈そうな扉でしたが、上の方は縦に粗い鉄格子になっていたように思います。透明なガラスのように見えましたが、おそらくは強化されたアクリル板かと思われます。独房の窓も同じでガラスではなかったように思うのですが。外の窓はガラスであったかも。

外からも見通しが良く、私の独居からも中にいる人の動きを含め、ある程度の範囲が見えていました。扉の内側はいくつかの小さい部屋に分かれ個室になっているように思われましたが、内部に鍵はなく自由に行き来できるようになっている感じでした。

福井刑務所の親和寮もそのように聞いていました。私はちょうど下の3階の独居にいたので、日曜日の昼食後に午睡の時間が始まった頃には、テレビからのど自慢の音声が聞こえてきていました。コタツがあるとも聞いていました。

何年か前ならもっと具体的に思い出せていたと思うのですが、今は本当にぼんやりしか思い出せない風景です。刑務所や拘置所の独居房というのは、どこもだいたいは同じ大きさになっているのではと思いますが、広さも多少の違いはあったと思います。

人の居住スペースには間違いないのですが、倉庫の収納ケースというイメージがずっとありました。ドアも引きとになっていてかなり薄かったです。

独居の部屋の横幅ですが、はっきりしたことはわからないものの、あっても1メートル50センチぐらいかと思われます。二部屋分でも3メートルぐらいかと思われます。独居の華の方によれば実質2メートルぐらいの距離であったかとも思われます。

扉の向こうにはXと金沢中警察署で一緒だったTさん、そして同じ5工場だった埼玉の青年の3人が、ニコニコと笑って立っていました。通路の延長なので立っているのは当然のことです。2回か3回ぐらいそんなことがあったと思いますが、短い時間でした。前に書いたように具体的な会話もなし。

Xからはハガキが入っていました。本当の年賀状のような葉書で、なにか短い言葉と携帯と思われる電話番号が書いてありました。出所の当日に一度見ましたが、それっきりになったように思います。捨てた憶えもないですが、電話を掛けることはなかったです。

Xに関しては自分のいた5工場内の情報で、覚醒剤事犯であること、女がきっかけだったこと、逮捕時は車の中で生活していたらしいこと、初犯なのに再犯刑務所に来たこと、前に暴力団に所属していたらしいような曖昧な話等を聞いていました。

この話は主に以前同じ雑居房で生活していたという大人しい感じの受刑者に話を聞きました。その人には前にいたという網走刑務所についても話を聞くようなことがありました。更生教育の進んだ施設で食べ物の処遇も良く、暖房もきいて暖かいという話でした。他にも同じような話は聞きました。

その人とは別に、暴力団組長の人からもXについて話を聞くことがありました。大阪の人でしたが、石川県の加賀市の方とも関係があるような話を聞いていました。Xについて知っていると言うよりは、T班長のことをよく知っていて関心もあるという感じだったと思います。

その人は同じ班だったので、作業中でもよく話をする機会がありました。大阪の人でしたが、金沢や石川県の暴力団関係者にもつながりや付き合いが、かなりありそうな感じでした。途中から5工場に来たと思います。たぶん懲罰開けの工場配役ではなかったかと思われます。

仮に復帰寮と書いた一区画の扉が通路の突き当たりにあって、その二つ手前の独居で私が生活していたことは既に書いていると思います。他の部屋に移った記憶もないので、5工場にいる間はずっとその独居房だったと思います。3舎3階とも呼ばれていたかと思います。

所内ではたまにラジオ放送で、優良房の発表というのがありました。整理整頓が良くできているというような評価であったと思います。そんなときに、何舎何階という言葉を耳にしていました。普段は余り意識せずに使っていました。

4舎と5舎が雑居房の建物だったと思いますが、自分のいる工場の受刑者の舎房がどの辺にあるのかとか、誰と誰が同じ舎房という話はほとんど聞いていませんでした。ただでさえ変な疑いを受けていたので、詮索をしていると思われるような発言は避けるようにしてもいました。

拘置舎も同じだったと思いますが通路の手前の方から順番に番号がついていました。2階の6番目であれば、206という感じです。これは受刑者の舎房も同じだったと思いますし、病院のような欠番はなかったはずです。最近は知りませんが昔は４という数字を使わないとか聞いていました。

拘置舎の独居は26まであったと思います。前にも触れましたが、受刑者の方は少し多くて28ぐらいあったような気がします。28だとすれば、私は3階の奥から2番目だったので、327の独居房にいたことになりますが、そういう番号も今は記憶に残ってはいません。

隣の一番奥の独居房には、地元金沢の暴力団関係者の人がいました。高齢に近いようにも見受けられましたが、その分、その世界での生活、経験も長く、付き合いや情報も豊富で、顔も広いという感じでした。年齢を聞いていたような気もするのですが、思ったよりは若かったような気もします。

独特の雰囲気のある人物でもありましたし、達人のような趣も感じられました。入れ墨を入れていましたが、それも随分と年季が入っている感じで、そのような世界での生活の長さを感じさせるものでした。入浴は工場全員で行われていたので、すぐにわかります。

金沢刑務所の方はけっこうな大浴場でした。福井刑務所の方は遙かに狭くて小さく、比較的少人数で交代で入っていましたし、待っている時間は長いすに座って、黙想をさせられていたように思います。今、けっこう黙想が多かったな、と思いだしました。目を開けてはならない決まりです。

今考えてみると顔や存在感は強く記憶しているのですが名前の方が出てこなくなっています。けっこうな回数、刑務所を出入りしているとも聞いたように思います。仮にZさんということにして説明をしたいと思います。

Zさんは私とは班も違っていて、通路の反対側の方によくいたと思いますが、工場全体のミシンの不調を直したりもしていたように思います。班長という感じでもありました。班は4つぐらいに分かれていたように思います。

ミシンのメンテのようなことをしていたので、願い出があって職員の許可が出れば、工場内のどこにでも行って、誰とも話が出来るという立場でもあったように思います。レクの時間であれば、誰とでも話が出来るので、特別なことではないとも思いますが、そういう面でも世話役的な人でした。

昨日辺りにも福井刑務所のことで雑役というのを書いたと思いますが、一般の人にはなじみのない言葉だと思うので、少し説明をしておきたいと思います。簡単に言えば工場内での世話役兼湖上担当の刑務官の秘書的なことをやっていて、会社の経理の担当者という感じでもありました。

計算工とも呼ばれることがあったように思いますが、この計算工というのは、刑務所全体の経理をするような人たちとも聞いたことがあります。3人ぐらいの少人数でコンピュータのある小さな部屋で作業をしているとも聞いたことがありましたが、刑務所全体の受刑者の個人情報に触れるとも聞きました。

工場内には担当台というのがあって、高くなったところから全体の見渡しも良くなっていたのですが、刑務官のいる場所です。その近くに雑役の作業スペースがありましたが、ごちゃごちゃと事務関係に必要なものは何でもあるという感じでした。

雑役の場合、他に受刑者の洗濯物を集めたり配ったり、食堂の掃除をしたりする本当の雑務のような人もいましたが、通常、雑役といえば工場の事務をやっている受刑者のことを指していたように思います。私本など物品の購入や交付の手続きもなっていたので、許可なく工場内を動いたりもしていたと。

Zさんは自分から人に話しかけるようなことは滅多にない感じでしたが、話しかけると返事以外にも会話に応じてくれるような人であったと思います。レクの時など、何度か話をしたことがありましたが、金沢の寺中町に住んでいると話していたと記憶しています。

金沢の寺中町というのは、とてもなじみのある場所の一つでした。中西運輸商の会社というか事務所があったからです。初めの頃は近くに駐車場がなかったので、会社の前の金石街道にトラックを停車させ、事務所に入っていました。

その後、金石街道を挟んだ道路の向かい側に、トラックの駐車の出来るスペースが出来たと記憶していますが、余り広くもなかったので、会社に立ち寄るための臨時の駐車場という感じでした。

事務所の方には必要最低限の用事にしか立ち寄らないように言われていたので、その分、自由でもありました。金沢市場輸送のように他の運転手の荷物の積み卸しを手伝えに行けと言われるようなことはなかったです。

中西運輸商の仕事のメインは佐川急便の広島・九州便でした。岡山、広島、山口、福岡が多かったです。前にも書いてあると思いますが、中西運輸商は配車の会社で、運転手は中西水産輸送の社員と言うことになっていました。

もともとは水産関係の仕事をやっていて、私がいた頃も数台の保冷車が残っていました。私自身、大型の保冷車にも乗務したことがありました。

初めの方は大洋まるは、の仕事をやっていたとも聞きましたが、白ナンバーで摘発を受け大打撃を受けたと聞きました。密告があったとも聞きましたが、窮地を救ったのが広島県東広島市にあった西日本運輸興業とも聞いていました。

私自身、一度その西日本運輸興業の会社には行ったことがありました。社長に頼まれ他の荷物と一緒に積んでいった贈答用の米俵を持って行ったのです。町外れの田舎のような場所だったと思いますが、かなり規模の大きい運送会社であったと記憶しています。

私は昭和59年の12月の20日頃から昭和61年の2月一杯までの間と、昭和62年の1月から3月ぐらいまでの間、の2回。中西運輸商にいました。2回目の時は大型車です。金沢市場輸送で乗務する大型車の空きがなかったことと、福井出身のYTに強く誘われたのがきっかけでした。

福井のYTに関しても本書において、かなりの紙面を割いて書いていると思いますが、どこまでどの程度書いているのか、時間の経過とともに正確には思い出せず、把握しがたくなっている部分もあるかと思います。重複は避けたいところでもありますが、ポイントはその都度抑えるようにします。

YTが金沢市場輸送をやめたあと守田水産輸送の仕事をするようになったことはたぶん書いていると思います。余り詳しい話はわからなかったですが、守田水産輸送の社長に手形の裏書きをしてもらって大型車を３台か４台購入し、運転手を雇うようになったと聞きました。

この辺りは初め本人ではなく噂話のような感じで誰かから聞いていたようにも思うので真偽の程もわかりません。守田水産輸送と似たようなトラックで仕事をしていたことは間違いなく、何度かそれらしいトラックも見かけていました。

守田水産輸送の保冷車とは少しデザインも違っていたように思います。はっきりしていたことは「都商事」と荷台の箱に書いてあったことです。保冷車で冷凍機付きだったと思いますが、当時珍しかった保冷のウィング車であったかもしれません。

この都商事というのは○西さんが現場責任者になっていたような、守田水産輸送の中継の仕事と同じという感じでした。中継は中央市場の一角で行われていて、４トン車がほとんどだったと思いますが、都商事という看板のようなものを見かけていました。

都商事という会社が二つあったとはまず考えられないのですが、その違いについては疑問に思いながらも、誰かに質問するようなことはなかったように思います。

もともと守田水産輸送というのは鮮魚の青森定期便をやっていた運送会社でしたが、青森の新生運輸とも関係があったようです。数ヶ月前なにかの機会にテレビニュースだったかで、青森の新生運輸のトラックを見かける機会がありました。見かける頻度も多く、大きい運送会社かと思います。

守田水産輸送についても金沢に似たような会社が３つあると聞いていた時期もありました。社長が兄弟であると小耳に挟んだような気もしますが、他の守田という運送会社は鮮魚ではなく、冷凍食品を運んでいたかと思います。

金沢市場輸送の仕事を始めた時分から守田水産輸送と言えば青森定期便というイメージが強かったのですが、それは大型車の話で、4トン車は冷凍魚を主に運んでいると聞いていました。過積載が当たり前とも聞いていました。

冷凍魚には主にイカの冷凍関係と、鱈のようなすり身の冷凍がありました。すり身の冷凍はカマボコなどの練り製品の原料となるもので、冷蔵庫の他、直接、カマボコ工場に持って行くこともありました。富山にもありましたし、金沢の市場の正面前あたりにもありました。

それは金沢市場輸送でも時たまする仕事でしたが、多くある仕事ではなかったです。すり身は東京の冷蔵庫から運んだり、仙台の冷蔵庫から運んだこともあったかと思います。あるいは逆に仙台の冷蔵庫に持って行きました。

まだ書いていないと思いますが、昭和59年当時金沢市場輸送の4トン車のメインの仕事が新潟への鮮魚の定期便であったことは書いていると思います、その仕事は金沢の丸中水産の仕事でした。当時は金沢市場輸送の数の多くない定期便の一つでしたし、毎日に近かったのはあれだけかもしれないです。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月07日

大型車ではすでに、ウロコ運送と共同の福岡の魚市場の定期便がありました。他に住所はたぶん金沢市間明になると思いますが、名鉄運送か名鉄運輸の営業所か支店があって、そこからの九州便がありました。

九州の各地を順番に荷下ろししていくとか聞き、最後は鹿児島とも聞いていました。荷物の積み込みのホーム作業を手伝いに行ったことがありましたが、午後の明るい時間帯で、その頃はまだホーム作業の雑貨の仕事をしたことがなかったと思いますが、夕方以外はかなり珍しいと思います。

雑貨の定期便というのはホームでの積み込みになり、集配されてきた荷物を仕分けて積み込むものです。基本的に大型車の仕事であり、中西運輸商の時も4トン車というのは予備のおまけという扱いで、ほとんどが最終便でした。

ついでに書いておきますが、中西運輸商での佐川急便の広島・九州便では、金沢の痕、加賀や福井の支店から残り物の荷物を積んでいくことが多く、忙しく交通事情のよくない雪の時期では、福井で荷物を積み終えて出発してから高速に乗るのが3時頃というのも何度かあったように思います。

米原ジャンクション辺りまで来ると、朝の5時頃で、明るい中をとても眠い思いで、交通量の多い名神高速を走って、九州に向かうと言うことが何度かあったと記憶しています。

当時の佐川急便の仕事では荷物は隙間なしの満載が原則でした。荷物と荷物の隙間に拳が入るようではダメとも指導されていました。運賃は１つでも満載でも同じだと聞いていましたし、立ち寄り支店の数も運賃とは無関係だったと思います。

実際に一箱だけの積み忘れの荷物を持って横浜まで行ったときもありました。この時は暇もあったのか2，3人で乗用車に乗り日帰りで持って行きました。被告訴人OKNもいいたかもしれません。

午後の4時ぐらいに金沢に戻り、それからアパートに集まって買ってきた豚肉をフライパンで炒めて食べたようなことも憶えています。押水町出身というDTが一時期、中西運輸商にいた頃だったと思います。年は私の一つか二つ下で、元は雷神という暴走族のメンバーだったとも聞いていました。

大人しくて優しい少年だったというイメージが強く、やはりその頃はまだ18か19歳で未成年だったように思います。富来出身のOTの友達として知り合ったと思います。東力のアパートにしばらく居候としても生活していたように思います。

中西運輸商ではファミーとかスーパーの名前が箱に書いてあるオンボロの4トン車に乗っていて、岡山県の津山市あたりだったか中国自動車道ですが、トラックを横転させたような話があったかと思います。ちょっと記憶があいまいですが。

ふと思いだしたのですが、京都市内で引っ越しの荷物の積み卸しをしていて、会津小鉄会という大きな暴力団の組員の車にこすったとかぶつけたという話がありました。さすがの中西運輸商の社長も頭を抱えたとか聞きました。

それが押水のDTであったか記憶ははっきりしません。また、別の事故絡みの暴力団とのトラブルであったか、運転手の一人が口をきいて解決したというような話も聞きました。その口利きをしたという人の顔は今でも覚えているのですが、まとまって数人で入ってきた運転手の一人だったと思います。

福井のYTはその人物とも親しくしていたように思います。YTが入社した時期と被告訴人OKNや富来のOTがいた時期とは重ならず面識もなかったと思うのですが、YTは押水のDTのことをよく知っていたような気もします。以前から知っていたような関係ではありません。

会津小鉄会のトラブルというのも福井のYTの口から聞いていたように思いますが、押水のDTが中西運輸商にいた時期というのは長くはなく、長くても2ヶ月ぐらいではなかったかと思います。寝過ごしやミスをしながらも頑張っていたという印象も残っています。

押水のDTのことは当時はまだ結婚していなかった私の妻もよくしっていました。その後しばらくしてぱったりと会うこともなくなったのですが、羽咋市か押水町辺りの国道沿いのパチンコ屋で、たまたま顔を合わせたことがありました。会ったのもそれが最後でした。

昭和63年の正月になるのではと思います。あるいは昭和62年です。宇出津に帰省した帰り道、妻と子供を連れながら、国道沿いのパチンコ屋に入りながら金沢に帰ったことがありました。妻はすごく不機嫌でしたが、お金をせびりながらやっていました。

初めて宇出津の大橋組にあるパチンコ屋でパチンコをしたのもその正月休みの時でした。以前は、斜め向かいにある被告訴人OSNの家から、先輩を探しに行くように言われて、何度か入っていたパチンコ屋でした。能都町の長者番付で毎年1番とも聞いていたパチンコ屋でした。

その時には藤波の辺田の浜にもラッキーというパチンコ屋が出来ていました。その店に入ったのも初めてでしたが、小木中学校の相撲部だった一つ年上の先輩に会って、少し話をしたことも憶えています。暴れ者としても有名な3人の１人でしたが、中学を出て小木の漁師をしていました。

小木のその先輩の家にも一度遊びに行ったことがありましたが、よくは憶えていません。私の前後の年代では地元でもっとも恐れられているような3人の1人でした。そのうち2人は小木中学校の相撲部でした。ここでは一応3人のグループのように書いていますが、詳しいことはわかりません。

噂に聞くことが多い3人だったのです。しかし、そのうちの一人で元相撲部ではないYMさんだけが、その後、宇出津の私の友人知人との付き合いが多くなっていきました。

被告訴人HTNが水産高校小木分校を退学になったのは昭和55年の5月か6月の頃です。退学になって間もない頃は、よくその小木の3人のグループと付き合いをしているとも聞いていました。長い髪を金髪に染め、ホーク2というバイクに乗って、校門の前まで来ていた姿も記憶しています。

被告訴人HTNが小木分校を退学になった理由についてはまだ書きそびれていたと思いますが、その時点においても松波のある同級生に対して、強い恨みのようなものを持ち、それを私たちにもストレートにぶつけていました。

その同級生の名前については思い出せなくなりました。私や被告訴人KYNからすれば一つ先輩でした。部活が同じだったのか被告訴人KYNの方が付き合いもあってよく知っていたと思います。部活はバスケット部ではなかったかと思います。

小木分校は専攻科ありましたが、一学年の定員が40名でした。退学者がいないとしても3学年で120名という計算です。部活の方も自ずと数も限られ、あったのは柔道部とバスケット部、それと野球部があったようななかったような感じです。私は柔道部でした。

夏休みだったと思うのですが、部活の合宿で夜に学校にいたことが一度あったように記憶しています。前にある墓場に肝試しに行くとか行かないとか、3年生の二人の女子のマネージャと話をしていたようなことも憶えています。

それ以外に日が暮れる時間の早い冬を含め、暗くなった時間に学校に残っていた記憶というのもさっぱりなく、小木や姫の友達の家で、汽車の時間待ちをしていたことが多かったと記憶しているので、部活というのは熱心なものではなかったです。

それでも一度は、金沢の県大会に行きました。鳴和の新しい武道館の建物でした。宿泊は森本だと聞く山の方の温泉のような割と大きな旅館でした。3年生の女子のマネジャーもいたことを憶えているので、一年生でも早い時期ではなかったかと思います。

高校というのは4月の初めに入学して学校生活がスタートするものだと思います。他の中学校から来た生徒ともうち解けて落ち着いた頃に、遠足がありました。5月になっていたんじゃないかと思います。その時海水浴をしたぐらいですから、6月かそれに近い時期かもしれません。

私は被告訴人KYNらとは別の友達と海水浴などしていました。天気が良かったので体操着のまま海に飛び込んだのですが、近くに幼稚園児の遠足のような姿があったことも記憶しています。

場所は同じ珠洲郡内浦町でしたが松波に近い赤崎というところでした。住所としては松波とは別になるのかもしれないですが、当時の私たちは松波の赤崎という認識だったと思います。その頃からイチゴ狩りで地元では知られた場所だったと思います。岩場の海がありました。

歩いていけるような場所ではなかったので、バスか何かを使った遠足だったと思います。その時は何も知らずに、遠足から帰りました。

遠足から戻って数日すると大問題が怒っていることを知りました。2年生と私たち1年生の多くの生徒が、遠足中に赤崎に近い松波の2年生の生徒の家に行き、集まってタバコを吸っていたのが発覚したという話でした。

タバコは男子であれば半分からそれ以上が吸っていたと思いますし、私もそうですが、毎日普通に学校に持って行っていたと思います。喫煙が見つかれば停学になることも知っていました。停学は3回までで4回目は退学になるとも聞いていました。

女子と男子の比率は学年によって多少の違いはあったと思いますが、だいたい１：３ぐらいの比率だったと思います。2年生より1年生の方が多かったようにも思いますが、半分近い生徒が摘発を受け、停学になったような話だったと記憶しています。摘発という言葉はどうかと思いますが、とりあえず。

だいたい私はその現場にもおらず、松波の先輩の家も知らなかったのでまったくわからないのですが、とにかくこの問題で、3回の停学を既に受けていたという被告訴人HTNが退学になったと聞きました。

被告訴人HTNは能都中学校でも同じでしたが、1，2年生の頃私は相撲部に入っていて、授業が終わるとすぐに歩いて水産高校本校に練習に行っていたので、放課後に学校内にいることも少なく、被告訴人HTNのことはそれほど知りませんでした。

それでも早い時期から被告訴人HTNも私のことは知っていたと思います。ちなみに能都中学校の私の学年は204人でほぼ40人ずつの5クラスでした。前後の学年は多少生徒数も少なかったと思います。二つ下になるともっと少なくなり、クラスの数が一つ減っていたはずです。

ついでに書いておきますが、能都中は、宇出津小学校、神野小学校、真脇小学校と三波小学校の一部から集まっていました。

三波小学校は波並にあったと思いますが、三波というのは宇出津から近い順に藤波、波並、矢波になっていました。このうち藤波は宇出津に近い順に辺田の浜、柳倉、間島の３つで、間島の生徒は三波中学校に行っていました。矢波の生徒は鵜川中学校でした。

国道249号線の海岸線でもありますが、矢波の先には七見という集落があって、その先にあるのが鵜川でした。当時も宇出津と同じ能都町でした。被告訴人YSNはその鵜川の出身です。既に書いているはずですが、鵜川中学から水産高校漁業科を卒業しました。

鵜川にはスーパーもあったり、他の集落よりははるかに大きな町でした。その先の国道249号線を進むと国道は海沿いではなく山間の方向に進んでいますが、いくつかの小さな集落があって、その先に瑞穂という鵜川ほどではないですが、そこそこの集落があります。

瑞穂を超えてしばらく走ると穴水町に入りました。私たちの頃は瑞穂中学校もありましたし、その周辺の集落にもいくつか小さな中学校があるように聞くことがありました。国道から外れると、私が未だに踏み入れたことのないような集落もいくつかあると思います。

そういう集落の名前を言っても通じないこともあるので、近辺の割と知られた集落の名前を出して、そちらの出身のように話すというのは珍しいことではなかったと思います。

実際、被告訴人OSNは被告訴人HTNが金沢で、出身を宇出津だと人に言っていると話していたこともありました。私の経験でも金沢では宇出津と言っても通じないことがあるので私は珠洲の手前の方、と答えることもありました。珠洲は私の知る限りの前から珠洲市がありました。珠洲郡は消滅しましたが。

こみ入った説明をしましたが、本件において気になる存在の人物として、その瑞穂の出身だという西○がいたからです。たしか金沢の尾山台高校を出たとも聞いていたと思います。金沢の私立高校では最低の学力レベルとも聞いたことがあったように思いますが、詳しくは知りません。

西○は事件の真相について知っている可能性の堅い人物であると同時に、いろいろとしがらみの強い立場であることも考えられるのですが、真実追究の公益をはかるためにも、この際、実名で行こうと思います。下の名前までは知りませんし、割とありそうな名前でもあります。

西口という名前でした。前にいくらか触れていると思いますが、金沢市場輸送の山田という大型運転手の娘の婚約者という話で、金沢市場輸送に入ってきました。最大級のキーマンの一人被告訴人YSKとほぼ同時期だったと思います。

同じく同時期にいて年頃も同じぐらいだったS藤についての事実も、まだ記述が途中になっていると思います。S藤の名前はそのまま出せないです。元暴力団員ということではなく、事件を起こし有罪判決を受けているからです。

キャベツのような入れ墨を入れていたということは書いているはずですが、組を辞めるとき必要もないのに指を一本詰めたという話もありました。一時はそれだけ真剣に更生したいという気持ちもあるいはあったのかもしれません。

S藤が女子大生と交際しているという話は聞いていましたし、その女性の姿を見たこともあるように記憶しています。顔までは記憶にないですが、大人しくまじめそうな普通の女性だったと思います。短大生であったかもしれません。金沢短期大学というのもありました。

最近はテレビでも見かけないし聞いていないので、あるいは学校名が変わっているのかもしれません。付属の高校もあって「たんこう」と呼ばれていましたが、女子校だと聞いていました。よく知らないですが、短期大学の方も同じく女子校ではないかと思います。

S藤については金沢市場輸送で市内配達の仕事をしていたものの、いつの間にかまったく姿を見かけなくなっていました。市場急配センターの事務所が出来て、市内配達がそちらに移ってからは、一度も見かけていなかったように思います。

もともと余り付き合いもなく顔見知り程度だったのですっかり忘れていたと思います。再び姿を見るようになったのは平成3年の秋でした。市場急配センターの一階に休憩所のようなものが出来てからのことです。

この休憩所についても説明が中途半端になっていたと思いますが、出来たのは平成3年の9月の20日頃ではなかったかと思います。大工が工事を始めて一週間か10日ぐらいで、完成していました。畳の座敷も作られていたのですが、短い間にできあがっていたと記憶しています。

この工事中に被害者AAさんのフィルム貼りの手伝いがありましたが、こちらも十分な説明は済ませていないと思います。運転手の控え室という感じでもありましたが、休憩室とも控え室とも呼ぶ者はいなかったと思いますし、たんに一階とか言っていたように思います。

休憩室が出来る前と出来たあとの違いもあるので、これからは休憩室ということにしておきたいと思います。わりとくつろいだ利用をする運転手もいました。テレビがあって寝泊まりも出来るような畳の座敷もありましたが、私はほとんど座敷に上がることがなかったです。

その座敷で横になって眠ろうとしたことは一度だけありました。結局寝付けず、そのうち時分のトラックに戻ってトラックの中で寝たように思いますが、その時その場にいたのも西口でした。

それはちょうど平成3年の仕事納めの日であったとも思います。あるいはその前日です。仕事納めの日ではなかったと思います。仕事納めの日の夕方は、長女が生まれたという被告訴人YSNに祝儀袋を渡すため、彼を捜していたという記憶があるからです。

中央市場口の交差点に近い金石街道沿いのパチンコオークラで被告訴人YSNを見つけて、店の外で祝儀袋を渡しましたが、まったくありがたそうなそぶりもなく、面倒くさそうにも見えたようにも記憶に残っています。渡すだけ渡してすぐにその場を離れました。

もう一度考えてみると、その後であった可能性もあるかと思います。とにかく正月休みに入ろうという時期だったと思います。夕方すっかり暗くなっていたと思います。私は時間帯的にも珍しく金沢市場輸送の給油機のところにいました。

なお、その金沢市場輸送の給油機はちょっとしたブロック塀のようなもので仕切られ、パチンコオークラの駐車場と隣接していました。パチンコ店の店のすぐ裏の駐車場ではなく、道路をはさんだ別の一角の駐車場でした。割と空いていることも多かったので、そこにトラックをとめることもありました。

そこでトラック同士の荷物の積み替えをすることもありました。平成3年の4月頃、再会して数日経った頃には、被告訴人YSKが輪島屋鮮冷の4トン車で来て、何か荷物の積み替えをしたこともありました。

思えば輪島屋鮮冷と金沢市場輸送の社長兼配車係であった被告訴人MTKが、輪島屋鮮冷と仕事のやりとりをするようになったのも、その一月ぐらい前からであったかもしれません。もともとは付き合いがあると聞いたこともない、あるとも考えないような運送会社でした。

輪島屋鮮冷のトラックを見かけるようになったのは、私が金沢市場輸送で保冷車の仕事を初めて、そう長くない時期であったように思います。あるいは昭和59年かもしれません。

初めのうちは金沢港の県漁連の魚市場の前に駐車してある4トン車をよく見かけていました。6月か7月初めのスルメイカの時期だったと思います。当時は丸中水産の仕事で行っていたように思います。

丸中水産に関する説明も中途半端に途切れていたと思います。私がその仕事を初めてまもない昭和59年の春頃だったと思いますが、丸中水産は若旦那のような社長が、先代から跡を継いだばかりのような状況とも耳にしていました。歌舞伎役者の若旦那みたいな人でした。

その頃に聞いていた話は、丸中水産の先代の社長が、当時金沢市場輸送の社長だった被告訴人TSKにかなり大きな義理があるとかで、切りたいけどやむなく金沢市場輸送に新潟便を任せているという話でした。

私が二度目に金沢市場輸送に入社した昭和61年8月には、丸中水産の仕事はなくなっていました。ちょっと何かあって金沢市場輸送が手を引いたところ、すかさず守田水産輸送がとって変わったという話で、守田水産輸送になってからは仕事や荷物の量もずいぶんと増えたと聞きました。

誰から聞いたのかも憶えていないですが、急に減った仕事が増えるはずもないので、金沢市場輸送との縁を切るための策略ではなかったのかという感じにも聞こえ、よほど腐れ縁を切りたかったのかとも考えました。実際のことは部外者でもあり正確にはわからないです。

昭和59年の5月か6月頃の時点では、イスズの新車の4トン保冷車の保冷の箱に「金沢丸中水産」などと大きく書いていたぐらいですから、将来的な関係の継続を踏まえていたのだろうとは推測します。

そのイスズの新車の4トン車にはエアーブレーキがついていました。大型車はエアーブレーキが常識でしたが、4トン車でエアーブレーキを見たのはそれが初めてだったと思います。丸中水産と書いた保冷車は、それ一台で終わったと思います。

はじめに被告訴人OKNが乗務していたと思います。その後、兄の被告訴人OSNが乗務したのですが、名古屋の市場で荷下ろしをした帰り、居眠りで街路樹に激突、トラックは大破し廃車になったと聞いたように記憶しています。

トラックの本体と保冷の箱は別物というのが基本でした。箱の載せ替えでトラックだけ新車にすることもあったぐらいです。箱の方まで使えなくなったとは聞かなかったように思いますが、以降、丸中水産と大書きした箱の4トン車というのは、はっきり見たという記憶も残っていません。

昭和59年当時は大型車の数と4トン車の数も余り違いがなかったと思います。事務所に黒板があって、左側に大型車、右側に4トン車の配車が書いてあって上の方から運転手の名前がありましたが、左右の数がそれほど違っていなかったと記憶しています。

平ボディ車が3台はありましたし、6トンの保冷車も2台ありました。既に書いていると思いますが、大型の平ボディ車には原田さん、棟方さんが日通カラーで、もう一台に小坂さんが乗務していたと思います。6トン車には武田さんと越田さんが乗務していました。

昭和62年になると原田さん、棟方さんの姿はなくなっていましたが、平ボディ車には亀谷さんが乗務していました。イワシのダンベの仕事もよくやっていましたが、辞めたという話は聞かなかったものの平成3年頃には、姿を見ることがなかったようにも思います。

亀谷さんはもともと小松市から来ている人だったので、トラックをなかば通勤にも使っているような状態ではなかったかとも思いますので、会社にいること自体、他の運転手より少なかったとは思います。

畠山さんという人もけっこう長い間、10トンの平ボディ車に乗務していました。しばらく経ってからわかったようにも思いますが、その人は私の妻の母親の弟でもありました。

平成2年の秋頃、東渡好信らが入ってきた頃はまだ金沢市場輸送にいたように思います。その後、急に姿を見なくなったのですが、群馬県内の伊勢崎市辺りで夜中の速度違反取り締まりに引っ掛かり、相当大きな速度違反だったとも聞きましたが、捕まってすぐにいなくなったような話でした。

畠山さんも輪島の海士町で、単身出稼ぎのようなかたちで金沢に来ていると聞きましたが、金沢のどこに住まいをしているという話も聞かなかったように思います。また、海士町には妻の家に養子に入ったと聞きましたが、畠山という名前は元々の名前だと思います。

妻から母親の旧姓が畠山と聞き、羽咋市辺りの出身とも聞きました。由緒のある家系らしいとも聞きました。歴史的にも畠山氏というのは室町時代の能登の守護になっているようです。詳しくは知りませんが、能登を統治していた殿様のように聞いた憶えもあります。

前にも紙面を割いた説明を行っていると思いますが、最近では聞かないものの昭和の時代の輪島の海士町というのは特異な存在でした。歴史的にも身内意識が強く近親婚を繰り返してきたとも聞いたことがあります。そういう土地に婿養子に入って元の姓を名乗っているというのもどうかなとは思っていました。

畠山さんも金沢市場輸送で麻雀をしていたような気もしますが、どうもそれほどはっきりしたことは思い出せず、時々参加をしていたとしても、さほど常連という感じではなかったように思います。平ボディ車とは仕事の内容も違っていたので、顔を合わす機会もそう多くはなかったとも思います。

それでも畠山さんも亀谷さんと同じく、小林健一と一緒にイワシのダンベを運んでいた時期があったと思います。本来はミールの方を多くやっていたと思いますが、小林健一の方がそれほどミールの仕事をやっていなかったようにも思います。ミールを積み込む姿を余り見かけた記憶がないからです。

昭和63年の一月になるかと思いますが、ダンベのイワシを積んで大人数で四国の香川県丸亀市あたりまで運んだことがありました。丸亀市の先の善通寺市だったとも思います。

ダンベの降ろし先は瀬戸内海の海に面した、なんとなく水産試験場のような場所でした。ちょうど泳いでいる大きなブリの姿や、それを捕まえて引きあがるような作業を見物していたことを憶えています。聞くとかなり大きなブリでしたが、1本5千円とか聞き、ずいぶん安いものだと思いました。

ちょうどその四国の運行から戻って数日後に、被告訴人KYNの結婚式が宇出津であり、あの5千円とか言う養殖のブリを買って、結婚式のお祝いに渡せば良かったかなと考えたことも割とはっきり憶えています。

その四国へのダンベの運行には、小林健一も亀谷さんもいたと記憶していますが、畠山さんの姿となるとはっきりとは思い出せません。ただ、なじみの顔ぶればかりで、人数も多かったので、畠山さんがいた可能性のある程度高いのではと思います。

そもそもいつ頃から畠山さんの姿を見るようになったのかも思い出せないのですが、金沢市場輸送の事務所が西念町にあった頃には、見かけていなかったように思いますし、前の事務所やその付近で話をしたという場面の記憶もありません。

被告訴人KYNの結婚相手ですが、同級生だと聞いていました。瑞穂の出身で金沢で知り合ったと聞きましたが、宇出津の同級生YYの紹介とも聞きました。そのYYも結婚式には参加していたと記憶しています。

YYのアパートには被告訴人KYNと一緒に遊びに行ったことがありました。金沢市入江と聞いていましたが、ニュー三久の神田店にも近く、住所としては玉鉾にも近い辺りのように思いました。確か神田店となっていたと思いますが、住所は神田ではない感じでした。

先日、たまたま調べてみたのですがGoogleのストリートビューでは現在、セブンにイレブンのコンビニになっていて驚きました。東力に住んでいた頃、金沢市場輸送との中間ぐらいの場所でもあり、よく家族と買い物をしていたスーパーでした。

Googleマップで確認したのですがニュー三久のスーパーがあったのは入江のようですが、道路の向かい側の一帯は新神田になっていました。ニュー三久も神田店ではなく、新神田店だったと思われます。高岡中学校も住所が新神田だったとは、ちょっと意外でした。新神田は思っていたより広いようです。

同じくGoogleマップの地図で周辺を見ていて気がついたことですが、金沢市神田あたりにあったはずの中央自動車学校が跡形もなく見当たらなくなっていました。別に調べたところ、2007年6月のブログの記事で最近倒産したという情報を見かけました。

ついでなので、これも忘れて書き漏らしをしないうちに書いておきたいと思います。中央自動車学校について、一つ書いておく予定の事実があったからです。

現在は前後のことが思い出せなくなっているのですが、夕方に近い時間の被告訴人OKNとの電話の一場面だったと記憶していますが、断片的な記憶となっています。

前後のことが思い出せないのできっかけもわからないのですが、被告訴人OKNが父親の殺人事件について何かを語ろうとしたときのことでした、明るい期限の良さそうな声でしたが、取り急いでいる雰囲気も電話越しに伝わってきました。

中央自動車学校の教官がなんとかで、それが今、自分が住んでいる金沢市円光寺の家の購入とも関係があるような話をざっとして、続きはあとで会ってから話すようなことを言っていたように記憶しています。

数時間後か、実際夜になってから被告訴人OKNと会ったように思いますが、前の話の続きをするようなそぶりを見せなかったので、私の方からも電話の会話の続きに触れるようなことは口にしませんでした。

被告訴人OKNの電話での話はかなり不自然に思え、なにか探りを入れるために、そんな話を持ち出したとしか思えなかったからです。

円光寺の家の購入については他の機会にも何か話を聞くことがあったように思いますが、父親の殺人事件と関連や中央自動車学校とのつながりについては、まったく見当もつきませんでした。刺激をしてもよくないと思っていたので、向こうが触れてこない以上、聞く気もなかったことです。

父親の殺人事件についてはそのずっと前から知っていて話も聞いていたと思います。本当の初めこそ、思いだすのも嫌そうに話をしていましたが、その後はほとんど抵抗なさそうに話をしていました。ずいぶんと迷惑を受けたとか、自分らの被害を訴えるような話が多かったという印象もあります。

仕事の上でも肩身の狭い思いをし、心ない言葉を受けたようなことも憂さをぶつけるように話していました。そもそも彼の苗字はほとんど聞かないものでした。漢字2文字の組み合わせを分解すると、誰でも読めるような漢字でしたが、名前としては彼の親戚外に聞いたこともなかったです。

子供のこともずいぶん案じている様子だったので、ほとぼりが冷めるまで妻の旧姓に変えてはどうかと言ってみたこともあるのですが、自分の名前に特別な思いを背負っているような感じで、そういう選択はあり得ないというように言っていたように思います。

過剰に被害者性を強調しているようにも思いましたが、実際彼が周囲に期待した以上の同情や理解も得ているようにも見えました。あとあとになると、けっこう面白がっていたんじゃないの、という感じにも思えることがありましたが、事実それに近いものはあったようです。

今思い返してみると、それは直接顔を合わして交わした最後の会話だったかもしれません。平成13年12月31日の金沢刑務所の出迎えが本当の最後の顔合わせになったかと思いますが、事前の連絡もなく正門の前にワゴン車に乗って待っていたもので、また違うものでした。

平成11年の4月中だったと思います。私が逮捕されたのは8月12日だったので、その間にもあるいは1回ぐらいは会ったことがあったかもしれませんが、会話らしい会話というのはやはりその時が最後であったように思います。私が彼を信用することもなくなっていました。

場所は西金沢の住宅でした。建て売り販売の内見会のような住宅でしたが、家の周りにのぼりの旗が何本か立っているぐらいで、住宅の中にもパンフレットのようなものは置いてなかったように思います。当時はそれほど意識していなかったことですが、改めて考えるとかなり不自然です。

西金沢といっても、自分の感覚としてのだいたいの場所です。Googleマップで、出来る限りの場所を特定しておきたいと思います。全体のマイプレイスとしては、以前、印をつけたこともあるので、データは残っているはずですが、新たにこれだけを特定しておきます。

石川県金沢市押野１丁目１９６ - Google マップ <http://bit.ly/MRLK9K> ←　この通り沿いの野々市方面に向かって左側にあったことははっきりしているのですが、もっと奥の方であったか、手前の方であったかはっきりしません。

手前の方だと住所が西金沢になるようです。西金沢の踏切の手前、古い工場の敷地の壁沿いのような通りは、昭和59年当時も野々市方面への裏道として利用していたことがあり、馴染みのある道でしたが、奥の方へ行くと道路事情もすっかり変わっているようです。

その展示場のような住宅の近くは道が多少折れ曲がる場所があったような気もするのですが、それらしい場所は西金沢の住所で手前の方になりそうです。

閑静な住宅地という感じでしたが、昔は裏道として交通量も多かったような気もしました。他に便利な道がいろいろできたので、交通量も減ったのではないかと思われますが、昔を知らない人は、通ることもない道であったようにも思えます。

会ったのは日曜日で午後だったと思います。当時は日曜日も仕事が多かったので、それ以外の曜日というのも考えにくいです。内見会のようなのぼりは出ていたと思いますが、人が来るような雰囲気はほとんどなく、外からは中に人がいるようにも思えなかったとも思われます。

家はグレーに近い色がベースになっていたように思いますが、まあ、建て売り住宅という感じでした。西宅建株式会社の建て売り住宅だったと思います。上荒屋の住宅よりは小さかったと思いますが、同じ建て売りなので、いくらか似ている建物にも思えました。

自分で設計した家を建て売り販売する、それが西宅建の社長のスタイルとも被告訴人OKNから聞いていました。株式会社にもなっていましたが、事務所というのも住宅の一部屋という感じでした。妻が仕事を手伝うことはあるとも聞いたような気もしますが、従業員がいるとも聞かなかったです。

Google マップ <http://bit.ly/1cebCIM> ←　ストリートビューで探し回ったのですが、西宅建はこの場所にあったのではと思います。確信は持てませんが、70パーセント以上の確率はあるかと思います。

石川県金沢市古府２丁目１６４−３　←　こちらが住所です。古府であったこととこの辺りであったことは間違いありません。ただ、建物の方がすっかりなくなっているようです。平成11年の1月や2月のことなので、15年前と言うことにもなりそうです。

西宅建の建物をGoogleマップで探したのは今回が初めてではありません。ある程度の範囲は絞り込めているので、その周辺はもれなく目を通していると思うのですが、建物自体が土台からなくなっていることは間違いないと思います。

気になるのはその周辺に鉄塔のようなものがあったはずなのですが、Googleマップでははっきりそれらしいものを確認できませんでした。近くのテレビ金沢の建物にあるのが、その鉄塔なのかもしれません。

西宅建の近くに鉄塔があることについては私自身、意識したことはなかったのですが、被告訴人KYNが「あの鉄塔の近くにある詐欺師みたいな不動産屋やろ」というようなことを私に投げつけたことで、そういえば近くに鉄塔があったような気がするとその時は頭の中で考えていたのです。

当時はいろいろあってので、そんなこともすぐに忘れていたのか、その後も西宅建の建物には行っていたと思いますが、どこに鉄塔が見えるのかと、辺りを見渡したような憶えはありません。

被告訴人KYNに鉄塔と言われたとき、私は南新保に近い西念の辺りを思いだしていました。そこには昭和59年頃から大きな鉄塔が見えていたのですが、周囲に法務局などの大きな建物も建って、鉄塔自体はそれほど目立たなくなっていたと思います。

その鉄塔の近くには金沢市場輸送の寮と聞く、一軒家もありました。一度はその中に入ってことがありましたが、誰と一緒に誰を訪ねていったのかなどは憶えていません。昼に行きましたし、何か会社の方で、用事を頼まれてそこに行ったような気もします。

部屋の中に座ってくつろいだという記憶も全くないので、やはり何かの用事で行ったのだと思います。着の身着のままというか、寝泊まりするのに最低限の物しか置いてないような光景を見たようにも記憶しています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月08日

被告訴人KYNが西宅建と鉄塔の話をしたのは平成11年の2月だったと思います。なんとなく1月の下旬だったという気もするのですが、だとすると私が被告訴人OKNの指示で西宅建の仕事を手伝った前になるのかもしれません。もっともメインはN・K興産株式会社です。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月09日

リアルタイムの発信を優先しているので土日は控えめにはと思っていたけど、なんか休日みたいになってしまいました。けっこう充実した収穫があり、充電できたとも考えています。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月10日

平成11年の初め、まだ多くが正月休みだったと思われる1月5日ぐらいではなかったかと思います、被告訴人KYNの会社を解雇されたはずの私が、安原工業団地付近のS設備との合同の新年会に参加していました。場所はテルメです。サウナ客と同じ宿泊でした。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月11日

二日続けて一行だけの記述になってしまいました。PC遠隔操作事件の佐藤博史弁護士のことで考える時間も多く、ツイートもしていたのですが、それもそれなりに咀嚼する時間が無駄ではなかったかなとは思います。足利事件に対する新たな発見もありました。

しばらくは平成11年の1月から2月頃のことを中心に書いていこうと思っています。やはりこれも記憶がはっきりしない部分があります。平成4年当時に比べればまだ記憶が新しいという感覚はあるのですが、それでも15年の歳月ということになりそうです。

そういうことを考えると改めて被告訴人OKNと被告訴人KYNの果たした役割の大きさ、影響力を重く見なければならず、、また当然に彼らと木梨松嗣弁護士の関係こそが、事案の真相解明と刑罰法令の妥当な適用において、不可欠の事実であると考えます。

これには一連の流れがありました。当初積極的に関わってきたのは被告訴人KYNでした。そういう役柄を託され引き受けていたのだと思いますが、思うように私を動かすことが出来ず、しびれを切らしたように登場したのが被告訴人OKNでした。

それは私が市場急配センターの二階事務所で被告訴人MHK社長と労務の担当者として話を聞いておく必要があるともその場で言った堂野さんの二人と面談した平成11年11月の20日頃を、節目とした動きとして事後的になりますが、捉えることができる変化でした。

その11月20日の面談というか会見についても説明はあとまわしにしたいと思います。そういう事実があったという中身より、周囲の前後の動きとの関連性の方が、重要であり意味のある事実であると私は考えるからです。

資料写真／被告訴人OKNが事務所と言った西宅建の小屋・ストリートビュー／告 訴状の資料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/03/okn.html>

先ほど初めてGoogleのストリートビューを使って金沢市桂町周辺を調べてみたのですが、意外なことに問題の建物がほぼ平成11年当時に近い状態で写っているものを発見しました。周辺の事情を含めまとめたものをリンクとして記事にしたのが上記のエントリとURLです。

前々から時々使っている手法ですが、パソコンの画面をそのままキャプチャーしています。ここには閲覧の日時や記録時のパソコンの使用状況も記録されています。一般的なパソコンの画面とは違っているかと思いますが、Linuxを使っているからです。

キャプチャーはスクリーンショットと呼ばれることの方が多いかもしれません。方法は色々あると思いますが、私はjavaで作った自作のプログラムを使用することが多いです。同時にファイル名に年月日と時間が含まれるようにもしています。

だいぶん前に本書で既に説明済みかもしれませんが、PicasaウェブアルバムにもAPIを使って自動的にアルバムを作成しファイルをアップロードするようにしています。Twitterなどもそうですが、APIが公開されていると、外部のプログラムからの操作が可能になります。

幸いなことに同じGoogleのサービスでもPicasaウェブアルバムは充実した機能のAPIが提供されています。ちなみにGoogle+は書き込みのAPIが提供されておらず、アップロードのようなことも出来ないみたいです。

GoogleのブログサービスであるBloggerにもAPIIを使って投稿しています。これは処理が自動化できて便利と言うだけではなく、パソコン内のデータとWebサービス上のデータを同じように管理することが出来るようになります。

Picasaウェブアルバムではアップロードしたファイルのファイル名もそのまま情報として保持されるのですが普通には表示されないという難点がありました。APIでは説明の部分にパソコンのファイル名を情報として加えるようにもしています。

Googleのサービスを含め、個別の記事というかエントリは出来るだけGoogle+ページにまとめるようにしています。自分自身で作成した記事でも時間が経つと探すのに手間取り、馬鹿にならないだけ労力を使い時間も無駄にすると言う経験をしてきたので、検察技術に長けたサービスを活用します。

なお、リンクを記事にしたBloggerのブログでは、リンクとしてスライドショーを使うようにしています。Picasaウェブアルバムの写真を見るには右下のPicasaのマークをクリックして出てきたAlbumのリンクを開く必要があります。

スライドショーには矢印のボタンもついているので、全体を把握しやすく作業の手間も省けると思い、そちらを優先的に使うようにしました。写真を拡大してしっかり見るときはPicasaウェブアルバムですが、ファイルをダウンロードしてから画像ビューのソフトで見た方が便利かと思います。

マイ フォト>資料写真／Nテックの事務所・西宅建株式会社の小屋／告訴状の資 料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post.html>

上記は以前に作成していたものでした。URLをみると先月に作成した記事のようですが、それさえはっきりとは記憶していない状態になっていました。

なお、この「Nテックの事務所・西宅建株式会社の小屋」というアルバムに含まれている写真ファイルには問題が含まれています。ファイル作成のタイムスタンプの問題です。

画像データ生成日時 2003:02:27 17:22:42　←　このような情報を保持していますが、これはファイルのコピー時に書き換えられたというか新たに生成された情報の可能性が高いように思います。

まず私は仏の人より遙かにパソコン環境の基本ソフト（OS)そのものを入れ替える頻度が高いです。基本的に半年に一度はシステムをまっさらの状態にクリーンインストールしています。

ファイルのコピーの時も元のファイルが保持していた情報をなるべく引き継ぐというコマンドのオプションもあるのですが、以前は余り意識せずに使っていましたし、変に前の情報を引き継ぐのもそれはそれで問題が出るかもしれないと考えていました。

そういうこともあるので私は画像ファイルはファイルの作成時に撮影日時をファイル名に付加するように心掛けています。

デジカメの写真ファイルはExif情報を持っているので、自作のプログラムでその撮影日時を取得して、それを含めたファイル名に置き換えるという処理も行うようにしています。プログラムと言っても手作業を伴うので、必ず実行しているわりません。

また、プログラムといってもその実態は、スクリプト言語によるスクリプトファイルを使っています。Ruby、Perl、Python、Bashなどです。Linuxだとこういうプログラム言語の活用が容易になる環境です。スクリプトは台本の意味ですが、一般的な総称としてプログラムとも書きます。

私がLinuxを使う理由は他にもありますが、EmacsやVimというエディタは、長年慣れ親しんできたもので手放せません。プログラムの開発に使用されることが多いだけではなく、プログラムを使ったカスタマイズも出来ます。EmacsだとEmacs-Lispという言語です。

ブログでもWordPressへの投稿にはVimのプラグインを使い、それを外部のコマンドから呼び出すかたちで使っています。いろいろな場面でそのような独自の使い方をしているので、特性を活かした利用も心掛けています。

本来、メインに投稿しているのはWordPressのブログですが、これはレンタルの個人サーバなので、アクセス数が増えた場合、障害が起こることは目に見えています。しかし、これだと自分が管理するサーバから、MySQLのデータベースとしてデータを取得することも出来ます。

WordPressの投稿に使っているVimのプラグインでは本来ヘッダーと言われる特別な情報の部分があります。そこにブログの記事のタイトル名、カテゴリー、タグの情報も記載されていますが、投稿が成功した際、記事のIDを取得できるようになっています。

この仕組みは他の部分でも利用してきたのですが、とにかく記事を一意に識別できるIDが利用できるわけです。パソコンでは一つの投稿記事を一つのファイルとして保存しています。

同じファイルの内容を最低限、WordPressとBloggerの二つのブログにほぼ同時に投稿するようにしています。コマンドラインからの操作になりますが、Linuxでは端末（ターミナル）からの作業が多いです。コマンドは補完も出来ますし、履歴から呼び出すことも出来ます。

Bloggerの投稿も基本的にはAPIを使っています。だいぶん前に作ったので仕様についてはよく憶えていない部分もあるのですが、こちらではヘッダの部分を冒頭に記載するようにしています。

先ほどのご紹介記事、マイ フォト>資料写真／Nテックの事務所・西宅建株式会社の小屋／告訴状の資 料 <http://hirono2013kk.blogspot.jp/2014/02/blog-post.html> を例に説明をします。

他はさほど重要でもないのですが、「"StrID : 4904」という行の部分がWordPressでのデータのIDになります。言ってみればBloggerの記事は原本ではなく、実質を伴った複製のようなものになります。個人サーバのデータベースにもこの情報が記録されているはずです。

なお、WordPressではカテゴリーとタグを使っていますがBloggerではどちらもない機能で、中間的な機能としてラベルというものがあって、そのラベルにWordPressのタグの内容を使うようにプログラムをしています。この辺りは参考例も乏しくオリジナルの部分が大きいと思います。

Linuxだと次のようなコマンドの使い方でファイルを探し出すことも出来ます。→　% grep -r '^"StrID : 4904' ./\*

％はコマンドのプロンプトです。もともとFreeBSDが好きだったのでCシェル系の％を使うにしています。一つだけ正規表現を含めていますが、コマンドのオプション指定はしていないので、有効になっているのかはわからないですが、目的の結果は得られました。

./c投稿済み/201402110703.txt:"StrID : 4904　←　相対パスになっていますが、コマンドの実行結果そのものです。

本書の資料データに対応したファイルの作成を始めた当初は、記事のタイトルの一部をファイル名に使うようにしていたのですが、なにかと不都合が多すぎて、このようにファイルの作成日時をファイル名に使うように変更しました。

まずファイル名に意味の通じる文字列を使った場合、問題になるのはファイル名の長さです。制約があります。ファイル名だけでなく、絶対パスの文字数も制約が及ぶと聞いています。LinuxとWindowsでは多少の違いもあるはずですが、後で問題が出た場合、修正するのも大変です。

特にプログラムを使ってあちこちに処理を行うとそれだけ修正の箇所も増えることになります。

ファイルに含まれる特殊文字の問題もあります。半角の記号の多くは使えないか使わない方がよい文字ですが、自動でエスケープが出来る場面だと使えることが多いです。よくあるのが半角のスペースですが、Windowsの環境ではフォルダ名に普通に使われています。

ブログの仕様によっても特殊文字は問題を起こすことが珍しくありません。半角の：（コロン）などその典型でしたが、問題を起こす文字は問題を起こす場面で自動的に全角文字に変換するようにもしています。

厳密に言えば一文字でも違えば検索がうまく行かないはずですが、Web上の検索サービスであれば、うまく対応される場面もあるかとは思います。

しかしながら、私個人の経験としてはブログの検索機能というのは精度がずいぶんと悪く感じられたり、結果の情報量が多すぎて、ほとんど使い物にならないと思っていました。それもあってパソコンのデータとして探せる工夫もしてきました。

インターネットで検索をしていて一番便利で効率がよいと感じたのはTwitterでした。それもあってTwitterを積極的に活用するようになりました。正確にはTwitter自身の検索機能ではなく、Twilogというサービスです。これはいろいろな面でよくできています。

廣野秀樹(@hirono\_hideki) - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki> ←　こちらが私がメインで使っているTwitterアカウントのTwilogです。

Twilogはカウントが自分で登録しないと、普通には使えません。直近のツイートであれば登録のあるなしに関わらず、見れていたように思います。URLで違っているのはアカウント名の部分だけです。正確にはスクリーンネームかもしれません。私の場合はhironohidekiです。

画面右上に検索窓があるので、「珠洲警察署　電話」と検索すると、二つのキーワードを同時に含むツイートが列挙されます。これはメモとしても非常に便利なのですが、こういうTwitterの使い方を評価するものは、不思議と見かけていません。

<http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=%E7%8F%A0%E6%B4%B2%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E7%BD%B2%E3%80%80%E9%9B%BB%E8%A9%B1&ao=a>

上記が検察情報を含んだURLです。日本語の部分はURLエンコードの処理がなされ記号の羅列になっています。「?word=珠洲警察署　電話&ao=a」がリクエストパラメータの部分です。変数と値という書式になっています。

このTwilogの検索結果を見ると私が珠洲警察署に電話をしたのは昨年の12月30日が最後で、今年はまだしていないことになりそうですが、正直なところ、自分でも今年になって掛けているか掛けていないかはっきりわかっていないのです。私が記録したものだけが対象になるからです。

私自身、Linuxのクリーンインストールをやるたび決まってやるのが、「ctrl space」という検索ですが、システム側でCtrl+Spcaceのキーバインドを無効にし、Emacsでマークの記録のキーとして使えるようにするものです。他で調べると時間も掛かりますので、効率的です。

とは言ってもTwitterは140文字の制限があるので、情報の単位としては細分化されすぎて、ふさわしくない場面も多々あります。本来的にはリンクの紹介としての利用が多いと思いますが、コミュニケーションの取りやすいツールでもあります。

Twitterの方は利用者も多く、社会的な認知もすっかり定着していると思いますが、癖の強いサービスでもあり、自分でそれもかなり使い込んでいないと、理解できない部分が多いかとも思います。

#### 平成4年の控訴審公判において初めて会った被害者の父親と兄　2014年03月12日

#### 「写真資料＞ 一件記録・写真／2014年作成／平成7年7月27日付損害賠 償事件判決＿金沢地方裁判所裁判官古川龍一」について　2014年9月4日

<2014-09-04 木 20:00> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

時刻は9月4日20時00分になったところです。14時過ぎから出かけていて家には19時半前に戻ったのですが、パソコンをつけてまもなく、大きな手違いをやっていたことに気が付きました。

どういう手違いかというとまずは、次の写真付きブログエントリーを公開しました。

こちら→　2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 写真資料＞ 一件記録・写真／H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良.html <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/09/h05html.html>

ファイル名には「H07-07-27判決金沢地方裁判所民事部A係15.jpg」というふうに連番を振っていたのですが、一部で間違いがあることに気が付きました。

修正するのもどうかと思ったので、デジカメで撮影し直すことにしました。普段のデジカメの設定は16対9という横長の縦横比にしています。横長だと書面の撮影で無駄になる部分が多く出るので、4対3の縦横比に設定し直すことにしました。

しかし、いくら設定を見直しても4対3の設定項目はなぜかみつからず、手間取っていました。以前は見たはずの設定項目で、説明書のPDFファイルも調べたのですが見つけることが出来ず、最終的には「おまかせモード」というようなものを選択することで目的通りの縦横比にすることが出来ました。

ちょうど正午過ぎから13時ころの時間帯でした。ようやく4対3の縦横比で撮影が出来たものの、一枚だけピンぼけだったので、撮り直してファイル名をコピーしなおしたのですが、連番付きのファイル名変換スクリプトを実行したところ、撮影時刻の関係で順番がおかしくなり、手作業で修正しました。

以前のファイルを使って投稿したものは11時39分という投稿時刻になっていました。新たに撮り直して新しいエントリーとして投稿したものは13時56分という投稿時刻になっています。

朝はヨーグルトの小さいのを一つ食べただけだったので、お腹も減っていたのですが、昼食の時間が遅くなったまま買い物に出かけました。本当は生サンマが食べたいと思ってそれを買うつもりで出掛けたのです。

久しぶりに知り合いのお店に立ち寄って顔を出したのですが、イカ釣りの話などで長居をすることになりました。途中から昼食は抜きにして、夕食にするつもりでいました。

宇出津新港のどんたく宇出津店に向かったのですが、これも久しぶりに宇出津新港の堤防を見に立ち寄りました。ここでも顔見知りの人がアジ釣りをしていたので、かなり長い時間それを見物していました。

そのうち18時を過ぎて暗くなってくると、急に風が強くなりだし、そのうち雨が降ってきました。急いでどんたく宇出津店に行ったのですが、どうも生サンマの色が白っぽくなって鮮度が悪そうになっていて、他にもこれはと思う商品がなかったので、何も買わずに店を出て、Aコープ能都店に向かいました。

Aコープ能都店の方でも生サンマの方は鮮度が良さそうに見えなかったので、結局、半額になっていたホッケの串焼きなどを買ってきました。家に戻ったのは19時20分過ぎだと思います。

パソコンをつけて真っ先にやったことはアメーバピグの収穫でした。よくあることです。それで出かける前に投稿したブログのアクセス数がどれだけ増えているかと思い、タブで開いてきたページを再読み込みしました。

そこで初めて気がついたことが、思わぬ大きな手違いなのですが、被害者の実名を塗りつぶす処理をしないまま、撮影したままの写真をPicasaウェブアルバムにアップロードしてそのまま使っていたのです。

初めは写真ファイルの非公開設定を考えました。そのあとにPicasaウェブアルバムのサイト上での編集で、塗りつぶしの処理をすることを考えたのですが、画像の補正等の処理以外は出来なさそうでした。

意図せず、たまたまそうなったのですが、よくよく考えてみると、その方がいいかなと思うようになりました。

手違いに気がついて、少しした頃のスクリーンショットが次の写真付きツイートです。5分も経っていないと思います。記録にしたかったのはブログパーツによるアクセス数です。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/04 19:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/507480988721496065> 2014-09-04-195051ところで、泥棒神社は弁護士界の　歴史的実態ではないかと思っています。.jpg <http://t.co/VPO1Y0D9vH>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/04 19:48 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/507480428953890816> 2014-09-04-194846卑弥呼かよ　RT.jpg <http://t.co/Blf1gisqna>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/04 19:31 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/507476049219682304> 2014-09-04-1931212014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版.jpg <http://t.co/JDbRlKcEqP>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/04 13:39 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/507387464470630401> 平成7年7月27日付損害賠償事件判決＿金沢地方裁判所裁判官古川龍一15.jpg <http://t.co/He1t0N1I3d>

上記で直近の4件の写真付きツイートをご紹介しました。アクセスカウンターのあるのは3件目のツイートで、19時31分の投稿時刻であることが確認できます。

アクセスカウンターは695件になっていますが、14時過ぎに出かける前は675件ぐらいだったと思います。20件ほど増えたことになるかと思いますが、問題の有りそうな手違いをした割りには、ほとんどないような乏しい反応という分析も出来るかと思いました。

被害者の実名を出してしまったことは、もともと2009年の9月の初め頃までずっと当たり前にやっていたことなので、さほどでもないかと思いましたが、住所や番地までそのままになっているのは、さすがにまずいかと思いました。

しかし、それも周囲の監視の目を強くするという点でも、管轄である金沢中警察署の警備体制の強化を促す点でも、かえって良いことではと思えてきました。

被告発人・被告訴人には、当時の市場急配センターの社長であった被告訴人松平日出男や同じく被害者の上司であった被告訴人池田宏美や被告訴人梅野博之も含まれており、被害者の住所をしる資料も持っている可能性があるかと思います。

事件のキーマンである被告訴人大網健二も、謝罪のため私の母親を連れて被害者の自宅まで訪問したと聞いておりましたし、被告訴人大網健二が住んでいた金沢市円光寺というのは、被害者の自宅に近い場所でした。家の場所はよくよく知っているはずです。

被告訴人大網健二と被告訴人大網周一の兄弟の父親が起こした二人の少年の殺人事件でも、その父親は殺人事件が大々的に報道された後に、美川の被害者の自宅で縁の下に入って、放火未遂を起こしたと、新聞の報道で知っております。

普通に考えて、何かの証拠になりそうなものの存在をなくすために、放火をやったとした考えられないところですが、裁判自体はごく単純な動機による事件として処理され、検察の死刑求刑も無期懲役となって、検察の上告断念で判決が確定しました。

時刻は9月5日7時21分になっています。ツイッターの投稿を確認したところ、昨夜の21時6分から中断していたことになりそうです。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-09-05 金 07:22> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 「写真資料＞ 一件記録・写真／2014年作成／平成7年7月27日付損害賠 償事件判決＿金沢地方裁判所裁判官古川龍一」について　2014年9月5日

<2014-09-05 金 07:24> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜は久しぶりにテレビと電気をつけたまま、横になって寝ていました。深夜1時を過ぎたころもテレビを見ていたことは憶えていますが、ちょっとした気の緩みでいつの間にか寝てしまっていたようです。

5時過ぎにテレビの音で目が覚めたのですが、もう一度眠ろうと思ったものの眠れず、7時過ぎになって布団から出てきました。

7時に能登町役場から音楽が流れるのはお決まりなのですが、2年ほど前からだと思いますが、四季ごとに曲が変わるようになりました。起きていてもテレビをつけていれば曲が聞こえることはないのですが、布団に入っていたので聴こえてきました。

「照る山紅葉」という歌詞が含まれるお馴染みの曲だったのですが、朝の音楽にしては違和感を感じました。それで先ほどネットで調べたのですが、やはり曲の出だしが、「秋の夕日に照る山もみじ」となっており、午後や晩秋をイメージさせる曲です。

私がずっと宇出津に住んでいた二十歳前の頃だったと思いますが、当時は朝の6時に音楽が流れ、ずっとずっと同じ曲でした。海や朝日をイメージさせる曲というかメロディでしたが、他にそのメロディの曲を耳にする機会は一度もなく、曲名も何もわかりません。

私が福井刑務所から出てきて宇出津に住まいを始めた頃には、音楽の時間が7時になっていて、7時と12時と18時にそれぞれ、音楽が流れていましたが、曲はずっと同じだったように思います。

2010年の12月の20日頃から小木港にアジ釣りに行くようになり、7時の音楽を聞くようになったのですが、その頃から小木では宇出津と違い、四季ごとに音楽が変わっていました。

朝の音楽といえば、拘置所や刑務所の生活でもお決まりでした。金沢刑務所の場合は拘置所も同じですが、ひと月ごとに音楽が変わっていました。ハワイアンのような音楽など多彩でしたが、四季にあったものが多かったとも思います。

朝の音楽は起床の合図でもありましたが、点呼が始まるまで15分ぐらい音楽が流れ続けていたように思いますし、その間、4,5曲の音楽があったように思います。

福井刑務所の方でもたぶん毎朝音楽が流れていたと思うのですが、どんな曲だったのかもさっぱり思い出せなくなっています。

福井刑務所の場合、未だ印象に強く残っているのは21時の消灯前、5分ほど流れる音楽でした。金沢刑務所も同じように曲が流れていましたが、曲は就寝時もひと月ごとに変わっていたように思います。

福井刑務所ではずっと同じ曲でしたし、終わりにとても暗い感じの女の人の声でおやすみのあいさつが含まれていました。

福井刑務所にいたのは平成6年3月17日から平成9年1月18日まででした。その間、一日も欠かさず、就寝時にはその曲を聴いていたことになるかと思います。

以前はテレビなどでもたまに耳にすることのある曲というかメロディでしたが、ここ数年はまったく耳にしていないと思います。その曲は何かの機会に、曲名を知ることが出来ました。小さい頃の昭和40年台にも耳にしていたような曲です。

8時4分ぐらいから気がついてテレビをつけていたのですが、NHK連続小説ドラマ「花子とアン」で、太平洋戦争突入の臨時ニュースがありました。ドラマの話ですが、戦後のレジームと弁護士の沿革、歴史と重ねて思いを馳せるところがあります。

福井刑務所の就寝時に流れていた曲です。→　シバの女王　レーモン・ルフェーブル La Reine de Saba - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=uoJ-aZeygiU>

一度福井刑務所に入ってから満期出所するまで、建物の外に出たことは一度もなかったのですが、例外に近いことが一度あり、それも昨日にわかに私の中でクローズアップした長谷川紘之弁護士との関連性がありました。

まずは昨日の続きからご説明を始めたいと思います。一昨日かあるいはその前の日になるかと思いますが、久しぶりにBloggerのブログでPicasaウェブアルバムの写真ファイルを読み込んでみたのがきっかけでした。

写真ファイルの挿入や表示と言っても、その実質はHTMLのソースコードの取得になります。一度に複数の写真ファイルを挿入できることに気がついたので、それを利用するスクリプトの作成を考えました。

HTMLのソースコードに日本語のファイル名が、URLエンコードしたかたちで含まれていたので、それをURLデコードして使うことも考えたのですが、Twitterでの反応や指摘を期待して、同じ写真ファイルをTwitterに投稿して、それと連携させることにしました。

言葉で十分な説明をすることは不可能にも近いと考えているので、今回もパソコンの操作画面を記録したキャプチャ動画を、YouTubeに投稿することにしました。10分ちょっとの再生時間になっていますが、次のYouTube動画です。

BloggerのPicasaウェブアルバムとの連携とTwitterの写真付きツイートを利用したスクリプトの処理とブログへの投稿と閲覧のご紹介＿2014年09月04日11時42分27秒.mp4 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=KPXYDOincag&feature=youtu.be>

これからになりますが、写真撮影した書面の部分を指摘しながらご説明をしていく予定です。

アップロードが完了してから確認を兼ねて再生をながめていたのですが、そこで初めてファイル名の連番と内容に齟齬があることに気が付きました。6番目にあるはずのものが最後の15番目のものと入れ違っているような感じだったと思います。

スクリプトを使って自動で処理をしていたのだと思いますが、撮り直しで撮影日時のExif情報に食い違いのあるものを、気が付かずに使っていたのだと思われます。

現在使っているデジカメは、今確認したところ2012年9月9日の夕方遅くに、穴水の100満ボルト穴水店で買ったものです。次のPicasaウェブアルバムで確認しました。

2012-09／能登空港航空祭-琴ヶ浜-能登金剛 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/201209#>

スクーターのバイクで能登金剛や旧福浦灯台まで行った帰り、立ち寄った電化店でなかば衝動買いをしたのですが、ピンぼけせずに書面の撮影をするのが一番の目的でした。

ただ、実際はそれ以前のデジカメで撮影した書面の写真ファイルを使っているのがほとんどかと思います。

供述調書などまとめて2,30枚の撮影をすることも多かったのですが、古いデジカメでは写真がボケて撮り直しをすることが多く、その過程で間違いが生じることも危惧していました。

現在はどうかわかりませんが、供述調書や判決書ではページ番号がふられておらず、ページにまたがる文章で判断するほかはなかったからです。

古いデジカメでは日光が弱いとピンぼけしやすかったのですが、それで明るい場所を選んで撮影をすると、一部日光が反射して、文字が判別しにくくなるということもありました。

巌門は能登半島で一番有名な景勝地かもしれません。能登金剛とも呼ばれているようです。同じ能登半島でもまるっきり反対側になるので、滅多に行くことはないし、今までに行った回数というのも少ないと思います。

巌門の場合も国道沿いではなかったと思いますが、以前は羽咋郡富来町になっていたと思います。数年前に羽咋郡志賀町に合併されていると思いますが、テレビでたまたま見た情報なので、よくはわかっていません。

富来町 (石川県) - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AF%8C%E6%9D%A5%E7%94%BA_(%E7%9F%B3%E5%B7%9D%E7%9C%8C)>

上記のページに「2005年（平成17年）9月1日に、志賀町と新設合併して新しい志賀町となり、自治体としては消滅した。」という情報がありました。

バイクで行った時は、次の能登中核工場団地の入り口の場所まで行きました。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/05 09:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/507694472864362497> 能登空港航空祭-琴ヶ浜-能登金剛2012年09月09日17時10分57秒.jpg <http://t.co/55cRRIqsvU>

能登中核工場団地は、志賀町の工業団地と呼ぶことが多かったと思いますが、平成14年の11月の下旬から一年半ぐらい通ったように思います。既に本書で書いていると思いますが、人材派遣の仕事で羽咋市の派遣会社の寮であるアパートから通っていました。

時期がはっきり思い出せないのですが、2004年には派遣先が、志賀町の別の電子部品の工場になっていました。時期を確認できるのは次の情報です。

スマトラ島沖地震 (2004年) - Wikipedia <http://bit.ly/1uCxH8G>

その地震と大津波の報道があった翌日か翌々日には、その志賀町の工場での仕事も終わりになったのですが、どれぐらいいたのかはっきり思い出せません。たぶん3ヶ月ぐらいだったと思うので、その年（平成16年）の9月ころまでは、志賀町の工業団地の方に通っていたように思います。

今調べてわかったのですが、どうも今年の3月に閉鎖になったようです。次の情報です。

志賀の古河電工子会社工場閉鎖へ　３月末　 - 石川のニュース - 都道府県別 - 47NEWS（よんななニュース） <http://www.47news.jp/localnews/ishikawa/2014/01/post_20140116040200.html>

「アクセスケーブル」という社名になっていましたが、茨城県の古河市に本社があるようなことは聞いていましたし、茨城県の方から単身赴任しているような社員の人もいました。

また、悪い癖が出て項目のタイトル名から外れた方向に進んでしまいましたが、アクセスケーブル株式会社に通っていた頃は、よく御庁つまり金沢地方検察庁に電話をしていました。担当者は天山さんの次の二人目で、タウエさんだったと思います。

田上という漢字になりそうですが、漢字の確認はしておらず、田植という可能性も否定は出来ないと思います。

ちなみに金沢市には田上と書いて「たがみ」という地名というか町名がありますが、田上といえば金沢刑務所の代名詞にもなっているかと思います。住所も金沢市田上公一番地になっていました。

先ほどの能登中核工場団地の入り口の写真は、金沢市方面の羽咋市から来る方とは、反対側の出入口になります。以前はちょうどその辺りにここから富来町というような道路標識の看板があったと記憶しています。

通勤とは反対側の出入口だったので滅多に行くことはなかったのですが、昼休み時間にそちらの富来町に入った辺りまで車で行って、そこから金沢地方検察庁のタウエさんに電話をして話したことなど印象的に記憶しています。

その富来町に入った辺りの国道沿いにはガソリンスタンドもあったのですが、すっかりと廃墟となり草が生い茂っていたのも月日の流れを感じさせる印象的な光景でした。

タウエさんには私が提出した書面で、とてもいいと思うところがある、と言われながら、どの部分なのか具体的に教えてもらえなかったことも、とても印象深いことの一つで、その後にも大きな影響を受けてきたと思います。

当時は謎かけ問答の答えを考える余裕もなかったと思いますが、今はいつ提出した正面のことなのかもわからなくなっています。あるいはそこに弁護士に対する不信と問題性が、指し示されていたのかもしれませんが、全く気が付かなかったと言えます。

能登中核工場団地というか志賀町の工業団地に感しては、もうひとつ触れておきたいことがあるのですが、全国的にも有名な志賀町原発の敷地内に、ビニール溶接の講習を受けに行った話です。

時刻は9月8日6時56分になっています。中断をしていましたが、新たなテーマで一つ書いておきたいことが出てきたので、そちらを先にしたいと思います。

<2014-09-08 月 06:58> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 「弁護士会に会員の監督義務はあるが、今回、法的な違反はない。原告の独自の見解だ」という福岡弁護士会の対応にみる金沢弁護士会の責任　2014年9月8日

<2014-09-13 土 10:20> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

時刻は9月13日10時20分になっています。9月8日の日に見出しを書いたまま中断をしていました。いろいろと考えていたのですが、他に優先すべきことがあるので、続きはまたの機会にしたいと思います。とりあえず、取り上げないと思ったページを次にご紹介しておきます。

高橋浩文元弁護士の詐欺横領被害者が福岡県弁護士会を提訴した1回目の裁判 - 弁護士と闘う - Yahoo!ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/nb_ichii/34981480.html>

<2014-09-13 土 10:24> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月13日 POST

<2014-09-13 土 10:41> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

先日、「写真資料＞ 一件記録・写真／2014年作成／平成7年7月27日付損害賠 償事件判決＿金沢地方裁判所裁判官古川龍一」という写真資料を写真の撮り直しで新たに作成したところ、その作業で一部内容が目に入りました。

それまでの予定だと木梨松嗣弁護士が有無をいわさず実施させた山口成良金沢大学教授による精神鑑定書の内容について問題点を指摘するつもりでいました。

被告訴人である木梨松嗣弁護士に焦点を当てる以上、そういう順番で考えていたのですが、改めて思ったのは事実関係を無視し、侮蔑的挑発的としか理解のしようがない長谷川紘之弁護士の対応の異常性です。まずその異常性を紐解かなければ、衆人の理解も無理があると考えるようになりました。

写真資料としては新たに次のブログの記事にまとめました。問題の重大性に鑑み、あえて手を加えず、そのままの状態で公開しました。

2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 2014-09-13写真資料＞ 一件記録・写真／2014年作成／訴状 原告訴 訟代理人 弁護士 長谷川紘之 平成6年7月5日付 金沢地方裁判所御中.html <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/09/2014-09-13-2014-675-html.html>

Twitterの方では文字数オーバーになったので、ブログ名の方を削除しました。

記事のタイトル名にhtmlという拡張子を加えているのは、画像を表示するためのhtmlタグを含んでいるという意味です。本書においては極力、htmlタグは含めない方針です。

htmlタグを含めると文章が読みづらくなるだけでなく、特殊記号が別の場面で意図せぬ働きをして問題を起こす可能性があるからです。

本書においてはhtmlタグを使わないので、画像というか写真ファイルそのものを特定することは出来ませんが、ブログの記事の方で合わせて掲載しているTwitterの写真付きツイートで、対象を指し示しながら説明をしていきたいと思います。

私自身目を通すのは数年ぶりですが、訴状という書面の内容に目を通しながら、まずは特に指摘をしておきたい部分を押さえておこうと思います。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー 一件記録・写真/2014年作成/訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510586915817410560> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中01.jpg <http://t.co/y7PHB7Ea5F>

あらためてみると3810万円余の請求金額となっています。判決の認容額の方は確認はしていないものの私の記憶では3600万円台になっていたかと思います。印紙代が17万円余というのは、初めて見た時から印象に残っていました。現在は印紙代の額も当時とは違っているものと思います。

送達場所が福井刑務所になっていますが、確かにこの訴状という書面を受け取ったのは福井刑務所に間違いはないですが、今気がついたことに平成6年7月5日付の訴状が、私の手に渡ったのはその年の11月の上旬ではないかということです。

本書で何度か説明を書いてきたと思いますが、いきなり民事裁判の書類が届いたと言われ、房内で所持閲覧をするには、雑居房から独居房に移る必要があると条件をつけられたことで、それが11月に入ってからのことでした。

今、calというカレンダーのコマンドで確認をしたのですが、1994年11月の第一土曜日は5日、同じく日曜日は6日になっています。土日や祭日で刑務作業のない日のことを、免業日と呼びます。

当然ながら免業日は刑務作業のある人は時間割が違います。その一つに昼食後に午睡という時間がありました。布団を敷いて横になれる昼寝も出来る時間ですが、昼寝をする人もいるぐらいなので、起きていても静かにしていなければいけない時間でした。

免業日の午睡の時間は、金沢刑務所では2時間あったのですが、福井刑務所では1時間でした。時間も短かったので、私は昼寝をすることもほとんどなかったのですが、福井刑務所ではその昼寝の時間を格別楽しみにする受刑者も多いという感じでした。

その日はよく晴れた日差しの明るい午後だったのですが、かなり肌寒さを感じ、もう11月に入ったのだと思っていたのですが、同じ雑居房の受刑者には、パジャマを着て毛布と布団をしっかりと首元までかぶる受刑者がいる一方。

シャツとパンツの下着姿で、毛布一枚をかるくかぶる受刑者がいて、驚きました。年配の名古屋の人でしたが、心臓病の持病があるらしく、ニトロを所持しているとかで、心臓病にニトロを使うというのも、その人から話を聞いて初めて知ったことでした。

もしその免業日のことがなかったら、11月に入っていたという時期の特定も単調な刑務所の生活では難しかったかもしれません。

雑居房から独居房へは、週の終わりの方に知らせを受けてから土日の免業日を挟んで、週明けのはじめの方に移ったという記憶もありますが、独居に移ったその夜には、ビデオの録画放送があったので、月曜日ではなく火曜日か水曜日のはずです。

初めに移った独居が2階であったか3階であったか思い出せませんが、当時の福井刑務所では火曜日と木曜日に2階と4階でビデオの録画放送を流し、3階ではその翌日の水曜日と金曜日に、同じ放送をやるという妙な決まりになっていました。

1階のことはよくわからなかったです。南寮の1階は、炊場など不規則な時間帯の生活をする受刑者がいるような話を聞いたようなことはありましたし、北寮の1階は、懲罰と取り調べの独居房として使われることがほとんどだったので、普通の生活をする受刑者はいなかったはずです。

私自身、独居房の生活はほとんどが3階であったと記憶しています。それも手前から3番目ぐらいの房がほとんどでした。2階の独居には新入時の分類審査の時にいましたが、これは奥から2番目ぐらいの房でした。

すでに何度か書いていることと思いますが、独居房に移って一週間ぐらいの時に、今度は母親から郵送で、木梨松嗣弁護士から送ってきたという一件記録が差し入れられて来ました。

平成6年当時のことなので、今となっては思い出すのも困難ですが、母親の話だと、いきなり木梨松嗣弁護士から送り届けられ、刑務所の方に送ってあげたら良い、というような連絡があったような話でした。

その話は、面会の時に聞いたように思います。3ヶ月に一度の割合だったような気もしますが、母親は能登から面会に来ていました。今考えると、日帰りは難しいようにも思えます。

他に木梨松嗣弁護士から連絡を受けたという話は聞いたことはなかったですが、とても長谷川紘之弁護士の損害賠償の代理人の件と関わりのない、ただの偶然とは考えられなかったです。

その訴状を含めた裁判の資料には甲5号証というような名前もふってあったと思いますが、それらのものは長谷川紘之弁護士から私のもとに直接郵送されたものではなく、金沢地方裁判所の方から郵送されたらしいということが理解出来ました。

民事裁判というのは初めての経験で、後にも先にもなかったのでわからないことがほとんどですが、普通に民事の裁判所が、そういう手間を掛けるものなのかというのは疑問に思っていました。

民事の裁判は個人間の問題なので、裁判所が経費で事務処理をするとは考えにくかったのですが、すべてのお膳立てを長谷川紘之弁護士方でやっていて、形の上で裁判所が手続きをしたような仕組みになっているのかとも、考えはしましたが、はっきりしたことはわかりませんでした。

もうひとつ気になったのは、初めの時かどうかはわかりませんが、金沢地方裁判所の民事部からの郵送物の封筒には「A係」と書いてあることがありました。Aの部分は丸で囲んであったかもしれません。

そんなこともあったので、正式な民事裁判の手続きとは思えないところがありました。

<2014-09-14 日 11:50> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月14日 POST

<2014-09-14 日 23:52> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

まもなく日付が変わるので、明日に持ち越しです。

<2014-09-14 日 23:53> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月15日 POST

<2014-09-15 月 22:00> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日の続きになるかと思います。22時02分になっていて、夕食もまだなので本日中には少ししか書けないと思いますが、本日付の見出しの方をツイートしていたはずなので、少しは書いておきたいと思います。

今になって気がついたのですが、写真付きツイートの順番が逆順としてご紹介していたようです。これはどうもブログの記事の方も間違っていそうです。

ブログの記事やツイートの方は訂正も難しいですが、本書の方は昨日の分も修正をしました。写真付きツイートをAPIで取得すると、後の番号が先の順序になってしまうのです。スクリプトの方ではその辺りも処理しているのですが、単純には今まで気が回りませんでした。

参考までにプログラムの処理としては、「tdata=tfile.eachslice(3).toa」という処理で空行を含め3行ごとになっているデータを、3行を1件として配列に取り組んでいます。さらに「tdata.reverse!」で配列の内容を強制的に逆順にしています。

プログラムを使わず手作業では膨大の時間のかかる作業ですし、その過程においても間違いが生じやすいと思いますので、このような思い違いや修正のための処理が必要ということでご紹介しました。参考になるような情報もなく、手探りでやっている作業でもあります。

初めのデータで改行が入らないというバグを発見したので、試行錯誤で手直しを試みたのですが、「tdata.last.push("")」というのを加えることで、とりあえず問題は解決できたみたいです。データが配列の配列になるということと、改行の処理に意図せぬところがあってややこしいです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510586915817410560> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中01.jpg <http://t.co/y7PHB7Ea5F>

改めまして上記ツイートが、写真資料の一枚目になります。数日内の同じ内容になるのでツイートとしては、やはり投稿されていませんでした。これはこれまでもこの先もありがちなことだと思います。一定期間内同一内容のツイートは投稿が成功しません。

訴状の一枚目は表題部のようになっています。中身のある内容は二枚目以降になります。平成6年当時も裁判所に提出する書面はB4袋とじの縦書となっていました。現在はA4の横書きになっているはずですが、私の記憶のみで言えば、およそ平成11年以降の変更になっているはずです。

平成11年の事件の地裁判決も、元は縦書になっていたかもしれません。正確を期す必要もあるかと思うので、調べて確認してみます。

日本弁護士連合会│Japan Federation of Bar Associations：裁判文書Ａ４判化書式 <http://www.nichibenren.or.jp/contact/information/saibanbunsho.html>

上記ページによると、「平成１３年１月１日から、裁判文書のＡ判横書き化が実施されます。」とありました。つくづくインターネットは便利だと思いますが、拘置所や刑務所では人一倍不自由な思いも経験しています。その辺りがくどい説明にもなっているかもしれません。

今でも同じなのかわかりませんが、平成5年9月7日の名古屋高裁金沢支部の小島裕史裁判長の判決書を見ても、ページ番号のようなものが見当たりません。初めの一枚目が表題部のようなB5サイズ一枚になりますが、以降の袋とじの部分はそれの2枚分になるので、説明がややこしくなってしまいます。

現在ではB4用紙の袋とじというのを理解できず、想像も難しい世代が増えているように思います。なんであれ平成13年1月1日より前は、それが主流だったので、それに見合った説明も必要になるかと思います。

割印は現在でも必要かと思いますが、袋とじをするという作業も馬鹿にならない労力と時間の浪費でした。

<2014-09-16 火 00:01> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月16日 POST

<2014-09-16 火 00:04> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510587024911249409> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中02.jpg <http://t.co/DXgPmH2S5Z>

現在も同じかどうかわかりませんが、民事裁判の判決書は、請求の趣旨と請求の原因に分かれるものだと勉強していました。請求の趣旨が、刑事裁判における主文と同様に判決の結果に相当する部分で、請求の原因が結果を導く理由のような部分であったと、間違いはあるかもしれませんが私は理解しています。

その辺りも独自に勉強をしたので、心もとない部分もあるのですが、請求の趣旨に関しては、裁判で求める結果であると同時に、一事不再理のような法的効果も伴うとなにかで読んだことがありました。同一内容での訴えは繰り返しが出来ないということになるので、理解が不十分な分慎重にもなりました。

この件に関しては、ただ一度、福井刑務所の出所後に訪問をした木梨松嗣弁護士の法律事務所で、木梨松嗣弁護士に直接確認もしました。記憶がやや曖昧になっていますが、「君なら一人でやれる」というような木梨松嗣弁護士の発言もあったかと思います。

訪問の経緯に関してはよく思い出せない部分もあるのですが、けっこう同様しているような印象も受けました。私としても相手の真意と状況が読めなかったので、とりあえず、帰り際に手を握って、感謝と信頼の態度を印象づけておきました。その場の状況判断で出た行動です。

続いて、請求の原因一の１には、「訴外市場急配センター」という文言が見受けられます。これも木梨松嗣弁護士の謎かけ染みた態度と共通するものがあると、改めて思いました。わざわざ「訴外」とつけるのは、いかにも意味ありげです。

本当の目的は訴外市場急配センターの責任の追及と事案の解明であって、すべてはその目的のための手段であると、いわんばかりの思わせがあると思いますし、当時の私も理屈の上ではそのように理解し、受け入れようという努力もしました。

続く「夫々勤務していたものである」という部分が、当時は極めつけの示唆とも解釈されました。「夫々」は夫人とも夫婦とも関係があるように読めますし、「それぞれ」と読むことを知るには、まるで暗号の解読のような手間と時間がかかりました。

どうやって探しだしたのか今は思い出せないですが、ずいぶんと手間と時間のかかったことは印象的に憶えています。当時の私は明治大正時代のカタカナ混じりの判決文を調べながら読む機会も多かったので、普通は全く見かけないような漢字もかなりの程度は読めるようになっていました。

たとえば「所謂」、「序に」、「寧ろ」、「此処に」、「茲に」、「而して」などが現在でも思い出せますが、目にする機会はほとんどないものばかりです。「夫々」は、それよりさらに珍しいものでした。

当時の判決書などで用いられる文章の体裁は「文語体」と言い、それではわかりづらいので裁判員制度の合わせて、「口語体」による体裁を推奨しているような情報も見かけたことがありましたが、それにしても昭和初期以前の漢字を使うとは、専門家の慣行は知らないものの理解を超えています。

戦後の判例もかなりの数目を通していましたが、やはり「夫々」というような古典的な表現を使った例は全く見かけたことがなく、どう考えてもあざといトリックじみた仕掛け以外には考えにくいところです。まあ、インターネットが普及して専門家以外の目に触れるとは全く想定していなかったのでしょう。

「一の２」では「被告は、かねてから原告に好意を抱いて交際を求めていたが、原告から断れていたものである。」という記載があるので、原告代理人という立場の発言で見ると、当事者としてもそれ以外の解釈の余地はないような、衝撃的な事実の明示でした。

全体的に見ると、私自身が認めるかたちになってしまった金沢西警察署の調書や確定判決の事実認定を指し示しただけという風にも見えなくはなく、そういう理解も出来なくはなかったのですが、言葉の持つ暴力性の方が、当時の私にははるかに大きいダメージであり、同時に重くのしかかる謎でした。

何が謎かというと、当事者であり経験者である私自身以外にはわからない事実がほとんどかと思いますが、重要な事実が一切合切、無視され切り捨てられているのです。それは被害者の真意や気持ち、そして事実関係も同じです。

どうしてこれほどのデタラメが出来たのか、弁護士としての職業性にも目を向ける必要を感じ、私はそれをかたちにして指し示すために、多くの時間と労力を費やして来ましたし、それが未だ手違いが入り込む余地が若干はあるもののプログラムを利用した効率化としても結実したものとなっております。

他の社会、業種ではまったくあり得ないような不誠実さとデタラメぶりだと思います。不誠実という次元の話ではないと思います。人を社会を獲物のように舐め腐った超絶的なおごりと独善、利己主義のかたまりではないかと思います。

弁護士に対して常識的ふるまいのの一欠片の期待があれば理解は不可能かもしれないです。関連的に理解に資するような情報は多々見ることができますが、ストレートに的を射たものは、未だお目にかかったことがありません。

私は時折、弁護士の棲む業界のことを「泥棒神社」と比喩していますが、まさにまったくそのとおりだと、日々確信を強めることが多いです。

泥棒が奪ったものは金銭的な利益にとどまりません。人生そのもの生活そのものを奪い、まったく顧みる気配もないという現状です。また、それが普通に通用しているようなので、重ね重ねて戸惑いも増し、大きな時間の浪費にもつながってきました。

現在においても、検察、警察が弁護士らの期待通りに無視し続ければ、さらに忘却の彼方に追いやられてしまうだけの問題だという危機感のみを募らせてもおります。否定された時の自分自身に跳ね返るダメージが、自分自身にも計り知れず大きいことを、人生の大きな節目において幾度か経験して来ました。

先に進めます。「二、不法行為の１」という部分に関しては、まったく警察の調書の引用そのものと思われます。結論を先に述べると、私の反論のような主張に対しても、長谷川紘之弁護士は何一つ答弁のような対応をしておりません。

そればかりか、福井刑務所の庁舎内でおこなわれた私本人の、被告尋問とかにも、姿は見えず、当然に反論を受けるような機会もありませんでした。実質、刑事裁判の確定判決の記録のみで3千600万円とかの損害賠償判決が、古川龍一裁判官によって出されたことになります。

マスコミに司法界最大の汚点とも評された大問題の当事者となった現職の福岡高裁判事が、古川龍一裁判官その人でもあります。

本人の問題というよりは妻のストーカー事件が原因ではありましたが、そのもみ消しに奔走したような疑いが持たれ、事後の対応として世間の注目にさらされ、責任を問われることにもなったはずかと思います。弾劾裁判とかにもなったはずですが、細かいことは調べないと正確には思い出せないです。

たしか福岡高裁の前任地が金沢地方裁判所で、私の民事判決を出したのもその時だったと思います。中途半端なインターネット上の未確認情報では、ストーカー事件を起こした妻は、金沢市あるいはその近郊の医師の娘という情報もありました。

あまり信用のおけそうもない未確認のインターネット上の情報ぐらいしか、プライバシーの問題もあるので、判断の材料として得ることは出来なかったですが、私の裁判ともなにがしかの関連性のあることは、一つの可能性として思いを巡らした問題ではあります。

一方の長谷川紘之弁護士も、刑事事件に巻き込まれている事実があります。これも妻の方が主体の事件でしたが、強盗事件の被害者として新聞に報道されていました。

私自身、福井刑務所の中で同じ受刑者から聞いた話だと、同じ福井刑務所で受刑中の強盗事件の加害者が、長谷川紘之弁護士に妻に対して強姦もやっていると吹聴していたとのことです。あくまで話なので真偽は不明ですが、新聞の報道でも気になるところはありました。

近いうちに図書館での確認の必要性を考えているところでもありますが、その強盗事件の犯人は長谷川紘之弁護士の家に強盗に入る前、たしか当時の能美郡の方だったと思いますが、そこで強制わいせつ事件だったかと起こしているはずです。

確認の必要が大きいですが、私のおぼろげな記憶では、午後に長谷川紘之弁護士の家に強盗に入る当日の午前中に起こした事件であったようにも思っています。

新聞の報道では、強盗事件のあったときの長谷川紘之弁護士の家というのは、建築中の新居のための、仮住まいとなるマンションの一室ではなかったかと思います。金沢市内でも円光寺とかの近くであったという記憶も残っています。

長谷川紘之弁護士の妻が強盗の被害にあったことは、服役中であった福井刑務所で知っていました。事件のことを知ったのは長谷川紘之弁護士が自分が訴えられた民事裁判の原告代理人の弁護士であるということを知ったことの後でもあったはずです。でなければあれほどしっくりと理解はしなかったはずです。

本書でも既に何度か書いていると思いますが、受刑者の場合、読売新聞に限られてはいましたが、比較的自由に新聞の閲覧が出来、金沢刑務所と違って福井刑務所の場合は、夕食後の夜間にも居房に新聞の閲覧が回ってきました。基本は独居房でも10分程度だったと思いますが刑務官が回収に来るまでの時間。

刑務所の居房には時計はなかったですが、長い時は15分から20分以上、回収までの時間があって、気になる記事は十分に読む時間があったと思います。前にも書いたと思いますが、これは金沢刑務所との大きな違いでもありました。

出所後にも図書館の方で、その事件のことを北國新聞の縮小版で調べたことがありました。宇出津の図書館でも羽咋市の図書館でも、そのことは調べたように記憶にあります。

当時はそれほど深く関連付けて考えてもいなかったのですが、私が民事の裁判を起こされるより前の事件であることを確認したような記憶が残っています。当時は訴状が手元に来た平成6年11月を基準にして考えていたように思いますが、強盗事件はその年の6月、あるいは7月となっていたように思います。

先日の確認で意識するようになったことですが、訴状が金沢地方裁判所の民事部の提出された日付は平成6年の7月5日となっているようです。訴状を作成して提出するまではそれなりの準備の期間もあったはずなので、確認が必要だと繰り返しますが、代理人の受任をした後の事件である可能性が高そうです。

時刻は9月16日8時50分になっています。他にも写真資料は沢山あるので、どれを本書で取り上げるかも迷うところですが、少しでも先に進めたいと思います。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510587138207805440> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中03.jpg <http://t.co/blsWt5JcDX>

上記「訴状」の写真資料3枚目、「二の２」の部分になるのだと思いますが、「抗拒不能の状態であるのに乗じて、姦淫しようと企て」というくだりがあります。これは準強姦罪の構成要件の当てはめそのものと思われますが、江村正之検察官が作成した文言の丸写しであるはずです。

被疑事実が準強姦罪になっているので、プライバシーの保護が最大限に尊重あるいは優先されるケースになるのだろうと思いますし、私自身、そういうことをこれまで身をもって経験してきました。無視という反応が一番多いのかもしれません。

本書ではまだ事件当時の状況の具体的な詳しい説明はしていないように思います。

現在の私の記憶では曖昧になっていますが、二人でレストラン十字を出たのが、平成４年４月１日の19時20分から30分。金沢港の大野埠頭で致命的な大怪我を負わせ、そのまますぐに病院への救急搬送を目的に金沢西警察署に向かいました。

金石街道と呼ばれる道幅の広い道路の反対側ですが、ほぼ金沢西警察署の正面付近に自己所有の軽四輪自動車アルトワークスを停車させ、助手席に横たわる被害者に、今から警察署に入ると声を掛けました。

「俺、お前のために人生棒に振ったようなもんやな。今から警察行って、刑務所に行くかもしれんけど。最後に一つだけきくけど、本当に車停めておった覚えないがか？」などと声を掛けました。金沢西警察署の供述調書でも概ねそのように記載されていたように思いますが、しっかり確認はしていません。

彼女は不思議なほど、痛いとか、やめてとも言わず、ただ黙っていたのですが、私が声をかけると、すぐに反応し、「わたし、そんなん知らんよ。なんの話や、それ？」というような返事をしました。

走行中の車内で初めに彼女を殴りつけた時も、「Aちゃん、何思って会社の裏に車とめておったん？」と問い詰めたことがきっかけでした。

現在の私の記憶でははっきりした言葉を思い出せなくなっていますが、「なんの話や？　わたしそんなん知らんよ。」というような返事であったと思います。この返事が、私になんとしてでも納得の行く話を聞き出す他はない、このままでは自分も彼女も本当におかしくなってしまうという決意をさせました。

本書でもある程度のところまでは説明済みと思いますが、裏駐車場のことは、自宅での電話対応の拒否と連動していました。中心的な期間は、平成3年11月30日と思われる午後から、平成4年2月1日と思われる土曜日までになります。

終了したのが平成4年2月3日の月曜日の朝、ということにもなるのですが、これは私が24トンのミールを積んで、九州の福岡県福岡市に出発する直前のことでした。

土曜日の2月1日夜には初めて、彼女つまり被害者AAさんのことで、当時は存在のない言葉でしたが今風に言うと元カレという被告訴人安田繁克と話をする機会がありました。

これは偶然ではなく完全に仕組まれた計画であったと言えます。ひとつの橋渡しのような役割をしたのも被告訴人多田敏明でした。

当日の土曜日のことですが、午前中の11時ころぐらいに、被告訴人東渡好信がさりげなく、今夜22時か23時ぐらいに、トッチ（被告訴人多田敏明）が、古河から荷物を積んできて金沢の市場で空車になる、というような話をしていました。

時刻は17時06分になっています。中断をしていました。午前中に宇出津の図書館に行き、予定していた長谷川紘之弁護士の家の強盗事件について、北國新聞の縮小版を調べてきました。

こちらは蛸島のTSさんの松波港での自殺の件とは違い、実にスムースに記事を見つけ出すことが出来ました。当初予想していたのは平成6年6月だったので、その6月と5月の縮小版を棚からテーブルへと運び、まず5月分の索引から調べたのですが、これが一発で的中しました。

過去に何度か目を通している記事なのですが、意外に忘れていたことや気が付かなかったこともありました。一部記憶が変容しているようなところもあったり、別の事件のこととすり替えるようにかんちがいしていたこともありました。年月が長くなるだけの変化というものを実感した気分です。

まず、事件は平成6年5月16日午後0時47分ころ、金沢市大額で発生したことになっていました。時間帯の方は記憶通りでしたが、場所を何故か円光寺から山科辺りという、泉ヶ丘通りのはずれの方と勘違いしていました。

金沢市の大額というのは金沢市の南の外れとも聞いた覚えのある四十万の一つ手前の町内というか地名という印象ですが、個人的には初めに金沢市場輸送に入社して4トン車の長距離運転手の仕事を始めた昭和59年、神野のKMが宇出津のUTと同棲していたアパートによく遊びに行っていた印象が強いです。

宇出津のUTが私の近所で、二つ年下、同級生の被告訴人大網健二の妻とも仲良くしていたことなど、被告訴人大網健二の結婚式にも出席していたことなど、既に一通りのことは記述していると思います。

当時、神野のKMは山水運輸で4トン車の大阪定期便の仕事をやっていましたが。高井水産から山水運輸に社名が変更になったというのも、その頃だったと思います。KMは被告訴人安田敏との接点もありますが、個人的に付き合いをしたという話は、私の知る範囲聞くことはありませんでした。

本書で書き漏らしをしているかもしれないですが、昭和58年の10月頃、神野のKMも被告訴人安田敏と一緒に、中央防災の消火器売りの仕事をしたことがありました。10日かあるいは2週間の見習い期間の間だけで、それがすむとすぐに辞めていきました。

見習い期間中は、売上に関係なく日当が5千円もらえていたと思います。あとは完全歩合制だったと思います。ガソリン代などの経費も行動するグループで折半する決まりになっていました。

被告訴人安田敏は再度、シンナーに手を出して精神の状態がおかしくなるまで、その消火器販売の仕事を続けていたようです。本人の話では、自分で体に異変を感じ、自ら病院に行って、再度松原病院に入院することになったと話していました。

話をよく聞いていなかったためか、2回めの松原病院での入院期間や時期がはっきりしないのですが、退院してまもなく金沢市場輸送で市内配達の仕事をするようになったと、噂で聞いていました。

市内配達と言っても、青果物の配達ではなく、氷などを運んでいるような話でした。氷の仕事は私や被告訴人大網健二も、昭和59年の夏頃、長距離の仕事の合間によくやらされていた仕事ではありましたが、規模が大きくなって、他と合わせて市内配達の専属としてやるようになったと聞きました。

中西運輸商のトラックで金沢市場輸送の前に行き、被告訴人安田敏のことを尋ねたところ、少し前にやめて岐阜にいったところだと、北浜太一の弟の人に言われました。これが昭和60年の8月の下旬と思われます。ちょうど岐阜県海津町のライスセンターの出稼ぎの仕事が始まる時期でした。

昭和58年の12月のクリスマスの頃までは、ちょこちょこと被告訴人安田敏に会って、一緒に遊んでいました。被告訴人安田敏は出張と称する県外の仕事が多くなったと言い、会う機会も少なくなりました。当時はもちろん携帯電話などなく、連絡をするのも容易ではなく、直接の訪問が多かったと思います。

今考えると、当時のアパート住まいの友人でもアパートに固定電話をつけているのは少なかったように思います。それが普通になっていたので、さほど不便にも感じていなかったように思いますが、被告訴人安田敏もいきなり訪ねてくるようなことが多かったと思います。

消火器販売の仕事で安定した収入を得るようになった被告訴人安田敏は、増泉一丁目と野町の境の辺り、「いっさか」と呼ばれるあたりにアパートを借りて住むようになっていました。そのアパートにも何度か遊びに行った憶えがありますが、次第に疎遠になり会うこともなくなっていきました。

岐阜に行ったというのも行き違いになりましたが、昭和59年の1月に私が金沢市場輸送に入社してからは、たぶん会うことはなかったように思います。被告訴人安田敏のうわさ話を聞くこともなくなっていたと思います。

次に被告訴人安田敏と会うようになったのは、昭和60年の12月に入ってからだと思います。岐阜のライスセンターの出稼ぎの仕事から戻ったところだと話していました。出稼ぎ手帳をもらい、出稼ぎが終わった後も失業保険のようなお金がもらえるとも話していました。

ちょくちょくと私の東力二丁目のアパートに遊びに来るようになりましたが、その場で中西運輸商の配車係になり、そのあと金沢市場輸送の配車係にもなったYTや、被告訴人KYNとも私のアパートで顔を合わせることがありました。

そうやって考えると、被告訴人KYNが宇出津で配管設備の仕事をやめて、金沢に出てきたのは庄和61年の秋ということになりそうです。

昭和61年の5月ころの時点で被告訴人KYNは、金沢市松村にアパートを借りて生活をするようになっていました。ずいぶんと古い家で、アパートというよりは借家という感じであったようにも記憶にあります。骨董品を感じさえるような建物でした。

片町の金劇の建物の飲み屋で、松波のAKさんと3人で被告訴人安田敏の送別のような飲み会をやったことも既に本書で書いていると思います。多分になりますが、昭和61年の春先頃と思われます。

被告訴人安田敏は決意の旅立ちのようなことも語りにしていたので、その印象が強いのですが、どこへいく話だったのかも思い出せません。

その後のこともよく思い出せないのですが、昭和61年の6月には、私は被告訴人安田敏を頼って、岐阜県海津町へ行きました。岐阜の方へ連絡したのではなく、その前に金沢市で落ちあって岐阜に行く話を決めていたのだと思います。

このあたりも本書で既に記述しているところだと思いますが、8月の20日頃には私は岐阜から戻り、その3日後ぐらいには、たまたまの思いつきで電話をした金沢市場輸送に入社をして、市内配達の仕事をするようになりました。

そのあと、被告訴人安田敏との関係では連絡がなくなり、会うことのない期間が長く続いたように思います。

金沢市場輸送で大型保冷車に乗務するようになったのは昭和62年の4月に入ってからでした。時期がはっきりしないのですが、大型車の仕事にも慣れ、生活も安定した時期だったように思います。

金沢市の繁華街、片町で「サムライ」というディスコがオープンしたと聞き、これはかなり話題になっていたようですが、いわゆる黒服とかホストという男性による接客の走り、時代の変化のような節目でもあったと記憶しています。

それまでにもディスコというのは聞くことがありました。初めて金沢市に出てきた昭和56年の夏の時点で、「バナナビーチ」というディスコが片町にあると知っていましたが、服装や髪型に厳しく、不良のような若者は拒絶されると聞いていましたし、それがディスコというイメージもなっていました。

サムライというのはディスコのイメージも変えましたが、時代はその頃からバブル景気に入っていたのかもしれません。都会のことはわかりませんが、テレビでディスコのお立ち台とか踊る若い女性の姿を見かける社会現象が到来するよりは、前の頃の話です。

サムライというディスコは若い男性がメインで接客をすると聞いていましたが、ずいぶんと久しぶりにうわさ話を耳にした被告訴人安田敏が、そのサムライというディスコで仕事をするようになったという話がありました。

たぶんになりますが、共通の友人関係からもその話を聞いたのは、被告訴人大網健二の可能性が高いと思います。すぐにやめたような話を聞いたようにも思います。一月か長くて3ヶ月と聞いたような気もしますが、もっと短くすぐにやめたのかもしれません。

すでに被告訴人安田敏がサムライをやめたことは知っていた時期だと思いますが、私はそのサムライというディスコに一度だけ行く機会がありました。

久しぶりに集まったというより、私だけが久しぶりに参加という感じにもなっていたと思いますが、被告訴人大網健二、被告訴人KYN、富来のOT、のちに金沢市高尾の建設会社の部長になったHMもいたと思います。HMはその後結婚してSMになりました。

当時の私は長距離トラックの仕事でテレビをみる時間も少なかったのですが、初めて入ったサムライというディスコの店内は、広く別世界のように印象的だったという記憶があります。昭和58年の7月に東京ディズニーランドに行った時に、感じた感覚にも似ていました。

酒の入る付き合いというのは極力避けるようにしていたので、私にしてみると当時は数少ない片町に飲みに出るという機会だったのですが、それだけに数の少ない機会として特定も比較的容易にはなるかと思います。

金沢では私が子供の頃から大和というデパートが有名で大きくもあったのですが、その後、香林坊の方に移転しました。現在も同じかどうかわからないですが、アトリオという名前になっていたように思います。

移転する前の大和デパートは建物がそのままで、記憶に自信がなくなっていますがラブロとかいう名前になっていたように思います。昭和57年の時点ではまだそこが大和デパートでした。

香林坊の方から片町のスクランブル交差点に向かうと、メインの道路が右にカーブしていて、そのカーブの手前左側の方にナンバーワンビルとかいう幅の狭い高い建物があって、カーブのすぐ先の同じ左側のビルの中にサムライがあったように記憶しています。

カーブの手前の左側にあるのが旧大和のデパートでした。サムライに行った時だと思うのですが、私は被告訴人大網健二と被告訴人KYNの二人を連れて、被告訴人安田敏が働くという飲み屋を探したことがありました。

それより前に被告訴人安田敏から電話で連絡があって店のことを知っていたのだと思いますが、旧大和デパートの裏の方に店があると聞いていました。右の方にもう少し進むと、香林坊の映画街になりましたが、その片町寄りの辺だと思っていました。

店を見つけることはなく、電話番号を調べて連絡するということも思いつかなかったのですが、被告訴人大網健二も被告訴人KYNも酔っ払って、ずいぶんと上機嫌だったことなど、その場面のことは印象的に記憶に残っています。

<2014-09-17 水 09:00> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月17日 POST

<2014-09-17 水 09:01> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

ラブロ片町 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%83%96%E3%83%AD%E7%89%87%E7%94%BA>

ラブロという名前にも記憶に自信が持てなくなっていたので、確認を兼ねて調べてみました。アトリオに移ったのは昭和61年9月とのことです。個人的には、たぶんラブロになってからは一度も店に入ったことがない気がします。

飛び降り自殺があって客足が遠のいたという話も聞いたことがありました。大和デパートの頃は、屋上に近い階にレストランがあって、そこに何度か行ったという記憶が残っています。

そのラブロの裏辺りのスナックのような飲み屋でバーテンをしていると、不意に被告訴人安田敏から電話があったはずです。その電話のことは余り記憶には残っていないのですが、昨日書いたようにラブロの横の方から歩いて店を探したことが鮮明な記憶になっています。

店の名前は「ハートブレイク」だったと思います。わかりやすい名前で、昔聴いていた曲の歌詞にもある言葉でした。

よく考えてみると、その「ハートブレイク」という店で仕事をしているという被告訴人安田敏が、電話を掛けてきて、支払いはいらないから遊びに来いと誘ってきたこともありました。2回ほど同じような電話があったような気がしますが、これも記憶がはっきりしなくなっています。

誘われても店に行くことはありませんでした。長距離運転手という仕事柄、自宅アパートでは不在が多かったはずで、たまたま電話を掛けてきた時によくいたものだという気もしますが、妻から被告訴人安田敏から電話があったという伝言を聞くことはなかったように思います。

内藤として別になると思いますが、妻からの伝言で、被告訴人安田敏が内灘の海岸で車が砂にはまって動けなくなったので助けに来てほしい、という電話があったと聞いたことはありました。これは時系列で終わりの方の電話だったと思います。

その後、また電話があったのだと思いますが、電話のことは思い出せないものの、その時は初めて会う約束をしました。たぶん日曜日だったと思います。当時は記憶をしておく必要も考えてはいなかったので、時期がはっきりとは思い出せないのですが、平成2年の秋だったと思います。

それまでも忘れた頃に被告訴人安田敏から電話での連絡はありましたが、会うことは一度もなかったと思います。サムライというディスコで働き出したといううわさ話を聞く前から会ってはおらず、その時点を基準にしても一年以上は会っていなかったような気がします。

夕方でもまだまだ明るい時間、神田の陸橋の手前のバス停からバスに乗って片町に向かったことを憶えています。たぶん、その日の午後に被告訴人安田敏から電話があったのだと思います。

東力二丁目のアパートには昭和59年の4月頃から平成4年の4月1日まで8年ほど住んでいたことになるかと思いますが、車がないと不便があったものの、バスを利用するというのもほとんどないことでした。

初めにどこで待ち合わせをしたのか記憶にはないですが、片町のスクランブル交差点、当時もあったかどうかわかりませんが、ミスタードーナツがある建物の2階か3階あたりの店に入って、ラムネの瓶のような酒を飲みました。バーボンなのかと思います。

被告訴人安田敏に勧められるままに飲んだのだと思います。店員と話をするようなスタイルの店でもなかったですが、古い時代のアメリカのような雰囲気の店で、ジュークボックスがおいてあったと思います。

その店で話をした時だったと思いますが、バーテンの仕事をやめたと話していました。かなり不本意そうな様子で、愚痴をこぼしていましたが、会話の内容は今ではほとんど思い出せなくなっています。たぶん失業中だったのか、他に仕事をしているような話をしていたような気もするのですが。

この時、私は「ハートブレイク」という店のことだと思って話を聴いていたように思います。店でごたごたがあってやめるようになったという話だったと思いますが、ずいぶんと未練もありそうでしたし、悲しそうに話していました。

そのあとだったと思いますが、被告訴人安田敏の住んでいるというアパートに行きました。片町では他にも店に入ったような気もしますが、食事をしたかどうかを含め思い出せなくなっています。

被告訴人安田敏はアパートの住所を金沢市十三間町と言っていたように思います。片町の路地裏のはずれのような場所でしたが、その辺りには池田町というのもあります。瓢箪町のNMと末町のTHが住んでいたのも池田町でした。

Googleマップで確認をしたのですが、十三間町の方が犀川沿いに近いようです。その界隈の路地裏としては車も通るような比較的広い道で、店も何もなくなってしばらく歩いてから交差点の左側の角にあるようなアパートだったと思います。

アパートと言っても普通のアパートのような集合住宅という感じの建物ではなく、古い建物で下宿というイメージが強かったと記憶にあります。被告訴人安田敏の部屋は2階でしたが、それも普通のアパートのような間取りではなかったです。

雑然とした屋根裏部屋のような印象もあるのですが、アメリカ人のような生活スタイルというか、昔漫画の場面で見たアメリカの貧民街の部屋の一室のような、雰囲気になっていました。横長の部屋であったような印象もありますが、襖とか障子もなかったような気がします。

趣味のアクセサリー関係の物や衣服が多かったように思いますが、ずいぶんと物が多いという印象も受けました。いつからどれぐらい住んでいると聞いたようにも思いますが、それも私の記憶には残っていません。

そのあと、小立野の方に行きました。金沢大学附属病院の辺りで、ちょうどその正門の前辺りだったと思います。小立野は市内配達の受け持ちコースでもあったので、土地勘もありましたが、病院の前に飲み屋があるのも意外でした。

正確に言うと飲み屋というよりは、洋風のレストランと喫茶店の中間にも見えるような店でした。本当ならば海際の観光地によくありそうな建物の店でしたが、それが小立野にあるというのも、ずいぶんと意外でした。

半年ぐらい前になりますか、Googleマップのストリートビューで、小立野の大学病院の前あたりを見たことがあるのですが、すっかりと様変わりして以前の面影はあとかたもなくなっているという感じでした。

兼六園の裏の方から広い道が一直線に伸びていて、小立野辺りは古い町並みの商店街のようにもなっていましたが、兼六園の方から向かうと、左折して50メートルほどかの突き当りに大学病院の正門がありました。

その正門の手前左側の辺りに店はあったと記憶しているのですが、正門につながる広い道路より、左手の路地に入ったような一角だったという気がします。小立野の周辺というのは大学生が多いという印象もありますが、飲み会に使うような店はその辺りに集まっているような気もしました。

被告訴人安田敏に連れて行かれたその店でも、バーボンのようなウィスキーを飲んだように思います。ワインの瓶にも似ているかと思いますが、そういう瓶に入っているウィスキーを置いている店というのは、他には見たことも行ったこともなかったと思います。

かなりマニアックな凝った雰囲気の店でもありましたが、その店の被告訴人安田敏の友達か知り合いのような店主と思しき人も、ずいぶんと個性的な雰囲気でした。矢沢永吉によく似ていましたが、なりきりのようなこだわりも感じられました。

被告訴人安田敏はそういう飲み屋の雰囲気が好きだったのだと思いますが、本人の話では酒はそれほど好きではなく、晩酌のようなことをすることもないと言っていました。

今考えると被告訴人安田敏は余り酒が強くはなかったのかもしれません。たぶん昭和57年の鵜川の祭りでも、酒に酔って座り込む姿を見たことがありました。

私も当時は酒というかアルコールは飲む量が少なかったと思いますが、被告訴人安田敏もそれほど注文を繰り返して飲んでいるようにも見えなかったように思います。

どれぐらいの時間店に店にいたのかもはっきりとは思い出せませんが、店の外に出たところで、被告訴人安田敏がへたりこんでしまったのは印象的でした。座ったまま動かなくなったのですが、受け答えはしっかりしていて、ろれつが回らないようなこともなかったと思います。

被告訴人安田敏は私にタクシー代をくれたように思います。大丈夫だというので、そのまま帰って来ました。はっきりとは憶えていないですが、別れたのも22時とかそういう時間だったと思います。

中島みゆき わかれうた 歌詞 <http://j-lyric.net/artist/a000701/l005ee2.html>

ふと思い出して上記のように曲の歌詞を調べてみました。「途に倒れて誰かの名を叫び続けたことがありますか」と、上記ページでは道路の道ではなく途になっていましたが、その時もこの曲のことを思い出していたのかもしれません。別れ際に後ろ髪を引かれるような思いはありました。

小立野の手前が石引ですが、松原病院は石引が住所になっていたように思います。シンナー中毒で精神病院に入ったことで、被告訴人安田敏は周囲から偏見や仲間はずれを受けてきたような、一面もありました。

今思うとその後も私の方から連絡をすることはなかったのですが、しようと思っても直接アパートを訪ねる以外、方法はなかったとは思います。車で行けないことはない場所でしたが、片町の近くで酔っぱらいに車を蹴飛ばされる可能性もあり、駐車の場所もないので、車で行く気にはならなかったです。

人生の悲哀が漂った被告訴人安田敏の姿でしたが、その後彼からも連絡はありませんでした。

次にまた忘れていた頃に連絡を寄越してきたのが、平成3年の4月の終わり頃だったと思います。前回の別れが後ろ髪を引く、良心の呵責をおぼえるものであったことも、その後に影響をしたのだと思います。

<2014-09-18 木 09:02> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月19日 POST

<2014-09-19 金 08:33> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日の18日になりますが、午前中に宇出津の図書館に行き、北國新聞の縮小版を調べてきました。今回調べたのは平成3年の5月、6月、8月の縮小版でした。目的は被告訴人安田敏が多少関係があるように話していた違法薬物の密売事件のことです。

それと思われるものは6月に大麻の密売事件があって片町のディスコが舞台とも書いてあったと思います。ただ、内容を読んでいて、あまり関連もなさそうに思えたので、新聞報道の日付も確認せずに来ました。

関連の可能性がよりありそうだと思ったのは平成3年8月1日の記事にある事件でした。「覚せい剤　手配の密売人逮捕　金沢中署　喫茶店主に数グラム譲渡」「寺井署も5人逮捕」という見出しになっています。

内容を読むと金沢市の繁華街片町とは関係がなさそうですが、覚醒剤の譲り受けで公判中の被疑者が、以前支配人らがディスコに働いていて、覚せい剤の密売にも関わっていたことがわかっている、ときじにあります。

初めに6月だったと思われるディスコの密売事件の記事を読んだときは、大麻の密売だけという印象でいたのですが、いずれにせよかなりの数の被疑者の名前が出ていたものの、知っている名前や、聞き覚えのある名前は一つもありませんでした。

片町での丸西水産輸送の射殺事件は7月30日の記事になっていました。事件の発生も同日の2時台のことであったようです。

同日の新聞記事を読んだ時か、テレビのニュース報道で受けた印象で勘違いをしていたのだと思いますが、私はずっと射殺事件の起きた場所を、片町でも竪町に近い辺だと思い込んでいました。

<2014-09-25 木 09:01> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年9月25日

<2014-09-25 木 09:13> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

記述は9月19日の続きになるかと思います。丸西水産輸送の社長の射殺の事件は北國新聞によると、場所が片町でもラブロ裏、新天地と呼ばれる辺り、ということになっていました。

この新天地という地名ですが、私はけっこう最近になって知りました。インターネットで石坂について調べていたところ、その新天地なる場所の情報が出てきたのが初めてでした。石坂については本書で、何度か取り上げていると思います。被告訴人竹沢俊寿の家があると聞く、辺りでもありました。

金沢市片町　新天地 - Google 検索 <https://www.google.co.jp/?gws_rd=ssl#q=%E9%87%91%E6%B2%A2%E5%B8%82%E7%89%87%E7%94%BA%E3%80%80%E6%96%B0%E5%A4%A9%E5%9C%B0>

上記のキーワードで検索をするといろいろ情報が出てきましたが、やはり平成3年12月21日の夜に、被告訴人浜口卓也に連れて行かれた確かおでん屋のような店のあたりということになりそうです。

片町でも私はほとんど足を踏み入れたことのない場所でした。もう少し香林坊の映画街の方に行くと、車でよく通行していた長町の方に出る裏道のような狭い道路があったとは記憶しています。

長町の辺りというのは、武家屋敷があってちょっとした観光地のようにもなっていると思いますが、その辺りは市内配達の仕事でも、通行することがありましたので、土地勘もあったつもりですが、余り行くような場所ではなかったです。

自分の場合、市内配達でも片町は受け持ちのコースだったので、他の辺りの小路は配達のトラックでもよく通っていました。竪町の長崎屋というスーパーにもちょくちょく配達に言っていましたし、スナックのような飲み屋でもフルーツにするような果物を配達するような店もあったかと思います。

被告訴人安田敏が最初に片町でバーテンをしていたという「ハートブレイク」という店に関しては、彼の説明を聞きながら、ラブロの裏の辺だという認識でいました。

一方で、その後でバーテンの仕事をやっていたという「ラバズバ」という店は、被告訴人安田敏の話しぶりによると、片町でも外れの方で、竪町から金沢市役所の裏の辺りと聞いていたように思います。

竪町の周辺というのはファッション関係の店も多く、若者が多く集まる場所というイメージがありますし、実際に行くと見かけるのは若者の数が多かったと思います。市役所の近くでもあったので、そういう用事なので、幅の広い人が集まるイメージもありました。

私がその辺りにちょくちょく行っていた頃というのは、まだ石川県庁も金沢市役所の道路を挟んで斜め向かいあたりにあったので、県庁が鞍月の方に移転してからは人の数も減ったり、その辺りの雰囲気も変わってはいるのかもしれません。

いずれにせよ、被告訴人安田敏は「ラバズバ」という店の場所について、やたらと詳しく具体的に説明をしていたと思いますが、私の記憶が薄れてはっきりしなくなっている部分もあります。

「ラバズバ」という店については、被告訴人安田敏が市場急配センターで市内配達の仕事をするようになってから話を聞くようになったはずです。

そもそも被告訴人安田敏から連絡があったのはゴールデンウィークの少し前で、平成3年の4月の下旬だったと思います。4月の終わりから連休が始まるはずですが、その直前には、被告訴人安田敏の金沢市場輸送への入社が決まっていたという記憶があるからです。

夕方でも遅い時間で外もすっかり暗くなっていましたが、金沢市場輸送の運転手の休憩室の外から入ってすぐの机の場所で、被告訴人安田敏が私の立ち会いのもと面接を受けていたという場面が記憶に残っています。

金沢市場輸送の社長になっていた被告訴人本恒夫が主に面接をしていましたが、周りに3,4人の人の姿があったようなこともぼんやりと憶えています。誰だったのか思い出せなくなっていますが、いずれも会社では発言力もあるような立場の顔ぶれだったと思います。

あるいは被告訴人松平日出男の姿もそこにあったのかと思いますが、被告訴人本恒夫と犬猿の仲とも言われていた被告訴人松平日出男の姿が、その場にあったということは、割と珍しかったようにも思えます。

麻雀のメンバーとして被告訴人松平日出男の姿を見ることもあったようには思いますが、金沢市場輸送の事務所で被告訴人松平日出男の姿を見かけることは、数の少ないことで、私自身数回しか経験していなかったようにも思います。

麻雀のメンバーとしてしょっちゅう見かけていたのが被告訴人東渡好信でしたが、それはちょうどストライキのごたごたがあったころで、ストライキを先導した首謀者とも言える、被告訴人東渡好信がその場にいたことは、可能性が低いとも思えます。

当時の状況を具体的に説明するにも23年以上経過した現在では限界もありますが、記憶が新しいうちに詳細に記述したとおり、ストライキは、被告訴人安田敏を招き入れるための計画的なお膳立てだった可能性が高いと思います。

初めに被告訴人安田敏から電話での連絡があってから、その金沢市場輸送への面接までの間、4,5日ぐらいだったようにも思いますが、一週間から長くて10日ぐらいあったかもしれません。

初めに電話を掛けてきた時、被告訴人安田敏は同じ金沢市内の運送会社「輪島屋鮮冷」で4トン車の長距離をやっていると話していました。

その数日後、実際に被告訴人安田敏が輪島屋鮮冷の4トン車を運転して、金沢市場輸送に来て、冷凍物の積み替えをするということもあったので、本当に4トン車で長距離の仕事をしているのだと、私は疑いもなく信じました。

金沢市場輸送と輪島屋鮮冷の間で、仕事のやりとりが始まったのは、その平成3年のはじめかあるいは前年の平成2年の終わり頃だと思われます。

今改めて考えると、時期的にも被告訴人東渡好信と関連があって始まった輪島屋鮮冷との仕事の関係だったのかもしれません。

輪島屋鮮冷のトラックを初めに見るようになったのは、金沢港の県漁連の売り場の前でした。早ければ私が長距離の仕事を始めた昭和59年のことです。時期は6月か7月だと思います。

ごくまれに他の時期もありましたが、金沢市場輸送で金沢港に鮮魚を積みに行くのは、毎年6月か7月の初めのスルメイカの時期だけでした。

金沢港では鮮魚の出荷はほぼ毎日あったはずですが、夜の22時とかのセリで、新潟、名古屋、大阪への運搬がほとんどで、それは運送会社ではなく、セリの仲買いである新田商店や直一商店が自分の会社の白ナンバーのトラックで運んでいました。

金沢市場輸送で例外的に鮮魚を運んだ時も、荷主は新田商店でした。

昭和59年の時は、中央市場の丸中水産の仕事としてスルメイカを運んでいた記憶があります。若旦那のような若い社長の姿もありました。

既に書いていると思いますが、昭和61年には丸中水産の仕事はなくなっていました。毎日の新潟定期便があったのですが、丸中水産の方から守田水産輸送に乗り換えられたという話でした。

8月だったような気もするのですが、昼前に金沢港でスルメイカではないサバなどの魚を大型車に積み込んでいたことがあり、新田商店の若い社員のフォークリフトの運転で危ない思いをしたことから、私が文句を言ったところ、蛸島のTSさんが飛んできて威嚇を受けたようなことがありました。

それが蛸島のTSさんに会った最後だったと思います。私は昭和63年の12月の20日頃まで、7599という車番のイスズの10トン保冷車に乗務していました。サバなどを積んでいたのもその保冷車です。

金沢市場輸送では担当のトラックが決まっていて、特に大型車では自分が担当するトラックを他の運転手が乗務することはなく、私の場合も私が担当である間、私以外に乗務することはなく、仕事を休んだという記憶もほとんどありません。

蛸島のTSさんが珠洲郡内浦町の松波の港で、買ったばかりの赤い色の軽四で海に飛び込んで自殺をしたという新聞報道を見たのも、最後に金沢港であってから半年ぐらいあとで、やはり平成1年の1月ころと思われます。

先日も他の記事の探しもので宇出津の図書館に行った時、平成1年1月の北國新聞の縮小版を、丹念に調べ直したのですが、蛸島のTSさんの自殺の記事を見るけることは出来ませんでした。

輪島屋鮮冷の話に戻しますが、初めは4トン車を2台ほど見かける程度でした。次のホームページにもトラックの写真がありますが、基本的なデザインは、初めて見た時からほとんど変わりがないように思います。

輪島屋鮮冷（株） <http://wajimaya.co.jp/index.html>

ホームページにあるのは大型車のそれもトレーラーのようですが、箱に書いてある文字の大きさの割合が、以前よりは若干小さくなっているような気もします。いずれにせよ大きな文字で書いてあるので、目立つと思います。

中西運輸商の保冷車も「中西運輸商」と大きな文字では書いてありました。

企業情報｜輪島屋鮮冷（株） <http://wajimaya.co.jp/company-history.html>

上記ページの「沿革」には、「昭和60年 ４月 金沢市神野にて資本金７,６００,０００円で設立」とあります。

金沢の国道8号線バイパスで、小松方面に向かうと金沢西インターを超えると、すぐにバイパスが左に大きくカーブし、北陸自動車から分岐しているのですが、そのカーブを超えてすぐ左側に、新しいアパートがあって、それが輪島屋鮮冷の会社というか事務所になっていました。

場所としてもよく通る目立つ場所でしたが、全くのアパートを会社の事務所にしているというのも、他には見たことも聞いたこともなく、型破りな会社として目立つ存在でした。

宇出津に住んでいると目立つ輪島屋鮮冷のトラックを見ることもなかったので、一年ほどまでしようか、ふと思い出して検索で調べたところ、全国展開するほどに大きくなっていて驚きました。

序になりますが、数年前までは宇出津の近くでもたまに見かけることのあった蛸島の浜田漁業のトラックを見かけなくなったと思いだし、同じく検索で調べたところ、倒産情報があり、それがほとんどリアルタイムに近い情報で驚いたこともありました。

金沢市神野の輪島屋鮮冷のアパートの事務所には一度行ったことがありました。他に経験のないことですが、面接に付き合いを頼まれて同行したのです。面接の同行など聞いたこともなかったので驚いたのですが、そういう経験もありました。

面接の同行を頼んできたのは、宇出津の1つ年下のKでした。思えばKともあれ以来会っていないようにも思いますが、何をしているのかどこに行ったのか、噂にも聞いたことがありません。

Kは宇出津の城野町に家があって、私の1つ年上の兄がいました。その兄は小木分校に行っていたので、被告訴人KYNもよく知っているはずですが、その兄の話も全く聞いたことがありません。今はほどんどがそうなっていますが、早い時期から話を全く聞かなくなりました。

Kとは当時、多少の付き合いがあったのだと思いますが、久しぶりの再会でもあったと思います。どこで再会したのかも思い出せないですが、私が昭和59年の10月に金沢市場輸送をやめてすぐの頃、Kも金沢市場輸送に入社して、しばらく4トン車で長距離の仕事をしていたとも聞いていました。

面接の同行に関しては、似たような話を聞く機会が一度だけありました。普通はあり得ないことだと思うのですが、アパートを事務所にしているような会社であれば、慎重な様子見ということで、そういう気にもなることがあるのかもしれません。

Kにしても面接で即決で採用にはなったものの、仕事には行かなかったように思います。

輪島屋鮮冷に関してはその頃にもうわさ話のようなものを聞いていたと思いますが、社長として輪島屋鮮冷を始めた人物は、丸西水産輸送で配車係をしていたという話でした。運転手をしていた頃、事故を起こし飼い殺しのような状態になっていたとも、聞いたような気がしますが、真偽は不明です。

早い段階で七尾市の石崎（いっさき）の出身だとも聞いていましたが、石崎ではなく和倉のボンボンと聞いたこともありました。和倉温泉は全国的にも知名度の高い、温泉地だと思います。「加賀屋」は以前、テレビでもよく取り上げられていました。

中西運輸商の社長も七尾市の石崎の出身だと聞いていましたが、こちらは違うという話も聞いたことはなかったです。

石崎も和倉も、七尾市の一部にはなるはずですが、七尾市の町内ではなく、独立した町というイメージが強いです。石崎に関しては「石崎奉燈祭り」として聞くことが石川県内では多いかと思います。

同じ能登でも、かなり離れているので余り知らないのですが、漁師町で気が荒く、話し言葉も汚いと聞いていました。輪島市の海士町と似たようなイメージだったので、輪島港ほどではないにせよ、それなりに大きな漁港をイメージしていました。

石川県立水産高校小木分校で同級生だった波並の同級生が、高校を卒業して七尾市の石崎の魚屋に就職したという話も聞きました。別の高校の能都中学校の同級生の女子も和倉温泉の加賀屋に就職したという話を聞きましたが、同じ高校卒業直後の時期だったと思います。

石崎の魚屋に就職をしたという同級生には、昭和63年ころだと思いますが、一度、富山県氷見の魚市場で、たまたま顔を合わせたことがあり、相手も驚いていました。7599の大型保冷車に乗務していたときのことです。

普通、金沢や羽咋市から宇出津に向かうには七尾市内は通過しないのですが、七尾市内から宇出津に向かうと和倉温泉駅の前を通り、その付近では電柱に「石崎町」という住所の看板は見かけていました。

一月ほど前の8月の下旬、穴水町までバイクで買い物に行ったのですが、思ったような商品が見当たらず、思い切って七尾市まで足をのばしたのですが、その時に初めて石崎の漁港を探して行ってみました。

予定外のことで下調べもなく、適当に見当をつけて走っていると、能登島まで渡ってしまいましたが、その能登島大橋を渡ったのは2度めのことで、平成3年の5月か6月に家族を連れて、のとじま水族館に行って以来のことかと思います。

能登島には小木分校の高校一年生だった昭和55年に、水産高校の「おおとり丸」という船で、40人ほどの無線通信科の同級生と行ったことがあったのですが、その頃は橋もなく、橋が出来るという話も聞いておらず、完全な島という状況でした。

看板を頼りに石崎の漁港と思わえる場所に行ったのですが、余りの港の小ささと漁港らしくなさに驚きました。魚市場のような建物もありましたが、松波の漁港より小さく、船の数も少なく見えました。

ずっと前に一度来たことのある場所だという気もしましたが、誰かの車に同乗している時に来て見た風景だとは思いましたが、石崎の港という認識はなかったように思います。

伝統のある江戸時代の名残も残っていそうな漁港をイメージしていたのですが、思い描いていたものとはまるで違い、漁港というよりヨットハーバーに近いような印象でした。

石崎に向かう前には、和倉温泉の方にもバイクで行っていたのですが、和倉温泉の方は想像していたよりはるかに規模が大きい温泉地で旅館の数も多く、セブンイレブンのコンビニまであるので驚いていました。

和倉温泉には昭和61年の1月、中西水産輸送の新年会で旅館に一泊したことがあったのですが、たぶんそれ以来ではないかと思います。それ以前にも行ったのはダクト屋の仕事で、美湾荘に行った記憶があるぐらいですが、当時はほとんど関心もなかったのか、記憶に残る風景も僅かなものでした。

<2014-09-27 土 07:03> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年10月1日

<2014-10-01 水 07:36> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

いつ頃から輪島屋鮮冷のトラックが金沢市場輸送の仕事をするようになったのか、はっきりとは思い出せないのですが、なにがきっかけで仕事上の付き合いが始まったのか、話を聞くことはなかったし、運転手の間で話題になるようなこともなかったと思います。

輪島屋鮮冷と金沢市場輸送の関係については話を聞かなかったのですが、輪島屋鮮冷という会社に関しては運転手の間で話題になり、話を聞くことがありました。幾つか話を聞きましたが、どの話を誰から聞いたのかとなると、はっきりしないところがあります。

輪島屋鮮冷というのは、その名の通り同じ石川県の能登半島にある輪島市をイメージする人が多いかと思います。もうひとつは私が中学生の頃の昭和50年代前半に大相撲で北の湖とともに横綱として活躍した石川県出身の横綱輪島がいました。

私自身も昔は普通に輪島という名前の通り、輪島市出身の人物かと思っていたのですが、そのうち誰かから七尾市の石崎の出身だと聞きました。意外感もあったので、石崎のことも併せてよく憶えています。

輪島大士 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%BC%AA%E5%B3%B6%E5%A4%A7%E5%A3%AB>

上記ページに詳しい情報がありました。思っていたよりまだずいぶんと若く、昭和23年生まれの66歳とのことです。姉か妹の金銭問題が大きく取り沙汰されていたのは、やはり昭和57年ころとなりそうです。

金沢の片町に「相撲茶屋輪島」という店を姉か妹が開き、それがトラブルの原因になったとか、閉店したとか聞いていたように思います。バナナビーチというディスコがあったビルと同じか、隣接したビルの一階にある店だったと思います。

ついでになりますが、その「相撲茶屋輪島」があったと思われるビルのあたりでは、昭和61年の年末に、金沢市場輸送で忘年会が開かれたことがありました。元は同じ店だったのかもしれないと思っていました。「雪国」という演歌の曲が流行っていた頃のことです。

それと同じビルか、もうひとつスクランブル交差点側のビルの3回ぐらいの若者向けの飲み屋では、被告訴人大網健二の結婚式の打ち上げがありました。生のバンド演奏もあったように思いますが、そういう雰囲気の店でした。

その店の方では結婚式に出席していなかった友人も集まっていて、その中には後に片町の飲み屋を舞台にした薬物売買で逮捕されたと大々的に報じられたOYの姿もあったと思いますし、薬物犯罪の舞台になったという片町の飲み屋かディスコも、同じ辺りの場所だったという私のイメージになっています。

平成9年か平成10年に、被告訴人KYNが、そのOYのことを、連中はもっと悪どいことをやっていると言いながら、薬物売買の事件のことを吐き捨てるように話していたことは印象的なのですが、その薬物事件の時期というのは、私の記憶がはっきりとせず、まだ調べていません。

私がOYと会ったのは、私の長距離トラックの仕事が忙しくなってからで、多くて4,5回程度ではなかったかと思います。その殆どで東力の「かつとし」がいたように思います。ずっと気にかけているのですが、未だに上の方の名前を思い出すことが出来ません。

「かつとし」は大柄な体格だったと思います。父親が日通の幹部社員のように聞いていたようにも思います。既に本書でも触れたことがあると思いますが、「かつとし」という名前は出してはいないと思います。OYと違い、名前を思い出せないので、特定が困難です。

OYもかつとしも、同じ歳の同級生だと聞いていたように思いますが、他にも関係性などいろいろ聞いていたように思いますが、思い出せることはほとんどありません。

最後に東力の「かつとし」の話を聞いたのは、会社を定年退職した父親と一緒という話だったようにも思うのですが、その退職金とかで、金沢市の大額の大通りに居酒屋のような店を出したという話でした。

金沢市三馬の方から四十万にその大通りを向かうと、左側に店がありました。私はその店を見ていますし、一度店にも入ったような気もするのですが、実際に店に入ったのか、店の中の様子を想像した場面だったのか、記憶がはっきりしなくなっています。

店の名前はよく憶えています。とてもわかりやすい平仮名二文字の店の名前だったからです。「輪島」にもイメージがゆく店名ですが、名づけた理由などに関しては話を聞くことはなかったように思います。

3,4ヶ月ほど前になりますか、その店の名前で検索をしたことがあったのですが、同じ名前の店は出てきたものの、金沢市内でも西金沢駅に近い辺りだったように思います。

「さらに初代若乃花や輪島らの横綱を陰で支えた先代師匠の妻・中島トミが1986年5月23日の夕刻に首を吊り自殺するという悲劇を生んだ。」（前出のWikipediaページからの引用）

昭和61年5月ということで上記の問題は、私が被告訴人安田敏を頼って岐阜県海津町に行くより前ということになりそうです。同じ年にプロレスに入り、更に読むと昭和63年12月に引退したようです。

輪島屋鮮冷の4トン車で長距離乗務をするようになっていた珠洲市三崎のHMが、元横綱輪島の不祥事が世間の注目を集めていた時期で、東京都内を輪島屋鮮冷のトラックで走行していると、信号待ちで注目されることが多くて恥ずかしい、と話していたことがありました。

何度か書いていると思いますが、珠洲市三崎のHMは、輪島屋鮮冷と守田水産輸送の間を何度か、行き来していました。

守田水産輸送は金沢市西念の中央市場の前に会社があって、中央市場のなかでの仕事が多かったので、ちょこちょこと顔を合わせることはあったのですが、輪島屋鮮冷のトラックを中央市場のなかで見ることは、ほとんどなかったように思います。

金沢市場輸送と同じ保冷車でも、鮮魚を積むことはほとんどなく、冷凍物がほとんどだと聞いていましたが、目一杯重量を積んでいるとも聞いていました。これは守田水産輸送の4トン車と同じでした。守田水産輸送の場合は鮮魚の定期便もやっていたという違いはあります。

金沢市場輸送でも冷凍物は運んでいましたが、割合は少なかったです。ここでは冷凍食品と冷凍物の違いを、私独自の視点から説明したいと思います。

冷凍食品も運ぶことがありましたが、私の経験ではどんな冷凍食品でも割と軽いもので、かさもあるので満載にしてもさほどの重量にはならなかったと思います。

例えば、下関から珍味の原料となるカワハギの冷凍を運ぶことがありましたが、個々のケースは割と重みがあると思うものでも、満載に近くして18トンぐらいだったように思います。

重みのある冷凍物は、イカや蒲鉾の原料となる鱈の冷凍すり身でした。イカは外国からの輸入のものがほとんどだったように思います。蒲鉾の工場は、金沢や富山の市場の近くにもありました。

重量で言えば、冷凍の牛肉も重かったですが、当時は輸入の肉を運ぶということもたまにしかなかったように思います。ブロイラーと呼ばれる鶏肉は昭和59年ころは、金沢市場輸送でよく運んでいました。あれは余り重くはなかったような気もします。

守田水産輸送や輪島屋鮮冷の4トン車では、8トンから10トンの積載をすることが多いと聞いていました。当時の4トン保冷者というのは正味3トンも積めなかったと思いますので、普通に2台分から3台分の荷物を一台で運んでいたことになります。

輪島屋鮮冷に関しては、何を主に運んでいるのか、よくわからなかったですが、それだけの重量となると普通の冷凍食品とは考えにくいと思っていました。トラックもよく見かけていましたが、冷蔵庫のほかは特定の会社とかは余りみなかったように思います。

誰から聞いたのか思い出せなくなっていますが、輪島屋鮮冷の社長というのは、丸西水産輸送で配車係をしていたといい、元は運転手をしていた大きな事故を起こし、飼い殺しの状態になっていたとも聞いていたように思います。伝聞なので情報の正確性も不明ですが、聞いたのは一人で一度だけ。

親戚に大手の冷凍食品会社の幹部社員というか上の立場の人がいて、その取引関係をつてに独立して輪島屋鮮冷を始めたとも聞きました。ニチレイと聞いたようにも思いますが、これも真偽は不明です。

私の経験としては初めに輪島屋鮮冷の4トン車を見かけるようになったのは、前にも書いているはずですが、金沢港の県漁連の前でした。食堂の前辺りだったと思いますが、いつものように2台か3台の同じ輪島屋鮮冷の4トン車が駐車していました。

ただ、売り場の方でスルメイカというか鮮魚を積み込んでいるような状況は見た記憶がなく、その辺りもちょっと不思議に感じていました。富来の西海港の「牛若丸」という4トンの白ナンバーの保冷車が駐車していた場所と時期も重なるように思います。

輪島屋鮮冷の4トン車は普通の保冷車で保冷の箱の容積が他より大きかったとは思えませんが、冷凍食品だとどれだけ満載にしてもさほどの重量にはならず、せいぜいで5トンぐらいではなかったかとも思われます。

冷凍食品といってもいろいろとありますが、私もいろいろの冷凍食品を積み込み取り扱った経験があり、普通に考えてもずっしりと思い氷の塊のような冷凍食品というのは、加工食品として考えにくいと思います。

重量のある冷凍物として有名だったのは今もありますが、宇出津に近い小木港の船凍イカ（船内凍結イカ）でした。私自身、小木港に船凍イカを積みに行く機会は一度もなかったので、実際に小木港から運んだことは一度もありませんでした。

小木港には今もあると思いますが、小木運送というトラックがあります。緑ナンバーの運送会社のようになっていましたが、実質は運転手が個人でトラックを保有し、会社としての名義で緑ナンバーを取得しているような話になっていました。

私がトラック運転手を始めた昭和59年には、白ナンバーの社会問題は過去のものになっていましたが、以前はいろいろと問題にされ、摘発にもなっていたと聞いていました。

中西水産輸送もその白ナンバーの問題で摘発され、会社が潰れたと聞いていました。復活した中西水産輸送では佐川急便の雑貨の仕事をするようになっていました。物置にされたいた古い保冷車の箱には大洋マルハとか書いてあり、マルハの冷凍物を運んでいたとも聞きました。

<2014-10-02 木 20:40> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年10月2日

<2014-10-02 木 20:54> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日になりますが、小木港にアジ釣りに行ってきました。次が昨日現在の能登町小木港の写真です。以前は珠洲郡内浦町小木でした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/10/02 20:53 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/517643657050980352> 2014-10-01 14.42.47.jpg <http://t.co/3ML0nU8aZ9>

小木港に行ったのは本年9月15日以来で、ちょうど半月ぶりになるかと思います。小木港では9月15日はちょっと特別な日で、アオリイカ釣りの解禁日です。解禁を設けているのは私の知る限り、小木港だけです。

その前回の時も同じだったと思いますが、大雨の影響と思われ、姫と小木の間の古いトンネルが通行止めになっていました。迂回するのは比較的新しい道で、新しく出来たトンネルもあります。

トンネルの出口の方の壁に刻印があって、確認すると平成6年12月完成とありました。なるほど平成4年以前は開通していないトンネルで、古いトンネルが主要道になっていたようです。

古いトンネルは現在もそのままかと思いますが、道幅が狭く乗用車でもどちらかがトンネルの手間で待機して、トンネル内を対面通行ですれ違うということがありません。

そのトンネルは高さも低いため、大型車の通行はかなり困難かと思いますが、昭和の時代など以前はその道しかなかったので、大型車でも通行をしていました。多分になりますが、車検が通る限界の3.8メートルの高さでは、トンネルに入ることが無理とも考えられ、そう聞いたような記憶も少しあります。

現在その古いトンネルは大型車が通行止めになっていて、4トン保冷者でもその古いトンネルを通行するのを見かけることはありません。

<2014-10-06 月 10:16> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年10月6日

<2014-10-06 月 10:17> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

平成3年当時と現在とでは小木港の様子もずいぶんと違っていると思いますが、平成3年当時の私は金沢で生活していて実家の宇出津に戻るのも年に数回だったので、小木港に行くこともほとんどなかったと思います。

私が頻繁に小木港に行くようになったのは2010年の12月の20日頃からのことです。小木港の釣具店でアジング用の釣り道具を揃え、それからちょくちょくと小木港にアジを釣りに行くようになりました。

小木港では宇出津とは違い大きなアジが釣れるので、宇出津でも小木港までアジ釣りに行く人がいるとは聞いていたのですが、いくら魚が釣れても小木港まで行く気にはさらさらなれずにいました。

その2010年の9月の初めからはアオリイカ釣りを始めていました。アオリイカも小木港のほうがよく釣れるとは聞いていましたが、バイクで小木港まで行く気にはさらさらなれずにいました。

アジ釣りを始めた当初が、アジングでも大きなアジがよく釣れ、脂が乗って味がとても良かったのです。それまで食べてきたアジという魚の味の認識を根本から変えるような味でした。

また、小木港でアジ釣りをしていると昭和50年代、60年代の交友関係、友人関係についても記憶の喚起に役立つと思うようなこともあり、雪の降る寒い中大変ではありましたが、バイクで小木港に通うようになりました。

既に何度か書いていることだと思いますが、昭和の時代の小木港は遠洋漁業が盛んで、船の数も多く、遠洋のイカ釣り船と北洋のサケマス船がいました。サケマス漁の方は、「中部船」と呼ばれ、船体の色がオレンジ色になっていました。

小木港は今でも「イカの町」という看板が出ているほどイカ漁と縁のある町ですが、そのイカというのが船凍イカです。

船凍イカ - Google 検索 <https://www.google.co.jp/?gws_rd=ssl#q=%E8%88%B9%E5%87%8D%E3%82%A4%E3%82%AB>

上記のように検索をかけると、出てくるのはほとんどが小木港に関する情報のようです。

小木港の船の数は昭和の時代に比べ激減していますが、今も遠洋のイカ漁は続いていて、宇出津のスーパーにも小木港の船凍イカは売っています。6月頃に出漁して12月に戻るという遠洋漁業の基本もほぼ同じかと思われますが、今はそれ以外の時期でも小木港で中型イカ釣り漁船の姿をみることもあります。

とにかく平成3年ころの小木港の様子というのが私にも想像がつかないのですが、二百海里問題以降、衰退はしていたもののまだ現在よりは船の数もイカの水揚げも多かったのではないかと想像されます。

とにかく金沢市場輸送では小木港に船凍イカを積みに行くことは一度もありませんでした。古い運転手の話では以前は行ったことがあるというような話を聞いたような気もするのですが、記憶は曖昧です。

金沢市場輸送では浜田漁業金沢工場のイワシの運搬以外では、殆どに近く能登の方に仕事に行くことはありませんでした。正月明けに蛸島港にイワシの鮮魚を積みに行ったぐらいです。あとたまに行くのは七尾市の市場ぐらいでした。果物を持っていくような仕事でした。

七尾市の方によく行くようになったのは市場急配センターで、平成3年の秋11月ころからのことですが、これは被告訴人東渡好信が配車係になったことと、その被告訴人東渡好信の口ききらしく七尾市の丸一運送の仕事をするようになったことがきっかけです。

行き荷のほとんどが七尾市だったようにも思います。積み込むのは七尾市の、能登木材の製材か、林ベニヤのベニヤ板のどちらかでした。積み荷の行き先はすべてが関東だったと思います。

帰り荷としても丸一運送の仕事と聞く、和歌山県かつらぎ町からのミカンが多く、手作業で他の運転手が嫌がる仕事だったので、私には個人的に集中的に回ってきていたようでもありました。これは小松市と七尾市の2箇所降ろしが多かったように思います。七尾市は必ずだったとも思います。

序に書くと、平成4年の2月ころからは石灰を積んでくる仕事があって、それも丸一運送の仕事だと聞いていました。私は栃木県の葛生市の山の方から3,4回、岐阜県の大垣市の山の方から2回ほど運んだように記憶しています。卸先は七尾市内、田鶴浜町、松任市の駅の近くがありました。

本書でも既に書いているところがあるかと思いますが、今年の8月の下旬にバイクで七尾市に行った時、田鶴浜町の国道沿いに、橋本商事という看板の出た倉庫が、当時と同じように存在していました。

そういえば今朝の10時過ぎの石川テレビの番組だったと思いますが、七尾市の市政10周年とかやっていました。旧七尾市、田鶴浜町、能登島町の合併になっていたように思います。中島町も現在は七尾市になっているような気もするのですが、田鶴浜町が以前七尾市とは別だったとは少々意外でした。

なお、金沢市から七尾市に向かうには能登有料道路を千里浜インターで降りて向かうことが多かったように思いますが、行き先が関東だと、そのまま海岸線の国道で富山県に入って氷見市から高岡市の国道8号線に出ていました。

国道160号線ということになるかと思います。石川県七尾市内から富山県高岡市につながる国道で、県境から氷見市の手前辺りまでは海岸線がほとんどだったように記憶しています。

富山県内を走る高速道路つまり北陸道は、石川県との県境から山の方を走り、国道8号線からも離れていました。滑川インター辺りになると国道8号線には近くなっていましたが、ほぼ交わるのは富山県で新潟県の県境の最終になる朝日インターでした。

昭和59年当時はその朝日インターが北陸道の最終インターで、新潟県の上越インターまでは高速道路が未開通になっていました。対面通行でトンネルも多かったですが、その間が開通したのは昭和63年ぐらいかと思います。

昭和60年の時点では関越道も湯沢インターが最終になっていて、その翌年ぐらいに開通したと記憶にあります。日本一長いという関越トンネルの開通でした。

その昭和60年か昭和61年の冬に、中西運輸商の4トン車で一度、湯沢インターから三国峠の国道18号線を走ったことがありました。トラックにはすれ違いも困難な狭いトンネルがありました。カーブも多くてずいぶんと時間がかかったように思います。

馬鹿のように時間も掛かったので、二度と通りたくはないと思うような三国峠でした。その昭和60年以来ということになるのかはわかりませんが、数年ぶりに通ったのが平成4年の2月の終わりか3月の初めのことで、大雪で関越道が通行止めになったために、しかたなく三国峠を走ることになったのです。

七尾市降ろしの石灰を栃木県葛生町から積んでいた時だったと思います。三国峠など国道18号線の方も渋滞がひどくて、湯沢インターのあたりに出たのは翌日の昼頃にもなっていたと思いますが、午後の明るい時間のうちには七尾市で荷物を降ろすことが出来たようにも記憶にあります。

その時は七尾市内の丸一運送の会社の方で、他のトラックに石灰の荷物を積み替えたか、パレットで仮置きをしたように思います。丸一運送の会社にはこの時を含め、2回かあるいは3回行ったことがありました。

どの時だったかわかりませんが、丸一運送の配車係か事務所の幹部社員のような年配の人がいて、被告訴人東渡好信のことをよく知り、あるいは心配するような感じで話をしていました。幼なじみとも思えるような親しく長い付き合いの関係にも見えました。

時期的に、被告訴人東渡好信が失踪をするような不可解な行動をやっていた時期に重なるかとも思いますが、そのことを案じて、私に声を掛けていたようにも思います。やはり心配するような表情であったと今はぼんやりした場面になっていますが、記憶に残っています。

被告訴人東渡好信に関しては後回しにして、今は被告訴人安田敏に関する説明をメインにしています。

七尾市から国道160号線で高岡市の国道8号線に出ると、私は小杉インターから北陸道にのることが多かったと思いますが、その時の気分では滑川インターまで行っていたかもしれません。小杉インターは富山インターの一つ手前で、富山インターの一つか二つ先が、滑川インターだったと思います。

市場急配センターでは基本的に高速道路は自由に利用ができていましたが、被告訴人東渡好信が節約とか言い出して、新潟県上越市から山の中の国道を走って、六日町インターから関越道にのることもありました。その道は金沢市場輸送に頃にもたまに使っていました。

Googleマップで確認したところ国道253号線になるのかと思います。松代とか十日町を通って、六日町の町の手前から関越道にのっていたように思います。3桁の国道でしたが、割と広い道で、豪雪地帯でしたが、特に難所はなかったように思います。

金沢市場輸送の頃は、六日町インターから関越道にのると、群馬県内の花園インターで降りることがほとんどだったとも記憶にあります。茨城県水海道市にアルミサッシを運ぶ仕事が多かったとも思いますが、埼玉県桶川市から移転した新しいアルミサッシの配送センターのような倉庫でした。

Googleマップで確認したところ水海道市は現在、市町村合併で常総市となっているようです。谷和原インターというのも思い出しました。アルミサッシの荷降ろしを終えた後、よく利用していた常磐自動車道のインターだったと思います。

その谷和原インターの近くに最後に行ったのは、被告訴人浜口卓也と一緒に日清製粉の工場に行った時でした。平成3年の11月の中頃ではなかったかと思います。

日清製粉という社名になっていたように思いますが、カップ麺でお馴染みの会社です。国道6号線で取手市だと思いますが、茨城県内に入るとすぐ左側に日清製粉の目立つ工場か倉庫のような建物があることは、以前からそこを通って知っていました。

仕事でその取手市の日清製粉に行ったのは初めで最後だったのですが、富山県の富山市の郊外に位置する富山インターから国道41号線を岐阜県の方に向かって3,40分ほど走った辺りで積み込んだカップ麺の容器のような荷物を積んでいました。

被告訴人浜口卓也とは午後に金沢を出発して、私は富山インターで降りて荷物を積みに行ってのですが、被告訴人浜口卓也はその先のサービスエリアで私が来るのを待っていたように思います。彼も自分の担当になった大型ウィング車に乗務していました。

被告訴人浜口卓也がどんな荷物を積んでいたのか憶えてはいませんが、とにかく一緒に茨城県取手市の日清製粉に行き、国道6号線沿いの日清製粉のすぐそばにトラックを駐めて、どちらかのトラックの中でコンビニで買った弁当を食べながら一緒に話をしながら缶ビールを飲んでいたことを憶えています。

被告訴人浜口卓也も日清製粉の荷降ろしだったと思うのですが、荷物の積み込み先が違っていたか、積み込んだ日が違っていたようです。

茨城県取手市の日清製粉で荷降ろしした後のこともよく思い出せないのですが、私は谷和原インターの付近を懐かしいと思いながらトラックで走行していた場面の記憶は残っています。

私は同じ茨城県の古河市の市場に行った可能性が高いかと思いますが、被告訴人浜口卓也とは別行動の仕事になったと思いますし、そもそも古河の市場で被告訴人浜口卓也と一緒になったことは、一度もなかったようにも思います。

古河の市場の山三青果の仕事はそもそも市場急配センターの仕事のメインだったのですが、私は被告訴人安田敏とも古河の市場では一度も一緒になることがなかったようにも思います。

山三青果の定期便の運賃は大型車で12万円とも聞いていたように思います。もとは平成2年の12月頃から金沢市場輸送に市場急配センターが請け負わせていた仕事だったのですが、運賃がよく売上がいいので、金沢市場輸送に任せるのが惜しくなったという話を聞くこともありました。

本書でも既に説明しているところがあるかと思いますが、金沢市場輸送でやっていたころは、日通高柳店からの埼玉県岩槻市、千葉県千葉市の二箇所降ろしの日通の定期便と、小松店、金沢店の二箇所積みでの栃木県宇都宮市へのトナミ運輸の定期便というほぼ同時期の二つの定期便とセットになっていました。

日通やトナミ運輸では、他に福岡への定期便や仙台への定期便もやっていたので、記憶が混同している部分もあるかもしれませんが、仙台への日通の定期便は、富山県高岡市だったと思います。

富山中央店からの福岡への定期便はウロコ運送との一日交代で前からやっていましたが、西インターの金沢店からも福岡への定期便をするようになっていたかと思います。富山中央店からの定期便とは違い、片道だけの定期便だったとも思います。

その頃は仕事が多いピークの時期だったとも思いますが、すべて金沢市場輸送のトラックでやっていたわけではなく、傭車と言い他の運送会社のトラックを使うことも多くなっていました。

特に多かったのは富山県氷見市の堀安商店という運送でした。大型車4台程度の小さな運送会社でしたが、緑ナンバーだったと思います。もともとは鮮魚専門のような会社でした。

堀安商店の方は、逆に仕事をもらうこともあって、氷見の漁港に鮮魚を積みに行くことがありました。東京の築地が多かったと思いますが、一度、シイラを満載にして福岡と熊本まで運んだことがありました。シイラは全国的にも人気がない魚で、買い手がないという話も聞きました。

堀安商店には3,4人の顔なじみの運転手がいたと思います。6トン車も一台はいたようにも思います。堀安商店の会社にも行ったことがありました。堀安商店の運転手とは福岡の魚市場で顔を合わすこともよくあったように思います。

同じ時期、傭車でよく金沢市場輸送に来ていたのは小木運送の新出さんでした。新出というのは小木や越坂に多い名前でしたが、一度聞いた話では珠洲市の若山に家があると話していました。

その頃は金沢市や県外の方で小木運送のトラックを見かけることも割と多かったように思いますが、金沢市場輸送に傭車として出入りするのは新出さんだけでした。新出さんは10トン車に乗務していましたが、他の小木運送のトラックでは6トン車を見かけることが多かったようにも思います。

小木運送という名前で運送会社のようですが、会社としてのシステムやあり方は、普通の運送会社とは違っていて、小木港での船凍イカの仕事が暇な時期は、自分で仕事を探してきてやりくりするしかない、というような話も聞いていたように思います。

小木運送でも新出さん個人との仕事のやりとりという感じでしたが、金沢市場輸送では小木運送の仕事をすることもなかったし、既に書いたように小木港に仕事に行くことも一度もありませんでした。

被告訴人本恒夫と新出さんとの個人的な関係と言ったほうが良いかもしれません。どこでどのように知り合い、傭車をするようになったのか具体的なことを聞いてはいないようにも思いますが、新出さんとは個人的に話をする機会も割と多かったので、憶えていないだけで聞いていたこともあるかもしれません。

越坂出身だと聞くKSさんも小木運送で大型車に乗務していたと聞いていましたが、その時期というのははっきりしません。同じぐらいの年の女の人と結婚をしていましたが、その妻というのは小木運送の金沢の支店で事務員をしていたと聞きました。

妻は金沢市の出身とうことで、何かの機会にその実家という家に遊びに行くこともありました。西念町でしたが、中央市場からは離れた場所で、北安江に近かったと思います。

KSさんと初めて会ったのは昭和59年の6月だと思います。金沢港のスルメイカの仕事では山形県の酒田市に行くことも多かったのですが、一度、珠洲市三崎のHMを連れて行ったことがありました。たぶん彼は失業中だったと思います。

酒田市は山形県でも日本海側にあります。その帰りだったと思いますが、新潟県の柿崎町から上越市に入った辺りの国道8号線沿いに、右手にラーメン屋がありました。そのラーメン屋で一緒になったのが越坂のKSさんでした。

その時、越坂のKSさんは中西水産輸送の10トン車保冷車に乗務していました。中西運輸商と大書きした2台ある保冷車の一台でした。いずれも日産ディーゼルのトラックで見た目はほとんど同じだったと思いますが、中身はずいぶんと違うものになっていました。

その一台というのは10トン車の車体に、トレーラーのエンジンやミッションを搭載したものでギアが10段あるものの、ギア比が低いため最高速度が90キロしか出ないというような話でした。

同じ頃ではなかったかと思いますが、宮城県の石巻の冷蔵庫で、中西運輸商の保冷車と一緒になり、その積み込みを手伝ったり、話をしたことがありました。当時の長距離トラック運転手としては最高齢に近く、50歳近いような話でした。現在の50歳の感覚とはまるで違います。

名前の方は思い出せなくなりましたが、珠洲市の鵜飼辺りの出身とも話していたと記憶にあります。ちょっと風変わりな人でしたが、サウナに寝泊まりしながら生活しているとも話していました。

その時も冷凍のエサを保冷車に満載にしていました。段ボールケースにも入っていない小魚の冷凍で、メギスのような色の悪い小魚の冷凍物であったとも印象に残っています。

昭和59年で私が金沢市場輸送の4トン保冷車に乗務していた頃のことですが、その頃、石巻に行ったのは2,3回だけだったと思います。その一度は、既に書いていると思いますが、被告訴人大網健二と生マグロを積みに行った時のことで、興勝運輸の仕事でした。

興勝運輸は飾りの多い立派なトラックでしたが、会社の方は石巻港でもずいぶんと離れた場所にありました。昭和61年頃にはすでに倒産して会社がなくなったと聞いていました。

その石巻の冷蔵庫で一緒になったのがトレーラーのミッションをつけた10トン車だったと思います。その運転手の人も、私が中西運輸商で4トン車に乗務していた頃に、しばらく会社に戻って同じトラックに乗務していたことがありました。けっこう気ままに出入りを繰り返しているような話でした。

印象に残っているのは冬だったと思いますが、中国自動車道を走行中にトラックのフロントガラスが全部割れ、顔にタオルを巻きつけて走ってきたと話していたことです。

越坂のKSさんは私より年が３つか４つ上だったと思います。初めは金沢市場輸送で4トン車に乗務していたとも聞いたように思いますが、水産高校を卒業したばかりの蛸島のTSさんと一緒だったとも聞いていたように思います。

すでに書いているかと思いますが、蛸島のTSさんが水産高校を卒業したのは昭和56年のことで、それは私が小木分校を中退して、金沢市に出た年と同じでした。

被告訴人大網周一と二人でいたところ、蛸島のTSさんが運転するジャパンというスカイラインだったと思いますが、それに乗せてもらい、問屋町のガソリンスタンドの寮まで送ってもらったことがありました。その時、助手席にいたのが当時は名前の他あまりしらなかった被告訴人安田敏でした。

そういえばということで思い出したのですが、金沢市場輸送で傭車の仕事をするようになった当初の越坂のKSさんは、中西運輸商でトレーラーのミッションをつけていた10トン車を払い下げで買い受けて、それに乗務していたように思います。

バイクの改造車のように自分でスプレーで塗装したようなボディのカラーになっていて、中西運輸商のトラックという面影はなくなっていたとも思いますが、そういうふうに聞いたように思い出しました。

私の記憶も薄くなっていて余り自信は持てませんが、初めはやはりその10トン車だったとして、金沢市場輸送での傭車の仕事をするようになってからは、そう長い間その10トン車には乗務しておらず、まもなくトレーラーに買い換えていました。

トレーラーの本体は新車だったと思いますが、荷台の保冷の箱の方は古い中古の物を使っていたように思います。10トン車もそのトレーラーも白ナンバーだったと思います。

個人の持ち込みという言い方もされていたかと思いますが、越坂のKSさんが独立して個人のトラックを保有するようになったのは、石巻からエサを運ぶ仕事がしたかったからだと話していました。初めは興勝運輸から仕事をもらっていたとも聞いたようにも思いますが、これも私の記憶がぼんやりしています。

とにかく昭和59年ころまでの大型保冷車の仕事というのは、エサの仕事が多かったと聞いています。私が金沢市場輸送で大型保冷車に乗務したのは昭和62年4月のことで、その頃のはエサの仕事自体がほとんどなくなっていて、私自身、エサの仕事というのは一度もすることがありませんでした。

話としては年配の運転手からよく聞いていたのですが、主に石巻港の冷蔵庫からエサを満載に積み、それを鹿児島県や宮崎県あるいは大分県のハマチの養殖場まで運ぶという仕事で、四国の宇和島の方にも行くとも聞いていました。

たいていは片道一週間ほど掛けて、大半はフェリーに乗って、のんびりと運ぶ仕事で、月に4回ぐらいしか出来ないけど、そこそこ収入にもなるような話でした。

本来は大半をフェリーの利用にするというのが常識だったようですが、それを全線高速道路でやろうと考え、トレーラーのエンジンやミッションに改造することを考え、実行したのが中西運輸商の社長の発想だと聞いていました。箱の方も丸みを帯びて変形していたような記憶があります。

これもそういえばということになるかと思いますが、越坂のKSさんは、金沢市場輸送で姿を見かけなくなってしばらくしてから、輪島屋鮮冷の仕事をしているらしいと聞いたようなことも思い出しました。

金沢市場輸送では基本的に鮮魚の仕事が多かったので、KSさんとしてはそれも好きではなかったようです。トレーラーがスピードの出せるものではなく、時間に遅れてしまうことを気にかけていたのかもしれないですが、冷凍物を運ぶのが好きだったようです。

金沢市場輸送では妻子を連れて会社に来ていることも多かったKSさんですが、蛸島のTSさんが自殺をしたという新聞記事が出た時は、他の誰よりも驚き、ショックを受けた様子に見えました。その時は珍しく金沢市場輸送の事務員のいる事務所の中にいて、そこには竹林と大西さんの姿もありました。

他の女性事務員などの姿が見えなかったようにも記憶の場面にはあるので、今考えるとそれは休日だったのかとも思えます。午前中の朝に近い時間だったとも思いますが、そんな時間に運転手が集まっていたというのも、あまりないことかとも思います。

私も朝アパートで新聞を見てその自殺のことを知ってから会社に行ったのですが、朝の早い時間での出社というのも金沢市場輸送では余りなことであったように思います。夜から深夜の時間の仕事が多かったので、そうなるわけです。

運転手は運転手の控室のような部屋があり、勝手口のような出入口があって、ほとんどはそこから出入りをしていました。事務所の方に人が集まっていたのは、あるいは新聞記事を見るために新聞のある事務所の方に集まっていたのかもしれません。

エサの仕事というのはキロあたりの運賃になっていると聞いていました。いい時期はキロあたり20円からそれ以上と聞いていたようにも思いますが、それが12円ぐらいまで下がっていると聞いていたようにも思います。

30トンでざっと計算すると単純に片道60万円という運賃になりそうです。フェリー代などの経費も必要だとは思いますが、フェリーに乗っている分には燃料代も浮きそうです。慣れたらやめられない仕事だと聞くこともありましたが、重量オーパーで捕まる危険も高く、事故の危険も高くなります。

私は4トン車でもブレーキーが焼けて煙が上がるという経験を何度かしているので、よくわかるのですが、運転は下り坂の場合特に神経を使うというより神経をすり減らします。運転技術と腹のすわった注意力も人一倍必要になるかと思います。一度加速がつき過ぎたらその時は終わりかもしれません。

エサの仕事がなくなったとか運賃が安すぎると聞くようになってからは、全体的な運送の仕事が増えていきました。ちょうど日本の国全体がいわゆるバブル景気へと突入していた時期になるのかと思います。

仕事はいくらでもあると言われるような時期になり、そのうち傭車と言って、実際の仕事だけを他に請け負わせて手数料をとるという仕事も増えていったようです。時代の先を読んでいたのか、それを先駆け徹底していたのも中西運輸商かと思います。

既に書いているかと思いますが、自社のトラックや運転手ですら傭車の一部のような扱いの別会社として中西水産輸送にしていると聞き、傭車など配車の手配を主体とする会社を中西運輸商という会社にしていると聞きました。どちらも有限会社ではなかったかと思います。

中西運輸商の真似をしたのか参考にしたのかもわかりませんが、金沢市場輸送の本恒夫も規模は小さいものの似たようなことをやって、傭車に仕事を回すようになっていきました。

そして金沢市場輸送の運転手の中でもトラックの払い下げを受けるなどして、持ち込み運転手として仕事を請け負おう運転手も何人か出てきました。きっかけは持ち込み制度を先駆けていた守田水産輸送の引き抜きでもめたことだったと思います。

<2014-10-08 水 08:41> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年10月8日

<2014-10-08 水 08:42> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

金沢市場輸送から守田水産輸送に行った谷内さんも守田水産輸送で持ち込みをやっていると聞いていました。谷内さんは昭和59年のスルメイカのシーズンに入社しました。たしか初めての運行で新潟あたりの比較的近場だったと思いますが同行したことがありました。

谷内さんは珠洲市若山の人だと言っていたと記憶にあります。大工をやっていたともいい。話しぶりからすると自分で工務店でも経営していたような感じでした。

珠洲市の若山というのは珠洲市の中心部飯田から輪島の方に向かうと大谷峠の手前の辺りです。大谷峠を超えると大谷の町に入りますが、そこは能登半島の先端部分で輪島市内につながる外浦という海岸線になります。

大工を廃業していわゆる出稼ぎに出るという話は、当時小木や姫、宇出津を中心に聴いていたことでした。小木港の遠洋漁業が大打撃を受け、その煽りを受けたかたちで他の商売が立ちゆかなくなったと聞きます。当時はソ連ではなかったかと思いますが、それら国際的な二百海里問題によるものでした。

姫は当時宇出津と同じ能都町でしたが小木とは連接し、小木とは別に遠洋漁業をやっていました。遠洋漁業の良い時期は、石川県で住宅の新築率が1位だったとも聞いたことがあります。私の同級生の家も真脇で大工をしていましたが、ちょうどその頃廃業したと聴いていました。

小木港や姫では遠洋漁船が拿捕され操業ができなくなったとか、銃撃を受けて人が死ぬような事件もありました。八千代丸という船です。

ネットで調べたところ第36八千代丸事件は昭和58年7月28日のことのようです。知り合いも一人乗船していたと聞きますが、水産高校での被告訴人安田敏の同級生です。私の記憶では姫の船と聞いていたように思うのですが、確認できる情報はみつかりませんでした。

宇出津は遠洋漁業ではなく地場の漁港ですが、それでも当時は町の半分の人が漁業の関係者だと聞くこともありました。私の友人知人も、小木や姫の遠洋漁船に乗り組む人が多かったです。また、珠洲市の方でも同様にけっこういると聞いていました。

当時の小木港は珠洲郡内浦町でしたが、珠洲市の中心部の飯田の方とはけっこう離れているので、私の感覚としてはさほど影響もなさそうには思えていたのですが、連鎖的な影響というのはかなりのものがあったのかもしれません。

当時は宇出津の崎山でも自殺や夜逃げが横行していると聞いていました。崎山は私が小さい頃は畑ばかりの風景だったのですが、その後造成が始まり、私が中学生の頃にはすっかり新興住宅地となっていました。住宅ローンの支払いができなくなったということなのでしょう。

私の家は漁業とは無縁で、当時は金沢市で生活をしていたので、具体的実感というのは余りなかったのですが、小木や姫の漁船が拿捕されたというニュースはテレビや新聞でも見かけていましたし、相当に深刻な死活問題という認識はありました。

年々遠洋漁船の仕事をやめて普通の仕事をするようになったという周りの話も聞くようになりました。「丘に上がる」というような表現もします。現在では中型イカ釣り船に地元の若者は少なく、若者はほとんどがインドネシアの研修生だと聞いています。

気になるのは福井刑務所で班長から聞いた話でした。まだT班長がいた頃で、その場にはその後任と綯った班長もいたのですが、そちらの方は急に名前が思い出せなくなっています。と書いているうちにそれらしい名前を思い出したのでY班長ということにします。

ほとんど同時のような会話の状況だったのですが、発言はY班長だったと思います。被告訴人竹沢俊寿について知っている話をきいたときのことでした。能登の方とかで金貸しをして儲けている、という内容でした。T班長もよく知っていると相槌をうつような感じでした。

T班長には直接、被告訴人安田敏のことを知らないかとたずねたこともありましたが、これは知らないと言われました。ちょっと答えにくそうな雰囲気も感じたので、どうかとは思っていたのですが、被告訴人安田敏本人がよく知っていると後日話していたので、本当の答えではなかったことになりそうです。

二人の班長とも被告訴人安田敏が以前片町でバーテンをしていた店の店主の友達とかでよく見せに来ていたという話でした。この会話も録音済みで、記録を金沢地方裁判所に提出している可能性があるかと思います。

あくまで被告訴人安田敏の話なので事実かどうかはわからないですが、被告訴人安田敏がいうにはT班長も元と言っていたようにも思いますが、暴力団員で滝本組の組員だという話でした。

Y班長の方は自分で元組員とか、本当は組員のままになっているが執行猶予をもらって少しでも早く出所するために、組をやめたと偽っているとか話していました。同じく滝本組と聞いていたようにも思いますが、紺谷組と聞いた風にも思うのです。あるいは昔、紺谷組にいたという話だったかもしれません。

Y班長とそういう会話をしている時、私は被告訴人安田繁克のことを思い浮かべていました。被告訴人安田繁克も暴走族のリーダーをやっていた他、ヤクザの組員をしていたという話もしていたからです。

被告訴人安田繁克のその時の話では、事務所の方に顔を出さなくなり自然消滅のようなかたちでヤクザをやめ、その後世話になった兄貴分のような人物に顔を合わせたけど、何も言われずに済んだと言っていました。平成4年2月1日の夜のことです。彼と膝を突き合わせるような会話をしたのはその時だけ。

T班長に被告訴人安田敏のことをたずねたのは、T班長が片町で有名な人物で薬物事件に関わっていたからです。T班長に関しては既に本書で取り上げているところがあるかと思いますが、平成13年頃には金沢刑務所で私の運転手仲間だったYKと6工場で仲良しになっていると聞いていました。

能登での金貸しの話に戻します。そういえばと思い当たることがありました。昭和61年の秋のことかと思います。

<2014-10-10 金 15:58> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### 原告訴訟代理人長谷川紘之弁護士（金沢弁護士会）による犯罪的関与の真相解明と社会的責任追及の必要性について　2014年10月19日

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:34 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510587244990590976> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中04.jpg <http://t.co/pmGi8JbPwT>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:34 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510587349109993472> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中05.jpg <http://t.co/i53lXy5beM>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/09/13 09:35 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/510587438578667520> 訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中06.jpg <http://t.co/RmaVvWoGer>

### 再審制度と刑事弁護に対する社会の認識と実情に関して

#### ジャーナリストの江川紹子さんの最高裁裁判官の国民審査に関するツイートから考えたこと　2014年12月17日 POST

<2014-12-17 水 12:40> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

迷いもあったのですが、「経緯及び社会の反応」というレベル2の階層の下にレベル4という項目の位置づけで、この項目を作成しました。

なぜそのような構成による配置にしたのかというと、元をたどればモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）との2008年当時の関係とも、係る部分があるからです。大きな一つの流れの支流として捉えたほうが、良いかと考えました。

ジャーナリストの江川紹子さんに関しては既に本書で言及していることも少なくないと思いますが、同じ内容を繰り返すことはできるだけ避ける方針です。もともと本書はその全てを読まないと、満足な理解は出来ないものとして考えるほかはありません。

既に膨大な記述になっていることは重々承知なので、同じ内容を繰り返して膨れあがることは、極力避けるのがよりよい対処であると考えています。私の頭の中には今後も書くべきことが沢山あり、泉のように湧き出ています。

記事としては"2014k9660","江川紹子さんの原稿です。我々の生活に引きつけ、国民審査を白紙委任状と捉えた時に生じる問題をわかりやすく解説されています。 / 【総選挙2014】最高裁国民審査"が始まりになるかと思います。

最初の始まりとなる発見はツイッターになるのですが、次のツイートがそれになりますが、私がリツイートした時刻が2014/12/08 19:59 となっております。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/12/08 19:59 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/541909830051454976> RT @tsuda: 江川紹子さんの原稿です。我々の生活に引きつけ、国民審査を白紙委任状と捉えた時に生じる問題をわかりやすく解説されています。 / 【総選挙2014】最高裁国>民審査は「わからなかったら×（バツ）」で（江川紹子… <http://t.co/mbXlGzVWrw> … 元のツイート）→　投稿者：tsuda（津田大介） 日時：2014/12/08 07:39 ツイート： <https://twitter.com/tsuda/status/541723580686274560> 江川紹子さんの原稿です。我々の生活に引きつけ、国民審査を白紙委任状と捉えた時に生じる問題をわかりやすく解説されています。 / 【総選挙2014】最高裁国民審査は「わ からなかったら×（バツ）」で（江川紹子… <http://t.co/mbXlGzVWrw> #NewsPicks

これも本書でご説明済みかと思いますが、TwitterのAPIを使った自作のスクリプトで、APIで得たデータを独自に加工した書式となっております。

津田さんもジャーナリストの一員ということになるのかと思いますが、情報社会学のような分野での大学の先生でもあったと思います。そういえばテレビで姿を見かけなくなったとも思い出したのですが、ひと頃はNHKをはじめテレビで見ることも多く、著名な人かと思います。

ツイッターに関しては第一人者としてメディアで解説をされることの多かった津田さんですが、その津田さんがジャーナリストの江川紹子さんのツイートを紹介していることにも、興味をそそられました。

まわりくどい説明をしているといたずらに文字数も増えるので、ずばりと簡潔に説明をしていきたいと思いますが、江川さんのツイートを読んで、まず頭に浮かんだのは、これまでも再審請求の報道に際して、極端に裁判官を批判したり、褒め称えたりしていたことです。

批判に関しては「名張ぶどう酒殺人事件」の再審請求の棄却決定も印象的でしたが、どうもご自身が支持する事件についてはそれだけで決定的な評価を下す傾向があるように感じておりました。

再審請求の認容、再審開始の決定自体めったに出るものではないと思いますが、褒めちぎっていたのは記憶にもまだ新しい袴田事件の再審開始の決定でした。

そういえばその袴田事件の再審開始もまだ半年も経つか経たないぐらいで今年の重大ニュースの一つかと思いますが、12月に入って年末に今年の重大ニュースや報道を振り返る情報番組の特番でも、さっぱり取り上げられてはいないように思いました。

再審開始の決定に対する検察の即時抗告があったと思いますが、これには大きの批判も寄せられしばらくの間は話題にもなっていたかと思います。

同じ再審請求の事件で再審開始の決定が出て、その決定が覆された事件もありました。再審開始を取り消すという決定ですが、当日には批判の声があがったものの、不思議なぐらいぴたりと報道がなくなった事件がありました。福井女子中学生殺害事件のことです。

弁護団の活動としても情報をみなくなったように思いますが、私の場合個人的に特に関心の強い事件なので時々思い出しては検索で調べるようなこともしていたように思います。

マスコミの報道には他にも不可解と思えるところがあるのですが、ある日ある時を境にぴたりと報道がなくなったり、目立たないようなかたちで小さい扱いとして続報される事件があります。小さい扱いだと気が付かずに過ぎてしまうことも多いかと思いました。

そういうことを強く感じたのは舞鶴女子高生殺害事件で無罪判決が確定した男性が起こした傷害かあるいは殺人未遂容疑での事件でした。考えてみるとかなり経過しているので、起訴の判断も出ているはずですが、訴因が傷害になったのか殺人未遂になったのかも報道を見ていない気がします。

続報として小さい記事をネット上で見たのは、被害者に対する暴力行為の動機がわいせつ目的だったというニュースでした。当初の報道はテレビでも実に大々的なものでしたが、元雇い主の女性との間の金銭トラブルか、お金に困ったことでの犯行という印象を強くさせる報道でした。

一日かあるは二日間の間は、無罪判決の不当性を強く感じさせるような報道が舞鶴女子高生殺害事件の被告人であったことと併せて、大々的に報じられていましたが、それがぴたりとやみました。

情報を得る手段もないので確かなことはわかりませんが、一つの可能性として、弁護士らがマスコミの報道に対して人権を盾に強く抗議した可能性というのもあるのではないかと私は想像しています。

実際にそのようなマスコミ批判を言う弁護士もインターネット上ではいたと思いますし、思い出しましたがジャーナリストの江川紹子さんも、そのような批判をあるいは疑問というかたちでやっていたように思います。

まだ3ヶ月も経っていないように思いますが、はっきりした時期も思い出せないものです。わいせつ目的というニュースは、ニュースの関連記事として、たまたま偶然に近いかたちで知ったもので、見出しだけで舞鶴の事件との関連など全くわからないものになっていました。

私の中では、舞鶴の女子高校生殺害事件もそうですが、刑事弁護と弁護士に対する不信と疑問を決定的に大きくさせたものです。

刑事手続としては「疑わしきは被告人の利益」という刑事司法の大原則を貫徹させた弁護側の歴史的大勝利という結果として評価される事件なのかと考えますが、ネットで見た細かい情報を見ると、捜査の妨害とも思えるようななりふり構わぬ、弁護士らの姿が私には見えてくるのです。

残念ながら舞鶴の女子高校生殺害事件は判決が確定しているので進展の可能性はほぼないように思われます。一事不再理ということでわかりやすい前例を作ったことが、社会の共有財産とも思いますが、マスコミの報道を見ていてもその点は控えめな印象もあって、社会に普く浸透はしていなそうです。

我々国民としても裁判所が決めた確定判決に対しては尊重すべきなのかとも考えなくはないですが、わだかまりなく受け容れることが出来るという人はそう多くはないように思いますし、司法に対する不信や疑問として解消されることなく沈殿していく事件の一つのように思われます。

舞鶴の事件に関しては弁護士らの支援も大きかったと思いますが、ぶれずに強力に容疑を突っぱねた被告人の意思と行動力も報道を通じて感じさせるものがありました。それが真犯人であるかどうかは別として、冤罪のパターンとしては無実なのに認めてしまう人もいると夙に知られています。

冤罪事件のパターンとしては捜査段階で自供をしてしまい公判が始まってから否認をするというケースも大きと聞いています。富山の氷見強姦冤罪事件もそのパターンであったように思います。というか公判でも明確な否認は出来ず、認めた形で判決が確定した事件であったようにも思います。

福井の女子中学生殺害事件に関しては独立した項目で言及をしたいところですが、最高裁での特別抗告棄却のニュースが降って湧いたように出たのは先日12日のことであったと思います。

本書でも既に触れているかと思いますが、福井女子中学生殺害事件で逆転の有罪判決を出したのは、私の平成4年の事件の控訴審と同じ、名古屋高裁金沢支部の小島裕史裁判長でした。

事件の内容に関しても時代や背景の共通性や類似点があったり、それが真逆の形になっていたりといろいろある事件なのですが、ある意味正当な再審請求事件という位置づけも出来るのではと思います。実際、日弁連が支援をする事件としても指定されてきたという経緯があります。

私自身、平成15年まで実際の刑事手続として再審請求を金沢地方裁判所に行い、同じ方向、道筋を歩んできたようなところがありました。私の場合は無実の事件でも冤罪でもないのですが、その違いを説明をする上でも、参考になる事件、裁判かと思っています。

やや脱線気味で修正の必要も感じるところですが、この項目で対象にしているのは、ジャーナリストの江川紹子さんによる最高裁の国民審査の問題です。

最高裁の裁判官に対する国民審査のことはかなり前から知っていました。実際のその国民審査による不支持で罷免になった最高裁判事がいないことも知っていました。

私がジャーナリストの江川紹子さんの態度で問題に思うことは、審査の判断において資料となる情報と、個々の裁判官に対するプレッシャーです。裁判官にもいろいろな人がいて、随分と問題のあるような人がいるらしいということも、これまでは情報として受けてきました。

私自身、小島裕史裁判長によって人生を狂わされたという一面も認識の一つとして有しておりますが、より冷静に問題を考え、その問題をより正確に伝えたいと考えております。

ジャーナリストの江川紹子さんの報道のあり方、姿勢に対して疑問を持つようになったのは、いわゆるPC遠隔操作事件の容疑者が逮捕され、冤罪の主張が始まってからのことです。

このPC遠隔操作事件も私の事件とは、似たような経過と真逆のような対応がありました。判決の方は確か来年2月ということで、まだ一審の裁判が終わっていない事件ですが、佐藤博史弁護士とその弁護団による支援がことのほか強烈で印象的な事件でもありました。

本質的な部分では私の事件、問題とは共通性もないので、変な誤解を招かないためにも単独で取り上げるのはどうかとも思われる事件ですが、なんらかのかたちで、独立した記事として取り上げたい事件です。

裁判官個人に対する批判というのはこれまでいくつか見てきたように思うのですが、とりわけ印象に強く残っているのが、御殿場事件での女性裁判官のことでした。ジャーナリストの江川紹子さんのツイートを読んで真っ先に頭に浮かんだのもその女性裁判官の名前でした。

今現在の私の頭の記憶ではすぐに正確に名前を思い出せないのですが、下の名前がとりわけ記憶に残るもので、「龍子」となっていました。今までずっと「りゅうこ」と読むのだと疑いも感じないできたのですが、改めて取り上げると「たつこ」と読む可能性もありそうだと気づきました。

コマンドを使ってデータベースから調べてみます。「% h-mysql-python-2014k-query-search-title.py 龍子」というコマンドの実行です。該当したデータは次の一件だけでした。

こちら→　"2014k4248","です。櫻井龍子は御殿場事件の４人の上告棄却をした時も裁判長。／ジャーナリスト江川紹子","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=4248>"

インターネットに接続できないので確認も出来ないのですが、これは最近になってツイッターの検索で調べたものを記事にしたものと思われます。

御殿場事件は最近ほとんど情報を見かけず、すっかり忘れていることも多かったので、知らない人も多い事件かと思います。

私がブログというサービスの存在を知り自分でもブログを始めた2005年の11月、12月頃に世間の注目を集めていた冤罪事件だったという記憶です。

当時は、テレビ朝日の女性キャスターがこの御殿場事件を大々的に取り上げ、ご自身のブログの方でも取り上げ紹介をしていました。長野智子という名前だったと思いだしましたが、そういえば最近はテレビでも見かけていない気がします。

御殿場事件の内容をここでご紹介することは致しませんが、その報道を見る限り、警察、検察に絶対的な非があって、有罪などあり得ないだろうというものでした。

テレビ朝日の一部の番組が独占的に取り上げた事件という印象もあるのですが、冤罪という割には不思議と弁護士の姿が見えてこない事件で、弁護人の名前というのも見ることはなかったような気もします。

集団による強姦事件だったと思いますが、それも未遂ということになっていたとも思います。被害者の少女が夜遊びの言い訳で被害をでっち上げ、少年らを巻き込んだというような長野智子さんらの説明になっていたと思います。

記憶の方も薄れているのであやふやなことも書けないのですが、報道が一方的すぎて、全体像が見えてこないという印象も残る事件でした。その辺りは福井女子中学生殺害事件と共通性があるようにも思います。

福井女子中学生殺害事件の逆転有罪判決が出たのは、私が福井市内にある福井刑務所に服役中のことだったとも思います。先日、正確な日にちを調べたのですが、それも忘れてしまいました。

服役中の同じ工場の受刑者の中には、その事件の関係者と面識があるような若者もいました。願い出による法律相談を受けた福井市内の弁護士も、その弁護団の一員だと話していたことも印象に残っています。言葉以上に直に接した空気感のようなものがありました。

相談の内容などもほとんど記憶にはないのですが、その場で話題になったことから逆転有罪判決からまだ日の浅い頃か、弁護団の具体的な対応が新聞の記事にも出ていた頃だったと思います。

福井女子中学生殺害事件に関しては日弁連が支援をする他、なんとか救済とかいう団体が全面的な支援をしていて、政治性、思想性、党派性の強い事件という印象も私は抱いていました。

平成7,8年ころのことだと思いますが、当時の情報源というのは新聞がほとんどでした。福井女子中学生殺害事件に関しても週刊誌で取り上げられているのを見たという、明確な記憶は残っていません。ごく断片的な情報しか得ていなかったように思います。

福井女子中学生殺害事件について詳しく知ったのは、インターネット以上公開されていた再審請求書を読んだことが最も大きかったと思いますが、他にも熱心に問題点を取り上げる弁護士のホームページは見ていたと記憶しています。

TwitterやFacebookのようなSNSはおろかブログさえまだ存在はしていない頃であったようにも思います。ブログが出る前はhtmlの知識がないと、インターネットでの情報発信は無理だったように思います。

出回る情報量も今よりはるかに少ない時代であったと思いますが、それだけにひときわ目立つサイトやホームページはあったとも思います。

さきほど書いたように私は2005年の11月の初め頃にブログというサービスの存在を知り、すぐに自分でも始めました。それがgooのブログで、同じく12月の初めにはHatena::Diaryのブログを初めて、それからかなり長い間メインのブログ、情報発信の場として使っていました。

櫻井龍子裁判官の話に戻しますが、とにかく初めは被告人らの請求を斥ける場面として法廷の映像をテレビで見たという記憶が鮮明に残っています。

とんでもない裁判官として酷評される情報だけ見ていたのですが、数年後には最高裁の判事になったという情報に接したことを憶えています。

御殿場事件の報道ではいかついイメージが残っていたのですが、先日、ネットで検索をして写真画像など見ていると、おだやかで優しそうな女性に見えるものもありました。情報が一方的に偏っているので御殿場事件の当否も、結局私にはわからないことです。

昔、「鬼龍院花子の生涯」とかいう話題の映画があったためか、龍子という名前はそれも連想させるもので、その名前のインパクトも強かったと思います。映画も見てはいないので内容は知りませんが、任侠映画の一つという感じでした。

正直に言うと初めにテレビで櫻井龍子裁判官の姿を見た時、不動明王と火炎のようなイメージが重なりました。人間離れした突っぱね方が理解を超えていたとも言えるのですが、今は前提となっていた冤罪報道のあり方にも疑問を思えます。無実にせよそれを取り扱うあり方です。

もともと釈然としないところが強かったのだと思いますが、それと一部共通性もある報道がなされたのもPC遠隔操作事件でした。腑に落ちない割り切れなさもあって、より多くの情報を求めて時間を割き、そして自分なりに検証をしていました。

長野智子さんはテレビ報道番組の司会も勤めるような立場で、性格的にもジャーナリストの江川紹子さんとの違いは大きいと思いますが、事件の問題性に迫るアプローチというのは、どちらも感じるところでした。

長野智子さんについて詳しくはしらないですが、独立はしておらずテレビ朝日の社員という可能性があるかと思います。一方のジャーナリストの江川紹子さん場合は、フリーのジャーナリストして弁護士と同じく自営業なのではと考えられます。

ここで忘れられない事件を紹介しておきたいと思いますが、ある不可解な事件の真相を追った元警察官のジャーナリストがいました。事件の処理に対して警察の責任を追従し、私財まで投じていたようですが、事件の解決には至らず、自殺という巻切れになりました。

その人はツイッターもやっていましたが、亡くなった後もアカウントはそのまま残されているらしく、割と最近にもそのアカウントを見ることがありました。確かフォロー返しを受けていたと思います。

よくはわかっていないのですが、ツイッターでログインした状態で別のアカウントのページを開くと、自分をフォローしている共通のアカウントが複数のアイコンとして表示される仕組みになっているようです。そんな時にそのアカウントのアイコンが出てきて気が付きました。

あるいは自分がフォローしているのと共通のものが複数表示されるのかもしれないのですが、私の廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントの場合、基本はフォロー返しによる相互フォローなので、完全ではないですがフォローしているアカウントとフォロワーは一致します。

その事件は岩手県の三陸海岸の地方都市を舞台にしていたと思いますが、事件の呼び名は画一していなかったように思います。批判の対象は宮古警察署だったように思いますが、事件そのものは東日本大震災の大津波の前のことで、事件の資料も津波で流され散逸したような情報も見ています。

その事件も福井女子中学生殺害事件の背景、特に人間関係に共通するような部分のあるものでした。私の事件も同じなのですが、その岩手の事件の方は福井の事件以上に真相の解明と解決は望めない感じなのですが、相違点もあるとはいえ、私にしてみれば他人ごとではない問題です。

真相を追っていたジャーナリストの人が亡くなってしまった以上、新たな情報が出てくることも難しいと思われ、記録化された資料というのも余り残ってはいないように思われます。

確かこの三陸岩手の事件も、テレビ朝日の番組で長野智子さんらが取り上げていましたが、もう何年前だったのかも思い出せなくなっています。番組の名前もはっきりしないのですが、あるいは「ザ・スクープ」だったかもしれません。

以前はジャーナリストの人の生活とか収入について深く考えることはなかったのですが、ジャーナリストの自殺となったその事件では、一部に取材に投資をやりすぎて経済的に行き詰まってしまったという話もあったかと思います。

警察にとって不都合な問題を追いかけまわしたことで殺されたのかもしれないという他殺説も、当初は出ていましたが、それは遺族の方が丁寧に否定されているのを見て、そういう憶測も消えていったという印象が残っています。

時期的に近かったようにも思いますが、ロス疑惑で無罪となった人物が、アメリカの方で再捜査を受けるようになり、警察署の留置場で死んだというニュースもありました。自殺という報道になっていたと思いますが、警察に殺されたという主張を強く訴える関係者もいたかと記憶にあります。

ロス疑惑といえば当時の大々的な報道を見ていたので記憶に残る事件の一つですが、弁護人のことを知るようになったのは、比較的最近のことで陸山会事件のあとであったように思います。

そういえば昨日あたりも、そのロス疑惑の弁護人の本のアマゾンのレビューなどを見ていました。ブログの記事にもしていると思います。と思ったのですが確認すろと記事にはしていなかったようです。

"2014k9805","勝率ゼロへの挑戦-史上初の無罪はいかにして生まれたか-八田-隆 出版社からのコメント／","<http://hirono2014k.wordpress.com/?p=9805>" ←こちらは記事にしました。

上記の記事になっているアマゾンの書籍のレビューで、関連商品という感じで目にしたのが、ロス疑惑の弁護人に関する本でした。

刑事弁護の現状と沿革を知る上で、とても参考になる情報でもあるので、あとでもう一度調べなおして記事にしておこうと思います。弘中惇一郎弁護士のことです。

時刻は17時27分になっています。あと一時間もすれば自宅に戻っていると思いますが、この項目の主題にした国民審査に関する言及は不十分なもとのなり、他にそれることが多くなってしましました。絡みあうところもあるので、その辺りも別の機会に言及します。

ジャーナリストの江川紹子さんに関しては、本人の自覚はともかく、客観的に見て、裁判官にプレッシャーを与える目的が強いように思われます。もうひとつ前々から思っている重要な要素は、司法の批判や検証はしても、弁護士のそれはほとんどしないということです。

そういうことを問題にしている人も、たまたまなのか私としてはほとんど見かけることもないのですが、かなり不思議な現象とも思えるところです。

他の視点あるいは問題点に立脚したアプローチもあるので、この項目の問題はこれで締めようかと思います。そろそろ帰宅の支度にも取り掛かれなければならないし、歩いての帰宅の道すがら、他のテーマというか項目についても考えたいと思います。

<2014-12-17 水 17:39> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

# 告訴事実

## 被告訴人木梨松嗣弁護士の犯罪性と厳重なる捜査の必要について

### 添付資料　H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士について

一件記録・写真／H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <http://bit.ly/18vw85u>

#### 添付資料　H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士01.jpg　について　2013年7月13日

ファイルはDVDとして提出しますが、インターナット上でも次のURLでご覧になれると思います。H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 <http://ow.ly/mUtVP> 拡張子にjpgもしくはjpegとあるものは、そのまま写真画像のファイル名です。

この写真はもともとだいぶん前に撮影したものだと思います。写りがあまりよくないですが、平成4年10月26日と弁護人　木梨松嗣、という文字が読み取れます。事前準備書の表題部です。

#### 添付資料　H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士02.jpg　について　2013年7月13日

同じく次のURLからご覧になれると思います。H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 <http://ow.ly/mUvoT>

どうも不都合があるみたいなので、新規アルバムで同じファイルをアップロードし直しました。→　一件記録・写真/H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <http://ow.ly/mUHp4>

#### 添付資料　H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士02.jpg　について　2013年7月17日

H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士02.jpg | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://bit.ly/12U0g2D>

上記URLでWebで閲覧できますが、今回から方法を変えました。これまでは直接、GoogleウェブアルバムのURLを短縮URLにしたものを使っていましたが、これだとファイル名がわかりづらい。httpsのためか短縮URLに登録できない場面があるという問題がありました。

そこでGoogleウェブアルバムの写真のページをリンクに同じGoogleのサービスであるBloggerのブログに、リンクを記事として投稿することにしました。写真・画像のファイル名をそのまま記事のタイトル名にしました。

書面の全体はPicasaウェブアルバムのページで右上の方にあるアルバム名のリンクを開くことで一覧を開くことが出来ます。これは写真2枚ですが、内容はB5サイズの紙3枚です。当時はB4サイズを袋とじにしたものが裁判所に提出する決まりでした。現在はA4になっているはずです。

この事前準備書と題する書面は日付が平成4年10月26日になっています。一審の金沢地方裁判所の判決があったのが同年8月3日。控訴審の私選弁護人となった木梨松嗣弁護士と始めて接見したのは8月17日頃だったと思います。選任の経緯などはのちほど詳しく述べます。

この書面は木梨松嗣弁護士から郵送で拘置所の方にも差し入れがあったと思います。事前の打ち合わせのようなものはなかったと思いますので、精神鑑定の問題にされていることを知ったのも、この書面を見たのが初めてであった可能性が高いです。

精神鑑定について、当時拘置所の独居房にいた私には手持ちの辞書で単語を調べるぐらいしか知識がありませんでした。これより後になるのではと思いますが、「犯罪精神医学」という専門書を母親に差し入れてもたったことがあります。今、この本を探したのですが、簡単には見つかりませんでした。

調べたところこの本は現在でもAmazonにあるみたいです。この情報では発売日が1987/10になっていました。→　Amazon.co.jp： 犯罪精神医学: 中田 修: 本 <http://amzn.to/13hPuXc>

かわりに発見がありました。控訴審にはいって早い段階から私は手紙で母に法律の勉強をしたいので本を差し入れて欲しいと何度もお願いをしていました。ようやく差し入れてもらった本の一冊らしいものを見つけたのです。

あいまいになった記憶ですが、法律に関するとても初歩的な本が2冊ほどと、小六法があったと思います。数ヶ月後になると思いますが、標準六法というよりコンパクトなサイズのものも差し入れられた記憶があります。

差し入れの方法は面会の時と、郵送があったと思いますが、どちらも手元に来るまでは願箋という手続きと数日の時間が必要になります。私本閲読許可ということになるのですが、本の最後のページに許可証が貼り付けられ、期間が印字されています。

確か閲読許可の期間は月刊誌・単行本で一月、学習用の許可が出たもので3ヶ月、辞書が6ヶ月だったと思います。これらは同時に所持できる冊数にもなりますが、ぜんぶひっくるめて10冊ぐらいではなかったかと思います。

私本交換というのもあったので、交換しながらもう少し多い本を読めたような気もしますが、細かいことは憶えておらず、時代と施設ごとの違いもあるかと思います。学習用の許可が出ると延長も出来たと思います。その都度、許可証が上に貼り付けられていきます。

今日発見したのは次の本だと思います。自分のものは明日香出版社に。→　Amazon.co.jp： 法律のしくみが「3時間」でわかる事典 (アスカビジネス): 堀越 孝, 大野 寿三枝: 本 <http://amzn.to/13sZQ2a>

写真をアップロードしました。→　一件記録・写真／その他／法律のしくみが3時間でわかる事典 | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://bit.ly/14bGyVn>

今回は写真ではなくアルバムに対するリンクを使いました。法律のしくみが3時間でわかる事典2013年7月17日撮影3.jpgに私本閲読許可証を接写したものがあります。冊数外というのは学習用や辞書のことだと思います。基本的に一度に房内で所持できるのは3冊でした。

期間が半年になっているみたいです。当時同じ金沢刑務所の拘置所で所持していた国語辞典を確認したのですが期間が1年間になっていました。すると学習用は3ヶ月ではなく半年の期間であったことになるかと思います。

平成4年の9月30日に許可が出たことになるかと思います。同日に房内で所持することになった可能性が高いですが、9月の最後の日であり、思っていたよりかなり遅かったです。よく考えてみると小六法の差し入れは、これより前の機会であったかもしれません。

あるいは、小六法の差し入れのあと、この「法律のしくみが3時間でわかる事典」らと一緒に差し入れされたのが標準六法だったかもしれません。どちらの六法も内容的に大差はない感じでしたが、標準の方はかなりのコンパクトサイズでした。

どちらも捨てた憶えはないので、探せば家のどこかで見つかるかもしれません。重要なのは本そのもの存在より閲読許可証に記載された期間の日付です。

ひとつ気になるのは居室という項目に「３−６」の見える手書きの記載があることです。とここまで書いて気がついたのですが、これは金沢刑務所の閲読許可証ではなく福井刑務所のものです。よく見ると期間も平成6年になっているようです。

「３−６」というのは建物の3階を意味すると思ったのですが、自分が金沢刑務所の拘置所でいたのは全て2階の独居房でした。次に気がついたのは139という称呼番号です。平成4年に金沢刑務所の拘置所にいたときの番号は57番だったからです。

福井刑務所の場合、受刑者の居住区は南寮と北寮という建物があり、南寮は全て雑居房、北寮は全て独居房というわかりやすいことになっていました。確かに3階の6号室あたりの雑居房にいました。平成6年の11月の10日頃までの半年ぐらいの間です。

ここで気になるのがなぜ、福井刑務所で受刑中にこのような極めて初歩的な法律の本が差し入れされたかということです。他にも感じていたことですが母親が誰かの相談や指示を受けて、差し入れを行っていたということです。

ここでまた別の発見がありました。「新法律学辞典」という古い本のことです。これも福井刑務所にいるときに母親から差し入れのあったものです。今確認すると、昭和43年6月20日の新版になっていました。ここまで古いものとは、今まで気がつかずに来たようにも思います。

我妻栄が編集代表者にもなっていました。知る人ぞ知る史上最も権威と知名度のある民法学者ではないかと思います。辞典と書いてあるだけあって相当な分量ですが、福井刑務所にいるとき、これの全てを読んだような記憶もあります。まんべんなく全体的な知識を身につけておこうと思いました。

それだけ情報の収集が難し時代と、刑務所という制約の大きな環境でしたが、当時は現在ほど怠惰でもなかったです。コンピュータの活用も福井刑務所に移送される前に母親にパソコンに関する本の差し入れを頼んでいました。

撮影した写真をアップロードしました。→　一件記録・写真／その他／新法律学辞典 | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://bit.ly/1924Y5z>

ファイル名: 新法律学辞典2013年7月17日撮影16.jpgをみると平成6年8月23日に初めて手元に入ったようです。南寮3階6室と当時雑居房にいたことも確認できます。自分の記憶では11月の10日頃に独居房に移り出所まで独居房の生活でした。

独居房に移ることになったのは損害賠償の民事裁判を被害者から起こされ、郵送されてきた書面を房内所持するためでした。金沢地方裁判所の民事部から郵送されてきたものであったと思いますが、元々は原告代理人の長谷川紘之弁護士の提出のものかと思います。

独居房に移ると、ちょうど銭湯によく置いてある脱衣所のプラスチック製の長方形の網かごに、それをちょうど満たすような分量の書面を受け取ることになりました。長くて一週間後ぐらいだったと思いますが、次は木梨松嗣弁護士から記録が郵送されてきました。

これも木梨松嗣弁護士が直接郵送してきたものではなく、母親のところに送られてきたものを母親が送ってくれたというかたちでしたが、木梨松嗣弁護士から送られてきたのでそちらに送ったというような簡単な説明しか受けることがなかったです。

### 被告訴人である私選弁護人木梨松嗣弁護士選任の経緯について

#### 被告訴人である私選弁護人木梨松嗣弁護士選任の経緯について　2013年7月18日

はじめに母親から私選弁護人をつけるように薦められていたのは、まだ金沢西警察署の留置場にいる頃でした。京都の親戚の人が費用を工面してくれるのでお金の心配はいらないとも話していたと思います。それを断って国選でいいと言っていました。

なぜ国選にこだわったかというと、自分の事件のことを誰よりも知るのは被害者の家族だし、保身のために余計なお金を掛けるつもりかと受け止められると、ただでさえ決定的に悪くなった印象をさらに悪化させてしまうことをおそれたからです。

しかし、それほど深く考えていたわけでもなく、ただただ当時は金沢西警察署出頭直後の緊急搬送時に意識を失い、意識不明で植物人間になるかもしれない状態になっていると聞く被害者の容体の回復ばかりを考えていました。

刑事裁判や弁護士の役割に関する知識もほとんどなかったです。平成4年当時というのはパソコンすら個人的なものとして普及はしておらず、携帯電話も最近になって会社に一台導入した、という話を聞く程度でした。現物もみましたが、ずいぶんと大型なものだったと記憶しています。

長距離トラックの運転手をしていたこともありテレビを観る機会も少なく、弁護士が出てくるような裁判もののドラマを観ることは皆無ではないものの、かなり少なかったかと思います。

それでも鮮魚や青果の長距離輸送という仕事柄、現地に泊まり込んで時間を潰すことも多かったので、コンビニにおいてあるような週刊誌はよく読んでいました。泊まると言ってもほとんどの場合は、トラックの中で寝ていました。九州や東北が多かったです。

そんな週刊誌のなかが多かったように思いますが、弁護士と言えば悪徳弁護士という言葉をよく覚えていました。そういうイメージも少なからず影響はしていたと思います。何よりも被害者家族の理解を得ること、これが唯一の最善の道だと考え、疑いを持つこともなかったです。

#### 被告訴人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告訴人OKNについて　2013年8月28日

被告訴人OKNとは小学校時代からの友人のひとりでしたが、小学校低学年あるいは幼稚園の頃から中学生の頃の関係は、一時的にしばらくの間つきあいが続いたという感じでした。他に色々友達がいたのと部活で忙しい時期もあったので、いわば気まぐれな関係で特に親しいわけでもなかったです。

それでも中学生の頃は、何度か泊まりがけで彼の家で一緒に徹夜の勉強をしたり、グループみたいな多数でしょうちゅう彼の家に遊びに行くことも多かったです。彼の家はだいぶん前に取り壊しになっていますが、当時の面影というものも現在はほとんどなくなっていると感じます。

初めに共同生活も多いいわば身内のような関係になったのは彼の兄の被告訴人OSNの方でした。昭和56年の6月頃からのことです。そういう関係は昭和58年の夏頃ぐらいまで続きましたが、暴力団を巻き込んだトラブルのようなこともあり、疎遠にはならなかったものの会うことは減っていきました。

同じ暴走族でリーダー格だった被告訴人OSNがほとんど断りもなしに暴力団員との関係を結んだのが離散の原因だったのですが、当時私は金沢市の浅野本町に住んでいたこともあり、知らないこと知らされていないことも多かったと思います。浅野本町にいたのも短い期間でした。

印象的に憶えているのはその浅野本町のアパートで就寝中に起こされたところ、部屋一杯に特攻服の少年が集まっていたことです。そこで被告訴人OSNから、特攻服を持っているかといわれ、ここにはないと答えると、そのまま踵を返して帰って行きました。声を発したのも彼一人だったと思います。

起きてからも夜中の出来事が夢か現か確信が持てませんでした。少し前まで彼も金沢市内の自動車修理工場に住み込みで働いていたのですが、それをやめ、宇出津の家の自動車修理工場の仕事を手伝っていた頃です。どちらも規模は小さかったですが、彼ら兄弟の家は自動車修理工場とプロパンガスの販売

をやっていました。昼休みの時か、仕事をしているはずの被告訴人OSNのところに電話を掛けたところ、夜中のことは本当のことで金沢刑務所でヤクザの出所祝いに参列してきたと聞きました。

今思えば、この夜中のことが原因だったのかもしれないですが、アパートから徒歩1分もなかったような近場の、勤める小さな自動車修理工場の主人から暴走族をやめるか工場をやめるか決断を迫られ、工場をやめてアパートを引き払い、宇出津に戻ることになったのです。

浅野本町から宇出津に戻ったのは昭和57年の4月頃だったと思いますが、あるいはまだ3月中だったのかもしれません。私は一度も出所祝いに行ったことはなかったのですが仲間の話では3，4回あったような話も聞いたように憶えています。かなり短期間に集中したような話でしたが記憶に自信はないです。

もともと暴力団やヤクザに対しては拒絶性の高い地域性でもありました。被告訴人OSNの同級生で兄弟分ともいう関係の被告訴人HTNも金沢市で暴力団組員であった時期、一度も地元には帰られなかったとも聞いていました。

被告訴人HTNは同じ高校の一つ先輩でもありましたが、2年生に進学してまもなく退学処分となり、すぐに金沢市に出てガソリンスタンドの店員として働いたものの、まもなくある問題で暴力団員になったと聞いていました。

被告訴人は学業に専念していて退学は実に不本意なものであったと聞いています。同じく暴力団組員になったのも不本意な成り行きであったと聞いていますが、プライバシーの問題でもあるので、ここでは書かないです。事実関係で必要な範囲最低限のことを書いています。

被告訴人HTNが退学になったのは昭和55年の5月か6月だと思います。春の遠足が赤崎海岸であり、それが退学の原因にもなりました。被告訴人KYNは私の同級生で当時クラスメートでしたが、彼も同じ問題で停学処分を受けていたと思います。処分者は25人ぐらいいたようにも聞いた憶えがあります。

はっきりしたことは分かりませんが被告訴人HTNが暴力団員になったのは昭和55年の夏から秋頃ではと思います。当時未成年者でしたが、何か組の若頭のような立場になったようなこととも聞き、その界隈で相当の顔役になっているような話も聞きましたが、直接会うことは少なかったです。

昭和56年の秋、金沢市入江のアパートに被告訴人HTNが姿を見せたことは憶えているのですが、たまたまその場に被告訴人YSNがいたような気もするのですがこれは現在記憶がはっきりしなくなっています。女友達が鍵を預かっているという服役中の暴力団員のアパートと聞いた憶えがあります。

被告訴人YSNは私より二つ年上でした。彼も同じ能都町（現在の能登町の一部）でしたが鵜川という地区で中学校も違っていました。石川県立水産高校の漁業科で卒業しているはずです。水産高校は宇出津にありますが現在は能登高校になっています。

被告訴人OSNも水産高校に入学しましたがすぐに中退したと聞いています。当時のOSNの家は大きなたまり場になっていましたが、OSNも出入りしていたと聞いています。O兄弟の家は旅館のような大きな家で、私より二つ年下の妹もリーダー的な存在で、人の出入りがとても多い24時間営業の

旅館のような家で、とても開放的でもありました。中学時代の被告訴人OKNは、学業と極真空手に専念し兄に反発、軽蔑するような一面が強くありました。趣味と方向性を同じくするようになったのは昭和56年の夏頃かと思います。元はといえば余り仲の良い兄弟ではなく、

すぐにうち解けた訳でもなかったかと思います。昭和56年の8月28日の早朝、シンナーの吸引とかで金沢中警察署に補導されたのですが、前夜にたまたま遊びに来ていたOKNは当時、金沢高校の学生で、この補導の件で退学処分になったと聞きます。男女13人の補導で新聞にも大きく出ていました。

13人中、私とOSNを含めた少年4人と少女1人が、金沢中警察署で取り調べを受けた後、家庭裁判所に連れて行かれ、そのまま小立野の金沢少年鑑別所に入りました。私が試験観察の処分を受け鑑別所を出たのは9月の23日ぐらいではと思います。26日か28日いたはずですが、長く感じられました。

試験観察にはなりましたが割と早く3ヶ月か長くて半年ぐらいで不処分となり保護観察を受けることはなかったです。OKNの方は保護観察がかなり長い間続いていたような憶えがあり、19歳の頃まで続いていたような気もするのですが、これも記憶がややあいまいになっています。補導時は16歳でした。

その試験観察中、家裁の調査官に会うため七尾市の家裁に行ったとき、待合室でYSNと会うことがありました。その時すいぶんと不健康そうな様子に見えたのですが、それからまもなくシンナーを吸引中発狂して金沢の精神病院に入院したと聞きました。

YSNはその後も精神病院に入ったことが原因で、かっての仲間内から疎遠にされるようになり、孤独を感じている様子にも見えました。単に精神病院に入っただけではなく、いきなり他人の家に駆け込んで就寝中の婦人の首を締め上げたという、話も大きく、周囲に危機感を与えていたのかもしれません。

首を絞められたという婦人の夫は、仲間内の離散にもなった暴力団員の舎弟と聞く人物でした。会った機会もあったので顔はよく覚えていたのですが、当時金沢市西念町にあった金沢市場輸送の社長室から出てくる姿を見たことがありました。昭和61年の秋だったような気もするのですが、

現在時期ははっきり思い出せないです。暴力団員の舎弟というあいまいな表現になりましたが、同じ正式な組員であると聞いていました。なお、出所祝い用に支給されたと聞く特攻服には「福島組」という当時石川県内最大勢力とも言われた組の名前の刺繍がありました。自分は支給を受けていないです。

関係者のプライバシーのこともありここでは細かく書かないですが、YSNが飛び込んだ家で婦人の首を絞めた件と、OSNの間には別の接点もありました。大怪我をしたような話は聞いていないです。飛び出した後、「カラスが鳴いている」などと口走ったか叫んだとは聞きましたが、真偽の程は不明です。

昭和57年の1月頃かと思いますが、同級生の友達と3人で、金沢市小立野の精神病院にYSNの面会に行ったこともありました。一人が弟だと嘘を言ったのですが閉鎖病棟に簡単に入れてくれました。YSNは正常だと訴えていましたが、言動には異常性が感じられ、独房でお仕置きを受けることもあるなど、

不遇というか不満を訴えていました。彼との長いつきあいで、言動に異常性を感じたのはその時ぐらいで、さほどの問題もなく社会生活を送っていたようです。時にやることが大胆でどうかと思うことはあり、車の運転に同乗していて身の危険を感じたこともありました。

彼が初めに精神病院に入院したのは昭和56年の12月ではないかと推定されます。その少し前、珠洲市飯田のシーサイドの通りの急カーブで自分の所有するブルーバード510を横転させ、横転直後の静寂を破り、突如、「ギンギラギンにさりげなく、それが俺の生き方」などと当時の流行歌を歌い出した、

とも聞いています。恐怖体験のように同乗していたという一つ年上の女の人から聞きました。OSNとも関係性の強い女の人です。夫妻そろってOSNとは強い結びつきがあり、自分も親しくしていて、金沢でもアパートに遊びにいくことがありました。

彼女にはとても親しい同級生の女の人がいて、いつも一緒にいることが多かったです。当時は未成年者の少女で年も一つだけ年上でしたが、姉御肌のような一面もあり、ずいぶんしっかりした大人の人というイメージが残っています。

二人の女性に最後に会ったのは平成3年の12月21日の夜でした。被告訴人HTNに連れて行かれた金沢市の繁華街、片町のスナックのような飲み屋でした。片町に来て、最初に入ったのがその店だったような気もするのですが、現在細かいことは思い出せなくなっています。

その夜、HTNに連れられて4軒の店に行ったと思います。一つは旧大和デパートの裏側辺りの場所で、屋台が集まるような場所になっていました。観光都市の金沢は屋台が禁止になっているとも聞いていたのですが、博多の中洲を思い起こすような雰囲気もあり、屋台と言うよりは建物がしっかり固定

されている感じで仮設の店舗という感じでした。順番としてはその屋台のような店が2軒目で、3軒目が同じスクランブル交差点より内側の一角で余り大きくないビルの上の方にあるスナックのような店でした。ここには事前に連絡を受けていた被告訴人OSNも姿を見せたと思います。もう一人同伴者の人

がいたような気がします。同じ宇出津の5，6歳以上年の離れた人で名前はよく聞く知られた人でした。以前別の先輩の車で軟禁状態に巻き込まれた記憶もある人物と記憶していますが、その時とは別人のような雰囲気で、おとなしくお酒を楽しんでいるという感じだったと思います。 かなり年の離れた人で6歳ぐらいは年上だったと思いますが、今思えば宇出津のKという人物と年も同じぐらいで、つきあいがあったのかもしれません。宇出津のKという人は今でも名前を覚えていますが、感じの一部が河なのか川なのかは不明のままです。一見するとおとなしい人物ではありました。

しかし被告訴人OKNと同じく上昇志向が人一倍強い商売人タイプの人でもあったようです。これは被告訴人HTNにも通じるところがあり、気の合うところであったと思います。被告訴人OSNも金銭欲は強い方だったと思いますが、義理人情を大事にこだわるようなところも強かったと思います。

はじめに宇出津のKの話を聞くようになったのは昭和63年の春か夏頃かと思います。この辺りは今一度記憶の整理が必要なのですが、とりあえずそういう時期の設定にしておきます。能都町姫のNという先輩と二人で、魚の行商のようなことをやっているとOKNが私に話していました。宇出津のKという

人物は私としては全く心当たりのない人物だったのですが、なにか知っていることを仮の前提にしたというか当たりを窺うような調子で話をしているようにも見えたのが少し印象に残っていました。突っ込んだ言い方をすれば、探りを入れて反応を窺っているような不自然さもなくはなかったのです。

姫のNはよく知る人物でした。直接の友人という関係ではなかったですが、共通の友人が多く、一緒に遊び、行動する機会が多かったからです。それだけ彼が遊び回り車を乗り回していたということもあるのですが、スカイラインのジャパンにはよく同乗させてもらっていました。

姫のNは、昭和56年12月頃と思われる頃、YSNがシンナー遊びで発狂したとき一緒にいたと聞く全部で4人のうちの一人であるとも聞いていたように思います。なお、YSNは松波駅付近で保護され、後日本人から聞いた話だと一週間ほど昏睡状態で生死の境をさまよっていたそうです。

#### 被告訴人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告訴人OKNについて　2013年8月29日

さきほどGoogleマップで地図を作りました。→　金沢市場輸送と市場急配センターに関する地図 <https://mapsengine.google.com/map/edit?gl=jp&mid=zW8zvRyoSBg4.kL7nxxt6orVw>

私が金沢市場輸送に初めに入社したのは昭和59年の1月のことでした。同じ宇出津の先輩が大型車に乗務しているので、採用してくれるかどうかきいてみればどうかと周囲にすすめられたのも動機でした。いきなり電話で面接を申し込んだように思いますが、職安に求人があったので職安を通したという

可能性もあるかと思います。いずれにせよ簡単に採用が決まり、4トン車に乗務することが決まりましたが、一月近くか比較的長い間、免許取り消し中だった先輩運転手を同乗させていました。当時はほとんどが長距離の仕事で、大型車より少し4トン車の方が多いぐらいだったと思います。

当時は運転手の出入りも多かったと記憶しています。私が初めに紹介したのが被告訴人OKNでした。彼はその年の春先ぐらいに、それまで住んでいた東京を引き払い石川県の方に戻ってきていました。細かいことは憶えていないですが、仕事をするようになったのは4月に入ってからではと思います。

一緒に仕事をするようになって一月もするかしないうちに、一緒にアパートを借りて住むことになりました。割とすぐに物件も決まり、住むようになったのが金沢市東力2丁目のアパートでした。これは現在でも私の本籍地になっているのではと思います。家賃は折半という約束だったと思いますが、

借り主の名義は私になっていました。平成4年の4月1日事件当日まだ住んでいたアパートで、次の土曜日に被告訴人OKN、被告訴人KYNが手伝ってくれると言うことで引っ越しも決まっていたアパートでした。新しいワンルームのマンションの契約で入居が出来るようになったのも4月1日当日でした。

元からいた宇出津の先輩はOKNが入社した頃やめていたか、入社してまもなくやめていました。当時の大型車の仕事は、一度出るとなかなか帰ってこないものがあったので、顔を合わせる機会というのも少なかったです。半年に一度ということもあると聞いていたように思います。

当時の大型車の仕事はいわゆるエサというものが多かったと聞いています。主に宮城県の石巻港から冷凍の小魚を満載にし、片道一週間ぐらい掛けて鹿児島や宮崎県など南九州のハマチの養殖場まで運ぶという仕事でした。私は時代が変わってから大型車に乗務するようになったのでやったことはなかったです。

後に金沢市場輸送の社長となった被告訴人MTKも当時は大型車の運転手でした。そして平成2年の秋頃に金沢市場輸送に現れ、策士参謀役を務めた可能性の高い七尾市の被告訴人TYNと出会い、親しくなったというのも、そのエサの運ぶ、大型フェリーの船内であったと、MTKは話していました。

宇出津の先輩ですが年は私より５つぐらい上だったと思います。それぐらい学年が離れると知らない人ばかりでしたが、名前の方は先輩たちの会話などからよく耳にしていました。その後、中西水産輸送でも一緒になりましたが、私が入ってすぐにやめていきました。

話が少し飛びますが、私が中西水産輸送に初めに入社したのは昭和59年の12月の下旬でした。年末に社長の家で忘年会があり、その席には宇出津の先輩の姿がありましたが、年が変わるとそのまま出てこなかったような気もします。先輩とはその後もたまに顔を合わすことがあり木材の運搬もやってました。

確か4月の下旬から半月か長くて一月ぐらいの間であったと思いますが、午後に開かれる競りで金沢の中央市場から筍を運ぶ仕事がありました。東北の酒田と仙台、新潟県内と東京都内の行き先が多かったと思います。後には四国の缶詰工場にも運ぶことがけっこうありました。忙しい時期です。

次に6月から7月の初め頃ではなかったかと思いますが、金沢港から昼にスルメイカを運ぶ仕事が集中してありました。これも東北の酒田や仙台、東京、名古屋も多かったです。被告訴人OKNの兄、被告訴人OSNが金沢市場輸送に入社したのも、その金沢港の仕事が忙しい時期であったと思います。

かたちの上ではOSNも私の紹介ということになったいたようです。社長の夫人に感謝され、中身のことは憶えていないですが、少しお札の入った封筒のようなものをもらったような記憶も残っています。

書いているうちに思い出したのですが、被告訴人OSNが名古屋市内で街路樹に正面から激突し、4トン車を大破させたという話がありました。車体自体は廃車という話だったと思いますが、保冷車の箱の方はどうなったのかまで記憶にはありません。

当時はまだ保冷車の多い時代でしたが、その後平成ぐらいになると同じ保冷車でも冷凍機付きでないと仕事にならないような時代になっていたと思います。細かいことは記憶にないですが、車体と保冷の箱（荷台）は同じぐらいの値段だと聞いていたように思います。

会社としても相応の損害は出たものと考えるのが普通で、他の人の事故であればはるかに些細なものでも大騒ぎしていたと思うのですが、社長夫妻が何食わぬ顔の上機嫌のままで、社内でさほど話題にならなかったというのも不思議と言えば、不思議でした。OSNに危険なものを感じ刺激したくなかった、

という可能性はあると思いますし、実際に当時はそういう解釈で済ませたと記憶しています。弟の被告訴人OKNの方も、似ていると言えば似たようなことがありました。仕事外の問題になりますが、どうも職務上の災害のような扱いで、うまく処理をしてもらったように見えました。 怪我というのは地元、宇出津のあばれ祭りでのことです。現在は7月の第一、金土曜日になっていますが、当時は毎年7月7日と8日に決まっていました。私は仕事を休まず宇出津にも帰らなかったので、詳しいことは知らないのですが、キリコを担いでいて腰を痛めたという話でした。 担いでいたキリコは宇出津の城野町のキリコであったとは聞いたように憶えています。彼の家の町内は、当時はまだ大橋組にいたと思うのですが、あるいはすでに音羽町の家に移っていたかもしれません。

その宇出津のあばれ祭りが終わった頃、私は一週間ほどの運行で、北海道の根室市花咲港まで行っていました。急な仕事の入り方だったような気もするので、あるいはOKNの怪我のことを知ったのも、北海道から帰ってきた後であったかもしれません。

まあ、次に合ったとき被告訴人OKNが会社にも近い、金石街道の中央市場入り口交差点付近の波多野整形外科という病院に入院していたことは間違いないと思います。今考えると、宇出津で怪我をしたのに金沢の病院まで、どうやって行ったのかという気もします。

彼が痛めたというのは腰でした。二度と立ち上がれないかもしれないと医者に言われたようなことをこの時も言っていたように憶えています。彼の場合、それがあながち嘘とは思えない事情もありました。というのも中学生の時、彼は能都中学校の古い第二体育館の天井裏で遊んでいたところ、

天井が抜けて乗っていた板ごと下に落ちたと聞いています。板に乗ったまま落ちたのが幸いしたものの腰の骨が折れ、二度と立ち上がれない可能性もあるというような話でした。まあ、入院していた病院が宇出津の持木病院だったので、それほど深刻な大怪我でもないだろうという思いもありました。

持木病院は学校の通学路のようなものでもあったので、数人の友人とよく病室に見舞いに行っていたことも憶えています。半年ぐらいの入院という話を聞いたような気もするのですが、留年もしていないですし、3ヶ月ぐらいの入院ではなかったかと思います。

波多田整形外科に入院していたのは一月ぐらいではなかったかと思います。いつの間にか退院していて遊び回っていました。金沢市場輸送に復帰することもなく、自然消滅のようなかたちで会社を辞めたはずですが、さほど話題にもならなかったと記憶しています。

私は当時、黄色い色のトヨタカリーナ1600GTという車に乗っていたのですが、その年の春ぐらいかに60万円か70万円ぐらいで買ったものでした。ローンの組み替えをやったのでローン自体は150万円ぐらいでした。ボーナスなしの3年払いで月の支払いが5万7千円ぐらいだったような記憶もあります。

3台分の車のローンでした。長距離の仕事をしていたので車に乗る機会は少なかったです。それで頼まれて被告訴人OKNに車を貸していたのですが、ある日、事故を起こして廃車にしたので、これで許してくれと現金10万円を渡されたことがありました。

それはちょうど金沢市場輸送をやめた頃で、入社したのと同じ昭和59年の10月の中頃のことでした。ちょっとした事故処理のことで事務員ともめ、机を蹴飛ばしたことなど憶えているのですが、翌日から2，3日、出社しても社長らから無視され、そのまま行かなくなると言うやめ方でした。

はっきりいって、仕事と勤務態度の評価はすこぶる悪かったです。トラックの運転も暴走族の延長のようなつもりでやっていたということもありますが、サンダル履きで保冷車の中で魚を積む仕事をしたりしていました。まあ、それがかえって、別人のようによくなったという高評価にもつながったようです。

2度目の入社は昭和61年の8月でした。このいきさつも被告訴人YSNが絡んでいました。本来ならば9月から12月ぐらいの間、ライスセンターの仕事をするという条件で、その年の6月頃から岐阜県の海津町に行っていました。工務店の仕事で、ナマズがいるという川の草刈りも多かったです。

一種の出稼ぎですが仕切っていたのは珠洲市の当時45歳ぐらいの人でした。YSNは珠洲市の人間との付き合いもあり、その関係でライスセンターの仕事をするようになっていました。3ヶ月ほどの期間で110万円ぐらいのまとまった収入になり、その後出稼ぎ手帳で失業保険ももらえる、

という話でした。結局人数の調整がつかなくなったとかで、新参の私が外されることになったのですが、YSNは条件が違うといい、強く掛け合ってはくれていました。元々は3人で平屋の集会場のような家に住んでいたのですが、ライスセンターの仕事が近づく、他の参加者も珠洲から集まってきた頃

でした。岐阜から金沢に戻ってきたのは8月20日頃だったと思います。そのまま居座れば、ライスセンターの仕事に参加させてもらえていたのかもしれないですが、とにかく夜中に車を運転して帰ってきたことを憶えています。

それで金沢に戻って2，3日した頃に、ふと思い出して金沢市場輸送に使ってくれないかと電話を掛けたのです。岐阜に行くことになったのも120日と90日の免許停止を一度に受けたことが原因の一つでした。岐阜に行ったのは免停開けの直後だったとも思います。

たしか翌年の1月か2月まで、交通違反がなければ免許点数の15点が満額戻るという計算が大きいものでした。普通免許取得から3年でいよいよ念願の大型免許が取得できるという時期にもなっていました。

金沢市場輸送が支配配達の仕事を始めていると言うことも人伝に聞いていました。昭和60年のはずなので、今考えるとちょうど一年前ということにもなりそうですが、YSNが金沢市場輸送で市内配達を仕事をしていると、誰かの話で聞くことがあり、当時乗務していた中西水産輸送の9200の4トン車で、

午後に金沢市場輸送の会社の前に行き、トラックに乗ったままクラクションを鳴らし、2階にある事務所の窓から顔を出した人に、YSNのことを尋ねたところ、先日岐阜に仕事に行くということで、会社を辞めたばかりだと言われました。

ライスセンターの仕事というのは12月の10日過ぎまで、と聞いていたと思います。この仕事が終わると、YSNが私の東力のアパートにちょくちょく顔を出すようになっていました。なぜ金沢市場輸送に入社したのかも気になっていたので尋ねたはずですが、多くを語らず要領を得た回答はなかったと

思います。このあたりのことも引っ掛かりがありました。当時彼は、珠洲の友達が暴力団員になったという話もよくしていたと思います。フルネームは忘れましたが、呼び名と思われる下の名前は今も覚えています。先程のライスセンターの45歳ぐらいの人も上の名前は覚えています。

そのヤクザになったとか言う珠洲の友人の借り物だったと思いますが、フェアレディZという車に乗って遊びに来ることが多く、そのあとカマロというアメ車にも乗ってきていたと思います。ヤクザになってずいぶん人が変わったと感心するように繰り返し話していました。

当時は余り気にもとめずに聞いていたのですが、そのあたりの人間関係も、その後のYSNの仕事や生活に影響を与えていたことも考えられます。こまかいことは思い出せないですが、その後のYSNは片町でバーテンの仕事をするようになっていました。

なお、中西水産輸送というのは運転手の社員が所属する会社で、会社自体は配車の手配をメインとするような営業形態で、社名も中西運輸商となっていました。佐川急便の広島・九州便が主な仕事でしたが、もとは白ナンバーで冷凍物や魚を運ぶ仕事をしていました。

金沢市場輸送の社長は昔、中西運輸商の社長を助けてやったことがあるとも話していましたが、もともと話していることの真偽がとりとめもなく不明な人物でした。中西運輸商の評判は悪かったです。運転手を酷使しペナルティを含め過大の負担をかけることでも有名でしたが、噂を知った上で、

あえて飛び込んだ会社であり、鍛えられた面も強かったです。いろいろと未熟さもあったと思いますが、生死の危険も日常のようなことがっりました。仕事の少ない暇な時期もあったり、行きたいというと北海道の仕事をとって行かせてくれることもありました。

人の出入りの激しい会社でもあり、たいはんの社員は九州各地の人でした。その方が自宅に帰れる機会が多いとも言われていました。自分の場合、当時は4トン車だったので仕事の内容も大型車の人とは違っていました。4トン車は少数でした。

被告訴人との関係が最も密であったのは昭和58年のことです。同年の8月の終わり頃から11月の10日頃まで、金沢市観音堂の彼のアパートに居候し、食事などの面倒もほとんど彼にみてもらっていました。一日一食で、280円ぐらいの唐揚げかのり弁当、それに100円のうどんを一杯、というような

生活でもありました。実際、倒れて病院に行き、栄養失調と診断された少女もいたと聞いています。ちょっと変わった古い長屋のようなアパートでしたが、4室が、仲間同士のようなアパートでもありました。たまり場のアパートで、沢山の少年少女が出入りしていました。

当時は私も11月の誕生日前で18歳でしたが、二つ年上で12月生まれというYSNは、20歳になっていたことになりそうです。向かい合った奥の方の部屋には、同じく二つ年上の珠洲のYが住んでいました。その部屋にもよく遊びに行っていたのですが、そこによく女の子と遊びにきていたのが、

河北郡内灘町のUという男でした。年は同じでした。思えば、このUという男との出会いが、そののち被告訴人OKNの人生を方向付けたともいえるかもしれないです。偶然という要素も絡んでいたとは思いますが。

書いているうちに、10年以上ぶりにふと思い出したことがあります。Uとの再会が、いろいろな人間との出会いにつながったのですが、そのうちの一人にOYという男がいました。私は次第に距離をおくようになっていたこともあり、付き合いや会う機会も少なかったのですが、確か平成元年か2年頃、

片町を舞台にした違法薬物の摘発があり、それにOYが関与していたような話を聞いたと思います。新聞で名前を見たような記憶もありますが、10年以上忘れていたことでもあり、余りはっきりとは思い出せないです。下の方の名前も思い出しましたが、憶えやすい名前なのでたぶん間違っては

いないと思います。思い出せないのはそのOYとよく一緒にいた男でした。確か自宅が金沢市東力で、金沢市大額の方で居酒屋のような店を出したとか言う話があったり、一度はその店に行ったような気もするのですが、記憶が相当薄れています。

もしかすると日通の幹部社員の息子のような話もあったかもしれません。家がお金持ちでいい生活をしてきたような話は聞いていたと思うし、実際、そういう雰囲気の男でした。彼も年は同じだったと思います。

わりと大柄な体格でした。東力に家があるという点とその体格、多少の雰囲気の共通性で、平成4年になると被告訴人YSKと重ねて思い出すことも少なくなかったと憶えているのですが、その後今日まで長い間すっかり忘れていたので、名前の方も思い出せなくなっています。ありふれた名前だったような

気はします。日通というのも気になるキーワードになっていたような気がします。ヤクザの組長をしていたとも土建屋をやっていたとも聞く、金沢市場輸送の社長でしたが、昔、日通で働いていたこともあると聞いていたからです。日通と言えば当時日本最大の運送会社とも言われていました。

実際、昭和59年当時も日通の仕事は少なくなく、まだ新車の状態に近い日通カラーの10トン平ボディ車も２台いました。乗務員の一人はその後、中西運輸商に移り、売り上げか何かは忘れましたが、社内一の成績として表彰される姿も、同じ部屋で見ていた憶えがあります。

その後、中西運輸商をやめたあとだったと思いますが、平成元年頃でしょうか、群馬県の高崎市あたりの国道で追突事故で死んだという話も聞きました。中西運輸商から私の紹介というかたちで金沢市場輸送に来て配車係もしていたYTから聞いたように思います。

昨年になると思いますが、宇出津新港の堤防で釣りをしている人と話が弾んだところ、そのYTのことをよく知る人で、いろいろと話を聞くということもありました。その時点では、昔と同じように運送の仕事を経営者の立場でやっているような話でした。何月頃かは思い出せないですが、寒い時期では

なかったように思います。YTは同じ中西運輸商にいた頃、付き合いが多かったので、ライスセンターの仕事を終えた被告訴人YSNが遊びに来たとき、一緒になることもあり、昭和61年の12月か62年の1，2月の時点で顔見知りだったということにもなりそうです。

被告訴人YSNが一度だけ金沢西警察署に面会に来たときも、YTから被害者と付き合っていたのかと尋ねられ、「付き合っとったんじゃないか、とゆうてやった。」と押しつけがましいともとれる、口調で話していました。後で知ったことですが新聞には「半年前から交際」となっていたので、

やむなくそう答えたという可能性もあるのかもしれないですが・・・。YTの話を持ち出してきたのは被告訴人YSNの方でした。余り親しくないという口ぶりでしたが、どちらも社交的だったので、より深い付き合いというのもあるいはあったのかもしれないと考えることはありました。

そういえば半ば独立したかたちで運送の仕事をしていると聞いていたYTの仕事を手伝っていたのも被告訴人YSKでした。YSKの私に対する接近自体が仕組まれたものであった可能性が高く、供述調書には事実のすり替えのような明白な虚偽も含まれていました。

被告訴人YSKはYKに頼まれて、臨時で仕事を手伝っていると話していましたが、今考え直すと、正式な社員か運転手というかたちでYKのトラックに乗っていたのかもしれません。自分には珍しい日産ディーゼルの新型車に乗務していたこともあり、中央市場の青果売り場あたりを少し運転させて

もらったこともありました。しかし再びよく考えると、被告訴人YSKのメインの仕事は持ち込みダンプでのイワシの運搬であったとも考えられます。そういえばYSNが払い下げで購入したようなことを話していたポンコツのダンプは、元は日通カラーだったような気もしてきました。

ダンプと言っても土砂積み禁止の特殊なダンプで、大型車にしては小型にも見えるダンプでした。そういえば私が市場急配センターに移ってからしばらくの間は、駐車場でそのダンプを見かけていたのですが、どこへ持って行ったのか、その後ダンプの姿を見かけることはなかったように思います。

この被告訴人YSKも被告訴人OKNと接点がありました。本来は能都と金沢で地元も違い、年も６つ離れていたので、考えにくい接点でもありましたが、どうもよく理解できないかたちで、それらしい話を聞いていました。余り関心もなく、聞き流していたので、把握できずにいた点というのも

あるかもしれません。その前に時間を戻したところから説明をしておきたいと思います。遊びまわっていた被告訴人OKNが、確か250ccのバイクにまたがり、大阪へ行くと旅立っていったのは、昭和60年の11月ぐらいだったように思います。

東力のアパートの前で、私と一緒にいた結婚する前の前妻に旅立ちの挨拶をして走り去っていきました。いささか哀愁と決意を感じさせるような旅立ちが印象的な場面でもありました。

彼が大阪に向かった一番の目的は、二つ年下の彼女が高校を卒業して大阪に働きに出たのを追いかけるものではなかったかと考えられます。私の同級生は昭和58年に高校を卒業しているので、やはり昭和60年の卒業と言うことになりそうです。4月を就職の時期と考えると、彼が大阪にむかったのは、

もっと早い秋口のような時期だったのかもしれないのですが、私のなかには木枯らしが吹く、晩秋、あるいは12月頃ではなかったかというイメージが残っていました。そのほかの友人関係の状況をあわせると、やはり冬が近づく時期になっていたという気もします。

もう少し時代を巻き戻して思い出しながら事実を追いたいと思います。昭和59年の夏の前後であったぐらいにしか特定できないのですが、観音堂の珠洲のYHの部屋でちょくちょく顔を合わせていたUが、西念町の古いアパートに住んでいると知って、遊びに行くようになりました。

珠洲のYHもその近くのアパートではないですが、ちょっとしたビルの3階あたりに住んでいて、そこにもちょこちょこ遊びに行くことがあったのですが、Uとの出会いは別であったように思います。少なくともUのアパートでYHの姿を見ることも、YHの部屋でUの姿をみることもなかったと思います。

初めは私が被告訴人OKNを一緒にUのアパートに連れて行くという感じだったと思います。まもなくそこで羽咋郡富来町出身のOTと金沢生まれで三重県育ちだったようなHMと知り合い、全員が同じ年でもあったのですが、またたくまに親密な間柄になりました。

西念町は金沢中央市場と同じ住所でもあったと思いますが、わりあい広い範囲で、Uのアパートもそう近い距離ではありませんでした。OTは広岡町のしゃれたワンルームマンションで年下の少女と同棲していました。HMも北安江のマンションで少し年下の女と同棲していました。

三人とも仕事はしていなかったと思います。OTは一度、金沢市場輸送で仕事をしたのですが、一回か二回の運行ですぐにやめていました。私は長距離の仕事をしている時間が長かったので、一緒にいる時間も少なかったのですが、彼らは四六時中に近いぐらい一緒に遊び回っていたようです。

Uは個人的に深刻な問題を抱えていたので暗い感じがありましたが、それでも女遊びは人一倍やっていたようです。すごい数の女の子の電話番号を書いた分厚いメモ帳のようなものも持っていました。私はその後、Uと会う機会も少なかったと思います。

プライバシーの問題もあるので詳細はさけないですが、Uは少年時代に大きな交通事故を起こし、多額の賠償金を背負っていると聞いていました。内灘の家も一度遊びに行ったことがありましたが、賠償のため手放し、あの西念町の古いアパートの住むようになったと聞いていました。 Uと最後に会ったのは平成9年の8月か9月のことでした。怪我をしていて野々市の赤十字病院に入院していたところを、HMと一緒に見舞いにいった時のことです。その後もちらほら近況を伝え聞くことがあったのですが、小さな自動車修理工場を経営し、何かのレースに出場することもある、

という話を聞きました。今考え直すと、OYが片町で薬物事件で逮捕されたというのは、あるいはこの平成9年頃のことであったのかもしれません。しかしそうなると当時の年齢が30歳を超えていることになるはずなので、そのあたりも記憶にはそぐわないのです。

OYの薬物事件とは別になると思うのですが、平成2年頃も、なんどか新聞で片町の薬物事件が大きく報道されることがありました。その主犯格で片町でずいぶん有名だったという人物とは、福井刑務所の工場で同じ班になり、その人物が班長でした。これも偶然ではないと思います。

いまでもフルネームを憶えていますが、ここで書けるはずもありません。まもなく班長と娑婆で親しい関係であったという金沢の元暴力団員YKが同じ班に入ってきました。二人が一緒だった時期はそんなに長くはなかったと思います。まもなく班長のTKが仮釈放で出て行くと、次にYKが班長になりました。

TKとOYは、ともに金沢市場輸送と市場急配センターの会長になったTSKのことをよく知っているような口ぶりで話していましたが、あまり具体的な話は教えてくれなかったように思います。どちらも裏の世界で相当長い間、キャリアを積んだ人間という感じでもありました。

どちらか、あるいはどちらもであったかは忘れましたが、同じ片町でバーテンをしていた被告訴人YSNの名前は知らないかと尋ねたところ、すぐに知らないという返事が返り、本当は知っていそうだな、という印象は受けていました。

賞味期限の分からなくなった残り物の白菜の漬け物を食べていたら、ふと閃くようにおもいだしたのですが、下の名前は「かつとし」だったと思います。プライバシーに配慮して、このあたりにとどめておきます。

もうひとつより重要度が高いかもしれないと考え直すことがあったので先に書いておきます。それは平成11年の2月頃のことです。被告訴人OKNが住宅のリフォームや建て売り住宅のセールスを口実に、積極的な罠を仕掛けてきた時期でした。

ある日、なにかを理由に金沢市役所につれていかれることがありました。なにかの調査のような話であったような気もするのですが、現在ははっきり思い出せなくなっています。かなり詳しく説明を受けましたが、必要性も理解しがたいもので意図がつかみにくいものでした。

そういう疑問はその時が初めてではなく慣れていた部分もあったので、当時はそれほど深く考えることもなかったと思います。とにかく、かなり長い時間、金沢市役所のなかで、被告訴人OKNと一緒にいました。市役所は金沢市の中心部、片町や香林坊の近くでもあります。

なにかくどいぐらいの説明を受けていましたが、とにかく、以前、2トン車の持ち込む運転手として仕事をしていたこともある宇出津の川か河の字を含むK、と落ち合うことになっていきました。当時は既に携帯電話を使っていた思うのですが、直前の電話連絡で、駐車場のことを話していました。

つまりKの車が外車の大型車で大きすぎて駐車できる場所がないという話でした。アメリカ車ではなくヨーロッパ車で、ベンツではなくBMWという話だったような気がするのですが、BMWというのはそんなに大きな車だったのかという疑問も少しよぎりました。

Kに特段の疑いの目を向けるのが私の目的ではなく、むしろそのような目を私に向けさせ、知られなくないあるいは気づかれたくない事実を守りたいというのが、彼の真の目的であった可能性もあるとは考えています。それでなくても挙動不審でしたから。

被告訴人は中央公園の横の県庁の敷地に大きな車を駐車できる場所があるという説明をしていたと思います。たぶん県庁は元の県庁の跡地で、それほど離れていない近年に現在の金沢市鞍月あたりの新庁舎に移転していたと思います。

書いているうちに思い出したのですが、Kの用事は中小企業向けの融資の相談のような話であったと思います。かなり心配そうな顔をしていました。私のことはよく知っているはずと思っていましたが、まるで眼中にない様子でした。もともと性格的に真意や表情の読み取りにくいタイプにも思えていました。

なお、その時、被告訴人OKNが乗っていた車も古いものでしたがスウェーデンのボルボという外車だったと思います。特別大きいと感じる車ではなかったと思いますが、一般の国産車よりは大型であったと思います。その車は金沢市役所の中の駐車場に普通に駐車していたように思います。

黒い色のボルボだったと思います。かなり長い間乗務していたと思います。平成9年の7月から平成11年の春頃までの間、彼が他の車を自分の車として乗車していたというのは思い出せないです。なにか国産車に乗っていたような気もするのですが。

昭和62年か63年か記憶上いまのところ特定できないのですが、彼が当時住んでいた神戸市内で会ったときは、フランス製のシトロエンとかいう珍しい車に乗っていました。お盆休みに宇出津に帰省したときもその車に乗っていたような気もします。

私は金沢市場輸送で昭和62年の4月から昭和63年の12月の20日頃まで、イスズ自動車の「石7599」というナンバーの10トン保冷車に乗務していました。大型車です。その翌年辺りからナンバーが「石」から「石川」に変更されたことも憶えています。

当時は新車に乗務するまで長ければ入社して10年掛かるとも言われていました。古参の運転手から優先的に新車が与えられるからです。年功序列言うのも昭和の時代の世の習いでした。バブル景気に突入するちょっと前であったかもしれません。

### 被告訴人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告訴人OKNについて　2013年8月30日

昭和61年の3月に結婚式を挙げ6月には長男が生まれていました。被告訴人YSNを頼って岐阜県海津町に行ってのは、長男が生まれて一週間か10日後ではなかったかと思います。ライスセンターの人数の関係で金沢市に戻ってきたのは8月の20日過ぎのことでした。

金沢市場輸送に電話を掛けたとき、応対に出たのは藤村という配車係でした。何かあったらすぐにやめてもらうという条件で、再び金沢市場輸送で仕事をするようになりました。仕事内容は前回の長距離ではなく、市内配達でした。

早朝に金沢中央市場から鮮魚を積み、マルエーというスーパーの松任店、根上店、寺井店に配送する仕事だったと思います。午前中10時か10時半ぐらいに中央市場に戻り、次は青果物の売り場で、仲買の人がもってくる青果や野菜を積み込んで配達する仕事です。

この時、自分が担当したのは片町・小立野コースと呼ばれるコースでした。一番面倒で難しくいやがられる仕事だと聞いたこともありますが、自分はこれ以外やることもなかったです。片町は金沢市内の中心部で県内で一番大きい繁華街です。路地も狭く、混雑もありました。

午前と午後の2回の配達があり、午前中の1便の出発は午前11時頃ではなかったかと思います。2便は午後の2時頃だったと思いますが、これは荷物も配達先も少ないことが多かったです。そういうこともあり、この時は、大口の荷物の積み合わせで、自分のコース以外の配達も多かったです。

この時も16時頃に仕事が終わることが多かったと思いますが、市場の連休明けなどになると荷物が普段の倍以上になり、運転手とトラックの数もその当時は少なかったので、まれに18時を過ぎるようなこともあったと記憶しています。朝は5時30分からだったかと思います。

この市内配達の仕事をしながら、金沢市観音堂から移転して年月も経っていなかった金沢市東蚊爪の運転免許センターに、大型免許の一発試験を受けに行っていました。ちょっと忘れてしまいましたが、最低でも7回、あるいは10回以上試験を受けて、相場より多めの回数でしたが合格しました。

合格当日の免許の交付だったと思うのですが、大型免許の公布日は昭和61年11月27日だったと思います。誕生日の翌日だったこともあり、憶えやすかったです。大型免許を取得したものの大型車の空きはありませんでした。それと翌年の1月ぐらいに免許の点数が満点になるまでは、長距離はするつもりは

なかったです。当時、長距離のトラックの仕事には重量オーバーがつきものでした。検問で捕まるということもありますが、高速道路でパトカーが荷物の重そうなトラックを見つけると、マイクで次のインターで降りるように言われ、インターにある台貫に乗せられるのです。

中西運輸商で大きな免停を受けることになったのもそれが多かったです。中国自動車道の新見インターの警官に目をつけられ、狙い打ちにされるとひとたまりもなかったです。どこの警察でもそこまでやることはなく、だいたいやる場所は決まってはいたのですが、事実上避けようのない場所です。

大型免許をとってからは、市内配達の仕事はほとんどしなくなりました。ポンコツの6トン保冷車で仕事をすることもあったと記憶していますが、ちょうどイワシの仕事の時期になっていたので、10トン平ボディ車でのミールの仕事がほとんどになりました。ミールとは主にイワシを原料にした魚粉です。

私がはじめにいた昭和59年当時はなかった仕事ですが、早ければその年の12月頃から始めた仕事のようでした。同じ石川県の珠洲市蛸島にある浜田漁業の仕事でした。浜田漁業金沢工場というミール工場が出来ていたのです。浜田漁業は蛸島丸という船団を所有していました。

昭和59年当時、金沢市場輸送の配車係は藤村と北浜という人のふたりでした。見た感じずいぶん年上に思えていたのですが、当時27歳とか28歳という年齢を聞いたような気がしないではないです。彼ももとは金沢市場輸送で運転手をしていたはずですが、珠洲市蛸島の出身でした。

昭和61年の8月に2回目の入社をしたときには姿はなく、前回に私がやめてまもなく蛸島に帰り、浜田漁業の配車係をしているとも聞いていました。詳しい話を聞いていたような気もするのですが、憶えていないです。それでも北浜がきっかけでミールの仕事をするようになった可能性は高いと思います。

浜田漁業金沢工場は金沢市内の外れでしたが、目立つ場所に工場がありました。金沢東インターから河北郡宇ノ気に出る農面道路の道沿いで、隣に屠殺もやっているという噂の食肉工場があり、他はほとんどが田んぼばかりで建物がほとんどなかったので、かなり目立っていたのです。 普通に金沢で生活している人は余り使う道でもなかったかもしれないですが、能登の宇出津の行き来には、よく使う道でした。宇ノ気の先の白尾インターから能登有料道路の乗り降りをすることが多かったからです。

浜田漁業金沢工場が出来た頃、イワシの仕事も規模が小さいものでした。初めはのちに「八戸軍団」とも呼ばれるようになった東北の出稼ぎのような白ナンバーの持ち込み運転手のグループが、直に仕事受けてやってきるような話でした。一人1台で5，6人ぐらいのグループでした。

7599号がイスズ自動車から新車で納入されたのは4月でしたが、その少し前にも同じイスズのトラックで、2台のダンプが新車で納入されていました。土砂積み禁止の普通ではないダンプでしたが、荷台の大きな頑丈そうなダンプでした。イワシ運搬専用の特別注文で設えたようなダンプでした。

昭和62年の春先のことですが、そのダンプに乗務した一人が金沢のMという人物です。告訴事件の重要な鍵を握り、事実ではないのに被害者と交際していた元彼氏という作り話の役割を演じた被告訴人YSKは、このMの愛人の息子という話でした。現在市場急配センターの社長になっている可能性の高い

Dという人物をイワシの仕事に招き入れたのもMだと聞いていました。金沢市場輸送の社長から金沢市場輸送と市場急配センターの会長になったTSKの口から直接聞いた話では、自分がヤクザの組長をやっていた頃、若い衆で組にいたけど、すぐにいなくなったという関係もあったようです。

総じてTSKの話というのは誇張と嘘くささがあり、どこまで本当なのか不明なのですが、そのような虚々実々を周囲にバリアのように張り巡らすのが、保身と安心につながっていたのかもしれないと、後になって考えるようになりました。謎と癖の強い人物であることは確かです。

Mは昭和40年代か仁義なき戦い、などのヤクザ映画が全盛の頃、映画の中からそのまま飛び出してきたような人物でした。今ではすっかり見かけなくなったタイプの人間ですが、昔はけっこういたような気もしますが、当時でも余りみないタイプの個性派という印象でした。

イワシの仕事というのは早い時期で12月の初めぐらい、遅い時期で翌年の4月ぐらいまでという期間でした。初めの方と終わりの方は、獲れるイワシの漁も少なく、仕事も少なくて、八戸軍団とダンプに限られていました。その後、全国的にイワシが捕れなくなり、ずいぶん前に浜田漁業金沢工場も閉鎖に

なっているはずです。浜田漁業金沢工場は一日に処理できるイワシの漁が600トンと聞いていたように思います。ほとんどがイワシですが、サバやアジも混じっていました。アンコウや大きなマスを見つけることもあり、それが楽しみでもありました。

イワシは金沢港の大きな堤防の先端付近でまとまって獲れることもあれば、魚群が見つからず、京都府の舞鶴沖や新潟県の佐渡島の近くまで行くこともあると聞いていました。舞鶴港や珠洲市の飯田港までイワシを積みに行ったこともありました。

そういえばダンベと呼ばれる四角い水槽にイワシを積んで、石巻や三重県、四国の方に運ぶこともありました。養殖ハマチのエサとして冷凍加工するのが目的であったと思います。

ダンベは10トン平ボディ車に平積みで14個ぐらい乗るものであったと思います。いつの頃からか群馬から来たKという人物が、よくそのダンベの仕事をするようになっていました。もう一人は小松市に家があるという運転手でした。とっさに思い出したのですが、名前はすんなり出てきません。

名前に亀という字がある二文字だったと思います。群馬から来たKは、フルネームでしっかり憶えていますが、ありふれすぎたような上と下の名前の組み合わせで、偽名の可能性もあったのではないかと考えるようになっています。ある意味、謎の鍵を握る人物なのです。それに元警察官を詐称していた

可能性もあるので、あえて実名にしておきたいと思います。小林健二という名前だったと思います。小林には自信があるのですが、検事の方は95パーセントぐらいの記憶の自信です。まあ、ほぼ間違いはないと思っています。

なにより驚くのは、彼が最高裁判事の息子であると話していたことで、それも判事の父親がTSKとは盟友で、父親に社会勉強をするようにと、TSKの会社で働くことをすすめられた、というような話をしていたことでした。この話を聞かされたのは彼が市場急配センターの社員として、イワシの現場の

監督のようなことをするようになってからであったと思います。初めに彼の姿を見るようになったのは、まだ金沢市場輸送の事務所が中央市場前の西念町にある頃でした。スポーツタイプではない大型のバイクの乗る姿をちょくちょく見かけていました。

#### 被告訴人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告訴人OKNについて　2013年8月31日

小林健一は初め10トン平ボディ車でローカルの仕事をしていたと思います。今少し思い出したのですが、金沢市内高柳陸橋の下にある運送会社と関わりのある仕事をしていたかもしれません。北陸通運という会社だったかも、これは別の人のことだったかもしれないですが、専属的に仕事を

やっていたように思います。彼は金沢市場輸送の事務所が西念町にある頃からいましたが、仕事が終わるとすぐに帰宅していたためか、事務所で顔を合わせた記憶というのはほとんどないです。会社の前の道路の向こう側で、話をしたことを記憶しています。

私は昔、昭和57年の9月から12月の年末まで、名古屋市港区でバイク屋の仕事をしていたことがあったのですが、一度客に、まるで白バイのようなバイクに乗ってきた人と話をしたことがありました。正統なバイクマニアという感じで、福島県の出身と言っていたことも印象的に憶えていました。

最初に会った頃の小林健一も正統なバイクマニアという感じで、どこか共通するものを感じていました。まあ、初めの頃は顔を合わす機会が少なく、存在自体を忘れかけた時期もあったかもしれません。会社の他の運転手とはかなり雰囲気が違っていました。育ちは良さそうな感じでした。

初めに聞いたのがいつ頃であったのか思い出せないのですが、言葉を交わすようになったすぐの頃かもしれません。小林健一は、前職が石川県警の交通機動隊員で白バイに乗っていたと話していました。いかにもそういう雰囲気であったので、その頃は疑うこともなかったです。

あれは昭和62年の5月の下旬頃ではと思います。山中温泉のキャッスルバーデンホテルで一泊の慰安会がありました。この時は一人一万円の実費であとは会社が負担するという話ではなかったかと思います。全員ではなかったと思いますが、ほとんどの社員が出席していました。

午後にホテルというか温泉旅館の送迎バスが、中央市場前の北國銀行の前あたりに迎えに来ていました。あまり大型でもないマイクロバスであったと思います。たまたま私はバスの一番後ろの方で小林健一とほぼ並んで座っていたのですが、彼はバスが出発してすぐに飲酒を始めたらしく、

北陸道の片山津インターを降りた頃には、すっかり酔っぱらっていました。それも尋常な酔いかたではなかったのですが、すこぶる陽気で笑い続けながら、多弁になにかを喋っていました。そのようなタイプの酔っぱらいというのは余り見た憶えもなかったので、珍しくもありました。 片山津インターを降りてしばらくした頃には、窓から小便をすると言いだし、あるいは、次に手に持っている袋に小便を入れると言い出したように思います。なにぶん昔のことなので、こまかいことは憶えていませんが、周囲を驚かせ、皆でなだめて大人しくさせようとしていたことは憶えています。

旅館というかホテルに着くと、ほとんどがすぐに大浴場に風呂を入りに行きました。なぜか脱衣所に若い女の子が3，4人いて、それも珍しく、目的や意味がつかみかねていました。その時点でも小林健一の普段と別人のような行動には、疑問と戸惑いが続いていました。

あれほどバスの中で大騒ぎしていた小林健一は、その後ホテルの中で姿を見かけることがありませんでした。その宿泊ではかなりの大きさの大部屋で大人数の布団がひいてあったことを憶えています。まるで修学旅行のような状態でした。とにかくホテルに着いてから小林健一が起きている姿は見なかったと

思います。部屋のなかで爆睡していたような記憶もあるのですが、これも記憶が不鮮明になっています。この慰安会では他の宿泊客との間でケンカ沙汰のようなトラブルもありました。それでよく憶えている顔ぶれもいます。

#### 被告訴人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告訴人OKNについて　2013年9月1日

山中温泉に行ったのは5月の下旬であった可能性が高いです。この時点で金沢市場輸送の事務所がまだ西念町にあったということもはっきりしています。昭和59年の入社当時から事務所とは別に、会社の駐車場というのは中央市場から割と離れた場所にありました。住所は金沢市二口町です。

移転後の金沢市場輸送の事務所と駐車場 <http://bit.ly/1e2TbVl> のGoogleマップの地図で「移転後の金沢市場輸送の事務所と駐車場」とラベルをつけた場所が、移転後の金沢市場輸送の事務所の場所です。ここでURLは短縮に変換しました。

事務所は7月頃の移転だったと思います。平屋の住宅のような事務所でした。金石街道沿いの「オークラ」というパチンコ店の裏側の駐車場にも隣接していました。もともとあった田んぼの中の砂利の駐車場とも重なる敷地であったと思いますが、ずれた部分が大きい気もします。区画整理になっていました。

昔は丸北青果の間の道にはいると左手の方に駐車場があり、たんぼ道の交差点を右に曲がるとすぐに小林運送がありました。この小林運送は青果物の仕事をメインにしていました。私は昭和58年の2月から4月頃まで2ヶ月ほどの間でしたが、小林運送で長距離助手で働いたことがありました。

当時、金沢市の職安は金沢駅に近い芳斉にありました。職安に行くたびに、求人が出ていたので、ちょっと気が向いて面接に行ったところ採用されたのです。住み込みでしたが、古い個人病院の建物で部屋のベッドも病院にあるのと同じに見えたので、本当に元は病院の建物だったのかもしれないです。

平成3年の12月頃からは、市場急配センターで小林運送の仕事をよくやるようになっていました。私は他の運転手が嫌がる仕事を割り当てられることが多かったので、2，3回ぐらいしかやらなかったのですが、豊橋方面から野菜を積んでくる仕事でした。

金沢市場輸送の事務所が二口町に移転した時期は、割としっかり憶えているのですが、年が昭和62年であったと思うものの、80パーセントぐらいの自信しか持てず、あるいは昭和63年になります。大型車に乗務するようになってから砂利の駐車場に止めていた記憶は少ないので、62年の可能性が高い

とは考えているのですが、今の記憶の状態では決め手がないところです。これは大事なことなのですが、移転してから一月ぐらいで、宇出津の河か川の字のつくK、と姫のNの姿を揃って見るようになったのです。被告訴人OKNから魚の行商をしていると聞いてから3ヶ月も経っていなかったように

思います。けっこう古い感じの2トンのトラックに乗っていました。そのトラックは個人所有のもので、市内配達を請け負っていると聞きました。こういうトラックの所有で仕事を請け負う形態を、「持ち込み」と呼んでいました。市内配達の持ち込みは、この二人が初めてだったと思います。

自分の記憶ではその半月後ぐらいに、初めて後に市場急配センターの社長となるMHKの姿を金沢市場輸送の事務所でみたのです。すぐに市内配達の新しい責任者であるように聞きました。この立場はけっこう長い間、不在でもあったのです。

昭和61年の8月、私が市内配達の仕事をするようになった頃は、高田という人物が現場で采配をする責任者のような立場でした。イメージ的には呉服店の番頭というような感じの人物でした。青果の配送の現場にもよく姿を見せていて、よく竹箒をもって売り場の中の掃除もしていました。

いわくつきの過去を持つような噂も小耳にしていたような気がしますが、内容は憶えていないです。はっきりしていることは何か問題を起こし、姿をくらましたということでした。ある日、西念町の旧事務所に、制服を着た右翼団体の若者が5，6人程か入ってきて、高田の所在を尋ねていたことがありました。

その時、配車係の椅子に座って受け答えしていたのが、後に金沢市場輸送の社長となる被告訴人MTKだったのも憶えています。あとで誰かが富山の右翼だと行っていましたが、口上を述べていた若者が威圧的ではなく、かなり気を遣って緊張しているようにも見えたことが印象的でした。

その時の被告訴人MTKの態度も堂々としていて慣れているとも感じたのですが、彼も富山とは縁の深いという人物でした。福井刑務所では富山で暴力団員をしていたという話も聞きましたが、余り具体性も感じられず、実際のことはわかりません。

福井刑務所では被告訴人TSKについて、高岡の大日本平和会だと即答を得たこともありました。山口組との抗争で全国的に名をはせた有名な団体だったと思いますが、富山県の高岡市に支部があるとか、そういう話は聞いたことがなく、新聞でも見なかったと思います。

私が被告訴人TSKの口から直接聞いた話では、東京にいた頃、「大日本青思会（大日本青年思想研究会）」に所属していたという話でした。これは平成2年か3年に聞いた話だと思います。それ以前は、東京の中央大学で空手部にいたということを、しきりに口にしていたという記憶があります。

被告訴人MTKは昭和59年当時、大型運転手でしたが、それも最古参の運転手という話でした。それでも7年目ぐらいだったと思います。1年ごとに給料の基本給が1万円ずつあがるというのも、当時の金沢市場輸送の特徴でした。

被告訴人MTKは金沢市に生まれ育ったものの十代の後半であったか早い時期に富山市に行き、そこで生活するようになり、数年のうちに繁華街で飲み屋を数点経営する社長になっていたと話していました。20代の後半という話であったようにも思います。カラオケというものを初めて導入したのも

自分のアイデアだといい自慢していました。結局、天狗になりすぎたということで、飲み屋の仕事はうまくいかなくなったと言いましたが、次に閃いたのはサラ金の経営で、これも時代を先取りしたアイデアだったと自慢していました。

人口等の諸条件を考えた上で、サラ金を始める場所を静岡市に選び、静岡に行ったと話していました。そして大きなものを相手に何か大きなことを仕掛けたらしく、詐欺で指名手配されるようになり、金沢市に流れてきて金沢市場輸送で長距離運転手をするようになったと話していました。

金沢に来て1年ぐらいという話だったでしょうか、警察に突き止められて逮捕され、刑務所に服役したという話でした。服役期間は1年か1年半というものだったので、ずいぶん短いという印象も受けました。そして当時金沢市場輸送の社長だった被告訴人TSKが身元引受人となり、出所の向かいにも

来てくれたと話していました。静岡では家族で御殿のような家に住んでいたとも話していました。そういう昔話を詳しく聞いたのは昭和61年の12月頃のことでした。場所は北安江の焼き肉屋でした。平成元年の1月頃かに松波港で自殺した珠洲のTさんと3人でした。

Tさんは被告訴人YSNと水産高校の同級生でクラスメートでもあったはずかと思います。高校卒業後すぐに金沢市場輸送に入社したとも聞いていました。YSNも同じく卒業後は、中央市場のウロコ水産で半年ぐらい仕事をしていたとも聞いていました。

Tさんの自殺についてはプライバシーの問題もあるので、その他の接点など控えたいと思いますが、平成6年の1月頃か金沢地方検察庁の検事室で加藤検事が強い反応を見せたこともあったので、注視されてきたのではとは考えています。億の保険金の話は平成13年頃に金沢刑務所で聞いた話でした。

保険金にまつわる話は、他に耳にしたことが一切なかったので、真偽の程も不明ですが、一億円よりは大きな額で、2億円という額ではなかったと記憶しています。1億数千万の可能性が高いかと思いますが、以前掛け金についてネットで調べたことがあり、ずいぶんな金額だとは思いました。

その自殺は新聞で知ったのが最初かと思います。周囲から聞いた話では、松波港の岸壁の駐車場で、買ったばかりの赤い色の軽四を、3回転ほどぐるぐるさせてから、海に飛び込んだという話でした。目撃者がいたとは考えにくい場所とも想像し、新聞にそれらしい報道もなかったようには思いました。

被告訴人OSNは、このときずいぶんと嘆き悲しんでいたようですが、事実上の箝口令というか、まったく話題に出来ないような場の雰囲気も醸し出していたと記憶しています。能登の地元の友人、知人の間からは、ほとんど情報を受けることもなかったように思います。

#### 被告発人木梨松嗣弁護士を紹介した可能性の高い被告発人OKNとの関係　2013年9月5日

時期がはっきりと思い出せないのですが、平成11年の春頃ではなかったかと思います。金沢市北安江のアルプラザ平和堂の大通りを挟んで向かい側の大通り沿いにソバ屋だと思います。それこで被告発人OKNに食事をおごってもらいました。何か用件があってその店に入ったような気もしますが、

現在細かいことは思い出せないです。重要なのは食事を終えて店を出た直後のことでした。時刻はすっかり夜で20時ぐらいではなかったかと思います。何かの会話の流れから、私はやや強引に、金沢市場輸送の社長であった被告発人TSKのことを憶えているかと、OKNに問いかけました。

すると彼はそくざに、ややあわてたような感じで、まるっきり知らないと否定しました。わざとらしく否定してこちらの反応を窺ったようにも思えなくはなかったですが、強く否定して会話はその先に進みませんでした。わざとらしいという問題だけでなく、本来は知らないはずがないという事実です。

そういえば市場急配センターの被告発人MHKが、被告発人OKNについて「いい男やな」と言っていたこともありました。時期がはっきりしないのですが、平成9年の春のことであったかもしれません。

被告発人OKNの方から、被告発人MHKについて「お客の引っ越しのためトラックを借りに行くこともある」と話したこともありました。探りを入れるような感じでもありました。これも平成9年の春頃だったように思うのですが、あるいは別の時期であったのかもしれません。

アルプラザの近くのソバ屋のことですが、いかにもサラリーマンが利用するような店でした。その時店に入ってのは初めてではなかったような気もするのですが、目立つ場所にもありそこに店があることはよく知っていました。隣沿いのすぐ近くに昔からやっている24時間の酒屋がありました。

まだコンビニという呼び名が世の中に出ていない頃だったようにも思います。昭和59年にはすでにあったように思います。サークルKとかが出てくる前だったと思いますが、店の内容は酒類がメインであるものの、ほぼコンビニのような品揃えになっていたと思います。昔はその店ぐらいしか

金沢市内で深夜に酒類の買える店はなかったように思います。うどんをメインにした弁当のチェーン店八幡のすしべん、には缶ビール程度はおいてあったような気もしますが。なお、ソバ屋もその24時間の酒店も住所は金沢市諸江だと思われます。北安江との境にもなっていると思いますが。

北安江というのは金沢駅の裏側、駅西とも呼ばれていますが、その東金沢側に位置する町内です。8号線バイパスの方向だと西念町にも隣接していると思います。中央市場自体も西念町ではないかと思いますが、その正門前の道路沿いにある前の金沢市場輸送の事務所の住所は西念町でした。

さらにいえば「金沢市西念町リの１」という番地だったような記憶も残っています。西念町というのはかなり広く、その外れの方に、「飛鳥（ひちょう）」という食堂がありました。すぐ近くには双葉湯という銭湯もありました。昭和59年当時のそのあたりは、田んぼや空き地も多かったと記憶しています。

### TODO 元金沢弁護士会会長でもある若杉幸平弁護士の事件への関与と疑惑について

<2014-03-26 水>

#### 若杉幸平弁護士と被告訴人OSN、被告訴人OKN兄弟との関係、勧められた面談

<2014-03-26 水 10:28> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

時期としてははっきりと思い出せないのですが、平成11年の2月頃だったと思います。不思議なぐらい前後のことが思い出せなくなっているのですが、ある意味それだけに考えさせられた問題であり、そこに意識が集中していたため記憶の周辺がはっきりしなくなっているのではと思います。

当日の状況は今でも鮮明に覚えています。まず午前中だったと思います。意外なほどあっさり短時間で北安江の借家に送り届けられ、往復で1時間は掛かっていなかったと思います。借家に戻ったのが11時頃だったようなことも憶えていますが、なんとも言えない気分に浸っていました。

まだ十分な説明をしていませんが被告訴人OKNの誘いでNテックの仕事を始め、それも終わりの頃ではなかったかと思います。

Nテックに関しては平成11年の1月の20日頃に被告訴人OKNから誘いがあったと記憶しています。予めしっかりと計画された段取りの運びという感じでした。当時の私は被告訴人OKNが見方なのか敵なのかも迷っていましたが、結果的には見極めることにもつながったと考えています。

Nテックに関しては別の項目でしっかりと説明をしておきたいと思います。ここでは若杉幸平弁護士が説明のメインです。

まず被告訴人OKNから、自分の裁判のことで納得がいかないのであれば、弁護士を紹介するので相談してみればどうかと勧められました。具体的に相談という言葉を使っていたのかも、現在ははっきりと憶えてはいませんが、話をしてみれば、という感じではなかったかと思います。

被告訴人OKNがそんな話を持ちかけてから実際に若杉幸平弁護士に会いに行くまでは、時間も短かったと思います。あるいは3，4日前、あるいは前日だったような気もしますが、前もって考える時間というのは余りなかったという印象です。

当時、被告訴人OKNはボルボという会社に乗っていました。確かスエーデンの車でとても頑丈な車だとも聴いたことがありましたが、他の外国車同様に日本車とは異なり、モデルチェンジも少ないとは聴いていました。左ハンドルであったようにも思いますが、記憶ははっきりしません。

平成9年の2月から4月頃には、割と新しい感じのマークⅡのような国産車に乗っていたことも記憶していますが、いつからボルボに乗るようになったのかも、現在ははっきりしません。

はっきりしていることは平成10年の11月ぐらいまで、かなり長い期間、会ったり連絡をする機会がとても少なかったことです。ちょうど西金沢駅の近くの一水（いっすい）という小料理屋に行った頃が、被告訴人OKNとの関係の変化の始まりだったと思いますが、これも別の項目で説明を書きます。

Nテックの仕事と言っても、実際には仕事らしいものでもなく、結果的に私が受けた収入というのも０円でした。残ったのは15万円かあるいは20万円の被告訴人OKNに対する借金でした。当初は月に20万円ぐらいの収入は保証するというような話もしてはいたのです。

いちおう仕事としておきますが、Nテックの仕事では朝の8時半か9時頃からの自宅待機という感じで、被告訴人OKNからの連絡を待っていました。

Nテックの仕事内容についても別の項目で書きますが、N・K興産株式会社の金沢市荒屋の内見会の仕事が終わった頃が潮時で、私自身利用されるだけだと見切りを付けましたが、若杉幸平弁護士の事務所に誘われたのもその数日後ではなかったかと思います。

平成11年の2月の20日過ぎには私は別の仕事を始めていました。仕事を始めて2，3日後ぐらいの2月25日だったかに、金沢地方裁判所から再審請求棄却の書面が届きました。書面の日付が25日で、家に届いたのは翌日の26日であったかもしれません。

書面が届いた翌日の夕方だったと思いますが、暗くなった時間に私は金沢市木越付近から被害者の父親AKさんに電話を掛け、再審請求棄却の書面が届いたことを話しました。思えばこのあたりからAKさんの態度にも変化が見られるようになったとも思います。

再審請求棄却の書面が届いたときは、理由ものみこめず戸惑いがあったと思いますが、ＡＫさんの態度に変化が出てきたことで、それからはむしろ前向きに、物事を考えられるようになったような印象が残っています。

それは私の希望的な観測だけではなく、実際にＰＨＳの電話番号を教えてもらって、そちらに連絡を入れるようになりました。それは加賀市山中温泉の山奥の現場に通っている頃だったので、6月頃かとも思います。

なお、6月の中頃には被告訴人KYN夫妻を介して前菜から連絡があり、日曜日だったと思いますが、加賀温泉駅に向かいに行き、名古屋まで送る車の中で色々と話をしたということがありました。

その頃になると私は被告訴人KYNともほとんど連絡をとらない関係になっていました。前菜から連絡があったという話は、堀田建設の野々市町の外れの方の土場において、携帯電話で話をした状況を記憶しています。

堀田建設の仕事というのは河川の災害復旧工事の仕事がほとんどだったと記憶しています。山中温泉の現場も川の災害復旧工事でした。山中温泉の全体が水没するような危機的状況でもあったと聞いたことがありました。

それは前年つまり平成10年秋の大雨でのことと思われました。私自身その日は辰口庁舎の現場でK君と作業をしていたのですが、午後に大雨が続き、夕方遅くなって金沢に戻った頃には、あちこちで道路が水没したり、田んぼが水浸しになっていました。記録的な大雨としてニュースにもなっていました。

私は平成11年の2月の20日頃から金沢市鳴和にある職業安定所で紹介を受けた、永久開発で建築・建設現場への派遣労働をするようになっていました。こまかくいえば名友ソーワ（めいゆう）という会社に入ったことになりそうでしたが、グループ会社がややこしい構成になっていました。

ひらたくいえば日雇い労働の人夫出しです。金沢市近郊というのは石川県内も同じだと思いますが、最大規模であったと思います。関連先では金沢駅に寝泊まりするホームレスも参加していると聞いていました。

私は金沢市諸江の会長の自宅を兼ねた事務所に出社していましたが、そこで他の人夫を車に乗せ、金沢市玉鉾の永久開発の会社に行っていました。諸江の出社が朝の5時半ぐらいだったと思います。玉鉾と行っても大豆田大橋のたもとに近いあたりでした。

今インターネットで調べたところ、玉鉾の永久開発の場所はそのままで、Googleのストリートビューを見ると「完全工業」という社名になっているようです。「ビルガード」という看板も見えましたが、平成11年当時のグループ会社の一つと聞いていました。

鳴和の職業安定所には数回通った記憶がありますが、当時は仕事を探すことにずいぶんと焦っていました。それでも再審請求のことは誤魔化したくないという気持ちが強く、そのように係の人に相談したところ、どのような人でも採用してくれるはずと紹介されたのが永久開発でした。

永久開発には夕方に背広を着て面接に行ったことも記憶していますが、後で聞くと偽名を使って入る人も多いぐらいだという話しでした。焦りもありましたが先行きの生活の不安が強く、気持ちの余裕もなくなっていました。

玉鉾の永久開発では裏の方に集まる部屋があって、早朝から会長が采配をしていました。一言でいって異様な雰囲気でしたが、そういう他に見ないような世界でした。

外から解放された部屋にはボードに請け負い先や現場名が書いてあって、そこに派遣される人の札が掛けられていました。現場の欄に札がなければ、その日はあぶれで仕事も収入もないということでしたが、自分の札の存在を確かめに来るのが一日の始まりでした。

私自身、初めの頃の1，2回と、先輩の人夫と行った現場で請け負い先の指示に従わなかった人たちに、同行したペナルティのような感じで1回だけ外されたことがありましたが、仕事はほぼ毎日というだけではなく、日曜日もほとんどが仕事になっていました。

仕事ぶりを評価されてのことでしたが、仕事をもらえない人も少なからずいたようでした。私の場合は業者からの指名というかたちでの派遣も多かったようです。堀田建設のその一つという感じでしたが、一番多い仕事でもあったと思います。

堀田建設は野々市か松任市の会社だと聞いていましたが、本社については記憶にも残っていません。河北郡の高松に同名の会社が会って、そちらの方が規模が大きいとも聴いたことがありました。社長の姿は時々見かけていましたが、けっこう若い感じでした。

初めの堀田建設の現場は金沢市山科だったと思います。山科の川の災害復旧工事だったことは間違いないです。ただ、雪が降るような時期には行っていなかったような気もします。まあ、春先ぐらいから行くようになった現場だったと思います。

石川県金沢市山科１丁目６ - Google マップ <http://bit.ly/OYgvLC> ←　山科の現場というのはだいたいこのあたりだったと思います。

玉鉾の永久開発から山科の現場に行くには、被害者AKさんの家の近くを通っていました。大通り沿いではなかったですが、大通りからも家の裏の方が見えていました。その家のリフォームが始まったのも、ちょうど山科の現場に通い出した頃だったと記憶しています。

つい最近に似たようなことを経験していました。被告訴人KYNが設備工業の事務所として購入した隣の家のリフォームをしていたことです。このリフォームは、私が彼の仕事をやめてからNテックの仕事をするようになった一月ぐらいの間に、完成していたのではと思います。

前に書いていると思いますが、安原工業団地付近のS設備の新年会に参加するように言われ、テルメを出たのは翌朝の遅い時間で10時か11時頃だったようにも記憶しているのですが、帰りに被告訴人KYNの家にも少しだけ寄ったような記憶が残っています。

被告訴人KYNのところにいったのはその時以来だったと思います。平成11年の2月の前半だったと思いますが、あるいは1月の終わり頃かもしれません。西宅建株式会社のことを鉄塔の近くの詐欺師のような会社と、被告訴人KYNが言ったときのことです。

その時は被告訴人KYNの自宅ではなく、隣の家の事務所の方に顔を出していました。リフォームがほぼ完了したような感じだったと思いますが、少しの間にずいぶんと変わったものだとも感じていました。

その場には同じ宇出津のYSという同級生がいました。前に少し触れているような気もするのですが、被告訴人KYNの妻となった彼女を紹介したという間柄でもありました。

私自身、YSとは幼い頃より付き合いがあり家も近所でした。今も正月やお盆には帰省していると思いますが、私の方で会わないようにもしているので、あれ以来はっきり顔をあわせたこともありません。

YSも被告訴人OKNと同様、金沢高校に通っていましたが、中退したのも同じ頃だったかと思います。理由はまったく別で、原因らしい話しを耳にもしていましたが、本人に確認を取ったこともありませんでした。

YSは昭和57年頃は宇出津で仕事をしていたので、ちょくちょく顔を合わせていました。彼の働く店にもちょくちょく行っていたことを憶えています。

その後、私自身、宇出津にいることも少なくなり、車での移動も多くなったので、顔を合わすこともほとんどなくなっていたように思います。金沢に出たとは聴いていたと思いますが、彼に関する話題を耳にすることも余りなかったように思います。

YSの話しを再び聞くようになったのは被告訴人KYNが金沢に出てきた後でのことです。昭和62年頃ではなかったかと思いますが、一度YSのアパートに遊びに行ったことがありました。場所は入江だと聞いていましたが、ニュー三久神田店の裏の方でした。あるいは昭和63年だと思います。

YSとは被告訴人KYNの結婚式の時にも顔を合わせていました。1月の中頃でしたが、平成1年かと思います。既に書いているはずですが、小林健一らと四国の観音寺市あたりにイワシのダンベを運んだ数日後の結婚式でした。

その後YSとは顔を合わすこともなく、話を聞くことも少なかったと思いますが、独立して内装の仕事をしているようなことは聞いていました。

平成11年の2月と思われる日に、被告訴人KYNの事務所になっていた部屋で顔を合わせたときも、直接には挨拶程度だったと思いますが、その場の雰囲気もあわせてリフォームの仕事をしたのはYSではないかと思いましたし、遊びに来たという感じでもなく打ち合わせのような感じでした。

内装の仕事は言っても、それまでは単純なボード張りのような仕事をしているのかと思っていたのですが、もっと本格的に大工やデザイナーにも近いような仕事をしていたのかと思いました。その場で出会ったことが意外でしたが、予め被告訴人KYNから呼び出しを受けるような成り行きだったとも思います。

何か用事があって出向いたことに間違いはないですが、それがなんであったかは思い出せなくなっています。

その後、被告訴人KYNとは一度は直接会っています。一緒に酒を飲んで私は代行タクシーを呼んでそれに乗って北安江の家に帰ったような場面を憶えています。彼の家のすぐ近くから代行タクシーに乗りましたが、飲みに行ったのもその近くの居酒屋のような店だったかもしれません。

その居酒屋のような店のことは割と最近になって思い出すようになりました。被告訴人OKNも含めて飲みに行ったような場面も記憶しているですが、記憶がごく断片的で、時期もはっきりしません。

その近所の居酒屋のような店というのは住宅地に目立つような電気をつけた店でしたが、仕事で被告訴人KYNの自宅に通勤していた当時には、店の電気を見ていたような記憶もなく、すぐ近くでありながら、店に入ったこともなかったと思います。M君とも入ったようには考えにくく思っています。

ただ、これは逆に被告訴人KYNのところで仕事をする前のことで、平成9年の夏頃ではなかったかというような気もするのです。2回ぐらいはその店に入ったことがあり、一度はけっこうな人数で店に入ったように思うのですが、そんなことも十分に思い出せなくなっています。

その被告訴人KYNの自宅の近所の居酒屋のことですが、よくよく考えてみると、平成10年の11月頃、被告訴人OKNと久しぶりに顔を合わせたときに一緒に行った店であったような気もしてきました。一水に行った流れにもつながっていたような気もします。

その近所の居酒屋のことは、被告訴人OKNと一緒に若杉幸平弁護士の法律事務所に行ったときの場面に似て、そこだけが時期的な流れに当てはめにくいというか、浮いたような感覚にもなっています。

まあ、代行タクシーで帰ったときのことは、ようやくお金の面での心配も少なくなってきて落ち着いてきた頃でもありました。また、被告訴人KYNの態度もそれまでの攻撃性のようなものが影を潜め、様子見のような態度にも思えました。

彼としても思惑がことごとく外れ、いらだちもあったのではないかと思いますが、実際のところはかなり見えにくいと想っていました。

いらだちや焦りのような態度が、よりはっきりとストレートに伝わったのは若杉幸平弁護士でした。もともと若杉幸平弁護士の名前には記憶があったと思います。書面でのみ見た名前でしたが、それは平成7年の7月頃のことだったと思いますが、書面には日付も記載されていたかと思います。

先に資料として午前中に収集したインターネット上の情報を、新たな方法の第一歩としてご紹介しておきたいと思います。その方法についての説明は別の項目で後ほど書く予定でいます。後回しにしました。

<> <#LINK-ID_1> 資料写真／若杉幸平弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

上記参考資料にあるとおり、若杉幸平弁護士の法律事務所は現在、丸の内法律事務所という名称になっていました。以前は若杉幸平法律事務所ではなかったかとも思いますが、いつの間にか変わっていました。

金沢地方検察庁の建物のお隣のような場所にあるのでわかりやすいですが、金沢地方検察庁の住所が金沢市大手町なのに対して、どうも金沢地方裁判所と同じ丸の内という住所になっているようです。

Googleマップやストリートビューの画面をパソコンでスクリーンショットした画像ですが、ストリートビューの写真の撮影日が数年前と思われるもので、金沢地方裁判所の新庁舎が工事中になっています。

これまでにも気になったことなので調べたこともあるのですが、Googleのストリートビューの撮影日を確認する方法というのは、私の調べた限りでは見つかりませんでした。

金沢地方検察庁の建物は平成4年当時と変わっていないと思いますし、金沢地方裁判所が新庁舎になった以外は、周辺の状況というのはさほど変わっていないと思います。ただ、気になる点として木梨松嗣弁護士の事務所の場所が少し変わっているように思えることはあります。

歳月の経過とともにそういうこともありうるかと思いますので、参考資料の状態はなるべく正確に記録をしておきたいと考えています。単にURLを紹介しただけでは、内容が変わってしまうこともあり得るからです。

さきほどから繰り返しているように、若杉幸平弁護士の法律事務所に行ったときのことは、私の記憶から浮いたような一場面になっています。もしかすると平成9年の秋のことではなかったのかと、思えることもあるぐらいです。

過去に私が作成した裁判の書面においてはより近接した時期に具体的な記載があるだろうとは思いますが、今の私自身にすっきりしないもどかしさがあります。

直前のこととしてはっきり憶えていることは被告訴人OKNが若杉幸平弁護士のことを、兄の被告訴人OSNの仕事関係で親会社のような存在である清水建設の顧問弁護士で、その関係で知り合っていると話していたことです。

清水建設というのは私個人としても特別な記憶のある建設会社でした。小学校の高学年の頃ではなかったかと思いますが、誰かに日本一大きな建設会社だと聞いた憶えがあったからです。

はっきりとは憶えていないのですが、宇出津小学校の新校舎の建設現場に清水建設という看板が出ていたような気もします。新校舎は旧校舎とほぼ同じ場所に建設されていましたが、建設中の状況とかはほとんど記憶にも残っていません。

はっきりしていることは新校舎が完成したときに丁度6年生に進級したことでした。宇出津の町も漁業で潤っていた時期だと思いますが、デザイン的にも目新しい新校舎で、それは現在においても古さを感じさせない建物となっています。

おそらくはペンキの塗り替えなどもされているものと思いますが、卒業してからはほとんど後者にも入った憶えがありません。近くで眺める程度ですが、他の土地やテレビで見る学校の建物と比較しても立派な校舎ではないかと思います。

一階の玄関の横には大きな食堂があり、二階が体育館になっていました。以前の旧校舎が古すぎたということもあるかと思えるのですが、ギャップも大きかったです。特に旧校舎の便所や音楽室は今でも忘れられないような不気味な雰囲気がありました。

学校紹介 - 能登町立宇出津小学校 <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~ushite/NC2/htdocs/?page_id=29> ←　こちらに校舎の写真もありました。立て替えはされていないと思うのですが奥の方の建物などは記憶がはっきりしなくなっています。

歩み - 能登町立宇出津小学校 <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~ushite/NC2/htdocs/?page_id=31> ←　こちらに年表があります。昭和51年7月に新築落成式を挙行となっています。

落成式のことは記憶に内ですが、6年生の進級と同時に新校舎での生活になったように憶えています。

清水建設 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%85%E6%B0%B4%E5%BB%BA%E8%A8%AD> ←　比較的新しいと思われるこちらの情報をみてもスーパーゼネコンの5社の一つに数えられているようです。

私自身、近年は行動範囲も大幅に限られているので、清水建設の看板が出た工事現場を見ることもありませんが、平成9年や平成11年の時点においては、日本を代表するような大きな建設会社であるという認識でいました。

被告訴人OSNが清水建設の仕事をしているような話しを聞いたのはずいぶんと前のことだったと思うので、驚くこともなかったです。

被告訴人OKNが金沢港に近い金沢市無量寺のアパートに住んでいる頃、昼間、被告訴人OSNのライトバンのような車が停められていたことがあり、後部のガラスの部分に大きく「○○組」と書いてありました。○の部分はもちろん彼ら兄弟の家の名前です。

本書において昨年中になるかもしれないですが、被告訴人OSNが東京で仕事をしていて岡山県内で交通事故を起こし、金沢市入江の病院に入院していたことは書いているかと思います。病院の名前は記憶にないですが、さほど大きくない個人病院だったと思います。

八幡のすしべん入江店の裏側になる通りにある病院でした。八幡のすしべん入江店は、当時金沢市近郊では深夜に食事の出来る数少ない店の一つでもあり、ヤクザ者や暴走族が集まるようなイメージも強い店でもあったと思います。

今、Googleマップで確認したところ、八幡のすしべん入江店の方は昔と同じ場所にあると思われるものの、病院らしいものは見当たりません。野田専光寺線に面した辺りの住所は入江と思われますが、病院のあった並びは東力と思われます。

保険金の誤魔化しもやりやすいような病院でうさんくさい患者がいるような病院だとも話しを聞いていました。ダンプと相撲を取ったという被告訴人KYNが入院していたのも同じ病院だったと思いますが、被告訴人OSNの入院との重なりやずれは記憶に残っていません。

どちらも特に寒い時期や暑い時期ではなかったように思います。回数は少なかったと思いますが見舞いに行ったこともあり、似たような年頃の若者数人で楽しそうに生活しているという印象がありました。

当時のこととして割とはっきり憶えている記憶は、昭和61年6月の初めの時点では被告訴人KYNは金沢市松村のずいぶんと古びたアパートに一人暮らしをしていました。大通りである金石街道からもけっこう離れた場所であったと思います。

石川県金沢市松村 - Google マップ <http://bit.ly/OZpmg1> ←　こちらで確認したところ松村というのは私が思っていたより範囲が広く、犀川の川沿いにも近い辺りがあるようです。

金沢市内の松村には昭和60年当時、金石街道沿いの交差点の角に加州銀行の支店があって、個人的にはその交差点のあたりが中心のようなイメージがありました。

その松村の交差点から金沢市内に向かい、8号線バイパスにぶつかる辺りの一帯は藤江という町名になっていました。反対の金石方面に向かうと、畝田という町名があってこの畝田もけっこう広いという印象でした。畝田の先を進むと説明が途中になっている寺中町があります。

被告訴人KYNが松村の古いアパートから何時頃、黒田2丁目のマンションに引っ越したかもはっきりとは憶えていませんが、松村のアパートに住んでいた時点では、金沢市幸町辺りにあるという小さな配管工事の会社に勤めていたと思います。

石川県金沢市幸町 - Google マップ <http://bit.ly/OZs9Wz> ←　金沢市の中心部に近いところです。その辺りに社長の家があると聞き、何度か車でその近くに同行して、車の中で待っていたような記憶も残っています。

やはり被告訴人OSNが入江の病院に入院していたのは昭和62年の春頃ではなかったかと思います。あるいは昭和63年の同じ頃ですが、一月ぐらいの入院で、怪我の程度も含め詳しくは知らなかったですが、長くても3ヶ月ぐらいの入院ではなかったかと思います。

東京で仕事をしていて出張中の岡山県内で事故を起こしたという話しでしたが、退院した後は東京には戻らず、そのまま金沢で生活を始めたような話であったと思います。

石川県金沢市増泉２丁目８−３７ - Google マップ <http://bit.ly/1h8TKze> ←　だいたいこの辺りの場所のアパートだったと思います。同じ増泉でも1丁目と異なり、普通の町並みに近いような雰囲気も感じられました。

私より一つ上で珠洲市出身の女性のアパートだと聞いていました。その女性とはその後結婚もしているはずです。私は昭和56年の夏にもその女性と会っているはずなのですが、まったく別人のような雰囲気になっていました。名前に特徴もあったので憶えていたのですが、同じ人に間違いはなさそうでした。

それはそもそも被告訴人OSNとの関係の始まりでもあったのですが、昭和56年の夏、被告訴人OSNは金沢市増泉一丁目のアパートに住み、私は金沢市問屋団地のガソリンスタンドで寮住まいをしていたのですが、ちょくちょく遊びに行くようになり、その後仕事もやめて転がり込んだのです。

これも説明が途中になっていますが、七塚のMKや東金沢方面のMSという当時17歳の少女らと知り合ったのもその増泉のアパートでした。少女と言っても当時私は16歳で、学年も一つ上だと聞いていました。

被告訴人OSNの妻となる珠洲の女性には地中海とか言う近くの喫茶店のようなレストランで食事をごちそうになったことも憶えています。浅野本町の私のアパートにも一度は遊びに来たことがあったと記憶していますが、個人的に話しをするようなことはほとんどなかったと記憶しています。

前々から気になっていたのは姫のNさんも同じく珠洲の私の一つ上の女性と交際しその後結婚したように聞いていたことです。その女性とも多少面識はあったのですが、名前などは憶えておらず、Nさんとの付き合いもなくなる少し前の頃だったと思います。

昭和58年の春頃でしたが、私は珠洲の三崎の方のFNさんのアパートに世話になっていた時期でした。増泉一丁目とは野田専光寺線の大通りを挟んで向かい側にもなる白菊町のアパートでした。古い建物でしたがアパートという体裁ではなく平屋の借家に近かったような記憶もあります。

そのアパートには被告訴人HTNが以前所属していたと聞く暴力団松元組のMUという人物が頻繁に出入りしていて私も世話になっていたのです。松元組の組事務所を含め、いくつかの暴力団事務所にも連れて行かれたことがありました。

当時40代ではなかったかと思いますが、幹部とも聞いていました。上位団体である北友会の幹部と聞いていたようにも思います。当時の石川県内の暴力団のほとんどは山口組系一会北友会という系列とも聞いていました。

七尾市に本拠を置く福島組と小松市に本拠を置く紺谷組が山口組の直系とか直参になったという話しを聞くようになったのは、その数年後のことではなかったかと思います。一和会との抗争よりは前であったとも思いますが、はっきりとは憶えていません。

山一抗争 - Wikipedia <http://bit.ly/1h8XLDz> ←　こちらの情報を見ると、昭和59年から平成元年まで続いた抗争のようです。当時は情報源も限られていたので詳しいことは知らなかったですが、そんなに長い期間に渡っていたとは意外でした。

当時は金沢市の繁華街片町のすぐ近くの中央通りに北友会の事務所があったので、今考えてもずいぶんと時代が変わったものだと思います。

FNさんは当時、瓦屋の仕事をしていてまじめに働いていましたが、私はしばらくの間、仕事もせずに彼のアパートでぶらぶらしていたのです、ちょうど小林運送の長距離助手の仕事をやめた後ではなかったかと思います。

白菊町のFNさんのところにいたのは長くても一月ぐらいだったと思いますが、毎日そこで寝泊まりしていたわけでもなかったと思います。友人の出入りも色々ありましたが、宇出津のDKさんもよく出入りをしていたので、被告訴人OSNが顔を出すことはなかったはずです。

DKさんについても既に触れている箇所があるはずですが、被告訴人OSNが大きなハサミを持って馬乗りになった相手で、昭和57年の春頃に仲違いをして、以来関係が修復することもなかったはずですが、被告訴人HTNもDKさんの家にはよく出入りをしていて、その後同じ漁師仲間にもなったはずです。

MUさんとの付き合いは白菊町のFNさんのところにいた一時期だけでしたが、MUさんが姫のNKさんにひどく腹を立てて、探し出して見つけたら痛い目に遭わせてやる、というようなことをそのアパートで口にしていたことがありました。

何があったのか詳しい話しは聞きませんでしたが、よほど怒らせるようなことをやった感じで、そうなるとNKさんもFUさんのところには寄りつかなくなっていました。珠洲の彼女らしい女性の姿を見たのはその少し前だったと思います。

私は姫のNKさんと個人的に親しく連絡を取り合う関係ではなかったですが、DKさんや同級生のKMを介して一緒に遊ぶ機会は多くありました。被告訴人OKNを含めることもありましたが、それは奥能登の夏祭りから秋祭りの時期でした。

奥能登の祭りは7月初めの宇出津のあばれ祭りがかわきりとも言われていますが、細かい在所の祭りを含めるとかなりの数になります。当時私は酒やビールを飲むのも嫌いで、先輩に強要されることが多くてなおさら苦痛だったのですが、付き合いの機会もけっこうありました。

被告訴人OKNなどはそれをとても楽しんでいたのですが、彼らは自分らのことを神主とも呼び、在所の祭りに行っては、全く見ず知らずの家にも「あんさまおるかね？」と声を掛けて上がり込み、飲み食いをすると言うことを繰り返していました。

昭和57年や58年だったと思います。珠洲市の蛸島や、柳田村の祭りにも行った憶えがありますが、これはどちらも9月の下旬の祭りだったと思うので昭和58年ということになるかと思います。昭和57年は9月の初めに名古屋に行き、年末まで一度も戻らなかったからです。

宇出津の山側で柳田村の間には神野という地区があってほとんどが農家の集落になっていました。宇加塚とか鶴町、曽又、藤ノ瀬という細かい集落にも分かれていたのですが、祭りもその集落単位であったようです。曽又の祭りには私も行った憶えがあって、昭和57年だったかもしれません。

あるいは昭和58年ですが、たしか曽又に家があると聞いていたので同じ曽又の祭りだったと思われます。私はその場にもおらず、金沢で生活をしていたような気もするのですが、被告訴人OKNが当時はやりの言葉でタイマンをするといった相手にボコボコにされ、顎の骨を砕かれたことがありました。

今ではそういう話しも全く聞かなくなりましたが、当時は柳田村や神野地区の人のことを「ざいご」と呼び、ものすごく馬鹿にするような風潮が残っていました。自分のシル範囲でその傾向がもっとも顕著だったのが被告訴人OSNでした。

「ざいご」というのは小さい頃からの地元の方言だと思っていたのですが、インターネットなどで情報を見るようになってどうやら「在郷」の発言の訛りではないかと考えるようになりました。まあ、部落差別に近いようなものがあったとは思います。

自分の同級生が二人いたとは聞きましたが、その一人と被告訴人OKNが喧嘩になりタイマンと言うことで、バックの暴力団抜きの対決をしたそうですが、顎の骨を砕かれるほどの大怪我を負ったと聞きました。

これもごく断片的に記憶している場面ですが、私は河北郡内灘町にある医科歯科病院に被告訴人OKNの見舞いに行ったことも憶えています。彼は話しが出来る状態ではなかったですが、悲しそうな顔をしていました。

やはり私が普通免許を取得した昭和58年のことであったと思いますが、七尾市の暴力団福島組の「葵会」という暴走族が幅をきかし、ほとんどの能登の地域の暴走族のような若者たちを支配下に置いたような話しがありました。

宇出津も例外ではなかったのですがそれを拒否しているような話しでした。被告訴人OSNも七尾市に父親の用事で行ったときに、さらわれたような話しをしていました。金沢でも同じでしたが暴力団のケツ持ちというかバックがなければ、暴走族をやっているのは厳しいような状況になっていました。

私も暴走族仕様のシャコタンという当時はやりの車に乗っていたので、いろいろと緊迫した思いで過ごすこともありましたが、暴力団との付き合いは持たないようにしていました。その傾向は私より周囲の方が強く意識していて同調するような雰囲気もありました。

被告訴人OSNはもともとそういう暴力団とのつながりにも抵抗がなかったのだと思いますが、周囲の拒絶が強すぎて周りをまとめることが出来ず、離脱を進め孤立化していったような側面もあったかと思います。

神野の同級生二人も七尾の暴走族の息が掛かっているような話しを聞きましたが、そういう関わりをなしでの勝負をしたところ、こてんぱんにやられたような話しを聞いていました。

他所の祭りに顔を出し浮かれたことをやっていてのことなので自業自得だろうという気持ちもありましたが、被告訴人OSNは幼い頃から蔑視していたザイゴの人間に弟が痛めつけられたことにも、相当に根深い不満を持っているような様子で具体的な口吻を漏らすこともありました。

改めて考えると、被告訴人OKNがバイクに乗って大阪に向かったのは顎の怪我の退院の後であったような気もします。バイクはVTとかいうV型エンジンの250ccの黒いバイクであったとも思います。秋であったとは思いますが、寒くなり始めた季節であったような印象も残っています。

被告訴人OKNが大阪に行ったのは昭和60年の秋だったと思います。後に妻ともなった彼女がその年の春に水産高校を卒業し、大阪に働きに行っていました。大阪でも兵庫県に近いところだとも聞いていました。

彼女は私より二つ年下でしたが、私の同級生が高校を卒業したのも2年前で昭和58年のことでした。

前にも書いていると思いますが、被告訴人OKNは初め平ボディのトラックに乗る仕事をしていたと言い、そのあとは宝塚市のステーキ店で住み込みで働いていたとも聞きましたが、神戸市内で生活するようになり、彼女とも一緒に暮らしていると聞いていました。

神戸の住所は聞いていたと思いますが、北区という話しでもあったか山の手の方だとも聞いていました。彼女の仕事は聞いていなかったようにも思いますが、高校卒業と同時に入社した大阪の会社に通勤していたのかどうかもわかりません。

大阪というか神戸方面に行くときはばらばらという感じで被告訴人OKNが後を追いかけたという感じでもありましたが、戻ってきたのは一緒という感じではなかったかと記憶しています。

前にも書いていると思いますが、その戻ってきた時期というのもはっきりとは思い出せません。昭和63年のお盆休みにはシトロエンというフランスの車に乗って帰ってきていたように思います。宇出津新港の堤防で一緒に映した写真もありました。あの写真はその時のものだったと思います。

夜には宇出津小学校で盆踊りがありそこでも誰かのカメラで写真を撮り、そのうちの一枚も以前は持っていました。そのような写真のほとんどは前妻が持ったままいなくなったので、私の手元に残されているものはわずかですが、私自身、カメラを所有していなかったので、家族の写真も多くはなかったです。

宇出津の盆踊りは私が小さい頃から宇出津小学校の運動場で行われていましたが、なにか衝突があって行われなくなったと聞きました。その盆踊りをみたのもその時が最後であったような気もしています。

宇出津新港の堤防も余り行った憶えがなく、宇出津新港の埋め立て地自体がいつの間にか出来ていたという感覚でいました。宇出津新港の埋め立て工事がいつ頃から始まったのかもよく憶えていませんが、出来上がっていく過程というのも不思議と見た記憶がありません。

普通に考えて徐々に埋め立てが進んでいったのだと思いますが、自分が気がついた頃には埋め立て地自体が出来上がっていたように思います。幼い頃から遊んでいた近所の辺田の浜が埋め立てられていったので、それなりに関心も持っていたとは思うのですが、振り返れば何時の間にという感じです。

夜の盆踊りで写した写真には私の長男と、姫のDMが一緒に写ったものがありました。彼女は被告訴人OKNの彼女の同級生でもありました。金沢市八日市のアパートに、私の一つ年上でHSの従兄弟でもあるHSさんと同棲して一緒に暮らしていました。

被告訴人OKNと彼女が神戸から戻ったときも宇出津に帰る前に、彼らの八日市のアパートで落ち合っていたことを憶えています。

これも浮いたような断片的な記憶なのですが、日曜日ではなかったかと思われるある日の午後、金沢市北安江にある結婚式場の2階で、被告訴人OSNやHSと顔を合わせていました。私は長男を連れていましたが、彼らはなぜか浮かない顔にも見えていました。

HSとはかなり久しぶりに顔を合わせたようにも記憶しているのですが何か不満そうで口数も少なかったように憶えています。それは従兄弟のHSさんと姫のDMとの結婚式だったと思いますが、私は招待されたわけではなく、会場の外で彼らと顔を合わせ、新郎新婦の姿も少しだけ見たように記憶しています。

その結婚式場というのは平安閣ではなかったかと思います。その後マリアージュとかなんか違ったような名前でテレビのCMにも出ていたような気がしますが、当時は平安閣と呼ばれ、看板にもそう書かれていたように思います。

当時はまだ駅西という言葉はそれほど馴染みもなかったような気がしますが、その金沢駅の裏手の大通り沿いにその結婚式場はありました。被告訴人OKNらが結婚したのも同じ結婚式場で、半年ぐらい前だったようにも思っているのですが、こちらも時期がはっきり思い出せないでいます。

結婚式の後、片町で二次会のような集まりがあり、その後に片町のスクランブル交差点の近くのおでん屋に集まったこともはっきり憶えていますが、その時は夜が遅い時間だったと言うこともありますが、かなり寒かったように憶えています。

「赤玉」という名前のおでん屋ではなかったかと思います。店自体が目立つ場所にありましたが、中に入ったのも最初で最後だったように思います。そのおでん屋の座敷で、私は被告訴人OSNの連れの人物にビール瓶で頭を殴られそうになりました。

やってみろという感じで開き直ったのですが、うれしそうに期待した被告訴人OSNの顔が視界の隅に入りました。相手も面子があるので当然にやるだろうと思いながら静まった状況で、意外なことに止めに入ったのが被告訴人HTNでした。

その人物は「コウジ」と呼ばれていたと思います。初対面ではありませんでした。被告訴人OSNが連れて二人で私の東力のアパートに遊びに来たこともあったからです。控えめで大人しくも見えましたが、ヤクザ者のような雰囲気の人物でもありました。

被告訴人OSNが東京に住んでいる頃に知り合ったと紹介も受けていたと記憶しているのですが、被告訴人OSNと被告訴人OKNの兄弟の父親が命の恩人であるというような話しも聞いていました。

余り具体的な話しは聞かなかったような気もするのですが、自分から細かい話しを聞きたいという気持ちもなく、あえて聞かないでおいた方が良いだろうという気持ちもあり、被告訴人OSNとも距離を置いたような関係を心掛けるようにしていました。

自分のアパートに遊びに来たときにも悪い印象というのは全くなかったのですが、当日のおでん屋では立ち上がってビール瓶を振りかざされるような事態になっていました。その前にO兄弟ともなにか言い合いをしていたような気もしますので、そちらの方に原因があったとも思います。

その場には東京のOという人物も同席していました。おでん屋の支払いを仕切ったのもその人だったように思いますが、東京で暴力団員をしていると聞くのと一緒に、O兄弟の父親の兄弟分とも聞いていました。

被告訴人OSNに説明を受けないと気がつくこともなかったはずですが、そのOという人物とも私は初対面ではなかったようです。以前に会ったときの印象とは違いすぎていたので、同じ人だという説明を受けても実感が伴わない話しでもありました。

「コウジ」という人物に関しては、東京で知り合ったものの元は九州の福岡の人間とも聞いたように思いますが、当時は仕事の関係で耳にも馴染んでいた博多弁や九州弁のようなアクセントは感じられなかったことも印象に残っています。

その後、姿も見かけないようになり話しも聞かなくなったように思いますが、一時期はいつも一緒に被告訴人OSNと行動を共にしているような感じでした。

Oという人物は姫の出身と被告訴人OKNから聞いていましたが、宇出津の魚市場のあたりによくある同じ漢字二文字の名前とは、読み方が異なっていました。違うのは一文字目でしたが、そのような読み方はその後も聞いたことがなかったので、それだけでも印象的でした。

Oという人物と初めに会ったのは昭和57年の4月頃ではなかったかと思います。東京の観光ではけっこう薄着をしていた記憶もあるので、あるいはもっと夏に近い時期で5月や6月であった可能性もあるのかもしれません。と思いましたが、やはり4月頃であったと思います。

まだ被告訴人OSNとDKさんとの間に衝突が起こる前の時期でもあったからです。そういえば能登有料道路の穴水の横田料金所辺りでは、まだ雪が残っていたような記憶もぼんやりとですが、なんとなく残ってもいるのです。

被告訴人OSNが大きなハサミを振りかざしてDKさんに馬乗りになった頃、私は自動二輪の免許を取得した後でホークⅡという400ccのバイクにも乗っていた頃だったと思います。

6月の初めではなかったかと思うのですが、ちょうど金沢の百万石祭りというのが始まった頃に、当時は香林坊の近くの中央公園のあたりにあった石川県警本部で、免許取り消しの処分を受けたことを憶えています。弁明の機会があったのですが、反省の弁を述べると色めき立って驚かれたことも印象的でした。

百万石の祭り自体は見ておらず、その後もテレビ以外で見た記憶は一度もないのですが、百万石祭りが始まるようなアナウンスを耳にしていたようなことは断片的に憶えているのです。

O兄弟の家は当時、プロパンガスの配達と器具の販売、それと自動車の整備工場をやっていました。その慰安会のような旅行に同行するかたちで東京に遊びに行ったのです。ワゴン車に乗っていったと記憶しています。

7人はいたと思います。事務員のようなおばさんが同行していたかどうかは思い出せなくなっています。私自身東京に行ったのは能都中学校の修学旅行以来のことで、車で行ったのは初めてでした。東名高速から首都高速に入っていた状況を記憶していますが、夜の遅い時間になっていたと記憶しています。

夜中に東京に着いてからのことは記憶にないのですが、昼に浅草あたりのアーケードの観光地のようなところに行き、名古屋にいるときよく食べていた吉野家の牛丼を久しぶりに食べたことと、同じく昼に後楽園遊園地に行ったことは記憶に残っています。

自分の記憶では夜ではなく朝の午前中だったようにも思うのですが、同じく浅草あたりで、上の方が斜めになっているマンションの上の方の買いに行き、そこで人ずつシャワーに入れてもらったことを憶えています。

上の方が斜めになっているマンションというのは、長距離の仕事で東京に行くようになってからも当たり前のように見かけていたのですが、石川県の金沢市でもほとんど見かけたことのない建築様式だったので、ずいぶんと珍しく見えていたのです。

長距離トラックの仕事では全国の主要都市もほとんどを回りましたが、あのような建築様式のマンションというのは余り見かけた記憶もないので、東京でも台東区の浅草あたりに特に多かったような気もします。

風呂というよりシャワー室のような感じだったと思いますが、それも全く初めて見るようなものでずいぶんと珍しく見えていました。その部屋にはO兄弟の父親と同年代と思われる夫婦がいましたが、とても優しくて対応が丁寧だったのもすこぶる印象的でした。

そのマンションで雑魚寝をしたという記憶もないので、いったいどこで一泊したのだろうとも思うのですが、あるいは車中泊をしていたのかもしれません。不思議と吉野家の牛丼以外は、食事のことも記憶には残っていませんが、何か出前のようなもてなしを受けたような気もしなくはありません。

京都の親戚のところに遊びに行っていたのも小学校の低学年の頃までのことで、他は修学旅行ぐらいしか宇出津から出たこともなかったので、何かと珍しかったのだと思いますが、あの親切な夫婦のもてなしぶりが、際立って印象的だったとも思います。

その親切やもてなしは、都会での生活のなみならぬ苦労や厳しさにも裏打ちされているようにも感じましたし、自分が田舎で生きた来た体験では理解の難しい世界なのかもしれないと考えることもありました。

O兄弟の父親に対して、ひとかたならぬ気の遣いようをしているとも感じられました。当時のO兄弟の父親には、そのようなある種の威厳のようなものも備わっていたと思います。それだけに平成3年の春頃の被告訴人HTNの態度には驚かされました。

O兄弟の父親は、被告訴人OSNと被告訴人OKNの二人の兄弟に対しても、優しく語りかけるようなところがありました。田舎の宇出津では他に見かけないようなタイプの子どもに対する接し方にも見えていました。

家にはいる時期といない時期があって、金沢や県外の方に出ていることも多かったと聞いたようにも憶えています。被告訴人OSNも丁度大地震があった頃の新潟市内で生まれたという話しを聞きました。

母親の姿というのは見たことがなく、離婚した後長女の姉と北九州の方だったかに住んでいると聞いていて、被告訴人OKNの部屋のアルバムにはその姉の写真もありましたが、母親の写真のことは私の記憶に残っていません。

私も3歳の頃に父親と死別していて父親の顔もほとんど記憶にないのですが、片親というのは同級生でも他にほとんど聞いた記憶もないという時代でした。

当時はまだ祖父が健在でしたがかなりの高齢でもあったと思います。父親が悪くなったのも昔気質の祖父が厳しすぎたからだと、被告訴人OKNは不満を漏らすこともありました。傍目には優しい祖父にも見ていましたが、気性の激しい一面は年をとっても残っているような感じではありました。

父親は当時の宇出津の人としてはかなり珍しく、話し言葉も標準語に近かったように思います。それだけ家にいない時期も長かったのかもしれませんが、中学生の頃にも父親に関してはよからぬような噂を小耳に挟むことはありました。

泥棒をして捕まったとか、そういう話しだったと思いますが、周囲はO兄弟に同情的に見る向きがあったという印象が残っています。兄の方は小学生の頃から手癖の悪いこともやっているような話しで、それなりに迷惑も掛けているのかと想像することはありましたが、批判めいた話しも聞かなかったと。

彼らO兄弟の家は宇出津の町の中心部でもありましたが、特に大きな商売をやっている家が並んでいるような辺りでもありました。その後は商売を辞めたりする店もありましたが、ソ連との間の二百海里問題が起こるまでは、景気も商売も順調ではなかったかと思われます。

被告訴人OKNは中学生の頃からしっかりと目的意識を持っているような様子で、迷わず金沢の高校に行って一人暮らしをすることを来ていていたようです。他にも金沢の高校に行った同級生はいましたが、地元の高校の受験に落ちたり、部活の推薦での進学でした。

昭和55年になるかと思いますが高校一年の夏休みに友達3人で、金沢の被告訴人OKNのアパートに遊びに行ったこともありました。夜に片町の近くの中央通りの屋台のような店に案内され、豚足のような食べ物を教えてもらったのも印象的でした。

金沢の大和町というところのアパートでした。徒歩でも金沢駅に近い場所でした。その部屋か同じアパートに自殺があったという話を聞いたといい、それをずいぶんと気に掛けている様子でもありました。

その自殺の話しを近所の店で聞いたという話しが原因だったかはわかりませんが、その後、玉鉾のアパートに引っ越したと聞いていました。その玉鉾のアパートには行ったこともなく場所も知らなかったのですが、「たまぼこ」という名前が珍しく感じられ、印象的でした。

後になって聞いた話だったようにも思いますが、大和町のアパートにいる頃、父親が訪ねてきてしばらく一緒に生活をしていたところ、警察がアパートに踏み込んできて父親が逮捕されたという話しを聞きました。

父親が何かいろいろと品物をくれたのでおかしいとは思っていたとも話していましたが、数年後に聞いた話であったようにも思います。本人が話す以上に、ショックも大きかったのかもしれないと考えることもありましたが、立ち入った話しを聞くこともなかったです。

彼の父親に関しては遠慮もあったのか、あまり具体的な話しを被告訴人OKN以外に聞くこともなかったのですが、泥棒のようなことをやって警察に捕まり、刑務所を出入りしているとも聞き、そのうち窃盗団のようなものにも入っていたような話しを、曖昧でしたが小耳に挟むこともあったと思います。

競馬などギャンブルにものめり込み、泥棒をしても金をつぎ込むような話しも聞いていました。あるいは賭場のような場所に出入りしているような話しであったかもしれません。とにかく人が変わったようにギャンブルにのめり込む一面があったようです。

大きな家も部分的に人手に渡り、別の店が商売をするようにもなっていました。祖父が亡くなったあとではなかったかと思いますが、家の方も別の場所に引っ越していました。昭和61年頃かと思います。

末の妹が茨城の万博のようなイベントで仕事をしているような話しをしていたことがありましたが、ちょっと前に見たテレビ番組では昭和60年と出ていたと思います。その時点ではまだ、前の家で茨城の話しを聞いていたという記憶が残っています。

その妹と最後にあったのも平安閣での結婚式の時ではなかったかと思います。すっかり落ち着いた感じにもなっていましたが、被告訴人OKNらがいなくなった後も、神戸で生活していると聞いていました。

妹は被告訴人OKNの妻となった彼女とも同級生で仲の良い関係でしたが、思えばその後も、妹の話を聞くことはなかったと思います。唯一聞いたのが被告訴人KYNの話しで、父親の殺人事件の時に泣き続けて大変だったという話しでした。

実の娘なので当然かと思いましたが、思い出すのもたまらないぐらい痛手を負ったという被告訴人OSNの妻の話には違和感を覚えていました。被告訴人OKNから聞かされていた話です。

そもそも被告訴人OKNはその妻のことをもの凄く毛嫌いした時期があったのです。不満をぶつけるように反していましたが、原因としてうなずけるような話しとは思えず、反りが合わないという性格的な問題が大きいのではと感じられていました。

それも先ほど書いたお盆休みに神戸から帰省したときのことでした。久しぶりに会ったこともあり、久しぶりに帰ってきたという懐かしさもあるように感じられて、終始上機嫌に思われていましたが、兄の妻のことに関しては痛烈な批判のような話しを並べ立てていました。

憤懣やるかたないとも見えましたが、どうしてそこまで他人にぶつけるような話しなのかと、少々疑問に思っていました。まあ、テレビのドラマにも出てくるような親族間の軋轢かとも思いましたが、よほど相性が悪いのかという感じでした。

平成9年の2月か3月頃と思いますが、宇出津から被告訴人OKNの車に乗せてもらって金沢に行き、そのまま初めに被告訴人OSNの家に行ったことがありました。割と大きくて新しい家なので、けっこう驚いたことも憶えています。場所は米泉あたりの住宅地でした。

妻と思われる女性の姿もありましたが、落ち着いていて気分も良さそうな感じでした。その時も昔のイメージとはまるっきり違うので同一の人とは思えないと考えたのですが、別れたという話しも聞いてはいなかったので、同じ人には間違いがないのだろうと考える他はなかったのです。

増泉2丁目のアパートに住んでいる頃は、水商売の仕事をしているとも聞いていたように思うので、家庭に入って変わったというところもあったのかと思いますが、一番のギャップは昭和56年の夏に初めてあった頃の姿でした。浅野本町ので会った頃にはまだ落ち着いた感じにはなっていたと思いますが。

言い方を変えるとずいぶんと穏やかで、しあわせそうな姿にも見えました。そういう印象が強く残っていたので、間に挟んだような被告訴人OKNの話しにはかなりの違和感を覚えていたのです。

ついでに書きますと、福井刑務所の出所直後からの被告訴人OKNの行動には親切心以上のものを感じていました。頻繁に宇出津にも来ていて、その帰りに金沢に連れて行ってもらうことも何度かあったのです。

まあ、約5年ぶりの社会復帰だったので好意的に受け止めた方がよいという思いもありましたが、それでも度が超えているように思えることがあり、予め予定した段取り通りに事を運んでいるようにも感じられました。

まず、私の父親が残した辺田の浜の家を性分するという話しがすぐに出ましたが、あの物件を見て欲しがる人から問い合わせがあったような話しを切り出されたときには、どうかと思いました。取り分けよい立地条件があるともとうてい考えられなかったからです。

その家の処分に関しては何度か、昔、父親の部下だったという人と電話で話をすることもありました。父親が亡くなったというのも昭和42年か43年のたしか4月と聞いていましたが、そのあとの商売を引き継いでいたのも、その人でした。

私が小さい頃には鵜川の近くの七見の町営住宅のような場所に住んでいて遊びに行ったようなこともうっすらと記憶に残っていたのですが、もともと口数の少ないような人だったので、その後は毎日顔を合わせながらも余り話しをした記憶もありませんでした。

父親がやっていたのはタイヤ屋でヨコハマタイヤの看板が出ていました。高校を卒業すればヨコハマタイヤに修飾することも決まっていることのように母親から話しを聞いたこともありました。

父親が死んだ後もヨコハマタイヤの商売は続けられ、私は店の奥の住居で生活するような状態でもあったのですが、母方の親戚の都合で昭和50年の4月に宇出津に引っ越したのです。

長い間、昭和40年代の終わり頃に引っ越してきたと思い込んでいたのですが、比較的最近になって辺田の浜の春祭りの復活が昭和50年だったという情報を見つけ、それで昭和50年だったとわかりました。

また、宇出津に引っ越したのは小学校4年に進学した4月とも思ってきたのですが、先ほど宇出津小学校の新校舎の落成式が昭和51年だったという情報を知り、それから計算すると4年生ではなく、5年生に進学したときだという計算にしかならないということに気がつきました。

昭和58年の夏に普通免許を取って車に乗り始めた頃には、同じ場所のヨコハマタイヤに行ってタイヤ交換をしてもらったような憶えもあります。その後、ヨコハマタイヤの場所は宇出津新港の方に移ったと思いますが、父親の死後長い間、同じ場所で商売を続けていました。

部下と言うよりは弟分のような関係でもあったと聞いたことがありました。家の処分に関してはなにか色々とあって金沢に電話を掛けて長い時間話しをしていたような記憶が残っています。金沢のヨコハマタイヤで社長になっているような話しも聞いていました。

家の処分のことで必要のある話しをしていたことは憶えていて、電話の回数も一度や2度ではなかったと思うのですが、その内容については現在思い出すことも出来ません。

結局のところ、被告訴人OKNが仲介に入って世話を焼いてくれたかたちで売買が決まったのですが、それも見ず知らずの相手ではありませんでした。4月の初めの時点では契約が決まると同時に手付け金をもらって、すぐに金沢にパソコンを買いに行きました。

裁判のため絶対に必要な投資だと考えていたので全く迷いはありませんでした。

売買の相手は同級生の弟でした。その同級生とは小学生の頃に付き合いが多く、よく彼の家に遊びに行っていました。その弟のこともよく憶えていましたが、当時は私が小学校5年生ぐらいで彼はまだ小学校に上がる前の幼稚園児ぐらいだったように憶えていました。

実際にどれぐらい年が離れていたのかよく憶えていませんが、その幼稚園児ぐらいの頃の印象だけが強く残っていて、その後の成長の記憶もないまま再会したのだと思いますが、昔の面影のようなものは残っていて、同席していた母親の方が昔の面影を残していました。

その同級生の家というのは学者タイプの家で本が山積みなっているような古い家でしたが、同級生も成績が良く学業に専念するタイプで、その後付き合いもなくなっていったのです。私の知る限り子ども時代は被告訴人OKNとの付き合いも全くなかったと思います。

近くに家を買ってその場所で新たな商売を始めることになって、すぐ近くで一応は国道沿いでもある私の父親の残した家の土地が駐車場にするのに必要だったというのも、十分に納得できる話しではありましたが、出所直後にすごいタイミングで売買が決まったものだとも思ってはいました。

つい2，3日前に他の捜し物をしていてたまたま見つけたのですが、平成9年の4月に買ったノートパソコンの領収書のようなものが見つかりました。やはり4月の初めでしたが、思っていたよりは数日、4月の初めの日付になっていました。あるいは10日に近い頃だったかもと思っていたからです。

探していたのは西宅建株式会社の上荒屋の建て売り住宅の広告を撮影した写真ファイルを記録したCDかDVDでした。けっきょく未だに見つけることが出来ずにいますが、不思議とそのファイルが他にバックアップしたデータの中からも見つからずにいます。

その写真というのは羽咋市に住んでいた頃、昼に公園の中でベンチなどの上に置いて撮影したものでした。当時はデジカメの性能も悪く、室内ではきれいに撮れないことがあったので、公園で撮影したのです。

その公園というのは買い物に行くとき裏道として利用していた町外れにある目立たない公園で、ほとんど足を踏み入れたこともなかったのですが、じっくりなかに立ち入ると縄文遺跡のような展示まであって、少々驚いたことも憶えています。

周りに建物というのもほとんどなく、知らずに通過してしまうような公園でもありましたが、ひとつの発見でもあったので、当日のことは印象的に憶えています。

今となって残念なのはその西宅建の広告についてもさほど価値も考えずに、ついでの一応という感じで撮影していたことでした。現物の広告も被告訴人OKNにもらった黒い鞄と一緒にあったはずなのですが、いつのまにか行方しれずになって見つからなくなっています。

その黒い鞄というのも、Nテックの仕事を始めた頃に被告訴人OKNがくれたものでした。他にスーツやカッターシャツのようなものもくれたと思います。N・K興産株式会社の西永ひろみの名刺は、金沢刑務所を出所直後の頃に他のものと一緒に御庁に郵送したものと記憶しています。

ひろみ、の漢字ついては忘れてしまったのですが、宏美ではなかったと思いますし、広美の可能性があるいは一番高いかもしれません。被告訴人OKNの手先となって親子共々、私に対して工作的な活動を仕掛けてきた可能性のある人物です。

<2014-03-27 木 03:51> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

<2014-03-27 木 09:14> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

項目の主題である若杉幸平弁護士の関与ですが、清水建設の弁護士という辺りから、おおきく別の説明にずれていったかと思います。宇出津小学校の盆踊りのときの話しに戻るのですが、そのとき撮影した写真には小木の二つ上の先輩YMさんの姿があったと思います。

私自身、カメラというのは所有した記憶がなかったです。小学校の5年生か6千世の頃に白黒のカメラを買ってもらい、珍しくてしばらくは使っていたのですが、ほとんど使わなくなって、そううちどこにしまったのかも忘れてしまったように思います。

当時はデジカメが世に出る遙かに前だったので、撮影したフィルムはカメラ屋で現像してもらう必要もありました。フィルムを借りて現像に行ったという記憶もないので、出来たものを好意でもらっていたのだと思いますが、誰からもらったのかも記憶には残っていません。

昼に写した写真には被告訴人OKNと彼女、私と私の長男の姿が数枚の写真になっていたと思います。夜の盆踊りの会場で撮影した写真には既に書いたように姫のDM、そして小木のYMさんの姿が写っていて、被告訴人OKNらの写真もあったとは思います。

夜の盆踊りの会場で小木のYMさんに会ったことは、私自身の記憶にはっきりとは残っていないのですが、一人で写っているYMさんの写真が家にあったので、その場にいたことも間違いはないと思っています。

私の記憶にはっきりと残っているのは昼のことでした。当日の可能性が高いと思いますが、場所は崎山の店の前に停めた車の中でのことでした。その車の中でしばらくの間、小木のYMさんと話しをしていたのです。

崎山というのは私が小学生の頃に造成された新興の住宅地でしたが、崎山台地とも呼ばれ海から見ると宇出津の港の左側にある台地で、昔から台地の崖の上に灯台も設置されています。

住所は能登町崎山となっているはずで、能登町宇出津とは別になっていると思いますが、宇出津の町内に含まれ3丁目まではあったと思いますが、各町内が宇出津のあばれ祭りにも参加しています。

ゴミ収集日お知らせサービス53cal(ゴミカレ)　ゴミの日メールをお届けします：

能登町[能都]宇出津B地区(川原町、新村本町、新村浜町、昭和町、音羽町、小棚木、大棚木、たなぎ団地、城山、城野町、下岩屋町、上岩屋町、漆原、梅ノ木、平体、大平、源平、崎山1丁目、崎山2丁目、崎山3丁目、崎山4丁目)のクリーンカレンダー <http://bit.ly/1hYYfds>

取得したURLのタイトルが長すぎたのでツイートする関係で2行に分けましたが、この情報によると崎山は4丁目まであるようです。私自身、崎山の何丁目がどこへんかということも知らずにおりますし、用事もないので崎山に行くことは気まぐれだけで年に数回程度です。

崎山は住所も能登町崎山になっているはずですが、上記のような宇出津の町内というのは住所の記載にないもので、たいていは宇出津新や宇出津山分に番地がついているものと思います。厳密に言えば平体や源平は、祭りも宇出津とは別になっていました。

源平を「げんだろう」と読める人は地元でも今は少ないかもしれません。「おおでら」を大平と漢字で書くと言うことは私自身、たまたま知ってからまだ一年も経っていないぐらいです。

石川県鳳珠郡能登町崎山 - Google マップ <http://bit.ly/1rCIhMI> ←　こちらをみればわかりやすい範囲かと思いますが、谷のようになったところなど高低差もあるので、見ただけではわかりにくい面があり、全体に範囲が狭くも感じました。

Googleマップですが、驚いたことに能都中学校の場所が以前のままの四明ケ丘の場所になっていました。昨年の夏頃だったと思いますがたまたまバイクで行ったとき、跡形もなく校舎がなくなっていたのは驚きました。

以前、宇出津高校があった場所に能都中学校の新校舎が完成し移転したと言うことは知っていましたが、取り壊しになると言う話しは聞いたこともなく、ずいぶんと早い間に完全な取り壊しになったようです。グランドのあった場所にはソーラーパネルの設置の工事をやっていました。

現状のGoogleマップを見ていると、宇出津新港に「クスリのアオキ宇出津店」があることは確認できましたが、ホームセンター橋本の建物には名前がついておらず、ホームセンタームサシ能登店になっていることは確認できない状況のようです。

クスリのアオキが出来てから3年ぐらい経つのかなと思いますが、はっきりとは憶えていません。ホームセンタームサシがオープンしたのも去年の春だったような気もするのですが、これもはっきりとは思い出せなくなっています。ホームセンター不在の時期は不便でした。

<> <#LINK-ID_2>\_ 資料写真／能登町周辺 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

今後もGoogleマップの状況は変わっていく可能性もあるので説明の整合性を保つため、画面をキャプチャーしたものをPicasaウェブアルバムにまとめました。必要に応じて参考にしていただければ処理もいくぶんはスムーズに進むのではないかとも期待します。

能登高校とあるのが石川県立水産高校本校のあった場所でもあります。その後は宇出津高校と合併したり、北辰高校などという校名の変遷もあったかと思います。

参考にしたGoogleマップの航空写真では四明ケ丘の能都中学校の校舎が残っていますが、体育館の裏にあった第二体育館が存在しなくなっていたということも初めて知りました。

その能都中学校の学校から崎山を通って水産高校に行く道は、ほとんど一本道なので、ざっとみておわかりいただけると思います。何度か書いていると思いますが、相撲部の練習に通っていました。その時の人間関係は社会に出てからの人間関係にも多少影響を与えていると思います。

崎山の中心部には50メートルぐらいか間を挟んで2軒の店がありました。小さな個人商店でしたがパンやアイスも置いてありました。買い食いをすることがありましたが、手前の店に入ることの方が多かったとも思います。水産高校に向かって手前の店です。

その懐かしくもある店の前、車は水産高校の方向を向いていたので左側車線で、店の前からは道路の向こう側になりますが、そこに車を停めて話しをしていました。

車には4人かあるいは3人が乗っていたように思いますが、小木のYMさん以外のことは思い出せません。たぶん当時交際していたと思われる宇出津で私の一つ年下のTHという女性がいたので、はとは思われます。

ついでに書いておくと昨夜書いた白菊町のアパートに、THが遊びに来ていたことがありました。神野の同級生KMが連れてきていたのではないかと思いますが、あるいは他の友達関係であったかもしれません。

私としては友達の友達というような関係の一人でしたが、宇出津のO兄弟の家では何度か顔を合わせたことがあるものの、金沢ではそのとき一度だけだったような気もします。会う回数も少なかったです。

あるいは姫のNKさんの女友達の関係で遊びに来ていたことも考えられます。この私の一つ年下の年代の女子というのは男子に負けないぐらいに不良化してもいたのですが、近い世代との交流は乏しい感じで、ずいぶんと年の離れた世代の男子とも交際していたようです。

少し具体的に説明すると、確か私より３つ年上からの世代が「能都ピエロ」という暴走族グループの世代でもありました。私が16歳の頃の昭和56年夏の時点で、グループの最年長者は24歳だと聞いていたと思います。被告訴人OSNの整備工場で働いていた時期も割と長かったように思います。

特徴のある改造車が整備工場というか自動車工場にいつも停めてあったのでよく憶えてもいるのですが、昭和56年の秋になるとやめていたと思います。その後も多少の付き合いは被告訴人OSNとの間にあって、一緒に自宅に遊びに行ったこともありました。

当時は暴走族が全国的な流行の時期でもありましたが、ピークは過ぎていましたし、警察の取り締まりも強くなって活動もやりにくくつつあるという過渡期であったと思います。同時に、暴力団による干渉も増えつつあるという時期でした。

「暴走列島」というバイブルのような写真の本が被告訴人OSNのところに置いてありましたが、全国的にはブラックエンペラーやスペクター、極悪という関東の暴走族が有名で、ピエロというのもその一つでした。

宇出津のグループの一人が船員で横浜の港に行っていて、そこで横浜ピエロという暴走族のステッカーなどをもらったことで、宇出津でピエロという暴走族を立ち上げたと聞きましたが、それは私が中学生の時期でもありました。

世代も離れていたので詳しいことは知らないのですが、解散することになったのは輪島の海士町の連中が干渉してきたのが原因とも聞いたことがありました。なにかトラブルがあったような話しも小耳に挟むことはありましたが、詳しいことはわからないです。

グループのメンバーでも年が上の方の人は24歳の人を除けば、名前を聞くだけで顔も全然知らない人が含まれていましたが、幼い頃から顔見知りという人も何人かいました。

年代が離れるほど知らない人が多くなると言うのも当然かと思いますが、名前や顔をしているという人は３つ上の世代ぐらいまでで、それより上となると個人的に多少の接点があった人に限られるという感じであったと思います。名前だけはちょくちょく耳にすると言うのもその上の世代でした。

私の場合は小学校4年生まで宇出津ではなく辺田の浜に生活していたので、なおさら年の離れた人との付き合いは少なかったと思いますが、人付き合いや交際範囲は広い方だったとは思います。割と抵抗なくいろいろと付き合いをしていました。

姫のNKさんと一緒に金沢市場輸送で市内配達の仕事をするようになったK村さんもそのような離れた世代の人でした。それぐらい年が離れているのか被告訴人OKNから具体的に聞いたことはあったように思いますが、正確には覚えていません。

<2014-03-27 木 13:18> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### 平成4年傷害・準強姦被告事件の控訴審における私選弁護人としての木梨松嗣弁護士の対応について

#### 拘置所の接見室のアクリル板に張り付けて見せた平成4年4月2日付北國新聞夕刊の事件報道、という内容を書く予定だった項目

<2014-05-01 木 17:25> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

<> <#LINK-ID_5> 資料写真／平成4年4月2日付け北國新聞夕刊 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

これは特に重要な資料なので上記のように「参考資料」扱いをしましたが、説明にあたっては今からアップロードするTwitterの画像を使います。

Picasaウェブアルバムにアルバムを作成したものは相対パス名を含めて添付するDVDに保存するデータと同期をとっていますが、Picasaウェブアルバムのファイルを使うよりはTwitterに画像投稿したものを使ったほうが何かと好都合なのです。

不十分な点としてはTwitterでは画像のファイル名を保持しないこと、画像サイズが縮小されるらしいこと。普通にはダウンロードできないことがあります。Picasaウェブアルバムだとファイル名もそのままにダウンロードの機能があるので必要に応じてお願いします。

使っているパソコンの画面の大きさによっても違いがあるのですがTwitterの画像は拡大してもさほど大きくはならないので、細かい文字だと識別がしにくい場合もあるかと思います。

また最近になってTwitterで指摘を受けたのですが、iphoneだとPicasaウェブアルバムの画像が見れないそうです。自分の使っているAndroidのスマホでは見れています。同じGoogleのものなので当然かとは思いますが、iphoneで見れないとは意外でした。

今からアップロードすると書きましたが、そういえば先に済ませていました。Twitterはパソコンだけでなく、スマホなどのタブレット端末での使用を配慮した作りになっていると見受けられるので、私自身、活用を強く意識するようになりました。

Twitter / shirono: 2014-04-3011.18.50.jpg … <https://twitter.com/s_hirono/status/461770365937537024>

2014-04-3011.18.50.jpg pic.twitter.com/66CvZ2a1gg

最近気がついたことなのですが、picで始まる部分を他のツイートに含めるとそのままリンクとして再利用ができるようです。ブラウザのURLにそのまま使っても表示されましたが、最近のブラウザはhttpのプロトコルを省略できるものが多いようです。そのまま検索もできたり。

スマホで撮影した写真をそのままパソコンに自動で同期するようにしているのですが、自動で撮影時刻のファイル名をつけてくれています。ただ、日付と時刻の間が半角スペースになっているので、これは自分でアンダーバーに変換しました。前にも説明済みかと思います。

Picasaウェブアルバムの方には一緒に撮影した他3枚の写真もあるかと思いますが、新しくなった宇出津の図書館に初めて入って、北国新聞の縮小版がそのまま棚にあるのに驚きました。

図書館は公民館と同じ建物にありますが、つい先日、4月26日の土曜日にオープンしたようです。「コンセールのと」という名称になっていますが、廃線になった宇出津駅のあった場所にできた建物です。

土日は全然見に行かなかったのですが、月曜日に行くと休館だったので、水曜日に行きました。前の公民館は宇出津小学校の近くにあったのですが、新聞の縮小版は2階の倉庫にあって、係員に頼んで持ってきてもらう必要がありました。

私が福井刑務所を出たばかりの平成9年の頃の係員の人は、わりとのんびりしたような人で、自分で2階の倉庫に行って探してくればよいと言ってくれたので、手間もかからず助かったのですが、時期がはっきりしない探しものとなるといちいち頼むのも嫌で余り利用しなくなったのです。

時刻は5月2日9時52分になっています。STAP細胞の論文疑惑などもあるのでなるべく作成日時を特性するようにしていますが、ずっと前からの私のスタイルでもあるはずです。ずっと後になってからの確認に役立つことも経験しています。

すでに本書において書いてあることもあるかとおもいますが、おさらいをかねて流れを説明したいと思います。正直けっこう記憶が薄れているので、おおまかな説明になるかと思います。

ちょっと脇にそれますが、半月ほど前になるでしょうか平成4年の4月に買ったノートパソコンを起動しました。3年ほど前にも一度は起動していたと思いますが、もう正常に動かないのではと思っていました。

ブラウザのバージョンが古すぎて仕組みも変わっているためか、外部のインターネットには接続できませんでしたが、ローカルのネットワークには接続出来ました。

一つのファイルを見つけたのですが、内容を少し読んだところ、平成10年の11月ころのことが書いてあり、わりとわかりやすく丁寧に書いたあるなと思い、枯れかかった花が水をえたように自然に記憶が活性化するようなところもありました。

本当の目的はパソコン内のデータより、フロッピーディスクのデータを読み込みたかったのですが、FDの機械のほうが壊れた様子で、異音が出てとても読み込めるような状態ではなかったです。

ノートパソコン自体は、比較的最近というか遅くても胚性14年ころには再インストールしていると思います。再インストールのあとほとんど使わなくなっていたので、目ぼしいデータが残っていないことは、その後起動した時にも確認していました。

本当はロータスオーガナイザーのファイルなど欲しかったのですが、私自身の手元にはあるのかもしれないけれど、見つけることができない状態です。金沢地方裁判所には提出していると思うので、御庁にはデータも保管されている可能性はあると思っています。

事件を起こしたのが平成4年4月1日の夜で、その夜のうちに金沢西警察署に出頭しました。翌日か翌々日ぐらいの谷内孝志警部補の取り調べでは、出頭した時刻を教えられ、20時30分と聴いたような気がしますが、現在は少し記憶があいまいで、あるいは20時15分かと思います。

当夜に作成された自首調書では別の刑事さんが取り調べでした。二人いたと思います。翌日からはずっと谷内孝志警部補でしたが、ずっと一人だけの取り調べで、一対一でした。

ちょっとスマホで投稿してみたいと思います。スマホでの文字入力は苦手なのですが、練習もかねてやってみたいと思います。

org-modeには後でコピペすることになります。

家の玄関を開けた時、ちょうど能登町役場からの12時の音楽が聴こえてきました。スマホからツイートしたのは2件でしたが、org-modeにコピペをすると、手間がかかった割に文字数の少ないことに驚きました。

HootSuiteのいうWebアプリで確認するとスマホの投稿は「11:36am via Twitter for Android」のようになっていました。

普段の投稿は私自身が登録したアプリ名になっています。「12:42pm via 告訴状-2013-金沢地方検察庁御中API」のようになっています。

直前にAコープ能都店で買ってきた刺し身をスマホで撮影してテレビをつけると12時3分になっていました。テレビには画面左下に時刻を表示するように設定しています。大阪の方でストーカーの殺人事件があったというニュースをやっているところでした。

50代の加害者というのはわかったのですが、途中から見たので被害者の年齢や年代もわからず。気になるニュースを見落とした時のために、毎日、12時と19時のNHKのニュースは録画をするように設定しています。録画が失敗することもあるのですが、今回は大丈夫でした。

ストーカーはすっかり社会問題として認識されるようになりましたが、私が初めて知るようになったのは自分が福井刑務所を出てすぐの頃でした。刑務所でも2級生の自由チャンネルだったので、比較的よくテレビは見ていたのですが、出る前は知らなかったように思います。

録画したNHKニュースには今日から始まった小木港の「とも旗祭り」も紹介されていました。その後には同じ石川県内ニュースで金沢港の大型客船入港に関するニュースがあって、終わりの方に金沢港付近の航空写真のような映像が出てきました。

テレビの画面をスマホで撮影し、Twitterに写真投稿しました。

2014-05-0213.10.58.jpg pic.twitter.com/ueQFQZfQCJ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/462082824304992257>

2014-05-0213.10.58.jpg pic.twitter.com/ueQFQZfQCJ

文字数が少なかったのか今回はツイートの本文が省略されずにタイトルとして取得できたようです。この金沢港は私の事件の舞台でもあります。金沢港の航空写真自体は今までにネットで見たことがありました。海保提供の写真資料のようなものであったかもしれません。

時刻は5月3日10時02分を過ぎたところです。昨日は小木港の、とも旗祭りを見に行き、アジ釣りをしてきました。アジングです。

月曜日に、コンソールのと、に行った時、ウミネコの鳴き声が聴こえてきました。上空を見るとウミネコが飛び回っていました。町中なので珍しいような気持ちで見ていました。

昨日の2日に行った時も、建物の前に行くと同じくウミネコの鳴き声が聴こえてきて、空を見上げると今まで見たことがないぐらい、はるかに高い上空を旋回するように飛び回っていました。

2014-05-0210.29.54.jpg pic.twitter.com/WbZDF6jpEr

Twitterにアップロードするした写真です。Twitterだとリンクになっているはずです。前にも説明していると思いますが、picで始まる部分をブラウザのURL入力欄に入れてエンターキーを押しても写真付きツイートを開くことができると思います。バージョンの古いブラウザではダメかも。

スマホで空に向けて撮影したものですが、自動でピント調整が入ったのか鳥が割と近くに見ていますが、実際は見たこともないぐらいはるか上空でした。ウミネコの姿をみると観察したり、写真にすることが多いです。

2014-05-0218.44.21.jpg pic.twitter.com/Bt4wrLchgR

こちらは夕方の小木港ですが、小木から姫の方に向かうウミネコの群れが、どれも海面すれすれの低空飛行をしていました。南西の風だったので向かい風に近かったとは思いますが、余り見たことのないウミネコの集団行動でした。朝や夕方に移動するのはいつものことです。鵜の群れは割と低空飛行が多い。

同じ日にNHKの県内ニュースで金沢港の航空映像をみたこともありますが、鳥瞰、俯瞰というのはこのことかと思いましたし、なによりウミネコがあそこまで上空を飛ぶとは意外でした。上空を旋回することが多い、トンビでもあそまで上空を飛んでいるのは見た覚えがなかったです。

ウミネコは2012年に2回、アジ釣りをしていて釣り上げたことがありました。Twitterのアイコンに使っているのもその時の写真です。

2012年５月５日小木港カモメ・尺アジ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/2012#>

2012年６月５日小木港・ウミネコ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/201203?authkey=Gv1sRgCLWLuYusyPvfYg#>

デジカメが普及してインターネット上の写真などで、ウミネコがすごい形相をしていることは知っていたのですが、間近で見たのは初めてで、その色の鮮やかさにも驚かされ、まるでこの世の生き物ではないようにも思えました。そもそもウミネコとカモメの区別も考えてことがなかったです。

少し離れたところから見ているとは全く印象が違います。海の近くで生まれ育ってきたので、小さい頃から見ている鳥だとは思うのですが、2010年の秋にアオリイカ釣りを初めて海に立つようになる前は、ほとんど意識をすることもない存在だったような気もします。普通に海にいるカモメだと。

2012年６月５日小木港・ウミネコ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <http://bit.ly/1ugr7Wz>

この精悍で尋常でない目を見た時、能登警察署の大家刑事に言われた「神様の目線」というのを思い出しました。鴻鵠という言葉がありますが鳳凰も想像上の鳥だと聞いていました。鳳凰は神輿の飾りにもなっているのではと思いましたが、身近にそれに近いものを感じました。

天衣無縫という言葉もありますが、綺麗な毛並みとその軽さにも驚き、色も鮮やかで、極彩色とはこのことかと思いました。ありふれた身近な存在で、間の抜けた声にも聞こえる鳥なので、なおさら不思議に思いました。

ウミネコもカモメ科ウミネコということなのでカモメの仲間と思いますが、カモメといえば「カモメの水兵さん」を思い出します。知らない人がほとんどだと思いますが、私の場合は次の明治時代の曲も思い出すことが多いです。平成3,4年ころ、トラックを運転しながらちょくちょく聴いていました。

勇敢なる水兵 - YouTube <http://www.youtube.com/watch?v=zPekYvk-LVs>

この曲を聴くと決まって能都町出身の久田船長の話を思い出します。時代も同じ明治だと思います。Twitterでは何度か触れているのでTwilogで検索すれば、いつ頃どのように触れていたのかもわかると思います。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「久田船長」の検索結果 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=%E4%B9%85%E7%94%B0%E8%88%B9%E9%95%B7&ao=a>

2013年11月20日(水)が初めに取り上げたツイートになっているようですが、もっと前にも取り上げていたことがあるような気もします。検索というのも機械的な処理なので完全ではないのかとも考えますが、Twilogの検索機能は他のブログなどの検索機能よりしっかりしているという印象です。

Twilogの検索精度について気になったので次のように「ミニブログ」で試してみました。これは私が2010年4月2日にツイッターを初めて2件目の投稿に含まれた文字列です。ほとんど使っていない用語かと思いましたし、事前にダウンロードしたcsvファイルでも確認しました。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「ミニブログ」の検索結果 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%83%96%E3%83%AD%E3%82%B0&ao=a>

% wc -l hironohideki140503.csv というダウンロードファイルの行数を調べるコマンドを実行したところ、69540 という結果が出ました。ファイルサイズは16Mあるようです。

告訴状の参考資料2014-05-0312:19:57Screenshot.png

この撮りたてのスクリーンショットではツイート数が65,059になっていました。Twilogはリツイートした他人のツイートも含まれていることを思い出し、確認もしましたが、最初からはそのような設定にしていなかったかもしれません。

久田船長のに関しては宇出津小学校の5年生か6年生の頃に先生に話を聞きました。授業の中のお話だったと思います。同じ能都町の鵜川の出身だと聞いていましたが、その頃の宇出津小学校の校長先生の名前も久田という名前でした。久田というのは最近は聞きませんが、宇出津にもある名前でした。

私が3歳ぐらいの時に死んだと聞く父親の姉と聞いていたと思いますが、そのおばさんが鵜川に住んでいて、何度か母親に連れられてその家に行った記憶があります。おばさんの顔もどんな家だったかも全く記憶には残っていないのですが、鵜川には他の用事でもよく連れて行かれていました。

ある日の昼、鵜川のおばさんの家にいて、なにか文房具が必要になり、小さな店に飛び込みで入ったのですが、その時、久田校長が出てきたのでとても驚いたことも覚えています。温厚そうな学者のような雰囲気の高齢の校長先生であったと記憶しています。

昭和63年の12月から平成1年の3月ころにかけ、金沢港でイワシの運搬の仕事をしていたことは、これまでに何度か説明をしていると思います。初めてのイワシの運搬の仕事の時でしたが、その時は浜田漁業の平井ボディ車も2台は参加していました。

一人は若い人でしたが、小木の漁師と聞いていたかもしれません。話し言葉はいかにも珠洲の人という感じであったと記憶しています。3つか4つほど年上だったようにも覚えていますが、名前も憶えておらず、話をすることも多くはなかったという記憶です。

その人は平ボディ車でしたが、もう一台はダンプだったような気もします。植木職人をやっているという人が暇な時期ということでイワシの運搬をやっていたようです。この人物は2回めのイワシの時期にいたような気がします。竹林や小林健一がイワシの仕事をしていた頃です。

この2回めのイワシの時期というのはだいたい平成1年の12月から平成2年の3月ころということになると思いますが、前回とは仕事の規模が倍以上になっていました。北陸ハイミールができていたからで、北海度の釧路市の愛国運輸のダンプもけっこうな台数が来ていました。

北陸ハイミールのことをどれだけ書いたか思い出せないですが、ミール工場としては日本海側最大規模と聞き、一日に1600トンの処理が出来ると聞いていました。浜田漁業金沢工場の方は600トンと聞いていたように思いますので、3倍ということになりそうです。

一台に30トン運ぶとすると53台分という計算にもなりそうです。ミールの工場は一度機械を止めると、動かすのに数十万円の費用がかかるとも聞いていました。具体的な数字は忘れましたが、高くて80万円と聞いていたように思うし、安くても50万円だったように思います。

浜田漁業金沢工場の工場の方は屋内プールのような溜めてある場所にイワシを降ろすものでしたが、北陸ハイミールの工場は違っていました。うまく説明はできないですが、ゴミ回収の車のような粉砕する場所に降ろすもので、それが直角のコンベアのような階段で10メートルほど上へと。

とにかく落ちたらひとたまりもないという感じでした。その落とす場所には必ずギリギリのところで、後ろのバッタリとか呼ばれた荷台の板を外す必要がありました。開けた瞬間に26トンぐらいのイワシが流れるように飛び出すのです、こぼれないようにするためにギリギリ以上にバック。

とにかくいったん溜めてから処理するのではなく、落としたところから処理が始まるという構造になっていました。ミールというのは魚粉のことです。焼いて粉にするようにも聞いていました。あの機械に落ちてしまえば、人間も粉になるのかと想像したことはありました。

イワシの運搬では必ず台貫に乗って積載量を記録していました。金沢市場輸送の2台の大きなダンプだと30トンを超えることもあったように思いますが、平ボディ車では多くて28トン、26,27トンが多かったと思います。潰れてぐたぐたになったイワシほど、重く積めました。

新鮮なときは本当に捕れたてのイワシで、金沢港の堤防を出た先で30分ほどの漁場だと聞いていました。実際に、船に乗ってイワシの漁を見学したこともありました。イワシがいないときは佐渡ヶ島の近くや、京都の舞鶴沖まで行くとも聞いていました。運ぶ時間が長いと揺れで潰れていました。

イワシがほとんどでしたが、サバなど他の魚も混じっていました。大きなアンコウを見つけたこともありますが、そういう変わった魚を見つけるのは楽しみでしたし、イワシを含め積んだ魚は持ち帰りも自由でした。魚は余り食べなかったので、余り持ち帰ることはなかったのですが。

潰れて腐ったような魚も運ぶので、けっこう汚い仕事でもありましたが、寒い時期だとそれほどに気になるものでもなかったです。トラックの洗浄には工場でもらった苛性ソーダというのを使っていましたが、取り扱いに注意はいるものの、ものすごくよく落ちるので、さほど大変でもなかったです。

私は羽咋市にいる5年前まで、鋳物工場で1600度の溶鉱炉の仕事もしていました。落ちるとそのまま足が消えてなくなるとも聞いていましたが、作業をしている時の緊張感というか危なさは、北陸ハイミールの工場のほうが上だったと思います。他に危ないとかいう話をする人もいなかったのですが。

イワシというか魚は海水を含むので常に現場が濡れているというのもあったのかもしれませんが、安全策のようなものが全く感じられず、問題にされないような現場でもありました。何か手すりのようなものでもあれば、いざという時、掴まれるという安心感もあったのかと思います。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&hl=ja>

イワシの仕事に関しては上記のような説明のための地図も以前に作成しています。自分でもちょっとわかりづらい部分があるかと思うので余りお勧めをする気にはなれないのですが、「金沢市場輸送と市場急配センター」というレイヤーが表示され、目印が星マークになっているかと思います。

大野醤油の前の辺りの水揚げの岸壁では浜田漁業のプレハブ小屋がありました。1回目の時期の頃は、ちょくちょく利用していたというか小屋の中に入っていた記憶もあるのですが、2回目の時期は、ほとんど中に入ったような記憶もなく、皆、トラックや車の中に待機していたように思います。

2回目の時期は、市場急配センターの小林健一が現場の監督のような立場になって、こまめに連絡を入れていてくれたので、小屋の事務所に顔出す必要もなしに済んでいたのかもしれません。1回目の時は数人の浜田漁業の幹部社員のような人の姿があって、小屋の中にいることが多かったと記憶しています。

小林健一はポンコツのワゴン車の中にいることがほとんどでした。かなりポンコツのワゴン車で、ウサギの絵が書いてあり、ラビット号などと呼ぶこともあったと記憶しています。荷台の後部の方はなにか板張りのようになっていて、座席もなかったように記憶しています。

ガスコンロを持ち込んでラビット号のなかで、バーベキューをすることもあり、小林健一はいつも大樹氷の焼酎のペットボトルを携行していたように思います。当時はまだ4リットルというサイズはなかったように思いますし、焼酎の大きなペットボトルというのも世の中に出始めた頃だったように思います。

仕事っぷりは真面目て、明るく素直な好青年だったというイメージが今でも強く残っている小林健一ですが、改めて考えても、最高裁判事の息子だったとか、石川県警の元機動隊員の白バイ隊員だったとか、加賀市内で派出所勤務をしていた警察官だったというのは、違和感の大きい話です。

事故処理に向かった事故現場で、ソープ嬢と鉢合わせになったという話をしていた時は、山城の交番と行っていたような気もしますが、話の内容では山代温泉に近い、国道8号線上の事故という説明であったように印象に残っています。潜水道具の話の時は、小松市の警察にいたような話でした。

久田船長の話に戻しますが、浜田漁業の若い運転手がプレハブ小屋で、船が沈没し船長が久田船長のまねをして船と運命を共にした、というような話をしたことがありました。蛸島丸船団のことだったと思いますし、会話の流れとしてもそれ以外は考えにくいように思います。呆れた話のような語り口でした。

蛸島丸というのは石川県珠洲市蛸島町に本社を置く浜田漁業のお抱え船団でした。運搬船は一番大きいので400トンと聞いていたように思います。調査船というのもいました。イワシをとって運ぶのが運搬船でした。よく覚えていませんが全部で7,8隻の船団だったように思います。

蛸島港は珠洲市では一番大きな漁港ですが、蛸島丸の船は大きすぎて港に入れないと聞いていました。近くの飯田港に入ることがありましたが、その時は金沢からイワシを積みに出向いていました。珠洲市の中心部が飯田です。自分が中学生の頃は、新潟県の佐渡ヶ島に行く汽船も出ていました。

北陸ハイミールのお抱えとなったのは輪島丸船団でした。輪島市の漁港では海士町と輪島崎町があって仲が悪いとも聞いていましたが、輪島丸はその輪島崎町の船だと聞いていました。現在でも小木港で見かけることが多いです。佐渡方面の漁に出るときは、小木港に停泊するとか聞きました。

蛸島丸はもう長い間見たことがないです。飯田港でも大きな漁船が停泊するという姿は見たことがないですが、めったに行くことのない場所なので実際のことはわかりません。浜田漁業のトラックも4,5年前に一度見かけたような気がするのですが、もう長い間一度も見かけたことがないです。

主要道路だと金沢から珠洲市への行き帰りに、宇出津は通らないのでそう不思議はないのですが、たまに珠洲の方に行くことがあっても、見かけたことはないです。思えばネットで調べたこともないので、ちょっと検索をかけてみようかと思います。

大型倒産速報 | 帝国データバンク[TDB] <http://www.tdb.co.jp/tosan/syosai/3909.html>

こちらの情報によると倒産したようです。2013年の1月では売上が7億円にまで落ち込んだとか書いてあるので、割と最近になって倒産したようですが、その前から業務自体はかなり縮小されていたのかもしれません。倒産していたことは今日まで知らずにいました。

将来的にデータがなくなるかもしれないので、スクリーンショットを撮りました。URLとタイトルも固定化されたものにはなっていない可能性もありそうです。

告訴状の参考資料2014-05-0316:46:44Screenshot.png pic.twitter.com/S85t0cmzKi

5月2日の金曜日の日付が書いてあって、最終営業日の情報なのかと思ったのですが、気になって北陸中日新聞で確認したところ、今朝の朝刊の記事になっていて驚きました。虫の知らせがあったとは思わないですが、初めて調べた日に前日の倒産情報に出会うとは、すごい偶然です。 また中断があって、時刻は5月6日午前10時06分を過ぎたところです。テレビをつけてNHK連続小説ドラマ「ごちそうさん」の総集編を観ているところでもあります。

中断している間に色々あって、たまった宿題が一杯あるような状態ですが、前よりも方向性が定まってきたようにも思っています。事実や問題を無理に整理してまとめていくのはやめておこうかとも思っています。そう思っていたところですが、総集編というのも参考になるなと思いながらテレビを観ています。

NHKの連続小説ドラマというのは自分が子供の頃からあったのだと思いますが、昨年の6月ぐらいまでほとんど見たことがなく、無関心でした。たんに無関心というだけではなく他に理由もあったのですが、そういうことも説明をしておきたいと思います。

正確な時期を確認するためTwilogでツイートを調べておきたいと思います。「あまちゃん」と検索すれば出てくると思います。

告訴状の参考資料2014-05-0610:21:53Screenshot.png pic.twitter.com/rKdsoQL25q

告訴状の参考資料2014-05-0610:23:48Screenshot.png pic.twitter.com/J5dWNqIKLe

上記2点は、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）のアカウントの写真付きツイートの本体部分のコピペです。picで始まる部分関してURLとして機能することなど説明済みかと思いますので、これからは一行表記で済ませたいと思います。

本書の記載は「参考資料」という大見出しの部分など例外を除けば、一行ごとに告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のアカウントにツイートしています。APIの投稿なので送信エラーで失敗する可能性があること、確認はいちいちしていないこともこれまで説明済みかと思います。

画像を含めた写真付きツイートに関しては、ちゃんと送信が成功しているか確認をするようにしています。

picで始まる部分は告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のツイートでも投稿された写真のように表示がされ、リンクにもなっているはずです。次のように。

告訴状の参考資料2014-05-0610:53:32Screenshot.png pic.twitter.com/TDFkWo7Qoi

上記画像のブラウザのURL欄にはhttps://twitter.com/kkhirono となっています。これは最新のツイートから順番に表示するもので、内容は常に更新されるのが通常です。個別のツイートのURLは次の例によれば3分の部分がURLになっています。

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター @kk\_hirono · 3 分

3分のリンクを開くとURLは次のようになります。

<https://twitter.com/kk_hirono/status/463495593357103104>

URLだけでは内容がつかめないので、以前はHTMLヘッダのページタイトルを取得するようにしていました。前にも説明していると思いますが、Twitter社の現在の仕様だと次のようになります。独自のフォーマット（書式）ですが、ツイートと一見してわかりやすくもあります。

Twitter / kkhirono: 本書の記載は「参考資料」という大見出しの部分など例外を除けば … <https://twitter.com/kk_hirono/status/463495593357103104>

これはTwitterの本家とも呼ばれますが、ｔｗｉｔｔｅｒ．ｃｏｍのことです。私もちょっと前々は他のアプリでTwitterを見たり投稿していたのですが、色々と改善された部分もありますし、個別のアカウントのツイートを見るときはやはりｔｗｉｔｔｅｒ．ｃｏｍを使うことがおおいです。

ｔｗｉｔｔｅｒ．ｃｏｍの部分は全角英数字にしています。半角英数字だとエラーが出て投稿できないからです。セキュリティ上の理由だと思いますが、これもTwitterの仕様の一つだと思いますが、私は経験をしてたまたま知りました。

ここでちょっとTwitterの仕様についていくつか説明をしておきたいと思いますが、HTMLの基礎でもあります。

上記のURLで説明をしますが、https：／／という部分は通信に使用するプロトコルの指定です。これも半角だと思わぬ問題が生じうる場面があるので一部に全角の記号を使いました。プログラムを使った処理では半角の記号は要注意です。場面によってはエラーが起こりますし、対処も必要になります。

HTTPSとは 【 HTTP over SSL/TLS 】 - 意味/解説/説明/定義 ： IT用語辞典 <http://e-words.jp/w/HTTPS.html> ←　こちらにも説明がありますが、暗号化されたブラウザで扱うHTMLデータの通信です。

<https://twitter.com/kk_hirono/> の部分までがドメインです。それより後ろの部分は通常だとWebサーバのドキュメントルートからのファオルダの／で区切った階層になるはずですが、恐らくはWebアプリでプログラムを処理するためのキーワードやデータになっているはず。

前にも説明したと思いますが、httpのプロトコルはWebサーバの80番ポートに接続してリクエストを行います。ドメインのみの場合は通常はドキュメントルートに存在するindex.htmlというファイルをhtmlの文章として表示することが基本かと思います。

Webサーバの設定によってはindex.phpが呼び出されるはずです。phpはWebアプリでよく使用されているプログラム言語です。ただのHTMLファイルが静的と呼ばれるのに対して、プログラムを使ったWebアプリは動的サイトとも呼ばれているはずです。

新聞社のWebサイトの記事によくあることですが、動的なページにリンクを貼ると、内容がすっかり変わってしまってリンクを辿れなくなることがあります。ツイッターでの弁護士にもよく見られた傾向ですが、最近では見かけなくはなっています。

Twitterでアカウントを作って情報の発信をするような人はそれなりの経験や知識もあることと推察はされますが、それでもわかっていない人もいるようなので、改めて注意点を明示しておきたいと思いました。

基本的な事柄なのであえて取り上げるまでもないとも思ったのですが、これから私が今日初めて気が付き経験した大きな誤解を生じそうな問題の説明の基礎として、書いておくべきかと思ったのです。

本気か事実かも確認はできませんが、平成18年10月に実際に対応を受けた金沢中警察署の山出警部補も、ホームページ（たぶんWebページやWebサイトのこと）の閲覧は若い衆（たぶん部下のこと）にやらせている、と力強く語っていた警察官、捜査員の人もいました。

もう一例をあげると、三井環という人がいました。最近は名前を見かけなくなっていますが、検察の裏金問題を告発しようとして逮捕され実刑判決を受けた人です。余り簡単に説明を書くと誤解も生じそうなので、一つインターネット上の情報を紹介しておきたいと思います。

三井環 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%89%E4%BA%95%E7%92%B0>

ウィキペディアの情報の信ぴょう性は、実際の裁判や検察官の扱いとしてもこれまで問題にされている例をみていますが、客観的な立場からの記述である程度の裏付けや信ぴょう性はあるものと、私は考えていますが、個人差もあるところかと思います。

確認のためざっとですが目を通したところ、いくつか初めて知るような情報もありました。同期より昇進が遅れていることに不満を募らせていた、というのは初めて見た情報と思えますし、全体的な印象にもいくらか影響を与えそうな気がしました。真偽の程もわかりませんし、具体性も今ひとつです。

元大阪高検公安部長という肩書は確認できましたが、並べてある経歴では次関検事の経験はあるものの検事正の経験というのはないようです。読みながら気になっていたところに、昇進の不満のことが出てきました。

なにかの記事で読んだと思いますが、三井環氏は検察を批判、追求するような運動をされていて、連絡のためのメールの管理や処理は事務員の女性に任せている、というような紹介のされかたがされていました。私の現在の記憶のみで書いたので表現を含め、多少の誤差も混じっているかもしれません。

そういうこともあるので私は客観的なデータを記録するようにしています。もっと前からやっていたはずですが、方針やスタイルが固まったのは次の2つのブログからで、それ以前のものとなると作った私自身ですら把握は難しくなっていると思います。

2013-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中 <http://hirono2013sk.blogspot.jp/>

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/>

記事の件数も多いので年ごとに別のブログにしました。公官庁の年度は4月1日からスタートだと思いますが、普通に1月1日からをその年度にしています。Bloggerのブログのサービスは100ぐらいのブログの作成はできたかと思いますので、毎年1件作ったところで、まだまだ余裕があります。

しかし検索でしらべるのに複数のブログを対象にすると手間も掛かりますし、ブログの検索というのは私自身精度にも疑問の経験がありますし、Webサーバの負担も大きいのではと思ってきました。Bloggerではないと思いますが、エラーが起こったりやたらと時間のかかること、結果が読みづらい。

そこで私はGoogle+ページを活用することにしました。上記2つのブログの記事は、手作業でのミスで漏れはあるかもしれませんが、全件をリンクとして登録しました。Googleは検索サービスなので、処理も早く精度も期待できます。

Bloggerも同じくGoogleのサービスの一つにはなっていますが、昔読んだ情報によると、買収した会社のサービスを受け継いだというような話もありましたし、ブログと検索サービスというのも、本質的な違いもあるのではないかと考えています。

実際に試した体感としてもGoogle+が良かったです。Google+は後発のSNSでTwitterとFacebookの中間的な特徴もありますが、他のSNSと同じくアカウント個人に紐付けられているので、より客観性のありそうなGoogle+ページを私はより活用しています。

告発／告訴金沢地方検察庁御中 - Google+ <https://plus.google.com/b/100408804474159646499/100408804474159646499/posts>

上記がそのGoogle+ページです。「三井環」と検索をしてみましたが、該当はなかったです。URLのタイトルをリンクにしているので、タイトル中にキーワードが含まれている必要がありそうです。言い換えれば本文中の文字列は存在しないので対象にもならないわけです。

ほかにこのGoogle+ページにはHootSuiteというWebアプリのサービスを使ったTwitterの投稿で同じ内容の同時投稿も行うように設定していますが、こういうのも完全な同期にはなっていないのではと考えていますし、投稿後の確認もしてはおりません。

添付資料のディレクトリで「 % grep -r '三井環' ./\*」とコマンドで検索をしてみたところ、以前にダウンロードしたTwilogのcsvファイルの内容だけがヒットしました。パイプで「メール」をキーワードに絞りこみを掛けてみたのですが、該当はなかったようです。

Googleで「三井環 事務員　メール」などと検索もしてみたのですが、探す情報はみつかりませんでした。時間と手間を掛けて調べれば探しだせるかもしれませんが、これまでにもこういう調べ物で時間を使った経験があり、紹介した2つのブログのようなものを作りました。

普通のブログへの記事投稿ではなくAPIのプログラムを独自でスクリプトにしたものを使っているので、投稿の手間も出来る限り省力化しています。まともにやっていたら倍以上の時間がかかるかもしれませんし、Web上のブログサービスでしかデータを管理、把握できないことになります。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）が高検つまり高等検察庁の検事のことを、出世街道から外れた廃棄物処理とブログで発言していたことも印象に強く残っているのですが、Hatena::Diaryのブログで色々と検索をやってみましたが、該当は出なかったです。次のブログです。

弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/>

告訴状の参考資料2014-05-0613:26:07Screenshot.png pic.twitter.com/BumE3aZmNM

Hatena::Diaryのブログはサイドメニューにあるカレンダーの日付部分のリンクを開くと上記のツイートの画像のように、一覧でカレンダーが系譜のように確認できるという特徴があります。

私自身Hatena::Diaryの管理をやっていたので知っているのですが、知らない人や気づかない人が多いと思います。他のブログで見ない特徴ですが、日記スタイルの独自仕様になっているので、一般的なブログとは似て非なるところかと思います。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）は2004年の6月からそのブログを始めたらしいことが確認できました。古い記事は検索処理の対象外になっているのかもしれないので、実際に本文中にある特徴のある文字列を使って試してみます。

告訴状の参考資料2014-05-0613:36:23Screenshot.png pic.twitter.com/HXunBtjs8c

最初と思われるエントリの本文に含まれていた「ワークショップ」という余り聞きなれない言葉で検索をしてみたところ、上記ツイートの画像にあるような結果で、ぞろぞろとたくさん出てきて最初らしいツイートも含まれていました。すべての記事が検索の対象になっている様子です。

ブログ内検索を詳細と一覧のオプション選択で切り替えることが出来るのもHatena::Diaryの特徴ですが、他のブログでは不思議なぐらい見かけない機能であって、ほとんどは記事の本文を含めてぞろぞろと出てきます。本文の長いものが含まれているとページ送りにもなって甚だ効率の悪い検索。

改めて同じHatena::Diaryの現在プライベートモード中の自分のブログを確認したのですが、最初の投稿が2005年12月になっていました。次のブログです。

日暮れて途遠し <http://d.hatena.ne.jp/hirono_hideki/>

当時はブログというサービスの存在自体を知ったばかりでした。最初に始めたのはgooのブログだったと思いますが、Hatena::Diaryのブログを始めたのは長くてgooのブログを始めてから一月後だと記憶しています。

2005年11月であった可能性はありますが、10月であったことはなりえないはずです。ちょうどブログというものを知り自分で始めた頃に、出会ったのが落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログでした。

元検事の弁護士がブログというかたちで個人的な情報発信をしていることには驚きましたが、2004年の6月から始まっていたとすると、少なく見て1年3ヶ月間は、その存在すら知らずにいたということになりそうです。草分け的な存在とも思いますし、現在も継続しています。

ツイッターとの掛け持ちでやっているということも一因かと思いますが、以前ほど記事の更新頻度は高くないと思います。私もブログの記事のことはツイートの紹介で知ることが多いです。ブログの方でTwitterとの連携の設定をしているのかとも思われます。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関しては、私の3つのツイッターアカウントのすべてをブロックされていますので、どのアカウントを使ってもリツイートはできません。そんな不便もあって、ブログで記事として残し管理するようにもなりました。

ツイッターのブロックという機能については実際にアカウントを持って使っていないとわかりづらい部分もあるかと思いますが、ブロックに関するTwitterの仕様もこれまでかなり変遷してきました。今後も仕様変更がないとは限りません。

具体的なやりとりがあってブロックをされたわけではないですが、私の方からメンションは送ったことがあり、それを含めご本人の解釈と判断によって、ブロックという対応をしたのだと思います。視界から遮るという意味もあるのではと思いますが、解釈も運用も個人差が大きいという感じです。

ブロックというTwitterの機能に対する解釈や運用ということですが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関しては、「田んぼの草刈り感覚でブロック」とツイートしているぐらいなので、推して知るべしところはあるかと理解しております。

ブロックをされたので逆恨み的に遠巻きに粘着していると、あるいは理解されているかもしれませんが、ブログをはじめその発言は現実的な理解を超えて看過しがたいものが多いです。とりわけ、警察、検察に対する批判は凄まじいとも言える内容が散見されます。

時刻は5月10日18時28分を過ぎたところです。今回もかなり長い時間記述の中断が続いていましたが、技術的な前進もあり理想的な態勢に近づけたと思っています。これまでは後々不便も出るだろうという不満もあり、中途半端な状態で進めて来ましたが、比較的早い段階で対処出来たと思います。

技術的な前進というのは、パソコンのスクリーンショットの自動化とデータの管理体制のことです。Twitterの写真付き投稿とも連動しているのですが、この辺りは前提に及ぼす影響もあるので、趣旨を理解してもらうためにも項目を分けて説明をしておきたいと思います。

この項目は次の金沢港の航空写真に関する説明から横道にそれたり中断を繰り返してきたと思いますが、書いておきたいことがまだいくつか残っています。横道にそれたといっても無関係なことを書いたわけでもありません。関連付けとしての説明ということも意識しています。

2014-05-0213.10.58.jpg pic.twitter.com/ueQFQZfQCJ

非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の投稿として探したのですが見つからず、廣野秀樹（@hironohideki）の投稿になっていました。写真ファイルもスマホで撮影したものようです。

写真は5月2日の13時10分に撮影されたもので、投稿時刻は「13:15 - 2014年5月2日」となっているようです。10日も経過していないのに、忘れたというか勘違いしていたこともあり、探すのにも多少時間がかかりました。

写真をコピーして別名とし、それを非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の方に写真付き投稿しました。書式はスクリーンショットのファイルとはことなっており、スクリプトで定型的に書式を整えていますが、撮影日時はExif情報を使っています。

NHK石川県内ニュースでの金沢港の航空写真をテレビの画面として撮影2014年05月02日13時10分58秒.jpg pic.twitter.com/6Fyhf6gyas

時刻は5月11日7時12分を過ぎたところです。昨夜は20時ころからずっとテレビを観ていました。久しぶりに2時間の刑事ドラマを観ましたが、そのドラマの内容に触発され、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に＠付きのツイートをしました。

その関連情報をスクリーンショットとして保存したので、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に投稿したものですが、次にTwilogから写真付きツイートの内容を転載しておきたいと思います。

2014-05-11-000708アクセスしようとしたページは表示できませんでした。.jpg <http://pic.twitter.com/AMe18Q17eH>

2014-05-11-001024弁護士矢部善朗のメインブログです。.jpg <http://pic.twitter.com/ar9MtOZhjA>

2014-05-11-001249http:／／yblabo。com／　500　Internal　Server　Error　アクセスしようとしたページは表示.jpg <http://pic.twitter.com/Rm08uPn3NH>

2014-05-11-001858遠隔操作事件で最近警察のリーク報道が少ないのは、リークしたがる幹部連中が理解できないレベルの話で捜査が進ん.jpg <http://pic.twitter.com/Ik490uXxXW>

2014-05-11-055655\_％　locate　守秘義務.jpg <http://pic.twitter.com/cMvxYFMYbP>

2014-05-11-061426モトケン　（motokentw）さんはTwitterを使っています.jpg <http://pic.twitter.com/JZWD9nHliD>

思惑通りにTwilogからコピペしたものをそのまま流用出来たのですが、思わぬ処理も含まれていました。Twilogではhttp:／／がついたデータとして取得されるようです。

さらに、httpのプロトコルをつけたURLは、APIで投稿した告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のタイムラインには表示されず、個別のツイートを開いてもhttp のプロトコルをは除去されていました。

あたかも告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）として写真付きツイートを行ったかのように見えますが、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の写真のリンクを使っただけなのです。うまい具合に共有化が図られているようですが、たまたまの発見でした。

気になって調べてみたのですが、"expandedurl"という変数の値が、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の画像データのURLになっているようです。

ブラウザからTwitterAPIを使ってツイートのデータを取得したのですが、初めて見つけたサービスを使って取得したもので、スナップショットをTwitterと共有することも出来ました。次のURLがそれです。APIで見ると一件のツイートにはこれだけの情報が本来あります。

Apigee Snapshot <https://apigee.com/snapshot/twitter?snapId=apigee-console-snapshots-1398920400000_dbebf43b-af0a-4e5f-8a28-c43acb1c4f53>

昨夜見たのは次の番組です。

5月10日「監察官・羽生宗一」土曜ワイド劇場 <http://www.tv-asahi.co.jp/dwide/contents/nextweek/0308/>

上記リンクですがこれはホームページの構造上、時間が経つとリンク切れになるか内容が違ったものになる可能性もあるかと思います。タイトルも本来「土曜ワイド劇場」しか取得できませんでした。

初めは余り見たい感じではなかったのですが、なかなか興味深い内容でした。

その前の夜つまり金曜日の21時からも2時間ドラマを見たのですが、こちらの方はほとんど偶然のような感じで、たまたまテレビをつけたところに気になる場面が出ていて、チャンネルを変えずにそのまま終わりまで観ました。全く知らなかったドラマで、タイトルも変わっていました。

お家さん｜読売テレビ <http://www.ytv.co.jp/oiesan/>

上記はドラマ専用のホームページになっているようです。ただ、放送が終了した番組なのでいつまでホームページが公開され続けるのかも不明です。観た番組の雰囲気でも残しておきたいということでスクリーンショットを撮っておきました。

2014-05-10-095048お家さん｜読売テレビ.jpg <http://pic.twitter.com/FqKBmYKddG>

このツイートと画像のURLは次のようにコピペしました。

2014-05-11-101103このツイートと画像のURLは次のようにコピペしました。.jpg pic.twitter.com/zDnIh3xLlG

ファイル名はaですが、次のようにコマンドを使って作成したファイルです。一時的に作成した作業ファイルのようなものです。

% tac shirono140511.csv |cut -d',' -f3 | sed 's/"//g'|grep jpg > a

ツイログ（Twilog）の元のデータは次のようになっているので、それを加工しています。tacは逆順、cutでコンマを区切りに3番目のデータを取得、余分は前後のダブルクオーテーションを除去、jpgをキーワードに絞りこみをしています。

2014-05-11-102427ツイログ（Twilog）の元のデータは次のようになっているので、それを加工しています。.jpg pic.twitter.com/OseccbgKqa

ツイログはコンマで区切られた３つのデータにわかれていますが、例えば一番目の"465238691036676096"というデータはツイート固有のIDになっていて、次のようにURLとして扱うこともできます。

<https://twitter.com/kk_hirono/status/465254528728563712>

同じく2番目のデータは"140511 061522"という形式ですがこれは投稿日時だと思われます。つまりこの場合、2014年5月11日6時15分22秒になるはずです。3番めがツイートの内容ですが、一部にエスケープで違ったものに置き換えられる文字もあるようです。

特殊な記号の扱いというのは何かと問題になるもので、自分で作るプログラムでは留意も必要になりますが、全く同じ文字列ではいと検索が失敗する可能性があるということで、説明しました。問題になるのは半角の記号の一部です。プログラム言語によっても違いがあります。

「お家さん」という金曜日の夜に観たドラマについては、感想だけでなく本件事件に関する事実にも触れて書いておきたいと思います。

テレビをつけた時の時刻が21時01分だったのでほぼ最初から観ていましたが、食事の用意でテレビから離れることもありましたが、物語の筋を見失うようなことはなかったと思います。少しして録画も開始しましたが、録画はまだ再生していません。

なんの先入観もなく始まったドラマでしたが、観ながらインターネットで検索をして情報を得ることはありました。「鈴木商店」というのも知らなかったと思いますが、以前は日本で一番多い苗字でもあったかと思いますので、ありがちな名前とも思います。

このドラマで金子直吉という人物を初めてしりました。たぶん、何かの機会に名前を見ることはあったのではとも思いますが、取り立ててクローズアップするようなものには出会うことがなかったように思います。

同じ土佐藩の出身ということで岩崎弥太郎と比較される情報も調べて読むことが出来ましたが、一般的な知名度としても岩崎弥太郎とは大きな違いもあるのではと思います。

岩崎弥太郎で思い出すのは、被告訴人大網健二が漫画の本で見たという、交渉相手に若造だと侮られないため自分の髪の毛を抜いたという逸話を、ものすごく感動した手本にしたいと熱く語っていたことです。

私もその漫画の場面は見ていましたし、彼から話を聞く前に見ていたように思います。最近は名前も見かけなくなりましたが、本宮ひろし、という自分たちの世代にはお馴染みの漫画家で、子供の頃は少年ジャンプの連載が多い人気の漫画家でした。

私自身、成人になった頃には少年ジャンプや少年マガジンのような漫画は全く見なくなっていたのですが、コンビニにおいてあるような週刊誌のような漫画はよく目にしていました。例えばビックコミックスピリッツとか。

「本宮ひろ志 岩崎弥太郎」というキーワードでGoogleで検索をしてみました。「本宮ひろ志」という名前が正確だったということもこの検索で思い出しました。

猛き黄金の国 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%8C%9B%E3%81%8D%E9%BB%84%E9%87%91%E3%81%AE%E5%9B%BD>

全然記憶になかったのですが、上記のタイトルの漫画だったようです。「1990年から1992年まで、集英社「ビジネスジャンプ」に連載。」という記載もあったので、間違いはなさそうです。

平成2年のいつ頃から連載が始まったのか記載がないのが残念ですが、平成1年ではなく平成2年からというだけでも、とても参考になる情報です。岩崎弥太郎のことは最近でもちらほら思い出すことがありましたが、取り上げて言及することはなかったと思います。

はっきり時期の特定ができていないのも被告訴人大網健二の本陣不動産株式会社への入社時期ですが、仕事を初めてしばらくの間は、片町での接待で長時間運転手として車の中に待機をさせられているとか、愚痴のような話をしていました。

そのしばらくの間が、半年であったか長くて1年ほどであったか、そういうことも正確には思い出せなくなっていますが、俄然仕事に熱意をもって取り組むようになったのも、その漫画の岩崎弥太郎の話をした頃のことであったことは間違いないと思います。

彼の長女が生まれた時期についても思い出せないのですが、神戸から戻って金沢で生活を始めたあとであった可能性がはるかに高いと思います。

すでに触れたこともある被告訴人大網健二の結婚式ですが、そのとき長女は2歳以上にはなっていたはずです。式の中で長女の紹介もされていましたが、しっかり自分で立って歩き、周囲の状況も理解できるような年頃になっていた姿を記憶にしています。

結婚式があったのは平成2年の秋で、夜はけっこう寒かったという記憶もあるので冬に近い頃、それでも雪が降るような時期ではなかったような気もするので11月ころの可能性が高いと考えています。

その場に姫の出身で大網兄弟の父親と兄弟分という人物がいて、東京でヤクザをやっていると被告訴人大網健二から話を聞いていましたが、平成3年の春頃には被告訴人浜口卓也が事務所開きのお祝いだと言って、お祝い金を集めていました。

いくら出したか覚えていないですが、少なくとも1万円以上の金額で、それが相場にも近いような話だったと思います。しばらくして記念品というのかお返しとして灰皿をもらったように記憶しています。大きめのサイズで事務所のテーブルに置くようなものであったと思います。

ヤクザ者として事務所を開くということは、独立というか独り立ちして組長になるということ、というような説明も聞いたように思いますが、それは被告訴人大網健二の話であったかもしれません。

東京でヤクザというか暴力団をしているということは被告訴人大網健二から聞いていましたが、組の名前や系列については、なるべく関わりになりたくないということもあり、質問もせず聞いていなかったと思います。記憶にもありません。

被告訴人浜口卓也からの直接の連絡だったと記憶していますが、それは珍しいものでもあったので、よけいに印象的に記憶に残りました。

そういえばということで今思い出したのですが、被告訴人浜口卓也が市場急配センターで仕事を始める前、私のアパートに電話を掛けてきたらしいのですが、取り次いだ妻が姫のNKさんと勘違いして説明したのか、私はNKさんの電話と思い込みながら連絡方法も思いつかず放置していました。

思えば被告訴人安田敏からの電話に対する同じく伝言で妻から、「内灘の砂浜に車がはまって動けないので助けに来てほしい。」というのを聞いたこともありました。深夜の連絡だったと思いますが、これも放置したことを記憶しています。その場にいなくてよかったとも思っていました。

NKさんと勘違いした連絡のことがあってから、会社で被告訴人浜口卓也本人と会うまでは、けっこう間があったように思います。半月から一月ぐらいはあったように思います。

市場急配センターの仕事をするかどうか迷いがあって相談のために連絡をしたような話をしていたと思います。なるほどと理解しながらも、なぜ妻が勘違いして行き違いになったのかも合点がいかないとは思っていました。

妻は両者に面識があるものの、被告訴人浜口卓也の方により直近の面識があったとも思いましたし、声もタイプも印象もずいぶん違うはずなので、おかしな間違いはしないと思ったのですが、釈然としないまま追求することはなかったと思います。

平成3年の春というのは被告訴人大網健二の引っ越しを手伝った頃でもあったと思います。正直、事務所開きの祝い金の連絡とどちらが先であったか思い出せないのですが、どちらも天気の良い日ではあったと記憶には残っています。

引っ越しの手伝いは春でも5月か6月に入っていた気もするのですが、私がまだ市場急配センターに移る前であったとは思うのですが、どうも記憶のはっきりしないこともあります。

一つ印象に残っていることは2トンのトラックを金沢港の近くの倉庫の駐車場に被告訴人大網健二と一緒に返しに行ったことでした。往復ともに無量寺の被告訴人大網健二のアパートから向かったように記憶しています。

その倉庫というのはたぶん「ひまわりチェーン」という小型スーパーの物流倉庫でした。北都運輸の市内配達をしていた頃、そこにも荷物を運んでいた記憶がありましたが、近くにあるリョーショクとかいう倉庫の方が大きく、扱う荷物が多かったこともよく覚えていました。

「ひまわりチェーン」と似たものに「Kマート」というのもあったような気がします。どちらもコンビニのような小型のスーパーのチェーン店という感じで、記憶がやや混同しているところもあるかと思います。

2014-05-11-161448北陸リョーショク本社.jpg pic.twitter.com/iMK9zqFjKu

Googleマップの画面をスクリーンショットにしましたが、リョーショクという物流倉庫の場所は変わっていないと考えられます。かなり大きな敷地で金沢港に前の道路に面していたので、簡単に移転もしないと感がられるからです。

トラックを返しに行った倉庫というか、配送センターと言ったほうがいいかもしれませんが、そちらはリョーショクの敷地の裏手のほうで、隣接していたかどうかも記憶にはないですが、上空からみて左手にあったように思います。

ざっとGoogleマップの地図をみたところ、次の地点の可能性が高いように思われます。広い道路に面した敷地であったようなこともおぼろげながら記憶に残っています。

2014-05-11-162540石川県金沢市湊４丁目７.jpg pic.twitter.com/37s5GHSZUf

港のカナカンにも配達に行っていたような気もするのですが、ただカナカンとなると西金沢の大きな葬儀場の近くの倉庫での荷物の扱いの量が多かったことがより印象に残っていて、金沢港ではリョーショクがやはり扱う荷物の量が多かったという印象として残っています。

Googleマップの地図を見てもわかるとおり湊と無量寺は隣接しており、被告訴人大網健二のアパートともすぐ近くでした。

私の記憶には奇妙な点があって、引っ越しを手伝いに行ったことはその時の場面も含めて記憶に残っているのですが、引越し先であるはずの大場町東の一軒家での作業の様子というのがまるで記憶に残っていないのです。

ただ、荷物を運び入れる前か、ほとんど物がないような状況での大場町の一軒家の家の中や、家の周りの状況に関しては、割と印象的に記憶に残っています。

トラックを返しに行ったのは、引っ越しの作業が終わってからのことであったと思うのですが、午後だったとは思うもののまだまだ明るい時間帯でした。改めて考えると手伝いに車で向かった先が無量寺のアパートだったので、作業が終わったあともそちらに戻っていたのかもしれません。

借りた2トンのトラックは宇出津のK村さんのものだと聞いていました。青色の古いトラックだったと思います。初めに見た頃の2トントラックよりはポンコツではなかったような気もするのですが、塗装も純正のままのような当時でもかなり古いタイプのトラックと色でした。

荷物を運ぶので箱はついていたか幌がけだったとは思いますが、まるで2トンのダンプでよくみかけるような感じのもので、トラックとしてはけっこう珍しかったと思います。普通の緑ナンバーの運送会社であれば、それなりの塗装もしてあるのがほとんどだったと思います。

そういうタイプのトラックは市場急配センターでも他にいたとは思いますが、いずれも持ち込みのトラックだったと思います。持ち込みのトラックは通勤も兼ねていて、見かける機会というのもそう多くはなかったような気もします。

そのトラックを返しに行った時点で、K村さんと姫のNKさんは、春に市場急配センターをやめて直に仕事を請け負ってやっているとか、不義理なやめかたをしたとも聞いていたと思います。珠洲市大谷のYSさんも行動を共にしたと聞いていたように思います。

Kマート - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/K%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%83%88>

調べてみたのですが「Kマートは日本にかつて存在したコンビニエンスストアとスーパーマーケットのひとつ。」とありました。金沢市近郊に限ったチェーン店かと思っていたのですが、そうではなかったようです。ただ、長距離の仕事でも他県で見たという記憶はほとんど残ってはいません。

一方、「ひまわりチェーン」を調べたところ、こちらは現在も営業しているチェーン店のようです。ざっと見たところ、金沢市近郊というより金沢市内のみの店舗にもみえました。将来変動があるかもしれないのでスクリーンショットを撮っておきます。

金沢市　ひまわりチェーン - Google マップ <http://bit.ly/RyVHvt>

2014-05-11-170916金沢市　ひまわりチェーン　-　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/typEalAv0o

前から思い出せないことがあったのですが、ようやくだいたいのところを思い出すことができたようです。それは金沢市長土塀3丁目の交差点から金沢駅方向の小路に入ったところであったと思います。

自分の記憶によるとその一角は田舎町のちいさな商店街のようになっていて犀川の方向のほうから小路に入ってくると、左の角にひまわりチェーンの店があったように思います。

余り行くことのない配達先だったので余計に記憶にも残っていたのですが、ある日、配達中にそのひまわりチェーンの近くで、NKさんかYSさんに出会ったと思います。それだけでなくM田かS田、あるいはその二人が一緒に仕事をしていました。

S田とM田についても前に書いていると思いますが、肝心要のことはまだ書いていないと思います。前に書いたのはS田がアルトワークスのことで被告訴人大網健二とトラブルになり、S藤を連れて金沢港のイワシの現場に来たということで、平成1年12月ころのことです。

車のトラブルの話は先に被告訴人大網健二から聞いて知っていたと思います。まだ雪が降りそうもない秋頃に聞いていた話のように思います。被告訴人大網健二はたいへんな不義理を受けたと大いに怒りまくり感情的になって、配達の仕事中のS田を追いかけまわしたような話もしていました。

なぜなのかよくわからないのですが、配達の仕事中のS田を追いかけまわしたという話を聞いた時、私はその場の状況として六枚交差点の近くの中橋陸橋の下の側道の辺りの情景を頭で思い描いていました。それに近い場所の話があったものと考えられます。

六枚の交差点は金沢駅に近く、その駅前からの道路と金石街道が交差する大きな交差点でした。交差点を横切って野々市方向にもう少し行くと、左手に職業安定所があって、その向かいに婦人会館とかいう割と大きな建物がありました。

その婦人会館からもう少し行った辺りで右に入って行くと大和町があって、被告訴人大網健二が昭和55年ころに住んでいたアパートの場所でした。長土塀の商店街のような一角というのも、そこから歩いても近い辺りと思われます。

なにか昔の記憶が重なって、六枚の交差点の近くのことを思い出しただけなのかもしれませんが、被告訴人大網健二が住んでいたアパートからは金沢駅までも歩いてそう時間はかからない距離だったと思います。実際に歩いて行ったような気もします。

近くに古い紡績工場かその跡地があったようなことも記憶に残っていますが、めったに通るような場所でもなかったです。

ついでに書いておくと中橋の陸橋にはもうひとつ思い出があります。さきほどGoogleマップのストリートビューで見たところ、陸橋は跡形もなくなり、高架下になっていました。

中橋の陸橋の付近というのも滅多にというかほとんど行く機会もなかったので、町並みの記憶も薄いのですが、S田を追い回したと聞いた情景では金岩方面に向かって陸橋の右側にその場所があったことになるかと思います。

もうひとつの方は、記憶も新しく具体的にはっきりしているのですが、夕方の遅い時間すっかり暗くなってから被告訴人松平日出男社長が、その場にいた10人ほどを食事に連れて行くと言い出したことがありました。あるいは7,8人だったような気もしますが、メンバーの顔ぶれはさほどはっきりしません。

人数からして最低2台の車には分乗して向かったと思いますが、その時最初に向かったのが、中橋の陸橋の真下付近、金岩方面に向かって左側の場所にある焼き鳥屋のような店でした。赤ちょうちんが出ているような店でしたが、店内の席に空きがないとかいう話で松平日出男は戻ってきました。

そのあと行ったのは、金沢駅東口のできたばかりの飲食店街の中の店でしたが、行きずりで適当に選んだような店でした。いろいろと気になるところはあったのですが、考え過ぎかとも思い。わからないまま引っ掛かりをを引きずるような出来事というか、その場の雰囲気でもありました。

平成4年の1月か2月のことでしたが、前後の状況に照らしても時期を絞り込むことができずにいます。その場には、被告訴人東渡好信の姿もあったように思いますが、東渡好信の精神病者を装うような不可解な行動が始まったのも、そのすぐあとであったように思われます。

まず東渡好信は会社に出てこなくなりました。会社をやめるような話もしていたようですが、東渡を親身に気遣い、心配する話もしながら、東渡好信に関する話を聞かせてくれたのも輪島のHさんでした。

輪島のHさんは平成2年の秋頃、東渡好信とほぼ同時に金沢市場輸送に入ってきた運転手でした。東渡好信の紹介というかたちでの入社とも聞いていました。会社で姿をみるようになったのは、ほとんど同じ頃だったと思います。

すでに書いているかもしれませんが、東渡とは運転手仲間で同じく材木を運ぶトレーラーに乗務していたという話でした。チューとも呼ばれたWも同じ仲間だったと聞きましたが、Wの場合はトレーラーではなく10トン車乗務だとも聞きました。

輪島のHさんは輪島でも海士町の人と言っていましたが、漁師という雰囲気は全くない人で、スナックのような飲み屋を経営していたこともあると話していたように思います。

よりはっきりと記憶にあるのは、本人が売春で刑務所に入ったことがあり、加古川刑務所に服役していたと話していたことです。1年か1年半という短い刑期だったと思います。なぜそんな話をするのか多少不思議には思っていましたが、ごく自然にに話していました。話は一階の休憩室が多かったです。

輪島のHさんのことで印象的だったのは平成3年11月25日の夕方のことでしたが、これはまだ本書では書いていないように思います。

Hさんは、東渡好信に同情的で、東渡好信の妻を批判することもあり「鬼のような女」と言っていたこともありました。平成4年2月の後半か同年3月中のことであったと思います。

私はその東渡好信の妻という人に会ったことがありました。休日の午後だったと記憶していますが、会社裏駐車場の一番奥、入り口から入って右側の位置で、声を掛けられました。七尾市から探しに来たものと思われましたが、なぜほとんど人のいない休日なのかとは不思議に思いました。

当時の休日というのは日曜日だけだったと思います。それに近いのが水曜日でした。中央市場の休日に定められた日です。たぶん月に一度かあるいは2度の水曜日だったと思いますが、第二か第三の水曜日という話だったと思います。

私の記憶にある中で初めのその中央市場が休日という水曜日は、平成3年9月のことでした。% cal 9 1991というカレンダーのコマンドによると11日か18日ということになるかと思いますが、休憩室の工事が途中ではありましたが、正直どちらか判断がつきかねます。

calコマンドの結果をスクリーンショットととして次に掲載しておきます。

2014-05-11-194350\_　％　cal　9　1991.jpg pic.twitter.com/Xlm4GZuIag

気になって調べたところ、次のような情報を得ることが出来ました。どうも金沢市市議会の公開資料のようです。PDFファイルになっています。

2014-05-11-200011平成２５年金沢市中央卸売市場の臨時休開市日について.jpg pic.twitter.com/m4N4cu8fyw

平成3年当時は月に1回だったように思うのですが、原則は第2,第3の水曜日となっていました。とても気になるところで正確な情報がほしいと調べてみたのですが、月に1回となると、事情も異なりそうです。

その水曜日は中央市場が休みということで、会社もずいぶんと暇そうで運転手の姿も少なかったですが、事務員の被害者AAさんと被告訴人池田宏美は出社していました。それでもずいぶんと暇そうで、早めに退社していたようにも思います。

東京都中央卸売市場 | 市場開場日・休業日年間カレンダー | 平成26年 <http://www.shijou.metro.tokyo.jp/calendar/>

平成3,4年当時、中央市場は土日が休みだったのか確認のため調べてみたのですが、上記リンクの東京の市場のカレンダーを見たところ、現在においても基本的に土曜日は休みではないようです。

市場急配センターで長距離の仕事をしていたのも平成3年8月の終わりから平成4年4月1日までと長くはなかったですが、その水曜日の市場の休みをはっきりと経験したのは9月と10月だけでした。会社内がいつもと違った雰囲気であったので、強く印象にも残っているのだと思います。

平成3年でも市内配達をしていた７月、8月というのは、水曜日の臨時休市という記憶は全くないので、たぶん9月から始まったものだと思います。

平成3年10月の水曜日の臨時休市では、けっこう多い人の姿がありましたが、市内配達の運転手の姿というのはなかったと思います。普段の退社時間は17時ということになっていたと思いますが、その日は16時ぐらいには退社というか解散していました。

印象的に覚えているのは、会社前から車に乗って出て行く、被告訴人池田宏美と被告訴人東渡好信の姿でした。計画が思いの外順調に進んでいるような満足そうな、それでいて注意深い顔に見えましたが、その顔を見たのもかなりの偶然で、二人とも私の視線があったことには気づいていない感じでした。

その日はまだ人の少ない時に、被害者AAさんに10色入りぐらいの油性のマジックペンをあげたことも覚えています。マジックペンを借りてかなり使ったことのお礼に買って、車かトラックに置いてあったものだと思います。

また、その時も車のフィルム貼りのようなことをやったと思います。あるいはトラックのフィルム貼りだったかもしれません。いずれにせよ、前回のようにAAさんは手伝いには来てくれず、なにかとても申し訳なさそうな顔をしていました。

ちょっと記憶が弱くなっているので自信が持てないのですが、解散という感じで会社に人がいなくなったあと、私は大阪府の高槻市の市場に向けて出発したように思います。積み荷は馬鈴薯だったと思います。当時多かった仕事ですが、高槻の市場というのは馬鈴薯では初めてだったように思います。

馬鈴薯と言ってもメークインなどの他の品種の芋も積んでいたと思いますし、あるいは玉ねぎを積むこともあったかもしれません。中央市場の裏口の、道路を挟んで向かい側にある倉庫でイモは積んでいました。

他の運転手が嫌がる仕事であったので余計に回ってきていたのだと思いますが、とりわけ平成3年の秋は多い仕事でした。初めの頃は、東京の市場にも3回ぐらい行くことがあったと記憶していますが、大田の市場ではなかったかと思います。そこから古河の市場に向かったことも記憶しています。

馬鈴薯の行き先として多かったのは名古屋の北部市場と大阪の本場（ほんじょう・福島区）市場と、北部市場でした。名古屋の北部市場は小牧市だったと思います。ほとんどが降ろしてすぐにとんぼ返りで夜中のうちに金沢に帰っていました。

時刻は5月12日10時を過ぎたところです。書いておくことが沢山あるので、とりあえず書いていきたいと思います。昨日の続きになります。

被告訴人東渡好信の妻のことから馬鈴薯の仕事について書いていたところでした。この馬鈴薯というのは石川県産ではなく、北海道から船で金沢港に運ばれてきたものを、中央市場の裏側にある倉庫で保管しているという話を聞きました。中央市場の敷地の中ではなく、道路の向こう側です。

平成3年10月6日、被告訴人安田敏のトラックに同乗して昼に名古屋の北部市場に行った時も、その馬鈴薯を積んでいました。

名古屋の北部市場よりは、大阪に運ぶことが多かったとも思います。名古屋で馬鈴薯を持っていくのは北部市場だけでしたが、大阪は北部市場と福島区の本場があって、どちらも同じぐらいの回数行ったように思います。北部市場は大阪市内ではなかったと思います。

近くには大きなトラックターミナルもあって、中西運輸商にいた頃は、九州西武運輸の荷物を運んでよく行ったという記憶もありました。結婚する前の妻を同乗させていたことも多かったです。

大阪も初めのうちは、名古屋の北部市場と同様に、空荷で戻っていたと思います。午後に馬鈴薯を積んで、夕方に出発、名古屋よりは多少時間も掛かったと思いますが、それでも夜中の2時か3時には金沢に戻ってきていたと思います。

そのうち大阪に馬鈴薯を持って行くと、決まって翌日に和歌山県の、かつらぎ農協からミカンを積んで戻るようになりました。このミカンの仕事は馬鈴薯の仕事以上に嫌われていたので、なおさら集中的に回ってきていたように思います。

私が初めて、かつらぎ農協にミカンを積みに行ったのは平成3年11月の17日か20日ぐらいではなかったかと思います。あるいは20日ころですが、以前は細かいことも具体的に記憶していたはずです。

それはちょうど、被告訴人浜口卓也が市内配達の仕事をやめて、市場急配センターで大型車で長距離の仕事を始めた頃でした。

同じく、津幡のYTも市内配達の仕事をやめ、大型車で長距離の仕事を初めていました。彼は市内配達の古参社員で頼りにされるような存在でもあったと思います。本人が長距離の仕事をしたいと言い出した時、会社からは反対されたそうですが、本人がそれならば会社をやめると突っぱねたと聞きます。

古参と言っても私が最初に市内配達の仕事をした庄和61年にはその姿はなかったと思います。年は私と同じでしたが寡黙な感じでもありました。それでも人当たりもよく笑顔で会話をする姿も見かけていました。被告訴人多田敏明とも仲良くしているという感じでした。

9月に被害者AAさんが2階から降りてきて私のフイルム貼りを手伝ってくれた時、その場にいたのも津幡のYTと被告訴人多田敏明でした。朝の9時か10時ころでしたが、二人は今から大阪府高槻市の市場に馬鈴薯を運ぶと言っていました。4トン車です。

津幡のYTが大型車に乗務したばかりの頃には、一度2台で能登の方に行ったことがありました。羽咋市内のもっと先で、当時は能登有料道路でしたが、余り降りた経験のないインターで降りて、その付近を走行していた一場面を記憶にしています。

能登で仕事によく行っていたのは七尾市ですが、七尾市には急ぎで行く時も能登有料道路の千里浜インターで降りて向かっていたと思うのです。これは羽咋市内の手前側になる場所だと思います。また二人で降りたインターは周りが少し山間になっていました。

能登有料道路は金沢からずっと海岸線沿いやその近くの平地を走り、羽咋市内の先の柳田インターを超えた辺りから、山間に入っていく地理になっていました。いずれにせよ記憶はそこで途切れています。

チューことWが市場急配センターに入ってきたのも同じ頃でしたが、被告訴人浜口卓也や津幡のYTが大型車に乗務するよりは、一週間から半月ぐらい遅れていたような気もします。あるいは11月の終わり頃ですが、同月の中頃からその月の終わりまでの間だったと思います。12月ではなく。

チューことWの姿を見たのはその時が初めてではありませんでした。それよりちょうど一年ほど前の平成2年の11月か12月ころも、しばらく金沢市場輸送のトラックに乗っていたからです。まだウィング車が入る前だったので平ボディ車に乗務したのだと思いますが、短い間でした。

その時は無口で目立たない存在で、一度も言葉を交わしたような記憶もなく、他の運転手と会話をする姿というのも見かけた憶えがなかったです。長くて半月もいたのでしょうか。もっとも長距離の仕事というのは運転手同士顔を合わせないことも多いです。長ければ半年合わないという話もありました。

市場急配センターには時期的にいくつかの区切りをつけることが出来るかと思います。もともとは石川日通、小林運送など数社の運送会社と共同で、金沢の中央市場の青果物の仲買の荷物を配達をするというところから始まったように聞いています。

数社と言っても私がその仕事に参加した昭和61年8月当時は、金沢市場輸送以外の運送会社は2トン車とそれに乗務する運転手が一人ずつだったと思います。それらのトラックは黄緑色に黄色のラインが入ったようなカラーであったと記憶しています。

中には塗装のない元からの紺色か青色のようなトラックもいたように思いますが、金沢市場輸送の大型車や4トン車と同じ、茶色とクリーム色のカラーの2トン車もけっこうな数揃っていたと思います。

昭和59年10月の時点では市内配達の仕事というのは全くやっていなかったので、昭和60年辺りから始まったものと思われます。

市内配達と長距離の区別というのもなく、事務所も同じでした。事務所は中央市場前の2階建てのテナントビルで、その2室が事務所で奥の半分ぐらいはアコーディオンカーテンのようなもので仕切られていました。その奥の方の部屋の事務所は丸ごと社長室で窓際に大きな机が一つありました。

実は、今日の昼に宇出津新港のアルプに行き、100円ショップでみつけたホワイトボードというのを買ってきました。これに簡単な図面を書いて、それをデジカメで撮影したものを説明に使いたいと思います。

昭和59年当時の金沢市場輸送の事務所の間取り2014年05月12日15時04分42秒.jpg pic.twitter.com/so2OEJptPY

上記画像は、事務所内の大まかな間取りです。事務の机は向かい合わでで全部で６つではなかったかと思います。入って手前の左側の机には配車係の藤村さんが座っていて、入院後は被告訴人本恒夫が座っていたと思います。

左側の一番奥、窓際の机には小島という人が座っていた時期もありました。保険の事など担当しているという話でしたが、何をやっているかよくわからない人で、日通で事務員をしていたとも聞いたことがあります。見た感じ真面目なサラリーマンという人でした。

入って手前の右側の机には社長の奥さんが座っていましたが、常時いるわけではなかったと思います。いるときはメガネを掛けてうつむき、そろばんを弾いたり帳面をつけているような様子でした。周囲を見回すようなことも姿も見た記憶がありません。

ついでに書いておくと、昭和63年のクリスマスイブつまり12月24日だったと思いますが、被告訴人本恒夫の強い指示で、蛸島港にイワシのダンベを積みに行かされたことがありました。それが羽咋郡富来町の西海港での翌朝降ろしの仕事でした。

よく考えてみると次男も割と大きくなっていたと思うので平成1年のクリスマスイブだったかもしれません。いずれにせよ、その時私は具体的に本恒夫への不信感を持つようになりました。

他に年配で子供もいない運転手は暇そうにしていたのに、やたらと強く私に指示を出してきたのです。おまけに蛸島港の市場では、北浜太一さんに、いなくなるな、とか帰るなとか、かなり強く釘を刺されました。申し送りがあったような感じでした。

あえて家族関係に亀裂や波風を立てるような配車にしか思えなかったのです。そういうこともあったので、同じく年末に輪島のMYの代わりに九州に走れと本恒夫に言われた時も、私はきっぱり強く断ったのです。給料の差し押さえを被告訴人竹沢俊寿が小躍りするように喜んでいた時のことです。

私自身、クリスマスイブなどというのはずっと無関心でプレゼントをもらったこともあげたこともなかったのですが、子供も楽しみにする年頃になっていて、実際、戻った時は妻も平静を装いながらも、ショックを受けているような様子でした。

社長の婦人の隣の席には、配車係であった蛸島の北浜太一さんが座っていました。昭和59年のことです。その後やめて蛸島に帰り、浜田漁業の配車係になったと聞いていました。蛸島港にイワシを積みに行き、会ったこともあります。

被告訴人本恒夫は藤村さんが入院するため、代わりに配車係をやってくれと竹沢俊寿社長（当時。後に金沢市場輸送と市場急配センターの会長）と懇願されて、仕方なく引き受けた。給料も下がって大損だが、他にいないので仕方なく引き受けたと、何度も話していたのです。

被告訴人本恒夫が配車係をするようになったのは昭和61年の12月頃のことだったと思います。私は市内配達の仕事をしながら、東蚊爪の運転免許センターに大型免許の試験に通い、9回目だったかにようやく合格したのが11月27日だったのです。

日付をよく覚えているのは11月26日の誕生日の翌日だったからです。合格と同時に大型免許も即日の交付だったと思います。それ以来、受け持ちだった市内配達の仕事をすることはなかったと思いますが、2,3日は継続していたかもしれません。

受け持ちというのは、早朝のマルエーの配達とそのあとの青果の仲買の配達の片町・小立野コースでした。その時のマルエーの配達は魚だったと思います。松任店、根上店、寺井店の3箇所卸ではなかったかと思います。寺井が多少微妙ですが、たぶんです。

平静3年の時もほぼ同じ方面ではありましたが、朝のマルエーの配達は青果物で、寺井店がこれもちょっと微妙な記憶になっていますが、他は小松市内の、若杉店、今江店、本折店ははっきり覚えています。寺井がそうだとすれば4箇所卸だったことになりそうです。

その後の仲買の青果物の配達も、前と同じ片町・小立野コースでした。片町は金沢で一番の繁華街でもありますが、路地も狭かったり配達先も多いなど、もっとも難しい仕事という話も聞いていましたが、人の嫌がるコースということもあって、回されたようです。

仲買の青果物の配達は、午前と午後の2便がありました。平静3年の時は午前中と同じコースでしたが、昭和61年の時は全体的な荷物の量も少なかったので、コースに関わりなく荷物を運んで配達をしていました。例えば野々市や、羽咋郡の志賀町のスーパーに配達に行ったこともありました。

マルエーというのは金沢市近郊だけなく、石川県の加賀地方のほぼ全域に店舗があるようなスーパーでしたが、私は個人的に買い物に行ったこともほとんどなかったので、仕事だけのスーパーでしたが、たぶんテレビのCMも流していたように思います。

たぶん、現在もあると思うので検索で調べてみます。

各店案内 - スーパーマーケット　マルエー <http://www.s-marue.co.jp/tenpo.html>

ざっとみたところ全部で27店舗ほどあるみたいです。私は平静11年の8月以来、金沢市内に住まいをしたことがなく、その当時でもスーパーで買い物をすることはほとんどありませんでした、子供や家族と一緒だった頃を思い出して気が重くなることもあり、足が向かなかったのです。

平静3,4年当時はもちろんインターネットなどあるはずもなく、このように店舗数を調べることも容易ではなかったですが、仕事で聞いていたような話では15店舗ぐらいと聞いていたようにも思います。住んでいる近くに店舗がなかったこともあり、利用する機会もなかったのですが店舗数は多いほうかと。

金沢市場輸送がマルエーの仕事をするようになったいきさつというのは聞いたことがありませんでしたが、一度取引を切られそうになった時、被告訴人竹沢俊寿が単身で乗り込んで、狂人のような振る舞いをやって危機を免れたというような話は聞いたことがありました。

狂人のような振る舞い、というのは適切な表現ではないかとも思いますが、要するにそれらしい非常識なことをなりふり構わずにやったという話でありました。誰から聞いたのかも思い出せないのですが、大げさに言えば自殺の道連れにするような脅迫的な行動をやったらしいです。

見方によれば体を張って会社を守ったということになるのかもしれません。また、マルエー側が取引を打ち切ろうとしたのは、おそらくですが腹に据えかねるだけの、運転手の素行の悪さや呆れ果てるミスが続いたことが考えられます。

これと似たような話は、被告訴人大網健二から被告訴人KYNについて聞いたことがありました。仕事の相手先に乗り込んで居直り暴れるようなことをやったと言っていましたが、被告訴人大網健二はそれを、気が弱いからだと不満そうにしみじみとした感じで、話していました。

被告訴人のうち考えるところもあって、被告訴人KYNに限っては実名の表記に切り替えず、当面匿名で行くつもりです。利用された被害者的要素も彼に限っては当てはまる可能性もあると考えるからです。具体的なことは折に触れても説明をしていきます。あちこちに飛ぶかと思いますが。

被告訴人KYNが乗り込んだ仕事の関係先について、被告訴人大網健二は津幡の会社と話していたような気もします。もっと具体的な話を聞いていたように思うのですが、どうもこの部分の記憶が薄れています。時期も今ひとつはっきりしませんが、Nテックのときの可能性が高いと思います。

時刻は5月13日9時52分を過ぎたところです。昨夜も夕方ころに記述を中断して、ほとんどなにもしないで寝てしまいました。書くことが沢山あるのに集中力も足らないようです。夕食もまともにとらず、袋に入った刻んだキャベツを少しと、メンチカツを一つ食べている間に寝ていました。

家の中の片付けもしたいところですが、書くべき予定のことが多すぎて気も滅入ります。少しでも前に進めるように、出来るだけのことを駆け足で書いていきたいと思います。

昨日はNテックのところにそれたところで中断になっていたようです、事実関係があちこちに飛ぶと、書いている方でも現状の把握が難しくなってしまいます。とりあえずNテックのことは後回しにして、市場急配センターの沿革について昨日の続きを書いておこうと思います。

昭和61年の12月ころのことを書いたと思いますが、これはちょうど被告訴人池田宏美や被告訴人梅野博之が入社してきた時期でもありました。当時の被告訴人池田宏美の名前は池田ではなく、少し記憶に自信がないですが吉村であったように思います。

私が金沢市場輸送に二度目に入社をして市内配達の仕事をするようになったことは、免許の点数がなく取り消し寸前であったこと、大型免許の取得のために運転免許センターに通っていたことなど、すでに書いていることだと思います。

その直前まで被告訴人安田敏と岐阜県海津町で山下工務店の仕事をしながらライスセンターの平屋の家で生活していたことも書いていると思います。

なお、そのライスセンターのの仕事というのは本来、9月から12月の10日ころまでと聞いていました。米の収穫時期です。ただ、ライスセンター側の要望があって、ライスセンターの仕事が始まる前の時期にも、工務店の仕事を手伝ってほしいという条件が出ていたと安田敏から聞いていました。

被告訴人安田敏が初めにその海津町のライスセンターの季節労働というか出稼ぎの仕事に行ったのは、昭和60年と考えられます。安田敏が金沢市場輸送で市内配達の仕事をしていると聞き、金沢市場輸送の事務所の前まで行って声を掛けたところ、やめて岐阜に行ったと聞きました。

これもすでに書いていると思いますが、窓から顔を出してそう教えてくれたのは、金沢市場輸送で配車係をしていた北浜太一の弟でした。「おっさま」と呼ばれることが多かったようにも記憶しています。

彼は私が昭和59年1月に初めて金沢市場輸送に入社した頃、大型車に乗務して長距離を走っていましたが、長期の免許停止が決まっていたらしく、すぐに免停になって、荷物の積み込み作業などやっていました。

当時20代の前半だったと思いますが、正確な年齢は忘れました。なんとなくの記憶になりますが、24歳と聞いていたような気がします。その後付き合いがあった可能性は薄いと思いますが、被告訴人大網健二も当時はよく知っている人物でした。

当時私は11月の誕生日前で19歳でしたが、平静1年の初め内浦町松波の港で岸壁から赤色の買ったばかりの軽四で飛び込んで自殺したという蛸島のTSさんとは、改めて考えるとやはり年が近いようです。

ちょっと思い出したのですが、北浜太一の弟の場合も、免停ではなく免許取り消しだったような気がします。その後、免許を撮り直して蛸島で4トンの保冷車を買って白ナンバーで魚を運んでいるというような、噂話のようなものも聞きましたが、これは平静1年頃のことかもしれません。

私が昭和59年の1月に金沢市場輸送に入った時点で、北浜太一の弟は、3,4年かけっこうな年数、金沢市場輸送で運転手をしていると聞いていたように思います。記憶は薄くなっていますが、それでも2年以上とは聞いていたように思います。

その辺りから逆算しても蛸島のTSさんが被告訴人安田敏と同じく石川県立水産高校漁業科を卒業して金沢市場輸送に入社したと聞く、昭和56年の時点でも同じ金沢市場輸送にいた可能性はあるかと思います。

まだ書いていないと思いますが、その金沢市場輸送に入社したてのころの蛸島のTSさんは、当時の内浦町越坂の出身と聞くKSさん（以降、越坂のKSさんとも書きます。）と、一緒にトラックを走らせていたと聞いたことがありました。

私もごく最近になってたまたま知ったのですが、本来の小木というのは思っていたより限られた範囲になっているようです。小木駅のあったあたりが市ノ瀬であることは知っていましたが、もっと小木の街に近いところも市ノ瀬になるようです。

2014-05-13-104213石川県鳳珠郡能登町小木　-　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/HqbknGv10r

小木は松波同様に、平静17年だったと思いますが、石川県珠洲郡内浦町から宇出津や姫、真脇、鵜川と同じ能都町、そして柳田村が合併されて鳳珠郡能登町になっています。

2014-05-13-104912石川県鳳珠郡能登町越坂　-　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/JCd0X57l5T

次が能登町越坂のGoogleマップの地図ですが、今度は小木との比較対象をわかりやすくするため、航空写真を使いました。越坂は数件のホテルと漁村があって、私も近年知ったことですがキャンプ場もあるようです。

越坂は市之瀬と同じく九十九湾に面していますが、遊覧船の乗り場があるのも市之瀬のほうです。小木駅もその市之瀬にありました。越坂の子供は例外なく小木中学校に通っているとも聞いていました。地理的にも近いですし、地元でも小木の一部のような感覚でいる人が多いのではと思います。

越坂のKSさんは昭和59年当時、中西運輸商の大型保冷車に乗務していました。珠洲市三崎のHMとは中西運輸商の同僚でもあったはずです。

一度私は金沢市場輸送の4トン保冷者で珠洲市三崎のHMを同乗させ、一緒に山形県酒田市に行った帰りだったと思います。柿崎町から新潟県上越市の境辺りの国道8号線沿いに小さな中華料理店があって、そこで3人で食事をしたことがあったと記憶しています。

新潟市内方面から上越市内に向かっていると右側にある店でした。小さな店で本来はトラックが停められるような店ではなかったのですが、国道沿いの路肩に寄せて駐車していました。どちらかが脇に駐車をしていて、見つけたほうが後で店に入ってきたように思います。

それは保冷車の箱に「中西運輸商」と大書きした2台の10トン保冷車のうちの1台でした。その保冷車には私自身昭和62年の3月ぐらいに、一時乗務したこともありました。

2台はどちらも日産ディーゼルのトラックでしたが、1台は改造車で10トン車にトレーラーのエンジンとミッションがつけてあるというトラックでした。ギアは10速とも聞いていましたが、ギア比が低いため最高速度が80キロとか90キロしか出せないとも聞いていました。

保冷の箱の方も通常よりかなり補強した作りになっていると聞いていましたが、中が丸く膨らんでいたような記憶もあります。

それは中西水産輸送の社長ならではのこだわりで作られたトラックでした。主に宮城県の石巻港から養殖ハマチ用の餌（たんにエサと呼ぶことが多かったです。以降もそのように）を四国の宇和島市や九州の大分、宮崎、鹿児島の養殖場のある場所に運ぶ仕事のための特別仕様のあつらえでした。

このエサという仕事については前にも説明をしていると思うので、なるべく端折りたいと思いますが、昭和60年ぐらいまでは金沢市場輸送でも中心的な仕事であると聞いていました。私自身は昭和62年の4月に金沢市場輸送で大型保冷車に乗ってから一度も経験したことのない仕事でもありました。

私が大型車に乗務した頃は、雑貨と鮮魚が中心になっていましたし、保冷車の作りもかなり簡素というか薄っぺらいものになっていました。鮮魚が中心と言っても、それは九州や東北から積んでくる方の仕事が多く、定期便にもなっていました。

今はどうかしりませんが、当時、石川県の港から大型車でまとまった鮮魚を運ぶのは、例年6月から7月ぐらいの間の正味一ヶ月もなかったぐらいの期間で、それもスルメイカでした。最近人から聞いた話ですが、漁をする船も九州や東北から集まってくるそうです。

富山県氷見市に掘安という小さな運送会社があって、鮮魚を運ぶ会社でしたが、被告訴人本恒夫の傭車として金沢市場輸送の仕事をすることが多く、たまに仕事をもらって氷見港から魚を運ぶこともありました。東京が多かったですが、九州に行ったこともありました。

この傭車というのもひとつのキーワードですが、中西運輸商もその傭車を使って仕事を差配するのが中心のような会社でした。前にも書いているはずですが、自社のトラックの運転手は中西運輸商ではなく、中西水産輸送の社員だと聞いていました。なにか税金対策の目的だとも聞いていました。

昭和59年ころというのは社会全体としてもまだ不景気な時代で、雇用の条件とかも厳しいものがあったと思います。仕事内容でも経費削減のため高速道路の使用が大きく制限されたり、遥かにきついところがありました。加えて未開通の高速区間も多くて道路事情遥かに悪かったです。

関越道の関越トンネルが開通したのも昭和60年ころだったと記憶していますし、昭和59年の時点では富山県の朝日インターから新潟県の上越インターまでの高速区間がなく、国道8号線を通るしかない上、親不知付近ではなにかあったときの迂回路もありませんでした。

会社が強気で運転手が弱い立場という一面もあったかと思います。普通免許で乗れる4トン車では、求人での募集と採用も次々の入れ替わりがあり、大型車の方はトラックに乗務する運転手も決まっていて出入りも少なかったので、募集自体もあまりしていなかったようです。

まもなく訪れたのがバブル景気という時代ですが、それは過去を振り返った形で聞くようになった言葉だと思います。当時の自分は新聞もテレビもまともに見ていなかったので、なおさら無知ではあったのだと思いますが、余り意識しないままに仕事が増え、それなりに給料もよくなっていきました。

体感的な世の中の変化としては、ひょうきん族のようなバラエティ番組の登場や、おニャン子クラブの登場があったと思います。食に関する関心も高まっていき、グルメという言葉を聞くようになったのも、同じ過程かと記憶しています。

エサの仕事に関してはいい時はキロ20円の運賃と聞いていました。30トン積んで運べば60万円の運賃になるという計算だったと思います。昭和59年ころになると相場がずいぶんと安くなって割が合わなくなっていると聞いていました。

トラックの性能自体、現在とは比較にならないほど劣っていたと思います。4トン車でも昭和59年に私が乗務した頃の古いトラックというのは、昭和60年当時の新車に比較してもずいぶんと性能に違いがありました。

トラックのメーカーによる個性的な違いというのもありましたが、イスズ車はブレーキが強く、日野のトラックは弱いというのもありました。4トン車でも重量を積んでブレーキを踏んでいると焦げ臭くなって煙が上がり、とても危ない思いもしたものです。

10トン車の場合、ブレーキはエアーになっていましたが、重量を積んで余計にブレーキを踏んでいると、コンプレッサーのエアーがなくなり、ブザーが鳴るとともにブレーキの効きが極端に悪くなって、とても怖い思いをしたものです。

エサなど30トンも荷物を積んでいると、下手にブレーキが効き過ぎるのも恐ろしいことで、急ブレーキを掛けると保冷車の積み荷が箱を突き破って運転席（キャビンとも）に雪崩れ込んできて、運転手が圧殺される事故もあると聞いていました。

なお、丸太をワイヤーで留める木材の運搬の場合、そういう危険ははるかに高くて、死亡事故も多いとも聞いていました。現在では当時のように丸太を山積みにしたトラックというのも規制が厳しくなって走ってはいないのかもしれないです。

余談になりますが、北関東の方では栃木県の山の方から土砂などを山積みにして走る一発屋のようなダンプがいると聞き、60トンぐらい積んでいるとか信じられないような話を聞いていましたが、それらしい山盛りのダンプは、早朝に走っていました。平地でも超低速で。

昭和59年ころというのも、ちょうどトラックの性能が飛躍的に良くなりだした時期であったことも考えられます。チューブレスのタイヤが出るようになったのも昭和60年代だったように思いますが、4トン車にエガーブレーキがつくようになったのも昭和59年でした。

石巻から積むエサの仕事では、仙台港から名古屋港までフェリーに乗り、国道を走って大阪の南港や神戸港の方から南九州までフェリーに乗るとも聞いていました。フェリーに乗っている間は、運転をすることもないですが、名阪国道の天理の坂を下るのは神経が磨り減るとも聞いていました。

今はどうなっているのか知りませんが、平成3年の11月の終わり頃にも私は名阪国道を走ったことがあり、そのころも反対車線は急で長い下り坂が続き、止まるような超低速で坂を下る大型保冷車を見かけていました。

かつらぎ農協からミカンを積んで帰るのに時間帯的に近畿道辺りが渋滞しているかと思って、試しに西名阪、東名阪を走ってみたのですが、明らかに遠回りという感じで、それ以来は素直に近畿道を通って名神高速から戻っていました。

その時は関ヶ原インターから名神高速に乗ったのだと思いますが、北陸道に向かう米原ジャンクションの手前に伊吹パーキングエリアがあって、そのパーキングの公衆電話から被害者AAさんの自宅に電話を掛けたのです。

平成3年11月26日の夕方遅くには輪島のHさんと被告訴人多田敏明と一緒に会社を出発して北陸道に乗り、福井県の武生インターの近くのサービスエリアで落ち合い、そのあと私は大阪の市場に向かいました。馬鈴薯を積んでいたはずです。

翌日にはかつらぎ農協でミカンを積んだはずで、この日だとすると11月27日の夜にAAさんの自宅に電話を掛けたことになります。時刻は19時半ころだったと思います。

なお、今、武生インターの近くのサービスエリアをGoogleマップで調べたのですが、南条というサービスエリアがありました。そういえばそんな名前だったかと思ったのですが、武生インターの手前にあったと記憶にあるサービスエリアが、武生インターの先の位置になっていました。

改めてGoogleマップを見なおして気がついたのですが、手前に当たるインターは武生ではなく、今庄インターでした。国道365号線に通じるインターということは記憶にあったのですが、確かに武生の街からはだいぶん離れていました。

近道ではなかったですが、たまに気分転換で武生市から国道365戦を走って山越えをし琵琶湖の近くの国道8号線に出ることがありました。Googleマップで確認したところ、木ノ本インターのことも思い出しました。ずっと長い間忘れていたのに、スーッと自然に思い出した地名です。

% cal 11 1991というLinuxのコマンドで確認したところ、平成3年11月27日は水曜日になっていました。これも正確性を担保するためコマンド実行のスクリーンショットを撮っておきます。

2014-05-13-125806\_％　cal　11　1991.jpg pic.twitter.com/l7Grewj9LL

伊吹パーキングからの電話で私は休みの日に彼女をドライブにでも誘おうかと考えていました。それで休日の予定についても尋ねたように思います。

27日が水曜日だとすると翌日にはもう一度、大阪に向かっていた可能性も高いです。そうすると28日の金曜日の夜に伊吹パーキングから電話をしたという事実が成立しますが、そちらの可能性の方がはるかに高いと思います。

電話を掛けた時、彼女は少し困ったような様子ですぐに電話を切ろうとしていました。今から出かけなければならないと言っていたようにも思えます。

数日前の25日の夜の電話では、初めて電話を掛けてきても構わないというか、「だいじょうぶや」という返事をもらっていたのにです。この平成11月25日のことについても詳しく書いておく必要がありますが、日付をよく覚えているのは自分の誕生日の前の日ということもありました。

そしてその伊吹パーキングからの電話を最後に彼女はまったく自宅の電話に出なくなりました。次に電話に出たのは年が変わった平成4年1月12日の日曜日の夜のことでした。これも日付をよく覚えているのは、片山津温泉「せきや」であった泊まりがけの新年会の翌日のことであったからです。

地理的なことはさほど重要ではないと思いますが、地理的な位置関係も分かっていた方が理解も進むかと思うので、Googleマップでルートを表示してみました。伊吹パーキングに行った時は、三重県の桑名市から関ヶ原インターを経由しているはずかと思います。

2014-05-13-140409Googleマップ　和歌山県かつらぎ町〜滋賀県伊吹パーキング.jpg pic.twitter.com/tZpQpdIQqx

時刻は5月15日23時20分を過ぎたところです。また中断をしていましたが21時30分過ぎに家に戻りました。その10分ほど前でしょうか、考え事をしていると、これまで以上に大きなこと事実を紐解くキーワードと思える問題が頭に浮かんできました。言葉を変えると認識の程度が違ってきたのです。

今夜は疲れていて、他にやることもあるので多くは書けませんが、それは平成4年の事件に置いて、初公判前の弁護人選任のことです。すでに岡田進弁護士が国選弁護人として決まっていたのではないか思うのですが、現在の記憶を手繰ると微妙なところもあるかという感じです。

私の母親は金沢西警察署にいる間に、13回面会に来たと聞いた覚えがあります。誰に聞いたとなると、裁判所の広汎に置いて聞いたように思うのですが、これも現在の記憶では正確に思い出すのが困難です。公判調書では記載を見かけていないようにも思います。

そもそも岡田進弁護士が国選弁護人として選任されたという通知がいつ頃届いかのかも思い出せないのですが、その前に弁護人選任の問い合わせのような通知が金沢地方裁判所から届いていたはずです。これは既に公開済みの書面で日付が確認できるかもしれません。

極めてはっきりしていることは平成4年5月28日に金沢刑務所の拘置所に移送されたということです。本来初公判という日にちでもあったので、これはしっかりと記憶しています。

時刻は5月16日9時30分を過ぎたところです。思ったほどぐっすりとは眠れなかったのですが、疲れはけっこうとれました。天気は良いですが風が強い様子です。昨夜の続きを書いていきます。昨日は気分転換もでき、帰り道では閃きのようなものを得ることもできました。

金沢西警察署での取り調べですが、自分の感覚としては全体の4割程度の間に調書の作成をともなった取り調べが終わり、あとは取り調べがないか、あっても短い時間の雑談のようなものではなかったかと思います。

その時は多少不思議にも思っていたのですが、起訴されると弁護権の侵害にもなるので取り調べはほとんど行われることがないとずっとあとになって知りました。たぶんですが、10日間の勾留延長を経た上での起訴であったと思われます。

起訴状の撮影写真も添付資料の中には含まれていたかもしれません。事件を起こして金沢西警察署に出頭したのが4がu1日の20時23分ぐらいと聞いたように思うので、4月の23日ぐらいに起訴されたものと思います。

おおざっぱに考えますと、起訴されてから一週間ほどで弁護人選任の商会があって、国選を選んだところ、次の一週間ぐらいで岡田進弁護士に決まったという通知が届いたのかもしれません。

早い段階から私は国選でいいと言っていました。肝心の被害者が意識不明の状態で、私選弁護人をつけることは被害者家族をいたずらに刺激し、不信を招き兼ねないと判断したことが大きかったと思います。とにかく被害者の意識が戻ることが当時は最大の関心事でした。

過去に何度も書いてきたことで以前はインターネットでも情報を公開してきたことと思いますが、谷内孝志警部補は取り調べをしながら今後の見通しとして、被害者の意識が戻れば執行猶予と言っていたように思います。

よりはっきりと印象に強く残っている谷内孝志警部補の話は、1年2,3ヶ月ぐらいの実刑で、2年以上行って来いということはまずない、ということでした。妙に自信たっぷりで軽快に話をしていました。

金沢西警察署における留置場の生活では藤井さんと坂井さんという看守のような担当が二人いて色々と話をする機会も多かったですが、運動という時間がありました。金沢西警察署では15分ずつの午前と午後の2回であったかもしれません。

平成11年8月の金沢中警察署の時は、30分で一日一回だったように思うのですが、どちらもずいぶんと前のことになるので、あまりはっきりとは思い出せない状態です。

この運動の時間というのは実際のところ体を動かすというよりタバコを吸うための時間でした。専用の外の景色もほとんど見えず、日差しもまともには入らない場所で運動は行われていましたが、必ず一人の立会の警察官はいました。

その運動の立会の警察官は藤井さんや坂井さんに限らず、他の警察官であったことが多かったように思います。なかには派出所勤務から応援に来たと話す警察官の人もいました。

金沢中警察署で暴力団の係をやっているという人もいました。ずいぶんと胸板が厚く屈強そうな人でしたが、森と名乗られていたことも覚えています。ブスの方がひねくれて性格が悪くなり、美人のほうが素直で性格の良い人が多いと、一般とは異なるような持論も展開されていました。

藤井さんは定年間近だとも話していたように思いますし、かなり年配の人でした。坂井さんは私より年下で当時25歳と言っていたと思います。一人旅で中国旅行に行ってきたとか、筆談でなんとかなるとか話をしていたことも憶えています。

坂井さんの方はまだ50前のはずなので、現在でも石川県警察で警察官をしている可能性は高いと思います。

主に運動の際の立会の警察官だったと思いますが、ほとんどが執行猶予の判決になると予想しているような口ぶりでした。相場も何もわからなかったのですが、初犯であったことと自首したことが大きかったようです。殺人罪でも事情によれば執行猶予になるということも全く知らない状態でした。

そもそも執行猶予という言葉も聞き慣れないもので、警察の人に何度も説明を受けながら、なっとなく理解したという感じだったと思います。実刑の方に傾いていたのは谷内孝志警部補ぐらいでしたが、緊張感を持たせるために厳しい見通しを示しているのかとも考えることはありました。

被害者の意識が戻るということは刑が軽くなるという意味もありました。なにより厳しい見通しを示す谷内孝志警部補ですら、意識さえ戻れば実刑のはずはないというような言い方もしていたように思いますが、執行猶予の可能性以上に、意識の戻る可能性は低いという態度でもあったと思います。

改めて思うと、谷内孝志警部補を含め金沢西警察署の警察官のほとんどは、意識が回復することはないという大前提で、捜査と取り調べをしていたと思います。それが杜撰でおざなりの対応になったのだと思いますが、それもガソリンをまいたが火はつけていない、という状況だったと言えそうです。

別の言い方をすれば、魂の入っていない人形のような状態と言えたかもしれません。国選弁護人となった岡田進弁護士は、公判において江村正之検察官が被害者の意識が戻ったと述べても、そのあと接見にも来なかったし、なんの話し合いもないまま判決が出ました。

その岡田進弁護士の弁護がどのようなものであったか、一言でいえば恫喝です。まさに形だけの話をして、「反省、後悔するぐらいなら初めからするな」と言い放って、睨みつけて帰って行きました。それは悪夢のような光景でもありましたが、まだ被害者の意識が戻らない絶望的な状況下でした。

岡田進弁護士の弁護に関してもこれまでに何度も書いていると思いますし、インターネットでも情報を公開していたはずです。今でも検索すればなにがしかの情報は出てくるものと思われます。正味10分程度の接見時間だったでしょうか。とても完結で短かったので、もれなく記憶し書いていると思います。

私も気弱になっていましたし、迷いもありましたが、弁護士との接見となると話を聞いて立場を理解してほしいとは思いました。そのような切り出しで話を始めようとしました。どんな言葉での切り出しだったのか、ちょっと思い出せませんが、それはボクシングで言うカウンターパンチのような対応に。

そういうことは弁護士としての経験からも場数を踏んでわかりきっているという態度で、すかさず言葉を遮られ、主導権を握られました。そして切り出したのは次の2点の確認のみだったと思います。

一つは、事件を起こす前被害者との間に合意のセックスはありましたか？、という質問。もう一つは、犯行時お酒を飲んでいてアルコールの影響はありましたか、というような質問。どちらも質問というよりは確認だったと思いますし、そのようなことは供述調書にも記載のある事項かと思います。

そのあと、5,6年は言ってくるでしょう。という言い方をしました。突き放すような結果の突きつけという感じでした。量刑を左右しうるのは、先の2点の事項のみという判断であって、他は全く問題にする余地もない全くの無駄という感じが、極めて強く言葉と態度に現れていました。

弁護士というのはすさまじい仕事、商売なのだと改めて思います。はっきり言って私は岡田進弁護士の姿を目の前にすると、自制の自信がありません。躍りだして殴りだしたら止まらず、本当に殴り殺してしまう可能性すらあるとずっと思ってきました。

しかし、それとは裏腹にずいぶんと感情を抑えて岡田進弁護士のことは控えめに書いてきたつもりです。感情論という弁護士がお家芸的に利用する印象操作で、むしろ希釈化される実際のことが伝わりにくくなるだけと考えたからです。歴史的に弁護士が作り上げてきた社会基盤の一つだと現在は考えています。

また、これは岡田進弁護士という個人の人間の問題だけではなく、刑事弁護というものに根ざす反復継続性の高い問題だとも思いました。言い換えれば広汎的に出来上がった市場相場のようなものです。私の問題に目を向けた弁護士はゼロではないかもしれませんが、ほとんどいないという現実もあります。

そういう意味では諦める部分もあったと思います。岡田進弁護士は信じられないような必要最低限の接触しかしなかったので、それ以上のなにかをつかむという取っ掛かりもなかったのです。判決という結果を出したのも裁判所。それもまた弁護士という伝統と文化でしょう。神格された無謬性です。

弁護士が過去にいささかなりでも非を認め、謝罪し、見直しをはかった例があったでしょうか。私は寡聞にしてしりません。相当の情報量を得て注意深く観察してきたつもりですが、どうな問題でも非があるのは裁判所か検察、警察というのが一貫した弁護士のスタイルです。

私にとって弁護士というのは魑魅魍魎というのか悪霊的な妖怪のたぐいです。そう解釈する他ないのが、岡田進弁護士、木梨松嗣弁護士による対応の実体験です。とにかく想像を超えていました。言葉で尽くせない卑劣さと厚かましさです。それは社会に対する背信でもあると私は信じます。それ故の告発です。

客観的にみれば、一審の国選弁護人であった岡田進弁護士と控訴審の私選弁護人であった木梨松嗣弁護士は、同じ金沢弁護士会所属の弁護士であるという以上の、つながりを見つけることはできませんでした。おそらく探偵にでも頼まないと知ることのできない事実かもしれないという諦念もありました。

探偵に頼んだとしても地元であれば、弁護士の利益になるように動く可能性が高いとも考えました。

そういう雰囲気は、被告訴人大網健二に紹介された若杉幸平弁護士にも見て取れました。あの初対面の時の居合の気合をも漂わすただならぬ雰囲気は、岡田進弁護士のそれとも似ていると感じました。

岡田進弁護士の場合も、初対面なのにどうしてあそこまで攻撃的だったのかと、あとあと考えましたが、金沢西警察署の谷内孝志警部補が作成した供述調書の人物像によれば、そうなのかという諦めもありました。

その表現はおかしいと言っても、薄ら笑いを浮かべ同じ意味や、と言ってまともに取り合わなかったのも谷内孝志警部補ですが、当時は取り調べにおける問題が社会問題として表面化するようなこともなかったと思うので、戸惑いと諦めしかなかったです。

そろそろ昨夜、小木港からバイクで帰る道すがらひらめいたことを書きますが、木梨松嗣弁護士が一審での私選弁護人を断った真の理由のことです。

京都の母親の兄弟の親戚がお金を工面してくれるので弁護士をつけろということは、わりと早い段階から説得を受けていたと思います。当時は起訴という言葉も知らなかったので、その意味することの大きさの認識もなかったのですが、刑事裁判となれば弁護士ということは世間並みに理解していました。

やったことに間違いはないので言い訳など必要ないとも考えていましたが、そもそも私は理由を被害者に求めて事件を起こし、それでも満足な答えをもらえないまま、被害者は話のできない意識不明の状態となって、自分は留置場に囚われの身となったのです。

同時になにより事実を知るのは被害者の家族であって、その理解を得ることが最善の方向性だと考えていました。

伊吹パーキングからの電話以来、彼女つまり被害者AAさんが、まったく自宅の電話にでなくなったことは2,3日前にも書いていると思います。平成3年11月30日の土曜日が事実上の始まりだったと思います。

伊吹パーキングからの電話はその前日のことであったと思いますが、会社において不思議な光景を目にしました。午後であったとも思いますが、その場面だけは印象的に記憶に残っています。初めはまた何かの工事が始まったのかと思っていました。

自宅の電話に出なくなったことと同時に始まった会社で彼女が車を会社の裏にあるトラックと運転手の車を停める駐車場（以降、単に裏駐車場とも）での駐車のことです。

彼女が裏駐車場での駐車をやめたのは平成4年2月3日のことでした。ちょうど私が24トンのミールを積んで九州の福岡市に向けて出発した日のことです。

その日は月曜日でしたが、ミールの荷物は土曜日の2月1日に積み込んでいました。休日前に荷物を積むことは「積み置き」と呼んでいましたが、よくあることです。ただ普通、この場合、荷降ろしまでの時間的な余裕が大きいので、経費削減のため一般道を多く利用するのが普通でした。

九州への運行は金沢市場輸送の時に多く経験していましたが、積み置きではなくても翌日降ろしではない中一日の余裕があると、一般道を走り、福井県の敦賀から国道27号線、京都府の福知山で国道9号線、鳥取、島根と一般道を走って、山口県の山口インターから高速道路に乗るのが普通でした。

金沢市場輸送では山口インターか小郡インターから九州の高速道路の利用が認められていました。他の運送会社だと関門トンネルを走って全線下道の会社もあると聞いていたので、その点はまだ恵まれていたとも言えそうです。

下関で重量オーバーの冷凍物を積むと、台貫に引っ張られて捕まる可能性を避けるため、島根県の益田市まで海沿いの国道を走ることがありましたが、一部でも高速道路を使うのとでは倍ぐらいの時間が掛かったような感覚があります。時間帯にもよると思いますが。

市場急配センターでは金沢市場輸送より高層道路の利用も緩やかに認められてはいましたが、全く長距離の経験のない松平日出男社長が指示を出すこともあったので、そのあたりもかなり緩やかだったと思います。本恒夫とはしばしば衝突することもありましたが、自腹で高速を使うことはほぼなかったです。

その時も会社の指示に従ったのですが、土曜日に積んだ荷物を月曜日の朝に会社に出社してから出発しました。大阪か神戸の夕方のフェリーに乗船することが決まっていました。

その時は考え事が多かったので気が付かなかったのですが、敦賀から高速を降りて一般道を走るつもりでいました。それが時間的にかなりキツイかもしれないということに気がついたのです。会社を出たのは10時ころになっていたようにも思います。

大阪のフェリー乗り場といえば南港だと思いますが、たぶんその時は神戸の魚崎からフェリーに乗ったのだと思います。敦賀から一般道を走るのは、米原バリアでの検問を避けるためでした。

フェリーの時間に遅れて国道2号線で一般道を走ることになれば、重量違反で捕まるリスクも高まるし負担も大きいので、そのまま北陸道で米原バリアを通過したのですが、ちょうど検問をやっていて重量違反で反則切符を切られました。

一度捕まると、社名やトラックのカラーを記憶されて狙い撃ちにされる可能性もあるので、なおさらへこみました。反則切符を切られたのも数年ぶりだったと思います。

冷静に普段通りに考えていれば、昼間に敦賀から国道161号線や京都市内を通って、フェリーの時間に間に合うことがきついことは計算できていたのですが、その時は仕事にも集中できず、現実的に物事を考えるのが難しくなっていました。

そういう経験というのはそれまでにも多少はありましたが、自分一人で運転するしかないので、判断ミスの負担も大きく自分に跳ね返ってきます。

取り乱すほどではなかったですが、集中できない状態になっていたのは、出掛けの彼女の駐車のこともありますが、2月1日の夜に被告訴人安田繁克に会ったことが大きかったです。彼女に対する不信感というより得体の知れない恐怖心のようなものを感じる状態になりつつありました。

どれだけ手紙で頼んでも話にすら応じなかったのが控訴審での木梨松嗣弁護士の態度でしたが、上告審になるとあっさりと東京で国選弁護人になった斐川雅文弁護士から郵送で差し入れられてきたのが、被告訴人らの甲号供述調書でした。

縮小版でした。とにかく選任されてすぐに送ってきたと思うので、木梨松嗣弁護士から申し送りがあったのかとも考えました。木梨松嗣弁護士の場合は控訴審の判決が出る前も出てからも、さっぱり連絡がなくなって事実上の音信不通になっていたので、理由を考える取っ掛かりも見出だせない状況でした。

出たのは公訴棄却という判決だけでしたが、拘置所に戻ってすぐに問題を起こしたので、そのまま保護房に入れられ革手錠を付けられました。49時間ぐらい革手錠を付けられ、外されたあともまる一日ぐらい保護房に入られていました。物凄い判決に対する不服がありましたが、挑発的な母の言葉が原因でした。

「人権擁護委員を呼んで来い」と言って、アクリル板を拳で殴りつけたことは憶えています。母の言動は前々から誰かに指示を受けているようなところがあり、頭が混乱するので本当にやめて欲しかったのですが、それは事件の時の被害者に対する行動にも共通する苦痛の余りの反応でした。

その後も母親とはまともな話をすることもなく、母親は正気を失っていきました。認知症とも聞きましたが、体も付随になって寝たきりの状態が続いています。

本当は聞きたいこともありましたが、どこまで本当のことを話してくれるかもわからず、事実を聞き出すには相応の説明も必要かと思いましたが、そうすれば取り乱して危機を煽り、不則の事態を招くことも考えました。世話にもなっていた被告訴人大網健二や被告訴人KYNの関与が大きいからです。

プライバシーの強い問題なので書こうか迷いもあったのですが、私が福井刑務所にいる間に、頭がおかしくなった父方の親戚の人がいました。宇出津で被告訴人大網健二、被告訴人大網周一の大網兄弟とは同じ大橋組という町内でもあったので、小さい頃からよく知る間柄でもあったはずです。

大橋組は中町という町内と並んで宇出津の中心部の商店街のある場所で、今は昔のような賑もなくなってはいますが、以前は商売をやっている家の多い町並みでもなりました。地図には書いてない町内なので地元以外の人には極めてわかりにくいとは思います。

町内が一番の意味を持つのは宇出津のあばれ祭りの時かもしれません。小学校の頃までは父方の親戚とも多少の付き合いはありました。宇出津の祭りも大橋組のその親戚の家に行っていました。親戚であることは被告訴人大網健二もよく知っていたはずです。

平成9年の1月18日に私が福井刑務所にを満期出所したことはこれまでにも何度か書いたと思います。そしてその年の7月の1日か2日の夜に、宇出津まで出向いてくれた被告訴人大網健二と被告訴人KYNの二人に手伝ってもらって、金沢の北安江の借家に引っ越しをしました。

引っ越しをするまでの間、何度か金沢に行ったこともありましたが、ほとんどは宇出津の家にいましたし、車もバイクも自転車もなかったので、家から出るということも少なかったと思います。

そんな時に、ときどき家に来ていたのが頭のおかしくなった親戚の人でした。疑いもなく精神病のような状態でしたが、人が誰かもほとんど認識ができていない様子で、会話も成り立たない感じでした。

私が母親から聞いた話では、なにか選挙の運動員のようなことをやっていて、選挙違反のような問題で警察の追求を受けたところ、深刻に悩んでいるような様子が続いて、そのうち壊れたような状態に発病したとのことでした。

その後、少し小耳に挟んだ2件ほどの地元の人の話では、そのような選挙の話もなく、真偽の程もわからないのですが、とても気になり引っかかることがあるので、事実の確認も私には難しいですが、この事実は他に被害を及ばさないためにも、明らかにしておこうと思います。

それは控訴審の公判における小島裕史裁判長の一言でした。軽く笑ったような感じで、親戚に精神病の人はいませんか？と私に質問をしてきたのです。それは木梨松嗣弁護士が一方的に請求した精神鑑定の実施が決まった直後の発言だったようにも思います。それ以外は考えにくいです。

その時の公判は始まってまもなく3人の裁判官が出てきた法廷の机の後ろのドアの向こうに引っ込み、2,3分か長くて5分、やはり2分もないような短い時間だったと思いますが、もとの机の席に戻ってすぐに、小島裕史裁判長が精神鑑定の採用を決定として告知したのです。

控訴審では被害者の兄が傍聴席で暴れて以来私は弁護人の席の前に長椅子をおかれてそこに座っていました。テレビなどをみていると現在はそれが主流になっているようにも思えるのですが、以前はテレビのドラマでも被告人は傍聴席の前で、裁判官に真正面で向き合うのがごく当たり前になっていたはずです。

自分で決めれるようなことでもなく、また説明もなかったのですが、付き添いの刑務官に連れられるままに弁護人席の前で長椅子に座るようになりました。長椅子では隣に刑務官が座るのは同じです。

傍聴人の前に座っていると、裁判官は正面になりますが、傍聴人席は真後ろになるので、着座や離席の時以外は傍聴人席の様子というのはわかりにくかったと思います。横に刑務官もいるので、後ろを振り向くわけには行かず、公判が始まっていれば裁判官から注意を受ける可能性も意識するものかと。

なんであれ被害者の兄が暴れたことで、座る場所が変わったのですが、おかげで法廷の全体を見渡せるようになりました。そのための演出だったのかと考えることもありましたが、木梨松嗣弁護士の指示、采配であるということも可能性としては考えることもありました。

前にも書いたことがあると思いますが、被害者の父親はずっと公判の傍聴に来ていたわけではありません。控訴審の初公判の時も姿はなかったと思いますし、一番印象に残ったのは、本来関係者が最も関心を寄せるはずの、判決公判にその姿がなかったことです。

その前回の公判では父親だけではなく、母親らしい人の姿もあり、ずっとすすり泣いているような様子でもありました。

判決公判に姿を見せなかったのはあえて解決を先送りにしたとも解釈出来ましたし、それが面会にも説明にも来なかった木梨松嗣弁護士の態度にも歩調を合わせるように重なってみえることもありました。

木梨松嗣弁護士の面会というか弁護人としての接見については、前にも記憶をまとめ整理するようなことをしたように思います。ただ、その内容に関しては触れないままお流れにしてしまったように思います。

木梨松嗣弁護士の接見というのは一度も事前の連絡がなく、いきなりの訪問だったと思います。時間的にも短いものだったと思います。ただ、初めての接見に関しては、事前に今日あたりに弁護士が来るということは、聞いて知っていたと思います。

たぶん面会に来た母親から聞いていたのだと思います。ちょうどお盆休みの終わりの頃だったとも記憶しています。

8月18日ではなかったかと思います。カレンダーで確認すると17日は月曜日なので、その可能性もあるかもしれません。

同じ日だったように思うのですが、京都の親戚の人が面会に来て、その前に別の面会がありました。拘置所の規則として面会は一日1回という決まりがあったので、事前にしっかり調整をして連絡を入れておくようにと、刑務所の職員からきつい注意を受けたことでもよく憶えています。

遠く京都から来たということでしぶしぶと許可を出したらしいのですが、その前に別の面会をやっていたのです。午前中のことであったのかもしれません。今の記憶でははっきりというかすっきりと思い出せないのですが、松平日出男の面会があったのもお盆過ぎの同じ頃だったと思います。

拘置所への面会はそれが最初で最後でした。すでに何度か市場急配センターの会社に手紙を送り、被害者AAさんの意識が戻ったらしいということも伝えてあったはずです。

金沢西警察署の留置場にいる頃は、3回か4回ぐらい面会に来ていました。終わりから2回目の時は、被告訴人浜口卓也と二人で一緒に来ていました。他に会社から面会に来たのは、被告訴人安田敏が一回だけでしたが、本人の意思ではなく、周りからあれこれ言われて仕方なくやってきたという感じでした。

時刻は5月17日7時31分を過ぎたところです。昨夜は,PC遠隔操作事件の真犯人からメールがあったというニュースを21時前のEテレの手話ニュースで知って、それに関する情報を見て回ったりして、そのまま眠ってしまいました。

自称真犯人からのメール（本日午前11時37分に送付されてきた） - 弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 (id:yjochi / @yjochi) <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/20140516#1400218482>

上記は落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログのURLと記事のタイトルですが、普通には取得できないものです。ツイートのボタンをクリックして、送信用のウィンドウに出てくる文面をコピペしました。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）本人が理解した上であえてそうしているのかも不明ですが、Hatena::Diaryの設定を日記形式にしているため、日付形式のタイトル名しか取得できないはずです。ブログ設定を選択すれば、普通にブログの記事としてのタイトル名を取得できるはずなのですが。

他に気になる反応もありましたが、いずれも弁護士、ジャーナリストの姿勢としてとても参考になるものです。次はジャーナリスト江川紹子さんの気になるツイートを３つまとめてスクリーンショットにしたものです。これは自称真犯人のメールではなく、当日の公判に関したコメントでした。

2014-05-16-224106\_【PC遠隔操作事件】江の島の監視カメラ映像を解析した警察官が証言。.jpg pic.twitter.com/buLTmnON6s

自称真犯人からのメールに関しては、意外な弁護士からの意外な反応もツイートで見るとが出来ました。本音という感じかと思いますが、本職の弁護士の見解、分析として参考になるもののいずれも一つです。

2014-05-16-223524本当に真犯人からのものだとしたら、検察は赤っ恥。.jpg pic.twitter.com/7zhDdawUBU

2014-05-16-223402私が真犯人なら、もう少し裁判所や検察官を泳がすな。日本の裁判所や検察官の事実認定能力が白日の下にさらされる。.jpg pic.twitter.com/JjzOJqr0vT

谷山智光弁護士のツイートですが、かねて注目している弁護士のお一人です。まめにチェックをしているわけではないですが、ツイート数も多くないのでたまに気がついた時にブックマークを開いて見ています。

京都弁護士会の所属ということも注目理由の一つですが、刑事弁護に熱心に取り組まれ、司法修習生の指導のようなこともされているそうです。次の世代の弁護士に影響を与えうる存在としても、それなりに注目していますが、刑事弁護の本質に関わるようなツイートも散見されます。

次は初めての試みになったかと思いますがTwilogでの検索結果をスクリーンショットしたものです。ツイートの日付もわかりやすく、全体と流れを把握しやすいので、これは好都合だと思いました。Twilogの新たな活用法の発見です。

2014-05-17-075249弁護士　谷山智光（@taniyama）／「お茶屋」の検索結果　-　Twilog.jpg pic.twitter.com/MQwEfgdZuu

今私が使っているノートパソコンは15.6インチの画面ではなかったかと思いますが、Twitterの画像をクリック拡大しても余り大きくはならず、正直文字の判別がしにくいです。

ディスクトップパソコンの大きな画面だと、Twitterの画像の拡大表示は横幅で1024ピクセルになっていたように思います。それだけあれば文字の判別に困ることは少ないように思います。

参考までに私はノートパソコンのディスプレイを1920x1080(16:9)の設定にしています。

参照にURLを指して提示しているのはツイッターの非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）のアカウントの写真付きツイートですが、同時にGoogleの写真サービスPicasaウェブアルバムにも同じ写真をアップロードするようにしています。

細かく言えばPicasaウェブアルバムにアップロードしてからツイートしています。自分が作ったスクリプトの関係で、Picasaウェブアルバムのアップロードに成功すると、ファイルのタイムスタンプが変更されて、ファイルブラウザでのファイルの並び順が変わってくれるので、確認にしています。

「お茶屋」というのは私自身、割と最近まで余り馴染みのなかった言葉で、余りピンとこなかったのですが、たまたまテレビで見た番組や特集のこともあって、金沢の茶屋街のことを意識するようになりました。

谷山智光弁護士の指す茶屋街というのは、京都のことで有名な先斗町のような花街で、舞妓さんとか芸子がいる古い伝統的なスタイルのお店のことかと思います。

LinuxでMozcという日本語変換ソフトを使っているのですが、先斗町と変換できず、確認も兼ねてネットで調べたのですが、どうも自分は北斗町と書いて「ぼんとちょう」と読むものと軽く勘違いしていたようです。詳しいことはしりませんが、知名度は高くイメージも共有されているはず。

本書においても金沢の茶屋街のことは被告訴人竹沢俊寿の家があるらしい（あったらしい）野町や、その周辺の石坂（いっさか）のことで書いていることがあると思います。石坂の周辺は市内配達の仕事でも通ることがありましたし、割と馴染みはありました。

増泉一丁目ではないかと思いますが、町から外れた通り沿いに、小さな漬物の工場があって、そこに野菜を運んだことが何度かあったのです。石坂とも近いので、花街と漬物の組み合わせというのも妙なものだと考えることはありましたが、漬物も金沢の名物の一つでもありました。

予定外の方向にずれてしまいましたが、白紙の状態の人にはわかりようもないことなので、私が体験した金沢市場輸送の実態に関する説明に、横道ですが舵取りをしたいと思います。それがより多くの人に影響を与え、対応の判断にも資するところがあると考えるからです。

本書においても何度も繰り返してきたように思いますが、本件事件の舞台となった市場急配センター株式会社の前身は金沢市場輸送株式会社です。

改めて整理をすると平成1年の秋頃ぐらいに、金沢市場輸送の市内配達が独立して市場急配センターが出来たと聞きます。新会社の設立というのは具体的な実感を伴うものではありませんでした。事務所もそれまでと同じ場所で全く同じように共有をしていたからです。

より大きな感心事は、会社が2つにわかれたことで、被告訴人竹沢俊寿が金沢市場輸送の社長から金沢市場輸送と市場急配センターの会長になったという話でした。

ここで気がついたのですが、「被告訴人竹沢寿俊」と単語登録したものを使っていたところ、「被告訴人竹沢俊寿」の間違いを登録していたようです。告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）にツイートしたものは変換できませんが、本書の前行までは正しいものに置換します。

ここで手違いで失われた部分を告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のツイートからコピーします。同時にこの直前の行が、ツイートされていないあるいは投稿に心配したことに気がついたので、さきにそちらをツイートします。以下はコピペの内容です。

念の為開いていたEmacsのファイルをいったん終了して、viエディタでファイルを開いて、次のコマンドを使って文字列置換を実行しました。

:1,.s/竹沢寿俊/竹沢俊寿/g

置換の方法はsedと同じですが、1,.の部分はファイルの一行目から現在カーソルのある行まで、という指定になっています。そのあと現在行の後方にも意図せぬ間違いがないかは確認しました。

重要なファイルの変更にはEmacsを使わず、viを使うようにしています。一般的には常識かと思いますが、キーボードを打てばボタンに対応した文字が入力されます。これで意図せぬ文字が入ってしまうことを回避する癖がついています。

vimだと文字の挿入モードとコマンドモードが明確に分かれています。置換にはコマンドモードのみを使い、編集後は保存をしてファイルを閉じています。

Mozcの単語登録の方も修正しましたが、ATOK X3 for Linuxの辞書から引き継いだものから間違いを重ねていたようです。相当前からと思われますが、気がつくにも時間がかかったようです。

ついでの説明になりますが、本人は被告訴人竹沢俊寿の俊寿を「しゅんじゅ」と読むと私に話したことがありました。平成2年下3年ころのことだったと思います。それまでは「としひさ」と思い込んでいたので、ふざけた冗談で言っているのかと半信半疑のままでいました。

それに似たことがあったので、ついでにそれも書いておきたいと思います。これは検察官の対応としても考えさせられる要素があるのですが、常識からは外れると思うものの、なにが正しいのか本人でなければわからないとは思います。

それは告訴か告発のことで、検察事務官を一人伴い、金沢刑務所に聴取に来た浜崎はじめ（漢字が不明なので、ひらがなにしておきます。以降同じです。）検事の発言でした。

発言というよりは多分、私が郵送で提出した書面を読み上げていた時ではなかったかと思われます。被告訴人安田敏の敏を浜崎検事は「びん」と読み上げたのです。今の段階ではわざとらしい間に合せの対応しかできないですよ、という暗黙の意思表示にも理解されました。

ところが最近になって昭和の時代の右翼の活動家、赤尾敏という名前の瓶の字が、「びん」と読むとしったのです。なにかのニュースか話題に触れて、検索をしている時のことだったと思います。

以上でコピペで復元した部分の記載は終わりです。最後の行で「名前の瓶の字が」となっていたことも気がついたのですが、これは「名前の敏の字が」の間違いです。

本当はTwilogからコピペをしようとしたのですが、そこで一つの問題に気が付きました。プログラムで使われる特殊記号の文字が欠落した状態でTwilogに保存されているらしいということです。これも怪我の功名のようなたまたまの発見でした。

わかりづらいところもあるかと思いますので、端末の画面をスクリーンショットにします。

2014-05-17-110500\_％　tac　kkhirono140517。csv　｜cut　-d’,’　-f3　｜　sed　’s／”／／g’　｜　tai.jpg

jpgのスクリーンショットのファイル名は、自作のスクリプトの中で特殊記号のサニタイズ処理をしています。手っ取り早く全角記号に変換しました。今思えばサニタイズ用の関数でも探して処理したほうが良かったかもしれなかったです。

サニタイズのことをサニタライズとか思っていたのですが、間違いを書いてもいけないので、いつのもように確認のためネットで調べたところ、サニタイズは消毒という意味があることも新たに知りました。

まだ説明は書いていなかったように思いますが、このスクリーンショット用のスクリプトは、事前にマウス等で範囲選択した文字列の初めの31文字分だったかを、自動で抜き出してスクリーンショットの取得時刻と拡張子の間に挟むという仕様というか書式にしています。

なぜ日付時刻を先頭にしたかというと、ファイルの並び順をわかりやすくするためです。更新日時などで並び替えをすると、ちょっとした編集をしたことでも並び順に齟齬が生じてしまいます。

スクリーンショットということで初めはデジカメの写真ファイルとも区別するため、pngのファイル形式にしたのですが、ファイルサイズが大きすぎて一つ２MBを超えるものまで散見されたので、jpg形式に変更しました。

その前にpngのファイルサイズを縮小するためのソフトを使ってみたのですが、大して小さくならなかった上に処理に時間も掛かり、おまけにファイルの更新日時が変わってしまって収拾がつかなくなってしまいました。jpgに戻してからは問題ないと思います。

ちょっと勘違いしてスクリーンショットのファイル名だけにしていたようです。改めて掲載をやり直します。ファイル名から大体の意味はつかめる文字数にはなっていると思います。

2014-05-17-110500\_％　tac　kkhirono140517。csv　｜cut　-d’,’　-f3　｜　sed　’s／”／／g’　｜　tai.jpg pic.twitter.com/4TMj0CUJ97

ファイル名の文字数を控えめの数にしているのは、このように写真付きツイートのURLを、告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のツイートに含めるためです。

画像ファイルは非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に投稿したものですが、文脈の流れでの引用は告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のツイートになります。

httpなどは含まれていませんが、Twitterの仕様としてリンクになるだけではなく、写真・画像ファイルそのものも、あたかもそのアカウントで投稿したのと同じように表示されます。

これもスクリーンショットとしてお見せしたほうが、ごちゃごちゃ書くよりわかりやすかと思います。文字列もファイル名の一部として利用します。

2014-05-17-114212これもスクリーンショットとしてお見せしたほうが、ごちゃごちゃ書くよりわかりやすかと思います。文字列もファイル名の一部として.jpg pic.twitter.com/uzBZUIizD6

なお、意識してパソコンを使っている人は多くないと思いますが、ファイル名の長さには制限があります。私自身最近までOSの違いかと思っていたのですが、どうもファイルシステムのフォーマットで違ってくるようです。

Windowsパソコンの一般的なフォーマットはNTFSだと思いますが、Linuxではext4が主流のようです。古いWindowsパソコンやUSBハードディスクではFAT32でフォーマットしている例もあるかと思いますが、ざっと調べたところ、文字数制限に大差はないようでした。

DVDに焼くとき、Windowsパソコンでは扱えないファイル名が含まれています、などという警告が出ることもあるので、その時はファイル名を変更するなどの対応をしたいと思っています。

またファイル名の文字数の制限にはファイルの絶対パスの文字数も制限があるので、フォルダをコピーする際のパスの階層の深さにも注意が必要かと思います。さらに言えばWindowsによくあるフォルダ名に半角スペースが入るフォルダの階層は避けたほうが無難かと思います。

次は写真付きツイートをクリックで拡大した場面のスクリーンショットです。慣れていない人だとそういうことに気が付かないかもしれないので、念の為にご紹介しておきます。元の画像部分のマウスでのクリックになります。

2014-05-17-115735次は写真付きツイートをクリックで拡大した場面のスクリーンショットです。慣れていない人だとそういうことに気が付かないかもしれ.jpg pic.twitter.com/kcB3flavSM

拡大した画像は右上のバツ点マークをクリックしても元に元に戻せますが、画像以外の余白の部分をクリックしても同じかと思います。またこの種のブラウザでの画像の拡大はボタンもない全画面表示になることもありますが、ESCキーを押せば元に戻ることがほとんどかと思います。

そういえばPicasaウェブアルバムのURLをまだご紹介していなかったと思います。間があくと操作方法も忘れ面倒なので「参考資料」は使わずに、タイトルとURLを掲載します。なお、これに限っては後日変更の予定もあるので、それもご説明しておきます。

告訴状の内容に関連したスクリーンショット - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/DgRfAJ>

Picasaウェブアルバムでは一つのアルバムに2000枚までの写真・画像ファイルをアップロードできるという情報も見かけてはいるのですが、余り数が増えすぎると管理も取り扱いも面倒になると思いますので、一定の期間の区切りで別のアルバムにするつもりです。既に作成さたのが次です。

告訴状の内容に関連したスクリーンショット／2014年4月27日から同年5月8日分 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/201442758>

「写真: 71 枚 – 45 MB」という説明があるのもわかりやすくて助かります。比較的データサイズが大きいのは、先ほどご説明したところのpngファイルが含まれているためです。

他でもだいぶん前に説明したようにも思いますが、全角スラッシュで区切られているのはDVDにも保存する予定のフォルダの階層です。実際私のパソコンの中では次のようなパスになっていますが、これはUNIXのパスなのでWindowsユーザには馴染みがないかもしれないです。

/home/a66/kkhirono/告訴状の内容に関連したスクリーンショット/2014年4月27日から同年5月8日分

kkhironというフォルダを丸ごとDVDに保存して添付提出する予定ですが、そこからの相対パスをPicasaウェブアルバムのアルバム名に対応させていることがお分かりいただけると思います。スラッシュの記号は半角のままだと問題を起こすことがあるので全角に置き換えています。

なお、Linuxを含めたUNIX環境ではWindowsパソコンで言うフォルダのことをディレクトリと呼ぶのですが、ディレクトリという言葉も最近は見かけなくなったので、一般的にフォルダとも呼びますが、違いがあるといえばあるかもしれないです。

ついでなのでLinuxのフォルダブラウザについても、スクリーンショットでご紹介しておきたいと思います。見た目はWindowsのそれと大差はないと思います。種類がありますが、これはnautilusというアプリです。

2014-05-17-123855ついでなのでLinuxのフォルダブラウザについても、スクリーンショットでご紹介しておきたいと思います。見た目はWindow.jpg pic.twitter.com/NngSW2NoVj

さきほどファイル名名やパスの文字数に制限があると書きましたが、正確には文字列のバイト数だったと思います。WindowsパソコンとLinuxでは使用される文字コードも違っています。LinuxはUTF-8です。文字コードの問題は奥が深くてかなりややこしいです。

Picasaウェブアルバムだとファイルがファイル名を含めてアップロードする前と同じ状態で保存されておりますし、Exif情報も残っているようです。元のファイル名のままダウンロードすることも出来ます。

Googleにログインしていない状態だと、Google+の写真として表示されるかもしれません。同時に「Picasaウェブアルバムに戻る」というリンクが表示されることもあります。写真自体はGoogle+の写真として見たほうが見やすいかもしれません。

ほとんど見かけないので知られていないことかと思いますが、Google ChromeやFirefoxといったブラウザだと、Picasaウェブアルバムの場合、日本語を含むファイル名のファイルが拡大表示できないようです。出来ないというか画像のあるべき部分が真っ黒に表示されてしまいます。

どうもGoogle+だとそういう問題もないようです。アルバムの管理をする場合はPicasaウェブアルバムを使っていて慣れてもいるのですが、写真の閲覧に関してはGoogle+をそのまま使ったほうが良さそうです。

時刻は5月18日9時34分を過ぎたところです。昨日は14時ぐらいかに電話があって、パソコンの調子がおかしいので見てほしいと頼まれて、結局それ以降、中断になりました。

昨日はいろいろと書いて、あちこちに飛んで、ごちゃごちゃになったかと思いますし、私自身、把握が普段以上に難しくなっています。金沢市場輸送と市場急配センターの成り立ちとその周辺事情について書いておきたいとも思っていたところではありました。とりあえずそのあたりから再開です。

<> <#LINK-ID_6> 金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

やはり重要なところは「*\*参考資料*」を使おうと思います。一覧的なまとめがあったほうがわかりやすいと思ったからです。ちょっと使い方を忘れていて、調べるのに時間が掛かりました。結局調べても見つからなかったのですが、C-c cとやってみるとうまくいきました。

URLのリンクを探すためにページ内アンカーを辿るのも非効率と思いますので、さいどタイトルとURLのみを掲載しておきます。「参考資料」は索引的なものとして、ご利用いただければと思います。私自身も作成の過程で、重複の内容に活用したいと思います。

金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/_20130905>

あらためてPicasaウェブアルバムのアルバム名を見ると昨年の9月5日の作成となっているようです。今年のはじめの方だったかとは思っていたのですが、それよりかなり前のことで、けっこう意外でした。Googleマップのスクリーンショットだったと思います。

Googleマップの紹介だけでは年月の経過で内容が変わってしまうということも考えたからです。きっかけは前波の堤防であったかもしれません。

石川県鳳珠郡穴水町前波 - Google マップ : <http://bit.ly/1gdF0RD>

上記Googleマップの前波港ですが、今から3年ほど前に何度か魚釣りに行っていました。漁港の入り口の海に向かって右側の方に割と新しい堤防があったのですが、私が初めに行った時から地続きでした。

ところがGoogleマップで見ると、その堤防が付け根の部分が陸と繋がっていない、いわゆる離れ堤防だったのです。今日見たGoogleマップの航空写真では私が見たのと同じ地続きの堤防にはなっていました。

そんなこともあってGoogleマップやストリートビューの撮影日についても検索で調べたのですが、思うような情報は見つかりませんでした。

一月ほど前でしょうか、テレビでたまたまGoogleのストリートビューにヒストリー機能がついたというような情報に接したのですが、大都会や観光地あるいは東北の被災地から手始めというような話だったので、一般的になるのはまだまだ先と思われました。

私が2010年の12月20日ころから魚釣りに行くようになった小木港でも、姫側の一番大きな堤防は、数年前まで離れ堤防だったという話を聞きました。

小木の地元の人に何人か聞いたことがあるのですが、その堤防の名前もはっきりしないようです。方角としては西側にはなるはずです。また、私は1年ちょっと小木分校の高校にも通いましたが、ほとんど小木の海を見たという記憶が残っていないのです。

町の中の港の方はなんとなく憶えていますし、当時は船の数も多かったです。特に12月の後半から春に遠洋漁船が出漁するまでは、沢山の船が港にいましたし、船の姿で港の海も記憶に残らなかったような気もするぐらいです。

その港も港のは入り口の右側に白い灯台のある堤防がありました。この堤防は今もあります。出漁を見送る際、ホーク２というバイクで、足場板一枚になっていた堤防に駆け上がったことを覚えているのですが、港の外側の風景というのは不思議と記憶にありません。昭和５７年のことです。

海に行っていろいろと話を聞いていると、小木でも自分の住む宇出津でも、かなりの場所が以前は海であったり、埋め立てになったと聞きました。昔は聞いたこともない、話題になったこともない話だったので、身近でもわからないでいることが多いものだと思いました。

私の中で小木港というのは昭和59年に金沢市場輸送にいた頃、当時の中央市場の風景とも重なるところがあります。関係者の多くが小木の遠洋漁船に乗り組んでいたことも、これまでに何度も説明を書いていると思います。

GoogleマップではなくGoogleストリートビューの画面をスクリーンショットした先ほど紹介のPicasaウェブアルバムですが、スクリーンショットを実行した時の感想としては思った以上に昭和59年当時と変わっていないという印象でした。作業に集中していたのでよくはみていないですが。

Picasaウェブアルバムでは個別の写真・画像ファイルの説明もしにくいと思うので、同じファイルをTwitterに投稿して、それで説明を行いたいと思います。

金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日01時43分36秒.jpg pic.twitter.com/X5PhOLDLrs

上記画像のほぼ中央正面の2階建ての建物が金沢市場輸送の事務所のあったテナントビルです。ペンキが塗り替えられたのかもしれないですが、駐車されている車に注意でもしなければ、昭和59年当時と見分けがつかないようにも思えるぐらいです。

2階に窓が見えますが、右側から3番目か4番目が金沢市場輸送の事務所のあった部屋です。右から1番目や2番めの部屋というのは昭和59年当時も使われているのかいないのかもわからないような部屋でした。隣に社長室の部屋があったことも説明済みと思いますので、繰り返しはしません。

この画像の中の写真を見ても、商店とか市場という雰囲気が伝わるかと思います。当時の金沢市場輸送もそんななかに溶け込んだような雰囲気はあったと思いますし、活気のようなものも感じられる時代でした。

金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日01時45分47秒.jpg pic.twitter.com/egpEFadijn

上記次の画像は、もう少し範囲を広げて左方向へとずらした状況です。車の数が多いので午前中の過能性が高いと思います。午後になると車の数も減り、夕方になると車も人の姿もほとんどないということが多かったと思います。

金沢市場輸送の事務所のあった建物と道路を挟んだ向かい側にも似たような建物がありますが、その裏側は中央市場の敷地内になります。先に説明をしておきたいと思うのは、その左側の建物の手前辺りのことです。自販機という文字も見えるかと思います。

時刻は5月19日8時20分を過ぎたところです。再開します。

建物の2階の正面から見て3番目か4番目の窓ガラスの部屋が金沢市場輸送の事務所であったことは昨日も書きました。左隣の部屋がアコーディオンカーテンで仕切られた社長室であったことも前に説明していると思います。

その社長室の左隣ではなく、私の記憶の感覚では間に１つかあるいは２つ挟んだ部屋が、市内配達の事務所のようになっていた時期がありました。全体の建物の真ん中よりは右側の方に部屋があったようにも思いますが、そんなに長い建物ではないので、だいたい中央付近だったのかと思われます。

いつ頃にその市内配達の部屋が出来たのかもはっきりとは思い出せませんが、市内配達の責任者のような立場で現場をしきっていた高田が、姿をくらました後であったと思います。会社かなにかの金を持ち逃げしたような話もありました。

昭和63年の7月と思われる時期に、二口町に金沢市場輸送の新しい事務所ができるまで、市内配達の事務所も継続していたはずですが、私は一回か二回ぐらいしか、気まぐれでその部屋を見物に入ったことがあるだけでした。

金沢市場輸送の長距離の仕事と市内配達のの仕事というのは接点もほとんどなかったと思います。強いて言えば春のたけのこの時期に、同じ中央市場内からタケノコを積み込んでいたぐらいかと思います。もともと別会社が同居しているような感じでした。

ついでに書いておきますと、被告訴人浜口卓也が2トン車で新潟県内にタケノコを運んでいるという話を聞いた時期がありましたが、タケノコを積む現場では顔を合わせていなかったように思います。

今、とくダネ！という朝の情報番組を横目で観ながら書いているのですが、「YAH　YAH　YAH」という曲が1993年の夜のヒットスタジオとして流れていました。平成3年の終わりか平成4年の初めころに、よく耳にしていた曲だという印象が強いです。

チャゲアスという歌手はほとんど関心がなく自分でカセットテープに録音した記憶もないのですが、歴代の楽曲の売上枚数の変化が紹介されていて、その激減ぶりに驚きました。市場急配センターは右肩上がりに急成長したはずなので、対照的にも思われました。

「あなたが泣くことはない」という曲は1万9千枚だったという。

ちなみに平成4年当時も、トラックも軽四も音楽を聴くのはCDではなくカセットテープでした。家にCDはあったので、レンタルレコード店から借りてきたCDをカセットテープに録音していたと思います。

「YAH　YAH　YAH」（1993年発売）というような文字がテレビの画面に出てきました。これはテレビの間違いではないかと思います。

CHAGE and ASKA - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/CHAGE_and_ASKA>

上記ホームページなどで調べたのですが、たしかに平成5年の発売のようです。ドラマ『101回目のプロポーズ』の主題歌の方は私の記憶とも一致し、平成3年だったようです。

「YAH　YAH　YAH」という曲を耳にすると決まって平成3年の終わりから平成4年4月1日までの被告訴人多田敏明との関係を思い出すのですが、どこかに記憶の混同があったのかもしれません。たまにあることですが、自分の記憶に不安を感じることもあります。

「YAH　YAH　YAH」という曲を耳にしていたのは長渕剛の「しゃぼん玉」という曲がヒットしていた時期と重なると思っていたのですが、長渕剛のアルバムの方は、カセットテープに録音してトラックで聴いていたと思います。

「YAH　YAH　YAH」の方は録音もしていなかったはずですがよく耳にしていたという憶えがあり、それは「愛は勝つ」というヒット曲にも似ていました。録音はしていませんでしたが、よく耳に入ってくる曲でした。ラジオが多かったとも思われます。

長渕剛 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%95%B7%E6%B8%95%E5%89%9B>

で確認したところ、「10月25日、シングル『しゃぼん玉』リリース。ミリオンセラーとなる。」となっていました。思っていたよりは1,2ヶ月先に出た曲だったようです。ドラマもあったようですが、ドラマのことは記憶にありません。

そういえば平成9年の2月か3月ころに、長渕剛が主演の2時間ドラマをテレビで観たことがあり、数年ぶりに刑務所から出てくるような話ではなかったということを思い出しました。

同じホームページですが、どうも「1月24日、『とんぼ』の続編に当たるテレビドラマ『英二ふたたび』が放映。」の部分のようです。1997年になっているので、平成9年です。

あるいは首都圏と石川県では放送日が異なっていたということも、ありえないことではないのかもしれません。私が福井刑務所を出たのは1月18日なので、これでは早すぎるという気もします。

また、その長渕剛が主演の2時間ドラマを観た日の前後に、突如被告訴人KYNとK君が宇出津の家に来て、越坂の天国に行ったということも、自分の記憶の感覚としては残っているのです。

よく考えてみると、たしかに被告訴人KYNが訪ねてきたのは、福井刑務所に迎えに来てから一週間ぐらいあとだったかもしれません。配管の仕事で宇出津に来ていると話していました。

他にも宇出津の方で配管や水道の修理のような仕事を請け負うことがあると話していましたが、私が一緒に仕事をしているときは、一度もなかったと思います。

同じ頃と言いますが、平成9年の前半ですが、被告訴人大網周一ともちょくちょく宇出津の新村の銭湯で顔を合わせていました。彼もこちらに仕事に来ていると話していましたが、柳田中学校の体育館の工事とか、より具体的な話はしていたち思います。

この新村の銭湯というのは2年ほど前にボイラーが壊れたらしくいきなり店じまいになりました。新村というのも住所ではないので普通に調べてもわからないと思いますが、数馬酒造の斜め向かいです。建物は今も残っています。

市場急配センターの話に戻します。高田がいなくなってから、市内配達の別の部屋ができたと思うのですが、現場を管理する責任者が不在になったようなかたちでもあり、臨時代行のような立場になったのが被告訴人梅野博之という話も小耳にはさみました。

長距離運転手の間で、市内配達のことが話題になることはほとんどなかったと思います。接点自体がなかったので、話題自体が出にくかったとも思います。被告訴人梅野博之の名前も聴くことはなかったですが、たぶん小林健一あたりから聞いたのではとも思われます。

被告訴人梅野博之に関しては、顔を合わせると彼の方から愛想よく一言二言、言葉を掛けられることはあったと記憶していますが、目立たない存在でもありました。

前にも書いていると思いますが、初めに会社で姿を見るようになったのは、被告訴人本恒夫が配車係をするようになった頃で、昭和61年の12月ころと思われます。被告訴人池田宏美とも同じ頃ですが、思えば竹林も同じ頃だったと思います。

いままでいずれもたまたま偶然に入社時期が似たような時期になったものと考えていたのですが、改めて考えると偶然ではなかったという可能性もあるかと思いますし、竹林の存在というのも今一度気になってきました。

被告訴人梅野博之に関しては市場急配センターへの入社時期を、金沢西警察署の供述調書において、昭和ではなく平成と述べたのか、そういう記載になっていたように思います。初めに見た時にすぐおかしいとは感じていました。

被告訴人梅野博之に関して他に記憶に残っているのは、山中温泉の慰安会に参加していたことです。着いてすぐに大浴場に入ったのですが、そこで姿を見たという場面の記憶だけが残っています。

その慰安会は一泊でしたが、私には金沢市場輸送で初めての慰安会でした。新年会などもなかったですが、強いてあげれば昭和61年か62年の年末に、片町の居酒屋のような場所で飲み会のようなものがありました。雪国という曲が、巷で大ヒットしていた時期だと思います。

雪國 (曲) - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9B%AA%E5%9C%8B_(%E6%9B%B2)>

によると「「雪國」（ゆきぐに）は、歌手・吉幾三が1986年に発表した作品。」ということで、昭和61年のようです。ロングヒットにはなったと思いますが、それほど耳には馴染んでいない時期だったと思うので、やはり昭和61年の可能性が高そうです。

片町でも昔、相撲茶屋輪島という店があったときく辺りの店で、バナナビーチというディスコもあったのと同じビルではなかったかと思います。

2次会のような感じでそのビルか、左隣のビルの上の方の階にあるスナックに行ったような場面も記憶しているのですが、HとUの姿があったことは記憶に残っています。Uに関しては長野からリンゴを積んで一緒に滋賀県大津市の市場らしい場所で夜中に荷降ろしをしたということでも既に書いていると。

時刻は5月28日9時29分を過ぎたところです。長い間中断していました。10日近くで10日までは経っていないように思っていましたが、連携投稿しているTwitterで確認したところ、ちょうど9日目だったようです。

2014-05-28-092656告発-金沢地方検察庁御中ツイッター.jpg pic.twitter.com/XnTY4WLsIL

フォロワーの整理もしたところです。廣野秀樹（@hironohideki）と告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）は基本的に相互フォローをすることにしています。

PC遠隔操作事件の真犯人が自供をしたか、その前に警察が河川敷でスマホを埋めるという不審な行動を見つけて検察が保釈の取り消しを請求するというニュースを見たのが5月の20日ころではなかったかと思いますが、様子見も兼ねてお休みをしていました。

現実的な問題として参考になる反応があり、それは期待を大きく超えた収穫であると同時に、自分が取り上げる告発等の問題はいっそう理解が難しいのかもしれないという気分にもなりました。客観性の記録としてのことを重視しました。いくつか挙げておきます。

社会・世相・時代の参考情報／落合洋司弁護士（東京弁護士会）／自称真犯人からのメール（本日午前11時37分に送付されてきた） - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

<https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/1137>

142文字ということで一つのツイートにはおさまらなかったので、タイトルとURLを別々のツイートとして分割しました。短縮URLを使えば済む話でもあるのですが、永久保存版的な意味を感じてのご紹介なのでURLもそのままに。

社会・世相・時代の参考情報／落合洋司弁護士（東京弁護士会）／遠隔操作事件で、被告人が全面否認から全面自白へと転じ、弁護人も嘘をつかれて騙されていたと赤裸々に語って - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

<https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/vTCsYC>

社会・世相・時代の参考情報／PC遠隔操作事件／そんないい加減な男に騙されて裁判を続けていた自らの責任についてはどう取るのか／かつて佐藤弁護士、片山についてこう語っていた - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

<https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/PC04>

こまかいのはすべて非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に写真付きツイートをしています。かなりの数になっていると思いますし、いちいち言及は出来ませんが、後日のための記録でもあります。刑事弁護、刑事司法の歴史的な資料としても参考になるのではと思っています。

まず第一に言及したいツイートのスクリーンショットがあるのですが、比較的早い段階だったと思うものの、探し出すのに少々手間が掛かりそうです。9日以内というのは確実なのですが、情報の数が多いからです。とりあえず次のようにコマンドを使うことにしました。

2014-05-28-095653kkhirono／告訴状の内容に関連したスクリーンショット.jpg pic.twitter.com/XgYvOSPFJZ

lsというのはファイルやディレクトリの一覧を表示させるコマンドです。普通にlsと使うと名前順に並ぶのではと思います。先頭に日付データを使っているので意図したとおりになるようです。更新日時順にするときは-rtというオプションを使うことが多いです。

2014-05-25-072305\_「真実の犯人は自分だが無罪を主張してくれ」と言われたときに、無罪主張に最善を尽くさなければならないのが刑事弁護の倫理です。.jpg　、というファイル及びそれに関連した情報であることは見つけました。

日付がわかったのでTwilogで、まとまったというか塊になっているはずの情報を確認しておきたいと思います。カレンダー的なデータの検索や表示はTwilogの得意とするところです。

非常上告-最高検察庁御中ツイッター(@s\_hirono)/2014年05月25日 - Twilog <http://twilog.org/s_hirono/date-140525>

自分の活用が不十分なのかもしれないですが、Twitterだけだと日時的な横のつながりを調べるのが不可能だったりします。Twilogでもツイートの日付の部分がTwitterの固定URLへのリンクになっているので、そちらから開いてご紹介をしておきたいと思います。

2014-05-25-085956刑事弁護人の責務（義務）、そして倫理.jpg pic.twitter.com/WhAOmKE7Lf

2014-05-25-085249江川さんの報道は警察批判が目的でなく、警察・検察の立証が十分かどうかの反証を試みていたと思います.jpg pic.twitter.com/rr6BAgWekH

2014-05-25-084932まれに弁護人が有罪意見を述べて懲戒されるのはそういうケースです.jpg pic.twitter.com/BN08deXJM1

2014-05-25-084536弁護人が漠然と公正を考えて反証を加減するなどということがあれば、却って公正が害されるのです.jpg pic.twitter.com/SA47W6n7fC

2014-05-25-081539非常上告-最高検察庁御中ツイッター.jpg pic.twitter.com/OtRR8p8AJF

2014-05-25-081025片山被告人にだまされた格好の佐藤弁護士について、「意味不明な弁護人批判（非難？）が出てくるのは必至だし可哀想過ぎる･･･」.jpg pic.twitter.com/kPimPVPbqw

2014-05-25-080957櫻井弁護士は「鍛えられた刑事弁護人はマスの評価は気にしないから大丈夫だと思いますよ」と記し、佐藤弁護士への信頼を示していた.jpg pic.twitter.com/BgbtISBqz2

2014-05-25-080349法律は、「ばれなきゃ罪にならない」と定めているのではなく、「証拠がないと有罪にできない」と定めています.jpg pic.twitter.com/lc2fAYzBM8

2014-05-25-074403佐藤弁護士が被告人の無罪獲得のために全力を尽したことは、刑事弁護人として「見込み違い」「軽率」等と批判や揶揄されたりする理.jpg pic.twitter.com/F30Gn4FwJl

2014-05-25-072305\_「真実の犯人は自分だが無罪を主張してくれ」と言われたときに、無罪主張に最善を尽くさなければならないのが刑事弁護の倫理です。.jpg pic.twitter.com/HefMHol0xV

以上になるかと思います。Twilogは写真のサムネイルをクリックすると、Twitterのツイートがブラウザの新しいタブで表示されるようです。今までもそうやって使っていたような気もしますが、改めて仕様を確認できました。よく出来ているサービスです。

もう一週間は経っていると思っていたのですが、5月25日だったとは意外です。3日前ということになるのでしょうか。それに朝の8時前後にスクリーンショットを投稿していたようです。画像の保存と投稿は同時に自動でやるようにスクリプトも変更しています。

櫻井光政 (okinahimeji)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/okinahimeji>

名前がなかなか覚えられなかったのですが、ツイッターアカウントを自分のFirefoxのブックマークに登録しました。けっこう注目している弁護士ではあったのですが、これまではブックマークもしていなかったし、ツイートはリストのTLに流れてくるものをたまに見ていた程度です。

弁護士名の確認とブックマークの登録が目的だったのですが、気になるツイートを2つ目にしたので、ご紹介しておきます。

2014-05-28-105100ブレーキがなければもっと速く走れるのにって感じですねＲＴ@avocadosk　会社に法務部があると業務効率悪化する旨の発言.jpg pic.twitter.com/Ny9jnXh5xT

2014-05-28-105137\_・・・ＰＣ遠隔操作事件、STAP細胞の件から考える弁護士のＰＲ問題　http:／／.jpg pic.twitter.com/vlRMOu4iRG

櫻井光政弁護士のTwitterのプロフィールは次のようになっています。140文字でおさまらなければ2つのツイートに分割します。

渋谷・桜丘法律事務所の所長弁護士。認証保育所「きらきら保育園」理事長。会計人コース/中央経済社と季刊刑事弁護/現代人文社にコラムを連載中。季刊刑事弁護のコラムをまとめた単行本「刑事弁護プラクティス」，好評発売中。

自分のスクリプトの文字数のカウントでは106字と出ました。少なくとも1年以上前から見てきたプロフですが、とりわけ私が注目をするのは「渋谷・桜丘法律事務所」の部分です。

H12-05-22上告審国選弁護人山口治夫の手紙01.jpg pic.twitter.com/vXBsmZVwCX

改めて確認しましたが東京都渋谷区桜丘町で南渋谷法律事務所でした。一時は同じ事務所なのかと思ったこともありますが、東京だと同じ住所の町内でも沢山の法律事務所があるのだろうと想像します。

金沢市でも法律事務所がある町内は尾張町、大手町,小将町などが多いと思いますが、いずれも金沢地方検察庁、金沢地方裁判所の近くです。有名な兼六園も近く、金沢の中心部の一つです。

渋谷区桜丘という思い出深い共通点もありますが、櫻井光政弁護士の場合、Twitterのプロフィール写真の見た目が、小堀秀行弁護士（金沢弁護士会）に似ていると感じたことも大きいです。運命的とまでは思ってこなかったですが、とりわけ個人的に記憶に結びつく色濃いイメージがありました。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「okinahimeji」の検索結果 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=okinahimeji&ao=a&order=allasc>

2014-05-28-121008廣野秀樹（@hironohideki）／「okinahimeji」の検索結果　-　Twilog.jpg pic.twitter.com/jDpo9DCRoH

確認したところ、2012年06月25日(月)に私が初めて櫻井光政弁護士のツイートをリツイートしたようです。アカウントの存在を知ってからリツイートするまでは時間的にかなり近接していたものと思われます。

17時57分になりました。午後はいろいろあって中断していました。昨夜の次のブログ記事に対するコメントが原因です。結果的に久しぶりに珠洲警察署に電話かけて相談することにもなったので、それはそれで良かった面もあるかと思います。

佐藤弁護士赤っ恥。(花田紀凱) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/hanadakazuyoshi/20140524-00035636/>

一時はFacebookのアカウントにペナルティを課されたのかとも思ったのですが、どうもブログ主が私のコメントを非表示にして、コメントを拒絶する設定にした可能性が高そうです。一連の経過は、次のスクリーンショットとしてPicasaウェブアルバムにまとめました。

経緯及び社会の反応／坂本正幸弁護士／FBのほうだが、刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/FB>

結構前にTwitterの方でブロックされているのと同姓同名の弁護士だったのですが、本能を示していたことに昼ころになって気が付きました。

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロックFBログインなし2014年05月28日15時04分54秒.jpg pic.twitter.com/yiSZL80aLh

上記があとで撮ったスクリーンショットですが、次のような刺激的なコメントをしていたので、ちょっと黙っていられなかったのです。

引用）→　これを赤っ恥といってしまうあなたは刑事事件をそして刑事弁護を全く理解していない。恥をさらしたのはあなただ。

ありがちな弁護士の発言なのでそれほど驚きはしなかったのですが、真剣な取り組みを自覚させてくれたことが、珠洲警察署に電話をしたきっかけにもなりましたし、今後もすばやい対応で連絡を入れるという話にもなりました。

佐藤博史弁護士やPC遠隔操作事件に関しては、言いたいことも沢山ありますが、その都度、廣野秀樹（@hironohideki）でツイートをしたり、別の形でも記録を残しているので、必要に応じそちらの客観的な資料を参考にしていただければと思います。

櫻井光政弁護士に関してはNHK連続テレビ小説あまちゃん、のことでも書く予定がだいぶん前からあったのですが、中途になっていたと思います。まだ、櫻井光政弁護士の名前を出していない段階だったかもしれません。

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター(@kk\_hirono)/「あまちゃん」の検索結果 - Twilog <http://bit.ly/1k1r6lp>

上記のTwilogで確認したところ、「10:18 - 2014年5月6日」に「あまちゃん」というキーワードがありました。全部で今日の分を含め3件の該当でしたが、昨年の8月27日となると、本書の連携スイートなのか確認を要します。

今一度、廣野秀樹（@hironohideki）のTwilogで「あまちゃん」に言及した部分を調べてみます。前回の5月6日にも検索をしたのですが、別の方向に筆が走ったまま、中途になっていたようです。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「あまちゃん」の検索結果/Page 3 - Twilog <http://bit.ly/1k1t1GC>

2014-05-28-183820廣野秀樹（@hironohideki）／「あまちゃん」の検索結果／Page　3　-　Twilo.jpg pic.twitter.com/kxCl1cUzxo

私のTwilogでは2013年06月19日(水)のリツイートになっているので、これを見た時、自分の記憶違いかとも思ったのですが、どうもこの時刻は私がリツイートをした時点での時刻のようです。本来のツイートは残っていると思いますので、次にご紹介します。

Twitter / okinahimeji: 「あまちゃん」を見るたびに小泉今日子演じる母親の言動に激しい … <https://twitter.com/okinahimeji/status/345364182486634496>

2014-05-28-184306\_「あまちゃん」を見るたびに小泉今日子演じる母親の言動に激しい不快感を抱いてしまう。.jpg pic.twitter.com/FvrcuwCdmR

ご本人のツイートは「11:16 - 2013年6月14日」になっています。再度自分のTwilogを確認したところ、つぎのように初めて「あまちゃん」をみたというツイートの日付が6月12日なっていました。

2014-05-28-184826NHKの連続ドラマ「あまちゃん」、初めてみた。印象的なオープニングの音楽。.jpg pic.twitter.com/X8ZpvM0hsG

これが正しいとすると、私は重ねて記憶違いをしていたようです。櫻井光政弁護士のツイートをたまたま見たのが、視聴のきっかけという趣旨のツイートは、別の機会にも行っていました。次のように。

2014-05-28-185454HKの連続テレビ小説を見るようになったのは、「あまちゃん」の途中から、弁護士のツイートで母親役を批判していたのがきっかけ。.jpg pic.twitter.com/4qLHdziOit

問題のツイートは「0:59 - 2014年4月18日」が投稿日時になっていました。割と最近のことで、やはりどこか勘違いしたままツイートしていたのかもしれません。

まあ、そういうこともありうるということが勉強にもなったので、テキストのコピーよりスクリーンショットの撮影を多用するようになりました。

問題のツイートの内容は次のとおりです。

引用）→　「あまちゃん」を見るたびに小泉今日子演じる母親の言動に激しい不快感を抱いてしまう。少年事件扱っている他の先生方は平気なのだろうか。

私自身、昭和56年の8月28日の事件で、金沢少年鑑別所に入って、その時に担当になった家裁だと思いますが調査官の人の対応が、その後の岡田進弁護士の対応の理解に、相当の影響を受けたという経緯もありました。

昭和56年夏の終わりことで影響を受けたのは調査官のことだけではありません。けっこう前に書いていると思いますが、当時17歳だった七塚の少女MKと東金沢の少女MSのことです。その二人と被告訴人大網周一の4人で行った、加藤整形外科病院へのお見舞いに付き合ったときのことです。

ちょっと長い説明にもなるかと思いますし、ストレートに掛けない分、多少ややこしくなるので後回しにしてきましたが、ついでもあるので先にこの説明を行っておきたいと思います。被疑者、被告人という立場で十分な弁解が出来なかった、大きな理由の一つでもあります。

まず、加藤整形外科の場所ですが現在も同じ場所にあるのではと思います。割と最近Googleマップで少し見た覚えがあります。神田か新神田にあった自動車学校がなくなっていたのに気がついた時とお名瀬だったと思います。

加藤整形外科の道路を挟んで向かい側には高中（たかちゅう）こと高岡中学校がありました。そこに中学校があるということも知らないでいたと思いますが、被告訴人多田敏明の話を聞いて初めて知ったようにも思います。

2014-05-28-192435加藤整形外科　金沢市.jpg pic.twitter.com/YdId8Wz3EY

あらためてGoogleマップの地図を見ると、かなり斜めにずれた場所に高岡中学校はあるようです。ほぼ真向かいと思っていたのですが、確かに大豆田大橋の大きな通り沿いに住宅らしい建物はありました。

被告訴人大網周一ら4人で加藤整形外科に行ったのは昭和59年の10月ころだと思います。当時私は16歳で車の運転もしていなかったので、金沢の地図には明るくなかったのですが、覚えやすい病院名だったということもあり、あとになってその場所があの病院だと思い返したように思います。

病院にお見舞いというか面会に行った相手は、少女二人の知り合いで面識はなかったのですが、本人ではなく乗っていたというバイクには印象に残る記憶がありました。次の辺りの増泉の借家のような家の前によく停まっていたバイクだったからです。

2014-05-28-195628第一島崎アパート　-　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/VqYWLUobPk

Googleストリートビューの使い勝手が悪くなっていて、バッテンマークが出て前進が出来ず、クリックをすると真っ黒な表示になっていました。それで場所の確認にも手間取ったのですが、この第一島崎アパートという辺りが、ちょうど昭和56年当時の被告訴人大網周一のアパートでした。

2014-05-28-200631石川県金沢市増泉１丁目の昭和56年当時の記憶に残る風景.jpg pic.twitter.com/wgbbBuURER

次はGoogleストリートビューです。マウスホイールの拡大で確認したのですが角にあるのは「山上美容室」となっていて、唯一記憶に残る建物です。右手の小路が突き当りになっていて、その右側の一番奥に被告訴人大網周一のアパートがあったと記憶しています。

「山上美容室」の前の並びの通りですが、その美容室から参考画像に見える奥行きで、だいたい50メートルはどのところに問題の借家のような家がありました。暴走族のたまり場になっている家でしたが、ずいぶんと古い建物でまるで江戸時代の怪談を思い起こさせるような雰囲気の建物でした。

たぶん平屋だったのだと思いますが、それもずいぶんと天井が低そうな建物でした。江戸時代の武家屋敷は屋内で刀を振り回しにくいようにあえて天井を低くしていたとは聞きますが、民家らしい建物でそれらしいものをみたのは、後にも先にもその建物だけです。

二方向の通り道（反対方向は石坂（いっさか））の一つなので、よく前を歩いていましたが、その民家の前ではホンダのCB400Fがよく停まっていました。昭和56年の当時既に幻に近いような名車という感じになっていたと思います。

ホンダ・ドリームCB400FOUR - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9B%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BB%E3%83%89%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%A0CB400FOUR>

上記ホームページに情報がありましたが、1974年の発売だったというのは私自身初めて知りました。「生産台数はFOUR-Iが約1,000台、FOUR-IIが約5,500台とされている。」というのも知らなかったのですが、もともと数に限りがあって希少性が高かったようです。

当時はバイク好きの誰もが憧れるような、実際に見かけることも少ないバイクだったので、なおさら印象に残っていたというのもあります。

ある夜、その民家の前を通りかかった時、少女MKら6,7人が外に出ていて、民家を追い出されるとかなんとかと話をしていたのです。細かいことは憶えていないですが、それならという感じで、そのメンバーが被告訴人大網周一のアパートに転がり込むことになりました。

男というのは当時19歳だった岐阜の少年、私とは同い年だった羽咋郡富来町の当時16歳だったYYという少年。岐阜の少年に関しては現在名前も思い出せなくなっていますが、けっこう年上に見えていました。

少女というのは松任市の同い年のSKが同じく16歳だった他は、全部が17歳になっていたかは不明ですが、学年で私より一つ年長だと聞いていたように思います。七塚のMKと東金沢のMSをあわせて少女は全部で6人だったように思います。

転がり込んでから連日連夜の大騒ぎで3日目ぐらい8月28日の早朝に、通報を受けた金沢中警察署の警官が来て補導されました。新聞には13人と出ていたように記憶しています。ちょっと前にたまたま来た当時21歳かあるいは24歳ぐらいの穴水町出身の男も補導というか成人なので逮捕されていたと。

岐阜の19歳の少年は警察が来るとすぐにトイレに入って、そのまま逃走しました。それも10月ころだったと思いますが、入江のアパートで被告訴人浜口卓也に警察を装った訪問で、肝を冷やしていたのも記憶にありますが、その時は彼女と二人固まった感じで逃げようとはしませんでした。

その時付き合っていた彼女とは松任市の少女SKでした。他の少女はみな金沢市内と聞いていたように思いますが、七塚のMKは中村町の姉のアパートにも住まいをしていて、鑑別書を出てからはその姉のアパートにも遊びに行った記憶があります。

前にも少し書いているように思いますが、入江のアパートというのは七塚のMKが服役中の暴力団員に、鍵をもらって自由な出入りを許されているというアパートでした。何度かそのアパートで鑑別書を出た後もシンナー遊びをやっていた頃に、加藤整形外科病院に行ったのです。

8月28日、金沢中警察署に連れて行かれたのは男女13人で、小立野の少年鑑別所に家裁から連れて行かれたのは、少女一人のほかは、私と被告訴人大網周一、それと伽のYY,それと私より1つ年上のTAで、少女一人の全部で5人だったと思います。

午前中には金沢中警察署で取り調べを受けていましたが、午後になってバスに乗せられ、連れて行かれた先が家裁で、その後にはバスで鑑別書に連れて行かれました。まったく想像にもしない急展開でした。

私は全くの初犯でしたが、自分以外のシンナーの吸引を認めず、また警察が連絡をした母親がたまたま不在だったということで、一緒に鑑別書に送られたようです。独房に入れられた時は、正直涙を流しました。

鑑別所では28日以内に審判があって処分が出ると聞いていたと思います。私は母親が面会に来た時の態度が悪くて職員を驚きもさせたようです。それにニグロという細かいパーマの髪型にしていましたが、不利になるとは聞いていたものの髪型も変えず、切りませんでした。

少年院に行くことになるかもしれないと言われていたのですが、確か26日目に審判があり、試験観察という処分が出て、釈放というのは鑑別所を出されて自由の身になりました。当日の夕方遅くには宇出津に帰っていたと思います。

時刻は5月29日11時36分を過ぎたところです。再開します。

2014-05-29-112559金沢家庭裁判所　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/L8sn1DSPhM

上記は金沢地方裁判所の建物をGoogleストリートビューでスクリーンショットしたものです。中程に見える3階建ての建物がそうだと思います。左手にみえる仮設の建物は新築工事中だった金沢地方裁判所の一部と思われますが、工事はだいぶん前に終わって新庁舎になっているはずです。

どうも２つまえの写真付きツイートを含むツイートが、投稿に反映されていないようです。

直接、ブラウザからTwitterに投稿をやってみたのですが、サーバ内部エラーが出ました。なにか問題のある文字列が含まれているのかもしれません。URLだけで試してみます。これでエラーがでるようならが、Twitterの仕様変更が考えられます。

pic.twitter.com/L8sn1DSPhM

なぜか今度はうまくいったようです。

2014-05-29-112959金沢地方検察庁の周辺　-　Google　マップ.jpg pic.twitter.com/wdptJdWeml

今度は問題なくうまくいったようです。前回の「2014-05-29-112559金沢家庭裁判所　Google　マップ」の投稿では、たまたまエラーで失敗をしたものの、投稿が成功したのと同じ情報が残されていて、重複した投稿と判断されたのかもしれません。

「金沢地方検察庁の周辺」をみれば一目瞭然かと思いますが、金沢地方検察庁と金沢地方裁判所は近くにあって、その間に挟まれるようなかたちで金沢家庭裁判所もあります。

金沢地方裁判所の前の建物と金沢家庭裁判所の建物の間には、お堂のような古い建物があって、それが金沢弁護士会の建物だったのですが、数年前の取り壊しになったようです。陪審員裁判が最後に開かれたとか、はっきりは忘れましたが、歴史的な意義もある建物だったと何かで見ました。

それと、昨夜のGoogleストリートビューで画面が黒くなるという現象ですが、Firefox固有の問題で発生していたようです。今日はGoogle Chromeでやってみたところ、以前通りにクリックで前進することができました。

金沢弁護士会の古い建物ですが、私はそこに出向いて相談する弁護士の紹介を受けたことがありました。平成9年の秋だと思いますが、その時に紹介を受けて事務所を訪問したのは、「畠山美智子弁護士」だったと思います。

2014-05-29-123921畠山美智子法律事務所.jpg pic.twitter.com/lpSvZNxvfx

今度も投稿がうまくいったようでよかったです。尾張町に近い場所ということで私の記憶とも一致するような場所ですが、住所が大手町になっているらしく。これはいささか驚きました。大手町というのは自分が思っていた以上に範囲が広いようです。木梨松嗣弁護士の事務所も大手町だったかと。

当時は同じ頃に、西村依子弁護士、小堀秀行弁護士にも相談に行きました。西村依子弁護士に関しては、本書において既に記述をしているかと思います。畠山美智子弁護士と同様に、受任を断れたものの、相談料もいらないと言われました。

畠山美智子弁護士には主に民事裁判としての損害賠償請求について話をしたという記憶がありますが、なにか驚いた様子で、「あなたの方が詳しい」などとも言っていました。厄介払いに必死だったという印象もその場の場面として記憶にあるのですが、午後の時間で薄暗い状況だったようにも。

昭和56年の話に戻します。

2014-05-29-131538告訴状の説明に伴う昭和56年当時の場所.jpg pic.twitter.com/LwbPFPdM5c

告訴状の説明に伴う昭和56年当時の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?hl=ja&mid=zFhFi3M9JKtg.kl83clWFiHL4>

Googleのマイプレイスという地図サービスを使って目印を作成しました。風船のようなマークが出ていると思いますが、見出しの部分にある色分けとマークの位置が対応しているはずです。加藤整形外科に関しては検索結果の住所位置から自分の地図に追加をしました。より正確かと思います。

マイプレイスのレイヤーを別にして「主に平成4年以降に関連のある場所」というマップを作成しました。以下はスクリーンショットとマップのURLです。

2014-05-29-134853主に平成4年以降に関連のある場所.jpg pic.twitter.com/AeOzl6BXuA

告訴状の説明に伴う昭和56年当時の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?hl=ja&mid=zFhFi3M9JKtg.kl83clWFiHL4>

どうもレイヤーの表示の仕方を別にしても、URL及びリクエストパラメータの値は同じようです。ページのタイトルも同じです。

URLとタイトルのすべてが同じだったので、Twitterの投稿に失敗していたようです。面倒ですが、マイプレイスを別に作成しておいたほうが、あとあとの誤解や混乱を避けれるかもしれないです。

19時11分を過ぎたところです。しばらく中断していました。マイプレイスのコピーを試みたのですが、十分にはうまくいかず、そのあと母親の入院している病院に行く用事があったのでそれを済ませてきました。

マイプレイスというのはマイマップを新しくしたGoogleの地図サービスのようです。kmlファイルとして保存したり、それをインポートしたような経験はあったので簡単に出来ると思っていたのですが、マイプレイスではkmlの情報をそのまま読み込むことが出来ないようです。

マイプレイスの作り直しも考えたのですが、作成したマイプレイスのタイトル名とレイヤーの名前を変更することにしました。結果は次のスクリーンショットとWebページのURLのようになりましたので、今後はそちらの方を前提に説明を進めていきたいと思います。

2014-05-29-190840告訴状の説明に伴う主に金沢市内の当時の場所.jpg pic.twitter.com/WrluPbwBWK

告訴状の説明に伴う主に金沢市内の当時の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?hl=ja&mid=zFhFi3M9JKtg.kl83clWFiHL4>

少し話題を変えますが、直近のこととして少し書いておきたいと思います。母親のいる病院の帰りに私が住む宇出津に一件だけのコンビニに立ち寄ったのですが、週刊文春はありませんでした。しばらくは他の週刊誌を眺めていたのですが、斜め向かいにある書店に行くことにしました。

コンビニの道路を挟んで斜め向かいにある書店は、梶川の橋の工事に伴って更地として撤去され移転した千間書店なのですが、現在は「千間啓文社」というお店の看板になっていました。移転してから一年以上は経つと思いますが、店に入ったのは今日が初めてでした。

「週刊文春　5月29日号」ではなかったかと思いますが、あるいは5月30日号で、開いてみたのですが、佐藤博史弁護士をタイトルにした記事は見当たらず、グラビアの一部としてPC遠隔操作事件に関する記事がちょっとだけ載っていました。

ここで調べ直したところ、自分の勘違いに気が付きました。千間書店には置いていなかった最新号が、佐藤博史弁護士に関するタイトルの記事を掲載したものであったようです。次のWebページです。

週刊文春2014年6月5日号 | 最新号 - 週刊文春WEB <http://shukan.bunshun.jp/articles/-/4006>

私が注目し、普段支払い以外には滅多に行かないコンビニに立ち寄った目当ての記事のタイトルは「社会 片山被告PC遠隔・佐藤博史弁護士の拝金主義」です。いつ発売なのかわからないですが、ぜひこの記事には目を通しておきたいと考えています。

宇出津のコンビニでは、以前より沢山の種類の週刊誌が置いてあるように感じました。中には売り切れでたまたま見ていなかったというのもあるのかもしれません。

コンビニでは見かけなかったのですが、千間啓文社では週刊文春が2冊程度だったのに、週刊新潮は6冊か7冊ほど置いてあったので、これも少々意外に感じました。宇出津でもそれなりに社会の問題に関心を持っている人がいるからこそ、相応の数の雑誌の入荷があるものと想像されたことです。

週刊現代、週刊ポスト、アサヒ芸能、週刊朝日、他に名前は忘れましたが1冊か2冊の週刊誌にざっと目を通しましたが、PC遠隔操作事件の真犯人自供に関する記事の扱いは概ね小さく、そういうものだったのかという確認と納得が自分なりに出来たことを、書くておくというか報告しておきます。

宇出津の梶川の橋のたもとに千間書店があった頃、千間書店の真向かいには被告訴人大網健二と被告訴人大網周一兄弟の家がありました。中学生の頃までのことです。向かい合う道路に面した2階の部屋が被告訴人大網健二の部屋だった頃のことです。

夕方にその千間書店で漫画の立ち読みなどをしていると、被告訴人大網健二が顔を出し、話をしたり、そのまま彼の家に遊びに行ったような断片的な思い出も印象的です。昭和56年にも近い時期でした。

昭和55年ぐらいではなかったかとも思いますが、大網プロパンとしてガス器具の販売の店にもなっていた千間書店の真向かいの家の部分は、父親の借金のかたに売却されたらしく、スポーツ用品店になっていました。

裏の方にある大網自動車の整備工場を含めた家の敷地全体では3分の1か4分の1の部分だったと思います。数年後には自動車工場を含めた家の全体が売却され、整備工場のあった部分は解体のうえパチンコ店の駐車場になっていました。

そのパチンコ店は千間書店の隣でしたが、梶川の橋の工事に伴う移転の対象にはならなかったものの、2年ほど前に閉店し、そのあと解体され、現在はパチンコ店の経営者の住宅が新築されさほど日数が経過していないところです。

何年か前までは被告訴人である大網兄弟の家の建物の一部が現存していて、なにか選挙事務所のような看板が出ていたと思いますが、いつの間にか取り壊しになっていました。宇出津にはいたと思いますが、解体の工事の現場は見ていなかったようにも思います。

昭和59年の話に戻します。

新聞には一番大きな記事で、「シンナー吸って大騒ぎ」というような見出しになっていたと思います。昭和56年8月28日の早朝に金沢中警察署が踏み込んで補導された事件でした。

その数時間前だったと思いますが、たまたまという感じで、当時、金沢高校の学生だった被告訴人大網健二が寿司屋の出前持ちをしていた同級生と二人で、増泉の被告訴人大網周一のアパートに遊びに来て、被告訴人大網健二もシンナー遊びを始めたのです。

被告訴人大網健二にしてみても間が悪かったというか、それで人生の軌道が大きくずれたとも思えます。金沢中警察署が踏み込んだ時、その場にいたので被告訴人大網健二も補導されたのですが、私が鑑別所を出ておよそ一月ぶりに再開した時には、金沢高校を退学になったと聞いていました。

頻繁に被告訴人大網健二の家に遊びに行くようになったのもそれからのことです。金沢高校を退学になったことで被告訴人大網健二も宇出津に戻って家で生活するようになっていました。被告訴人大網周一も私が鑑別所を出た2,3日後には同じく試験観察という処分で自由の身となり宇出津に戻りました。

被告訴人大網健二は保護観察の処分になったと聞きましたが、その保護観察は被告訴人大網健二が二十歳に近くなる頃まで続いたようで、保護司のところに行ってくるという話は、昭和59年ころにも聞いていました。

被告訴人大網周一と同じ試験観察という処分でしたが、私の場合はその昭和56年の12月ころには再度審判があって、不処分という結果が出たので保護観察になることもありませんでした。

調査官の人の名前は忘れてしまいました。割と近年までは記憶にしていたようにも思いますが、今現在は少しも思い出せません。初めはずいぶんと厳しく熱のこもった対応を受けたのですが、終わりには優しい言葉も掛けられ、不処分ということにもなったのです。

その調査官とは試験観察後の審判が出る前、七尾市の家庭裁判所で面接したことも憶えています。より印象的だったのは被告訴人安田敏とその母親と、待合室で顔を合わせ話をしたことです。

その時、様子がおかしいとは感じたのですが、2ヶ月ほどあとかと思いますが、シンナー遊びで発狂して松原病院に入院したと聞きました。待合室であった時は、やせ細って青白い顔色で幽鬼のような様相を漂わし、言動にもおかしなものを感じていました。

七尾市の家庭裁判所の待合室での被告訴人安田敏の母親の姿も、友だち関係に敵意を向けるようなものが感じられ、母親に会ったのはそれが一回限りでしたが、複雑に印象に残っていました。本当はとても優しそうな母親というイメージもありました。

その被告訴人安田敏の母親のイメージというのは、活字以外にまったく情報が無いですが、私の中ではPC遠隔操作事件の片山祐輔被告の母親のイメージに重なるところがあり、佐藤博史弁護士に人生を翻弄、利用されたというイメージも強いです。

私の家裁の調査官はいろいろと情報を得た上で、私に面接していたのだと思いますが、厳しいだけではなく大仰とも思える態度でした。心底驚いているようにも見えましたが、それは当時の宇出津近辺の私を取り巻いた環境というのも大いに影響していたのではと思われます。

簡単に説明は出来ませんが、時代の変化という意味でも昭和56年当時の宇出津近辺と現在の宇出津近辺とは隔世の感があります。つくづくどうなのかと考えるぐらいの様変わりでもあります。

他にも、昭和56年に取り調べを受けた金沢中警察署の取調室は机や壁の一面が傷だらけで、物凄いものがあったと強い印象が残っています。鑑別所も似たようなところがあって、独房は主に彫刻刀で掘られたような落書きだらけでした。

「ドテチン、瀬戸少にいく」というようなものもあったと記憶に残っていますが、つまり愛知県の瀬戸少年院に行くということと思われます。他にも山口組系一会北友会というような所属と思われる暴力団名も多かったと記憶にあります。

初めは独房に入れられて涙も流した鑑別所での生活でしたが、10日ほどで雑居房に撮され、けっこう楽しく過ごしたという思い出のほうが、正直強くもあります。丸ごと骨付きのサバの唐揚げには驚きましたが、週に一回の白米のカレーライスがとても美味しかったという思い出もあります。

いきなりですが、先ほど次のようなことをやりました。

2014-05-29-211135その人権ということで、私はモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）ことあなたを名誉毀損で石川県警に告訴する必要性を感じ、.jpg pic.twitter.com/lPUhFPuUmZ

現在の時刻は5月31日の14時05分を過ぎたところです。買い物のついでに立ち寄った新しく出来た宇出津の図書館でノートパソコンの持ち込みが許可された聞き、早速持ち込んでみたところです。インターネットにはスマホでWi-Fiデザリングというのをやってみました。

家のほうが午後になると西日が強くてかなり暑くなります。昨日も輪島で31度を超えたとか話が出ていました。

Aコープ能都店での買い物の前に立ち寄った時には北國新聞の縮小版で昭和56年当時の記事を見ました。一つは昭和56年8月28日の夕刊になっていました。記事の内容も自分が見たものとは少し違ったような気もしたのですが、左側の方に2番めに大きい扱いという感じになっていました。

いずれにせよ私がその記事を見たのは鑑別所を出た後のことで、誰かから見せてもらったのだと思います。あるいは北陸中日新聞の記事を見ていたのかもしれませんが、個人的には北國新聞しか読むことがなく、家で購読していたのもずっと北國新聞だったと思います。

ただ、夕刊というのは家で購読したことが一度もなく、他にも夕刊を目にする機会というのは少なかったと思います。

もう一つの記事というのは少女の暴走族の摘発のものでした。これは自分が見た記事とも一致する感じでしたが、やはり9月の終わり頃の記事になっていました。顔から下の少女の写真が七塚のMKだと説明されながら誰かに見せてもらった記事でした。

その記事の内容には河北郡出身で金沢市中村町に住む少女がリーダーで、同じアパートの住む同じ河北郡出身の少女がサブリーダーということになっていました。同じアパートに住んでいるような書き方になっていましたが、MKがサブリーダーという話は仲間内でも聴いてはいました。

MKも中村町のアパートには住んでいたようですが、姉のアパートに居候しているという話だったので、少し記事に間違いがあるような気もしましたが、リーダーと思われる少女は少女の中でただ一人、私達と一緒に鑑別所に連れて行かれた少女だと思いますが、河北郡という話は聞いていなかったかと。

鑑別所を出た後もそのリーダーという少女には一度も会うことがなかったと思います。うわさ話は少し耳にしていたようにも思いますが記憶にはありません。また、記事によると鑑別所を出てすぐに暴走行為で補導されたような書き方もされていて、これも記憶にはなかったことです。

本当は他にリーダーという少女がいるようにも聞いていたのですが、実際会ったことはなかったです。ただ、私が鑑別所にいる間のたまり場では、顔を出すことも会ったと聞いたように思います。

8月28日の夕刊には高校生が一人含まれていたと書いてありましたが、これは被告訴人大網健二のことだと思います。本人から金沢高校を退学になったとは聞いていましたが、かなり早い時期に学校に行かなくなり宇出津に戻ってからも、宇出津の友人を連れて、金沢のたまり場に遊びに行っていたようです。

告訴状の説明に伴う主に金沢市内の当時の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?hl=ja&mid=zFhFi3M9JKtg.kl83clWFiHL4>

上記のマイプレイスに「鑑別所を出た後たまり場になっていた古いアパート」という印をつけましたが、これは私が鑑別所を出た後に何度か遊びに行ったアパートでした。

その古いアパートは金沢中警察署が踏み込んだ時に便所の窓から逃走した岐阜の19歳の少年の友達のアパートのようでしたが、近くの自動車修理工場か板金工事に通っているらしく真面目に仕事をしているような人でした。

たまり場がそこに移る前も、被告訴人大網健二らは頻繁に金沢に遊びにゆき、他に補導されたメンバーらと遊びまわっていたような話でした。細かい話を聞いたようにも思いますが、記憶にあることは少ないです。

その金沢のたまり場に被告訴人大網健二が連れて行ったというのは、HMや神野のKMです。神野のKMに関してはこれまでも何度か書いていると思いますが、山水運輸にも働いています。私は昭和60年の5月ころまで付き合いがあったのですが、ちょっとあって絶縁関係になりました。

神野のKMはUTという少女と付き合うようになり、そのうち金沢市大額のアパートで同棲するようになっていました。UTは宇出津の私の家の近所でもありますが、被告訴人大網健二の妹や妻となったOMとは同級生であり、仲の良いグループでした。

被告訴人大網健二の結婚式でUTの姿を見ましたが、姿を見たのもそれが最後だったと思いますし、神野のKMの話も聞かなくなっていきました。UTと結婚したとか、子供が生まれたような話も聞いてはいたように思います。

HMも私の同級生ですが小木分校に通っていた昭和55年当時もよく遊んでいました。ほとんどの場合一緒にいたのがHSでした。二人とも小木分校の受験に落ちて水産高校の本校の方に通っていたのですが、乗船実習に行くのが目的だから実習に行ったらすぐに学校をやめるとは話していました。

その言葉通りに実習から戻るとすぐに水産高校をやめたようですが、時期ははっきり思い出せません。水産高校の機関科と漁業科には加能丸での乗船実習があり、3ヶ月ほどハワイやシンガポールに行くことになっていました。成績の良い生徒がハワイと聞いたようなこともありました。

二人とも初めに小木分校の無線通信科を受験していたはずなのですが、無線通信科と本校の製造科には乗船実習はありませんでした。製造科は9割以上のほとんどが女子という特徴もありましたが、無線通信科は4分の1ぐらいの割合で女子がいました。

HMとHSはいつも一緒に行動していましたが、被告訴人大網健二が連れて行った金沢のたまり場に入り浸りになって、家出のような状態になったと聞きます。実際に、心配した父親と母親があちこち探しまわっていました。

HMもHSも水産高校をやめたのはほとんど同時期だと思うのですが、金沢で遊びまわるHMにHSはついていけなくなった感じで、愛想も尽きたようです。他にもなにかあったのかもしれませんが、その辺りを境にHMとHSが一緒にいる姿も見かけなくなりました。

両親がとても心配してあちこち探しまわったことで、周囲に迷惑を掛け、またそれに対する態度も悪かったのかと思いますが、HMの姿自体を見かけなくなり、話も聞かなくなっていきました。結果的にかえって真面目な生活をするようになったのかもしれないですが、情報もなかったのでわからないです。

今年の2月ころに、宇出津で仕事をしているという話を聞きましたが、海に近い仕事場と聞きました。前を通りかかることも多いですが、確認しようと考えてこともありません。ヤリイカ釣りの堤防で同じく昔の知人から聞いた話です。

HSとはその後も付き合いは続きました。免停の講習に観音堂の運転免許センターに行き、講習中の態度が悪いと注意を受け、乗ってきていた車に乗って帰ろうとしたところを、無免許運転として摘発され免許取り消しとなりました。

さらに金沢市馬替の従兄弟のHSさんのアパートで、HSさんの車ではなかったかと思いますが、その車の運転を始めて蛇行運転をしていたところ、民家の車庫に突っ込んでそれを突き破り、となりのブロック塀にぶつかって車を大破させたのです。その時私は助手席に乗っていたのですが怪我はなかったです。

そんな事故とかで車のローンなどの借金がかさみ、嫌々ながらやむなく小木港の遠洋漁船に乗ることになったのです。漁師になってから友だち関係も正確もだいぶん変わったとも思いますが、被告訴人浜口卓也との関係も親密になっていたのが、特に印象的でした。

その後、2,3年は漁師をしていたのだと思いますが、昭和61年のはじめぐらいを境に、会うこともなくなっていたと思います。それまではたまにアパートに訪ねても来ていたのですが、私の方の付き合いが悪かったので、そのうち来なくなったようにも思います。

久しぶりに会ったのが、本書において既に書いていると思いますが、従兄弟のHSさんの結婚式の会場の外でした。建物の2階で、私は長男だけを連れていた場面を記憶しているのですが、被告訴人大網周一の姿も記憶に残っています。

その時、従兄弟のHSさんと結婚したのが姫のDMで、被告訴人大網健二の妹や妻の同級生であり仲の良いグループのメンバーでした。

被告訴人大網健二がお盆休みに神戸から来た時も、夜に初めに会ったのは金沢市八日市のHSさんとDMが同棲しているアパートでした。そのアパートの建物には、他にも年の離れた宇出津の先輩が住んでいると聞いていたようにも思います。

あるいはMSさんがそうだったかもしれません。アウディが何とかという話も少し頭に残っています。MSさんは今でも宇出津で顔を合わすことがありますが、平成9年の2月ころか、被告訴人大網周一や被告訴人大網健二と家に遊びに行ったのが、印象に残っています。

平成9年になると同級生のHSは、金沢の被告訴人大網周一の鳶職の会社でナンバー2のような立場になっていました。被告訴人大網周一とはそのかなり前から親密な関係が続いていたようです。

金沢市内の上荒屋に家を立てて住んでいると聞きましたが、それも被告訴人大網健二がかなりの世話をしたような話でした。

それより前で、あるいは平成4年より前だったという気もするのですが、従兄弟のHSさんも被告訴人大網健二に不動産か住宅のことで世話になったような話を聞いたように思いますし、ほかにもそういうのがけっこうな数あるように聞いていました。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&hl=ja>

2014-05-31-155457被告発人HTNの運送会社の駐車場.jpg pic.twitter.com/n7oNmP1Mk3

だいぶん前に作成したものですが、マイプレイスのURLと該当箇所のスクリーンショットです。被告訴人大網健二からその駐車場の話を聞いたのは平成9年7月に金沢に出てから、だいぶんあとのことでした。その前は一緒に何度も車で通っていたはずなのですが、教えられるまで全くしらなかったです。

被告訴人浜口卓也が市場急配センターで配車係をしているという話は被告訴人大網健二の口からも聞いていたと思いますが、トラックの駐車場があるということはすでに独立していたことにもなるはずです。

そのトラックの駐車場は周りのほとんどが空き地だったので、けっこう目立っていました。保冷車か冷凍機付きと思われるトラックが多い時で5台以上はいたような気がします。2トン車と4トン車がいたと思いますが、いずれも塗装をしていないのか白い色のトラックでした。

双葉湯のすぐ近くでもありましたが、その辺り一帯は昭和59年ころにくらべるとすっかり様変わりしていました。双葉湯自体は、一度、松浦さんと愛知県のK村さんの3人で風呂に入った思い出があるぐらいなのですが、すぐ近くには金沢市場輸送のつけもきく、飛鳥食堂がありました。

松浦さんというのは今までMなどと実名を書かずに来たと思いますが、事案解明の重要度の高い人物なので実名ということにしたいと思います。下の方の名前ははっきり思い出せないのですが、漢字2文字で上のほうが健だったようには思います。

初めに金沢市場輸送でイワシのダンプに乗るようになった人物です。平成9年の11月の20日ころの会見で、労務の担当者として話を聞く必要があると同席した堂野さんも松浦さんの紹介だと聞いていました。

その松浦さんの愛人という女性の息子で、金沢市場輸送に入社し市内配達の仕事をするようになったのが、重大なキーマンの一人である被告訴人安田繁克です。被害者AAさんの元彼氏という話にもなっていましたが、事実自体を捏造していた可能性がすこぶる濃厚です。

K村さんに関しては匿名にしておきます。私が金沢市場輸送に2度目に入社した昭和61年の8月の時点には既にいたように思いますが、長距離運転手として大型車に乗務していました。

イスズの7180号という10トン保冷者に新車で乗務したのもK村さんだったと思います。イワシのダンプよりはだいぶん前に入っていたように思いますが、同じくイスズの新型車でした。ただ、その前となるとK村さんがどのようなトラックに乗務していたのか思い出すことが出来ません。

松浦さんに負けないぐらい暴力団というかヤクザものらしい感じの人物でしたが、彼も被告訴人竹沢俊寿がヤクザをやっていた頃の組員だったとも聞きました。もっとも松浦さんは少年にも近いような若者で、すぐにいなくなったような話も聞いたことがありました。

K村さんは運転手の間でも評判が良くなかったですが、キレやすいタイプであるだけではなく、異常な行動もちらほら耳にしていました。福井県の敦賀市から京都府の舞鶴市にかけて国道27号線というほとんど対面通行の国道があるのですが、反対車線で追い越しを掛け続け対向車が反対側に出て避けるとも。

K村さんはイスズの新車に乗務していましたが、高速道路の走行ではクラッチを踏まないでギアチェンジをしているとも聞きました。この話は山田さんに聞いたと思いますが、万一ギアが壊れてエンジンにロックが掛かったらどれほどの惨事になるものかと、想像してみたこともありました。

金沢の市場の鮮魚の売り場で、上半身裸になって入れ墨を見せ暴れ、大勢に袋叩きにされた挙句、市場の人の仮設の小屋のような建物を、フォークリフトで持ち上げたというような話も聞きました。これで出入り禁止になったという話も聞いたかもしれません。

大きな犬を連れて事務所にいる姿も見かけていました。テレビ化何かで見たフランダースの犬のような大人しそうな救助犬のような犬でしたが、長距離のトラックにも同乗させ、本当かどうかわかりませんが、気分が悪くなってくると憂さ晴らしで殴りつけているというような話も聞きました。

そのうち会社で姿を見かけなくなって、なにやら会社や被告訴人竹沢俊寿らともめているような話は聞いていたのですが、そのうち事件を起こし新聞にも出たようです。

その事件というのは、金沢市場輸送の駐車場に停まっていた多数のトラックか乗用車のタイヤを千枚通しのようなものでパンクをさせたというものでした。トラックと乗用車どちらが多かったのかも思い出せないですが、私の車かトラックのその場に駐車されていたものの被害はなかったのです。

なにか逆恨みの犯行のような話にはなっていましたが、耳に入ってくる情報を吟味しても不可解さの残る腑に落ちない話でした。その頃にはずばりトラックを運転しながら覚せい剤をやっているという話も耳にしていましたが、覚せい剤に関しては不思議と大きな話にはなっていませんでした。

その金沢市場輸送の駐車場というのは、丸北青果の道を入った後に金沢市場輸送の事務所が出来た辺りにあった駐車場です。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&hl=ja>

2014-05-31-165519金沢市場輸送の事務所があった場所.jpg pic.twitter.com/SFHaTaTlh3

ちょっとTwitterとの連携に齟齬が生じ、順序が入れ替わってしまいました。投稿したつもりがしていなかったのかもしれません。

上記のスクリーンショットを見ていただければわかると思いますが、丸北青果の間の道に入ると、現在は十字路の先が左斜めの鋭角になっていてその角が金沢市場輸送の新しい事務所になっていました。建物自体は現在もそのまま残っている可能性が高いと思います。

以前はその十字路がまっすぐに伸びていて、左右が田んぼか畑になっていて、畦道という感じもするぐらいでした。その十字路の先の左手に金沢市場輸送の駐車場があったのですが、舗装もされていないような駐車場でした。砂利がしいてあったような気もしますが、水たまりもあったような。

時刻は17時56分を過ぎたところです。図書館は17時まででした。またAコープ能都店で少し買い物をして帰ってきました。家にいるよりは集中できると思いましたし、暑さもましでした。まだ本格的に冷房の入る時期にはなっていないようですが、温度調整はされているのではと思います。

家の方も天気が良い割には、昨日、一昨日とくらべると暑さはだいぶんましなように感じます。さほど気温は上がらなかったのかもしれません。テレビでは大分県で35度以上の猛暑日になったとか、NHKで行っているところです。

熱中症の疑いで2人が死亡とも出ていました。5月としては記録的な暑さとのことですが、冷房のない生活なのでこの夏も体調に気をつけながらなんとか乗り越えないと思います。

さて、ぼちぼち続きを書きたいと思います。

K村さんに関しては姿を見なくなってだいぶん経ってから、また金沢市場輸送に復帰知るかもしれないという話を聞きましたが、それは実現せず、その後忘れられた存在になっていたと思います。

そんな頃になって初めて、愛知県の瀬戸市にいるということを聞きました。それまでは名古屋の人とか愛知の人という話は聞いていたと思いますし、普段からかなり訛りの強い名古屋弁のような話をしていました。私自身、昭和57年にしばらく名古屋で生活したことがあったので、馴染みもある方言でしたが。

そういう話は被告訴人池田宏美の口から聞いたような気もしています。池田といっても当時は違った名前だったと思います。初めは吉村と名乗っていたように思いますが、本人が4度目の結婚で池田という姓になったと話していたぐらいですから、あるいは私が知る間にも3回変わっているのかもしれないです。

K村さんが戻ってくるかもしれないという話を聞いたのも、まだ西念町の中央市場前に金沢市場輸送の事務所がある頃で、その2階の事務所の中で話を聞いたという記憶が残っています。二口町に事務所が移ってからは、話題にすら聞いていないような気がしますが、特異な存在感がありました。

金沢市場輸送の事務所が移転する前だったと思うのですが、一時期50メートル道路の一部を臨時の駐車場のように使っていた時期がありました。会社から指示が出てそうしていたのだと思いますが、なぜなのか深く考えることもなかったと思います。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&hl=ja>

2014-05-31-183354臨時の駐車場だった場所.jpg pic.twitter.com/2E5UIm0cIe

上記のスクリーンショットは、久しぶりにログインして編集で追加した印のものです。重なっていてわかりづらいと思いますが、交差点の名前は「駅西本町一丁目」となっています。金沢駅の西口から国道8号線バイパスに伸びる一直線の広い道ですが、50メートル道路とも呼ばれていました。

「駅西本町一丁目」という名称は記憶にないですが、中央市場の方向から来ると十字路ではなくT字路の交差点になっていました。バイパスの方から来るとその交差点の手前で、道路が半分か3分の1ぐらいに分かれ、左側の部分が臨時の駐車場のようになっていたのです。

道路の車線との分岐点はガードレールで仕切られていたようにも思います。道路全体が拡張工事の途中だったようにも思うのですが、詳しい状況は記憶に残っていないです。

中央市場の方角から来たT字路の突き当りには6階建てか7階建てぐらいと思われるマンションがありました。けっこう古い建物に見えましたが、一階には喫茶店のような店があって、夜は飲み屋になっているような話も聞きましたが、竹林が常連にしているとも聞いていました。

私も一度、その喫茶店には入ったように思うのですが、竹林に連れて行かれたもののそれは昼間のことであったと思います。そこで酒を飲んだという記憶はないですし、夜にも入った記憶がありません。

その店では金沢市場輸送の社員同士のトラブルがあって竹林が殴られたような話も小耳にはさみましたが、詳しいことはわからず、誰かに尋ねるようなこともしませんでした。

あるいは竹林以外の、二人の間での諍いであったかもしれません。SSとYTが心当たりの人物ではあるのですが、ずいぶんと前のことで思い出すこともあまりなかったので、ちょっと思い出せなくなっています。やはり竹林が殴られたという話だったとは思うのですが、相手がはっきりしないです。

YTに関しては竹林のことを「ちくりん」と呼んでいましたが、特に折り合いが悪かったとも思えません。SSも同じイワシの運搬の仕事で金沢港で仕事をしていたので、そう折り合いが悪かったとは考えにくいのですが、この二人以外には該当者がなかったようにも思います。

時刻は6月2日10時54分を過ぎたところです。ここ2,3日長めの中断をしていたと思いますが、ようやく期待以上の収穫を得ることが出来ました。それはプレゼンテーションの活用です。URLの紹介とともに内容のテキストの部分は本書と連携させたいと思います。

告訴状の説明に伴うプレゼンテーション／市場急配センター編 - Google スライド

<https://docs.google.com/presentation/d/1paR5XyQxpFQe3Gv_lLX5przUwzyo2bNwcdQOxqIhGJk/edit#slide=id.p>

あと二文字の142字でエラーが出て告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿できなかったので2つに分割をしました。大事なところなので短縮URLと併せたタイトルも掲載しておきます。

告訴状の説明に伴うプレゼンテーション／市場急配センター編 - Google スライド <http://bit.ly/1okxUdk>

Google スライドというプレゼンテーションのサービスを使います。初めは同じGoogleの表計算のサービスでいろいろやっていて、行き詰まりもあり悪戦苦闘していたのですが、プレゼンテーションの方をやってみたところ、しばらく勉強すると予想以上に活用できそうだと思いました。

画像や写真、動画、それにURLリンクを交えた説明に特化したのがプレゼンテーションだと思います。裁判員制度でも活用されているという情報は見かけていました。

本書においてこれまで主にTwitterの写真投稿を活用してきましたが、画像の表示サイズとファイルとしての保存にも難があります。

それ故にPicasaウェブアルバムを併用してきたのですが、本格的なGoogleサービスの活用となればいっそのことGoogleドライブに含まれる他のサービスにも目を向けたのです。

初めにとりかかっていたの次の表計算です。同じGoogleドライブの表計算を使って公開をしています。ついでなので先にご紹介しておきたいと思います。

「2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中」の記事一覧リスト - Google スプレッドシート

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1Eb0nNzmolB0WmPzK7ULhFSc1qMhWqu00npLwnF3Xlfk/edit#gid=32882546>

「2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中」の記事一覧リスト - Google スプレッドシート <http://bit.ly/1okALTE>

現在985件の記事のリンクデータがあるようです。ブログの記事のリンクの一覧ですが、こういうのは情報として入手がしづらいものです。

Googleclのコマンドや何か他の方法でもタイトルとURLの組み合わせを取得できるのですが、どちらも最近の500件までという制限があるようです。

初めはLibreOfficeのcalcという表計算ソフトでGoogleclコマンドで得た情報を読み込んだのですが、URLの部分が自動でリンクにならなかったのです。マクロやlibreoffice basicというプログラム言語を使ってなんとかしようとしたのですが、自動処理はうまくいきませんでした。

プログラムの自動処理としてリンクを生成する関数のコードも生成したのですが、コードとしては実行評価されず、単なるテキストになっていました。

LibreOfficeでURLに自動でリンクをつけるのはオートコレクトという機能なのですが、マクロを含めた自動処理では適用されないようでした。ちょっとした編集を加えるとリンクがつくことを発見したのですが、調べたネットでの情報も少なく、たまたま幸運な発見のようなものでした。

1000件弱のデータに一つ1秒も掛からない処理でも、相当の手間と時間がかかるということも再認識しました。効率の悪いことは他にもやっているなと考えながら、プレゼンテーションの活用に本気で取り組んでみようという気持ちにもなったのです。

LibreOfficeのcalcのデータはGoogle スプレッドシートでインポートしました。本当は同じLibreOfficeのプレゼンテーションソフトのImpressのデータもインポートするかたちにしようとやってみたのですが、画像ファイルが読み込まれていませんでした。

パワーポイントという有名なプレゼンテーションソフトのpptxというファイル形式に保存したものをインポートとしたのですが、ローカルの画像ファイルだとリンクが切れるのかもしれません。プレゼンテーションのファイル本体に埋め込まれるのではないことが考えられます。

時刻は15時55分を過ぎたところです。天気は良いですが余り暑くはないので助かります。この時間、Google スライドでいくつかのスライドを作ってみたのですが、そのスライドのURLをスライドのタイトル名とともに取得する方法を作り出しました。次のような感じです。

※ マイ フォト>資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ

<https://docs.google.com/presentation/d/1paR5XyQxpFQe3Gv_lLX5przUwzyo2bNwcdQOxqIhGJk/edit#slide=id.g3489f7d54_4336>

※ マイ フォト>資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ <http://bit.ly/1u7oWDQ>

URLが長いので今回もTwitterの一つのツイートには文字数がおさまりませんでしたが、URLというのは意味のある情報なので、なるべく短縮URLは使いたくないのです。

一つのリンクの紹介に3行、3つのツイートを要してしまいましたが、これも無駄があるのでこれからは短縮URLを使った場合、補助的に次のツイートに本来のURLだけを掲載していきたいと思います。

Google スライドではGoogleアカウントにログインしていて編集可能な状態だと、スライド内の文字列を範囲選択していると、キーボードの操作で文字が置き換わってしまいます。これは困るのでいったんクリップボードにコピーした文字列をタイトルとして使うようにしました。

ブラウザでの処理を行うのはJavaScriptというプログラム言語です。これにキーボードのショートカットを割り当てています。具体的には＜F12＞ｃがクリップボードの内容を使ったものです。プログラム中には次のような部分があります。

var txt = "※ " + pasteText + " " + d.location.href;

変数に値を設定しているのですが「※ 」という二文字と取得したクリップボードのテキスト、それに半角スペースをはさんで、取得したURLを加えています。肝心なのは「※ 」の部分ですが、本来のWebページのタイトルとは区別するため、このような印を使うことにしたのです。

Google スライドを使っていて気がついたのですが、スライドというのはプレゼンテーションにおける一つのページになっていて、それが固定URLになっていて、スライドの順番を変更しても変わらないようなのです。本来は変更を加えるとURLも影響を受けることが多いかと思います。

これは実に好都合かと思いました。事実上独立した一つのWebページのような扱いができるからです。一枚のスライドには先にも説明したとおり、写真や図形、動画、リンクなどテキストはもちろん、さまざまな形式の情報を詰め込むことができるからです。

告訴状の説明に伴うプレゼンテーション／金沢弁護士会編 - Google スライド <http://bit.ly/T6HaYY>

<https://docs.google.com/presentation/d/1BbD4rowIMfMugZGBRxRJmI7y_Wygl_9G9Xvxs8__fWY/edit#slide=id.g3894a05f1_2_18>

※ マイ フォト>告訴に至る経緯と資料及び社会の反応／金沢地方検察庁御中／金沢弁護士会 <http://bit.ly/1kAkGVR>

<https://docs.google.com/presentation/d/1BbD4rowIMfMugZGBRxRJmI7y_Wygl_9G9Xvxs8__fWY/edit#slide=id.p>

時刻は6月3日10時45分を過ぎたところです。いろいろと起訴を固めた上で取り掛かりたいと調べたり考えたりしてきたのですが、その一つとしてPicasaウェブアルバムの活用の一部を次のように変更をすることとしました。

告訴状の内容に関連したスクリーンショット - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/DgRfAJ>

これまで上記のアルバムに非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の写真付きツイートと同時に対象ファイルのアップロードをしてきました。このやり方自体は変えないのですが、なるべく早い時点でアルバムの移動をすることで固定的な整理することにしました。

そっそくですが、次の2つのアルバムを作成し、そちらにデータの移動を行いました。各ファイル名には頭の部分に年月があるので、それに他意をした形で振り分けを行います。これはPicasaウェブアルバム上での手動の作業になります。

告訴状の内容に関連したスクリーンショット　2014年5月分 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/20145>

告訴状の内容に関連したスクリーンショット　2014年6月分 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/20146>

何年何月分というアルバムに移動させた時点でウェブ上でのデータの位置を固定された扱いにすることにし、URLを参照したいと思います。それに伴い、次のような形式でデータを参照したいと思います。これもURLの取得際にプログラムの処理を施したものです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 2014-06-03-102225無料でやってる事件で、被害者から「弁護士に払う金があるんならこっちに払え」とか言われることがありますが.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/20146#6020507137007680082>

これにともない、これまでとは違う告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）への投稿法を採用することにしました。上記のタイトルとURLは172文字あって、編集中のEmacsから呼び出している自作のプログラムでは文字数オーバーのエラーが出て投稿できません。

本来Twitterは140文字という制限があってそれ以上の文字数の投稿を受け付けないのですが、URLに関してはここ一年ほどの間かとも思いますが、大きな仕様の変更があったらしく、ツイート上の文字数とは別の扱いとして、処理することになったようです。

以前はTwitter独自の短縮URLのようなものもありましたが、詳しいことはわからないものの内部で紐付けのような処理が行われているのか、実質的に短縮URLの文字数のような扱いで投稿が出来るようになったのです。

2014-06-03-110943実質的に短縮URLの文字数のような扱いで投稿が出来るようになったのです.jpg pic.twitter.com/nJYdNfWtAi

言葉では説明しにくい部分もあるので、上記にスクリーンショットをご紹介しました。マウスオーバーをすることで、本来のURLが確認できるという仕様にもなっているようです。

次にPicasaウェブアルバムでの説明をします。先ほどの例で「Picasaウェブアルバム） 」という冒頭の部分が私がプログラム的に自動で付加したものです。Emacsでは「行頭接頭辞」という言葉も見かけた経験がありますが、そんな辺りも参考にしています。

次に「ファイル名: 2014-06-03-102225無料でやってる事件で、被害者から「弁護士に払う金があるんならこっちに払え」とか言われることがありますが.jpg」という部分ですが、Picasaウェブアルバムで範囲選択した文字列の内容をプログラム的に使っています。

2014-06-03-111721ファイル名:　2014-06-03-102225無料でやってる事件で、被害者から「弁護士に払う金があるんならこっちに払え.jpg pic.twitter.com/hHErG48mEl

これも説明のため上記にスクリーンショットを用意しました。右上の方に文字列が反転している部分が、範囲選択の状態です。スクリーンショットのスクリプトも範囲選択中の文字列を利用しているので、そのまま使われています。

ちなみに利用者が圧倒的に多いWindowsパソコンではコピーした文字列はクリップボードとして管理されますが、Linuxではクリップボードとは別に、範囲選択した文字列をセレクションとして、扱うことが出来ます。中ボタンクリックで貼り付けとかですが、プログラム的にも利用できます。

時刻は6月11日11時31分を過ぎたところです。またしても長い中断になりましたが、作業環境としては大きな進歩改善がありました。

改めて確認したのですが、この項目は5月1日からの記述になっているようです。このあたりも改める必要があるかと思いますが、今後はブログとの連携も強化し、全体的な見通しを良くしたいと考えています。

項目をブログの一つの記事に対応させるわけですが、その項目の数も一日に2,3以上を目標にしたいと考えています。項目の数が増えるということは自ずと、内容の細分化にもなるかと思います。方針の転換ですが、他にも色々と考えており、すでに実行していることもあります。

連携している告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）で確認したところ、6月3日以来の再開のようでした。どうもアカウントの切り替えを忘れたままリツイートしていたものもあったようです。

突然ですが、「ガラス張りの庁舎に感動　地裁を小学生が写生」をいうのをテレビでやっています。石川県内ニュースのようです。新庁舎を正面から見たのはテレビでの映像でも今回が初めてでした。

6月6日の午後に光通信の工事がありました。住んでいる能登町で開設、工事費等が無料ということで申し込んでいたものです。

それまでのADSL回線と比較してさほど大きな違いは感じてはいないのですが、アップロードは劇的に早くなりました。特にYouTubeでの動画のアップロードでは大幅に速くなりました。アップロードよりその後の動画の処理に時間がかかるので、閲覧できる状態になるまではそこそこ掛かりますが。

偶然ですがさらなる特典のような感じで、パソコンの画面を録画するソフトで、すごく使い勝手のよいものをたまたま見つけることが出来ました。以前はかなり時間をかけて調べても見つけることができなかったものです。

それまではずっとrecordmydesktopというソフトを使っていたのですが、ogvとかいうファイル形式でしか保存できず、それも処理にずいぶんと長い時間が掛かり、ファイルサイズも大きなものでした。ごく短いものでも60MB以上はありました。

さらにogvだとYouTubeでは扱えないので、ffmpegというコマンドを使ってflvのファイルを別に作って、それをYouTubeにアップロードしていました。ファイルサイズはogvの半分程度で、処理の時間も割と早くはありましたが、手間とパソコンへの負担も気になる作業だったのです。

新しく見つけた動画キャプチャのソフトではほとんど時間も掛からずmp4のファイル形式として保存でき、mp4だとそのままYouTubeにアップロードすることも出来ます。ただ、アップロードしたあとの処理に時間がかかるので、flvにしてからアップロードした方がいいのかとも考えています。

以前のものを含めると次の動画を３つめのGoogleアカウントにアップロードしています。URLと文字数の関係で、直接、Twitterに投稿します。

2013-10-13PythonスクリプトでPicasaウェブアルバムにアップロード,<http://www.youtube.com/watch?v=hmXEm-Nkor8&feature=youtube_gdata>

スクリーンショットを作成して写真付きツイートするスクリプトの実行の動画,<http://www.youtube.com/watch?v=YPjMi9evglg&feature=youtube_gdata>

金沢弁護士会＿Google検索＼2014年6月3日,<http://www.youtube.com/watch?v=RNIIawJ7DJ0&feature=youtube_gdata>

刑事司法の基本を少し勉強された方がいいでせう／ジャーナリスト江川紹子,<http://www.youtube.com/watch?v=eFJy50TnNJA&feature=youtube_gdata>

今朝の朝日が佐藤博史弁護士のロングインタビューをやっているが、このインタビュアーが酷い／ジャーナリスト江川紹子,<http://www.youtube.com/watch?v=2YDSMb_tA3M&feature=youtube_gdata>

取材（初めての場合）、各種相談申込専用電話（基本的に留守番電話対応）／落合洋司弁護士（東京弁護士会）,<http://www.youtube.com/watch?v=iy4ggg3VC4w&feature=youtube_gdata>

自作スクリプトを使ったツイッターの埋め込みコードを含む内容ののBloggerのブログへの投稿状況 2014年6月8日,<http://www.youtube.com/watch?v=5ROMFyXtEZ4&feature=youtube_gdata>

落合洋司　（yjochi）さんはTwitterを使っています、　で「アッコにおまかせ」をキーワード検索＿2014年6月8日,<http://www.youtube.com/watch?v=5nN_1dB722U&feature=youtube_gdata>

落合洋司　（yjochi）さんはTwitterを使っています、　で自分の3つのTwitterアカウントのブロック状態を確認,<http://www.youtube.com/watch?v=qLbjJ5OmUGI&feature=youtube_gdata>

弁護士による法律サービスに市場原理が導入されると需要者の側も淘汰されることは、当初から指摘してきたことです。、という小倉秀夫弁護士の一連のツイート,<http://www.youtube.com/watch?v=xJeSjIdkasY&feature=youtube_gdata>

Emacsでキーバインドした自作のコマンドを使って、googleclコマンドで取得したブログの記事リストを個別にツイートする一連の作業＿2014年6月9日,<http://www.youtube.com/watch?v=3pEL5PI4hB8&feature=youtube_gdata>

木梨松嗣弁護士　 　Google　検索　 　2014年6月9日,<http://www.youtube.com/watch?v=t-bF6NM_tQw&feature=youtube_gdata>

PC遠隔操作事件の真犯人全面自供に関連した刑事弁護、刑事裁判に関する小倉秀夫弁護士のツイートのまとめ　2014 06 09　14：30：09,<http://www.youtube.com/watch?v=pKD-tpLl41I&feature=youtube_gdata>

廣野秀樹（@hirono hideki）／「週刊文春」の検索結果　2014 06 09 22：23:16,<http://www.youtube.com/watch?v=wapWSOUueQQ&feature=youtube_gdata>

岡田進弁護士　 Google 検索 2014 06 09 23：01:33,<http://www.youtube.com/watch?v=9PfFIJSeNQE&feature=youtube_gdata>

Shoko　Egawa（@amneris84）／2014年05月22日　 　Twilog　2014年5月19日から22日のツイートの記録／ジャーナリスト江川紹子＿2014年06月10日15時54分50,<http://www.youtube.com/watch?v=iXoc2CzXoSE&feature=youtube_gdata>

名誉毀損での告訴の検討対象であるモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）とのやりとりをTwilogから探し出し調べた作業の記録＿2014年06月11日10時24分06秒,<http://www.youtube.com/watch?v=Hd5a0H7zoh0&feature=youtube_gdata>

最後の2件以外は文字数制限に掛からず、APIから投稿できました。その2件だけタイトルの書式が異なっていると思いますが、スクリプトを使った処理で作成したファイル名から拡張子が除かれたものです。

ソフトで保存するときデフォルトで「Screencast 2014-06-11 10:24:06.mp4」という書式になっているものを、スプリクトで変換処理しています。初めのファイルへの保存時間が記録されているのだと思います。

最近のLinuxではスクリーンショットの画像保存でも使われている書式なのですが、プログラム的に処理するとエラーが出る半角スペースとコロンの文字が含まれています。

実際に端末で自作のスクリプトで処理をする際にも、引数と指定する際、次のようにエスケープをしています。→　h-filename-date-format.sh Screencast\ 2014-06-11\ 10\:24\:06.mp4

あとあと面倒も起こりうるので、日本語の日付を使ってファイル名に含めるようにしました。なお、この動画ファイルに関しては、パソコンのディスク領域や処理に伴う負担もあるので、保存はしない方向で考え、すでに削除したものもあるかと思います。

ひとつので動画ファイルでも再生時間が11分14秒で665.7 MB となっているので、添付資料のDVDへの収録は見送るつもりです。必要があれば提出しますし、YouTubeからダウンロードする方法もあるかと思います。

試しに58Mのmp4のファイルをflvに変換したところサイズが82Mになって、それをYouTubeにアップロードしてみたのですが、やはりアップロード後の処理に結構な時間がかかっていました。

時刻は6月12日10時26分を過ぎたところです。記述の方針を大幅に変更することにしました。

「拘置所の接見室のアクリル板に張り付けて見せた平成4年4月2日付北國新聞夕刊の事件報道」という項目名だったのも「拘置所の接見室のアクリル板に張り付けて見せた平成4年4月2日付北國新聞夕刊の事件報道、という内容を書く予定だった項目」に変更しました。

<2014-06-12 木 10:33> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 事件の背景と経緯、事件の関与者及び関係者との関係について

### 事件の主要な役割を演じ真相を握る一人被告訴人YSNについて

#### 平成3年春、被告訴人YSNの再会と妻となる彼女の不可解な行動について　2013年11月7日

ずいぶん間をおいた書面作成の再開になります。他にも早めに書いておきたいことがあるので、今回はおおまかな流れを説明することで、問題点を指摘しておきたいと思います。ざっとみたところ9月5日以来の記述ということになるのかもしれません。

被告訴人YSNから電話で連絡があったのは平成3年4月の下旬だったと思います。4月末からのゴールデンウィークに入る少し前でした。彼から連絡があったのも半年以上間があいていたと思います。その前回は、連絡だけではく金沢市の繁華街片町で直接会っていました。

片町で被告訴人YSNと会ったのは数年ぶりのことでした。彼とはほとんど連絡のない状態が長く続いていました。すぐに思い出せるのは昭和62年の春先頃のことで、確か片町の金劇の中にあるスナックで、私より二つ年上のAKという人と3人で飲んだことを憶えています。

その席は被告訴人YSNの送別会のようなものでした。支払いは被告訴人YSNが持っていたはずです。暫く当分の間会えなくなるような感じで、被告訴人YSNの一大決心のような話も聞かされたような気がするのですが、細かいことは思い出せません。

その場にいた二つ年上のAKさんは、被告訴人OSNと被告訴人OKNの家でプロパン配達の仕事をしていたこともあり、また、その後は長くOSNの鳶職の会社で働いていたとも聞いています。作業中に一緒に作業をしていた仲間が落とした鉄パイプが太ももに突き刺さる怪我をしたとも聞きました。

その鳶職の仕事中の怪我については、平成10年頃、配管の仕事で世話になっていた被告訴人KYNから聞いていたと思います。すでにその時は被告訴人OSNの会社を辞めたと聞いていたと思いますが、直接会う機会もなかったと思います。

彼は姫のNとも親しくしていたはずですが、その後の友達づきあいなども私にはわかりません。被告訴人YSNとの関係も同じです。このような公開の場では書くのをためらうようなつながりや接点もあるのですが、被告訴人YSNとのつきあいが続いていたという可能性もあるかとは思います。

二つ年上のAKさんは、私と同じ宇出津で被告訴人OSNと同じく一つ年上の女の人と結婚していました。彼女も被告訴人OSNとは特に親しい間柄でしたが、平成3年12月21日の夜、被告訴人HTNに連れて行かれた片町の飲み屋で働いていた二人の女性の一人もこの女の人でした。

被告訴人YSNが珠洲市飯田のシーサイドの近くでブルーバード510を横転させ、ギンギラギンにさりげなく、と歌をうたい始めたという話も既に書いているかと思いますが、その車に同乗していたのも、その飲み屋の二人の女性だと聞いています。

二つ年上のAK夫妻は、昭和62年頃、金沢市保古のアパートに住んでいました。私の東力2丁目のアパートとは歩いても行けるぐらいの距離だったので、何度か遊びに行ったこともおぼえています。当時彼は、川元急送というような会社で2トン車に乗務して市内配達の仕事をしていました。

昭和61年の夏から秋、私が金沢市場輸送で市内配達の仕事をしていた頃、配達先でちょこちょこ顔を合わすこともありました。ニュー三久（さんきゅう）というスーパーで会うことが多かったと思います。

今、こうやって書きながら当時のことを思い出していると、自分の仲間内で金沢市で市内配達の仕事を始めたのは二つ年上のAKさんがさきがけだったとも思えますが、運送会社の性質や仕事の内容は違っていたとも思えます。

川元急送というのはけっこう大きな会社でトラックの数も比較的多かったと思いますが、私個人としてはどういう会社なのか話を聞くこともなく、余り知らないという事情はありました。メインの仕事もわからなかったですが、スーパーの配達が多いという感じでした。

ニュー三久の専属の運送会社という感じでした。最近のことは知りませんが、金沢市近郊では店舗数の多いスーパーでした。金沢市場輸送の配達でも荷物は多い方でした。本多町、城南店、三ツ口店、淺の川店などが自分の配達先でした。

金沢市場輸送が市内配達の仕事を始めたのは昭和60年頃のことですが、もとはといえば、石川日通、鷺富、小林運送などの運送会社も2トン車一台ずつぐらいの割合で参加していました。自分が市内配達をしていた昭和61年のことです。

はじめは共同事業のような感じでやっていたそうですが、トラックの数が多く、配車係のような責任者を置くのが金沢市場輸送でした。もとはといえば寄せ集めから始まり、もめ事もあったと聞いたように思いますが、金沢市場輸送に一本化した上で、独立したのが市場急配センターでした。

金沢市場輸送というのはもともと長距離一本の運送会社でしたが、昭和60年頃から金沢中央市場の市内配達を手がけるようになり、市場内の仲買など中央市場の関係者から出資や援助を受けているような話も聞いていました。自分が知らない経緯もあるかと思うのですが、意外に感じることもありました。

昭和63年頃、金沢市場輸送の10トン車で鮮魚の長距離輸送をしていた頃、夜中に荷下ろしが終わって、市場の中にトラックを止めたまま食事に行っていると、フロントガラスに大きな張り紙で駐車禁止の注意書きを受けることがありました。

聞いた話によると、金沢市場輸送だけがちょっとした会費の支払いを拒んでいるため、中央市場に出入りする業者では金沢市場輸送だけがそういう扱いを受けているというとのことでした。当時のT社長の一存で拒んでいるという話でした。

金沢市場輸送には昭和59年当時、ちょこちょこ会社に顔を出す、上出という年配の人物がいて、周囲からは株主だと聞いていました。彼はその後、加賀能登の物産展の仕事を手がけるようになったようです。この物産展の仕事は金沢市場輸送がよくやる仕事の一つで、トナミ航空の請負になっていました。

全国各地のデパートでやる物産展の道具や商品を運ぶ仕事でした。私自身、平成4年の1月13日頃には東京の池袋のデパート。三越ではなかったかと思いますが、金沢から荷物を運び。同じく1月の終わり頃には、同じ池袋のデパートから荷物を引き上げる仕事をしました。

いつ頃かははっきり思い出せないですが、岩手県の盛岡のデパートから荷物を引き上げる仕事の時、上出がいたことを憶えています。その頃になると会社で上出の姿を見ることはなく、金沢市場輸送や市場急配センターとの関係も不明でしたが、癖のある人物でもあり、あえて関係性を目立たせなくしている

のか、と考えることもありました。宮崎県のデパートでも顔を合わせたかもしれません。都城だったような気もします。青森市内のデパートでも顔を合わせたような気がするのですが、だとすれば青森が最後に見た姿だったような気がします。平成3年の頃かとも思います。

上出のことは昭和59年当時、ちょくちょく事務所に来ていたのでよく知っていたのですが、その後は不思議に思うぐらい、話を聞くこともなくなっていました。金沢市場輸送とは縁を切っていたことも考えられますが、市場急配センターの被告訴人MHK社長の関係など気になる人物です。

金沢市場輸送の事務所が中央市場前の西念町にある頃は、午後、事務所の入っている建物の前の大通りにトラックを駐車させ、そこでワゴン車などに運ばれてきた物産展の荷物を積むことがほとんどだったと思います。

だいぶん説明が逸れてしまったので、被告訴人YSNの話に戻しますが、被告訴人YSNは昭和60年の夏頃、金沢市場輸送が市内配達の仕事を始めた頃に、市内配達の仕事をしていたと聞きます。人伝の話だったので、細かいことも憶えていないですが、長くて3ヶ月程度ではと思われます。

氷の運搬の仕事が多かったような話も聞いたように思います。この氷の仕事は私も昭和59年の夏頃、長距離の仕事の合間にちょこちょこやらされていました。白菊町の冷蔵庫や金沢港の漁連に氷の固まりを運ぶ仕事でした。一つ100キロ以上ある氷の固まりをポンコツのトラックで運んでいました。

どういう経緯で、被告訴人YSNがその時、金沢市場輸送で仕事をするようになったのか、要領を得るような話は聞かなかったと思います。本人に直接尋ねたはずですが、それでも誰それの紹介とか、はっきりした説明はなく、あるいは職安に求人が出ていたので、応募したという話だったかもしれないです。

被告訴人YSNとの間には、珠洲市三崎出身のHMという男がいました。年は私の一つ上でした。昔は被告訴人OSNと兄弟のように仲が良くいつも一緒に行動をしていた時期があると、聞いたこともあり、名前だけは昭和56年の頃から聞いていたと思います。京都に行ったとも聞いていたと思います。

私が珠洲のHMと初めて会ったのは昭和58年の9月か10月頃でした。場所は被告訴人YSNの金沢市観音堂のアパートでした。そのアパートに彼がちょくちょく顔を出していたのです。彼は観音堂に近い金沢市寺中町に事務所のある中西水産輸送で4トン車で長距離に乗務していました。

一度、誘われて長距離の運行に同行し、山口県の宇部市まで行ったことがありました。帰りは大阪まで国道2号線を走り、広島から積んだ荷物を静岡県内でおろし、山梨県から長野県、新潟県の糸魚川に出て、富山県から金沢に戻ってきました。

彼はその後、金沢市黒田にワンルームのアパートを借りて住むようになり、そのアパートにも何度か遊びに行っていました。彼は私が金沢市場輸送を昭和59年の10月中頃にやめる、半月か一月ほど前に入社し、同じく4トン車の長距離に乗務していました。一応、私の紹介というかたちの入社だったと。

彼はその後、守田水産輸送にいましたが、輪島屋鮮冷との間を、行き来していたはずです。金沢市場輸送と守田水産輸送は1年半ぐらいの間、仕事のやりとりが多く、私も青森の鮮魚の定期便をやっていました。

金沢市場輸送の事務所が西念町から二口町に移転してからも、およそ半年ぐらいの間は、仕事のやりとりが続き、守田水産輸送のトラックは金沢市場輸送の事務所で給油までやっていました。その後仲違いしたのか、仕事のやりとりもなくなりましたが、詳しいことは忘れました。

珠洲のHMは、短かったですが、私の紹介で中西運輸商に戻り、しばらく4トン車に乗務した時期もありました。短かったですが、当時住んでいた黒田のアパートと、YTの妻が働く店が近かったこともあり、短期間に親しくなったような様子でした。喫茶店のような店でしたが夜はスナックのような話でした。

このYTについては、本書においても既に触れているかと思います。元々は佐川急便のホームで、作業のアルバイトに来ていたのを誘って、運転手になり、免停か取り消しがきっかけで配車係になって、その後は金沢市場輸送の配車係にもしていた人物です。年はたぶん、私の一つ年下ではなかったかと思います。

そういえば免停中であったのか、警察の検問を突破しようとして警官に軽い怪我を負わせ、10日ほど留置場に入っていたということもありました。金沢市場輸送にいた頃だったと思いますが、はっきりした時期は憶えていません。

それから暫くした頃かと、思いますが、請負で市内配達の仕事をしていた被告訴人HTNが、片町で酒を飲んでいるときに喧嘩をして、相手に頭蓋骨骨折の怪我を負わせ、同じく10日ほど留置場に入っていたという話を聞いていました。詳細不明ですが、罰金で済んだような話だったかと思います。

YTは平成3年頃になると、守田水産輸送に手形の裏書きをしてもらったような話で、3台ぐらいの10トントラックを保有し、子会社のようなかたちで、守田水産輸送の仕事をしていたような話でした。都商事という名前だったと思いますが、同じ名前で守田水産輸送は、鮮魚の中継の仕事もしていたはず。

中継というのは九州や四国など遠方からの荷物を、富山、高岡、福井のような別の行き先の荷物を小口として運ぶ仕事でした。最低でも一箱50円の運賃という相場だと聞いていたように思います。

金沢の中央市場では、山水運輸、ウロコ運送、守田水産輸送が鮮魚の中継をやっていました。金沢市場輸送でも石巻・塩釜の定期便で高岡行きの荷物は、守田水産輸送に中継を出していました。福井は自社便が出ていて、そのうち市場急配センターの仕事になりました。

はじめに市場急配センターの事務所が更地の状態として利用が決まった頃は、YTとFHの二人は、ここで中継を始めると断定的に話していました。FHは中西運輸商でトレーラーの運転手をしていた人物ですが、確か免許取り消しになり、YTと同じ頃、同じように配車係をするようになり、

YTが金沢市場輸送に来ると、すぐに後を追うような感じで金沢市場輸送に来て、同じく配車係をするようになっていました。当時の運送会社の社員としては年配で、50代になっていたような気もします。

更地で中継の仕事をすると聞いたのは平成2年の3月ぐらいではと思います、金沢港のイワシの運搬の仕事もダンプを除きなくなりかけた頃であったかと思います。

金沢港でイワシの運搬の現場監督のようなことをやっていた市場急配センターの社員、小林健一が暇を持てあますようになったのも同じ頃からでした。金石街道から中央市場方面に入ってすぐのところに、掘っ立て小屋のようなラーメン屋があり、そこでよく一緒に食事をしたのですが、

昼間から焼酎を煽っていたような気もするのですが、市場急配センターの社長であった被告訴人MHKに対する不満や愚痴を口にすることが多くなっていました。当時はかなり珍しかったパソコンにデータ入力する仕事もやらされ、他にできるものもいないと話していました。

これは私の事件の被害者となったAAさんが、受け持ちとする仕事であったので、彼女が入社する前であったことはほぼ間違いないと思います。小林健一はまもなく会社から姿を消したのですが、ちょうど入れ替わりのようなかたちで、彼女の姿を金沢市場輸送の事務所で見かけるようになりました。

YTとFHが事務所から姿を消したのも、それに近い時期であったと思いますが、小林健一より一月ぐらい後だったように思います。なんとなく6月頃だったという記憶が残っています。AAさんの姿とはしばらくの間、同じ金沢市場輸送の事務所内でみることがあったような気がします。

YTが金沢市場輸送に来たのは昭和63年の12月頃だと思います。その12月の20日頃に、10トン車に同乗させて一緒に宮城県の石巻に行ったことがありました。ハローなんとかいうチェーンのおもちゃ屋に、新規開店の商品を運ぶ仕事でした。同じ店の仕事で、四国の高知市に行ったこともあったので、

ほぼ全国にチェーン展開している店で、あったと思います。金沢市内でも八日市のあたりに、同じ系列の店があったように思います。当時は珍しい感じのチェーン展開のおもちゃ屋でした。

YTは金沢市場輸送に来る前、私に連絡を寄越し、金沢市場輸送で配車係をしたいので紹介してほしいと、かなり強い希望という感じで話を持ちかけてきました。国道八号線沿いで松任市（現在の白山市）の寺井町より最果てにあるような団地にも、妻子と一緒に行ったことを断片的に記憶しています。

YTの目的は、中西運輸商の仕事の中心として請け負っていた佐川急便の広島九州便を、中西運輸商に取って代わって請け負うことでした。だいぶん前から中西運輸商は事故も多くて佐川から切られるのは時間の問題という話は聞いていました。

私は昭和59年12月から昭和61年3月、昭和62年1月から同年4月頃まで、中西運輸商にいました。先に入ったときは年齢の制限にも掛かっていたので、普通免許で4トン車に乗務。二度目の入社では大型免許で10トン車に乗務していました。この時は、YKもFHも運転手をやっていました。

仕事の中心が佐川急便の広島九州便であったことは同じですが、広島県東広島市にある西日本運輸興業という会社の請負だと聞いていました。その後、この親会社が倒産したとも聞いたのですが、細かいことは憶えていません。

そのうち中西運輸商がついに佐川から切られたという話は聞きましたが、広島九州便は九州運送がやるようになったと聞いていました。

YTは金沢市場輸送に来てまもなく、九州から運転手を7人か8人ぐらい連れてきました。結局、慣れない雪道の東北便が多いと言うこともあって、ほとんどはすぐにいなくなってしまったと思います。一人だけ残った運転手がいて平成3年の春頃も、金沢市場輸送で姿を見かけていた覚えがあります。

だいたいの名前も憶えていますが伏せておきましょう。確か北九州市でちょっとした事故を起こし、相手が悪くてずいぶんともめているという話を耳にすることがありました。この時も、事故のトラブルは市場急配センターの社長であった被告訴人MHKが担当しているような話だったと思います。

被告訴人MHKは中古車販売の店を経営していたこともあり、事故の保険に関してはずいぶんと慣れているような話で、金沢市場輸送の事故の処理も任されていたようです。私が初めて市場急配センターの事務所に入ったのも、金沢市場輸送の同僚運転手のつきあいでしたが、事故処理の話でした。

私はさいわい保険を使うような事故は昭和61年の入社以来は起こさなかったので、直接、被告訴人MHKと保険の話をするような機会はなかったです。相当に顔が広く、口が利き、やり手だという印象は持っていました。

金沢市場輸送で佐川の仕事をすることについて、配車係から金沢市場輸送の社長になった被告訴人MTKは当初から乗り気ではないという感じでした。それでも私自身、一度は金沢支店から九州便の仕事を金沢市場輸送のトラックでやったことはありました。中西運輸商の仕事としてやったような気もします。

被告訴人MTKが金沢市場輸送で配車係をするようになったのは、昭和61年の12月頃からだったと思います。それまでは運転手でしたが、配車係の藤村さんが手術のため数ヶ月入院することになり、さんざん頼まれて仕方なく引き受けたと言っていました。私がちょうど大型免許を取った頃のことです。

ついでに書いておくと、女性事務員として被告訴人IHKの姿を見るようになったのも同じ頃で、被告訴人UHKの姿を市内配達の運転手として見るようになったのもだいたい同じ頃かと思います。

被告訴人MTKが配車係として仕事をするようになったのは、ちょうどバブル景気の景気上昇とも重なっていたはずです。当時社長であった被告訴人TSKに拝み倒されて配車係をするようになったが、給料の面でも満足な待遇は受けておらず、運転手の時より悪くなったと、繰り返し話していました。

当時の金沢市場輸送の給料システムでは基本給が10万円で、年間1万円のベースアップがあり、8年目の彼は他の運転手と比較してずいぶん恵まれていたような話をしていました。歩合というのも他とは変わっていて、荷物を積んで走った距離に大型車だと20円を掛けるような計算でした。

その後、事務所が二口町に移転してから給料の計算方法が変わり、距離ではなく運賃の売り上げを計算するものに変わりましたが、基本給の部分が大きくなり、歩合の幅は逆に少なくなったような気もします。

給料というのは理解のできないような計算結果になっていましたが、総額で50万円を超えていることはなかったように思うのですが、手取りは最高で43万円を超えることもありました。給料計算上の休みというのはほとんどなしでした。

予定している運行を行かないと言われるのが一番困るので、会社としてはそういう曖昧な基準で休日の計算をしていたのだと思います。丸一日の休みとなると少なかったとは思います。

市場急配センターにおいては基本給が50万円ということになっていましたが、手取りで40万円を超えることは一度もなかったと思います。離婚したので税金の引かれる額は増えたのだとは思いますが。どうかと思う明細ではありました。

金沢市場輸送においては4トン車や大型車に乗りたての頃の方が、仕事もきつく、給料も安かったと思います。高速道路の利用もずいぶんと制限されていました。一般道だと2，3倍の時間が掛かることもあります。道路事情も大幅によくなり整備されていきました。

YTとFHの二人は、事務所で暇を持てあますような姿を見ることが多く、荷物の積み替え作業を手伝ったり、雑用に近いような感じに見えていました。被告訴人MTKが配車係としての仕事を手柄を独占していい気になっているような話は、比較的若い女性事務員の口から話を聞くこともあり呆れた風でした。

銭湯に行って中断していましたが、銭湯の中で考え事をしながら思い出したことがいくつかあります。一つは、YTの姉の旦那という義理の兄が、金沢市場輸送で10トン平ボディ車に乗務していました。結構長かったと思います。あるいはやめる前に自分の方が市場急配センターに移動したかもしれないです。

もう一つはYTの父親のことです。父親の話というのはYT本人から余り聞いてはいなかったように思いますが、他の運転手からYTの父親がイワシの運搬をするようになったと聞き、それらしい人の姿を北陸ハイミールの台貫場で何度か見かけていました。遠目にしか見たことがなく顔の認識もないです。 YTの父親のことをしったのは、平成3年の12月からのイワシのシーズンだったと思います。比較的小型のダンプに乗務していたように思います。小型と言ってもダンプはすべて10トン車でした。ダンプもトラックも大型化するほど総重量が増え、法定の積載量は少なくなっていました。

#### 平成3年春、被告訴人YSNの再会と妻となる彼女の不可解な行動について　2013年11月8日

昨日に書いたとおり、金劇の飲み屋で3人で酒を飲んで以来、被告訴人YSNから連絡というのはほとんどなく、数年の間一度も会っていなかったと記憶しています。なお、そのスナックのような飲み屋は金劇のビルの地下の方にあったように思います。

そのスナックには二人の女性が働いていました。店を任されているという感じではなかったかと思います。その頃には親しい付き合いはなくなっていたのですが、昭和56年の11月頃に知り合った女友達で、宇出津に住んでいた期間も長かったです。

二人とも年は私より一つ年下ではなかったかと思います。あるいは同級生で誕生日が早かったのか知り合った頃は16才だと聞いていました。金沢市内で一人は末町、もう一人は瓢箪町に実家があるという話でした。

昭和58年の初め頃だったかと思いますが、ある日の朝、二人の少女が住んでいた片町の近くのアパートに遊びに行ったことがありました。するとその時、昨夜ここで遊んでいた友達がアパートを出た後、南町あたりで大事故を起こしたと驚いた様子で話をしていました。

タクシーと衝突したとかで、死人こそ出なかったものの3人だかが意識不明の植物人間状態だと聞いたのは、その事故を起こしたというUH本人からであったかと思われます。昭和58年の秋から冬頃、彼女と二人でよく観音堂のアパートに遊びに来ていたUHでした。

UHの姿を被告訴人YSNの部屋で見たという記憶も余りないのですが、気さくに話をする間柄ではありました。UHが顔を出していたのは珠洲市鵜飼あたりが出身と聞くYHでした。YHはその後、中央市場の鮮魚関係の山水運輸で働くようになりました。

先に山水運輸でトラックに乗るようになったのは同じ珠洲市のSKという男で私とは同級生だったと思います。当時は金沢市神田のアパートに、小松市の女と同棲していました。同じアパートにもう一組の男女の友達がいて、それが被告訴人YSNが昭和61年の12月頃、ヤクザになって人が変わったと話していたKという男。

神田のアパートに遊びに行った頃、昭和58年の秋だったと思いますが、Kは遠洋漁船に乗って一儲けしてくると抱負を語り、彼女は涼んだ様子で部屋にうずくまっているように見えたのが印象的で、被告訴人YSNからそんな話を聞かされてもいました。

Kの彼女にはいつも一緒にいる女友達がいて、二人とも下の呼び名は憶えていますが書かないです。先の金劇のスナックの二人の元少女とも関係が似ていたので、よく憶えています。金劇の方は二人ともフルネームを記憶しています。

Kの彼女の相方は、珠洲市蛸島のSMという男と付き合っていました。被告訴人YSNとは同級生でもあり、ちょくちょく被告訴人YSNのところに遊びに来ていました。読売新聞の勧誘をやっているという話だったと思います。金沢で「暴狂悪女」とかいう暴走族に入っていたような話も聞きました。

昭和58年の春頃、被告訴人OSNが宇出津で一時期乗り回していたハコスカという改造車も、そのKが所有し改造した車だと聞いていましたし、顔見知りでもあったとは思います。珠洲方面の同世代との付き合いは以前は多かったとも聞いていましたし、珠洲市三崎のHMもその一人でした。

細かく書けば他にもいろいろつながりはあるのですが、他の人間の付き合いの程度や関係の有無というのは、ほとんど把握できないものです。親兄弟以上に密接な関係だったのが疎遠になったり、その逆も十分ありうるとは思います。

能登の宇出津というのは一つの中心で、当時は石川県立水産高校があったのも人間関係の上で影響があったと思います。珠洲市大谷出身のYSさんも水産高校でしたが、私は相撲部にいた関係で中学校1年生のころから知っていました。大谷というのは珠洲市でも輪島市に近いところです。

思えば昭和59年の春か夏頃も、YSさんを金沢市場輸送に紹介したことがあったような気がします。入社してもすぐにやめたと思いますが、短期間東力のアパートに滞在していたこともあったかと思います。

彼はその後、佐川急便関係の長距離トラックの仕事をしていた時期もありました。一度、野々市のマンションのような自宅に遊びに行ったこともあったのですが、当時金沢市保古町のアパートに住んでいた前出のAKさんが一緒だったような気もします。昭和60年か61年頃のことかと思います。

能登の人間関係には当時もう一つ大きなつながりがありました。それは小木港の遠洋漁船でした。小木は現在は宇出津と同じ能登町ですが、確か平成17年に、市町村合併する前は珠洲郡内浦町小木でした。小木は現在でも中型イカ釣り漁船がいますが規模は遙かに縮小しています。当時は鮭鱒漁もありました。

内浦町小木には宇出津同じく能都町の姫という地区が隣接していますが、こちらも小木港と同じような遠洋漁業をやっておりました。姫というのは半島のような地形になっているのですが、主要道路沿いだと小木の隣は真脇という感じかもしれません。

姫も真脇も高倉地区と呼ばれていました。小学校は真脇小学校でしたが、中学校は宇出津にある能都中学校でした。小木には小木中学校があるので、親戚でもない限り交流や付き合いが始まるのも、中学校卒業以降のことでした。当時は中学を出てすぐ遠洋漁船にのる少年も何人かいました。

どちらかといえば、高校を中退して遠洋漁船にのる少年の方が多かったと思います。当時は稼げる仕事でもあったのですが、昭和59年あたりに二百海里問題が起こると、状況は一転して悪化し、小木や姫の船がソ連や北朝鮮に拿捕されたとか、操業停止になったというニュースが多くなりました。

姫は住宅の新築率が石川県内一と聞いたこともありましたが、姫や真脇の同級生の家に遊びに行くと、宇出津の友達の家とはまるで違うぐらい裕福そうでした。漁業がふるわなくなると、家も建たなくなり大工が廃業、地域の経済そのものが著しく悪化して、宇出津でも自殺や夜逃げが増えていると聞きました。

福井刑務所で同じ班だったTKとYKは、確か口をそろえるような感じだったと思うのですが、金沢市場輸送の社長だった被告訴人TSKが能登など田舎の方で金貸しをして儲けている、あるいは儲けていたという話をしたこともありました。どこまで本当の話かわかりませんが、

TKは被告訴人YSNのことを知らないと、はっきり言いました。あらかじめ用意したように返事が早かったので、この時は逆にどうかとは思っていました。あいまいな感じの受け答えで探りを入れているように感じられることもあったからです。

私が被告訴人YSNと一緒に市場急配センターの市内配達の仕事をするようになったのは、平成3年の6月か5月の下旬のことです。私自身の記憶では5月なのですが、拘置所で入手した金沢市場輸送の運行表によると5月中から6月前半は金沢市場輸送の長距離運行があったので、6月になりそうです。

朝一番の仕事は、夜中に山水運輸が中継をやっているあたりの売り場で積み込みをやっていました。市場の敷地内には高瀬商店というパンやおにぎりを売っている小さな売店のような店があって、毎日のようにその店に行っていたのですが、その店から積み込み場所に歩いて戻る途中、

被告訴人YSNが突然、自分がバーテンで働いていた片町の店が、薬物売買の事件で警察の摘発を受けたとか言う話を始めたのです。唐突に切り出したという感じもありましたが、話の内容が要領を得ない感じで余り理解できなかったと記憶しています。聞き流した程度で、尋ねることもなかったと思います。

あるいは店の客が摘発を受けたとか、店が警察の捜査を受けたような話であったかもしれませんが、探りを入れて反応をうかがう気配も感じられなくはなかったです。ただ漠然と彼自身が薬物に手を出すことはないだろうと判断したようには思います。また、売人ということまでも考えなかったはずです。

被告訴人YSNがシンナーで発狂し精神病院に入ったいたことは前にも書いていると思います。本人の話によると一週間ほど昏睡状態で生死の境をさまよったということでした。これは昭和56年の12月か昭和57年の1月頃のことだと思います。

彼はその後にも、シンナーに手を出し、すぐにおかしくなったそうですが、自覚があって自分から病院に行ったような話でした。それにその2回目の時は、入院の期間も短かったようです。あれこれ事実を当てはめていくと、彼は二度目に精神病院に入ってから金沢市場輸送で市内配達の仕事をしていたことが考えられます。

消火器の仕事で出張中にシンナーに手を出したような話で場所は新潟市と聞いたような気もします。新潟の精神病院にいたという話は聞いていないので、だとすると自分で金沢に戻ってから病院に行ったことになりそうです。それとは別に、消火器販売で警察に連れて行かれたという話も聞き、

それも場所が新潟市だったような気がするので、私の方で記憶を混同している部分もあるのかもしれません。彼が消火器の仕事を始めたのは昭和58年の10月頃だったと思います。その年一杯ぐらいはちょこちょこ会ったりしていたのですが、そのうち連絡もなくなり付き合いもなくなっていました。

私が被告訴人YSNの観音堂のアパートを出たのは昭和58年の11月の10日頃だったと思います。彼は消火器の仕事に専念するようになり、出張と称して県外に出ることが多くなっていました。詐欺に近いような訪問販売でした。

先輩に消防署の方から来ましたというのは、消防署の方角から来ましたという意味なので、いざというときはそう言い張れば通用すると言われ、まったく受け入れている様子でした。理解に苦しむところがあり、感覚的にもついて行けないと思うようになり、疎遠になっていきました。

本人は違法という自覚も全くない様子で、むしろ防災のための社会貢献をしているという自負心さえ持っている様子で、充実した仕事としていきいきとやっていたようです。消火器は一本1万5千円で売りつけていたのではと思います。くわしいことは忘れましたが、一本売ると、

7千円以上の現金収入にはなるという話であったと思います。いいときは一日で10万円ほど儲けたという話もあったように思いますが、被告訴人YSNが始めた頃は、社会問題として認識されつつあり販売がやりにくくなって、余り売れなくなっているという話でした。

全国各地で消火器を売り、その場所のホテルに宿泊し、トルコ風呂に行って遊ぶというのがお決まりのパターンだったようです。ソープランドという名前になったのはもう少しあとだったように思います。会うたびに、そういう話をしていました。

彼はそのうち、金沢市増泉の通称「いっさか」というあたりに新しいワンルームのアパートを借りて住むようになっていました。増泉の一部と野町の一部にまたがるそのあたりは、昔、遊郭があったという伝統もあるらしいのですが、売春街のような界隈でした。

そのあたりはもう何年も行ったことがないので、現在はどうなっているのか知らないですが、当時は古くて小さな飲み屋が多く建ち並んでいる小路で、夕方明るい時間から店の前に、ど派手な女の人が立っているのが当たり前の光景でした。

詳しくはしりませんが、その「いっさか（たぶん石坂）」でも野町の方は、西の茶屋街とかで現在は観光地でテレビで紹介されたりもしているようです。金沢市場輸送の社長であった被告訴人TSKの家も野町のその辺りにあると聞いていました。謎の多い人物でしたが、ヤクザの組長をしていたという

話もあります。運転手の間で野町の家に行ったとか見たという話は一度も聞いたことがなかったですが、どのような暮らしぶりをしていたものか、今となれば気になるものです。

被告訴人TSKの夫人は、昭和59年頃は片町で飲み屋をしていると聞いていました。夜に飲み屋の仕事をして、昼は事務所で経理の仕事をしているという感じでした。かなりぎすぎすした感じで無愛想、机に座って机の上だけを見てもくもくとソロバンをはじいているという印象でした。

## 平成4年の傷害・準強姦被告事件についての事実と被告訴人らの関与について

### 被害者AAさんの言動と関わり、事件へと至る経緯

#### DONE 市場急配センターの会社裏駐車場に彼女が自分の軽自動車を駐車するようになった行動＿2014年6月13日

<2014-06-13 金 09:33> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

基本的な事実は、前に記述した伊吹パーキングエリアからの電話の続きになります。きりがないのですでに書いてあることは概ね説明を省略します。全体に目を通さなければ正しい理解も把握も出来ないと思いますが、そういう問題とも考えています。

本当はプレゼンテーションソフトでPDFファイルを作って、説明をしたいとも考えていたのですが、時間的にも余裕があれば、また検討してみたいと思います。実況見分調書的なものをつくろうと考え、それはそれで必要性は感じておりますので、できればと思います。

資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google>

とりあえずは上記のPicasaウェブアルバムを使ってご説明したいと思います。ただ、思っていた資料がアップロードされていない可能性に気がついたので、それをちょっと調べてみます。

時刻は10時54分を過ぎたところです。過去のファイルを探していたのですが、パソコンから見つけ出すことは出来ず、Microsoft社のOneDriveとかいうストレージサービスからダウンロードしました。前はSkyDriveというサービス名だったとも思いますがLinuxから使えます。

ダウンロードしたファイルのファイル名をスプリクトで一括変更し、それをPicasaウェブアルバムにアップロードしたのですが、アップロードが始まるところまでの作業を録画しましたので、これは別の項目で説明をしておきたいと思います。

なお、これまでと方針を変えて、同時進行でも記述の開始時間と終了時間を使っていきます。一つ一つの項目はできるだけシンプルに独立性を保ち見出しの趣旨に対応したものにしたいと思います。プログラムにおけるモジュールの独立性という感じです。

時刻は6月14日9時13分になっています。昨日は書き始めてすぐに使いたいと思った写真ファイルが見当たらないことに気が付き、探しだすのも時間がかかりましたが、その後にPicasaウェブアルバムに関する説明を書いたりしていました。前からやっておきたいとは考えていたことです。

*\*スクリプトでファイル名を一括変更し、Picasaウェブアルバムにスクリプトでアップロードする資料作成の手順の紹介と記録＿2014年6月13日*

*\*Google+とPicasa ウェブ アルバムの利用方法と違い、及び本文中で使用するURLについての説明＿2014年6月13日*

昨日はこの項目の下準備として上記2つの項目を書いておきました。org-modeの見出しへのリンクを入れたのですが、Emacs23だとHTMLのエクスポートでもページ内リンクが作成されていました。

末尾に「」という部分のある見出しはBloggerのブログに記事として投稿済みという印です。org-modeではタグという扱いになるようです。タグの部分はEmacs23でのHTMLには反映されていませんでした。org-modeのバージョン自体もことなるかと思います。

ひとつは昨日の再掲になりますが、主に次の２つのPicasaウェブアルバムの写真を使って、実況見分調書的な説明をやったみたいと思います。

資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google>

資料写真／2007年7月21日撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2007721>

まず前提としての説明をしていきたいと思いますが、金沢西警察署の捜査でも金沢地方裁判所、名古屋高裁金沢支部、最高裁を含め、さらには再審請求を含めて、事実上ほとんど皆無に、問題にされなかった問題です。

そもそも問題にされなかったことが不思議でしょうがないような問題なので、その辺りから説明をしたほうがいいかと思いました。あるいは刑事司法、刑事弁護の構造的に重大な欠陥が、ごく当たり前のように現れただけの問題であったのかもしれません。

解釈、ご理解は各自におかませするしかないと思いますが、私は実際に経験した裁判というものを、具体的に説明する必要性を感じています。

時刻は6月15日10時55分になっています。ほぼまる一日、記述を中断したかと思いますが、改めていろいろと考えさせられる機会もありました。関連もあるのでこの項目でそのまま書くことも考えたのですが、別に項目を作って書きたいと思います。戻ったら見出しをリンクにする予定です。

<2014-06-15 日 10:59> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

<2014-06-17 火 08:37> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

テレビのとくダネ！で、「小保方氏パートナーが会見　「STAP細胞の証拠ない」」というのをやっているのですが、それに関連していると思われる弁護士のツイートを一つ紹介しておきたいと思います。刑事弁護とはなにかと改めて考えさせられる問題でもあるからです。

2014-06-17-074612０．０００１％でもあるとしたら、ないというのはウソをつくことになるから。.jpg pic.twitter.com/1587I38j8X

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: ないことが証明できないのは当然で、誠実な科学者であればそれを断言はしな い。 ０．０００１％でもあるとしたら、ないというのはウソをつくことになる か／坂本正幸弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/06/blog-post_1572.html>

上記リンクはブラウザからの投稿でも−6文字になったので、「2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中:」というブログ名の部分を削りました。

誠実な弁護士、なにに対して誠実なのか、ということについても色々と考えさせられるところがあります。翻って木梨松嗣弁護士は何に対して、何に向かって弁護活動を行ったのかという視点を、常に持ってこれからかく私の説明を考えてもらえたたらと思います。

まずは、被害者AAさんが自分の軽四自動車を会社の裏にあるトラックや運転手の乗用車をとめる駐車場にとめるようになった始まりから説明をしたいと思います。それは平成3年11月30日の土曜日の可能性が高いです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日18時00分17秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2007721#6024223173987773522>

同じような写真が3枚ほどありましたが、説明に使いたい肝心の部分が写っていませんでした。自分で撮影したものですが、そこまで利用方法を具体的には考えていなかったようです。日付はExif情報に記録されたものかと思います。

資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google#5942953012467659602>

こちらのアルバムで説明に丁度よいものを一つ見つけました。個別の写真のURLにはGoogle+のURLを使うと書いて来たかと思いますが、古く登録されたものだとPicasaウェブアルバムの方が探しやすいので、個別の写真でもPicasaウェブアルバムのURLを使いたいと思います。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 市場急配センター：Googleマップ2013年09月05日01時28分09秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google#5942953012467659602>

同じ写真をAPIを使った自作のコマンドでアップロードしたのですが、相対パスがファイル名に含まれたようです。ファイル名が長すぎるとエラーが出る可能性もあるかと思いますが、これはこれでわかりやすかと思われます。

./資料写真/市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ/市場急配センター：Googleマップ2013年09月05日01時28分09秒.jpg pic.twitter.com/jAEmvuIeSg

Twitterに投稿した写真を遣って説明をしていこうかと考えたのですが、Emacsでは画像ファイルの表示も出来るので、ウィンドウを分割して、それを見ながら説明を書きたいと思います。スクリーンショットをとりました。次のような感じです。

2014-06-17-095510Emacsでは画像ファイルの表示も出来るので、ウィンドウを分割して、それを見ながら説明を書きたいと思います。.jpg pic.twitter.com/y7jdMjNexT

実際にこの角度から眺めたことはほとんどなかったかもしれません。Googleマップの写真自体にも屈折が感じらるので、遠近感を含め実際とはやや違いがあるようにも感じられます。左手に微かに建物の一部が見えますが、平成4年当時に建物はなかったはずです。

この写真は裏駐車場の裏側の出入口という言い方も出来るかと思いますが、私自身この裏側からトラックを出入りさせることは余りなかったと思いますし、他の運転手でも見た記憶というのは少ないかと思います。

この写真を見るとトラックの姿というのは一台もありませんが、この写真を見て向こう側の駐車スペースがトラックで、手前側が運転手の車の駐車スペースになっていました。特に指示があったわけでもないですが、ごく普通にそういう使い方がされていました。

手前の乗用車の駐車スペースには2トン車のトラックも駐車されていましたが、車の大きさ自体もさほど変わらないものでした。

トラックの駐車スペースには10トン車と4トン車が主に駐車されていましたが、スペースを有効活用するため斜体を斜めにして駐車をしていました、これだとたとえ軽四一台であっても大型車一台分のスペースを奪うほど邪魔になることもありました。

この写真の手前の端に銀色の乗用車が一台止まっているかと思います。会社正面の出入口から見れば、一番奥の右手、右手は事実上乗用車用の駐車スペースです。

平成3年11月30日と思われる日の午後だったと思いますが、この角に被害者AAさんの軽四と被告訴人池田宏美の車が並んで駐車されていました。池田の車は1000ccか1300cc程度の小型の普通車であったと記憶しています。

工事か何かで一時的に車を移動したのだろうとその時は思っていました。わざわざ一番端っこにとめてあるのはどうかとも思いましたが、たまたまその場所が空いていたということで、疑問は解消したと記憶しています。

時刻は6月21日9時9分です。2,3日中断していたかと思います。どうしようか迷いますが、いったん区切りをつけて項目を別にしたいと思います。

<2014-06-21 土 09:12> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 市場急配センターの会社裏駐車場に彼女が自分の軽自動車を駐車するようになった行動＿2014年6月21日

<2014-06-21 土 09:14> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

被害者AAさんが会社裏駐車場の駐車を始めるようになったのは繰り返しますが平成3年11月30日土曜日の午後が始まりでした。記憶が薄れていますが、それが彼女の意思表示であり何かを訴えかける行動であることに、気がつくまで3日から長くて一週間ほど掛かったのではと思います。

車の駐車場所を変えたのと同時に、彼女は自宅の電話にまったく出なくなりました。平成3年11月25日の夜の電話では、初めて正式に自宅に電話をかけてくることを、「いいよう。ぜんぜんだいじょうぶや」と了承した上での行動です。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 市場急配センター：Googleマップ2013年09月05日00時55分54秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google#5942952371719892898>

上記写真が市場急配センターの事務所建物と、その前の駐車場です。決まりとして告知があったわけでもないですが、常識的に事務員は会社前に乗用車を駐車していました。これは仕事中の用事で車を出入りすることも多かったからです。

特にAAさんの場合、パソコンのデータ入力で毎日、金沢市場輸送の事務所に行っていました。市場急配センターの事務所にはパソコンはなかったのです。

こまかく言えば平成4年の3月ころに、市場急配センターの事務所にパソコンが入り、業者のような人がAAさんに説明をしていたことがあったのですが、導入には至らなかったのか、そのあと会社でパソコンを見ることはなかったと記憶しています。

平成3,4年当時のパソコンですから現在のものとはずいぶんと違っていますし、一般には馴染みのないもので、どれぐらいの値段がするものかも聞いたことがなかったですが、相当高額であったとは思います。

金沢市場輸送の事務所には平成元年ころからパソコンはあったと思います。あるいは平成2年に入ってからですが、いつの間にかあったという記憶です。

誰がそのパソコンの操作をしていたのかも私の記憶には残っていないのですが、とても印象的なことがひとつありました。その事実は時期を確認する上でも、とても参考になるものです。

元石川県警察の機動隊員でもあり、最高裁判事の息子という小林健一が、金沢港でイワシの運搬の仕事の現場監督のようなことをやったいたことについては、本書で繰り返し書いてきたことかと思います。

私自身イワシの運搬の仕事をやったのは2シーズンだけでしたが、小林健一は１シーズンだけでした。金沢港周辺でまとまった量のイワシが採れる時期に合わせた仕事でした。

12月の初めから4月の初めころまでと聞いていましたが、初めと終わりの方の時期はイワシの漁獲量も少なく、金沢市場輸送ではダンプだけの仕事になっていました。フル稼働は12月の下旬から2月いっぱいではなかったかと思います。

３月中もまだダンプ以外のイワシの仕事はあったような気もしますが、余り記憶もはっきりしません。まだそれなりに忙しい時期ではあったと思いますが、私はイワシの仕事から離れていたようにも思います。

4月になるとダンプでもイワシの仕事が入るのは稀で、仕事自体がとても暇になって残っているのはごく一部だったと思います。ちょうどそんな頃だったと思いますが、会社で暇を持て余す小林健一の姿をよく見るようになりました。

平成2年の4月と思われる時期のことです。私は石川88の108号という冷凍機付きの保冷車に乗務していました。冷凍機付きのナンバーは88になります。長距離乗務です。

当時の行き荷は、トナミ運輸や日通の雑貨が多くなっていたと思います。夕方6時とか7時からのホーム作業で積み荷を始めるという仕事でした。

午後は会社で時間を潰していることも多かったと思いますが、そんな時、何度か小林健一と近くのラーメン屋に行くことがありました。パチンコオークラの近くにあるまるで屋台のような小さい建物のラーメン屋でした。店内はカウンターのみで8席ぐらいあったのかなと記憶しています。

今思えば30代ぐらいだったのかと思いますが、割と若い感じの女の人がやっている店でした。私もちょくちょく利用していましたが、他の運転手も行っていたと思いますし、昼から酒を飲んでいるような人もいたかと思います。

2014-06-21-110823パチンコオークラの近く小さなラーメン屋があった辺り.jpg pic.twitter.com/JEaviVZiV6

Googleストリートビューでスクリーンショットを撮ったのが上記の画像です。屈折というか歪みを感じますが、現実に近い撮影かと思います。

ここは金石街道から中央市場の方に入ってすぐのあたりです。左手にパチンコ屋の駐車場とその出入口が見えますが、平成4年当時は道路と駐車場のつながりがなく、何か別の建物がたっていたように思います。

この画像の道路の左手に2階建てのアパートのようなものが見えますが、小さいラーメン屋があったのは、だいたいその辺だったと思います。この中央市場に向かう道路に面していました。

もう少し先に行くと左手に「市川タイヤ」があって、そこを左折すると30メートルぐらいでパチンコオークラの駐車場と、右折してすぐに金沢市場輸送の会社がありました。

「市川タイヤ」に関しては書いておきたいことが２つあります。ひとつは被害者AAさんが自分の軽四で私を迎えに来てくれたこと、もう一つはミールの清水倉庫での被告訴人安田敏のタイヤの爆発問題です。そういえば工事現場突入の件もまだ中途でした。

私は今まで「清水倉庫」と書いてきたように思いますが、Googleマップで調べてみたところ、「水島倉庫」が正しいのではと思います。8号線バイパスで手取川よりは手前の辺り松任市の外れと記憶していましたが、水島という地名を見つけました。そういえばという気もしました。

小林健一とパソコンの話からずれてしまいましたが、小さなラーメン屋で何度か一緒に食事をする頃になると、彼はしきりに会社に対する不平不満を口にして語るようになりました。それは被告訴人松平日出男個人に向けた不満や批判とも言える内容だったと思います。

被告訴人松平日出男は市場急配センターの社長でしたが、小林健一も金沢市場輸送ではなく市場急配センターの社員として、金沢港のイワシの運搬の仕事に来ていると聞いていました。

そもそもイワシの運搬は市場急配センターの仕事で、ダンプやトラックでの運搬は金沢市場輸送にやらせているという契約になっているとか聞きました。茨城県古河市の山三青果の仕事も初めは同じように聞いていたと思います。

やたらと被告訴人松平日出男や会社の不満や悪口のようなことも口にしていたと思いますが、なにか話に具体性は感じられず、真剣さも伝わらなかったことが印象に残っています。

そんな不満の一つに、小林健一は、他に誰も出来る人がいないので頼まれて事務所のパソコンのデータ入力をやらされている、というものがありました。

なお、小さなラーメン屋でも小林健一は昼間から、焼酎を注文して飲んでいたような気がします。当時はまだ焼酎というのは一般的ではなかたっと思いますが、すでに酎ハイというのは若者の間にも広まっていたと思います。

むしろ焼酎というのはといえばレモンジュースのような炭酸飲料で割ったイメージが強かったので、そうでないスタイルで焼酎を飲む、小林健一の姿というのも私には珍しく映っていたのです。

その小さなラーメン屋では、銅かアルミの取っ手がついた割と細長いカップで焼酎を出していた記憶もあるのですが、それも私の目には他に見たことのない珍しいものだったと記憶しています。

同行者を含め、その小さなラーメン屋で焼酎を注文していたのは小林健一以外には考えられないのですが、確実な場面の記憶というのは残っていません。

より鮮明に記憶しているのは、ウサギの絵を描いたポンコツのワゴン車に、大きなペットボトルの焼酎がおいてあり、小林健一がそれを飲んでいたことです。コップや水のようなものを見た記憶はないので、ストレートでラッパ飲みをしていたのだと思いますし、そんな場面も微かに記憶にあります。

時刻は6月22日10時12分になっています。昨日は被害者AAさんの事務員としての所用の外出について書いていたところ、小林健一に関する説明にポイントが移動したかと思います。

小林健一は気になるというか不思議な存在感がありましたが、男女の違い、容姿容貌の違いがあるものの、どこかに共通点のようなものもあって、私はそれを長く引きずってきたと思います。うまく説明ができずもどかしくもありますが、不信感と言い換えてもいいかもしれません。

ほかに共通点といえば、性格的に真面目で仕事もそつなくこなしていた、ということが挙げられるでしょうか。育ちの良さや品の良さのようなものも共通しており、身だしなみもしっかりしていたという印象があります。

会社の雰囲気自体がベースにあったので、異分子のような違和感もあったのかと思いますが、どこか新鮮でもあり、不思議さも感じられるような存在でした。

被害者AAさんに関しては、ラフな服装も多かったと記憶しています。ジーパンを履いていることも多く、スカートを履いている場合でも、上には市場急配センターの作業服のジャンバーを羽織っている姿をよく見かけたと印象に残っています。

プライベートでは未知の部分が多かったのは被害者AAさんでした。余り話題にされにくいようなタイプであったとも考えられますが、基本的に無口で近寄りがたいようなところもあったかと思います。

彼女は平成2年の春頃から金沢市場輸送に出入りしていました。パソコンのデータ入力に来ていたのだと思いますが、市場急配センターの事務員であるということに気がついたのは、初めに姿を見かけるようになってからずいぶんと後のことであったと思います。

誰かの口から市場急配センターの事務員だと聞いたという記憶も私にはありません。金沢市場輸送の運転手の間で、話題になることもまったくなかったと思います。割とシャイな人が多かったということもあるかと思いますが、彼女の性格、存在感というのもあったのだろうと思います。

金沢市場輸送の運転手をしていた当時、市場急配センターの事務所に入ったのは一回だけだったと記憶しています。その時に机に向かって仕事をする被害者AAさんの姿を見たような記憶が微かに残っていますが、全く縁のない遠い存在なのだとぼんやりと考えていたような気もします。

被告訴人本恒夫との衝突で金沢市場輸送をやめることになり、被告訴人安田繁克の50万円の借金の保証人になっていたことで、被告訴人松平日出男に 話をしに行ったのが、2度めの市場急配センターの事務所に入った時だったと思います。

平成4年、拘置所に入った頃の私の記憶では、5月下旬のことだったのですが、その後入手した金沢市場輸送の運行表で6月下旬であったとわかりました。6月の20日ころまでは金沢市場輸送で長距離の運行をしていたという記録があったからです。

月の下旬であったということははっきりしています。市場急配センターの給料は月末25日締めの翌月5日払いでした。私は初め被告訴人松平日出男に一日1万5千円のアルバイトとして誘われ、その条件で仕事をすることになったのです。

アルバイト言うことでしたが、2,3日もしないぐらいで市場急配センターの社員になることが決まったと記憶しています。アルバイトとして仕事をしたのは3日分だけでした。

今、Linuxのcalコマンドで調べたところ平成3年の6月23日が日曜日となっているようです。給料計算の始まりが26日だとすると、3日分の別枠というのは休みを一日挟むと6月22日の土曜日からの仕事であった可能性が高そうです。アルバイトの話が決まったのも前日の午後だったと思います。

時刻は6月23日9時7分です。

できるだけ項目の見出しと内容を一致させたいのですが、周辺の事柄の説明をしているとそれだけでもけっこうな分量になり、主題がわかりづらくなるとも気にかけています。

見出しに沿った内容に心がけ、周辺の事実や問題もなるべく独立した項目として配置をしていきたいと思います。裏駐車場のことが項目では見出しの主題なので、そちらに軸を移したいと思います。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日18時09分05秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2007721#6024223878791236930>

上記は、中央市場の立体駐車場から撮影したものです。裏側ですが市場急配センターの事務所建物との位置関係もわかりやすく、距離感も目の視界に近いものかと思います。残念ながらトラックは2トン車と4トン車ばかりで、10トン車というか大型車の姿はないようです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日17時59分24秒.jpg <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2007721#6024223118950956146>

次は斜め前方から市場急配センターと中央市場が写った写真です。と、ここで気がついたのですが、Picasaウェブアルバムのリンクだといちいちリンクを開く必要もあって、わかりにくいと思います。

以前もやっていた方法と思いますが、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に写真付きツイートしたものを使いたいと思います。

撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日17時59分24秒.jpg pic.twitter.com/D0T7GEWBRk

上記が写真付きツイートです。わかりづらい部分もあるかと思うので、一覧の作業をキャプチャー動画にしました。YouTubeにアップロードしているところですが、処理が完了次第、説明をしたいと思いますが、独立の項目として書いておきたいと思います。

*\*非常上告 最高検察庁御中 ツイッター（@s hirono）に写真付きツイートする作業の紹介と記録＿2014年06月23日*

上記項目に写真付きツイートに関する説明を書きました。HTMLエクスポートだとページ内リンクになっていると思います。Emacs24のバージョンでエクスポートすると、項目のリンクに見出し名はなく、階層の連番になっていました。

資料写真／市場急配センターと金沢市場輸送のGoogleマップ - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/Google>

上記も再掲になるかと思いますが、参考にしていただければと思います。トラックの姿が一台も見当たらないのも気になりますが、会社の所在地自体が移っているようです。

私は今年に入ってからそのことに気がついたように思いますが、事務所の建物自体は前のところにあって、そこで事務員が仕事をしているのかも不明です。

2014-06-23-113304市場急配センター（株）石川県金沢市駅西本町５丁目１０−２０.jpg pic.twitter.com/qv3jqT76V6

上記はGoogleマップのスクリーンショットですが、市場急配センターの新しい住所地であるものの、会社の住所地にリンクした写真が古いものになっているようです。

2014-06-23-114455市場急配センターの新しい配送センターと思われる場所.jpg pic.twitter.com/ma3H9V0R5N

一つ前の写真の真裏にあたると思われる場所のストリートビューが上記の写真です。今初めて気がついたのですが、青色の大型トラックには前方上部に大きく市場急配センターのロゴマークが描かれているようです。ボディのカラーが異なるのが気になるところです。

上記の写真だけ見てもどこなのか全くわかりません。次に角度を変えたものを撮影してアップします。中央市場の裏側、山水運輸の奥で隣り合っていることがわかります。

2014-06-23-120338市場急配センターの配送センターと思われる場所から中央市場方面.jpg pic.twitter.com/ELwU8GXSdS

上記写真でもわかりづらいかもしれませんが、一番奥というか向こう側に中央市場の立体駐車場が見えます。

2014-06-23-121438市場急配センターの配送センターと思われる場所から中央市場裏側.jpg pic.twitter.com/bHckl0Y1fP

これだと山水運輸の建物もわかりやすいと思いますが、山水運輸は中央市場の裏側の道路に面しています。私が金沢市で生活をしていた平成11年ころには既に新しい建物があったと思いますが、いつ頃に出来たのかはわかりません。

平成4年当時にもあったような気がしないではないのですが、建設中の建物を見たという記憶もないです。

以前は中央市場の敷地内で裏側の道路に面した端に大型車を横付けにして、山水運輸はは鮮魚の中継の仕事をしていました。そこで珠洲のYHと話をしていたことも記憶にあるのですが、時期がはっきりしません。最後は平成3年の秋であったような気もするのですが、はっきりとは思い出せません。

時間もそう遅くない時間で夜の23時ころだったような気もします。その時間帯にゆっくりと話をしていたというのも珍しいのですが、なんにしても記憶が曖昧模糊になっています。YHと会って話をしたのもそれが最後だったとは思います。

平成3年の秋から平成4年の3月の間だったとすれば、被告訴人安田敏のことも話題になったとは思うのですが、それも含めて残念ながら思い出すことが出来ないです。その場所は本来、青果物の売り場の方だったと思います。

私の記憶では裏門と同じ位置に、売り場の建物の通路があって、それが鮮魚と青果の売り場の境にもなっていました。ちなみに金沢の市場の鮮魚は競りが3時半からと早く、それだけ早い時間の競りは日本で２つだけと聞いたこともありました。

現在のことは知りませんが、鮮魚は石川中央魚市とウロコ水産にわかれ、青果は石川丸果だけになっていました。全国的にそうだったと思いますが、鮮魚というのは荷受の時間も22時以降とか決まっていることが多かったと思います。

荷物というか市場での品物の扱いにも大きく二通りがあって、売り場への直降ろしと、パレット降ろしがありました。直降ろしの方が少なかったと思いますが、金沢の中央市場ではほとんどが直降ろしになっていたと思います。

直降ろしだと荷受の指示に従い荷降ろしをすることになります。パレット降ろしだと運転手がフォークリフトを運転手て自分で荷物を降ろし、最後に検品だけをうけて受領書のサインをもらうというパターンが多かったと記憶しています。

直降ろしだと順番で長い時間待たされることもありました。石川丸果では直降ろし場合とパレット降ろしの場合があったと思いますが、青果の場合は、ほとんどの市場で荷受の時間に制限というのは余りなかったと思います。

市場急配センターでの山三青果の仕事では、土曜日の夜に荷受けをしてもらうこともありました。日曜日は市場が休みなので、ほかでは余り経験のないパターンでした。出荷する側も土曜日ではなく、日曜日に出していたと思われます。

当時は外食も多かったので野菜の鮮度なども気にすることがなかったと思いますが、直降ろしの青果物というのは野ざらしのような状態になっていました。風通しもよくひんやりとはしていたと思いますが、出荷する側もなるべく鮮度を保ちたいと思うのが、常識かとも思いました。

レタスなどの高原野菜は昭和62年ぐらいから冷凍機付きの保冷車で温度を5度に設定するというのが一般化されていたと記憶していますが、冬場だと特に問題はなかったのかもしれません。

土曜日の夜の荷降ろしということで平成4年2月1日のことを思い出しましたが、重要な事実関係の一つでありながら、本書ではまだ書いていなかったと思います。これも項目を別に立てますが、本筋から離れてしまったついでに、そちらを先に書いておこうかと思います。

時刻は6月24日8時1分になっています。

やはり、裏駐車場のことよりさきに書いておきたいというか、より集中できそうなことがあるのでそれを先に書いておきたいと思います。とりあえず2月1日のことを中心に書くので、裏駐車場の行動の終わりという事実もあります。

本人から話が聞けない以上、想像というか推測になりますが、事実に則して事実を根拠に書いていくので、合理性は十分あると考えています。結論から言えば裏駐車場の駐車の始まりも終わりも、被告訴人池田宏美らの指示を受けた行動だったということです。

裏駐車場に関してはまだまだ書いておくことがあります。自宅の電話に出なくなったのと同時に始まった行動ですが、それは退社のタイミングで直接声を書けてほしいという意思表示であり、その機会を作ってくれているものと考えることが出来ました。

すぐにそう思ったわけではなく、慎重に彼女の行動を見ていましたが、いよいよそれ以外にないと考え、実際に声を書けたのは年が明けた平成4年1月になってからでした。1月中には3回、声を掛け、話をしました。

正確に言うと、いきなり声を書けたのは初めの一回だけだったかもしれません。駐車してある私の担当の大型トラック3068号の助手席に乗ってもらい話をしましたが、「今日は美容院にいかんといけん、また今度」と言われたこともありました。

初めに裏駐車場で声を掛けたのは平成4年1月の10日ころではなかったかと思います。外はすっかり暗くなっていたことも他の時に共通していました。

事務員である被害者AAさんの退社時間というのは17時から17時半の間でした。18時以降に会社にいたころもありますが、それはかなりの例外で、残業という感じではなかったと思います。

その17時から17時半という時間帯は、会社にいる人も少ない時間帯でした。市内配達の運転手のほとんどは16時から16時半ころの間には帰っていなくなっていたと思います。朝の仕事の始まりは5時半か6時ぐらいだったと思います。

日照時間というのは地域的な違いもあるかと思いますが、冬至が確か12月の下旬で、一番日が短い、ということになっていると思います。17時ちょうどだとまだ薄暗さが残っているかと思いますが、17時半となると夜と同じ暗さではなかったかと思います。

17時が退社時間だったと思いますが、17時を過ぎてすぐに退社するということも彼女の場合は少なかったと思います。17時半までいるというのも少なかったと思いますが、その30分の間がほとんどだったとは思います。

例外だったのは平成3年10月12日と思われる土曜日。calコマンドで確認したところやはり土曜日でした。この日のことも独立した項目にしたほうがいいかと思いますが、迷うところです。書き出すと長くなるとは思います。

そして平成3年11月26日、その日は自分の27歳の誕生日だったので、日付ははっきり記憶していますが、前の夜の電話で彼女に自宅に電話をかけることの許可をもらったのです。初めに電話をしたのは同年10月5日の土曜日の夜でした。

その11月26日のことに関しては、被告訴人多田敏明のことも絡んでくるので、独立の項目として書きたいと思います。

裏駐車場に関する項目はこれが2つ目だと思いますが、しばらくの間中断をして、他のことを書き、また独立の項目として記述を再開したいと思います。

<2014-06-24 火 10:09> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### 被告訴人多田敏明と被告訴人安田繁克の事件への関与、果たした役割について

#### 裁判資料​／平成4年​／平成4年4月11日付被告発人・被告訴人TTKの供述調書（テキスト）について＿2014年6月24日

<2014-06-24 火 10:36> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

自分のパソコンのファイルを探したのですが、ちょっと見つからなかったので、個人サーバで公開状態にあるものをコピーすることで、新たな記事を作成しました。次のブログ記事のタイトルとURLです。

裁判資料​／平成4年​／平成4年4月11日付被告発人・被告訴人TTKの供述調書（テキスト） | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/2014/06/44411ttk.html>

普通に取得したブログのページタイトルですが、どうも｜の縦棒で区切られて左側が記事のタイトル名、右側がブログのタイトル名となるようです。今までは余り気が付かなかったような気もするのですが、同じBloggerのブログでも書式が別になっていたような気がします。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 報告したから何かがどうなるものでもないのだが、これは要するに、脅しのつも りなんだろうな。／矢部善朗弁護士 <http://bit.ly/1mgrmxR>

試しに一つ別のブログでページタイトルを取得してみましたが、やはりブログ名が左側になっていて区切りの記号も：になっています。 非常上告-最高検察庁御中Bloggerのブログの方が前から使っていると思いますが、自分でカスタマイズをしていたのかもしれません。

普通、ページタイトルにブログ名が含まれることは多くないような気もしますが、そういうのもブログサービス毎の仕様になっているはずです。ブログサービスには編集の自由度の違いも大きいですが、Bloggerはカスタマイズ性も高いです。

Bloggerに関して難を言えば、APIでの投稿ができるものの、30件ぐらい記事を連続して投稿するとAPIでの処理を受け付けなくなることです。それを含め、総合的に判断した結果、私は数ある中からBloggerのブログをメインで使うようになりました。

「裁判資料​／平成4年​／平成4年4月11日付被告発人・被告訴人TTKの供述調書（テキスト）」というタイトル名にしてありますが、被告訴人多田敏明の供述調書を文字起こししたものです。

元は警察官の手書きによる供述調書です。パソコンのテキスト文字だといたずらに改行が多いように見えるかもしれませんが、縦書の供述調書の内容に応じて改行を入れました。思い出せないぐらい相当前に作成したものだと思いますが、平成21年の9月以降かとは思います。

現物の供述調書をみながら、パソコンで文字を打ち込んでいったものですが、十分な確認はしていないかもしれません。誤記の可能性もあるということです。なので本来的には現物の写真を使いたいところなのですが、なぜか見当たらなくなっています。

平成21年9月より前は、インターネット上でも供述調書の写真を公開していたように思うのですが、当時はマスキングもしておらず、そのままの状態で公開していたように思います。だとすればあるはずの写真ファイルなのですが、私の手持ちのパソコンでは見つからなくなっています。

家の中を探せば供述調書の現物は見つかると思うので、デジカメで写真を撮り直すことも可能ですが、内容重視ということで当面は予定をしておりません。

2014-06-24-111405WebページをみながらのEmacsでの書面の作成状況.jpg pic.twitter.com/LWJnlXu4ju

上記にスクリーンショットを用意しましたが、EmacsでさきほどのWebページを閲覧しながら、これから説明を書いていきたいと思います。

金沢西警察署において供述した、となっていますが、確か被告訴人安田敏から聞いた話によると、被告訴人池田宏美以外は皆、金沢西警察署に出向いてそこで供述調書の作成をしたということになっていました。

被害者AAさんがいなくなったので、パソコンの操作が出来ず伝票を手書きで書かなければならず、ものすごく忙しく大変な目にあっている、というような話でした。

供述調書の「一」によると「一昨年の八月」から市場急配センターに働いている、という話になっています。つまり平成2年の8月ということになるかと思いますが、市内配達が金沢市場輸送と同じ建物にあった頃には、確かに姿を見た記憶がありません。

平成3年の7月16日までは18歳だったということになりそうですが、高校を中退したとも聞いておらず、勉強は嫌いでまんじゅうつまり0点ばかりだったと自慢していたぐらいなので、高校には行っておらず中卒であると考えられます。

一度だけ、市場急配センターに来る前の仕事の話を聞いたことがありましたが、内装屋のような仕事をしていたと話していました。ちょっと具体性のある内容も含まれていたように思いますが、親方との関係について何か語っていたような気もします。

あえてそういう口ぶりをしたのかもしれませんが、その親方のような人物が、市場急配センターとも関係があって、その縁で市場急配センターに来たような話しぶりだったかもしれません。私から市場急配センターへの入社のきっかっけを聞くことはなかったと思います。

供述調書の「三」では、私の入社時期について昨年の4月頃と供述していますが、実際は6月の下旬だったはずで、けっこうな開きがあります。また、私が入ってきた当時、被告訴人多田敏明は免許停止中で、被告訴人安田敏のトラックに同乗して仕事をしていました。

私が市場急配センターに来る前から、被告訴人多田敏明のことは被告訴人安田敏からちらほらとは話を聞いていたとも思います。もともと被告訴人多田敏明が受け持ちだった内灘・高松コースを被告訴人安田敏がするようになり、それに同乗していました。

免停の原因らしい話としては、彼女と小松市の小松インターの近くのラブホテルに行き、その帰りに高速道路である北陸自動車道で事故を起こしたという話をしていました。ラブホテルを強調していたのも彼らしいと思いましたが、土砂降り雨の中で事故になったとも言っていたように思います。

車はフェアレディＺで、それも新型だったような口ぶりでしたが、事故で廃車になったとのこと。単独の事故で免停というのもどうかとは思いますが、そういう関連付けで話をしていたと記憶には残っています。

同じく供述調書の「三」で、よく一緒に食事をしたとありますが、これは事実であるものの、缶ジュースやタバコ代を含め全て私のおごりでした。こだわるつもりはないですが、そういう事実です。

同じく「三」のなかに、「Aちゃん」とありますが、たしかに運転手というか社員の多くは、彼女のことを指したり呼ぶときに「Aちゃん」と言うことが多かったですが、被告訴人多田敏明に限っては「事務員」などと呼ぶことが多かったように思います。

供述調書「四」においては「同僚等」という言い方をしていますが、その同僚として考えられるのは被告訴人安田繁克ぐらいです。たぶん後の方でもそういう言い回しで被告訴人安田繁克のことを語っていたと思います。

私は一番早い方の段階で彼女とのことを被告訴人多田敏明に相談しましたが、そういえば一番最初だったのは被告訴人安田敏に話をしたことでした。9月の終わりか10月のはじめになると思います。ここでいう同僚は被告訴人安田敏を指していることは一応考えられます。

私から相談を受けるようになったのは「今年に入ってから」と述べているようですが、12月の中頃ではなかったかと思います。どの仕事から戻った時であったか思い出せませんが、市場急配センターの会社の前の方にトラックを停めていた時、その車の中で話をしたように記憶しています。

それは割と早い時間帯でもありました。22時とか23時という時間帯ではなかったかと思います。トラックは会社の正面に向けて縦に駐車していました。自分の大型車ではなく、被告訴人多田敏明がよく乗務していた4トン車であったような気もします。ウィング車です。

彼女に対する情報がほとんど入らなかったこともありますが、2つ違いの年下と年代も近いので、彼には相談をしていました。仕事で一緒に行動することも多かったのですが、それも被告訴人らの計画的な采配であり、偶然ではなかったと思います。

そもそも私が被告訴人多田敏明と個人的に話をするようになったのは11月のことで、被告訴人東渡好信が茨城県古河市の青果市場に連れてきたことがきっかけでした。その時に初めてじっくりと話をするようになり、割と親しい間柄になったのです。

その時、被告訴人多田敏明は前の日の夕方、七尾市で荷物を積んでから同じ七尾市内の被告訴人東渡好信の自宅に行き、そこで食事をごちそうになったと話していました。娘の話をしていましたが、姉妹が二人か三人いるという話で、揃って美人だと話していました。

被告訴人東渡好信の娘の話が出た時、私はすぐにぴんと来たので、実際にそれらしい娘の姿を見た一週間後ぐらいではなかったかと思います。被告訴人東渡好信の娘だとすぐに話を聞きましたが、短大生とも聞いたかもしれません。

市場急配センターの一階にいたように記憶していますが、正面からは背を向けた方向で椅子に座っていたように思います。それでも一瞥で顔は見たように記憶しています。どんな顔だったかはすぐに忘れましたが、見たこともない女性の姿でした。

記憶が曖昧になっていますが、ちょうど用事があって二階に上がるところで、二階に上がってすぐに誰かから被告訴人東渡好信の娘だと聞いたような気がします。被告訴人池田宏美の口から聞いたようにも思いますが、娘が来ているという程度の内容だったと思います。

そのあと一階に降りてもう一度、娘らしい女性の姿を見たという記憶はないのですが、この間に起きたのが被告訴人安田敏の工事現場突入でした。わざと突っ込んだ可能性が高いとうことで、突入ということにしています。

これは本来、被告訴人安田敏の関与として記録したほうがよいと思いますので、そのようにしたいと思います。

この項目の記述はいったん閉じておきます。

<2014-06-24 火 15:03> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

\*\*\*被告訴人安田敏の事件への関与、果たした役割について

#### DONE 平成3年11月、被告訴人安田敏が自ら乗務している大型ウィング車で、わざと工事現場に突入したと思われる件について＿2014年6月24日

<2014-06-24 火 15:15> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

内容としては*\*裁判資料​／平成4年​／平成4年4月11日付被告発人・被告訴人TTKの供述調書（テキスト）について＿2014年6月24日*の続きにもなります。

たまたま被告訴人東渡好信の娘らしい女性の姿を見かけてすぐに 2階の事務所に上がり、たぶんそれからすぐのことであったと思いますが、被告訴人安田敏がその2階の事務所に入ってきました。トラックが動かなくなったというような話を始めたと思います。

なにか要領を得ない説明でしたが、会社の近くということですぐにその場に向かいました。その時点で外はすっかり暗くなっていたと思います。たぶん11月の中頃か、あるいは上旬のことなので割と遅い時間だったと思います。

外から戻ってきて被告訴人東渡好信の娘らしい姿を見かけた時点で、外は暗くなりかけていたような気もします。二階に上がると被害者AAさんの姿もあったように記憶しておりますが、はっきりした時間帯というのは記憶にありません。

説明がややこしくなるので、Googleマップを利用して見取り図のようなものを作成したいと思います。

平成3年11月、被告訴人安田敏が計画の一環の行動として大型トラックを突入させた場所 <https://mapsengine.google.com/map/edit?authuser=0&hl=ja&mid=zWXtOqvyZ-Jo.kUMv6UzSOEuU>

上記のようにGoogleマップでマイプレイスを作りました。リンクを始めに開くと小さく広く表示され、ポイントが掴みづらいかとも思いますので、私が伝えたい状態でのスクリーンショットを作成しました。次の写真付きツイートです。

2014-06-24-154435平成3年11月、被告訴人安田敏が計画の一環の行動として大型トラックを突入させた場所.jpg pic.twitter.com/u0LbdDWxHq

普段通勤でも通っていた道路だとは思いますが、なにか側道の工事をやっていたような感じでした。交通の規制とかもやっていなかったと思うので、普通に車で通っていると工事をしていることも気が付かなかったと思います。

現場についた時にはすっかり夜という状態で月明かりもなかったと思います。周りには街灯のようなものもなかったと思うので、なにがどうなってトラックが動かなくなったのかさっぱりわからない状態でした。

被告訴人安田敏本人は、たしかトラックをUターンさせようとバックをしていたらタイヤがはまって動けなくなってしまったと言っていたと思いますが、そもそもそんな場所でUターンをする必要性も理解できるものではありませんでした。

かすかな記憶ですが、初めは被告訴人安田敏を含め3人ぐらいで歩いて現場に向かったように思います。どのような状態でトラックが動かなくなっていたのかも思い出せないのですが、かなり手こずる状態ではあったと思います。

しばらくすると割と大勢が集まってきました。多かったのは金沢市場輸送の事務所で麻雀をやっていたと思われるメンバーでした。細かいことは記憶が薄れているので思い出せませんが、10人以上は集まったと思います。

はまったトラックを引き出すのに活躍したのは金沢市場輸送の配車係兼社長だった被告訴人本恒夫でした。昔、暴走族がよく着ていた特攻服のような作業服姿であったことも印象に残っていますが、引き上げが成功する前後には、一時的な土砂降り雨が降ってきたのも印象的でした。

あの土砂降り雨だけは人為のなせることではないと思いますが、相当に激しい雨でした。ワイヤーをかけて別の大型トラックで引っ張ったように思います。雨は偶然と思いましたが、余りに手際が良かったので、その時点でも予定していた行動を実演したのかという考えも 浮かびました。

強い雨が降りだしたこともあり、引き上げが成功するとすぐにその場で人が帰って行きましたが、被告訴人安田敏は誰一人に対しても、お礼やねぎらいの言葉をかけることはありませんでした。

神妙にも見える態度で黙り、深く何かを考えている様子には見えていました。一般的な理解だと運転でミスをしたことを悔いているのかと思えるところですが、そうでもなさそうな気はしていました。

会社に戻ってから2階に上がり、流しやトイレがある間仕切りの前の辺りにいたのですが、長い時間考え事をしていた様子だった被告訴人安田敏が、口を開きぽつりと、「あの女、東渡の娘やってんなぁ」としみじみ感慨深そうつにつぶやいたのです。

そのあとだったと思うのですが、私が「手伝ってもらったらありがとうぐらいいえや」というと、被告訴人安田敏は「そんな言葉、長い間つこうとらんし、忘れてしもうたな」などと言っていました。

挑発混じりの非常識な言動ですが、このあたりが本格的な始まりだったように思います。徐々に感覚が狂わされたようなところもあったかと思いますが、被害者AAさんのことでも否定的に挑発したり、人の心をかき乱すような発言、言動がありました。

「あきらめや」というのも呪文のような口癖として繰り返していましたが、つねに否定の一辺倒だったわけでもなかったです。具体性のある重要な発言なので、これも独立した見出しの項目にしておきたいと思いますが、手編みのセーターの話です。

被告訴人東渡好信や輪島の浜上さんから、被告訴人安田敏がスピードを出して危険な運転をしているので、注意をしたほうが良いと言われるようになったのも、工事現場突入の前後だったと思います。あるいはもう少しあとのことであったかもしれません。

被告訴人松平日出男からも同じようなことを言われましたが、三人とも被告訴人安田敏には気を使った様子で、直接注意をすることはなく、私から注意をするようにやんわりと言ってきたのです。

12月になって普通に雪が降る時期になってからだったと思いますが、その時も被告訴人安田敏がスピードを出して危ない運転をしていると被告訴人東渡好信から言われた時だったと思いますが、被告訴人安田敏は吹雪の中、関越道をゆっくりと走っていると当然のことのように話していました。

どれぐらいのスピードを出しているのかと聞くと、80キロというのですが、彼はそれをものすごくゆっくりしたスピードのように話していました。市場の仕事をしていると吹雪でも80キロ以上で走行することはありますが、とてもゆっくりという感覚では通常ないはずです。

これも同じく平成3年の秋頃だったと思いますが、被告訴人安田敏の出勤の時間が遅いとか連絡が取れないと、苦情のようにこの時も、被告訴人松平日出男や被告訴人東渡好信が私に言ってきたことがありました。

電話を掛けても確かにつながらなかったのですが、後で聞くと電話機のコードを差込口から抜いているという話でした。

ちなみに被告訴人安田敏の家というかアパートの電話機ですが、当時でもほどんど見かけることのない、手回しのダイヤル式の黒電話でした。妻となった彼女のアパートだったので、そちらの持ち物だったのかもしれませんが、変わっているとは思っていました。

腫れ物に触るという感じではなかったですが、被告訴人安田敏が非常識なふるまいをしても、直接注意するものはおらず、紹介者である私の方にどうにかしろとか、どうにかしたほうが良いという、話を持ってきていたのです。

工事現場の話でもうひとつ書いておきたいことがあるのですが、被告訴人安田敏ではなくその場にいた人物の話です。独立した項目にするほど強い関連性があるという判断材料もないのですが、気になる存在の人物であり、多少なりとも事件との関連もあるかと思われる人物の一人です。

やはり独立した項目として配置しておこうと思います。被告訴人安田敏に関しては、平成4年2月14日の白菜散乱の件として項目を立て、工事現場突入以降の言動とつながりについても併せて記述をしたいと思います。

<2014-06-24 火 17:15> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### 事件の舞台となった市場急配センター株式会社と金沢市場輸送株式会社について

#### DONE 新しい事務員を紹介予定だったという運転手について＿平成26年6月24日

<2014-06-24 火 17:29> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

内容的に一部*\*平成3年11月、被告訴人安田敏が自ら乗務している大型ウィング車で、わざと工事現場に突入したと思われる件について＿2014年6月24日*の続きになります。

被告訴人安田敏が身動きできなくした大型トラックを引き上げた時には、夕立のような強い雨が降っていました。夕立と言ってもすっかり暗くなった時間帯です。雨は引き上げる前から降っていたと思いますが、引き上げに成功すると皆すぐにその場を立ち去りました。

私はその時、誰かと一緒に側にいたワゴン車に乗り込み、それですぐ近くではなりますが、市場急配センターまで送ってもらいました。誰の車かもわからなかったのですが、運転をしていたのは顔をよく知る人物だったので、ワゴン車はその人の車だったのだと思います。

その人は木村という名前で呼ばれていたと思います。今思えば名前をちょくちょく耳にする機会はありました。金沢市場輸送にいる時から姿は見かけていて、顔も知っていたと思いますが、その頃には名前も知らなかったと思います。

かなり前から顔は見ていたと思いますが、いつ頃からとなると記憶ははっきりしません。まだ市場急配センターの建物がなく金沢市場輸送に同居していた頃から、見かけていたような気もしますし、そうでもない気もしますので、その辺りの記憶はかなり曖昧です。

市場急配センターの事務所が出来てそちらに移転してからも、市場急配センターの運転手の姿は、金沢市場輸送の給油機のところで見かけることがありました。

そういえばその木村さん本人が、石川県加賀市の片山津温泉「ながやま」での慰安会の世話をしたものの、被告訴人竹沢俊寿に代払いしたお金を踏み倒されたような話をしていたことがありました。信じられないとんでもない人間だという話しぶりでした。

その話は市場急配センターの一階休憩室で聴いたようにも思いますが、差し向かいで直接話をしていたわけではなかったように思います。直接言葉を交わしたことは一度もなかったような気もしますが、その時は会話の輪の中で聴いたような気もします。

あるいは平成4年1月11日の夜のことで、場所は片山津温泉「せきや」の客室のなかでした。出入口に近い方に小さい部屋があって、そこで数人が集まって麻雀をやっており、木村さんもメンバーとしてその場の麻雀に参加していました。

強面という風貌の人でもありましたが、普段はあえてそれを隠しているのかと思えるほど、地味な格好の作業服姿でまるで農家のおじさんという出で立ちでしたが、客室で麻雀をしているその時だけは、黒い革のチョッキを羽織り、ギャングかマフィアの要人にもみえるぐらいでした。

酒も入っていたのかもしれませんが、普段は無口なのに、割と陽気な感じでもあったと記憶しています。その時は近くで言葉を交わす会話に私が加わるようなことはなかったと思います。

年齢は60代にも50代にも見えたので、はっきりしたことはわからず、年齢の話を聞くこともなかったと思います。

割と早い段階で、コンパニオンの仕事をしていると聞きました。増泉とも聴いたと記憶しています。加賀温泉のホテルに派遣するようなコンパニオンの仕事だったと思います。

どちらかといえば金貸しにも見えるようなタイプで、お金に困っているようにはとても見えませんでしたが、運動でも兼ねていたのか運転手をしていました。それも社員ではなく、ポンコツの2トン車を持ち込みにして仕事をしているような話でした。

そのトラックは何度か見かけていましたが、相当かなりのポンコツにみえました。宇出津のK村さんや姫のNKさんが、同じく持ち込みで乗っていた2トン車もポンコツには見えていましたが、それと比較しても状態が悪いようにみえるトラックでした。

さきほど片山津温泉「ながやま」の慰安会について書きましたが、時期は平成2年の6月の後半ではなかったかと思います。これも一つの目安になっていますが、被告訴人浜口卓也が来る前だったと思います。いればいたはずの姿がなかったからです。それにいたらどうなっていたのかと思うこともありました。

配車係の一人だったYTの姿もその慰安会の時点ではあったように思います。あとになってラウンジのような場所で飲んでいて、イワシのダンプにも乗務していたSSと、ケンカになったとかケンカになりかけたという話を誰かに聞いた覚えがあります。

なんとなく7月にはYTはやめていなくなっていたという感覚があるのですが、同じく配車係の仕事をしていたFHも一緒にやめたはずです。そういえばFNの方は、多少なり被告訴人松平日出男と仕事上の付き合いもあったようで、年も近く気が合う関係だったことも考えられなくはないです。

2月の初めに福岡に行った時も、帰り荷はそのFNの関係でした。中西運輸商で一緒だった二人の人物とも、電話で話をする機会がありましたが、一人は九州の人でした。九州に駐在員かちょっとした支店をおいているような話だったと思います。

河北郡津幡町に会社がある運送会社だと聞いていましたが、今Googleで調べたところ、それらしい情報は見つかりませんでした。運送会社の名前も一部記憶がはっきりしなくなっています。

あれも平成4年の1月か2月頃だったと思いますが、北陸ハイミールでその会社の大型トラックを見ることがありました。その時の運転手ですが昭和59年に私が初めて金沢市場輸送に入社した時にいた運転手だったと思います。

言葉を交わすことはありませんでしたが、その人に間違いはないと思いました。彼は免許取り消し中で、私のトラックに同乗して指導などしていたことがありましたが、まもなくやめていなくなりました。

ながやま　大江戸温泉物語ながやま【公式サイト】　石川県 <http://bit.ly/V8y4fz>

片山津温泉のながやまはホームページも見つかりました。数年前はテレビのCMでも見かけていたような気がしますが、そういえば最近は温泉旅館のCMというのもほとんど見かけなくなっています。

私が子供の頃は、一番良く見かけるようなCMが石川県内の温泉旅館のCMでした。バブル景気の崩壊で大打撃を受けた業界とも聞いていますが、数年前の一時期はちらほらとCMを見かける時期もあったかと思います。今はネット社会なのでテレビCMの必要性も低くはなっているのかもしれません。

金沢市場輸送での温泉での慰安会というのは、私が経験したので2回だけでしたが、いずれも全員参加型になっていました。それまでも希望者だけを募ってやってはいたようですが、ほとんどが麻雀好きのメンバーの参加だと聞いたこともありました。

ながやま、での慰安会の時点で、私は被害者AAの存在を意識していたように思います。彼女の姿はありませんでしたが、不参加なのかと考えたようにも思います。

金沢市場輸送の事務所で彼女の姿を見かけるようになって一月あるいはそれに近いぐらいの経過があったようにも思います。市場急配センターの事務員という意識はなかったようにも思うのですが、部分的にそのことは自分の意識の状態として記憶に残っています。

次も同じような時期ではなかったかと思いますが、翌年つまり平成3年のことです。その時の慰安会は同じ加賀温泉でも山代温泉であったと聞いたように思います。運転手以外の事務員や社長だけでの慰安会があり、それには被害者AAさんも参加したように聞きました。

被告訴人竹沢俊寿がその慰安会の時に、被害者AAさんに自分の車である2枚ドアのジャガーをやるとか言っていたという話も聞いたように思いますが、これは別の機会にも聞いた覚えがあり、彼女本人から聞いたようにも思います。温泉の時とは聞かなかったとは思います。

その話を誰から聞いたとなると、被告訴人安田敏から聞いた可能性が高いと思いますが、そういう情報の多くは、被告訴人多田敏明から聞いた話らしく、被告訴人安田敏もそのように話すことが何度かあったと記憶しています。

被告訴人安田敏がいつ頃から市場急配センターで仕事をするようになったのかはっきり思い出せないところもありますが、初めに接触をして来たのは4月の終わり頃だったとは記憶しています。

その後、まだ務めていた輪島屋鮮冷の運転手として4トン車に乗って金沢市場輸送に来て、荷物の積み替えをしたことも記憶しています。冷凍物だったと思いますが、パチンコオークラの駐車場の敷地での積み替えでした。給油機のブロック塀の裏側です。

遅くても5月の10日頃には金沢市場輸送の入社が決まって、市場急配センターで市内配達の仕事をするようになっていました。50万円の前借りの保証人であり紹介者である私にも説明がないまま、当然の事のようにすぐに市場急配センターでの仕事が決まっていました。

金沢市場輸送の社員として金沢市場輸送での仕事というのは一日もなかったように思います。金沢市場輸送は長距離が主体の運送会社ではありましたが、前にいたYTとFHの二人の配車係も、配車係の仕事というのは被告訴人本恒夫にほとんんど与えられなかった様子でありながら時々の仕事はしていました。

私の知らないところで打ち合わせができていたとしか思えないような事の運びでしたが、私が市場急配センターに移った直後、たぶんその初日から毎日、市場急配センターで被告訴人池田宏美の姿を見るようになったのも、偶然とは思えませんでした。

それまでは毎日、金沢市場輸送の事務所で姿を見ていて、運転手なのでいつも事務所の中を見ていたわけではなかったですが、席を外している姿を見たことがなかったような被告訴人池田宏美だったのです。市場急配センターの仕事をしていたというのは説明はなくても納得出来ましたが。

その後も市場急配センターでは被告訴人池田宏美が席を外す姿というのは、滅多に見かけることがなかったと思います。被害者AAさんとは違い、いつも割と遅い時間まで事務所で仕事をしていました。18時ころは普通に事務所にいたとも思います。

19時ともなれば二階の事務所に電気が付いている事自体、かなり稀だったとは思いますが、被告訴人池田宏美が帰っていく姿というのも余り見かけなかったような気もします。

被告訴人池田宏美はいつも会社事務所の正面前に車を駐車していました。一階の休憩室から外を見ていれば、姿は見えていたと思いますが、帰っていく姿というのは余り見かけることがなかったように思います。

長距離の運転手は当日の運行がない場合、一応は17時が定時の退社時間ということになっていたかと思いますが、タイムカードというのもなかったと思いますし、そのあたりはかなりいい加減だったと思います。

早く帰ってもすることがないし、17時から18時というのは道路が渋滞で混み合う時間帯でもあったので、時間を潰すことも多かったと思います。アパートに戻ってテレビを見ようとは考えたこともなかったと思います。

一階の休憩室にも、半分近くが畳の座敷になっていて小さなテレビが置いてありましたが、そのテレビをつけてみること言うことはほとんどなかったと思います。

それだけに平成4年4月1日の事件当日、そのテレビで全国的に話題の注目選手になっていた松井秀喜選手の金沢の星稜高校と昔、芸能人が多いと聞いていた東京の堀越学園の高校野球の試合を見ていたことは、そのテレビが点いているもの余り見た覚えがないということで、強く印象に残っています。

そのテレビは赤い色の小さいテレビだったと思います。平成3年の9月、被告訴人安田敏と二人で8号線バイパスの電化のコジマに行ったのですが、店に入って少しすると被告訴人池田宏美とAAさんが来ました。テレビはその時に被告訴人池田宏美らが買ったものだと思います。

休憩室の内装が完成した直後だったと思いますが、その建築工事中に、被害者AAさんのフイルム貼りの手伝いがありました。テレビと電化のコジマのことは9月の20日頃かと思います。

自由テーマのような感じになってきて、何を目的に書いているのか自分でも把握しづらくなってきました。この項目では木村さんのことがメインテーマだったと思いますが、関連した雑多な事実関係も盛り込んでおこうかと思います。

当時は、ホテルながやま、という名称であったようにあったように思い、ながやま、だけではわかりにくいと思うので、ホテルながやま、ということで書いていこうと思います。

木村さんが世話をしたというホテルながやま、の仮払代金を被告訴人竹沢俊寿が踏み倒したという木村さんの話は後日談でありますが、私自身、ホテルながやま、の慰安会で木村さんの姿を見たという記憶は残っていません。

そもそも私にとってそのホテルながやま、での慰安会は記憶の少ないものでした。旅館に入ってから大浴場に入ったような記憶も微かには残っているのですが、夕方に宴会がありました。これもなんとなくは記憶していますし、市内配達の社員との合同であったことも覚えています。

ただ、その宴会の途中に私はものすごく眠くなりました。直前の仕事や運行のことも記憶にはないのですが、たぶん酒を飲んだので急激に眠くなったのだと思います。

私は誰にも告げず、宴会場を抜け出し、部屋に戻って布団に入って眠りました。熟睡していたと思いますが、何時間か寝ているうちに起こされ、急かされて車に乗り込み、そのままホテルながやま、を出て金沢に帰ってきました。

状況がのみこめないまま、一緒に車に乗って金沢に帰ってきたのですが、それから金沢市場輸送の給油機の前辺りで、けっこう長い時間話をしていました。だいたいの推定ですが、ホテルながやま、を出たのは22時から23時の間ではないかと思います。

長い時間、金沢市場輸送の前の給油機の辺りで話をしたあと、その場にいたたぶん全員で、8号線バイパスの住所は諸江になるのではと思いますが、そこの「くるまやラーメン」に行って夜中にラーメンを食べたことを印象的に記憶しています。

給油機の前辺りの会話では、なぜホテルながやま、を抜けだして帰ってくることになったのか事情を理解することが出来ました。

宴会場ではなかったと思いますが、その後に行った酒を飲むような場所というか店でのことであったと思います。どこまで具体的な話を聞いたのか細かくは思い出せませんが、話を聞いた私としてはそのような理解でしたし、宴会場というのは止める人も多いので考えにくいと思います。

なにが原因だったのか話を聞いていてもはっきりとはわからない部分がありましたが、金沢市場輸送の運転手と市場急配センターの運転手の間で、衝突というかケンカがあったという話でした。社員ではなく運転手と書いたのは、双方に運転手ではない持ち込みの運転手が含まれていたからです。

そのケンカの構図は市場急配センター対金沢市場輸送ではなく、むしろ能登の内浦対能登の輪島という構図にも見えました。

輪島というのは輪島市ということでわかりやすいと思いますが、内浦というのは、能登半島の外浦との区別で使われる言葉です。要するに富山湾に面した宇出津や小木、松波辺りを指す言葉ですが、その意味では珠洲市の飯田や蛸島も含まれるはずではあります。

その珠洲市は狼煙に近い禄剛崎灯台の辺りを境に、外浦と区別されているかと思います。珠洲市でも折戸、高屋、木ノ浦海岸、馬緤海岸、大谷という辺りは外浦になります。

大谷は小さなスーパーもあるその辺りでは町らしい町で、その先の真裏海岸が輪島市との境です。輪島市に入るとそこは割と知名度も高い景勝地、曽々木海岸です。それから輪島市全体を外浦というと思いますし、富山湾とは反対側の富来町など羽咋郡の海も外浦に含まれていると思います。

富来町には能登の景勝地として有名な巌門などもありますが、能登金剛とも呼ばれているかと思います。外浦に共通していることは、風が強く波が荒いことでもあります。その点、富山湾に面した内浦は海も遥かに穏やかです。

平成17年辺りに市町村合併があって、それまで珠洲郡内浦町であった松波や小木は、私が生まれ住む宇出津の鳳至郡能都町、それと柳田村と合併して、鳳珠郡能登町となりました。

ちなみに同じ頃だったと思いますが、富山湾とは反対側でもあった同じく鳳至郡の門前町は、輪島市に吸収されました。宇出津から輪島市の曽々木海岸までも距離的には22キロ程度なのですが、小さい頃の感覚が未だに残っていて、ずいぶん遠いところという感覚が私には残っています。

宇出津より珠洲市の飯田の方が町としては大きいですが、宇出津には、あばれ祭り、という割と有名な祭りがあり、それと石川県立水産高校という寮もある高校もかってはありました。小木港は北洋の遠洋業業の中心地で、それらが人のつながりにもなっていたと思います。

金沢市場輸送には輪島の運転手が、M、O、Y、H、S、Kと5人いました。いずれも大型車の運転手ですが、Yは初め4トン車に乗務していました。都合よくダブりがなかったので苗字のイニシャルで列挙することが出来ました。

Oが輪島崎という他は、海士町の者だとだと聞いていました。最近では余り聞かないことですが、輪島市でも海士町というのは特別な存在でした。輪島崎も海士町と同じく輪島市内の漁師町ですが、海士町とは仲が悪く、Oはかなりの例外とも聞いていました。

おまけではないですが、もう一人海士町でYという運転手がいましたが、彼だけはなぜか例外的に鮮魚を運ぶ保冷車には乗務せず、大型車でも平ボディ車に乗務していました。仕事の内容も異なるので、仕事で一緒になることも比較的少なかったと思います。

事件とも関連が薄いのので説明から除外してもいいぐらいなのですが、ひとつだけ気になることがあったので、そのことを先に書いておきたいと思います。

それは平成3年の9月、市場急配センターの一階休憩室が完成した直後のことであったと思います。その輪島のYがその休憩室に来ていたのですが、その場には被告訴人安田敏もいました。Yが一緒に来たのは被告訴人安田繁克ではなかったかと思うのですが、このところ思い出すこともなかったので。

このところ思い出すこともなかったので、はっきりとは思い出せないのですが、同行者がもう一人いて、私にはかなり意外な組み合わせにも思えました。

彼女か結婚の話題になった時、被告訴人安田敏が彼女がいることについて、「好きな人がいても言えないので不自由」という趣旨の発言をしました。その口ぶりを聞いた時、被害者AAさんのことを指しているようにも思いましたが、同時にかなり演技臭い台詞にも思えました。

微かではあったと思いますが、被告訴人安田敏が何かを企んでいるのではないかと、ふと感じた最初の機会であったようにも思います。横恋慕をしているのかと考えたこともありましたが、そうとは考えにくい言動も感じられていましたし、同棲している彼女がいるのにという思いもありました。

その横恋慕に関しては同じく、被告訴人東渡好信により強く感じることもありましたが、あるいは本気の部分もあったのかもしれません。その被告訴人東渡好信も彼女がいると話していましたし、平成4年の正月明けの深夜には入江の八幡のすしべん、でその彼女と一緒にいる姿も目撃していました。

やはり輪島のYと被告訴人安田繁克は一緒に来ていたと思うのですが、同行者として一緒にいたのは、私の過去に作成した正面の内容が正確だと自信を持って言えます。現在の私の記憶では、このことに自信を持って断定することは出来ません。

あるいは電化のコジマのテレビと同じ日であったようにも思います。どちらも午後の比較的夕方に近い時間であったと思います。あれも偶然ではなかった企ての一つだった可能性があるとは思いますが、冬至の私にはそういう警戒的な意識もなかったので、見落としもあったものと思われます。

輪島のMは、その後に続く輪島の若者の入社のきっかけとなった人物ですが、本書ではMYと表記してきたかと思います。そのMと竹林は、慰安会のようなものは大嫌いなので絶対参加しないと言っていたので、たぶん参加もしていなかったと思います。

竹林に関しては、ホテルながやま、の慰安会の時点で金沢市場輸送に在籍していたのかも微妙な時期かと思います。たぶんやめていなくなっていたと思います。

ただ、竹林本人が慰安会のような温泉の一泊旅行に対する否定的な意見を強い訴えとして聞かされていた記憶があるので、どうなのかなとは思った次第です。一言で言えば変わり者という一面でしたが、ふとしたことに強いこだわりを持ち、理屈で説明をするような人物でした。

時刻は6月25日10時29分になっています。ほぼ昨夜の状態を維持して、続きを書いていこうと思います。書いているうちに思い出すこともあるかもしれませんが、20年以上前のことなのでしんどいところもあります。

夜にホテルながやま、から一緒に戻ってきたメンバーとして、はっきり記憶に残っているのは輪島のO、同じくH、同じくSでしょうか。加えてたぶんいたと思うのが輪島のY。はっきりしないのが輪島のKで、Kは金沢市場輸送に入るのも一番後であったと思いますし、いたのかも時期的に微妙。

いたような気もするしいなかったような気もするのが平ボディ車に乗務していた輪島のYでした。彼は輪島のｙや同じくｈ，同じくｋ、同じくｈらより、学年で一つ年上と聞いていたと思います。前者の4人は確か私より学年で2つ年下と聞いていたように思います。

もう一人いたと思う人物でその場にいたのが意外に思っていたのが、珠洲郡内浦町新保出身と聞く、KOでした。KOに関しては本書において、これまでに何度か書いていることがあると思いますが、私が大きく重視するのが、関越道での勘違い飛び降り自殺のことです。

仮にその話が作り話であるとすれば、KOは金沢市場輸送と仕事以外の特別な関係があり、組織的な工作活動員であった可能性も出てくるのではと考えています。重要なことだけに割とぼかした表現で中途半端に書いていたところもあるかと思います。警察や検察なら簡単に確認できるはずですが。

新潟運輸の長距離運転手で、石川県珠洲郡松波の松波中学校出身。昭和５３年頃には松波中学校の相撲部で個人戦の優勝候補とも目されて活躍、という具体的な事実をKOは私に話していました。

私は昭和52年の4月に能都中学校に入学し1年生になったようです。昭和55年の4月に水産高校小木分校に入学したことは記憶がはっきりしているので、そこから逆算してみました。35年以上前のことになるので、思い出すのも容易ではありません。

能都中学校に入学してすぐに相撲部に入部しましたが、時期としてはっきりと覚えているのは9月の10日頃にあったと思う羽咋郡富来町の富来中学校での新人戦でした。この時は民宿に一泊しましたが、民宿に泊まったというのはその時生まれて初めての経験だったと思います。

他にも相撲の大会はいくつもあったのですが、何月頃だったかとなると記憶にありません。相撲では外でほとんど裸に近い状態ですが、特に寒い思いをしたという記憶もないので、10月以降3月などには大会はなかったのではと考えられます。4月でもまだけっこう寒そうです。

他に強く印象に残っている大会が松波大会でした。松波中学校の場所ですが、私は2009年ぐらいになって初めてその場所を知りました。バスで珠洲市に行くようになり、松波中学校の前のバス停にも停るようになったからです。

その場所は割と町外れで、松波から新保の海岸線経由で小木港の方に行く道路の初めの方にありました。もう少し行って左に入って行くと、松波の自動車学校があって、そこには若い頃よく行くことがあったのですが、松波中学校の場所というのは気が付かなかったです。

松波には他にも説明の箇所があるので、Googleマップのマイプレイスを作っておこうかと思います。

告訴状の説明に伴う旧珠洲郡内浦町松波付近の場所 <https://mapsengine.google.com/map/u/0/edit?mid=zWXtOqvyZ-Jo.kmNqnYbHRmoQ>

上記がリンクです。地図を作成しました。作成の過程で私はこれまで長い間、大きな勘違いをしていたことに気が付きました。

それは新保の場所です。ざっと地図を見回していても発見できなかったので、検索機能の「現在のビューの場所の近くを検索する」というのを使いました。これは今日初めて知った選択肢です。

すると一発で新保の場所にマークがついたのですが、自分がそれまで新保だと思っていた場所とは異なり、その辺りの海岸線では全く反対方向の位置でした。

私は小木から向かって行くと、白丸の先に新保があって、その辺りが道沿いの海岸線の終端だと思っていました。ところが実際は小木から越坂の少し山間の道を抜けて海岸線に出た初めの辺りが新保で、五色ヶ浜海水浴場より手前側にあるのに驚きました。

どうも越坂の隣がすぐに新保になるようです。同じ能登町でも細かい地名があって、どこなのか知らないものもありますが、やはり隣接している可能性が高そうです。

小木から一ノ瀬、越坂の辺りは九十九湾周辺ということもありますが、小木と同じという意識が強いです。中学校に通うのも小木中学校と決まっていると聞いていました。

KOから以前、新保では小木中学校、松波中学校とどちらでも選べると聞いていました。私は新保が白丸の先で松波の町に近いと考えていたので、KOはあえてより離れているとも考えられる小木中学校を選んだのかと考えていたのです。

前にも書いていることと思いますが、KOは私が当然に関越道から飛び降り自殺した松波の昭和53年当時相撲部の有力選手のことを知っているような前提で、話を始めたという印象があり、これがずいぶんと長い間気になってきました。

小木港から海岸線で松波に向かうと、白丸を過ぎた辺りから海岸線を離れ、田んぼや山間の道に入っていきます。その辺りには立壁や川尻という地名もありますが、松波中学校への通学範囲と考えられます。

個人的な感覚ですが、その立壁や川尻から小木中学校への通学を希望するというのはよほどの事情がない限り無理があると思いますし普通にないことだと思います。

繰り返しますが、私はなぜか勘違いをして新保を白丸より少しだけ松波の町に近い在所だと思い込んでいました。仮に白丸だとしても私はどこの小学校の通学範囲なのかわかりません。白丸小学校というのは聞いたことがあったかもしれませんが、あったような気はします。

その相撲部の有力選手は白丸の周辺に家があって、KOとは幼なじみか小学校が同じ関係で、有力選手は松波中学校を選択し、KOは小木中学校を選んだんとかと考えることもありました。二人が学年で同級生であることは間違いないと思います。

松波での相撲大会ですが、これはやはり昭和53年で私が中学校2年生の時と考えられます。先ほどから説明している松波中学校の有力選手は学年で私の一つ上でしたが、優勝候補の一人だと聞いていました。私が1年生の時の3年生のメンバーの姿というのも思い浮かんでは来ません。

他に珠洲市の緑ヶ丘中学校にも優勝候補と目される選手がいましたが、かなりの巨漢でした。松波中学校の有力選手の場合は体格はいいものの、オリンピックの水泳競技の水泳の選手によく見かけるような体型であったと記憶に残っています。

私としてはKOに中学校の時相撲部にいたという話はしていないと思うのですが、あるいは珠洲市大谷のYSさんのことで話すことはあったかもしれません。KO自身が相撲部に関係していたという話は全く聞いた覚えが無いですし、それはまずなかったと思います。

KOは珠洲市大谷のYSさんのことをよく知っている口ぶりで話をしていたような記憶があります。その時はさほど気にも留めなかったので詳しい話は聞かなかったように思いますが、小木の遠洋漁船で知り合ったような関係だと、私は捉えていたように思います。

KOは自分で、小木中学校を出てすぐに遠洋漁船の漁師になったと話していたと思いますし、漁師をやめて初めての丘の仕事が金沢市場輸送だと話していたように思います。丘というのは出漁したあとの海の上での生活に対応にした陸上での生活のことです。

昭和59年の10月の時点ではKOの姿はありませんでしたが、ほぼその直後に入社したとも聞いたように思います。小木港の船に乗っていたと言う割には、付き合いのある親しい共通の友人、知人という話は聞かなかったようにも思います。仕事以外でもKOの名前はほどんど聞くことがなかったと。

高校に行っていれば、昭和57年の春に卒業して社会に出ていると思いますので、4年ぐらい小木の船に乗っていたことが推定されます。誰かの紹介で金沢市場輸送に入社したという話は聞かなかったですが、職安を通して入社した可能性が高そうだとは思っていました。本人に確認はしていませんが。

姫のNKさんが金沢市場輸送に入社して4トン車に乗っていると話を聞いた頃にも、そのKOの入社時期は重なっていると思います。KOは割と親しげな感じでNKさんの通称を呼んでいたような気もするのですが、そうだとすれば漁師をしていた時に付き合いがあったことも考えられるかと思います。

初めは4トン車に乗務していたともKO本人から聞いた覚えがありますが、私が二度目に入社して初めて知り合った頃には、冷凍機付きの三菱ふそうの大型車に乗務していました。その頃は三菱ふそうのトラックというのはそれ一台だったと思います。

KOが小木中学校で学年が私の一つ上でしたが、その当時の小木中学校の相撲部の人とは面識もありました。KOがいることはなかったと思いますし、いたというような話も聞くことはありませんでした。

私は能都中学校でしたが、その辺りでは大きい中学校でした。一学年200人前後の生徒がいました。小木中学校の規模というのははっきりわかりませんが、生徒数も3分の1ぐらいかとも考えられます。直接小木中学校に行ったことはなかったと思いますし、現在の校舎とは場所も違うのかもしれません。

いろいろと育っていた環境も異なるので一概には言えないことですが、能都中学校でも他の部活の大会のことが話題になったり、他校の有力選手について話題になることは、まずなかったと思います。

KOがなぜ松波中学校の有力選手の名前を知っていたのか、たまたま親戚関係があったとか、親戚の近所に住んでいる子供で一緒に遊んだことがあったという事情でもあったのなら別ですが、宇出津でも普通には考えにくく、聞いたこともない話です。

その松波中学校の有力選手の名前ですが、1年ほど前までははっきり憶えていたものの、数カ月前からやや記憶に自信が持てなくなっています。前に松波の町中をバイクで走っていて、同じ名前の店を見たのですが、久しく松波には行っていません。

今は松波にバイパスの道路があるので、珠洲市に行く時も町中を通らずに行くことがほとんどです。松波に用事があることもないですし、買い物に行くような店もありません。

宇出津から松波に行くのは十八速（じゅうはっそく）と呼ばれる山間の道路が国道249号線でもあり最短です。小木経由の海岸線だと倍ほど時間もかかるかと思いますが、バスは2つの路線があって、本数も少ないので時間のかかる小木経由でも乗ることが多かったです。

十八速から珠洲市に向かうと松波の町の手前からバイパスに入って海岸線から離れた道を走って飯田の町中まで入るのが普通です。以前は必ず松波の町中を通って恋路海岸を通り、ほとんど海岸線に近いところを走って飯田まで行くのが普通でした。

松波の周辺は小さい山のような地形が多かったり起伏があってて、割と複雑かと思います。Googleマップでも航空写真にしないとわかりにくいところがあるかと思います。

昭和53年と思われる松波の相撲大会の記憶ですが、松波駅に近い場所で小高い山のなかに相撲大会の場所があったと記憶しています。その辺りは金沢の兼六園にも似た自然の風景で、宇出津の遠島山公園にも似ていました。

割と最近になって、松波駅があったバス停の正面の小高い山の上に「松波城址」というような看板があって寺院のような建物も見えていました。相撲場があったのはあの辺りかと考えていたのですが、今日Googleマップの航空写真を見たところ、違うように思いました。

寺院と隣接して職業訓練校の建物があるのも意外でしたが、思いの外海にも近く、相撲場があるようなスペースもあるとは思えなかったからです。その大会の時に、松波中学校の有力選手の話も誰から聞いていたという記憶があります。

今日改めてKOのことを考えてみると、同じ鮮魚の運転手をしていた当時でも、出先ではあまり一緒になることがなかったような気がしました。出先で運転手が一緒になることが多いのは、定期便のある塩釜港、石巻港、それと九州の福岡、長浜の魚市場です。

それでも金沢の中央市場での荷降ろしでは割と一緒になることがあったように思いますし、そういう場合、荷物の積み下ろしを手伝い合って、終わってから一緒に食事をするのが多かったのですが、彼にも何度かおごってもらっていたような気もします。

彼は妻帯者で、輪島の運転手は全員が独身だったという違いもありますが。他の運転手とは生活のスタイルも違ったり、一緒になるようなことも割と少なかったと思います。会社にいてぶらぶらしていることも少なく、アパートも近かったので必要以外は会社にいないようにしていたのかもです。

思い出しましたが、彼は無線が趣味というか熱心で何か大きなグループに所属していたと思います。トラックにその無線のグループのステッカーを貼っていたかもしれません。

ちょっと思い出したので次のように検索をしてみました。インターネットも携帯電話も普及していない時代のことだったと思いますが、情報は散見されるようです。

石芽クラブ - Google 検索 <https://www.google.co.jp/?gws_rd=ssl#q=%E7%9F%B3%E8%8A%BD%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%96>

「石芽会」というスッテカーを運転席のガラスの前においているトラックを見ていたようなことも思い出したのですが、やはり記憶は曖昧で、KOが所属していた無線のクラブとは違うかもしれません。

割とはっきり覚えていることはKOが、自分の使っているハンドル名について「不動の番人」とか言っていたようなことです。全国的にも名の通った大きなクラブだったようには覚えているのですが、記憶は断片的で薄くなっています。

KOがやっていたのはパーソナル無線ではなく、本格的なCB無線だったと思います。ただ、金沢市場輸送でKOと同じ無線仲間というのは私の知る限りいなかったと思いますし、話を聞くこともなかったと思います。

KOの無線仲間については余り話を聞いた覚えがありません。どこの運送会社に多いとも聞かず、それらしい仲間と一緒にいるような姿も見たことがなかったです。

中央市場の近く、もう少し絞って言えばウロコ運送の近くだったと思いますが、無線のショップがありました。子供の頃に行っていた水産高校の文化祭での実習室のことを思い起こすような店内だったと記憶にありますが、倉庫に手を入れたような店内でもありました。

その店には何度か行くことがあったのですが、KOとも一緒に行ったようなことを憶えています。関越道からの飛び降り自殺の話を聞いたのもその頃だったと思うのですが、今考えると無線仲間から得た情報であったのかもしれません。

平成2年の春から夏の時期であったかもしれません。輪島の運転手もほとんど無線をやっていたと思いますが、彼らだけの仲間内でやっていたと思う反面、本格的なCB無線をやっているような話もあるいはきいたかもしれません。

私は輪島のSにパーソナル無線を安く譲ってもらい、それをトラックにつけるようになったのですが、余り使うことはなかったです。

無線といえば、被告訴人多田敏明も無線のクラブに入っているようなことを話していましたが、自分から具体的な話をすることはなかったように思いますし、乗務しているトラックに無線機を付けたいたという記憶もはっきりしません。無線をやる場合は、トラックにアンテナもつけていました。

ある日、夕方の遅い時間に市場急配センターの一階休憩室で、西口がいたのですが、被告訴人多田敏明に連絡をとったところ、無声のクラブの集まりで金沢港の近くにいるような話をしていました。その時、被告訴人多田敏明は無線をやっているのかと、かなり意外に思ったような記憶があります。

断片的な記憶なのでつながりも思い出せないのですが、その後に被告訴人多田敏明が来て、3人で北安江に焼肉屋に行ったのだと思います。平成4年3月の中頃のことでした。この時の西口の登場も、偶然ではないと思います。

西口の登場というのは主なものだけで、その時が3回めでした。初めが平成3年11月26日のことです。次が平成3年12月の28日と思われる日のことです。その時は西口と被告訴人多田敏明の二人に誘われる形で、被告訴人浜口卓也のアパートに行き、そのあと諸江の焼肉店に行きました。

被告訴人多田敏明が平成3年の秋頃から主に乗務していたのは日野の新型のモデルで、4トンのウィング車でした。初めは被告訴人梅野博之と交代で乗務していることが多かったようにも思いますが、平成4年ころになるとほぼ専属のような常務になっているような様子でした。

免停が明けてからの被告訴人多田敏明は、受け持ちの仕事を持たず、いわばフリーの運転手として、その時々の荷物を運んでいたようです。大型車に同乗して荷物の積み下ろしを手伝うこともありましたが、話し相手以外の必要性などほとんどないものと思われます。

事実上、被告訴人多田敏明は私の動静を監視し、情報を収集するための工作活動に従事していたものと思われます。

事件を起こしたあとに思い出したことかと思いますが、当日の平成4年4月1日、私は翌日の運行の指示として東京行きの引っ越しの荷物を積み込むことと、被告訴人多田敏明を同乗、同行させることを受けていました。

あるいは私の早とちりだったのかもしれないですが、東京への運行に同乗させていくものと考えていました。「トッチを連れて行け」というような言葉での指示であったと思います。

被告訴人多田敏明に関しては、被害者AAさんの父親の仕事について弁護士だと私に吹き込んでいたことも、徹底的に検討するべき問題の一つですが、いずれも別の項目にて言及したいと思います。

ホテルながやま、での説明に戻ります。片山津温泉でもホテルながやま、片山津温泉の外れの方では北陸道の片山津インターからもそれだけ離れていましたが、国道8号線にはより近い位置でもありました。高速道路を使ったのか国道8号線を走ってきたのかも思い出せないですが、誰かの車に乗って金沢へ。

誰の車に乗って帰ったのかも記憶にないのですが、車の中での会話というのはほとんどなかったようにも記憶にはあります。前にも書いたように、金沢に戻り金沢市場輸送の事務所の前の給油機の前辺りから道路の辺りで、しゃがんだりした状態で話をした場面が記憶に残っています。

すべては私が一人客室の布団で寝ている間に起こったことのようでした。市場急配センターの運転手と金沢市場輸送の運転手の間で、ケンカになったという話でしたが、どこか要領を得ないところがありました。まず、誰一人多少なりとも怪我をした様子はなかったです。

双方ともに小木港の遠洋漁船の漁師をしていた者が多かったので、かなり腕力のありそうな者が多かったです。殴り合いがあったとはとても思えなかったのですが、彼らの話を聞いていても、その辺りがわからず掴みどころないものを感じていました。

市場急配センターの側でそのケンカに参加したと聞く人物は、姫のNKさん、珠洲市大谷のYSさん。さらに誰かの口から被告訴人安田繁克らしい男も加わって、その威勢がよく、あるいは暴れていたような話であったと思います。

姫のNKさん、珠洲市大谷のYSさんの二人に関しては、輪島対内浦という因縁の対立という構図として、十分に理解できるものがありました。普段抑えに抑えていたものが、酒が入ったこともあり爆発したものと考えられたのです。

まず姫のNKさんのことですが、曽々木海岸あたりをドライブしていたところ、輪島の暴走族とトラブルとなり、ずいぶんと屈辱的な思いをしたと伝聞ですが聞いたことがありました。神野のKMから聞いた話の可能性が高いと思います。

現在の私はかなり以前に比べると人との付き合いもめっきり減っているので情報量も少ないですが、輪島市の海士町について話を聞くこともほとんどなくなりました。海士町は海女の町でもあり、全国的にも規模が大きいということでテレビでも見かけることはありましたが、別のイメージが強いです。

聞いた話ですが、本来の海士町は舳倉島で海女漁などをして暮らし、海が荒くなる冬場は漁も出来ないので本土の輪島市内で生活していると聞きました。以前は海女漁の話より、暴力団もものともしないような攻撃的、暴力的な集団として名を馳せていました。

歴史的にも近新婚を繰り返し、集団としての結束がとても強く、年配者を敬い厳しい環境で育っているとも聞いたことがあります。泣く子も黙るとは大げさかもしれませんが、能登半島でも特別な地区だと知られていました。

歴史的には九州の福岡県から流れてきた男女が輪島の海に住み着き、そのうち加賀藩の前田家からもお墨付きをもらって、海女漁をするようになったと聞きます。いずれにせよ、輪島市と言っても海士町はとりわけて特別な地区でした。

海士町は漁師町でもありましたが、どういうわけかほとんどの若者は、北洋の遠洋業がある小木港の遠洋漁船に乗り組むとも聞いていましたが、金沢市場輸送で運転手をしていた輪島の若者も、輪島崎のOと平ボディ車に乗務していたYを除いて、小木港の遠洋漁船に乗り組んでいたと聞きました。

地元小木港の話では、海士町の若者は気が荒く手に負えないので、一つの船に二人かあるいは一人以上は乗せないことになっていると聞いたこともあります。二人か一人かの違いは、私自信の記憶の状態によるものです。20年以上前に聞いていた話なので、記憶もはっきりしません。

海士町の話は地元の宇出津や、小木港の遠洋漁船に乗っている漁師の間でも聞いていましたが、より物凄いと感じたのは、被告訴人安田敏と金沢の観音堂のアパートで遊んでいた頃のことでした。既に本書で書いてある部分もあると思うのでなるべく省略したいですが、藤江の陸橋の付近の溜まり場のことなど。

金沢で暴走族のリーダーをやっていたKTは、どちらかといえば貧弱そうな体型で腕力があるとはとても思えないタイプでしたが、事実上統率力はあって、暴走族のリーダーにもなっているという感じでした。

時刻は6月26日13時05分です。あらためてこの項目の見出しを見てみたのですが、新しい事務員を紹介する運転手、のことになっていました。これはもちろん木村さんのことですが、ずいぶんと外れた内容を書いていたようです。

どうしたものかと思いますが、木村さんのこともKOらのことも、事件そのものと関係があるとは断定できない点で、その他というような共通項はあるとおもいます。また、個別には無関係に見えても、全体としては看過できないつながりや事実が含まれています。

木村さんに関しては中野さんのことも併せて書くつもりでいました。二人とも実名にしましたが、それも私の考えぬいた上での判断です。事件の音の深いところで関わりのある人物という可能性もある一方、全くの無関係でありながら、しがらみからも影響を受ける可能性も考えられるからです。

実名にするのは必要最低限という配慮は常にやっております。実名にしたからと共犯者としての嫌疑が濃厚というわけではなく、また、匿名にしたからと言ってそれが薄いわけでもありません。ありのままの事実を書いておりますが、理解を超えている部分や断片的な認識しかない部分があります。

そういう中で誤解を生じ、混乱を招かないためにも特定すべきところは特定しておくというのが私の方針であり、ツイッター等での反論意見の場も事実上用意されています。警察、検察に相談するのもよいことでしょう。タイトルにも金沢地方検察庁御中と看板を掲げています。

とりあえず、見出しに対応した内容のことを書き上げ、次のことに移りたいと思います。新しい事務員の話です。

平成4年の2月の中旬から3月の中旬の間ではなかったと思うものの、割と最近になってこの部分の記憶があいまいになってきました。その時期としては、かなり天気の良いさわやかな天候でした。

これもWとかを改めて実名にしますが、和田くんと二人、それぞれの乗務する大型ウィング車で、北陸道を福井県鯖江市に向かってきました。たぶん積み荷はミールだったと思います。浜田漁業金沢工場よりは北陸ハイミールの可能性も高いという気もします。

ミールは倉庫移動という地場というかローカルの仕事も多かったのですが、福井に行ったのはその時、一回だけだったと思います。

片山津インターと加賀インターの間だったと思いますが、尼御前サービスエリアがあって、そこに入りちょっとした休憩をしました。福井に向かっている時のことです。

その尼御前サービスエリアのなかで和田君が話しかけてきたことですが、新しく事務員が入るらしい、Aちゃんは話しかけても余り喋ってくれんし、返事だけ、というようなことを言っていました。

和田君の口から被害者AAさんのことが出たのはそれが2回めだったように思います。現時点での私の記憶なので、忘れていることもあるかもしれません。

余り日にちの近接はなかったと思いますが、同じ頃に、和田君と被告訴人多田敏明の3人で、確か長野市の市場まで行ったことがありました。何を持って行ったか思い出せないのですが、果物だったようには思います。それと日通の増泉支店で荷物を積んだような記憶も場面として残っています。

日通の増泉支店に行ったこともずいぶんと久しぶりだったような気もしますが、昭和59年ころは割と行く機会があったと思います。前にも書いていると思いますが、展示会の荷物を積んで福島県いわき市の大黒屋というデパートに行ったことがありました。

そしてこれも既に書いているのではと思いますが、被告訴人竹沢俊寿が以前、日通と関係があって社員であったような話も聞いたことがありました。土建屋の社長とかヤクザの組長だったという話とは、普通に合わないとは思いますが、どちらも被告訴人竹沢俊寿の過去として聞いていた話です。

いくらかはっきりしていることは小島という事務員が昭和59年当時にいたことです。日通から来たと聞いていました。保険の係をしていると聞いていましたが、小さい会社で度々保険の仕事があるとは考えにくく、電話番以外に何をやっているのかよくわからない存在でした。

顔の方もいまでもなんとなく記憶に残っていますが、真面目でおとなしいいかにも事務職と行った感じの人だったと思います。年齢は40代にも見えましたが、若いのか年配なのか、どちらにも見えるようなタイプでした。体型はがっしりして見えました。肩幅も広く。

これも前に書いていると思いますが、昭和59年の時点で日通カラーの大型平ボディ車が2台いました。1月に私が入社した時点であったようにも思いますが、どちらも最近に納車された真っさらの新車という感じでした。

乗務していたのは棟方さんと原田さんでした。変わった名前だとお守ったこともあり棟方さんの名前は憶えていますが、無口でおとなしい感じの人でした。北海道から来た人と聞いたような気もします。庄和61年の8月には既に姿が見えなくなっていたと思います。

原田さんは前にも書いていると思いますが、そのあと中西水産輸送の運転手となり、中西運輸商で配車係もしていたYTから聞いた話では、国道18号線の群馬県高崎市付近で、追突事故だったかで死亡したと聞きました。

被告訴人安田敏から聞いた話で、大倉さんが事故を起こして死んだと聞いたのも、同じ高崎市付近という話であったと思います。大倉さんは以前、割と大きな会社を経営していた社長とも聞いていました。どんな仕事をしていたのかは、よくわからない説明を受けました。

大倉さんは金沢市場輸送での麻雀の常連メンバーにもなっていたと思います。被告訴人安田敏の工事現場突入の時、ワゴン車で現場に来ていた木村さんも、たぶん金沢市場輸送で麻雀をしていたのではと思われます。

ただ、私自信の記憶では金沢市場輸送で木村さんが麻雀に参加している姿というのは見かけていなかった気もするのです。それもあって片山津温泉せきや、の客室で麻雀をやっている姿を見た時は、その普段とは違う服装とも相まって、かなり意外に映ったのだと思います。

会社で木村さんの姿を見かけていたのも、金沢市場輸送の給油機でトラックに給油している姿や、市場急配センターの裏駐車場で仕事を終えて帰っていくような姿を、たまたま見ていたもので、いずれも割と早い時間で16時前だったとも考えられます。

和田君のことですが、これも前に書いているところがあるかと思います。平成3年の11月の20日頃だったかに、市場急配センターに入って大型ウィング車に乗務していました。確かそれまで被告訴人東渡好信が乗務していたトラックに乗務しましたが、いきなりだったかはわかりません。

今まで結びつけて考えたことがなかったのですが、思えば、被告訴人東渡好信が古河の市場でベルトコンベアーに指を詰めたとか言い出し、トラックの仕事をやらなくなってから、配車係になったのも同じくその頃だったと思います。

ベルトコンベアーの件に関しては、私はその場にいました。いきなり大きな声をあげて怪我をしたと騒ぎ出したのですが、傍で見ていて呆れるほどわざとらしい演技のようなものでした。怪我をすれば血が出なくても内出血なりするはずと思いますが、怪我をしていない手で抑え続けるだけで見せなかったです。

東渡が乗務していた大型ウィング車というのは、金沢市場輸送でその平成3年の4月ぐらいに入った日野の新車でした。それまでの金沢市場輸送のトラックのデザインやカラーとは一新して、ベースが白で赤と青のラインがデザインされていました。

これは2台同時に入った新車で、どちらも日野のトラックだったと思いますが、もう一台に乗務したのが輪島の浜上さんでした。浜上さんも海士町の出身だと聞いていました。被告訴人東渡好信とは長い付き合いという感じで、共にトレーラーで木材を運ぶ仕事を多くやっていたような話でした。

どこに書いたのか記憶にはないですが、本書では既に書いていると思いますが、被告訴人東渡好信が市場急配センターの事務所やその周辺の路上で、包丁を手に握り、被告訴人松平日出男を追いかけまわしたという原因になったのも、その日野の新車のことだと聞いています。

同じく書いていると思いますが、石川丸果の売り場で、荷受けのじいさんの首根っこをつかまえて、キャベツの箱のなかに押し込んだということもありました。まるで海面に沈めて溺れさせるような行為です。無言でいきなりやったので、じいさんもさぞや驚いたことだと思います。

じいさんの姿は、今でもなんとなく記憶に残っているのですが、市場では珍しいぐらいの高齢の人でした。荷受けをやっていたところを考えると石川丸果の社員であった可能性が考えられます。平成3年の春のことなので、他の雇用形態というのも考えにくそうに私は思います。

被告訴人東渡好信と浜上さんと河野秀美さんの3人が、市場急配センターに来たのは9月に入ってからだったと思います。いずれも金沢市場輸送で乗務していたトラックともに移ってきたと思います。

河野秀美さんに関してはもともと金沢市場輸送で鮮魚を運ぶ保冷車に乗務していました。少なくとも私が金沢市場輸送にいた6月20日ころまではそうだったと思います。

今、市場急配センターで河野秀美さんがどんなトラックに乗務していたのか、思い出すのに集中しているのですが、残念ながら思い出すことが出来ません。新しいトラックでなかったことは間違いないと思いますが、平成4年になってから被告訴人浜口卓也と同じく日産の新車に乗務したかもです。

この3人は金沢市場輸送を退社したのではない扱いで市場急配センターに移動したとも聞きました。私の場合は、金沢市場輸送をやめてから新たに市場急配センターに入社したことになっていると、聞かされたのですが、誰に聞いたのかはっきりしませんし、真偽もどうなのかと思っていました。

3人は9月に入ってすぐに来たようにも思うのですが、9月中というのは長距離の仕事も本格的にはなっていなかったようにも思います。古河の市場の山三青果の仕事も、ローテーションでまわるような状況にはなっていなかったように思います。

9月中は東京の晴海埠頭や有明から外果の果物を運ぶ仕事が多かったとも記憶していますが、9月、10月、11月というのは、中央市場の裏の倉庫から馬鈴薯を運ぶ仕事が多かったと思います。利益が出るとは考えにくい仕事で、間に合わせという感じでもありました。

改めて考えてみると、古河の市場で河野秀美さんと一緒になったという場面を思い出すことが出来ず、あるいは一度もなかったのかもしれません。浜上さんも余りなかったような気がします。この二人は特に仕事の選り好みも強かったようです。

馬鈴薯でも河野秀美さんの場合は、大勢の人を動員して、市場周辺から壊れて捨ててあるパレットを拾い集めでそのパレットの上に荷物を積み込んでいました。荷降ろしさの市場に着いてからは、フォークリフトで降ろして指定された場所に並べるだけで済むそうです。

私はかえって面倒そうにも思っていたので、全くではなかったかもしれませんが、やることはなかったと思います。そこまでやるというこだわりには感心し理解も超えていましたが、それぞれにこだわりを持つというのは運転手の考えと経験にもよるもので、強くありがちな傾向です。

河野秀美さんは金沢市場輸送でも権利意識の強い運転手だったようで、それで配車係の被告訴人本恒夫とも衝突することがあるとか聞いていました。仕事ぶりはともかく、会社の側では扱いづらい運転手でもあったようです。

人それぞれの考え方もあることで、労使関係というのは本来そういうものなのかもしれませんが、どうもそういう権利主張の傾向がある人で、独自のこだわりももっていたようです。余り評判の良い話としては耳に入ってこなかったような気もしますが、曲者的なところもあったかと思います。

多かれ少なかれ他の運転手もクセのようなあったと思いますが、基本的に個人プレーのような仕事内容なので、見えない部分も沢山あったと思います。同じ会社の運転手でも半年に一度も顔を合さないことがあると聞くこともあったぐらいです。エサをやっていた時代の話だとは思いますが。

もともとそういう自己主張の傾向が強かった河野秀美さんなので、被告訴人東渡好信や浜上さんとは方向性も同じく気があったようです。平成3年春の金沢市場輸送のストライキにもまっさきに参加していたように思います。

ストライキに関してもまだまとまった説明は書いていないかな、と思いました。どさくさのような状況でもありましたが、その時に連絡を寄越してきたのが被告訴人安田敏でした。計画された行動であった可能性があるので、徹底解明が必要と思います。

時刻は6月27日22時14分となっています。本日は人様との関わりにおいて、私の人生のおいても特別な経験をする日となり、思いを致すところがありました。プライバシーを尊重するうえでも具体的な内容については触れませんが、関わりの中で今後を含め社会に向けた影響もあると思います。

昨日になりますか、河野秀美さんについて書いていたと思います。私自身、真意を疑う衝撃的な発言ではありましたが、ありのままの客観的事実として、記録に記しておきたいと思います。被害者AAさん及びその家族の人生に対しても影響を与えた可能性があるとりわけ重要な事実であることを申し添え。

平成3年で、11月のことかと思います。不思議と前後の事実とのつながりが記憶として喚起できないのですが九州産と思われるミカンが市場に出始めた時期だったと記憶にあります。たまたまだったのは天候も良くなく、寒い日だったという記憶も残っていて、12月ではなかったかと感覚的に思えることも。

その日は珍しい仕事として会社から指示を受け、たぶん金沢の中央市場からであったと思いますが、ミカンを大型ウィング車に積んで、私の地元である宇出津のAコープ能都店に運びました。かなりの確率で私が乗務していた3068号であったとも思います。

宇出津のAコープ能都店には夕方遅くすっかり暗くなった時間に着いた場面も割と鮮明が聴くとしてありますが、Aコープ能都店は改装工事中だったのか、向かい側に仮店舗として営業していたことを印象的に記憶しています。

私はその飛び込みのような臨時の仕事に、河野秀美さんさんと一緒に、二人で同じ一台のトラックに乗務して出かけていました。

その仕事の帰路で七尾市付近を走行中のことであったと思います、まず近所のレンタルビデオ店で、たまたま被害者AAさんと出会ったことを話していました。女友達と一緒だったとも言っていましたが、これはまず11月26日と同じKNさんのことであったと思います。

11月26日のことについては特別枠として項目を立てて、詳しい記述を予定しています。浜上さん、被告訴人東渡好信、西口が絡んでくる事実です。

諸江と思われるレンタルビデオ店で被害者AAさんと出会ったという話の後であったと思います。耳を疑うと言いますが、衝撃な気な話を耳にしたので、前後の記憶が飛んでいるようなところもあるかと思うので、想像で適当に補うわけにもいかず、それはそれとして明確にしておきたいと思います。

ということで、会話の前後の脈絡が正確に思い出せないのですが、河野秀美さんの口から、笑いながら娘が強姦されたら嬉しい、という発言があり、その後同じく笑ったような感じで、「とてもよい人生経験になるから」というような、とってつけたのではないかと思われる理由付けがなされていました。

私も河野秀美さんも独立した大型車の長距離運転手でした。少しでも楽をさせたいとか協調性を育む場として、会社の方針、配慮があったということも理屈上100％の否定は出来ないと思いますが、同時に計画された工作活動の一つであったという可能性もあるのではと思います。

家族としても深く考えさせられるところがあるのではと思います。これはこれまでの記録においても何度か記述してきた事実のはずです。一見すると都合次第で他者の尊厳をも冒涜した言い分に映るかもしれないですが、紛れもない事実です。反論を受ける用意を含め、大々的に公言をしておきます。

ミカンに関しては九州から何度も運んできたという経験があります。近年スーパーの売り場を見ていると品種改良のためか、温室栽培以外のミカンでも、出始め、終わりともに店頭に並ぶ期間が長くなっているように思われます。

市場急配センターにおいては、九州からミカンを運ぶことはなかったですが、和歌山県のかつらぎ農協へは何度もミカンを積みに行きました。ただ、意外に早い時期1月の中頃にはほとんどミカンの出荷がなくなって、イヨカンか何か類似の別の果物に切り替わっていたように記憶しています。

時刻は6月28日7時59分になっています。改めて見出しの内容に沿って書いていきたいと思います。

和田君のことに関して書いていたと思いますが、彼の場合、独立した項目を立てて書くような必要性は感じていないので、なるべく関連の有りそうなことを早めに書いて片付けておこうと思います。事件と関わりを持ったということは事実ですが、本人の自覚の程度というのも不明かと思います。

現在日付まで正確に思い出すことは出来ませんが、以前は特定できていた事実の一つだと思います。平成3年の年末の一番最後の方の仕事の時であったと思います。夕方でしが、17時20分か30分ころになっていたように思います。年末の忙しさで被害者AAさんは残業をしていたのかもしれません。

その頃になると似たようなことは何度かあったと思いますが、現在はそれも思い出せなくなっています。事務所一階の休憩室にいたところ、二階から呼び出しの電話が掛かりました。二階の電話とは親子電話のようになっていましたが、当時は珍しく珍しくおもえるものでもありました。

乗り降りした東名高速のインターは豊川インターだったと思います。どちらが先立ったかも記憶がはっきりしなくなっていますが、初めて行った時、指定された場所にトラックを停めて寝ていると、真夜中に小林運送のYさんに起こされて、手短に説明を受けたと記憶しています。

これは全く予想外のことで、しかも熟睡中にいきなり起こされたので、夢か現かという感じでした。Yさんは実際の年齢より気も若く、見た感じも若く見える人でした。はっきりした年齢は忘れましたが、私が助手をやっていた頃、既に大型車に乗務していたので、少なくともその時点で21歳以上のはず。

やんちゃでケンカ好き、小林運送の社長となった息子とは年も近く、二人で中央市場の近くの百万石うどん、の板前に営業中に殴りこみを掛けたというような話も聞いたことがありました。Yさんの方が小柄でしたが、俊敏そうな腕力もありそうな感じでした。社長は体じたいが大きかったと記憶しています。

私が助手になった時点で、社長となったばかりの息子はヤクザをやめて家に戻り家業の運送会社を引き継ぐことになったと聞いていました。

昭和61年の8月、2度めに金沢市場輸送に入社して市内配達の仕事を始めた頃、市内配達が数社の運送会社の集まりでありながら束ねていたのが高田という当時50代ぐらいに見えた人物で、トラックの数が圧倒的に多いのも金沢市場輸送でした。

はっきり思い出せないものもありますが、小林運送、石川日通、など５つぐらいの運送会社が2トン車を運転手とともに出していましたが、いずれも一台ずつだったと思います。小林運送も一台だけでしたが、その運転手がYさんでした。

小林運送に関しては社長となった息子の母親が気の強い人で、青果の仕事の奪い合いのことで金沢市場輸送に怒鳴りこんできたという話も聞いたことがありました。既に金沢市場輸送の事務所が二口町に移転した頃であったと記憶に残っています。

私自身、YTと一緒に小林運送の事務所に連れ込まれることがありました。一番の近くで道路の譲り合いでトラブルになった相手が小林運送の息子で、そのまま事務所に連れて行かれ、いろいろと言われたのですが、直接的な内容でもなく意味のわからないところがありました。

たぶん前に助手をしていてその後、金沢市場輸送で運転手をしたいることも知っていたはずなのですが、知らない相手を前提にしたような対応で、それに直接相手にしているような感じでもなかったと記憶にありますが、理解のできないところがあったとその場の記憶として残っています。

もともと中央市場の青果物の仕事は小林運送が仕切っていたという感じでした。トラックにも宝船のような野菜の絵や、「金沢中央卸売市場」と割と大きな文字でどのトラックも書いてあったと記憶しています。平ボディ車が多かったとも思いますが、そちらは絵を描くスペースはなかったかも。

高田という人物もとても真面目そうに見える反面、訳ありの人物にも思えていました。特に悪い話というのも耳にはしていなかったと思いますが、忽然といなくなり、会社の金を持ち逃げしたような話を耳にしたこともありました。

富山の右翼団体の青年が高田を探しに来たことも、本書では既に書いているように思います。呉服屋とかのいかにも番頭という感じの人物で、今でも顔は不思議とはっきり記憶に残っていますが、その後噂を聴くこともなく、今考えるとちょっと不思議なぐらいの自然消滅という感じでした。

会社の金の持ち逃げに関しても曖昧な話しか耳にしませんでしたが、被告訴人竹沢俊寿が実害を受けたらしく怒っているという話は耳にすることがありました。被告訴人竹沢俊寿としては割と珍しいことです。

被告訴人竹沢俊寿が運転手のことを悪く言ったり、批判することは余りなかったと記憶しています。

例外として過去にはまず、能都中学校の2つ年下のOTがいました。宇出津の近くですが住所は宇出津ではないところに家がありました。今もあるとは思いますが。昭和56年から58年ころまでは個人的な付き合いも多い間柄でした。

久しぶりに会ったのは昭和60年の夏頃だったように思いますが、金沢市高畠の被告訴人大網周一のアパートでした。岐阜の帰りに山道を通り、4トン車を崖下に転落させて、そのまま逃げてきたというような話をその場で聞いたように記憶しています。

金沢市場輸送の4トン車のことですが、その後私は被告訴人竹沢俊寿が、そのOTの名前を出して、許さない懸賞金を出して探しだすなどと息巻いている姿を、金沢市場輸送の事務所で見た記憶があります。

思えばOTの姿を見たのもそれが最後だったような気もします。その後ほかの友人とともに大阪の方に行き、共同生活で仕事をしていたという話も聞きましたが、そのあと友人との付き合いもなくなったらしく、さっぱり話を聞かなくなりました。

その時に大阪の方に行ったグループというのは小木港で遠洋漁船に乗っていた連中なのですが、地元には全く帰ってこなくなったのか、さっぱり噂話も耳にしなくなりました。

伝聞の上、断片的で要領を得ない話ではありますが、遡ると被告訴人大網周一が金沢で鳶の仕事を始めたきっかけにもつながるようです。大阪に行って以来、交流があったという話も聞いたことはないのですが、私からすれば忽然といなくなったようなグループです。事情もあったことかとは思いますが。

OTの件に関しては、崖に転落させたトラックを放置して逃亡したのですから、被告訴人竹沢俊寿の怒りももっともかと思いましたが、それでも本気で怒っているような感じにも思えないことはない、という感じでした。

高畠のアパートにHMと同棲していた頃の被告訴人大網周一ですが、直市商店という金沢港の仲買人の魚屋の運転手をしていました。4トンの保冷車です。運送会社ではないので白ナンバーのトラックです。

雪が降る時期で昭和61年の1月か2月だったと思いますが、ある日の夜中、私は九州方面から来て金沢に向かっていました。福井県の敦賀インターから先が大雪の影響か何かで通行止めになっていたので、国道8号線を走りました。

途中までは海岸線の多い国道で、その海岸線のカーブだったと思いますが、道路に魚を満載にした4トンの保冷車が横倒しになっていました。箱の後ろの上部が壊れて発泡スチロールのケースが見えていたので、満載であることはすぐにわかりました。

その事故を起こしていたのは直市商店の4トン車で運転していたのは被告訴人大網周一でした。その場で話をしたのですが、誰にも言うなと言われたので黙っていたところ、数日すると自分から人に話していました。

さらにしばらくすると直市商店をやめたとかやめさせられたと聞きましたが、積み荷の弁償のことなどは責任を問われなかったようです。直市商店をやめたあとの被告訴人大網周一の仕事となると、すぐには思い出せなくなっています。

まもなく高畠のアパートにもいなくなったように思いますし、同棲していたHMとも別れたと風のうわさを聞いたような気がします。その後もしばらくは金沢で仕事をしていたのかもしれませんが、そのうちに東京に行ったと聞くようになりました。

東京での仕事で岡山県に出張中に交通事故を起こし、けっこうな大怪我をしたと聞きましたが、金沢市入江の八幡のすしべん、の裏の病院に入院するようになっていました、このあとのことも既に本書で書いているところがあるかと思います。

他に被告訴人竹沢俊寿ににらまれた運転手として記憶に残るのは昨夜も書いたところの河野秀美さんでした。

河野秀美さんの場合は、中西運輸商からトラブルを引きずったままのいわくつきの入社であったとも聞いていましたが、これも話を聞いても要領を得ないものであったと記憶に残っています。別の言い方をすると、合点がいかないというか腑に落ちない話でもありました。

私はその話のほとんどを金沢市場輸送のなかではなく、当時中西運輸商で配車係をしていたYTに聞いていたと思います。自宅に固定電話はありましたが、携帯電話など全く存在しない時代でした。自宅の電話で会話をしたという記憶もあまりないのですが、YTから何らかの連絡があったのだと思います。

YTに関してはこれまでも書いている内容量が多いと思います。平成3年の夏から秋頃には、被告訴人安田繁克を臨時の運転手として仕事をさせていたようです。アルバイトに近い感じという話にも被告訴人安田繁克の説明からは聞こえましたが、実際のところはわからないです。

YTと最後に会ったのは平成3年12月の初めころだったと思います。私が山形県の寒河江市からリンゴを積んできたところで、石川丸果の売り場で出会い、話をしましたが、そのあと一緒に食事に行ったことがあったようななかったような感じで、記憶ははっきりしません。

石川丸果の売り場にいたのは22時とか23時とか比較的早い時間で、そういう時間に石川丸果の売り場にいることは珍しくもあり、割と混み合って忙しそうだったという記憶も残っています。

古河の山三青果の仕事でも、昼過ぎに出発するときは、似たような時間には石川丸果の売り場に入ることはありました。夕方に競りがあると出発は20時から21時の間になって、石川丸果に入るのは朝方に近い時間になることもありました。

山形に行った運行ですが、行きの荷物は城西運輸の仕事であったと思います。羽咋市の平鍛造とかいう会社からなにか鉄鋼製品か部品のようなものを積みました。

平鍛造ですが、調べたところ現在は他の会社と合併をして社名も変わっているようです。次のホームページに書いてありました。

羽咋丸善株式会社　鍛造部 <http://tairatanzo.co.jp/>

城西運輸ですが、金沢では町中でもよく見かける大きな運送会社でした。重機関係のトラックが多かったと思いますが、建設、建築現場でクレーン車を見ることも多くありました。

こちらも調べてみました。能登の宇出津に住んでいるとトラックや重機を見かけることもないですが、次のホームページをみたところ、以前よりさらに大きな会社へと成長しているという感じです。

JOUSAI│クレーン、トレーラー、高所作業車のレンタル・リース <http://www.jousai.co.jp/>

ホームページのタイトル名をみるとレンタル・リースも手がけているようです。一時は噂話を耳にすることもあったように思いますが、内容も忘れてしまいました。

山形行きの荷物は羽咋市の平鍛造の工場で積み込んだと記憶していますが、その前に安全靴が必要だと言われ、被告訴人松平日出男の指示でどこかの城西運輸の小さい営業所のようなところに行き、靴紐のない半長の安全靴を借りたことを憶えています。

その時の被告訴人松平日出男の話しぶりでは城西運輸の担当者とは気心もしているという感じで、被告訴人松平日出男から安全靴は返さなくても良いと言われたので、そのまま返さずに使っていました。事務所のドアに穴を開けたのもその安全靴です。鉛が入っているので軽く蹴っただけで開きました。

行き先は山形と言っても、山形市の少し先で天童市ではなかったかと思います。住所は自衛隊の基地の近くだったので、自衛隊の門番のようなところで道を尋ねました。外に出てもさほど寒いとも思わなかったのですが、道の濡れたところががちんがちんに凍っていたのも印象的に憶えています。

思えば、市場急配センターのトラックで東北に行ったのもそれが最初で最後だったと思います。金沢市場輸送では宮城県の塩釜港、石巻港の定期便が多かったので、山形市内は通過する場所としてしょっちゅう行っていました。

被告訴人松平日出男の前身としては、石川トヨタで営業の仕事をしていたというのと、そのあと自分で中古車店をやっていたというのを聞いていましたが、城西運輸に知り合いがいるというのも、意外と言えば意外でした。

城西運輸の仕事というのは、後にも先にもその時一度だけだったような気もするのですが、それとは別に、以前羽咋市の平鍛造から大掛かりな何かの移動のような仕事がありました。

羽咋市には平鍛造の工場がいくつかありました。見た感じどれも似たような建物だったような気もします。そのどこかから何かの荷物を積んで、同じ石川県内ですが小松市の方まで運びました。

まだイワシの運搬の時期だったとも思いますが、イワシの運搬の運転手が総出で取り掛かるような仕事でした。松浦さんや堂野さんの姿もあったと思います。日報に記載する必要もあるので、荷主の名前は聞いていたはずですが、城西運輸であったかどうかを含め、記憶には残っていません。

小松空港より加賀市に近い工業団地のような場所で、コマニーだったかもしれません。コマニーには他にもトラックの仕事で荷物を積みに行くことがあったので、記憶がはっきりしない部分がありますが、品物ではなく設備の部品のようなものを運んだ気もします。

ぼんやりとした記憶ですが、やはり山形から積んできたリンゴの荷物を降ろし終えたあと、どこかでYTと食事をしたような気がします。YTは被告訴人浜口卓也とも一緒に食事というか飲みに行くことがあると聞いたこともありました。

すでに書いたあることかと思いますが、YTは被告訴人安田敏とも顔見知りだったはずです。私がまだ中西運輸商で4トン車に乗務していた昭和60年の12月から昭和61年の2月ころの間になるかと思います。何度か私のアパートで顔を合わせることがありました。

同様に被告訴人KYNもYTとは顔を合わせることがあって、被告訴人KYNの方ではYTの名前も憶えていたと思います。

私が見た範囲では被告訴人安田敏とYTは余り言葉を交わすこともなく、意気投合するような感じではなかったのですが、YTというのは一時一緒に中西運輸商で仕事をしたこともあり、珠洲の三崎のHMとは親しい関係でした。

知り合った頃のYTは彼女と同棲して、どこか米泉あたりの古い民家の一室のようなところで生活をしていました。久安にも近い辺だったと記憶にあります。栃折組というちょっと派手なダンプの会社で仕事をしていて、夜のアルバイトとして中西運輸商で佐川急便金沢支店のホーム作業に来ていました。

栃折組のダンプは目立つということもあったと思いますが、ダンプの会社としては珍しく4トン車のようなダンプも所有していてYTはそれに乗務していると話していました。まもなく私の誘いもあって中西運輸商で長距離トラックに乗務するようになったのですが、それも初めのうちは4トン車でした。

年も私の1つ下年下だったと思うので、まだ大型免許は取得できない若さであったとも思います。私の場合、自動二輪での免許取り消しを受けていたので、普通免許を取得するのも半年ほど遅れていました。

普通免許を取得したのが昭和58年の7月の20日ころだったと思いますが、大型免許を取得したのは昭和61年の11月27日になっていたかと思います。

私が中西運輸商をやめたのは昭和61年の2月いっぱいではなかったかと思います。差し向かいで中西運輸商の社長と話をしてやめることにしました。給料のことは事務の方で決めるので自分は知らないというようなことを言っていましたが、あれこれ差し引かれてごく僅かな額になっていました。

具体的なことは現在忘れてしまいましたが、結婚式をあげたのが3月の10日ころでした。その結婚式の時には失業中になっていたと思いますし、120日と90日あるいは60日ぐらいの免停がダブルで来ていました。

その免停が明けた頃に、被告訴人安田敏の誘いに乗って、岐阜県海津町に出稼ぎに行ったことも、だいぶん前にもなりそうですが、本書で既に記述しているのではと思います。

被告訴人安田敏は色々と珠洲方面にも付き合いのある男でした。岐阜での出稼ぎの仕事も珠洲の人間との付き合いの中で出てきたと聞いていました。珠洲からは宇出津の石川県立水産高校に通っていた生徒もけっこうな数はいたと思います。

観音堂のアパートには、ちょくちょく蛸島のSMが遊びに来ていました。被告訴人安田敏はミッチョと呼んでいましたが、男です。年は被告訴人安田敏と同じではなかったかと思います。

ぼんやりとした記憶ですが、その頃は母親が蛸島で飲み屋をやっていて、彼女と一緒にそれを手伝っていて、たまに金沢に遊びに来ているという話であったと思います。その彼女の一人がHとRのどちらかであったようにも思います。

はっきりしていることはいつも一緒にいる仲良し女友達のHとRの一方は、金沢市内神田のアパートで珠洲のKと同棲していました。Kが遠洋漁船に乗るという決心をしたことで、彼女はずいぶんとショックを受けている様子でした。私はそのアパートで実際にその姿も見たのですが、深刻に悩んで見えました。

30年近くも前の記憶になっているのではっきりしない部分もありますが、そのHとRは野々市のアパートに住んでいて、UHと二人で金沢市場輸送の4トン車に乗ってぶらぶらしている時に、そのアパートに行き、中には入らなかったように思いますが、二人の女をトラックに乗せて、ゲームセンターに行きました。

マルモ設備のすぐ近くのゲームセンターだったので、マルモ設備の待ち時間などのそのゲームセンターに行くと、HとRのことを思い出すことがありました。酒やシンナーの匂いというのはなかったと思いますが、ちょっと錯乱にも近い状態で陽気でもありましたが、以前見た時とのギャップも大きかった。

UHに関しては金沢市場輸送の4トン車に同乗させて、岐阜の中心部に行ったことも夕方に近い街の景色として記憶に残っています。新潟か関西方面にも連れて行ったことがあったかもしれませんが、細かくは思い出せません。

そのUHにしても三崎のHMのことはよく知っていたように思います。そういえばUHも初めにHMが中西運輸商の4トン車に乗務していた頃、トラックに同乗してどこかに行ってきたと話していたかもしれません。同じ三崎出身のSKに関しても、同乗してどこかに行ってきたという話は聞いたと思います。

既に書いているかと思いますが、私もHMの中西運輸商の4トン車に同乗して、山口県の宇部市から静岡県の清水市まで行ったことがありました。静岡からは山梨を通って長野、新潟県の糸魚川市に出て、富山の方から金沢に戻ってきました。

昭和59年の10月に私が金沢市場輸送をやめるときも、その少し前に私の紹介というかたちで、三崎のHMは金沢市場輸送に入社していました。これも既に書いているかと思います。

そして昭和61年の2月いっぱいで中西運輸商をやめるときも、その1,2ヶ月ぐらい前でしょうか、その時も私の紹介というか口利きという感じで、再び中西運輸商に入社をしていました。この間にYTとは仲良くなったのだと思いますが、住まいが近かったのも大きいと思います。

中西運輸商で仕事をするようになるとYTは金沢市黒田のアパートに住んでいたと思います。そのうち長女も生まれていたので、結婚もしていたと思いますが、よくわからないところもありました。

YTの彼女というか妻とは、私の前妻が仲良くしていて、初めの家での時も少なからず影響を受けたような話であったと思います。その辺りは被告訴人KYNの妻との関係にも似ているところがあると思うのですが、東力2丁目と黒田ということで、歩いても遠くない距離だったと思います。

三崎のHMはその前から黒田の広い道路沿いのアパートの2階に住んでいました。あれは昭和58年の秋になるかと思います、珠洲市の三崎の彼の実家まで一緒に行って、引っ越しの手伝いなどしたので、よく憶えています。

YTは私が金沢市場輸送をやめたあとも、しばらくは金沢市場輸送にいたように聞いていますが、ちょうど景気もよくなり始めた時代でもあったのか、4トン車で100万円あるいは120万円ぐらいの売上をあげて、歩合給ももらっているという話を聞きました。

昭和59年、私がまだいたころの金沢市場輸送は売上が80万円を超えると歩合がつくような話でしたが、運賃も安くて不可能に近いというような話を聞いていたと思います。不可能ではないにせよ、かなり難しいような話でした。

私は昭和60年には中西運輸商で4トン車で178万円の売上をあげたと褒められたような記憶がありますが、荷物が普通の大型車より沢山積み込めるような4トン車だったので、それもあったかと思います。それでも給料は大したことはなかったと思います。

当時は大型車の運転手で給料が30万円と聞くだけでも大きな額だと思っていましたが、まだ景気のよくない時代であったと思います。そのうちバブル景気にも入って、いろいろと相場も様変わりしていきました。

市場急配センターの場合、仕事内容は以前と比べると比較にならないぐらい楽でした。あちこちに高速道路が開通したり、バイパスが出てきて交通事情が良くなったのもありますが、高速道路の利用が大幅に認められるようになっていました。

昭和59年当時は鮮魚を積んでいても富山県内はずっと国道を走っていました。夕方の混みあう時間にも重なっていたので、金沢東インターから朝日インターまでの高速道路の利用とは、2倍から3倍近くの時間もかかっていたと思います。その先の親不知は国道8号線だけの一本道でした。

積み荷の条件も大幅に悪かったと思います。ただ、そういう経験があとあと役になったというか、何をしても大した仕事に思えないことも多かったです。その辺りも後から運転手を始めた人や他分野の運送をしていた人とは感覚の違いにもなっていたのかと思います。

東北便にしろ、笹谷トンネルが開通して山形市内まで有料道路か高速道路が伸びて、どれだけ楽に思えたか大きかったと思います。冬場など何もなければ新潟市内に近づく時間にも、まだ山形県にも入れないこともあったかと記憶にあります。鮮魚なので緊張感も高いです。夕方になると路面も凍結したり。

HMですが、その後、守田水産輸送と輪島屋鮮冷を行ったり来たりしていました。守田水産輸送とは1年間ほど青森の定期便を交代でやったこともありましたが、そのうち顔を合わせても、以前のように話はしなくなったと思いますし、顔を合わせることも少なくなりました。

ずっと4トン車に乗務していたと思いますが、姿を見かける終わりの方は守田水産輸送で大型車に乗務している姿を見たかもしれません。金沢市場輸送の事務所が二口町に移ってからは、出会うことも滅多になくなっていたように思います。

二口町に移転した当初は、守田水産輸送のトラックが金沢市場輸送で給油をしていたこともありました。何があったのかはっきりした話を聞くことはなかったと思いますが、ある辺りを境に仕事の関係はほとんどなくなったように思います。

どういうわけかこれもはっきりした話を聞くことはなかったと思いますが、平成3年に入ったあたりでしょうか、輪島屋鮮冷とは多くはなかったと思いますが、仕事上の関係が出てきました。

輪島屋鮮冷の大型車の運転手と一緒に自衛隊の基地で爆弾の荷降ろしをしたような記憶も残っています。宮城県の岩沼市だったか、あるいはそれより福島県寄りの自衛隊の基地であったと思います。

輪島屋鮮冷の大型車が北陸ハイミールにミールを積みに来ていることもありましたが、それは平成4年の1月ころだったかもしれません。たしか福岡県行きのミールを積んでいると聞いたように思います。

平成3年の春頃には、なんどか冷凍物の小口の積み替えのようなことを、輪島屋鮮冷のトラックとの間でやることがありました。私がたまたまその場に見ただけで何度かあったので、けっこうな回数ではやっている感じでしたが、なにかよくわからないような仕事内容でもありました。

前にも書いたと思いますが、そんな中で被告訴人安田敏も輪島屋鮮冷の4トン車に乗って、金沢市場輸送に積み替えか何かの仕事に来たことがありました。

気がつくとまたしても見出しとはかけ離れた内容に突き進んでいたようです、どの辺りから外れていったのかも、ちょっと思い出せないぐらいです。

和田くんのことと山下強のことではあったと思います。いったんそちらの方に戻して説明をしたいところですが、どこからYTや三崎のHMの話になっていったのか、書いている自分でもすぐには思いさせない状態です。

まあ、山下強がもう一度、北陸ハイミールに倉庫移動の仕事に戻るような話になりかけたのですが、その日の倉庫移動の回数は彼が一番多くなっていたようで、そういうことをポツリと言いました。

明るく仕方がなさそうな感じでもありましたが、私の目にも被害者AAさんが独断で強引に、私以外の運転手に北陸ハイミールに行かせようとしているように見えました。それが裏駐車場の行動とも重なりましたが、少なからず他の運転手にも迷惑を掛けているだろうという自覚はありました。

その頃になると被害者AAさんは、自分の軽四を裏駐車場でも乗用車や2トン車を並べる側ではなく、大型車は4トン車を並べる側に多く駐車するようになっていたと思います。それは間違いないことですが、時期的なこととなると、今はっきりと思い出せない部分もあります。

Googleマップというかストリートビューや私が以前撮影した写真でも、大型車の姿というのは見当たらなかったので、わかりにくいと思いますが、長さの長い大型車は車体を斜めにして駐車する必要がありました。

これだとたとえ小型の軽四自動車の一台でも、かなりのスペースの無駄として邪魔になっていたのです。それは被告訴人松平日出男や被告訴人池田宏美の協力と同時に、被害者AAさんのわがままや身勝手な振る舞いとして映ることもありました。

ちなみに車検証を見ると大型車の長さというのは通常12メートルぐらいになっていました。4トン車でも私が中西運輸商で乗務していたものは荷台の箱の長さで9メートル20センチ。全体としても12メートルに10センチほど短いだけという感じでした。

市場急配センターの4トン車というのは4トン車としては標準的な長さだったと思いますが、正確に何メートルぐらいであったかとなると、記憶にはありません。平成4年当時は4トン車の数も少なかったです。新しいウィング車は2台だけだったような気もします。

砂利道の駐車場でもあり、大型車の駐車場としてはもともと狭かったようにも思います。長距離なので入れ替わりの駐車が多かったとは思いますが、他のトラックの駐車スペースにも気を使う必要があったと思います。

私は彼女の身勝手な行動で他の運転手に迷惑をかけるわけにもいかないと思い。二階に上がって、彼女に北陸ハイミールには自分が行くと伝えました。彼女は見たことのないような顔と目で、私の顔を下の方から見上げていました。精神的に参って神経が張り詰めているようにも見ました。

実際、彼女との関係では私自身そういうことが多かったです。精神的な負担が強く、神経が張り詰めているような感覚になりました。

怒っているようには見えなかったのですが、訴えかける目線というのか、そんなのを感じていました。この年末の彼女は特に、そういう不安定な状態が多かったと思いますが、泣き出しそうな顔を見せることもあったり、外をさまよい歩くような姿もあったと思います。

年末最後の大掃除の時であったと思いますが、いつまでも玄関のガラスの拭いているようなこともありました。私はそのすべてを彼女自身の内心の問題だととらえていたように思いますが、被告訴人池田宏美らの影響も大きなものがあったとも考えられます。

そのあたりのことは、また別の項目で書きたいと思います。裏駐車場と連動した自宅の電話に出ない対応にも関係していますが、彼女は19時ころを含め、電話に出ないことを「寝てたんじゃないか」ととぼけていました。常識でとぼけていたとしか考えられないことです。

結局、私は和田君と二人で北陸ハイミールに行くことになったのですが、私の大型ウィング車の助手席に彼が同乗しての付き合いだったと思います。

他に市場急配センターでの仕事では余り記憶にないことですが、私は日栄運送の前の道路を通って、突き当りの金沢港の道路を右折しました。

日栄運送の前を通ったであろうことはそれ以外の道がないということで間違いないと思うのですが、昭和59年当時を含めその道は、藤江の陸橋の辺りから側道に入り、金沢西高校だかの正面辺りを左折して田んぼ道を走るという裏道でした。金沢港に行くのによく使っていた裏道です。

金沢西高校というのもその前か後で学校の名前が変わっていたような気もします。あの辺りは近くに県庁が出来て移転したこともあり、原型をとどめないぐらいに様変わりしているのではと思いますし、いつ頃にどう変わったのかも、思い出せないところがあります。

金沢港の広い道にぶつかると通常は左折して県漁連の市場などに行くことが多かったのですが、その時は右折をして北陸ハイミールに向かいました。

後の方でも会社から北陸ハイミールに向かうときは、東インターの方に8号線バイパスを走って田中の交差点から内灘に向かい、内灘の陸橋の手前の広い道を右折して行くことが多かったように思います。その陸橋の手前の広い道が、金沢港からつながっている広い道です。

通った道のことなどどうでもいいのですが、ちょうど金沢港に出た道を右折するのに大きく大型車のハンドルを切り返していたところだったと記憶にあります。

不意にチューこと和田君が、「広野さん。嫁さんおらんかったら不便やろ。会社のAちゃんなんてどうや」と言い出したのです。私自身どのように受け答えしたのか、今はすぐに思い出せなくなっていますが、適当にごまかしたような返事で、会話の続きを打ち切るようにしたように思います。

彼とはその後も何度か付き合いがあって、彼の自宅というアパートに遊びに行ったこともありました。諸江と聞いたように思いますが、浅野川の土手の道路にも近い場所で、内灘駅に向かう電車の浅野川線の側ににあるアパートだったと記憶しています。

あと、1月12日の午前中、片山津温泉せきや、から戻るときも彼の乗用車に乗って帰ったことを憶えています。二人で帰ったと思いますが、なぜ二人になったのかとなるとおもい出せないところがあります。

何人かはそのまま福井県の三国ボートレース場に競艇をやりに行くという話も出ていたかと思いますが、誰が行ったのかもよくわかりませんでした。

和田くんは自分の乗用車で高速道路を180キロのメーターを振り切るようなスピードで走っていたので、会社に着くのも早かったと思います。それでもチェックアウトまでもたもたしていたところもあったので、10時頃にはなっていたかもしれません。

ほどなくだったように思いますが、3,4人の年配の市内配達の運転手に混じって被害者AAさんも帰ってきました。彼らの車に同乗して帰ってきたという様子でした。少しして休憩室の電話から諸江の女友達のところに電話を掛けているような様子もありましたが、細かい事実は思い出せなくなっています。

3月の14日ではなかったかと思われる土曜日には、和田君が苦しそうに裏駐車場でゲロを履いているような様子を見かけたこともありました。ピンポイントでその部分だけ現在の記憶に残っていますが、他にも何かあったような気はします。

夕方に西口が来て、そのあと被告訴人多田敏明の3人で北安江の焼肉店に行ったのも、その土曜日のことであったように思います。当日かどうか、被告訴人安田繁克のものらしい車を会社の前で見かけましたが、その姿はみかけませんでした。

被告訴人安田繁克のものと思われる車のことに関してはできるだけ詳しい状況を書いておきたいのですが、以前からインターネットで車種について調べておきたいと思っていたものの、まだ実行はしておらず、車種の名前もわかりません。

被告訴人安田敏が150万円とかで新車で買ったという車についても同様のところがありますが、被告訴人安田繁克の車はなんとなくトヨタの車だったという気がして絞り込みが出来そうですが、被告訴人安田敏の車に関してはより難しいかもしれません。

当時かなり珍しい感じのデザインの車で、第一次世界大戦当時のドイツ軍の軍用車にも見えるような車だったという印象は残っていますが、普段生活をしていても長年、それらしい車を見かけることはなく、すぐに絶版になったのかもしれないです。

Googleで画像検索をしていたところ、被告訴人安田敏が150万円で買ったという車は日産のパオという車ではないかと思えてきました。しかし、平成2年に生産を終了したという情報もあって、被告訴人安田敏は新車で買ったと話していたようにも思います。

日産・パオ - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E7%94%A3%E3%83%BB%E3%83%91%E3%82%AA>

後ろの方の見た感じが私の記憶とは違っているようにも思うのですが、水色の絵の具のような色の車というのは、当時珍しかったと思いますし、まさにこんな感じの色の車ではあったと思います。

日産・フィガロ - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E7%94%A3%E3%83%BB%E3%83%95%E3%82%A3%E3%82%AC%E3%83%AD>

上記の車だと「フィガロ (Figaro) は、日産自動車が1991年と1992年に販売していた乗用車である。」ということで時期的にも一致しそうですし、後ろの部分がそんな感じだったような気もするのですが、被告訴人安田敏の車は2枚ドアではなく4枚ドアだったような気もします。

被告訴人安田敏の買った車などどうでもいいといえばどうでもいいことなのですが、タイミングとして私が2月14日の白菜散乱のことで25万円だったかを被告訴人安田敏の50万円の前借りの保証人として会社に一括払いしてしばらくした2月の終わりか3月の初めの行動でもありました。

現在の私の記憶では北國銀行中央市場支店のATMで私が引き落としたのは多くて25万円、少なくて20万円なのですが、それは2月14日の午後のことで、12月の時点では被告訴人安田敏が理由をつけてまだ会社に一円も前借りを返していないような話を被告訴人松平日出男から受けたように思います。

私は20万円か25万円の現金を被告訴人松平日出男に渡し、被告訴人安田敏に関してはもう一切責任も負えないし、本人に自覚も反省もないので大きなことにならないうちにヤメさせたほうがいいと思う、などという話をしたと思います。

思ったよりずいぶんと手間取り、これだと思うものも見つけることが出来なかったのですが、被告訴人安田繁克の乗っていた車は、次の車の可能性が高いのではと思います。

【カーセンサーnet】「ハイラックス　シングルキャブ」に関する中古車情報｜中古車ならカーセンサーnet <http://bit.ly/1rJr8jl>

どうもダットサンというのは日産の車種で、それに近いモデルがトヨタではハイラックスということになるようですが、車種も年代ごとに細かい違いがあったり、輸入車なども混在しているようです。

歴代のダットサンの写真もGoogleの画像検索でかなりの数見たのですが、それらしい型式はなかったので、やはりハイラックスの可能性が高いかと思います。荷台の方の側面のボディにも丸みがあったような記憶がありますし、他にもデザインとして丸みを強調する部分はあったような気がします。

こうやって考えてみると、事件を起こしたのに近い3月の後半には和田君と会う機会も少なかったような気もします。事件当日に少しだけ姿を会社で見たような気もするのですが、いろいろと記憶の減退も改めて感じます。

前に書いたように福井県の鯖江市だかに向かう北陸道の尼御前サービスエリアで、和田君が事務員の探しているらしい話をしていたということは書いたと思いますが、よく考えてみると木村さんの紹介という話は出たのか出なかったのか、現在の私の記憶では判然としないところがあります。

それは私がミールを積んで徳島県小松島市に行ったのと近い時期であったとも思えてきました。その日のことは確か前後の運行の状況から日付も特定できていたように思います。

なぜだか日付が近いような気もしましたが、そうではなかったような気もしてきました。徳島に向けて出発した日は、なんとなく天候も悪かったような気がするのですが、そういう天気と同じようにめくるめく、彼女に対する見たかも変化の激しい時期で、一喜一憂でもあったと思います。

これも大事なところなのでまた別の項目でも記述をしておきたいと思いますが、被告訴人松平日出男は17時なるとすぐに帰宅しようとした被害者AAさんに、声を掛け次のように言いました。

「Aさん、今からKNさんのところか、それとも例の彼氏と今からどっか行くんか？」。

被害者AAさん本人の耳にはどこまで聞こえていたのかも不明ですが、出入口のドアから出ようとした時に声を掛け、彼女は足も止めず、振り返りもしないでドアの先の階段を降りて帰っていったように思います。

すぐに被告訴人池田宏美が困ったような声で、「あの子、彼氏なんかおらんよぉ」などと言ったところ、被告訴人松平日出男は自信ありげな意味有りげな口ぶりで、「わっしゃあ、いい彼氏紹介したんや。かたい。」などと言いました。

その時には被害者AAさんの姿は完全になくなり話が聞こえることもなかったと思います。あるいは階段を駆け下りる彼女の足音から、階段を降りて外に出て行ったことがわかるような状況であったのかもしれません。工事現場にも似たものがあるような鉄板の簡素な階段だったと記憶しています。

彼女は勢い良く飛び出すように帰ってきました。17時になるのをずっと待っていたような感じにも見えましたが、前後のことは余り記憶に残っていませんし、私はちょっと前に外から戻り、二階に上がったところだったようにも思います。今考えても何かあったという感じではあったと思います。

18時か18時半頃には徳島に向けて出発をしたように記憶しています。雨が降っていたような状況も一つの場面として記憶には残っています。たぶん重量オーバーでの検問を避けるため、遠回りですが金沢東インターから北陸道に乗ったのだと思います。

徳島県の小松島市のことはなんとなく記憶に残っています。荷物のミールを降ろしたと思われる場所の記憶というのはあまりないのですが、自衛隊の基地の前のようなところを通ったような記憶が残っています。天気も良かったと思います。

徳島というか小松島市で荷物を降ろすと、すぐに松山市に向かったように思います。あるいは金沢を出る前に松山に行くことは決まっていたのかもしれません。

午後の4時ぐらいには愛媛県の新居浜市のあたりにいたと思います。名前は記憶にないですが高速道路で、どこかのパーキングに入って、そこから会社に電話を掛けました。

今、ふと思い出したのですが、私は被害者AAさんが電話に出る時間帯を狙って16時以降に会社に電話をすることが多かったように思います。14時から16時前の時間帯は、金沢市場輸送に行っていていないことがあったとも記憶にありますが、これにも何か変化が出たことを印象的に憶えてはいます。

それは私が出先のことではなく、会社にいる時だったと思いますが、彼女は私のいない時間に合わせて、金沢市場輸送に仕事に行くようになったと記憶していますが、それも2月の初めに裏駐車場での駐車をやめたあとに、始めたことであったと思います。

これも細かいことは思い出せないですが、愛媛県内のパーキングからの電話でも、2月の初めの福岡県内からの電話の時と同様に、やたらと被告訴人梅野博之が電話に出て、面白がったようなわざとらしい対応をやっていました。

被告訴人梅野博之ほどではなかったとも思いますが、河野秀美さんも薄ら笑いを浮かべて面白そうに見物していることがありました。初めにそれをはっきりと感じたのは12月21日の夕方のことであったと思います。二階事務所の正面道路に向かって左側の隅の方に何人かでいましたが、彼の顔だけ特に。

事件後、金沢西警察署に面会に来た時の被告訴人安田敏の話であったと思いますが、その被告訴人梅野博之と河野秀美さんの二人が、私に対して厳しい意見を述べ、会社への復帰を反対したと聞きました。被告訴人梅野博之に至っては殺してやるようなことも口走っていたと聞こえました。

平成16年ころだったような気もしますが、被告訴人梅野博之との会話は録音したものを御庁に提出したと思います。被告訴人安田敏も被告訴人KYNも同様ですが、被告訴人安田敏とのやりとりが特に時間も長く、録音の回数もあったように思います。

ファイルは探せば今でもあると思いますが、私は少なくとも5年以上一度も聴いたことはないように思います。羽咋市から宇出津に戻ってからは一度も耳にしていないようにも思います。少なくともここ2,3年は全くないはずです。

平成4年4月1日の傷害・準強姦被告事件の事件当日のことですが、レストラン十字に入って席につき、早い段階で出た話だったと思いますが、被害者AAさんが、木村さんの紹介で事務員を入れるらしい、というような話をしていました。

それは彼女の後釜を意味するようにも受け取られたからです。そもそもこの当日も彼女の態度はめくるめく急変をしていました。そもそも被告訴人梅野博之や被告訴人池田宏美が不安を煽る発言と注意喚起をしていたからですが、それは彼らが供述調書において述べている事実でもあります。

4月1日に会うことになったのは、3月30日の午後に古河の青果市場から掛けた電話がきっかけでした。古河の市場には敷地の外の人がほとんど通らないような場所に、なぜか公衆電話の電話ボックスがありました。雨にも濡れないような完全な電話ボックスではなかったかもしれません。正面入口付近。

ようやくこの項目の主題を書いたと思いますが、同時に中野さんについても書くつもりでいました。木村さんと中野さんに面識があると聴いた話はなかったですが、その可能性は十分にありそうだと思っていました。

その中野さんですが、私が金沢市場輸送で東北便の仕事をするようになった早い段階で、その東北便の福井中継をやるようになった人でした。私の知る限り、ずっとその福井中継を続けていたし、事件の5日ほど前にはずいぶん久しぶりに姿を見かけたので、なおさら印象に強くも残っています。

私は昭和61年の秋にも頼まれて何度か、東北便に行くことがありました。当時は4トン車が主体の仕事であったようにも思います。時期的なこともあったかと思いますが、荷物も4トン車に十分に積載できるものであったと思います。

昭和59年に金沢市場輸送の4トン保冷者に乗務していた頃にも石巻港や塩釜港に行くことはありましたが、その定期便とは無縁だったと思います。

よく憶えていない部分もあるのですが、初めのうちは石巻の東北陸運の荷物と、塩釜港の宮城陸上の荷物の一部を積んでいたようにも思います。その頃には宮城陸上の自社便も大型車が運行していて、帰り荷に七尾市のスギヨからカマボコかその原料を運んでいるようでした。

宮城陸上の金沢便を全面的に請け負うようになったのは、私が大型の保冷車に乗務した後のことであったとも思えます。つまり昭和62年の4月よりあとのことです。そのうち東北陸運の荷物も増えていきました。

世の中にグルメという言葉も出てきて、食への感心が高まったという時代背景もあったのかもしれませんが、海産物の荷物の量もだんだんと増えていったような気がします。そのあたりのことは本書で前にも書いているかと思います。

そういえば数日前から思い出している人物ですが、河北郡内灘町付近にある地名と同じ二文字を書く人物がいました。何か読み方が違うような話も耳にしたように記憶にはあるのですが、誰かの冗談かと思って真に受けなかったような気もします。

基本的に無口で大人しい人でした。年もそれほどは離れていなかった気がするのですが、20代の後半かあるいは30代の前半と聞いていたようにも思います。顔は現在でも割とはっきり記憶しています。それだけ特徴もある顔立ちだったとは思いますが、能登ではわりといるようなタイプでした。

能登の出身とは聞かなかったように思いますし、金沢の人らしい話し言葉を使っていたような記憶も微かに残っています。一時は4トン車で長距離の仕事をしていたこともあるいはあったかもしれません。

市内配達の仕事をするようになって、そのうち何か責任のあるような立場で仕事を任されるようにもなったと耳にしたような気もします。そのうち鋼材を運ぶ大きな運送会社の社長の娘と結婚しているような話も耳にしましたが、そのうちに辞めたのか、全く姿を見かけなくなった気がします。

特になんということもないのですが、当時のことをいろいろと考えているうちに、その人のことも頭に浮かんできたのですが、はっきり思い出せない部分もあります。大人しく無口であった割に、色々と話が耳に入ってきたような記憶もあり、ちょっと不思議な存在感もあったかと思う人です。

そういえば最初のうちはその無口な人が、福井の中継もしていたように思います。ただ、その頃の福井中継は、受け持ちになっていた人の責任かどうかも忘れましたが、出てくるか出てこないか当てにならないようなところもあったような気もします。

そうこうするうちに中野という人が福井の中継をするようになったのですが、中野さんは休んだという話を聞くこともなく、毎日決まった時間に必ず、中継の場所にいました。トラックの中で寝て待っていることもあったかもしれませんが、必ずいるという感心感も当たり前のことになっていったと思います。

いるはずの福井中継の運転手がいなかったとか、来なかったという話は、現在の記憶では鮮明になりませんが、まあ、何かあったようなことだけは微かに記憶に残っているような気がします。

いつ頃からというのは思い出せないですが、だいたい昭和62年頃には中野さんはいたように思います。それからずっと福井の中継をやっていました。ポンコツの4トン保冷車で中継をやっていましたが、忙しい時期でもそんなに荷物の量が多くて積みこむのに困るようなことはなかったと思います。

わずかな荷物ということも多かったと記憶にはありますが、それで会社として採算がとれるものなのかと考えることもありました。中継の荷物というのは距離は余り関係なく1個50円というのが相場だと聞いていました。

そういう計算も得意ではなかったですが、真夜中に運転手を雇い。トラックの油代と高速代を払うのに見合うだけの、中継の荷物の量があるとはとても思えないことがあったからです。

今計算すると100個の荷物でも5千円にはなるので、どうかとは思いますが、他の運送会社の中継のトラックは、満載にも近いようなかなりの量の荷物を積み込んでいるのも見ていたからです。

金沢市場輸送の福井中継ではひざ下でも空きのスペースが多いような状態が多かったとも思います。なお、富山県の第二の都市、高岡行きの中継は、守田水産輸送に出していたと記憶にあります。

私の個人的な感想ですが、福井中継のその荷物の少なさも、中野さんの存在を不思議に思われるところがあったかと思います。会社としては他の利益もあってやっていたことかもしれず、いまさら詮索しても始まらないことですが。

中野さんは普通に見れば怖い人にも見えていたと思います。後から仕事に入ってきたということもあり、気を使った態度で接していたとも思いますが、それでも時折、怖い人に見えることもありました。話し方や態度はむしろ安心感を与えるものでもありましたが、それもかえって裏がありそうに思えたり。

中野さんは包み隠さずに、昼は喫茶店の仕事をしていて、夜にこの仕事に来ていると話していましたが、その喫茶店の場所を聞いただけで、普通の人ではなさそうだと思いました。

私の聞き違えという可能性も完全には否定出来ませんが、増泉の一丁目か二丁目で喫茶店をやっていると話、だいたいの場所を教えてくれましたが、だいたいそれらしい喫茶店を見たことがあるような場所でした。

私は昭和56年の夏、短い間でしたが被告訴人大網周一とその増泉一丁目の辺りで生活をしたことがあり、ヤクザ者のような人間がどれほど多い割合で住んでいるかもしっていました。その当時ともなると事情もある程度は違っていたのかもしれませんが、その付近の喫茶店というのは独自の雰囲気の店でした。

増泉の一丁目といっても少し離れると畑や田んぼもあったように思いますし、普通の人も多くは生活していたと思いますが、想定される客層とともに、喫茶店の店が持つ雰囲気が、特別だったからです。

木村さんも増泉でコンパニオンの派遣の仕事をしていると聞きましたが、それは市場急配センターに移ってからであったとも思います。誰から聞いた話なのか改めて考えてみたのですが、被告訴人安田敏から聞いたという可能性が、一番かもしれません。

木村さんの紹介で事務員が入るという話は、他にも耳にしていたと思います。はっきり思い出せるのは尼御前サービスエリアでの和田君の話でしたが、4月1日よりは一月以上前のことで、木村さんの紹介という話が出たことも、現在の私の記憶でははっきりとは思い出せません。

それにしても紹介で新しい事務員が入るような話は耳にしていたかと思うので、それが被害者AAさん本人の口から出たことは、それなりの効果もあったと思います。

レストラン十字で席に座ってからの彼女は、不思議に思えるほど、ちょっと前とは一変して安心した様子で、笑顔も見せて話をしていました。

直接会って話をするということは3月30日の古河からの電話より前に彼女との間で決まっていたようにも思います。

その古河から掛けた電話の少し前に、私は当日、古河から名古屋行きの荷物を積んで走り、夜のうちに名古屋の市場で荷降ろしを完了し、翌日の午前中か午後には、知多半島の碧南市からレンガか瓦のような荷物を積んで金沢に戻ることになっていました。

つまりは31日に碧南市から荷物を積んで4月1日に金沢かその付近で荷物を降ろし、運行が終わるということになったのです。そこですかさず私は金沢に戻ったら、あがりにしてくれと頼んだのです。

あがり、というのは帰り荷の荷降ろしを終えた当日、運行には出ないことを意味します。一応定時は17時になっていたかと思いますが、その時間まで会社にいて指示通りの動きをしていれば、翌日の朝まで自由時間ということでした。

普通の会社の仕事では17時に仕事が終わって家に帰ることはごく普通のことですが、長距離の仕事では、あがり、ということになっていました。当日の午後や夕方に荷物を積んで次の長距離運行にでることを「着発」とも呼んでいました。

たまには会社の指示で、前にも書いた馬鈴薯の積み込みの手伝いに出ることもありましたが、通常はトラックの修理、点検に出かけたり、洗車をやっていましたが、ほとんどは自由時間のようなものだったと思います。

金沢市場輸送にいた頃は、夕方遅くにホーム作業で積み込む雑貨の仕事も多かったので、夕方近くまで会社に出てこないこともありました。決まりでは昼過ぎに出てくることになっていたとも思いますが、次の運行がはっきり決まっていれば、さほどやかましく言われることもなかったと思います。

夕方からホーム作業で荷物の積み込みを始めても出発するのは22時ころとかで、夜通し走って荷降ろしをして、作業が終わるのは翌日の早朝ということも普通だったので、夕方の出勤というのも当たり前といえば当たり前のことかと考えてはいました。大手の運送会社でもそんな話でした。

古河の市場から北陸以外の運行というのはその時が初めてだったと思います。静岡県内でも浜松市の市場だったかに荷物を降ろし、名古屋の市場で荷降ろしを完了しました。

それから知多半島に走って、道路標識が碧南市に入ったあたりにコンビニがあってそのあたりは広い駐車場にもなっていたので、そこで仮眠をとりましたが、寝る頃には夜も明けて明るくなっていたと記憶しています。

午前中に起きて会社に電話を入れたところ、予定されていた碧南市での瓦だったかの仕事はなく、小牧市の方からアサヒの缶ビールを積むことになりました。小牧市までは名古屋市内を横断することにもなるので、それなりに時間も掛かったと思いますが、16時か17時前の明るい時間には滋賀県にいました。

小牧市から積んだアサヒの缶ビールの荷物は石川県の小松市降ろしでした。なんとか酒類とか言う会社であったと思います。金沢にも似たような名前の会社はありましたが、小松降ろしになっていました。

金沢市と小松市の距離は30キロ程度だったと思いますが、時間帯やその位置にもよりますが、早くて30分、余裕を見て一時間という感じかと自分は考えていました。一度、金沢の自宅アパートまで帰るのもいいのですが、翌日はあがり、ということもあり、疲れもあったので直接小松に行くことにしました。

金沢に帰ることを考えると往復で2時間ほどの時間が必要になるのですが、直に小松で荷降ろしをするとなると、時間もかなりの余裕が出来ました。その余裕が出すぎたことも悪かったのかもしれません。考え事をする時間も長くなってしまいました。

初め関ヶ原から国道365号線に入って福井方面に向かい、伊吹山を越えて滋賀県に入った辺りで、右手に食堂を見つけ、そこで食事をしました。初めて入った店だったとも思いますが、まだ16時台だったとも思われる早い時間でした。

その後、国道8号線で小松の市内を抜けたあたりにくるまやラーメンがあって、普通は大型トラックが入るような駐車場とも思えなかったのですが、荷降ろしの会社に近いこともあって、その店に入り、たぶん生ビールでも飲んで一気に眠るつもりでいたと思います。

ところが思いとは裏腹にだんだんと目が冴えてきて全然眠れなくなってしまいました。前の晩は、東名高速の御殿場インターチェンジ付近のサービスエリアでも数年ぶりの睡魔に襲われて、運転中久しぶりに危ない思いをしたところでもありました。

休もうと意識するうちに眠れなくなってしまい、そのうち疲れもたまっている状態なので、朝に寝過ごしてしまうことが心配になってきました。それで何時ごろかは記憶にないですが、夜中に荷降ろしの会社の場所まで移動し、そこで休んだのですが、余り睡眠は取れないまま朝になったように思います。

それでも予定通り朝一番に荷降ろしをすることは出来たと思います。それから金沢に戻ってまずは会社に顔を出しましたが、その時点で被害者AAさんの状態が普通ではなくなっているのに驚きました。何か攻撃的な態勢をも感じさせるものでした。

前の古河の市場からの電話で4月1日の夕方仕事が終わってから会って話をする、という返事をもらった時は、彼女は感情を表に出さず、なんでも受け入れるという態度で、何を言っても「はい、はい」と答えていたのです、それはやけくそでふざけている態度にも思えなくはなかったですが、穏やかでした。

それと時間帯的にも似たようなことが数日前にありました。現在の私の記憶だけでは分析も難しくなっていますが、古河から名古屋に行った運行の前の運行か、そのまた前の運行のことでした。3月24日より後のことでもあります。

現在の私の記憶では多分ということになりますが、加賀市の大同工業に栃木県宇都宮市行きの荷物を積み込みに行く直前だったと思います。午前中に行きの荷物を積み込みに行くという事自体、かなり珍しいことだったとも記憶していますが。加賀市の大聖寺まではそれなりの時間も掛かりました。

その大同工業に荷物を積みに行くことに関した用事であったかは現在思い出せないのですが、なにか用事があって被害者AAさんの机に近づいた時のことです。ちょうど彼女は中野さんからなにか報告を受けているような状況でした。

時刻は6月29日11時02分です。少し前まで強い雨が長い時間降り続けていましたが、ようやくあがったような感じです。少しですが、日差しも明るくなってきたような気がします。

さて、昨夜の続きです。平成3年3月の10日ころに市場急配センターの二階事務所で大幅な室内の模様替えがありました。模様替えというのが正しい言葉かどうかわかりませんが、机の位置などを変更しています。

とりあえず模様替えでいきますが、その模様替えで被害者AAさんの席というか机は、それ以前被告訴人松平日出男社長の机がほぼあった場所になりました。事務所の奥、正面道路側の窓際の位置です。事務所全体を見渡しやすい位置だったとも言えるかと思います。

昨夜の繰り返しになるかと思いますが、彼女の机の脇には中野さんが立って、何か報告のような説明をやっていました。そして、私が机に近づいていった時のことです。真剣な面持ちで仕事の話に看看を傾けながら彼女は下の方からおもむろにメガネを取り出し、そのメガネを自分の顔に掛けたのです。

私も驚きましたがよくある彼女の行動パターンなので、また新しいことを考えたのか、という感じでした。被害者AAさんが会社でメガネを掛けた姿というのは、それまで一度も見かけることがなかったからです。

事件後の彼女の両親のどちらかの供述調書のなかであったと思いますが、彼女は少し視力が弱くメガネをかけることがある、というような記載はあったように思いますが、なにか取り調べの警察官の誘導で出てきたような話に見えました。

それまで全く見たことのなかったメガネ姿の彼女だったので、メガネは演出のための小道具以外に考えられなかったです。さらにそのメガネを取り出して掛けたタイミングです。細かいことは思い出せないですが、似たようなことは他にも色々あり、これは特にわかりやすい例ではないかとも思います。

予想外の行動だったので私もそれなりには驚きましたが、むしろ側にいた中野さんの驚き様のほうがすごいと私の目には映りました。漫画に出てくるようなリアクションでした。

その時間帯ですが午前中の11時前かもしれません。長距離運転手である私が、二階事務所にいることは余りない時間帯ではなかったかと思います。

中央市場が休みではない限りは毎日同じことを繰り返しいるはずの中野さんの仕事内容なので、たぶん毎日同じ時間帯に同じように二階事務所に来ているものと考えられました。しかし、そういう場面を見たのは初めてに近いことで、中野さんの姿を見たのもずいぶんと久しぶりだったと印象に残っています。

なお、私は中野さんが以前の福井中継を続けていたという前提で考えていますが、福井中継をやめて他の仕事をしていたという可能性も十分にあると思います。

中野さんは市場急配センターという会社が独立する前から金沢市場輸送にいた運転手です。夜の数時間だけのアルバイトという印象もあったのですが、社員なのかどうか本人にも他の運転手に聞いたこともなかったので、わかりません。

東北便は早い時で夜の23時ころに金沢の中央市場に着いていたと思います。遅い時でも2時ぐらいでしょうか。年の瀬で荷物の量が多かったり、大雪で交通事情が悪くなれば、当然に到着時間も遅れがちになります。

前にも書いていると思いますが、東北便は年の瀬の一番荷物の多い時で大型車4台、4トン車1台ぐらいの荷物がありました。主な荷物はサンマ、タラ、銀鮭、マグロなどですが、貝類やウニ、カマボコなどの練り製品も多かったです。塩釜では北海道の苫小牧からフェリーで来た荷物も中継で積んでいました。

荷物の行き先は、新潟県の糸魚川市の市場、富山市の市場、高岡市の市場、金沢の市場、福井の市場でした。糸魚川市の市場と富山の市場は荷物を積んでいれば、直接立ち寄って卸していました。前に書いたと思いますが、高岡分は守田水産輸送に中継を出していました。

練り製品などは市場以外に、市場の近くの食品会社への荷降ろしが多かったです。石川中央食品、カナカン、イケウチなどがありました。色々と混載で降ろし場所の違いもあったので、慣れないと大変だったと思いますが、やっているうちいつの間にか慣れていたのでなってことはなかったです。

マグロはほとんどが木箱に入った一本物のマグロで大きい物は300キロありました。木箱は大量の氷も入っています。練り製品は濡れないようにする必要がありました。降ろしやすい順番を考えて積んでおく必要もありました。

荷扱には注意しなければならず、ウニの箱などは横倒しにするだけで50万円の弁償になると聞いていました。練り製品もびしょ濡れにすれば売り物にならなくなります。破損等も基本的に運転手本人が負うということになっていたので、自然に最大限の注意を払うという習慣も身についたと思います。

鮮魚に比べると青果というのは、余り気を使う必要もなく荷物の種類も多くはなかったです。トマトやスイカはそれなりに気をつけましたが、荷受けのほうが心得ているのでその指示に従って降ろすというのも多かったと思います。

大型車は積める荷物の量も多く扱う量も多いですが、気分転換の運動という感覚もあって私の場合、さほど苦になるものではなくなっていました。むしろ昭和59年に4トン車に乗務していた頃の方が、慣れていなかったためもあったのか、しんどく辛い思いをしたという記憶が残っています。

経験の積み重ねもあったのだろうと思いますが、普通に仕事をやっているつもりでも、高い評価を受けるようになっていきました。慣れない人や経験の少ない人だとやはり大変なのだと思いますが、楽をしていても経験は積めないというのが私の持論でした。

そういう意味でも仕事の選り好みというのはしないようにしていて、まあ、会社に言われるままの指示で仕事をしていました。

長距離運転手として鍛えられたのは中西運輸商にいた時でした。何度も危ない思いをしたり、劣悪な条件下であったり、限界に挑むようなことをやっていたので、飛躍的に経験値を高めることも出来たと思います。

中西運輸商ではほとんどが佐川急便の広島・九州便でした。当時の佐川急便の社風も軍隊的な特別なものがあったので、厳しいところもありましたが、積み荷に対する責任や時間の緊迫性は一番の仕事が厳しく、特に鮮魚は生物なので何かあったときの影響も大きいと聞いていました。

鮮魚では石巻・塩釜からの東北便が多かったですが、九州の福岡からもウロコ運送と交代で定期便をやっていましたし、青森便もやりました。九州からは大阪や東京の市場に行くことも多かったです。築地の市場は特別な厳しさもあって、色々と得難い経験も出来たと思います。

同時に私の場合、身体的なことで長距離の仕事には限界も感じていました。もともと視力が弱いのですが、目の負担も大きく感じるようになっていたからです。

時刻は７月３日５時５９分です。数日ぶりの記述の再開になると思いますが、今日は用事があって朝５時に起きました。昨日はとてもよい天気だったのですが、今日は朝からどんよりとして梅雨らしいすっきりしない天気です。

この項目で書き上げておきたいと思いながら、思い出せなくなったことがあるようで、そのあたりもすっきりしないのですが、書いているうちに思い出すこともあるかと思います。関連した事実や問題の説明に移ると、元の対象の場所にもどるのが難しくなることがあります。

町内のキリコの組み立ての手伝いに行っていました。たぶん初めてのことかと思います。

明日４日と５日は、地元宇出津のあばれ祭りなのです。被告訴人らとも顔を合わせる可能性が一年で一番高くなる日かと思います。身体、生命に関する危険というのも高まる日かと思いますし、それも含めて今日に至っています。

この項目ですが、主に木村さん、中野さん、河野秀美さん、和田君、山下強について説明を交え事実関係を書いてきたかと思います。河野秀美さんと山下強に関しては、まだ書くことを予定しています。

河野秀美さんに関して重要なことは平成４年２月１日の夜、市場急配センターの休憩室にいたかいなかったかということもあるのですが、現在の私の記憶でははっきり思い出すことが出来ません。仮にいたとすれば、それ自体、かなり珍しいことかと思います。

2月１日の夜のことに関しては、被告訴人多田敏明と被告訴人安田繁克がメインになるので、そちらの項目で書こうと思います。二人が供述調書において決定的に事実とはことなる内容を具体的に述べているところであり、彼らの計画性と共謀共同正犯の関係を強く推認させる問題点でもあります。

そういえば山下強がトラックに乗務中のケンカで路上に頭を打ち、被告訴人安田敏が代わりに愛知県の豊橋に走ったという話を書きましたが、説明に不十分なところがあったかと思います。

まあ、何を書いたところで２０年以上も前、岡田進弁護士が完全形式的に無視し、木梨松嗣弁護士が実質握りつぶしたような事実なので、検察、警察が動かない限り、陽の目を見ることはないかとも思っていますが、その必要性を社会に訴える告発という意義も大きいです。

どうも山下強は空車で豊橋に向かおうとしていたものと考えられます。彼の自宅が河北郡津幡町にあるということはその前から聞いて知っていました。津幡町は河北郡のなかで金沢市内にも近く一番大きな町かもしれません。富山県の県境にも近く国道８号線沿いという地理的な特徴もあります。

内灘町も河北郡で割と大きくて地元では誰もが知っている場所ですが、海水浴場もあって海に近いです。現在は無料化に伴い名称も「のと里山海道」とかに変更になりましたが、能登有料道路の内灘料金所もありました。

私は2009年の1月以来、一度も金沢市近郊には行っていないので、道路事情も変わっているかと思いますが、金沢市では北陸道という高速道路で金沢西インターと金沢東インターがあって、ちょうどその2つのインターの間は、北陸道の下に国道8号線バイパスが通っていました。

金沢から国道8号線で富山方面に向かうと、金沢東インターを過ぎてすぐ、バイパスは左方向へ、北陸道はそのまま直進して山間部の方向へと枝分かれしていました。さすがにこれは現在も同じかと思いますが、山側環状という新しい動労もできているので、以前ほど主要な道路ではないかもしれないです。

正確なことは地図を見て確認する必要があるのですが、枝分かれして8号線を少し走ったあたりは、金沢市福久という地名だという意識が強いです。他にも町内や地名はあるのだと思いますが、その辺りの大体の場所を指す会話でも、福久ということが多いかと思います。

富山方面というか津幡の方向から国道8号線を走ってくると、福久をこえてすぐ北陸道と交わるあたりで右にカーブしているかと思います。被告訴人安田敏の簡単な説明でしたが、山下強が頭に怪我をしたというのは、その辺だと聞きました。

また一つ思い出したことがありました、説明が途切れた部分の一つです。それは被害者AAさんの両親の供述調書のことです。現在、私が手元にある情報として確認しているのは父親の告訴調書ぐらいでしょうか。添付資料として写真も用意されているかと思います。

家のどこかにはあるだろうと思いながら見つかっていないのは、母親の供述調書です。少し特別な場所に保管しようと思って動いたことを微かに記憶しているのですが、それが仇となったのか、どこに保管したのか忘れてわからなくなってしまいました。2009年の秋頃かとも思います。

被害者AAさんの視力が少し弱くメガネをかけることがあることは、その母親の供述調書に記載があったように思うのですが、それも現物がどこにあるかわからないので、確認することができなくなっています。

なぜ、供述調書のなかに視力のことが記載されたのか、それも少しは気になりますが、身体的特徴というのはなるべく記載しておくというマニュアルがあるのかもしれません。

中野さんと被害者AAさんがメガネの件ですが、事件の5日ほど前のことであったと思います。他にもっと気になることや、重要と考えていたことがあったので、中野さんとメガネことはさほど意識しておらず重要な事実とも考えていなかったと思うのですが、それでも直近に近いので取り調べでも話したかと。

なお、被害者AAさんの母親の供述調書というのは、金沢西警察署ではなく金沢地方検察庁が作成したものであったようにも思います。

私の知る範囲、被害者AAさんの両親と被疑者である私自身の供述調書以外に金沢地方検察庁が作成した供述調書というのは存在しなかったと記憶にあります。社長であった被告訴人松平日出男ですらなかったと思いますが、その松平日出男だけが例外で期日を別にして2通の供述調書が作成されていました。

私自身、割と最近になって気がついたことですが、金沢地方検察庁というか江村正之検察官が裁判所に証拠として提出したと考えられる供述調書というのは、日付にむらというか偏りがあって、金沢地方裁判所に提出されなかった供述調書の存在がうかがえます。

これは本書において、前にも指摘した箇所があるかもしれません。その記憶にも自身が持てないので確実なものにしておくため、改めて指摘と掲載をしておきたいと思います。

Linuxの端末で対象ディレクトリに移動し「% ls -d -1 \*乙号供述調書\*」というコマンドを実行しました。次がそのスクリーンショットの画像のファイル名とツイッターの写真付きツイートのURLです。

2014-07-03-093430\_％　ls　-d　-1　＊乙号供述調書＊.jpg pic.twitter.com/RevlBzmxuU

端末というのはターミナルとも言いますが、文字ベースのコマンドを使ってパソコンに処理をさせたり、操作するものです。普通にWindowsパソコンを使っていると見ることもないと思いますが、Windowsにもコマンドプロンプトという似たようなものはあります。

パソコンといえばビジュアルな画面で主にマウスを使って操作するものという認識が主流かと思いますが、Linuxでは文字ベースの捜査が多いですし、慣れるととても便利なので手放せなくもなっています。

lsというのはファイルやディレクトリを表示させるコマンドですが、-dというオプションでディレクトリのみに絞りをかけています。見やすく縦一列に表示させるため-1というオプションもつけています。

実際は半角ですが＊の記号は、全ての文字に当てはまるものです。正規表現だと直前の文字の0回または1回以上の繰り返しというパターンになるかと思いますが、これは正規表現ではなくワイルドカードなので、Windowsパソコンの検索に使う記号と同じ意味かと思います。

正規表現というのはより高度なパターンマッチですが、grepコマンドでさらなる絞り込みに使うことが多いです。ファイルの数も少ないので、肝順なワイルドカードを使いました。

lsコマンドを-dオプションのみで実行するとちょうど2行になったので、次にそのまま紹介します。

H04-04-02乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-10乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-14乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-16乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-29乙号供述調書金沢西警察署

H04-04-09乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-13乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-15乙号供述調書金沢西警察署 H04-04-18乙号供述調書金沢西警察署

これとは別にH04-04-01自首調書金沢西警察署がありますが、それ以外の乙号供述調書は全て谷内孝志警部補が単独で取り調べを行い、供述調書を作成したものです。他の警察官が取調室に入ってきた場面すら、記憶にないほどですが、お茶のようなものは持ってきたことがあった気もします。

現在の警察ではそういう対応はなされていないのではと思いますが、もともと随所にずさんさが見受けられる金沢西警察署の捜査と取り調べでした。ごくごく単純な事件として処理したようですが、最終的な判断は江村正之検察官がするという、おまかせ意識もあったのかもしれません。

4月3日から4月9日までの日付の供述調書というものが全く存在しません。個別に供述調書を何度見ていても、まったく気が付かなかったことですが、ディレクトリごとにファイルをまとめると、否応にも目に飛び込んできた現実でした。

ファイル名の先頭にH04-04-02というような日付を入れているのは、順番通りに並んで表示させるためでもあります。厳密に言えばパソコンの文字コードの順番になるのですが、英数字に関しては普通に規則通りに並ぶはずかと思います。漢字になるとほとんど意味のない並び順になるはずかと思います。

気をつけているのは、ここでは使っていないですが、連番をつけるときのことです。01などと桁を合わせて0で埋めておかないと、1の次が2ではなく11になったりして、意図したように並んでくれません。ディレクトリの中のファイルはそのように連番を使っているはずです。

金沢西警察署での取り調べが始まって少なくとも半月、だいたい20日の間は連日取り調べがありました。そして私の記憶では毎日午後から夕方、供述調書の作成が行われていたはずなのです。

当時は取り調べの意味もわからず、刑事裁判の仕組みも知りようがなかったですが、江村正之検察官が証拠調べを請求した供述調書のみが金沢地方裁判所に提出され、その全ての内容を私が認めたこととされていたようです。

金沢地方裁判所に提出されなかったということは弁護士人の目にも触れなかったものと考えられますが、私の手元にある、あるいはあった供述調書は全て、弁護人の閲覧しうる状況にはなっていたものと考えられます。

当時の私を含めた世間の常識では、弁護人が当然に閲覧つまり目を通していたものと考えていたと思いますが、まともな閲覧を弁護士に期待することがそもそも大間違いであった可能性もありそうです。儲けにならないことは目を背け、見向きもしないという習性も強そうな職種かと思います。。

本書でずいぶん前には書いているとは思うのですが、なくなるはずのない供述調書が相当の数、消失している可能性が高いです。大方は羽咋市のアパートに住んでいる間のことでしたが、処分するはずもないのに、なくなっているものが相当数ありました。

基本的には3部の供述調書がありました。最初は平成5年12月ころの時点で東京の国選弁護人斐川雅文弁護士から郵送で差し入れられたものでしたが、供述調書は全て縮小版になっていました。この縮小版に関しては、明らかに消失したというものを私は確認していません。

どこかにしまい忘れてしまったという被害者AAさんの母親の供述調書というのも、その縮小版であったと記憶しています。

これはとても重要な資料なので確認も兼ねて再度書いておきますが、斐川雅文弁護士から郵送されたものは、上告趣意書の下書きや法規に関する書籍のコピーを別にすれば、もっとも数が少なく最低限の供述調書のみであったと思います。

次に差し入れを受けたのは平成6年の11月頃のことでした。ちょっとややこしかったのですが、金沢地方裁判所の民事部から原告代理人の長谷川紘之弁護士の書証の控えとして送られてきたものと思われました。

民事での損害賠償請求裁判の提起に伴うものでしたが、当時も理解に苦しむところが大きかったです。自分自身で理解の出来ない問題だったので、適切な説明も対応も出来なかったと思いますが、真相解明の手段としてその役割を果たさなければならないのかと、考えるのが精一杯でした。

長谷川紘之弁護士に関しては、今でも理解の出来ない存在ですが、ずいぶんと侮辱的な対応にも思え、好意的に理解するという努力が自分の納得になることは決してなかったです。

拘置所も同じでしたが、舎房の室内に何かを持ち込むのは、物品の受領や保管とは別の手続きが必要でした。郵送での差し入れもそうだったと思いますが、領置という手続きがあって、これは刑務所側での保管にもなっていたはずです。

領地の時点では物の差し入れがあったという告知だけで、現物を見せられることもなかったと思いますので、手にすることが出来ません。

舎房内に持ち込むには別に「仮下げ」という手続きが必要でした。これは房内所持の許可を伴うものでした。扱いとしては郵送や面会で差し入れられた本や雑誌、また所内で購入した本や雑誌も扱いとしては同じだったと思います。

金沢地方裁判所の民事部から郵送されたのではないかと思われる書類は仮下げでの房内所持の条件として、独居房への転房が必要だと言われました。初めに差し入れがあったという告知から2,3日後のようになんとなく憶えていますが、それまでいた南寮306号の雑居房から北寮の独居房に転房しました。

独居房に移ると同時に、仮下げを願い出ていた裁判資料のようなものが与えられたのですが、量が多かったためか、どこの家庭でもあって洗濯物を入れることが多いと思われるプラスチック製の網カゴに入れられていました。サイズもよくあるサイズという感じでした。

2段に分けてその網カゴにちょうど収まるという分量であったと記憶しています。高さは少しはみ出す程度だったとも記憶にはありますが、高くて25センチぐらいかと思います。サイズとしてはほとんどがB4用紙の袋とじだったので、B5の用紙と同じサイズのはずです。

言い方を変えると２つの綴りになっていたと思います。用紙のサイズは当時の裁判所の定型であったB4用紙の袋とじです。はっきりとした時期は忘れましたが現在も同じと思われるA4用紙の横書きになったのは、平成11年より後であったと思います。

その民事で金沢地方裁判所から送られてきたと思われる書類に関しては書証とか書いて番号も振ってあったように思いますが、表紙の部分がどこにいったのかも現在わからないので、確認は難しいかもしれないです。

またその内容物ですが、ひと通りの供述調書は揃っていたように思いますが、多かったのは医学的なデータや病院の領収書などでした。医学的に専門的なことがいろいろと沢山書いてありましたが、あれもどこに行ったものか、長い間見かけていないです。

北寮の独居房に移ってからは、出所までずっと独居房の生活になりました。2階と3階のいずれにも展望になったと思います。そういえば被告訴人安田敏の知人と後になって聞いた二人目の班長も隣かその隣の独居房になったこともありました。

福井刑務所の北寮と南寮については、本書において以前詳しい説明を書いていると思いますので、詳しくはそちらでご覧頂きたいと思います。

独居房に転房になったのは平成6年の11月の10日ころとも記憶にはありますが、11月の初め頃であったというのは間違いないと思います。それから一週間も経たない頃であったと思いますが、示し合わせたように今度は母親を介して木梨松嗣弁護士から記録が届きました。

厚い紙の表紙のようなものに挟まれた一綴りの書面でした。表紙の部分には「一件記録」とかいう記載もあったように記憶しています。これは以前、デジカメで撮影し、インターネットでも公開していたようにも思うのですが、現在のところ私自身確認を出来ていません。

その編綴された書面はそれもほとんどがB4用紙の袋とじになっていたと思いますが、厚みというか高さが30センチに近いだけあったと思います。数時間前になりますがいつも釣ってきた魚の大きさを測るのに使ってる巻き尺で、だいたいの長さを確認しました。

金沢東インター付近で山下強が怪我をしたという話から、別の説明に外れていってしまったかと思います。しっかりと脈絡のある説明や事実ばかりではないので、思い出したことをを思い出した時に書くというのも一つの方針です。

はっきりいって私としては断片的にしかわからないことも多いです。弁護士による説明や話など、かき集めてもごくごく短い時間であり、簡素な内容でした。事実上の幽閉状態だったとも言えますし、人質司法を検察批判として攻撃する弁護士サイドから、その警察検察の落ち度も含め最大限の利用といえます。

木梨松嗣弁護士の刑事弁護にかこつけた権利侵害の攻撃性は、人の生命身体に向けた重大な法益侵害として、殺人未遂の法的評価に十分値するものだと考えておりますし、求める処罰は仮釈放もない無期懲役の一点のみ、娑婆終いの娑婆捨て峠が目標です。

必要な事柄に関しては漏れなく記載するというのが大前提なので、項目の振り分けにかかわらず書くことがありますが、なるべくなら見出しに対応した項目の内容で、おさらいのような触れ方は、少なくともするように心がけたいと思います。

やはり思い返してみたのですが、金沢市花里の被告訴人安田敏のアパートに行き、ネックレスのプレゼントを被害者AAさんに渡してくれるように頼みに行った時と、山下強の代走の電話があったのは同じ夜だったと思います。

ネックレスのプレゼントの事自体、まだほとんど説明をしていないと思いますが、私は直接ではなく、被告訴人池田宏美を通じて頼んでくれと、言ったように思います。実際、被告訴人安田敏からは後日それらしい説明も受けたのですが、被告訴人池田宏美の供述調書とは隔たりというか違いもあります。

平成3年12月21日が土曜日だったので、夜になって被告訴人安田敏のアパートに行って頼み事をしたのは22日の日曜日の夜だったと思います。思いますというか、カレンダーを見ればすぐに確認できることです。

Linuxにはcalという便利なコマンドがあって「% cal 12 1991」と端末でやると、すぐに曜日を確認することが出来ます。やはり土曜日になっていましたが、初めのコマンドの実行では勘違いして1992とやってしまいました。

他にはっきりと覚えていることは、12月24日のクリスマスイブの朝、私は東京都練馬区で荷降ろしをして、池袋あたりから首都高速に乗り、そのまま茨城県古河市の山三青果に向かったということです。

練馬区で降ろした荷物は、石川県七尾市の林ベニアから積んだベニアの荷物だったと思います。同じく七尾市の能登木材からは製材のような荷物を積むことが多く、どちらもほとんごが関東での荷降ろしというか、行き先が関東だったと思います。関東以外というのはちょっと思い出せないです。

これは七尾市に住む被告訴人東渡好信が紹介した仕事で、丸一運輸からの下請けのようでした。丸一運輸の会社事務所には何度か行きましたが、わかりづらい目立たない場所にある会社でしたが、ずいぶんと大きいのに驚きました。割合よく見かけるトラックではありましたが、目立たない感じでもありました。

一見すると、その丸一運輸の仕事を手土産に市場急配センターの配車係におさまって楽をするというのが被告訴人東渡好信の当初の目的と思われました。

ところが、平成4年になると被告訴人東渡好信は無断欠勤を繰り返したり、理解に苦しむ言動や、さらには精神病者を装う演技とも見える、態度振る舞いを見せることもありました。被告訴人東渡好信に関する多くの開設は輪島の浜上さんから聞いていた話でもありました。

そのような被告訴人東渡好信の言動や振る舞いは、被告訴人安田敏の非常識な言動振る舞いとも、似たような時期に足並みを揃えるところがあったかと思います。被告訴人安田敏のそれは憐憫を誘うような要素もあり、同情に持っていくような方向性がありました。

言い方を変えると、正論だけと私（広野）が厳しすぎて、被告訴人安田敏がいじけて悪い方向に進んでいるという印象操作がうかがえました。それは私と被害者AAさんの関係にも通じるもので、その場の状況に即し、効果的なものであったと考えられます。

平成3年12月21日は、七尾市でベニヤか製材の積み込みに行ったことも微かに記憶に残っています。積み置きの関東行きの荷物で、月曜日降ろしだったと考えられます。ベニヤや製材の荷物で、日曜日に荷降ろしをしたという記憶はありません。建設現場でも荷おろしというのもなかったと思います。

ベニヤは倉庫降ろしもあったと思いますが、製材はほとんどが木材店のような敷地での荷おろしでした。事務所の建物自体は小さいのに、敷地がかなり広いという共通した特徴もあったと記憶しています。

ベニヤに関しては東京都の東大和市に行ったこともありましたが、時期の記憶がはっきりしないものの、被告訴人東渡好信の紹介というかあるいは周旋で七尾からの仕事を始めた最初の頃であったようにも思います。

神奈川県に大和市がありますが、東大和という地名を知ったのはその時が初めてで、どこがどう違うのかと考えたことも頭の片隅に残っています。大和市の近くには綾瀬市というのもありますが、柳瀬というのは似ていると考えてこともありました。

ヤナセといえばドイツ車の関係で当時既に知られた会社だったと思いますが、被告訴人安田敏の説明で柳に瀬と書いて「ヤナセ」と読むのは、なるほどと思ったのも印象的でした。妻になった彼女の名前だと被告訴人安田敏は言っていました。

結婚するというより12月の25日ころが予定日で子供が生まれるという話を被告訴人安田敏はしていましたが、それも12月に入ってからであったかもしれません。あるいは11月中ですが、話を聞いてから出産までの間というのも、余りなかったという印象が残っています。

被告訴人安田敏のアパートにちょくちょく行っていたのは、まだ市内配達の仕事をやっていた頃で、9月より前が多かったと思います。12月22日の夜まで、その妻となった彼女が私に対して、頑なに顔を見せないようにしていたことは、本書でも既に書いている部分があるかと思います。

父親の遺影のことや、金沢市諸江の辺りに住んでいたということはまだ書いていないように思います。いちおうアパートということにしていますが、民家の二階をまるごと間借りしているような住居でした。内装はアパートにしか見えなかったですが、外から見るとアパートには見えなかったと思います。

金沢市花里のどのあたりか、前にGoogleマップで調べたこともあったのですが、車で通っていた道はだいたい記憶にあるものの、住宅地図ではどのあたりか、はっきりわからないところがありました。

前には割と広い道路があって、その斜め前のあたりに、団地のような建物があって、被告訴人安田敏はそれを警察官の家族が住む団地と話していたように思います。あるいは別の公務員ですが、後日新聞で見た情報も私の記憶に混じっているのか、検察官か裁判官の官舎という話もあったかもしれないです。

花里というのは地図上の範囲も狭かったと思いますが、町名としても聞くことがなかったので、石川県民でも知らない人が多いかもしれません。涌波の近くと言ったほうが、通りが良いかもしれません。

時刻は23時42分になっています。朝起きるのが早かったためか久しぶりに長い一日だと感じています。夕方には姫の高倉漁港にアジ釣りに行ってきました。夕方の遅い時間から雨が本降りになり、ずぶ濡れになりました。

さきほど思い出したことですが、平成4年3月30日と思われる午後、古河の市場の電話ボックスから電話を掛けた時、被害者AAさんは、なかばやけを起こしたような、抗議の気持ちを全面に打ち出すような態度で、私の問いかけに対して、すべて「はい、はい」と答えていました。

時刻は7月4日6時55分になっています。たまたま早く目が覚めたのですが、天気もすっきりしません。インターネットの天気予報を見ると今日の15時ころに強い雨が降りそうです。

涌波が出たということで書いておきたいこともあるのですが、実名で書くかどうか迷っていました。関係者の関係者ということにもなるのですが、仮名にしておこうと思います。

事件との直接のつながりは見えないものの、今後の対応を含め地域社会的にも影響の想定される人物の関係者なので、正確な情報データとして、実名にしておくことも検討したのですが、仮名にしておこうと思いました。

その人物とは堂野さんのことです。現在市場急配センター株式会社の社長になっている可能性のある人物ですが、同一人という確認はしておりません。軽く9割以上の確率で、普通に考えて同一人の可能性は高いと考えますし、そういう前提でも取り組んでいきたいと思います。

まず堂野さん自身ですが、平成10年11月20頃の時点で、自ら市場急配センターの労務の担当者として、私の事件や裁判について話を聞く必要があると言っていました。被告訴人松平日出男を交えて3人で会見をした時のことです。

次のようにcalコマンドで確認したところ、22日が日曜日なのでその日だった可能性が高いと思います。→　% cal 11 1998

堂野さんは平成15年以降においても、被告訴人安田敏との接触がうかがえました。それは被告訴人安田敏との会話から出てきた話でしたが、私がインターネットで市場急配センターを舞台にした事件について情報を公開していることについて、名誉毀損で訴えることもできる、と言っていたそうです。

当時の被告訴人安田敏との会話の全部ではないですが、主要な部分はICレコーダーに録音し、それを御庁にも提出したと記憶しています。音声ファイルとして当時はCDを使って記録媒体として提出したかと思います。

そのどれぐらいか前の時の被告訴人安田敏との会話ではなかったかと思いますが、堂野さんが運転手として市内配達をしているとも被告訴人安田敏は語っていたと記憶しています。

被告訴人松平日出男は一回だけ金沢刑務所の拘置所に面会に来ましたが、パンツなどの雑貨を数点差し入れてくれました。それも領置ということで告知があり、帳簿のようなものに指印を押すひつようがあるのですが、そこには職業として「会社従業員」と書いてあったのがとても印象的でした。

平成4年8月18日の面会ではなかったかとも思うのですが、木梨松嗣弁護士が初めて接見に来た日と近接していて、同じ日であった可能性もあるかと思います。その辺りは京都の親戚の面会ともかぶって刑務官に注意を受けたことなど、前に本書で説明を書いた部分もあると思います。

私は平成4年と平成11年の2回、金沢刑務所の拘置所に入りましたが、平成12年の11月頃から平成13年12月31日の満期出所までは、金沢刑務所で受刑もしています。思えば金沢刑務所での受刑中は、母親の面会も一度もなかったと思います。足が悪くなったとは聞いていました。

北九州市など大きな規模の都市になると刑務所と拘置所は別の施設になるらしいのですが、金沢のような地方都市では刑務所の中に拘置所がありました。刑務官というか職員もほぼ同じだったと思います。たぶん面会室も同じだと思います。

平成4年6月30日の金沢地方裁判所での公判の時だったと思いますが、絶望視していた被害者AAさんの意識が戻ったと、公判の初めに江村正之検察官から説明がありました。それで一転して気を取り直し、事件に至った経過について深く考えるようになりました。

それまでは拘置所の独房にいても、こぼれ落ちる砂のように思考の像がまとまらない状態でした。

それは予想を超えた形勢の逆転にもなっていたようです。

金沢西警察署から金沢刑務所の拘置所に移送されたのは平成4年5月28日でした。本来は初公判の期日指定になっていた日付なので、これはよく憶えています。

独居房に入る時、あるいは入れられた直後、連行された若い刑務官に、「突然、大声を出したくなるかもしれないが、決して大きな声を出さないように。」と言われました。それだけ不安的な精神状態に見えたのかとも思います。

当然ですが拘置所というのは人の出入りがあります。土日祭日の免業日の決まった時間帯にはラジオ放送も流れますが、平日の日中というのは昼食後の短い時間のラジオ放送だけだったと思います。

たまに草刈機の音がうるさく聞こえますが、ほとんどは静かな状況なので、新規に独房に入る人に刑務官が説明をする声も聞こえることが何度かありましたが、私のように大声を出すなとか言われているのは、聞くこともなかったと思います。

被告訴人松平日出男の面会ですが、金沢西警察署では4,5回あったと記憶しています。少なくとも4月中に2回、5月中に2回はあったと思います。

同じ金沢西警察署の留置場での生活でしたが、4月と5月ではかなり違いもありました。当時は理解していなかったことですが、起訴後には取り調べがほとんどなくなっていました。ある日を境にぴたりと取り調べの呼び出しがなくなったので、変だとは思っていました。

5月の前半だったと思っているのですが、被告訴人松平日出男が被告訴人浜口卓也を連れて二人で面会に来たことがありました。被告訴人松平日出男は私からの問い掛けの機会を減らすために、被告訴人浜口卓也を連れてきたという感じに見え、安堵の表情がうかがえました。

被告訴人浜口卓也がしみじみと「ヤマにあがるんやな」と口にしたのが印象的でしたが、どうも金沢の暴力団の世界では、金沢刑務所や拘置所のことを、ヤマというようです。地理的には富山県との県境の山間部にも近いとは思いますが、山という意識はなかったです。

金沢刑務所といえば、田上として知られていました。だいたい場所は人から聞いていて、近くまでは市内配達の仕事でも行くこともあったのですが、実際にその前まで行ったのは、中に入る時が初めてでした。

今思い出しましたが、たぶんまだ書いていないことです。山下強がケンカで路面に頭を打ったという話を聞いた時も、すぐに思い出したのは被告訴人浜口卓也の傷害事件でした。

市場急配センターで仕事をするようになって半年も経っていない頃だったという記憶もあるのですが、前後に被告訴人浜口卓也と会わない期間が割と長かったという気もします。誰から聞いたのかも不思議と思い出せないのですが、金沢市場輸送にいるときに聞いた話であったことは間違いないです。

片町の飲み屋とも聞いたように思いますが、見知らぬ相手とケンカになり、頭蓋骨骨折の怪我を負わせたという話でした。それで警察の留置場に入ったとも聞きましたが、10日間入っていたとも聞いたので、当時は知らないことでしたが勾留延長はなかったものと考えられます。

罰金刑になったともその後で聞いたように思いますが、その後もしばらくの間、被告訴人浜口卓也本人に会う機会はなかったので、直接その話を聴くことはなかったと思います。

金沢市場輸送の運転手でも、輪島のMYやYAは、被告訴人浜口卓也のことをよく知っているという感じでしたが、小木港の遠洋漁業で知り合ったという感じでした。新保のKOも同じく知っているようでしたが、嫌いというだけではなく何か個人的に恨みつらみがあるようにも感じる話しぶりでした。

基本的に金沢市場輸送と市場急配センターの運転手の接点というのはほとんどなかったと思います。強いて考えると、橋渡しのような話題を持ってきた人物として当てはまりそうなのは、被告訴人松平日出男ぐらいかと思います。

そういえば輪島のMYも金沢市場輸送で麻雀をやっていたことがありました。ここで書いておく必要を感じながら、機会を逸したうえ忘れていたことを思い出すことが出来ました。形式にこだわり後回しにしていると忘れたまま終わっていたかもしれません。思い出すこともなく。

一時期で半月から長くて一月ぐらいの間であったと思いますが、MTの紹介で輪島のAという人物が大型の平ボディ車に乗務していたことがありました。MTと一緒に麻雀のメンバーとして参加している姿を、2,3回見たと記憶しています。

無口なタイプで会話をしている姿も見かけなかったので、それだけ目立たない存在でもあったのですが、確か大型の平ボディ車に乗務しているような姿は、別に見ることもあったように記憶に残っています。

見かけない顔でしたがMTと並んで麻雀をし、年格好も似ていたので、友達を連れてきているような雰囲気は感じていました。たぶんになりますが、輪島のYAから聞いたのだと思いますが、その名前を聞いた時は驚きました。

昭和58年の秋に聞いていた名前でした。◯田という名前で◯の中の感じは、たぶん小学校の低学年で習う誰でも知っている馴染みのある漢字ですが、その一文字の漢字自体、名前に使われることは少ないと思いますし、◯田という名前は後にも先にも他に聞いたことのない名前なので、印象的でした。

すでに何度か説明を書いているはずですが、場所は藤江の陸橋近くの輪島の暴走族の溜まり場でした。そこには被告訴人安田敏と一緒に何度か行きましたが、常に10人以上の若者は集まっているような溜まり場でした。

何人かに分かれて思い思いの会話をするような助右喬でもあったのですが、半分はたまたま耳に入ってきた話でした。その場にいた一人が輪島の○田という男に何か詐欺の被害にあったような話をして不満と焦りをぶちまけていたのです。本人にすれば相当深刻な被害という漢字でした。

その場には神野のKMがいたと思います。その溜まり場には被告訴人安田敏と3回ぐらいは行っていたと思いますが、KMが一緒だったのはたぶん一回だけだったと思います。その場にKMがいなければ、聞き流し、なんの話か知ることもなかったと思います。

神野のKMについてもこれまでに説明を何度かやっていると思います。山水運輸にいたことなども書いていると思います。姫のNKさんとも、彼を間にいれた付き合いが多かったとも思います。

彼は中学校の同級生でしたが、中学生の頃の彼はテニス部の部活にも熱心な様子で、クラスも一緒になった憶えもないので、中学校の頃の付き合いというのはほとんどなかったと思います。なお、当時の能都中学校のテニス部というのは全国大会で優勝することもあるような実力でした。

KMとの付き合いが多くなったのも高校に入ってからだと思います。35年近くも前の話になるので、細かいことは思い出せないですが、宇出津の城野町のHSのところで会うことが多かったと記憶しています。

当時私は石川県立水産高校小木分校に通っていましたが、神野のKMは柳田農業高校に行っていました。能登では他に聞いたこともなかったのですが、全寮制の高校だと聞いていました。休日以外には会う機会もなかったと考えられますが、その割には一緒に遊ぶ機会も多かったように記憶にあります。

彼も学校の勉強より、遊ぶことを優先する遊び仲間でしたが、彼も私が被告訴人大網周一とともに小立野の金沢少年鑑別所に入っている間かその前後に、高校を退学したはずです。城野町のHSも前に書いたHMも同じ頃に水産高校の本校を自主退学しています。

被告訴人大網健二も同じ頃でしたが、彼の場合は8月28日のシンナーの事件で、金沢高校を一発退学になったと聞いたように記憶しています。金沢高校をやめたことで被告訴人大網健二は宇出津に戻り、宇出津を中心に生活するようになりました。

神野のKMと被告訴人大網健二の付き合いが始まったのも、私が鑑別所に入っている間であったと思います。KM自身がHMらと金沢に遊びに行っていたことを話していました。七塚のMKや東金沢のMSらがいたらしい溜まり場です。

神野のKMと被告訴人大網健二の付き合いというのは、城野町のHSや私を介したものが多かったと思います。もともと気が合わない関係というか、根本には被告訴人大網健二の差別意識があったものと考えられます。

それは被告訴人大網健二や被告訴人大網周一に限った話ではなく、私が子供の頃にはまだ割と強く残っていた風習にも近いものなのですが、宇出津には近隣の農村部の地域や農家を「ザイゴ」と呼んで蔑視する傾向がありました。

具体的な対象としてわかりやすかったのは柳田村や神野です。神野と言ってもこれは地区と思われ、地名ではないとも考えられるので地図を見てもわからないかもしれません。姫や真脇を高蔵地区と呼ぶのに似ているとも考えられます。

具体的には宇加塚、藤ノ瀬、鶴町、曽又等の集落の総称として神野と呼ばれていたかと思いますが、神野小学校というのもありました。同級生でもほとんど例外がないぐらい家が農家だと聞いていました。現在でもほとんどが田んぼのような風景です。

神野公民館 - Google マップ <http://bit.ly/1mYnguD>

神野公民館というのをGoogleマップでみつけましたが、鶴町が神野の中心部だとも聞いていました。神野小学校があったのも鶴町でしたが、ずいぶん前に廃校になっているものと考えられます。

地図をみると宇出津のすぐ近くに見えるかと思います。宇出津と輪島市内も地図を見ると近くに見えますし、距離的にもさほど離れていないはずですが、子供の頃の感覚が抜けないのか、全国を走った長距離運転手の経験もあるものの、未だに輪島というのは遠いところという感覚があります。

神野は地理的に柳田村にも近いですが、買い物などはほとんど宇出津に来ているものと考えられます。柳田村となると地理的に輪島市により近いということもありますが、それだけに輪島の方との交流も多いとは聞いたことがあります。

輪島市でも町野という辺りは、風景も町並みも柳田村に似ていたので、生活スタイルを含め、湊町の宇出津よりは共通する部分も多いのかと考えられます。その辺りは個々人の性格や習慣などにも現れている部分はあるかと思います。

その一つの括り方が「ザイゴ」という差別意識にもつながっていたのかもしれません。私自身、母方が京都の親戚なのと、宇出津の父方の親戚との付き合いも中学生になった頃にはほとんどなくなっていたので、同じ宇出津でも感覚が根本で異なっているのかもしれません。

被告訴人大網健二や被告訴人大網周一の場合は、宇出津の中心部に住んでいたので、なおさらその傾向や意識が強かったのかと考えられますが、そういう傾向は同じ世代では珍しいぐらい、残っていたと思います。

そんな感覚も成人してからはなくなっていたと考えられますし、やはり性格的に合わなかったことも考えられますが、神野のKMと被告訴人大網健二の付き合いというのは聞いたことがなかったです。

二人だけの関係で考えれば何でもない話なのですが、結婚した妻同士がとても仲の良い関係だったので、その辺りはどうなのかなと考えるところがあります。前に書いていると思いますが、被告訴人大網健二の結婚式にもKMの妻は出席していました。

学年としては私の2つ年下になるのですが、上の世代や下の世代のことを考えても、とりわけて仲が良いというか、結びつきの強さを感じさせる関係がありました。

神野のKMは柳田農業高校に行っている当時にも、多少輪島の方と付き合いがあったようです。輪島の方から来ている同級生がいるような話もしていたかと思います。地理的に近い分だけ、輪島に対する関心や親近感も強かったのかもしれません。

現在は廃校になっているのかと思いますが、輪島には町野高校がありました。町野の町は柳田村との境にも近いですが、町野高校はその町野の町からは離れていて、海に近く、観光地でもある曽々木海岸の側にありました。建物は現在でもそのまま残っていると思います。

町野自体が輪島市でしたが、それよりはいくぶん近い輪島高校の辺りも、輪島の中心部からはけっこう離れていました。宇出津から柳田村を通って輪島市に向かうのに、海岸線の国道にぶつかったところが曽々木で、左に行くと輪島市内、右に行くと珠洲市です。

私自身最近になって改めて気がついたことですが、曽々木の交差点から宇出津に向かうとすぐに看板があって、宇出津まで22キロと書いてありました。柳田村までは13キロになっています。距離をみるとずいぶん近く感じるのですが、やはり遠く感じるところです。

私の同級生でも町野高校に行ったのは一人だけだと聞いていました。極端に大人しく無口な生徒だったのでなぜ町野高校を選んだのか話を聞くこともありませんでした。

私の一つ上の学年でも男子が一人、町野高校に行ったのですが、その話を聞いた時は、なぜ誰もいかないような遠い高校を選んだのかと不思議に思いました。TUという名前でしたが、割とよく一緒に遊んだ時期もありました。

私が能都中学校の相撲部に入部するきっかけにもなったHMを介した付き合いがあったのです。二人は同級生にもなります。TUもその頃は近所に住んでいましたが、まもなく宇出津の錦町の方に引っ越して行きました。

HMとは私がちょうど辺田の浜から宇出津の小棚木という町内に引っ越してきた頃に、たまたま赤灯台の海岸で知り合い、仲良くなりました。引っ越してきたのが小学校5年の春で、出会ったのが夏であったと思います。

彼もわりと最近に金沢市から転校してきたと話していたように記憶しています。他の宇出津の子どもとは異なる雰囲気もありましたが、なぜか気もあってよく遊ぶ関係になりました。同じ町内でもありましたが、家はそれほど近くはなかったです。

当時は宇出津の町内で大棚木が一番大きく、小棚木が二番めに大きいと聞くこともありましたが、その後、大棚木でも遠島山公園に近い部分は、城山という町内として独立したという話を聞いたこともあるので、現在は小棚木が一番大きく広いのかもしれません。小さい町内は家が20件とも聞きますので。

HMとの付き合いがなくなってからは被告訴人大網周一らの不良グループで目立つ存在にもなっていました。再び付き合いをするようになったのも、昭和56年の秋以降だったと思いますが、HMだけでなくその同級生も以前とは違い被告訴人大網周一とは距離を置くようになっているという感じでした。

昭和58年の春頃でしょうか。その頃になるとHMと私の個人的な付き合いというのもはとんどなくなっていたように思いますが、金沢市藤江の外れにあったHMの借家にもちょくちょく遊びに行く機会は昭和57年の頃からあったと思います。それも神野のKMと一緒が多かったとも思います。

それには別にはっきりした理由もあって私は昭和57年の6月に1年間の免許取り消しになっていました。たまたまHMを後部席に乗せていた時に78キロのスピードオーバーで捕まり、当時は12点の減点だったと思いますが、他に点数も引かれていたので一発取り消しになりました。

金沢西インターに近い2つ年下のMKのアパートにいるときに、HMに出会い、一緒に松任方面に行った帰りに捕まったことも記憶に残っています。天気の良い日で、捕まる前にたまたま松任警察署の前を通ったことも記憶に残っています。

被告訴人KYNに頼まれて、バイクで彼を金沢に連れてきた時のことでもあったと記憶しており、彼の頼みがなければ取り消しになることもなかったとは思いますが、ずいぶんと無謀な運転もやっていたので、命を落としていた可能性もあるかとは後々考えていました。

自動二輪の免許を失ったのも痛かったですが、普通免許の取得も半年以上遅れてしましました。ほとんどの同級生は昭和58年の春前には普通免許を取得していたと思います。昭和58年の1月頃の時点で、被告訴人大網健二は家の自動車工場にあるポンコツのコロナを乗り回し、私もそれに同乗していました。

バイクも車もなかったので、特に金沢市での行動は他の友人より大幅に制限されていました。同乗で行動することが多かったのもそのためかと思います。

同じ昭和58年の春とは言っても、小林運送の長距離助手の仕事もやめたあとで、初夏に近い6月頃の時期だったとも思いますが、畝田のTUのアパートにいることが多かったと記憶しています。

金沢市での藤江は北や南があって広かったですが、畝田も西などがあってけっこう範囲が広かったと思います。TUのアパートは畝田でも外れのほうで桂町にも近かったと思います。周りにほとんど店がないのも不便でした。店があってもお金がなかったのか、周囲で買い物をした記憶もほとんどありません。

TUのアパートと聞いていましたが、TU本人の姿を見ることは本当に少なかったと記憶にあります。神野のKMが自分のアパートのように使っているという感じでした。TU本人はなにか出張の多い仕事をしていると聞いていました。

石川県金沢市畝田中２丁目２ - Google マップ <http://bit.ly/1otgNHL>

Googleマップで調べたところTUのアパートがあったのは上記の辺になるのかと思います。アパートの裏には空き地のようなトラックの駐車場があり、その前の道路の向こう側は広い田んぼが広がっていたかと思います。

トラックの駐車場というのは中西水産輸送のものでしたが、宇出津でよく見る保冷車であったのも、印象に残っていました。中西運輸商に入社した最初のころもちょっとだけその駐車場を使うことがありました。

出張が多かったというTUの仕事ですが、一時期、さきほどのHMや真脇のSも同じ会社で同じ仕事をしていると聞いたことがあったかもしれません。4トン車というトラックの話も聞いたように思いますが、運送会社とは聞かなかったです。

なお、これまで昭和58年の秋頃の被告訴人安田敏のアパートのことを観音堂のアパートと書いてきましたが、性格な住所は畝田であった可能性もあるかと思います。金石街道にまたがって畝田は広い町名でした。

畝田から金石に近いところに寺中町がありましたが、これは範囲も狭いという感じでした。中西運輸商の事務所の住所はその金沢市寺中町になっていましたが、堂野さんが住んでいると聞いたのも寺中町だったと思います。一度その辺りまで頼まれて車で送り届けたこともありました。

言われた場所に車を止めると車から降りていったので、アパートなのか家なのかもわからなかったですが、その辺りに住んでいるという話は他にもしていたように思います。

TUは真面目に仕事をしているという感じでしたが、町野高校時代の友だち関係で、輪島の暴走族の集団暴走にも参加することがあるとか、他の同級生も参加したとか神野のKMに話を聞くことがありました。そこには私より一つ年上のHSさんの名前も具体的に出ていたと記憶にあります。

その輪島の暴走族のリーダー格がKTであることは、これまでに何度か書いてきたと思います。彼も私よりは1つ年上と聞いていましたが、高校を出たのか出ていないのか、細かいことは知らないか、聞いていても忘れてしまいました。

輪島の暴走族と言っても、海士町とは別で、KT自身も海士町のことをひどく恐れている様子でしたが、金沢で活動する輪島の暴走族も輪島に帰ると海士町の連中には頭があがらないだけではなく、てひどい扱いを受けているとも聞きました。

ずっとあとになって輪島のMYから聞いた話ではなかったかと思いますが、海士町の男が、輪島の暴走族らを集めて、その場に全裸にさせ、着ていた下着で車の洗車をさせることもあったと聞きました。

輪島の暴走族のリーダー格であったKTですが、戦国武将のような変わった名前だったので未だに名前は憶えています。

これもまだ私が内心で予定しながら書いていないと思いますが、鶴来のHとも付き合いというか交流があったと聞きました。何かの話題でKTのことが出てきた時、最近一緒に飲みに行ったという話もしていました。

鶴来のHに関しては輪島のMYとも以前からの知り合いで付き合いもあったような感じでした。もう一人鶴来の男を加えた4人で、内灘に海水浴に行ったこともありました。

もう一人の鶴来の男はいくつか年下だったと思います。あるいは19歳という少年であったかもしれないです。本書で既に書いていると思いますが、高田が金沢市場輸送の事務所で父親が死んだといきなり伝えた相手です。

何の前置きもなく、いきなり父親が死んだと告げたので、まったく心の準備もなく聞いた方もさぞや驚いたのではと思ったのが印象的でした。

鶴来のHの方は、全国的にもありふれた名前なので未だに名前は憶えていますが、仮名にしておきます。覚えているのは上の名前だけですが、下の方もあるいはですが、勝であったかもしれません。年は私と一緒かあるいは1つ年下だったと思います。

金沢市場輸送で市内配達をしていましたが、入社してきたのは輪島のMYとほとんど同じ頃で、昭和61年の9月ころだったと思います。MYはサンテラスで恥をかいたということで、すぐに長距離に移りましたが、わりと長い間、4トン車に乗務していたとも思います。

ずいぶん前のことなので正確に思い出すことは出来ませんが、MYが4トン車に乗務していたのも半年ぐらいであったかもしれません。あるいは1年ぐらいだったかもしれませんが、鶴来のHが会社にいたのも同じぐらいの期間で、いつの間にかいなくなっていたという感じです。

山中温泉のキャッスルバーデンホテルでの慰安会にも鶴来のHの姿はあったような気もします。ややこしい名前の温泉ホテルですが、当時のテレビCMでは、山乃湯ともなっていたという記憶もあります。

その慰安会には七尾のなんとかの姿もありました。名前を覚えているつもりでしたが、思い出せなくなっているので仮名のイニシャルもつかえません。佐川急便で市内配達をしていたという男で、年は私の1つ年上でした。

普段から威勢のよい大きいことも言うような男でしたが、他の宿泊客とケンカになった時、涙を流しながら縮こまっていた姿が印象に残っています。逆に肝が座って堂々とみえたのが、◯西さんの息子と、仲裁のような行動に出た寺川さんでした。

既に書いてある部分もあると思っていますが、平成3年春のストライキの時、被告訴人東渡好信らが集まっていたのは、その時仮名にした寺川さんのアパートでした。はっきりした場所はわからなかったですが、同じ頃に被告訴人浜口卓也が住んでいたアパートともかなり近かったと思います。

被告訴人浜口卓也のそのアパートに関しては供述調書の住所でも金沢市南新保になっていたと思います。金沢市内には新保という町名もありましたが、金沢西インターにも近いまったく別の場所でした。

輪島のMYが初めにYAと輪島崎のOTが紹介で金沢市場輸送に入社させた時に、たまたま出会った場所がその新保あたりのアパートと話していたという記憶もあります。満足にご飯も食べれない状態になっていたので、誘ったとも話していたと思います。

OTの方はMYと同級生と聞いていましたが、どちらも私の学年で2つ上と聞いていました。YAの方は私の2つ年下と聞きましたが、YAの兄はMYと同級生と聞きました。北都運輸でその兄とも出会いましたが、体が大きいものの大人しくおっとりした性格という感じでした。

さきほど焼きそばを作って食べていたのですが、意外に早く簡単に七尾の男の名前を思い出すことが出来ました。白石だったと思います。全国的にはさほど珍しい名前ではなさそうですが、石川県や私の周辺で同じ名前を聴くことはなかったと思います。

自分の結婚式に被告訴人竹沢俊寿とその夫人の夫妻に出席してもらったとも話していましたが、他にそのような話を聞いたこともなく、普段の言動の中にも虚言癖の傾向が少し感じられていたので、本当なのかと思うことはありました。

白石もいつの間にか、姿を見なくなってやめていったのかという感じでしたが、私の記憶では金沢市場輸送の事務所が二口町に移転してからは姿を見た記憶がないので、山中温泉の慰安会の直後にいなくなっていったのかとも思います。顔の方もなんとなく記憶にありますが、目が細かったという気がします。

山中温泉の慰安会は6月の下旬だったと思います。それより少し先の時期になると金沢港のスルメイカや、その前の筍の出荷で忙しく、ほとんどの社員が仕事を休むという調整も困難ではなかったかと思います。

はっきりと覚えていることは、まだ西念町に金沢市場輸送の事務所がある頃でした、北國銀行中央市場支店のちょうど前辺りから送迎のマイクロバスに乗り組んだからです。私の妻が忘れ物をもって駆けつけてきたことも場面として記憶に残っています。

何を忘れてきたのかも思い出せないのですが、当時妻はまだ車の免許も取得していなかったとも思えるので、どうやって来たのかも不思議です。誰かに頼んで車に乗せてきてもらっていたのかもしれません。

山中温泉の慰安会に行ったのは6月として、昭和62年だったのかと考えます。思えば金沢市場輸送の事務所が二口町に移ったのも7月の初めころだったという記憶があるのですが、慰安会とは近接していなかったようにも思います。

改めてのことですが、初めに被告訴人松平日出男の姿を見たのも、金沢市場輸送の事務所が二口町に移ったのも2ヶ月ほどの間があったという感覚が記憶に残っています。これはやはり昭和63年のことかと思いますが、油断するとちょっとしたことも記憶の整理が難しくなると改めて思いました。

山中温泉の慰安会で高田の姿というのも記憶には出てきませんが、すでにいなくなっていたのかどうかははっきりしません。被告訴人梅野博之の姿は大浴場でみたという記憶が残っていますが、当時は目立たないというか控えめな存在でもあったという気がします。

被告訴人梅野博之はその後、若い運転手の間で「うめじい」とも呼ばれていました。高田がいなくなって市内配達の事務所が別に出来た頃には、事実上代行の責任者という立場にもなっていましたが、山中温泉で姿を見てからは、けっこう長い間があったとも思います。

白石ですが前に書いた小林運送のYさんと、石川日通の田村の4人で、車で片町に遊びに行ったこともありました。石川日通の田村は私の一つ年下だったとも思いますが、わりと長い間市内配達の仕事をしていたと思います。

家は金沢市内の小立野とも聞いていました。石川日通をやめて正式に金沢市場輸送の社員になったという話を聞いたような気もするのですが、そのうち姿を見なくなり、いつの間にかいなくなっていたという感じでした。

はっきりしないところもありますが、私の記憶では二口町に移った金沢市場輸送の事務所で姿を見かけたという記憶は、まったくないではないですがかなり薄くなっています。

田村より一つ年下と聞いたかもしれません。大久保という運転手もいました。家が同じく小立野だと聞いたことがあり、田村の後輩なのかと考えたこともありましたが、確認までするようなことはなかったと思います。

よくいるような若者でしたが、彼も割と長い間、市内配達の仕事をしていて、彼の姿は二口町に金沢市場輸送の事務所が移ってからの方が、なんとなく印象に残っているのですが、西念の事務所ともまたがっていたものと思います。

西念町の事務所での姿が記憶になく、二口町に移ってからよく見かけるようになったのは、S田とM田の二人の運転手でした。S田に関しては被告訴人大網健二との関わりもあるので、ある程度のことは既に書いているかと思います。S藤と二人で金沢港に来て、初めは私に苦情をぶつけるような態度でした。

S藤に関しては面倒ですが、彼の泥棒としての前科もあるので仮名にしておきますが、S田とM田に関してはここで実名に切り替えたいと思います。疑惑があるというわけでもないですが、重要な接点もあるので明確にしておいたほうが良いと判断します。

S藤の泥棒のことに関しては、たぶんまだ書いていないと思います。2,3ヶ月前だと何を書いたかある程度は記憶に残っているのですが、それ以前となるとはっきりとは思い出せません。

偶然以外には考えられない事実でもあるのですが、私は金沢西警察署の留置場でほとんど入れ替えに近い時期に生活をしたようです。留置場の警察官との雑談の中で、ちょっと前までいた泥棒の話をしていたのですが、会話の中の何かをきっかけに私はそれがS藤ではないかと直感しました。

確かめたところやはりS藤に間違いはなさそうだったのですが、警察官らがかなり微妙で際どいと予想するなかで、彼は執行猶予付きの判決を受けたとも聞いていました。

次は偶然とは思えず、警察の作為が介在したことも考えられることです。それはちょうど拘置所に向かうのに、金沢西警察署の二階の刑事課の部屋から出る時、出くわしたのがS藤でした。「おい、金返せや」とだけ一声掛けましたが、向こうも驚いたというか意外そうな顔をしていました。

彼は刑事課の部屋に入ってくるところだったと思います。私の曖昧な記憶ですが、普通部屋にはドアがあるのですが、当時の金沢西警察署の２階というのは正面側に広い通路があって、その先がそのまま部屋になっていたように思います。

笹田と峰田というのは顔は余り似ていなかったと思いますが、背格好も似ていていつも一緒にいる二人でした。他の市内配達の運転手とは違って、夕方遅くに休憩室でくつろいでいる姿を何度か見たという印象も残っています。

冬に近い時期だと外が暗くなる時間というのも早かったと思いますが、外が暗くなったような時間に市内配達の運転手の姿を見ることも少なかったと思いますし、16時頃の早い時間でも、伝票のようなものをを整理してすぐに帰っていく運転手がほとんどであった思います。

何かの割引券のような紙を沢山集めて机に向かっている姿をよくみけていました。伝票らしいものはウェルマートぐらいだったという記憶も残っていますが、それは私自身の市内配達での記憶です。

ずいぶん時間を掛けて机に向かうそんな姿も見かけていたので、よほど大変なことをしているのかと思っていたのですが、実際に自分がやるようになると割と単純な作業だったので、なぜそこまで時間がかかっていたのか不思議にも思いました。

笹田と峰田とは、顔を合わせれば多少言葉を交わす関係であったと思います。大久保とも似たところがあったと思いますが、彼女を交えた個人的な付き合いもあると、誰かから後になって聞いたこともありました。

笹田と峰田は私より６つ年下だったと思います。これは後になってから知ったようにも思いますが、被害者AAさんや被告訴人安田繁克とも同じ年になるものと思われます。

時刻は17時04分、歩いて銭湯にも行っていて中断をしていました。

笹田と峰田の二人ですが、家は金石の方とも金沢港の方とも聞いたように思いますが、どちらであったかはっきり思い出せません。どちらも共通しているのは海の近くということですが、金石の方も漁港のようにはなっていたと思います。

それとは別に守田水産輸送の小柄で年配の運転手と、石巻港の魚市場の前にとめたトラックの中で長話をしていたことがありました。60歳近い年齢とも聞いていたように思います。50代の長距離運転手というのは、当時珍しかったと思います。確か「まっちゃん」と呼ばれていました。

まだ、守田水産輸送との共同で青森定期便が始まった頃だったとも思います。金沢の中央市場から秋田、青森の市場に鮮魚を運ぶ定期便は、もともと守田水産輸送がやったいた仕事でした。

細かい話は忘れましたが、青森県の下北半島の付け根の方であったか地名は忘れましたが、そこから養殖の帆立貝を積んで九州の方に持って行き、九州で荷物を積んで北陸に帰ってくる仕事が守田水産輸送の大型車では多いと聞いていました。

一度出るとけっこう長い運行になるので、月に数回の運行になるとも聞いていました。九州からは鮮魚を積んできたり、時期にはミカンを積んでくるとも来たように思います。

ホタテの仕事がどうなったのかは聞かなかったですが、その青森の定期便を金沢市場輸送と一日交代ですることになり、帰り荷として石巻から東北陸運の定期便をすることになったのです。東北陸運と宮城陸上については、これまでに何度か説明を書いていると思います。

その守田水産輸送との共同の定期便は1年ほど続いたと記憶にありますが、金沢市場輸送の事務所が二口町に移転してしばらくすると守田水産輸送との仕事上の関係自体がなくなったので、その辺りから逆算すると昭和62年の9月頃から守田水産輸送との共同の青森定期便が始まったものと考えられます。

ちなみにこれと似たことは同じ金沢のウロコ運送との間にあって、それが福岡の定期便になっていました。それも一日交代でしたが、富山中央のトナミ運輸から雑貨を積んで、北九州市と福岡市の西武運輸まで運び、翌日の早朝から長浜の魚市場で鮮魚を積み込んでいました。

それは昭和59年に初めに私が入社した頃に始まっていたようにも思います。そして私が金沢市場輸送にいる間は、ずっと続いていたように思います。福岡の魚市場ではフリーとして入って鮮魚を積むことも多かったですが私の場合、北陸ではなく、大阪や東京行きが多かったと思います。

ウロコ運送も同じく石巻から東北の定期便をやっていましたが、それは松川運輸の仕事でした。石巻ではかなり大きな運送会社だと聞くこともありました。松川運輸は塩釜港の方にも会社があったと思いますが、ウロコ運送が塩釜の方にも立ち寄っていたかどうかは、記憶もはっきりしません。

そのまっちゃんという人との会話の中でたまたま出てきた話なのですが、その人の息子が金沢市場輸送で市内配達をしている笹田や峰田と同級生で友達というような内容でした。どこか場所の話も出ていましたが、それは金沢港の近くであったと思います。

いつ頃、誰に聞いたのか現在はっきりと思い出せないところもあるのですが、被害者AAさんはその笹田か峰田の紹介で市場急配センターの事務員になったという話を聞いたことがありました。まだ、私が被害者AAさんのことを余り意識していない時期に聞いたような気もするので、なおさら曖昧です。

紹介というのは笹田ではなく峰田として聞いたようにも思います。被告訴人大網健二ともめたのは笹田の方です。二人ともなんとなくは姿や顔を覚えているのですが、いつもいつも一緒にいたので、どこかで記憶が混同している部分のあるかもしれません。

また、二人とも当時は特に意識するような存在でもありませんでした。市場急配センターの事務所が中央市場の側に出来て、市内配達の運転手がそちらに移ってからは、どの運転手とも顔を合わせる機会は少なくなりましたが、前に何度か書いたように給油には金沢市場輸送に来ていたので、そこで見ることも。

ただ、笹田と峰田に関しては新しい市場急配センターの事務所に移ったと思われる時期以降、ほとんど姿を見た覚えがありません。

かなり久しぶりに姿を見たのは平成3年の夏頃だったと思います。私がまだ市内配達をしていた頃であったと思いますが、だいたい次の場所で会いました。会ったと言っても声も掛けていなかったと思うので、見かけたというのが正確かもしれないです。

石川県金沢市長土塀３丁目２２−２３ - Google マップ <http://bit.ly/1vEEaPt>

改めてGoogleマップを見ると自分の記憶とは一致しないような部分もあるので、場所に余り自信は持てないのですが、中央通りから片町のスクランブル交差点につながる道の方から入ると、ちょっとした商店街のようになっていて、コロッケの売っている肉屋等があったような気がします。

それをもう少し先に行くと左の角に「ひまわりチェーン」のような小さいスーパーがあったように思うのです、そこに配達に行くことがあったと思うのですが、稀に行く配達先で、自分の配達範囲なのかも微妙に思える場所でした。

道は小路でちょっと複雑になっていたと思いますが、そのスーパーから少し離れた道路にトラックをとめて笹田か峰田が仕事をしていました。その場で声も掛けていないので、その後他の誰かに話をして、聞いたのだと思うのですが、K村さんや姫のNKさんと一緒になって、仕事をしているような話でした。

2トン車のトラックを持ち込みで仕事をしているとも聞いたように思いますし、荷台で作業をしている姿をみたトラックというのも新車のような箱車であったと思います。被告訴人浜口卓也と同じようなトラックだったとも思いますが、特に箱が同じに見えたように思います。

外見が白い一枚の板のように見える箱車であったと思います。金沢市場輸送の2トン車というのは4トン車や大型車の保冷車と同じく、細かく波打ったようなアルミの箱が多かったと思いますが、そうではないタイプでした。

保冷になっていたのかもわかりませんが、被告訴人浜口卓也の場合は保冷とも聞いたように思いますし、ワイドボディの2トン車でした。幅広の2トン車というのは初めて見たような気もしました。

4トン車だと中西水産輸送でも昭和60年当時に幅広のワイドボディに乗務していましたが、4トン車の場合通常は２つのワイパーが３つのワイパーになっていたと思います。

被告訴人浜口卓也の場合は、初めに2トン車の新車を購入して持ち込み運転手の仕事を始めたと思いますが、トラックの値段というのは全部で300万円とも聞いたように思います。

珠洲の大谷のYSさんも、そのうち同じような新車に乗務していたと思いますが、始めてから長い間はかなりポンコツの2トン車に乗務していたと思います。

笹田か峰田の2トン車を見たその場所でも、そのYSさんか姫のNKさん、あるいは宇出津のK村さんの姿とトラックを見たような気もするのですが、これも現在記憶がはっきりしません。

姫のNKさんと宇出津のK村さんに関しては、ずっと古いトラックに乗っている姿しか見てはいなかったような気がします。被告訴人大網健二が大場町東への引っ越しに借りてきて一緒に返しに行った2トン車も、青色か紺色のそんなトラックでした。

笹田か峰田と書きましたが、その二人が一緒にいて、二人を同時に見たという可能性もあると思います。とにかくその二人は、いつもセットのように一緒にいる姿を見ていたという印象が残っています。

特別な仲良しという感じで女の子では金沢でよく見かける関係でしたが、男となると他に思い出すことも出来ない気がします。

峰田に最後に会ったのは平成3年の年末のことでしたが、その時は笹田の姿がなかったようにも記憶にあります。名前も知らないし言葉を交わした記憶もないけれど、以前は金沢市場輸送の市内配達としてよく見かけていた小柄な若者の姿は記憶にあります。ずいぶん久しぶりに見たという気がしました。

それは前に少し書いていると思いますが、偶然とは思えない成り行きで、被告訴人多田敏明と西口の二人が率先して、被告訴人浜口卓也の自宅アパートに行き、それから焼肉店に行った時のことでした。名前は聞いたことのあるような人気という感じの焼肉店でした。

以前に作成したGoogleマップのマイプレイスがあったと思います。マイプレイスになる前の旧サービスの時に、作成したものであったかもしれません。

告訴事件と関連のある金沢市内の場所 <https://mapsengine.google.com/map/u/1/edit?mid=zW8zvRyoSBg4.kcVzYakZOUcc&authuser=1&hl=ja>

思いの外早く探し出せましたが、現在余り使っていないGoogleアカウントとして作成した地図です。ここに「諸江の焼肉店」とラベルがあるのが、その場所です。6,7人と説明にあったので、すっかり忘れていたことですが、役立つ情報になりました。

時刻は7月5日9時15分。昨日とは一転して、編めが不理想にない良い天気です。一日雨の心配がなさそうな宇出津のあばれ祭りというのは、何年ぶりか思い出せないぐらいです。少なくとも2009年の祭り以来は、毎年二日間の祭りを通して一度もなかったような気がします。

昨夜はとても大きな収穫がありました。事件の事実関係をまだ優先したいので後回しですが、先にそのツイートを紹介しておきます。

2014-07-05-003421でも裁判ってもともと真相解明のための手続きではなくルールに従って裁判所が目の前の事案を判断するだけのもの。.jpg pic.twitter.com/CAvAoAwsWN

Twitter / sakamotomasayuk: 被害者遺族が被告人が被告として出廷しないことを非難するという … <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/484988904228274176>

2014-07-05-003459この操作は許可されていない可能性があります。　ページを再読み込みしてお試しください。.jpg pic.twitter.com/obM3ejcS7u

独自に作成したコマンドでファイル名に日時を含めたスクリーンショットを作成していることは既にどこかで説明していると思います。用途は色々とありますが、もうひとつ大事なところを記録しご紹介しておきたいと思います。

2014-07-05-094034市場急配センター株式会社│代表者　堂野俊一.jpg pic.twitter.com/gtZO9qrzks

昨日は初めに涌波について書くつもりで、関連した説明を始めるとあちこちに飛び飛びなってしまったかと思います。私がこれから説明をする市場急配センターの堂野さんは、平成10年11月22日に自ら労務の担当者として話を聞く必要がある、と言った人物です。

現在の市場急配センターの担当者とホームページに掲載されている堂野俊一という人物と同一人という保証は出来ないですが、その可能性は一般的な判断として疑いの余地はないものと思いますが、可能性が０ではないことは、先にお断りをしておきますので、その旨ご留意願います。

私はこの市場急配センター株式会社という存在自体を、社会的な問題の対象として告発しなければなりません。その会社の現在の代表という立場と、事件そのものの事実やその関係者との関係というのも峻別しておく必要があるとも考えます。会社が個人の持ち物ではないという意味を含め。

被告訴人安田繁克から涌波に住んでいると聞いたのは、当時、金沢市場輸送でイワシの運搬をやっていた堂野さんの愛人という女性の息子でした。はっきりしたことは聞かなかったと思いますが、堂野さんの実の息子とは聞いておらず、当時16歳で市場急配センターで働いていました。

私自身、最低でも一回はその16歳の少年を2トン車での市内配達に同乗させて一緒に仕事をしたことはあったと思います。私の場合、その少年よりもその少年の同級生で高校の夏休み中のアルバイトと聴いていた少年を、同乗させることが多かったことを、書いてすぐたった今思い出しました。

愛人の息子という少年、それは私が市場急配センターで市内配達の仕事を始めてから知ったことで、被告訴人安田繁克に聞いていました。当時は他にそういう話を聞く相手もいなかったので、それは間違いないことだと思います。

当時ははっきりと意識しなかったようにも思いますが、被告訴人安田繁克が堂野さんのことをよく知っている人物のように話していたことは、改めてかなり不自然にも思います。なぜなら当時の堂野さんというのは一緒に仕事をした私でさえ、会社との関係がほとんどわからない人物だったからです。

まず、堂野さんが金沢市場輸送の社員ということは考えられないと思っていました。彼は松浦さんの紹介でイワシの運搬をするようになりましたが、私の記憶ではシーズンの終盤になっての登場であったように思います。

堂野さんはダンプの持ち込みと聞いていました。最初に姿を見た時からそのダンプと一緒でしたが、そのダンプというのも割と珍しいタイプだったので余計に印象に強く記憶に残っています。

私自身、ダンプというのは建設現場などで4トン車までしか乗ったことがなく、専門のダンプの運転手として仕事をした経験もないので余り知らないところがあるのですが、町でよく見かけるダンプというのは土砂積みのダンプです。

それとは別に土砂積み禁止というタイプのダンプがいました。多いのは木材のチップを積みようなダンプで、かさばる割に重量が軽いので荷台もずいぶんと高く、それ専門となるとぱっと見は箱車で、上に網を掛けているものが多かったと思います。

網まで書けるようなチップ専門のダンプとなると金沢ではほとんど見かけていなかったように思います。金沢港も木材の多い港ですが、チップ専門の工場がないためか、少なくとも私の記憶では見かけることはなかったか、ごく稀だったと思います。

金沢市場輸送のダンプというのはその木材チップ専門に近い感じのダンプでしたが、完全なそれとは違っていました。補強についてもずいぶん考えられたような作りで、見た目もそれだけ頑丈そうに見えましたが、ダンプ自体の重量も重かったと思います。

トラックの重量に関する法律もずいぶん前に大幅な変更があり、規制自体が変わったと聞いているので違っているところも多いかと思いますが、当時の大型車に関しては車体の総重量に対する積載量が決められ、その重量がステッカーとして後部に貼り付けてありました。

正確な記憶はないですが、例えば金沢市場輸送の大型保冷車の場合、「最大積載量9250」などとステッカーが貼り付けてありました。平ボディ車だと10800とかになっていたような気もします。

冷凍機付きで頑丈そうな大型保冷車だと8トン台になっているのが普通だったと思いますし、中には7トン台というのも見かけていたように思います。細かく言えば箱の高さも長さも車検上の限界はあるものの、トラックごとにまちまちでした。

トラックの高さは3.8メートルと決まっていました。中西運輸商というかその社長が普通の考えではない証左の一つですが、扁平率の低いタイヤを車検時に使ってトラックの高さをごまかしているという話を聞きました。箱の内積量を少しでも増やしてより多くの荷物を積めるようにするためです。

普通に考えると、思い重量を積むトラックほど頑強な補強も必要になるのですが、その補強材がずいぶんと車体の重量を増やすと聞いていました。まともにやると僅かな最大積載量のステッカーを貼らなければならなくなるので、どこもかなり誤魔化しているのが普通だと聞いていました。

過積載のトラックの危険性というのは実際に運転を経験したものでないとわからないところがあるかと思います。ブレーキー性能の良くなかった時代となるとなおさらのことです。ブレーキーが焼けて煙があがることもあります。

基本的にはトラックもダンプも同じかと思いますが、大きな違いの一つはダンプの場合デフが2つだと聞いていました。普通の10輪のトラックの場合、デフというか駆動しているタイヤは横から見て後方の手前側のタイヤだけです。いずれもタイヤはダブルになっていますが、その後ろは引きずりと呼ばれ。

乗用車でいえば4輪駆動にも近いと思います。私自身、2デフというのはほとんど運転したことがなかったですが、エンジンブレーキの効き具合も全然違うとは聞いていました。雪道でも歴然とした違いが出ます。

引きずりの10輪だと、雪道の坂の上で止まってしまうと、動けなくなるということが普通にありました。そうではなくても重心が前に掛かりすぎていると、急で長い坂道を登り切れないことがありました。

一般には知られていないか、普通に聞くこともない話なのでついでに説明をしましたが、冬場の長距離トラックの仕事というのは、そういうことでもずいぶんと神経を使います。事故や渋滞、通行止めの可能性も雪が降る時期だと高くなります。どこへ行くにも山間部を通ることは多いです。

長々と説明しましたが、金沢市場輸送のダンプというのは2台だけでしたが、イワシをより沢山運ぶために考え抜かレたような設計になっていました。本来、加工イワシの本場というのは石巻港などですが、同じようなダンプというのも見ることがなかったと思います。

石巻港には鮮魚の定期便があったので数日おきのように年間を通じてしょっちゅう行っていました。港に近い河口に日和大橋という大きな有料の橋がありました。その橋を渡って魚市場の方に入ると料金所があるのですが、その周辺というのはイワシや鯖の加工と思われる独特の匂いが強烈でした。

石巻港の場合、イワシに限らず小魚を冷凍加工して、養殖の魚のエサにするという工場が多かったようです。既に書いていると思いますが、それに近いことは金沢港でもダンベとしてやっていました。生の状態で水槽に入れて運ぶものでしたが、平ボディ車の仕事でした。

ダンベの行き先のほとんどは三重県でした。そこは個人のような小さい工場で、養殖用のエサの加工をやっていることが多いという感じでした。三重県も養殖漁業の盛んなところだと聞いたことがありましたが、石巻のエサでも行き先はほとんど四国と九州と聞いていました。

日本海側と太平洋側では都市の規模も港の規模もまるで違いますが、イワシに関しては漁獲の時期が、地球の裏と表のように入れ替わっていると聞いていました。

太平洋側の港でイワシの仕事が多いのは、福島県の小名浜港、宮城県の石巻港、青森県の八戸港、北海道の釧路港だと聞いていました。

時刻は7月6日11時22分です。雑多な番外編ともいえる内容になったかと思いますが、他に重要な問題も出てきたので、この項目を締めます。

<2014-07-06 日 11:25> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 主に平成9年から平成11年に行われた被告訴人らの計画的行動と事実、及びその関係者について

### 主に被告訴人KYNによる計画的と思われる行動、関与について

#### 再審請求をやめ仕事に専念するか、会社を辞めるかの二択を迫った被告訴人KYNの言動　2014年03月12日

既に大まかな流れは書いてきたと思いますが、見出しと内容の対応を重視する方針に転換したので、これまでの説明の流れがつかみづらいと思います。これからは見出しに付加された作成年月日を今まで以上に意味のあるものとして、念頭に置いて頂きたいと思います。

構成が変わったからと言って一から同じ説明を繰り返すのも無駄があるので、おさらいもしながらポイントを押さえつつも、これまでの記述の時系列に従って反復展開するかたちで、説明や事実の記述を進めていきたいと思います。

被告訴人KYNの設備工業での配管の仕事についてはこれまで紙面を割いてかなりの分量の説明を書いてきたと思いますが、まだまだ不十分なところがあります。15年以上の年月も経過しているので、当然記憶の劣化もありますが、大まかにポイントを押さえておきます。

まず彼のところで仕事を始めたのが平成9年の11月頃のことで、翌年つまり平成10年の1月頃にM君が入ってきました。その入社の経緯についてもより詳しく書いておく必要性を感じていますが、それは後回しにします。

その後、被告訴人KYNに長男が生まれました。上は女の子が二人でした。長女の方は平成2年頃の生まれではないかと思います。次女については生まれると聞いたこともなかったので、平成4年4月より後の出生であったことが考えられますが、それほど年の差があるようには見えなかったです。

長男の誕生に関しては喜びもひとしおだったと思いますが、不思議なぐらい長男のことを口にしたり、話題にすることもなかったと思います。静かに大事に育てているとは思いましたが、余り泣かない大人しい子どもでもあったのか、話題にもならず印象にも余り残ってはいません。

その長男の誕生のことでとても印象に残っていることがありました。秋の11月から仕事を始めたとして2回目か3回目ぐらいに給料をもらった頃であったようなその場の記憶もあるのですが、天気が良く暖かい感じの風景であったような場面の記憶も残っています。

あるいは仕事を初めてすぐの頃でまだ11月中のことであったのかもしれません。出産祝いということで祝儀を渡したのですが、これから世話になるということもあって5万円包んだような気がします。あるいは3万円かと思います。

被告訴人KYNはその時もあまり反応を示さずに祝儀を受け取っていました。身内の祝いという意識が強いようにも感じましたが、いくらか違和感は感じていました。彼は長男の誕生を力強く喜ぶとともに、なにか覚悟を決めて吹っ切れたようにも思えました。

今改めて考えると不思議にも思えることですが、被告訴人KYNの長男については妻がだっこしているような姿しか思い出すことがありません。半年ぐらいすれば、はいはいで動き回ったりするのではと思いますが、自ら座っているような姿も思い出すことがありません。

印象に残っていることと言うのは、弟子のような親子関係のようなつながりであったK君が、祝儀はおろか何もお祝いをしていないと、当然のように軽く笑いながら話をしていたことです。私の質問に対して答えたものであったと思います。玄関先でした。

それだけの親密な関係が築かれているのかと思うのと同時に、仕事の働きで十分に義理は果たしているような自信にも思えました。

K君の正確ですが、大人しくて人当たりも良い、口数は少ないタイプでしたが、意固地で譲らない一面もあると被告訴人KYNから聞いていましたし、私もできるだけ角の立たないように接していたこともあり、衝突は一度もなかったですが、わりと自意識の強い若者とは思っていました。

人に対する気遣いもよく出来ていたのではと思います。他の人と衝突するような姿をみたことがなく、M君のことも暖かく見守るような感じでした。しかたない、というような言葉も時々使っていたようにも思います。若い割には大人びていて、しっかりしている方だと思っていました。

K君は平成４年から被告訴人KYNのところで配管の仕事を始めたと聞いていました。不良という感じではなかったですが、高校を中退したと聞き、あるいは高校に行かなかったと聞いたかもしれません。もっと具体的な話を聞いたようにも思うのですが、忘れてしまいました。

平成4年の4月1日に私は逮捕され、平成9年の1月18日まで警察の留置場や刑務所にいました。被告訴人KYNに最後に会ったのは平成4年の3月の20日過ぎかと思いますが、細かいことは思い出せなくなりました。酔いつぶれて朝まで寝ていたことを憶えています。起きるとKYNの姿はなかったです。

起きたときKYNの姿がないことに意外性を感じたことも憶えているので、それは日曜の朝だった可能性が高いと思います。暦を確認すると3月22日の可能性が高いのかな、と思いましたが、今は自分の記憶のみでの事実の整理は難しいです。

起きると被告訴人KYNの妻と子どもだけだったので、すぐに帰りました。アパートに帰ってから近くのコインランドリーに洗濯に行ったと思います。午前中に市場急配センターに行き、シャッターがほとんど閉まって、誰もいないような状況でしたが、意外なことに被告訴人YSNの姿がありました。

シャッターは完全に降りてはおらず、人がかがんで通るぐらいに開いていたのではと思います。シャッターが降りていること自体、あまりなかったような気がするのですが、日曜日以外には考えにくく、日曜日でも市内配達で仕事に来る人の姿は、それまでにも少ないですが見かけていました。

#### 被告訴人KYNとの最後の会見と会話の録音

### TODO 被告訴人OKNと被告訴人HTNとの関係について

#### TODO 被告訴人OKNがバックアップを頼んできたノートパソコンにあった新築工事見積書のファイル

<2014-04-04 金 06:54> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

これはわりと短い周期で繰り返し思い出している事柄なのですが、先ほど次のYouTube動画を視聴したこともあり、先に書いておくことにしました。一週間から10日に一度は、私の頭の中で思い出していたことで、そういうのは他にも多いです。

PC遠隔操作事件 片山被告が語る『事件の真相』 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=wXZkgrIcdtQ>

これも時期が今ひとつはっきりしないのですが、Nテックの仕事を被告訴人OKNが持ちかけてきた頃で、パソコンでチラシの広告を作っていた頃ではなかったかと思われます。

ちょっと記述の開始時刻を入れ忘れたので、多少遅れますが、記入しておきます。

PC遠隔操作事件ですが、この事件には前々から関心があって、私のこの事件との関係性もずいぶん強く意識しているのですが、本来的には無関係な事件であり、どこからどの程度踏み込んで本文中に記載するのかも迷いがありました。今のところはほとんどやっていないかと思います。

上記のYouTube動画は私自身初めて視聴したものでした。あとでテレビ番組の録画らしいと気がついたのですが、私の住む石川県では放送されていない番組か、BS朝日と言うことらしいので、特別な受信契約をしていないとそもそも視聴できない番組なのかもしれません。

このPC遠隔操作事件に関しては過去に冤罪事件で活躍した佐藤博史弁護士と、冤罪との判断でけっこうな数の無罪判決もだしたらしい元裁判官でもある弁護士の木谷明弁護士がタッグを組み、痛烈な検察批判をしていることでも注目しています。

その弁護士らの主張に呼応するようなジャーナリストの活動もありまして、もともと注目していたのがオウム真理教の事件で一躍有名になった江川紹子というジャーナリストです。Twitterで多くの情報を発信しています。テレビで見る機会は、ごくごく少なくなりましたが。

ジャーナリストの江川紹子さんは検察の不正の追及にも熱心な取り組みをされてきたかと思います。いわゆる村木裁判として著書も出版されているようです。余り詳しくはしっていないのですが、検察の威信を低下させる転換点になった裁判かとも思います。

ジャーナリストの江川紹子さんに関しては、ご本人に対するお知らせもかねて、別の項目で書いておきたいと思いますが、もっとも重要視したのが、「検察のあり方検討会」のような公的な集まりのメンバーでもあったことです。正式な名称なども調べた上で。

ジャーナリストの青木理さんについては、私自身最近になってしった人物なのですが、注目しつつある人物であるとともに、彼自身がそのジャーナリストというプロの立場で、投げかけている刑事司法に対する不信や疑問には、対処するかたちで進めることを意識するようになりました。

本題に入りますが、紹介したYouTube動画で気になったのは、真犯人が片山祐輔被告のパソコンを自由にのぞき見る状態で、そこで得た情報を使って、一連の事件の犯人に仕立て上げていったというくだりです。そう信じ込んでいるようにも見える女子アナの発言も見受けられました。

PC遠隔操作事件に関しては、パソコンやプログラムという点でも、私には関心の高い事件でしたし、プログラムに関してはそれなりの経験もしてきているので、他の人とは違った見方もしている、あるいは出来ているのではないかと考えています。

私自身、自分のパソコンが他人にのぞき見られる可能性を意識しながら生活した時期がありました。

まず私がパソコンに感心を持った時期ですが、平成6年の2月頃には具体的に考えるようになり、何がきっかけであったおかは細かくは憶えていないですが、母親にパソコン関係の本の差し入れを手紙で頼んだように思います。

これが丁度、判決の確定時期にも重なっていたように思います。余り思い出せなくなってしまいましたが、悪すぎるタイミングが重なって、差し入れてもらった本を、実際に閲覧できるようになるまで、ずいぶんと日にちが掛かりました。

あるいはになりますが、3月17日に福井刑務所に移送され、一週間程の分類審査と、それに続く2週間の新入教育を受けた後、ようやく資本を仮下げて閲覧できるようになったのかもしれません。

拘置所も刑務所も同じだったと思いますが、差し入れされた本は領置という手続きをとり、仮下げをした上で、閲覧することが出来たかと思いますが、どれかの手続きがストップされていたので、すごく長い間待たされました。

パソコンの雑誌が2，3冊と入門書のような漫画の本が一冊ありました。MSｰDOSとかコマンドの解説が多かったので、Windows95が発売される前でした。付録には5インチのフロッピーディスクがついていましたが、出所後も5インチフロッピーが使えるパソコンは見たことがなかったです。

ついでに書くと、Windows95の発売のニュースは雑居房のテレビで日曜の夜、大河ドラマが終わった後のニュースでみました。夏ではなかったかと思いますが、松本サリン事件の報道を最初に見たのも、同じ頃の同じ時間帯のニュースであったと思います。平成6年の夏頃です。

刑務所の受刑中であっても本の購入は出来ましたが、そのあとはパソコンに関する本を買うことはなかったと思います。右も左も方向性が全くつかめなかったので、後回しにして他の法律の勉強などに専念しました。

私本の購入は月に2回の機会があり、単行本などの書籍は一度に6冊まで注文できていたと記憶していますが、6冊注文しても入るのは2冊がいいところで、一冊もはいらないこともあったと思いますが、刑務官の判断も働いているように感じられることはありました。

福井刑務所を満期出所したのは平成9年1月18日でしたが、10日か半月ぐらいで、ワープロ専用機を買いました。宇出津の駅に近い新谷電気でした。10万5千円ではなかったかと思います。

なにかきっかけがあったのだと思いますが、細かいことを忘れました。ある日の夕方7時ぐらいに、新谷電気に電話を掛け、ワープロ専用機の話を聞いて、まもなく店に駆けつけたことを憶えています。

お金は母親に無理を言って都合してもらいましたが、京都の親戚の人に出してもらったのだと思います。

ワープロ専用機を新谷電気で買って数日が経ち、夕方の早い時間に宇出津駅の方から新谷電気の店の前を通りかかったので中に入ったところ、自分が買ったのより新しいワープロ専用機が7万8千円か8万8千円ぐらいで売っているのを見て驚きました。

店の主人もよほどまずいところを見られたと思ったらしく驚いていましたが、私はとっさに確か500円ぐらいのヘッドフォンのようなものを手に取り、レジの前に立ったところ、代金はいらないと言われたので、そのまま帰ったのですが、腸が煮えくりかえるとはこのようなことかと実感しました。

店に置かれた新しいワープロ専用機にはMS-DOS対応と大きな札のようなものがつけられていました。最初はよくわからなかったのですが、どうも保存したデータをそのままWindowsのパソコンでも開けるのがMS-DOS対応の意味だったようです。

ワープロというかキーボードに触れたのもその時が初めてでした。当時はまだパソコンよりワープロ専用機の方が文書の作成において主流であったのではないかと思います。

集中して取り組んだこともあり、一月もするとかなりのペースで文書を作成できるようにもなっていました。そのワープロ専用機で作成した書面も再審請求として提出したように思います。

3ヶ月程前になるでしょうか、片付けをしていて段ボール箱に入った当時の書面を見たのですが、ずいぶんな量だったので自分でも少し驚きました。段ボール箱の中に入れてあることは憶えていたのですが、感熱紙を使っていたこともあり、中も見ずに置いてありました。

感熱紙の印字が数年で消えるという話は早い段階で知っていました。必要もなしになるべく空気に触れさせない方がよいかとも思いさわらない状態にしていたのです。印字は薄くなったものとそうでもないものがありましたが、思っていたよりは悪くない保存状態でした。

読めば思い出すこともあるとは思いましたが、量が多すぎることもあり全く読んでいませんし、今のところ読もうとも思っていません。記録として御庁（金沢地方検察庁）に残されている可能性もあるかと思いますが、今時間を掛けるだけ意味のあることとは思わないからです。

むしろ今の自分の記憶のままに書くことの方が意味のあることではないかと思っています。重要な見落としはあるのかもしれませんが、その前に書いておくべきことは、まだまだたくさんあります。

同じ平成9年の4月にはノートパソコンを買いました。このことは数日前にも少し書いているように思います。父親が残してくれた家屋敷の手付け金として受け取った100万円を使いました。これも勝負が早かったです。お金をもらったその場で、金沢に走りました。

契約に同席していた被告訴人OKNが金沢に帰る車に乗せてもらいました。金沢の若宮のパソコンの館という店で買いましたが、あるいは午前中の開店前に店の前で待っていたような気もします。

この時も金沢の入江のビジネスホテルで宿泊し、そこから歩いて若宮のパソコンの館に行ったように思います。犀川というのは金沢の中心部を流れる川ですが、若宮大橋というのも平成4年当時には影も形もなかったものでした。

店はその若宮大橋を渡った先にありましたが、事前に場所は調べていたのだと思います。店では余り迷わずにNECのノートパソコンを買いました。48万円ぐらいだったと思いますが、定価は60万円を超えるぐらいでした。

ノートパソコンとプリンター、スキャナーを買いました。全部で60万円ぐらいの買い物でした。ノートパソコンはそのまま持ち帰りましたが、プリンターとかは能登の宇出津の家まで郵送を頼んだように思います。

思い切った買い物でしたが、再審請求に対する意気込みと、効率をあげるための投資として完全に割り切っていました。

パソコンは絶対に必要だと思っていました。拘置所や刑務所にいる頃は、それこそ明治時代と同じで紙とペンしか使えませんでした。コピーをとるにもカーボン紙で、効率の悪さは嫌というほど痛感していました。

同じ平成9年の7月の初めに金沢に引っ越してきて、それから半月ぐらい経って頃には、同じパソコンの館で、ディスクトップのパソコンを買いました。同じNECの98シリーズのパソコンでしたが、35万円ぐらいだったと思います。

次にパソコンを買ったのは金沢刑務所を出所後の平成14年の4月頃だったので、けっこうな間だったとは思いますが、平成11年の8月12日に金沢中警察署に逮捕されてからは、平成14年の正月までパソコンは使えない状態でした。

金沢刑務所を出所して宇出津の家に戻ったのは平成13年の12月31日でしたが、パソコンに電源を入れたのは数日後のことで、あるいは一週間ぐらい経っていたかもしれません。すぐに使えるとも思っていなかったので、起動して作業が出来る状態になったときは、不思議な気分にもなりました。

次に買ったのはソーテックのディスクトップパソコンで、10万円ちょっとぐらいだったと思いますが、これはインターネットの通販で買いました。

費用を工面するのに七尾市に行き、プロミスという信販会社で10万円借りたのだと思います。当時もよく借りれたものだと思いましたが、就職が決まった直後かと思います。

「株式会社みさき」というような社名になっていたかと思います。社名のみさきも、珠洲市三崎町に関係していたはずで、一度4トン車でその三崎町辺りにある古い工場か倉庫のような場所から、何かを運んだこともありました。

会社が珠洲市内であったことは間違いないと思いますが、仕事先は宇出津のボーリング場の跡地でした。電子部品の工場でしたが、他にも宇出津電子など数社の従業員が集まった共同事業のような工場でした。

9割以上が女性で、それも若い女性が多かったと思います。生まれ育った宇出津ですが、自分の同級生や顔見知りのような人はいなかったと思います。中国人の研修生の割合も多かったとは思います。

職安からの紹介で面接に行きましたが、仕事を始めるようになったのもすぐだったと思います。4月の10日頃だったと思いますが、その数日前には鵜川に住んでいた被告訴人YSNと会って、話をしていました。

偶然なのだと思いますが、被告訴人YSNと合った翌日に、今度は職安で被告訴人YSNと顔を合わせました。ちょうど彼の用事が終わって帰って行くところだったと思いますが、その時点で高岡市（富山県）の方で、仕事が決まったような話をしていたようにも思います。

その時も被告訴人YSNは古くて大きなパジェロのような車に乗っていました。たぶん日産の同じような車種ではと思われましたが、私自身わかるのはパジェロぐらいで、そういうタイプの車には興味もなかったのです。運転していたのは彼の妻でしたが、姿ははっきりとは見ませんでした。

思えば身を隠したりわかりにくい格好をするのが得意なのか、被告訴人YSNの妻の姿というのは平成4年以来見ることがなかったように思います。平成4年の初めには一度、花里のアパートで出産後の姿を見たように思いますが、あやふやになっている記憶です。

一つはっきりしていうことは、夜に花里の被告訴人YSNのアパートから東力の自分のアパートに戻った直後だったように記憶しているのですが、近くの東力ストアーで追突事故を受けたことがありました。自販機でタバコを買うのに左折する際、減速したところで追突を受けたのです。

そういえば思い出したことですが、被告訴人TSKが、東力ストアーとは親戚になると話していたことがあったような気がします。話を聞いたときはさほど気にもとめませんでした。

東力ストアは大豆田大橋から西金沢方面に至る道路沿いにある古くて小さな店でしたが、なんどか店に入ったことを記憶しているものの細かいことは記憶にありません。目立たない店でしたが、店の前には自販機がまとまって置いてあり、夜間はたまに利用する機会もあったかと思います。

金沢市内に住んでいれば同じ金沢市内に親戚がいると聞いてもまったく普通の話だと思いますが、福井刑務所では被告訴人TSKのことを朝鮮からやってきた朝鮮人で、それも成人になって日本に来たような話を聞いたので、思い出すとどうかとも考えるようになったのです。

もともと被告訴人TSKに関しても謎の多い人物です。朝鮮から来たという話はにわかに信じ難いと思いました。自分の子どもの頃の近所にもそういうおばさんがいましたが、話し方のイントネーションがまるで日本人とは違っていたからです。

被告訴人TSKはとくに年配の人が話すような金沢弁のイントネーションが特徴でした。妙なところでアクセントを付けたり、語尾をのばす話し方は、個人差もありますが、あえて強調するようなタイプでした。まねるのがうまければ不可能ではないとは思いましたが。

現在は韓国と北朝鮮は明確に区別されているという印象ですが、以前はけっこうごっちゃにして話す人も多かったように思いますし、核実験などで北朝鮮の名前が知れ渡り感心をもたれるよりも前の時代であったようにも思います。

朝鮮人といえばパチンコ屋というイメージも強い時代でしたが最近はさっぱり聞かなくなった話です。パチンコ屋の利権は戦後の混乱期に成立したものであったとも聴いていますので、根拠のしっかりした話でもあったはずかと思います。

被告訴人TSKが朝鮮からやってきたという話は、福井刑務所で一緒だったNという人物に聞いた話です。かなり癖の強そうな人物でもありましたので、真偽の程も不明であるばかりではなく、他の目的のいわばエサとしてちらつかせてきた話であったこともありうるかと思います。

Nとは同じ2工場でしたが同じ雑居房でもありました。私の方が後から入ったのですが、一月か二月ぐらい経った頃か、2級生になって4階に転房して行きました。2級生が南寮の4階にあがることは、前にも説明をしているかと思います。

TK班長も2級生になっていましたが、同じ雑居房になったとも聞いたか見ていたと思います。見ていたというのは雑役の作業場に、居房毎に名前の書いた札が並べられているような場所があったからです。

福井刑務所では金沢刑務所とは違って、休憩時間は工場内で自由な行動が出来たということもありますが、雑役の作業場には他にも用事があって行くことがちょくちょくありました。

TK班長についてもこれまで何度か触れてきていると思います。そういえば福井刑務所を出た後、お金を持っていたNが出資をして、TK班長と商売を始めたとか、それが当たって大儲けをしているというような話も耳にしていたように思います。

なにか女の子をつかった新手の商売を始めたと聞いたような気もするのですが、TK班長自身も片町で飲み屋を経営しているとか経営していたとか話していたはずで、4店舗ぐらい店を持っているようなことも言っていたような気もします。

話を聞くところ、スナックのような小さな店ではなく、クラブというのか大勢の客を収容できるような店という感じで話をしていたような気もします。20年近く前になっているので、記憶も曖昧ですが。ミスター片町とも呼ばれていたことは自分で話していたように思います。

同じ片町の飲み屋で仕事をしていたという被告訴人YSNについて尋ねたとき、しらないと即答していたTK班長ですが、出所後電話で被告訴人YSNと話をしたとき、よく知っているというのと同時に、すぐに滝本組という金沢の暴力団の名前を出していました。

滝本組に関しては最終的に被告訴人KYNと会ったときの状況が思い出されます。これまでの悪い傾向として色んな事実が細切れのごっちゃになっていると思うので、これからはorg-modeのページ内リンクを活用してテーマに応じた分散的な記載を心掛けたいと思います。

滝本組に関しては姫のNKさんについても書いておきたいことがあります。それぞれにリンクを張るようにしたいと思いますが、先に被告訴人KYNににいて*\*被告訴人KYNとの最後の会見と会話の録音*として書いておきたいと思います。

org-modeの記法を使って見出しのリンクを張りました。テキスト文書としては二重の半角カギ括弧で挟まれているかと思います。また、頭に半角のアスタリスクがあるかと思いますが、これはorg-modeで見出しの階層の数を表すものです。

この項目では主に被告訴人OKNと被告訴人HTNの関係について書くつもりだったのですが、パソコンについての説明を書いているうちに主題から外れてしましました。ここで一旦この項目の記述を終了して、別の項目を書いてからまだ戻って再開したいと思います。終了時刻を入れます。

<2014-04-04 金 12:12> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

<2014-04-04 金 12:22> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

さきに訂正しておきたい箇所があるので補充的な追記をしておきたいと思います。上記にアスタリスクの数について書きましたが、それは見出しそのものにおけるorg-modeの記法になります。

見出しに対するリンクも同じかと思っていたのですが、これは階層に関係なくアスタリスクを一つ付けることで、見出しのみをリンクのジャンプ先にする決まりになっているようです。

アスタリスクをつけないで2重のカギ括弧で囲んだ文字列は、ファイルの先頭から最初の同じ文字列がリンクのジャンプ先になるようです。つまり本文中であってもそちらに移るので意図せぬことにもなりそうです。

気をつけますが、見出しにまったく同じ文字列を使う可能性は少ないと思うので、＊をつければ関連する見出しへのリンクとして機能してくれると思います。このリンクを活用できるのはorg-modeを扱えるEmacsを使った場合か、エクスポートしたHTMLファイルに限定されるかと思います。

ファイルそのものはorgという拡張子がついているので、通常のWindowsパソコンであればシステムと関連づけのない形式と判断され、起動するアプリケーションの選択を迫られるのではないかと思います。

ファイルの中身そのものはテキストファイルなのでメモ帳でも開けますが、文字化けすることと改行が反映されない可能性が高いかと思います。文字コードがUTF-8であり、改行がUNIXになっているからです。

比較的バージョンの新しいワープロソフトであれば、普通のテキストファイルとして開いて閲覧することは出来ると思いますが、余計な記号も表示されるので、読みづらいのではないかと思います。

もっとも最終的には印刷用のファイルとして整形する予定でいますが、そちらもリンクは機能しないはずです。リンクを活用するにはHTMLのファイルをブラウザで開いて閲覧することをお奨めしますし、ネットで公開する文書もHTMLを前提に考えています。

また、試してみたところ＊を付けなかった場合、見出し以外の本文中にもリンクができると書きましたが、文字列中に該当する文字列が含まれる場合まで含まれるわけではないようです。文字列だけの一行で試してもみましたが、リンクにはならなかったようです。十分に理解できていない機能です。

<2014-04-04 金 13:00> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

### TODO 被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係について

#### TODO 平成9年当時における被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係

<2014-04-06 日 17:21> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

すでに何度か書いてあるはずですが、平成9年1月18日に満期出所した私をワゴン車に母親を連れて迎えにきたのは、被告訴人OSNと被告訴人OKNと被告訴人KYNの三人でした。

今思うと平成4年当時はそれほど被告訴人OKNと被告訴人KYNの付き合いというのはなかったようにも思えます。仕事の内容もずいぶんと違っていましたし、同じ金沢市内でしたが住んでいる場所も離れていました。

中学生の頃を振り返っても二人の付き合いというのは余りなかったと思います。被告訴人KYNの家で被告訴人OKNの姿を見たような記憶もないですし、被告訴人OKNの家で被告訴人KYNの姿を見たのわずかでした。

それでも二人とも私の結婚式にも出席していましたし、被告訴人KYNの結婚式にも被告訴人OKNで出ていて、被告訴人OKNの結婚式にも被告訴人KYNが出ていたので、やはり親密な関係ではあったと思います。

ただ、二人とも個性と自我が強いので、二人だけでの付き合いや行動というのは、私としても想像しにくいものがあったとは思います。

共通する趣味となると、酒を飲むことかと思いますが、被告訴人KYNの方は酒そのものをこよなく愛する感じで日本酒を飲むことが多かったと思います。被告訴人OKNの方は飲んで騒ぐことが好きな感じでした。

被告訴人OKNは家で晩酌するのも想像しにくいタイプでしたが、被告訴人KYNは必ずという感じで酒とおかずだけでご飯を食べないようなことも聴いたことがありました。このような酒好きは能登ではよくいるタイプです。

もっとも平成４年以前は、私の方が彼らとは仕事の内容も違って時間の不規則な長距離トラックの仕事が多かったので、会うことが少なかったとも言えます。被告訴人KYNの場合は住んでいるところが近かったので、割と気軽には足も向いていました。

これまでに何度か書いていると思いますが、被告訴人OKNは東京と神戸に住んでいた時期があり、その間は地元に帰ってくることも少なかったと思います。

それでも東京にいるときは、チェイサーという車に乗り、東京都内で車を所有していたようです。駐車場の料金の話もしていたように思いますが、働いている喫茶店の給料がずいぶんと安いような話だったので、不思議といえば不思議でした。

喫茶店には住み込みで働いているという話でした。東京の台東区で浅草辺りと言っていたように思います。その住まいにも一度実際に行ったことがあるのですが、ごく断片的な場面しか記憶には残っていません。

昭和58年の7月の20日頃だったと思います。私は自動二輪の免許取り消しが響いて、半年以上遅れてようやく普通免許を取得した直後でした。修理に出した車の代車のポンコツの車で、被告訴人OKNの住む東京に遊びに行ったのです。

被告訴人OKNが付き合っていた彼女のOMとHMを連れていったことははっきりと憶えているのですが、もう一人が姫のDMだったように思うのですが、それはちょっと記憶がはっきりしなくなっています。3人とも同級生の少女で当時16から17歳かと思います。

当日は昼に横浜に遊びに行ったことと、夜に新宿に遊びに行ったことを記憶していますが、泊まった場所ははっきり記憶していないものの、喫茶店の住み込み先以外には考えにくいです。翌日にはその年にオープンした東京ディズニーランドに遊びに行きました。

その年、つまり昭和58年のお盆には、黒のチェイサーに乗って帰省していたかと思います。東京では花屋敷にも遊びに行ったのですが、そこで被告訴人OKNが車を駐車していたような場面を記憶しています。

そして翌年の昭和59年の3月か4月の頃には東京を引き払って地元に戻り、4月頃には私の紹介で金沢市場輸送に入って、一緒に探した東力のアパートで住むようになりました。不動産屋は丸福不動産だったと思います。

既に書いているかと思いますが、7月の宇出津のあばれ祭りで腰に大怪我を負ったといい、中央市場に近い金石街道沿いの波多野整形外科に入院をして、そのまま仕事もやめて遊び回っていました。

その昭和59年の11月から12月頃には金沢市出雲町の北陸地建で土木工事のアルバイトをしていました。Googleマップでは同じ出雲町に同じ名前の会社があるので、当時の会社かと思いますが、建物は場所が変わっている可能性もあるかとは思います。

北陸地建（株） - Google マップ <http://bit.ly/1mSxWeS>

アルバイトをしたのは一月半か長くて2ヶ月だったと思います。私は札幌から戻った直後でした。このアルバイトには被告訴人OKNの他、HMと富来のOTも一緒でした。北海道から連れてきた滝川市の16歳の少年も途中から参加したかと思います。

HMと書きましたが、彼は何度か名前が変わっていて、最終的にはSMになっていたかと思います。三重県に住んでいたとも聞きましたが、複雑な家庭環境でもあったようです。付き合うようになったきっかけはOTの方が最初でした。

これも既に書いていると思いますが、被告訴人YSNの観音堂のアパートの同じ並びのアパートに住んでいた珠洲のYHのところに彼女と遊びに来ていたUHが、西念町の古い木造アパートに住むようになっていて、そこに遊びに行っているときに知り合ったのがOTでした。

この富来のOTが本陣住宅に入社したことがきっかけで、被告訴人OKNは本陣不動産で働くようになりました。紹介だと聞いています。本陣グループは他に本陣建設というのもありました。本陣グループとしてテレビのCMにも出ていました。

平成9年の7月の初めに私は被告訴人OKNに世話をしてもらった金沢市北安江の借家に引っ越して来ましたが、その7月の下旬には被告訴人OKNの紹介というか口利きで、SMが部長になっていた金沢市内の建設会社で仕事をするようになっていました。正社員ではなかったかと思います。

社会保険に入ったように思うので正社員になっていたものと考えるのですが、その年の10月頃にはやめていたので、短い間でした。小さな会社でしたが金沢市の下水の仕事を請け負っているとかで、伸び盛りの会社という感じでした。

SMに関してはプライベートな部分にも触れることになるかと思うので、会社の住所や会社名は書かないことにしておきたいと思います。ただ、金沢市でも四十万の方で北安江からもけっこう離れていました。四十万よりは手前になるかとは思います。

SMは部長という肩書きになっていたと思いますが、どうも営業の方をやっているような感じで、現場で姿を見ることも少なかったと思います。社長の下に番頭のような人がいて、珠洲の蛸島の人だと聞いていましたが、5つぐらいの年上だったかと思います。

SMはその蛸島の人と仲良くなって長い間一緒に仕事をしていたらしく、名前はだいぶん前からちょくちょく耳にしていたように思います。ちょっと特徴のある名前でもありましたが、下の方の名前だったと思います。

いつころとなると現在思い出すのも難しいところがあるのですが、長い間仕事もせずに遊び回っていたSMが、まじめに仕事に取り組むようになったのは土木の仕事だったと思うのですが、東金沢というか鳴和の方の会社だと聞いていたような記憶があります。

SMと知り合ったのは昭和59年の夏頃かと思います。OTと知り合ってすぐでした。OTは金沢駅西口に近い広岡町のアパートに住んでいましたが、けっこう豪勢で新しい建物と部屋で階数が2階建てだったような気がしますが、マンションという感じの住まいでした。

そこに彼はMNという少女と同棲していました。少女といっても当時のことで年は私たちより2，3年下ではなかったかと思います。富山の高岡市の出身とも聞いていましたが、のちに被告訴人OSNの鳶の有限会社でナンバー2の番頭格になった宇出津のHSのこともよく知っている用でした。

ナンパされて付き合いがあったらしいですが、真脇の私の一つ年下のKHのこともよく知っているようなことを話していました。その後も1年ぐらいはOTを交えて付き合いがあったと思います。

昭和60年の秋の終わりか初冬の頃には、しばらく私の東力のアパートに二人で居候していた時期もありました、OTがガス代を払うと見得を切って実行してくれなかったおかげで、私は長距離から夜中に帰ったとき、2度ほど水風呂に入ったことがありました。雪の降るような時期だったと思います。

私自身、当時は中西運輸商の仕事で東力のアパートには帰ることも少なかったので、一緒に生活していたような実感も残っていないのですが、どうでもいいようなたまり場になっていましたし、誰が生活しようとさほど気にせずにいたと思います。

そこ頃だと思いますが、SMが牛のもも肉のステーキをニンニクを使った手料理で振る舞ってくれたことがありました。その時も以前に板前の修業をしていたと話していました。

知り合った当時のSMは北安江の大きな交差点の側の大きなマンションで、金沢市畝田町の一つ年下ぐらいの女と同棲をしていました。私が知り合ってからも半年ぐらいは付き合いが続いていたような気もしますが、別れたらしくそのうち話も聞かなくなりました。

OTもSMも仕事をしていない時期が長く、お金に困る生活も続いていたようです。ただ、今考えると北安江のマンションの後のSMの住まいは把握し出来ていないところもあったかと思います。もともと金沢市彦三の方に家があるようなことも話していたかと思いますが、親戚の家とも聞いていたかも。

石川県金沢市彦三町 - Google マップ <http://bit.ly/1ejVTUg> ←　改めて調べると彦三というのはこのあたりでした。私自身漠然と尾張町と瓢箪町との間ぐらいという認識しかありませんでした。

もともと地図を開いて金沢市内の住所を調べると言うことはほとんどやったことがなかったのですが、電信柱に書いてある住所を見て、どこがどのあたりということを把握していましたが、彦三の辺りというのは滅多に行くこともなかったかと思います。

親子関係とかその辺りも複雑な家庭環境のように聞いていたと思うのですが、どこか金沢地方裁判所の近くの養護施設で生活していたようなことも聞いていたように思うのです。これには被告訴人YSNと関係した人物で、他の話も印象的に憶えていました。

SMは割と気さくに自分の家庭の事情を話していたと思うのですが、私自身も立ち入ったことは聞かないようにしていたように記憶しています。もともとずいぶんと古い記憶なのですが、語られる内容を一方的に聞いていたような情報なので、どうもはっきりしない部分もあるかと思っています。

ずっと前から気になっていた問題なのですが、他人のプライバシーにも関わる事柄であり、どこまで踏み込むかずいぶんと迷ってきました。これは木梨松嗣弁護士と被告訴人OKNとの関係において特に気になる重要部分にも触れる可能性があるので、項目を別にして書いておきたいと思います。

ここでは被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係に焦点を当てて書いておきたいと思います。自分自身の記憶の整理もありますが、人間関係も整理しておいた方がよいかと思います。

被告訴人KYNは石川県立水産高校小木分校を卒業したあと、一年間ぐらいは父親の漁船に一緒に乗り漁をしていたと聞いています。朝鮮との境の辺りまで行き、数日間を海の上で過ごすとも聞いたことがありました。

そのうち家族の大反対を押し切って漁師をやめ、宇出津で水道屋というか配管お仕事を始めたと聞きました。

この間、何度か宇出津の被告訴人KYNの家に遊びに行って直接話を聞いたりしていたのですが、そういう機会も回数は少なかったと思います。私自身金沢に住んでいて宇出津には滅多に帰らなくなっていたからです。

宇出津の水道屋で働いていたというのも一年ぐらいだったかと思います。ずいぶんと不満があるらしく不当な扱いを受けているようなことも会ったときに話していました。

昭和58年の夏、私は白色のローレルという車に乗っていたのですが、そういえば夜にその車で遊び回っていたところ、宇出津駅の近くで夜間工事をする被告訴人KYNの姿を見たような記憶があります。

彼はその昭和58年の春先に高校を卒業しているはずなので、それを考えると家の船に乗っていたというのはもっと短い間であったことが考えられます。一年ぐらいと彼の口から聞いたような憶えもあったのですが、その場の思いつきで話していたのかもしれません。

秋になると私は同じローレルですが、黒と銀色の当時流行のツートンカラーの車を、輪島の若者から購入していました。輪島まで夜に車を取りに行ったことも憶えています。

白いローレルは宇出津の一つ年上のSさんから買っていたものですが、何度かぶつけて保険で直したりもしていたのですが、買い換えた方が良いという判断で廃車にしたと思います。

金沢市観音堂の被告訴人YSNのアパートに転がり込んだいた頃でした。藤江の輪島の暴走族のたまり場で、知り合った関係から売買が成立し、輪島まで車を取りに行ったのです。

その輪島の暴走族のリーダーがKTだったことは既に書いていると思いますが、被告訴人YSNの方が親しい関係でした。どういうつながりだったのか今は思い出せなくなっている部分もありますが、誘われて集団暴走にも何度か参加したことがありました。

私は被告訴人YSNの車に同乗しての参加でした。よく憶えていることは滝本組の参加と聞く暴走族の司（つかさ）と対立しているらしく、暴走中に出くわすことがあれば徹底的にぶちのめしてやれ、というような訓辞も受けていました。

藤江の陸橋の側の大きなアパートをたまり場にした輪島の暴走族の集会に被告訴人YSNと参加したのは2，3回ではなかったかと思います。リーダーであったKTが観音堂の被告訴人YSNのアパートに直接来たこともありましたが、何時どこで集会があるので集まらないかという誘いだったと思います。

一度、少し出世をしたような話を聞く若い暴力団員のアパートに遊びに行ったこともありました。だいたいの場所ですが、直線距離で観音堂のアパートと藤江のアパートの中間ぐらいの場所にあるアパートの一室だったと思います。住所は松村かと思いますが、お踊りからずいぶん外れていました。

けっこう大柄で背中に般若の面の入れ墨を入れた暴力団員でした。組の名前も当時は聞いていたと思うのですが、私がすぐにピンと来るような組の名前ではなかったように思います。珠洲のYHが一緒にいて彼の知り合いとしてそのアパートに遊びに行ったように思いますが、記憶は断片的です。

当時の金沢の暴力団というかヤクザの組としてよく聞いていたのは、福島組、紺谷組、松元組、滝本組、北野組でしょうか。たぶんそれ以外だったと思います。

石川県金沢市畝田西１丁目９３ - Google マップ <http://bit.ly/PJYi4W> ←　その観音堂のアパートがあったのはこの辺りかと思います。観音堂という町名は今もあるようですが、この場所は畝田になっているようです。

今、Googleマップで確認したところ当時、運転免許センターがあったあたりは、現在大徳中学校の敷地になっているようです。免許センターのすぐ近くであるだけにとても目立つ場所でもありました。

ちょっと絵を描いて説明しておく必要もあるかと思っているのですが、そのアパートは古い2棟のアパートが向き合って建っていました。平屋だったという記憶がある一方、最年長者らしい人物の部屋だけは2階にあったような記憶があります。

その最年長者らしい人物の部屋には、多分一度だけ入った頃があり、羽咋のIという男がヤクザをやめたお祝いという名目での集まりでした。

羽咋市にある雷神という大きな暴走族の元メンバーだったとも聞きましたが、知り合った頃は確か紺谷組系の暴力団員でありながら、組からも警察からも保険金詐欺の容疑とかで逃げ回っているという話の男で、年は私の一つ年上だと聞いていました。色の黒い男でした。

そういえば、被告訴人YSNからそのIに関する話を最後に聞いたときは、羽咋市に戻って食堂をやっているような話でした。私は平成14年の11月から平成21年の3月まで羽咋市内に住んでいましたが、思い出して考えることもなかったと思います。

羽咋市は能登では七尾に次いで大きい町だと思いますが、店も多い割には外食をする食堂も少なかったという印象があり、なかなか不便にも感じて生活していました。Iが働くような店のことを考えたこともなかったと思います。

昭和58年の8月の下旬だったと思いますが、宇出津の二つ年上の先輩DKさんの家で被告訴人YSNと再会したときも、そのIとナンパをしたような連れの女の子が2人いました。4人で来ていたのですが、その場で観音堂のアパートのことを聞き、遊びに来るように誘われたのです。

Iが所属していたと聞いていたのは山本総業ではなかったかと思います。当時はけっこう有名な暴力団事務所で、広小路の坂の途中、アーケードの一角のようなところに組事務所がありました。小さい建物でしたが目立つ場所で、選挙事務所のような感じもあったかと思います。

山本総業は紺谷組ではなかったかと思いますが、当時の若者の間では「やまそう」と呼ばれていました。Googleマップで場所を示しておこうと思いますが、とにかく目立つ場所でした。商店街の一角とも言えるかもしれないです。

石川県金沢市野町２丁目３０−８ - Google マップ <http://bit.ly/PK6u5l> ←　ヤマソウこと山本総業の暴力団組事務所があったのはだいたいこの辺りかと思います。大通り沿いです。

今回、Googleマップで調べてみて私自身初めて知ったのですが、金沢市に広小路という町内名はないようです。片町にもつながる大きな交差点を広小路の交差点とも読んでいましたが、正式には野田広小路になるのかもしれません。

ヤマソウがあった並びが野町になるというのも意外でしたが、よく見ると「にしの茶屋街」という大通りを挟んだ反対側も同じ野町2丁目になるようです。

本書でも前に触れているように思いますが、その現在観光地のようになっている「にしの茶屋街」の辺りの野町の一部と増泉1丁目の辺りは「いっさか」と呼ばれる特別な地区でもありました。昔は遊郭があってその後は赤線地帯とかにもなっていたようです。

「いっさか（石坂）」でも増泉1丁目でない野町の辺りは、以前から伝統芸能の観光地のような雰囲気がありましたが、被告訴人TSKの家はその辺りにあるとも聞いていました。実際にどの辺りか調べたことはないので、どんな家なのかもわかりません。

被告訴人TSKが自分の妻のことを、昔、その石坂のあたりでパンパンのリーダーのようなことをやっていたと話したこともありましたが、まともには聞いていなかったので、真偽の程も不明です。パンパンというのは死語になっていると思いますが、必ずしも売春婦ではないとは思います。

伝統のあるヤクザの家で組長をやっていたという話も聞きました。松葉会といような名称も聞いたように思いますが、同じ名前で全国的に有名な組織もあったはずなので、これもまともには聞いていませんでした。

人を食ったように虚実を織り交ぜたような話をするということでは、ほとんどが被告訴人TSKに対して同じような印象を思っていたと思いますが、実があればこそ会社の社長にもなっていたはずで、デタラメばかりではないはずですが、真剣に被告訴人TSKについて調べたような話も聞かなかったです。

被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係というテーマからだいぶんずれてきたようですが、まったく関連性がないような話でもありません。そもそも一番肝心なのが木梨松嗣弁護士と被告訴人OKNの関係であり、間接的にも参考や手がかりにもなりうる事実や人間関係だと思います。

被告訴人OKNがことさらに親密な関係を口にしていたのが姫のNKさんでもありますし、被告訴人MHK社長とは確実につながりがありながら、私の目からは関係を意識させないように振る舞っているようにも見えていました。直接向かい合って話をする姿も見たことはなかったです。

私は必ずしも姫のNKさんや宇出津のK村さんが事件に関与している怪しい人物であると言っているわけではありません。人間関係として接点があるのも間違いのない事実であり、真相を隠すため盾のように利用され悪影響を受ける可能性もある人たちとも思っています。

私は何年も何年も前から、同じような事実を金沢地方裁判所や金沢地方検察庁に提出する書面に書いてきました。警察や検察には捜査権限もあるので、必要を認めれば当然に調べていることでしょう。その過程にも間違いが起こる可能性があり、巻き込まれてしまう可能性も否定は出来ないはずです。

また、被告訴人OKNがいかに他人を利用し、画策を実行したかについては、私自身の体験としても刻まれている事実であって、実生活に相当なダメージも受けたはずです。

プログラムの世界では可読性の悪くなったソースコードのことをスパゲッティプログラムと呼ぶそうですが、書いている私自身が、状態を把握し収拾するのが難しくなってきました。羽咋のIのようなことは枝葉の事実なので、本体から切り離したいとは思うのですが、そういう細かいことも多いのです。

軽く触れると、羽咋のIはその後、被告訴人YSNが活躍した中央防災の社長であった輪島のKさんと一緒に暴力団員になり、山口組と一和会の抗争の時に拳銃を渡されて鉄砲玉を命じられ、そのまま逃亡したと被告訴人YSNは話していました。

そういう人間関係も普通は一時的なものが多いと思うのです。実際に私もそういう一時的な人間関係が多くありました。同時にそういう関係が、他の人との関係で接点を持つことが想像以上に多いと言うことも刑務所経験で知りました。友達の友達とか、友達の知人というような関係です。

中央防災についても書いておいた方がいいと思うことがあるのですが、そちらは被告訴人YSNに関する特集のような項目で取り扱った方が良いかと思います。

この被告訴人OKNと被告訴人KYNに焦点を当てた項目において書いておきたかったのは、藤江の輪島の暴走族のたまり場に、知り合ったばかりの頃の富来のOTも出入りしたり、集団暴走に参加していたと話していたことです。黄色のカリーナとも改造車のことを話していたことを記憶しています。

石川県金沢市藤江南２丁目１３ - Google マップ <http://bit.ly/1e8TSj9> ←　輪島の暴走族のたまり場のアパートがあったのは、だいたいこの辺りからと思います。

木造のアパートの建物も大きかったですが、駐車場も広かったです。舗装はされておらず空き地のような駐車場であったような気もしますが、沢山の車を駐車することが出来ました。近くにはバイパスレジャーランドのゲームセンターも当時からあったように思います。

ついでに当時のUHの西念町のアパートもだいたいの場所を示しておきたい思います。新しく広い道が出来たりして周辺の道路事情もいっぺんしているかとは思いますが、同じ西念でも中央市場のすぐ近くではありません。むしろ北安江に近いかとも思います。

ルミナス・モアーＢ - Google マップ <http://bit.ly/1qo39Eb> 石川県金沢市西念２丁目６ ←　UHのアパートがあったのはこの辺りかと思います。

金沢の中央市場の正門には角に派出所があって、そこから一直線の通りでした。道幅が狭くなってから右手に「大三元」とかいう黄色い看板があったような記憶があります。その辺りを右に入って30メートルぐらいの左手にあるアパートでした。かなり古い木造アパートでした。

その大三元とかいう小さい看板のもう少し先には左手に3階建てぐらいの鉄筋のビルがあって、一階が寿司屋のような店になっていたと記憶していますが、その小さなビルの3階に珠洲のYHが住んでいました。

2回ぐらいか回数も少なかったと思いますが、そのYHのところに遊びに行ったことがあり、はっきりとは憶えていないのですが、他には考えにくいこともあって、たぶんその時にYHさんから近所にUHが住んでいると聞き、おもしろ半分でアパートに訪問したところ、そこにいたのだと思います。

当時、YHさんは高井水産に勤めていたと思います。初めは高井水産でつぶれた運送会社を数年前に引き取ったというような話も聴いていましたが、社内で社名の募集などがあり、山水運輸に決まったのではなかったかと思います。

高井水産から山水運輸になったことは間違いないのですが、いきなり山水運輸運輸になったのか、それとも一時期違う名前だったのかということで、やや記憶に自信が持てないのですが、候補の名前をいくつか聞いていたことで、記憶もおかしくなっているように思います。

高井水産に初めに入社したのは珠洲の三崎のSKでした。年は同じ同級生だと聞いていました。背も高く切れ長の目も特徴であったかと記憶しています。小松市の一つ年上ぐらいの女性と、神田の消防署の近くのアパートで同棲していました。

消防署と言っても小さい建物でしたが、その近くのアパートには宇出津のDKさんが住んでいたり、小木分校を卒業したばかりの真脇の被告訴人HTNの同級生Sさんが住んでいたアパートがありました。

このSさんものちに山水運輸で働くようになっていました。被告訴人OSNとの付き合いも親密な時期で、西インターの近くのバイパス沿いの新築のアパートに引っ越してからは、何度か被告訴人OSNらと遊びに行ったことも憶えています。

金沢港や中央卸売市場の新鮮食材を全国にお届けいたします。山水（やますい） <http://yamasui-fish.co.jp/index.html> ←　山水運輸のホームページのようです。

これをみると山水だけになっていて運輸とはついていないようにも見えますが、グリーンとクリーム色のようなトラックの色は、高井水産の頃から変わっていないと思います。カジキのマークやトラックのデザインも平成3年当時から変わっていないように見えます。

平成4年頃には中央市場の裏の方に会社事務所が移転していたようには思いますが、以前はバイパス沿いの周りになにもないような辺鄙な場所に会社があり、事務所の建物も建設現場の仮設事務所に近い感じであったとも記憶しています。

そういえば思い出しましたが、珠洲の三崎のSKは、その後山水運輸をやめて、しばらくしてから新田商店の4トン車に乗務するようになったと聞いていました。実際に、金沢港で仕事をする姿を見ていたような憶えもありますが、言葉を交わしたという記憶は残っていません。

その頃、金沢市場輸送で金沢港に魚を積むに行くのは縁の切られた丸中水産ではなく、新田商店の仕事になっていたと思います。蛸島のTSさんが松波の漁港で岸壁から海に飛び込み自殺したというニュースは平成1年の1月中頃ではなかったかと記憶しています。

昭和59年に私が金沢市場輸送で長距離の仕事を始めた頃は、蛸島のTSさんは新田商店で4トン車に乗っていると聞いたいたように思います。TSさんの話の大半は被告訴人OSNから聞いたものであったと思います。

新田商店は河北郡七塚町に会社があるとも聴いていました。その頃は4トン車が4台程度だったと思います。

何度か書いていると思いますが、金沢港でまとまった鮮魚の全国向けの仕事があるのは、6月前後のスルメイカのシーズンぐらいでした。実質は一月もあるかなしだったと思いますが、その時期は扱う荷物の量も多く忙しかったです。

昼というか午後に競りがあってスルメイカを積み込んでいましたが、本来的な金沢港の鮮魚の競りというのは夜に行われ、23時ぐらいに大阪、名古屋、新潟に向けて出発すると聞いていました。

その夜の仕事のほとんどは運送会社ではなく、新田商店のような魚屋が自社で所有するトラックで運んでいました。当時は全て4トン車だったと思いますが、昭和63年頃になると新田商店も10トンの大型車を一台は入れていたと記憶しています。

金沢港での売り場は、県漁連という場所と、大野埠頭の入り口のような場所に南浦漁協という売り場が別にありました。私の経験ではどちらからも荷物を積み込んでいましたが、ふだん待機などをしているのは県漁連の売り場の前でした。

ざっと思い出すだけでも新田商店の他、直市商店、表商店、という魚屋があって、赤宋水産というのもありましたが、魚屋と言うよりは運送会社に近いような話も聴きました。いずれも白ナンバーのトラックでした。他にもあったと思いますが、新田商店の4台という所有は一番多かったかもしれないです。

蛸島のTSさんに関しては、新潟県の柏崎市というか米山インターというのがあったと思いますが、高速道路である北陸自動車道が通行止めの時、側を走る国道8号線で吹雪の中、大きな衝突事故を起こしたとも聴いていました。新田商店のトラックだったと思います。

それほどひどい大怪我を負ったとは聴かなかったように思いますが、つぶれた車内に閉じこめられレスキュー隊に救助されるまでかなり時間が掛かったというような話も聴きました。

そういう話は聴いていたのですが、実際に新田商店のトラックに乗るTSさんの姿というのは見たことがなかったと思います。他にも新田商店の運転手の話は、ちょくちょく耳にしていましたが、今の記憶では被告訴人OSN以外の話としては考えにくいです。

TSさんは珠洲市の蛸島の人だと聞いていました。当時の国鉄も能登線の終着駅が蛸島駅になっていました。同じ珠洲市でも大谷のYSさんは水産高校の寮に入っているとか入っていたと聞いていましたが、TSさんの場合はまず汽車通学だったと思われます。

TSさんに関しては初めに町野高校に行き、なにか事情があって一年生の時にやめ、翌年に一年生として水産高校に入ったと聞いていました。実際の年齢などは同級生より一つ上になりますが、被告訴人YSNとは同級生で同じ漁業科のクラスメートでもあったはずです。

このあたりはその年代の石川県立水産高校の卒業アルバムを何度か見ることがあったので、被告訴人YSNと一緒に撮影されている写真も見ていました。

水産高校には他に機関科と製造科があり、製造科のほとんどは女子でした。私も通った小木分校には無線通信科がありましたが、本校に行くのは始業式の他、年にほんの数回程度でした。

水産高校の本校は同じ宇出津にありましたが、それだけではなく中学時代の同級生が何人も通っていたので、いろいろと話を聴く機会はあり、被告訴人YSNのことも高校一年生の頃には聴いて知っていました。

初めに話を聴いていたのはHSだったと思いますが、とても怖い感じの先輩で鬼のような顔をしていると話していました。同級生のDKさんも高校に入った頃の被告訴人YSNは、ぴしっとしていたけど、そのうちおかしくなっていったとしみじみ語ることがありました。

被告訴人YSNは私の二つ年上なので、私たちが高校一年生の時の3年生でした。名前だけは聞いていたとも思いますが、直接会ったことはなかったと言えばなかったのですが、一度HSらと鵜川の同級生の家に泊まりがけで遊びに行ったとき、夜の町で出くわして話をしたようなことはあったと思います。

鵜川は宇出津と同じ能都町でしたが、中学校は能都中学校と鵜川中学校で別になっていたので、親戚関係でもなければ高校入学以前の交遊や交流というのは、ほとんどなかったはずです。

私の場合は、新だ父親の姉だったかが鵜川の町に住んでいたことがあり、小学校の低学年の頃までは何度かその親戚の家に行くこともあったと記憶しています。それとは別に、寺参りによく母親に連れて行かれたことも憶えています。

宇出津とは距離でも10キロ弱ぐらい、車でも10分弱ぐらいではないかと思います。穴水や金沢方面に行くときの国道249号線の通り道でもありましたが、平成に入った頃になると、柳田村の上町を経由して穴水に行くことが多くなったとも言えます。

上町経由の道は現在、珠洲道路という看板も出ていますが、昭和58年頃も道はあって、通行はしていたものの、一部舗装のされていない砂利道の区間もあり、道も今ほど整備はされていなかったように思います。農面道路とも呼ばれていたと思います。

昭和56年の6月に私は小木分校を中退し、6月の終わりか7月頃には金沢の問屋団地でガソリンスタンドの仕事をするようになっていました。面接に行ったのは森本に近い神谷内のガソリンスタンドだったと記憶していますが、問屋団地のガソリンスタンドには寮もありました。

増泉1丁目のアパートに住んでいた被告訴人OSNのところに何度か遊びに行っていましたが、一度、どこかで被告訴人OSNの知り合いの車に出会い、その車で問屋団地まで送ってもらったことがありました。

その場ですぎに気がつかなかったのかもしれないのですが、それは蛸島のTSさんの車で、助手席に同乗していたのは被告訴人YSNだったはずです。話には聴いていたTSさんでしたが、実際に間近であったのは、その時が最初だったとも思われます。

私は本来2年生に進級したところで中退しましたが、その年の春に高校を卒業したのが被告訴人YSNらの年代だったはずです。

既に書いていると思いますが、TSさんは金沢市場輸送で長距離トラックの仕事を始めたと聞き、被告訴人YSNは中央市場のウロコ水産で仕事を始めたと聞いています。ウロコ水産は石川中央魚市とならぶ、競りを主催する鮮魚の売り場でした。

昭和59年当時、新田商店の話はよく耳にしていたことを憶えています。珠洲市の見附島の付近の人だと聞いていましたが、何とかという人の名前をよく聞いていました。変わった名前でしたが二文字で下の一文字は記憶しています。豪傑のような伝説的な人物のように話を聴いていました。

その人物に関しては直接見たという記憶がはっきり残っていないのですが、どこかに駐車してあることの多いトラックはちょくちょく見かけていた記憶があります。今思い出したのですが、箱の後ろだったかに観音様か何かの絵が描かれていたように思います。

新田商店のトラックは保冷車はほぼ例外なく飾りをつけていたと思います。トラックの飾りが全国的に流行したのは昭和61年辺りからではなかったかと思いますが、逆に時代をさかのぼるとトラック野郎という映画が流行し、そちらも飾りや電飾を流行にしていました。

どちらかと言えばそのトラック野郎の時代の流れがあったかと思います。昭和60年辺りになると飾りも昔とは違ったものになっていたと思いますし、「カミオン」という専用雑誌の書店に並ぶようになっていました。

トラック野郎という映画はその後、ビデオなどで見ましたが、リアルには実感することはなかったように思います。同じ菅原文太が主演でしたが、仁義なき戦いの方が宇出津でも、リアルに流行していたことは憶えています。

宇出津に映画館があったのもその仁義なき戦いが大ヒットしていた時代でしたが、その後まもなく閉館しました。小学校6年生の時だったと思いますが学年で「日本沈没」という映画を見に行ったことは憶えていますが、その1年から3年の間には閉館していたと思います。

金沢市内にレンタルビデオ店が出来たのも昭和59年の夏頃だったと記憶しています。今では考えられないことかと思いますが、当初は1本で1500円の料金ではなかったかと思います。レンタルビデオが普及していく時代の幕開けでもありました。

金沢のレンタルビデオ店でトラック野郎のビデオを借り、それを宇出津の城野町の二つ年上の先輩の家でみたことも、よく憶えています。昭和59年の夏頃ではなかったかと思います。

その先輩も被告訴人YSNとは同級生でしたが、水産高校を中退したとは聞いていたものの、それも被告訴人YSNと同じ漁業科と聞いた憶えもあります。

その先輩と初めて知り合ったのも昭和56年の12月頃かと思います。姫のNKさんと同じ頃で、どちらも小木か姫の遠洋漁業から戻ってきたところと、聴いていたように思います。NKさんの方は、そう聞いたとよりはっきり記憶しています。

宇出津の城野町というのは現在も数こそ減っているとは思いますが、ほとんどが町営住宅の集まる町内でした。同級生のHSも城野町で、彼のところにはよく遊びにも行っていました。

改めてこの項目のタイトル名を見ると平成９年当時の被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係になっていました。なにか勘違いしたまま書き続けていたようです。これは4月10日の初めての記述になるかとも思います。

被告訴人OKNと被告訴人KYNに共通する人物としてSMやOTの説明をしてきたことは十分に意味のあることです、平成9年の時点でも被告訴人OKNは本陣不動産の営業課長になっていたかと思いますが、その本陣不動産の入社のきっかけになったのもOTという友人関係があったからです。

不動産の仕事を始める前の被告訴人OKNは、車のブローカーというか売買の仕事も手がけていました。ここに絡んでくるのがUHです。UHはOTと知り合うきっかけとなった人物でもありました。

宇出津の城野町の先輩についてはまた違ったところ書こうと思いますが、昨日辺りに新たに思い出したことがありました。私自身は長距離の仕事で忙しかった時期だと思うのですが、OTとSMの二人が宇出津に遊びに来ていた時期があり、城野町の先輩とも一緒に遊んでいたという話でした。

こういうことを書いてよいものか多少迷うこともあるのですが、その辺りももうしばらく検討したいと考えています。被告訴人OSNとの関係でも重要な接点がある人物で、平成9年に福井刑務所を出てから一度も顔を合わせず、近況について詳しい話題を聞かなかったことも気になっています。

被告訴人OSNの会社をやめてから型枠大工の仕事をしているとは聞いたと思うのですが、金沢に住んでいるのか、どの辺りに住んでいるのかという話も全く聞きませんでした。ただ、城野町の先輩の甥にあたるような若者が、被告訴人OSNの会社で働き、活躍しているとは聞き、何度か会っていました。

城野町の先輩についてはこれまでに何度か書いていると思いますが、プライベートな問題もあって、配慮に迷うところがあります。真相を正しく伝えるためには不可欠と思える事実もあるのですが、記憶がはっきりしなくなっている部分も当然にあることでしょう。

平成9年の7月の下旬ぐらいからSMが部長をする建設会社で作業員の仕事をするようになったことは既に書いていると思います。規模としては20人もいないような会社ではありましたが、金沢市の仕事を入札して請け負っているなど、成長しているような会社でもありました。

8月に入る前に仕事は始めていたと思います。北安江の借家に引っ越してきたのが7月の1日か2日だったので、予め用意されたように事が運んでいたという気もします。そのあと被告訴人KYNの世話になるときは、多少渋るような対応もあって、もう少し時間も掛かったかと思います。

その建設会社で仕事を初めて10日か2週間ぐらい経った頃かと思いますが、車を買うことでSMに相談をしました。家を処分した現金があったのでどこで買っても良かったのですが、SMに世話になったということで、相談もしてみたのです。

その時に紹介されたのがTという人物でした。会ったことはなかったものの名前は以前から聞いていたような気もします。年は私たちより二つぐらい年上と聞いていたように思います。SMとの関係については聞いたような気もしますが、憶えていません。

店舗を持たずに車の売買をやっていたような感じであったと思います。初めにどこで会ったのかも思い出せなくなっていますが、すぐに代車の車を貸してくれました。車種はローレルだったと思いますが、自分の知る昔の型とはまるで違っていて、トヨタのマーク2にも似ていると思いました。

平成4年の4月からその平成9年の1月18日まで私は刑務所や留置場にいたので、世の中がけっこう変わり、町を走る車も見たことのないモデルが多かったとは思います。色はベージュのような色だったと思います。新しい型には見えましたが、車自体はかなり使い込まれているという感じでした。

車を探してもらって、最終的にホンダのトゥデイという軽四を買ったのですが、納車というか乗れる状態になるまではけっこう日数もあったように思います。だいたいになりますが、初めに代車を借りてから3週間ぐらいでしょうか。

どこか金沢市の出雲町あたりか古い整備工場の前で車を受け取ったような記憶もかすかに残っています。Tに関してはどこだったかのマンションに住んでいるとは聞いていました。どのあたりだったか思い出せないですが、藤江の方だったような気もします。

その時に買ったホンダのトゥデイは平成16年頃まで乗っていたと思います。羽咋市に住んでいた頃でしたが、故障してずいぶんと修理代が掛かると言われたので、その店で新車を購入したのです。日産のモカとかいう車ですが軽四でした。

平成21年の3月15日に車検が切れたと思います。それに合わせて羽咋市のアパートを引き払い、宇出津に戻ってきました。それが2度目の車検だったと思うので、初回が3年、その後の2年ということで5年前の平成16年の3月頃に買ったものかと思うのです。

私は平成11年の8月12日に金沢中警察署に逮捕されてから金沢刑務所に服役し、満期で出所したのが平成13年12月31日でした。頼んだつもりもなかったとは思うのですが、被告訴人OKNがそのトゥデイをあずかってくれていました。

その日、金沢刑務所の正門の前で、被告訴人OKNがワゴン車に乗って待っていたことは、すでに書いているかと思います。被告訴人OSNの鳶の仕事で使っているワゴン車ではないかと思いましたが、建設現場に出入りしているようにも思えないような車内でもありました。

金沢刑務所は金沢市田上にあります。市内の中心部から海とは逆の方角で山の方に行った辺りです。住宅地としても開けていたと思いますが、富山県の方にも近い金沢市内のはずれの方です。ちょっと道を違えてさらに奥に行くと湯涌温泉もあります。

なんと言っても12月31日は大晦日であり、普段とは違った街の雰囲気もあったかと思います。午前中だったと思いますし、福井刑務所の時のように長い時間待たされたような記憶もないので、午前9時頃には釈放されていたのではないかと思います。遅くても10時ぐらいには。

平成4年の事件の時とは違って、平成11年の事件の時は、被告訴人OKNは一度も面会に来なかったと思います。拘置所にいたときだけではなく、金沢中警察署にいたときも来なかったように記憶しています。

被告訴人KYNは一度は金沢中警察署に面会に来たと思います。どんな話をしたのか憶えていませんが、配管の仕事で来ていた金沢中警察署の建物に、こういうかたちで来ることになるとは考えたこともなかったと、驚いた様子で話をしていた場面を一つ、憶えています。

被告訴人KYNとは逮捕される数日前に、専光寺の近くにある病院で会っていました。久しぶりに自宅に連絡を入れたようにも思いますが、入院していると聞かされて向かったはずかと思います。これも別のところでもう少し詳しく書いておきたいと思います。

平成9年当時の話に戻したいかと思いますが、その前に途中にもなっているかと思うOTらとの出会いについて書き残していることを書いておきたいと思います。

西念町のUHのアパートでOTと初めて出会ったのは昼でした。そもそもそのUKのアパートに遊びに行った記憶があるのはほとんどが昼間で、例外はその昭和59年と思われる年の12月24日のクリスマスの夜でした。あれはあのアパートに行った最後かもしれません。

OTとはすぐに意気投合するような関係になったと記憶しています。初めて合った当日の夜と思われるのですが、これも忘れることのない出来事がありました。と言ってもごく断片的な一場面になっています。

場所が粟崎という金沢市内の地名であったことは印象的に記憶していますし、確かに行った場所も粟崎の付近で内灘駅にも近い住宅地だったと記憶しています。内灘駅は浅野川線の終着駅でもありますが、内灘は金沢市内ではなく河北郡内灘町です。

昨年辺りに無料化され「のと里山海道」というような名称に変更されたようですが、能登有料道路があって内灘はその出入り口のような場所でもありました。また、「海浜（かいひん）」と呼ぶことが多かったとも思います。

石川県金沢市粟崎町 - Google マップ <http://bit.ly/R8ObYw> ←　こちらで確認しました。自分が思っていたよりは狭い範囲のようです。

ついでに書いておくと粟崎の隣には五郎島という場所があり、Googleマップをみると五郎島町になっているようです。石川県内では五郎島金時というサツマイモで有名な場所かと思います。

平成3年の7月から9月の間はよくその五郎島にセイゴ釣りに行っていました。スズキの一回り小さいのですが、40センチぐらいのはよく釣れていました。60センチ以上になるとスズキと呼ぶとか聞いたこともあります。

五郎島も金沢港の一部になるかと思いますが、他の場所では1メートルほどのスズキまで釣れると新聞に出ていたので知っていました。スズキを狙うのはルアー釣りだと聞いていましたが、私は電気浮きに大きな青虫をつけて釣っていました。

何がきっかけだったか憶えていないのですが、五郎島にはよく行っていました。仕事が終わった夕方からで21時かおそくても22時にはやめていたと思います。釣りに行って釣れなかったことは一度もなかったと思いますが、持って帰って食べることもなかったです。

金沢港には石油タンクもあって魚が油臭いとも聞いていました。一度だけ50センチ以上のが釣れたので持って帰り、家の冷蔵庫で冷凍しておいたところ、市場急配センターの「まさやん」という人が欲しいと言ったので、会社で手渡したことを憶えています。

スズキは黒くて鯉のような色をしたのが多かったと思いますが、五郎島ではヒラスズキというのも釣れました、これはきれいな色をしていましたが、食べようと考えたことはなかったです。

平成3年の7月、前妻に最後に家出をされた日の前日も、夕方の早い時間に五郎島にセイゴ釣りに行ったと記憶していますが、その時は被告訴人YSNも一緒でした。他にも被告訴人YSNと一緒に行くことが多かったと思います。3回に1回は一緒だったように思います。

私は宇出津という海のそばで生まれ育ったこともあり、小さい頃から中学生の頃までは、けっこう魚釣りをしていた時期がありました。小さい頃は冷蔵庫にある刺身などを持って釣りに行っていたことも憶えています。魚の刺身は好きではなかったです。

高校生になった頃から魚釣りをした記憶はないと思いますが、金沢市場輸送の大型保冷車に乗務し、仕事も慣れてから、道具を揃えて魚釣りをするようになりました。きっかけは憶えていないですが、誰かに誘われたようなことではなかったと思います。教わった憶えもありません。

金沢市の東力のアパートに住んでいましたが、近くに「釣り具の丸越」がありました。神田店ということになっていたでしょうか。本店だったような気もします。「まるこしに釣れたの」というテレビCMでもお馴染みの店でした。

西念町の方にも丸越の店がありました。竿やリールの道具を揃えたのはこちらの店の方であったかもしれません。金沢駅西口から一直線の50メートル道路沿いで8号線バイパスにも近いあたりでした。

道具は丸越で買いましたが、エサの青虫はほとんどを金石の小さい釣具店で買って、それから釣りに向かっていたと思います。ずいぶんと大きくて太い青虫でした。生きたまま使うエサなので、決まって買ってから釣り場に向かっていたと思います。

金沢港での魚釣りの話は、別の機会にすることがあると思います。当時は能美郡だったと思う美川にも魚釣りに行ったことがありました。一番多かったのは金石港の堤防だったと思います。厳重な柵を乗り越えて堤防に入っていました。それを含め別の項目でいくつか書きたいと思います。

OTらと知り合った当日の夜だったという気がするのですが、私の記憶の中ではSMと初めて会ったのはOTと初めて出会った数日後という感覚もかすかに残っています。もう30年近くも前になってしまったので、現在残っている記憶の範囲で書くしかありません。

昭和59年ということで西暦にしてみると1984念頭ことになりそうです。現在が2014年なので、まさに今年が30年目だと気がつきました。

とにかく知り合ったばかりのOTらと夜に金沢市粟崎の家に行きました。急な話だったのでのみ込めていない部分もあったかと思いますが、数日前の集団暴走の時に事故を起こして死亡したという若者のお通夜だったと思います。同級生だとすれば19歳という可能性もあるかと思います。

どの程度の付き合いのあった友人だったのかもわかりません。その後、その粟崎の若者の事故死のことが話題になることもなかったと思いますが、言葉以上に重いものを感じさせる雰囲気は共通のものとしてあったと思います。生活のスタイルも大きく変える契機になったことも考えられます。

私にしてみると、その場の成り行きで見ず知らずの人の家にあがって、生前の姿を知らない人の亡骸をみたことにもなります。とりわけ印象的だったのが、祖母のような人が涙ながらに、あなたたちは同じ過ちをしないためにもよく顔を見てください、と言われたことです。

部屋の中央に布かれた布団にお亡くなりになったご遺体があって、枕元にすり寄ってその顔を見たことは、まるで映画の場面のことのようでもありました。

粟崎の家のお通夜には５人ぐらいで行ったように思います。考えられるのは確実性の高い順に、OT、被告訴人OKN、UHでしょうか。

観音堂のYHさんのアパートで知り合ったUHとの関係も一時的なものだったので、当初OTとの関係もそれほど続くとは私自身考えていなかったように思います。知り合ったきっかけは私でしたが、その後の関係が続いたのもより親密な付き合いをしていたのも被告訴人OKNの方でした。

被告訴人OKNの方が趣味や気もあったのだと思いますが、OTは私の方に親近感を持つような面もあったかと思います。その後、私と同じ長距離トラックの仕事をしていたのも、そういうことなのだろうと思いますが、不動産の仕事を始めたと聞いたときは、ずいぶん意外に感じました。

知り合ってすぐの頃のOTは仕事を探している状態だったということもあり、すぐに金沢市場輸送に紹介して一運行だけ仙台だったかに行ったのですが、同乗した社員と折り合いが悪かったらしく、相当腹を立てた様子でやめると行っていました。

宮川という名前の運転手だったと思います、昭和59年当時若くて25歳か高くて28歳と聞いていたように思います。金沢の福久の方に家があって、何かの機会に一度だけ遊びに行ったこともありました。癖の強い人物でしたが、昭和61年の8月に入社したときにはすっかりいなくなっていました。

宮川という人は4トン車の運転手でした。4トン車の運転手の中では古い方でもあったと思います。私自身、初めて仙台に行ったときは彼が同乗していた記憶があります。塩釜から冷凍魚を運んで来たように思います。

当時はまだバブルの好景気の到来前で就職難でもあったと思われ、運転手の募集や出入りも多かったと記憶しています。普通免許で乗れる4トン車の場合それが顕著でした。

前にも書いていると思いますが、OTはしばらくの間、私がいた中西運輸商でも4トン車の運転手をしていました。被告訴人OKNがいた時期ともほぼ重なると思いますが、被告訴人OKNは仕事より遊びを優先している感じで、やめたあとも遊び回っている様子でした。

その後OTは、中谷運輸の平ボディの4トン車で長距離の仕事をしていました。これはけっこう長く続いていたと思います。中谷運輸は小さい運送会社でしたが、松任金石線とも言いましたか主要な道路沿いに、トラックの駐車場があって、前を通りかかる機会もけっこうありました。

その中谷運輸にはずいぶんと飾りを付けたトラックがいて、北誠会というグループの代表的なアートトラックにもなっていたようです。カミオンのような雑誌にも紹介されていたと思いますし、とても目立つトラックでした。

北誠会というのも無線のクラブのひとつだったような気もします。当時は無線が流行っていました。無線にはパーソナル無線とCB無線とかがあったと思います。私自身はあとの方になってパーソナル無線を少しだけやりましたが、どうも性格的なものか無線は好きにはなれなかったです。

機械に関心がなかったわけではないのですが、作法的なものには、とても馴染む気がしませんでした。

パーソナル無線自体は宇出津の仲間の間でも昭和58年の初め頃には流行っていたように思いますが、一時的なもので1年もすると続けている人は余りいなくなっていたような気もします。ファミコンとかが流行りだしたのも同じ頃かと思いますが、同じく私は興味を覚えませんでした。

CB無線に関してはパーソナル無線より前から存在は知っていたと思いますが、余りよい評判というのも聞かずマイナスのイメージが強かったとも思います。信号機の状態を変えるほどの強力な電波を使ったり、無線機を持つ腕が異様に細くなるなど中毒性が高いとも聞いていました。

中西運輸商は九州方面の仕事が多かったですが、運転手の大半も九州の人間だと聞いていました。CB無線をやっている人も多くて、「厳流会」というクラブ名もよく耳にしていました。YTは付き合いが多かったと思いますし、彼も無線はやっていたような気もします。

パーソナル無線に関しては流行りだした早い時期から自宅に固定で使っている人もいましたが、CB無線に関しては自宅につけているとか乗用車につけているという話は、私の知る範囲では聞いたことがなく、もっぱら長距離トラックという感じでした。

北誠会と言うことでインターネットで検索をしてみたのですが現在も活動中のようです。デコトラという言葉も目につきましたが、デコレーショントラックのことかと思われるものの、昭和の時代にそういう言葉は使われず、アートトラックは見ていたように思います。

同じ中谷運輸で運転手の数も少なかったと思いますので、当然に顔見知りだったとは思いますが、OTから北誠会の話を聞くことは多くはなかったと思います。また、彼自身がトラックを飾るようなこともなかったと思います。

中谷運輸の感謝に関しては親近感ももって色々と話をしていたように思いますが、憶えていることも少ないです。はっきりとは憶えていないものの当時は運転手の数もトラックの数も10には満たなかったように思います。長距離は駐車場の出入りも頻繁なので把握がしにくい面はありますが。

一度、北誠会のイベントということで千里浜に行ったことがありました。5，6人かもう少しいたような気もするのですが、OTがいたことは確実と思われる他は、誰がその場にいたのかも思い出せない記憶にはなっています。北誠会の活動が活発化し名前が定着したあとであったとは思います。

中谷運輸にいる頃のOTは野々市のアパートで一人住まいをしていたようです、私自身、2，3回は行ったことがあると記憶しているのですが、遊びに行ったという記憶よりは、立ち寄ったとか訪問したという感じで、夜に行ったことはないかもしれません。

野々市とは聞いていたと思いますが、野々市町の中心部からはずいぶんと離れた場所で、松任市にも金沢市にも隣接していたと思います。野々市の駅に近い場所で、踏切を渡ったところの角にあるような古いタイプのアパートだったと記憶しています。

長距離の仕事でどこかで顔を合わすようなこともあったと思いますが、連絡先の電話番号というのも知ってはいなかったような気もします。当時は当然に携帯電話などなり時代でした。

中谷運輸をやめたような話も人伝に、かなり疎遠になっていた状態で耳にしていたように思いますが、どれぐらい間があったかは思い出せないものの、そのうち不動産会社に就職して営業の仕事をするようになったとか耳にするようになりました。

私自身、長距離の仕事では不在が多かったと思いますが、居候のような状態で同居していた時期のあとは、特にOTが遊びに訪ねてきたような記憶も残っていません。

時々、近況のような話を耳にすることはあったように思いますが、その話のほとんども被告訴人OKNから聞いていたのではないかと思います。振り返るとほとんど顔あわすことのない状態が長かったように思えます。

ずいぶんと久しぶりにOTやSMと会ったと思われるのが片町のディスコ「さむらい」に行ったときのことでした。耳にするだけの言葉だったので店名を漢字で書くのかカタカナだったのかもわからず、見当もつかないので、とりあえず平仮名にしておきました。

この「さむらい」というディスコのことについては、被告訴人YSNのことも絡んでくるので、別の項目で詳しく書くことにしたいと思います。

「さむらい」というのは最も可能性が少なそうな気がしてきたので以降は、とりあえず「サムライ」としておきたいと思います。金沢で初めてオープンした開放型のディスコというような評判を聞いていました。開放型というのは私の説明上の表現です。そんなのは聞いたこともないディスコです。

※Emacsという現在書面を作成しているアプリに不具合が発生しまして、バックアップファイルから復元をしたものの本日つまり2014年4月14日に書いた部分のデータが失われました。

※Twitterの同時投稿をしていたのでTwilogから本日分のデータを取得しましたが、Twitterの投稿に失敗している部分もあるかもしれません。以下にTwilogから得たデータをコピペしますが、末尾に投降時刻の情報がついています。HTMLから取得したものです。

※以下、Twilogからコピペで復旧させたデータ（欠落の可能性あり）

本来この平成9年当時の被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係に関する項目では、主に被告訴人KYNが被告訴人OKNの世話で会社をかねた中古住宅を購入し、さらにその数千万円という借金の保証人になったという話について取り上げるつもりでした。 posted at 10:43:55

その住宅に関しては高くても4千万円を超えるような話ではなかったように思います。借金の方も3千万円か3千500万円ではないかと思われます。具体的な数字を聞いたとは思いますが、ずいぶん前のことでもあり、また、相場的にもそれぐらいかと思った程度だったので強い記憶にはなっていません。 posted at 11:30:27

被告訴人OKNの方も平成9年の1月に私が福井刑務所から出てきた頃には、中古住宅を購入していました。そちらもだいたいの金額は聞いたような気もするのですが、被告訴人KYNと似たようなものだったような印象がぼんやりと残っている程度です。 posted at 11:32:58

被告訴人OKNの中古住宅は金沢市円光寺でした。この円光寺や高尾のあたりが金沢市内でも住宅地としては土地の値段が特に高いという話は聞いたことがあり、また被告訴人OKNからもそのように聞いていました。 posted at 11:35:19

よほどの掘り出し物かとも思ったのですが、5千万円とかそういう金額ではなかったと思います。よくよく考えてみると黒田1丁目の被告訴人KYNの中古住宅も高くて3千万ぐらいにも思えてきました。 posted at 11:37:00

円光寺の辺りは店も多くバス停もあって利便性は高いのかと思われますが、能登に帰ることを考えると逆方向の金沢市内の外れに近いというイメージもあって、個人的に交通の便が良いという感覚にはなれなかったです。 posted at 11:41:13

被告訴人KYNは黒田1丁目でしたが、車がないと生活は相当不便な場所だと思います。間明にマルエーというスーパーが一つあったので、歩いて買い物に行けないこともなかったとは思いますが。 posted at 12:05:05

それにけっこう大きな川の土手沿いというのも地価が低くなる要因とも思われます。水害発生のリスクがいくぶん高くなると考えられるからです。 posted at 12:07:20

ついでに書いておきますと、いつだったか被告訴人OKNの付き合いで、どこかの喫茶店での不動産の商談の場に居合わせたことがありました。被告訴人OKNのお奨めは金沢市粟崎の物件でした。 posted at 12:09:08

相手は粟崎で以前水害が起こったという知識もあったらしく、かなり慎重な様子で、被告訴人OKNの説得に応じないような対応をしていました。金沢市内のどのあたりの喫茶店だったかも思い出せないのですが、既に被告訴人HTNの住宅が粟崎ということは私が知っていたと思います。 posted at 12:12:34

粟崎の辺りは金沢港の一部のような場所で、山の方からはるかに遠く離れていますが、どうも地盤が低いような話ではなかったかと思います。 posted at 12:15:10

被告訴人HTNの粟崎の住宅に関しては、項目のタイトルをつけただけで、まだ説明を書いていないと思います。こちらは中古物件ではなく、「○○邸新築工事」になっていました。○○の部分はもちろん被告訴人HTNの家の名前です。具体的な金額を書面として見ています。 posted at 12:17:29

書面といってもMicrosoftのWordのファイルだったので、改変も自在の状態ではあったとは思います。細かいことは別の項目の方で書きます。 posted at 12:18:26

被告訴人OKNに対しては、円光寺の中古住宅に関して被告訴人KYNに借金の保証人になっていないのか尋ねましたが、被告訴人OKNははっきりと保証人にはなってもらってはいないと答えていました。 posted at 13:18:16

円光寺の中古住宅に関しては、頭金をいくら入れたとかどれぐらいのローンを組んだとか込み入った話は聞かなかったと思います。 posted at 13:19:28

福井刑務所に迎えに来た時点での被告訴人OKNや被告訴人KYNの様子がおかしかったので、へたに突っ込んだ質問をして警戒心を与えても良くないと考えてはいましたし、本当のことを答えるとは限らないとも思っていました。 posted at 13:21:12

石川県金沢市円光寺 - Google マップ bit.ly/1hA1omX ←　円光寺というのは金沢市内のこの辺りです。地図で見たことは余りなかったのですが、思っていたよりは狭い範囲という印象もあります。 posted at 16:57:41

SMの先輩であり上司にもなる蛸島出身のKさんが、ふと被告訴人OKNに関して不動産の仕事をしているのに、自分でシロアリの家を買った、というようなことを口にしたことがありました。前後の会話は記憶にないですが、その部分だけよく憶えています。 posted at 17:01:17

とりあえずKさんとしましたが、これは上の名前ではなく通常○○さんと呼ばれていた下の名前の頭文字のイニシャルを使いました。上の方の名前も憶えていたはずですが、思い出せなくなっています。 posted at 17:03:18

そのKさんに関しては名前だけはSMから頻繁に聞いていたように思います。前に少し触れていると思いますが、初めに東金沢の方の建設会社で働いていると聞いていた頃より、その名前を聞いていたようにも思います。かなり世話になり慕っている様子でした。 posted at 17:05:34

東金沢の方というのは星陵高校の近くとも聞いていたように思います。私自身、星陵高校の場所というのは漠然としか認識していませんでしたし、用事もなく滅多に行くような付近でもなかったと思います。高校野球で有名になった星陵高校です。 posted at 17:08:53

私立星稜高校 - Google マップ bit.ly/1hA41Fj ←　確認もかねて調べてみたのですが住所が次のようになっていました。石川県金沢市小坂町南２０６ posted at 17:12:55

この小坂町というのはけっこう見覚えのある地名です。鳴和から森本の方に行く主要道路沿いに小坂町というような看板のついた交差点があったと記憶しているからです。鳴和から反対側にまっすぐ行くと橋場の交差点があって、その先には金沢地方裁判所の側の兼六園下の交差点に出るはず。 posted at 17:16:45

その辺りは市内配達などの仕事でもちょくちょく通っていました。とりわけ記憶に残っているのはその道路沿いの森本の手前だったかに「大鶏」という鶏肉の加工場のような会社があったことです。昭和59年当時はよくブロイラーを積みに行っていました。 posted at 17:20:51

その主要道路沿いで森本の町を抜けてしばらく走ると河北郡津幡町の手前辺りで国道8号線に合流しましたが、そのしばらく手前の道路沿いには日野自動車の工場がありました。その後、8号線バイパスに大きな新工場が出来ていましたが、その頃には日野の工場に出入りすることはなくなっていました。 posted at 17:24:08

それでも考えてみると最後に乗務した市場急配センターの10トンウィング車3068号も日野のトラックでしたが、そういえば平成4年の1月頃に、その森本の工場に行ったことがありました。 posted at 17:26:30

会社に掛けた電話で被害者AAさんに、「今日仕事終わったらラーメンでも食べにいかんけ」と誘ったとき、工場のすぐ近くの公衆電話から掛けていたと思います。彼女は「いけるけど、今日はいけん」と意味ありげな感じで断っていました。いける、とは行ってもいいけど、という意味です。 posted at 17:29:21

平成4年3月23日の夜の電話でも彼女は同じような返答をしていましたが、問い詰めるとその時は、「こわいし」と行っていました。今から自分（私）のアパートに来るように言っていたときのことです。 posted at 17:31:47

金沢市場輸送で乗務した最後の10トンウィング車も日野のトラックでした。もっともこの2台は新車だったので故障というのもほとんどなかったとは思います。その前の108号とかいう冷凍機付きの保冷車も日野でした。 posted at 17:33:44

なにかトラックに不調があって日野の工場に行ったのだと思いますが、思い出せなくなっています。あるいは定期点検のようなものであった可能性もあるかとは思います。 posted at 17:35:11

SMの仕事先については小坂町の近くと説明を受けていたのかもしれません。会社の名前とかもたぶん聞いていたのだろうとは思いますが、憶えてはいないです。 posted at 17:38:07

はっきりと印象に残っていることは、SMがようやく落ち着いて土木工事のような会社で腰を落ち着けて頑張っているというような話でした。高校卒業の資格を得るため夜間学校に通うとか、あるいは通い出したという話も聞いたように思いますが、その後、卒業したような話も聞いてはいません。 posted at 17:40:42

夜間学校というのは金沢市でも少なかったと思います。中央高校というのがそうだったと思いますが、通っている人と何人か知り合ったこともあったので、多少知識もあったかと思います。4年制だったはずで、そんな長い間、今も通っているという話も聞かなかったです。やめたとも聞かなかったですが。 posted at 17:44:44

本陣住宅が倒産しました。今後の家の修理や保証はどうなるのでしょうか - Yahoo!知恵袋 detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/questionde… ←　調べていてこういう情報を見つけました。 posted at 18:08:27

※Twilogからコピペしたデータの終わり。

<2014-04-14 月 18:53> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

<2014-04-15 火 17:57> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

見出しの本文編集における記述範囲の開始と終了の時刻に関する説明も済ませたので、これからは各項目間を移動しながら全体的な構成を整えて行きたいと思います。

この項目では、繰り返しになりますが、平成9年当時の被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係に焦点を当てています。

当時のことを振り返ってあらためて考えてみますと、被告訴人OKNの紹介というか口利きで、SMが部長をするK建設に働くようになりましたが、よく考えてみると、被告訴人OKNとSMが顔を合わせた姿というのも一度も思い浮かばないのです。

SMに関しては馬替のマンションに住んでいると聞いていたような気もしますが、遊びに行くようなことは一度もなかったし、そういう雰囲気すらなかったです。被告訴人OKNの方でもなにか距離をとっているような慎重さもうかがえなくはなかったです。

ずいぶんすんなりと口利きで仕事が決まった割には、付き合いがまったく見えてこず、私がいない間にあった昔話に触れるようなこともなかったと思います。ただ、金沢の伝統芸能の仕事をする家に婿養子に入り、名前が変わったとは聴いていましたが、これも何時頃のことかはよくわかっていません。

私自身、再審請求や被害者とその家族のことで頭がいっぱいだったので、気がつかずにいたこともあろうかとは思います。合同法律事務所の西村依子弁護士のところに相談に行ったのも、まだK建設で働いている頃でした。午後からの仕事を休んで行ったように思います。

西村依子弁護士の場合は、受任を断られたものの相談料もいらないと言われたので、さほどのダメージでもなかったと記憶しています。当時は新聞でもちょくちょくと名前を見かける弁護士でしたが、相談の電話を入れたのは合同法律事務所でたまたま西村弁護士が応じたようにも思います。

合同法律事務所に関しては共産系の弁護士が集まる事務所で、刑事弁護に熱心に取り組むと福井刑務所で聴いていたことがあったので、電話をしてアポをとりました。

その話をしたのはFという同じ2工場の受刑者でした。彼も金沢市近郊の運送会社に働いていて、わいせつ事件の犯人にされたとか話していました。再審請求をするとも言っていたと思いますが、まったくの濡れ衣か嵌められたようなことを言っていました。

その運送会社のことは知っていました。運転手仲間だった二人が一時、その会社のトラックに乗務していたからです。一度、夜中に福井県の敦賀市の海岸線から急な坂に登るところにある大きな駐車場の食堂で一緒に食事をしたこともあり、その会社のトラックに乗務していました。

中西運輸商とも関連のある人物ですが、プライベートな問題を含むので、あやふやな表現にとどめておきたいと思います。もちろんこれまで検察や裁判所に提出した書面では、名前もはっきり書いておりますし、記憶の新しい時期に詳細を書きつづっているはずです。

その一人の運転手は以前、小木のYMさんと関係があったと話していました。YMさんに関する説明も途中になっていると思いますが、被告訴人OSNが鳶の仕事をするようになったきっかけらしい人物です。引き継ぐかたちで清水建設の仕事をするようになったと被告訴人OSNは話していました。

YMさんは、昭和59年10月に私が金沢市場輸送をやめたあと、しばらくのあいだ金沢市場輸送で4トン車に乗務していたとも話していました。当時は市内配達だけの仕事というのはなかったはずなので、長距離だったのだと思います。

何時頃、どれぐらいの間、金沢市場輸送にいたのか細かいことは聴かなかったか、聴いていても忘れているのだと思いますが、本人から直接その話を聴いたのは、どこかで説明が中断したままになったはずの、崎山の商店の前でした。

実は今日の15日、昼過ぎに宇出津新港のどんたく宇出津店に買い物に行って、その帰りに崎山を通ったのですが、スマホでそのあたりを写真撮影してきました。どうも店の看板は外され、文字の跡だけが残っているようでした。紙子商店と書いてあったように思いました。

店の方は撮影せず、前の道路と反対側のあたりを撮影しました。桜の並木があることに気がつきましたが、他の宇出津の桜より花は少ないように見えました。日当たりがよいので早めに咲いて散り始めたのかもしれません。それに崎山は風も強いです。

とりあえず一枚をTwitterにアップロードしましたが、URLは次のようになります。

Twitter / hironohideki: 2014-04-1515.12.20.jpg … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/456005699521085440/photo/1>

このファイル名はスマホのアプリの方で自動的に付けてくれるものなのですが、本当は日付と時刻の間が半角のスペースになっています。これではスクリプトの実行時にエラーが出るので、半角スペースを半角アンダーバーに変更しました。

Linuxだと、rename s/\ /\_/ \*.jpg　とやるとカレントディレクトリのjpgを拡張しに持つファイルの半角スペースを半角アンダーバーに全て置き換えてくれます。UNIXやvimではお馴染みの作法です。

崎山にバス停があるというのも今回初めて知ったのですが、桜のある側のバス停の看板があるちょうどそのあたりに停めた車の中で、YMさんと話をしました。昭和63年の8月の中頃、お盆休みのときだったと思います。

時分も大型車に乗務してみたかったと話していたことも印象的でした。今の仕事のことについても話を聴いていたのかもしれませんが、そういうことは記憶に残っていません。

小木のYMさんが金沢市場輸送にいたということは、その時初めて聞いた話ではなかったと思います。本人に会ったのも久しぶりだったので、本人から話を聴いたのはその時が初めてだったとは思いますが、それほど驚きもなかったと記憶しています。

ただ、YMさんが他の運送会社でトラックに乗ったという話は聴いてはいなかったと思うし、意外性はありました。

前にも書いていると思いますが、今一度、昭和59年に金沢市場輸送に入社した私の友人知人について整理しておきたいと思います。YMさんもその一人だったと思いますが、意外性が強かったため半信半疑で聴いていたような気もします。ごく短期間とも思いました。たぶん聴いたときの相手の話しぶりでも。

まず最初に私が紹介したのが被告訴人OKNでした。そのあと被告訴人OSNが入社しましたが、これも私の紹介のようになっていて、被告訴人TSK社長の夫人にずいぶんと感謝されたことも覚えています。普段は不機嫌そうな顔で無口な夫人だったので、余計に印象的に憶えています。

その後、9月か秋頃になって、珠洲の三崎のHMが入社しました。これは私の紹介だったと思います。私自身がやめる一月ぐらい前だったように思います。HMはずいぶんと仕事を頑張っていたと聞き、それまで不可能とも聴いていた歩合をもらっているとも聞きました。

ちょうどバブル景気が近づいて景気が上向きになり仕事が増えてきた時期にも重なっていたのかもしれません。昭和59年当時の4トン車の運転手の給料は売上が80万円まで20万円と決まっていました。80万円を超えると歩合がつくと聞いていましたが、運賃が安いので無理と聞いていました。

昭和59年当時の金沢市場輸送の記述はしばらく中断して、さきほど取り上げた福井刑務所の受刑者Fの話について、項目を別にして記述したいと思います。とりあえずFとしたと思いますが、現在もフルネームはだいたい記憶しています。

上の名前はまず間違いないと思っています。他に聴いたことがない名前ではありましたが、埼玉県の市町村名と同じと言うことも覚えやすくしていたと思いますが、それでもこれまでは何度か忘れてしまい、思い出すのに時間の掛かったこともありました。

下の方の名前も90パーセント以上は正確性があると思っていますが、漢字二文字の下の方となるとちょっとだけどうかという気もします。これまでの私の作法通り上の名前と下の名前のイニシャルの連結でこれからはFKと表記したいと思います。

前後の文脈で分かりづらいと思われる場合は、福井刑務所の受刑者FKという書き方もすると思います。このスタイルもこれまでと同じものです。

金沢市場輸送の昭和59年当時の状況に関しては、これも別の項目として分けた方が良いかとも考えています。相当の分量にもなりそうですし、整理の必要性も感じるようになってきました。もうしばらく検討します。

<2014-04-16 水 01:51> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月6日

<2014-07-06 日 11:48> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

一見無関係な2つの問題を項目の見出しにしました。内容的にも共通している問題点があるので是非そうしたいと考えたのですが、時間的な近接もあります。

まずは、昨夜の宇出津のあばれ祭りでの写真です。→　2014-07-0601.25.33＿宇出津あばれ祭り.jpg pic.twitter.com/69yBWPaea2

これは被告訴人KYNに声を掛ける直前になります。写真はスマホでの撮影ですが使っているアプリの関係でファイル名に撮影時刻が入り、そのファイル名を元にリネームしました。

写真に写っているのはキリコと呼ばれるものです。能登半島各地にある祭りでよくあるものですが、それぞれに特徴があります。例えば輪島だと漆塗りだと聞いています。能登に生まれ育った人ならとても馴染み深いものですが、そうでないと理解もしにくいかもしれません。

能登キリコ祭り - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%83%BD%E7%99%BB%E3%82%AD%E3%83%AA%E3%82%B3%E7%A5%AD%E3%82%8A>

宇出津というのは能登半島でも町の規模としては、比較の上でさほど大きいわけではないですが、キリコ祭りとしては宇出津のあばれ祭りが一番有名かもしれません。他に七尾市石崎の石崎奉燈祭や輪島大祭が有名ですが、石崎は和倉温泉の隣町でもあり、輪島も朝市として観光地なので規模は大きそうです。

あばれ祭り - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%82%E3%81%B0%E3%82%8C%E7%A5%AD%E3%82%8A>

宇出津の場合、平成17年辺りに鉄道も廃止になり、宿泊施設も少ないので条件はかなり悪いと思いますが、それでも祭りの二日間だけは普段とは比較にならない沢山の人が集まってきます。

新聞か何かで見かけたように思いますが今年のあばれ祭りのキリコは39基と見かけました。以前は50基近くあったそうなので、規模自体も小さくなっているようです。過疎化や高齢化が進んでいますが、とりわけ子どもの少なさは歴然としています。小学生などは自分らの頃の5分の1ぐらいらしいです。

宇出津のあばれ祭りでは各町内ごとにキリコが出ますが、からかじめ順番が決められ番号も振られています。最後尾のキリコの番号を見たところ28番になっていたので、28の町内が参加していると思われますが、この数を見ると人出が足りず、参加を見送った町内もいくつかありそうです。

宇出津の町内というのは住所にはない町名です。範囲となると地元に住んでいても境がわかりにくいことがありますが、なかには、本人の希望とかで飛び地で隣接する町内になる人もいるそうです。

家が20件ほどの町内もあると聞いていますが、空き家も含まれていたりするのではと思われます。小さい狭い範囲の町内が多いですが、中には小さい町内の数倍というのもあります。私が住む小棚木という町内は、多分一番広い町内で人の数も多いと思われます。

私は小学校5年生に進学した昭和50年4月に、宇出津の今の小棚木の家に引っ越してきました。母親の実家のような家でもありますが、母親の家族というのは昭和の初めころに京都から移り住んできて、その後京都に戻っていったと聞いています。

母親の父母というのは私の祖父になりますが、私が物心ついた頃には亡くなっていたのかと思います。年々頃、どこで亡くなったのかも聞いていないのですが、祖父の名前は小島伝次郎だったようです。

私が物心ついた頃、母方の親戚で宇出津に残っている人はいませんでしたし、年に1回、夏に遊びに来るという程度の付き合いでした。稀には用事で来ることもあったかもしれません。電話ではよく話をしていましたが、そんな時、母親はいつも京都弁で話をしていました。

親戚が毎年夏に遊びに来ていたのも私が小学校の低学年でまだ辺田の浜の家に住んでいる頃のことです。同じころまでは父方の親戚とも付き合いがありました。

私の父親は宇出津生まれだと聞いていましたが、東京の方に養子に行って、それで廣野という名前になったと聞いています。旧姓は水元でしたし、隣の町内の大棚木には父親の兄という人も住んでいました。

母親は5人兄弟ですが、父親は7人兄弟だと聞いていました。宇出津には父親の兄弟が3人住んでいました。3件の親戚です。1件は宇出津病院の裏に家があります。町内の名前は忘れたのだと思いますが、わかりません。近くに前の能都中学校へ登る坂がありますが、その辺りは錦町です。

もう一件は、宇出津の町の中心部でもある大橋組という町内でオモチャ屋をしていました。昨夜、被告訴人KYNと話をしたのはちょうどその家の前になりますが、電気もついておらず人が住んでいるようには見えなかったです。

辺田の浜の家には小学校4年生まで住んでいたことになるようです。半年ぐらい前までの私の記憶では小学校4年に進学した4月に宇出津に引っ越したことになっていたのですが、辺田の浜の酒樽祭りが昭和50年に復活したという情報をネットで見て、昭和50年に宇出津に来たのだと確認できたのです。

その酒樽祭りですが、祭りというよりは神事の儀式のようなものらしいです。毎年その時期になっても思い出すことがなく、終わったあとのニュースなどで毎年気がつくので、実際にはこれまで一度も見たことのないお祭りです。

ちょっと思い出したのですが、父親の旧姓は水元ではなく水本だったと思います。なんかずっと忘れていた水元という名前の同級生のことが頭に浮かんできて、思い出すことが出来ました。

父親の兄弟は、能都町鵜川と七尾市にも住んでいました。どちらも叔母さんという関係だったと思います。七尾市には一度だけ青柏祭に行った憶えがあり、鵜川の「にわか祭り」を含め鵜川の家には何度か遊びに行った憶えがあるのですが、家のことや顔や声も名前も記憶には残っていないです。

それもこれも辺田の浜の家にいた頃のことですが、鵜川には神社か寺のお祓いを受けに何度も母親に連れて行かれたことを憶えています。神社のような建物でしたが、坊さんのような格好をした人が、念仏か何かを唱えながら、大きい巾着のような袋で、お祓いを受ける人の体をさすりまくっていました。

ある日を境にぴたりとその神社にはいかなくなったのですが、母親がその坊主にいやらしいことをされそうになったので行かなくなったとか、立ち話をしているのを聞きました。小さい頃というのはやたらと母親の立ち話の側にいて、いらいらしていたという思い出が多いです。魚屋とかで。

鵜川の神社の場所というのはわかりやすい場所でした。鵜川の駅から国道249号線の交差点を横切って鵜川の町の方に入って行くと、一本の小路を右に入ると30メートルぐらいかと思いますが、正面に神社の階段がありました。

階段の登り口の右手に民家が一件ありましたが、それが被告訴人安田敏の家であると知ったのは、ずっと後のことです。一度、家の前まで行ったこともありましたが、被告訴人安田敏とは会うこともなかったです。

本書でもだいぶん前に書いていると思うのですが、被告訴人安田敏の家に入る小路を探して、たまたま声を掛けた相手が、被告訴人安田敏の兄の妻だったということもありました。被告訴人大網健二が同行していた時のことです。夕方でしたが外はすっかり暗くなっていたと思います。

近くに店が開いているとも思えない状況だったので、道を尋ねる人を発見できたことが偶然に思えていたのですが、相手が被告訴人安田敏の親戚ということでなおさら印象深く憶えています。冬であるいは正月休みだったような気もするのですが、夏で兄の嫁が薄着をしていたような気もしたりで時期不明です。

よくよく考えてみると平成9年の8月のお盆休みだったかと思えてきました。そのお盆休みでは被告訴人大網周一が、宇出津の魚市場の近くカネハチの曲がり角とのところで、夜釣りをしていたことが最も印象に残っています。

たまたま昨日撮影していたものですが、この辺りです。→　2014-07-0517.45.00＿宇出津あばれ祭り.jpg pic.twitter.com/l9BHOyTrra

こちらの写真だと宇出津の魚市場も見えるかと思います。2014-07-0517.44.39＿宇出津あばれ祭り.jpg pic.twitter.com/7u8Xz61SGG

夜釣りをしていたことよりも、その場所で釣りをしている事自体が、当時はずいぶんと珍しく見えました。現在では春頃にもっと港の奥の方で釣りをする人はいますが、のっこみ、とか呼ばれる黒鯛の散乱の一時期かと思います。

当時私はすでに金沢市高雄の建設会社で働いていたと思います。共通の昔の友達が部長になっていたのですが被告訴人大網健二の口利きで就職が決まりました。これもこれまでに何度か書いていると思います。

さらに繰り替えになるかとも思いますが、被告訴人大網健二と車で通りかかって被告訴人大網周一が夜釣りをしているのを見たあと、私は早めに金沢に帰りました。

そして金石海岸で乗っていた車を砂にはめて動けなくし、JAFを呼んだと思います。

車は代車だったように思いますが、砂にはまって動けなくなった時は夕方でもまだ外の明るい時間だったような気がします。かなり長い時間自分でどうにかしようとしていたのですが、最終的にJAFが来て車を動かせるようになったときは、暗くなっていたように思います。

どの時点で連絡をしたのかはっきり思い出せないのですが、その後私は金沢市東力の、あすなろ公園で被告訴人多田敏明と会っています。まっくらな公園の中、二人だけで会いました。

現在は変わっているかもしれませんが、Googleのストリートビューに出てくるかもしれません。ちょっと調べてみたいと思います。

2014-07-06-171939石川県金沢市東力・あすなろの森.jpg pic.twitter.com/bnIJ2l1CUn

スクリーンショットをとりました。検索で初めて知ったのですが、あすなろ公園だと金沢市内でも別の場所になるようで、東力の公園は「あすなろの森」という名称になっているようです。私が住んでいたアパートの近所でもありましたが、昭和の時代から全く変わっていないようにも見えます。

鉄塔のようなものが見えて、そんなのがあったかと気になるぐらいです。ないとうことはなかったと思いますが、街灯も少ない公園で夜は暗かったと記憶に残っています。

場所は私が指定したのだと思いますが、被告訴人多田敏明の家があるという金沢市間明からは近い場所で、目印としてわかりやすく車も駐車しやすいということで選んだのだと思います。じっくり内容のある話をしたかったので、静かな場所を選びました。

「広野さん、わしと勝負しようちゅううんがぁ。なんぼでもやってやるよ。」と言われました。言葉で掛けば威圧的で挑発的にもなるかと思いますが、棒読みにも近い感じで、発言の意図をはかりかねるところもありました。

広野と書きましたが、私自身平成4年以降、拘置所や刑務所で生活するようになってから廣野と戸籍と同じ漢字を使うようになりましたが、それまでは小学校の頃からずっと広野という漢字を使っていたからです。平成3,4年当時の被告訴人多田敏明との関係に合わせて広野としました。

私が刑事事件として告発か告訴をしたことや、これからするような話をしたところ、被告訴人多田敏明の場合、多少動揺のような反応が見られ、誰と誰を訴えたのかと尋ねてきました。２，３具体的な名前もあげていたように思います。

余り情報を与えるのは得策ではないという判断と、被告訴人多田敏明の挑発的な態度に憤慨して高ぶっていました。いったん手を出せば止まらなくなってしまうような危険も自分の中に感じたので、自分から話し合いを打ち切るように被告訴人多田敏明とは別れて来ました。

時刻は7月8日7時55分です。昨日は考えるだけで終わってしまいました。どうしょうかと迷ったのですが、前の日に掛けると話していたので、珠洲警察署に電話をして担当者の人と話をしました。取次の際、係長という声が聞こえてきました。

警察の担当者や関わった警察官の名前に関しては以前公表していた時期もありますが、現在は私自身の判断で名前を出してはいませんし、録音もやっていません。今日は新しい小テーマを見つけたので、そちらにも関連付けて説明を書いておきたいと思います。

今後は今まで以上に動きが出て影響を受ける可能性も高まると思うので、リアルな最新状況との関係をいっそう強化したいと思います。項目と作成日時を対応させるためこの項目は締めたいとおもいます。

<2014-07-08 火 08:04> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月8日

<2014-07-08 火 08:17> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日は昼に次の番組をみて、NHK連続テレビ小説について書こうかと思っていたのですが、その機会も逸しました。役者の演技について色々と考えさせられるところがありました。

スタジオパークからこんにちは　町田啓太、山田真歩 2014年7月7日（月） 13時05分～13時53分 の放送内容 <http://ow.ly/yQfNc>

上記のリンクは切れているかページの内容が入れ替わっていると思います。昨日、廣野秀樹（@hironohideki）でツイートした内容をそのままコピペしました。

以前、説明が中断したままになっていると思いますが、連続テレビ小説は昨年の6月ころ、東京都渋谷区の弁護士のツイートをきっかけに視聴するようになりました。最近は余り見なくなっていたのですが、昨日見たのも数日ぶりだったと思います。

前にも書いていると思いますが、私はそれまで連続テレビ小説はほとんど見たことがなく、他のドラマでもそれほど深く、俳優というか役者の役割や演技について考えることはなかったと思います。

渋谷区の弁護士については、事務所の町名も同じになっていたのですが、平成11年の傷害事件で上告審の国選弁護人になった山口治夫弁護士のことを思い出すことがありましたが、山口治夫弁護士に関しても大事なことを書く予定でいます。

今、テレビでとくダネ！という番組をみているところですが、今日も兵庫県県議の不正疑惑についてやっています。というか書いているうちに終わってしまいました。

どうも番組のスタッフが調べたところ報告書にある電車料金が全て一律の料金だったの対して、実際は繁忙期とそれ以外の時期に200円の違いがあるとかやっていました。もともとあり得ないような日帰り出張であったことは繰り返し報道されているので、いまさら驚くことでもありません。

それより気になったのはコメンテーターの発言で、他の県議は真面目にやっているので、領収書の厳しいチェックをするとそれが負担になって本来の活動を阻害する、というような発言でした。

県議の活動については今まで報道を見ることもほとんどなかったのですが、地域に根ざした社会問題に取り組む活動をやっているらしいということを今回知ることができたかと思います。

私のこの告発の問題に関しては、石川県議会にもメールでお知らせをしていました。金沢市議会もそうであったかもしれませんが、そちらははっきり記憶にないです。石川県では官庁に関連した部署や施設のメールアドレスを沢山公開されていたので、それを使って多方面に送信していたかと思います。

金沢市というか金沢市役所に関してもそれに近いものがあったと思いますが、能登町に関してはある時期を境にホームページにあったメールアドレスが忽然と消えてしまいました。私が原因であったかどうかは、検察庁においてしっかりと調査確認し、証人喚問の用意も検討して頂きたいと思います。

本来的に社会的な枠組みの異なる問題であることは承知していますが、その枠組みを壊し完全無視を決め込んできたのも金沢弁護士会ではないかという思いもありますので、市民、県民の安全安心と信頼を守るためにも、最大限の厳重な態勢が必要かと思います。

県議の不正疑惑は、相当なデタラメであったという可能性が高く、それが白日の下にさらされつつありますが、水面下での追求や準備があったうえでの報道であったと考えられます。

県議といえば今回の問題で見たり聞くようになった言葉ですが、元は県議会議員の意味だと思います。報道を見ながらこれほどのデタラメが通用した、または横行するものなのかと感心しました。

必要な経費として計上された金額のみならず、交通の移動に掛けた時間を合わせますと、その実質的な活動内容の少なさが気になります。それは改めて弁護士の仕事ぶりにも通じるものを感じさせてくれました。

遠方に赴いて直接、顔を合したり、現場を視察する意味は陶然あると思いますし、そのための調査費とかになっているはずですが、最も日帰り出張の回数が多かった城崎温泉でも、誰一人その姿を見た人を確認できなかったと、報道されています。

今朝は起きて、パソコンをつけて、すぐに目についたツイートにも考えさせられるものがありました。今までは手間も掛かるので触れないようにしてきた問題でもあるのですが、被告訴人KYNとモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の対応に接し、その問題性を再評価したところです。

【RSSによる投稿】 昨日から本格的に始まった藤井市長の釈放を求める美濃加茂市民の署名、今日現… <https://plus.google.com/u/0/wm/1/100408804474159646499/posts/bqCgLr3y8oF>

【RSSによる投稿】 勾留中の藤井市長への市民の方からの応援メッセージが書かれた短冊が多数。一… <https://plus.google.com/u/0/wm/1/100408804474159646499/posts/UywtKMmAtNL>

ブログの記事ですが上記に紹介したのは、そのブログ記事のURLを含んだGoogle+ページの投稿です。Google+ページの投稿は今回、RSSでの自動投稿によるものを使いました。

直接、ブログの記事のタイトルとURLを使うと文字数が多くなって、そのままツイートできなくなります。さらにGoogle+の方が、検索で調べるときにも扱いやすいという点を私は重視しています。

実際Google+で検索をすると次のように表示されます。→　2014-07-08-095220検索　-　Google+　江川紹子.jpg pic.twitter.com/pk9zfqwh7J

【コラム 江川紹子】藤井美濃賀茂市長収賄容疑事件、裁判所は令状発行機関なのか - Sakura Financial News | 9999 - <http://www.sakurafinancialnews.com/news/9999/20140706_3>

上記の記事というかページも先日読んだところでしたが、今回も気がつくと郷原信郎弁護士のツイートそのものではなく、ジャーナリスト江川紹子さんのリツイートによるものでした。

そういえば郷原信郎弁護士はツイッターをやっていたのかと再確認したところでもありますが、ちょっと忘れかけていた部分もありそうです。ただ、今回のツイートの内容ばかりは軽視できないと思いました。その影響力を含め。

ご本人のツイッターはこちらです。→　2014-07-08-100348郷原信郎　（nobuogohara）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/aHbAaJPgwC

改めて見るとフォロワー数が6万5千を超えているようです。最近は見かけていないですが割とよくテレビにも出ていた落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイッターアカウントは、フォロワー数が3万台ではなかったかと思います。確認しておきたいと思います。

2014-07-08-101006落合洋司　（yjochi）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/CrxTu7uiGR

やはり3万3千弱なので、よく考えてみると郷原信郎弁護士とは倍近い開きがあるようです。今まで意識したことのない発見でした。落合洋司弁護士（東京弁護士会）の方がブログでの情報発信も長く、数も多いので認知度も高そうだという思い込みもあったのかもしれません。

郷原信郎弁護士に関しては陸山会事件でテレビに出ている姿を見たことがありましたが、その後のご本人側の話によると、検察当局に不都合な発言をしているので、テレビに出る機会もなくなったような話で、マスコミに圧力が掛かったと思わせる内容であったと思います。

私も人間であり記憶力も完璧ではないので、間違ったことを書いてご迷惑を掛けないためにも、極力正確なかたちで発言の記録をとるようにしていますが、まだそこまでやっていない時期の発言であり、記録があったとしても探しだすのが困難な保存状態になっているのかもしれません。

今も使っていますが、ブログの記事として保存するようにしてきました。ツイートを埋め込みコードとして保存することが多いです。ブラウザではスタイルシートが適用されて見栄えの良いデザインになっています。これはツイッターのサービスに含まれたものです。

最近は、それよりも多いぐらいの頻度で、スクリーンショットとして保存するようになりました。ご説明も1回以上は既にしていると思います。

% grep -B 3 "^\"Tags .\*@nobuogohara.\*" c投稿済み/\* | wc -l　というコマンドで確認をしたのですが郷原信郎弁護士に関する記事は、APIでの投稿管理を今の方法にしてから94件あるようです。

94件と書いたところですが19件の間違いでした。やり直しのコマンドです。→　% grep "^\"Tags .\*@nobuogohara.\*" c投稿済み/\* | wc -l

% grep "^\"Tags .\*@amneris84.\*" c投稿済み/\* |wc -l　として江川紹子さんに関連したものをカウントすると376件ありました。そんなにあるのかな、と思いましたが、またなにか勘違いのミスが含まれているのかもしれないです。確認したところ見当たらなかったですが。

先ほど気がついたのですが郷原信郎弁護士は次のツイートもしていたようです。弁護人としての影響力に関して自認されているのかと思いますが、謙遜なのか？のはてなマークもつけられているようです。

2014-07-08-104941微力ながら弁護人の私が当初から「潔白」と叫び続けていることの影響も？.jpg pic.twitter.com/nKvvFsZb0J

思えば弁護士がインターネットで社会的な影響を自認しているのを見たのも初めてかもしれません。もちろん依頼者の利益という目的と名分はあることと思いますし、その事自体を批判しようとも思いません。

情報の受け取り方は基本的に個人次第だと思いますし、表現の自由というのも尊重されるべきものと思っています。ただ、これまでの経過、特にいわゆるPC遠隔操作事件に絡んだ発言などを見てきた経緯を踏まえると、どうなのかと疑問に思うところもあります。

強固な主義、主張を持って弁護士としての活動をされている第一人者の一人だと思いますし、情報の担い手、ジャーナリスト江川紹子さんの信認も厚そうです。国家的な会議にもともに参加されていた人たちであるはずです。

行刑改革会議、検察の在り方検討会議の各委員を経験、とhttp://www.sakurafinancialnews.com/news/9999/201407063 の記事で先日確認したところでもあります。

数日前には次のようなツイートも見かけていました。

Twitter / nobuogohara: 勾留中の藤井浩人美濃加茂市長から、今日の接見で受領し公開した … <https://twitter.com/nobuogohara/status/482882438897475585>

Twitter / nobuogohara: 【緊急拡散】美濃加茂・藤井市長の早期釈放を求める声を裁判所に … <https://twitter.com/nobuogohara/status/483228655212974080>

インターネットで署名活動を行ったようです。どれだけの効果があったのか正確なことはわかりませんが、今朝見たツイートによると署名が1万5千を超えたとのことです。次のツイートには人口5万人余りの市で、それだけ集まったと書いてあります。

Twitter / nobuogohara: 昨日から本格的に始まった藤井市長の釈放を求める美濃加茂市民の … <https://twitter.com/nobuogohara/status/486143544906629120>

重要な部分なので本文を2つにわけて引用します。全部だと文字数オーバーになる可能性もあるからです。前段と後段にわけます。

前段引用）→　　昨日から本格的に始まった藤井市長の釈放を求める美濃加茂市民の署名、今日現在で、１万５0００人を超えた。

後段引用）→　人口５万人余りの市で、これだけの人達が一致して藤井市長の潔白を信じ、一日も早い復帰を望む市民の意思は、刑事司法の世界でも無視できないはず。

このツイートだけ見ると、街頭署名と見る向きが多いのではと私は感じたのですが、街頭署名だと物凄い数になり、やった経験もないことですが、従事するスタッフというか支援者も相当な数になり、本格的な選挙活動にも匹敵するのではと想像されました。

念の為、インターネットの署名サイトを確認しましたが桁も違っているようです。→　2014-07-08-1147303,925人の賛同者が集まりました.jpg pic.twitter.com/fa5mSLllSP

時刻は7月9日10時49分です。昨日は考えがまとまらず、集中できなかったので、早い時間に中断したままになっていたと思います。この項目は締めます。

<2014-07-09 水 10:51> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月9日

<2014-07-09 水 10:55> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

被告訴人KYNのことですが、あばれ祭りで会った時の彼の反応、態度というのは威圧的にも感じるものでしたが、それは何度か繰り返した「帰れ」という言葉にも現れていましたし、時間が経って考えてみてもそれは命令にのようなものであったと思います。

被告訴人KYNと会ったのは数年ぶりのことでした。調べてみないと今の私の記憶だけでは正確な時期がわからなくなっていますが、平成16年かあるいは平成17年の1月であったように思います。その時の会話というのは音声ファイルとして保存し、御庁にも提出してあるはずと思います。

冬だったような気もするのですが積雪はなかったと記憶にあります。何か思い出せそうで思い出せないもどかしさもあるのですが、まだ平成9年の9月ころに買ったホンダの軽四に乗っていた頃だったと思います。

その後しばらくしてそのホンダの軽四が故障をして、修理に随分とお金が掛かるということで、日産の軽四を新車で購入しました。その軽四の二度目の車検の時、私はそれまで住んでいた石川県羽咋市のアパートから今の宇出津の家に帰ってきました。

それ以来軽四の車検は入れなかったですが、車検が切れるのに合わせて宇出津に戻ってきました。2009年3月16日のことであったと思います。私自身最近はもっぱら西暦を使っているので把握もし難くなっているのですが、平成だと平成21年だったと思います。

平成18年ころまではほとんど西暦ではなく平成の年で物事を考えていたと思います。だから記憶の方も平成として覚えているのですが、ここ数年はもっぱら西暦のみなので、現在が平成何年と言っても自信を持って答えることができません。

軽四も新車の時は車検が3年だったと思います。それで2度めの車検となるとちょうど5年ということになるかと思います。平成21年の5年前となると平成16年となりそうです。

そうやって考えてみると、私は平成14年の11月の下旬から6年3ヶ月ほどの間、羽咋市のアパートに住んでいたことになりそうです。前にも計算したことがあったのですが、どこで間違えたのは5年ちょっとだと思っていて、それでもそんなに長く羽咋市にいたのかと考えていました。

記憶の整理を兼ねておさらいをすると、羽咋市のアパートに軽四に乗る一台分の荷物を積んで、来たのは平成14年の11月25日を過ぎた頃だったと思います。派遣社員の寮だったのですが、初めはそのうち2人で住んでもらうと言われていたものの、最後までずっと一人で住んでいました。

事実上は自分のアパートのような生活ではありましたが、アパートの合鍵も派遣会社の人が預かっていたようです。仕事そのものも不安定な立場でしたし、落ち着くことはなかったです。

一時は1月の後半から2月頃だったと思いますが、一月以上仕事がなく、宇出津の家に戻っていたこともありました。まるまる一月仕事がなかったので、収入がないばかりではなく、社会保険など5万以上、マイナスになっていたこともありました。

書いているうちに思い出しましたが年末の12月一杯で仕事がなくなりました。インドネシアで大津波があった翌日か翌々日のことでした。近くで作業をしていたインドネシアの青年とも津波のことで話をしたので、それはよく憶えています。羽咋郡志賀町の電子部品工場でした。

インターネットで調べたところ、スマトラ島沖地震となっていて2004年12月26日の発生となっていました。私の場合、すぐに頭の切り替えができないのですが、平成16年になるのかと思います。

次に派遣先の仕事が決まったのが2月の中頃ではなかったと記憶しています。派遣の仕事はもうこないかもしれないと諦めていた頃に担当者から電話がありました。面接をする前から既に決まったような話しぶりだったので安心もしましたが、人が居着かない仕事なのかもしれないと思いました。

連絡があった当日は、春めいた日和の天気で、夕食に母親がシチューを作ってくれたことも記憶に残っています。改めて考えるとそれが平成17年だったのだと、自分のことですが改めて確認ができました。

このあとの仕事というのは羽咋市の鋳物工場への派遣でした。バラシと呼ばれる現場での作業でしたが、出来上がって鉄板のコンベアに流れてきた鋳物の枠の不用部分を取り除く作業でした。材質によって手で直接壊すものと機械を使って壊すものがありました。

ちょっと前まで赤く灼熱状態だった鋳物なので高温のことが多々あり、手早く的確に作業をしないと手を痛めて仕事が続けられなくなるような作業でした。それまでに派遣された人も、手が火傷と血豆だらけになってやめていったということを聞いたのも、仕事を始めてかなり後のことです。

鋳物工場での仕事を始めて、半年か一年ぐらい経った頃だったと思いますが、派遣の担当者を通して正社員にならないかという話がありました。ちょうど御庁に告発などをやっていた時期だったので、先のことの見通しも経たず、その時は、生活も落ち着かない状態なので1年ほど考えせて欲しい、などと。

返事をしたように思います。ストレートに断るのも角が経つし、何時やめられるかわからないと判断されると、こちらの生活も安定しなくなるという思いがありました。その前、宇出津の電子部品工場で仕事をしていた頃も、真面目に仕事をやるだけに、経歴で仕事を転々としてきたことを不審に思われました。

仕事だけではなく私の場合、計算すると7年半ほど警察の留置場、拘置所、刑務所に入っていた期間があって、2度の逮捕による仕事の断絶もあったわけです。平成14年頃の時点でも履歴書の経歴をどのように書くかは、ずいぶんと頭を悩ませました。

もっと前のことから順番に書くと、金沢中警察署に逮捕されたのが平成11年8月12日だったと記憶しています。9月の20日頃には拘置所に移送されたと思いますが、翌年の平成12年の同じ9月の20日頃には、最高裁での上告棄却と続く即時抗告の申し立ても棄却されて判決が確定したように思います。

判決が確定してからは未決から既決の受刑者という立場になって、同じ金沢刑務所の敷地内でしたが、拘置所から別の舎のの独居房に移され、分類審査を受けて、金沢刑務所での受刑が決まり、そのあと2週間だったと思いますが、新入教育を受けて、第5工場に配役されたのが11月の初めかと思います。

第5工場ではミシンの作業をしていましたが、一般の大方の受刑者とは異なって雑居房での集団生活にはならず、工場に出る以外はずっと独居房で生活をしていました。これは夜間独居とも呼ばれていました。工場には出ないで軽作業をしながら過ごす昼夜独居というものもありましたがよほどの処遇困難と。

懲役は1年10月か1年8月のどちらかだったと思いますが、そんなことも余り考えないでいると忘れるものです。検察の求刑は2年だったとも思うので、平成4年の事件とは違って満額の判決ではなかったですが、満期での出所となり、仮釈放の話も全くありませんでした。

満期で金沢刑務所を出所したのは平成13年12月31日のことでした。満期日の翌日に釈放という決まりになっていたかと思います。私はその半月か20日ほど前まで12月21日を満期日か釈放日だと思い込んで刑務所で生活をしていました。刑務官からそのように聞いたと思い込んでいたからです。

金沢中警察署にいた頃は、母親の面会もありましたが、拘置所に移ってからは一度もなかったかもしれません。受刑中は一度もなかったと思います。出所するときも事前の連絡のようなものはほとんどなかったと思います。

本来ならば刑務所にいる間に、出所後の生活のことなど話し合って調整するようなことを耳にもしていましたが、私の場合そういうことはほとんどなく、本当にいきなり刑務所から放り出されたような感じでした。

バスにでも乗って金沢駅まで向かい電子屋に乗って宇出津に帰るつもりで、金沢刑務所の門をでたように思います。警備隊の隊長とか聞いていた、いつも険しい顔をしている若い刑務官が釈放時の立会のようになっていました。大晦日だったので本来は休日でもあったはず。

金沢刑務所の正門から出たのはその時が始めてだったと思います。平成4年の事件では平成6年3月17日に福井刑務所に移送されましたが、車で外に出るときは裁判所に向かう時と同じく、他の出入口を使っていたと思います。

そういうこともあって、正門を出て歩き始めても状況がのみこめなかったのですが、すぐに近くの駐車場に一台のワゴン車が駐車していて、人が乗っている姿が見えました。あるいはクラクションで合図を受けて気がついたのかもしれません。

ワゴン車には被告訴人大網健二が一人で運転席にいました。向かいに来ているとは全く思っていなかったのですが、それよりどうして出てくる日を知っていたのかと思いました。普通に考えて私の母親から聞いたのだとは思いますが、そのことは後にも母親には話を聞いていません。

この金沢刑務所を出た日のことについては、本書でも既に記載をしているように思うのですが、だとしてもかなり前のことになっていそうなので、はっきりとは思い出せません。念の為、おさらいを兼ねて書いておきます。

金沢刑務所を出て少し行くと、若松というような交差点があったと思います。これは裁判所に出廷に行く時にも通っていたので、印象にある交差点でした。金沢刑務所からその交差点までの時間も距離もわかりませんが、5分もかかるような距離ではないのではと思います。

若松の交差点は坂道を降ってきたところにある交差点だったと思います。その途中のゆるやかな下り坂を走行中に、現在はサッカーとかスポーツ関係の学校の理事をやっているとか、ヤクザに1億とか2億とか言う借金が出来たか、そんな関係者に取り立てをを受けるようになって困っているとか。

そんな話をしていましたが、私の方から聞き返したり、質問することはしなかったのでその会話も長続きはせず、若松の交差点に来た頃には終わっていたように思います。

どう表現すれば良いものか迷いますが、おだやかで親しみやすい態度で、媚をうって同情を誘っているようにも見えました。彼と被告訴人KYNには金沢市北安江の借家を引き払って宇出津に引っ越しをするのにずいぶんと迷惑を掛けたとも聞いていましたが、そんなことはおくびにも出さない感じでした。

被告訴人大網健二が最初に向かったのは金沢市円光寺の彼の自宅だったと思います。何か家に用事があるような行動でした。忘れ物をしたとはいっていなかったですが、今考えると、自宅から田上の金沢刑務所に向かってきた可能性が高いのに、すぐに自宅に戻ったのもどうかという感じです。

自宅の前に着くと、彼は一人で家の中に入って行きましたが、しばらくすると川のコートと防止を一つ手に持って、私に手渡そうとしました。家の前でお互いに立っている状態だったと記憶にありますが、反射的にいらないと断ると、泣きそうな顔になってもう一度渡そうとしてきたので、受け取りました。

そのあとだったと思うのですが、車で金沢市黒田の被告訴人KYNの自宅の前を通り過ぎたと思います。どこへ行くのかと聞いてはいなかったようにも思いますし、そのまま宇出津に帰るように聞いていたか、あるいは預かっていた車を見せに行くと聞いたように思います。

被告訴人KYNの家というのは、普通、車で通りぬけをするような道ではないと思います。間明の方から橋を渡ってきたのであれば、通り抜けで多少の近道をすることはあったと思います。住宅地ですが道幅も広いです。

間明の方から橋を渡ってくるということは、野田専光寺線を走ってきたということにもなりそうですが、そうではなく西金沢の駅の方から来たような気がしますが、細かいことは思い出せなくなっています。

いずれにせよ、被告訴人KYNの家の前を素通りしたことは間違いないと思います。私の方から被告訴人KYNのことを話題にしたと思いますが、会っていないと答えたか、はぐらかされたような感じで話は聞けなかったか、まあ、変わりはないというような簡単な返事だったように思います。

被告訴人KYNの家の前を素通りして少し行くと、広い道にぶつかります。その道は私も近くの東力に住んでいたのでよく使っていたのですが、左に行けば保古町、右に行けば金沢西インター近くのトラックターミナルの正面で8号線バイパスに出る道でした。

バイパスに出る手前の左側にはパチンコタイガーというパチンコ店がありました。前にそのあたりをGoogleマップで見たのですが、現在は以前の原型がないほどに変わっている様子でした。

ついでに書きますと、以前一度、被告訴人大網健二と被告訴人大網周一の3人でそのパチンコタイガーに行き、パチンコをしたということがありました。時期がはっきり思い出せないのですが、他にはない珍しい体験だったと記憶に残っています。

パチンコではなくパチスロをやったようにも記憶していますが、被告訴人大網周一はすごく慎重でギャンブルを恐れているようにも見えました。人一倍父親思いという感じでもありましたが、その父親のど外れたキャンブル癖で、小さい頃から迷惑も受けてきたのだろうとは思います。

それはまだパチンコオメガの間明店が営業していた頃でもあったように思います。黒田に入る橋の手前、野田専光寺線から入るところにオメガ間明店はありました。間明の陸橋のたもとでもあったと思いますが、野田専光寺線を挟んだ向こう側にはマカオというパチンコ店もありました。

そのパチンコマカオには被告訴人KYNのところに仕事に行っていた平成10年の頃にも、ちょこちょこと入って遊ぶことがありました。かなり古い店になっていましたが、昭和の終わりの頃のパチンコ店の雰囲気を色濃く残しているような店だったので、懐かしさもありました。

もしかするとまだ軍艦マーチの音楽が流れることもある希少なパチンコ店であったかもしれません。独自の口上でのアナウンスも流れることがあったかもしれません。「じゃんじゃんばりばり」とかいうやつです。

軍艦マーチは昭和の時代のパチンコ店の定番で、流していない店のほうが珍しかったような気もします。

パチンコオメガ間明店は、小さいパチンコ店でしたが比較的新しく見える店だったと思います。いきなり休業状態になり、改装をして新装開店をするような話も聞いたように思うのですが、そのまま再開することはなく潰れたような感じでした。当時、パチンコ店が潰れるというのは珍しいことでした。

パチンコオメガ間明店は、東力の私の住んでいたアパートからは、一番近いと思える場所にあるパチンコ店でもありました。大通りに出ることもなく行くことも出来たので、気軽に向かえたとも思います。当時の私は乗用車での信号待ちをかなり嫌って避ける傾向があったと思います。

普段、長距離運転手の仕事をしていた反動もあるのかと思いますが、東力から二口町への通勤もかなり苦痛に思っていたと記憶に残っています。若い頃というのは他にも、妙なこだわりを持っていたと思いますが、今でも割と強くそのようなことは記憶に残っています。

中央市場と東力のアパートの間には、長田オメガというパチンコ店もあったと思います。そこにも会社の帰りに寄ってパチスロをすることがありました。もっと中央市場に近いところには駅西オメガというのもありましたし、パチンコオークラもありました。

テレビのCMでも長田オメガと出ていたように思いますが、間明オメガというのは見たことも聞いたこともなかったような気がします。CMで見かけるようになった頃には、間明の店がなくなっていただけのことかもしれませんので、間明オメガにもしておきます。

その間明オメガで忘れられない思い出は、子ども二人を連れて行った時のことで、床に這いつくばって拾い集めたパチンコの玉やパチスロのコインを、真っ黒になった手で差し出してきたことがありました。服の方もところどころ真っ黒になっていました。

そこのとを書いておきたくて、ながながとパチンコ屋の話を書いたようなものです。

平成13年12月31日の話に戻します。被告訴人KYNの家の前を通って出た広い道を右に曲がると少し行った先に道幅は同じくらいの交差点があって、交差点の右の方には8番ラーメン、左側の交差点の向こう側にはコンビニがありました。サークルKだったような気がするのですが、平成10年頃の記憶。

そのあたりの住所は金沢市古府だと思います。交差点を左に行くと東京ストアの西南部店の前を通って八日市、さらには御経塚で国道8号線にぶつかる道でした。その東京ストアより手前のうどん屋で、初めに被告訴人大網健二と被告訴人KYNの3人で、仕事の話をしたことも既に書いていると思います。

交差点を右に行くと野田専光寺線の間明の陸橋を降りてきた辺りの交差点にぶつかりましたが、そのまま真っすぐいくと高畠の方に行き、玉鉾の方から来る広い道とぶつかっていました。直進すると8号バイパスの下をくぐって、金石に向かう川沿いの土手のような道につながっていました。

交差点を直進すると先ほどの説明のように、西インターのパチンコタイガーの横から8号パイパスに出ることが出来ましたが、これは一直線の道ではなかったようにも思います。一度パイパスが見える辺りまで近づいてから道路が直角に左に曲がっていたようにも思います。

交差点を越えてから突き当りの左に折れるカーブまで距離にしてどれぐらいだったか。その半分ぐらいのところだったように思うのですが、バイパスの方から来ると右手にまるでデパートにも見えるような割と大きな建物がありました。建物も新しく見えました。

交差点のコンビニの方向から向かったはずなのですが、私の記憶では、その問題の建物のコンビニの方角とは反対側にある横に入る道から、その建物の側面を通り右折してコンビニの方向に向かった場面が、記憶に残っているのです。

正面玄関がどこにあるのかもわからなかったですが、コンビニの方から来た道が優先道路で、そちらの方に正面があるように感じました。私が被告訴人大網健二の説明を受けながら主に見ていたのは、横の道に面した部分でした。見上げるような感じで見ていたと記憶に残っています。

記憶にあるのかないのかはっきり出来ないのは、その場で自分の軽四を見たのか見ていないのかということです。わざわざそこまで行ったのですから、その場に軽四が置いてあった可能性はあると思います。ただ、あったとしても路上に駐車したようなかっこうであったと思います。

建物の前は、この時も通過しただけだったようにも思いますが、停車をしていたとしても中にはいるようなことはなかったですし、建物の中に駐車場があるようなビルでもなかったはずです。

ビルは5階建て以上あったような気もしますし、一見したところビジネスホテルの建物にも思えましたが、看板のようなものは何も見当たらなかったように思います。以前、そこでその建物を見ていたという記憶もなかったのですが、普段余り通るような道でもなかったし、意識することもなかったと思います。

Googleのストリートビューに出てくる可能性は高いかと思いますが、まだ確認はしていませんでした。その辺りというのは住宅も少なく、以前はほとんどが空き地かあるいは田んぼにでもなっていたような気がします。

そのビルを被告訴人大網健二は自分の会社か学校のように話していましたが、近いうちに津幡の方に移転をするとか、津幡の方で建設中とも、あるいは言っていたかもしれません。いきなりの話でぴんとこなかったのですが、2年4ヶ月ぶりほどで社会に出てきたところだったので、感覚が鈍ってもいたと。

その後は、石川県庁にも近い8号バイパス沿いの、ヤマダ電機の大きな店舗に行って家電を見たことを憶えています。大きな画面のプラズマテレビという商品を見たのが特に印象的でした。ただ、私としては刑務所を出てそうそう家電のことは頭になく、そこでパソコンを見たことも印象には残っていません。

本来パソコンこそが私が最も関心を持つ電化の商品だったはずですが、それを見たという記憶も全く残ってはいないので、被告訴人大網健二が自分の考えてその店に連れて行ったのだと思いますが、今考えるとその場で誰かに私の姿を見せて記憶させるというのも、あるいは目的だったのかもしれません。

買い物をしたという記憶も残っていませんが、その時は久しぶりに社会に戻ってきたのでサービスとして気を利かせ、立ち寄ってくれたのかと、割と軽く考えていました。

金沢市内のどの道を走ったのかも余り記憶には残っていないのですが、大晦日ということもあってか、交通量も少なく感じていました。

その後は、粟崎の交差点の先にある回転寿司に入って食事をしました。代金を支払ってくれたのも彼だったと思います。粟崎の交差点からはどれぐらいか直進した左手にある店だったと思います。

粟崎は金沢市内だと思いますが、河北郡内灘町に隣接していて、内灘は私達能登の人間から見れば、金沢の出入口というイメージも強いのですが、内灘ではなく宇ノ気の方を通ることも多かったので、必ず通る場所でもありませんでした。

何度か書いていると思いますが、能登有料道路は昨年辺りに無料化され、名称も「のと里山海道」とかに変更になっています。2009年の3月以来、私は走行したことがないので現在はどのように変わっているのかもわからないのですが、昔からなじんできた道路でした。

バイクでは一度、志賀町の能登中核工業団地の国道側の入り口まで行ったことがありますが、スクーターだと有料道は走れませんし、バスや他人の車の同乗でも能登有料道路を走行したことはありません。

内灘から羽咋市の近くまでは左手がほぼ海岸線という道路で、その先はほとんどが山間の道路でしたが、当時の終点は穴水だったと思います。料金所は穴水の大分手前にあって、横田の料金所と呼ばれていたように思います。

料金所を過ぎてからは他に入る道もなかったですが、穴水に入ると此木という交差点があって、左が門前、輪島。右が穴水の町中、直進すると柳田村から珠洲方面になっていました。これは今も同じですが、終点は能登空港の近くまで伸びています。

山間の道を走るようになってからは、私の方から金沢刑務所でのことをいろいろと話したと記憶していますが、主に刑務官らの普通とは思えない行動や態度について話をしたと思います。映画の話もしていたかもしれません。

彼は金沢にいた頃より、よりいっそう神妙な感じになっていましたが、無口になってほとんど話しの聞き手になっていました。相当注意深いとともに万全に臨んでいるような感じだったので、何を考えているのか読めないところもあったのですが、妙に落ち着いていて、安堵しているようにも思えました。

表現の難しいところですが、その日のことは私の動向をうかがうという目的も感じさせず、終始控えめで、今考えるとまるでご機嫌取りに来たような感じでありました。

穴水の此木からはそのまま直進して山間の道を走り、柳田村の上町で、側道から降りて高架の下を右折して宇出津の町に入るという道と、此木の交差点を右折して穴水の町に入ってから国道249号線を左折して宇出津に向かう道がありました。その道だと鵜川を過ぎて宇出津に近づくと海岸線になります。

穴水からどちらの道を通ったのかも今は記憶にありませんが、まだまだ明るい時間に宇出津の私の家に着きました。帰った時、母親は不在で誰もおらず、しばらくはそこで被告訴人大網健二と話をしていたことも憶えています。何かを見せながら何かの説明をしたようにも思うのですが、これも今では。

今では記憶のはっきりしないことです。母親が戻ってくるまではかなりの時間があったようにも思います。少なくとも30分ぐらいはあったように思うのですが、母親が被告訴人大網健二と顔を合わせたのかどうかも、今の私の記憶でははっきりしません。

母親が戻る前に被告訴人大網健二は帰っていなくなったような気もするのですが、会って言葉を交わしたという場面を見た記憶もありません。さらに言えばその日のことは、夜、母親が作ってくれた熱いおでんを食べながら、紅白歌合戦を観ていたことです。

被告訴人大網健二との間には腹の探りあいのようなところがありました。私の方も相当慎重に構えていたと思います。いきなり刑務所から出てきたところだったので、正月という実感もなかったのですが、正月休みの予定について話をすることもなく別れました。

被告訴人大網健二と顔を合わせて話をしたのも、それが最後だったと思われます。開けて平成14年の春から初夏よりは前だったように思うのですが、一度電話で口喧嘩をしたようなことがありました。

余り自覚のないまま不快な思い出として思い出さないようにしていたのかもしれませんが、金沢刑務所を出たあとの被告訴人大網健二との関係の記憶というのは、平成11年当時のことより、薄くぼんやりとなっているような気もします。

どちらから何の用事で掛けた電話なのかも思い出せないのですが、昼の電話で自分の家の2階から掛けていた電話ということは憶えています。不信感を持っていることをストレートに伝え、警察のほうが調べている可能性が強いとも言ったように思います。

同じような頃、被告訴人KYNとの間にも似たような電話があったような気もするのですが、これも記憶がはっきりしません。

はっきりと記憶にあるのはその平成14年の春に、被告訴人KYNが突然家を訪ねてきて、自分の家の2階でパソコンを見ながら話をしたことです。インターネットにつながっている状態で、田舎に住んでいてもこんなことが出来る時代になったのだな、と感慨深げの彼の言葉だけが記憶に残っています。

いきなり傷害事件を起こして拘置所に入り、その後始末の引っ越しをさせられたのですから、ろくな挨拶もしない私こそ非常識と思われそうでもありますが、そういうことは全く眼中にないという感じだったとも思います。

いつ頃、引っ越しをしたのかその時期もはっきりとは聴いていない気がしますので、拘置所に移る前の金沢中警察署にいる段階で引っ越しがあったのかもしれません。

被告訴人KYNが一度、金沢中警察署に面会に来たことははっきり記憶していますし、配管の工事に来ていたこの金沢中警察署の建物に、こんなかたちで面会に来るとは思わなかったと話していたことだけ、その面会の内容として記憶に残っています。

母親も一回か二回は金沢中警察署に面会に来ましたが、すっかり諦めた様子でした。こころなしか、さっぱりした表情にも見えることもあったのですが、多くも語らず、そのうち面会にも来なくなったので、あとのこともわからなくなりました。

思えば、被告訴人大網健二の面会というのは金沢中警察署ではなかったように思います。

今細々としたことを書いていますが、それも先日あばれ祭りで被告訴人KYNに会ったことが大きいと思います、どちらかといえば優先順位も下げていたので、そのうちに錆が出て鈍くなったような頭の記憶の部分もあるのかもしれません。

元検事ともいう若い弁護士が、当番弁護で金沢中警察署に来ましたが、それは当番弁護の制度的にも、逮捕から時間の経っていない時期であったと考えられます。名前も聞いてはいたはずですが、まったく記憶に残っていません。

10分もいたのかと思いますが、言われたことは、再犯になるので実刑以外にはないという話でした。事件の資料を見た上でのデータ上の判断だったのだと思いますが、いっさいの期待を持たせないような対応でした。

逮捕されたのが8月12日で、拘置所に移送されたのが9月の20日頃だったので、改めて考えてみると金沢中警察署には一月半もいなかったことになりそうですが、今まではけっこう長い間いたような記憶でいました。やたらと一日の時間が長く感じられていたようにも思います。

たしかにそれは思い過ごしではないです。警察署の留置場の生活ではまともに陽の光を浴びることも出来ず、外の景色も見ることができませんでした。運動の時、大きな格子の間から、空や建物のごく一部が見えるだけ、あとは全て室内もしくは屋内という生活でした。

施設による違いもあると思いますが、金沢刑務所の拘置所の場合、独房においても日当たりもよく、風通しもよい生活環境でした。社会から切り離されたという諦めもはっきりするので、健康的な修行僧のような生活になったとも言えそうです。食生活もはるかに良くなっていたと思います。

同じ拘置舎の2階での生活でしたが、平成4年の時は被害者の意識も戻らず、植物人間の可能性や死んでしまう可能性も高い状況下だったので、それはそれは息苦しく重苦しい精神状態での拘置所生活でもありました。

判決が確定するまでちょうど一年ぐらいの拘置所での生活だったのかと思いますが、短くも思える生活で、面会もほとんどなかったので、記憶に残っていることも少ない生活でした。そういえばプログラミングの勉強をすることの多い生活でもあったと思います。

面会というのは母親の友人で遠縁にもあたるような人が、足の悪い母親に変わって代理のような感じで、何度か来ていたと思いますが、多くても2,3回だったような気もします。

金沢中警察署の面会で言えば、逮捕当時の日雇い労働派遣の会社の会長が来てくれたことがありました。200人の人夫を束ねる人で独裁者のような評判もある強面の会長でしたが、忙しい中来てくれて、弁護士を世話してやるとも言ってくれたように憶えています。

その会長との会話の中でも出たのですが、はっきりとは聞かなかったものの傷害事件のことが夕刊に出ていたような話でした。同じようなことは他にも一度耳にしたのですが、出所後、図書館にある北國新聞では確認が出来なかったので、北陸中日新聞に載った可能性はあるかと思います。

過去の北陸中日新聞の記事を見る方法は知らないので、未だ調べたこともないです。平成4年の事件にも触れられているような感じではありました。私自身、拘置所での一時期以外は一度も夕刊を購読したことがないので、夕刊というのも余りピンとこないのですが、平成4年の事件が載ったのも夕刊。

金沢刑務所での服役生活では身柄引受人とか、そういう話もほとんど出なかったと思います。未決勾留もあったので、一年ちょっとという短い刑期だったので、さほど深刻には考えなかったですが、なんの相談も見通しもないまま釈放され、母親がいたのでその時は宇出津に戻ることも出来ました。

金沢刑務所から出てきた日が大晦日だったので、一晩寝ると平成14年になっていました。すぐに行動に出なかったのも今考えるとどうかと思うのですが、平成11年の8月まで金沢で使っていたパソコンを組み立て、起動させたのは5日か一週間ほど経ってからだったと思います。

拘置所の生活ではプログラミングと情報処理の資格試験の勉強に力を入れていました。拘置所にいる間というのは裁判中でもありますが、裁判所に上申書を出すよりは、直接御庁（金沢地方検察庁）に上申書を郵送していたように思います。

その主な内容というのも被告訴人大網健二と被告訴人KYNの工作活動としか考えられない、不審な言動に関する事実の詳細だったと思います。刑務所の許可が出なければ書面を作成することも郵送することも出来なかったはずですが、どういう理由の記載で願箋を出していたのかも思い出せなくなっています。

それ以前の段階でも被告訴人KYNの不審な動向に関しては、再審請求の上申書として金沢地方裁判所に提出していたはずです。よりデータ化された日々の細かい行動の記録で、仕事と私生活の区別なく詳細な作業日報のような内容にもなっていたかと思いますが、日時と場所、人の記録には特に留意。

金沢の被告訴人KYNの家も電話番号は変わっていなかったと思うので、いつでも連絡をしたり話をすることは出来たように思うのですが、それをやったという記憶もほとんど残っていません。

一つ記憶に残っているのは、宇出津に帰っていた被告訴人KYNに電話をした時、真脇温泉にいるなどと話していたことです。この会話も録音はしていたように思います。

その録音に使ったボイスレコーダーというのは平成14年の12月の20日頃だったと思いますが、野々市の百満ボルトという家電店で買ったものでした。店の漢字があるいは間違っているかもしれません。あとでインターネットで確認します。

時刻は7月10日12時45分です。昨日は18時頃から中断したままになっていたと思います。昨日も公共施設である宇出津の図書館でノートパソコンを使っていました。今日も同じ場所で同じように始めたところですが、この項目は締めて、続きを書きます。

<2014-07-10 木 12:48> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月10日

<2014-07-10 木 12:59> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

宇出津の図書館に来て作業を始めようとしたのですが、Wifiに接続すると昨日のTwitterへの投稿分が、実際には投稿されていなかったことに気が付き、それを投稿しました。スマホのモバイル通信は負担が大きいので契約を寛恕し、携帯機器でのWifiを使っています。

一番安い料金プランにしているので月のデータ量が200MBしかありません。自宅で普通にインターネットを使っていると普通に1時間ほどで使い切ってしまいそうなデータ量です。

昨日の通信データを今日の昼前に確認したのですが1.4MBになっていました。TwitterにもAPIを使ったテキストデータの投稿をやっていて、確認のためにTwitterのページを読み込むときもテキストブラウザを使って、画像などを読み込まないようにしているので、期待以上のデータ量の少なさでした。

自宅でインターネットを使っていれば通信データは使い放題ですし、6月6日に光通信に切り替えたところなので、通信速度も不満のないスピードです。特に上りのアップロードでは前のADSL回線より軽く30倍以上の速度が出ているようです。

ただ他のことなど諸々と出費もかさみ、年間の支払いもあるので経済的にはかなり厳しくなっています。そのぶんも集中してこの告訴状の作成に取り組みたいと思っています。

図書館に来る一番の理由は暑いからです。家にはクーラーがありません。特に午後は西日が射して暑くなります。図書館にいる間はインターネットは最低限の使用しかできないので、テキストつまり文章の作成にのみ専念します。

昨日は百満ボルトのことを書いたと思いますが、今思い出すと100満ボルトという店名が正しかったと思います。住所は野々市ですが、先日たまたまCMをテレビで見たところ、金沢本店と出ていました。

御経塚の交差点から陸橋に上り、それを降りたところにある交差点を左折し、少し行ったところにある店舗です。そういえば以前、被告訴人大網健二に付き合いを頼まれて二人でその店に行き、彼がディスクトップのパソコンを買ったようなこともありました。

ずっと忘れていたことでしたが、今ふと思い出しました。一括で現金払いかカード払いをしていたような気もします。時期がはっきりしませんが、平成11年かもしれません。彼の自宅に行き、そのパソコンを見たという憶えもありません。

ここでも記憶と事実の整理をしておきたいと思いますが、私がまともに被告訴人大網健二の円光寺の自宅に遊びに行ったのは1回だけでした。平成9年の1月に福井刑務所を出てから、まだ日の浅い頃でした。

どうやって行ったのかは憶えがないですが、彼の車で連れて行ってもらったことは間違いないと思います。車以外となるとバスですが、私は一度もバスで円光寺の周辺には行ったことがありません。

夕方遅い時間に家に行き、奥の方の居間のような部屋で、彼の妻と再会したことも印象的に憶えています。気持ちを込めた作り笑いにも思えなくはなかったですが、満面の笑みでこころよく迎え入れてくれました。夕食も振る舞ってくれたのですが、天ぷらが出たようなことを微かに憶えています。

食事を終えたあとか、あるいはその前だったような気もするのですが、野々市の方のスーパー銭湯のようなところに行き、風呂に入りました。金沢の周辺ではよくある大きな銭湯です。彼の子供が一緒だったような気もするのですが、記憶ははっきりしません。

割と早い時間の就寝ということで被告訴人大網健二らは二階に上がっていき、朝まで姿を見せることもなかったと思います。私は居間でコタツに毛布をかぶって寝たように思いますが、なかなか寝付けずテレビを見ていました。

深夜帯かそれに近かったように思うのですが、南野洋子か中山美穂のどちらかが主演の映画で、寒村の浜辺が舞台のような映画をやっていました。ずいぶんと貧しい生活が描かれていたようにも思いますが、映画の筋書きなども記憶にはありません。

どちらの女優かもはっきり思い出せず、名前の感じが違っている可能性もあるので、あとでなるべくなら調べて正確な情報を書いておきたいと思います。

翌朝は、被告訴人大網健二が仕事に出かける車に同乗して、金沢市神田の合同庁舎まで送ってもらいました。目的は労働基準監督署です。それ以外には考えられません。その建物に労働基準監督署があることは随分前から知っていましたが、実際に訪れたのはその時が初めてだったと思います。

ただし、労働基準監督署に相談に行ったのはそれが初めてではなく、初めに金沢市場輸送に入社した昭和59年1月の少し前まで働いていた会社のことで、相談に行き、労働喜寿監督署の職員と一緒にその会社に行ったことは一つの場面として記憶にあります。

私の記憶の中では、神田の合同庁舎と大手町の金沢地方検察庁の庁舎の建物というのは、だいたい同じ頃に出来たという気がして、以前は新しい建物というイメージも強くありました。ただ、どちらも建設中の様子は見た覚えもなく、建物が出来る前のその周辺の状況も記憶にはありません。

その時、途中までは被告訴人大網健二の妻も同乗していました。途中の町中で降りていったのですが、寒空の中でのことでした。日本生命の保険外交員の仕事をやっていて、そのまま営業の仕事に回る、というような話でした。

労働基準監督署に行ったあとは、金沢地方検察庁、裁判所、金沢西警察署にも行ったように思います。裁判所の場合だと、室内に招かれて本格的な話をしたのは、2階の階段を登ってすぐの部屋で、名古屋高裁金沢支部の刑事部でした。

裁判所に行ったのであれば、すぐ近くの金沢地方検察庁にも行ったと考えられるのですが、当時はっきりした用事で金沢地方検察庁に行ったのも一度だけで、刑事特別部のゴダイという人に会った時のことでした。

その時は、三階か四階の喫煙所のような場所で話をしました。待合室と喫煙所がほとんど一緒になっていたようにも思いおます。正面から建物をみれば、右端の側面の部分で、窓の下には若杉幸平弁護士の法律事務所も真下 近くに見えたのではとも思われる位置です。

その頃はただの通路にも見えた場所です。そうやって考えてみると私は平成9年に福井刑務所を出てから今まで2回しか、金沢地方検察庁に行ったことはないということになりそうです。

2度めに行った時というのは平成18年10月の初め頃のことです。提出する告訴状の書面を携えて約束していた時間に合わせて行きました。ゴダイさんに以前会った場所とほぼ同じだと思いましたが、その時はすっかり待合室という感じになっていて、参考人に対する心構えのような手引も壁に張り付けて。

その時会ったのは検察事務官の遠塚さんでしたが、捜査官室という部屋に招かれてそこで話をしました。五台山の時は、事実上立ち話のようなもので終わったと思います。

金沢地方検察庁には一度だけ再審請求に必要と言われた判決謄本をもらいに行ったことも記憶にあります。これは一階かあるいは地下一階の場所で受付をしたように憶えていますが、外に収入印紙を買いに出たことも憶えています。

その判決謄本をもらいに行った時期も現在思い出せなくなっているのですが、交付の時に対応を受けた職員が、以前に見た遠塚さんに似ていると思ったように思うのですが、その後どれくらいあとかもわかりませんが、謄本に遠塚という名前が書いてあることも見つけたという記憶があります。

捜査官室で会った時の遠塚さんの上司と思われる人の名前も、今現在思い出せなくなっています。普通には変換できないような感じが含まれていました。

書いているうちに思い出すことが出来たのですが、「とま」という人でした。戸のあとの一文字が、間ではなく見たこともない感じになっていましたが、間には近い感じではなかったかと思います。

電話で自ら名前を名乗り、難しい漢字についても説明を受けたように思います。はてなのブログを検索すれば、当時の詳しいことを見つけ出すことが出来るとは思いますが、今は自由にインターネットを使えない環境です。

すでに平成19年の4月1日の公訴時効を過ぎてからであったと思いますが、電話で告訴状の受付に関しては公訴時効と関係なくやり、必要があれば、とか行っていたのもその「戸ま」さんだったと思います。

その「戸ま」さんの後任と思われる人の名前も、今現在思い出せなくなっています。わりとよくある覚えやすく思い出しやすそうな名前だったのですが・・・。岸田という名前だったかもしれません。余り記憶に自信が持てなくなっていますが、Twilogでも確認はできそうです。

円光寺の被告訴人大網健二の家のことに関する説明に戻りたいと思います。まともに家に入ったのは一階ぐらいと書きましたが、夕食をごちそうになって泊まった日のことです。

他に二回ぐらい、玄関から入ってすぐ右手にある部屋に招かれて、そこで何かをしたということがありました。一回は、Nテックの飛び込み営業に使うための背広など服やズボンを貰いに行った時ではなかったかと思います。

Nテックの話が始まったのは平成11年1月の20日頃だったと思います。似たような時期に2回ぐらい同じようにその部屋に入ったのですが、縦に垂直型のピアノが置いてあったような気もします。

円光寺というのは私にしてみれば、同じ金沢市内でもかなり遠く感じる場所でしたし、仕事以外では滅多に行くような場所でもありませんでした。既に書いていると思いますが、その近くの山科に堀田建設の現場があった平成11年の春には毎日のように通う時期もありました。

野々市の100満ボルトでボイスレコーダーを買った話を書いていたのでした。繰り返しになると思いますが、平成14年12月の20日頃のことでした。

当時私は、派遣の仕事を始めたところで、一月近くが経って仕事も生活も慣れて落ち着きが出た頃だったと思います。初めての派遣会社の派遣先でもありましたが、志賀原発で有名な羽咋郡志賀町の能登中核工業団地のなかにある光ケーブルの工場で派遣の仕事をしていました。

当時は毎日3時間の残業があって4日出勤の2日休みではなかったかと思います。工場自体は24時間のフル稼働なので、土日というのは関係なかったはずです。

野々市の100満ボルトは、以前行った時とは違い、大きなビルのホテルにも見えるような建物になっていました。けっこう長い時間、店内でいろいろな商品を見ていたと思いますが、買ったものとして記憶に残っているのはボイスレコーダーだけです。

初めからボイスレコーダーを買うことを目的に店に行ったのではなかったような気もするのですが、思っていたより価格も安く高機能なボイスレコーダーを見つけ、手にとったものをたまたま買ったような気もします。いわゆる衝動買いです。

同じ頃で数日後の年末に近い頃だったという気がするのですが、金沢市入江のオートバックスというカー用品の店に行き、そこでカーオディオを買い、乗っていた軽四に取り付けてもらったような覚えもあります。

ボイスレコーダーを買った時は、そのまま金沢市黒田の被告訴人KYNの家に行きました。昼過ぎの時間だったようにも思うのですが、彼が家にいた事と、いるだろうと疑いなく訪問したことを考えると、日曜日であった可能性も高そうです。

ただ、一方で野々市の100満ボルトでは、出入口で福引のようなイベントもやっている大売り出しだったとも記憶にあるのですが、その割には客の姿が少なくて、平日のような雰囲気があったという記憶も残っています。

買ったばかりのボイスレコーダーは、訪問した被告訴人KYNとの会話で使ってみました。上着の内ポケットに忍ばせていたのではと思いますが、期待以上に鮮明な音声で録音ができていて、これは使えそうだと思ったことを憶えています。

被告訴人KYNの家でパソコンを見たのも、その時だったかもしれません。家電ショップによく置いてあるようなディスクトップのパソコンでしたが、比較的高価なもの見えました。スペックもけっこう高かったような気がします。

訪問した時も家に上がって話をしていた時も、被告訴人KYNはずいぶんとおだやかな感じであったと思います。私の方でも彼が警戒したり、気に触ると思うような話題は避けたように思います。記憶に残っている会話というのもパソコンのことぐらいかと思います。

30分から長くいて一時間だったようにも思いますが、その後のことも記憶には残っていません。人間的な彼との関係は平成11年の時点で破綻していると思っていたし、自分の想像を超えたような事情もあるのかと考えていたと思います。

その後も連絡をとるようなこともなかったと思いますが、昨日辺り書いたように、彼の宇出津の家の方や、あるいは宇出津に帰ってきていると知った上で掛けた携帯電話で、電話に出た被告訴人KYNが真脇温泉にいると話していたようなこともありました。

よくよく考えるとその時の電話が、金沢での最後の会見につながったのかもしれません。そういえば正月の休みが明けた頃であったようなことも、割とはっきりした輪郭として浮かんできました。やはり平成16年の1月ということになりそうです。

自信が持てるほどの記憶にはなっていないのですが、やはり買い換える前のホンダの軽四に乗っていた可能性が高いと思います。なにか車に不調があって、停めた車の下の方を覗きこんでいたよう気もしてきました。致命的な故障を起こす予兆のような段階になっていたことも、あるのかもしれません。

たまたま買ったワグナーのCDを聴いていたことも思い出してきました。それでカーオディオをいじくっていたというのが実際で、車の不調というのは無関係だったのかもしれません。車の事で何かあったということは割と印象的に憶えていたのです。

ワグナーにはマイスタージンガーという有名な曲がありますが、何かで町の職人というような説明を見た覚えがありました。被告訴人KYNが平成9年から11年にかけて、私に対してやった工作的活動は、職人芸を思わせるものでもありましたし、壮大な演劇を思わせるものでもありました。

シェークスピアとか直接にはほどんど読んだ覚えもないのですが、その評価というのは雑学的にいくつかの本の中で読むことがありました。

野々市の100満ボルトからボイスレコーダーを持って訪問した時は、飛び込みに近かったと思いますが、最後の会見の時は、事前にしっかりと連絡で会う日時や場所を決めていたと思います。私もそれだけの気構えで臨みましたし、彼としてもそのあたりは察していたものと思われます。

その時は彼の自宅ではなく、以前は会社の事務所のようにもなっていた。隣の民家の方で初めに会ったように記憶しています。その隣の家については、まだ十分な説明をしていないように思いますが、少しは触れたことがあるはずです。

3ヶ月ほど前になりますか、Googleのストリートビューでは、黒田の被告訴人KYNの自宅も、その隣の奥の方の家も、平成11年の1月当時とも余り変わりのない様子で写真が出てきました。さすがにそこまではと思い、公開も控えてきました。

平成10年の9月ころになるのではと考えているのですが、被告訴人KYNがその隣の奥の家を買うとか言い出しました。言い出してから本当に買うまでも早かったと思いますし、すぐにその家に出入りをするようになっていました。

同じ頃、被告訴人KYNは1億とか2億の借金をするとか、したと話していました。はっきりとは思い出せなくなっていますが、1億とか2億という区切りではなく、1億5千万円とか、そういう金額を口にしていたように思います。

宇出津に本店のある興能信用金庫に借りるような具体的な話もしていました。いしかわ動物園での配管の仕事が本格化した頃にも近かったような気がしますが、その仕事は春の頃から始まっていたようにも思います。

他にもあったのですが、いしかわ動物園でのメインの仕事はアザラシとかの水族館の配管工事でした。かなり複雑な配管で特殊なバルブのようなものも多数取り付けていたと思います。

契約の内容など知らないので、正確なことはわかりませんが、そのような配管やバルブなどの材料費も持ち出しになるのだとすれば、相当な金額にはなりそうなので、そういう費用を含んでの借金なのかと考えることがありましたが、経験もないので現実的にとらえることのできない金額でした。

なお、今も同じ宇出津の図書館にいるのですが、昨日たまたま手にとった本の中の宇出津の能登町役場の工費について2億9千万円と書いてありました。「能都町町制25周年記念　郷土の歩み（歴史伝承）」という本です。

昭和46年4月に建設工事に着手。昭和48年7月をもって完成、とも書いてあります。足場を組んだ建設中の能登町役場の写真もあるのですが、私には建設中のこともその前の状況も、全く記憶には残っていません。

時代が違うし貨幣価値の異なることもありますが、総工費と思われる金額が2億9千万円というのは意外でした。いしかわ動物園の総工費も調べれば、情報を得ることができるかもしれません。

隣の奥の民家ですがそれほど広い土地でもなく家も古かったので、私としては3千万円がいいところかとも考え、すぐに手を出したくなるような掘り出し物であれば2千万円にも近いのかもしれないと考えることはありましたが、契約は個人間や業者相手のことなので、正確なことはわからないと。

どうも気が付かない間にWifiの接続がきれていたようです。接続というよりはモバイル機器の電源がオフになっていました。だいぶん前にさかのぼってツイートしなければなりません。

あとになると思いますが、被告訴人大網健二がその隣の奥の民家について、自分が紹介をしたような話をしていました。それだけではなく、その大家のような人のことも話していたと思います。

当時の私としては他に気がかりなことがあったためか、それほど重く、深くも考えずに聞き流していたようにも思うのですが、大家のような人というのは高齢の女性のようで、なにか工場をやっているような話で、屋根の方の手伝いがなんとかと言っていたような気がします。

さらにいえば、私は被告訴人大網健二と二人でその工場のようなところに行き、なにかをしたような気もするのですが、それもごくごく曖昧な記憶になってしまいました。工場というのは間明から玉鉾の方面だったような気もするのですが、昨夜見た夢の内容を思い出すような感じで、雲をつかむようです。

隣の奥の家の購入が、被告訴人大網健二の仲介によるものという話は一度も聞きませんでしたし、そんな重要な売買であれば直接顔を合わしに被告訴人大網健二が来ることはあったはずと思えます。

被告訴人大網健二の姿は不思議なぐらい長い間、さっぱりと見ることがありませんでした。被告訴人大網健二が被告訴人KYNのところに顔を出すようになったのは平成10年の11月になってからだったと思います。

既に書いていると思いますが、西金沢の駅の近くの小料理屋のことがきっかけでした。雨の降る夜だったとも記憶にありますが、配管ではなくエアコンの工事がなんとかと話していたような気もします。

その小料理屋に関しては、半年ほど前になりますかGoogleのストリートビューで、それらしい店を確認しています。店は平成10年の秋に出来たばかりの状態だったので、15年程度だと新しいままに見えていると思いますが、西金沢駅を含めた周辺の景色というのは、物凄く激変して見えました。

店の名前は「一水」だったと思いますが、インターネットを自由に使える家に戻ってから確認するつもりです。

とにかく3人でその自宅を兼ねたような店舗の家に行った時は、建築工事が完成したばかりという感じでした。荷物のようなものは何も持ち運ばれてはいなかったと記憶にはあります。

配管の工事の話でなかったことは間違いないと思いますし、配管の工事に問題があれば施工をした業者を呼ぶのが当たり前かと思います。極力安上がりにするためエアコンの工事の相談を持ちかけてきたように見えましたが、どこか腑に落ちない話にも見えました。

エアコンといえば、その平成10年の夏、私は生まれて初めてエアコンを買ったのですが、それは被告訴人KYNも関わりのある業者の集まりでの会場のことであったと、これもぼんやりですが記憶にあります。場所も金沢の西の方ではなかったかという程度しか思い出せない話になっています。

業者間のしがらみや付き合いのようなものがある場であったと思いますが、とにかくエアコンを買いました。被告訴人KYNの勧めもあったのだと思いますが、取り付けを手伝ってやるという話があったはずです。

実際に被告訴人KYNが北安江の借家に来て、二階でエアコンを取り付けるのを手伝ってくれたという場面も記憶に残っています。その時のも仕事でエアコンの取り付けはやったことがあるとか、することがあるとは話していたと思います。

ついでに書いておくと業者の集まりの会場には最新機器のお披露目のようなものもあったと思います。いろいろとブースがあって、食べるものや子供を楽しませるようなものも多かった気がします。被告訴人KYNは家族連れで参加していたように思います。

隣の奥の民家を購入するまでは、被告訴人KYNの自宅が仕事場や事務所を仕事関係のすべてを兼ねていたと思います。見た目は普通にある住宅で目立つような看板も出てはいなかったと思いますが、人の出入りはそれなりにありました。

別の言い方をすれば被告訴人KYNの家族の生活と仕事が一緒くたになっていたわけですが、隣の奥の家を購入してからは、朝仕事に来た時も帰る時も、被告訴人KYNの自宅ではなく、そちらに顔を出すようになりました。

被告訴人大網健二の姿を被告訴人KYNのところで見るようになったのもそれからだったと思います。私が被告訴人KYNのところで仕事をすると決まる前後の一定の間は、ちょくちょくと顔を出していたように思いますが、まったくといっていいぐらい姿を見せなくなっていたように思います。

被告訴人KYNのところでの仕事というのは朝は7時に出勤になっていたと思います。初めは7時半だったきもするのですが、私が入って2,3日後には7時になった気もするのです。ずっと7時だったので余り気にはしなかったですが、そういうこともあったかと思います。

休みというのは日曜日だけだったと思います。日曜出勤というのも皆無ではなかった気もしますが、ほとんどはなかったと思います。

現場で仕事を終え 片付けてから帰ってくるので、18時から19時の間に帰ってくることが多かったような気がします。事務所が隣に移ってからは、その後の解散までの時間も長くなりましたが、もちろん必要な打ち合わせもありました。

配管の仕事というのは現場の仕事だけではなく、図面を見て部品を拾い出し、それを注文したり、買いに行くという仕事もありました。

親方である被告訴人KYNの場合は、見積書の作成というのもよくある仕事で、買う気のない客と同じで無駄な見積書を書かされることも少なくないと愚痴をこぼすこともありました。

一水のことで被告訴人大網健二が顔を出して以来、私ともちょくちょく会うようになりました。そんな頃から総合建設業を目指すとか夢のような話を語るようになり、兄貴の大網商事をそのようにしたいなどと構想を語るようになったのです。

あれこれと話を聞いていても具体性のある話とは思えませんでしたが、被告訴人KYNが隣の奥の家を買うと言い出し、それを現実にものにしたということもあったので、それなりには話を聞いていました。

そのうち大網商事の社員教育として講師を招き経済学だかの話を聞くので、被告訴人KYNに場所を貸してくれと頼んでいました。指定した場所というのがその隣の奥の家です。

変な言い方をすれば夜逃げをしたあとの抜け殻のような家でした。事務所のように使っていたのは玄関からまっすぐ入った板張りのダイニングキッチンのような部屋でした。事務所らしくなったのはリフォームの工事をした翌年つまり平成11年の1月下旬のことです。

講師というのも大学の先生のような話でした。呼ばれた方もさぞや驚くのではないかと想像もしましたが、とてもまともな話とは思えなかったです。

時刻は7月11日10時18分です。ツイートされているか今確認したところ最後のツイートが16時間前になっていました。図書館から戻ってからも書くつもりでいたのですが、昨夜はケンミンショーのテレビを見たりしてのんびりしました。

今日も朝食を兼ねた昼前の昼食を済ませてから図書館に行こうと思っていたのですが、ネットの天気予報では能登町の一番上がる気温で25.1度になっていたので、家でも暑さを気にせず過ごせそうです。もっと気温が低いはずの今でも蒸し暑ので、扇風機を弱風にしています。

扇風機を3日ほど前に出したところですが、その頃から右肩に少しですが神経痛のような痛みを感じています。寝違えたのかと思い、すぐに治ると思っていたのですが、今までに経験がなく3日ほど続いているので少し気になっています。

図書館にいる間は右肩の痛みもほとんど気にせずに過ごしていたのですが、その辺りもちょっと気になるところです。湿度が関係しているのかもしれません。梅雨の時期はそういうことがあると聞いたことがあります。

昨日になりますが次の気になるニュースもありました。気になっても最終的な結果が出たということなので、結果が変わることはないと思いますが、刑事事件、刑事裁判についてよくよく考えさせられる裁判の一つです。

舞鶴女子高生殺害事件で無罪確定へ　NHKニュース <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20140710/k10015897101000.html>

2008年の5月の事件であったと知りましたが、私がまだ羽咋市で生活していた頃の報道にもなりそうです。当初から京都の弁護士が積極果敢な弁護活動をしたということでも印象に残る事件でした。私が京都の弁護士界に特別な注目をするようになった契機でもあります。

変わって、一昨日になるのかと思いますが、PC遠隔操作事件の公判に関する報道があったのですが、テレビでは報道を見かけませんでした。細かいこと正確なことは必要にも応じ、廣野秀樹（@hironohideki）のTwilogを見てください。そのためのツイートでもあります。

昨夜の続きで録画していた昨夜の19時のNHKニュースをみていました。ほとんどは台風8号関係の災害報道だったので、途中からベネッセの個人情報情報流失の辺りまで早送りしたのですが、先ほど最後まで視聴したものの舞鶴の事件の無罪確定の報道は、私として確認することができませんでした。

ベネッセの個人情報流失のニュースですが、流失された情報をジャストシステム社が入手していたという問題が発覚し、株価がなにかの最低まで下がったとかNHKで言っていました。しばらく前にパソコンで見た次の落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートもきになっていたところです。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: だらだらと一太郎を買う人がいたから、ジャストシステムが存続してしまい、流 出情報大量利用につながってしまった、という見方も／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_11.html>

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: ジャストシステムは、時代遅れのワープロソフトを売るだけでなく、流出情報で 世間に多大な迷惑までかけちゃったんだな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_2874.html>

ブログ名は省略しても良いのですが、やはり付いていたほうが他との区別も出来てわかりやすいと思います。次のような最たる懸念を感じさせるようなツイートもほぼ一緒に見かけました。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: そろそろ国交断絶かな。→自衛隊発足記念行事 ロッテホテルが突然中止の通告 ＝韓国（聯合ニュース） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_6263.html>

リンク先の記事は読んでいないのですが、日本の弁護士のかなりが、人間関係のみならず、近隣諸国との関係の悪化をも促進しているのではないかと思ってきました。不安を煽り弁護士としての仕事を増やすというのが、基本にあるようにも私には思えています。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）とはタイプの異なる小倉秀夫弁護士にツイートにおいて、その傾向はいっそうわかりやすく現れているように思っていますが、小倉秀夫弁護士のツイートは数も多く不快も伴うので、気が向いた時にしか閲覧していません。

昨夜はケンミンショーが終わったあと、テレビをつけたまま横になって寝てしまい。夜中の3時前に目が覚めたのですが、ピグライフでお手伝いのお返しをするため、自動でスリープになっていたパソコンをサスペンドから復帰させました。

ついでにツイッターを少し見ていると、リンクで紹介されていたのがジャーナリスト江川紹子さんの次の記事でした。どうも著名人によるブログとニュースの中間的な記事になっているようです。

【PC遠隔操作事件】「なぜこのような事件を起こしたか自分でも分からない」（第12回公判傍聴メモ）(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20140711-00037279/>

しばらく読んでいて、目が冴えすぎると眠れなくなってしまうと思い。パソコンを閉じて布団に入りました。なかなか寝付けなかったですが、睡眠もとれて8時を過ぎた頃に目がさめました。

起きてからも記事を読み続けたのですが、かなり長いもので、まだ全部は読んでいません。最近の傾向として朝は一番見ることの多いとくダネ！という情報番組を見ていたのですが、舞鶴の事件の無罪確定に関しては短く簡潔な報道でした。

二人暮らしの一人娘を失ったということで、以前大きく報道されているのを見たという記憶もあるのですが、遺族のコメントも出ておらず、それはネットのニュースでも全く見ておりません。今日明日に報道がなければ、それで幕引きになってしまうのかもしれません。

時刻は17時57分です。結局図書館にはいきませんでした。午後はネットの天気予報で雨マークもなかったのですが、一時強い雨が降っていました。パソコンに雨が入って故障すると大変なので、空の具合も気になっていました。

いつもは災害情報を優先しているミヤネ屋という情報番組ですが、今日は始まりの30分間、兵庫県魏の問題を取り上げていました。後半にもやっていましたが、見ているうちにすごく眠くなり、起きると番組は終わっていました。舞鶴の事件の無罪確定は報道として見当たらなかったです。

弁護士 谷山智光 (taniyama)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/taniyama> ←　の実名弁護士ツイッターアカウントは、私がトップクラスの注目をしている弁護士ですが、そちらのツイートで先ほど次の記事を読むことが出来ました。

無罪「的確な判断」　京都・舞鶴高１殺害で弁護団 : 京都新聞 <http://kyoto-np.jp/politics/article/20140710000149>

時間が経つとリンク切れになったりすることが多いので、主要部分を引用して次のようにブログの記事にしました。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 逮捕段階から弁護人を務める遠山大輔弁護士は「一読即解の、刑事裁判の原則に のっとった内容。証言も供述も検証可能な形で記録しておかないと証拠として通 用しない」と取り調べの可視化を進めるよう <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_3585.html>

上記のリンクの紹介はWebページから直接ツイッターに投稿したものの−18と文字数オーバーになっていたので、ブログ名の部分を削除して投稿しました。繰り返しですが本書とツイッターの完全一致は目指していません。

取り調べの可視化に対する弁護士の姿勢が、より鮮明に力強く表現されているかと思います。このような姿勢はこれまでにも私のインターネットを使った情報公開に刺激を与え、必要性を痛感させたものとして、その一面において多々影響を受けています。

それはまた、しっかりした証拠がなければ、被害者及び遺族は諦念せよ、という実質的な効果を伴っているようにも思います。さきほどテレビで「かつ江さん」に関する報道をみたところでもあります。かつ江さんはインターネットの情報として見かけていました。

さきほど弁護士に刺激を受けたと書きましたが、触発されたと書いたほうが良かったかと思います。文章での表現力が未熟なのは自覚のあるところですが、なるべく正確な表現は心がけています。

廣野秀樹(@hirono\_hideki)/「かつ江さん」の検索結果 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=%E3%81%8B%E3%81%A4%E6%B1%9F%E3%81%95%E3%82%93&ao=a>

上記のようにTwilogで確認をしました。該当のツイートは3件。一昨日の夜かと思っていたのですが、昨日の8時過ぎという朝のツイートになっていたのは、自分で意外でした。たぶん弁護士のツイートがきっかけで知った情報だったと思うのですが、調べる必要がありそうです。

時刻は20時43分になっています。夕方、どんたく宇出津店に買い物に行き、まだ食事は済ませていないのですが、ピーマンとキュウリを人にもらったので、半額になっていた牛肉とピーマンと安いきのこで肉野菜炒めでも作る予定です。

昨日の夕方炊いたご飯が残っていたのですが、珍しく半額になっていた赤飯が売っていたのでそれを買ってきました。ご飯はパックに入れて冷凍保存しました。このところご飯は2合炊いて3食分になるのが普通という感じになっています。2,3年前までは二食でも足らないぐらいだったと思います。

かつ江さんのニュースを知ることになったきっかけはやはり落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートでしたが、昨日のことでもはっきり思い出せないことがあると再確認したところでもあります。

見出しのテーマからずれていると思われるかもしれないですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と被告訴人KYNを軸にしていることには変わりありません。締めて本日日付として再開します。

<2014-07-11 金 20:51> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月11日

<2014-07-11 金 20:56> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

21時からは石川テレビで2時間ドラマを見るつもりですが、肉野菜炒めを作って夕食も済ます予定です。ざっと新聞でドラマの内容を見ましたが、それほど関心のあるテーマではなかったので、今のところは録画もしていません。石川テレビということでフジテレビの可能性もありそうなので。

ドラマの冒頭の取調室の場面で見て、録画を開始しました。食事の支度などで部分的な見落としも出てくるかと思いますが、録画がうまく行けばあとで見直すことが出来ます。一昨日ぐらいにレコーダーの不調を直すことが出来ましたが、まだ様子見の状況です。

「北国署には慢性的な不正があります。」というドラマの展開。弁当忘れても傘忘れるな、というのは金沢のはずだけど。警察署の建物に富山県警察。これは期待以上に参考になるドラマかもしれない。

浅野温子という女優が主演みたい。平成3年だったと思うけど、「ぼくは死にましぇん」の場面のドラマが一番印象的、個人的には元気だった頃のおもちゃのおばさんのことを思い出す。そういえば今日の夕方は、いきなり久しぶりに「ひできちゃん」と呼ばれた。

やはり富山県の高岡市が舞台になっているみたい。氷見の強姦冤罪のことを思い出したけど、確か問題の発覚は鳥取県の警察署で真犯人が自供したことがきっかけとなったと記憶。

こちらも落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートがきっかけで知りました。→　＜フジ社長＞視聴率低迷で大異動　社員3分の2の1000人を「2位にしがみつきたい」 （まんたんウェブ） - Yahoo!ニュース <http://bit.ly/1jxzzih>

検察をテーマにした過去の大ヒットドラマ「HERO」がきかけでもあるようです。落合洋司弁護士（東京弁護士会）がどのドラマの法律監修をしていたかいう話は随分前から散見していましたが、次回作には関与していないとのこと。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 視聴者に著しい誤解を与えた疑いがあることは明らか」とした上で、「放送局が 誤解を解く十分な対応をしているとは言えず、放送倫理違反が考えられる」 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_5455.html>

途中眠くなったりしたのですが、テレビを見ていました。ニュースZEROで知り記事にしたのが上記のニュースです。内容的にけっこうな収穫かと思います。続きは起きてからということでそろそろ休もうかと思います。

今夜は項目を締めておきます。続きは日付の変わっている今日の日付で。

<2014-07-12 土 00:59> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月12日

<2014-07-12 土 08:36> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜の続きを書きたいところですが、またしても落合洋司弁護士（東京弁護士会）に気になる発言を目にしました。取り調べの可視化と舞鶴の無罪判決になった高１女子殺害事件に関する発言です。

もし可視化なら…「示達的な供述」示す資料にも　京都・舞鶴高１女子殺害事件：イザ！ <http://www.iza.ne.jp/kiji/events/news/140710/evt14071020590045-n1.html>

ご自身のツイッターで紹介していたので知ることが出来ましたが、気になったのは次の部分です。→　「捜査機関は可視化を邪魔なものだと考えがちだが有利な材料にもなり得る」

今に始まったことではないですが、捜査機関に対する不信感や疑問を投げかけるものです。ご自身が受任した告訴で警察か検察が思わしい対応をしなかったことに対する批判も過去には散見してきましたが、想像を絶するほど強烈な警察、検察批判もあって、どうなっているのかと考えさせられました。

ご本人はその場その場で思いの丈を綴られているのかもしれませんが、現実に警察、検察に頼らなければならない立場である私にすれば全く真剣に考えるほかはありません。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関しては昨夜から新ドラマ「HERO]に関するツイートが散見されます。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: これは裏目に出そう。→HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の 大臣出席会見(映画.com) ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/herohero-com.html>

HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の大臣出席会見(映画.com) - goo ニュース <http://news.goo.ne.jp/article/eigacom/entertainment/eigacom-44763.html>

2014-07-10 - 弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/20140710#p2>

まとめて３つご紹介しましたが、まとめて説明します。落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログの記事によると前作には「監修、アドバイス」として関わったとのことです。思い入れも強いのでしょうが、随分前から時折話題にされていたので、ドラマと関係のあることは知っていました。

gooニュースという記事によると、2001年に社会現象になったと連ドラ、2007年に映画化とありました。これは私が今まで気が付かなかったことですが、平成3年といえば私が金沢刑務所で服役中だった年になりそうです。

一時期話題になっていたのは知っていたのですが、それが平成19年の映画であったものと考えられます。いずれもまともに見たことは一度もなかったのですが、テレビで終わりの4分の1かと思われる部分を2回見たことがありました。

先日もテレビではじめの方からHEROというタイトルの番組をみていたのですが、ドラマか映画なのかもわからず、前に見たのとは内容が違うと思いながら韓国の場面など見ていたのですが、見ながら途中で眠ってしまったようで、最後まで見ていません。

先ほど録画しておいたものを見ようと思ったのですが、番組表を見ると9時30分から「団地ともお」と出ていたので、これもすぐに忘れてしまう番組なのですが、それを見ることにして、見ているところです。

「団地ともお」終わったところです。2作目は、田舎の農家の庭先で、そうめんを食べさせてくださいと頼みこむ場面から始まりました。土下座をしていたように思いますが、その老人は退官した裁判官と思われる登場人物でした。

私がたまたま「団地ともお」を初めてみた時、退官した裁判官が出ていました。内容は余り憶えていないのですが、主人公のもとおという少年を含め、変わった漫画をそれもNHKでやっているなと思っていました。これまで数回見ましたが、たまたまチャンネルをそのままにしていた時に始まります。

私の事件に関しては平成4年の事件で最高裁まで裁判をやっているので、関与した裁判官でも退官している人がほとんどかと思います。初めにそのドラマを見た時も、そういうふうに思い出しましたが、他にも時代の違う懐かしさを感じさせるちょっと変わったアニメです。

「いまもなお灰色の記憶を抱き続けています。」というなんか新鮮さも感じさえる言葉ですが、NHKの次の番組に出てきました。番組表で見ていなかったのですが、四日市公害やその裁判をテーマに取り上げているようです。

金とく - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] ow.ly/z4tsp 多くの住民に気管支ぜんそくの被害をもたらした四日市公害。全国初の大気汚染訴訟で住民が全面勝訴を勝ち取って４０年以上。今、人々は何を思うのか、報告します。

見ていたのは上記の番組です。ホームページからはタイトルの取得が不完全だったので、引用部分で補足しました。原告弁護団事務局長という人も出ていましたが、共同不法行為を編み出したように紹介されていたように思いました。

共同不法行為は民法の条文にもなっているかと思いますが、過失の競合のような責任追及かと思いました。公害の問題というのは私が物心ついたころに盛んになっていた社会問題だと思いますが、漠然としてイメージが強い中、裁判そして弁護士の活動という過去のイメージとも重なっています。

ブルーレイディスクに保存していた「HERO」を再生して見ていますが、裁判所で出てきた女神像は目隠しタイプになっているようです。録画なので停止ボタンでしっかり確認できました。私は目隠しのない女神像を支持しています。

目隠しは雑音に惑わされず、心の目で真実を見抜くという意味があったかと思いますが、目隠しなどすれば必要な事実も見えなくなるというのが、当たり前すぎる道理だと考えるからです。ドラマでは「男魂」という車が出てくる場面になっています。

このあと男魂とペイントされた車を探しに韓国まで出張するところも、前回見ている部分です。ドラマの筋をわかりやすくしているのかもしれませんが、どんなものかと思っていた部分です。

刑務所の塀の外の場面とその後の病室に中井貴一の場面は、前回その辺りまで見たという覚えがありましたが、刑務所の中の病室に検事が会いに行ったということは前回気が付かなかったです。眠くなっていたのもあるかもしれません。

途中、食事もして何度も一時停止をしていたのですが、疑惑の代議士としてタモリが法廷に出てきました。途中からちらりと出ているのを見て気がついていたのですが、すっかり忘れていました。不思議なものです。

エンディングが流れてきました。公園の並木道のようなところで同僚と散会したあたりは記憶にあるのですが、そのあとのシャレた店での翻訳機などの場面は記憶になかったです。直前に寝落ちてしまったのか。昔のクールスのメンバーのようなマスターです。

理想の検事像を描いた作品で、豪華な俳優陣を起用しているということもあるかと思いますが、ずいぶんと好評を博した映画、そしてドラマであったようです。ドラマは刑務所に入っている間だったので見ることは不可能だったと思いますが、大きな話題になっていた割には、見る機会もなかったです。

【PC遠隔操作事件】「なぜこのような事件を起こしたか自分でも分からない」（第12回公判傍聴メモ）(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20140711-00037279/>

上記はドラマとは違って、現実の起こった事件の裁判で、意外な展開から真犯人が自供に至った事件。その裁判に関するジャーナリスト江川紹子さんの傍聴記のようなものかと思います。主観を交えないようにしていると思われるのも特徴ですが、この事件に限った途中からのスタイルのようです。

このなかで次の部分が一番気になりました。→　2014-07-12-154233なぜか、世間を騒がす大きい事件を起こすのが、この世代に集中している。.jpg pic.twitter.com/VF2NWe4WRp

PC遠隔操作事件の被告人と秋葉原の無差別殺傷事件の犯人が同じ年の生まれというのも初めて知りましたが、事件自体が5年ほどの開きがあると思われるので、関連付けて考えることもなかったです。

PC遠隔操作事件の被告人といえば、落合洋司弁護士（東京弁護士会）らに犯行声明のメールを送ったことでも有名ですが、被告人が落合洋司弁護士（東京弁護士会）のことを知らない、関心がないなどと反論していたのも印象的でした。

所定にディレクトリで「grep -B 3 "^\"Tags .\*@yjochi.\*PC遠隔操作事件.\*" c投稿済み/\*」とコマンドを実行したところいろいろと出てきました。せっかくなのでブログの記事にでもしておこうと思います。

コマンドには特殊記号も含まれているのでブログのタイトル名にするのもふさわしくはないのでGoogle+ページの投稿にしました。次のURLです。いったんコピペした内容をワープロソフトか何かで見たほうが、見やすいかもしれません。

c投稿済み/201311292225.txt-"StrID : 4004 c投稿済み/201311292225.txt-"Title :… <http://bit.ly/1r5qTC2>

秋葉原の無差別殺傷事件といえば、私にとっても忘れられない事件ですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログのコメント投稿から閉めだされるきっかけにもなりました。

% grep -B 3 "^\"Tags .\*@motoken\_tw.\*素人.\*" c投稿済み/\*　｜　２０１４年７月１２日 | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/2014/07/grep-b-3-tags-motokentw-c.html>

ツイッターの＠付きアカウント名の部分がリンクになっていなかったので、メンションにもなっていないものと思われます。特殊記号に挟まれているので、Twitterの仕様としてそうなっているものと思われます。上記はブログの記事にしました。

特殊記号を含んでいるとTwilogではそのままに記録されていない可能性があると思いますが、以前に経験したことで、そのような説明も本書で行っていると思います。

時刻は7月13日11時06分になっています。告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）の投稿を確認しないと時刻はわからないですが、昨日から中断していると思います。

この項目では日付をプラスしながら、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と被告訴人KYNを軸に書いています。地元宇出津のあばれ祭りで被告訴人KYNに数年ぶりに出会ったこと、その時の彼の対応もあって、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）を正式に告訴する必要性を感じました。

昨日は気晴らしもかねて、夕方にアジ釣りに行ってきました。小木港に行くつもりで出たのですが、姫の堤防の先端で釣りをやりました。時期的なこともあって小アジばかりですが、割とよく釣れました。

電気ウキを忘れてきたこともあり、暗くなってからはサビキではなく、ワームでやりましたが、改めて歴然とした釣果の差があります。アジはアミエビのコマセに狂うとも言われています。アミエビには水気を少なくするためにも安物の集魚剤を混ぜています。グレ用です。

アジ釣りは2010年の12月から始めたように思いますが、サビキをするようになったのは今年の5月の連休を過ぎてからです。それまではずっとワームかメタルジグでやっていました。いわゆるアジングという釣りです。手軽ですが以前はそれでもけっこう釣れました。

海釣りは趣味ですが、自然を相手にいろいろと発見もあるかと思っています。帰ってから釣ってきたアジを調理しましたが、これも大変でした。手間も掛かりますが、食費を浮かすことも出来るので実益も兼ねています。

時刻は7月16日11時17分になっています。どうも13日の夜から中断していたようです。説明のための思わぬ収穫を得て材料が揃ったと思っていたのですが、さらに時間をかけて色々と考えてみました。

外は雨が降り続いていますが、昨日のネットの天気予報では当分の間、雨の多い日が続くということで、まだ雨マークがなかった昨日の夕方は、アジ釣りに行ってきました。西寄りの風という予報もあって場所を選んだのですが、現場は東寄りの風が吹いていました。

今、録画していた7月13日日曜日の「サンデーモーニング」を見ていて、大幅に早送りして飛ばした部分もあったのですが、舞鶴の女子高校生殺人事件の無罪確定については、取り上げていなかったようです。時事公論という感じの番組なんですが。

続けて同じく「サンデージャポン」を見ているところです。こちらは芸能ネタが多い番組なので、出てくる可能性はより低いかもしれませんが、問題の捉え方としても参考にしたいところの確認かと思います。

「”号泣”野々村氏（４７）辞職するも新たな疑惑」ということで時間を割いて取り上げていますが、面白ネタという側面が改めて大きくなっている問題だと感じました。

いままでほとんど知ることのなかった県議会議員の活動について色々と知ることのできた問題で、さらに刑事事件へと発展する可能性も出てきたので注目しています。弁護士のコメントだったと思いますが、テレビで実刑の可能性にまで言及するのも一つだけ見ました。

時刻は7月17日9時58分になっています。さぼった時間が長くなっているようですが、それでも色々と考えています。なにをどこからどの範囲で書くとなると、大いに考えこんでしまうところがあります。

とりあえず、本日は本格的に取り組む予定なので、日付を変えた新規の項目で書いていきたいと思います。メインとなるのはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）ですが、ジャーナリズムとの関係、影響について検証を交えた説明を書きたいと思います。

<2014-07-17 木 10:06> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月17日

<2014-07-17 木 10:21> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

まずは今朝、目についた落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートを記事にしたものを4件、次にご紹介しています。

よく取材を受けていた時期があった。残念としか言いようがない。合掌。→東京 新聞:市川 隆太氏 中日新聞北陸本社報道部長:おくやみ／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3560.html>

市川さんには、特別報道部当時に、共謀罪の関係で何度か取材を受けた記憶があ る。／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7628.html>

市川さんが、中日新聞の北陸本社にいると知っていれば、今月の10、11日に出張 で金沢に行ったので、挨拶に行けたのだが／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/1011.html>

メール読み直してみたら、2008年に、市川さんの取材をよく受けていた。2009年 5月に、川崎支部長に着任します、というメールをもらったのが／落合洋司弁護 士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/20082009-5.html>

なお、上記の記事タイトルとURLは次のコマンドから取得したものをつかっています。

% google blogger list –blog "2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時 代の参考情報／金沢地方検察庁御中" –user hirono2013k@gmail.com |tac

tacというコマンドはファイルや標準出力の内容を末尾から行を逆順に出力するコマンドです。普通に表示するcatコマンドとは文字の並びが逆になっています。tailやheadコマンドを使って先頭からあるいは末尾から、必要な分だけの行数を出力するコマンドです。

出力というのは通常、端末でのテキストの表示になりますが、パイプでつないで別のコマンドによる出力に使ったり、リダイレクトでそのままファイルとして保存することも多々あります。一般的なパソコンの使い方とは異なると思いますが、基本的な操作です。

私自身、かれこれ4年ぐらいは北陸中日新聞を購読していると思います。スーパーの安売り商品を広告で見るのを目的に購読するようになりました。月に3千円弱ですが、広告を見ながらある程度計画的な買い物ができるので、けっこう元もとれているのではと思っています。

購読はしているものの社会面など、目を通すことはそう多くはないです。テレビの番組欄もインターネットで確認できるので、新聞を開かないまま放置することも多々ありました。特に天気の良くない日などナイロン袋に入っていると、開いていないのもすぐにわかります。

羽咋市に住んでいた頃は、一度も新聞を購読したことはなかったし、平成9年の7月から平成11年の8月まで住んでいた金沢市北安江の借家でも、購読はしていなかったと思いますし、何度か勧誘を断ったことが記憶に残っています。

同じ頃から週刊誌というのも全く買わなくなりました。もう記憶にないぐらい一度も買ったことがないです。あるとすれば平成17年に珠洲線の鉄道が廃線になる前、電車で読むのに買ったような記憶がかすかに残っている程度です。

北陸中日新聞に関してはそれとは別に、以前、告発事件ということで一斉メール送信をしていたリストに含めていたと思います。北國新聞社も同じですが、石川県の地元紙ということで反応や対応に関しては、特に注目していましたが、そういうこともなかったと思います。

北陸中日新聞と北國新聞社に関しては、いずれも珠洲警察署に掛けた電話のあとで、直接電話を掛けて話をしたこともありましたが、1年か2年前というぐらいしか記憶に残っていません。続けて連絡をするようなこともなかったです。

北國新聞社よりは北陸中日新聞の人に真摯な対応を受けたという印象が残っていますが、毎日同じような単調な生活をしているためか、やはり時期が思い出せなくなっています。2年ぐらいは経っているとは思っています。あるいは金沢地方検察庁の電話のあとであったかもしれません。

当時は珠洲警察署の前後に金沢地方検察庁に電話をすることが多かったと思います。すでにミヤさんが担当になっていたとは思います。ミヤさんの前の担当者となると名前もはっきり思い出せなくなっていますが、つこんだ相談というのもしていなかったと思います。

今回、落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートで訃報を知った中日新聞北陸本社報道部長という人のことですが、名前も見覚えがないので、まず知らない人だと思います。市川という名前だけを見たはじめは、市川寛元検事のことかと思いました。

2008年に取材をよく受けていたということですが、私がまだ真面目に落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログの記事を読んでいた時期にも重なりそうです。羽咋市から宇出津に戻ってきた前年ということになりますが、残業がなくなったり、仕事も暇になって自由になる時間が増えた時期でした。

いわゆるリーマン・ショックのアオリを受けて、仕事が減り、最終的には人員整理されて解雇となり、2009年3月16日に宇出津に戻ってきました。私にすればそこで時計が止まったような部分も大きいです。車の車検切れにも合わせて帰ってきました。

時刻は7月18日10時12分になっています。

昨日は、どんたく宇出津店に行って3枚1パックのとんかつ用の豚肉を買ってきて、昼に1枚、夜に2枚のトンカツを作った食べました。自分でトンカツを揚げて食べたのは初めての体験に近いかもしれません。にわかに挑戦してみたくなっていたました。

けっこう手間もかかりますが、自分で捌いたアジで、アジフライや唐揚げを作ることに比べれば、まだ手間も少なかったように思います。

弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/> ←　こちらが落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログになります。ちょうど私がブログを始めた頃に存在を知り、閲覧するようになりました。

こちらが当時の私のブログです。→　日暮れて途遠し <http://d.hatena.ne.jp/hirono_hideki/>

確認したところ2005年12月3日が初めての投稿になっていました。ブログ自体はその一月ほど前、同年11月の初め頃にgooでも初めていましたが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）のブログを知ったのはその頃だと思います。上記ブログは現在もプライベートモードのままです。

こちらが問題のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログです。→　元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/>

何ヶ月ぶりかでのアクセスでしたが、ブログは閲覧可能な状態にはなっているようです。ブログにありがちなリンク付きのカレンダーがなかったので手間取るかと思ったのですが、「過去ログ」というリンクから適当な記事をひとつ開くことで、一発で確認のための目的を果たすことが出来ました。

このブログの特徴として、他ではあまり見かけない気もするのですが、記事に対する個々のコメントの固定URLを得ることができます。まことに都合よく一発で、私自身のコメントを見つけることが出来ました。内容としても記憶にあるものです。

検察官が弁護活動を妨害？ - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2005/11/01-213745.php#c1857>

上記がそのコメントのリンクです。ホームページの仕組みの基本ですが、＃記号の右側の文字列はページ内に一つだけの存在が許されるID属性というもので、ページ内リンクになっています。アンカーリンクとも呼ばれるものです。

URLには日付も含まれているのでなおさらわかりやすくて助かります。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）は何度かMovableTypeのブログだと書いていましたが、私自身MovableTypeのブログは管理したことがないので、よくわからない部分もあります。

同じく個人サーバとしてブログを管理したことはあり、現在もやってはいますが、もっぱらWordPressというタイプです。MovableTypeというのは現在ではほとんど用語としても見かけることがなくなっているとも思います。

サーバのデータを削除されてしまっては、跡形もなくなってしまうので念の為スクリーンショットを撮っておきました。

2014-07-18-110742名古屋高裁金沢支部で、国選弁護人は、小堀秀行という人です。.jpg pic.twitter.com/fyKcEXp4ln

自分のコメント内容で、あらためて当時の裁判のことを思い出したのですが、当時の名古屋港再金沢支部の裁判長のことを調べることが出来ました。記憶にあったのは「捷一郎」という他に見かけることの少ない名前でした。

「捷一郎　裁判官」とGoogleで検索したところ、「前原捷一郎」というのだけが出てきたのですが、前原という名前だったのかと思い出しつつ記憶に馴染むには多少時間がかかりました。一つだけでしたが、写真データも見つけることが出来ました。

2014-07-18-115209理不尽スクープ　：　前原捷一郎裁判長.jpg pic.twitter.com/9u6Lga0kgU

取り上げられているのは次のページです。　→　理不尽スクープ　　　　 : 前原捷一郎裁判長 <http://bit.ly/1r7JnjD>

私のコメントの部分はこうなっています。→　No.4 廣野秀樹 さん | 2005年11月17日 20:54

私がHatena::Diaryでブログを始めるより半月ほど前に、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでコメントをしていたとは、意外な大発見です。「はじめまして」という書き出しなので、これは初めてのコメント投稿だった可能性も普通にありそうです。

日付も変わっているので、新しい項目で続きを書きます。

<2014-07-18 金 12:48> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月18日

<2014-07-18 金 12:50> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

あらためて、必要ないかと思っていたのですが記事の本文を読んでみました。→ 検察官が弁護活動を妨害？ - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2005/11/01-213745.php#c1857>

どうも、起訴後の被告人に対して、検察官が連絡を持ちかけたことをモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が問題視している内容のようです。

これが私のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログの記事に対する初めてのコメントだとすると、最後のコメントとなった記事では「検察官に謝罪」を求められ、それが条件のように閉めだされた経緯とあわせ、改めて考えさせられるものがあります。

2014-07-18-153117モトケン　（motokentw）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/tWTTy6PVoy

上記は、告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）でモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイッターアカウントにブロックされていないか確認したものですが、リツイートが成功したところをみると、ブロックは受けていないようです。

何度も繰り返しになると思いますが私は2002年11月の下旬から2009年3月16日まで石川県羽咋市で生活をしていました。平成にすると平成14年から平成21年になるはずです。あしかけだと7年ということにもなりそうです。満だと6年3ヶ月ちょっとでしょうか。

6年間もいたのかと自分でも信じられないほどですが、宇出津に戻った2009年3月16日からも2014年7月18日現在、5年以上の月日が経過したことになりそうです。この間、進展というものはないと言えば無いですが、ようやく基礎を築け得た段階とも言えなくはないです。

振り返ってそのあたりも整理しておく必要を感じますが、等の私自身ですら記憶がはっきりしない部分もあるかと思います。そういう確認も兼ねて宇出津のあばれ祭りが終わった直後に、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）にツイートを入れました。

個々のツイートだとわかりにくい部分もあるかと思うので、先日、mp4の動画として記録したものもYouTubeに投稿してあります。確認していませんが、再生回数もずいぶんと少ないことでしょう。

驚いたことに再生回数は2回でした。→　 2014-07-18-161041再生回数　2　回.jpg pic.twitter.com/XwezY1e7Jw

初めにページを開いた時は再生回数が1回で。再読み込みをしたことで2回になったので、私以外の再生というのはまだ一度もないのかもしれません。リンクでの紹介はしていなかったのかもしれませんが、そのあたりも確認しておこうと思います。

2014-07-18-161552\_「2014年07月15日09時29分28。。。」の検索結果.jpg pic.twitter.com/fcxD5BTnAm

上記はスクリーンショットですが、Twilogの検索結果をみたところ、ツイートでのURLの紹介はしていなかったようです。

▶ モトケン　（motokentw）さんはTwitterを使っています＿2014年07月15日09時29分28秒.mp4 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=lnzDeIbtJew>

上記が記録した動画ですが、再生回数が7回になりました。私がページの再読み込みをするたびにカウントが増えていったようです。以前のYouTubeの仕様は違っていたように思いますが、そうそうのタイミングで数が一つずつ増えるものでもないと思います。

調べたところ、ちょっと見当たらなかったので、新しくモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを2件、私のブログの記事として登録しました。

この人 @hirono\_hideki のツイートのように、なんら具体的事実を示さずに、名 誉毀損をしたとか反省してないなどというのは、／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hironohideki.html>

@hirono\_hideki 思わせぶりな印象操作を繰り返してないで、やるならとっとと やればいいのに／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hironohideki_18.html>

スクリーンショットとしては前に記録してあるものがありました。次の2件です。

2014-07-06-103714違法ないし不当な行為をしたと一方的に印象づけようとするもので、　とても卑劣なツイートですね.jpg pic.twitter.com/eLn6K5ddmq

2014-07-06-102916思わせぶりな印象操作を繰り返してないで、やるならとっととやればいいのに。.jpg pic.twitter.com/KrGBxiYAuN

けっこうな数になるかと思いますが、私のブログの直近の投稿500件から、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に関するものをご紹介したいと思います。

cat u |grep ／矢部善朗弁護士|xsel -b　←　というコマンドの実行結果になります。パイプでつないだxselのコマンドは、出力の内容を端末などの画面ではなくクリップボードに保存したことを意味するものです。

500件中90件あるようです。APIでの投稿ですが、文字数の超過でエラーが出る場合は短縮URLを使います。

何事につけ、勝負をかけるときは準備が大事。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_7939.html>

自分のことしか考えない人は、結果的に、自分のためにならない行動に走る場合 が多い。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_1622.html>

この人は、呆れるほど恩知らずだ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_8490.html>

こういうことを特定の農家とか八百屋を名指しして言ったら、完全に業務妨害罪 のレベルですよ／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_2512.html>

こういう人とかこのツイートを無批判にRTする人は、本当に自己中心的だと思 う。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/rt.html>

検事をしていたときの印象では、犯罪を実行してしまう人に共通する特徴は何か と問われると、自己中心的な人、という答が頭に浮かぶ／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_5627.html>

他人から見た自分、というものを全く想定できない人の認識能力とか状況判断を 信用しろと言われても無理だな。実証してる人が／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_9261.html>

ツイッターを見てると、自分が他人に向けて投げつけた言葉が、そのまま自分に 返ってくることを想定してない人がかなり多い。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6054.html>

けっこう楽しかったですね。羅針盤でイラつくことがなかったせいでしょうか w／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/w_28.html>

なんでもかんでも放射能と結びつけた発言をする人の中には、自分自身が本気で 信じている人と、自分は信じてない人がいるのではないかな？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6084.html>

平気で他人の主張を別物にまで歪曲するところ。何度もたくさんの人から指摘さ れてるでしょ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_30.html>

小倉弁護士の真似をしてるのかな？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_1190.html>

なるほど。そうだったのか。小倉先生の指摘を覚えておこう。私以外にも自意識 過剰すぎる（ママ）人がかなりいるようなので／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6192.html>

任意調べの可視化も必要。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_4728.html>

群馬方面から、また訳の分からん話が聞こえてくるな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_8380.html>

自分の名前や職業を公にしている（過去形を含む）アカウントが、日々、その職 業の人間としては考えられないおかしな発言をしている例を見ることができるの がツイッターだな／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcUibf>

とても多くの人が、美味しんぼの表現に基づいて私と同様の解釈をしてるようで すね。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_7962.html>

ネット上で他人に自分の解釈を強要するっていうのは、どうやってやるんだろ う？批判されると批判者の意見を強要されたと思う被害妄想じゃないだろう な／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1jE8v0A>

と言いつつ、何かと言うとネトウヨ、ネトウヨという彼には、自分の偏見を修正 しようという姿勢が見られないな／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_8430.html>

美味しんぼで主人公が福島に行ってから体調が悪いと言うことと、福島の住人が 周囲に体調が悪いと言うことを同列に論じている人がいるようだが、頭が悪すぎ ないか／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcUwza>

依頼者が弁護士に求めるのは力です。正当でない主張をする相手方を正当な主張 によって打ち負かすことができる力を持った弁護士です。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_2561.html>

ツイッターでもおかしなことを言っている相手を的確に批判できないような弁護 士は頼りにならないだろうと思います。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_8454.html>

弁護士はたくさんいます。いろんなタイプの弁護士が。私を信頼できない人が弁 護士を探すのに全く困らない程度に。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_2202.html>

私は、あなたから変な弁護士だと思われてもかまいません。私のツイートに対す る評価は、読んだ人がそれぞれすればいいことです。その評価を伝えてくれるの はありがたいですが、／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcUEP6>

こういう教師にコミュニケーションを教わった生徒さんは、社会に出てトラブル を起こしまくる心配がある。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_4023.html>

自分の主張が相手に受け入れられないと相手を恨む人がいる。心情としては理解 できるが、それを公にするのはみっともないと思う。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_4703.html>

久しぶりに自分のブログを見て、ブログを書いてたころが懐かしくなったりし て。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_3448.html>

炎上商法は、雁屋哲や小学館だけではないな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_8633.html>

小倉弁護士、ヒマそうだな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_8399.html>

つまり、そのような調査はしなくても自分の不十分な取材に基づく推測で何を言 ってもかまわないんだ、ということですか？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_7093.html>

未だに風評被害という言葉の意味が理解できない中学教師とか東大教授がいるよ うだが、風評被害という言葉はそんなに難しいのだろうか？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_566.html>

分析力に乏しい人に対して、分析力がないとまずいよと指摘しても、理解されな いのは当然のことだな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_11.html>

わざわざ沖縄まで来ることの意味を考えれば対処の仕方も見えるはずだが な。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_3120.html>

スピリッツの連載漫画が一つ、今週号で唐突に終ってるな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_12.html>

大阪府と大阪市も抗議したのね。＞大阪市市民の方へ 週刊ビッグコミックスピ リッツ『美味しんぼ』に関する抗議について／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_2616.html>

他人に頼むんじゃなくて自分の行動が大事。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_1839.html>

これは、税金を少なからず無駄遣いさせる行為だな。度を超すと、検察庁の業務 を妨害します。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_5213.html>

ツイッターの中にもいるような気がする。＞新たな「非識字者」が増えてい る：Facebookを読めても、現実は理解できない人たち／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/facebook.html>

この県議、偏見や差別の問題とは別に、リスク管理の面で見てもアホだね。自分 の言ってることが、自分や家族の感染リスクを上げることになることが分かって いない／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1jE9he7>

私に対して、ヤメ検弁護士だから検察に有利なことを言う、と言う人が珍しくな いんだけど、そういう発想は冤罪を生み出す決めつけ発想と本質的に同じです ね／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcVnQA>

現時点では、竹野内氏に弁護士はついてないみたいだな。カンパの精算がどうな るかちょっと気になる。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_25.html>

優秀な弁護士は、人の話を聞くことの重要性、人の話を聞くとはどういうことか をよく分かっていると思います／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_9530.html>

刑事裁判の情状弁護というのは、弁護士が被告人をどれだけ理解しているかが重要だと考えている。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_252.html>

佐藤弁護士を批判ないし非難するツイートも流れてくるが、私は佐藤弁護士を尊 敬する／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_9560.html>

現場を知らない人は、現場を知っている人に対して謙虚であることがまともな議 論の前提の一つです。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_6275.html>

近い将来に実現する可能性はなさそうな案ですね。その案でも人質司法的運用は ゼロにならないと思いますが。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_3391.html>

「裁判官には、ケースバイケースの判断が強く望まれる。」ということ。望むの は、私を含む多くの刑事弁護士。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_3166.html>

有罪判決は削除しない方向なのかな？そうだとするとかなり問題。犯罪者の更生 を阻害する。＞グーグルが不適切なリンク削除に向け始動／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_4953.html>

犯人を特定できるのであれば、逮捕・勾留・起訴して実刑判決が宣告されるべき だと思う。片山被告人を愚弄するにもほどがある／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4664.html>

私が「それ」に当てはまるという具体例を一つでも示せるかな？小倉弁護士の尻 馬に乗ってしか私を叩けない高橋君。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2810.html>

ツイッターで、ある程度のレベルの高さを持つAと、Aよりレベルが低いのにその 自覚がないBとが議論する場合、AがBのレベルの低さにあきれて議論を打ち切っ たときに／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcVH1E>

どこが"鬼"母だというのか？いい加減な取材で適当なことを言うなよ。 RT @nikkan\_gendai／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt-nikkangendai.html>

刑事弁護人の職責というのは、ほんとに理解されてないな。新聞記者が刑事司法 に無知・無理解なのは検事当時から身に染みているが。＞RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt_7.html>

昔はけっこういた気がする。公判の被告人質問でようやく事件の内容を把握する 弁護人。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2348.html>

日本の弁護士は役立たずということか？RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt_8.html>

やはり安倍は一刻も早く辞めさせた方がいい。一番権力を持たせてはいけないタ イプの人間。＞RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt_9.html>

やればできるじゃん。他の事件でもそうすればいいのよ。＞RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt_12.html>

自分で言うのもなんだが、資格というのは恐ろしいものだな。医師という資格が あるだけで、どんなデタラメを言ってもそれなりに信じちゃう人がある程度 は／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1jE9Iow>

筋が通っている話同士なら、何らかの接点が見つかって協力し合えるように思う のだが、なぜか人格攻撃の応酬になる場合が目に付く／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8308.html>

石原伸晃環境相が本音を口走ったようだな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_620.html>

いずれにしても、お師匠さんの選択を間違えると、正論のつもりで屁理屈や詭弁 を口走る人が出てくるみたい。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7923.html>

オールorナッシングの思考しかできない人は、反省に基づく社会適応が難しいの かも知れない。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/or.html>

権利というのは、行使する人によって、正義を実現する場合もあるし、自己中の 武器にもなる／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_421.html>

それでよくジャーナリストを自称できるな（驚愕！RT ／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt_19.html>

報告したから何かがどうなるものでもないのだが、これは要するに、脅しのつも りなんだろうな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_284.html>

自己評価と客観評価は必ずしも一致しないが、自信がないということは指導力の 低さの一要素だからな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4243.html>

裁判官というのはどうして保釈を認めたがらないのかな？一度本音を聞いてみた いものだ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_6286.html>

裁判官は、人が身柄を拘束されることの不利益の重大性をほとんど分かっていな い。分かっているつもりでも実感できない／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_27.html>

未決勾留期間は一部しか刑期に参入されないし、執行猶予がつく場合も多 い。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7211.html>

思わせぶりな印象操作を繰り返してないで、やるならとっととやればいいのに。 やる気もないのに名誉毀損だ名誉毀損だと言うのは侮辱罪／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6.html>

相手に反論の機会を与えずに相手が何か違法ないし不当な行為をしたと一方的に 印象づけようとするもので、 とても卑劣なツイートですね／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6549.html>

実名報道による家族への迷惑を心配したのかな？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9054.html>

警察も検察も裁判官もどうせ謝らないだろうけど、少しは反省してるのかな？＞勾留１０カ月のち無罪「警察・検察は謝って」 男性訴え／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8356.html>

実際に報道されるかどうかではなくて、被告人が心配するかどうかの問題として 指摘したもの。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7268.html>

モトケン （motokentw）さんはTwitterを使っています＿2014年07月15日09時 29分28秒.mp4 ／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tcWlfy>

被害者の話なんだから信用できる、と考える検事や裁判官は多い。＞「三鷹のバ ス痴漢事件、中学校教諭に逆転無罪判決」／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_15.html>

警察って、逮捕するの好きだな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8608.html>

知識がろくにないのに知ったかぶりをする人の判断が正しい場合は宝くじ的確率 と考えたほうがいいと思う／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6551.html>

被害者の感情を大事にするということと、被害者の供述を無批判に信用すること は別です。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2341.html>

というのも、こいつは人殺しだから死刑にすべきだ、というのも、同じレベルの 低次元の感情論に見える／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2468.html>

少数派が多数派に対抗する武器は論の説得力だと信じているんだけど、イメー ジ、感情論、妄想、極論、陰謀論の類いでは説得力はないと／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3671.html>

論理的に関連がないことを関連があるかのように言うから、非論理的だとか感情 論だという批判を受けるんですよ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8841.html>

死刑制度に対する理解が深まらないのは、マスコミの責任が大きいと思う。連中 は遺族の感情論でしか死刑を考えていない。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5128.html>

感情論に対して論理は無力であることはとっくに分かっているが、公の場でつぶ やくということは相手にだけつぶやいているわけではないし。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7006.html>

鳩山元法相。発言するときの顔を見ていたが、ありゃだめだな。感情論プラスヒ ロイズムで死刑が執行されてたまるか。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7437.html>

普天間問題に関するツイートの多くは感情論のように見えてしまう。または視野 狭窄。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5116.html>

ああいうのは論理性の否定であると同時に、差別的レッテル貼りなんだよね。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4511.html>

ああいうのは論理性の否定であると同時に、差別的レッテル貼りなんだよ ね。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6461.html>

この人 @hirono\_hideki のツイートのように、なんら具体的事実を示さずに、名 誉毀損をしたとか反省してないなどというのは、／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hironohideki.html>

@hirono\_hideki 思わせぶりな印象操作を繰り返してないで、やるならとっとと やればいいのに／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hironohideki_18.html>

googleclというコマンドを使って取得したデータで、直近の500件までという制限があるようです。記事のタイトルにはツイートなどの本文中の一部をそのまま使っています。ざっと眺めただけでも、傾向性がつかめるのではないかと思います。ご本人の発言ですから。

% cat u |grep ／矢部善朗弁護士|grep 'リーク'　←　というコマンドを実行したのですが結果はなかったようです。「リーク」というのはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）がしばしば使う言葉の中で、私が最も重視しているものです。「感情論」に次いで。

Twitter / 検索 - "リーク" from:motokentw <https://twitter.com/search?q=%22%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%AF%22%20from%3Amotoken_tw&src=typd>

全てにはしなかったですが、上記の検索結果からモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートをブログの記事にしました。APIによる投稿制限に引っかかるのかヒヤヒヤの投稿数でしたが、エラーが返ることはなく完了しました。

WordPressならば心配いらないと思っているのですが、Bloggerのブログでは一日に30件ほどAPIで投稿すると認証のエラーの絡みでAPIによる投稿ができなくなるということを今まで何回か経験してきました。時間あたりの投稿数なのかはっきりした原因は調べてもわかりませんでした。

リークというキーワードで、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを新たにブログの記事にしたのを次に列挙します。

同感RT @kyoshimine: @phtaiken 捜査は秘密が原則ですから、衆知を集めるとい うのは難しい側面があります。本件で不信を招いたのは、／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tZccTf>

おまけにリークされたまんまの垂れ流しで、批判的に検討しないですから ね。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1790.html>

警察はよく捜査情報のリークをするが、全ての情報をリークするわけではないこ とは当然のこと。従って、警察のリークによると思われるマスコミの記事の内容 が不自然であったり整合性がないとしても／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tZcfhC>

責任感はあっても情報源が限定され過ぎていて証拠の全体像がわからない。／矢 部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4219.html>

遠隔操作事件で最近警察のリーク報道が少ないのは、リークしたがる幹部連中が 理解できないレベルの話で捜査が進んでいるからではないかと憶測w／矢部善朗 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/w_18.html>

警察から捜査情報が全くリークされなくなったらどうなるか考えてみるのも興味 深い。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2844.html>

リークした奴は最低最悪。RT @amneris84: 世の中に害悪ふりまいてますよね RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-amneris84-rt.html>

ところで、根本的な疑問として、警察や弁護人が自分に有利な情報をリークした り取材に応じたりしてマスメディアに掲載させることが、裁判の結論／矢部善朗 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_911.html>

警察がリークしてマスコミがそれを報道するのと、江川紹子さんが佐藤弁護士に 取材して記事を書くのと、どう違うのかと考えてみたが、情報の受け手としての 観点で言えば、方向が違うだけで／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1rvXCOv>

佐藤弁護士は積極的に情報操作をするタイプのようだな。弁護人が接見内容を漏 らすのもリークと言えばリーク。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2269.html>

ブログエントリを修正しました。【ヤベラボ】: どうしてリークするのか？【遠 隔操作ウイルス事件】 ／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1531.html>

端緒を得たマスコミが突っ込んだら言わんでもいいことまでべらべらと、という 感じでは。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7286.html>

捜査情報をいくらマスコミにリークしても問題にならないけどな。＞捜査資料漏 えい事件、捜査１課警部懲戒免職／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1073.html>

やっと出た公判部長のリーク情報。予想どおり。しかしこの公判部長、私の同期 なんだな～。＞公判部長も改ざん疑惑認識 前特捜部長「任せてほしい」 ／矢部 善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_697.html>

これも検察の誰かがリークしているのは間違いないですが（仮にそうでなければ 捏造記事になりますが）、検察は確実な事実としてリークしてるんでしょう ね／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1tZczx1>

第三者機関による検証の際には、検察によるリークの当否も対象にすべきだと思 います。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6181.html>

落合先生が批判されているようにあまりにもあからさまなリークですね。二人に 対する揺さぶりのつもりなんでしょうか。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9197.html>

www RT @o40kisha: マスコミが検察や政治家から匿名を条件に情報を得ることを 「リーク」として、厳しく糾弾している某有名ジャーナリストが／矢部善朗弁護 士,<http://bit.ly/1rvXMpd>

その一文を明記するようになっただけ進歩 RT @powerpc970: 新聞記事で気にな るのは「県警への取材によると」の一文。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-powerpc970.html>

% ls c投稿済み/20140718\*| wc -l　←　簡易な方法ですがコマンドの結果は32でした。本日付で32件のAPIによる投稿をしたことになりそうです。続けるとエラーが出る可能性もありそうですが、今までは30件以下でエラーが出ていたように思います。

時刻は7月19日9時24分です。梅雨らしい天気です。外は見ていないですが雨はあがっているのかもしれません。締めて新しい項目として続きを書きます。

<2014-07-19 土 09:26> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月19日

<2014-07-19 土 09:28> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日の夕方、スマホで撮影した動画をYouTubeにアップロードしました。昔は、赤灯台と呼ばれていた場所で、町内は大棚木でしたが、現在だとゴミ収集の表を見たところ、あるいは「たなぎ団地」となっているのかもしれません。

能登町宇出津の大棚木、赤灯台＿2014-07-1818.52.39.mp4 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=M6lN8RwhtOE&feature=youtu.be>

家から割と近い場所ですが、気が向いてその場所に行くのは、一年に2回程度かと思います。改めて、海の中が汚れているな、とても泳ぐ気にはなれないと思いました。

辺田の浜から引っ越してきた頃は、よくここで海水浴もしていました。魚釣りをすることもあって、海で遊ぶには家から一番近い場所でした。

海が汚く見えるようになったのは、遠島山山公園の下にある恵比寿の堤防が、倍近く延長され、宇出津新港ができて長い堤防ができたことで、宇出津の湾内の潮の流れが悪くなったと考えられますが、その分、湾内の海は荒れた天候でも静かになったと考えられます。

シメノドラッグというドラッグストアにトイレットペーパーを買いに行くのが目的で出掛けたのですが、ずいぶん変わったものだと改めて感じました。ずっと会っていない人もほとんどです。

昨日はブログの記事にしたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを多数、列挙することでご紹介したと思います。逐一感想を添えるのもどうかと思いますし、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）自身が、引用は都合の良い解釈をされるなどと批判していたこともありました。

発言をながめていると真逆と思えることがあったり、本人にこそ当て嵌まる問題なのではと思えることが多々あります。具体性というものがほとんど感じられないのもモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートの特徴です。

直近で、私に向けた言葉として使った「印象操作」というのも「感情論」や「陰謀論」と同じく、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）がよく使う言葉の一つです。

現時点でフォロワー数は12,079となっているようです。→　2014-07-19-101814モトケン　（motokentw）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/tBfYw8Zhvp

わりと最近になって一千件ほど短期間で増えたように思いますが、同じ時期には江川翔子さんも1万件ほど増えたように思います。ＰＣ遠隔操作事件関係のツイートが増えた要因という感じだったように記憶しています。

あいまいな記憶になっていますが、そういえばフォロワーの増減もグラフで見ることができたかと思います。

2014-07-19-102849モトケン（motokentw）　Stats　-　Twilog　フォロワー数推移.jpg pic.twitter.com/rZEZHQAsxs

思ったほど急激なフォロワー数の変化というのはなかったようです。それでも今年の1月21日の時点では、10,789という数値になっているので、半年ほどの間に1290件増えたことになりそうです。ちなみに計算は苦手なのでbcという端末で計算のできるコマンドを使っています。

次は江川翔子さんですが、こちらも際立った変化は確認できず、安定した右肩上がりに見えるグラフです。→　2014-07-19-104247Egawa（amneris84）　Stats　-　Twilog　フォロワー数推移.jpg pic.twitter.com/XYGOC0IzJ0

江川翔子さんの場合、知名度の割には少ないフォロワー数とも思えますが、私の世代としてはオウム真理教の事件との関わりが特に強烈に印象に残っているジャーナリストです。

江川翔子さんの場合は、冤罪問題や検察批判の活動としてとりわけ目を引くものがあって、軽く見ることのできない存在だと思っていますが、経歴にも裏打ちされた活動となっています。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と江川翔子さんの関係ですが、いままでに何度か衝突しているのをみてきました。ツイッター上でのことですが、江川翔子さんにすれば他の弁護士とは違った目でモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）を見ているという感じです。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）ほど、経歴を全面に打ち出し、大々的に扱っている弁護士というのも他にないかと思います。

元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/> というブログでは、漢字で元検とあるので、いっそうわかりやすいです。

ヤメ検という一般的に知られた言葉には蔑視が含まれているので、自身で編み出した造語、のような解説を上記ブログのコメント欄で、常連コメンテーターがコメントしていたことを印象的に覚えています。当時は支持者というか信奉者も多くいたようです。

2014-07-19-105908元検弁護士のつぶやき.jpg pic.twitter.com/e0KAKdfIyb

スクリーンショットを撮りましたが、ブログでの最後のエントリーは2009年7月11日となっています。改めて見ると、私が羽咋市から宇出津に戻ったあと、珠洲市飯田町に職業訓練に通っていた途中までは、停止していなかったことになりそうです。

モトケンブログ、というのも始めていて、そちらの方に移行するような説明もしていたように思いますが、現在はリンクボタンのmotoken.netはドメイン自体が無効になっているようです。

現在残っている元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/> というブログでは、yabelab.netというドメインが使われており、Linuxのネット関連のコマンドを使って調べたところ、レンタルサーバの会社がわかりました。

現在残っているドメインの方が、見覚えも新しいので後に取得した可能性が高いと思うのですが、なぜかブログの方は、後からできたと思われるモトケンブログが消えてなくなり、古くからあった元検弁護士のつぶやき、が残されているようです。

数年前に割と時間を掛けて調べたこともあったのですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログの停止理由は皆目不明でした。Twitterを始めて、そちらのほうにはまっている、というような発言は目にしていた憶えがあります。

さきほど愛知県に住む母親の妹のおばさんから電話があって、気になる話を聞かされました。すぐに書くかどうかわかりませんが、京都の親戚の人の話です。

電話を終えた後、ポストから朝刊を持ってきたのですが、気になるニュースがあって、今日は土曜日で報道も少なく、断片的にしかニュースを見てはいなかったものの、テレビでもインターネットでも全く見ていない報道でした。ネットで調べてみます。

ネットで調べたところ、数は少ないもののネットでは23時間前の記事にもなっているという様子です。すっかり忘れていた事件の一つですが、いつ頃の事件だったのか、思い出すことも難しくなっています。2,3年前でしょうか。

中日新聞:富山検審、元警部補の不起訴相当　自白裏付証拠ない:社会(CHUNICHI Web) <http://www.chunichi.co.jp/s/article/2014071801001446.html>

上記は短い内容になっていますが、家にある今朝の北陸中日新聞にはかなり紙面を割いて、詳しいことが書いてあります。

遺族代理人弁護士ということで山田博弁護士のコメントがありましたが、被疑者が事件の3時間後に21万円を自分のATMに入金した、という事実を遺族を含め今回初めて知った。とのことです。金の出処がわからないので被害者から奪ったものとは特定できないとも、別の箇所で書いてありました。

そういえば先日、富山県の高岡市を舞台として警察署の不正追求をテーマにした2時間ドラマを見ましたが、氷見の強姦冤罪事件のことは思い出したものの、富山の警部補の放火殺人事件については、まったく思い出すこともなかったです。

ドラマの筋書きでもあり得ないような、解決となった事件ではありますが、報道の数の少なさにも驚きました。

代理人の弁護士を通じて、検察審査会での意見陳述の機会を要望していたものの、実現されずに判断が下されたとのことです。陸山会の事件では、検察審査会を徹底的に批判していた人がいたことを思い出しましたが、その影響というのもどうかのかと思いました。

遺族代理人というのは、被害者参加制度でのものと混同してしまいそうですが、刑事事件としては不起訴ということで刑事裁判にはならず、起訴に向けた訴訟行為を託された代理人かと。代理人というのは本来、民事訴訟での弁護士の立場を指す用語かと思いますが、遺族代理人というのは・・・。

時刻は18時38分になっています。昼は、テレビを見ていて、夕方はしばらくの間寝ていました。ドバイの日本人妻ということで、元タレントの前にも特集を見ていましたが、その時とはかなり印象も異なる番組内容でした。

セレブとかいう優雅な生活の裏側で、買い物や人付き合いの大変さを紹介していた番組内容は、ずいぶんと考えさせられる内容でしたが、前以上に幸せそうな家族にも見えました。

本書の記述の中断をする前ですが、検察審査会に対する不信と批判ということで、改めて少し調べてみたいのですが、どうも郷原信郎弁護士が火元の旗振り役であったように思えてきました。それらしいツイートをブログの記事にしました。

時刻は7月20日8時43分になっています。今日は今のところ、天気予報通り雨の心配はなさそうです。イベントやお祭りもあるので、安堵している人も多いことかと思います。

郷原信郎弁護士についてどこまで言及するかという迷いもあって中断をしていました。より関連性や影響性の強いと考えている江川翔子さんからおあつらえ向きの情報発信があったので、それを含めて項目を新しくして書きます。

<2014-07-20 日 08:49> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月20日

<2014-07-20 日 08:50> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

どうも記事にした郷原信郎弁護士のツイートは、掲載しないまま中断していたようです。うっかり忘れてしまうところでした。タイトルからもだいたいの内容はわかると思いますが、参考にしていただきたく次にURLをご紹介します。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 多くの人が特捜の「検審騙し」の驚愕の真実、それを覆い隠す最高検報告書のゴ マカシを知ることが、民主崩壊で高笑いする法務省幹部への最大の脅威／郷原信 郎弁護士

<http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_5371.html>

今回は、短縮URLでも1文字オーバーになってしまったので、タイトルとURLを別の行にすることにしました。郷原信 郎弁護士の部分に半角スペースが含まれているのも気になるところですが、端末のウィンドウサイズで表示上の改行が半角スペースに置き換えられた可能性があるかと思います。

わかりづらい部分もあるかと思うので、再度、ブログ名の部分を削除して掲載しておきます。もちろんURLは同じです。

多くの人が特捜の「検審騙し」の驚愕の真実、それを覆い隠す最高検報告書のゴ マカシを知ることが、民主崩壊で高笑いする法務省幹部への最大の脅威／郷原信 郎弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_5371.html>

時間と紙面の関係もあるので郷原信郎弁護士に関しても余り言及はしたくないのですが、関連するような記事を併せてご紹介しておきたいと思います。

八田隆氏が国家賠償請求訴訟で挑む「検察への『倍返し』」／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_2332.html>

それが、「人質司法」の追い風になるような悪しき結果につながらないようにす ることは、我が国の刑事司法の問題を真摯に考えようとする者にとっての責務で ある／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1wKidPL>

［拡散！］【勝率ゼロへの挑戦 史上初の無罪はいかにして生まれたか】（八田 隆）http://／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/http.html>

この戦いの記録である「勝率ゼロへの挑戦」は、検察問題への関心の有無を問わ ず、すべての市民にとって必読の書／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_812.html>

この数年の検察の暴走が日本の政治を歪めたとの認識を持っている方々には、こ のドラマに描かれた特捜暴走の現実を、是非ご覧いただきたい。原作の「司法記 者」／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1u3TF85>

愛知県警に収賄容疑で逮捕された藤井浩人美濃加茂市長の弁護人、郷原信郎弁護 士が、ブログにコラム／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7301.html>

【緊急拡散】美濃加茂・藤井市長の早期釈放を求める声を裁判所に届けます！ 署名サイトができましたので／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8659.html>

【現職市長に「逃亡のおそれあり」として勾留決定をした任官後半年の新米裁判 官 】と題してブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5690.html>

昨日から本格的に始まった藤井市長の釈放を求める美濃加茂市民の署名、今日現 在で、１万５0００人を超えた。人口５万人余りの市で、これだけの人達が一致 して藤井市長の潔白を信じ、／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1wKiGRV>

勾留中の藤井市長への市民の方からの応援メッセージが書かれた短冊が多数。一 日も早く、藤井市長を市民の皆様のところへ返せるよう、我々弁護団も頑張りま す／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1u3TREp>

この後、１万５千人を超える市民の早期釈放を求める署名、本日申し立てた最高裁への特別抗告のことについて記者会見／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9.html>

今夜１０時から、ニコ生の番組に、藤井美濃加茂市長の事件のキーパーソンのタ カミネ氏が、緊急生出演／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_692.html>

糸山隆検事正も、陸山会事件で検察審査会を誘導して小沢氏起訴を画策、虚偽捜 査報告書問題で処分を受けた佐久間達哉前橋地検検事正／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1453.html>

郷原信郎弁護士は、美濃加茂市長起訴は検察のガバナンスの重大な欠陥がもたら したもの、と。→〈「責任先送りのための起訴」という暴挙〉／ジャーナリスト 江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9752.html>

最後のものは江川翔子さんのツイートになったようです。ガバナンスというのは組織の統治力のような意味があるようです。郷原信郎弁護士らしい検察批判の特徴ですが、江川翔子さんが拡散的にご紹介しているようです。

美濃加茂市長の問題ですが、当初はテレビで報道されていたものの、郷原信郎弁護士が弁護人になった以降、起訴を含め一度もテレビでも報道を見かけておらず、そのあたりも私としては気になっています。

昨夜、寝る前に次の江川翔子さんの記事を読んでいました。

【PC遠隔操作事件】誤認逮捕に、警察の能力を上回った満足感（第13回公判傍聴メモ）(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20140719-00037534/>

客観的な記録、あるいは報告というスタイルは、まだ片山被告の保釈が取り消しになって犯行を認める以前からのスタイルだと思いますが、今回はそれがさらに徹底されていて、主観的な感想や意見は一切交えないという感じになっています。

この13回公判に関しては、事前の情報を見かけておらず、江川翔子さんのツイッターで見た時は、おや、と思いました。このＰＣ遠隔操作事件に関してはネットでも情報を見かけることが、ずいぶん少なくなっており、世間の関心の大幅な低下も窺えるところです。

ざっと読んでの感想ですが、やはり落合洋司弁護士（東京弁護士会）や郷原信郎弁護士、佐藤博史弁護士、江川翔子さんもですが、彼らの警察、検察批判の影響を色濃く受けた事件ではないかと思いました。踊らされた感もあります。

時刻は7月22日11時13分になっています。昨日は一日お休みになったかと思います。項目を切り替えます。

<2014-07-22 火 11:15> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月22日

<2014-07-22 火 11:16> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

一昨日になりますが、7月20日はバイクで珠洲市飯田町の燈籠山祭りを見物に行ってきました。その2,3日前にはAコープ能都店の張ってあったポスターで、恋路海岸の恋路火祭りも同日だと知り、そちらも一緒に見物をすることができました。

デジカメとスマホでたくさんの写真を撮り、Picasaウェブアルバムにアルバムを作ってアップロードしました。最近はスマホを使って写真を撮ることが多いです。理由の一つは、デジカメの撮影日時にもなる時計があてにならないからです。

事前に気がついて時刻の調整をしておけばよかったのですが、後になって気が付き確認をしたところ、デジカメでは5分ほど時間が進んでいました。

ファイル名に日付と時刻を含めることは私のいつものスタイルになっています。スマホで撮影したものは自動で日付と時刻によるファイル名になってくれるのですが、プログラムでエラーを起こす可能性のある特殊文字が含まれています。

これまでは半角スペースのみを半角のアンダーバーに置き換えることが多かったのですが、今回はすべてデジカメと同じスタイルで、スクリプトによるファイル名の変換をしました。わかりやすい違いはデジカメの写真には設定で撮影日をプリントしていることです。

2014-07-20／珠洲市・飯田町燈籠山祭り＆能登町・恋路＆松波港 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/20140720>

上記がPicasaウェブアルバムのリンクです。「写真: 208 枚 – 116 MB」という表示もあります。

スマホの方は、自宅でWi-Fiに繋がっているので、インターネット上から時刻の情報を得て同期されているものと考えています。パソコンでも現在はそれが主流の初期設定になっているのではと考えています。

今どき、調整しなおしてから1年も経たないぐらいで5分も進んでしまうデジカメの時計にも驚きましたが、撮影日のプリントの文字の大きさも選択肢があったよさそうなものの、大きさを変えることができません。現在はネットワーク機能を内蔵したデジカメも珍しくはないのかもしれません。

今回は祭りの見物の写真だけを撮ったわけではありません。だいぶん前から今度、松波を通過することがあれば撮影はしておきたいと考えていました。

本書で説明に使う写真は、別途非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に写真付きツイートしたものを使いますが、もとの写真はPicasaウェブアルバムにアップロードしたものと同じです。ファイル名も同じになっているはずです。

珠洲市・飯田町燈籠山祭り＆能登町・恋路＆松波港2014年07月20日18時15分51秒.jpg pic.twitter.com/vlrL9DZgFI

上記は松波の中心部にある交差点です。左折して数百メートルで左側に旧松波駅があります。昔というか昭和の時代は、このまま直進してから別の交差点を左折するというのが主流のコースであったと思います。

駅前を通る道もありましたが、裏道のような感じになっていたと思います。直進して松波の町中に入ると、確か左側に、小さなガソリンスタンドがありました。被告訴人大網健二らの親戚が経営する店だと聞いていて、店の看板にも大網という字が含まれていたと思います。

祖父の兄弟だと聞いたような記憶もありますが、どの程度の付き合いがあったのかも不明です。松波に遊びに行ったという話も聞いたことはなかったですが、祭りなど行き来や遊びに行った時の土地勘があったことも、考えられることではないかと思います。

直進するとどこかで左折して恋路の方に向かうのが普通でしたが、直進して突き当たると港の近くに出たように思います。私自身、気まぐれでこれまで数回程度しか通ってはいないので、細かいことはわかりません。

珠洲市・飯田町燈籠山祭り＆能登町・恋路＆松波港2014年07月20日18時16分42秒.jpg pic.twitter.com/1BP2K1uZ3I

上記が旧松波駅です。昭和57年の1月ころ、被告訴人安田繁克がシンナー遊びで精神異常の状態になり、早朝に保護されたと聞く場所でもあります。外壁が新しくなっているようにも見えますが、駅舎の本体は昭和の時代から変わっていないように見えます。

珠洲市・飯田町燈籠山祭り＆能登町・恋路＆松波港2014年07月20日18時16分47秒.jpg pic.twitter.com/WJOlxWrYU1

上記は、松波駅の正面からみた風景です。向こうの山の下に停まれの標識が見えますが、これが以前主流だった道路で、右に行くと松波の町中へ、左は恋路海岸方面になります。駅前の広い道も後になって整備された新しい道路です。

写真には写っていませんが、右側に大きな寺院のような建物が見えて、松波城址なんとかという文字があって、前から気になっていました。同じく写真には写っていませんが、左側の方には職業訓練校があります。

先日、Googleマップの航空写真でみたところ、職業訓練校の敷地と寺院の敷地が隣接していて、通りぬけもできそうだったので、バイクで職業訓練校の前まで行ったのですが、通り抜けできるような道はありませんでした。

珠洲市・飯田町燈籠山祭り＆能登町・恋路＆松波港2014年07月20日18時19分47秒.jpg pic.twitter.com/LCEWchfqrR

上記写真は職業訓練校に通じる道から引き返した来たところです。ちょうどカーブになっていますが、右に行くと恋路海岸です。今でも国道249号線の旧道になるのかもしれません。昭和の時代は珠洲市に向かう主要な道路でした。

坂の上に、右方向から三叉路で交わる道の一部が見えるかと思います。そこに道があるということは前から知っていましたが、通った憶えがなく、寺院の方にも行けそうだったので、通ってみることにしました。まったく予定外の行動でした。

時刻は18時29分です。宇出津の図書館に行って、蛸島のTSさんの自殺に関する記事を探してきました。17時の15分ぐらい前には家を出ていたように思うので、1時間以上探しましたが、記事を見つけ出すことはできず、18時の閉館になってしまいました。

2014-07-2217.14.11.jpg pic.twitter.com/pzsZ9uVzjB ←　これが北國新聞の縮小版です。色あせている具合を見ても、相当前からあるものと思われますが、今年の春に移設する前の図書館では2階の倉庫に置いてあり、保存状態は良くなかったことも考えられます。

かなり期間の範囲を広げて、索引のような目次から調べました。だいたい次のような感じになっています。→　2014-07-2217.57.31.jpg pic.twitter.com/vky8MPIhNk

驚いたことに、「心中」という最近は見かけなくなった言葉での項目までありました。私の記憶では夜の出来事で、翌日かあるいは翌々日の朝刊に記事になっていましたが、自殺と断定したような内容になっていたように思います。

私自身、平成4年まで新聞は北國新聞以外に購読したことはなかったと思います。まず、毎日は見ていない新聞を開いた時にTSさんがなくなったことを知りました。テレビ面の裏側の紙面で、その上の左側に、2番めに大きいような扱いで記事が掲載されていたように記憶しています。

私自身、平成9年1月に福井刑務所を満期出所してから、北國新聞の縮小版で蛸島のTSさんの自殺に関する記事を探しだして、読んだというか目を通した記憶はあるのですが、時刻のことだとか細かいことは考えずに、確認のように目を通しただけでした。

これは新聞に２番目に大きく報道されてもいました。噂によると買ったばかりの新車の赤い軽四で、ぐるぐると３回転ぐらい回ってから海に2014年07月22日19時02分26秒.jpg pic.twitter.com/13kw9usR0D

上記は、現在プライベートモードのHatena::Diaryのブログの画面をキャプチャーしたスクリーンショットです。実名になっている部分があるので、マスク処理をしました。図書館ですんなり記事が見つかっていたならなかったと思われる大発見です。

時刻は7月23日9時58分です。締めて新規に項目を作成し、昨日の続きを書きます。

<2014-07-23 水 09:59> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月23日

<2014-07-23 水 10:21> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

告訴状について（2006.7.24） - 日暮れて途遠し <http://d.hatena.ne.jp/hirono_hideki/20060724/1153745372>

上記が昨日ご紹介した現在プライベートモードのブログ記事です。平成18年7月24日に書いたものになりそうです。明日になるとちょうど8周年ということにもなりそうです。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）によって被った悪影響の大きさというのも新たに感慨深いところです。

スクリーンショットの再掲→　これは新聞に２番目に大きく報道されてもいました。噂によると買ったばかりの新車の赤い軽四で、ぐるぐると３回転ぐらい回ってから海に2014年07月22日19時02分26秒.jpg pic.twitter.com/13kw9usR0D

ノートパソコンでは表示した画像の文字が見づらかったですが、画像をダウンロードしてフォトビューアのソフトで開いて拡大したところ、けっこう判別出来ました。基本的にそれ以上の画像サイズは横が1024ピクセルに自動で縮小されるというのが、Twitterの仕様になっているようです。

午前中に、生活保護の担当者の訪問があって、11時過ぎだったと思いますが、12時過ぎに御庁（金沢地方検察庁）に電話をしました。担当者が変わっていました。

スクリーンショットの内容ですが、かなり意外で気になるところが一点ありました。それはASKさんの仕事が型枠大工というあたりのことですが、それもTSさんの妻だったKHさんの再婚相手のところで働いている、というような部分です。

そのあたりの文章を読むと、私は平成3年9月の時点で、ASKさんの仕事が型枠大工で、TSさんの妻だったKHさんの再婚相手のところで働いていると、聞いていたことになりそうです。

当日洞爺のことは現在でもある程度記憶に残っていますが、ASKさんに関しては、その場にいたはずと思いながら、言葉を交わしたことやどこに住み、どんな仕事をしているのかという話を聞いたという記憶も残っていません。むしろ姫のNKさんの姿があったようなことは、なんとなく覚えています。

私はかなり長い間、ASKさん改め松波のAKさんは、被告訴人大網周一の会社で鳶職の仕事をしていると聞いていたように覚えています。まだ、大網商事有限会社ではなく、ライトバンの後ろに大網組と看板のような文字を大きく書いていた頃であったように思います。

時刻は15時56分になっています。コンビニにADSLモデムの返却郵送に行ったり、昼食を作って食べたりしていました。

松波のAKさんが被告訴人大網周一が社長をする鳶職の会社をやめて、型枠大工をしているという話を聞いたのは平成9年の7月に私が金沢市で生活するようになって以降のことであったように思います。

同じ頃に昔話として、鳶の仕事の現場で仲間の誰かが、不注意で鋼管を落下させ、それが太腿に突き刺さったとか、貫通したという話を聞きました。ずいぶんひどい大怪我を負ったような話でしたが、その割には入院したという話も具体的な怪我の程度も聞かなかったです。

私は福井刑務所で他の受刑者から人間の太腿には急所があって、そこが切れると助からない致命傷になると聞いたことがありましたので、半信半疑で話を聞いていましたが、上空からの落下物で太腿に当たったというのは、どういう体勢だったのかと想像してみたこともありました。

足を投げ出して作業するというのも、匍匐前進のような体勢で作業するというのも、屋外の現場では自分の経験に照らしてどうにも合点がいかなかったからです。

同じ頃、あるいは同じ時の会話で聞いた話だと思うのですが、金沢駅近くの確か全日空のビルの工事で、巨大な何かを作業中に、かなり高い上空から落下させたという話を聞きました。けが人はなかったというような話であったように思います。この話は異なる時期に2回聞いたようにも思います。

その全日空と思われる高層ビルに関しては、私個人で特別な思い出もありました。まだ昭和の時代に札幌市に行った時のことだったと思いますが、札幌駅を正面に見ると左後方の場所だと記憶していますが、細長い板チョコのような新しいビルが、とても印象的に見えていたことです。

数年後、その札幌市で見たビルと同じようなビルが、金沢駅の近くに出来ていました。テレビの県内番組で見たように思うのですが、全日空のビルということになっていたと思います。まだ確認はしていませんが、ネットで調べてみます。

2014-07-23-163004金沢駅近くの板チョコのような高層ビル.jpg pic.twitter.com/HYpPGwoAg3

Googleのストリートビューからスクリーンショットを撮ったのが上記の画像です。たぶんこの写真の中央にあるのが、全日空と思われるビルですが、まだビルの名称は確認していません。検索では全日空ホテルというのが金沢駅近くに出てきましたが、自分の記憶とは違った写真のようにも見えました。

どうも「ホテル日航金沢」というのが正しい名称のようです。→　ホテル日航金沢 - Google 検索 <http://bit.ly/1A4E1tR>

ホテル日航金沢【公式サイト】｜JR金沢駅前の高層ラグジュアリーホテル <http://www.hnkanazawa.jp/> ←　このホームページではちょうど20周年という宣伝が掲載されていました。

私の記憶では平成3年の12月の時点で、ビルは存在していたような気がするのですが、12月21日、その近くのビルの1階にオープンしていたティファニーという貴金属店で被害者AAさんに対するネックレスのプレゼントを買った時のことです。

私の生活では、金沢駅の周辺というのは余り通りかかる場所でもなかったので、そのホテル日航金沢のビルの工事を見た覚えもなく、いつの間にか出来上がっていたという感じでした。

札幌市で似たようなビルを見たのは昭和59年の10月ころだったと思います。他とは違う斬新なデザインの建築物に見えたので印象に残っていたのですが、それと同じようなビルが金沢駅の近くでいつの間にか出来上がっていたのです。

2014-07-23-165853ホテル日航金沢は20週年を迎えました。.jpg pic.twitter.com/gG3MAHVmhE ←　確認と記録を兼ねてスクリーンショットを撮りました。

純粋に20周年だと考えると平成26年の現在から数えると、平成6年辺りのオープンということになりそうです。私は金沢刑務所の拘置所から福井刑務所へと移った時期なので、オープンしたホテル日航金沢の姿を見たのは、平成9年の1月以降ということになりそうです。

ポルテ金沢 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9D%E3%83%AB%E3%83%86%E9%87%91%E6%B2%A2>

調べたところ、ビルの名前は「ポルテ金沢」のようです。そういえばこれまでに1,2度は耳にしたような気もしましたが、ホテル日航金沢以外の商業施設があるとも知らず、建物の中に入ったことも一度もないです。やはり平成6年のオープンだと上記のページで確認することが出来ました。

ビルの外観が完成してからオープンまで2年かかったとは考えにくいので、平成3年12月21日の時点でには存在しなかった可能性が高いかと思われます。建築の工事自体は平成4年から6年の間に行われていたものと考えられます。どのくらいの工期が必要なのか、私には想像もつけにくいですが。

となるとやはりホテル日航金沢の工事での落下物の話は、平成9年に聞いたことになりそうです。はっきりしていることは、松波のAKさんの話を聞くことはありましたが、会うことなかったばかりか、どこに住んでいるのかと聞くこともありませんでした。

そのように考えると、平成3年9月の時点で、松波のAKさんが被告訴人大網周一の元での鳶の仕事をやめて、型枠大工をやっていると聞いたのも、どうかという気がします。

また、私は平成13年ころの時点で、蛸島のTSさんの生前の妻の再婚相手は、松任市内で重機を扱うような会社をやっていると聞きました。具体的な会社の名前まで聞いたと思うのですが、それは思い出せなくなりました。ありがちなわかりやすい名前の漢字2文字が、先頭にある社名だったとは思います。

重機といえば、これも私は個人的に特別な思い出があるのですが、被告訴人KYNのところで配管の仕事をやっていた平成10年ころ、辰口庁舎の現場で、大きなクレーン車がアームを伸ばした状態で、横倒しになるという状況を目的したことがありました。そのことも連想したはずと思います。

重機といえば、建築、建設現場ではそのようなクレーン車を思い浮かべます。金沢市錦江では城西運輸機工がよくやっているような仕事です。それと型枠大工の仕事が、今の私にはどうにも結びつきません。

型枠大工の仕事は平成11年の2月から8月の間、日雇いの作業員としてよく関わっていた仕事の一つです。鳶の仕事を手伝うことありましたが、先ほど鋼管と書いたのは、丸い鉄パイプのことです。足場の手すりとしても使われていたように思います。

時刻は7月24日9時49分です。本日付の項目を作成して続きを書きます。

<2014-07-24 木 09:50> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月24日

<2014-07-24 木 09:52> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜はテレビをみていましたが、「若者たち2014　第3話」が印象的でいろいろと考えさせられました。ネット上のコメントなど反応を見ていて、昭和の時代とかありましたが、時代も人も変わったように改めて思いました。

昨夜の第3話が23日だったので数えてみると、初回を見たのは9日だったことになりそうです。あばれ祭りでの被告訴人KYNの今の姿と重ねあわせながら、昔を思い出しながら見たことを憶えています。

今度の土曜日は、姫の祭りがあるように聞いています。7月26日になりますが、Aコープ能都店などに張ってあるポスターによるとその日は、松波の祭りもあるようです。姫の祭りは昔と日付が変わったような話も小耳にはさみましたが、松波と姫の祭りが同日というのも意外でした。

私の生まれ住む宇出津のあばれ祭りも、以前は7月の7日と8日と決まっていたのですが、今は7月の第一金曜日、土曜日となっています。変わって10年近く経つようにも思います。

姫の祭りは、「どいやさ祭り」というらしいですが、私は近年になってしったことです。そういう名前の祭りは聞いたことがなかったし、「どいやさ」という言葉の意味もよくわかりません。

姫の祭りに行ったのは一度だけだったように思いますが、それより前の中学生の頃にもあるいは行ったことがあるのかもしれません。記憶に残っているのは一度だけで、それが最後に見た祭だったとも思います。記憶がはっきりしませんが、昭和57年か58年のどちらかだと思います。

こちらに情報がありました。→　どいやさ祭｜行事案内｜能登町役場 <http://www.town.noto.lg.jp/www/event/detail.jsp?common_id=861>

7月の第4土曜日という記載もありました。2000年より前は1970年代から祭りが簡素化されていたそうです。このあたりは20日に見に行ったばかりの飯田町燈籠山祭りに事情が似ているようです。

よく考えてみると私は昭和58年の7月の20日頃に普通免許を取得し、数日後には藤田自動車の代車のポンコツの車に乗って、東京に住んでいた被告訴人大網健二のところに遊びに行きました。その年の春にオープンしたディズニーランドに行ったことなど、すでに書いている箇所があるかと思います。

車に乗るようになってからの私は単独行動が多くなったとも記憶しています。8月の終わりか9月の初めには金沢市観音堂の被告訴人安田敏のアパートに転がり込み、主に金沢で生活するようにもなっていました。

当時の私は、ビールや酒が苦手で、飲むとすぐに気分が悪くなりましたが、先輩に無理やり飲まされるというのも当時はよくあったことで、とくにその場となったのが、能登各地の夏祭りのことでした。

姫の祭りに行ったのもやはり昭和57年の可能性が高そうです。その時は初めで最後に姫のNKさんの家に行ったことを記憶しています。開放された二階の部屋で宴会のような場面を一つ記憶にしていますが、誰がいたとなるとはっきりした記憶はありません。

大勢いたのは間違いないと思います。高倉漁港の岸壁のあたりが祭りのメイン会場のようになっていたと思いますが、そこでロープで手かあるいは足を縛られて、車で引きずられたことを記憶にしています。

前にも書いたような、書いていないような気がしますが、珠洲市飯田町の燈籠山祭りに行ったのも1回だけでした。これも昭和57年の可能性が高いと思います。

飯田燈籠山祭り - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A3%AF%E7%94%B0%E7%87%88%E7%B1%A0%E5%B1%B1%E7%A5%AD%E3%82%8A>

上記の情報によると毎年7月20,21日ということで日程の変更というのもなさそうです。その時の祭りで憶えていることは、金沢で暴力団員をやっていたという年上の人物、珠洲○○の本人かあるいはその実家が経営している飲み屋に行ったことです。

被告訴人大網周一から名前はちょくちょく聞いていたのですが、実際に会ったことはなかったし、その時も本人の姿を見たという記憶は残っていません。仲間には岐阜○○という人もいたようで、同じく暴力団の関係者でもあったような感じでした。

○○の部分は普通カタカナで書きそうな二文字です。スナック言うには豪勢な内装の飲み屋であったという記憶も残っています。店の名前も憶えていて、太閤秀吉の時代を連想させる感じさせる漢字二文字ですが、個人的な過去のプライバシーもあるので明確な記載は避けたいと思います。

岐阜○○の方ですが、昭和56年8月28日の早朝、金沢市増泉のアパートに金沢中警察署が踏み込んだ時、トイレの窓から逃走した当時19歳の男とは、知り合いであり仲間であるような話も聞いたように憶えています。上の名前は忘れましたが、ユタカと呼ばれていたと思います。

ユタカは暴走族のメンバーだとは聞いていましたが、暴力団に所属していたという話は聞いていなかったように思います。私や被告訴人大網周一が鑑別所に入っている間に、松任市の私と同じ年の16歳の少女と付き合うようになっていました。

入江のアパートで、当時、松元組の暴力団員だった被告訴人浜口卓也が警察官を装って、シンナー遊びをしていたユタカと少女を驚かしたことも既に書いたように思いますが、その行動から見てもけっこう知っている関係という感じでした。

ただ、驚かされたユタカの方は、警察からの逃亡疲れもあったのか、少女とくっついて寄り添い、言葉も出ないぐらい悲しんでいる様子に見えたのが、印象に残っています。ユタカに会ったのもそれが最後だったように思いますし、その後、岐阜に帰ったような話も聞きました。

被告訴人安田敏と個人的な付き合いが始まったのも、同じ頃で出会った場所も同じ入江のアパートだったと思います。ただ、そのあたりも記憶が曖昧になっています。

晩秋から冬の時期だったと思うのですが、私はけっこうな頻度で、被告訴人安田敏と遊ぶようになりました。他の仲間は被告訴人安田敏との付き合いを避けているような状況でもありましたので、被告訴人安田敏が初めに松原病院に入院した後だったようにも思うのですが。

被告訴人安田敏とは、よく浅野本町の大学生の下宿のような場所に行きました。古い木造アパートのようでしたが、部屋にはトイレもなく、共同になっていたように思います。まるで漫画やドラマに出てくるような世界でした。

被告訴人安田敏がなぜそこに出入りするようになったのか、当時は説明も受けていたように思いますが、まるで記憶には残っていません。歯科技工士の学校に通っているという人が、何人かいたようなことは憶えています。

被告訴人安田敏とは、金沢市北安江の会社の事務所の二階に寝泊まりをしていた一つ年下のKAのところにも、連れて遊びに行ったことを憶えています。同じ頃、KAを連れて、金沢市笠舞のアパートに遊びに行き、末町の少女THらと、金沢駅前で写真撮影したこともありました。

被告訴人安田敏を笠舞のアパートに連れて行くようなことは一度もなかったです。それははっきり憶えていますが、末町のTHと被告訴人安田敏の面識も、ほとんどないようなものであったと思います。

既に書いていると思いますが、確か出稼ぎに行くという理由の、被告訴人安田敏の送別の場になった片町の飲み屋で、働いていたのが末町のTHと瓢箪町のNMです。二人とも年は私より1つ年下だったと思います。詳しい話は忘れましたが、働いているというより店を任されているという感じでした。

その時は被告訴人安田敏と松波のAKさんと私の3人で、ボックス席に座って飲んでいたような場面を記憶しています。カウンターには他の客もいて、忙しそうな感じで、二人の女性とは挨拶程度で、ほとんど話す機会もなかったような記憶が、ぼんやりですが残っています。

時刻は22時33分になっています。直前の行というかツイートは、半分ほど書きかけで中断していたものです。夕方には宇出津新港に買い物に行ったり、戻ってからもテレビを見ていました。

地デジのテレビなので、テレビの中に番組表がありますが、20時ちょっと前に気になる番組を見つけ、すぐにそちらにチャンネルを変更しました。次の番組ですが、廣野秀樹（@hironohideki）でツイートしたものの、本文コピペとします。

奇跡体験!アンビリバボー実録!日本の衝撃事件簿スペシャル 2014年7月24日（木） 19時57分～21時48分 の放送内容 <http://ow.ly/zx2SL>

奇跡体験!アンビリバボー - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://ow.ly/zx2PU> 【実録!日本の戦慄殺人事件!!平穏家族が一瞬で崩壊!未来奪った犯人たち】妻の目前で愛する夫が突然逮捕!本名も違う男の素顔は連続殺人鬼▽密室殺人の謎…

放送時間を見ると始まった直後から見ていたことになるかと思います。2時間弱の番組でしたが、終わってみると2本立ての構成になっていたようです。共通した感想としては、発覚、逮捕を免れるためにはここまでやるものか、ということでした。

一つ目の事件は、不動産関係者か大家がタクシーに置き忘れた所持品の中の鍵を使って、たまたま入居していた新婚夫婦が手斧で惨殺されたという事件でした。現在の貨幣価値で57万円とか出ていたように思いますが、失業保険の不正受給が、金銭目的の動機ともなっていたとことです。

番組で取り上げられていた2つ目の事件は、二人の殺人事件の逃亡から身元を隠すため、さらに2件の殺人事件を起こしたという内容でした。時代背景も異なっていて昭和33年ころの事件のようでしたが、ここまで考え抜き、行動にするものなのかと思いました。

一見すると全く無関係に見える事件の真相を見抜き、追いかけていった当時の警察の執念と直感、行動力というのも参考になりました。

今日は被告訴人安田敏のことを書いてきたと思います。金沢市浅野本町の下宿のような古いアパートですが、けっこうな回数行ったような記憶があり、その場には必ず被告訴人安田敏がいたはずです。

おじゃまんが山田くん - Wikipedia <http://bit.ly/1mIPSUl> 放送期間は1980年9月28日から1982年10月10日まで。フジテレビ系列（一部系列局除く）で毎週日曜日19:00から19:30の枠にて放送された。

この手のテレビ番組はネット上での情報がまとまっているので助かりますが、昭和55年から昭和57年10月までの放送だったようです。ちょうどリアルタイムな時期の番組だったと考えられますが、このアニメ番組の内容とも重なるイメージの古い木造アパートでした。

アパートというよりは共同住宅という言葉がふさわしいものであったかもしれません。当時も私のまわりでは他に見かけることない居住形態でした。風呂なし、炊事、トイレ共同のアパート言う感じでしょうか。

現在は跡形もなくなっていると思いますが、大体のその場所をGoogleマップで探して、緯度経度情報などを明らかにしておきます。たぶん外見からは、下宿のようなアパートだとは誰も気が付かなかったと思います。

石川県金沢市浅野本町ロ１７６ - Google マップ <http://bit.ly/1mITcii>

だいたいの場所です。Googleマップの航空写真で見ると広い道路沿いに面した建物が多く、相当古くからあると見える瓦屋根の家も散見されます。私の記憶ではアパートの建物は、広い道路から家一軒分は奥まっていました。その手前が駐車場のような空き地になっていたかもしれません。

似たような共同住宅のようなアパートは同じ頃、他にもありました。はっきりした違いは浅野本町の方は、ほとんどというか私が見聞きした範囲の全部が、学生だったということです。大学生もいたように思いますが、専門学校生もいたようです。当時は専門学校というのは珍しかった気もします。

もうひとつのアパートは金沢市笠舞にありました。

石川県金沢市笠舞本町 - Google マップ <http://bit.ly/UqmWJS>

今調べてわかったのですが、笠舞というのは大通りの赤坂プラザ側に集中しているようで、反対側が笠舞本町になるようです。中学校は城南中学校と聞いていたようなことも思い出しました。

既にある程度は本書で書いていると思いますが、小立野の少年鑑別所で知り合ったITのアパートでした。父親がそのアパートの大家という話で、2階の一室に住んでいました。私の記憶では部屋にはトイレも、炊事の流しもなかったように思います。

その直前までは金沢市森本のマンションのようなところにいました。すでに何度も出ている神野のKMと、被告訴人大網周一の同級生のFKと4人で、いたのはそのFKの姉のマンションでした。

多くて5万円程度だったと思いますが、まとまった金を持っていたのは被告訴人大網健二だけでした。金沢で仕事を探すという目的で4人で宇出津から出てきたのですが、付き合いだけで同行していたのは私だけでした。

当時、私は少年鑑別所を出た後の試験観察中で、親元である宇出津での居住が義務付けられていたので、金沢で仕事を探すこともできなかったのだと思います。

夜、布団に入ってけっこう時間が経ってから、神野のKMがFKに話しかけたのですが、被告訴人大網健二の所持金をあてにして、少しでも金を減らさないために、説得して私を宇出津に帰らせなければならない、などと話していたのです。

私は眠れずにいたので、その会話を一部始終聞いていたのですが、翌朝になると被告訴人大網健二に誘われて、二人でそこを出ました。しばらくしてから被告訴人大網健二も聞いていたという昨夜の神野のKMの話を聞かされました。利用されたことに腹を立てた様子で飛び出したと話していました。

いきなり笠舞に行ったのではなく、その前に一晩は、尾張町の被告訴人大網健二の金沢高校時代の同級生の家にやっかいになりました。あるいは二版ぐらい泊まったような気もしますが、3日以上の滞在ということはまずなかったと思います。

尾張町は金沢市の中心部の一角で金沢地方検察庁にも近いですが、大通りから検察庁とは反対側に少し入ったところの家だったと記憶しています。それまでの私の生活では見たこともない豪邸のような家でした、鉄筋コンクリートの家で瓦屋根はなかったように思います。

その被告訴人大網健二の友人の部屋に匿われたような感じだったと思います。家族に紹介を受けるようなこともなかったと思うます。逃亡生活にも近い感じで居心地も良くはなかったです。

この先、どうしたものかと思案していたところ、ふとひらめくように思い出したのが、鑑別所で同じ部屋だったITの電話番号でした。30人程度の暴走族のリーダーをしているとも話していましたが、なかではけっこう意気投合もしていて電話番号を教えてもらっていたのです。

電話を掛けたのは夜遅い時間だったと思いますが、歓迎するというような返事を受けて笠舞に向かいました。被告訴人大網健二が所有していた400ccのバイクでしたが、その時はカワサキのGS400だったように記憶しています。2気筒エンジンです。

被告訴人大網健二が所有していたバイクといえばカワサキFXの印象が強いのですが、FXは400ccの4気筒エンジンでした。

昭和57年の5月頃には水産高校のグランドの前に緩いカーブで、民家のブロック塀に接触して横転しました。その事故でけっこう長い間、宇出津病院に入院していました。一月以上は入院していたと思います。2ヶ月ぐらいという可能性もあるかと思いますが、最大で3ヶ月ぐらいでしょうか。

その事故の時、私はすぐ後ろをホンダのホーク2に乗って走っていました。同じく400ccのバイクで2気筒です。中型二輪の免許でしたが、6月に初め頃には県警本部で免許取り消しの処分を受けていたので、事故もその前だったはずです。

当時のこととして、被告訴人大網健二が腕にギプスをつけたパジャマ姿で写っている集合写真もあったかと思います。腕を複雑骨折して腕の中に太い鉄を入れたという話でしたが、病室では寝たきりの様な動けない状態であったと記憶にあります。

その昭和57年の9月の5日か7日ぐらいに私は名古屋に行ってのですが、その時には退院をしていて、金沢まで見送りに付き合ってくれたようなことも、津幡に近い8号線バイパスのラーメン屋で、夜遅くに食事をしたことと一緒に記憶に残っています。

当時の人間関係に嫌気がさし、警察に捕まって鑑別所や少年院に送られるようなリスクを避けたいという思いもあって、私は名古屋に行くことを決めたのです。

書いているうちに思い出しましたが、蛸島の暴力団員が被告訴人大網周一にあてがった田浦の民家でのチャンスボールという輪姦行為、それに被告訴人大網健二が参加をしていた場面を思い出しました。腕の怪我の様子はなかったと記憶にあります。

殴る蹴る脅すという行為はなかったので、純粋は強姦ではなかったのかもしれませんが、すすり泣く少女の姿もあったので、かなりきわどいものではあったと思います。

発案し命名したのも被告訴人大網周一だったと思います。笑いながらゲームのように性行為に及ぶというのが、特徴の一つだったかと思いますが、二人目が行為に及ぶ時が正念場ということにもなっていました。

当時は私も17歳で少年だったのですが、お供え物のような慰みものした少女は主に珠洲方面から被告訴人大網周一が調達してきていたようです。なかには馬鹿笑いをして一緒に楽しんでいるような少女もいましたが、ごく稀だったと思います。

あるときは、家に送り届ける少女と車で同乗しましたが、被告訴人大網周一が人に言うな、言うとお前が警察に捕まるなどと本気で説得するのを見たいたこともありました。少女と言っても私よりは一つか二つ年上のようでしたが、ある程度は信じているような様子でした。

当時の被告訴人大網周一を中心にした人間関係というのは、人が集まっていてその場で一人だけがジュースを飲むのは許されないような事実上の規律があり、飲むときは全員に行き渡らせるというのが被告訴人大網周一の価値観であり、美学でもあるという感じでした。

被告訴人大網周一にしてみれば、チャンスボールは、先輩方との人間関係をよりよくするための、場の提供であり、接待という意味合いが強かったと思われます。

当時は六法全書というのはアナーキーの歌の歌詞で知っていましたが、刑法という法律の内容については全くの無知で、強姦罪の量刑の重さも知りませんでしたが、恐怖の声と泣き叫ぶ少女に性行為に及ぶ状況を目にしていれば、とんでもないことになりかねないという思いはありました。

そこまで嫌がったという少女の姿を見たのも一度だけでしたが、夕方だったのかまだ明るい時間でした。民家は玄関を入って左右に部屋がありましたが、普通に集まっていたのは左側の宇出津の町方向の部屋でした。

輪姦の場にされていたのは右側の部屋でしたが、部屋全体が絨毯で敷き詰められたような異様な部屋でした。絨毯は紫色だったかもしれません。

その部屋に少女を連れ込み性行為に及ぶ、そして行為を終えると部屋を出て、入れ替わりで次が入るというのが恒例のパターンでした。

私自身、一度だけ参加しましたが、馬鹿笑いをしているような少女で、それだけにその場も盛り上がっていました。先輩に背中を押されて3人で部屋に入ったのですが、体は触ったものの性行為には及びませんでした。体裁を繕ったということにもなるかと思いますが、欲望が先走ることもなかったです。

時刻は7月25日8時23分です。外が明るくなる頃まで起きていたので、余り寝ていないのですが、蒸し暑さもあって目がさめてしまいました。項目を改めて続きを書きます。

<2014-07-25 金 08:25> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月25日

<2014-07-25 金 08:27> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

田ノ浦の民家については以前にも触れたことがあると思います。地元暴力団の干渉で、暴走族の仲間内の分裂にもつながりました。時期的にははっきり思い出せないところもあるのですが、ほとぼりがさめた頃に、被告訴人大網周一がチャンスボールに使うようになったのです。

民家は現在、ばらばらになって残骸が残っているようです。小木港に魚釣りに行くのに決まって通る道なので、バイクで走りながら横目で見ることはありますが、立ち止まってまで見たことはありません。

宇出津の周辺というのは海岸線の平地が少なく、標高は高くはないと思いますが山が多いです。山の方は雪が多く、雪の重みで潰れたような木造の廃屋を見ることもありますが、それも屋根が崩れ落ちたとか部分的なもので、部分的に壁や柱は残っていたりします。

田ノ浦の民家の場合はあとかたもなく潰れています。まるで重機で解体作業をしたとしか思えないのですが、廃材はそのままになっているようで、長い草の下に隠れて部分的に見える状態です。雷でも落ちて木っ端微塵に吹き飛んだようにも見えるのですが、自然に朽ちたものなのか不思議には思ってきました。

石川県鳳珠郡能登町宇出津ロ - Google マップ <http://bit.ly/1ukJ3SD>

ポイントとしての情報取得はできなかったのですが、範囲としての情報取得ができたのが上記のGoogleマップです。どうも田ノ浦という住所はないようです。

田ノ浦は昭和60年代か平成に入ってから、住宅も増えたように思いますが、昭和57年当時は家も少なかったように思います。田ノ浦には同級生もいなかったので余り知らないのですが、宇出津の町内ではなく、あばれ祭りにも参加していないと聞いたことがありました。

思えば源平も住所は宇出津山分になると近年になって知りました。源平には同級生が二人いたので遊びに行ったこともあり、祭りを見に行ったこともありました。田ノ浦の祭りというのは聞いたこともないですが、源平の方がずっと宇出津の町からは離れています。

道路は県道35号になるようです。看板は出ているのかもしれませんが、意識したこともなく今日初めて知りました。宇出津から羽根、小浦、真脇、姫、小木に行く、ほとんどが海岸線沿いの道路です。

宇出津からその県道で小木方面に向かうと、初めに右手に海が見えて、すぐ左側にあるのがその民家でした。周辺には家もなく、人の住む他の家まではけっこう離れていたと思いますが、主要道路沿いにあるので、車で通っていると割と目立つ場所でもあったとは思います。

珠洲市に行くのも山沿いの珠洲道路で直行というのが当たり前になり、宇出津の町にもバイパスの道路ができたし、小木港の遠洋漁船も激減したので、交通量も昭和57年当時の方が、多かったことも考えられます。人口が減った割に車の所有率は増えたと考えられ、比較は難しいですが。

チャンスボールに使われていた部屋は厚い記事のカーテンが張ってあったと思います。外に光がもれないようにしていたと思いますが、チャンスボールの部屋自体は電気をつけずに使っていたとも思います。前の廊下の方には人が集まり、十分に顔が識別できる程度の明かりはついていたと思います。

外に光がもれなかったとも考えにくいのですが、ちょうど左に曲がる狭い道のカーブの手前でもあったので、よほどでないと注意して見る人はいなかったとも考えられます。

大ぴらに夜に電気をつけることはなかったと思いますが、被告訴人大網周一からもさほど警戒心や注意を感じることは、今考えても不思議になかったように思います。

当時、宇出津にはK組というヤクザがありました。聞いた話だと私の父親も弟分のようなOさんと二人で、賭博にでかけ、すってんてんになって帰ってくることがあったそうです。そのOさんは平成9年の春頃、金沢でヨコハマタイヤの社長をしていると聞いていましたが、何度か電話で話をしていました。

藤浪の辺田の浜に父親が残した家の処分の話でしたが、私が普通免許を取得した昭和58年の夏ころはまだそこでヨコハマタイヤの仕事を継続し、Oさんはずっと所長のような立場ではなかったかと思われます。

父親は酒飲みで魚釣りも本格的にやっていたと聞きますが、働き者でなくなったときには短期間で借金を返済した上、けっこうまとまった額のお金も残していたと聞いています。

K組ですが、私が宇出津に引っ越してきた小学生の頃から話は聞いていました。娘という小さい子供の姿は見た記憶がありますが、組長に関しては有名人でよく話を耳にしていたものの、それという人を見たことは一度もなく、未だに顔も知りません。ずいぶん前に亡くなっているようには聞いています。

K組長に関しては、輪島の方から来たという話を聞いたこともありましたが、昭和57年頃には半ば隠居状態で、表立った活動はしていないと聞いていましたし、よく魚釣りをしているとも聞いていましたので、それとはしらず見かけていたという可能性はあるかとは思います。

私自身、中学生の頃以降は魚釣りをすることはなく、釣り道具も持っていなかったと思いますが、泳ぎに海に行くことは多かったと思います。

K組はちょっと大きな普通の民家でしたが、遠島山公園の入口にも近い町外れにありました。建物は現在もそのまま残っていると思います。5月頃には近くを通りかかって見ているのでそのままだと思います。空き地があるので普通に見える建物です。

そのあたりは地元で「城山（じょうやま）」と呼ばれてきました。遠島山公園も城山と呼ぶ人が多いのではと思います。そのあたりも現在はいつの間にか住宅が増えていますが、昭和の時代は家も少なかったように思います。

住宅は少なかったと思いますが、遠島山公園の方はまだ人が訪れる観光地のようにもなっていて、夏はかき氷などを売る海の家の売店のような店も、まだやっていたと思います。現在も維持管理はされていますが、観光はごくわずかで、近所の人の散歩ぐらいしか見かけることはありません。

城山というのは高台になっていて、坂を登り切るとすぐに道が二つにわかれています。直進するとそのまま遠島山公園の入り口に突き当たります。

左の方のやや狭い道を行くと、突き当りにはユースホステルがありました。昭和の時代には利用客もいたようですが、ずっと前から営業しているような様子は見たことがありません。建物はそのまま残っています。春に桜の見物と写真撮影に、吊り橋を渡って足を伸ばしました。

能登広域勤労青少年ホーム - Google マップ <http://bit.ly/1nYZn1O>

平成9年の4月か5月ころだったと思いますが、上記の場所にパソコンの無料講座があって、半月ほどの間だったでしょうか、歩いて通ったことがありました。建物の裏側は崖になっていて、その下にあるのが田ノ浦です。航空写真ではちょっとわかりづらいかもしれません。

この時はK組の家の前を歩いて通っていました。講座も終わりに近づいた頃だったと思いますが、ふと目をやるとそのすぐ近くに、「大脇昆布」という看板があって驚きました。

平成2年になるかと思います。金沢市問屋町のトナミ航空、物産展の荷物を積み込んでいたところ、ライトバンだったと思いますが、大脇昆布という名前と宇出津山分と住所の書いてあるダンボールを持ってきました。

宇出津で昆布というのも見たことも聞いたこともなかったので、意外だったのですが、大脇というのも聞いたことのない名前でした。あるいは、宇出津大棚木と書いてあったかもしれません。

昆布ということで海の側や天日干しを想像したのかと思いますが、棚木の海岸でそれらしい会社や昆布を干す姿は見たことがありませんでした。小さい頃は辺田の浜で天草を干す姿は見かけていましたが、それも宇出津では見かけることがなかったと思います。

宇出津に昆布というのも宇出津の町に生まれ育った私にすれば意外な組み合わせだったのですが、車を運転して荷物を持ってきていたのが、宇出津のKという人物でした。漢字一文字の苗字で、読みはひらがな二文字になります。

今しがた、家にある2012年版の能登町の電話帳で調べてみたのですが、意外なことに能登町全体では19件の登録がありました。小木や松波、鵜川にまであって能登町全域にある名前のようです。

宇出津では2件、崎山に1件ありました。崎山は住所が能登町崎山になっていはいますが、宇出津の町内のようなものであばれ祭りにも参加しています。一丁目から四丁目まであるようです。昔は崎山台地とも呼ばれていましたが、城山とは向き合う感じで港というか宇出津湾を挟む高台です。

そのKさんですが、宇出津のK村さんと姫のNKさんが、2トン車の持ち込みで金沢市場輸送で市内配達の仕事を始めた頃に、一緒に同じような市内配達をやっていました。宇出津の人であることとKという名前は、被告訴人大網健二から聞いたのだと思います。

角田ストアーというのは宇出津の中心部に昔からあっておなじみなのですが、Kという名前を聞いたのは初めてだったので、よけいに強く印象に残りました。

被告訴人大網健二から聞いた話か、私の想像力が先走ったのか、今では自身を持ってはっきりできませんが、宇出津の角田ストアーのあたりから宇出津小学校の前辺りの人と聞いたように憶えています。

宇出津の小学校の前辺りの地域というのは、総称的に「田町（たまち）」と読んでいました。最近になって人から聞いたのですが、田町という町内はなく、「上田町（かみたまち）と横町（横町）」のことをまとめて田町と呼んでいる、とか。

現在は人の数も減り、車でどこにでもいけるので、特色も薄くなっていると思いますが、昭和の時代の頃の宇出津は、昔ほど町内や地区ごとの特色が、人の生活様式や性格にも及んで、色濃い特色を属性のようにしていましたが、実体験の積み重ねによる共通認識のようなもので、一般にはわかりにくいかと。

おおざっぱにわけると、マチ、新町、新村、棚木という区分もありました。春の曳き山祭りもそれぞれに1台ずつ4台出ていましたが、現在は思い出せないぐらいの前からマチと棚木の2台だけになっています。

マチと棚木は、あばれ祭りでぶち壊しをする酒垂神社と白山神社の神輿にも対応しています。マチは崎山台地の下から坂に家のある地区ですが、魚市場の辺りの天保島という町内から警察署のあるあたりの桜町まで、たしか９つの町内になっているかと思います。

漁師の多い地区でもありましたが、現在は往時の面影も感じられません。外にいる人の姿を見ることも少ないです。このマチの９つの町内のキリコは、あばれ祭りで順番の先頭の特別枠になるという決まりも昔からあるようです。

他の町内だと、その町内のキリコを探すのも大変というか、知っている人に順番を聞くか、一つずつ探しまわるしかありませんが、マチだと先頭から9番以内ということでかなり探しやすくなります。

これも最近になって人から聞いた話ですが、宇出津は36の町内がキリコを出しているとのことで、今年は横町が人手不足で出さず、35の町内だったと聞きました。キリコは大きい町内だと大中小と3台出す町内もありましたが、数も減ってきているそうです。

キリコには江戸時代の時代劇に出てくる御用のような提灯があって、そこに町内名が書いてあることもあるのですが、別の言葉が書いてあることもあって、私がみても町内のわからないキリコもありました。

大脇昆布は、たまに角田ストアーで展示即売をやっているのを見かけますが、昆布を作っているのではなく、削って加工をしているようです。ネット上の情報だと代表者の名前も大脇になっていました。全国の物産展で販売をしているとも書いてありました。

昨夜は、金沢市尾張町の被告訴人大網健二の金沢高校での同級生のことを書きましたが、その同級生の家というのは設備会社だと聞いていました。3,4ヶ月ほど前になるでしょうか、インターネットで検索したところ、現在は社長になっているらしいということもわかりました。

設備会社という呼び方には配管設備を含むことが多いようです。スプリンクラーの設置とか防災関係の仕事もあるようですが、水の浄化設備とかもあるので、手がける業務の内容というのも幅広さはあると思います。

人によって配管屋と呼んだり、設備屋と呼んだり、あるいは水道屋とも呼ぶかと思いますが、仕事の内容が多岐に渡ることも、私が実際に経験して感じたことでした。

金沢の西インターの近く、たぶん住所は新保になるかと思いますが、そこに作業場兼事務所をかまえるKさんについては、既に書いている部分があると思います。平成4年の2月か3月頃に、被告訴人KYNのマンションで顔は合わせていた人のことです。

見た感じは若くも見える人でしたがKさんは私達よりけっこう年上と聞いていたようにも思います。私より一つか二つ年下と聞いていた珠洲市蛸島の青年と二人で配管の仕事をやっていました。青年と書きましたが、当時はまだ20代の終わり頃と聞いていたような気もします。

被告訴人KYNのところで配管の仕事を初めて2,3日後には、そのKさんの現場である能美郡辰口町の北陸先端科学技術大学院大学の地下ピットで、応援での配管の仕事をしていたことも、既に書いていると思います。

いつ頃かは思い出せませんが、一度、夕方遅い時間にKさんの作業場に、尾張町のY君が来ていました。被告訴人大網健二の同級生であることを含め、私が当然に知っているように被告訴人KYNは話していたこともありましたが、私は言葉を交わすことも、目を合わせることもなかったと記憶にしています。

被告訴人KYNからも、被告訴人大網健二と今でも親交が続いているような話は聞きませんでしたし、私も尋ねることはなかったので、話題として触れることも少なかったと思います。

被告訴人KYNの仕事の取引相手や関係先については、大量の名刺をあずかって自宅に持ち帰り、パソコンにデータ入力をしていたので、Y君と付き合いがあるらしいことは、わかってもいました。データは年賀状にも利用していたと思いますが、長い間名刺をあずかっていました。

Y君と書いたのは被告訴人大網健二が、その全国的にもよくある名前に、なぜか君をつけて呼ぶことが多かったからです。他に君付けで誰かの名前を呼ぶことはなかったと思いますが、その金沢高校時代の友人に関しては君付けで呼んでいました。

データ入力のためたくさんの名刺をあずかったのは、年賀状を出す正月前より、かなり前だったと思うので、被告訴人KYNのところで仕事をはじめてすぐのことであったと思います。平成9年の11月になっていたことは憶えていますが、11月のいつ頃であったかは、現在、よくは思い出せません。

11月26日の私の誕生日の夜、アンカーインに私を呼び出したことは既に書いていると思います。その一週間から10日、あるいは半月前と思われるので、11月の中頃か、10日頃になるのではとも思われます。

アンカーインに関しては、Googleのストリートビューで、建物を見つけ、それをスクリーンショットにしましたが、まだ、本書では取り上げていないと思います。店が営業をしている状況には見えなかったですが、夜に行くことがほとんどだったので、昼の姿を見ると少し違ったような印象もありました。

当時の私は、宅地建物取引主任者の資格取得の勉強もしていました。10月ではなかったかと思いますが、実際に試験に行ったこともありました。金沢工業大学が試験会場でした。住所は石川郡野々市町かと思われます。現在は野々市市になっています。能美郡も能美市になっているかと思います。

試験に行く前に、被告訴人大網健二と電話で話していましたが、彼は試験の申し込みをしているけど、試験には行かないと話していました。不動産の仕事をしているので試験で有利になる条件も持っていると話していましたが、まるで行く気がないという話しぶりでした。

既に合格して資格を持っていれば、当然に試験を受ける必要もないことですが、ちょうどその年は法律が変更になって、宅地建物取引主任者の資格者がいなければ、契約の締結ができないということにもなっていたと記憶しています。

話を聞いても私は半信半疑で、本当は既に資格を持っているのではとも考えていました。試験自体もそれほど難しいものとは思えず、不動産の仕事をしていれば自然に覚えることも多く、また、わからなことは教えてもらいやすい環境にもいると考えたからです。

被告訴人大網健二は合格していない、資格を持っていないと話していましたが、それを確認することもできませんでした。彼は遅くても平成2年には不動産の仕事を始め、8年から9年程度の経験は積んでいたはずなのです。

たしか試験自体の合格率は高くなかったと思いますが、資格マニアのような素人が、とりあえずで資格の取得を目指す例も多かったと思いますし、未経験とは大きな開きのある職種だとも思えました。

既に何回か書いていることと思いますが、笹田がS藤を連れて金沢港のイワシの現場にやってきた。その平成1年12月を基準に、その数カ月前には本陣不動産株式会社で、不動産の仕事を始めていたという記憶を前提にした計算であります。

不動産の仕事としては、接待の送迎待ちでタクシーの運転手のようなことをやらされているとか、愚痴も多く、腰の定まっていない時期でもあったとは思いますが、本当は中古車売買の仕事がしたいのかとも、傍目から見えていた時期でもあったと思います。

実際に被告訴人大網健二は、中古車売買の仕事を不動産の営業の仕事をしながら手がけ、それで笹田とトラブルになりました。どことなく腑に落ちない変な話で、過剰な演技にも思えることがありましたが、目的からは理解することができませんでした。

中古車売買の売買に関しては、被告訴人安田繁克との間にも関係があったと聞いています。もっともその時点で私は被告訴人安田繁克の顔を知っていたものの、名前は全く知りませんでした。

本来はイワシの運搬の松浦さんの愛人の息子だったのですが、私は取り違えて堂野さんの愛人の息子だと長い間勘違いしていたような記憶もあります。

誰からどういうかたちで聞いていたのかはっきり思い出せない部分もあるのですが、市場急配センターというか市内配達の若い運転手に、BMWを紹介したような話を聞いていました。背の高い若い運転手というのが、キーワードになっていたようにも思います。

実際に私は、金沢市場輸送の駐車場でそれらしいBMWを見たことがありました。スポーツタイプのようなBMWです。私が小学校の5,6年生の頃なので昭和50年頃になるかと思いますが、おもちゃ屋にプラモデルとして置いてあったような古い型のBMWです。

ネットで調べればそれらしい写真を見つけることはできると思いますが、平成2年ころの当時でもほとんど見かけることのない、古い車になっていました。

私はその車を、大型トラックの運転手の窓越しに見たような記憶があります。午前中という記憶もあるので、鮮魚の青森定期便でも積んでいたのかもしれません。急いでいたので、近くで車を見る余裕もなかったですが、遠目にみてもBMWの状態はかなり悪そうなポンコツに思えました。

サーキットの狼 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%82%AD%E3%83%83%E3%83%88%E3%81%AE%E7%8B%BC>

上記の漫画の中で出てくるような型のBMWでした。1975年（昭和50年）から1979年（昭和54年）にかけて「週刊少年ジャンプ」（集英社）に連載、とあります。

状態が良ければ相当な高値がついたと思いますが、壊れて動かなくなるのが時間の問題のスクラップにも見えました。そのBMWを金沢市場輸送の駐車場で見たのは1回かあるいは2回なので、売買は成立しなかった可能性が高いと思われますが、被告訴人大網健二にどうなったのかと尋ねることはなかったと。

私が被告訴人大網健二に被害者AAさんとの交際について相談をしたのは、平成3年の12月に入ってからだと思います。21日にネックレスのプレゼントを買って渡そうとして、一週間から2週間ほど前ではなかったかと思います。

どちらが先立ったかは現在はっきりと思い出せないですが、被告訴人安田敏と被告訴人大網健二のどちらかにクリスマスにプレゼントを贈ってみればどうかと提案というかアドバイスを受け、どちらにもそれがよいと割と心よい返事をもらったことはよく憶えています。

その後も何度か、被告訴人大網健二には被害者AAさんのことで相談をしましたが、一度、牙を向いたような罵り調で、「あの時、あの男と車の事で喫茶店で会った時、あの男が一緒に連れていた女か」と吐き捨てるように言ったことがありました。

残念なことに具体的な言葉が思い出せないのですが、「あの男」とは言っていなかったにせよ、被告訴人安田繁克意外にはあり得ないような口ぶりでした。それは間髪をおかない反応でもあったと思います。

似たようなことは前妻との間にもありました。まだ正式には付き合っていないが、というような前置きで被害者AAさんとの関係を話した時のことです。電話での話だったと思うのですが、平成3年11月前半の可能性が高いと思います。

前妻は「あのチャラチャラした女やろ。ソバージュ掛けた。茶色い髪の女。」と憤慨したような口調で、即座に反応しました。

私は被害者AAさんが、パーマをかけたのも髪を染めたのも一度も見たことがなかったのですが、一時的にそういうこともあって、金沢市場輸送に給料袋を取りに来た時に姿を見たのかと、ちょっとだけ考えたのですが、そんな短期間に直毛に戻したり、髪を黒に染め直すはずはないと頭の中で否定しました。

ソバージュ - Google 検索 <http://bit.ly/1keMbuY>

確認を兼ねて調べてみたのですが、ソバージュと言ってもいろいろなタイプがあるようです。平成の初期の私の世間的イメージでは、相当にチリチリのインスタント焼きそばの麺のような髪型というイメージがありました。

今考え直してみると、前妻は谷口さんと勘違いしていたのかもしれません。谷口さんのことは、これまでにも少しは書いたことがあるかもしれませんが、出していても匿名にしていると思います。

別にかなり重要な事実に関わる人なので、公益性とのバランスも考えて、あえて実名記載に切り替えます。

谷口さんは女性事務員でした。いつ頃から会社にいたのかはっきりとは思い出せないですが、被害者AAさんの姿を金沢市場輸送で見るようになる、かなり前からはいたように思います。ただ、西念町に事務所があった頃には、姿はなかったように思います。

歳のことは聞いていなかったと思いますが、自分よりはけっこう年上だとは思っていました。私が25歳ぐらいの時のことです。二十代の終わりから三十代前半といったところでしょうか。推定ですが。年配という話も聞いたことはなかったと思います。

暇を持て余している時に、何度か話をしたことがありました。当時は女性として余り意識もしなかったですが、後になって思うと、豊満で色っぽいところもあったかな、という気もします。独身じゃないような話は少し耳にしていたと思いますが、家族の話などを耳にすることもありませんでした。

話をすると、被告訴人竹沢俊寿会長の夫人について、息が詰まるとか愚痴のようなことをこぼしていたことを憶えています。けっこう日頃の不満を溜めこんでいるようにも見えました。経理とか事務に関しては厳しいところもあったようです。

夫人は運転手に対して睨みをきかせるようなことはなかったですが、ことお金の問題に関しては被告訴人竹沢俊寿を尻に敷いて抑えこむ性格とも聞いていたので、そういう一面が出ていたのかもしれません。

私から見れば、西念町の事務所にいた頃の夫人というのは、無口で無愛想。事務所にいるときは机に向かって仕事をするだけで、無表情でもあったと思います。常になみならぬ不満を抱えているような感じにも見えていました。経営がそれだけ危機的状態とも聞くことはありましたが、暗かったです。

事務所が二口町に移ると、事務所も広く明るい日差しが全体的に入るようになりましたが、夫人も別人のように明るく穏やかな顔を見せるようになりました。移転してからは夜の片町での飲み屋の仕事もやめて事務に専念するようになったと聞き、常時事務所にいるようになっていました。

時刻は7月26日10時17分になっています。昨夜は久しぶりにテレビをつけたまま朝まで寝ていました。夜中に目が覚めたのですが、テレビを消さないうちにまた寝てしまいました。天気が良いです。気温がかなり上がると昨日予報が出ていました。

今日は一つ気になっったツイートをご紹介してから項目を新しくして続きを書きたいと思います。

深澤諭史 (fukazawas)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/fukazawas>

2014-07-26-101617深澤諭史　（fukazawas）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/vVbQIP8rUJ

リツイートしているだけでブロックされた実名の弁護士ツイッターアカウントです。トップにツイートを固定していますが、共著で出版した本の紹介をしているようです。

また，ネット上でまことしやかに流れる「神話」「デマ」についても徹底解説しています。　←　とも書いていますが、やたらと改行を入れています。Twilogでも初めの改行以下は全部切り捨てになる仕様なのですが、仕様上、運用の場面によっては他にも支障が出そうです。

フォロワーが974件ということに先ほど初めて気がついたのですが、自著まで紹介していてフォロワーが千に満たないとは、社会的にどんな評価を受けたのかと考えてしまいました。弁護士のアカウント全体にも通じる傾向ではありますので、参考にご紹介しました。

<2014-07-26 土 10:34> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月26日

<2014-07-26 土 10:40> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日は、被告訴人竹沢俊寿の夫人について書いているところで中断したようです。続きを書く前に、ここ数日のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを記事にしたものを紹介しておきたいと思います。百聞は一見に如かず、という意味でも是非と思いました。

どうも十分に記事を作成していなかったと気がついたのですが、改めてモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを見ると、ここ一時間ほどで、さらに注目の展開になっていました。弁護士としての仕事を増やしたいのかと勘ぐりたくもなるのですが、巻き込み型の手法も窺えます。

世の中には、頭のいい人と悪い人がいるな、と感じる今日この頃でありますが、 それは学校の成績とかではなくて、想像力の問題だと思う／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4.html>

はどうして自分の子供の写真を公開しているのだろう？理解に苦しむ／矢部善朗 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_87.html>

ヤメ検だからと言って無罪をとれるわけではない。いわゆる大物だったとして も。要は、証拠の強弱。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_70.html>

法的責任を追及されないようにして他人を批判している竹野内氏は、明らかに匿 名アカウントですね。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_27.html>

暴力団は怖いと言われるが、弁護士の仕事との関係では、暴力団幹部の人達はそ れほど怖くない。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_52.html>

このツイートから分かることは、竹野内氏が自分の住所を知られるのをとても恐 れていること。つまり、自分の弱点を晒していること／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_99.html>

本当の危険は、自分にメンションを飛ばしてくる人とは別の場所にいるのに な。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_89.html>

なかなか興味深い論理ですね。自分の行為を正当化するためなら子供に危険が生 じてもかまわないんですかね？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_80.html>

は海水浴を強制力のある法規制でやめさせるべきだと言うのだろうか？けっこう 人が死んでるんだけど。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_26.html>

自己批判というものを全くできない人が何人も目に付くツイッターワールド。ツ イッターの可視化力ってすごいな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_54.html>

相変わらず、小倉先生以外には誰も言いそうにないツイートだな。／矢部善朗弁 護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_64.html>

相手が変なことを言っているかのように印象づけようとすると、自分が変なこと を言ってしまう、という典型だな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_69.html>

というか、何かというと法律で強制するという考え方が愚策なんですよ。強制と いうのはペナルティを課すことですよ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_40.html>

というか、何かというと法律で強制するという考え方が愚策なんですよ。強制と いうのはペナルティを課すことですよ。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_41.html>

警察が捜査することにはならないな。事件性がないもん。被害届も受理されてな いようだし。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_79.html>

応対した警察官によりけりでしょう。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_93.html>

万一、誰かが捜査対象になるとしたら、直ちにカウンター告訴がありそうで す。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_94.html>

が警察に持ち込んだツイートのプリントアウトの中には、私のツイートも入って るのかな？ 捜査対象にしてくれると、ちょっと面白いw／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/w_26.html>

今回はHootSuiteのアドオンを使って、廣野秀樹（@hironohideki）、告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）、告発／告訴金沢地方検察庁御中 - Google+、に同時投稿しました。

告発／告訴金沢地方検察庁御中 - Google+ <https://plus.google.com/u/0/b/100408804474159646499/100408804474159646499/posts>

上記Googleページは、Googleのサービスだけあって、検索機能が強力という感じです。検索の活用に役立つこともあると思いますし、3列のタイムラインになるので、より広く情報を見渡しやすいかもしれません。

時刻は2014年7月27日13時50分です。11時ころからテレビで次の番組を見ています。

武器はテレビ。SMAP×FNS27時間テレビ - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] ow.ly/zCF1G

もともとトーク番組というのは好きではなく余りみないのですが、番組の企画自体に関心も憶えたので、つけてみています。項目を新しくして昨日の続きを書きます。

<2014-07-27 日 13:55> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月27日

<2014-07-27 日 13:56> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日は16前に母親のいる病院から電話があって、兵庫県のおじさんから荷物が届いているので取りに来るように連絡を受けました。同じ方向で時間的にも間に合いそうだったので、先に曽々木海岸の千体地蔵を見に行くことにし、バイクで出発しました。

話には聞いていたのですが、曽々木海岸の山を登ったのは初めてのことでした。神秘的というかそういう雰囲気は前から感じていましたが、霊山と書いてあったのでなるほどと思いました。

2,3ヶ月前になるかと思いますが、近いうちに千体地蔵には行きたいと決めていました。途中、柳田村でも写真を撮影しました。町野に向かって坂の左側に店があって、そこで母親の立ち話に付き合わされイライラしていたことなど幼い記憶にあるのですが、湯治場のような温泉に行った時のことです。

千体地蔵の近くには岩倉寺という寺があると聞いていたのですが、千体地蔵の戻りに寄ってみたところ、ずいぶんと古い建物で驚きました。高野山真言宗とも札に書いてありました。

それも幼い頃の記憶なのですが、母親が高野山に行くと何度も繰り返して言っていた時期があったのですが、一緒に高野山に行ったような記憶があるものの、ぼんやりとしていて夢の中のことであったような感覚として残っています。

夢の中の夢といえば、「胡蝶の夢」という言葉を思い出しました。

平成3年の11月から平成4年の2月頃に掛けて、けっこうな回数、和歌山県のかつらぎ農協にミカンを積みに行っていたのですが、大阪方面からかつらぎ町に行く手前に、高野山の案内板とかが道路に多く出ていて、その時も幼い頃の記憶を思い出していました。

高野山で撮った写真のようなものは残っていませんが、母親の高野山に行くという意気込みのようなものは強く印象に残っています。母親の意識がしっかりしているうちに、高野山に行ったのか、それはいつ頃だったのかと聞いておけばよかったと思います。

撮影した写真は今回もPicasaウェブアルバムに新規アルバムとしてアップロードしました。土曜日でしたが、他の人に会うこともなく、事実上の貸切状態でした。かなり暑くて予想以上に道も険しく、気温がもっと高く体調が悪ければ、熱中症で危険なことになったかもしれないと思いました。

2014-07-26／白雉山岩倉寺・千体地蔵・曽々木海岸 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/20140726>

ずいぶん前のことなので、時期もはっきり思い出せないのですが、母親は輪島の「ねぶた温泉」で中居の仕事をする前、曽々木で中居の仕事をしていると話していたことがあったと思います。ちょうど孫の顔を見ていた時期、孫に会うのを楽しみにしていた時期とも重なりそうに思います。

私の母親は、私が小学校の六年生のときであったと思いますが、心臓発作を起こして死にかけたことがありました。それは織物工場の一泊旅行で、石川県加賀市の片山津温泉に行った時のことでした。

片山津温泉に行く前の日中には、小松市で地獄の洞窟のようなところを見物しました。怖い人形が洞窟の地下のようなところに展示されていましたが、地上に戻ると、お釈迦様が寝そべっている大きな像があったのも印象にのこっています。

「はにべ岩窟院」というような名前であったと思います。数年前に一度、思い出してネットで検索をした憶えがあるのですが、その時は情報や写真が出ていたと思います。石川県に住んでいても聞いたことがないですが、今でも残っているのではと思います。

ハニベ巌窟院 <http://www.hanibe.com/>

検索を掛けたところ、Googleのサジェスト機能で、やはりと思われる情報が目につきました。いつ頃の事件だったか思い出せなかったですが、2004年11月という情報を見つけました。

ハニベ巌窟院その5 <http://www5f.biglobe.ne.jp/~punch-ht/chinsp/c023005.html> 二代目院主が除霊と称して、水子供養に来た女性に猥褻行為をしたとして、強制猥褻の疑いで逮捕されてしまいました。

異様なオブジェが陳列されていたとのことですが、それは初めて知りました。行ったのは昭和51年と思われる一度だけでしたが、その時とは変貌もあるようです。小松の水子の寺院の住職が逮捕という記憶でしたが、ハニベ岩窟院とははっきりと記憶していませんでした。

そういえば国道8号線沿いで加賀市と小松市の境の辺りにも、かなり大きな施設で「珍宝館」のようなものがあったことを思い出しました。わいせつ物を陳列するようなテーマパークでしたが、長距離トラックの仕事をしていたので、県外でも似たような施設は目にしていました。

他にどこを回ったのかも記憶にないですが、片山津温泉のホテルで、宴会の後に母親が倒れたと聞かされました。ちょうどエレベーターの中でその話を聞いたような場面が記憶に残っています。

私が子供の頃、加賀温泉などのCMが多かったのですが、大きなビルの旅館というのは、たいていホテルという言葉が名前に含まれていたように思います。ホテルという言葉自体、最近は見かけなくなっているような気もしますが、旅館というと民宿に近いイメージもあります。

母親は加賀市大聖寺の病院に運ばれました。当時の宇出津の持木病院とよく似た感じの病院でした。個人名の病院だったと思います。今、ネットで大聖寺周辺の病院を調べたのですが、それらしい記憶にある病院名はなかったです。

その大聖寺の病院には昭和58年の秋に、被告訴人安田敏と一緒に行ったことがあり、その頃やっていた消火器売りの先輩の付き合いで行った時だったと思います。建物は昭和51年当時と変わらず、この病院だったのかと思いだしました。

母親が特に入院していたという記憶もないのですが、家に帰ってずっと布団で寝ていて、度々心臓発作を起こしては苦しんでいました。助からないのでは、長くはないのではと思っていたことを憶えています。

そのうち心臓発作もまったく起こらなくなり快癒したのですが、人づてに聞いた。川尻のお寺でお祓いを受けたおかげだと人に話していました。私自身、その川尻の寺には一度行った記憶があります。丘の上にある古くて小さな寺でした。

川尻の寺には続けて行くようなことはなかったと思いますが、母親の信心深さが確信的に強固になる出来事だったと思います。それ以降、中学生になると母親と一緒にどこかへ行ったり、行動することもほとんどなかったと思います。

川尻というのは当時の珠洲郡内浦町で、たぶん蛸島線の鉄道では、松波駅の一つ手前だったと思われます。小木経由で松波に行く時には通りますが、駅があった場所も今はわからないというか、考えたこともなかったです。

宇出津では見たこともないような古くて簡素な寺で、荒寺という印象が強く残っています。若くて真面目そうな住職だったという印象も残っていますが、その寺の話を聞くことも後にはなかったように思います。

寺というよりは、神社という感じの建物でした。たしか寺だと聞いていて、住職もお坊さんの姿をしていたので寺だったのだとは思いますが、田舎の村によくあるような小さい神社という印象が残っています。小高い丘の上という風景とともに。

昨日まとめて掲載し、紹介したモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートに説明を移りますが、あらためてひときわ目をひいた言葉が、「想像力」でした。彼は好んでこの言葉をよく使っていると思います。

情報量も多すぎるので、インターネット上の情報をパソコンの画面として動画キャプチャし、それをYouTubeにアップロードしているところです。まもなく完了すると思います。

▶ ツイッター高度な検索　モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）　キーワード「想像力」＿2014年07月27日16時25分47秒.mp4 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=E-yFqTA09Mo&feature=youtu.be>

たぶん初めてのキーワードでの検索で、結果を眺めながら動画として録画していましたが、キーボードでの画面のスクロールができず、戸惑った場面もありました。アドオンで特別なキーバインドをやっているので、それが裏目に出たのかもしれません。

結果を眺めながらでしたが、特に目を引くツイートが2件あったので、それをブログの記事としてAPIで投稿する状況も、同じように録画しました。次の二つの記事になります。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 知識も想像力も乏しい人が知ったかぶりをするのは、悲劇を通り越して滑稽です らある。でもそういう人が社会的影響力を持つと、笑って済ますことができない 悲劇／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_91.html>

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 想像力が欠落した人が多いと、現実的冤罪被害者と将来的犯罪被害者を天秤にか けた場合、／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_44.html>

2つともAPIを使わずにHootSuiteから投稿しましたが、１つめはタイトルが長すぎて8文字超過になったので、先頭の一部分を削りました。

他にもいろいろあると思いますが、いちいち取り上げてあれこれ言っていてもきりがありません。ロースクールの教員をしていたというのも事実らしいので、人に教える立場、導く立場であったことも事実でしょう。

ありがたいことにわかりやすくTwitterのプロフィールに「H２５．３までLSの教員もしてました。」と書いてあります。2013年の3月となりそうなので、先の二つのツイートはその教員時代のツイートということにもなりそうです。

私もその想像力で、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のこれまでの私に対する対応や発言が、不利益であったり悪い影響を受けかねないと考え、再考を促す意味も含めて、何度かメンションを送ったのですが、あくまで自分の都合でしか想像力を働かせるつもりはないようです。

これは立場的に、被告訴人KYNともよく似た立ち位置でもないかと思っています。そういうことで同じ項目のタイトル名に並べて書いてきました。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の場合は、インターネット上の関係のみです。

3,4日前になるでしょうか。探していた被告訴人KYNとの会話の録音ファイルを見つけました。やはりファイル名には録音の日時が含まれていました。本名を含めたファイル名になっているので、そのままここで紹介はしませんが、パソコンではなくネット上のサービスに保存したデータです。

それによると最後の会話となった被告訴人KYNの事務所での会話は、2003年1月11日のことで、３つの音声ファイルとして保存し、それぞれ15時台、16時台、17時台になっていました。最後の17時台のものは17時15分20秒と思われる数値の並びのファイル名になっていました。

保存時に日付や日時を自動でファイル名に含めるのは割とあることだと思いますが、やはり録音の開始時刻ではなく、終了した後の保存の時間と考えられます。1月の11日で、当日はどんよりした空模様だったという記憶もあるので、薄暗いかすっかり暗くなった時間だったとも思えます。

このデータというかファイルを発見するまでは、1月の10日頃ということを思い出してはいたものの、2003年の平成15年ではなく、2004年の平成16年のことではと考えていました。

野々市の100満ボルトでボイスレコーダーを買ったあとに、試しの録画をしたことは平成14年12月の20日頃のこととして記憶していました。これは派遣の仕事を初めてまだ日が浅い頃だと思っていたので、割と自信のある記憶でした。

その時のファイルだけなぜか時刻が含まれておらず。12月22日としかわからないのですが、そのWMAファイルをダウンロードして、視聴してみました。4分3秒という情報はプロパティからわかりましたが、Exif情報のような録音日時の情報は保持していないようです。

視聴してわかったことですが、初めに訪問した玄関先での会話の録音になっていました。穏やかで比較的歓迎ムードだったことを再確認しましたが、この時のものは思ったほど録音状態が良くなく、相手の声が小さくなっています。室内や車内とは違うことが影響しているのかもしれません。

昼ごはんの時間での訪問で、出直すと私が言っているのですが、出なおした訪問で家に上がって話をした時も、被告訴人KYNの妻の姿は見なかったようにも思います。たぶん外で食事を済ませてから出直したのだと思いますが、どこで食事を済ませたのかも記憶にはありません。

真脇温泉にいるという被告訴人KYNに電話を掛けて話をしたのは1月1日のことになっていました。（真脇）とファイル名に書いてありますが、16時10分56秒という時刻と思われる記述も含まれています。

被告訴人KYNが正月休みで帰省していた時、ということがわかりましたが、連絡をしたものの会ったという記憶もありません。その連絡の時点で私は、直接被告訴人KYNにあって、踏み込んだ話をするつもりでいたのだと思いますし、それが実現したのが1月11日ということになりそうです。

端末で文字ベースのカレンダーを表示するcalコマンドで確認したところ、% cal 1 2003というコマンドの実行結果では、2003年1月11日は土曜日になっていました。

当時の私の派遣の仕事は4日出て2日休みのローテーションだったので休みに曜日は無関係だったのですが、私が被告訴人KYNのところで仕事をしていた頃は、土曜日は常に仕事で、休みは日曜日だけだったと思います。正月明けでもあったので休みにしていたのかもしれません。

データはインターネット上にあるいわゆるクラウドサービスですが、そのままでは再生ができない様子で、ダウンロードする必要があるようです。再生して視聴すれば新たに思い出すこともあるかとは思いますが、他に済ませておきたいこともあるので、当面は保留ということにしたいと思います。

先に一つだけ言っておくと、その時の会見で最も意外に思ったのは、被告訴人KYNの口から姫のNKさんのことが出たことです。以前から付き合いがあるような話しぶりでもあったと思うのですが、その辺りはしっかり確認をしておきたいと思います。別れ際に近い時間に出た話とも記憶にあります。

時刻は7月29日7時11分です。昨日はまる一日お休みになったかと思います。気になることがあって結局手を付けることができませんでした。長崎県佐世保市での女子生徒殺害事件のことです。項目を新しくして続きを書いていきます。

<2014-07-29 火 07:13> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月29日

<2014-07-29 火 07:15> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

まずは今朝はじめに気になった話題です。江川紹子さんに関しては今後優先的に取り上げ書く予定でした。昨夜、Twitterで江川紹子さんがリツイートしていたもので知ることになった情報です。

津田大介 日本にプラス｜報道｜テレ朝チャンネル <http://www.tv-asahi.co.jp/ch/contents/news/0004/>

#34「シリーズ“取り調べの全面可視化”(3) 刑事司法改革の現在地を点検する」ゲスト：木谷明弁護士（元東京高裁裁判長）／江川紹子ジャーナリスト

北陸中日新聞のテレビ欄まで確認したのですが、ページをよく見るとCS放送とかで、通常のテレビ放送とは異なるようでした。有料放送なのかなと思いますが、関心もないのではっきりしたことはわかりません。どのぐらいの視聴者がいるのかも含めて。

わからないものをわからいまま済ませるのもなんだと思ったので調べたところ、CS放送とは、衛星放送やスカパーのことらしいです。どちらも聞いたことのあるものですが、縁もありません。視聴には機材も必要なようです。

CS放送って何？ケーブルテレビで見られるの - その他(テレビ番組) - 教えて！goo <http://oshiete.goo.ne.jp/qa/2535255.html> ←　こちらに目を通しました。

昨夜も1時過ぎまで起きていましたが、6時過ぎに目がさめてテレビを見ていました。気になる事件の報道をみるためですが、自分のテレビには同時に複数のチャンネルを表示させる機能がないようなので、いちいちチャンネルを切り替えて内容を確認する必要があります。

視聴できるテレビは、NHK、NHKEテレ、石川テレビ、MROテレビ、テレビ金沢、HABです。MROは北陸放送ともいうはずで、HABは北陸朝日放送のことです。Eテレというのは以前のNHK教育テレビのことだと思いますが、ほとんど見ることはありません。

民放で４つのチャンネルということになるかと思います。ちなみに福井刑務所にいたときは福井市内でしたが、民放は３つか、あるいは２つだったように思います。能登より少ないとは感じていました。

今見ているのはMROテレビの「あさチャン！」という番組です。本当のことですが今日初めて知った番組名です。本来この時間は日テレ系のテレビ金沢で「ZIP!]という情報番組を見ることが多かったです。余り考えずにチャンネルを合わせていましたが、番組も雰囲気もいいとは思っていました。

現在私が注目をしている報道、事件は長崎県佐世保市での女子生徒殺害事件です。

「凶器は自分で買った」佐世保女子高生殺害 | NNNニュース <http://www.news24.jp/nnn/news89084802.html>

上記が現時点での最新の報道のようです。日テレNEWS24とあります。この事件の報道で気になることですが、日テレだけ会見をする校長の顔を写さないようにしていました。上記の記事もそうですが、事件の外観をなぞっただけの報道とも思えるものです。

【佐世保・高１女子殺害】「誰もがうらやむ」名士一家、母の死後、少女の生活激変　「頭よすぎ変わってる」＋（2/2ページ） - MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140728/crm14072812460007-n2.htm>

時刻は11時25分になっています。主にテレビで佐世保の同級生殺害事件の報道を見ていましたが、加害者の父親の職業については出ていません。8時からはモーニングバードというテレビ朝日系の情報番組をみていました。

月曜日から土曜日までは8時から8時15分までNHK連続小説ドラマ「花子とアン」を毎回録画にしているので、それが終わってから日テレ系の「スッキリ！！」を録画しました。トップとして取り上げていないことは、8時直後に確認していました。

10時30分からはテレビ朝日系の「ワイド！スクランブル」という番組を見ていましたが、11時過ぎまで取り上げていたように思います。いずれも加害者の父親の職業については触れていませんでした。この一点が一番の関心事でもあります。

インターネット上では、事件の報道後早い段階で、加害者の父親が弁護士だと出ていましたし、長崎で一番大きな法律事務所という情報もありました。

当初は加害者被害者ともに父親が弁護士という情報も出ていたのですが、そのあと被害者の家族の職業に関する情報を全くみていなかったので、名前が同じ佐世保の弁護士のホームページを探して見たところ、娘はいないということや完全な誤解であることがブログの記事として掲載されていました。

猟奇的な殺人事件であるとともに加害生徒の家庭環境を含め、特異な事件、大きな社会問題として取り上げられています。ところが、弁護士の反応というのは鈍いようです。テレビの報道だけを見ていれば、同業者の家庭の事件とは気が付かないかもしれませんが。

その辺りも含めて、パソコンの画面を動画として記録にしましたが、光市母子殺害事件との関連、比較という辺りも私は意識しており、とても有意義な記録資料と考えています。一時停止をしながらご覧いただくことをおすすめします。

▶ 長崎・佐世保同級生殺害事件の報道と刑事司法に携わるジャーナリストと弁護士のツイッターでの反応の記録＿2014年07月29日09時42分27秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=uv_xzHDhI7c&feature=youtu.be> 再生回数3回

2014-07-29-120409再生回数　3　回.jpg pic.twitter.com/4XNnsRQV2I ←　ツイッターで紹介していたのですが、再生回数が3回ということで、そういう状況もスクリーンショットとして記録しました。

マスコミまたはジャーナリストと弁護士の関係というのも、私がかねて重視してきた問題の一つですが、弁護士が与える子供や家族への影響というのも、ずっと考えてきたテーマでした。それは光市母子殺害事件に対する弁護士の取り組みと、反応が大きいところであったと思います。

また、その場がモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでもありました。加害生徒は事件を起こした時、15歳で、その翌日か翌々日に16歳になったという報道です。学校の勉強も優秀で、東大を目指していたという報道も出ています。

時刻は7月30日10時14分になっています。昨日からテレビの録画に失敗するようになっていたのですが、ディスクがいっぱいになっていたことに気が付き、データの削除などやっていました。

<2014-07-30 水 10:16> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月30日

<2014-07-30 水 10:18> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日は夕方に、久しぶりにアジ釣りに行ってきました。前日の夕方遅くに買い物に行く時、堤防に釣り人がいたので立ち寄ったところ、まずまずの大きさのアジが結構釣れていたのですが、期待ほどアジは釣れなかったです。

それでも一人で食べるには十分な量を釣ってくることが出来ました。色のきれいな美味そうなアジです。当日、ネットで綺麗な色のアジは紫外線の届かない海の深いところで生活していたもので、黒っぽいアジは海面近くを回遊していたので日焼けをしている、という情報がありました。

地元で人に聞いた話によると、ぬめりの多いアジほど味が良いという話を聞いたことがあります。昨日のアジは、久しぶりにそのぬめりの強い、粘液状のしずくのたてるアジでした。宝石のように輝いて見えるアジです。

今、テレビのワイド！スクランブルという番組で、青酸化合物の不審死を取り上げています。京都で起こった事件のようですが、警察が2年前の事故死を調べ直し血液から青酸化合物を発見したとか。疑われている女性が顔をぼかし、音声を変えてインタビューに答えていました。

女性と知人だったということがわかり、再捜査を開始したとのことです。心臓発作による交通事故死として処理されていたとのこと。

11時58分です。アジフライを揚げ始めるところです。昨夜のうちに捌いていたのですが、手間もかかり、一人で食べるには多すぎる量です。どうしてものかと考えてしまいますが、醤油の甘酢につければ、明日も食べられそうです。

時刻は7月31日9時51分です。今日はちょっと頑張りたいと思います。先に進めるために。

<2014-07-31 木 09:52> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年7月31日

<2014-07-31 木 09:55> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日は夕方にU-NEXT＜ユーネクスト＞というビデオ配信で「ブタがいた教室」という映画をみていました。次がその映画に関する情報を私が記事にしてものです。引用とURLの紹介になっています。

『ブタがいた教室』（ブタがいたきょうしつ）は、黒田恭史の書籍『豚のPちゃ んと32人の小学生 命の授業900日』（ミネルヴァ書房 2003年）を原案とした、 2008年11月1日公開の日本映画である。,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/p-32-900-2003-2008111.html>

文字数超過なのでHootSuiteから投稿したところ、たまたま次のツイートが目につきました。ツイートそのものではなく、私がツイートを引用してブログの記事にしたものです。データの整理、活用のためにもそうしています。

少年事件で警察発表の情報を毎日垂れ流すマスコミって阿呆ですか。供述が捜査 官の作文である可能性を考えたことないんですかね／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_58.html>

見ての通りの実名弁護士で、居住地らしい場所もプロフィールには掲載されています。Twitterのプロフィールの方も、スクリーンショットに撮っておきましょう。

2014-07-31-105458弁護士　柴田幸正　（yukimasashibata）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/w5jt3ZYDRY

数日前に次のツイートを見たところで、注目していた弁護士でしたが、忘れかけていた頃でした。スクリプトにも登録していなかったのですが、今朝になって登録しました。登録してまとめて記事を作成しました。

2014-07-31-105957佐世保の事件で加害者の父親叩きが始まってるようだけど、.jpg pic.twitter.com/gR0XNl4fMy

2014-07-31-110050毎度毎度のことで本当に進歩がない世論だなとガッカリする。.jpg pic.twitter.com/Y8IXsdt3EH

上記スクリーンショットは、返信の部分が一画面に収まらなかったので２つにわけました。私の返信も出ていますが、ツイートと同じで7月28日の日付になっていました。3日前ということになるかと思います。ツイート自体のURLも次に掲載しておきます。

Twitter / yukimasashibata: 佐世保の事件で加害者の父親叩きが始まってるようだけど、毎度毎 … <https://twitter.com/yukimasashibata/status/493601448060399616>

Twitterの場合、タイトルと本文の区別がなく、140文字以内の投稿となっているので、取得するページタイトルも上記のような仕様になっています。かろうじて内容の識別ができそうですが、後段に意味があっても反映できないことになります。

そういうこともあるので、私はブログの記事として引用するようにしています。埋め込みコードはTwitterによって取得できるようになっています。

2014-07-31-111827ブログに投稿するスクリプトの第一引数（対象者もしくはテーマ指定）設定部分のソースコード.jpg pic.twitter.com/z4wVMwM8PF

上記のスクリーンショットで端末にカーソルのあるあたりが、本日追加した部分です。このスクリプト自体は、他のスクリプトから呼び出す形で実行するようになっているかもしれません。けっこう前に作ったので、記憶が薄くなっているところもあります。

そのスクリプトを使ってブログの記事として投稿したものを、次に列挙してご紹介しておきたいと思います。タイトルの部分を長くしているので、本文を見なくても大体の内容はわかるかと思いますし、私がポイントを置きたい部分を使っています。

少年事件で警察発表の情報を毎日垂れ流すマスコミって阿呆ですか。供述が捜査 官の作文である可能性を考えたことないんですかね／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_58.html>

法的に無理な内容の相談なら「法的に無理」って言ってあげるのが本当の法律相 談なのに、「ウチじゃ無理、他に行きなさい」とか答えるのって、弁護士の意味 ないだろ／弁護士柴田幸正,<http://bit.ly/1rJc7hi>

女子生徒に会ったこともない臨床心理士。こんなにもっともらしいことを記事に までしちゃって、名前は出せないんじゃ無責任の極み。／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_891.html>

まぁ馬鹿みたいに取材しまくって話を真に受けて垂れ流し。事件の後に街を荒ら してるのがマスコミだって何で判らんのかね／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_254.html>

市民の感情が裁判に反映されるなんて、法治国家のやることじゃない。／弁護士 柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_372.html>

日弁連からのアンケート依頼、あまりにめんどくさすぎる割に何の役に立つかサ ッパリ分からんので廃棄した。／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_127.html>

忙しく仕事してる弁護士には到底回答不能なアンケート出して、何がしたいんだ ろう。執行部って仕事してない人間の集まりなんだろか／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_589.html>

マスコミってこういう情報を誰から仕入れるんですか？まさか、同級生じゃない ですよね？精神的ショックを考えて取材してるんですよね？／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_805.html>

佐世保の事件で加害者の父親叩きが始まってるようだけど、毎度毎度のことで本 当に進歩がない世論だなとガッカリする。／弁護士柴田幸正,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_739.html>

以前、別の事件（尼崎の連続変死事件）で、似たようなツイートをする実名弁護士は見たこともありましたが、共通して見受けられる弁護士の社会的対応、社会認識の論理・思考パータンとしてもわかりやすく、参考になるのではと思います。100％のデタラメとは思いませんが。

時刻は14時51分になっています。さきほど洗濯も終わったところですが、けっこう暑くっていまひとつ集中できません。同時に小倉秀夫弁護士のツイートを見て、改めてやきれない気持ちになりました。デタラメというか言いたい放題、理解を超えた弁護士ですが、やりきれない気持ちにさせてくれます。

先ほどご紹介した柴田幸正弁護士、このあとにご紹介する鹿児島大学准教授でもある弁護士との、比較の上でも、さきにここ数日の間、私がブログの記事にしたものをご紹介しておきたいと思います。比較的、常識的にはまともな方かと思います。小倉秀夫弁護士（@HideoOgura)の場合。

実際、「国選弁護専業で年収600万」とか、よほど手抜きをしないと実現できな い報酬体系は依然維持されたまんまだし。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/600.html>

ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は 低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8531.html>

「私が被疑者・被告人となったときは、被害者の望む刑罰を私に加えてくださ い」と望む人は平時に事前登録しておく仕組みってできないかなあ。被害者への 配慮こそ最重要という人も／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3758.html>

富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が高まるが、貧乏 人を起訴しておけば国選弁護人が／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7087.html>

生活に余裕がある弁護士がプロボノとして国選を担ってきた時代から、生活に困 った弁護士が事務所維持の柱として国選弁護を担う時代に移行／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3617.html>

健康保険を使用する診療だけの開業医と同じ程度の所得を、国選弁護専業の開業 弁護士がえられないなんておかしいよね／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1436.html>

この種の「弁護士憎し」系の人の目指すポイントってよくわからないんだな あ。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7481.html>

地元の単位会やそこに所属する弁護士に負担させず、弁護士も市場で淘汰される べきと言ってきた人に負担していただきたいですね／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3.html>

しかも、その場合、裁判官についても馬鹿が増えるということになりますし ね。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8814.html>

自分に生命保険をかけた上で自殺してこれをチャラにする仕組みだけ確立してお けばよかったんですかね／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8270.html>

誰も救われなかった？この人は現実が見えていないんですね。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4136.html>

解放され、人によっては払いすぎたお金の返還すら受けたのに、なんで多重債務 者が食い物にされたことになるのかね／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7592.html>

「撃ち殺した敵の数だけAKB総選挙での票を得られる」ルールを採用すれば、前 線配備を希望する男たちで／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/akb.html>

「お前らの人権をもっと制限しやすくするぜ。もっと義務を押しつけるぜ。もっ と俺たちの道徳を押しつけるぜ」という改憲案が通るとどうして思えるのか不思 議です／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9209.html>

なんで皆さん、自分で実践する気のない道徳律を、公教育に押し込み、他人の子 どもに強要しようとするのですか？／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1654.html>

あれだけ三木弁護士を個人攻撃しておいて、何を言っているのだ？東大ではあれ が通用するのか？／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_88.html>

決めつけて特定の弁護士の個人攻撃に走るって、光市母子殺人事件の時に経験し ているわけですよね、弁護士業界では／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_92.html>

多くの弁護士は、相手方に弁護士が付いてくれることは大歓迎なんですけど ね。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_97.html>

国内向け弁護士なら軽々。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt.html>

そんなことをするのは国内向けの弁護士さんだけかも知れませんね。／小倉秀夫 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_434.html>

冤罪でもないのに刑事弁護をする弁護士がいたら法曹資格を剥奪すべきというこ とになるのですかね。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt_30.html>

博士論文で剽窃を行った疑いがもたれただけで人権が認められなくなるこの国で （以下略）RT／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt_82.html>

僕ら「日本国内向けの弁護士さん」は、そのことで東大准教授に馬鹿にされる謂 れはないんだよね。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_378.html>

東大にいると「日本国内向けの弁護士さん」って低レベルの存在だと信じ込める のですね。RT／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt_48.html>

しかし、その方が「リーガルサービスに市場原理の導入を求めた」社会のニーズ には合致するのです。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt_22.html>

みんなで楽しくお気軽に特定のターゲットを糾弾しているのに水をさしやがって という逆恨みはよく受けます。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt_63.html>

守秘義務のある事項について回答すれば守秘義務違反ですね。聞いた側の記者を 幇助犯として処罰できる場合については、最高裁判例による縛りがあります が／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_885.html>

「不利益を課せられるべき人にこそ、弁護士によるサポートが必要だ」というこ とは、大学関係者には理解していただきたいものだ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_630.html>

時刻は17時20分になったところです。上記のブログのリンクは、全てHootSuiteで3つのアカウントに投稿しました。確認したところリンクになっていたので小倉秀夫弁護士にメンションも入ったものと思われます。

2014-07-31-172318リンクになっていたので小倉秀夫弁護士にメンションも入ったものと思われます.jpg pic.twitter.com/RTCTp64IFV

ちょうど丸一日ぐらいになりますが、「ブタがいた教室」という映画を見終わり、エンディングが終了する直前に、次のツイートが目に飛び込んできました。

2014-07-30-180011何が得られるのだろうか？事件の真相に迫ると言いながら視聴率ほしいだけじゃないの？.jpg pic.twitter.com/8Y3sGw2KJZ

ちょうど18時に記録されたスクリーンショットのようです。ツイート自体は、その少し前に見て、内容を読んでいたはずです。

坂本正幸弁護士はだいぶん前から注目しているツイッター上の実名アカウント弁護士ですが、たしかyahooニュースで、コメントをしたことがきっかけでブロックされるようになった弁護士だと思います。

昨日は、坂本正幸弁護士のツイッターでタランテラの話題を取り上げていたことから、プロフイールに鹿児島大学准教授とあったことを思い出し、確認したところ、他に３つのロースクールで講師をしていたと書いていることにも気が付きました。次は確認と記録のスクリーンショットです。

2014-07-30-181748元東大ロー。元島根大ロー、元日大ロー講師。鹿児島大学准教授。.jpg pic.twitter.com/uWnfg6ZTui

2014-07-30-181846\_【びっくり】鹿児島大学で毒グモ“タランチュラ”捕獲.jpg pic.twitter.com/1XsuVvJsvF

大事なことは勘違いや誤記を避けるためにも、スクリーンショットで記録をとるようにしています。記憶にあるはずの新聞記事が図書館で見つからなかったこともありますが、情報を探すのに手間取ったり、時間が経つと記憶が曖昧になって、間違った取り扱いをすることで、迷惑を与えないとも限りません。

思ったほど多くはなかったので、最近の500件のなかから取得した坂本正幸弁護士に関する記事を、まとめてご紹介したいと思います。

まずは自分たちの業務の領域を守ることだろう。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_867.html>

法曹に職業としての魅力があるということをどうやってアピールするかが業界に 優秀な人材を確保するためには必要だろう／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1349.html>

法曹の魅力というと自営業で人に使われないということだが、これはリスクが大 きいということである。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8026.html>

ないことが証明できないのは当然で、誠実な科学者であればそれを断言はしな い。 ０．０００１％でもあるとしたら、ないというのはウソをつくことになる か／坂本正幸弁護士,<http://bit.ly/1n5OsTV>

でも裁判ってもともと真相解明のための手続きではなくルールに従って裁判所が 目の前の事案を判断するだけのもの／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5.html>

全事件可視化しかないな。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7259.html>

ダメ、というのが私の意見。国が放送に関わる時点でダメよ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2491.html>

と自称する人たちから唱えられるのを見ると、人権って概念が浸透していないこ とを痛感する／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3253.html>

人権や社会正義のために働きたいから弁護士に、という人がいるからかみ合わな いんだな／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7942.html>

準備書面で不利益陳述をしてしまったが、あれは草稿だったので差し換えます、 と相手が援用してから言えるとかだとほんとに冗談の世界だな／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7713.html>

「もうそうなったら弁護士に聞くしかないでしょ」／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5680.html>

指導教授も懲戒処分にされるべき案件だがそれを避けたかったためのお手盛りで はないかと思われても仕方ないぞ／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2184.html>

学問を守るなら。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2702.html>

この調査委員会の判断が日本の科学をすべて殺したと歴史上言われる日がくるの だろうか。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3683.html>

時事ドットコム：「学位取り消し該当せず」＝小保方氏の博士論文－早大調査 委／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5822.html>

生きたまま切断は猟奇殺人だが殺してから切断はそうでもない。 報道があまり 煽らないほうがよいだろうな。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_90.html>

特別な理由を探す人がいるけど単純な理由であることのほうが多い。／坂本正幸 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_45.html>

噂では業界内の人らしいが、ちゃんとしてない人はわりと多い印象。／坂本正幸 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_46.html>

何が得られるのだろうか？事件の真相に迫ると言いながら視聴率ほしいだけじゃないの？／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_62.html>

タランチュラで全国ニュースになるとはおもわんかったなぁ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_55.html>

まあ義務はないだろうねぇ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_77.html>

無償奉仕しろって業界に行きたいなんて奴はおらんから、法学部が衰退していく のはしかたないとかになってしまうぜ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_511.html>

一種の障害だな。医療的な措置が選択されるのではないか。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_969.html>

法律事務所でも似たようなとこあるよなぁ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_63.html>

上記はすべてAPIで投稿しました。一つだけ文字数超過だったので、短縮URLを使いました。現役弁護士というだけではなく、鹿児島大学准教授ということなので、ロースクールの講師という経歴を含め、教育者という一面もありそうです。

2014-05-28-144157FBのほうだが、刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック。.jpg pic.twitter.com/XPw6c8GaGs

上記はスクリーンショットですが、ブログの記事にし忘れているうちに、ツイートが削除されたみたいです。きっかけは,PC遠隔操作事件に関するyahooニュースでのコメントでした。その件で、私はFacebookのアカウントでその記事に対するコメントができなくなりました。

Facebookのアカウントもブロックされたらしく、坂本正幸弁護士のコメントもFacebookでログインした状態では閲覧ができなくなっていました。

十分な確認はしていませんが、yahooニュースでの、私のFacebookアカウントでのコメント自体が、できない規制になっているのかもしれません。最近は見かけていないですが、ジャーナリスト江川紹子さんもyahooニュースで記事をよく書いていました。

経緯及び社会の反応／坂本正幸弁護士／FBのほうだが、刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/FB>

スクリーンショットは上記のPicasaウェブアルバムにまとめてありますが、添付で提出予定のデータファイルとしても保存しております。Wikipediaパソコンではなく、LinuxなのでUNIXスタイルのパスになりますが、次のようにファイルシステムに保存しています。

　~/kkhirono/経緯及び社会の反応/坂本正幸弁護士/FBのほうだが、刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック

Windowsパソコンでは￥がパスの区切りになっていると思いますが、UNIXは半角のスラッシュです。半角のスラッシュはファイル名にもディレクトリ名にも使えず、プログラム的に処理するときエラーが出る可能性も高いので、Picasaウェブアルバムのアルバム名では全角に置き換えています。

ほどほどの数なので、ディレクトリに保存されているファイルを次にご紹介してみたいと思います。

2014-05-29-111748通常の事件は着手金３１５０００円～　報酬も３１５０００円～となります。　詳しくはお問い合わせください.jpg

albumid.txt

albumphotoslist.txt

url.txt

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック012014年05月28日14時52分42秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック022014年05月28日14時53分45秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック032014年05月28日14時54分40秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック042014年05月28日14時55分01秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック052014年05月28日14時55分20秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック062014年05月28日14時55分40秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック072014年05月28日14時55分56秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック082014年05月28日14時56分13秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック092014年05月28日14時56分33秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック102014年05月28日14時56分50秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック112014年05月28日14時57分06秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック122014年05月28日14時57分23秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック132014年05月28日14時57分41秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック142014年05月28日14時58分29秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック152014年05月28日15時00分51秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック162014年05月28日15時01分13秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック172014年05月28日15時01分30秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロック182014年05月28日15時01分48秒.jpg

刑事弁護を泥棒神社のこと？とか書いてきたやつがいたのでブロックFBログインなし2014年05月28日15時04分54秒.jpg

全消去直前のコメント。Facebookに残っているの2014年05月28日15時56分02秒.jpg

他3件のコメント。クリックしても表示されず。2014年05月28日15時34分12秒.jpg

投稿できなくなるとともにすべて消されたらしいコメント012014年05月28日15時32分05秒.jpg

投稿できなくなるとともにすべて消されたらしいコメント022014年05月28日15時32分47秒.jpg

albumid.txt　にはPicasaウェブアルバムのアルバムIDというものを保存しています。6018354296662361009　が実際に保存されている値です。

albumphotoslist.txt　はスクリプトの実行でアップロードを完了した際、アップロード済みのファイル名を取得して保存していたかと思います。必要に応じアップロード済みか否かを確認できるようにしています。

url.txt　には投稿済みのPicasaウェブアルバムのアルバムのタイトルとURLを保存しています。これはアルバムの作成時に手作業でファイルを作成し、データを入力しています。

WebページのタイトルとURLというのは、ブラウザでJavaScriptのスクリプトに特定のキーを割り当てていますが、ホタン操作で取得する拡張機能もあります。いずれもクリップボードにタイトルとURLが保存されますが、書式も指定できます。

スクリーンショットはデジカメと違うのでExif情報は持たないようです。撮影時刻はスクリプトの実行時になるかと思います。

前にも書いたことがあると思いますが、ファイルというのはコピーなどで作成日時が変わってしまうことがあります。コマンドにオプションをつけるとかすることで、情報を保持することにはなるようですが、ミスもありうることで不確実なので、ファイル名に直接含めることにしています。

Picasaウェブアルバムで画像を一つずつ見ていて気がついたのですが、肝心のyahooニュースの記事がわからなくなっています。手落ちがあったと言えますが、このままでは記事のタイトル名を探すのも容易ではありません。日付からTwilogで探してみます。

スクリーンショットを7枚撮りました。なぜか最後の「他2件」とかいうリンクは、何度クリックしても画面に一時的な変化はあるものの、内容は表示されませんでした。せっかくなのでスクリプトの実行状況もご紹介しておこうと思います。端末のスクリーンショットです。

2014-07-31-193046\_％　。　h-shot。sh　佐藤弁護士赤っ恥。01.jpg pic.twitter.com/L5Z6J1ch1p

一度スクリーンショットの作成に失敗したので、やり直しをしました。。に変換されていますが、本来は半角のドットです。ドットのあとにスペースを開けてからコマンドを実行しているのは、環境変数を引き継ぐためです。

後に作ったスクリーンショットのスクリプトでは、環境変数ではなく、ファイルに識別用のデータを保存するようにしています。

次のコマンドでPicasaウェブアルバムにファイルを追加しました。→　 % for f in `ls 佐藤弁護士赤っ恥。\*.jpg`;do h-picasa-album-post.py $f; sleep 6; done

2014-07-31-194034\_％　for　f　in　｀ls　　佐藤弁護士赤っ恥。＊。jpg｀；do　h-picasa-album-post。py　　＄f.jpg pic.twitter.com/16nijMcOpB

上記がコマンド実行時のスクリーンショットです。コマンドの実行にともない表示されている文字列も、スクリプトからの出力です。APIで対話的に取得したデータを、出力している部分もあるかと思います。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 佐藤弁護士赤っ恥。『WiLL』編集長、元『週刊文春』編集長 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/05/will.html>

すでに投稿していた記事を見つけたのが上記ですが、タイトル名に、佐藤弁護士赤っ恥。、という部分を追加ということで編集しました。新規に記事を作成しようかとも思ったのですが、作成の時期というのも優先した要素です。

改めて確認すると記事の投稿日時と思われるのは、2014年5月24日 7時36分、という部分です。思えばあと3時間半で8月になるので、5月の下旬となると何をしていたのか思い出せないぐらい前にことです。小木港で大きなアジを釣ることを諦めた時期だったかもしれません。

佐藤弁護士赤っ恥。(花田紀凱) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/hanadakazuyoshi/20140524-00035636/>

上記は記事本体のタイトル名とURLです。コメントは20件ということで、増えてもいないようですが、TwitterとFacebook、はてなブックマークの反応数もあるので、最新の状態をスクリーンショットにしておこうと思います。

2014-07-31-203530佐藤弁護士赤っ恥。（花田紀凱）　-　個人　-　Yahoo!ニュース　http：／／bylines。news。yahoo。c.jpg pic.twitter.com/WbAN4EbGBL

未だになんと読むのかわからない名前ですが、元週刊文春編集長という肩書も明記されているので、報道の業界人としては相応の実績と経験もあることだろうと思います。今から改めて記事の内容を読み直してみたいと思います。内容としてはほとんど記憶にも残っていません。

「実際に接し、その肉声を聞いて、今は（犯人と）違うと確信しています。警察もさることながら、彼を犯人扱いするメディアの報道姿勢も理解に苦しみます」 　←　この部分も記憶になかったですが、当時はいろいろ目を引く反応があったので、比較的印象に薄かったのかもしれません。

「彼は映画も好きだそうで、どんな映画が面白かったかを聞いてみると『レ・ミゼラブル』を挙げた。←　これも記憶にはなかったですが、中学生の頃読んだ漫画としては記憶に強く残るもので、今枝仁弁護士との間にも、ずいぶん前になりますが、やりとりを交わしたことを記憶しています。

スマホを探し出した警察に「敵ながらあっぱれ」と言ったそうだが、よほど悔しかったのだろう、涙まで流していたという。　←　この部分も目は通していたのだと思いますが、全く記憶に残っておらず、涙まで流していたとは、たった今まで記憶というか認識がなかったです。

時刻は21時24分です。まだ夕食の準備の途中ですが、テレビでケンミンショーをみています。よくできたいい番組だと観るたびに思いますが、司会の、みのもんたの息子の事件も、そう言えば父親に対する当て擦りの目的が強かったように、思い出しました。

ちょっと前にモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の佐世保女子高生殺害事件に関するツイートを見たところでしたが、ブログの記事にしました。投稿したてのほやほやです。

措置入院も一つの対応策かも知れませんが、彼女は精神障害者と言えるのか、報 道を見る限り、ちょっと違うような印象です。ほとんど根拠はないですけ ど。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_214.html>

ちょっきり140文字でAPIから投稿できました。

「女子生徒は人を殺しかねない」との内容が含まれていたことが３１日、県関係 者への取材で分かった。県は具体的な対策を取らず、情報を生かせなかった <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_956.html>

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートでしったネット上のニュース記事ですが、参考になるところが大きいので、上記のようにブログの記事にしました。

そういえば19時のNHKニュースもまだ視聴していないことを思い出しましたが、録画はうまくいっていると思います。まもなく報道ステーションを見る予定ですが、上記のネットニュースはまだテレビでは見ていません。とりわけ問題性の高そうな内容です。加害生徒の家族の対応を含めて。

簡単で美味しいさくらご飯！ by あずきーな [クックパッド] 簡単おいしいみんなのレシピが178万品 <http://cookpad.com/recipe/2684758>

すぐ隣でテレビをつけていたのですが、内容を見逃したので調べました。上記の情報では、ご飯にめんつゆを入れて炊いただけのもののようですが、なんか1位に選ばれていたようです。桜えびでも入っているのかと思いました。ちょっとした事で見落とすものです。テレビの内容と同じかも未確認。

報道ステーションがHABで始まりましたが、トップは台風のニュースのようです。

「佐世保同級生殺害事件で新展開　女子生徒　実家を家宅捜索」という見出しで始まりました。報道ステーション。台風のニュースの後。

高1女児に関する相談がしたい、という。高校一年で女児というのは初めて来たと思うけど、それだけの意味もありそうな言葉の使い方。午後9時過ぎ、女子生徒の弁護士がなんとか。父親を尊敬しているとか。金属バットでの膀胱も事実だが動機は他にあるとか。

「逃亡の男」女性殺害で逮捕、別の女性2人の変死にも関与か、というタイトルで次のニュース。別の女性の2人というのは初めて見たけど、関与があったとすれば3人の連続殺人になりそう。顔写真が出ていたけど、まったく普通の人に見えた。古そうな写真だったけど。

CMのあとは原発問題の検察審査会の起訴相当の議決のニュースみたいです。夕方にもみていますが、どうかと思うところがありました、陸山会事件での検察審査会への批判、疑惑のことも併せて考えてしまいます。今のところ、思ったほどの反応の大きさはTwitter上では見かけていないですが。

告訴団　武藤類子団長。夕方、ネットで名前は見かけていたけど、初めて見る名前と、顔だということを確認。いずれにせよ、弁護士が引っ掻き回しているように思えてならない問題。もちろん国民の利益は二の次として。

夕方に見た情報では弁護士とあったような気がするのですが、検索してみたところ思った以上に情報が乏しく、確認も簡単ではなさそうです。

武藤類子 - Google 検索 <https://www.google.co.jp/?gws_rd=ssl#q=%E6%AD%A6%E8%97%A4%E9%A1%9E%E5%AD%90>

「すき家のビジネスモデルは限界」 第三者委員会が「調査報告書」を公表|弁護士ドットコムトピックス <http://www.bengo4.com/topics/1852/>

上記は夕方にテレビで見て、注目したニュースですが、見覚えのある弁護士の姿がありました。とてもゴージャスななりをした弁護士ですが、テレビでは名前は出ていなかったと思います。初めて見たのは一票の格差での憲法違反の裁判でした。ネクタイがトレードマークとも情報を見たおぼえあり。

久保利英明弁護士 - Google 検索 <http://bit.ly/1oQfpQV> ←　どうもこの名前と顔の一致で間違いなさそうです。これだけ同じ人物の顔写真がこれでもかと出てきたのは、Googleの画像検索でも初めての経験です。

久保利英明 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B9%85%E4%BF%9D%E5%88%A9%E8%8B%B1%E6%98%8E>

弁護士でも知財関係が専門のようですが、学校法人東京女学館理事、学校法人開成学園 (東京都)理事、明日の司法を創る会代表世話人を務める。、というあたりも注目しました。

夕方の「すき家」に関する報道では、人手不足で開店できない、営業できない店舗がずいぶんとあるという話になっていました。弁護士に解決を期待したのでしょうが、弁護士を期待しなければ、関与させなければ、ずいぶんましな状況にあったのかもと、個人的な感想を持ちました。

「大阪府警　該当犯罪ワースト１」とかいう報道ステーション。警察の組織が腐っているとかいう辺りで、気が付きテレビに目を向けたけど、幹部は懲戒免職者ともコメンテーターは語っていた。個人的には、弁護士がいたずらに掛ける負担こそ、犯罪の誘発を含めて、大きそうな要因。

「すき家のビジネスモデルは限界」 第三者委員会が「調査報告書」を公表|弁護士ドットコムトピックス <http://www.bengo4.com/topics/1852/> ←　の内容を読みましたが、同じ問題でも夕方みたテレビの報道とは、ずいぶんと違った印象です。

上記のネットニュースでは、弁護士が第三者機関的に調査を行い、会社に猛省を迫るような内容になっていますが、あえていえば、お墨付きを与えるだけの茶番の儀式にも見えますし、企業イメージを損ねたマイナスイメージが大きそうに思いました。弁護士業界の行く末も占えそうです。

第三者委員会報告書格付け委員会を作った　久保利英明弁護士インタビュー　「会社が潰れかねない厳しい報告書が結果的に会社を救う」　 | 磯山友幸「経済ニュースの裏側」 | 現代ビジネス [講談社] <http://gendai.ismedia.jp/articles/-/39585>

連鎖的に上記のような情報を見つけ、目を通しましたが、格付けという言葉自体に、違和感と胡散臭さを感じるというのが、率直な感想です。

もう終わりにしようかと思っていましたが、ニュースZEROでも短く取り上げていたものの、謝罪ではないけど気持ち、だとか、給料の返済は考えていないとか、従業員のみならず社会的にも反感を買いそうな内容だった。現実的な吟味にも問題がありそうな気がしたけど弁護士を頼る思考回路として参考に。

そういえば、２０分ほど前になるか、朝ズバという朝の番組がどうなったのかと頭に浮かんだけど、北陸中日新聞で確認すると存在しなくなっていて、MRO北陸放送の「あさチャン！」という番組が、後続ではないかと思われました。話題も見ない、聞かない番組名です。

日付が変わっていますがこれを読み終えました。→　【PC遠隔操作事件】「事件は『ツリ』でした」（第14回公判傍聴メモより）(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bit.ly/UO8Lyh>

【佐世保・高１女子殺害】「報道は事実と異なる」と弁護人　「父親を尊敬している」とも　女子生徒「被害者は友だち」 - MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140731/crm14073121510031-n1.htm>

弁護人は「女子生徒の父親の依頼で弁護人となり、接見を続けている。会話は普通にできており、徐々に打ち解けている。本も差し入れた」と述べた。接見で報道内容を聞いた女子生徒が驚き、訂正を求めたとしている。 ←　上記記事の内容です。

テレビでは見ていましたが、報道機関によるネットニュースとしては初めてかと思います。テレビも報道機関によるインターネットニュースでも、加害生徒の父親が弁護士であるという事実の掲載はまだ一度も見ていないと思います。

早い段階で父親が弁護士という話は口コミのような情報として目にしていましたが、その弁護士事務所のホームページが工事中にされていたことが、なにより信憑性を感じさせましたし、そういう指摘もありました。かなり大手の法律事務所とのこと。

弁護士の社会的信用をさらに貶めるような展開に舵をきったとしか思えないのですが、ネット上のコメントでは父親として、今までに見たことのないぐらい厳しい、痛烈な意見が多いようです。正常な判断を欠いているのかもしれませんが、予想外の展開です。

時刻は8月1日9時4分です。項目を新しくして昨夜の続きを書きます。

<2014-08-01 金 09:05> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月1日

<2014-08-01 金 09:06> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜は頭のすっきりしない状態でこの記事を読みました。→　【PC遠隔操作事件】「事件は『ツリ』でした」（第14回公判傍聴メモより）(江川 紹子) - 個人 - Yahoo!ニュース <http://bit.ly/UO8Lyh>

PC遠隔操作事件に関しては、かなり調べて沢山の情報を読み込みました。被告人が進退窮まって全面自供に至るというのは、予想外の展開ではありましたが、警察、検察に対する批判や不信感、報道のあり方の多様性を含め、自分なりに得るところも大きかったと思います。

光市母子殺害事件と変わらないぐらい刑事弁護に対する疑問を抱かせる経過を辿る事件でしたが、私自身の経験に照らし、好対照といえるような弁護活動も行われました。

主任弁護人である佐藤博史弁護士がとりわけ熱心で精力的な弁護活動を展開しましたが、インターネット上における情報発信がほとんどで、テレビで取り上げられる情報というのも一面的で、その機会も減っていき、それが佐藤博史弁護士の痛烈なマスコミ批判ともなっていました。

私は自分自身の問題に参考になる事件だったので、時間を割き、つぶさに情報を追いましたが、2時間に及ぶような動画での会見などが多く、全ては追い切れなかったとも思います。動画は主にYouTubeにあるものを視聴しましたが、その再生回数も次第に目を疑うほど、少ないものになっていました。

総体的な情報量が大きすぎるので、前提を共有することも難しいと思いますし、そもそも時間を使って見る、読む、調べるような問題なのかという疑問もあって、圧倒的多数の人は犯人の一人よがりな特異な事件であって、どうでもよい問題だと切り捨てる判断したようにも思える事件です。

佐藤博史弁護士が商売としての刑事弁護の宣伝として最大限に利用したようにも思える事件なのですが、そういう認識を持つ人も多くはないという感じです。

大多数の人は、自分が刑事事件に関わるとか刑事弁護の世話になるということは、ほとんど考えずに生活していて、民事上の問題を含めたものと思われますが、弁護士との関わりというのは一生に一度あるかないかないか、という説明のされかたも、これまでに何度か見てきたものです。

,PC遠隔操作事件や佐藤博史弁護士に関しては、廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントで、ずいぶんと言及や、リンクを含んだ情報の紹介をしていると思います。問題に対する社会の対応、反応というのも私は重視し、そして参考にもしてきたと思います。

長い時間に及ぶ会見の動画のなかでの一場面で、活字にした情報としては私以外に見かけることはほとんどなかったと思いますが、私が佐藤博史弁護士の弁護士としての関わり、取り組みに最も大きな疑問を感じたのは、次の部分でした。これから探して引用を列挙したいと思います。

いくつか情報を見つけることが出来ましたが、どういうかたちでご紹介するか迷っています。一つの方法としてはブログの記事として記録することです。いつもやっていることですが、投稿数が一時的に増えるとエラーが出るという問題があります。一日30〜40の投稿を目安にしているところです。

全てツイートの情報なので初の試みですが、タイトルとURLに続いて、全文の転載をやってみようかと思います。

Twitter / hironohideki: ところが会ってみると、無実ではないかと思い、今では100%無 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/343926816915984384>

ところが会ってみると、無実ではないかと思い、今では100%無実であると断言できます。現在は7人の弁護士が輪番で毎日接見していますが、逮捕直後から片山さんの言葉にはまったくブレがない／特別対談佐藤博史×江川紹子 <http://fb.me/1nNYovNpI>

Twitter / hironohideki: 江川警察や検察だけではなく、裁判所を含めた刑事司法全体の問題 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/343926219588370432>

江川警察や検察だけではなく、裁判所を含めた刑事司法全体の問題が見えてきますね。裁判所は検察の言い分を追認し、片山氏の家族さえ接見禁／特別対談佐藤博史×江川紹子 <http://postolog.com/bbdPYb>

Twitter / hironohideki: 佐藤博史弁護士は、片山祐輔容疑者と接見した際、隔てるガラス越 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/337751433434787840>

佐藤博史弁護士は、片山祐輔容疑者と接見した際、隔てるガラス越しに報道されている記事を見せたそうですが、被疑者はなんの関心も示さなかったそうです。真犯人であれば報道を気にしないはずがない、彼は無実だと確信したそうです。概ねこんなことも会見の動画で話していました。

Twitter / hironohideki: @amneris84 ずばり言って真犯人の可能性が高いと思い … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/314979395917983744>

@amneris84 ずばり言って真犯人の可能性が高いと思います。一番の理由は、佐藤博史弁護士が動画で述べていたことですが、接見時に見せた新聞報道などの情報に関心を示さなかったという話です。寝耳に水であれば、砂漠で水を求めるように情報を求めるのが、普通ではないかと思います。

Twitter / hironohideki: 2014年3月7日の夕方に視聴した「岩上安身による片山祐輔被 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/442111111513788417>

2014年3月7日の夕方に視聴した「岩上安身による片山祐輔被告・佐藤博史弁護士 独占インタビュー」に関するまとめ - Togetterまとめ <http://ow.ly/umTpc> 500冊の冤罪本を与え、2ヶ月の土日なし連続接見。モンスターに仕立てたのは佐藤博史弁護士一門

Twitter / hironohideki: @Tetsuya\_Tsuda … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/471302482220843009>

@Tetsuya\_Tsuda 保身に走ったにしては、情熱弁護士とかけっこうは評価をテレビで受けていましたね。まあ、あまちゃんの逆回転とかみたいな感じで、片山祐輔被告の爪牙が佐藤博史弁護士に向かうと予想しがたい展開かもしれないですね。私はむしろ落合洋司弁護士（東京弁護士会）を重視

Twitter / hironohideki: @yoshioka\_t @rikuoharuo … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/471274002598862848>

@yoshioka\_t @rikuoharuo 接見室で新聞等の報道をアクリル板越しに見せたところ、無関心だったので、無実と革新したそうです。無実の人間が見に覚えのない報道に関心を示さないわけが無いと思いました。

APIをつかった普段通りの投稿をやりましたが、ブラウザのTwitter上では、予想外の表示のされかたをしていました。本来URLの部分が、引用した文字列のように枠線で囲まれていました。具体的には次のようになっています。実際の表示のスクリーンショットです。

2014-08-01-105344告発-金沢地方検察庁御中ツイッター　（kkhirono）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/gWms4QisAA

時刻は17時22分です。午後からはほとんど中断していたと思います。今日はかなり蒸し暑いです。暑さもあって集中力が散漫としていますが、できるだけ前に進めておきたいところです。

はじめにブログの記事の内容として紹介しておきたかったのは落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートや発言でした。もう10日以上前になると思いますが、試験的な意味も兼ねて、廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントで、連投をしたことがありました。

タイトル名が長すぎてそのまま投稿できなかったのは1件だけでしたが、その1件はあとでブログの方のタイトル名を修正しました。このところ落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートには以前と比較して控えめな印象も受けるのですが、これまでに受けた影響というのも自覚以上のものがありそうです。

ざっと目を通していただくでも、その辺りの事情が伝わるのではないかと思い、さきに紹介しておきたいところです。

ここ最近の落合洋司弁護士（東京弁護士会）の発言では、強硬的な性格は影を潜めているかにも見えますが、以前にもまして強硬な検察批判を展開しているのが、同じ元検事の郷原信郎弁護士です。

2014-08-01-174047郷原信郎　（nobuogohara）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/yOa8abvpmN

フォロワー数も65,183人となっていて、私の知る限り弁護士のツイッターアカウントとしては、一番多いように思います。

郷原信郎 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%83%B7%E5%8E%9F%E4%BF%A1%E9%83%8E>

上記、Wikipediaにも書いてありますが、長崎地検次席検事や、大学教授を歴任しているとのこと、Twitterに使われている顔写真を見ても、強気な性格が窺えますが、仕事熱心なのは理解できるとして、さほどの根拠があるのかということを常軌を逸した表現を用いて活動展開して見えます。

陸山会事件だったと思いますが、一度、テレビ番組のスタジオで姿を見た記憶があります。その後は国か検察に都合の悪い主張をするので、圧力を受けたマスコミからお呼びがかからなくなったとか、本人の発言ではなかったかもしれませんが、そういう評価をされる一幕も見たことがありました。

Twitter / nobuogohara: 【美濃加茂市を脅す愛知県警、「崖っぷち」の名古屋地検】と題し … <https://twitter.com/nobuogohara/status/495054675012767745>

【美濃加茂市を脅す愛知県警、「崖っぷち」の名古屋地検】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://bit.ly/1kageE0

リンク先の記事は、冒頭の少しの部分を読んだだけです。この過激とも思える表現のスタイルは、今に始まったことではありませんし、だいたいにおいてブログの記事もずいぶんと長いです。前は読んでいたこともあったのですが、時間を無駄にしたような気持ちにしかならなかったので。

この事件は、当初テレビでも報道されていましたが、郷原信郎弁護士が弁護人となったと知って依頼、テレビでの報道を全く見なくなった事件でもあります。特に起訴の判断にあたっては、強烈な反対意見も論じていたようですが、その起訴の検察の判断ですらテレビで見ることはなかったです。

ずいぶんと署名を集めたという話もツイートでしていましたが、警察か検察が厳しい取り調べをしたという関係者を、スタジオに招いて話をさせるというような、こともやっていました。ブラウザでタブを開いたままにしていますが、わずかに視聴しただけです。

【最年少・藤井美濃加茂市長収賄事件】事件のキーパーソン・タカミネ氏生出演 - 2014/07/09 22:00開始 - ニコニコ生放送 <http://live.nicovideo.jp/watch/lv185608340>

たまに江川紹子さんがリツイートをしていましたが、郷原信郎弁護士以外にこの事件に触れる情報を見ることはありません。インターネットのニュースでは、テレビより扱う数がはるかに多いはずですが、それでも目に触れることはないです。

郷原信郎弁護士がデタラメを主張しているとは考えていませんが、言うほどの不当性があるような事件とも思えませんし、陸山会事件でも似たようなことを言っていましたし、PC遠隔操作事件ですら検察を愚弄するような発言が目についたという印象があります。

2014-08-01-181704落合洋司　Yoji　Ochiai　（yjochi）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/E7KMThTz1o

落合洋司弁護士（東京弁護士会）のフォロワー数は今現在で、32,832でした。bcというコマンドをつかって計算してみると、1.98534965886939571150という値が出ました。郷原信郎弁護士のフォロワー数が2倍をわずかに切れるという結果です。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）はPC遠隔操作事件の真犯人がメールを送ったことでも有名ですが、ずいぶんと前からブログで情報発信をやっており、最近は見なくなりましたが、テレビでもちょこちょこと姿を見たり、声を聞いていました。

私はネットでブログを始めた2005年の11月ころから、Hatena::Diaryでのブログの存在を知り、よく記事を見ていました。そのうちTwitterの方が多くなり、ブログの記事の投稿数は減って入ると思いますが、今も継続しています。

郷原信郎弁護士の方がフォロワー数が多いのは、次席検事にまでなったという検察庁での経歴も泊をつけているのかもしれませんが、かなり書籍を出しているらしく、そういう読者からの固定的な支持もあるのかもしれません。

前回と同じく、最近の500件という制限がつきますが、私のブログの郷原信郎弁護士に関する記事をご紹介しておきたいと思います。目に触れない機会が圧倒的に多いものと想像されますが、圧巻の内容を含んでいると言っても過言ではないかもしれません。言いたい放題にも思えますが。

【緊急拡散】美濃加茂・藤井市長の早期釈放を求める声を裁判所に届けます！ 署名サイトができましたので／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8659.html>

【現職市長に「逃亡のおそれあり」として勾留決定をした任官後半年の新米裁判 官 】と題してブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5690.html>

昨日から本格的に始まった藤井市長の釈放を求める美濃加茂市民の署名、今日現 在で、１万５0００人を超えた。人口５万人余りの市で、これだけの人達が一致 して藤井市長の潔白を信じ、／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1wKiGRV>

勾留中の藤井市長への市民の方からの応援メッセージが書かれた短冊が多数。一 日も早く、藤井市長を市民の皆様のところへ返せるよう、我々弁護団も頑張りま す／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1u3TREp>

この後、１万５千人を超える市民の早期釈放を求める署名、本日申し立てた最高裁への特別抗告のことについて記者会見／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9.html>

今夜１０時から、ニコ生の番組に、藤井美濃加茂市長の事件のキーパーソンのタ カミネ氏が、緊急生出演／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_692.html>

糸山隆検事正も、陸山会事件で検察審査会を誘導して小沢氏起訴を画策、虚偽捜 査報告書問題で処分を受けた佐久間達哉前橋地検検事正／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1453.html>

郷原信郎弁護士は、美濃加茂市長起訴は検察のガバナンスの重大な欠陥がもたら したもの、と。→〈「責任先送りのための起訴」という暴挙〉／ジャーナリスト 江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9752.html>

美濃加茂市長の事件は、市長就任前の市議時代の問題で、ろくな証拠も根拠もな く全国最年少市長を逮捕した「前代未聞の暴挙」／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9755.html>

１日が２４時間しかないことを今ほどうらめしく思ったことはない。藤井美濃加 茂市の事件では、週明けに再度の保釈請求。「罪証隠滅のおそれ」をでっち上げ て保釈に反対する検察官／郷原信郎弁護士,<http://bit.ly/1nRe9g8>

【美濃加茂市を脅す愛知県警、「崖っぷち」の名古屋地検】と題して、ブログ「 郷原信郎が斬る」を更新しました。／郷原信郎弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_33.html>

一番古いと思われる記事が「【緊急拡散」というものですが、URLには2014年6月と思われる文字列が含まえれており、比較的新しいものばかり、美濃加茂市長の事件以降となっています。

時刻は20時56分。データの管理が悪いということを改めて感じたので、次のURLからまずは内容を取得しました。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中 (告発／告訴金沢地方検察庁御中) <http://bit.ly/1rVY5wc>

明らかに重複分があると思ったので、uniqコマンドでそれを削除したのですが、一件のデータに相当するはずの行の数が、2068になっています。ブラウザのブログの管理画面では公開されている記事の数が、1569になっているので整合しません。

正直、私の能力では千の数を超えるようになると目視によるデータの確認は不可能に近いです。初期の段階からのデータの管理が悪かったと思っていますが、APIでのデータの取得が500件という制限もきついです。APIの使い方として他に方法がないものか調べたのですが、英語での情報が殆どで断念。

% grep '落合洋司弁護士' h-blogger-data-list.txt |tac|wc -l　というコマンドの結果は625件でした。仮に全データが2千件でも4割を超えることになるので、あり得ないとも言える結果ですが、この辺りから選りすぐってご紹介したいと思います。

とりあえず165件を選択しました。全体を見て考えていただくためにも、必要な数だと思いますが、なぜかあるはず期待したものが、出てこなかったという心残りもあります。検察庁として、現実的な問題、社会的な基礎の資料としてとして、しっかりと把握しておいていただきたいところです。

知能犯捜査のレベルが落ちている、というのは、社会内で腐敗が進むことにつな がり、問題だと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3633.html>

世の中、いろいろな意見があるし、見たくなければ見ない自由もあり、ツイッタ ーならブロックもできるけど、よってたかって叩きまくるというのはいただけな いと思う。／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpbXy>

都知事選に立候補を打診されたら、考えさせてください、と答えることにしよ う。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4041.html>

一大監視国家の誕生だな。→特定秘密保護法:身辺調査１０万人対象 政府、答弁 で明かさず－毎日新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4831.html>

ヤフー辞めて、数年たって復帰、という知人を複数見かけた。自分が検察庁に戻 るなら、検事正かな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6598.html>

検察庁は、あれだけ散々こき使っておいて、辞めた時には、誰も見送ってくれ ず、絶望の検察庁だと思っているのだが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6119.html>

絶望の裁判所って、直球ど真ん中みたいな、すごい題名だ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_1046.html>

特捜部批判をしながら、元特捜部、という肩書にすがるマスコミにも、日本的な ものを感じる。権威に弱い。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7564.html>

その陰で、重要な問題が見過ごされたり、そのような状態が意図的に作り出され ることで、いびつな、歪んだ世論が形成されたり、といったことには注意する必 要があるような気がします。／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbkowp>

次々取材が来るな。プチ若狭みたいだ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_12.html>

あの程度の人物がNHK会長になってしまう、ということに、日本の国力低下、人 材の払底を感じるし、深刻に捉えざるを得ない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/nhk_27.html>

前にもコメントしたが、自分がブロックするのは、読む価値がない、タイムライ ンが読みにくくなるアカウント。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_612.html>

どこの誰かも分からない人の、読む価値が感じられないツイートを、ブロックせ ずにいちいち読まなければならない理由があったら、後学上／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7793.html>

遠隔操作の弁護人の佐藤先生からメールが。内容は秘密。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_1086.html>

自分の悪口を言っていると思って、一発ブロックにかけてからよく読んでみた ら、そうではなく、ほめていることがわかって、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8776.html>

検察庁内部で問題が生じた原因をきちんと究明し、今後の再発防止へと教訓に供 されなければならないと思います。そういうことをほとんどやらないのも検察庁 の伝統的な悪弊です。／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbkAM5>

浅薄、幼稚な人間の周囲に、同様の人間が群れ集まる、類は友を呼ぶ、だろ う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_4136.html>

政治家が、愚民に吹きまくり、もてはやされる味を覚えると、忘れられなくなる だろう。今は、ツイッターにFacebookで、入れ食い状態だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/facebook.html>

マスコミ関係者に、遠隔操作の件は先生なら何でもわかると思って、と言われて 質問されても困るんだが。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6049.html>

落合弁護士のブログは見ていなかった、とのこと。ちょっと寂しい気が。→【 PC遠隔操作事件】初公判を前に、片山祐輔氏インタビュー／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/pc.html>

落合コメントあり。→ＮＨＫに取り調べ映像提供は「刑訴法違反」 専門家ら「法 改正し柔軟運用を」 - MSN産経ニュース ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/msn.html>

こちらにも落合コメントあり。→検事「こう質問するから」 尋問メモ、贈賄側業 者が語る - 朝日新聞デジタル／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_3784.html>

激しい攻防が予想されるパソコン遠隔操作事件 「無罪判決」が出るためのポイ ントは？／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_711.html>

この事件で「真犯人」を名乗る人物から犯行声明のメールを送られた一人であ り、元検事として刑事事件の捜査の内情をよく知る落合洋司弁護士は、／落合洋 司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6612.html>

移ろいやすい民意は、時に暴走することもある。そういう誤りに陥らないよう に、無限の力を持っていた憲法制定権力が、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_5714.html>

馬鹿とか間抜けとか愚かとか、そういうツイートにいちいち付き合ってられない ので、即、ブロックだから。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8727.html>

遠隔操作の被告人は、保釈になって特別抗告までされて、今までにない超大物被 告人、ということではある。が、特別抗告はやり過ぎだし、悪い前例にもなると 思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_7462.html>

落合の悪口を言っている人がちらほらいるが、怒りというより、頭が大丈夫かと 心配になってくる。知らん人であっても。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_1550.html>

ある警察から聞かれたが、それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるよ うに、作った資料を提出して説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察 庁が動いてくれるはずがない。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpnpV>

マスコミは、ネタを拾って流すのが商売の浮き草稼業だから、上げたり下げたり するものだが、醜いドタバタには辟易する。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8130.html>

東京高検検事長、くらいなら、頑張れば何とか務まるかもしれないので、必要な ら言ってくれ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_934.html>

NHKニュースWebに出てくる女のアナは、例の、疑惑の細胞女に似てる気がする。 どちらも、見ると、もう片方を思い出し、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/nhkweb.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6544.html>

愚民党の支持者やシンパをフィルタリングする仕組みがないか。ブロックする手 がだるい。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_7379.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

弁護士会の選挙で送られてくる、小汚ない写真入りの葉書は、次々と、シュレッ ダーにかけ、極刑に処している。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_6097.html>

ツイッターは、鼻血どころか、脳から血が出て脳自体が溶けかけているようなの が、依然として多いな。ブロック、ブロック。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_14.html>

自分には不要。バシッとブロックして終わり。（笑）→通知せずブロック Twitter新機能／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/twitter.html>

母の愛は深い。→「真犯人でも受け入れる」母の言葉に片山被告涙 : 社会 : 読 売新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_22.html>

結局、警察、検察は正しく間違わない、被疑者、被告人、弁護人は嘘をついて逃 れようとする悪者、といった、刑事ドラマ風の勧善懲悪イメージですり込まれて いるから／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_28.html>

来週金曜日に、上智大学で、IT関係の講演をするのだが、タイムリーな話題であ る、遠隔操作事件を中心に据えるかな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/it.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

インターネットに、過剰な恐怖心を持ってもかわいそうだし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2015.html>

聴講者は、上智大学の外国語学部の女子学生が多いので、あまりハードな話だと 右から左に素通りしそうで難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3405.html>

金曜日に上智大学で講演する際のパワーポイント作成中。遠隔操作事件がメイン の予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5015.html>

今月末で、ブログを始めて丸10年になると思うと、感慨深い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/10.html>

なんで、こんなしがない弁護士に、繰り返しメールを送ってきたのかも、誰か被 告人に聞いてみてほしいな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1qe4xL8>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpDVT>

警察、検察庁も、江の島の猫の件がなければ被告人の起訴は無理だったろうし、 自力で自白がとれたわけでもなく、結局、被告人の自爆みたいなことによる現状 で／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1qe4AX9>

ボトムからどうやって浮かび上がるか、被告人に真剣に考えさせる、という弁護 が必要になる。これは、なかなかの高度なテクニックを要する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9.html>

遠隔操作の件やアッコにお任せの件などで、ドタバタしていてすっかり忘れてい たが、安物のベンツの試乗は、連休前に連絡したのに、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3015.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpJgi>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpHoo>

前に、御用学者が、自分のブログか何かの記載に、勘違いもしつつ、文句つける メール送ってきて、警察関係者を知ってるんだとか、いかにも御用学者っぽい言 い草で笑ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sblGaX>

目くそが鼻くそを批判。RT @okumuraosaka: 朝日新聞デジタル：検察、大阪府警 の偽証を批判 「極めてゆゆしき事態」 ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt-okumuraosaka.html>

今のところ、政界進出の予定はないが、出るなら、比例だけ、ではなく、選挙区 からも出て、地域の人とじっくり話して、丹念に歩いて訴える／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_13.html>

最近は、取り扱う事件で刑事の比率は下がっている。普通の刑事が、ほとんどな い。特殊だったり、有名人だったり。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5829.html>

7月から、芸能、情報系は、マネジメント会社に窓口を一本化することに確定。 アッコにおまかせ的な現象は、多分、なくなるだろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/7.html>

マネジメント会社は、自分のページが出来次第、ブログで告知し、リンクをはる 予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8230.html>

所詮はしがない弁護士なので、たいしたことにはならない、とは思うが。ま、や って、リスクがあるようなことではないので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9949.html>

アッコにおまかせ、みたいなのが、うざくまとわりつかないだけでもメリットあ るかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5561.html>

ひとつの転換点で起きたのが、今回のアッコにおまかせ騒動だった。ま、アッコ におまかせのスタッフは、相手が悪かったな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9685.html>

豊川琢に取材受けたりインタビューされる人は、ボツになっても知らん顔で放 置、があり得るから、要注意。ここに被害者？が実在／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1914.html>

お前、人に1時間以上、インタビューして、ボツになって、何も連絡しなかった よな。まだいるのか。もう二度と現れるなよ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/1.html>

それならそれで、うちは医者のケツ舐めて成り立ってる雑誌ですから、くらいの 挨拶は要るわな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3157.html>

実に、失礼な記者だった。ボツになったら挨拶くらいしないと。依頼してきたメ ール探し出してきて晒してやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8163.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpRfD>

感性とか無神経とかねじれた考え方、といったものに、単に個人攻撃ではなく、 社会の問題として目が向けられる必要があると思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5199.html>

こういう発言が出てくる、人の意識とか考え方のゆがみ、そういう人がごくごく 例外というわけではなくあちらこちらにいる社会、というものにも、問題意識を 持ちつつ厳しい目が向けられなければならない／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbmah5>

明日は、司法取引、刑事免責などについて、某マスコミの取材予定。得意分野。 （笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9129.html>

某学会に、取調べの専門家としてコメンテーターで呼ばれた。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_28.html>

法律監修とか、その後、何作かやったが、2001年のHEROは、自分にとっての第一 作だっただけに、印象深い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2001hero.html>

だらだらと一太郎を買う人がいたから、ジャストシステムが存続してしまい、流 出情報大量利用につながってしまった、という見方も／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_11.html>

そろそろ国交断絶かな。→自衛隊発足記念行事 ロッテホテルが突然中止の通告 ＝韓国（聯合ニュース） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6263.html>

ジャストシステムは、時代遅れのワープロソフトを売るだけでなく、流出情報で 世間に多大な迷惑までかけちゃったんだな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2874.html>

イメージが暗いしセンス悪いと思う。→鳥取城キャラ・かつ江さん公開中止 「悲 劇をネタ」の声（朝日新聞デジタル） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8495.html>

HEROでこけたら、もう後がなさそう。→＜フジ社長＞視聴率低迷で大異動 社員 3分の2の1000人を「2位にしがみつきたい」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hero-3210002.html>

これは裏目に出そう。→HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の 大臣出席会見(映画.com) ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/herohero-com.html>

安倍ちゃんと信長は、精神構造が似てるのかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_463.html>

昨年3月の、自分がやった講演が紹介されている。→遠隔操作ウイルス事件で「誤 認逮捕」が生じた背景を探る／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/3.html>

最近、取材に来なくなったと思っていたら、こんなことに。→フジ「とくダ ネ！」の不妊治療報道、取材先の医院が抗議 「事実と異なるなど重大な問 題」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_16.html>

衆議院解散が近いのか？どこかから出馬するかな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7091.html>

よく取材を受けていた時期があった。残念としか言いようがない。合掌。→東京 新聞:市川 隆太氏 中日新聞北陸本社報道部長:おくやみ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3560.html>

自分が、秘密保護法や共謀罪について危惧していることが、はずれて現実になら ないことを、ツリーを見るたびに祈っている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_19.html>

いかに共謀罪というのが危険な法律だったか、成立していたら大変なことになっ ていたか、ということもよくわかる記事。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1758.html>

当時の佐賀地検検事正は、公証人にでもなって豊かな老後をエンジョイしている だろうし、次席検事も現職の検察幹部として年収2000万円程度もらって左うちわ で暮らしているだろう／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbna4V>

検察庁で、職員の家族のことを思いやるような幹部はいないが（口先では思いや るようなことを言っても）、東京消防庁の幹部は、そういう点が行き届いてて、 組織としての質が格段に違う／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqd63>

法務・検察幹部が粛清されて人材が払底した際に、弁護士任官して検事長くらい は務まるように勉強しておかなければ（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8527.html>

検事が、捜査報告書を偽造しても、取調べ中にナイフ出しても不起訴、というこ とでは、相手を殺すくらいしないと起訴されそうにないな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_362.html>

今までは、検事志望者に進路相談されると、こういう優秀な人により組織が立ち 直れば、という観点でアドバイスしていたが、今後は、やめておけ、堕ちるとこ ろまで堕ちるだけだと、止めることにした。本人だけでなく、家族も気の毒 だ／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqgi2>

優秀な人間が、間違って検事になって、才能をつぶされたりみじめな法曹人生に ならないように、今後は、徹底してネガティブキャンペーンを展開するかな。本 気でやりはじめたらどこまでやれるか、やってやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbnqAO>

最近は、偉くなりたい、名を上げたい、権力ふるいたいから、成績も良いし検事 任官する、それだけに、エリート意識も強く傲慢にもなりやすくなっている気は する／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbnu3u>

検察への信頼が失墜したままの捜査終結だな。失われたものは大きい。→最高 検、田代元検事を不起訴へ 検審議決で再聴取／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1844.html>

今や、弁護士をはるかに凌駕して、一種の「法曹貴族」化しているんじゃないか な。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2769.html>

被疑者、被告人と弁護人との接見状況を記録したノートを、被疑者、被告人から 提出させてコピーをとる、という、ずれ切ったセンスが、既に検事失格だろう な／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqjKN>

検事は高給取りで資金繰りの苦労はわからないし、実経済にも恐ろしく疎いか ら、こういう暴走が始まると危険極まりないだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_986.html>

優秀な人材もなかなか確保できなかった。自分も、今なら検事任官は無理だった だろう。そういう状態が解消された後に、組織の劣化が加速し現状のようになっ ているのは、皮肉なことだと思う／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbnGQr>

田舎の警察は、要注意かも。検事正、次席、検事は、腰掛けでいるだけだから、 そういう、やばい可能性には無頓着だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8241.html>

弁護士に、房から出るな、と言われても、あの検事さんに呼ばれたら調べには応 じます、と被疑者がやってくるようでないと駄目だろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6993.html>

遠隔操作事件の警察報告書を読んでいると、それをしみじみと思い出した。事件 の問題点を被疑者が鋭く指摘している。頭ごなしに嘘だと決めつけてはいけな い、ということ／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbnSiH>

昔々、あるところの地検で、問題のある捜査が行われていて、耐えられなくなっ た若手検事複数が、検事長に電話で直訴した。その検事長は、捜査の神様、と言 われるような、有名な人だった／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqtC5>

元検事の弁護士、というだけで、すっきり受理してくれたりするほど、警察は甘 くない。なにせ、動かないのが基本だから。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5982.html>

クローズアップ現代に出ていた美人検事が、可視化されたら、自分がやって成功 した、被害者について涙ながらに訴えて自白を得る、という手法が難しくなる、 という意味の／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbo2X3>

検察庁は、巧みに女の検事を使っていて、こういうのに取り込まれるＮＨＫは、 ○○だと思った（伏字部分は想像で入れて下さい）。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5302.html>

あほくさ。→【陸山会事件】検事総長「信頼回復できるよう真摯に努力」 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/msn.html>

都合の良いときは、検察は一体だから、などと言いつつ、都合悪くなると、末端 の平検事を切り捨てて終わりにする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1938.html>

検事失格、は、田舎の検察庁の話だったが、今度、書かれたら、中枢中の中枢の 話が暴露されてしまう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3231.html>

虚偽報告書作成検事を、今、ばさっと切ったら、何言い出すかわからないし。検 事大失格、みたいな本書かれても、検察庁は困るだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2365.html>

メディアに出てコメントするような弁護士は、自分のブログなどで、きちんと見 解を述べる程度のことはすべきだと思うな。しがない弁護士がやっている程度の ことが／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqHck>

検事朝日奈耀子は、検事のあるべき姿を追及していて、共感できるし、見ていて 気持ちが良い。検事指導で関与しているが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4402.html>

検察庁時代は、汚い場面を無数に見てきたから、今後は、司法修習生や合格者 に、そういう話を思い切りして、検事になんか絶対になりたくない、と思うよう にする／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbohBv>

変な弁護士は、というのは多い。そういうことを知らずに、お金払ってその弁護 士に頼んでいる、というのは、刑事弁護ではよくあること／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6677.html>

ハイハイと従わざるを得ないような、無力な検事であってはいけないし、そうい う、無力さが、冤罪を生むことにもつながる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9904.html>

そういう組織だ、ということは、若手検事や、これから検察庁に入ろうと考えて いる人は覚えておいたほうがよいだろう。それでもやりたければやればよ い。／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbowg5>

自分が検事の当時は、弁護士の悪口言って信頼関係の破壊、ということはやって なかったな。むしろ、よく相談して自分で考えて主体的に決めてくださいという スタンス／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbozZ2>

毎日、ごろつき同然に、被疑者を脅し、恫喝し、机叩き、大声はりあげている検 事も、哀れな存在ではある。こんなはずじゃなかったと思っている人もいるだろ う。権力の走狗状態だな／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqS7x>

嘘つきは泥棒の始まり、と言われてきたものだが、これからは、嘘つきはおまわ りや検事の始まり、と言わないと。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7433.html>

供述調書とれば一丁上がり、と考えていない検事がいればお目にかかりたいもの だな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9699.html>

検事が取り調べで大声で暴言吐きまくり、被疑者が獄中でノートにそのことを書 き綴り、接見で弁護士にも訴え、裁判所も、一定程度で認定していても、検察庁 は／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sboHIi>

おまわりや検事による好き勝手司法、というのが、現在の捜査の大きな特徴。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7857.html>

醜いといえば、村木事件を決裁した当時の検事総長なんて、いまだに口をつぐ>んでだんまりだもんな。ちゃっかりと大法律事務所の顧問におさまり、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_535.html>

ま、検察庁というのはそういうもの。 RT @amneris84: RT @harada1210: 集団>暴行現場の目撃者がいても、東京地検特捜部岸検事は「嫌疑なし！」／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvqZjn>

特捜系の検事なんて、例外はあるが、大多数は、自己肥大化していて、陸軍、関東軍、といったイメージにだぶる。思い出すだけで吐き気を催す／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8834.html>

情報を共有しない、敢えてさせないのが特捜部型の捜査。全体像を知っているのは主任検事以上。あとは歯車なので、自分のパートだけ知っていればよい／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1231.html>

こちらも愚かだが正直な検事。RT @nakanori930 被疑者の言うとおりに供述録取したら「ヨタ調書とってんじゃねえよ」と修習時代に叱られたことを思い出した／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvr7iI>

ま、やめてしがない弁護士になった者が何を言っても検事の資質向上には結びつかないので、法務、検察の偉い方々でよく考えてほしいもの／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1937.html>

検事やっているときは、特に疑問を感じなかったことも、弁護士、特に、自分のようなしがない弁護士になると、疑問を感じたり、これはひどいなと思ったりすることが多い／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvr9Yb>

村木事件を決裁した検事総長を顧問に迎え続けている大手法律事務所に続いて、検察一大不祥事で引責辞職した検事総長を、どこが迎え入れるのか、見ものだな／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbpgl7>

自分も、一応、大学教授だが、そう紹介されることはほとんだなく、いまだにＨＥＲＯの監修者と紹介され聴衆がどよめいたりしている。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6385.html>

足利事件の起訴検事が、カメラを振り払いながら歩く姿が写し出されていたが、見苦しかった。きちんと取材に応じたほうが良いということがわからないのか／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8741.html>

その弁護士が、これだけ落ち込んできている以上、検事の給与も下げるのが筋だろうとは思う。その点は裁判官も同様。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5615.html>

つべこべ言うだけでこれだけもらえればやめられない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2086.html>

しかし、法務省も、ヤクザかごろつき同然の検事を、よく刑事局付で置いておくな。こういう奴こそ懲戒免職ものだろう。上田、お前のことだぞ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5753.html>

検事としての栄達の道は閉ざされて、私のような、しがない弁護士として生涯を終えることになっても、それはそれでやむを得ない、という、断固たる決意が必要なはずだった／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbpwRf>

うまく行けば評価され、失敗しても不問に付されるなら、ブレーキがこわれた車みたいな、イケイケの検事が次々と出てくる。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9728.html>

前田検事の、大学時代の恩師が、人が変わってしまった原因を、検察庁のカルチャーにあるのではないかとコメントしていたのが印象的だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5904.html>

しがない弁護士になって、いまさら、昔話をして自慢するつもりもないが、人間に対して人間として向き合う、という、そういう取り調べができる人材が激減している／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvrsCc>

人を幸福にする仕事がしたいという村木氏、証拠品を改ざんしてまで人を不幸に陥れようとした前田検事、勝負はついているな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2596.html>

自分自身も、検察庁にいたとうじは、前田検事的なところがあったから、ああいう検事が評価されたり、それで調子に乗る、その辺の雰囲気は痛いほどよくわかる／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvrxG3>

女は、一旦、むくれると扱いが非常に難しい。検察庁で女検事なんかの上司にならなくてよかった。（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4773.html>

検察庁にとっては、１０年、１５年やって、評価の低い検事は、組織のお荷物でしかなく、ゴミと一緒。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5031.html>

１０年、１５年と検事をやって、はじめて、自分が軽んじられていることに気づいて、転身を図っても、この厳しい状況下、なかなか難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2587.html>

しかし、振り返ると、検事だけやっていては見えない、人の真の姿とか世の中のいろいろな動きを見ることができたのは収穫だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8749.html>

昔から、「元特捜部検事」の看板でもつのは、やめて５年くらいとも言われている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2121.html>

最近、取材が多いが、検事になって３年目くらいまでは、人前でしゃべることに苦手意識があった。そういう自分があちこちで取材を受けていたりするのは不思議／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbpXes>

司法修習生の時、指導を受けた検事が、検察庁のモットーはいい加減でもいいから早くだ、と言っていて、いい加減じゃまずいのでは、と思ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9577.html>

検事をやっていると、薬物事件を多く取り扱うので、昔は、いろいろな文献を読んだりして、かなり勉強したもの。お塩、酒井のような事件があると、知識、経験などを呼び起こしながら考えるので／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvrLwP>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

こちらは弁護士の落合と名乗って代表電話に電話しているのに、何が、おたくさ ま、だよ。失礼な。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_1461.html>

刑法学会で、遠隔操作事件の弁護人の木谷弁護士にも会って、ちょっと話した。 やはり、話題は昨日のメールの件。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_17.html>

昨日の、ブログのアクセス数は88720。ブログの年間アクセス数の、なんと四分 の一強が、一昨日、昨日の2日で、ということになる。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/88720-2.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

TBSの幹部クラスの人から詫びの電話があり出向いてお詫びしたいとのことだっ たが許す許さないという問題でもないしこちらも忙しいので、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/tbs.html>

、といった表面的なところを追い求めるだけでなく、人としての深みや広さを持 てるような、そういうステージを目指したい、目指さなければならないというこ とを感じました／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbqj4P>

警察、検察が、楽してネタが欲しい記者クラブメディアを利用して、事件を勧善 懲悪ドラマに仕立てる手法は、まったく駄目とまでは／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2387.html>

情報を、国民に提示していれば、理解のされ方はかなり違っていただろう。なん でもかんでも秘密、秘密、国民は余計なこと知らんでもよい、では済まない時 代／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1qdYgio>

正しい情報を出さないと、警察、検察は悪いことばかりしている悪逆非道な組織 といった悪印象ばかり肥大しかねない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9728.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1qe4xL8>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpJgi>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpHoo>

2008年の豊川琢にとって、落合なんて弁護士は、日経様に声かけてもらうだけで 喜べ、という感覚だったのだろう。そうでなきゃ、常識的に考えても、ボツにな った挨拶はするだろう／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1sbqP2C>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvpRfD>

やりたい放題状態は影を潜めていると言えるでしょう。ただ、そうした体質は、 一朝一夕に改まるものでもなく、その残滓のようなものは今なお各地で残ってい ると見るべきで、／落合洋司弁護士 <http://bit.ly/1pvshLe>

けっこう手間がかかりました。全てAPIでTwitterに投稿しましたが、足早にやったので、エラーが出て投稿されていないものもあるかもしれません。ひとつ足りていないとはっきりわかるツイートがあるので、探して記事にしておこうと思います。

知能犯捜査のレベルが落ちている、というのは、社会内で腐敗が進むことにつな がり、問題だと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3633.html>

世の中、いろいろな意見があるし、見たくなければ見ない自由もあり、ツイッタ ーならブロックもできるけど、よってたかって叩きまくるというのはいただけな いと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3091.html>

都知事選に立候補を打診されたら、考えさせてください、と答えることにしよ う。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4041.html>

一大監視国家の誕生だな。→特定秘密保護法:身辺調査１０万人対象 政府、答弁 で明かさず－毎日新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4831.html>

ヤフー辞めて、数年たって復帰、という知人を複数見かけた。自分が検察庁に戻 るなら、検事正かな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6598.html>

検察庁は、あれだけ散々こき使っておいて、辞めた時には、誰も見送ってくれ ず、絶望の検察庁だと思っているのだが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6119.html>

絶望の裁判所って、直球ど真ん中みたいな、すごい題名だ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_1046.html>

特捜部批判をしながら、元特捜部、という肩書にすがるマスコミにも、日本的な ものを感じる。権威に弱い。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7564.html>

その陰で、重要な問題が見過ごされたり、そのような状態が意図的に作り出され ることで、いびつな、歪んだ世論が形成されたり、といったことには注意する必 要があるような気がします。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4125.html>

次々取材が来るな。プチ若狭みたいだ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_12.html>

あの程度の人物がNHK会長になってしまう、ということに、日本の国力低下、人 材の払底を感じるし、深刻に捉えざるを得ない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/nhk_27.html>

前にもコメントしたが、自分がブロックするのは、読む価値がない、タイムライ ンが読みにくくなるアカウント。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_612.html>

どこの誰かも分からない人の、読む価値が感じられないツイートを、ブロックせ ずにいちいち読まなければならない理由があったら、後学上／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7793.html>

遠隔操作の弁護人の佐藤先生からメールが。内容は秘密。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_1086.html>

自分の悪口を言っていると思って、一発ブロックにかけてからよく読んでみた ら、そうではなく、ほめていることがわかって、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8776.html>

検察庁内部で問題が生じた原因をきちんと究明し、今後の再発防止へと教訓に供 されなければならないと思います。そういうことをほとんどやらないのも検察庁 の伝統的な悪弊です。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_2.html>

浅薄、幼稚な人間の周囲に、同様の人間が群れ集まる、類は友を呼ぶ、だろ う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_4136.html>

政治家が、愚民に吹きまくり、もてはやされる味を覚えると、忘れられなくなる だろう。今は、ツイッターにFacebookで、入れ食い状態だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/facebook.html>

マスコミ関係者に、遠隔操作の件は先生なら何でもわかると思って、と言われて 質問されても困るんだが。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6049.html>

落合弁護士のブログは見ていなかった、とのこと。ちょっと寂しい気が。→【 PC遠隔操作事件】初公判を前に、片山祐輔氏インタビュー／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/pc.html>

落合コメントあり。→ＮＨＫに取り調べ映像提供は「刑訴法違反」 専門家ら「法 改正し柔軟運用を」 - MSN産経ニュース ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/msn.html>

こちらにも落合コメントあり。→検事「こう質問するから」 尋問メモ、贈賄側業 者が語る - 朝日新聞デジタル／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_3784.html>

激しい攻防が予想されるパソコン遠隔操作事件 「無罪判決」が出るためのポイ ントは？／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_711.html>

この事件で「真犯人」を名乗る人物から犯行声明のメールを送られた一人であ り、元検事として刑事事件の捜査の内情をよく知る落合洋司弁護士は、／落合洋 司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6612.html>

移ろいやすい民意は、時に暴走することもある。そういう誤りに陥らないよう に、無限の力を持っていた憲法制定権力が、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_5714.html>

馬鹿とか間抜けとか愚かとか、そういうツイートにいちいち付き合ってられない ので、即、ブロックだから。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8727.html>

遠隔操作の被告人は、保釈になって特別抗告までされて、今までにない超大物被 告人、ということではある。が、特別抗告はやり過ぎだし、悪い前例にもなると 思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_7462.html>

落合の悪口を言っている人がちらほらいるが、怒りというより、頭が大丈夫かと 心配になってくる。知らん人であっても。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_1550.html>

ある警察から聞かれたが、それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるよ うに、作った資料を提出して説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察 庁が動いてくれるはずがない。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8156.html>

マスコミは、ネタを拾って流すのが商売の浮き草稼業だから、上げたり下げたり するものだが、醜いドタバタには辟易する。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8130.html>

東京高検検事長、くらいなら、頑張れば何とか務まるかもしれないので、必要な ら言ってくれ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_934.html>

NHKニュースWebに出てくる女のアナは、例の、疑惑の細胞女に似てる気がする。 どちらも、見ると、もう片方を思い出し、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/nhkweb.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6544.html>

愚民党の支持者やシンパをフィルタリングする仕組みがないか。ブロックする手 がだるい。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_7379.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

弁護士会の選挙で送られてくる、小汚ない写真入りの葉書は、次々と、シュレッ ダーにかけ、極刑に処している。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_6097.html>

ツイッターは、鼻血どころか、脳から血が出て脳自体が溶けかけているようなの が、依然として多いな。ブロック、ブロック。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_14.html>

自分には不要。バシッとブロックして終わり。（笑）→通知せずブロック Twitter新機能／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/twitter.html>

母の愛は深い。→「真犯人でも受け入れる」母の言葉に片山被告涙 : 社会 : 読 売新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_22.html>

結局、警察、検察は正しく間違わない、被疑者、被告人、弁護人は嘘をついて逃 れようとする悪者、といった、刑事ドラマ風の勧善懲悪イメージですり込まれて いるから／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_28.html>

来週金曜日に、上智大学で、IT関係の講演をするのだが、タイムリーな話題であ る、遠隔操作事件を中心に据えるかな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/it.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

インターネットに、過剰な恐怖心を持ってもかわいそうだし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2015.html>

聴講者は、上智大学の外国語学部の女子学生が多いので、あまりハードな話だと 右から左に素通りしそうで難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3405.html>

金曜日に上智大学で講演する際のパワーポイント作成中。遠隔操作事件がメイン の予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5015.html>

今月末で、ブログを始めて丸10年になると思うと、感慨深い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/10.html>

なんで、こんなしがない弁護士に、繰り返しメールを送ってきたのかも、誰か被 告人に聞いてみてほしいな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

警察、検察庁も、江の島の猫の件がなければ被告人の起訴は無理だったろうし、 自力で自白がとれたわけでもなく、結局、被告人の自爆みたいなことによる現状 で／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4227.html>

ボトムからどうやって浮かび上がるか、被告人に真剣に考えさせる、という弁護 が必要になる。これは、なかなかの高度なテクニックを要する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9.html>

遠隔操作の件やアッコにお任せの件などで、ドタバタしていてすっかり忘れてい たが、安物のベンツの試乗は、連休前に連絡したのに、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3015.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

前に、御用学者が、自分のブログか何かの記載に、勘違いもしつつ、文句つける メール送ってきて、警察関係者を知ってるんだとか、いかにも御用学者っぽい言 い草で笑ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7085.html>

目くそが鼻くそを批判。RT @okumuraosaka: 朝日新聞デジタル：検察、大阪府警 の偽証を批判 「極めてゆゆしき事態」 ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt-okumuraosaka.html>

今のところ、政界進出の予定はないが、出るなら、比例だけ、ではなく、選挙区 からも出て、地域の人とじっくり話して、丹念に歩いて訴える／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_13.html>

最近は、取り扱う事件で刑事の比率は下がっている。普通の刑事が、ほとんどな い。特殊だったり、有名人だったり。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5829.html>

7月から、芸能、情報系は、マネジメント会社に窓口を一本化することに確定。 アッコにおまかせ的な現象は、多分、なくなるだろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/7.html>

マネジメント会社は、自分のページが出来次第、ブログで告知し、リンクをはる 予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8230.html>

所詮はしがない弁護士なので、たいしたことにはならない、とは思うが。ま、や って、リスクがあるようなことではないので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9949.html>

アッコにおまかせ、みたいなのが、うざくまとわりつかないだけでもメリットあ るかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5561.html>

ひとつの転換点で起きたのが、今回のアッコにおまかせ騒動だった。ま、アッコ におまかせのスタッフは、相手が悪かったな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9685.html>

豊川琢に取材受けたりインタビューされる人は、ボツになっても知らん顔で放 置、があり得るから、要注意。ここに被害者？が実在／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1914.html>

お前、人に1時間以上、インタビューして、ボツになって、何も連絡しなかった よな。まだいるのか。もう二度と現れるなよ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/1.html>

それならそれで、うちは医者のケツ舐めて成り立ってる雑誌ですから、くらいの 挨拶は要るわな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3157.html>

実に、失礼な記者だった。ボツになったら挨拶くらいしないと。依頼してきたメ ール探し出してきて晒してやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8163.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

感性とか無神経とかねじれた考え方、といったものに、単に個人攻撃ではなく、 社会の問題として目が向けられる必要があると思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5199.html>

こういう発言が出てくる、人の意識とか考え方のゆがみ、そういう人がごくごく 例外というわけではなくあちらこちらにいる社会、というものにも、問題意識を 持ちつつ厳しい目が向けられなければならない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4824.html>

明日は、司法取引、刑事免責などについて、某マスコミの取材予定。得意分野。 （笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9129.html>

某学会に、取調べの専門家としてコメンテーターで呼ばれた。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_28.html>

法律監修とか、その後、何作かやったが、2001年のHEROは、自分にとっての第一 作だっただけに、印象深い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2001hero.html>

だらだらと一太郎を買う人がいたから、ジャストシステムが存続してしまい、流 出情報大量利用につながってしまった、という見方も／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_11.html>

そろそろ国交断絶かな。→自衛隊発足記念行事 ロッテホテルが突然中止の通告 ＝韓国（聯合ニュース） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6263.html>

ジャストシステムは、時代遅れのワープロソフトを売るだけでなく、流出情報で 世間に多大な迷惑までかけちゃったんだな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2874.html>

イメージが暗いしセンス悪いと思う。→鳥取城キャラ・かつ江さん公開中止 「悲 劇をネタ」の声（朝日新聞デジタル） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8495.html>

HEROでこけたら、もう後がなさそう。→＜フジ社長＞視聴率低迷で大異動 社員 3分の2の1000人を「2位にしがみつきたい」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hero-3210002.html>

これは裏目に出そう。→HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の 大臣出席会見(映画.com) ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/herohero-com.html>

安倍ちゃんと信長は、精神構造が似てるのかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_463.html>

昨年3月の、自分がやった講演が紹介されている。→遠隔操作ウイルス事件で「誤 認逮捕」が生じた背景を探る／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/3.html>

最近、取材に来なくなったと思っていたら、こんなことに。→フジ「とくダ ネ！」の不妊治療報道、取材先の医院が抗議 「事実と異なるなど重大な問 題」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_16.html>

衆議院解散が近いのか？どこかから出馬するかな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7091.html>

よく取材を受けていた時期があった。残念としか言いようがない。合掌。→東京 新聞:市川 隆太氏 中日新聞北陸本社報道部長:おくやみ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3560.html>

自分が、秘密保護法や共謀罪について危惧していることが、はずれて現実になら ないことを、ツリーを見るたびに祈っている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_19.html>

いかに共謀罪というのが危険な法律だったか、成立していたら大変なことになっ ていたか、ということもよくわかる記事。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1758.html>

当時の佐賀地検検事正は、公証人にでもなって豊かな老後をエンジョイしている だろうし、次席検事も現職の検察幹部として年収2000万円程度もらって左うちわ で暮らしているだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/2000.html>

検察庁で、職員の家族のことを思いやるような幹部はいないが（口先では思いや るようなことを言っても）、東京消防庁の幹部は、そういう点が行き届いてて、 組織としての質が格段に違う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8360.html>

法務・検察幹部が粛清されて人材が払底した際に、弁護士任官して検事長くらい は務まるように勉強しておかなければ（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8527.html>

検事が、捜査報告書を偽造しても、取調べ中にナイフ出しても不起訴、というこ とでは、相手を殺すくらいしないと起訴されそうにないな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_362.html>

今までは、検事志望者に進路相談されると、こういう優秀な人により組織が立ち 直れば、という観点でアドバイスしていたが、今後は、やめておけ、堕ちるとこ ろまで堕ちるだけだと、止めることにした。本人だけでなく、家族も気の毒 だ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2999.html>

優秀な人間が、間違って検事になって、才能をつぶされたりみじめな法曹人生に ならないように、今後は、徹底してネガティブキャンペーンを展開するかな。本 気でやりはじめたらどこまでやれるか、やってやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4968.html>

最近は、偉くなりたい、名を上げたい、権力ふるいたいから、成績も良いし検事 任官する、それだけに、エリート意識も強く傲慢にもなりやすくなっている気は する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4068.html>

検察への信頼が失墜したままの捜査終結だな。失われたものは大きい。→最高 検、田代元検事を不起訴へ 検審議決で再聴取／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1844.html>

今や、弁護士をはるかに凌駕して、一種の「法曹貴族」化しているんじゃないか な。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2769.html>

被疑者、被告人と弁護人との接見状況を記録したノートを、被疑者、被告人から 提出させてコピーをとる、という、ずれ切ったセンスが、既に検事失格だろう な／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6078.html>

検事は高給取りで資金繰りの苦労はわからないし、実経済にも恐ろしく疎いか ら、こういう暴走が始まると危険極まりないだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_986.html>

優秀な人材もなかなか確保できなかった。自分も、今なら検事任官は無理だった だろう。そういう状態が解消された後に、組織の劣化が加速し現状のようになっ ているのは、皮肉なことだと思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8816.html>

田舎の警察は、要注意かも。検事正、次席、検事は、腰掛けでいるだけだから、 そういう、やばい可能性には無頓着だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8241.html>

弁護士に、房から出るな、と言われても、あの検事さんに呼ばれたら調べには応 じます、と被疑者がやってくるようでないと駄目だろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6993.html>

遠隔操作事件の警察報告書を読んでいると、それをしみじみと思い出した。事件 の問題点を被疑者が鋭く指摘している。頭ごなしに嘘だと決めつけてはいけな い、ということ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6881.html>

昔々、あるところの地検で、問題のある捜査が行われていて、耐えられなくなっ た若手検事複数が、検事長に電話で直訴した。その検事長は、捜査の神様、と言 われるような、有名な人だった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3428.html>

元検事の弁護士、というだけで、すっきり受理してくれたりするほど、警察は甘 くない。なにせ、動かないのが基本だから。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5982.html>

クローズアップ現代に出ていた美人検事が、可視化されたら、自分がやって成功 した、被害者について涙ながらに訴えて自白を得る、という手法が難しくなる、 という意味の／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9823.html>

検察庁は、巧みに女の検事を使っていて、こういうのに取り込まれるＮＨＫは、 ○○だと思った（伏字部分は想像で入れて下さい）。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5302.html>

あほくさ。→【陸山会事件】検事総長「信頼回復できるよう真摯に努力」 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/msn.html>

都合の良いときは、検察は一体だから、などと言いつつ、都合悪くなると、末端 の平検事を切り捨てて終わりにする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1938.html>

検事失格、は、田舎の検察庁の話だったが、今度、書かれたら、中枢中の中枢の 話が暴露されてしまう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3231.html>

虚偽報告書作成検事を、今、ばさっと切ったら、何言い出すかわからないし。検 事大失格、みたいな本書かれても、検察庁は困るだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2365.html>

メディアに出てコメントするような弁護士は、自分のブログなどで、きちんと見 解を述べる程度のことはすべきだと思うな。しがない弁護士がやっている程度の ことが／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_257.html>

検事朝日奈耀子は、検事のあるべき姿を追及していて、共感できるし、見ていて 気持ちが良い。検事指導で関与しているが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4402.html>

検察庁時代は、汚い場面を無数に見てきたから、今後は、司法修習生や合格者 に、そういう話を思い切りして、検事になんか絶対になりたくない、と思うよう にする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1299.html>

変な弁護士は、というのは多い。そういうことを知らずに、お金払ってその弁護 士に頼んでいる、というのは、刑事弁護ではよくあること／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6677.html>

ハイハイと従わざるを得ないような、無力な検事であってはいけないし、そうい う、無力さが、冤罪を生むことにもつながる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9904.html>

そういう組織だ、ということは、若手検事や、これから検察庁に入ろうと考えて いる人は覚えておいたほうがよいだろう。それでもやりたければやればよ い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4669.html>

自分が検事の当時は、弁護士の悪口言って信頼関係の破壊、ということはやって なかったな。むしろ、よく相談して自分で考えて主体的に決めてくださいという スタンス／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5781.html>

毎日、ごろつき同然に、被疑者を脅し、恫喝し、机叩き、大声はりあげている検 事も、哀れな存在ではある。こんなはずじゃなかったと思っている人もいるだろ う。権力の走狗状態だな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3440.html>

嘘つきは泥棒の始まり、と言われてきたものだが、これからは、嘘つきはおまわ りや検事の始まり、と言わないと。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7433.html>

供述調書とれば一丁上がり、と考えていない検事がいればお目にかかりたいもの だな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9699.html>

検事が取り調べで大声で暴言吐きまくり、被疑者が獄中でノートにそのことを書 き綴り、接見で弁護士にも訴え、裁判所も、一定程度で認定していても、検察庁 は／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6034.html>

おまわりや検事による好き勝手司法、というのが、現在の捜査の大きな特徴。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7857.html>

醜いといえば、村木事件を決裁した当時の検事総長なんて、いまだに口をつぐ>んでだんまりだもんな。ちゃっかりと大法律事務所の顧問におさまり、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_535.html>

ま、検察庁というのはそういうもの。 RT @amneris84: RT @harada1210: 集団>暴行現場の目撃者がいても、東京地検特捜部岸検事は「嫌疑なし！」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-amneris84-rt-harada1210.html>

特捜系の検事なんて、例外はあるが、大多数は、自己肥大化していて、陸軍、関東軍、といったイメージにだぶる。思い出すだけで吐き気を催す／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8834.html>

情報を共有しない、敢えてさせないのが特捜部型の捜査。全体像を知っているのは主任検事以上。あとは歯車なので、自分のパートだけ知っていればよい／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1231.html>

こちらも愚かだが正直な検事。RT @nakanori930 被疑者の言うとおりに供述録取したら「ヨタ調書とってんじゃねえよ」と修習時代に叱られたことを思い出した／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-nakanori930.html>

ま、やめてしがない弁護士になった者が何を言っても検事の資質向上には結びつかないので、法務、検察の偉い方々でよく考えてほしいもの／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1937.html>

検事やっているときは、特に疑問を感じなかったことも、弁護士、特に、自分のようなしがない弁護士になると、疑問を感じたり、これはひどいなと思ったりすることが多い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3452.html>

村木事件を決裁した検事総長を顧問に迎え続けている大手法律事務所に続いて、検察一大不祥事で引責辞職した検事総長を、どこが迎え入れるのか、見ものだな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8363.html>

自分も、一応、大学教授だが、そう紹介されることはほとんだなく、いまだにＨＥＲＯの監修者と紹介され聴衆がどよめいたりしている。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6385.html>

足利事件の起訴検事が、カメラを振り払いながら歩く姿が写し出されていたが、見苦しかった。きちんと取材に応じたほうが良いということがわからないのか／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8741.html>

その弁護士が、これだけ落ち込んできている以上、検事の給与も下げるのが筋だろうとは思う。その点は裁判官も同様。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5615.html>

つべこべ言うだけでこれだけもらえればやめられない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2086.html>

しかし、法務省も、ヤクザかごろつき同然の検事を、よく刑事局付で置いておくな。こういう奴こそ懲戒免職ものだろう。上田、お前のことだぞ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5753.html>

検事としての栄達の道は閉ざされて、私のような、しがない弁護士として生涯を終えることになっても、それはそれでやむを得ない、という、断固たる決意が必要なはずだった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9551.html>

うまく行けば評価され、失敗しても不問に付されるなら、ブレーキがこわれた車みたいな、イケイケの検事が次々と出てくる。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9728.html>

前田検事の、大学時代の恩師が、人が変わってしまった原因を、検察庁のカルチャーにあるのではないかとコメントしていたのが印象的だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5904.html>

しがない弁護士になって、いまさら、昔話をして自慢するつもりもないが、人間に対して人間として向き合う、という、そういう取り調べができる人材が激減している／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8023.html>

人を幸福にする仕事がしたいという村木氏、証拠品を改ざんしてまで人を不幸に陥れようとした前田検事、勝負はついているな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2596.html>

自分自身も、検察庁にいたとうじは、前田検事的なところがあったから、ああいう検事が評価されたり、それで調子に乗る、その辺の雰囲気は痛いほどよくわかる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2868.html>

女は、一旦、むくれると扱いが非常に難しい。検察庁で女検事なんかの上司にならなくてよかった。（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4773.html>

検察庁にとっては、１０年、１５年やって、評価の低い検事は、組織のお荷物でしかなく、ゴミと一緒。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5031.html>

１０年、１５年と検事をやって、はじめて、自分が軽んじられていることに気づいて、転身を図っても、この厳しい状況下、なかなか難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2587.html>

しかし、振り返ると、検事だけやっていては見えない、人の真の姿とか世の中のいろいろな動きを見ることができたのは収穫だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8749.html>

昔から、「元特捜部検事」の看板でもつのは、やめて５年くらいとも言われている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2121.html>

最近、取材が多いが、検事になって３年目くらいまでは、人前でしゃべることに苦手意識があった。そういう自分があちこちで取材を受けていたりするのは不思議／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5230.html>

司法修習生の時、指導を受けた検事が、検察庁のモットーはいい加減でもいいから早くだ、と言っていて、いい加減じゃまずいのでは、と思ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9577.html>

検事をやっていると、薬物事件を多く取り扱うので、昔は、いろいろな文献を読んだりして、かなり勉強したもの。お塩、酒井のような事件があると、知識、経験などを呼び起こしながら考えるので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5998.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

こちらは弁護士の落合と名乗って代表電話に電話しているのに、何が、おたくさ ま、だよ。失礼な。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_1461.html>

刑法学会で、遠隔操作事件の弁護人の木谷弁護士にも会って、ちょっと話した。 やはり、話題は昨日のメールの件。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_17.html>

昨日の、ブログのアクセス数は88720。ブログの年間アクセス数の、なんと四分 の一強が、一昨日、昨日の2日で、ということになる。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/88720-2.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

TBSの幹部クラスの人から詫びの電話があり出向いてお詫びしたいとのことだっ たが許す許さないという問題でもないしこちらも忙しいので、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/tbs.html>

、といった表面的なところを追い求めるだけでなく、人としての深みや広さを持 てるような、そういうステージを目指したい、目指さなければならないというこ とを感じました／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8686.html>

警察、検察が、楽してネタが欲しい記者クラブメディアを利用して、事件を勧善 懲悪ドラマに仕立てる手法は、まったく駄目とまでは／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2387.html>

情報を、国民に提示していれば、理解のされ方はかなり違っていただろう。なん でもかんでも秘密、秘密、国民は余計なこと知らんでもよい、では済まない時 代／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1897.html>

正しい情報を出さないと、警察、検察は悪いことばかりしている悪逆非道な組織 といった悪印象ばかり肥大しかねない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9728.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

2008年の豊川琢にとって、落合なんて弁護士は、日経様に声かけてもらうだけで 喜べ、という感覚だったのだろう。そうでなきゃ、常識的に考えても、ボツにな った挨拶はするだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2008.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

やりたい放題状態は影を潜めていると言えるでしょう。ただ、そうした体質は、 一朝一夕に改まるものでもなく、その残滓のようなものは今なお各地で残ってい ると見るべきで、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7250.html>

知能犯捜査のレベルが落ちている、というのは、社会内で腐敗が進むことにつな がり、問題だと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3633.html>

世の中、いろいろな意見があるし、見たくなければ見ない自由もあり、ツイッタ ーならブロックもできるけど、よってたかって叩きまくるというのはいただけな いと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3091.html>

都知事選に立候補を打診されたら、考えさせてください、と答えることにしよ う。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4041.html>

一大監視国家の誕生だな。→特定秘密保護法:身辺調査１０万人対象 政府、答弁 で明かさず－毎日新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4831.html>

ヤフー辞めて、数年たって復帰、という知人を複数見かけた。自分が検察庁に戻 るなら、検事正かな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6598.html>

検察庁は、あれだけ散々こき使っておいて、辞めた時には、誰も見送ってくれ ず、絶望の検察庁だと思っているのだが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6119.html>

絶望の裁判所って、直球ど真ん中みたいな、すごい題名だ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_1046.html>

特捜部批判をしながら、元特捜部、という肩書にすがるマスコミにも、日本的な ものを感じる。権威に弱い。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7564.html>

その陰で、重要な問題が見過ごされたり、そのような状態が意図的に作り出され ることで、いびつな、歪んだ世論が形成されたり、といったことには注意する必 要があるような気がします。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4125.html>

次々取材が来るな。プチ若狭みたいだ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_12.html>

あの程度の人物がNHK会長になってしまう、ということに、日本の国力低下、人 材の払底を感じるし、深刻に捉えざるを得ない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/nhk_27.html>

前にもコメントしたが、自分がブロックするのは、読む価値がない、タイムライ ンが読みにくくなるアカウント。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_612.html>

どこの誰かも分からない人の、読む価値が感じられないツイートを、ブロックせ ずにいちいち読まなければならない理由があったら、後学上／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7793.html>

遠隔操作の弁護人の佐藤先生からメールが。内容は秘密。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_1086.html>

自分の悪口を言っていると思って、一発ブロックにかけてからよく読んでみた ら、そうではなく、ほめていることがわかって、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8776.html>

検察庁内部で問題が生じた原因をきちんと究明し、今後の再発防止へと教訓に供 されなければならないと思います。そういうことをほとんどやらないのも検察庁 の伝統的な悪弊です。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_2.html>

浅薄、幼稚な人間の周囲に、同様の人間が群れ集まる、類は友を呼ぶ、だろ う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_4136.html>

政治家が、愚民に吹きまくり、もてはやされる味を覚えると、忘れられなくなる だろう。今は、ツイッターにFacebookで、入れ食い状態だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/facebook.html>

マスコミ関係者に、遠隔操作の件は先生なら何でもわかると思って、と言われて 質問されても困るんだが。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6049.html>

落合弁護士のブログは見ていなかった、とのこと。ちょっと寂しい気が。→【 PC遠隔操作事件】初公判を前に、片山祐輔氏インタビュー／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/pc.html>

落合コメントあり。→ＮＨＫに取り調べ映像提供は「刑訴法違反」 専門家ら「法 改正し柔軟運用を」 - MSN産経ニュース ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/msn.html>

こちらにも落合コメントあり。→検事「こう質問するから」 尋問メモ、贈賄側業 者が語る - 朝日新聞デジタル／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_3784.html>

激しい攻防が予想されるパソコン遠隔操作事件 「無罪判決」が出るためのポイ ントは？／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_711.html>

この事件で「真犯人」を名乗る人物から犯行声明のメールを送られた一人であ り、元検事として刑事事件の捜査の内情をよく知る落合洋司弁護士は、／落合洋 司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6612.html>

移ろいやすい民意は、時に暴走することもある。そういう誤りに陥らないよう に、無限の力を持っていた憲法制定権力が、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_5714.html>

馬鹿とか間抜けとか愚かとか、そういうツイートにいちいち付き合ってられない ので、即、ブロックだから。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8727.html>

遠隔操作の被告人は、保釈になって特別抗告までされて、今までにない超大物被 告人、ということではある。が、特別抗告はやり過ぎだし、悪い前例にもなると 思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_7462.html>

落合の悪口を言っている人がちらほらいるが、怒りというより、頭が大丈夫かと 心配になってくる。知らん人であっても。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_1550.html>

ある警察から聞かれたが、それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるよ うに、作った資料を提出して説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察 庁が動いてくれるはずがない。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8156.html>

マスコミは、ネタを拾って流すのが商売の浮き草稼業だから、上げたり下げたり するものだが、醜いドタバタには辟易する。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8130.html>

東京高検検事長、くらいなら、頑張れば何とか務まるかもしれないので、必要な ら言ってくれ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_934.html>

NHKニュースWebに出てくる女のアナは、例の、疑惑の細胞女に似てる気がする。 どちらも、見ると、もう片方を思い出し、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/nhkweb.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6544.html>

愚民党の支持者やシンパをフィルタリングする仕組みがないか。ブロックする手 がだるい。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_7379.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

弁護士会の選挙で送られてくる、小汚ない写真入りの葉書は、次々と、シュレッ ダーにかけ、極刑に処している。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_6097.html>

ツイッターは、鼻血どころか、脳から血が出て脳自体が溶けかけているようなの が、依然として多いな。ブロック、ブロック。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_14.html>

自分には不要。バシッとブロックして終わり。（笑）→通知せずブロック Twitter新機能／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/twitter.html>

母の愛は深い。→「真犯人でも受け入れる」母の言葉に片山被告涙 : 社会 : 読 売新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_22.html>

結局、警察、検察は正しく間違わない、被疑者、被告人、弁護人は嘘をついて逃 れようとする悪者、といった、刑事ドラマ風の勧善懲悪イメージですり込まれて いるから／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_28.html>

来週金曜日に、上智大学で、IT関係の講演をするのだが、タイムリーな話題であ る、遠隔操作事件を中心に据えるかな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/it.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

インターネットに、過剰な恐怖心を持ってもかわいそうだし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2015.html>

聴講者は、上智大学の外国語学部の女子学生が多いので、あまりハードな話だと 右から左に素通りしそうで難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3405.html>

金曜日に上智大学で講演する際のパワーポイント作成中。遠隔操作事件がメイン の予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5015.html>

今月末で、ブログを始めて丸10年になると思うと、感慨深い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/10.html>

なんで、こんなしがない弁護士に、繰り返しメールを送ってきたのかも、誰か被 告人に聞いてみてほしいな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

警察、検察庁も、江の島の猫の件がなければ被告人の起訴は無理だったろうし、 自力で自白がとれたわけでもなく、結局、被告人の自爆みたいなことによる現状 で／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4227.html>

ボトムからどうやって浮かび上がるか、被告人に真剣に考えさせる、という弁護 が必要になる。これは、なかなかの高度なテクニックを要する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9.html>

遠隔操作の件やアッコにお任せの件などで、ドタバタしていてすっかり忘れてい たが、安物のベンツの試乗は、連休前に連絡したのに、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3015.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

前に、御用学者が、自分のブログか何かの記載に、勘違いもしつつ、文句つける メール送ってきて、警察関係者を知ってるんだとか、いかにも御用学者っぽい言 い草で笑ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7085.html>

目くそが鼻くそを批判。RT @okumuraosaka: 朝日新聞デジタル：検察、大阪府警 の偽証を批判 「極めてゆゆしき事態」 ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt-okumuraosaka.html>

今のところ、政界進出の予定はないが、出るなら、比例だけ、ではなく、選挙区 からも出て、地域の人とじっくり話して、丹念に歩いて訴える／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_13.html>

最近は、取り扱う事件で刑事の比率は下がっている。普通の刑事が、ほとんどな い。特殊だったり、有名人だったり。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5829.html>

7月から、芸能、情報系は、マネジメント会社に窓口を一本化することに確定。 アッコにおまかせ的な現象は、多分、なくなるだろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/7.html>

マネジメント会社は、自分のページが出来次第、ブログで告知し、リンクをはる 予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8230.html>

所詮はしがない弁護士なので、たいしたことにはならない、とは思うが。ま、や って、リスクがあるようなことではないので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9949.html>

アッコにおまかせ、みたいなのが、うざくまとわりつかないだけでもメリットあ るかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5561.html>

ひとつの転換点で起きたのが、今回のアッコにおまかせ騒動だった。ま、アッコ におまかせのスタッフは、相手が悪かったな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9685.html>

豊川琢に取材受けたりインタビューされる人は、ボツになっても知らん顔で放 置、があり得るから、要注意。ここに被害者？が実在／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1914.html>

お前、人に1時間以上、インタビューして、ボツになって、何も連絡しなかった よな。まだいるのか。もう二度と現れるなよ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/1.html>

それならそれで、うちは医者のケツ舐めて成り立ってる雑誌ですから、くらいの 挨拶は要るわな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3157.html>

実に、失礼な記者だった。ボツになったら挨拶くらいしないと。依頼してきたメ ール探し出してきて晒してやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8163.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

感性とか無神経とかねじれた考え方、といったものに、単に個人攻撃ではなく、 社会の問題として目が向けられる必要があると思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5199.html>

こういう発言が出てくる、人の意識とか考え方のゆがみ、そういう人がごくごく 例外というわけではなくあちらこちらにいる社会、というものにも、問題意識を 持ちつつ厳しい目が向けられなければならない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4824.html>

明日は、司法取引、刑事免責などについて、某マスコミの取材予定。得意分野。 （笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9129.html>

某学会に、取調べの専門家としてコメンテーターで呼ばれた。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_28.html>

法律監修とか、その後、何作かやったが、2001年のHEROは、自分にとっての第一 作だっただけに、印象深い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2001hero.html>

だらだらと一太郎を買う人がいたから、ジャストシステムが存続してしまい、流 出情報大量利用につながってしまった、という見方も／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_11.html>

そろそろ国交断絶かな。→自衛隊発足記念行事 ロッテホテルが突然中止の通告 ＝韓国（聯合ニュース） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6263.html>

ジャストシステムは、時代遅れのワープロソフトを売るだけでなく、流出情報で 世間に多大な迷惑までかけちゃったんだな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2874.html>

イメージが暗いしセンス悪いと思う。→鳥取城キャラ・かつ江さん公開中止 「悲 劇をネタ」の声（朝日新聞デジタル） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8495.html>

HEROでこけたら、もう後がなさそう。→＜フジ社長＞視聴率低迷で大異動 社員 3分の2の1000人を「2位にしがみつきたい」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hero-3210002.html>

これは裏目に出そう。→HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の 大臣出席会見(映画.com) ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/herohero-com.html>

安倍ちゃんと信長は、精神構造が似てるのかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_463.html>

昨年3月の、自分がやった講演が紹介されている。→遠隔操作ウイルス事件で「誤 認逮捕」が生じた背景を探る／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/3.html>

最近、取材に来なくなったと思っていたら、こんなことに。→フジ「とくダ ネ！」の不妊治療報道、取材先の医院が抗議 「事実と異なるなど重大な問 題」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_16.html>

衆議院解散が近いのか？どこかから出馬するかな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7091.html>

よく取材を受けていた時期があった。残念としか言いようがない。合掌。→東京 新聞:市川 隆太氏 中日新聞北陸本社報道部長:おくやみ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3560.html>

自分が、秘密保護法や共謀罪について危惧していることが、はずれて現実になら ないことを、ツリーを見るたびに祈っている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_19.html>

いかに共謀罪というのが危険な法律だったか、成立していたら大変なことになっ ていたか、ということもよくわかる記事。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1758.html>

当時の佐賀地検検事正は、公証人にでもなって豊かな老後をエンジョイしている だろうし、次席検事も現職の検察幹部として年収2000万円程度もらって左うちわ で暮らしているだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/2000.html>

検察庁で、職員の家族のことを思いやるような幹部はいないが（口先では思いや るようなことを言っても）、東京消防庁の幹部は、そういう点が行き届いてて、 組織としての質が格段に違う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8360.html>

法務・検察幹部が粛清されて人材が払底した際に、弁護士任官して検事長くらい は務まるように勉強しておかなければ（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8527.html>

検事が、捜査報告書を偽造しても、取調べ中にナイフ出しても不起訴、というこ とでは、相手を殺すくらいしないと起訴されそうにないな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_362.html>

今までは、検事志望者に進路相談されると、こういう優秀な人により組織が立ち 直れば、という観点でアドバイスしていたが、今後は、やめておけ、堕ちるとこ ろまで堕ちるだけだと、止めることにした。本人だけでなく、家族も気の毒 だ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2999.html>

優秀な人間が、間違って検事になって、才能をつぶされたりみじめな法曹人生に ならないように、今後は、徹底してネガティブキャンペーンを展開するかな。本 気でやりはじめたらどこまでやれるか、やってやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4968.html>

最近は、偉くなりたい、名を上げたい、権力ふるいたいから、成績も良いし検事 任官する、それだけに、エリート意識も強く傲慢にもなりやすくなっている気は する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4068.html>

検察への信頼が失墜したままの捜査終結だな。失われたものは大きい。→最高 検、田代元検事を不起訴へ 検審議決で再聴取／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1844.html>

今や、弁護士をはるかに凌駕して、一種の「法曹貴族」化しているんじゃないか な。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2769.html>

被疑者、被告人と弁護人との接見状況を記録したノートを、被疑者、被告人から 提出させてコピーをとる、という、ずれ切ったセンスが、既に検事失格だろう な／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6078.html>

検事は高給取りで資金繰りの苦労はわからないし、実経済にも恐ろしく疎いか ら、こういう暴走が始まると危険極まりないだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_986.html>

優秀な人材もなかなか確保できなかった。自分も、今なら検事任官は無理だった だろう。そういう状態が解消された後に、組織の劣化が加速し現状のようになっ ているのは、皮肉なことだと思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8816.html>

田舎の警察は、要注意かも。検事正、次席、検事は、腰掛けでいるだけだから、 そういう、やばい可能性には無頓着だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8241.html>

弁護士に、房から出るな、と言われても、あの検事さんに呼ばれたら調べには応 じます、と被疑者がやってくるようでないと駄目だろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6993.html>

遠隔操作事件の警察報告書を読んでいると、それをしみじみと思い出した。事件 の問題点を被疑者が鋭く指摘している。頭ごなしに嘘だと決めつけてはいけな い、ということ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6881.html>

昔々、あるところの地検で、問題のある捜査が行われていて、耐えられなくなっ た若手検事複数が、検事長に電話で直訴した。その検事長は、捜査の神様、と言 われるような、有名な人だった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3428.html>

元検事の弁護士、というだけで、すっきり受理してくれたりするほど、警察は甘 くない。なにせ、動かないのが基本だから。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5982.html>

クローズアップ現代に出ていた美人検事が、可視化されたら、自分がやって成功 した、被害者について涙ながらに訴えて自白を得る、という手法が難しくなる、 という意味の／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9823.html>

検察庁は、巧みに女の検事を使っていて、こういうのに取り込まれるＮＨＫは、 ○○だと思った（伏字部分は想像で入れて下さい）。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5302.html>

あほくさ。→【陸山会事件】検事総長「信頼回復できるよう真摯に努力」 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/msn.html>

都合の良いときは、検察は一体だから、などと言いつつ、都合悪くなると、末端 の平検事を切り捨てて終わりにする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1938.html>

検事失格、は、田舎の検察庁の話だったが、今度、書かれたら、中枢中の中枢の 話が暴露されてしまう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3231.html>

虚偽報告書作成検事を、今、ばさっと切ったら、何言い出すかわからないし。検 事大失格、みたいな本書かれても、検察庁は困るだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2365.html>

メディアに出てコメントするような弁護士は、自分のブログなどで、きちんと見 解を述べる程度のことはすべきだと思うな。しがない弁護士がやっている程度の ことが／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_257.html>

検事朝日奈耀子は、検事のあるべき姿を追及していて、共感できるし、見ていて 気持ちが良い。検事指導で関与しているが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4402.html>

検察庁時代は、汚い場面を無数に見てきたから、今後は、司法修習生や合格者 に、そういう話を思い切りして、検事になんか絶対になりたくない、と思うよう にする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1299.html>

変な弁護士は、というのは多い。そういうことを知らずに、お金払ってその弁護 士に頼んでいる、というのは、刑事弁護ではよくあること／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6677.html>

ハイハイと従わざるを得ないような、無力な検事であってはいけないし、そうい う、無力さが、冤罪を生むことにもつながる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9904.html>

そういう組織だ、ということは、若手検事や、これから検察庁に入ろうと考えて いる人は覚えておいたほうがよいだろう。それでもやりたければやればよ い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4669.html>

自分が検事の当時は、弁護士の悪口言って信頼関係の破壊、ということはやって なかったな。むしろ、よく相談して自分で考えて主体的に決めてくださいという スタンス／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5781.html>

毎日、ごろつき同然に、被疑者を脅し、恫喝し、机叩き、大声はりあげている検 事も、哀れな存在ではある。こんなはずじゃなかったと思っている人もいるだろ う。権力の走狗状態だな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3440.html>

嘘つきは泥棒の始まり、と言われてきたものだが、これからは、嘘つきはおまわ りや検事の始まり、と言わないと。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7433.html>

供述調書とれば一丁上がり、と考えていない検事がいればお目にかかりたいもの だな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9699.html>

検事が取り調べで大声で暴言吐きまくり、被疑者が獄中でノートにそのことを書 き綴り、接見で弁護士にも訴え、裁判所も、一定程度で認定していても、検察庁 は／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6034.html>

おまわりや検事による好き勝手司法、というのが、現在の捜査の大きな特徴。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7857.html>

醜いといえば、村木事件を決裁した当時の検事総長なんて、いまだに口をつぐ>んでだんまりだもんな。ちゃっかりと大法律事務所の顧問におさまり、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_535.html>

ま、検察庁というのはそういうもの。 RT @amneris84: RT @harada1210: 集団>暴行現場の目撃者がいても、東京地検特捜部岸検事は「嫌疑なし！」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-amneris84-rt-harada1210.html>

特捜系の検事なんて、例外はあるが、大多数は、自己肥大化していて、陸軍、関東軍、といったイメージにだぶる。思い出すだけで吐き気を催す／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8834.html>

情報を共有しない、敢えてさせないのが特捜部型の捜査。全体像を知っているのは主任検事以上。あとは歯車なので、自分のパートだけ知っていればよい／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1231.html>

こちらも愚かだが正直な検事。RT @nakanori930 被疑者の言うとおりに供述録取したら「ヨタ調書とってんじゃねえよ」と修習時代に叱られたことを思い出した／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-nakanori930.html>

ま、やめてしがない弁護士になった者が何を言っても検事の資質向上には結びつかないので、法務、検察の偉い方々でよく考えてほしいもの／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1937.html>

検事やっているときは、特に疑問を感じなかったことも、弁護士、特に、自分のようなしがない弁護士になると、疑問を感じたり、これはひどいなと思ったりすることが多い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3452.html>

村木事件を決裁した検事総長を顧問に迎え続けている大手法律事務所に続いて、検察一大不祥事で引責辞職した検事総長を、どこが迎え入れるのか、見ものだな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8363.html>

自分も、一応、大学教授だが、そう紹介されることはほとんだなく、いまだにＨＥＲＯの監修者と紹介され聴衆がどよめいたりしている。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6385.html>

足利事件の起訴検事が、カメラを振り払いながら歩く姿が写し出されていたが、見苦しかった。きちんと取材に応じたほうが良いということがわからないのか／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8741.html>

その弁護士が、これだけ落ち込んできている以上、検事の給与も下げるのが筋だろうとは思う。その点は裁判官も同様。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5615.html>

つべこべ言うだけでこれだけもらえればやめられない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2086.html>

しかし、法務省も、ヤクザかごろつき同然の検事を、よく刑事局付で置いておくな。こういう奴こそ懲戒免職ものだろう。上田、お前のことだぞ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5753.html>

検事としての栄達の道は閉ざされて、私のような、しがない弁護士として生涯を終えることになっても、それはそれでやむを得ない、という、断固たる決意が必要なはずだった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9551.html>

うまく行けば評価され、失敗しても不問に付されるなら、ブレーキがこわれた車みたいな、イケイケの検事が次々と出てくる。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9728.html>

前田検事の、大学時代の恩師が、人が変わってしまった原因を、検察庁のカルチャーにあるのではないかとコメントしていたのが印象的だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5904.html>

しがない弁護士になって、いまさら、昔話をして自慢するつもりもないが、人間に対して人間として向き合う、という、そういう取り調べができる人材が激減している／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8023.html>

人を幸福にする仕事がしたいという村木氏、証拠品を改ざんしてまで人を不幸に陥れようとした前田検事、勝負はついているな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2596.html>

自分自身も、検察庁にいたとうじは、前田検事的なところがあったから、ああいう検事が評価されたり、それで調子に乗る、その辺の雰囲気は痛いほどよくわかる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2868.html>

女は、一旦、むくれると扱いが非常に難しい。検察庁で女検事なんかの上司にならなくてよかった。（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4773.html>

検察庁にとっては、１０年、１５年やって、評価の低い検事は、組織のお荷物でしかなく、ゴミと一緒。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5031.html>

１０年、１５年と検事をやって、はじめて、自分が軽んじられていることに気づいて、転身を図っても、この厳しい状況下、なかなか難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2587.html>

しかし、振り返ると、検事だけやっていては見えない、人の真の姿とか世の中のいろいろな動きを見ることができたのは収穫だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8749.html>

昔から、「元特捜部検事」の看板でもつのは、やめて５年くらいとも言われている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2121.html>

最近、取材が多いが、検事になって３年目くらいまでは、人前でしゃべることに苦手意識があった。そういう自分があちこちで取材を受けていたりするのは不思議／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5230.html>

司法修習生の時、指導を受けた検事が、検察庁のモットーはいい加減でもいいから早くだ、と言っていて、いい加減じゃまずいのでは、と思ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9577.html>

検事をやっていると、薬物事件を多く取り扱うので、昔は、いろいろな文献を読んだりして、かなり勉強したもの。お塩、酒井のような事件があると、知識、経験などを呼び起こしながら考えるので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5998.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

こちらは弁護士の落合と名乗って代表電話に電話しているのに、何が、おたくさ ま、だよ。失礼な。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_1461.html>

刑法学会で、遠隔操作事件の弁護人の木谷弁護士にも会って、ちょっと話した。 やはり、話題は昨日のメールの件。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_17.html>

昨日の、ブログのアクセス数は88720。ブログの年間アクセス数の、なんと四分 の一強が、一昨日、昨日の2日で、ということになる。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/88720-2.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

TBSの幹部クラスの人から詫びの電話があり出向いてお詫びしたいとのことだっ たが許す許さないという問題でもないしこちらも忙しいので、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/tbs.html>

、といった表面的なところを追い求めるだけでなく、人としての深みや広さを持 てるような、そういうステージを目指したい、目指さなければならないというこ とを感じました／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8686.html>

警察、検察が、楽してネタが欲しい記者クラブメディアを利用して、事件を勧善 懲悪ドラマに仕立てる手法は、まったく駄目とまでは／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2387.html>

情報を、国民に提示していれば、理解のされ方はかなり違っていただろう。なん でもかんでも秘密、秘密、国民は余計なこと知らんでもよい、では済まない時 代／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1897.html>

正しい情報を出さないと、警察、検察は悪いことばかりしている悪逆非道な組織 といった悪印象ばかり肥大しかねない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9728.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

2008年の豊川琢にとって、落合なんて弁護士は、日経様に声かけてもらうだけで 喜べ、という感覚だったのだろう。そうでなきゃ、常識的に考えても、ボツにな った挨拶はするだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2008.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

やりたい放題状態は影を潜めていると言えるでしょう。ただ、そうした体質は、 一朝一夕に改まるものでもなく、その残滓のようなものは今なお各地で残ってい ると見るべきで、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7250.html>

知能犯捜査のレベルが落ちている、というのは、社会内で腐敗が進むことにつな がり、問題だと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3633.html>

世の中、いろいろな意見があるし、見たくなければ見ない自由もあり、ツイッタ ーならブロックもできるけど、よってたかって叩きまくるというのはいただけな いと思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_3091.html>

都知事選に立候補を打診されたら、考えさせてください、と答えることにしよ う。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4041.html>

一大監視国家の誕生だな。→特定秘密保護法:身辺調査１０万人対象 政府、答弁 で明かさず－毎日新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4831.html>

ヤフー辞めて、数年たって復帰、という知人を複数見かけた。自分が検察庁に戻 るなら、検事正かな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6598.html>

検察庁は、あれだけ散々こき使っておいて、辞めた時には、誰も見送ってくれ ず、絶望の検察庁だと思っているのだが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_6119.html>

絶望の裁判所って、直球ど真ん中みたいな、すごい題名だ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_1046.html>

特捜部批判をしながら、元特捜部、という肩書にすがるマスコミにも、日本的な ものを感じる。権威に弱い。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7564.html>

その陰で、重要な問題が見過ごされたり、そのような状態が意図的に作り出され ることで、いびつな、歪んだ世論が形成されたり、といったことには注意する必 要があるような気がします。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_4125.html>

次々取材が来るな。プチ若狭みたいだ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_12.html>

あの程度の人物がNHK会長になってしまう、ということに、日本の国力低下、人 材の払底を感じるし、深刻に捉えざるを得ない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/nhk_27.html>

前にもコメントしたが、自分がブロックするのは、読む価値がない、タイムライ ンが読みにくくなるアカウント。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_612.html>

どこの誰かも分からない人の、読む価値が感じられないツイートを、ブロックせ ずにいちいち読まなければならない理由があったら、後学上／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/01/blog-post_7793.html>

遠隔操作の弁護人の佐藤先生からメールが。内容は秘密。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_1086.html>

自分の悪口を言っていると思って、一発ブロックにかけてからよく読んでみた ら、そうではなく、ほめていることがわかって、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8776.html>

検察庁内部で問題が生じた原因をきちんと究明し、今後の再発防止へと教訓に供 されなければならないと思います。そういうことをほとんどやらないのも検察庁 の伝統的な悪弊です。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_2.html>

浅薄、幼稚な人間の周囲に、同様の人間が群れ集まる、類は友を呼ぶ、だろ う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_4136.html>

政治家が、愚民に吹きまくり、もてはやされる味を覚えると、忘れられなくなる だろう。今は、ツイッターにFacebookで、入れ食い状態だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/facebook.html>

マスコミ関係者に、遠隔操作の件は先生なら何でもわかると思って、と言われて 質問されても困るんだが。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6049.html>

落合弁護士のブログは見ていなかった、とのこと。ちょっと寂しい気が。→【 PC遠隔操作事件】初公判を前に、片山祐輔氏インタビュー／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/pc.html>

落合コメントあり。→ＮＨＫに取り調べ映像提供は「刑訴法違反」 専門家ら「法 改正し柔軟運用を」 - MSN産経ニュース ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/msn.html>

こちらにも落合コメントあり。→検事「こう質問するから」 尋問メモ、贈賄側業 者が語る - 朝日新聞デジタル／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_3784.html>

激しい攻防が予想されるパソコン遠隔操作事件 「無罪判決」が出るためのポイ ントは？／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_711.html>

この事件で「真犯人」を名乗る人物から犯行声明のメールを送られた一人であ り、元検事として刑事事件の捜査の内情をよく知る落合洋司弁護士は、／落合洋 司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_6612.html>

移ろいやすい民意は、時に暴走することもある。そういう誤りに陥らないよう に、無限の力を持っていた憲法制定権力が、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_5714.html>

馬鹿とか間抜けとか愚かとか、そういうツイートにいちいち付き合ってられない ので、即、ブロックだから。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8727.html>

遠隔操作の被告人は、保釈になって特別抗告までされて、今までにない超大物被 告人、ということではある。が、特別抗告はやり過ぎだし、悪い前例にもなると 思う。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_7462.html>

落合の悪口を言っている人がちらほらいるが、怒りというより、頭が大丈夫かと 心配になってくる。知らん人であっても。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_1550.html>

ある警察から聞かれたが、それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるよ うに、作った資料を提出して説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察 庁が動いてくれるはずがない。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8156.html>

マスコミは、ネタを拾って流すのが商売の浮き草稼業だから、上げたり下げたり するものだが、醜いドタバタには辟易する。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_8130.html>

東京高検検事長、くらいなら、頑張れば何とか務まるかもしれないので、必要な ら言ってくれ。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_934.html>

NHKニュースWebに出てくる女のアナは、例の、疑惑の細胞女に似てる気がする。 どちらも、見ると、もう片方を思い出し、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/nhkweb.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_6544.html>

愚民党の支持者やシンパをフィルタリングする仕組みがないか。ブロックする手 がだるい。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_7379.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

弁護士会の選挙で送られてくる、小汚ない写真入りの葉書は、次々と、シュレッ ダーにかけ、極刑に処している。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_6097.html>

ツイッターは、鼻血どころか、脳から血が出て脳自体が溶けかけているようなの が、依然として多いな。ブロック、ブロック。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_14.html>

自分には不要。バシッとブロックして終わり。（笑）→通知せずブロック Twitter新機能／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/twitter.html>

母の愛は深い。→「真犯人でも受け入れる」母の言葉に片山被告涙 : 社会 : 読 売新聞／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_22.html>

結局、警察、検察は正しく間違わない、被疑者、被告人、弁護人は嘘をついて逃 れようとする悪者、といった、刑事ドラマ風の勧善懲悪イメージですり込まれて いるから／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_28.html>

来週金曜日に、上智大学で、IT関係の講演をするのだが、タイムリーな話題であ る、遠隔操作事件を中心に据えるかな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/it.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

インターネットに、過剰な恐怖心を持ってもかわいそうだし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2015.html>

聴講者は、上智大学の外国語学部の女子学生が多いので、あまりハードな話だと 右から左に素通りしそうで難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3405.html>

金曜日に上智大学で講演する際のパワーポイント作成中。遠隔操作事件がメイン の予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5015.html>

今月末で、ブログを始めて丸10年になると思うと、感慨深い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/10.html>

なんで、こんなしがない弁護士に、繰り返しメールを送ってきたのかも、誰か被 告人に聞いてみてほしいな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

警察、検察庁も、江の島の猫の件がなければ被告人の起訴は無理だったろうし、 自力で自白がとれたわけでもなく、結局、被告人の自爆みたいなことによる現状 で／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4227.html>

ボトムからどうやって浮かび上がるか、被告人に真剣に考えさせる、という弁護 が必要になる。これは、なかなかの高度なテクニックを要する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9.html>

遠隔操作の件やアッコにお任せの件などで、ドタバタしていてすっかり忘れてい たが、安物のベンツの試乗は、連休前に連絡したのに、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3015.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

前に、御用学者が、自分のブログか何かの記載に、勘違いもしつつ、文句つける メール送ってきて、警察関係者を知ってるんだとか、いかにも御用学者っぽい言 い草で笑ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7085.html>

目くそが鼻くそを批判。RT @okumuraosaka: 朝日新聞デジタル：検察、大阪府警 の偽証を批判 「極めてゆゆしき事態」 ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/rt-okumuraosaka.html>

今のところ、政界進出の予定はないが、出るなら、比例だけ、ではなく、選挙区 からも出て、地域の人とじっくり話して、丹念に歩いて訴える／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_13.html>

最近は、取り扱う事件で刑事の比率は下がっている。普通の刑事が、ほとんどな い。特殊だったり、有名人だったり。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5829.html>

7月から、芸能、情報系は、マネジメント会社に窓口を一本化することに確定。 アッコにおまかせ的な現象は、多分、なくなるだろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/7.html>

マネジメント会社は、自分のページが出来次第、ブログで告知し、リンクをはる 予定。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8230.html>

所詮はしがない弁護士なので、たいしたことにはならない、とは思うが。ま、や って、リスクがあるようなことではないので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9949.html>

アッコにおまかせ、みたいなのが、うざくまとわりつかないだけでもメリットあ るかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5561.html>

ひとつの転換点で起きたのが、今回のアッコにおまかせ騒動だった。ま、アッコ におまかせのスタッフは、相手が悪かったな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9685.html>

豊川琢に取材受けたりインタビューされる人は、ボツになっても知らん顔で放 置、があり得るから、要注意。ここに被害者？が実在／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1914.html>

お前、人に1時間以上、インタビューして、ボツになって、何も連絡しなかった よな。まだいるのか。もう二度と現れるなよ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/1.html>

それならそれで、うちは医者のケツ舐めて成り立ってる雑誌ですから、くらいの 挨拶は要るわな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3157.html>

実に、失礼な記者だった。ボツになったら挨拶くらいしないと。依頼してきたメ ール探し出してきて晒してやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8163.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

感性とか無神経とかねじれた考え方、といったものに、単に個人攻撃ではなく、 社会の問題として目が向けられる必要があると思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5199.html>

こういう発言が出てくる、人の意識とか考え方のゆがみ、そういう人がごくごく 例外というわけではなくあちらこちらにいる社会、というものにも、問題意識を 持ちつつ厳しい目が向けられなければならない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4824.html>

明日は、司法取引、刑事免責などについて、某マスコミの取材予定。得意分野。 （笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9129.html>

某学会に、取調べの専門家としてコメンテーターで呼ばれた。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_28.html>

法律監修とか、その後、何作かやったが、2001年のHEROは、自分にとっての第一 作だっただけに、印象深い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2001hero.html>

だらだらと一太郎を買う人がいたから、ジャストシステムが存続してしまい、流 出情報大量利用につながってしまった、という見方も／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_11.html>

そろそろ国交断絶かな。→自衛隊発足記念行事 ロッテホテルが突然中止の通告 ＝韓国（聯合ニュース） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6263.html>

ジャストシステムは、時代遅れのワープロソフトを売るだけでなく、流出情報で 世間に多大な迷惑までかけちゃったんだな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2874.html>

イメージが暗いしセンス悪いと思う。→鳥取城キャラ・かつ江さん公開中止 「悲 劇をネタ」の声（朝日新聞デジタル） ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8495.html>

HEROでこけたら、もう後がなさそう。→＜フジ社長＞視聴率低迷で大異動 社員 3分の2の1000人を「2位にしがみつきたい」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/hero-3210002.html>

これは裏目に出そう。→HEROキムタク使命感！「HERO」復活に国も期待、異例の 大臣出席会見(映画.com) ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/herohero-com.html>

安倍ちゃんと信長は、精神構造が似てるのかも。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_463.html>

昨年3月の、自分がやった講演が紹介されている。→遠隔操作ウイルス事件で「誤 認逮捕」が生じた背景を探る／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/3.html>

最近、取材に来なくなったと思っていたら、こんなことに。→フジ「とくダ ネ！」の不妊治療報道、取材先の医院が抗議 「事実と異なるなど重大な問 題」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_16.html>

衆議院解散が近いのか？どこかから出馬するかな。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7091.html>

よく取材を受けていた時期があった。残念としか言いようがない。合掌。→東京 新聞:市川 隆太氏 中日新聞北陸本社報道部長:おくやみ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3560.html>

自分が、秘密保護法や共謀罪について危惧していることが、はずれて現実になら ないことを、ツリーを見るたびに祈っている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_19.html>

いかに共謀罪というのが危険な法律だったか、成立していたら大変なことになっ ていたか、ということもよくわかる記事。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1758.html>

当時の佐賀地検検事正は、公証人にでもなって豊かな老後をエンジョイしている だろうし、次席検事も現職の検察幹部として年収2000万円程度もらって左うちわ で暮らしているだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/2000.html>

検察庁で、職員の家族のことを思いやるような幹部はいないが（口先では思いや るようなことを言っても）、東京消防庁の幹部は、そういう点が行き届いてて、 組織としての質が格段に違う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8360.html>

法務・検察幹部が粛清されて人材が払底した際に、弁護士任官して検事長くらい は務まるように勉強しておかなければ（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8527.html>

検事が、捜査報告書を偽造しても、取調べ中にナイフ出しても不起訴、というこ とでは、相手を殺すくらいしないと起訴されそうにないな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_362.html>

今までは、検事志望者に進路相談されると、こういう優秀な人により組織が立ち 直れば、という観点でアドバイスしていたが、今後は、やめておけ、堕ちるとこ ろまで堕ちるだけだと、止めることにした。本人だけでなく、家族も気の毒 だ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2999.html>

優秀な人間が、間違って検事になって、才能をつぶされたりみじめな法曹人生に ならないように、今後は、徹底してネガティブキャンペーンを展開するかな。本 気でやりはじめたらどこまでやれるか、やってやろうか。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4968.html>

最近は、偉くなりたい、名を上げたい、権力ふるいたいから、成績も良いし検事 任官する、それだけに、エリート意識も強く傲慢にもなりやすくなっている気は する／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4068.html>

検察への信頼が失墜したままの捜査終結だな。失われたものは大きい。→最高 検、田代元検事を不起訴へ 検審議決で再聴取／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1844.html>

今や、弁護士をはるかに凌駕して、一種の「法曹貴族」化しているんじゃないか な。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2769.html>

被疑者、被告人と弁護人との接見状況を記録したノートを、被疑者、被告人から 提出させてコピーをとる、という、ずれ切ったセンスが、既に検事失格だろう な／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6078.html>

検事は高給取りで資金繰りの苦労はわからないし、実経済にも恐ろしく疎いか ら、こういう暴走が始まると危険極まりないだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_986.html>

優秀な人材もなかなか確保できなかった。自分も、今なら検事任官は無理だった だろう。そういう状態が解消された後に、組織の劣化が加速し現状のようになっ ているのは、皮肉なことだと思う／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8816.html>

田舎の警察は、要注意かも。検事正、次席、検事は、腰掛けでいるだけだから、 そういう、やばい可能性には無頓着だし。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8241.html>

弁護士に、房から出るな、と言われても、あの検事さんに呼ばれたら調べには応 じます、と被疑者がやってくるようでないと駄目だろう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6993.html>

遠隔操作事件の警察報告書を読んでいると、それをしみじみと思い出した。事件 の問題点を被疑者が鋭く指摘している。頭ごなしに嘘だと決めつけてはいけな い、ということ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6881.html>

昔々、あるところの地検で、問題のある捜査が行われていて、耐えられなくなっ た若手検事複数が、検事長に電話で直訴した。その検事長は、捜査の神様、と言 われるような、有名な人だった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3428.html>

元検事の弁護士、というだけで、すっきり受理してくれたりするほど、警察は甘 くない。なにせ、動かないのが基本だから。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5982.html>

クローズアップ現代に出ていた美人検事が、可視化されたら、自分がやって成功 した、被害者について涙ながらに訴えて自白を得る、という手法が難しくなる、 という意味の／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9823.html>

検察庁は、巧みに女の検事を使っていて、こういうのに取り込まれるＮＨＫは、 ○○だと思った（伏字部分は想像で入れて下さい）。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5302.html>

あほくさ。→【陸山会事件】検事総長「信頼回復できるよう真摯に努力」 - MSN産経ニュース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/msn.html>

都合の良いときは、検察は一体だから、などと言いつつ、都合悪くなると、末端 の平検事を切り捨てて終わりにする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1938.html>

検事失格、は、田舎の検察庁の話だったが、今度、書かれたら、中枢中の中枢の 話が暴露されてしまう。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3231.html>

虚偽報告書作成検事を、今、ばさっと切ったら、何言い出すかわからないし。検 事大失格、みたいな本書かれても、検察庁は困るだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2365.html>

メディアに出てコメントするような弁護士は、自分のブログなどで、きちんと見 解を述べる程度のことはすべきだと思うな。しがない弁護士がやっている程度の ことが／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_257.html>

検事朝日奈耀子は、検事のあるべき姿を追及していて、共感できるし、見ていて 気持ちが良い。検事指導で関与しているが、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4402.html>

検察庁時代は、汚い場面を無数に見てきたから、今後は、司法修習生や合格者 に、そういう話を思い切りして、検事になんか絶対になりたくない、と思うよう にする／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1299.html>

変な弁護士は、というのは多い。そういうことを知らずに、お金払ってその弁護 士に頼んでいる、というのは、刑事弁護ではよくあること／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6677.html>

ハイハイと従わざるを得ないような、無力な検事であってはいけないし、そうい う、無力さが、冤罪を生むことにもつながる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9904.html>

そういう組織だ、ということは、若手検事や、これから検察庁に入ろうと考えて いる人は覚えておいたほうがよいだろう。それでもやりたければやればよ い。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4669.html>

自分が検事の当時は、弁護士の悪口言って信頼関係の破壊、ということはやって なかったな。むしろ、よく相談して自分で考えて主体的に決めてくださいという スタンス／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5781.html>

毎日、ごろつき同然に、被疑者を脅し、恫喝し、机叩き、大声はりあげている検 事も、哀れな存在ではある。こんなはずじゃなかったと思っている人もいるだろ う。権力の走狗状態だな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3440.html>

嘘つきは泥棒の始まり、と言われてきたものだが、これからは、嘘つきはおまわ りや検事の始まり、と言わないと。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7433.html>

供述調書とれば一丁上がり、と考えていない検事がいればお目にかかりたいもの だな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9699.html>

検事が取り調べで大声で暴言吐きまくり、被疑者が獄中でノートにそのことを書 き綴り、接見で弁護士にも訴え、裁判所も、一定程度で認定していても、検察庁 は／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6034.html>

おまわりや検事による好き勝手司法、というのが、現在の捜査の大きな特徴。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_7857.html>

醜いといえば、村木事件を決裁した当時の検事総長なんて、いまだに口をつぐ>んでだんまりだもんな。ちゃっかりと大法律事務所の顧問におさまり、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_535.html>

ま、検察庁というのはそういうもの。 RT @amneris84: RT @harada1210: 集団>暴行現場の目撃者がいても、東京地検特捜部岸検事は「嫌疑なし！」／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-amneris84-rt-harada1210.html>

特捜系の検事なんて、例外はあるが、大多数は、自己肥大化していて、陸軍、関東軍、といったイメージにだぶる。思い出すだけで吐き気を催す／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8834.html>

情報を共有しない、敢えてさせないのが特捜部型の捜査。全体像を知っているのは主任検事以上。あとは歯車なので、自分のパートだけ知っていればよい／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1231.html>

こちらも愚かだが正直な検事。RT @nakanori930 被疑者の言うとおりに供述録取したら「ヨタ調書とってんじゃねえよ」と修習時代に叱られたことを思い出した／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/rt-nakanori930.html>

ま、やめてしがない弁護士になった者が何を言っても検事の資質向上には結びつかないので、法務、検察の偉い方々でよく考えてほしいもの／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_1937.html>

検事やっているときは、特に疑問を感じなかったことも、弁護士、特に、自分のようなしがない弁護士になると、疑問を感じたり、これはひどいなと思ったりすることが多い／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_3452.html>

村木事件を決裁した検事総長を顧問に迎え続けている大手法律事務所に続いて、検察一大不祥事で引責辞職した検事総長を、どこが迎え入れるのか、見ものだな／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8363.html>

自分も、一応、大学教授だが、そう紹介されることはほとんだなく、いまだにＨＥＲＯの監修者と紹介され聴衆がどよめいたりしている。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_6385.html>

足利事件の起訴検事が、カメラを振り払いながら歩く姿が写し出されていたが、見苦しかった。きちんと取材に応じたほうが良いということがわからないのか／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8741.html>

その弁護士が、これだけ落ち込んできている以上、検事の給与も下げるのが筋だろうとは思う。その点は裁判官も同様。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5615.html>

つべこべ言うだけでこれだけもらえればやめられない。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2086.html>

しかし、法務省も、ヤクザかごろつき同然の検事を、よく刑事局付で置いておくな。こういう奴こそ懲戒免職ものだろう。上田、お前のことだぞ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5753.html>

検事としての栄達の道は閉ざされて、私のような、しがない弁護士として生涯を終えることになっても、それはそれでやむを得ない、という、断固たる決意が必要なはずだった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9551.html>

うまく行けば評価され、失敗しても不問に付されるなら、ブレーキがこわれた車みたいな、イケイケの検事が次々と出てくる。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9728.html>

前田検事の、大学時代の恩師が、人が変わってしまった原因を、検察庁のカルチャーにあるのではないかとコメントしていたのが印象的だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5904.html>

しがない弁護士になって、いまさら、昔話をして自慢するつもりもないが、人間に対して人間として向き合う、という、そういう取り調べができる人材が激減している／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8023.html>

人を幸福にする仕事がしたいという村木氏、証拠品を改ざんしてまで人を不幸に陥れようとした前田検事、勝負はついているな。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2596.html>

自分自身も、検察庁にいたとうじは、前田検事的なところがあったから、ああいう検事が評価されたり、それで調子に乗る、その辺の雰囲気は痛いほどよくわかる／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2868.html>

女は、一旦、むくれると扱いが非常に難しい。検察庁で女検事なんかの上司にならなくてよかった。（笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_4773.html>

検察庁にとっては、１０年、１５年やって、評価の低い検事は、組織のお荷物でしかなく、ゴミと一緒。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5031.html>

１０年、１５年と検事をやって、はじめて、自分が軽んじられていることに気づいて、転身を図っても、この厳しい状況下、なかなか難しい。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2587.html>

しかし、振り返ると、検事だけやっていては見えない、人の真の姿とか世の中のいろいろな動きを見ることができたのは収穫だった。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_8749.html>

昔から、「元特捜部検事」の看板でもつのは、やめて５年くらいとも言われている。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_2121.html>

最近、取材が多いが、検事になって３年目くらいまでは、人前でしゃべることに苦手意識があった。そういう自分があちこちで取材を受けていたりするのは不思議／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5230.html>

司法修習生の時、指導を受けた検事が、検察庁のモットーはいい加減でもいいから早くだ、と言っていて、いい加減じゃまずいのでは、と思ったことがあった／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_9577.html>

検事をやっていると、薬物事件を多く取り扱うので、昔は、いろいろな文献を読んだりして、かなり勉強したもの。お塩、酒井のような事件があると、知識、経験などを呼び起こしながら考えるので／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_5998.html>

ストーカーに殺されそうでもなかなか助けてくれない警察が、犯罪ですらない、 家出人の捜索を綿密にやっているはずがない、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_13.html>

こちらは弁護士の落合と名乗って代表電話に電話しているのに、何が、おたくさ ま、だよ。失礼な。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_1461.html>

刑法学会で、遠隔操作事件の弁護人の木谷弁護士にも会って、ちょっと話した。 やはり、話題は昨日のメールの件。／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/blog-post_17.html>

昨日の、ブログのアクセス数は88720。ブログの年間アクセス数の、なんと四分 の一強が、一昨日、昨日の2日で、ということになる。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/05/88720-2.html>

遠隔操作事件で浮き彫りになった問題、と考えると、次々出てくる。上智大学外 国語学部にはハードル高いかも。笑／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4481.html>

TBSの幹部クラスの人から詫びの電話があり出向いてお詫びしたいとのことだっ たが許す許さないという問題でもないしこちらも忙しいので、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/tbs.html>

、といった表面的なところを追い求めるだけでなく、人としての深みや広さを持 てるような、そういうステージを目指したい、目指さなければならないというこ とを感じました／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_8686.html>

警察、検察が、楽してネタが欲しい記者クラブメディアを利用して、事件を勧善 懲悪ドラマに仕立てる手法は、まったく駄目とまでは／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_2387.html>

情報を、国民に提示していれば、理解のされ方はかなり違っていただろう。なん でもかんでも秘密、秘密、国民は余計なこと知らんでもよい、では済まない時 代／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_1897.html>

正しい情報を出さないと、警察、検察は悪いことばかりしている悪逆非道な組織 といった悪印象ばかり肥大しかねない／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9728.html>

良くも悪くも、事件の劇場化は進むし、人々は、インターネットも通じて、膨大 な情報に接する。情報は出さなければ出さないほど良い、出すのは、無味乾燥な ものとリークだけ／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5571.html>

遠隔操作事件通じて思うのは、警察、検察庁が、従来の都合良い情報だけつまみ 食いでリークしてマスコミに書かせる情報操作型のリリース／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_5865.html>

暴力団と通じて情報垂れ流し、賄賂もらい放題、被害者や弁護士が事件相談に行 っても面倒だからと追い払い、という警察では、誰も信用しないし、堕ちるだ け／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_4770.html>

それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出し て説明したからなのだよ。降ってわいたみたいに検察庁が動いてくれるはずがな い。（苦笑）／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_9217.html>

2008年の豊川琢にとって、落合なんて弁護士は、日経様に声かけてもらうだけで 喜べ、という感覚だったのだろう。そうでなきゃ、常識的に考えても、ボツにな った挨拶はするだろう／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/2008.html>

アッコにおまかせの馬鹿スタッフは、聞いたことには協力するのは当たり前、ど う使うかは聞いたほうの勝手という意識があるようで、こちらに仕方なく答えさ せておき、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_3284.html>

やりたい放題状態は影を潜めていると言えるでしょう。ただ、そうした体質は、 一朝一夕に改まるものでもなく、その残滓のようなものは今なお各地で残ってい ると見るべきで、／落合洋司弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/06/blog-post_7250.html>

Twitter / 検索 - "田んぼ" from:yjochi <https://twitter.com/search?q=%22%E7%94%B0%E3%82%93%E3%81%BC%22%20from%3Ayjochi&src=typd>

上記の方法で調べましたが、6件が見つかりました。以前記事にしていたように思っていたのですが、見当たらなかったので、3件を記事にしておこうかと思います。とりわけ印象に強いツイートだったのでよく憶えています。

投稿のし損ないがあったので、一つモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の記事が交じります。

フォロワーが増えて来ると、馬鹿も増えて、ブロックするのが面倒。田んぼの草 取り感覚。／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_39.html>

時々、ツイッターやブログに、くだらないコメントがつくので、田んぼの草取り のように、ブロックしたり削除したりしている。笑／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_79.html>

表面的な数字を自分に都合よく解釈するという悪癖がここにも表れてますね。 RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt.html>

田んぼの草取り感覚で、有象無象をブロック中。手がだるい。／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_4.html>

何度か書いていることだと思いますが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイッターアカウントでは、私の３つのツイッターアカウントの全てをブロックされています。解除されたという確認はしていませんが、見てきたところの性格的にも解除はまずないと思っていますし、いまさらのことです。

時刻は23時07分になっています。夕食はまだです。今日も遅くなっています。テレビではハワイでのビキニの試着を見ていましたが、試着した後、買わなかった商品をどうするのか気になりました。洗濯しているとも考えにくかったですが、そうなれば事実上、肌着の使い回しにもなりそう。

時刻は6時32分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-02 土 06:33> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月2日

<2014-08-02 土 06:41> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜は落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートや発言をご紹介しました。本当に必要な記載になるのか迷うところもありましたが、私が見て体験してきた刑事司法の世界の一面としても理解していただく必要があるように思いました。既に浸透済みの社会的影響を含めて。

私の刑事司法に対する不信は、制度的、歴史的に根深いものになっていると思います。実際に人生を、生活を左右する問題だと思って関わってきたつもりです。一部の弁護士から見れば、ど素人ということにしかならないのかもしれませんが。

昨夜作ったブログの記事の一覧ファイルから、素人をキーワードに該当する記事をご紹介してから、次に進みたいと思います。

素人が生半可な刑事訴訟法の知識で警察官に強気で対応すると事態をこじらせる 場合が多い。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/04/blog-post_9171.html>

朝の忙しい時間帯に、十分単位で何で応えられないんだと素人相手に凄んでいる 弁護士を見るとゆとりのなさを感じるね。／小倉秀夫弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/blog-post_3917.html>

PC遠隔操作事件でPCやプログラム解析の警察関係の証人は、ど素人である裁判官 に理解してもらおうと、スライドを使用し／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/pcpc.html>

素人は記事に書いてあることしか判断の基礎にできない。プロは、記事に書いてある事実の前提になっている事実や推測できる事実をも基礎にして判断できる。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/03/motokentw.html>

素人が専門領域に関する嘘をつくと、専門家から見ればすぐにばれる。／矢部善 朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_7134.html>

弁護士というのは、考え方の違いがとても大きい。穏健派と武闘派がいる。そし て厄介なことに、どっちが自分の望む結果をもたらしてくれるか、素人にはよく 分からない。／矢部善朗弁護士 <http://bit.ly/1ofAcN3>

プロにとっては当たり前のことが、ド素人さんには異常に見える、かも知れない な。バイアスを割り引いても。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_1450.html>

以前にも書いたけど、プロと素人の判断や意見の違いは、プロの方が圧倒的に多 くの情報を処理した結果であること。／矢部善朗弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/02/blog-post_8.html>

ここ半年ほどの間になるでしょうか、これまでの刑事裁判の歴史、認識を根底から揺さぶるような刑事事件、刑事裁判が出たと思います。それは社会の変化を反映した上での結果であったのかもしれません。

自分の立場としても考えさせられる参考にもなる問題であって、疑問に思うことなどはかなり力を入れて調べたつもりです。普通には触れただけで通りすがるような問題かもしれません。そういうことができるようになったのもネット社会の発達の恩恵だとは思いますが、圧倒的な情報量に流されがちでも。

Twilogで探しだしました。次のツイートです。

Twitter / hironohideki: 袴田事件で「無罪の証拠」 死刑確定判決と矛盾する証言が浮上 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/402397980164386816>

袴田事件で「無罪の証拠」 死刑確定判決と矛盾する証言が浮上 <http://ow.ly/qVnRU> 得意げな右3人は弁護士かと。端から検察や裁判所の責任にすればよいという気構えで仕事をやっているのでしょう。弁護士のいい加減さも際だっているように思えます。刑事弁護の疎通。

リンク先の記事が残っていましたが、私のツイートの内容からもあったと思われる弁護団の写真はなぜか消えているようです。ありのままの姿ということで、スクリーンショットを撮りました。画面一つに収まらなかったので2つになります。時刻が違うはずです。

2014-08-02-073148袴田事件で「無罪の証拠」　死刑確定判決と矛盾する証言が浮上.jpg pic.twitter.com/UajFOWTwpJ

2014-08-02-073222袴田事件で「無罪の証拠」　死刑確定判決と矛盾する証言が浮上.jpg pic.twitter.com/cVVnbvF0d4

同じ社員寮だった同僚２人が事件当時、県警の事情聴取に「サイレンを聞いて部屋を出ると、袴田（死刑囚）が後ろからついてきて、一緒に消火活動をした」と話していたことが１７日、弁護団への取材で分かった。 <http://ow.ly/zRssl>

上記はHootSuiteというアドオンで、範囲選択した部分をツイートというかGoogle+ページも含めているのでSNSに投稿したものです。恒例にもなっている３つのアカウントの同時投稿です。HootSuite特有の短縮URLになっています。

2014-08-02-074733\_「一緒に消火した」　袴田事件、元同僚２人証言.jpg pic.twitter.com/OZ5mc3vK84

上記が引用した記事のスクリーンショットです。ツイート数とFacebookの数が出ているので、こういうのも社会的な反響として参考になると思います。

ツイートボタンの横の数字にマウスポインターを持って行くと、ポップアップで「このページは56回共有されました。これらのツイートを見る。」と表示されました。多くない数字というのは一般的な認識かと思います。

（引用→）確定判決では、事件直後に袴田死刑囚を見た者はいないとしていただけに、この証言がきっかけとなって再審が開かれる可能性が出てきた。静岡地検が今年7月に開示した証拠130点の中に含まれていたという。 <http://ow.ly/zRtX6>

上の行は、初めHootSuiteから投稿したものですが、続けてAPIからも投稿してしましました。内容は同じだと思いますが、投稿に使ったAPIが異なるとTwitterはエラーを出さないのかもしれません。

袴田事件の再審開始決定があったのは今年の3月27日になっていましたが、上述の引用記事は昨年の11月18日となっていました。自分の記憶の感覚としては3ヶ月ほど前だったのですが、実際は5ヶ月ほど前だったようです。

その2013年11月18日付記事を読んだ時、私は長年の悪天候の曇り空で、厚い雲の切れ間から差し込む光を見たような気持ちになりました。やはりこれが刑事弁護の正体だったのかと思ったからです。

袴田事件といえば、著名な再審請求事件として私が再審請求をするようになってから知っていたと思います。具体的に言えば福井刑務所に受刑していた頃なので平成6年から平成8年ころのことです。

それ以前の再審請求事件としては、免田事件などを知っていましたが、一時期テレビで盛んに取り上げられていた記憶があるからです。昭和の終わり頃だったように思いますが、その頃には袴田事件というのも、知られていなかったように思います。

古い味噌工場や元ボクサーの写真とともに紹介されることが多く印象に残る事件であったとは記憶しています。自分自身が再審請求という刑事手続をやっていたので、関連した情報は貪るように読んでいた時期であったと思います。

冤罪という言葉を意識するようになったのは福井刑務所にいたころで、平成7年ころだったと思いますが、その頃でも冤罪というのは普通に新聞やテレビで見るような言葉ではなく、一般的には知られていなかったようにも思います。

他に憶えていることといえば、平成5年9月7日の名古屋高裁金沢支部の判決が出た直後、問題を起こして保護帽に入れられ、そのあと25日の懲罰を受けたのですが、懲罰が決まる前には懲罰会議とかいう軍法会議のようなものがありました。

その懲罰会議の直前に、弁護人役のような刑務官が舎房の前に来て、言い分を聞き取るようなことがあったのですが、裁判の不服に対しては、他に争っている人も沢山いて中には死刑になりかけた人もいる、というような話をしていたことがありました。

教育的な目的があったのかどうかもわかりませんが、ふざけた漫才師のような振る舞いにも思えるもので、しかたない、しかたない、とか繰り返していたようにも記憶しています。とにかくなだめて穏便に進めようというのが、その刑務官のいつものスタイルのようにも思えましたが短い時間でした。

袴田事件 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A2%B4%E7%94%B0%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

時間ももったいないので、ざっと目を通しましたが。2008年に第一次再審請求が終了し、第二次再審請求を始めたようです。既にインターネットが浸透した社会になっていたはずですが、わりと頻繁に情報に接するようになったのは、それ以降とも思われます。

日弁連が支援をしているということもテレビなどで知っていましたが、次の部分は知らなかったです。

（引用→）1981年から日本弁護士連合会（日弁連）が人権擁護委員会内に「袴田事件委員会」を設置し弁護団を支援する。 <http://ow.ly/zRQQK>

特定の事件に弁護士会が、委員会を設置したというのは今まで聞いたことがなかったか、テレビならば聞き逃し、新聞など活字の媒体であれば見落としていたことになりそうです。日弁連が最強の布陣で臨んだ冤罪事件という印象も受けます。

さきほど紹介した2013年11月18日付の元同僚2人の証言ですが、社会の耳目を集めた今年3月の再審開始決定では、私の知る限りとくに言及もなかった部分かと思います。弁護団としては最後の切り札という思いもあったのかもしれませんが、裁判所の判断は別のところにあったと思います。

袴田事件の再審開始決定、釈放へ　証拠「捏造の疑い」：朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/articles/ASG3K6R2XG3KUTPB01C.html>

ざっと目を通したところ、上記の割と詳細な記事でも見当たらなかったのですが、念の為、ページ内検索で「同僚」「証言」を調べましたが、やはり該当はなかったです。

弁護団にすれば、検察側から開示された新証拠を、証拠隠しとして世間にアピールしたかったのかもしれません。実際、そのように受け取った人も世に中にはいるのかもしれません。

実際に刑事弁護を経験したという経験も私には大きかったのかもしれません。その記事を読んだ時、私は歴史の大きな歯車が軋みを見せたように思いました。

最近では再放送でもない限り、ほとんど見かけていないと思いますが、以前テレビの2時間ドラマで弁護士が主役の場合、人助けで事件の解決をやりながら旅行をするというパターンが多かったと思います。水戸黄門的な要素が強かったとも言えそうです。

特に印象に残っているのが福井刑務所にいるときに見たドラマでした。主役の弁護士役が、林隆三かあるいは古谷一行だと思っていて、さきほどWikipediaで調べたのですが、その時期にそれらしい2時間ドラマの出演は掲載されていませんでした。全てを網羅しているわけではないのかもしれません。

福井県の若狭の方の海に近いホテルであったことも印象に残っているのですが、ホテルというより大きな海鮮旅館という感じでもありました。ドラマの内容も全く憶えていませんが、旅費も持ち出しのはずなのにずいぶんとくつろいだ様子であった場面が、私の頭に焼き付いています。

時刻は21時28分になっています。夕方はAコープ能都店に寄って全品半額になっていたアイスクリームでアイスを一つ買って食べてから銭湯に行ってきました。アイスは64円だったかなと思います。

夕食はまだです。広島風お好み焼きを作る予定です。材料は、今日の昼頃、どんたく宇出津店で買ってきました。テレビはスキー場が舞台の2時間ドラマをつけていますがほとんど見ていないです。今夜は情報番組がお休みのようで残念です。

先ほど見たツイートが印象的で頭の中で響いています。ブログの記事にしました、併せてスクリーンショットもご紹介します。

やはり逮捕直後に弁護士が付いていたら勾留請求をさせず、或いは却下させるこ とも可能だったケースのようですね・・・女性器3Dデータ事件 「ろくでなし 子」が警察の“ウソ”を激白／櫻井光政弁護士 <http://bit.ly/WSJOnp>

2014-08-02-212702やはり逮捕直後に弁護士が付いていたら勾留請求をさせず、或いは却下させることも可能だったケースのようですね.jpg pic.twitter.com/tQhzTWhoOq

前にも触れていると思いますが、平成11年の傷害事件での上告審の国選弁護人、山口治夫弁護士（東京弁護士会）のことを決まって思い出します。法律事務所の住所が同じ東京都渋谷区桜丘町ということもあります。

手紙には「国選弁護の範囲外」と書いてありましたが、思えばもっともましな弁護人だったとも思います。最低限の常識は弁えていたように思えるという点でも。

今夜は8月の第一土曜日ということで、金沢市では犀川祭りの花火大会だと思います。平成11年の傷害事件を起こす前日の夜にも被害者AAさん宅を訪れ、金沢中警察署に行くという騒ぎにも発展しましたが、車で向かうときに犀川祭りの花火大会をやっていて、道が混んでいたことを憶えています。

今年は平成26年のはずなので、単純に計算すると15年前ということにもなりそうです。いずれまた本書において、触れる、言及する機会があると思います。

時刻は23時54分です。まもなく日付も変わりますが、先ほど見たモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートを記事にしたものをご紹介しておきます。

世の中の出来事に関する因果関係の基本的な考え方を知らない人がかなりいる現 状（知らずにジャーナリストを自称するなんて何の冗談かと思うのだが）を見る につけ、／矢部善朗弁護士 <http://bit.ly/1ksRWp6>

時刻は0時54分で日付が変わっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-03 日 00:55> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月3日

<2014-08-03 日 00:56> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

日付が8月3日になったということで、改めて思ったことですが、金沢地方裁判所で原判決を受けてから22年の歳月が流れたことになります。

ついさっきですが、小倉秀夫弁護士の気になるツイートを発見したので、ブログの記事にしました。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 依頼していただかないと動けませんよ。RT／小倉秀夫弁護士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/08/rt_3.html>

2014-08-03-010037依頼していただかないと動けませんよ。RT.jpg pic.twitter.com/PkXhgbcWkh

上記の通りスクリーンショットも記録しました。私の返信が反映されています。このツイートだけ見てもはっきりしないのですが、佐世保女子高生殺害事件を指す可能性は高いと思われます。

▶ 長崎・佐世保同級生殺害事件の報道と刑事司法に携わるジャーナリストと弁護士のツイッターでの反応の記録＿2014年07月29日09時42分27秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=uv_xzHDhI7c> 再生回数160回

上のURLにあるように動画として記録しておきましたが、たまたまなのか小倉秀夫弁護士のツイッターアカウントの場面がサムネイルになっていました。報道当初から関心を持ち情報を収集して分析したとは、到底思えないところです。

弁護士としての万能感がしからしむところなのかもしれませんが、それで人様の人生を左右するような問題に関わり、報酬を受けて機会を使い切るというのは、まったくどうかと思いますし、いかれた神主の泥棒神社かと弁護士業界を分析、評価するところです。

21:53 - 2014年8月2日、というツイートの投稿日時を確認しましたが、私が目にしたのはついさきほど、日付も変わっていたはずです。山口治夫弁護士（東京弁護士会）に言及するよりはるか前ですが、国選弁護の範囲外と言われながらも、あらためてずいぶんとましだったかとも思えました。

小倉秀夫弁護士に関しては国選弁護、国選弁護人という制度的なテーマで、超絶的な見識、意見をツイッター上で表明してくれた弁護士でもあります。私のブログでの主にツイートの記事は、歴史的記録、歴史絵巻のような意味を持つと考えていますし、その方向に向けて編綴しております。

歴史絵巻と書きましたが、時代絵巻と表現したほうが良さそうです。私が思う弁護士、ジャーナリスト列伝、という意味合いもあると思います。偏らないため、一見まっとうと思えるようなものも含めて記録はしております。その方が全景も示しやすいと思うからです。

時刻は8時49分になっています。蒸し暑く寝苦しい夜で、おまけに蚊に刺されて夜明け時分に目がさめたりもしましたが、7時45分ぐらいに起きました。

小倉秀夫弁護士の主に国選弁護に関するツイートをどのように集めて、ご紹介しょうかと思案していたところ、とても大きな問題を含む弁護士の発言を見つけ、とりあえず記事にしました。関連した３つの私のブログ記事を先にご紹介しておきたいと思います。

依頼していただかないと動けませんよ。RT／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_3.html>

問題は、加害者の実名に限らない。「書き込んだ本人には、その内容によっては 法的な責任が発生する」と警告するのは、ネット上の名誉毀損（きそん）問題に 詳しい深澤諭史弁護士だ。／深澤諭史弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_38.html>

こちら，コメントを寄せさせて頂きました。／深澤諭史弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_90.html>

無思慮な書き込みがもたらす落とし穴を取材しました,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_82.html>

国選弁護、やらなくていい？RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_76.html>

小倉秀夫弁護士のツイートを記事にしたものも一つ混じっていますが、これは深澤諭史弁護士がリツイートした小倉秀夫弁護士のツイートです。

時間的にももっと前になりますが、佐世保女子高生殺害事件に関する谷山智充弁護士のツイートを記事にしたものもあわせてご紹介しておきます。

「逮捕された同級生の父親の弁護士から謝罪したいという申し入れがあった」こ こでいう「弁護士」って代理人弁護士？それとも？／谷山智光弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_3.html>

小倉秀夫弁護士の国選弁護に関する発言をまとめてから次に進もうと思っていたのですが、その矢先、HootSuiteのリストのタイムラインで小倉秀夫弁護士の看過しがたいツイートが目に入ってので、そちらをブログの記事にしました。

HootSuiteについてはこれまで何度か書いていると思いますが、なんのことかさっぱりという人もいるかと思いますので、ふだん使っているタブとは違いますが、スクリーンショットでご紹介しておきたいと思います。

2014-08-03-092149\_　HootSuiteのタイムライン.jpg pic.twitter.com/LIjUIPUJ6t

非常に重く見る発言内容であり、当面これを軸に関連した問題を、私の事件の本体を含めて言及したいと思いますので、ツイートの本体とスクリーンショットも掲載しておきたいと思います。

2014-08-03-093502プライバシーがマスメディアによって蔑ろにされる危険の高い事件では、.jpg pic.twitter.com/GcYPuYkqFW

2014-08-03-091222メディアコントロールのために、早期に弁護士を雇った方がいいよね。.jpg pic.twitter.com/as30LTL6oE

Twitter / HideoOgura: 被害者やその家族のプライバシーがマスメディアによって蔑ろにさ … <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/495721829932081152>

被害者やその家族のプライバシーがマスメディアによって蔑ろにされる危険の高い事件では、被害者側も、メディアコントロールのために、早期に弁護士を雇った方がいいよね。

被害者やその家族のプライバシーがマスメディアによって蔑ろにされる危険の高 い事件では、被害者側も、メディアコントロールのために、早期に弁護士を雇っ た方がいいよね。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_42.html>

今、今朝の北陸中日新聞を開いたところですが、「佐世保殺害生徒の父書面」という見出しの記事があって驚きました。まだネットでも見かけていない報道であり、8時前からずっとつけているテレビでも見てはいません。これから読むところです。

【佐世保・高１女子殺害】「決して許されぬ行為」少女の父が謝罪 - MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140803/crm14080310000004-n1.htm?utm_medium=twitter&utm_source=twitterfeed>

上記のようにネット上のニュースとしては取り上げられていますが、テレビではみていないです。10時から始まったサンデージャポンでもサンデーモーニングと同様に番組冒頭からこの佐世保の事件を流していましたが、触れてはいなかったと思います。

「夫婦で最大限のことをしてきたが、私の力が及ばず、誠に残念」とのことですが、既に報道されている情報からも、納得する人がいるとは思えず、神経を逆なでするようにも思えます。

友人の弁護士を通じて取材に応じ、書面にしたものということです。謝罪のプロとも言えそうな弁護士を生業にしているはずですが、四面楚歌のような状況下にあるはずなのに、理解に苦しむ対応です。なお、北陸中日新聞では共同通信の取材と書いてありました。

理解に苦しむという部分は、得体のしれない違和感と言い換えても良いですが、これまで私が実際に出会い、話をし、対応を受けた弁護士にもおしなべて共通するものがあると思います。私の頭では表現するのも難しいですが、折りにふれて事実に則した説明も行っていく予定でいます。

時刻は15時01分になっています。午前中にご紹介した深澤諭史弁護士がコメントを寄せた毎日新聞の記事ですが、先ほど2ページ目があることに気が付き、その2ページ目の一部を引用してブログの記事にしました。

義憤に駆られ書き込んでも、外に向かって表現すれば相応の責任が発生する。人 の名誉に関わる情報を気軽に広めてはならない。情報発信をするなら正しい法律 の理解が必要だ」と警告している／深澤諭史弁護士 <http://bit.ly/1s0K6oQ>

情報発信するなら正しい法律の知識が必要と書いてあります。流れとしては法律の専門家である弁護士に任せなさい、ということになるのかとも思いますが、果たしてその弁護士がどれほど信用できて頼りになるのかも疑問です。

ネット上の誹謗中傷のみを問題にしているようにも見えなくはないですが、その解釈も専門家である弁護士にお任せあれ、と言っているように聞こえます。ネット上の表現行為そのものに弁護士特有の論理をかぶせ、社会的な支配力を強めようとしているようにも思えます。

数年前の光市母子殺害事件における刑事弁護のあり方として、安田好弘弁護士を擁護していた弁護士に特有の独善的論理を感じました。考えてみると今回も対象は少年犯罪です。

子供に同じような犯罪を起こさせない、被害にあわせたくない、というのはごく当たり前の反応でもあるはずです。本来、よりよい対策、対応につながるのは質の高い多くの情報のはずかと思いますが、弁護士はそれさえも独占的に奪い取り、都合よく仕立て直して与え、押し付けようとするかのようです。

プライバシーの侵害を野放しにしていよいはずはないことですが、事件の大きさと影響を考えると、深澤諭史弁護士の論理と主張は素人相手に不安と動揺を与え、いたずらに混乱を与えるばかりではなく、挑発的に問題を煽りつけるような含みすら、疑いたくなります。

光市母子殺害事件差戻審判決 - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2008/04/23-115444.php>

光市弁護団のどこが気にいらないか。 - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2007/10/12-013240.php>

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログの記事を探しだして読んでみました。本当はほかにもいっぱいあるし、そのすべてではないにせと相当の数のコメントに目を通さなければ正しい理解ができないなどと、批判的なコメントを向けてきた相手に対して応じていたことも思い出します。

安田好弘弁護士を痛烈に批判するというスタンスをとりながら、刑事弁護に対する正しい理解のようなものを押し付けているように私には思えてならず、何度かコメントを書き込んだりもしましたが、そのうち完全に無視されるようになり、他のことがきっかけで不適格者のような烙印を押され排除されました。

この「元検弁護士のつぶやき」というブログですが、以前にも書いたとおりずいぶん前から停止状態になっており、停止の理由も調べても見つからないものでした。ネットでの情報発信そのものをやめたわけではなく、Twitterでは活発に発言を続けています。

元検事の弁護士という紹介での情報発信という点は同じですが、ブログの頃とTwitterではずいぶんと大きな違いがあります。現在でもWordPressでしたが、個人ブログを持っているものの、ほとんど更新はしていないようです。

以前のブログの頃は、お題のような記事をソースを引用しながら批評を行い、それに多数のコメントが寄せられて、議論が盛り上がるというスタイルでした。具体的な雰囲気を掴んでいただくためにスクリーンショットを一つ作成しました。

2014-08-03-154202\_　モトケン　（2008年4月23日　11：54）　｜　コメント（94）　このエントリーを含むはてなブックマーク.jpg

意外に思ったことですが2008年になっています。私のコメントも一つ見つけたのですが、どうやら同じ年の6月に、コメント欄から締め出しをくったことになりそうです。私のコメントというのは次のものです。

2014-08-03-160200No。19　廣野秀樹　さん　｜　2008年4月24日　00：08.jpg pic.twitter.com/O9GK3bAYNk

日テレの社員が安田好弘弁護士ら弁護団に記者会見の締め出しを受けていた、というのもすっかり忘れていたことですが、勝手に被告人と面会したか、面会の内容を弁護団に知らせなかったのが、締め出しの原因となったようです。

光市母子殺害事件 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%89%E5%B8%82%E6%AF%8D%E5%AD%90%E6%AE%BA%E5%AE%B3%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

時期の確認を含めて上記Wikipediaで調べてみたのですが、2008年4月に間違いはなさそうです。2012年3月1日に死刑判決が確定していたというのも意外でした。まだ2年半経っていないことになりそうですが、5年以上前の事のように思っていました。

次にモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の現在の姿を、ツイートを引用したブログの記事としてご紹介しておきたいと思います。

ツイッターの場合、文字数の制限も大きいので対象箇所を明示した上での批評というのも難しいのかもしれませんが、とにかく抽象的でさっぱりわかりません。批判の対象者は2名、国語教師の方は夫婦揃っての批評の的ということもあります。

自分は間違っていない、という絶対的妄想の持ち主には、そういうことを期待す るほうがバカなんだろうな／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_18.html>

自分には議論の前提となる知識や理解が不足しているのかも知れない、という自 覚がない人は、まともな議論ができない／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_77.html>

ギャラリーが楽しい、というのは無視できない要素www／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/www.html>

誰のことか特定すればいいのに。特定すると返ってくる反論が怖いのか な？RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_17.html>

適切ないし的確な反論ができない、というのは議論のスキルが低いというこ と。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_5.html>

レッテル貼りをする人間に、まともな議論ができる人はいない。／矢部善朗弁護 士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_10.html>

批判という言葉を粘着にすり替える人に、反省とか学習とか向上とかを期待して も無理だな。／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_95.html>

竹野内さんより絶対幸せだと思います。よく似た二人ですが、その違いはどこか らくるのか？RT／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_33.html>

世の中の出来事に関する因果関係の基本的な考え方を知らない人がかなりいる現 状（知らずにジャーナリストを自称するなんて何の冗談かと思うのだが）を見る につけ、／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/XuCb6H>

最もひどい嫌がらせ、または最も有効は脅迫手段はなんだと考えているんでしょ うね。それが分かっていれば竹野内氏に忠告してあげるのが本当の支持者だと思 いますよ／矢部善朗弁護士,<http://bit.ly/1uboTqg>

自分の考え方とは違う考え方を理解できない人というのは、頭が悪いのか性格が 悪いのか、どっちだろう？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_71.html>

特定の対象を継続的に批判すると、よく粘着していると言われるのだが、だった ら共産党は自民党に粘着しているのだろうか？／矢部善朗弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_52.html>

しばらくやんでいた時期もありましたが、再燃したらしく、同じことの繰り返しとも思えるこの手のツイートが多いです。いずれももともとは原発事故での放射能汚染問題から始まったようですが、それさえモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートだけでは理解が困難です。

やたらと議論、反論、批判という特定の言葉が繰り返し登場するのも特徴です。もともと根拠のはっきりしないとか多義的解釈があるとか、評価の分かれる問題に限って、思う存分の主張をツイッター上に展開しているようです。

既に取り上げているとも思いますが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでは、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）自身の発言も私に対して厳しいものがありましたが、極めつけはコメントをできなくした後の、私のブログへの最終評価のようなコメントでした。

元検ブログの常連からのコメント（2008年6月24日）／過去記事転載 | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/2013/04/2008624.html>

大事な部分なので、リンクの掲載やスクリーンショットだけではなく、本文から内容を部分的に抜粋しておきます。

ジェイ 2008/06/24 18:17 あなたの投稿がずっとスルーされてきたのは、（１）エントリーと関係ないことを延々とコメントすること（２）自分のブログの宣伝行為を行っていること <http://ow.ly/zT2RY>

（３）あなたのブログで主張されたいことがわからず、かつ、あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を記載しており、これらの人の名誉を侵害しており、 <http://ow.ly/zT2T8>

そのようなことができる神経に対して、恐ろしさを皆感じていること、つまり、あなたと関わりたくないと皆思っていること が原因だと思います。 <http://ow.ly/zT2Ua>

犯罪被害者のことを守る、守らない、という議論に参加する資格はあなたにはありません。 <http://ow.ly/zT2Va>

そして、上記のようなコメントがずっと続いてきており、皆、苦々しく思っているところに、あなたのモトケンさんに対する脅迫めいたコメント。これで完全にアウトです。 <http://ow.ly/zT2VZ>

それから、モトケンさんや、他の方のコメントを何の承諾もなく、ここに転記するのはルール違反ですよ。元検弁護士のブログについて＜１＞ - 日暮れて途遠し <http://ow.ly/zT2WJ>

以上で本文の全てかと思いますが、部分的に改行を削除し、スペースに置き換えたところもあります。ツイッターでは一つのツイートに改行は含まない。あるいは最後に一つのみという運用にしています。Twilogでは、初めの改行以降の全てが切り捨てられるという現象もみておりますので。

コメント投稿者のハンドル名が「ジェイ」になっていますが、これは私がモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログのコメント欄で見た覚えのないハンドル名でした。以前調べたことがあるのですが、2005年から2006年ぐらいの初期の段階には、使われていたハンドル名のようでした。

site:<http://www.yabelab.net> ジェイ - Google 検索 <http://bit.ly/UU0Boe>

上記の検索方法で、次の箇所を発見しました。

2006/07/03 - ジェイです。 またもやこういった形でご紹介いただき、本当にありがとうございます。 過分なお言葉に恐縮のいたりで …. ところが、・・・・・・」からの部分については「少年担当ジェイのつぶやき」さんの親子に対してどのように接しているかの例を …

2005/11/01 - モトケン先生の公判も、認識をあらたにしましたが、少年担当ジェイのつぶやきの話はナミダしました。人情味のある裁判官って本当にいるんですねぇ。法律をふりかざすだけが能じゃない。ということを改めて知りました。

2005/10/30 - しかし、法廷をドラマにするのも、単なる事務的な事件処理の場にするのも、裁判官、弁護士、検察官次第であるように思います。 裁判官のブログを見つけました。 少年事件を担当されていた現職裁判官の「少年担当ジェイのつぶやき」です。

2014-08-03-171553site：http：／／www。yabelab。net　ジェイ.jpg pic.twitter.com/X3287B8dPk

2014-08-03-171623site：http：／／www。yabelab。net　ジェイ.jpg pic.twitter.com/UN2nxVmFAu

終わりの２つはGoogleでの検索結果のスクリーンショットです。少年担当裁判官のジェイというブログのことは知っていました。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログとは無関係だったと思います。

2005年から2006年ころというのは、はてなダイアリーのサービスとしてリングとか言うものがあって、そこに法曹のリングみたいなリンク集がありました。もとはといえば、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログの存在をしったのも、そのリングとかがきっかけかもしれません。

はてなリング サービス終了のお知らせ <http://ring.hatena.ne.jp/> ←　ここに、「ウェブリングサービス「はてなリング」は、2012年10月1日をもちまして、サービスの提供を終了させていただきました。」と書いてあります。

ちょっと記憶に自信もなくなっていたのですが、やはり「はてなリング」というサービス名でした。サービス終了の告知も見ていましたが、2012年とは割と最近のことで意外でした。

ジェイという投稿者に、コメント欄であったと思いますが、少年担当のジェイという人なのかと確認しましたが、これははっきりと否定されました。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログのコメント欄の常連で、私を快く思わない人は数人いて、いずれも特徴的なハンドル名を使っていました。それぞれに発言の内容にも特徴があるという印象がありましたが、そのどれにも当てはまらない感じだとは思っていました。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）本人という可能性も考えはしましたが、匿名を装ってそこまではしないだとうろ、当時は考えていました。コメントの投稿時間に対応したIPアドレスは、そのあと公開していたようにも思います。

記憶がはっきりしないので、IPアドレスを公開していたか否か、確認をしておきます。

2014-08-03-185035以前見た覚えがあるハンドル名だったので、少し調べたのですが、こちらの方でしょうか？.jpg pic.twitter.com/OXUKp4n6Q5

どうもこの記事にはIPアドレスの公開はないようです。当時は有料オプションをつかっていたので、ログでIPアドレスを確認することができました。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログにおいては、特別な会員制のような情報交換の場を設けている、という紹介もあったように記憶していますが、オフ会の食事会のような集まりをやったというような話も出ていました。

2014-08-03-190738元検弁護士のつぶやき.jpg pic.twitter.com/pfX8ZrU0TV

あらためてモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログのスクリーンショットを撮りました。以前はプロフィールのようなメニューもあって、青森地検弘前支部、山形地検というような経歴も掲載されていたように思います。

ページ上部のメニューには、「LMnet」、「MJLnet」というリンクがあります。クリックしてみたところ、いずれもログインベージに移動しました。これが会員制のブログか掲示板、あるいはチャットと考えられます。

時刻は9時34分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-04 月 09:35> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月4日

<2014-08-04 月 09:37> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜はいろいろあったので、廣野秀樹（@hironohideki）のツイートをまるまるコピペしてから説明に入りたいと思います。

@naokobaba 弁護士が父親というのは報道されるべき重要事項かと思います。本来的に人の人生、権利を左右する職業で、特別な権利も認められているはずです。中途半端に知れ渡るより、理解の行き届く公益性が優先されるべきかと思います。人間関係を根底から崩壊させるような大事件だと。

録画していた19時のNHKニュースを見ていたところ、20年前のDNA鑑定の結果が誤りと再審請求をするという弁護士は、なんと佐藤博史弁護士だった。顔出しのインタビューが出ている。佐藤博史弁護士に関する最新情報は全く見ていなかった。

同じく録画していた19時のNHKニュース。佐世保の同級生殺害事件、父親のお詫びの書面の紹介とともに、娘の一人暮らしの理由について、このままでは父親の命が危ないということで医師と相談して決めたという。留学の練習という話から変転したみたい。

佐藤博史弁護士がNHKの19時のニュースでインタビューを受けているのは驚きました。日曜日の19時台といえば視聴者も多そうです。福井刑務所でも日曜日の20時は大河ドラマがあるので19時からはずっとNHKを放送していたように思います。

3,4級生が対象で、2級生になると自主チャンネルとか言ってチャンネルの選択が出来ていました。初犯刑務所である福井刑務所ではニュースを入る機会も比較的多かったです。私がいたころは、19時30分ぐらいからクイズ番組で大桃美代子という人が出ていて目立っていました。

19時のNHKニュースは途中まで見ていたのですが、Aコープ能都店に買い物に出かけました。19時のNHKニュースは、レコーダーで毎日録画するようにしています。以前は録画の失敗も多かったのですが、最近はディスクがいっぱいにならない限り、大丈夫そうです。

以前失敗していたのはケーブルの接触が悪かったのだと思いますが、差込口が緩い感じなのは変わっていないので、なにかの拍子に失敗する可能性は常にあると思っています。

NHKの19時のニュースが終わった後、数時間後にもTwitterで佐藤博史弁護士を検索していたはずなのですが、それらしいツイートは見当たらず、一つ気になっていたのが「また佐藤博史弁護士が出てきた。」というようなツイートです。

ほぼリアルタイム検索に近いものですが、昨夜から何度かスクリーンショットを記録しています。さきほどはキーワードを「佐藤弁護士」に変更してやってみましたが、反応は予想以上に少なく、冷ややかでした。PC遠隔操作事件の尾を引いているという感じです。

2014-08-04-014404Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/2EItBLdK6U>

2014-08-04-014437Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/R4RrQr6a4J>

2014-08-04-014531Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/rMYSCF1Pdt>

2014-08-04-092719Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/kmC8afPFXw>

2014-08-04-100433Twitter　／　検索　-　佐藤弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/MxHOrFY8Rd>

2014-08-04-100524Twitter　／　検索　-　佐藤弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/sJJssR8QEe>

2014-08-04-100559Twitter　／　検索　-　佐藤弁護士.jpg <https://pic.twitter.com/X7RhN6hHFo>

上記の連投は、並び順を変えるためTwilogで「古→新」にしたものを使いました。

再審請求をしたというニュースは見かけてきたと思いますが、今月中にする予定、というような話にもなっていたかと思います。初めは真新しい発見のように眺めていたのですが、佐藤博史弁護士の名前と顔が出てくると、途端に胡散臭い話に見えたのが、自分でも魔法にかかったような気分でした。

昨夜は22時からのMr.サンデーという情報番組を見ていたのですが、冤罪に関する特集もやっていました。これまでに何度か見ていた無罪判決の事件でしたが、かなり詳細で再現映像も使われていました。

廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントでツイートしたものを、まるごと転載でご紹介します。探せば他にもあると思うのですが、ネットで番組表を調べるときは、ブックマークにもしているYahoo！テレビを使っています。

Mr.サンデー - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://ow.ly/zTj0B> 佐世保・同級生殺害事件…加害少女が中学3年間で描いた3枚の自画像で読み解く“心の闇"▽信じる生徒のために…痴漢逮捕の熱血教師がえん罪と闘った935日間

Mr.サンデー 2014年8月3日（日） 22時00分～23時15分 の放送内容 <http://ow.ly/zTj3e>

Mr.サンデー - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://ow.ly/zTj50> ▽自殺者もついにでた…“LINEいじめ"の被害者が語る恐るべき陰湿な実態とは?

Mr.サンデーの痴漢冤罪の特集に対しては、ジャーナリストの江川紹子さんが、江川紹子さんらしいツイートで言及していました。これはブログの記事にしていると思うので、そちらをご紹介します。

痴漢冤罪の話が、師弟の情愛の物語にすりかわっていた、MR.さんでー。いかん にゃ。／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/mr.html>

「ＤＮＡ鑑定は誤り」再審請求へ　NHKニュース - Mozilla Firefox ow.ly/zU7nf 裁判で男性を弁護し、「足利事件」でも再審請求を行った佐藤博史弁護士は当時、ＤＮＡ鑑定が決定的な証拠のように過大に評価されていたと指摘しています。

上記は、HootSuiteのアドオンで投稿したものです。ブラウザがFirefoxのアドオンなのですが、- Mozilla Firefoxという文字列が自動で含まれるようになっています。使える文字数が減るので削除することが多いですが、文字数がおさまれば識別の目安にもなりそうです。

DNA鑑定の再審請求のニュースは、佐藤博史弁護士が直に持ち込んだのか、NHKの独占的報道となっているようです。

教師の痴漢冤罪事件は、控訴審で無罪判決となりましたが、もともと痴漢をしたという根拠の乏しい事件だと思えました。警察の検査で繊維片が出なかったものの伏せられていた、というような指摘も番組中にあったと思います。

控訴審の法廷で多数の教え子あるいは生徒が傍聴していたという美談仕立てではありましたが、それだけでも裁判官へのプレッシャーにはなりそうで、無罪の方向に傾きやすくする効果はあるのかもしれない、と番組の場面を見ながら感じていました。

時刻は16時25分になっています。蒸し暑さもあって集中もできず、中断をしていました。

2014-08-04-122326小倉秀夫弁護士はまだ大学で法律学の教鞭をとっておられるのでしょうか？.jpg pic.twitter.com/YjZscGnjPn

上記スクリーンショットですが、jpgファイルの作成時刻が12時23分になっています。これより前に中断になっていたと思いますが、小倉秀夫弁護士の衝撃的なツイートを目にし、ブログの記事にもしてあると思うので、それからご紹介をしたいと思います。

加害者児童に関する情報をネットで流すことは被害者家族に特段の利益をもたら さないんだけどね。RT／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_68.html>

被害者家族を思う気持ちがあるのであれば、被疑児童の氏名等をネットで流通さ せるのではなく、被害者及びその家族の肖像やプライバシー情報を掲載するマス メディアに抗議した方がいいんじゃない／小倉秀夫弁護士,<http://bit.ly/1ueaVDZ>

被害者の名前や顔などをさらすマスメディアに抗議すべき話では？RT／小倉秀夫 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_51.html>

被害者側に立つのも通常「人権派」の方々が多いですね。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_99.html>

人権派を揶揄し、加害者側のバッシングに余念のない人たちが、被害者のために 何か役に立つことをしている事例の方がむしろ希有です。RT／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/rt_48.html>

遅まきながら…。袴田事件で再審開始＆釈放決定の村山浩昭裁判長が盛岡地家裁 所長に栄転。 →最高裁人事（２５日、２６日付）／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_49.html>

平成の司法改革の大誤算は，制度設計者が「自分たち以外の当事者が，自分たち の都合の良い通りに動いてくれる」と何の根拠もなく妄想したことと／深澤諭史 弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_65.html>

依頼中の弁護士の破綻って依頼者にとっては死活問題であることが理解されてい ない。／深澤諭史弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_31.html>

平成の司法改革というのは，要するに，弁護士に対する憎悪と甘えで構成されて いる。／深澤諭史弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_81.html>

「弁護士なんだから，報酬の多寡や計算方法にかかわらず，最善弁護してくれま すよね？」／深澤諭史弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_66.html>

多少関連した問題性もあるので、最新のものまで他の記事もまとめて掲載しました。ただ、インターネットにつながった環境でURLがリンクになるhmlページの閲覧であれば、リンクも意味があるのですが、そうでない場合は中途半端に本文 の文字数を減らしていることにもなりそうです。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 加害者児童に関する情報をネットで流すことは被害者家族に特段の利益をもたらさないんだけどね。RT @camomillem: 加害者情報を流すネットは規制しろとトンデモ発言！被害者家族を完全無視！

引用）RT @Hideo\_Ogura: 被害者家族を思う気持ちがあるのであれば、被疑児童の氏名等をネットで流通させるのではなく、被害者及びその家族の肖像やプライバシー情報を掲載するマスメディアに抗議した方がいいんじゃないかなあ。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 被害者の名前や顔などをさらすマスメディアに抗議すべき話では？RT @pinool: 被害者の名前や顔なのあらゆることが晒された遺族の心情からしたらなぜ加害者ばかり守られるの？ってなるのでは？

引用）RT @Hideo\_Ogura: 被害者側に立つのも通常「人権派」の方々が多いですね。RT @pinool: 加害者を守ろうとする人権派は被害者もたまには守ってほしいです。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 人権派を揶揄し、加害者側のバッシングに余念のない人たちが、被害者のために何か役に立つことをしている事例の方がむしろ希有です。RT @pinool: 加害者を守ろうとする人権派は被害者もたまには守ってほしいです。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 小保方さんについては、最初の割烹着で、女性研究者を敵に回しているので、安心して叩けますしね。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 小保方学位問題で研究者たちが主張していたのは、「早稲田の自由にはさせない。しかし、法律の介入も許さない。俺たちアカデミアの指示に早稲田は従え」ということでしたね。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 自己満足というより省力化ですよね。RT @hosoi\_to: 分かってねーな。この人は。RT @kankimura: 「既に知られている事／文献で十分わかる事」をわざわざインタビューするのは多くの場合、調査者の単なる自己満足に過ぎない。

一番長い行で138文字だったようです。140文字以内なのですべてAPIからツイート出来たと思います。データの取得にはTwilogを使いました。テキストファイルなので、なにかと加工も可能です。次のようにコマンドを使いました。対象は直近の10件になっていますが、不要な部分は削除も。

% head hironohideki140804.csv |sed 's/^.\*",""/引用）\1/'

アットマーク付きなので、お知らせも兼ねることになるかと思います。小倉秀夫弁護士以外はアットマークを削除しようかとも考えたのですが、そのままにしました。

2014-08-04-171537\_％　head　hironohideki140804。csv　｜sed　’s／＾。＊”,”＼（。＊＼）”／引用）＼1＼n／.jpg pic.twitter.com/WMuuCNFgnd

元のTwilogのデータとの比較もご紹介しておきたいので、上記スクリーンショットを用意しました。何度かご説明していると思いますが、ファイル名に使えずプログラム的にもエラーを起こす半角の特殊記号は自動で全角文字に変換しています。

今回は140文字以内だったので良かったのですが、本来のツイートより余計な文字情報が付加されているので、文字数がオーバーになる可能性も高いです。わかりやすくてなかなかいい方法だと思ったのですが、その辺りも今後の課題です。

どうやら、「% grep '"RT @Hideo\_Ogura: .\*国選弁護.\*' hironohideki140804.csv 」でもうまくいったようです。小倉秀夫弁護士の刑事弁護に対する見識とスタンスをご理解いただくことも不可欠だと思いますので、先にご紹介します。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 採算ベースで考えると、国選弁護では５〜６時間しか使えませんからね。RT @armorpon: つまり弁護士側はじっくり取り組めない台所事情ってことなのか…

引用）RT @Hideo\_Ogura: 健康保険を使用する診療だけの開業医と同じ程度の所得を、国選弁護専業の開業弁護士がえられないなんておかしいよね

引用）RT @Hideo\_Ogura: この種の「弁護士憎し」系の人の目指すポイントってよくわからないんだなあ。RT @Tuba56: 法テラスで国選弁護費を増やしてこの有様ですから、給費制を維持して国選弁護が真っ当になる事は考えられませんね

引用）RT @Hideo\_Ogura: 生活に余裕がある弁護士がプロボノとして国選を担ってきた時代から、生活に困った弁護士が事務所維持の柱として国選弁護を担う時代に移行させてしまったがゆえの悲劇。RT @GS\_shinryu\_SR: 低廉な国選弁護士報酬を誇る方もい（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: そこまでいうなら、諸外国並みにまともに国選弁護費用払おうよ。国選１件あたりで国際標準より２０万円くらい安いから、国選弁護費用を国際標準にしてくれれば十数件で元が取れてしまうから。RT @motoyuki: 新しい貸与制度でも非常な厚遇。

引用）RT @Hideo\_Ogura: 現状の国選弁護報酬は、無罪弁護をまともにやるとマクドナルドの時給にも劣るとされていますが、その程度の報酬を払っているのだから満足すべきだということですね。RT @rionaoki: とは思いません。実際に報酬を払えない被告人の（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され、真面目に無罪弁護を行う非効率的な事業者は、「国選弁護」という市場からは排除されるということでしょう（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 誰が真犯人であるのか確信がもてないときに、富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が高まるが、貧乏人を起訴しておけば国選弁護人がついてささっと上げてくれるということになれば、検察官は迷ったときには貧乏な方を起訴（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 医師の場合、健康保険の枠内だけで仕事をしていると診療所を維持しつつ、豊かな生活を享受することが可能。弁護士の場合、国選弁護の枠内だけで仕事をしていたら、大変なことに。RT @tamai1961: 医師を見ていると、（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 「国選弁護」という国の仕事を受注しているだけでは食べて行かれないという方が不健全だと思うけど。RT @NLHippie: 資格は剥奪しなくても良いけれど、資格さえあれば食っていけるのは不健全かな…

引用）RT @Hideo\_Ogura: 酒を飲まず、ゴルフをせず、委員会活動をせず、国選弁護を受任せず、なので大丈夫です。RT @hihihirokane: 小倉先生すげーわ。弁護士でここまで喧嘩腰もとい論破腰または説得腰の人がいるもんなのだと理解。空き時間相当（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 「私が被疑者・被告人となったときは、被害者の望む刑罰を私に加えてください」と望む人は平時に事前登録しておく仕組みってできないかなあ。被害者への配慮こそ最重要という人もいるようだし。乏しい国選弁護費用のリソースを、冤罪での処罰を（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 「この人は無実に違いない」と確信したからって、ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？RT @SF\_yomi: 平均的な労働生産性を下回るコスト（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 自称被害者の人権を尊重している人にどんなに罵声を浴びようとも、被疑者公選や国選弁護人としてその人を弁護することになったらできうる限りのことをする弁護士のことも忘れないであげてください。RT @akoustam: 自称平和主義（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。RT @amkud: また一般の国民からしても、初年度から企業法務で大金を稼ぐ弁護士も全部まとめて給費制という違和感が（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 冤罪の再審請求とか、コストに見合った報酬ってなかなか払えませんよね。弁護団を組むことで１人あたりの作業量を減らしているから、つきっきりにはならないにせよ。RT @wasteland03: @Hideo\_Ogura 国選弁護人と（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。RT @amkud: また一般の国民からしても、初年度から企業法務で大金を稼ぐ弁護士も全部まとめて給費制という違和感（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: こ、国選弁護が…。RT @KIYO147: その仕事だけで生計を立てられる金額を稼がないと「おこづかい稼ぎ」と言われてしまう気がします。RT @ynabe39: 自分の能力を発揮して何かを生み出して報酬を得ていることを「仕事」（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され、真面目に無罪弁護を行う非効率的な事業者は、「国選弁護」という市場からは排除されるということでしょう？

引用）RT @Hideo\_Ogura: 「国選弁護したことにつけ込む」って意味がわかりませんね。RT @nyanmayu: 　実名でた。うーん、これは弁護士と被告人だった女性の言い分がだいぶ食い違ってそうだし、県弁としての事実認定には限界がありそうな事案っぽいかな（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 判決後ならいいんじゃない？って気もするけど。RT @satoseiichi: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ（読売新聞） （：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: ジャーナリスト様のご要望に応えることによって増大したコストは、国選弁護報酬の引き下げで賄えば足りますね。RT @akami\_orihime: 注目を浴びている事件に提供される傍聴席の席数はどう考えても少なすぎると思いますが、（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 国選弁護のような辞任が困難な場合を除くと、そんなでもないんだ。RT @929bluebird: @shiroikiri そもそもある層の弁護士が殊更に「人権と社会正義」を理念に掲げ過ぎたことが、本来「依頼人の『ものいう道具』に（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: 「この人は無実に違いない」と確信したからって、ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？RT @SF\_yomi: 平均的な労働生産性を下回る（：以下省略）

引用）RT @Hideo\_Ogura: ４日で１件処理する国選弁護人は、１日３０件の患者を診療する開業医の１２０分の１の所得水準でいいという事ですべき。RT @guchinandayo: それは的を外れた批判でしょうね。収入の構造が違うのに無理に合わせる事はできないでしょう。

引用）RT @Hideo\_Ogura: この種の「弁護士憎し」系の人の目指すポイントってよくわからないんだなあ。RT @Tuba56: 法テラスで国選弁護費を増やしてこの有様ですから、給費制を維持して国選弁護が真っ当になる事は考えられませんね

長すぎてそのままツイートできない部分は（：以下省略）を使ってカットしました。次のコマンドを使った機械的処理です。またの機会に小倉秀夫弁護士の国選弁護、刑事弁護、刑事司法に関する独自の見解のツイートは、厳選してご紹介したいです。

% grep '"RT @Hideo\_Ogura: .\*国選弁護.\*' hironohideki140804.csv |sed 's/^.\*",""/引用）\1/' |xsel -b

本日目にした小倉秀夫弁護士の犯罪被害者に関するツイートつまりツイッター上での発言は、まったく黙っていられないものだと思いましたし、それは私やその親族、被害者やその家族の人生を踏みにじった弁護士業界の罪過に通じるものがあるからです。

時刻は22時21分です。また一つ、弁護士のツイッターアカウントで黙っていられないものがあったので返信を送りました。次がスクリーンショットです。

2014-08-04-221954直接検察に届ける問題にしますので、それなりの対応をしてください。.jpg pic.twitter.com/Mpm3mh7ZTC

2014-08-04-185457Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護.jpg pic.twitter.com/E2PCBRBfst

2014-08-04-185603Twitter　／　検索　-　佐藤弁護士.jpg pic.twitter.com/dWgU8QxloO

時刻の通りスクリーンショットを記録しましたが、私のツイートのみ更新の様子はなかったです。その後、朝日新聞のネット上のニュースでも取り上げられていましたが、佐藤博史弁護士の関与はストレートには感じられない記事内容になっていました。

HootSuiteにちょっと変更を加えました。→　2014-08-04-223058HootSuite　キーワード；　佐世保.jpg pic.twitter.com/3CWGCerCYw

2014-08-04-223516law　公開リスト　廣野秀樹　法律家、弁護士などのリストです.jpg pic.twitter.com/36QDWK7rTL　←　ブロックされると自動的にリストから消えていきます。現在登録は229となっているようです。

テレビでは報道ステーションを見ていますが、中国雲南省の大地震です。佐世保の同級生殺害事件の報道はまだないようですが、ネット上では重要と思われる新事実が2件、出ています。

22時39分ということで報道ステーションでは、そろそろスポーツ情報に移る時間ではと思っています。リーダー的な司会者の主観だけで報道が取捨選択されているのかと、思うことも多い番組でもあります。

神妙な司会者の顔と声で、次です、はエボラ出血熱。他国の大地震もアフリカの伝染病も大事なニュースだとは思いますが、時間の配分もできるはずで、佐世保の事件の新事実を切り捨てるのは納得できないです。問題の本質を理解しているのかも疑問に思います。

「エボラ熱感染医師の帰国　アメリカで初めての治療」。致死率90％という。人類的な問題。

次は危険ドラッグの自販機が出てきて、CMに入ったところ。22時50分になっているし、ますますスポーツ情報に近づいていきた感じ。感性的な偏りも感じる古館という司会者。ミヤネ屋の司会者と交代という情報もネットでも見かけています。真偽はわからないですが。

危険ドラッグで国会の対応という報道。緊急とか、ありとあらゆる対応と、意見が出ている。

報道ステーションというぐらいだから、情報番組ではなく、報道番組なのだろうとは思うけど。これを見ていても、社会の出来事、問題で全く見えてこない部分が多そう、と思うことがしばしばです。

報道ステーション、佐世保女子高生殺害事件を速報扱い「父親が公表　事件直前・・・医師とのやりとり」。日曜日に焼き肉を食べに行く予定だったとか。事件が起きたのは土曜日。

これだけ小出しに、情報が次々に出てくる事件も珍しいかと思いますが、それだけの重大性があってのことと思いますし、多少の新事実が出てきても普通は切り捨てられているのかもしれません。

報道ステーションは23時04分になってから、ここでスポーツをお知らせします。となったのでテレビ金沢のニュースZEROにチャンネル変更しました。やはり四国地方での大雨土砂災害がトップニュースのようです。

「キャンプ場で母子3人死亡　父が語る事故の”後悔”」という見出しのニュースZERO。初めて被害者の姉と弟の写真が出ていたようです。テレビから離れていたのではっきり見ませんでしたが。父親は後ろ姿で話していました。

「”実物”に刻まれた母の後悔　変わる資料館に被爆者は」という特集。ニュースZERO

終戦70年目。パールハーバーのハワイで、長岡の花火大会。CMのあとは、スポーツみたい。ニュースZERO。まだ短いニュースはあると思う。思えば新潟の連続殺人事件の続報も、今夜はみていない。

以下、新潟の弁護士のツイート。

Twitter / BarlKarth: ——裁判員制度導入の狙いは何ですか。 　高島　ひとつのキーワ … <https://twitter.com/BarlKarth/status/496186275993370624>

——裁判員制度導入の狙いは何ですか。 　高島　ひとつのキーワードは権力側、推進側が言うところの「統治主体意識」なる概念でしょう。要するに国家権力の一翼を担えということです。その点において徴兵制と一緒です。徴兵制と裁判員の共通点は、ひとつは国家権力の一翼を担わされるという

Twitter / BarlKarth: こと。その「神聖なる義務」と「光栄ある権利」を人民、国民に負 … <https://twitter.com/BarlKarth/status/496186592449417216>

こと。その「神聖なる義務」と「光栄ある権利」を人民、国民に負担してもらう。二つ目は、国家権力の本質は暴力だということです。暴力の最たるものは、人殺しです。兵隊は人を殺すが、裁判員も人殺しをすると。

Twitter / BarlKarth: 国家権力の一番えぐいところを人民に担わせる。三つ目は殺される … <https://twitter.com/BarlKarth/status/496186749299613696>

国家権力の一番えぐいところを人民に担わせる。三つ目は殺されるかもしれない、ということです。兵隊は弾に当たって殺されますが、裁判員だって社会的な死がありえます。たとえばの話、証拠調べで悲惨な死体写真を見せられる

Twitter / BarlKarth: 。自分は無罪という意見を主張したのに多数決で死刑判決を言い渡 … <https://twitter.com/BarlKarth/status/496186847093997568>

。自分は無罪という意見を主張したのに多数決で死刑判決を言い渡す。そういった裁判の秘密を一生抱える。ＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）で裁判員は精神的社会的な死を迎えるかも知れない。

Twitter / BarlKarth: 結局、両者に共通しているものは、「お前たちは国家の一翼を担っ … <https://twitter.com/BarlKarth/status/496186908985159680>

結局、両者に共通しているものは、「お前たちは国家の一翼を担って奉仕しろ。その経験を生かして忠良なる国民になれ」ってことです。 <http://www.zenshin.org/f-m/2008/11/post-236671.html> …

古典的とも思える新潟の弁護士さんです。→　2014-08-04-234034高島章（弁護士）　（BarlKarth）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/kKTbgTgyrd

ニュースZEROは佐世保の同級生殺害事件について、まったく取り上げず、触れないまま終わったみたいです。

「佐世保高1女子惨殺」金属バット事件の前月　加害少女A子は祖母の養子になっていた！ | スクープ速報 - ライブドアニュース <http://news.livedoor.com/article/detail/9113429/>

佐世保の同級生殺害事件については、特別な関心と思い入れがあります。加害者の真意についても考えさせられますし、友達思いで優しい心根の被害者が犠牲になった意味、事実について、真摯に耳を傾け目を向ける必要、義務があると考えるからです。

2014-08-05-002111時間が経つと妙な叫び声のような音声が出てくるブラウザのタブ.jpg pic.twitter.com/iRorCsJItK

上記、スクリーンショットのファイル名にあるとおりなのですが、時間が経つと妙な叫び声のような短い音声が繰り返されます。タブで開いているページを確認しても、それらしい音声を再生しているものはなく、ブラウザ自体を終了させると音声も消えるので、原因であることは間違いなさそうです。

ご紹介とご説明が終わっていないページのタブがあるので開いたままにしているのですが、次の舞鶴女子高生殺害事件に関するページです。

舞鶴女子高生殺害事件、逆転無罪確定へ - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140710/waf14071014200027-n1.htm>

母親「終わりにしないで」　京都・舞鶴女子高生殺害 : 京都新聞 <http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20140717000149>

舞鶴高1女子殺害事件 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%88%9E%E9%B6%B4%E9%AB%981%E5%A5%B3%E5%AD%90%E6%AE%BA%E5%AE%B3%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

重要と私が思う部分を、HootSuiteからの範囲選択投稿としてご紹介したいと思います。

最高裁第１小法廷（横田尤孝（ともゆき）裁判長）は、検察側の上告を棄却する決定をした。決定は８日付。中受刑者を無期懲役とした１審京都地裁判決を破棄し、逆転無罪とした２審大阪高裁判決が確定する。 <http://ow.ly/zVAmX>

同小法廷は「被害者の遺留品の特徴に関する受刑者の供述が、捜査機関の示唆や誘導によってなされた可能性があるとした２審の判断は合理的」とした。５人の裁判官全員一致の結論。 <http://ow.ly/zVAvD>

中受刑者は捜査段階から一貫して無罪を主張。直接証拠はなく、事件前の目撃証言など、状況証拠の評価が焦点だった。 <http://ow.ly/zVAAQ>

当初は曖昧だった供述が長時間の取り調べの中で具体的になっていっており、「取調官の反応を見ながら小刻みに供述した結果、実際の特徴にたどり着いたと見る余地もある」とした。 <http://ow.ly/zVAIj>

中受刑者は２０年５月７日、雑木林で小杉さんを乱暴しようとして、頭や顔を鈍器で殴るなどして殺害した、として起訴された。 <http://ow.ly/zVANf>

２３年５月の１審判決は、目撃証言などから「受刑者が犯人であることが認められる」として、死刑求刑に対し無期懲役を言い渡した。２４年１２月の２審判決は「受刑者が犯人であることを認定するに足る証拠はない」と１審を破棄した。 <http://ow.ly/zVARZ>

無罪判決が確定することになったのを受け、亡くなった小杉美穂さん＝当時（１５）＝の母親（４４）が１７日、京都市内で会見し「娘にはこの結果を知らせたくない。娘のために、これで終わりにしないでください」と訴えた。 <http://ow.ly/zVB1l>

京都府警と最高検との協議の場で捜査や立証の問題点をただしたが納得できる回答はなかったとし、府警に対し「１％でも２％でも他に犯人がいるかもしれないと言うのなら、探してください」と再捜査を求めたという。 <http://ow.ly/zVBai>

２００８年５月の事件発生後、母親が取材に応じたのは初めて。 <http://ow.ly/zVBiW>

この日、代理人弁護士らと同席した母親は冒頭、「今後どうしていったらよいのでしょうか。手続きは終わりですと言われ、納得できるはずがありません」とコメントを読み上げた。 <http://ow.ly/zVBoC>

母親や弁護士は１６、１７日に最高検や府警と協議。府警に対し、立証の柱とされながらも控訴審と最高裁で信用性が否定された目撃証言や男性の供述について取り調べに問題点がなかったか尋ね、 <http://ow.ly/zVBvO>

初動捜査の在り方に疑問を示したが、府警幹部は「捜査は尽くしていた」との趣旨を回答し、謝罪はなかったという。 <http://ow.ly/zVByY>

再捜査について府警は未解決事件と位置付けて情報収集したり捜査書類を見直したりするとしたが、人員や手法など具体的な説明はなかったとし、母親は「納得はいかないが、約束はしっかり守ってほしい」と話した。 <http://ow.ly/zVBE7>

一審京都地裁の初公判以来、公判に被害者参加し続けた母親は「全てを見届け、最後に良い結果が出ると信じていた。ずっと待っているだけだった。この後、いつまで待てばいいのか」と語った。 <http://ow.ly/zVBHP>

美穂さんの遺品は今もそのままに残しているといい、「今も朝は『おはよう』と言い、夜は『おやすみ』と声を掛ける。娘のことは過去になっていない。普通の親子のようにまだ現在も一緒に生活している。だから娘の携帯電話も解約しない」と涙を流した。 <http://ow.ly/zVBMl>

一方で、5月7日未明に女子高生と黒い服を着て自転車を押す男性が一緒に現場に向かう府道を歩いているのが複数の防犯カメラの記録に残っていた。 <http://ow.ly/zVC05>

聞き込みを続けた結果、8月に現場近くに住む男性（事件当時59歳）が容疑者として浮上。 <http://ow.ly/zVC5j>

この男は5月6日夜から7日未明に市内の飲食店二店を自転車で訪れ、帰途のコースと時間帯が女子高生が通過したものと重なり、男性は防犯カメラに映った「自転車の男」と体格で同一人物とみて矛盾しないとの鑑定結果も出て、さらに男性は当日は黒い服を <http://ow.ly/zVCcz>

11月15日、男性は7～8月に女性下着1枚と賽銭約2000円を盗んだ窃盗罪で逮捕される。11月26日、窃盗罪で家宅捜索が行われた後起訴。11月27日、5月に発生した殺人罪と死体遺棄罪容疑で捜索令状を元に2回目の家宅捜索を行おうとした。 <http://ow.ly/zVChS>

しかし、容疑者の弁護人が捜索令状の取り消しを求める準抗告を申し立てたため、延期。その後、準抗告が棄却されて2回目の家宅捜索が入ったが、1日遅れで家宅捜索が始まり、弁護人が記録用のビデオカメラで撮影しながら捜索に立ち会うという状態になっ <http://ow.ly/zVCpx>

（弁護人のビデオ撮影は府警からの申し入れで途中で中止になったが、立会いは最終日まで続けられた）。家宅捜索は12月4日まで6日間続き、約2000点が押収された。 <http://ow.ly/zVCtV>

2009年2月26日、男性は窃盗罪で懲役1年が確定し京都刑務所にて服役。2009年4月7日、男性は殺人事件による殺人罪と死体遺棄罪で逮捕。身柄を山科警察署に移されて取り調べを受け、4月29日、殺人罪と強制わいせつ致死罪で起訴。 <http://ow.ly/zVCAC>

同日京都拘置所に移送された。5月21日から始まる裁判員制度を目前にしての起訴であった。 <http://ow.ly/zVCEn>

男性は殺人事件直後に事件の日に着ていた黒い服を捨てていたり、所有する複数の自転車の色が事件直後に塗り替えられて、また凶器と見られるバールを数年前から持っていたが事件直後に無くなるなど数々の不可解な点があり、捜査機関はこれらのことを証拠 <http://ow.ly/zVCVn>

この事件が発生する7年前の2001年11月5日に18歳の女子生徒が行方不明となり、11月17日に近くの川原で首を刃物で傷つけられた遺体で見つかった舞鶴高3女子殺害事件が起こり、未解決事件となっている。 <http://ow.ly/zVD3q>

この事件の翌月の6月に、京都府の元教諭の男が、舞鶴市を含めた京都府北部地域に於いて、この事件を引き合いに出して脅す形で、通学途上の15〜17歳の6人の少女を強姦する事件が発生した。容疑者に対しては、2009年9月8日に京都地裁舞鶴支部 <http://ow.ly/zVDhp>

なにか見つからないような気がしていたのですが、Firefoxで開いていたタブの、舞鶴女子高生殺害事件に関するタブの記事が削除されたか見つからないというエラーが出ていました。

「真相が明らかになるまで京都府警と検察には責任をもって対応してほしい」絶 対にやってくださいよ。これで終わりなんて許されないですよ！／谷山智光弁護 士 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_9989.html>

京都新聞の記事が一つ削除になっていたようですが、引用部分がブログの方に残っていたので、部分的ですがそれをご紹介しておきたいと思います。刑事司法の歴史においてとんでもない重要部分だと私は思っています。

一審京都地裁の公判から被害者参加した母親の代理人を務める細川治弁護士が京都市内で会見し、コメントを読み上げた。上告棄却の最高裁決定を知った母親は弁護士と話した際、捜査の内容への疑問を口にしたり、語気が強くなることがあったりした、という <http://ow.ly/zVNPQ>

細川弁護士は「捜査や公判に問題がなかったか、説明を求めたい気持ちが強い」と母親の心境を代弁。その上で「１人の人間がむごたらしく殺され、誰も責任を取っていない状況は著しく社会正義に反する。 <http://ow.ly/zVNWS>

府警と検察が組織として徹底的に検証しないと、遺族は心の整理をどう付けていいのか分からない」と話した。引用：「真相を明らかに」上告棄却で遺族が心境　京都・舞鶴高１殺害 : 京都新聞 <http://ow.ly/zVO78>

2014-07-13-103551一審京都地裁の公判から被害者参加した母親の代理人を務める細川治弁護士が京都市内で会見し、コメントを読み上げた.jpg pic.twitter.com/gPr6PttnTt

上記、スクリーンショットがなければ、影も形も消えていたかもしれないです。京都新聞の著作権もあるのかもしれないですが、胡散臭いではすまされない弁護士の発言を、社会に向けて発信した公益的意味合いも私は非常に重いと考えています。検察庁におかれても重く受け止めて頂きたいです。

2014-08-05-014116細川弁護士は「１人の人間が殺されているのに誰も責任を取っていない。著しく社会正義に反する。事件は終わりではなく、（捜査機関.jpg pic.twitter.com/x0YetfqmY8

似たような内容の記事ですが、MSNニュースとしては削除されておらず、閲覧可能な状態でした。

「真犯人探して」　母親の代理人が会見　京都・舞鶴高１女子殺害 - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140711/waf14071119020032-n1.htm>

時刻は1時43分になっています。日付も変わっていますので、項目を新しくしておきたいと思います。

<2014-08-05 火 01:44> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月5日

<2014-08-05 火 01:45> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

「真犯人探して」　母親の代理人が会見　京都・舞鶴高１女子殺害 - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140711/waf14071119020032-n1.htm> の記事を読んでまず思ったこと。

弁護士は想像を絶する世界。死者を遺族を、社会を超越した人間離れした存在だということを今まで以上に噛みしめるような思いで痛感しました。神の如き振る舞い、胡散臭い根拠で利益を巻き上げているイメージで、泥棒神社の弁護士界という思いを新たにしました。

【無罪】舞鶴の高校１年生の女の子殺害事件。状況証拠のみで起訴された男性が無罪を主張していたが、／ジャーナリスト江川紹子 <http://hirono2014sk.blogspot.jp/2014/07/blog-post_4334.html>

状況証拠以外の証拠とはなにか、素人としてはわかりにくいところがありますが、従来、自白というものが重要視され、それも弁護士らによって自白の偏重として散々に叩かれて来きたはずです。

2014-告訴事件に関する司法・社会・世相・時代の参考情報／金沢地方検察庁御中: 警察なんかは犯人としたい人に調書の内容を合わせるんですよ、平気で。／坂本 正幸弁護士 <http://bit.ly/1AP4Dzf>

上記のタイトルだけでは舞鶴女子高生殺害事件との関連はわからないと思いますので、できる範囲でコピペで再投稿します。

Reading:舞鶴女子高生殺害事件で無罪確定へ　NHKニュース <http://nhk.jp/N4EH6fYU> 警察なんかは犯人としたい人に調書の内容を合わせるんですよ、平気で。　2014年7月10日 2:50 PM

文字数が意外に余裕だったので、おまけにツイートの投稿日時と思われる情報を付加しておきました。

できる限りの努力ということで、ツイート本体のURLと本文も併せて掲載しておきます。

Twitter / sakamotomasayuk: Reading:舞鶴女子高生殺害事件で無罪確定へ　NHKニュ … <https://twitter.com/sakamotomasayuk/statuses/487111572544704513>

Reading:舞鶴女子高生殺害事件で無罪確定へ　NHKニュース <http://nhk.jp/N4EH6fYU> 警察なんかは犯人としたい人に調書の内容を合わせるんですよ、平気で。

2014-08-05-021742警察なんかは犯人としたい人に調書の内容を合わせるんですよ、平気で。.jpg pic.twitter.com/Dh1ejWmDjT

スクリーンショットも撮っておきました。内容から見てすでにスクリーンショットを記録、公開済みの可能性はあるかと思いますが、念の為。

時刻は7時58分です。まずは久しぶりにスクリプトを一つ作ろうと思います。

スクリプトは一応完成しているのですが、文字数オーバーしているツイートの処理について、どうしたものかと思案しています。

作成したスクリプトのソースコードをブログの記事にしました。→　Twilogのデータを書式変換するスクリプト | 日暮途遠（Linux） <http://bit.ly/1pzIsXZ>

作成したスクリプトを使って廣野秀樹（@hironohideki）でツイートした佐世保女子高生殺害事件に関するツイートを、選択してご紹介したいと思います。なお、文字数オーバーの部分は手作業でその都度対処することにしました。

対象は昨日ダウンロードしたTwilogのファイルですが、「佐世保」で検索をすると69件ありました。ざっと見たところ全て佐世保の同級生殺害事件に関するツイートのようです。個人的な思い出としては一度、佐世保市内の魚市場で鮮魚を積み込んだことがありました。

訂正です。データを逆に見て勘違いしていたようですが、佐世保をキーワードに、佐世保の同級生殺害事件以外のツイートもありました。時期もわかりやすいので、改めてTwitterは工夫次第で、とても役に立つと思いました。

それでは先ほど作成したばかりのスクリプトを使った書式処理での、過去のツイートをご紹介します。

投稿日時：2010年09月11日10時46分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/24155985642> 昨日の夕方藤波運動公園の交際テニス大会会場において、数件の国内名物の屋台が出ていると聞いた。有名な富士宮焼きそばも食べれるらしい。ほかに佐世保バーガーや何とか肉巻きなど。午後から下り坂と聞いているけど、今の宇出津は天気がいいみたい。まだ外見ていないけど明るい。

投稿日時：2011年01月16日07時36分47秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/26407474563129345> 福岡簡裁の裁判官が長崎地裁佐世保支部の判事補当時、１３件の民事訴訟で判決文を作成せずに判決を言い渡していたことが分かり、福岡高裁は１０日までに、山田・徹同簡裁判事（３７）を戒告処分とした。（引用）""裁判官は悪代官です。"" - <http://j.mp/ecRKHT>

投稿日時：2011年08月14日14時17分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/102609674477641728> ぶらっと宇出津新港まで行ってきましたが、お盆だというのに人の姿は少なかったです。海も穏やかでした。宇出津新港には長崎県佐世保の大きな船が2隻並んで停泊していました。暑かったです。風も弱かった。車の数が若干多いと感じられるだけで、普段とほとんど変わりないです。

投稿日時：2013年04月02日18時05分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/319012628322189312> 羅臼イカ釣漁船の出航-1 - YouTube <http://ow.ly/jEH8r> これだけの漁船の集結というのは見た印象がないです。八戸、気仙沼、石巻、小名浜、銚子、焼津、境港、博多、松浦、長崎、佐世保、枕崎など主要な港はトラックの仕事で行ったこともあるのですが・・・。

投稿日時：2014年07月27日22時00分45秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493380469749477376> 【殺人】高１女子逮捕　同級生の女子殴り殺す　長崎・佐世保 ★4 <http://ow.ly/zCYRb> 真偽は不明ですが、加害者、被害者ともに父親が弁護士というコメントが出ています。

投稿日時：2014年07月28日08時29分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493538632993480704> 佐世保は過去にも子供の重大事件があったので、命の大切さについて特別に教えてきた。それだけに地域の衝撃も大きいという。とくダネ！　父親の職業については触れていない様子。

投稿日時：2014年07月28日10時51分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493574314479083521> 学校としては守らなければならないので、一切答えられない、と校長は言ったらしい。保護者の質問には、警察の聴き取りについて、学校がワンクッションおくので心配いらない、と答えたという。佐世保の同級生殺害事件。ワイド!スクランブル

投稿日時：2014年07月28日11時05分45秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493578024621969409> 父親は佐世保の経済界では大変な名士、という。父親が二十歳年下の若い女性と再婚。留学準備のためほとんど登校していなかった、という。ワイド！スクランブル　未だ弁護士とはテレビの報道として見ていない。

投稿日時：2014年07月28日11時11分18秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493579420305981440> （引用→）これ↓、加害者の過去だったりして… 佐世保市山手小学校で､ ｢いじめ｣公表しなかった関係者 加害者の父親は弁護士、母親は市教育委員、祖父は新聞社経営 <http://ow.ly/zDQKO>

投稿日時：2014年07月28日11時12分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493579790482690048> ｢いじめ｣から、数回にわたり学校給食に複数回塩素系洗剤を投入する事件が起きていた。この問題の情報提供を、地元佐世保市内に住む人物から受け、電話取材を関係者に２度行うが回答はいずれも無責任極まりなく、山手小学校校長からは無回答であった。 <http://ow.ly/zDQNJ>

投稿日時：2014年07月28日16時08分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493654186996023296> 佐世保・高１女子殺害　名士一家、母の死後、少女の生活激変「頭よすぎ変わってる」 （産経新聞） - Yahoo!ニュース <http://ow.ly/zE6tD> 少女は９月から海外留学する予定で、自ら１人暮らしを希望。父親は「留学の練習」ということで許可したという。

投稿日時：2014年07月28日16時18分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493656663056863232> RT @yukimasashibata: 佐世保の事件で加害者の父親叩きが始まってるようだけど、毎度毎度のことで本当に進歩がない世論だなとガッカリする。

まず、直前のRTで始まる行ですが、これはAPIで投稿しませんでした。ナルトを飛ばすとも呼ばれていますが、アカウントのメンションに返信として届くので、今回の場合、無用に返信を入れるのは、相手に誤解を与えかねないと考え自粛しました。

上記のtwitter.comのURLですが、アカウント名をkkhironoにしてしまい、本来はhironohidekiのツイートなので、大失敗してしまったと思いました。

いったんツイートを削除してやり直そうと思い、ブラウザで確認したのですが、問題なくhironohidekiの個別ツイートのリンクになっていました。初めて気がついたことですが、URLの末尾の長い数値の羅列は、どうやらTwitter全体で一意、固有のものとなっているようです。

今、録画していたスッキリ！！の佐世保の同級生殺害事件に関する部分を見ているのですが、外国人の大学教授のコメンテーターが、「法律家なので、代理人の弁護士を通して出しているわけですけど。」と発言していました。

言葉を濁すような意識もあるいは働いたのか早口で聞き取りにくかったので、何度か巻き戻しと再生を繰り返して内容を確認しました。

再生を停止して、ワイド！スクランブルにチャンネルを合わせたところ、また大きなニュースが飛び込んでいました。速報とも画面に出ていましたが。理研の笹井芳樹氏が自殺を図ったとのことです。小保方晴子氏の上司にあたる人物であったと思います。

それほどメディアの追及が強く、批難もされている人物ではないという印象だったのですが、地位が高く将来も有望だっただけに、失ったものと状況の落差が大きすぎたのかもしれません。詳しい容体は情報として伝わっていないようでした。

【ＳＴＡＰ論文】理研の笹井氏が自殺図る　ＳＴＡＰ細胞論文の責任著者 - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140805/waf14080510250015-n1.htm>

【理研・笹井氏自殺】医師が死亡を確認　小保方氏の指導役 - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140805/waf14080510400016-n1.htm>

Twitter / HideoOgura: NHKのおかげではないんですかね。RT @dancing\_e … <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/496473883944296449>

NHKのおかげではないんですかね。RT @dancing\_eel: 笹井氏の自殺で真相解明かなり難しくなるだろ…サイエンティストとしてこのタイミングの自殺はありえない。そこまでに心をへし折るような事態があったのか？　←小倉秀夫弁護士のツイート

午前中、かなりの量で各番組から佐世保の同級生殺害事件に関する報道を見ましたが、次の記事の内容は確認できなかったです。スッキリ！！の方は、まだ再生する分が残っており、全部に目を通していませんが、出すなら初めに来そうな性質の問題かと思います。

「佐世保高1女子惨殺」金属バット事件の前月　加害少女A子は祖母の養子になっていた！ | スクープ速報 - ライブドアニュース <http://news.livedoor.com/article/detail/9113429/>

佐世保・高１女子殺害　女子生徒、事件前後の経緯明らかに　父親が公表：イザ！ <http://bit.ly/1mhjSaB> ←　テレビではこれと、犯行3日前に継母に人を殺してみたいと話していた、という報道が中心。

2014-08-05-121134日本人って，かわいそうな人には優しいけれど，弱そうな人にはすごく残酷ですよね。.jpg pic.twitter.com/r0aKeAuLZC

とりあえずスクリーンショットに記録しましたが、これも考えさせられる弁護士の論理・思考パターンです。法律の教育自体にも問題がありそうですが、以前は弁護士の志望動機として「弱者救済」というのを見かけることが多かったと思いだしました。

（引用→）>>460 具体的な事が何一つ書かれてないな マジで全部テンプレのコピペだろ、コレさすが便所士様だな　言質とられるような事は極力排除してる <http://ow.ly/zXgR5>

テレビのミヤネ屋では開始と同時だったように思いますが、ずっと理化学研究所加賀屋悟広報部長の会見が続いています。画面には「LIVE　文部科学省」という文字もあります。

時刻は8月6日11時05分です。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-06 水 11:06> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月6日

<2014-08-06 水 11:08> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日の記述ではミヤネ屋が始まった後で15時より前に中断していたことがわかりやすかったです。

「”世界的研究者”笹井氏「STAP細胞」にかけた思い」というタイトルで、今現在はワイド！スクランブルという番組が取り上げています。先細りで終熄に向かっているような印象もあったSTAP細胞問題ですが、再び注目を集めるとともに、真相の解明が非常に困難になったという見方もあるようです。

時刻は18時53分です。いろいろと考えながらテレビを見ていました。どこにも出かけてはいないのですが、テレビを見ながらうとうとする時間もありました。それでも今日は、佐世保の同級生殺害事件に関する報道を一回も見ていないように思います。

さきほど久しぶりにTogetterを使って小倉秀夫弁護士のツイートをまとめました。STAP細胞問題に関するツイートを読んだことがきっかけで、前々からちらほら考えにあったことですが、光市母子殺害事件のことでTwitterに検索をかけました。

本当は、主に昨日のツイートで特に印象的なものをホットな状況として、ご紹介しておきたいと考えていました。朝のうちにまとめて、コピペで貼り付ける段階にしてありましたが、数も多すぎるかなとも考えていました。

あとで記述する予定の具体的な問題においても、参考になる私の拙い説明を補うことにもなる資料と考えておりますので、やはり先に掲載をしておきたいと思います。APIで投稿するのはツイートのURLのある行だけにしたいと思います。あとでもう少し踏み込んだ具体的な説明をします。

投稿日時：2014年08月05日02時48分02秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496351871960092672> 今頃になって録画で視聴している昨日になったスッキリ！。佐世保の同級生殺害事件について、名前が思い出せないコメンテーターが、「だって法律家だからね。この人」というような発言。たかじんのそこまで言って委員会にも出ていた常連コメンテーター。

投稿日時：2014年08月05日09時36分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496454711470735360> 「足利事件の佐藤弁護士が指摘」「20年前の”DNA鑑定は誤り”」　小倉が斬るパート2　とくダネ！　菊川玲がPC遠隔操作事件の片山祐輔被告の大きな写真プラカードを持たされ、複雑そうな表情をしていたのが印象的。

投稿日時：2014年08月05日10時53分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496473994908798976> 【理研・笹井氏自殺】医師が死亡を確認　小保方氏の指導役 - MSN産経west <http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/140805/waf14080510400016-n1.htm>

投稿日時：2014年08月05日10時54分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496474264065671168> RT @Hideo\_Ogura: NHKのおかげではないんですかね。RT @dancing\_eel: 笹井氏の自殺で真相解明かなり難しくなるだろ…サイエンティストとしてこのタイミングの自殺はありえない。そこまでに心をへし折るような事態があったのか？

投稿日時：2014年08月05日10時55分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496474583927508993> @Hideo\_Ogura @dancing\_eel 弁護士商売繁盛のネタとして祭りあげるのですか？

投稿日時：2014年08月05日11時35分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496484539393253376> 「佐世保高1女子惨殺」金属バット事件の前月　加害少女A子は祖母の養子になっていた！ | スクープ速報 - ライブドアニュース - Mozilla Firefox <http://ow.ly/zX79C>

投稿日時：2014年08月05日12時12分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496493884269023232> RT @cynanyc: 「この人は叩いていいんだ」と一度レッテルを貼った相手への強烈なバッシング。笹井教授の件に限らないけど、今の日本を暗く覆う影の1つが、その種の村八分の構図だと思う。人間は間違える。その時、完膚なきまでに叩き潰すのではなく、どこかに逃げ道を用意してあげるのが大人の役割じゃないかな。

投稿日時：2014年08月05日13時51分58秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496518953422712832> RT @luvsmilerainbow: 佐世保の事件の加害者の父親の言い訳状見たけど被害者の子が本当に気の毒。同時に助けられなかった子はもう一人いるわけだけど、心の病分かってて普通1人暮らしなんてさせられないよ、心配で。

投稿日時：2014年08月05日16時41分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496561609506955265> RT @s\_hirono: 2014-08-05-163518科学者には、法解釈能力も、事実認定能力も、法規範への認定事実の当てはめ能力もないんだから、処分のことは法律家に任せておけば.jpg <http://pic.twitter.com/2bfQk7RwdB>

投稿日時：2014年08月05日19時08分42秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496598665574637570> RT @Hideo\_Ogura: 依頼者からどう思われるかではなく、依頼者を憎んでいる人から褒められるのはどうしたらよいかということを考えて方針を選ぶのが、最近の保守化した若手弁護士なんですかね。ブロックされているのでRTできないけど。

投稿日時：2014年08月05日19時08分50秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496598698919337984> RT @Hideo\_Ogura: 「私が○○さんを説得して博士論文を取り下げさせました！アカデミアの皆さん、私を褒めて！褒めて！」みたいに振る舞った方がマーケッティング的には有利なんですかね。

投稿日時：2014年08月05日19時09分05秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496598762240737281> RT @Hideo\_Ogura: １人の研究者の命が失われても、エンターテインメントとしての小保方バッシング、理研バッシングをやめようという気はなさそうだな。

投稿日時：2014年08月05日19時12分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496599578762682368> RT @Hideo\_Ogura: 弁護士である私が公然と違法賭博をするわけがないじゃないですか。RT @croftsnemoto: @keicoo55 小倉秀夫弁護士と、「3ヶ月以内に自殺するかしないか、100万円賭ける」という賭博をすればよかったなあ、と後悔しています（笑）

投稿日時：2014年08月05日19時16分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496600630362775552> RT @Hideo\_Ogura: 科学者には、法解釈能力も、事実認定能力も、法規範への認定事実の当てはめ能力もないんだから、処分のことは法律家に任せておけばいいのに。

投稿日時：2014年08月05日19時43分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496607521918832640> RT @ao\_i\_umi: 「興味深い話を聞いた。日弁連は，修習生の給費制復活を要望しているが，これは，合格者数1500人との交換条件になっている・・」という部分も要注目ですね。全然交換条件になっていない　RT @fukazawas 法科大学院協会総会 <http://ls.hgu.jp/blog/archives/2010/06/14-115647.html> …

投稿日時：2014年08月05日19時44分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496607662746787842> RT @1961kumachin: 新規登録弁護士の中に登録を抹消する人が増えているということ - 白浜の思いつき <http://www.shirahama-lo.jp/blog/2014/08/post-191.html>

投稿日時：2014年08月05日20時30分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496619188874534912> RT @mstk\_Horiguchi: 仮に３月３１日理研発表の小保方論文不正認定の後，即座に小保方さんが謝罪して論文撤回していたら，こんなことにはならなかっただろうなと思ってしまうよ。マスコミ報道の行き過ぎが今回の悲劇に結びついた論調が見られるけど，小保方さんの対処の不味さこそが最大要因だと思う。

投稿日時：2014年08月05日20時33分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496619882645975040> @mstk\_Horiguchi @sakamotomasayuk 真に不正であれば当人の病的傾向を弁護士商売の道具として利用し、異常性を助長した三木秀夫弁護士の責任こそ重大かと思います。PC遠隔操作事件における佐藤博史弁護士も似ていますが、後者はたまたま不正が確定した事案。

投稿日時：2014年08月05日20時55分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496625514610581505> 堀江貴文氏、笹井芳樹氏自殺のニュースに「あの袋叩き状態は経験してみないとわからない」とTwitterに投稿 - ライブドアニュース - Mozilla Firefox <http://ow.ly/zXWAn>

投稿日時：2014年08月05日20時59分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496626577409843200> 理研・笹井氏自殺　ＳＴＡＰ問題後、心療内科受診していた　同僚が証言 - ライブドアニュース - Mozilla Firefox <http://ow.ly/zXXc9>

投稿日時：2014年08月05日21時00分18秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496626747144556546> （引用→）理研の同僚によると、笹井氏はＳＴＡＰ細胞の論文問題後から心療内科を受診し、最近は薬の副作用ではっきりと会話することが難しかったという。 <http://ow.ly/zXXgq>

投稿日時：2014年08月05日21時03分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496627477843021824> 「NHKスペシャル」で15分にわたり厳しい追及　理研・笹井氏自殺に影響はあったのか - ライブドアニュース - Mozilla Firefox <http://ow.ly/zXXD7>

投稿日時：2014年08月05日21時03分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496627621783162881> （引用→）とりわけ7月27日に放送された「NHKスペシャル 調査報告 STAP細胞 不正の深層」は、特に笹井氏とSTAP細胞の研究との関わりについて厳しく取り上げたものだった。 <http://ow.ly/zXXH4>

投稿日時：2014年08月05日21時21分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496632010375311360> RT @taniyama: 袴田さんも来るのかな？「兵庫県弁護士会主催・日本弁護士連合会共催　取調べの可視化を求める市民集会　再審決定！ 袴田事件の真実─今こそ取調べの可視化を！ ～弁護団と実姉が語る、袴田さんの人生を賭けた壮絶な冤罪との闘いと取調べの闇～」 <http://www.nichibenren.or.jp/event/year/2014/140809.html>

投稿日時：2014年08月05日21時21分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496632130110111744> RT @taniyama: 本当とんでもないな。 RT @47news 速報:再審開始決定した袴田さんの即時抗告審で、検察側が「存在しない」とした衣類５点の写真ネガがあったと判明。 <http://bit.ly/17n4iz>

投稿日時：2014年08月05日21時26分22秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496633307442860032> RT @Hideo\_Ogura: それは、マスメディアの専権事項といいたいのですね。RT @hosoi\_to: ひとが死んだあとに、あれこれ死因を勘ぐるツイートをする。そんな人間に私はなりたくないものである。RT @keyaki1117 NHKスペシャル(略)の放映が笹井氏の自殺を呼び込んだ、と、私は思っている

投稿日時：2014年08月05日21時27分10秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496633508614258688> RT @Hideo\_Ogura: 「からじゃないでしょうか」とまでいっているのに？RT @hosoi\_to: マスコミ無謬論というより、ただ「小倉弁護士がこの""ネタ""を大はしゃぎしてツイートしていた」事実を述べたまでですが。

投稿日時：2014年08月05日21時27分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496633565866516480> RT @Hideo\_Ogura: マスコミ無謬論乙。RT @hosoi\_to: 弁護士の小倉秀夫先生がネットで騒いだからじゃないでしょうか。RT @Hideo\_Ogura　NHKのおかげではないんですかね。RT @dancing\_eel: そこまでに心をへし折るような事態があったのか？

投稿日時：2014年08月05日21時29分22秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496634065437487105> @Hideo\_Ogura @hosoi\_to @dancing\_eel 見境もなくマスコミ、検察、警察を批判することで、相対的な優位性を示し、広告的効果を目論むというのは、昨今共通した弁護士の特異的傾向ではないかと思います。泥棒神社としての一面ですが、原始的レベルとも思えます。

投稿日時：2014年08月05日21時29分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496634154071519232> RT @Hideo\_Ogura: 笹井先生も早めに弁護士に相談すれば良かったのに。

投稿日時：2014年08月05日21時30分02秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496634231397683200> RT @Hideo\_Ogura: 小保方さんと笹井さんとのメールのやりとりを入手して公開する必要、さらにそれを男女のナレーターに読み上げさせて視聴者に予断を抱かせる必要があったのかをNHKはきちんと説明した方がいいね。

投稿日時：2014年08月05日21時31分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496634584503554048> @Hideo\_Ogura 弁護士の目線、それは神様の目線とも思えるのですが、神様の目線でふざけたやつ、こそ弁護士とも思えます。泥棒神社の弁護士界たる所以と系譜です。

投稿日時：2014年08月05日22時15分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496645684666200064> RT @mstk\_Horiguchi: @hirono\_hideki 論文は科学的に不正です。三木弁護士は科学的に不正、という意味が分からず小保方氏本人の要望を法的に何とか言い訳しているように思えます。科学的にという文脈が理解できるかどうかという意味でぼくに頼めばよかったのにと言い続けていますがフられています。

投稿日時：2014年08月05日22時26分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496648416676433921> RT @motoken\_tw: 今になって明らかになった経緯は、徹底的に究明されるべき。

投稿日時：2014年08月05日22時26分36秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496648468119576576> RT @motoken\_tw: 問題のネガが、被告人の無罪を示すものであったならば、さすがに死刑廃止論に傾かざるを得ない。

投稿日時：2014年08月05日22時27分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496648565922344960> RT @motoken\_tw: この件、もっと突っ込んだ報道をしてほしい。＞袴田事件、衣類５点写真ネガ存在　検察側、従来説明を謝罪　 - スマホ版 - 47NEWS（よんななニュース） <http://www.47news.jp/smp/CN/201408/CN2014080501002236.html>

投稿日時：2014年08月05日22時43分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496652759874023424> RT @cfqxi8j5: 高1女子「父殺すつもりだった」。長崎県佐世保市の高1女子が殺害され、同級生の女子生徒が逮捕された事件。逮捕された生徒は3月に、父親を金属バットで殴打していた。「殺すつもりだった」と継母に打ち明けていたことが5日、わかった・・マジですか！

投稿日時：2014年08月05日23時14分52秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496660615516016640> RT @euroseller: 佐世保女子学生殺害事件の加害者の父親の言い分はまるで「夫婦としてはやれることはやった。我々も被害者だ」というまるで小保方氏を一人を不正研究者に仕立て上げた理研の対応そのものだな。

投稿日時：2014年08月05日23時15分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496660707702607872> RT @hanycafe: 父親の態度益々わからない…。超エリートだから凡人には理解できないのか。→　「佐世保高1女子惨殺」金属バット事件の前月　加害少女A子は祖母の養子になっていた！ | スクープ速報 - 週刊文春WEB <http://shukan.bunshun.jp/articles/-/4247> @shukan\_bunshunさんから

投稿日時：2014年08月05日23時18分52秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496661621528592384> 袴田事件の即時抗告審　衣類５点の写真ネガ存在　検察側、従来説明を謝罪　 ― スポニチ Sponichi Annex 社会 <http://ow.ly/zYl5O>

投稿日時：2014年08月05日23時19分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496661721034276864> 弁護団は協議後の記者会見で「衣類の他に何が写っているかは分からず、開示されていない写真が入っている可能性もある」と指摘。西嶋勝彦弁護団長は「故意の証拠隠しだ。このままでは終わらせない」と述べた。 <http://ow.ly/zYlbd>

投稿日時：2014年08月05日23時21分04秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496662175088656385> 金沢市議会副議長、飲食店女性を殴り蹴った疑い　石川：朝日新聞デジタル <http://ow.ly/zYlCc>

投稿日時：2014年08月05日23時21分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496662296073367552> 金沢中署によると、粟森容疑者は７月２９日午前０時３０分ごろ、同市片町の飲食店で、自分のスマートフォンの操作を店主の３０代女性に依頼。女性が操作を誤ったとして、顔や腹部を殴った上、腰を蹴ったり首を絞めたりして１週間のけがを負わせた疑い <http://ow.ly/zYlHg>

投稿日時：2014年08月05日23時23分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496662747388456961> 金沢市議会副議長、女性店主への傷害容疑で逮捕 : 社会 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <http://ow.ly/zYm75>

投稿日時：2014年08月05日23時23分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496662831371407361> 粟森容疑者は事件後の読売新聞の取材に対し、「女性にスマホ（スマートフォン）の内容を見られて口論になり、もみ合いになった。酒に酔っており、結果的にけがをさせてしまったとしたら申し訳ない」と話していた。 <http://ow.ly/zYmcQ>

投稿日時：2014年08月05日23時29分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496664305433972736> RT @ju9l7v5ner: 高1女子「父殺すつもりだった」。長崎県佐世保市の高1女子が殺害され、同級生の女子生徒が逮捕された事件。逮捕された生徒は3月に、父親を金属バットで殴打していた。「殺すつもりだった」と継母に打ち明けていたことが5日、わかった。なるほどなあ。

投稿日時：2014年08月06日09時13分06秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496811162307395586> RT @Hideo\_Ogura: いじめられっ子が自殺したときに「あいつが俺たちの言うとおりの人間になっていればこんなことは起きなかったんだ」といっていじめられっ子をいじめっ子が非難している構図ですよ。RT @nabeteru1Q78: 「小保方さんがさっさと取り下げに同意してれば云々」は何となく納得しがたい。

投稿日時：2014年08月06日09時13分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496811323431206912> RT @Hideo\_Ogura: メディアがそこに飛びつくことは見えやすい話ですね。RT @tamai1961: ま、そういうことです。 @ryoko174: 笹井氏の遺書3～4通の中で、小保方氏宛の遺書のみが迅速に流出・暴露されていることの意味もよく考えたいものです。 ＜笹井氏、小保方氏宛てに遺書「ＳＴＡＰ必

投稿日時：2014年08月06日09時32分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496815919742455810> RT @terayasan: そもそもね、国民の税金と大量の人員と強大な公権力を注ぎ込んで方々からあらゆる証拠を漁ってきておきながら、弁護人が証拠開示を求めることを証拠漁りだと言っちゃう神経からしておかしいのですよ。

投稿日時：2014年08月06日10時00分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823017679646721> 凶悪な少年事件において保護者の責任はどこまで問われるべきなのか？〜森永卓郎氏が佐世保殺害事件の加害女子父親に対し厳しく非難 <http://ow.ly/A022e>

投稿日時：2014年08月06日10時00分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823132850634752> RT @s\_hirono: 2014-08-06-095838\_〜森永卓郎氏が佐世保殺害事件の加害女子父親に対し厳しく非難.jpg <http://pic.twitter.com/xKik3gqHNq>

投稿日時：2014年08月06日10時00分49秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823171501154307> RT @s\_hirono: 2014-08-06-095747精神病質（せいしんびょうしつ、英：　psychopathy、サイコパシー）とは、反社会的人格の一種を意味する心理学用語であ.jpg <http://pic.twitter.com/RWjXhR1Xt9>

投稿日時：2014年08月06日10時01分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823247241895936> RT @s\_hirono: 2014-08-05-204150笹井氏の件。夕刊フジの無神経で、誤解すらまねきかねない、バカでかい見出しに、胸ふたがる思いがする。.jpg <http://pic.twitter.com/cd60TYx9vG>

投稿日時：2014年08月06日10時01分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823329144045569> RT @s\_hirono: 2014-08-05-191253弁護士である私が公然と違法賭博をするわけがないじゃないですか。RT.jpg <http://pic.twitter.com/eUCYLIRWYl>

投稿日時：2014年08月06日10時02分15秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823531028500481> RT @s\_hirono: 2014-08-05-021742警察なんかは犯人としたい人に調書の内容を合わせるんですよ、平気で。.jpg <http://pic.twitter.com/Dh1ejWmDjT>

投稿日時：2014年08月06日10時02分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496823603673845760> RT @s\_hirono: 2014-08-05-014116細川弁護士は「１人の人間が殺されているのに誰も責任を取っていない。著しく社会正義に反する。事件は終わりではなく、（捜査機関.jpg <http://pic.twitter.com/x0YetfqmY8>

投稿日時：2014年08月06日10時24分52秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829226436554752> 被害者はさらされて加害者がさらされないのはアンフェアだ、というなら両方報 じなければフェアになるでしょ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_68.html>

投稿日時：2014年08月06日10時25分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829327389233152> 親が会見開いて氏名があきらかになったら少年法の意味ないだろう。まあ勉強し てしゃべってたら仕事なくなるんだろうけどね。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_84.html>

投稿日時：2014年08月06日10時25分35秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829405168431104> 新潟でこういう事件が起きたからこそ，死刑，裁判員，死刑と裁判員を真剣に考 えなければいけない。デモを組んでチラシまきを始めるか。／高島章弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_24.html>

投稿日時：2014年08月06日10時26分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829538236919809> 「裁判員は意に反する苦役ではない」という最高裁判例がでたのだが，「高度に 死刑が見込まれる事件」では別論だろう。／高島章弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_36.html>

投稿日時：2014年08月06日10時26分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829650333876225> 国家権力の一番えぐいところを人民に担わせる。三つ目は殺されるかもしれな い、ということです。兵隊は弾に当たって殺されますが、裁判員だって社会的な 死がありえます／高島章弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_16.html>

投稿日時：2014年08月06日10時27分10秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496829802402549760> NHKのおかげではないんですかね。RT ／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/nhkrt.html>

投稿日時：2014年08月06日10時28分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496830052760563713> １人の研究者の命が失われても、エンターテインメントとしての小保方バッシン グ、理研バッシングをやめようという気はなさそうだな。／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_86.html>

投稿日時：2014年08月06日10時28分45秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496830201645789184> バッシングっていい加減な論文を発表したら批判されるのは当然。批判を受けな い権利はどこにもない。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_22.html>

投稿日時：2014年08月06日10時29分27秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496830378347606016> 科学者には、法解釈能力も、事実認定能力も、法規範への認定事実の当てはめ能 力もないんだから、処分のことは法律家に任せておけばいいのに。／小倉秀夫弁 護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_37.html>

投稿日時：2014年08月06日10時30分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496830686436020224> 堀江貴文氏、笹井芳樹氏自殺のニュースに「あの袋叩き状態は経験してみないとわからない」とTwitterに投稿 ／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/twitter.html>

投稿日時：2014年08月06日10時31分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496830821731684353> 馬鹿が多いから。→尾木ママ「スッキリ！！」の傲慢さに激怒 <http://www>.／落 合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/httpwww.html>

投稿日時：2014年08月06日10時31分56秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831002694914049> 公の利益のためにリークするというなら分かるけど、亡くなったその日に、特定 の個人宛の遺書の内容をリークするっていうのは、人としてどうかって思ふよ、 兵庫県警／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_40.html>

投稿日時：2014年08月06日10時32分18秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831095913328640> こういうデタラメを許さないためには、証拠の全面開示しかないでせう。／ジャ ーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_85.html>

投稿日時：2014年08月06日10時33分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831276872376320> 協議のあと会見した西嶋勝彦弁護団長は、「誠にひどい証拠隠しが判明した。こ んなことが２度とないようにさらに問題を追及していく」と述べて検察の対応を 批判,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_34.html>

投稿日時：2014年08月06日10時33分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831426374144000> 検察は公益を代表している、というのだが、彼らのいう公益って警察のメンツな のかねぇ。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_60.html>

投稿日時：2014年08月06日10時34分05秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831543311355905> 検察は当事者主義をはき違えているのではないか。 圧倒的に力の強い者に不意 打ちや後出しが許されるというのが当事者主義なのか？／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_35.html>

投稿日時：2014年08月06日10時34分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831617592487937> もちろん全面証拠開示は弁護人の負担も増える。 しかし冤罪を防ぐにはその負 担をいとわないのが弁護士である。／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_30.html>

投稿日時：2014年08月06日10時34分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831683577257985> 検察は自分たちに都合のいいように証拠を使う。 全面証拠開示しかない。／坂 本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_92.html>

投稿日時：2014年08月06日10時35分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496831908731699201> 弁護士会の崩壊をまちどおしく感じる私がいるｗ／坂本正幸弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_29.html>

投稿日時：2014年08月06日10時36分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496832028336459776> なんだ、これは…。検察は今まで隠してきた証拠を出してきて反論、と発見 →Reading:「袴田事件」で新たな証拠隠し／ジャーナリスト江川紹子,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/reading.html>

投稿日時：2014年08月06日10時36分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496832097819308032> 東京高裁で行われた裁判所と弁護団との協議で、検察は警察がネガを保管してい たと釈明したうえで、「これまで事実に反する答えをしてきたことを率直に謝罪 する」と述べたということです,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_21.html>

19時52分です。Aコープ能都店に買い物に行ってきました。

「ビリギャルの結婚式でSMAP生放送サプライズ　家族を救った娘へ感謝の手紙」というのをテレビをつけて、チャンネルを変えたところ、やっています。

Twilogの加工データのりようについて具体的にご理解いただくため、３つのスクリーンショットをご用意しました。ツイートの個別URLをつかっただけでも、元の投稿者に通知が届くようです。Twitterの通知機能は比較的最近になって飛躍的に機能が充実したように思います。

2014-08-06-200050Twitter　／　通知.jpg pic.twitter.com/Kfvi2hYMZY

2014-08-06-200305emacs24でのTwilogの加工データ.jpg pic.twitter.com/D5vWIaTNXE

2014-08-06-200546Twilogの加工データのツイッターのタイムラインでの表示.jpg pic.twitter.com/P7wOATj4Iy

Aコープ能都店に行った時とか、中途半端になっている記述のことを思い出したので、テレビを見ながら、ちょっと書いておきたいと思います。

片山津温泉の「ホテルながやま」でのことですが、夜遅く多分22時以降に金沢に帰って来たことは書いてあるはずですが、というか書いていると思います。全体が膨大になりつつあるので、どの辺りに書いているのか書いている私自信ですら把握はし難いのですが、一月以内とは思います。

新保のKOが初めに語りだしたと記憶していますが、輪島側とも言える金沢市場輸送側と、内浦側ともいえる市場急配センター側の双方から、私つまり広野を連れて来い、という言葉が出てきたという話でした。後追いするようなその他の声も２つはあったと思いますが、輪島になるはず。

輪島の人間プラス珠洲郡内浦町新保（現・能登町）出身のKOですが、共通していたのは小木港での遠洋漁船の経歴でした。ちなみに私のまわりでは、特別なこだわりをこめたらしく、「漁夫」という言葉を使い、それにこだわる人も何人かいましたが、輪島の方では聞かなかったようにも思います。

他にも中途半端の尻切れになっている部分があったかと思いますが、すぐには思い出せなくなっているので、またの機会にしたいと思います。

と書いたところで、書き始めたところで思い出したことがあります。中途半端とは言えないかとも思いますが、さきほどテレビで結婚式の様子を見たことでも思い出しました。番組自体は途中からみて、まもなく終わってしまったので、内容は把握していません。

午後には次のYouTube動画も見ていました。まるでドキュメンタリー記録映像という感じです。前にも見た憶えはあるのですが、最後まで見たのは初めてで、新たな発見もありました。後半以降で曳航するオレンジ色の漁船ですが、中部船と呼ばれていたものだと思います。北洋のサケマス漁です。

▶ とも旗祭り 昭和五十一年 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=udiYwoi5-a0>

私がはじめて小木港の、とも旗祭りを見たのは東日本大震災が起こった後のことなので、2011年ということになります。小木に行ったという記憶もはっきりしていのは石川県立水産高校小木分校に入学した昭和55年の春です。

それ以前にも小木の町には行った記憶がぼんやりとは残っているのですが、車の中から見たような記憶しかなく、それもバスのような高いところから見渡したような記憶です。小さい頃の小木というのは、怖いところというイメージも強かったですが、行く用事自体も全くなかったです。

昨夜はテレビをつけたまま横になって寝ていたのですが、3時頃に目がさめました。つけたままのテレビで青森県弘前市でのお祭りの死亡事故について報道を聞き、うつろな状態で目は開けていなかったですが、それで目が覚めたようにも思います。

11時45分ころにテレビニュースでその弘前ねぷた祭りの死亡事故について、起きた状態で報道を見ましたが、インターネットで情報を見るとより深刻な問題となっていたことを知りました。

外に出ると、回覧板がおいてあり、中に「平成26年あばれ祭り決算報告書　宇出津祭礼委員会」という書面がありました。

遅くなっていましたが、電気がついていて、雨も振りそうな感じだったので、ピンポンを押して回覧板を手渡してきました。普段は昼に鍵の開いていることのあるお宅なので、玄関先に回覧板を押してからピンポンを一度押して帰っています。不在らしい時は鍵も締まっていますが。

死亡事故で「弘前ねぷたまつり」が中止　NHKニュース <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20140806/k10013588801000.html>

今、検索で初めてみたニュースです。祭りの開始前に事故が起きたということは別のニュースで見ています。8月1日から7日まで7日間も続くお祭りというのも、今回初めて知ったのですが、上記の記事を見ると次のように、私が思っていたように規模の大きなお祭りのようです。

引用→）　「弘前ねぷたまつり」には、毎年、全国から１６０万人ほどの観光客が訪れていて、弘前市によりますと、天候以外の理由で祭りが中止になるのは初めてだということです。

起きてから見た報道によると、お祭りの山車の内部にある昇降機で起きた死亡事故とのことで、いわば裏方での事故というかお祭りの運行自体による死亡事故ではないという感じです。

能登ではなぜか危険を伴う祭りが多いのですが、死亡事故というのは近年聞きません。宇出津のあばれ祭りでも、誤って酔って海に落ちたとか言う死亡事故しか聞いたことがないのですが、小木の夏祭りや鵜川の、にわか祭りでは過去に死亡事故もあったと聞いています。

小木の夏祭りというのはずいぶんと前に中止になっていると聞いています。小木分校に通っている昭和55年の時点で、開催のたびに家を壊したり、怪我人が出たり、死人まで出るので中止になったと聞いていました。夏祭りだと聞いたのは最近のことですが、全国的に有名なだんじり祭に似ているそうです。

テレビでは「若者たち2014」が始まったところです。予約した録画も始まっていますが、報道ステーションでのニュースも見たいところです。毎回見ていますが、視聴率が振るわないという情報も見ています。

お祭りでの事故ということで思い出していたのは同じ能登半島の石崎のキリコ祭りのことでしたが、羽咋市に住んでいた頃と記憶していました。今、確認も兼ねてネットで検索をしたところ、想像を超えた情報が飛び込んできました。22歳の女性で目玉まで飛び出たそうです。

灯ろうに挟まれ、祭り見物の女性、脳みそぶちまける <http://mimizun.com/log/2ch/news/997059662/>

数が多いので上記記事のコメント欄は、途中まで目を通しましたが。頭蓋骨骨折で死亡というのは確かな事実と思われるものの、脳みそが飛び出たとか目玉が飛び出たという情報は、かなり不確かな感じです。また、お祭りが終わった最終のところで起きた事故らしいのですが、これは初めて知りました。

石崎奉燈祭での死亡事故は2001年8月5日の未明のようです。これだとピンとこないのですが、平成だと13年となるはずなので、その8月というのは私は金沢刑務所で服役中だったということになるはずです。羽咋市で生活している時にテレビで見たという記憶だけが残っているのですが。

再犯刑務所である金沢刑務所では初犯刑務所である福井刑務所と異なり、テレビでニュースを見るという機会は少なかったと思いますし、2級生でも自主チャンネルで、自由にチャンネルを変えて番組を見ることはできなかったです。決まった放送だけの視聴だったと思います。

石崎というのは七尾市の港町で有名な和倉温泉のとなり町と聞いていますが、付近の国道を通過するときに電柱に石崎町という看板を見かけた記憶しかないので、町の規模もよくわかってはいません。七尾市全体でも人口は5万人ぐらいという情報は見かけた覚えはあります。

5万人というのは周辺との市町村合併前の情報だったような気がしますが、七尾市が能登半島で一番大きな街だということは間違いないと思います。次いで大きいと思われるのが羽咋市かもしれませんが、能登半島で言えば輪島市で、輪島市が能登では一番全国的な知名度も高いかもしれません。

青森県の弘前市は青森市への通過だけではなく、リンゴを積み込みに行った記憶もありますが、町の規模などは記憶に残っていません。ネット上での情報では、桜の見物で有名で全国からずいぶん多くの観光客が集まるという話は見かけていました。

七尾市の人口／七尾市 - Mozilla Firefox <http://ow.ly/A1glV> 人口56,547人（男26,753人女29,794人）・世帯数22,185世帯住民基本台帳人口（外国人含む）（平成26年6月末現在）

という情報をネットで検索して見つけましたが、石崎町というのは七尾市のごく一部だと思います。地元では「いっさき」と呼んでいました。七尾市内とは和倉温泉と同様に異なる地区という印象が強いです。

弘前市 - Wikipedia - Mozilla Firefox <http://ow.ly/A1hwC> 津軽地方の中心都市として、周辺自治体に広がる人口約33万人の弘前都市圏を形成している。

という情報を見つけましたが、弘前市本体では18万人ほどの人口のようです。7日間に及ぶお祭というのは全国的にも聞いたことがないですが、8月5日のお祭りの始まりから最終日の7日まで全てが中止になったそうです。

お祭りの地域の経済効果というのも大きいと思います。田舎に住んでいると直に人の数の違いも実感しています。「ねぶた」ではなく弘前では「ねぷた」と呼ぶらしいことも今回初めて知りましたが、お祭りの準備でも相当の期間、人の労力が費やされ、大きの人が待ち望んだお祭りと思われます。

7日の開催期間中の3日間の祭りを中止にするというのは、相当に思い切った決断であったとも思われますが、それだけ人命の重さを配慮した措置であったとも理解できます。

理研の笹井芳樹氏が自殺したのと同日だったと思いますが、小倉秀夫弁護士の反応等を見ていると、非常に複雑な気持ちになりました。人の人生に関わる専門職としての弁護士の、あまりに軽すぎると思われる軽薄さです。反応と影響の乏しさというのもリツイート数からは窺えますが。

時刻は8月7日9時15分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-07 木 09:17> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月7日

<2014-08-07 木 09:18> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

起きてしばらくして8時30分ぐらいからテレビをつけていますが、佐世保の同級生殺害事件に関する報道はやっていないようです。テレビから離れる時間もありましたが、石川テレビで「とくダネ！」をみています。

昨日あたりから軒並みパタリと報道がなくなっているように思えますが、一昨日は理研で渦中の人物の自殺という大きな出来事があったので、そちらに報道の時間が割かれるのは予想していましたが、翌日である昨日でも予想ほど、その件に関する続報のような報道は多くないという感じでした。

佐世保の同級生殺害事件に関しては、継母に「猫を殺すのは楽しい。人を殺してみたい。」と言った、ということが最終的な報道として止まっているという印象です。

この報道は各局で足並みをそろえて報道していましたが、その前日ぐらいにはネット上で、娘である加害生徒を祖母の養子にしていたという報道がありました。週刊文春の記事がソースというか情報源という感じでした。

ネット上でその情報が出始めた同じ時間帯には、警察が一人暮らしをしていた加害生徒のマンションの室内から100万円の現金が見つかったという情報も出ていました。Twitterで検索を掛けていると、ほぼリアルタイムで新しい情報がタイムラインに流れてきます。

「人を殺してみたい」という発言に関しても、父親と継母の面前で話したという報道と、継母に話して継母が父親に伝えたという報道がありました。より詳しい報道では病院の行き来のタクシーの車内での会話で、継母と二人の時だったようです。

NHKではなかったかと思いますが、それだけが他とは異なり、継母が「猫を殺すのは楽しいの？」と問いかけ、加害生徒が「うん」と答えたという話になっていました。

ネット上のニュースサイトでもない情報だったと思いますので、真偽の程も不明ですが、確か3月2日が寝込みの父親をバットで殴打した日にちになっていたと思いますが、その膀胱に及ぶ前の日に、養子にさせられていたという話がありました。

テレビの報道でも金属バットでの暴行のあと、娘である加害生徒を精神科の病院に通院させるようになったという話になっていました。常軌を逸した行動であることは明白ですが、原因に向き合ったとは思えず、むしろその暴行の機会を利用して異常者のレッテルを張ろうとしたのではとも思えるぐらいです。

私がこの佐世保の同級生殺害事件に強い関心を抱くのも、その辺りに理由の一つがあって、平成4年の傷害・準強姦事件での控訴審の私選弁護人、木梨松嗣弁護士の簡明すぎる対応に通じるものがあると感じるからです。

本人である私に相談のようなものはほとんどなく、一方的に精神鑑定の請求を名古屋高裁金沢支部（小島裕史裁判長）にしたのが、木梨松嗣弁護士でした。

被告訴人である木梨松嗣弁護士が精神鑑定の話を持ち出してきたのは平成5年になってからだったようにも思うのですが、平成4年の12月の20日ころにも公判があったようには記憶しています。クリスマスの目前ということで外の世界が楽しそうに見える時期でした。

Picasaウェブアルバムの方に資料があるはずなので、確認しますが、精神鑑定の主張自体はもっと早い段階で、準備書面として記載、提出されていたかもしれません。

準備書面に関しては、公判期日の前に拘置所にいる私の方にも届けられてはいました。名古屋高検金沢支部の検事から答弁書というような書面が届いたのも同じ頃であったかもしれません。その答弁書のような書面はずいぶん前に私の手元から消えているように思います。

木梨松嗣弁護士が送って寄こした事前準備書と紙の枚数は同じぐらいで、B4袋とじの3枚分ぐらいだったように思いますが、木梨松嗣弁護士の準備書面よりは余白が少なく、文字が多く書いてあったように思います。

当時の私には本気を疑うような内容だったので、ざっと目を通した程度で、読み返して深く考えることもなかったように思いますが、一審の有罪判決を当然とするような内容であったとは思います。松浦由紀夫とかいう検事でしたが、これは控訴審の判決書にも名前が書かれているはずです。

一件記録・写真／H04-10-26事前準備書私選弁護人木梨松嗣弁護士 <https://plus.google.com/u/0/photos/105782624485753679454/albums/6022370531614853105>

Picasaウェブアルバムで検索をかけたら、Google+の写真が出てきました。思った以上に内容も乏しく、活字の数も少ない書面です。

やはりこの時点で精神鑑定の記載がありますが、具体的に実施の請求をしたのは、やはり平成5年になってからの公判であったように思います。公判前に書面を木梨松嗣弁護士が出していたかもしれませんが、実施が決定したのも公判の場でした。

その時、傍聴席にいた被告訴人大網健二が快哉を叫ぶような喜びようを見せたことも、すでにご説明を書いていると思いますが、ずいぶんと前のことになっているかとも思います。

名前を思い出すのに5分ほど時間が掛かりましたが、改めてネットで検索をしてみました。「山口成良」で検索をするのは久しぶりで、一年以上あるいは二年以上間が開いているかもしれません。年齢的に故人になっている可能性もあるかと思いますが、まだ確認はしていません。

わが国の精神疾患の最近の動向 <http://www3.ocn.ne.jp/~matsu-hp/sumiredai-2/sumiredai-00.html>

2014-08-07-104911松原病院におけるその動向について、山口成良院長が分析しました。.jpg pic.twitter.com/RSXEHMVVs7

ちょっと前までテレビのワイド！スクランブルで、佐世保の同級生殺害事件について報道をやっていました。100万円の話と養子縁組の話も出ていましたが、コメンテーターを含めすっきりするような説明ではなかったです。精神科医も出ていました。

被害者の死体を調理して食べたような話も、ちらほらと出ていましたが、それはネット上でもまだ見かけていない情報で、猟奇的な印象を強くしましたが、食べて一体になりたいという気持ちもあったのではとコメンテーターは解説していたかと思います。

視床と臨床精神医学 / 山口 成良【著】 - 紀伊國屋書店ウェブストア <http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784521736907>

2014-08-07-113023著者紹介　山口成良.jpg pic.twitter.com/bgXoP58f4o

ざっと調べたところ叙勲に関する情報はページが削除されたのか見当たりませんでした。七尾市生まれという情報は以前にも見たことがあったと思いだしました。生年月日のことはよく憶えていなかったですが、昭和4年生まれと確認できました。

私の母親も昭和4年の1月生まれですが、昭和4年生まれだと現在84歳か85歳になっていることになりそうです。男性だと平均寿命を5歳以上上回っていることになるかと思いますが、90歳を超えていても元気な人というのも珍しくはないかと思います。

社会医療法人財団松原愛育会 松原病院（石川県）－石川県金沢市 精神科後期研修 <http://matsubara-hospital.org/>

松原病院の院長という情報も見かけましたが、上記ホームページを見たところ、現在の院長に関する情報はみあたりませんでした。

松原病院といえば、今では名前を聞くこともないですが、私が小学生の頃の昭和40年代後半から昭和50年代の初めの頃というのは、特別な存在でまるで化け物の収容所のようなイメージが蔓延していて、キチガイ病院とも呼ばれていました。

今の時代、特に平成生まれの人には想像するのも難しく、また地域差もある問題であったと思いますが、まるで廃人のようなイメージが固定化されていたように思います。

コンビニに振込の用事があったのですが、その前に銀行に行ってATMでお金を降ろしてきました。銀行の待合室に週刊新潮が2週分あったので佐世保の同級生殺害事件に関する記事に目を通しました。その後コンビニでも最新と思われる週刊文春の佐世保の事件に関する記事に目を通しました。

文春の記事に関しては周辺の人の話として信ぴょう性に疑問を感じるものもありましたが、加害者生徒に接見をした弁護士が、女性であるという点が目新しく、気を引いいた新情報という感じでした。

加害生徒の父親の法律事務所はやはり長崎県内最大手というような表現になっていて、佐世保市内に限った表現ではなさそうでした。不動産会社も経営しているらしく、そちらの収入も大きそな内容が書いてありました。

佐世保の同級生殺害事件は加害生徒の父親が弁護士ということを含め、その弁護士としての人間性と社会性に対しても関心がありますが、精神科医との関係というのも二転三転しているような部分もあり、実際のところはどうなのかと気になるところがあります。

昨夜の続きもまだ初めてはいないのですが、佐世保の同級生殺害事件ばかりではなく、私自身の精神鑑定を強引に実施させた被告訴人木梨松嗣弁護士と、その鑑定を行った当時の金沢大学教授山口成良について、先にある程度のことを書いておこうと思います。

一件記録・写真／H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良 <https://plus.google.com/u/0/photos/105782624485753679454/albums/6022375830774443489>

ずいぶん前から公開してあるものですが、上記の写真はかなり前に撮影したものです。撮影に使ったデジカメも今使っているものよりは古く、前に買ったものでワイドな横長サイズにはなっていないようです。

ファイルのExif情報を確認すると、2010年5月5日となっていました。4年以上も前ということになりそうです。昼に外で撮影したものですが、余り見やすい状態ではないので、そのうち撮り直そうかと考えながらそのままになっています。

撮影当時もそれほど重要なものとは考えていなかったのですが、佐世保の事件で父親の弁護士と精神科医の関係などを見るにつけ、これはしっかり押さえておかなければならないポイントだと考えるようになりました。

今日見た週刊誌の記事で、弁護士である父親が娘についてキチガイだと言い3年前から精神科に通院させていると、事件後人に話していたようなことが記事に書いてありました。

一つの可能性であくまで想像上の仮定の話ですが、養子縁組で娘の戸籍を抜いていたとか、二転三転する精神科医との関わりなどの弁明を見ていると、廃人にさせる方向で症状を悪化させるような薬を金に物を言わせ、処方させていたのかもしれないと、勘ぐりたくもなるようなところがあります。

私自身の経験ですが、精神鑑定では金沢大学附属病院の精神科の閉鎖病棟に入院させられていました。何階建ての建物の何階部分であったかも忘れましたが、かなり上の方の階であったとは思います。見晴らしも良かったです。

なんというのか集会所のような広いスペースがあって、そこには小さい病院の待合室のようにテレビやソファーがありました。そちらの側からは右手に松原病院も見えていました。

私は通路を挟むと反対側になる保護帽のような部屋に収容されていました。消灯時間以降は外から鍵を締められて出入りができないようにされていたようにも思います。余り不便を感じてもいなかったので、特別印象には残っていないのですが、そうだったと思います。

普通の生活からすれば異常ですが、その前に生活をしていた拘置所の独居房では出入りできないのが当たり前だったので、そう不便を感じることもなかったのだと思います。

消灯時間は21時ではなかったかと思いますが、起床時間はギリギリまで寝ていることが多かったのか余り意識することもなかったです。その保護帽のような部屋は、サウナのような内部構造になっていて、物をぶつけたりする収容者に対して、衝撃を吸収するような作りになっていました。

確か保護房という呼び名は、看護婦さんからも聞いていたように思います。なぜか若い看護婦さんがほとんどで、名前は名札か何かで知っていたものの忘れましたが、私の郷里に近い柳田村の上町あたりの出身だという若い看護婦さんもいました。

ミヤネ屋で番組の後半、15時05分辺りから40分頃まで佐世保女子高生殺害事件について取り上げていましたが、どうも加害生徒の病的側面に焦点をあて、精神鑑定の結果を重視するような内容にになっていました。

犯罪精神医学の専門家がテレビ電話のようなものに出ていて、解説や受け答えをしていましたが、東京工業大学と紹介されていたように思いますし、名誉教授とも出ていたように思います。下のほうがずいぶんと変わった名前だったので、多分初めて知る人だったと思います。

日本犯罪学会１００年　影山理事長に聞く（１）児童虐待、「今」を象徴 : こころ元気塾 : yomiDr./ヨミドクター(読売新聞) <http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=86925>

上記ページからの引用→）　１９４８年、福島県生まれ。東京工業大名誉教授。専門は犯罪精神医学。２０１２年から同県郡山市の針生ヶ丘病院精神科でストレス外来を担当する

同上→）日本犯罪学会が今年、設立１００年を迎えた。１１月の学会記念大会（東京）では、家族の問題をテーマに公開シンポジウムを行う。学会理事長の精神科医、影山任佐さんに、近年の犯罪に映し出される「心の病理」について聞いた。

記事に掲載されている写真よりは、ミヤネ屋での映像のほうがはるかに若く見えていました。日本犯罪学会理事長という肩書はテレビでは気がつかなかったのかもしれませんが、東京工業大学と犯罪学というのは違和感が大きく、そちらに気が取られていたところもあるかと思います。

精神医学界の大物を招いたということで番組の内容自体が、そういう方向に偏っていたような気もします。家庭問題という側面はほとんど感じられず、治療という言葉がやたらと飛び交っていたという印象も残っています。

私は今まであえて、山口成良金沢大学教授のことを大きく取り上げてこなかったところがありますが、精神鑑定以前の事実認定の段階で、大きな齟齬があると言わざるを得ず、それは事実に照らせば明白なことであって、全く論外とも言えるものです。

佐世保女子高生殺害事件に関連するような体験があるので、それをまずご紹介しておきたいと思います。佐世保女子高生殺害事件においてはまだまだ解明されておらず、事実関係も不確かな部分があるかと思いますが、今後の成りゆきには大きく注目しています。

保護房のような部屋は卯辰山の方を向いていました。あとでGoogleマップでも確認したいと思いますが、ほぼ一日を通して日当たりが悪かったような印象があります。また建物の反対側の方向は、夕方に西日が強かったような印象も残っています。

精神病棟の閉鎖病棟の入り口には大きな鉄扉があったと記憶に残っています。同じ棟続きだったと思うのですが、その鉄扉の手前側が同じ精神科でも開放病棟になっていると聞いたように思います。

そう聞いたかどうかははっきりしませんが、下の階の病棟は女性の患者がいるという感じでした。時々大きな声での叫び声が聞こえてくることがあったのですが、若い少女かあるいは小学生ぐらいの女の子という感じの声でした。言葉にもなっておらず、動物のような叫び声だけを続けていました。

幸いということのあったのかと思いますが、私がいた閉鎖病棟には奇声を発したり、暴力的な行動を起こす患者はいませんでした。人との接触を一切断つような患者の方が多かったように思いますが、消灯時間以外は、自由に行き来し、会話をすることも出来ました。

はじめの方とかは、自分の部屋に戻るように注意を受けるようなこともあったと思いますが、そういう行動を含め監視をしている様子で、それほどきつく言われるようなこともなかったと思います。数の多い本棚があって、部屋で本を読んで過ごすことも多かったと思います。

力のある人間の思惑や都合で、精神病院に閉じ込められ、薬物を投与されてさらに状態が悪くなっていくという話は、小説でもありがちなパターンだったと思います。

その金沢大学附属病院の精神病棟での生活での発見というか出会いは、病棟に備え付けの本棚で見つけた西村寿行の「闇の法廷」という小説でした。

西村寿行の小説は、犯罪をテーマにしたものが多かったですが、自分が巻き込まれたと思われる犯罪においても、手がかりとなりそうなストーリーや知識が多く、金沢刑務所の拘置所に戻ってからも私本購入をしたり、母親に差し入れてもらってよく読んでいました。

山口成良金沢大学教授の私に対する精神鑑定書ですが、写真を一つずつ非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）の方に写真付きツイートでアップロードしながら説明を試みたいと思います。私自身読むのはずいぶんと久しぶりですが、写真にしたものは精神鑑定書の全てではありません。

H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良01.jpg pic.twitter.com/zAwsk1hCcW

上記ページには「この為鑑定人は、金沢大学医学部神経精神医学教室医師　小坂一登を鑑定助手として、」という部分があります。

年齢は当時27歳だった私と余り変わらない感じでした。打ち解けるタイプでもなくガードも固かったので幾つなのかと尋ねることもなかったですが、まだ社会経験も乏しいような感じでした。助手ということになっていますが、確かに会う機会は多かったと思います。

今考えると、山口成良金沢大学教授の精神鑑定書の資料は、その助手である小坂一登という人が作成していたという可能性もあるのかと思います。普通の社会生活でコミュニュケーション能力があるような人には見えなかったです。表情の少ない人だったという印象も残っています。

真面目な優等生というタイプにも見えましたが、問診を受けたような気がするものの、内容に印象に残るようなところもなく、どんな会話をしたのか思い出せるようなこともありません。

下の方の名前が特徴的というか他に見たこともなかったので、Googleで検索してみたところ、それと思われる人を見つけ出すことができました。能登病院と見ても、どこにある病院なのか心当たりがなかったのですが、やはり七尾市内の病院のようです。

七尾市では恵愛病院の名前を聞くことがありましたが、能登病院というのは聞いたこともなかったです。あるいは比較的新しい病院なのかもしれませんが、七尾市内には住んだこともないので、知らなくても不思議はないかと思います。

精神科 | 公立能登総合病院 <http://www.noto-hospital.nanao.ishikawa.jp/?p=140>

2014-08-07-180711能登総合病院　精神科　小坂一登　部長.jpg pic.twitter.com/vcoQbsgIO0

H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良02.jpg pic.twitter.com/Qe3PnIk898

上記ページで、無口で暗い感じ、とか強いものには下手に出て、弱いものには乱暴な口の聞き方をする、というのは被告訴人梅野博之の供述調書の内容そのままです。

被害者AAさんとのことで落ち込み悩んでいるときは、確かに無口で暗い感じに見えていたのかもしれませんが、それを見て愉しんでいたのも被告訴人梅野博之ですし、被害者AAさんを利用して不安を煽る話を吹き込んでいたのも被告訴人梅野博之です。

昭和61年1月29日に入籍していたとは、今まで知らなかったというか、何度かこの部分も目を通しているはずですが、気にとまることはなかったようです。私自身、入籍のことで市役所に行ったような記憶もなく、行っていないのですが、結婚式は3月の10日頃なので1月とは意外でした。

H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良03.jpg pic.twitter.com/v2H7HQYUq1

前ページのことで書き忘れていましたが、被告訴人梅野博之が強いものには下手に出ると供述していたのは、私と被告訴人浜口卓也の関係だと思います。学校時代は上下関係が厳しく、昔の軍隊的な風潮もあったので、それなりに気を使う話し方はしていました。

私の同級生でも城野町のHSは、被告訴人浜口卓也と完全にタメ口をきくようになっていて、以前は被告訴人浜口卓也の方からももう気を使ったような話し方はするなと、言われたこともあったのですが、酒飲みとの付き合いはなるべく控えたかったこともあり、距離を置いていたようなところもあります。

一方で弱い相手に乱暴な口をきく、というのは私と被告訴人安田敏の関係だと思います。被告訴人安田敏は私より二つ年上でしたが、昭和58年ころからタメ口をきくような関係になっていました。

当時は現在では耳にすることがなくなったような能登の宇出津の方言で話をしていたので、普通に会話をしていても喧嘩をしているように聞こえるとはいわれていました。さらに被告訴人安田敏は挑発をするような言動も多くなって不始末を繰り返してもいたので、きつい話し方にはなっていたと思います。

前ページの終わりの方から前妻との関係や離婚した理由などになっていますが、実際はもっと複雑なもので、どちらの家庭の親の問題もありました。形式的には離婚になっていたし、私も最後はそのつもりでいましたが、前妻の方では冷却期間のつもりでいた様子で、離婚後も連絡がありました。

荷物を積み込んでから富山でパチンコ店の閉店時間までやっていて、一文無しになったまま、関東に行き、飲まず食わずで首都高速も使わず、雪道を金沢まで帰ってくるようなこともありました。福岡や石巻で1万円の前借りをすることも多かったです。

パチンコやパチスロは2年間もやっていなかったと思いますが、そのうちきっぱりとやめていました。パチンコの方は当時流行っていたスーパーコンビとかの一発台をやっていました。妻の借金に関しては、私や自分の親に対するあてつけが大きかったと思います。

妻は、金沢市場輸送で人に私のことを「王様」と言っていたらしいですが、家では確かにそういうところがありました。真夜中でも朝方でも当たり前のように電話で呼び出し、車で迎えこさせ、食事の用意をさせていましたが、妻が仕事をしている時も同じだったと思います。

妻が免許をとって車を運転するようになったのは、アルトワークスの軽四を買ってからだったと思います。被告訴人大網健二と笹田の間でトラブルのあった車です。その前に乗っていたのは赤色のプレリュードでしたが、パワーステアリングでもなく、免許取りたての女性には運転も難しかったかと思います。

笹田が乗っていたアルトワークスは新車にも近いような状態だったと思います。被告訴人大網健二からは50万円ということで買いましたが、被告訴人大網健二の話によると笹田からは50万円で買い取り、カーステレオや他の値の張るような備品は別に転売したような話をしていました。

アルトワークスの当時の相場や新車価格は忘れましたが、ツインカムターボエンジンということもあり、軽四としては値段の方も型破りの高値だと聞いていたように思います。

私の単純な計算では、50万円で買い取ったものを50万円で転売し、備品を転売したのだから備品の方はまるまる儲けになったのだと考え、ストレートに被告訴人大網健二にそう言ったことがありましたが、彼は腹を立てて笹田を罵り、ずいぶんと迷惑を受けたように憤りを未せていました。

カーステレオや備品もなかなかのもので、転売して15万円かあるいは20万円になったというような話を聞いていたようにも思うのですが、正確を期すならば、現在は記憶が曖昧になっている部分があります。

赤色のプレリュードの方はエンジンかミッションが故障して、修理に20万円から30万円かかると言われたように思います。そんな折に被告訴人大網健二からアルトワークスを買わないかという話が出てきたのです。

金沢市場輸送の事務所が二口町に移転してからも、けっこう長い間はプレリュードに乗っていて、それを会社前に駐車していたという記憶があります。故障したのは春先だったというようなぼんやりとした記憶もあるのですが、だとすれば平成元年の春ということになるのかもしれません。

今考えてみると、アルトワークスに乗るようになった頃には、笹田の姿は会社からなくなっていたようにも思います。買った後でアルトワークスのことで笹田と話をするようなこともなかったと思います。記憶に自信がないですが、140万円で買ったと聞いたように思います。

プレリュードが故障した頃には、守田水産輸送にかなり年上の宇出津の先輩が大型長距離の運転手をしていると聞いていましたし、少し話をしたようなこともありました。宇出津の先輩で水産高校で相撲部にいたような話は、被告訴人大網健二から聞いていました。

被告訴人大網健二から聞いていなければ宇出津の人ということもわからなかったと思います。私が中1の頃の水産高校の高3のメンバーはよく知っているので、少なくともそれより年上の年代ということになります。名前の方も聞いており、それらしい心当たりもあるのですが見た時は小柄に見える体型でした。

被告訴人大網健二はその先輩との間でもなにか車の売買のことでトラブルがあったらしく、笹田のことほどストレートに不満をぶつけることはなかったですが、相当に迷惑を受け、人間性をも疑うようなことを愚痴をこぼすように私に話していました。

既に書いていることと思いますが、ちなみに私が中1の頃の水産高校の3年生は、卯辰山の全国相撲大会で準優勝していますし、その2,3年前には同じ大会で全国優勝をしています。強豪校ということになると思いますが、厳しい練習も目の当たりにしていました。

絶対的な記憶の自信は現在ないですが、昭和63年の7月のはじめに金沢市場輸送の事務所が西念町のテナントビルから二口町の新築の平屋建物に移転したことはほぼ間違いないことで、その後の8月の終わりか9月の初めに、被告訴人松平日出男の姿を市内配達の責任者として見るようになりました。

ほぼ同じ頃に、宇出津のK村さんと姫のNKさんの姿を、持ち込みの2トン車運転手としてみかけるようになっていました。Kという人の姿を見るようになったのもほぼ同じ頃だったと思います。大脇昆布のことで、言及した人物です。その人の話も中途半端で中断したように思います。いずれ再開します。

IWJメインチャンネル Ch7 | 岩上安身責任編集 - IWJ Independent Web Journal <http://iwj.co.jp/channels/main/channel.php?CN=7>

時刻は8月8日0時26分になっています。上記サイトでPC遠隔操作事件の公判のあとの佐藤博史弁護士の会見を21時05分頃から視聴していました。21時から配信ということになっていたと思います。聴いているうちにとても眠くなってしまい。終わりの方は横になって聴いていました。

ようやく終わったと思った直後には寝てしまっていたようです。起きたのは23時前だったと思いますが、それから食事を済ませ片付けをしていました。

昨日の続きを書くつもりが手を付けることができなかったので、それはまたの機会にしたいと思います。昭和50年台の小木港の続きに成ります。

項目を新しくして続きを書きます。そう言えば激しい雨音で目が覚めたのですが、雨はしばらくしてやみ、遠くで鳴っていた雷も近づくことはなかったです。天気予報にはない時間の強い雨だったみたいです。

<2014-08-08 金 00:34> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月8日

<2014-08-08 金 00:37> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

山口成良金沢大学教授の精神鑑定書に対するご説明を書いているところですが、先に佐藤博史弁護士の会見について触れておきたいと思います。心理鑑定とも江川紹子さんは先程のツイートで書いていましたが、精神鑑定に共通する部分もあるかと思います。

投稿日時：2014年08月07日22時59分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497381580805910528> RT @amneris84: PC遠隔操作事件の裁判で、検察官と弁護人が激しく言い合っても、裁判長は放置。おもむろに片山被告人が口を開き、仲裁に入るとゆう、斬新な展開。

まずジャーナリスト江川紹子さんのTwitterで上記ツイートを見たのが始まりだったと思います。投稿日時は私が忘れていたものをリツイートした時間になっています。元のツイートの投稿日時は15:26 - 2014年8月7日となっていることを確認しました。

それらしいツイートはそれだけでしたが、これはPC遠隔操作事件の公判のことだろうと思いました。そこでTwitterでキーワード検索を掛けていたのですが、それらしい動画配信の情報は見つかったものの配信の状態にはなっていませんでした。

有効なリンクになっているツイートを見つけたのはやはり21時05分ころでした。次のツイートです。

投稿日時：2014年08月07日21時05分15秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497352768701472768> RT @iwakamiyasumi: 【IWJ･UST】このあと21時から、本日行われた「PC遠隔操作事件 第15回公判後記者会見 ―会見者 佐藤博史弁護士ほか」を録画配信します。Ch7→( #iwakamiyasumi7 live at <http://bit.ly/1gn8KVN> )

よく見ると21時のは録画配信だったようです。夕方にも配信のツイートがありましたが、ログインが必要な会員のみの視聴になっていたのかもしれません。

佐藤博史弁護士は佐世保の事件のことも引き合いに出し、片山祐輔被告が将来、殺人事件をも起こしかねないことを強調し、精神的な鑑定の必要性を訴えていました。精神鑑定とは言っていなかったように思っていたのですが、後で江川さんのツイートをみると心理鑑定と書いてありました。

情状鑑定というような言葉も聴いていたように思います。あれだけ世間を騒がし反感をかっておきながら、本気で情状酌量での減刑を狙っているとは、常識では考えにくいところですが、そのあとの佐藤博史弁護士の発言を見ても、やはり常識では測れない弁護士だと改めて思いました。

以下は佐藤博史弁護士やPC遠隔操作事件をキーワードにしたTwitter検索のスクリーンショットです。情報も反応もごくわずかであることが一目でわかると思います。

投稿日時：2014年08月07日23時01分03秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497381912571174912> 2014-08-07-230052Twitter　／　検索　-　佐藤博史弁護士.jpg <http://pic.twitter.com/LQ1ZdZS7sG>

投稿日時：2014年08月07日23時07分10秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497383450110738434> 2014-08-07-230700Twitter　／　検索　-　PC遠隔操作事件.jpg <http://pic.twitter.com/NVK0Ep5Zg3>

投稿日時：2014年08月07日23時56分15秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497395805758582786> 2014-08-07-235605弁護側は鑑定を行わなければ私的鑑定は行わず、審理不尽で控訴する、と。.jpg <http://pic.twitter.com/uOOLN2fO4R>

投稿日時：2014年08月07日23時57分08秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497396024852217856> 2014-08-07-235658Twitter　／　検索　-　PC遠隔操作事件.jpg <http://pic.twitter.com/VqGWrEcuym>

画像の場合はURLだけだとサムネイル付きの引用になってしまうみたいです。引用部分をクリックするとページ移動もしてしまうみたいので、あらためてツイートではなく画像のURLの入っている部分をツイートしておきます。

次が会見後の江川紹子さんのツイートです。投稿日時は私のリツイートした時刻になっているはずです。

投稿日時：2014年08月07日23時47分42秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497393652289658880> RT @amneris84: PC遠隔操作事件、弁護側が請求している片山祐輔被告に対する心理鑑定について、東京地裁は明日もしくは週明け行うか否かの判断を行う、とのこと。あまり積極でない裁判所に対し、弁護側は鑑定を行わなければ私的鑑定は行わず、審理不尽で控訴する、と。

売名や宣伝に利用しているとしか私には思えないのですが、佐藤博史弁護士ものっぴきならない事情でも抱えているのか、勢いはまったくとどまるところがありません。先日から佐藤博史弁護士の年齢を確認しておこうと思いながらまだやっていませんが、気力体力も並外れて尋常ではなさそうです。

横になって眠くなったのをこらえながら聴いていたのではっきりとは聞き取れなかったのですが、これまでの片山祐輔被告の捜査、裁判には一億円以上の経費が費やされているようなことを、まるで検察や警察あるいは裁判所の落ち度、責任のように語っていたように思います。

はじめの方の真剣とか居合の部分もそうでしたが、鑑定を実施しなければ、将来片山祐輔被告が殺人事件を起こした時、取り返しのつかない責任が生じると、脅しを掛けているとしか思えないような話しぶりでした。あっけにとられ、バカらしく聴いているうちにとても眠くなりました。

佐藤博史弁護士も理解を超えていますが、小倉秀夫弁護士も負けてはいません。人の目には触れることも少ないのかもしれませんが、まともに読んでいたら、本当にとんでもない弁護士だと頭を抱えてしまいそうになる点でも佐藤博史弁護士に共通しています。

刑事裁判や刑事弁護に関わりのない人、関心があっても思い通りに動いてくれる弁護士を期待する人には、どうでもよいことなのかもしれませんが、真剣に法的解決を図らなければならない私の立場からすれば、非常に迷惑な存在でもあり、明確な線引きをしておきたいところです。

昨日、TogetterでのまとめやYouTubeの動画キャプチャとしては、ご紹介したように思いますが、改めて光市母子殺害事件に関する小倉秀夫弁護士のツイートを列挙してご紹介しておきたいと思います。

投稿日時：2014年08月06日17時50分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941316425527297> RT @Hideo\_Ogura: あんなやつを擁護し、入れ知恵をつける弁護士は懲戒してやれみたいな話って、光市母子殺害事件以来ですね。

投稿日時：2014年08月06日17時50分25秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941351619944449> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺害事件の弁護人が批判を集めたのだって、その弁護方針が批判者の意に沿わなかったからですし。RT @motoken\_tw: 私が念頭に置いた人はそうではないですね。

投稿日時：2014年08月06日17時50分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941408146579456> RT @Hideo\_Ogura: 特定の事件における弁護士の活動方針に第三者が執拗に口を挟むのをみたのは、光市母子殺人事件の上告審以来ですかね。

投稿日時：2014年08月06日17時51分22秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941588673597440> RT @Hideo\_Ogura: 当時、光市母子殺害事件で弁護士はひどい攻撃を受けていたんだけど、宇都宮先生は攻撃の射程外でしたからね。実名報道に反対する日弁連会長声明程度じゃ、影が薄いわけですよ。RT @orchid0730: えええ？どこでそう思いました？

投稿日時：2014年08月06日17時52分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941851526430720> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺人事件の時の弁護人攻撃だって、攻撃している側は、自分たちは正しいと思い込んでいたわけですよ。あの被告人、そしてあの被告人を死刑にすまいと奮闘する弁護人を敵と見る考え方が多くの人に共有されていたわけですよ。

投稿日時：2014年08月06日17時52分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941912612286465> RT @Hideo\_Ogura: 実際、光市母子殺人事件では、あるテレビ番組で煽られた大衆によって露骨な業務妨害がなされたケースを経験していますから、他人事ではありません。RT @ks736877: 「上杉さんがいじめられてる」という感覚はどうしても共有できないなぁ。

投稿日時：2014年08月06日17時52分58秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496941994808070144> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺人事件の弁護人に対する執拗な批難は、「正当と一般の人にみなされている」から攻撃にはあたらないということですね。RT @Tuba56: 正当と一般の人にみなされるような批判を小倉さんが攻撃と呼んでいるだけなら、そんなものを恐れる必要はないですね

投稿日時：2014年08月06日17時54分11秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942296911192064> RT @Hideo\_Ogura: SEだと普通に仕事をしている限り遺族感情と対峙する立場に立たされずに済むから簡単に言えるのですよ。でも、職務上、時に遺族感情と対峙せざるを得ない人ってそれなりにいるんですよ。RT @yamasan007: 私は、そうは思わない。光市もそうだが遺族の報道でやるべきものと、やらないべ

投稿日時：2014年08月06日17時54分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942372131831808> RT @Hideo\_Ogura: 私は、むしろ光市の事件以来、「遺族感情に配慮せよ」という声の暴走の方を恐れるようになったんだけどね。

投稿日時：2014年08月06日17時54分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942423574986752> RT @Hideo\_Ogura: 無罪主張以外の主張はすでに遺族感情に劣後するものとして扱われていますね。光市の件で。RT @mohno: 政府や会社が被害者遺族に配慮することから、刑事裁判を持ち出す方がねじ曲がっていると思いますがね。

投稿日時：2014年08月06日17時55分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942569729703936> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺害事件では、途中から就いた弁護人が、被告人の犯行当時の心境をきちんと聞き取り主張しただけで、すごいバッシングが起こったのだが、あれはなんだったのだろう。

投稿日時：2014年08月06日17時56分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942863750418432> RT @Hideo\_Ogura: 情状酌量狙いで無期懲役だったところ、最高裁で弁論再開って話になったので、それはないね。RT @lautrea: つーか光市の場合、弁護士の戦術のせいで極刑になったとおもいますけどね。普通に情状酌量狙いなら無期で済んだかも知れないのにね。

投稿日時：2014年08月06日17時56分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942912295284736> RT @Hideo\_Ogura: 我こそは適正手続きの保障など不要という人は事前に登録できる制度があるといいね。RT @tomo\_091519: 磯他さん殺害犯や光市母子殺人屍姦犯ら畜生の命が大切と言い続けられる商売が出来る世の中が大切と。

投稿日時：2014年08月06日17時56分56秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496942991148187650> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺害事件では、無期懲役判決を課した一審の裁判長は、あいつも同じ目に遭わせてやろうぜとの書き込みとともに、２ちゃんねるに、娘さんの名前とその下宿先の住所が書き込まれたんだけど、まあ、世間様に逆らった罰ってことなんだろうね。

投稿日時：2014年08月06日17時57分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943090309922816> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺人事件において、被害者遺族と世間様を傷つけないためには、弁護人も一緒になって、被告人を一日も早く死刑にせよと主張し続けるしかなかったよね。

投稿日時：2014年08月06日17時57分34秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943150724702208> RT @Hideo\_Ogura: 「誰かに極刑を食らわせよ！って叫ぶ僕ちゃん正義！」っていうお手軽正義の味方を体験して酔ってしまっただけでしょう。RT @sankakutyuu: 光市の事件で問われたのは

投稿日時：2014年08月06日17時58分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943261315915776> RT @Hideo\_Ogura: 競争原理が導入されると俺様の意向に沿わない弁護士がいなくなるという発想がよくわからない。RT @gotainmino: 競争原理導入による覚醒が期待されるよ。光市母子殺人事件関連のドラえもん弁護士は放逐されるよ。

投稿日時：2014年08月06日17時58分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943343046103040> RT @Hideo\_Ogura: 傷害致死＋死後強姦が強姦殺人として起訴され、有罪とされているならば、それはそれで冤罪の一種なんだなあ。RT @hemlen\_civa: 【光市母子殺害】１３年後の審判（中）「ドラえもん」の衝撃　刑事弁護のあり方問う <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/120221/trl12022122420011-n1.htm>　＞冤罪じゃない事件の場

投稿日時：2014年08月06日17時58分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943420217110528> RT @Hideo\_Ogura: 弁護人は被告人の声より世間体を重視すべきだね。RT @UmaMurak: 光市母子殺害事件は、少年がどうのというよりも日本の弁護士のアレっぷりが伝わってきてすごくアレだった、という印象しか残らないと思う。

投稿日時：2014年08月06日17時58分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943486172549120> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺害事件の上告審判決が下されるのかぁ。今週はまた弁護士バッシングのツイートが増えそうだなあ。

投稿日時：2014年08月06日17時59分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943598986743808> RT @Hideo\_Ogura: 光市母子殺人事件の弁護人に対するマスメディアがけしかけた「社会的制裁」ってまさにそういうことだったわけで。RT @macron\_: @Hideo\_Ogura そうした状況が起こりうるとしたら

投稿日時：2014年08月06日17時59分36秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943664082341888> RT @Hideo\_Ogura: あの事件の弁護人は、退会命令処分を受ける覚悟で、「弁護人としても、一日も早い死刑判決を望む。」といって、あとは法律に定められた手続きを粛々とこなすだけで終わるべきだったんだよね。RT @hirobumidesu: 光市の事件では弁護士は目的の為には手段を選ばない、

投稿日時：2014年08月06日17時59分53秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943731413508096> RT @Hideo\_Ogura: だったら刑事訴訟法を改正して、「在京テレビ局全局の合意がある場合、弁護人は、手を抜かなければならない」という一文を入れればいいのに。RT @hirobumidesu: 光市の事件などがきっかけで、弁護士に対する尊敬を失った人が多いのも原因かもしれません。

投稿日時：2014年08月06日18時00分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943833691615232> RT @Hideo\_Ogura: 「なぜか」といわれても、少年法６１条がある以上当たり前じゃんというよりない。RT @video\_camera: 光市母子殺害事件の正体　http://bit.ly/c2ZlCq　なぜか犯人（略）の名前はマスコミで報道されていない。

投稿日時：2014年08月06日18時00分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496943926687707136> RT @Hideo\_Ogura: えっ、どんな証拠がでっち上げられたの？情報源は？RT @sankyuz: 日本国内で起きた残虐な事件、例えば「光市母子殺害事件」なので憎むべき異常犯罪者に対し、捏造した証拠をでっち上げ、無実を主張するキチガイ弁護士団、現憲法下の日本は奴らと全く同じで、

投稿日時：2014年08月06日18時00分58秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496944007482593280> RT @Hideo\_Ogura: 懲戒覚悟で「弁護人としても、被告人を一日も早く死刑に処すべきと思料します」と言わなかった以上バッシングを受けても仕方がないということですね。RT @hirono\_hideki: 光市母子殺害事件の安田弁護士らの活動が、与えた影響も大きいという気がします。

投稿日時：2014年08月06日18時01分27秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496944128161103872> RT @Hideo\_Ogura: @keroring 安田先生が「知恵をつけ」た結果光市事件の被告人がドラえもんに関する供述をしたのだということを立証できなければ、虚偽の事実を摘示したことになります。少なくとも確度の高いソースではその旨を示すものはないですが。

RTで始まる部分も今回は全てツイートしました。5件ほど文字数オーバーがありましたが、それはいったん文字を削ってから投稿し、そのあと元に戻しました。アットマークは全て入ったはずですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のものも確認しました。

小倉秀夫弁護士の場合、どこまで本気なのかと疑うような部分もありますが、本来、光市母子殺害事件に関する発言でより大きな問題性を感じていたのは、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログでの発言でした。本質的な問題です。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログで、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と小倉秀夫弁護士が衝突を繰り返すようになるよりは前のことであったように思います。

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）は小倉秀夫弁護士を批判するのに専用のブログまで作っていた時期がありました。私自身は余り読んでもいなかったのでわからない部分も多かったと思いますが、いわば珍獣のような扱いで取り上げているような感じでした。

今確認すると「小倉ヲチ」というリンクがトップメニューにあって、リンクすると次のページに移動しましたが、どうもスタイルシートのレイアウトがおかしいようで、HTMLが不完全な状態になっているのかもしれません。次のページです。

モトケンの小倉秀夫ヲッチング <http://www.yabelab.net/ogura-watch/>

ウォッチングというのは野鳥観察などで聞いたことがありますが、要は珍しい生物として観察するという微妙ではありますが侮蔑的な意味が込められているように思えます。

私はその当時、小倉秀夫弁護士をそれほど変人とは思っていませんでした。たまにブログを見ていましたが、記事の更新も少なかったと思います。当時は本業の方も忙しくされていたのかもしれません。

小倉秀夫弁護士に注目するようになったのはTwitterで国選弁護やその市場原理という独自の見解によるツイートを目にするようになってからです。これはまさに自分の実体験にも関わりのある問題だと思いました。

時刻は10時44分になっています。5時頃まで起きていたと思うのですが、スプリクトのやっかいな問題を直すため、いろいろ調べていました。Twilogの仕様によるものです。

二月も経っていないぐらい前だったと思うのですが、改行を途中に含んだツイートは、Twilogでは初めの改行以降のデータが全て切り捨てられるような仕様になっていたと思うのです。

それがここ10日ほどの間でしょうか、全ての改行を含めて保存されるようになっていました。本体データというのは一件ごとに改行に区切られていることを前提に処理されることが多いのですが、データの区切りではいところに改行があると、一件ごとの正しい処理ができなくなります。

9時半頃に起きて、昨夜調べて得た知識を使って昨夜の続きをやっていたのですが、スクリプトの処理部分を次のようにすることで、うまく対処することができたようです。

sed '/.\*"$/!N; :loop; /.\*"$/!{N; b loop}; s/""," ",""/投稿日時：20\2年\3月（以下省略）

何をしているかというと、本来Twilogのデータは一件ごとに、”データのID”、”投稿日時”、”本文”という形式で区切られています。これはcsvという表計算でも使われるデータ形式に則ったものと思います。

ツイートの本文に改行が含まれている場合、行の終わりは”で終わりません。ということでsedのデータ処理の対象になるパターンスペースに、行の末尾が”で終わらない場合、次行を読み込んでパターンスペースに追加するという条件式を設定しています。

これでうまく行ったと思ったのですが、他にも問題の出ている部分を見つけ、調べたところ、”で閉じられていないデータがありました。対応した（や”で括られていないとエラーを起こすのはプログラムの基本です。

”で終わっていないデータをTwilogのWebサイトで確認したところ、末尾がURLリンクになっていました。

これだと”の終端を正しく取得できないので、次行のデータに悪影響を与えるというか、一部を壊してしまいます。具体例としてスクリーンショットを撮りました。次の二つです。

2014-08-08-103343\_”で区切られていないTwilogのデータ.jpg pic.twitter.com/gFL5QOGgvw

2014-08-08-104217\_”で閉じられていないため壊れた次のデータ.jpg pic.twitter.com/iRAM3Dj9bN

プログラムの説明というよりは、こういうこともあって、プログラムの自動処理ではデータが壊れたり、消失する可能性もある、ということを具体例としてご紹介しておきたかったのです。

また、今回の問題に対処するためにも3時間ほど時間を潰してしまいました。会社によっては午前中の業務を全てそのことに費やしたことにもなるかと思います。昔は解決に2,3日掛けることも多かったです。UNIXの鍛錬でもあります。

さらなる問題の解決方法としては、事前の処理として”で終わっておらず、次行が「”データのID”、”投稿日時”、”」のパターンで始まる行を見つけて、あるべき”がない行に”を追加することだと思います。私の力ではまた2時間ほど掛かりそうなので、やめておきます。

どうしても必要がある場合は、問題を起こすソースを見つけて、末尾に”を追加しておけば、ちゃんとしたデータとして取得はできると思います。本来のツイートにあるべきURLはそれ以前に消えていますが、その辺りも本来のツイートとの違いかと思います。

山口成良金沢大学教授の精神鑑定書のご説明ということで、昨日の続きに移りたいと思います。H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良03.jpg pic.twitter.com/v2H7HQYUq1　がまだ対象の段階かと思います。

「被告人は平成3年4月頃、市場急配センターに勤めるようになった」とか書いてありますが、これは6月ころの誤りです。被告訴人の誰からそのように4月と書いていましたが、勘違いの可能性と、あえて4月に時期を設定したという可能性があります。

現在の私の記憶だけでははっきりしませんが、4月というのは被告訴人安田繁克に関係するような時期になっていたと思います。

スモークフィルムについて書いてありますが、「友達が貼った」ではなく「友達と貼った」が事実です。なにか私がいきなり声を掛けたような印象を受けますが、大倉さんの4トン車が彼女の軽四の後部をバックしていてぶつけた現場でのことです。

「横に被害者がピッタリと座って」というのもおかしな表現です。車から外したガラスを下において作業をする状態で、ガラスはほぼ四角形だとすると、彼女は横の面に座りました。角のようになる部分があるのでピッタリと座ることは、物理的にも不自然です。

それに助手席の窓ガラスではなく、2枚ドアの車のドアの後ろになる三角窓のような部分です。それを取り外し、何かを台にしていたと思いますが、地面に置いたような状況で作業をしていました。

はじめに交際を申し込んだのは10月5日のことです。その日は土曜日で本来の給料日でもあったので、日付はよく憶えています。本来というのは土曜日が銀行の休みのためだったと思いますが、休み明けの月曜日に繰越になっていたはずです。

会社で彼女が話しかけてきた時、私は8月に離婚したことも被告訴人安田敏以外の会社の人には話をせず、隠しているような状況だったので、満足な受け答えをせず、無視に近いような態度をとったこともあり、その時に彼女が悲しそうに泣いているようにも見えたことがありました。

それも仕組まれた計算通りの可能性があったと思いますが、その10月5日の土曜日の昼は、被告訴人松平日出男が昼食会のようなミーティングを行うと言い出し、車で行けば近いところにある金石街道沿い、ジャスコの前にあったレストラン十字に行きました。

ジャスコは現在、全国的にイオンに変わっているはずと思います。そのジャスコは若宮店という店名になっていたように思いますが、現在の若宮大橋からはずいぶんと離れていることもあり、若宮というのは多少違和感も感じます。

レストラン十字の方は、ずいぶんと前にあとかたもなくなくなっていたように思います。平成9年の時点で既になくなっていたかもしれません。ジャスコは5階ぐらいはあったと記憶していますが、家電ショップもあったりデパートという感じでした。

レストラン十字は平成4年の4月1日、事件を起こす直前に彼女つまり被害者AAさんと二人で食事をしていた店でもあります。彼女と二人で店に入ったのも、食事をしたのも初めてのことでした。

細かく言えば、私はハンバーグセットを注文したものの手を付けず、彼女はお腹が空いていないと言って、たしかアイスクリームを注文していました。他にビールの小瓶と、二人でコーヒーを飲んだと思います。

私は免停でえらい目にあったので、車を運転するのにビールを注文することはなかったのですが、その時は自分でも不思議なぐらい、なにかに動かされたような感じでビールを注文していました。彼女に悪く見られて逃げ去りたいという矛盾した気持ちが同居していました。

4月1日のことはまたの機会に書きたいと思います。ここで説明で埋め尽くせば、精神鑑定書の説明の意味がなくなってしまいます。

ほぼ全員の長距離運転手が集まってレストラン十字に行きました。一般の店内ではなく、奥の方にある大きなテーブルのある広い個室に入ったことを憶えています。テレビに出てくる舞台セットのようでもありましたが、初めての経験だったので新鮮に憶えています。

被告訴人池田宏美もいましたが、事務所で一人、電話番となったのが被害者AAさんです。彼女が事務所に一人でいる絶好の機会だったので、私はその場を一時的に抜けだし、公衆電話から会社の事務所にいる被害者AAさんに電話を掛けたのです。

ジャーナリスト江川紹子さんの気になるツイートで知ったのですが、次の記事をご紹介しておきたいと思います。江川紹子さんのそのツイートについてはリークに関して重視する部分があるので、あとで言及します。

検察事前報道めぐり、地元記者らを警察に告発 : 社会 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <http://www.yomiuri.co.jp/national/20140807-OYT1T50145.html?from=tw>

スクリーンショットとしては先にご紹介するツイートです。→　2014-08-08-124857こんなのが告発対象なら、検察、警察、証券取引委員会、国税などのリークはどうなる？.jpg pic.twitter.com/m2k8IBIH1I

落合洋司弁護士（東京弁護士会）の気になるツイートを２つブログの記事にしましたが、リツイートしてそれでTwilogのデータとしても扱えず、ブロックされていることの不便さを改めて感じました。

山口成良金沢大学教授の精神鑑定書の説明中に割り込みモードのようなかたちになりますが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートを記事にしたものをご紹介しておきます。田んぼの草刈り感覚でブロックするか？、という感じです。まずは。

広島市長の平和宣言は、実に良かった。名実ともに平和国家の道を歩む、という のが、特に良かった。／落合洋司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_76.html>

国のステータスが上がって維持するためには人が多少死ぬのは仕方がない、戦争 になったらなったでその時だ、と考えているコピペ男の差が出ていたな／落合洋 司弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/08/blog-post_54.html>

時刻は15時25分です。テレビのミヤネ屋では「徹底検証　いわゆる”慰安婦問題”の真実は？　「”吉田証言”は虚偽」「裏付けなし」」という特集をやっています。ネットでは数日前から見ていた情報でしたが、テレビで特集のように取り上げているのを見るのは初めてかもしれません。

朝日新聞がずいぶんと前の連載記事の内容を誤報として認めたということですが、主に小倉秀夫弁護士のツイートとして、問題を見かけていたように思います。テレビでは日韓関係、国際関係に大きな影響を与えたと言っています。

以下に一部ですが、その問題に関すると思われる小倉秀夫弁護士のツイートをご紹介しておきます。歴史的に証明が困難な問題と思いますが、誤報を認めたという事実や誤報の内容、程度なども全く意に介していないことが窺える発言です。弁護士としての職業的な姿勢も感じさせるものです。

なお、投稿日時は私がリツイートをした日時になっています。RTで始まるものはリツイートしたものです。私自身ずっと前は非公式RTを使うことがありましたが、ずいぶん前から誤解も招きそうなので、全く使っていません。

投稿日時：2014年08月06日23時52分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497032482194087937> RT @Hideo\_Ogura: 騙して連れてこられたという例がイレギュラーなものであれば発注者側が気がつかなかったという話も成り立つのでしょうが、そのような事例が相当数あるとなると、発注者側もそれを容認していたという話になります ね。RT @kiranaoki: では公共事業を依頼した政府の法的責任と倫理責任がど

投稿日時：2014年08月06日23時52分48秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497032547352596480> RT @Hideo\_Ogura: 国際社会から「ああ、日本人は、ああいう行いを悪いとすら思っていないのか。じゃ、憲法改正したら、また同じことをやるかも知れないね」と思われることは、それこそ国益に反しますね。RT @realwavebaba: 国際社 会がどう思うおうと韓国の性奴隷の主張に国内が騙されるのは良くない

投稿日時：2014年08月08日15時35分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497632103626846208> RT @Hideo\_Ogura: 当時の資料を持っていると考えられている日本政府の側で積極的に「倫理的な運営がなされていた」ことを示す必要があるのでしょうね。RT @rinasciment01: とすると日本側（ここでは日本政府）で自らの慰安婦制度の実体を明らかにすることが必要ということでしょうか。

投稿日時：2014年08月08日15時37分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497632720848031745> RT @Hideo\_Ogura: 過去の行為についての嫌悪なんて、現代の倫理観に基づいて生ずるのは当然なんですよ。これを「当時の価値観では問題なかったのだから、我が国のこのような歴史を倫理的に非難するのは間違っている」と言ってみたところで、勝ち目は薄いですよね。

投稿日時：2014年08月08日15時38分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497632989530951680> RT @Hideo\_Ogura: この問題って、国際社会を説得しきれなかった場合には、却って反発を招くことは想定内だったと思うのですが、立証責任論で乗り切ろうと思ったあたりで、そもそもの見通しが甘すぎたのです。RT @realwavebaba: 慰安婦制度は現在進行形の問題ではないので国際社会をそれほど気にするこ

投稿日時：2014年08月08日15時40分49秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497633513575677953> RT @Hideo\_Ogura: 軍隊自ら銃剣をもって脅して連れてきたのではなく、業者に騙されて連れてこられた女性を従軍慰安婦として働かせていたに過ぎないから、いささかも倫理的にはずるところはない（キリッ）と安倍さんあたりが国連で演説した場合にどういう見方を日本がされることやら。

なお、今回はRTで始まる行をツイートとして投稿していません。

ジャーナリズムと弁護士の関係というのも考えさせられるところなのですが、それを含めて先ほどの江川紹子さんのツイートをご紹介してから、ジャーナリストと弁護士の関係について、私の見解を若干述べておきたいと思います。

投稿日時：2014年08月08日12時37分50秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497587461514477568> RT @amneris84: こんなのが告発対象なら、検察、警察、証券取引委員会、国税などのリークはどうなる？ →検察事前報道めぐり、地元記者らを警察に告発 : 社会 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <http://www.yomiuri.co.jp/national/20140807-OYT1T50145.html?from=tw> @Yomiuri\_Onlineさんから

上記のRTから始まる部分をURLの手前までツイートしましたが、投稿されたツイートを見ると、まるで非公式RTのようになっていました。これだと誰の発言なのかわかりにくくなり、ツイッターに慣れていない人には誤解も与えかねないと、私は思っています。

【PC遠隔操作事件】ゆうちゃん「佐世保の加害少女は自分と重なると思う」と自分をなんとしてでもサイコパスにしたい模様ｗｗｗ <http://5rin.info/ant/kiji/948990/>

上記のような記事も出ていましたが、Twitterでの情報はごくわずかでした。スクリーンショットと撮ったのですが、ファイル名の作成に失敗し、Twitterに投稿したものをいったん削除しました。

2014-08-08-165618Twitter　／　検索　-　PC遠隔操作事件.jpg pic.twitter.com/QLBjH3RVVd

上記はファイル名を変更して投稿しなおしたものです。

前にも書いていると思いますが、本書でご紹介しているスクリーンショットはPicasaウェブアルバムにも投稿しています。また、その全てを本書で引用しているわけでもないです。必要ができた時の準備として記録しているものもあります。

Picasaウェブアルバムのアルバムあたりの投稿数というのはかなりの数で、はっきりとは思い出せませんが2千ほどあったようにも思います。一つのアルバムに画像の数が多すぎるというのも処理が重くなったり、調べるのに手間がかかると思ったので、月ごとに移動で管理するようにしています。

先月の7月は管理が悪くてたまりすぎ、一度には100件しか移動ができないので、たまりすぎないうちに移動をするようにしました。現在は8月ですが、先程も次のアルバムに移動させたところです。

告訴状に関連したスクリーンショット　2014年8月分 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/20148>

今のところ74枚のようですが、先月の7月分は370枚、その前の6月分は472枚などとなっています。

添付するパソコン上のデータとしては次のスクリーンショットのように管理しています。7月分のディレクトリ（フォルダ）を作成して、そちらに移動させたところですが、管理も楽で、検索もやりやすいと思います。

2014-08-08-174240告訴状の内容に関連したスクリーンショットのデータ管理.jpg pic.twitter.com/3uvodN6lCE

ＰＣ遠隔操作事件第１５回公判: 甲斐毅彦記者の「多事放論」 <http://weblog.hochi.co.jp/tajihouronn/2014/08/post-3e56.html>

上記の記事では臨床心理士による情状鑑定となっていました。佐藤博史弁護士はやはり心の病気ということで、刑罰以外の措置入院とかを狙っているのかと思いました。もしくはその宣伝です。

今日も朝からいつもと同じぐらいテレビで情報番組を見ていましたが、佐世保女子高生殺害事件に関する報道はまったく見なかったように思います。先月の27日から始まった報道だと思うので、あれだけ大きな事件でもこの辺りが沈静化の目安なのかもしれません。

家庭や教育の問題としても取り上げられていましたが、終わりの方は本人の異常性が強調され、精神の病気や治療の問題の方が大きくなったように思います。養子縁組こそ大きなポイントだと私は思いましたが、テレビで取り上げたのは朝日テレビの系列の番組で、それも一度だけ見たように思います。

時刻は20時51分になっています。19時を過ぎて暗くなってからは、雨が降っていたので、歩いてAコープ能都店に買い物に行ってきました。買いたかったのは、うどんに入れるネギだけだったのですが、他にも少し買い物をしました。

昨日、うどんに入れる油揚げが一週間ほど前に賞味期限が切れていることに気がついたので、早めにうどんに入れて食べておこうと思ったのです。昨日も一つうどんにいれて食べました。2食入りです。

戻ってテレビをつけると20時を過ぎていたように思います。前につけていたままのチャンネルで歌番組をやっていたので、それを見ていました。ちょうど終わったところかと思います。

さきほどHootSuiteのリストをいつものように眺めていると、ホリエモンこと堀江貴文氏のツイートが流れてきました。そう言えば前に見た時、百万とかの大台を超えていたフォロワー数のことを思い出して、確認してみたのですが、大台は超えたままのようです。

記憶に自信もなく間違ったことは書きたくないので、スクリーンショットを撮りました。→　2014-08-08-203840堀江貴文（Takafumi　Horie）　（takaponjp）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/Na7s8ShbX

テレビでは姿だけではなく、名前もすっかり見かけなく聞かなくなっていますが、フォロワー数を見ると支持や影響力はキープされているのではと思いました。活動の場もネットを中心にされているようです。

先日見かけた気になるツイートを、堀江貴文氏のツイッターのタイムラインの方で調べてみたのですが、ツイートの数が多すぎて見るけることができませんでした。キーワードで検索すればと思い、リツイートした手元のTwilogのデータから調べてみました。次のツイートです。

投稿日時：2014年08月07日08時58分06秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497169777840779264> RT @takapon\_jp: あの袋叩き状態は経験してみないとわからない。自分は悪くない、あるいは意図して悪い事をしようと思ったわけではない、潔白なら後ろ指さされるような事してないなら自殺なんかしないって思ってる人は甘いよね。

誤解を招きそうなので、その都度、繰り返してご説明をしていると思いますが、投稿日時は、私がリツイートをした日時のものです。

ライブドア事件も正直なところ、何年前だったか思い出せません。まだ羽咋市のアパートに生活していた頃だったように思うのですが、だとすれば2009年の3月以前ということになり、5年以上も前ということになりそうです。

その頃は私自身も、自分の再審請求事件について、弁護士よりもはるかに警察や検察の落ち度、問題が大きいと考えていたことが、まるで洗脳状態であったように思い出されます。堀江貴文氏の事件とはまるで内容が異なりますが、刑事裁判という一点では共通していると考えてはいます。

他の問題も見たり、それでツイートもしていたのですが、堀江貴文氏のツイッターで「袋叩き」でキーワード検索をしたところ、すぐに一つ見つかったのですが、前に見ていたのとはちょっと違う感じ、それで見直すとブログの記事にしたリックの紹介だったみたいです。まとめてあるようです。

あの袋叩き状態は経験してみないとわからない。ホリエモンが見解をTwitterに | ホリエモンドットコム <http://horiemon.com/staff/13571/>

あえてまとめようとも考えていなかったのですが、ご自身のツイートの他、反応としての他の人のツイートも掲載してあって、調べる手間もまとめる手間も省けました。「現時点でリツイートは5,600を超え大きな反響を呼んでいる。」とのこと。

ホリエモンこと堀江貴文氏の場合、検察権力の横暴による被害者、人生を狂わされたというスタンスは、改めて明示はされていないものの、いささかの変わりもなさそうです。検索のリークとかを含めたマスコミの世論操作というのも、同じような不正の侵害という認識なのでしょう。

テレビ番組の最大の欠点、それはソーシャルメディアでバイラルするハードルが高い事。 | ホリエモンドットコム <http://horiemon.com/13395/>

上記はひとつ気になって見出しのリンクを開いてみたホリエモンこと堀江貴文氏のブログの記事です。読みやすくなるほどと思いながら、検察とインターネットを活用した情報発信との関係に、似たようなところがありそうだな、と思いました。支持者があってのことだと思いますが、それも財産かも。

「問題は、素晴らしいと思う人が何人いるかです。」というなんとなく、チャンネルの流れで見始めたテレビのドラマ。大学講師らしい。次の番組。

匿名探偵　#5 2014年8月8日（金） 23時15分～24時15分 の放送内容 <http://ow.ly/A6NxD>

匿名探偵 - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://ow.ly/A6NDV> 探偵は大金を隠し持っていた大学講師・伸一の身辺を調査。女子大生・若菜との“秘密の関係”を掴む。やがて伸一の妻・幸枝も巻き込み、事態はどんどん悪化していき…!

佐藤博史弁護士の会見、発言の反応が意外なほど乏しすぎて、それもどうかと思っていたのですが、素晴らしくも読む価値もないと感じている人が多いのかもと思いました。

今回はPC遠隔操作事件の公判の内容をそのたびに、記事にしていたジャーナリストの江川紹子さんの反応も今のところはないようです。さすがに見限ったのかと、気になっているところです。

時刻は11時42分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-09 土 11:42> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月9日

<2014-08-09 土 11:43> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

山口成良金沢大学教授の精神鑑定書に対するご説明を書いているところですが、他に書いておきたいことが沢山になりました。主にスクリーンショットとして記録したところですが、刑事弁護とジャーナリズムの沿革的実態を含むもので、とても参考になる資料です。

思わぬところから、次のような検索を掛けて、忘れかけていた情報を見つけました。→　% grep 11031\* hironohideki140808.csv | grep 事務員

Picasaウェブアルバムでもスクリーンショットをまとめたのですが、ポイントとなる文脈をファイル名に含めたスクリーンショットも作成しました。かなりの数になっていると思いますが、ファイル名を見ただけでもおおよそのところはつかめると思います。

本来ならばツイートの集まりなので、リツイートを使ってまとめたいと思ったのですが、ブロックされた人だったのでリツイートは無理です。ジャーナリストの人ですが、経歴が豊富な人で、刑事弁護とジャーナリズムとともに歩んで来た人なのかと思い、そういう意味での厚みは感じました。

ブロックされていても、リストに入れているユーザがリツイートをしたものであれば、リストのタイムラインに流れる仕様になっているので、たまに見かけることはあるのですが、そのジャーナリストに関してもはそういうこともなく、すっかり忘れれていたところでした。

知るきっかけとなったのは次のツイートです。

ツイートをご紹介しようと思ったのですが、私が注視をしている次のアカウントがリツイートをしたもので、元のツイートは匿名の一般の人のようだったので、元のツイートのご紹介はやめることにします。

裁判員制度はいらないインコ (nosaibaninko)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/nosaibaninko>

今回取り上げるのは、次のWebページです。Togetterという有名なツイッターのまとめサイトです。

知っておこう！烏賀陽弘道の警察や検察（冤罪）から身を守る方法 - Togetterまとめ <http://togetter.com/li/700860>

今現在、106282 viewという閲覧数で、お気に入りの登録は443件となっています。Togetterのまとめとしても、かなり数の多い方ではないかと思います。全てに目を通しましたが、3ページに及んでいました。これもまとめの数としてかなり多い方ではないかと思います。

社会・世相・時代の参考情報／ジャーナリスト／知っておこう！烏賀陽弘道の警察や検察（冤罪）から身を守る方法 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/DmDQvB>

上記がPicasaウェブアルバムでまとめたものです。まさに、「社会・世相・時代の参考情報／ジャーナリスト」というカテゴリー分類にふさわしい内容ではと思っています。内容を示す意味もあるので、次に語句を含んだファイル名の写真付きツイートをご紹介します。

投稿日時：2014年08月09日10時03分06秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497910909147156480> 2014-08-09-100251知っておこう！烏賀陽弘道の警察や検察（冤罪）から身を守る方法.jpg <http://pic.twitter.com/yumXTvLQmn>

投稿日時：2014年08月09日10時05分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497911548010958848> 2014-08-09-100528烏賀陽（うがや）弘道　（hirougaya）さんはTwitterを使っています.jpg <http://pic.twitter.com/rEQJCol2qN>

投稿日時：2014年08月09日10時23分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497915976701059072> 2014-08-09-102306証拠がなければ、裁判官はあなたではなく警官を信じます。.jpg <http://pic.twitter.com/9mdj9hZ6ju>

投稿日時：2014年08月09日10時24分49秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497916376271446016> 2014-08-09-102440書名捺印さえなければ、裁判で「警官の作文」と主張できます。.jpg <http://pic.twitter.com/Ww16ff6IPN>

投稿日時：2014年08月09日10時26分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497916745449885696> 2014-08-09-102608それがない限り書名捺印は絶対に危険です。人生がかかっています。.jpg <http://pic.twitter.com/1Eg7UdbAev>

投稿日時：2014年08月09日10時28分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497917182408290304> 2014-08-09-102752警察・検察は手柄を立てたくてウズウズしているので、ちょっとでもその図式にハマりそうなら、.jpg <http://pic.twitter.com/1toAUnEpGT>

投稿日時：2014年08月09日10時29分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497917562642919425> 2014-08-09-102923信頼関係のある弁護士をホームロイヤーとして用意しておくのは、これからの時代必須です。.jpg <http://pic.twitter.com/6RURfl7CqG>

投稿日時：2014年08月09日10時31分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497918051329646592> 2014-08-09-103119\_「警察から身を守るコンサルタント」みたいになってきた　苦笑.jpg <http://pic.twitter.com/vVRLP5y0e2>

投稿日時：2014年08月09日10時33分45秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497918624577769472> 2014-08-09-103334警察に呼び出されたら、呼び出されそうになったら、すぐに刑事弁護の経験のある弁護士を雇ってください。.jpg <http://pic.twitter.com/sTGTHJW5Hg>

投稿日時：2014年08月09日10時34分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497918770677960704> 2014-08-09-103411住所と氏名を名乗り、免許証や保険証を提示したら、あとは一切黙秘。答えない。.jpg <http://pic.twitter.com/DaymWUNj0d>

投稿日時：2014年08月09日10時35分58秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497919180897648640> 2014-08-09-103549\_「救援連絡センター」はこちら。「まったく弁護士の知り合いも当てもない」という人にはいいでしょう。　＞東京都港区新橋2-8-.jpg <http://pic.twitter.com/fOPmpkmAIJ>

投稿日時：2014年08月09日10時37分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497919625762316289> 2014-08-09-103735私はかつて警察・検察担当記者でしたので、警察官や検察官が何をしたがっているか、どんな目で市民を見ているか、自宅のコタツの話.jpg <http://pic.twitter.com/Wp8dKrNyIz>

投稿日時：2014年08月09日10時40分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497920280094703616> 2014-08-09-104011あなたが無罪を主張しても、署名捺印のある調書があればそれで有罪にします。そして何の責任も負いません。.jpg <http://pic.twitter.com/isMmyrp7h7>

投稿日時：2014年08月09日10時41分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497920615089573888> 2014-08-09-104130日本は事実上の一審制度なのです。「無実なら高裁、最高裁があるから大丈夫」などというのは幻想にすぎません。.jpg <http://pic.twitter.com/kXmYONl3LK>

投稿日時：2014年08月09日10時44分05秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497921223976693761> 2014-08-09-104356この国の司法権力のチェック機能のなさは、民主主義国家と呼ぶに値しません。.jpg <http://pic.twitter.com/YQmkg6IVih>

投稿日時：2014年08月09日10時44分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497921388741525504> 2014-08-09-104436そんな民主主義国としての人権保護装置が完全にイカレてしまっているのが我が日本なのです。.jpg <http://pic.twitter.com/sTVQh8DS9K>

投稿日時：2014年08月09日10時46分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497921761434804224> 2014-08-09-104602電車で通勤するあなた、家で子育てするあなたも「逮捕して手柄にする候補者の一人」にすぎないことをお忘れなく。.jpg <http://pic.twitter.com/0c6knW7HXT>

投稿日時：2014年08月09日10時47分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497921997897076736> 2014-08-09-104701９９％信用しません。弁護士ですら信用しないのが普通です。そういう暗黒社会に私達は生きています。.jpg <http://pic.twitter.com/WGsXB8TF99>

投稿日時：2014年08月09日10時48分27秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497922323458949120> 2014-08-09-104819こうした警察・検察の無法状態や裁判所・報道の怠業も、国民の無知と無関心の産物です。.jpg <http://pic.twitter.com/7SKxafVUxG>

投稿日時：2014年08月09日10時49分06秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497922485019361282> 2014-08-09-104856孤立無援になってみると、あなたを救おうとするのは「人権派」とか呼ばれてあなたが異端視していた弁護士や支援団体だけだったりし.jpg <http://pic.twitter.com/rVlzoKOCeH>

投稿日時：2014年08月09日10時50分05秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497922735461240834> 2014-08-09-104956相手をぶん殴ってケガさせちゃった、子どもを虐待しちゃった、強姦しちゃった、とかならダメですよ。あきらめなさい。笑.jpg <http://pic.twitter.com/ypY6Aju9mP>

投稿日時：2014年08月09日10時51分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497923102114725889> 2014-08-09-105122私はいつも「へえ？なんという法律の第何条か、言ってみてください」と言って拒否します.jpg <http://pic.twitter.com/QidHgEOkJ2>

投稿日時：2014年08月09日10時52分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497923442344067073> 2014-08-09-105245普通の市民が逮捕され、代用監獄と人質司法の犠牲になった事件をいやというほど取材しました。.jpg <http://pic.twitter.com/Xl0DssVNLs>

時刻は16時36分になっています。昼はAコープ能都店に少し買い物に行き、午後はずっとテレビを見ています。「田舎に泊まろう！」という番組は今やっているところです。

今回のツイートの掲載には、ファイルに書いてある空行以外を、一行ずつ連続で投稿するスクリプトを使いました。Twilogからダウンロードしたデータを使っています。

ジャーナリズムの人にブロックされた敬意については、次のPicasaウェブアルバムにまとめてありますが、検索で探したところGoogle+の写真のURLになっています。

概要がわかりやすいように、非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に写真付きツイートを投稿しました。手間ですが、またTwilogをダウンロードして、そちらのデータから並べておきます。

経緯及び社会の反応／ジャーナリスト烏賀陽弘道／どうでもいいや。私の人生には関係ない人だし、とか言われてブロックされた経緯 <https://plus.google.com/u/0/photos/105782624485753679454/albums/6004315767155132625>

投稿日時：2014年08月09日16時52分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498013967609245697> hirougayaにブロックされた可能性2014年04月20日18時51分27秒.jpg <http://pic.twitter.com/IdeDMxIekL>

投稿日時：2014年08月09日16時52分48秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014013205118978> どうしょうもない愚鈍な人だ。2014年04月20日18時45分23秒.jpg <http://pic.twitter.com/A6hkHI5UqB>

投稿日時：2014年08月09日16時53分03秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014077638037504> どうしょうもない愚鈍な人だ。・他ツイート2014年04月20日18時41分41秒.jpg <http://pic.twitter.com/eUhy1Csddy>

投稿日時：2014年08月09日16時53分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014148827938816> まあ、どうでもいいや。私の人生には関係ない人だし012014年04月20日18時47分35秒.jpg <http://pic.twitter.com/ai3Qu2Us7K>

投稿日時：2014年08月09日16時53分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014205769809921> まあ、どうでもいいや。私の人生には関係ない人だし022014年04月20日18時47分55秒.jpg <http://pic.twitter.com/DMrk3Pfxpw>

投稿日時：2014年08月09日16時53分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014251651330048> 烏賀陽（うがや）弘道hirougayaさんはTwitterを使っています2014年04月20日21時18分58秒.jpg <http://pic.twitter.com/euFPTw1zzC>

投稿日時：2014年08月09日16時54分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014321750708224> 少しは自分の頭を使って考えなさい。ますますだめな人間になりますよ012014年04月20日18時46分16秒.jpg <http://pic.twitter.com/EdvIw0ZyG0>

投稿日時：2014年08月09日16時54分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498014385005031424> 少しは自分の頭を使って考えなさい。ますますだめな人間になりますよ022014年04月20日18時46分31秒.jpg <http://pic.twitter.com/kV6TaYO5U5>

ついでというか同じジャーナリストということで、一緒にご説明したほうがいいので、以前、ジャーナリスト江川紹子さんにブロックされるに至った主にPC遠隔操作事件に関連したツイートをスクリーンショットですが、まとめてご紹介しておきます。

次のようなコマンドを使っています。→　% tac shirono140809.csv |grep '140809 17' |h-twilog-format.sh > u

本日の17時台のツイートが全て該当するとわかっているので、そのように絞り込みを掛けました。uは一時的な作業ファイルのようなものです。次のコマンドで連続投稿を実行します。

% h-kkhirono-tweet-file.rb u

投稿日時：2014年08月09日17時27分57秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022862909751296> 「このままでは家に帰れない」と思って認めた2013年04月13日00時07分46秒.jpg <http://pic.twitter.com/LGM7k64ijf>

投稿日時：2014年08月09日17時28分03秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022886477545472> あなたは、片山氏が有実であるという、確信2013年04月12日23時57分45秒.jpg <http://pic.twitter.com/tdMsbXHCvP>

投稿日時：2014年08月09日17時28分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022910317973504> さらにいえば、OS（基本ソフト）そのものをUSBに入れて持ち運ぶ2013年04月13日00時00分52秒.jpg <http://pic.twitter.com/jWU1qpWIPe>

投稿日時：2014年08月09日17時28分15秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022934401646592> ずばり言って真犯人の可能性が高いと思います。一番の理由は2013年04月12日23時49分55秒.jpg <http://pic.twitter.com/sOzanaOaMT>

投稿日時：2014年08月09日17時28分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022958460198912> たとえば、あなたは今回の遠隔操作事件の犯人の可能性がある2013年04月12日23時49分12秒.jpg <http://pic.twitter.com/0AyktI9dBB>

投稿日時：2014年08月09日17時28分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498022981935702016> わらしが弁護人の言うこと垂れ流しでけしからんという人がいるが2013年04月12日23時56分37秒.jpg <http://pic.twitter.com/7Lh9dSqpqq>

投稿日時：2014年08月09日17時28分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023005339926528> わらしも、佐藤弁護士の弁護のやり方が正しいのか2013年04月13日00時06分15秒.jpg <http://pic.twitter.com/4eZGEKWKgF>

投稿日時：2014年08月09日17時28分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023028928704512> フォロワーさんでもなく、もっぱら因縁つける系の方、ブロックさせて2013年04月13日00時18分54秒.jpg <http://pic.twitter.com/w7ybzXXXFq>

投稿日時：2014年08月09日17時28分43秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023052433571841> 一番大事なのは、彼の自宅のPCが、C#でプログラムを作る環境に2013年04月12日23時53分28秒.jpg <http://pic.twitter.com/jdALcphjFJ>

投稿日時：2014年08月09日17時28分48秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023076668248064> 開発に使用したノートパソコンを隠し持ち、使い捨てたという可能性は2013年04月12日23時52分51秒.jpg <http://pic.twitter.com/HGNOUbDtIe>

投稿日時：2014年08月09日17時28分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023100680658944> 検察マインドの方からいくら揶揄されようと、弁護人が原則2013年04月13日00時09分18秒.jpg <http://pic.twitter.com/cZEdV6MYmR>

投稿日時：2014年08月09日17時29分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023124844027904> 見当違いの質問ですね。有罪、無罪にかかわらず、より良質な判断材料2013年04月12日23時58分12秒.jpg <http://pic.twitter.com/GWquPJmN09>

投稿日時：2014年08月09日17時29分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023153986043904> 江川さん情報の取捨選択が偏り過ぎてはいませんか。自殺2013年04月13日08時30分43秒.jpg <http://pic.twitter.com/IRjE6ZIBdS>

投稿日時：2014年08月09日17時29分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023190556184577> 江川紹子さんがあなたをフォロー？2013年04月12日04時09分38秒.jpg <http://pic.twitter.com/Wo6tjLYxTe>

投稿日時：2014年08月09日17時29分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023214669250560> 江川紹子にブロックされた模様-shirono2013年04月12日01時32分46秒.jpg <http://pic.twitter.com/156cXdUaWX>

投稿日時：2014年08月09日17時29分27秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023238916534272> 江川紹子にブロックされた模様-shirono2013年04月12日01時40分00秒.jpg <http://pic.twitter.com/gqmbwrDYan>

投稿日時：2014年08月09日17時29分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023262610141184> 江川紹子にブロックされた模様-shirono2013年04月12日01時48分49秒.jpg <http://pic.twitter.com/xD0EhBYq06>

投稿日時：2014年08月09日17時29分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023286417002496> 江川紹子にブロックされた模様2013年04月12日00時55分23秒.jpg <http://pic.twitter.com/ed0cCpOFTe>

投稿日時：2014年08月09日17時29分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023309884129280> 佐藤弁護士がこだわっているみたいなので調べてみたのですが2013年04月12日23時58分36秒.jpg <http://pic.twitter.com/qhKizCoYb8>

投稿日時：2014年08月09日17時29分50秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023333930078208> 持っていなかったという照明も似たようなものではないでしょうか2013年04月12日23時48分35秒.jpg <http://pic.twitter.com/xYRzi4cZnn>

投稿日時：2014年08月09日17時29分55秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023357195898881> 真犯人だとすると決定的証拠を突きつけられるまで、反省2013年04月12日23時59分27秒.jpg <http://pic.twitter.com/r3qVkyWRjz>

投稿日時：2014年08月09日17時30分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023381107605504> 垂れ流しと言うより、ぶっちゃけインチキくさいです2013年04月12日23時57分11秒.jpg <http://pic.twitter.com/38yNkGwP5U>

投稿日時：2014年08月09日17時30分08秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023409222049793> 誰かに犯罪の嫌疑をかける場合は2013年04月12日23時54分39秒.jpg <http://pic.twitter.com/HwSWiAuEcL>

投稿日時：2014年08月09日17時30分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023432680792064> 徹底黙秘したという和歌山カレー事件の被告に共通したもの2013年04月13日00時00分11秒.jpg <http://pic.twitter.com/1t41LICkcR>

投稿日時：2014年08月09日17時30分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023456668004352> 彼がノートPCを持っていたことが証明されないと、その前提で2013年04月12日23時52分04秒.jpg <http://pic.twitter.com/7Q8zI4mMIS>

投稿日時：2014年08月09日17時30分30秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023501672882176> 彼はプロのプログラマーでもあるわけですし、より重要な問題は英語力2013年04月12日23時50分34秒.jpg <http://pic.twitter.com/i8xE4hXiZp>

投稿日時：2014年08月09日17時30分35秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498023525471379456> 黙秘はしないと言っているのだから、証拠2013年04月12日23時59分50秒.jpg <http://pic.twitter.com/WL8K7Zqapx>

54件のツイートをスクリプトで送信したようです。timeコマンドで確認しましたが6分半ほどで完了したようです。sleepコマンドは多めに6秒にしているので、だいたい6秒間隔での送信なっているはずです。

ファイル名に日付を入れているのですぐにわかるのですが、昨年の4月12日ということで、これはずいぶんと前だと意外に思いました。廣野秀樹（@hironohideki）に関しては、一月も経たないぐらいか早い段階で、ブロックを解除されたらしいことを確認しています。

時刻は8月10日8時56分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-10 日 08:56> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月10日

<2014-08-10 日 08:59> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨夜は録画していた情報番組をみていて、終わりの方だったと思いますが、横になって寝てしまいました。5時頃に目がさめて、もう一度眠ろうと思ったのですが眠れず、しばらく横になっていたのですが、眠れそうになかったので起きてパソコンをつけました。

昨夜は黙っていられない小倉秀夫弁護士のツイートがあったので、それに返信をいれたのですが、やはり今回も反応はなかったようです。その返信のツイートにはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の＠も含めていたと思います。

返信を入れたツイートは小倉秀夫弁護士とモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）とのやりとりだったので、そうしたというのもあります。Twitterではアプリによる違いもありますが、多くの場合返信ボタンをクリックすると対象ツイートの＠付きで投稿の入力画面が開かれます。

その前にPC遠隔操作事件における佐藤博史弁護士に関する批判的なツイートも行いました。小倉秀夫弁護士とも似ていますが、私としては公益通報的な意味合いが強い発言、告発的なものと考えております。これには防御という目的も含まれているのですが、そのことは追々ご説明します。

眠れずに起きてからは、次のツイッターの高度な検索、を利用してモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートで、光市母子殺害事件に関するものとPC遠隔操作事件に関するものをそれぞれ連投でリツートしました。

期待に近いまずまずの収穫があったと思いますので、そちらを先にまとめてご紹介したいと思います。

ちょっと容易に手間取りましたが、Twilogのデータの行末に”がない問題を解決する方法を見つけました。あとでご説明します。

以下、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイッターアカウント「モトケン (motokentw)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/motoken_tw> 」で光市母子殺害事件に関するツイートを一部まとめたものです。

投稿日時：2014年08月10日07時21分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498232555703787520> RT @motoken\_tw: 私は、光市母子殺害事件の弁護団は刑事弁護の基本から外れているとは思わないのだが、竹野内氏の弁護士の弁護方針には謎の部分が多い。

投稿日時：2014年08月10日07時21分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498232602478661634> RT @motoken\_tw: 橋下氏は、光市事件裁判の頃から刑事弁護についての無知無理解を晒していたのだが、刑事弁護に無知無理解な弁護士が犯罪について理解があるとは思えない。

投稿日時：2014年08月10日07時21分59秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498232751829422081> RT @motoken\_tw: 失笑どころでなかった。RT @deadletterjp: 橋下徹の論争する能力について疑いを持ったのは…、あの「光市事件弁護団への懲戒請求扇動騒動」の時。…彼は、自分のblogに、非常に稚拙な反論を載せ、法学クラスタから、失笑されていたhttp://ow.ly/1Uw1Jb

投稿日時：2014年08月10日07時23分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498233117241380864> RT @motoken\_tw: 当たると思いますが、まともな人は本気にしないのでw RT @pfh38th: これって名誉毀損には当たらないんですか？具体的な当事者名はないですが。 RT モ RT @999namioto: 光市母子事件で、加害者の味方してる弁護士の連中は、自分が凶悪犯罪をして少年法で守られた経

投稿日時：2014年08月10日07時23分52秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498233224296816640> RT @motoken\_tw: 本気にする人はいないと思うけど…RT @999namioto: 光市母子事件で、加害者の味方してる弁護士の連中は、自分が凶悪犯罪をして少年法で守られた経験があるから、活動してるんだろうけど、またそういう子供らが、少年法で守られて、人を殺してもどーせ守ってもらえると思うなら怖いね。

投稿日時：2014年08月10日07時24分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498233344513933312> RT @motoken\_tw: “悪魔の弁護人”て初めて聞いた。マスコミがそう呼んでいるなら、ほんとにマスコミって無知無理解だ。＞毒カレー、オウム真理教、光市母子殺害……“悪魔の弁護人”と呼ばれる男の素顔『死刑弁護人』 <http://www.cyzo.com/2012/06/post_10866.html> @cyzo #cyzoさんから

投稿日時：2014年08月10日07時25分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498233514966261760> RT @motoken\_tw: 大きな理由として、光市母子殺害事件弁護団に対する懲戒煽動発言。弁護士でありながら、刑事弁護に対する無知無理解を晒し、弁護人たちに不必要な負担を強いた。RT @yutabossun: @motoken\_tw

投稿日時：2014年08月10日07時26分42秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498233938473533442> RT @motoken\_tw: 突っ込みどころばかりだが、取り敢えず晒す。RT @togetter\_jp: .@takitahiroki さんの「橋下徹大阪府知事の光市母子殺害事件弁護団懲戒請求事件最高裁判決受けてのツイート」が250PV達成だってさ、 <http://togetter.com/li/162127>

以下、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイッターアカウント「モトケン (motokentw)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/motoken_tw> 」でPC遠隔操作事件、佐藤博史弁護士に関するツイートを一部まとめたものです。

投稿日時：2014年08月10日07時36分48秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498236481043849216> RT @motoken\_tw: なんだ、やっぱり検察は決定的な証拠を持ってないんだ。証拠の脆弱性を棚に上げた人質司法だな。＞【PC遠隔操作事件】保釈決定は出たが…(江川 紹子) - Y!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20140304-00033228/>

投稿日時：2014年08月10日07時36分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498236506251603968> RT @motoken\_tw: うん、あれでは怒る。RT @nobuyoyagi: お怒りは当然だと思います。→【PC遠隔操作事件】第1回公判前整理手続きで、弁護人の怒り炸裂(江川 紹子) - Y!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20130522-00025135/>

投稿日時：2014年08月10日07時37分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498236561268297728> RT @motoken\_tw: いったい検事はいつになったら証拠隠滅の可能性がなくなると考えているのかな？弁護人に証拠を開示したら証拠隠滅の可能性が生じる、と考えているとしか思えないのだが、恐ろしく愚かで失礼な話だ。【PC遠隔操作事件】弁護人の怒り炸裂 <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20130522-00025135/>

投稿日時：2014年08月10日07時37分55秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498236762380963841> RT @motoken\_tw: 本件以上の人質司法がいくらでもある。RT @tatuki\_h: 「東京地裁は、ここまで検察の言いなりになる組織になってしまったのか。これは人質司法そのものだ」→【PC遠隔操作事件】なぜ犯行場所を特定できないのか…弁護側が追及（江川紹子）http://bit.ly/13LFt2S

投稿日時：2014年08月10日07時38分55秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237011623280640> RT @motoken\_tw: うちのローに佐藤博史弁護士と菅家利和さんが来て講演したときは大勢の学生が聞いてたよ。RT @graywolfintokyo: 学生方とお話ください。“@motokentw: 彼が極端例外でない可能性の指摘ということで。 RT @keita\_adachi:

投稿日時：2014年08月10日07時40分03秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237297246998528> RT @motoken\_tw: 刑事裁判の情状弁護というのは、弁護士が被告人をどれだけ理解しているかが重要だと考えている。その意味で、片山被告人を今最も理解している弁護士は佐藤弁護士だろう。辞任されなくてよかったと思う。

投稿日時：2014年08月10日07時40分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237342876831744> RT @motoken\_tw: ログインしなければ読めない部分だが、佐藤弁護士が被告人の人生を考えていることがよく分かる法廷だ。＞「真犯人」に戻った瞬間（きょうも傍聴席にいます） - 朝日新聞デジタル <http://t.asahi.com/eso1>

投稿日時：2014年08月10日07時40分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237414343589888> RT @motoken\_tw: 佐藤弁護士を批判ないし非難するツイートも流れてくるが、私は佐藤弁護士を尊敬する。

投稿日時：2014年08月10日07時41分13秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237590982496257> RT @motoken\_tw: 【PC遠隔操作事件】だけど、取調べを可視化して被告人の弁解を出し尽くしていたら、とっくの昔に白黒がついてたんじゃないかな？

投稿日時：2014年08月10日07時42分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237872588091393> RT @motoken\_tw: 今まで何度か人質司法の元凶は裁判官だと指摘してきたが、それが裏付けられた。＞【ＰＣ遠隔操作事件】「罪証隠滅のおそれ」って何？～名（元）裁判官・原田國男氏が語る”裁判官マインド”(江川 紹子) - Y!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20130601-00025384/>

投稿日時：2014年08月10日07時42分45秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498237979790278656> RT @motoken\_tw: 唯一の不満は「確信」の根拠が示されていないところかな。あとは全くその通りだ。＞【ＰＣ遠隔操作事件】「罪証隠滅のおそれ」って何？～名（元）裁判官・原田國男氏が語る”裁判官マインド”(江川 紹子) - Y!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20130601-00025384/>

投稿日時：2014年08月10日07時43分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498238169960034304> RT @motoken\_tw: 途中までしか見てないけど、このとおりなら検事はアホや。RT @tjimbo: だからぜひ会見見てね。|検察は確たる証拠を持っていない・遠隔操作ウィルス事件・佐藤博史弁護士記者会見 <http://bit.ly/11Bq5Wf> #videonewscom

投稿日時：2014年08月10日07時44分22秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498238384586780674> RT @motoken\_tw: 私が言ったのは、佐藤弁護士は有能だから再逮捕を想定しているはず。その想定が実行されたのは予測可能性が増加したという意味で歓迎すべき事態だということ。何度言わせるんですか？RT @amneris84: @motoken\_tw で、…

投稿日時：2014年08月10日07時45分11秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498238589633716224> RT @motoken\_tw: 佐藤弁護士は有能な弁護士であるということが当然の前提。RT @rakugaki\_man: @motoken\_tw ハタから見ていると反語かどうか判断が難しかったので字句通りの意味だと思いました

投稿日時：2014年08月10日07時45分29秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498238666515292160> RT @motoken\_tw: 佐藤弁護士ほどの有能な弁護士が想定してないはずはない、ということなんですけど。RT @amneris84: @motoken\_tw 歓迎してない、と言ったら、想定してなければ無能だ、とおっしゃいましたね。なぜ、「歓迎しない」を、「想定しない」にすり替えるのですか？

投稿日時：2014年08月10日07時46分32秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498238932073476096> RT @motoken\_tw: もうすぐ来そうだな。真犯人だと名乗るメールが。RT @yjochi: 佐藤弁護士に、真犯人からメール来てませんか、と聞かれ、来たら真っ先に先生にお知らせします、と答えた@弁護士会館のシンポジウム会場

投稿日時：2014年08月10日07時47分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498239128006176768> RT @motoken\_tw: しかし、被疑者が、検事からこんな不当なことを言われた、と弁護人に言い、それが著名なジャーナリストによって広く報道された場合、検事がそんなことは言っていないと立証するには可視化しかない。佐藤弁護士がどうかは別にして、可視化しないと今後印象操作をする弁護士が出てきても不思議なない。

投稿日時：2014年08月10日07時47分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498239275532431360> RT @motoken\_tw: 録画や録音を拒否するのは取調べが下手くそなのがばれると困るからだ、と思われちゃうよ、検察官様。＞【PC遠隔操作事件】警察も検察も、これで大丈夫なのか…(江川 紹子) - Y!ニュース <http://bylines.news.yahoo.co.jp/egawashoko/20130305-00023753/>

投稿日時：2014年08月10日07時49分03秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498239563827924993> RT @motoken\_tw: 一般論としては、弁護士の多くは捜査段階の弁護人（今の佐藤弁護士の立場）が接見情報等を公にすることには批判的だと思います。光市事件のときにも議論になりましたけど。

投稿日時：2014年08月10日07時49分58秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498239793600290816> RT @motoken\_tw: 世論誘導というより、接見情報の開示が問題。RT @morikuni\_net: 接見した佐藤弁護士の世論誘導等が被疑者の不利益になる場合があるとすれば、それはどんなケースが考えられるでしょうか？ @motoken\_tw よくわからない。接見してるわけじゃないし。

投稿日時：2014年08月10日07時50分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498239976018944000> RT @motoken\_tw: 具体的にどのコメントか分かりませんが、基本的に何の役にも立ってないでしょう。RT @amneris84: 匿名の「幹部」たちのコメントは世論誘導にめちゃくちゃ奏功しているようですが、それが警察のためになっているのでせうか RT @motoken\_tw 佐藤弁護士の世論誘導はかなり

投稿日時：2014年08月10日07時52分27秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498240419671465985> RT @motoken\_tw: この記事で一番共感できるのは「警察は内偵中だった片山氏の存在をメディアに嗅ぎ付けられ、証拠の隠滅を恐れて証拠固めが不十分なまま逮捕に踏み切った可能性が高い」の部分。警察の自業自得だけど＞遠隔操作ウィルス事件・佐藤博史弁護士に聞く - <http://www.videonews.com/news-commentary/0001_3/002689.php>

投稿日時：2014年08月10日07時53分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498240640694497281> RT @motoken\_tw: 江川さんが佐藤弁護士に取材して記事にすること自体を批判する意図はないのだが（佐藤弁護士の発言については議論はあろうが）、その意味するところは考えたほうがいいんじゃないのかな。

投稿日時：2014年08月10日07時54分11秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498240853542842370> RT @motoken\_tw: 警察がリークしてマスコミがそれを報道するのと、江川紹子さんが佐藤弁護士に取材して記事を書くのと、どう違うのかと考えてみたが、情報の受け手としての観点で言えば、方向が違うだけで機能的にはどっちも同じと見る方がよさそうな気がする。

投稿日時：2014年08月10日07時55分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498241254912557056> RT @motoken\_tw: 佐藤弁護士は積極的に情報操作をするタイプのようだな。弁護人が接見内容を漏らすのもリークと言えばリーク。RT @2ch\_matome: #2ch ゆうすけ　「へぇ、僕が首輪つけた映像あるんですか？見せてくださいよ」　警察「…」 <http://bit.ly/XkOH3p>

ツイートのリンクのみのAPI投稿にしました。これだとツイートを削除された場合、リンク切れで何も表示されなくなる可能性もあるかと思います。アカウント自体を削除された場合も同じです。

ここで一つ別のアカウントを使って試してみようと思います。廣野秀樹（@hironohideki）でテスト用の投稿をして、告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）でリンクを投稿し、元の投稿を削除することでどうなるのかやってみます。

これです。→　Twitter / hironohideki: リンク削除のテスト用の投稿。すぐに削除。 … <https://twitter.com/hirono_hideki/status/498282097438896130>

テストの結果ですが、あとかたもなく消えていて、元のURLを確認することもできなかったです。どういう状況になるのかスクリーンショットを用意しました。

2014-08-10-104151リンク削除のテスト（元ツイート削除前）.jpg pic.twitter.com/GCjPLozgmr

2014-08-10-104321リンク削除のテスト（元ツイート削除後）.jpg pic.twitter.com/wFLm597fEK

以前、強姦やわいせつ事件を専門にしているらしい弁護士に、元のツイートを削除されたことがあるのですが、Twilogから調べ出すことができ、次のようにそれに関連した同じ日のツイートを抽出することが出来ました。

% tac hironohideki140810.csv |grep ',"110528' |grep @okumuraosaka

以下は、TORU OKUMURA (okumuraosaka)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/okumuraosaka> 奥村徹弁護士とのやりとりに関連したと思われる2011年5月28日のツイートをまとめたものです。

投稿日時：2011年05月28日15時14分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/74357903691227138> RT @okumuraosaka: 精神鑑定ってさあ、とっぽどおかしい場合じゃないと採用されない。

投稿日時：2011年05月28日15時22分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/74359942219436032> これは貴重なご意見です。再審請求の資料として援用させてもらいます。http://ow.ly/54Zy3 こちらが対象です。→http://ow.ly/i/caaq 四苦八苦です。 RT @okumuraosaka: 精神鑑定ってさあ、とっぽどおかしい場合じゃないと採用されない。

投稿日時：2011年05月28日15時47分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/74366079807389696> RT @okumuraosaka: 国選事件の被告人って、証拠みせてもらわないでやってるだろ。みせるとややこしいからか。

投稿日時：2011年05月28日15時48分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/74366390030700545> RT @okumuraosaka: じ＝判決に影響を及ぼすべき重大な事実の誤認があって原判決を破棄しなければ著しく正義に反するから原判決は破棄を免れない（411条3号）。って変換されるのは便利

投稿日時：2011年05月28日15時54分50秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/74368013855506432> RT @okumuraosaka: 裁判員が情緒的立証に弱いのなら、吉本の脚本家に弁護人主張を考えてもらえば、最後にもらい泣きするだろう

上記は全てをAPIで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿しました。kkhironoのアカウントがブロックされていなければ、＠でメンションが飛んでいることかと思います。2件目の私のツイートはちょうど140文字でした。

<http://ow.ly/i/caaq> がリンクのOw.lyのスクリーンショットの画像だと、リイートの日時が「一時間前」とかになっていました。これだと日付も時刻もわかりません。

今、ツイッターの高度な検索で確認したのですが、他に私がリツイートしたツイートも削除されたのではと思います。2011年5月28日のツイートを検索しましたが、翌日にも関連したことをつぶやいている可能性があるかもしれないので、29日も含めました。次がスクリーンショットです。

2014-08-10-113444from：okumuraosaka　since：2011-05-28　until：.jpg pic.twitter.com/UI8EWxyzbu

勘違いされる可能性が高いので繰り返しますが、RTで行頭から始まり＠のユーザ名が続き：で区切られるものは、その行頭のユーザのツイートをリツイートしたものという意味になります。また投稿時間はリツイートした時刻であって、元のツイートが投稿された時間ではないです。

Twilogの一件のデータが、”で閉じられていない問題ですが、思った以上に数が多いことに気が付きました。vimで「:%s/^$".\*[^"]$$/\1"/」というコマンドを実行することで解決出来たみたいです。この手法だと応用でsedでも簡単に出来そうです。

2014-08-10-120422TORU　OKUMURA　（okumuraosaka）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/NHAgIs7aDe

上記が奥村徹弁護士のツイッターアカウントのページですが、名前がいつの間にかローマ字になっていて、今日初めて知りました。前には「弁護士奥村徹」になっていたはずです。プロフィールに電話番号からメールアドレスを掲載しているというのも今までは気がついていなかったように思います。

精神鑑定ってさあ、とっぽどおかしい場合じゃないと採用されない。 <http://s-hirono.blogspot.jp/2011/11/blog-post_5883.html>

上記のブログ記事にあるスクリーンショットの画像では5月28日という投稿の日付が確認できましたが、時刻は含まれていませんでした。どうもTwitterの仕様自体が現在とは違っているようです。現在は次のようにわかりやすく。→　22:16 - 2014年8月8日

時刻は15時00分になっています。昼は千切りのキャベツと冷凍のアオリイカの焼き飯を作っただけでしたが、作るのにも片付けるのもけっこう手間と時間がかかりました。今はまだ洗濯の途中ですが、合間にテレビも見ていました。

「たかじんのそこまで言って委員会」という番組を日テレ系のテレビ金沢で、途中まで見ていました。見たかったのは佐世保女子高生殺害事件だけでしたが、やはり加害生徒の異常性のみが大きく印象づけられているという内容でした。親の責任は一般論としてさらりと触れただけでした。

昼前のニュースでも席を離れていて途中からになったのですが、11月10日まで精神鑑定をするということが決まったように言っていました。昨夜だかでは今月中頃から3ヶ月間というニュースも聴いていたので、思ったより開始が早いという気もします。

弁護士がリークと皮肉を込める警察関係者の情報もこのところはさっぱり見ていないので、捜査の進捗もわかりませんが、やはり少年事件ということで、一般の刑事事件とは違うところもあるのかもしれません。

片山被告の精神鑑定認められず　PC遠隔操作事件 <http://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000032290.html>

昨夜見たものと思いますが、上記のANNニュースの記事では次のようにはっきりと精神鑑定と書いてあります。→　弁護側は「事件の真相解明には片山被告の精神面の問題の解明が必要」として精神鑑定を求めていましたが、東京地裁は8日付でこの要求を退けました。理由は明らかにしていません。

江川紹子さんのツイートでは心理鑑定と書いてあったと思いますが、佐藤博史弁護士本人の発言では情状鑑定というものが多かったように思います。情状証人というのは聞くことがありますが、情状鑑定というのは意味もよくわかりません。

情状酌量による減刑を求めるための精神医学的な鑑定という理解も出来そうですが、佐藤博史弁護士がストレートに精神鑑定という言葉を持ち出せば、世間の反発を招きかねないと考え、あいまいな表現を使ったのかとも思いました。

Googleで調べると割と情報が出てきたのでちゃんとした法律用語になっているようにも思えます。→　情状鑑定 とは - コトバンク <http://kotobank.jp/word/%E6%83%85%E7%8A%B6%E9%91%91%E5%AE%9A>

上記のWebページの内容を見ると精神鑑定とはかなり違った印象を受けますが、実施されたという話も見たことはなかったのだと思います。初めに情状鑑定というのを見た時、かなりの違和感を覚えたからです。

精神鑑定が採用されるとは限らない - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2008/01/30-114509.php>

検索結果の1ページ目には上記のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログの記事があったので、リンクを開いたところ、朝日の記事の引用部分ですが、次の記述がありました。→　犯行に至った精神状態を明らかにするため、精神鑑定と心理鑑定を求めていたが、

2014-08-10-153717犯行に至った精神状態を明らかにするため、精神鑑定と心理鑑定を求めていたが、.jpg pic.twitter.com/nIDkXb85fU

2014-08-10-154019必要性を認める根拠・理由はさまざまですが、典型的には精神疾患またはその疑いがある場合です。.jpg pic.twitter.com/GLF76BlArK

コメント欄の方に目を移したところ、すぐに上記スクリーンショットの内容が目に入りました。ページ中、青色に反転しているのは、私が範囲選択中の印です。普段は選択を解除してからスクリーンショットを撮ることが多いのですが、今回はあえて選択状態にしました。

さきほどご紹介した奥村徹弁護士の「精神鑑定ってさあ、とっぽどおかしい場合じゃないと採用されない。」という発言に通じるところがありますが、それが弁護士の刑事裁判の専門家としての見方なのでしょう。

朝日の記事の方は削除されたものと思われますが、存在しないというリンク切れになっていました。それでも引用されていた内容からすると、精神鑑定と心理鑑定は別物のようです。精神鑑定は心理鑑定も包含するという気もするのですが、専門家でないと正確なことはわからないです。

コメント欄には「弁護人は、被告人のために最善を尽くす義務を負います。」という書き込みもありますが、質問者が専門家に回答を呼びかけているので、専門家の可能性が高そうですし、ハンドル名にも専門家らしい人として見覚えがあります。

ぷり（駆け出し弁護士） さん、という人は次のように書いています。→　本人の供述，犯行状況，過去の生活状況，病歴，第三者の供述等から責任能力の存在に疑義が生じた場合は全部というのが原則です。

「明確な間違いです。精神鑑定請求というのはそんなに簡単な請求じゃありません。」という部分も看過しがたいのですが、この部分は前後の文脈を含めて、スクリーンショットにしました。

2014-08-10-161701精神鑑定請求というのはそんなに簡単な請求じゃありません。　ぷり（駆け出し弁護士）　さん.jpg pic.twitter.com/WesmsdTQMv

「＞したがって、弁護士自身には判断できない以上、疑いがあるケースは請求せざるを得なくなります。　　　　　　　　　　この言葉で全てを表していますね。これ誤解してる人が多いと思いますね。」（No.24 ゲン さん | 2008年1月31日 16:20

上記もコメント欄からのものですが、表示の方法を変えてみました。2008年1月となっているので、現在からは6年半ほど前ということになるかと思いますが、弁護士を取り巻く状況の違いとしても、わかりやすい例だと思います。

No.24のコメントは、次の専門家の対応に対応したものです。近頃はあまり見かけなくなりましたが、＞を先頭に持ってくるのは引用部分を示しているはずです。本来は改行が来て本人のコメントになるのですが、スペースを多めにして代替しました。

「刑事事件になるのは、かなり特殊な事例であることが多いのですが。（改行）　したがって、弁護士自身には判断できない以上、疑いがあるケースは請求せざるを得なくなります。」（No.12 L.A.LAW さん | 2008年1月31日 11:22

（改行）という部分は私が入れました。実際は改行の後に空白行が一つ挟まれています。LAWというのはロースクールのロー。法のことを指すのだと思います。余り記憶にないハンドル名です。

「非常に疑った失礼な質問と、疑った弁護士さん達には非常に申し訳なかったと思います。ごめんなさい。」（No.24 ゲン さん | 2008年1月31日 16:20

質問者のゲンさんは、上記のように謝罪までしていますが、本当に納得したのかはわかりません。要は弁護士がダメ元で精神鑑定をすることがあるのかというような趣旨の質問だったと思います。非常に疑った、と書いているのは皮肉を込めていることもありうるのかもしれません。

「わかっていただければ十分です。（改行＋空行１）ただ，精神鑑定の問題についてはそもそも責任能力とは何ぞや，刑法３９条のの意義とは何ぞや，という問題の理解が必要になります。」（No.25 ぷり（駆け出し弁護士） さん | 2008年1月31日 16:24

「その上で，ドラマ等であやまった知識が流布して現在の状況になっていると思います。（改行＋空行１）裁判員裁判を通じてそれが少しでも修正できればと思います。」（No.25 ぷり（駆け出し弁護士） さん | 2008年1月31日 16:24

「弁護士の立場であれば、疑いがあれば請求し、それが通るよう努力することになりますが、裁判官の場合、決定しなければならない以上、精神鑑定の必要があると判断するときのみ認めることになります。」（No.26 L.A.LAW さん | 2008年1月31日 17:06

「要は、理解できない犯行、動機がよくわからないケースは比較的認められやすいのではないでしょうか。（改行＋空行１）　その意味では、異常な犯行の方が認められやすいと言われる面はあるかと思います。」（No.26 L.A.LAW さん | 2008年1月31日 17:06

「裁判所は、そのようなｹｰｽについては、責任能力の有無を判定するときのような精神医学者による精神鑑定までは行わないとしても、知能検査、性格検査を主体とする情状鑑定を行う例が多いのではないかと思われます」」（No.30 L.A.LAW さん | 2008年2月 1日 07:32

なお、上記のコメント部分は、「（日弁連研修における元裁判官　佐藤學公証人による講演より）」からの引用という体裁かと思います。情状鑑定の場合は精神医学者という格付け乃至権威まで必要ではない、という風にも読めなくはなさそうです。

「精神的に問題があることは確かだが、精神鑑定が認められるか微妙な事案なときは（改行）「精神鑑定をしない場合は情状鑑定を求める」旨鑑定請求書に一文を添えることもよくあります。（No.31 ぷり（駆け出し弁護士） さん | 2008年2月 1日 08:11

「大会議室の某氏にこのエントリのコメント欄を読んでほしいものです（ボソッ）」（No.33 モトケン さん | 2008年2月 1日 15:49

最後から一つ前のところに上記のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のコメントがありました。「大会議室の某氏」が誰を指すものか、とても気になります。大会議室で遡上に載せている人物であれば、あるいは私の可能性もあるのかと考えはしました。個人では確認も難しそうです。

2014-08-10-170731大会議室の某氏にこのエントリのコメント欄を読んでほしいものです（ボソッ）.jpg pic.twitter.com/TqvmKFLRmW

念の為、上記スクリーンショットを撮っておきました。大会議室というのは多少見覚えがありますが、中身は見た記憶がないので、メンバー制の閉鎖的な空間であったことが考えられます。場外乱闘版とかいうのは、少しだけ覗いた憶えがあります。

私自身つまり廣野秀樹のコメントが見当たりませんが、きれいに削除されたという可能性も一応は考えられるところかと思います。この記事そのものに見覚えはないですが、私としても気になるテーマなので閲覧していた可能性は高そうです。また、似たような見出しや内容の記事もあったように思います。

どうもブログには普通にあるはずの、次の記事や前の記事へのリンクも見当たりません。カレンダーもないですが、カレンダーは元からなかったのか、あったのか思い出せないです。なかったような気もしますが、他の記事を辿るのに不便を感じた記憶はありません。

トップメニューのようなところの「過去ログ」というリンクを開いて、ページ内検索で調べたのですが、時期が近接する次の記事には私のコメントが残されているようです。

三田佳子さん二男に実刑判決 - 元検弁護士のつぶやき <http://www.yabelab.net/blog/2008/01/28-174058.php>

2014-08-10-172637No。4　廣野秀樹　さん　｜　2008年1月28日　22：21.jpg pic.twitter.com/b5ojDkqI44

スクリーンショットの画像ファイルにコメントの投稿日時を含めました。Twitterをやっていれば、その頃何をやっていたかもわかりやすいのですが、ちょっと当時の私のHatena::Diaryのブログをのぞいてみようかと思います。プライベートモードのブログです。

台風11号が近づいているのでどちらさまも注意してください、という能登町の告知放送がありました。一時間ほど前からでしょうかけっこう強い雨が降り出し、降り続いていますが、今のところはそれほど強い雨ではありません。風も少し強くなってきました。

２６年前の殺人「時効」認めない - 日暮れて途遠し <http://d.hatena.ne.jp/hirono_hideki/20080131/1201780529>

2014-08-10-173825民事裁判]２６年前の殺人「時効」認めない.jpg pic.twitter.com/SD5MTYEIaY

プライベートモードなのでスクリーンショットでご紹介します。そう言えばと想い出す記事です。1月30日には「[UNIX]RCSのバージョン管理 」という記事を一つ書いていました。

2014-08-10-174634記事一覧　-　日暮れて途遠し　2008年1月分.jpg pic.twitter.com/P35ByhIkaD

2014-08-10-174744記事一覧　-　日暮れて途遠し　2008年2月分.jpg pic.twitter.com/XnDlKxF0FU

上記のスクリーンショットは、Hatena::Diaryならではの機能なのですが、年月毎の記事を一覧で表示させたものです。精神鑑定に言及したような記事も見当たらないです。ある意味まだ魔法に掛けられたような状態だったのだと思いますが、話せば長くなるので折に触れた時に少しずつでも。

時刻は8月11日10時38分です。先ほどまで台風の影響と思われる強い風が続いていましたが、ようやくおさまってきたという感じです。外も明るくなっています。まあ今日一日は不安定な天候が続きそうです。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-11 月 10:40> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月11日

<2014-08-11 月 10:41> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日はモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のコメント欄における精神鑑定、情状鑑定に関する法律の専門家によるものと思われる発言等をご紹介しました。私自身当時の重圧的な法の壁のような空気を、数年ぶりに体感したような気分になりました。

山口成良金沢大学教授の精神鑑定書について解説をする前に、現在の世相というか時代の空気のようなものを一部でも、ご紹介しておきたいと思いました。さしあたりになりますが、本日未明から先ほど前の私のツイートをご紹介したいと思います。

ツイッターのアカウントは３つ持っているうちに一つで、一番長くやっている廣野秀樹（@hironohideki）です。日記のような使い方もしていますが、メモのような目的も持っています。フォロワー数は一番多いですが、4908件です。

自分からフォローを入れるようなことはずいぶんと長い間全くやっていないので、微増ですが、細かい増減を繰り返しながら、ここ一年ほどでも増えたのは100件ほどかと思っています。

基本はフォロー返しの相互フォローですが、これは自分をフォローしている相手をひと目で識別できるというメリットもあるかと思っています。それでは次に用意したものを貼り付けます。

投稿日時：2014年08月11日10時07分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498636737870983169> RT @motoken\_tw: 小倉弁護士 @Hideo\_Ogura と髙橋教諭 @herobridge はよく似てるなあと思ってたけど、最近は瓜二つだな。最初は髙橋教諭が小倉弁護士を見習っていたので、髙橋教諭が小倉弁護士の劣化版という感じだったけど、小倉弁護士がどんどん劣化していくので、最近は同列という感じ。

投稿日時：2014年08月11日09時59分43秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498634835804844032> 男性は殺人事件直後に事件の日に着ていた黒い服を捨てていたり、所有する複数の自転車の色が事件直後に塗り替えられて、また凶器と見られるバールを数年前から持っていたが事件直後に無くなるなど数々の不可解な点があり、捜査機関はこれらのことを証拠 <http://ow.ly/AaNcB>

投稿日時：2014年08月11日09時58分47秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498634599732613120> 舞鶴高1女子殺害事件 - Wikipedia <http://ow.ly/AaNbr>

投稿日時：2014年08月11日09時48分36秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498632035414839296> 否認していると長期の身柄拘束がなされるという「人質司法」は、しばしば虚偽の供述を生み、冤罪を作り出す。また、村木さんは「裁判も始まらないうちから、罰を受けているようなもの」と指摘する。 <http://ow.ly/AaMFM>

投稿日時：2014年08月11日09時48分00秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498631886835838977> 同特別部会の委員を務めた映画監督の周防正行さんは、「身柄を拘束される苦痛について、裁判官の想像力がなさ過ぎる」と嘆く。 <http://ow.ly/AaMDA>

投稿日時：2014年08月11日09時46分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498631470786027520> 【コラム 江川紹子】人質司法が虚偽の供述と冤罪を作り出す - Sakura Financial News | 9999 - - Mozilla Firefox <http://ow.ly/AaMxD> ●想像力の欠如した裁判官たち

投稿日時：2014年08月11日09時36分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498628953280483330> RT @s\_hirono: 2014-08-10-204528陰謀論の典型って、「三百代言が入れ知恵をつけた」云々って奴じゃないのかなあ。.jpg <http://pic.twitter.com/OD7z0Yu7TW>

投稿日時：2014年08月11日09時36分12秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498628915829555202> RT @s\_hirono: 2014-08-11-081320見えざる聞こえざる」傍聴を巡る裁判も、最高裁で少しはまともな判断がなされることを望みたい.jpg <http://pic.twitter.com/pPTTu2YMvA>

投稿日時：2014年08月11日09時35分59秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498628860292763649> RT @s\_hirono: 2014-08-11-081830という口実の元、国民を思想改造できれば、与党にとっては好都合。RT.jpg <http://pic.twitter.com/u8UiTMUcUU>

投稿日時：2014年08月11日09時35分51秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498628830173474816> RT @s\_hirono: 2014-08-11-082344スクリーンが映されると、年収が200万円以下の弁護士が26％もいることが発表された。.jpg <http://pic.twitter.com/O8Epruq6IT>

投稿日時：2014年08月11日09時35分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498628809013198848> RT @s\_hirono: 2014-08-11-084841父親との確執、母親の溺愛、継母の妊娠などがあたかも事件と関係があるかのように報道されています。.jpg <http://pic.twitter.com/N6I2VGUdfR>

投稿日時：2014年08月11日09時14分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498623369173270528> ＜PC遠隔操作事件＞片山被告が弁護士に明かした「遠隔操作殺人構想」の真意 | 東スポＷeb – 東京スポーツ新聞社 - <http://ow.ly/AaKVn> だからこそ、佐藤弁護士は片山被告の情状鑑定を強く求めている。「そういう心を鑑定しないと。彼も苦しんでいるんだ」

投稿日時：2014年08月11日08時52分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498617912476041217> RT @EXILE\_contact: ★8/10(日):21:00～ 日本テレビ『行列のできる法律相談所』に 三代目J Soul Brothers 登坂広臣が出演！ 行列初出演！ 今回のテーマは、良妻のたった一度の浮気。 他にも、驚きの法律満載！ また、登坂のどんなエピソードが繰り広げられるのか！？ お見逃しなく！

投稿日時：2014年08月11日08時49分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498617119647739908> 【コラム 山口三尊】佐世保高1殺人事件は起きるべくして起きた - Sakura Financial News | 9999 - - Mozilla Firefox <http://ow.ly/AaJxZ>

投稿日時：2014年08月11日08時35分02秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498613525540257792> たった一回の浮気と離婚原因 ：[大阪弁護士会総合法律相談センター] - Mozilla Firefox <http://ow.ly/AaIGD>

投稿日時：2014年08月11日08時33分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498613119854202880> RT @Hideo\_Ogura: という口実の元、国民を思想改造できれば、与党にとっては好都合。RT @motoken\_tw: ある人を殺したいけど、法律があるから（つまり自分が罰せられるから）殺さない、という考え方は、ばれなければ殺してもいい、という考え方に容易に発展する危険がある。

投稿日時：2014年08月11日08時33分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498613100329725952> RT @Hideo\_Ogura: 「怒り」という感情は、殺意に繋がるし、体制変革にも繋がる。

投稿日時：2014年08月11日08時32分07秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498612788273504257> RT @okaguchik: 出会い系売春で生き延びるしかない　シングルマザーの過酷な実態

投稿日時：2014年08月11日08時27分44秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498611686706663424> RT @okaguchik: 本村弁護士がTV番組で暴露したタレント弁護士の懐事情と女癖

投稿日時：2014年08月11日08時27分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498611575360876545> 職業の中で1番女癖悪い 本村弁護士がタレント弁護士の懐事情・女癖を暴露 - ライブドアニュース - Mozilla Firefox <http://ow.ly/AaIeH>

投稿日時：2014年08月11日08時20分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498609810435084288> RT @motoken\_tw: 小倉弁護士によれば、人を殺してはいけない、という考え方を学校で教えることは、与党にとって都合のいい「思想改造」だということらしい。では、今の野党、たとえば小倉弁護士が支持する民主党が与党になれば、「人を殺そうと考えてもいい。」という教育をすることを小倉弁護士は支持するのだろうか？

投稿日時：2014年08月11日08時17分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498609155066699776> RT @motoken\_tw: なんでもかんでもdisればいいってもんじゃないよね。今回の小倉弁護士のツイート（今回だけじゃないという声が当然多数上がるだろうけど）、心底、この人バカじゃないの、と思った。→ <http://ow.ly/AaFag>

投稿日時：2014年08月11日08時15分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498608581210820608> 【コラム 江川紹子】世にも奇妙な「判決」 - Sakura Financial News | 9999 <http://ow.ly/AaHHm> 今回の「見えざる聞こえざる」傍聴を巡る裁判も、最高裁で少しはまともな判断がなされることを望みたい。【了】

投稿日時：2014年08月11日02時46分34秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498525828360069120> RT @motoken\_tw: ことの本質が見えるマスコミ人というのは本当に数少ないのかも知れない。まあ当然のことなのだが、だったらわかっている人間に聞くという努力をもう少しするべきではないのだろうか。自分の感覚が正義だと思われたらたまらん。

投稿日時：2014年08月11日02時43分21秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498525021594083328> RT @motoken\_tw: 学生にものを教えている立場の人間として大事だと思える点の一つに、学生が何を言いたいのか正確に理解できる能力があげられるのですが、他人の意見を曲解（というかほとんどねつ造）しまくる人間が大学で講師をしている例もあるようです。

投稿日時：2014年08月11日02時42分18秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498524754148864001> わいせつ:容疑で金沢の教諭逮捕−−県警　／石川 - 毎日新聞 <http://ow.ly/AalZg>

投稿日時：2014年08月11日00時33分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498492318572232704> 『2014年08月10日のつぶやき』MakeMyDay｜http://hirono-hideki-blog.seesaa.net/article/403526790.html

テレビではワイド！スクランブルという番組で、「佐世保　加害少女「鑑定留置」へ　精神鑑定の行方」という見出しで、先程から佐世保女子高生殺害事件を取り上げています。今回も精神科医の香山リカという人がでています。

弁護人側も、精神科医ではなかったように思いますが、心理カウンセラーをつけてなんとかと言っていました。それを書いてあるボードが2回出たのですが、録画を開始するとそのあと一度も出ないまま、佐世保女子高生殺害事件のコーナーは終わってしまいました。

Googleで検索を始めたのですが、次の記事の、そのあとのスクリーンショットの部分が気になりました。弁護人が佐世保市役所で会見という部分です。

逮捕の少女精神鑑定へ、佐世保高１殺害 : 最新ニュース : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <http://www.yomiuri.co.jp/kyushu/news/20140809-OYS1T50000.html>

2014-08-11-111729少女の弁護人が８日、佐世保市役所で記者会見を開いて明らかにした。.jpg pic.twitter.com/oXhEgxo6ig

それらしいのを見つけました。ワイド！スクランブルでの報道とは違ったような印象も受けますが、次の記事です。スクリーンショットも併せます。テレビでは弁護団という言い方はしていなかったはずです。単に弁護人だったと思います。

少女の精神鑑定認める…佐世保高１同級生殺害事件 : 社会 : スポーツ報知 <http://www.hochi.co.jp/topics/20140808-OHT1T50198.html>

2014-08-11-112411弁護団は８日、少女に接見する際に精神科医ら専門家を同席させ、検察による精神鑑定とは別に精神状態を把握していく方針を示した。.jpg pic.twitter.com/JYuGOObDp7

引用→）弁護団は「鑑定留置中の接見に弁護人以外の人が同席できるか、難しいとは思う」としながらも「少女にどこまで踏み込んで質問していいのか、接見のやり方も含めて専門家に相談しながら進めたい」とした。

上記の部分も参考になりますが、鑑定留置中でも弁護人との接見はできるようです。これまで精神障害の疑われる重大事件の報道を見ていますと、明言ではなかったように思いますが、病院での鑑定留置には刑務官が付き添い、常に監視をしているという報道を見たように思っています。

私の場合は刑務官が同行したのは入退院の送迎のみでした。金沢大学附属病院の精神科の閉鎖病棟では、3分の1より広かったようにも記憶にある手前の部分が、大きなリビングのようになっていました。たぶん老人ホームとかと、同じような感じになっているのだと思います。

リビングというには広すぎるとも思いますが、その広場のような場所では、許可を受けてのことだとは思いますが、家族などと自由に面会が行われていました。中には名古屋から毎週通い閉鎖病棟の中で洗濯をしている人もいました。病室への出入りも自由な感じでした。

院長とかの方針で、刑務所同様に時代や施設ごとの違いも大きいかとは思いますが、私の体験では自由な雰囲気だったという印象が強く残っていて、それが患者の心身にストレスを与えないための管理上の知恵となっていたことも考えられるのではないかと思います。

一方で拘置所の方はといえば、一言でいえば収納ケースのようなところです。部屋というか居房のドアも引き戸になっていますが、一般の家庭のドアと変わらないぐらい薄いです。猛獣でも入れておけるぐらい頑丈になっているのだとは思いますが。

私の場合、平成5年3月1日から31日までの一ヶ月間、面会というのは一度もなかったです。山口成良金沢大学教授の問診というのも数回でしたが、本格的だったのは一回だけで、それも暗くなった夕食後の時間帯でした。30分もあったのかという感じです。

山口成良金沢大学教授には挑発的に怒らせるような質問を受けたこともありましたが、その辺りは精神鑑定書の方にも反映されたような感じになっていたと思いますので、あとで解説ができると思います。

その夕方遅くに問診を受けた部屋というのは閉鎖病棟の入り口のような鉄扉を入って右側、リビングのような広場の手前になるような場所だったと記憶しています。広場に出て左側の方は今で言うナースセンターのような部屋でしたが、広場までの間は短い通路になっていたように記憶しています。

ツイッターでブロックされている奥村徹弁護士のツイートで、知ったところなのが次の記事です。見出しを見た時はなんのことか理解ができなかったです。

【悲報】淀川花火が台風の影響で中止になった結果→近隣のスーパーやコンビニが大惨事　詳細画像まとめ - NAVER まとめ <http://matome.naver.jp/odai/2140757516717587101>

花火大会での沢山の人出を見込んで、大量に仕入れていた商品が、台風の影響で花火大会は中止となり、売れ残ったということだと思いますが、写真で見るとすごくわかりやすいです。東京の方でも先日、大きな花火大会が中止となり順延はしないというネットのニュースを見かけていました。

そういえばどういうわけか、近頃は「風が吹けば桶屋が儲かる」という言葉は聞かなくなりましたが、全くの真逆という他はない現象かとも思います。

儲かるかどうかは別にしても、現象や事件で特定の職業がクローズアップされたり、注目を集めることはあると思います。佐世保女子高生殺害事件での精神科医や心理カウンセラーもそうかと思いますが、私自身も優先度を後方に下げていた山口成良金沢大学教授の精神鑑定の問題を最前面に持ってきました。

Shoko Egawa (amneris84)さんはTwitterを使っています <https://twitter.com/amneris84>

上記のジャーナリストの江川紹子さんのツイッターのタイムラインをさかのぼって眺めていたのですが、先日のパンダのような模様の旅客機の写真は見覚えのあるものでしたが、どうもその飛行場からヨーロッパ旅行に出発したような感じになっていました。

テレビでは録画もやめて、余り見なくなっているNHK連続小説ドラマ「花子とアン」が始まったところです。今週から数年後に時代が変わったらしく、小説の会社を始めたようです。子供も幼稚園児ぐらいになっています。

朝8時からの録画は、佐世保女子高生殺害事件の報道が始まってから中止しました。毎日の予約設定にはしていないですが、今日もほぼ毎日のように情報番組「スッキリ！！」を録画しています。再生はほとんどが早送りですが、ざっと見て消去します。

でしょうの意味 - 国語辞書 - goo辞書 <http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/151485/m0u/>

「せう」について調べてみたのですが、思ったほど簡単に情報は見つからず、語源もよくわからないです。平安時代のような情報も少しは見かけましたが、「せう」は、ジャーナリストの江川紹子さんがツイッターでよく使っている言葉というか言い回しです。

明治から大正、昭和初期という時代を思い浮かべるものですが、時代背景を含め「花子とアン」に重なるはずですが、ドラマではまだ「せつ」というのは、私自身見かけてはいないようにも思います。

読み方の決まり：歴史的仮名遣い教室 <http://www32.ocn.ne.jp/~gaido/kana/kana0.htm>

どうも上記が求めていた情報だったようです。歴史的仮名遣い、という言葉自体は聞き覚えがありますが、なんのことかよくわかっていなかったという気もしました。

活字で「せう」というのはたまに見かけますが、昔の時代のドラマでも、セリフで「せう」と話しているのは見た覚えがありません。宇出津で柳田村のことを「やなぎだ」ではなく「やないだ」と読んできたのに似ているような気もしました。

以前何かの本で読みましたが、江戸時代の薩摩藩は、密貿易で財政を蓄えるとともに、幕府のスパイを見破るために、独特の言葉や発音をさせていたという話がありました。長距離トラックの仕事では鹿児島県にも行っていたので、独特のイントネーションの話し方を直に聞いたこともあります。

もう年々もさっぱりと本を読まなくなりましたが、拘置所や刑務所にいた頃は、他にできることも少ないので、ずいぶんといろいろな本を読んでいました。法律の勉強では平仮名ではなくカタカナ交じりの文語体である大審院の判例とかも読んでいました。

普段以上に、ジャーナリストの江川紹子さんのツイートを注目していたのは、PC遠隔操作事件の公判と、その翌日ぐらいの精神鑑定の棄却決定があったからですが、未だにそれに関した発言やツイートは見かけていません。

ヨーロッパの旅行中ということもあるのかとは思いますが、ちょっと前には公判を傍聴していたと思われるツイートが一つありました。内容的にも気になるものです。

Twitter / amneris84: PC遠隔操作事件の裁判で、検察官と弁護人が激しく言い合っても … <https://twitter.com/amneris84/status/497267523939622912>

上記ツイートの全文→）　PC遠隔操作事件の裁判で、検察官と弁護人が激しく言い合っても、裁判長は放置。おもむろに片山被告人が口を開き、仲裁に入るとゆう、斬新な展開。

15:26 - 2014年8月7日、という日時になっていますが、リツイートの数は422件です。PC遠隔操作事件が注目を集め連日報道されていた頃のツイートのリツイートの数が気になるところですが、多い数とは思えません。

23:32 - 2014年8月7日、には次のツイートがあります。終わりの部分が特に気になるところですが、他にそれらしい情報は見かけていないように思います。PC遠隔操作事件の報道自体、テレビでは皆無に見ていないですが、ネットのニュースでも。

Twitter / amneris84: PC遠隔操作事件、弁護側が請求している片山祐輔被告に対する心 … <https://twitter.com/amneris84/status/497389889600512000>

上記ツイートの全文→）PC遠隔操作事件、弁護側が請求している片山祐輔被告に対する心理鑑定について、東京地裁は明日もしくは週明け行うか否かの判断を行う、とのこと。あまり積極でない裁判所に対し、弁護側は鑑定を行わなければ私的鑑定は行わず、審理不尽で控訴する、と。

宇出津新港に行って、海を見た後、どんたく宇出津店で買い物をして帰って来た後、アルプの百円ショップで買ってきた包丁で、刻みネギを作っていました。今までにないぐらい薄く綺麗に切ることが出来ました。

どんたく宇出津店では、普段より商品も客の数を多いと感じ、そのあとでお盆休みに近づいているということを、改めて思い出しました。宇出津の町の方は普段より車の数も少ない感じで、静かに見えていました。あちこちから人が集まってくるようです。外国人の姿もありました。

このあと、刻んだネギを使ってうどんを作って食べます。夕食にも近い時間になっていますが、結構前から残っている人参もあって、ブタの細切れ肉を買ってきたので、今夜はカレーを作るつもりでいます。

時刻は18時19分です。録画していた情報番組など見ています。次の記事ですが、気になる点を一つ見つけました。最新の情報ではないと思います。新情報では本日、鑑定留置の病院に移送されたようです。17日が勾留満期の期限だったとも出ていました。

女子生徒、真剣に母へ「人を殺したい」 - 社会ニュース : nikkansports.com <http://www.nikkansports.com/general/news/p-gn-tp0-20140805-1345927.html>

上記記事の引用→）長崎県佐世保市で同級生を殺害したとして殺人容疑で逮捕された高校１年の女子生徒（１６）が事件の数日前、父親と再婚した新しい母親に「人を殺したい」という趣旨の話をしていたことが４日、父親の代理人弁護士への取材で分かった。

誤記なのかもと思いましたが、勾留中の加害生徒の弁護人ではなく、父親の代理人弁護士のようです。最近になって裁判以外にも弁護士が代理人となるケースが増えているという印象です。被害生徒の遺族も代理人弁護士を通じたコメントというかたちに報道されていたと思います。

民事裁判の場合は訴訟代理人ということで委任契約になるのかと思いますが、実際に裁判にならなくても、その準備を含めた対応になるのか、代理人という立場での弁護士の関与が目につくようになりました。STAP細胞問題における小保方氏と三木秀夫弁護士の関係のように。

用心棒のようにもみえる弁護士の関与です。たしかに依頼者の利益、意向を最大限に擁護しているかのように見えなくはないのですが、むしろ疑惑の目を強め、社会の反発を大きくし、依頼者本人やその関係者の利益をも損ねているのではないかと思えることがあります。

次のようにTwilogのデータを調べたところ、初めに三木秀夫弁護士の名前が出てきたのは今年の4月2日でした。改めて今年は大きなニュースが多かったと思いますが、まだ4ヶ月と4日ぐらいしか経過していないようです。

% grep '三木弁護士\|三木秀夫弁護士' hironohideki140811.csv |tac|h-twilog-format.sh

三木秀夫弁護士は大阪弁護士会の副会長をしていたという経歴もテレビに出ていたと思いますが、佐藤博史弁護士にしろ弁護士の対応というのは、常識の理解を超えることが多いので、参考にして頂きたく、そのままご紹介しておこうかと思います。

投稿日時：2014年04月02日19時17分37秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451302423093837825> RT @nb\_ichii: 小保方リーダー≪STAP論文ねつ造不服申立≫代理人は三木秀夫弁護士（大阪） - 弁護士と闘う - Yahoo!ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/nb_ichii/34677223.html>

投稿日時：2014年04月02日19時20分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451303026733875200> 代理人の三木秀夫弁護士（５８）＝大阪弁護士会＝が大阪市内の事務所で、報道各社の取材に応じた。 <http://ow.ly/vkpoY> ←　昨日の話みたいだけど、テレビでは全く見かけていない。この問題自体はあちこちの番組で繰り返し見ている。

投稿日時：2014年04月02日19時21分23秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451303371333709824> 小保方氏は先月３１日、神戸市内の理研の施設で、担当理事から最終報告を受け取り、三木弁護士らとともに説明を受けたという。概要を聞くうちにみるみる顔が白くなり、「承服できません」と反論したという。三木弁護士は「驚きと、怒りと、憤りの感情が <http://ow.ly/vkpIc>

投稿日時：2014年04月02日19時23分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451303898444488704> 三木秀夫弁護士は元大阪弁護士会の副会長をお努めになり、あの船場 吉兆の食品偽装事件の記者会見でおかみさんらを世間からのバッシングを見事に救った代理人でした。 <http://ow.ly/vkpVI> ←　偽装だったか？　食べ残しをつかいまわしたような問題だったような気がする。

投稿日時：2014年04月02日19時36分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451307223164022784> RT @YoshinoBancho: 小保方氏逆ギレ文書を送付した三木秀夫弁護士って、船場吉兆、阪神阪急ホテルズ食材偽装問題の時に調査委員やった人やん。インパクト強すぎるわ。

投稿日時：2014年04月02日20時34分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451321816376938496> 小保方氏の記者会見が検討されているが、三木弁護士は「精神状態が安定せず、興奮することもある。的確に答えられるだろうか」と不安をのぞかせた。 （日刊スポーツ「小保方氏が反抗声明　９日にも会見」2014/04/02 09:09） <http://ow.ly/vkA8J>

投稿日時：2014年04月02日20時39分54秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451323131157037056> 元大阪弁護士会副会長の三木秀夫弁護士（５８）ら大阪弁護士会の４人が、代理人を務めている。小保方氏は理研の調査について「体調が悪く、苦しい時に面談を受けた。その後はメールでのやりとりが続いた」と三木弁護士に話したという。 <http://ow.ly/vkB3u>

投稿日時：2014年04月02日20時41分29秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/451323528894484480> 小保方氏の記者会見が検討されているが、三木弁護士は「精神状態が安定せず、興奮することもある。的確に答えられるだろうか」と不安をのぞかせた。 <http://ow.ly/vkBaH> ←　なんかダブスタで、理研の方の利益を図る目的も秘めているような印象を受けました。

投稿日時：2014年04月09日07時02分28秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/453654135091392514> 三木秀夫弁護士、昨夜も見たと思うけど、小保方さんの代理人としてテレビに姿を見せている。出ている弁護士は二人みたい。４人の弁護士がついているような情報は5日か一週間ぐらい前から見かけている。

投稿日時：2014年05月08日14時07分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/464270382921711616> 決定書の内容は21ページに渡るものであり、まだ十分読み切れていない、という。小保方氏の代理人、三木秀夫弁護士。理研「再調査せず」承服できない、とテレビ画面の左下。左上には「速報　小保方氏　代理人が反論会見」。LIVE大阪市内、とも。

投稿日時：2014年05月08日14時36分34秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/464277659179290624> 眠たくなったこともあり、よく聴いていなかったけど。三木秀夫弁護士は珍しく熱が入っていたとか、感情的ではなかったと思うけど、どうもその辺りから急に眠気がさしたようで、耳に入っていなかった。小保方氏も弁護士に頼まなければ、もう少し違った結果になっていたのかもしれない。

投稿日時：2014年05月08日16時55分46秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/464312688429256704> 小保方氏、絶句　ＳＴＡＰ論文、不正確定に三木弁護士「非常に不服」 - MSN産経ニュース <http://ow.ly/wBQwm>

投稿日時：2014年05月09日05時10分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/464497573659955201> 小保方氏側　いろんな応援者がいる/芸能速報/デイリースポーツ online - Mozilla Firefox <http://ow.ly/wDz2R> 小保方氏の代理人を務める三木秀夫弁護士が同日、大阪市内で取材に応じ、小保方氏に支援の声があることを改めて述べた。

投稿日時：2014年05月09日18時03分26秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/464692108025405440> これに対し、小保方氏の代理人を務める三木秀夫弁護士がフジテレビに抗議、５月３日の放送は見送られた。番組公式サイトの「阿呆方さんが緊急会見涙目で○○はあります」という文言も、放送までに削除された。 <http://ow.ly/wEByK>

投稿日時：2014年06月04日12時58分42秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/474037504060825602> 三木弁護士は４日、報道陣に「撤回を強く主張している共著者がおり、小保方氏から『撤回をテーマに共著者間で協議している』と聞いている」と話した。【斎藤広子、畠山哲郎】 <http://ow.ly/xBala>

投稿日時：2014年06月05日10時21分47秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/474360401522487296> RT @minno\_t: ここまで来たら、三木弁護士さんが片山被告の佐藤博史弁護士さんのように

投稿日時：2014年06月12日16時24分09秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/476988307134767106> 小保方リーダーの代理人三木秀夫弁護士”正確な情報を把握していないのでコメントできない”＿NHKニュース72014年06月12日16時15分20秒.jpg <http://pic.twitter.com/LPa0fxsY53>…

投稿日時：2014年07月25日02時16分41秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/492357714551795713> 小保方氏ＮＨＫにトイレまで追跡された…同局は全面謝罪「行き過ぎた取材」 （デイリースポーツ） - Yahoo!ニュース <http://ow.ly/zy0Rw> テレビでは三木秀夫弁護士が刑事告訴も辞さないというような話をしていたようですが全治2種間というのは相当な怪我のはず

投稿日時：2014年07月25日21時45分36秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/492651883463708674> 小保方晴子、NHKの取材で怪我！「頸椎ねんざ」「右ひじ筋挫傷」で全治２週間！三木秀夫弁護士「刑事告訴や損害賠償請求も検討」 : NEWSまとめもりー｜AKB48・芸能・ニュース2chまとめブログ - Mozilla Firefox <http://ow.ly/zzI5J>

投稿日時：2014年07月28日10時33分39秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/493569945284771840> RT @Hideo\_Ogura: あれだけ三木弁護士を個人攻撃しておいて、何を言っているのだ？東大ではあれが通用するのか？

投稿日時：2014年07月31日15時15分47秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/494728108985958400> あれだけ三木弁護士を個人攻撃しておいて、何を言っているのだ？東大ではあれ が通用するのか？／小倉秀夫弁護士,<http://hirono2014sk.blogspot.com/2014/07/blog-post_88.html>

投稿日時：2014年08月05日20時33分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496619882645975040> @mstk\_Horiguchi @sakamotomasayuk 真に不正であれば当人の病的傾向を弁護士商売の道具として利用し、異常性を助長した三木秀夫弁護士の責任こそ重大かと思います。PC遠隔操作事件における佐藤博史弁護士も似ていますが、後者はたまたま不正が確定した事案。

投稿日時：2014年08月05日22時15分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/496645684666200064> RT @mstk\_Horiguchi: @hirono\_hideki 論文は科学的に不正です。三木弁護士は科学的に不正、という意味が分からず小保方氏本人の要望を法的に何とか言い訳しているように思えます。科学的にという文脈が理解できるかどうかという意味でぼくに頼めばよかったのにと言い続けていますがフられています。

投稿日時：2014年08月08日20時04分59秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497699992766001152> 小保方氏代理人、遺書内容漏れ「なぜ？」 - 社会ニュース : <http://nikkansports.com> <http://ow.ly/A6fMO> 三木秀夫弁護士は７日午後、大阪市内の事務所前で取材に対応し、遺書そのものが小保方氏の手元に渡ったか否かについては答えなかった

投稿日時：2014年08月08日20時06分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/497700328771710976> （引用→）笹井氏の自殺が発覚した後、三木弁護士は、精神的ショックから体調を崩している小保方氏の状態を懸念。小保方氏に関する情報は「私からは発信しない」と言い、この日も同じ言葉を繰り返し、詳細を明らかにしなかった。 <http://ow.ly/A6fWp>

投稿日時：2014年08月10日20時21分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498428877622894593> RT @Hideo\_Ogura: 三木弁護士は、東大の准教授にあそこまでいわれた以上、小保方さんとの契約を解約すべきだったんですかね。RT @akami\_orihime: それは弁護士会が考えることでしょうが。小倉さんが負ける話じゃないです。

一つ大事なのを忘れていたと思い、Googleで「三木秀夫　一番」で検索したところ、すぐに次のページが見つかり、引用するまでもなく、そのままページタイトル名に趣旨が含まれていました。

笹井氏自殺を受け、小保方氏代理人の三木秀夫弁護士「一番心配。配慮していきたい」|どうなの速報 <http://douna.doorblog.jp/archives/40203684.html>

上記記事の引用→）「（小保方氏の精神面が）一番心配。配慮していきたい」と話した。　三木弁護士は「私も大変ショックを感じる。心からご冥福をお祈りしたい」と述べた。

笹井氏自殺の報道当初は、無理な取材をしたNHKが笹井氏を自殺に追いやったという発言も、ネット上では散見されていました。NHKの取材に対して三木秀夫弁護士が、告訴も辞さないと猛抗議していたことはテレビの報道でも何度か見ていました。

本人が大きな疑惑を招くことをやって、科学技術の国際的信用にも深刻なダメージを与えていることは周知のことですが、本人にろくな答弁もさせずに庇い立てていることは、長い目で見ても本人の利益になるのか大いに疑問で、正直なところ最悪の不幸への水先案内にも思えることがしばしばです。

小保方氏が不正な捏造をやりながら、会見できっぱりSTAP細胞はあります、と言い切ったのであれば、逃げまわるような対応をすることは不可解な行動であり、不正を承知の上で言い切ったのであれば、本来、精神的な心の病の疑いこそ、本人を救うことにもなるのではと思えてなりません。

素人が判断の出来ないような領域の問題という点では、刑事弁護における弁護士の対応にも往々にして見られがちな、認知・行動パターンではないかと思えます。守秘義務という正当化も、事実上真相を覆い隠す効果が絶大なものであって、揺るぎのない絶対的な信頼を社会基盤に据えているかのようです。

ざっとコメント欄を眺めたのですが、私と似たような見方をしている人はけっこういるようです。より論理的なものであったり、より過激にストレートな罵倒もあるかと思いますが、弁護士業界の今後をうらなう資料として、文言を拾ってご紹介したいと思います。

「嘘、盗作、捏造　小保方こそが諸悪の根源、犯罪者でしょ」、「弁護士、人の命をオモチャにするな！ 」、「オバカタがとっととゲロさえすれば失われずに済んだ命だったのに 　物凄い損失だわ日本にとって」（コメント欄からの抜粋）

「やっぱ人間は簡単に反省しちゃダメなんだよね　図太く生きなきゃね　小保方さんは最高のお手本ですわ」 （コメント欄からの抜粋）

「死を利用する糞弁護士 」（コメント欄からの抜粋）

「ひでえコメントやのう 　三木は本当に弁護士資格をもっているのか？ 　数々の三木馬鹿発言により笹井氏の心労は 　深まっていった」（コメント欄からの抜粋）

「さて、小保方晴子はこのまま頭のおかしな女性となるのか、　はたまた笹井氏と同じ運命を辿るのか。」（コメント欄からの抜粋）

「三木が捏造犯を庇うあまり無理な弁解を繰り返し、小保方に反省を促すこと　なく問題を長引かせた結果がこれだよ 」（コメント欄からの抜粋）

「ゴミ弁護士とゴミ研究者」（コメント欄からの抜粋）

次の記事はたまたま見つけたのですが、日付が4月9日になっていました。私が初めて三木秀夫弁護士の代理人就任の報道に接してから一週間後ということになりそうですが、内容に目を通していると、代理人になってからだいぶん後かと思っていました。

小保方晴子の代理人・三木秀夫弁護士が会見前にブログで猛反論！「研究不正(捏造・改ざん・盗用)には当たらない」「人権侵害だ」【STAP細胞】 : NEWSまとめもりー｜2chまとめブログ <http://bit.ly/1vx7exy>

8文字オーバしていたので短縮URLを使いました。「（2）小保方晴子氏の言い分を聞かないまま調査結果が発表された」という部分が特に目を引きました。NHKの問題となった取材は、特集番組の放送前だったと思います。言い分をする機会であったとは思っていましたが、まるで二枚舌です。

投稿日時：2014年08月11日20時04分57秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787148753928193> RT @amneris84: わたし一人お味噌な感じ。でもがんばるにゃん RT @mitsuya\_niwa 明日２１：００から NHKスペシャル 『堕ちた特捜検察～エリート検事　逮捕の激震～』 出演：立花隆 熊崎勝彦（元特捜部長） 江川紹子 佐藤博史（弁護士）

投稿日時：2014年08月11日20時05分04秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787175865921536> RT @amneris84: 知らにゃい。ただ、佐藤弁護士は興味持った事件は手弁当でも、押しかけていくくらいですから… RT @buvery: 弁護士費用はどうしているのか、ご存知ですか？

投稿日時：2014年08月11日20時05分17秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787231037800448> RT @amneris84: @motoken\_tw その引っ掛かりは理解。が、当然ながら刑事弁護の経験豊富な弁護士が、そういう引っ掛かりを覚える人が出るのは分かっていながら、それをあえて語るところに、佐藤弁護士の作為のなさを感じるし、その彼が語る内容に対する信頼感を抱くわけです。

投稿日時：2014年08月11日20時05分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787290856968193> RT @amneris84: @ikeda\_kayoko ありがとございます。以前から、別件で佐藤弁護士に話を聞く約束をしていたのですが、こういう事態になったので、急きょテーマを変更していただいた次第。冤罪かどうかはまだよく分からないのですが、警察のマスメディアを使った印象操作は相変わらず、という感じがします

投稿日時：2014年08月11日20時05分49秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787366274727937> RT @amneris84: @motoken\_tw 警察のリークと私の佐藤弁護士インタビューの決定的な違いは、前者は情報の発信者が不明なことです。事実と異なる情報発信をしても、あとから責任を追及されません。佐藤弁護士は名前も顔も出し、自身の責任において発言しています

投稿日時：2014年08月11日20時06分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787416463785984> RT @amneris84: 佐藤弁護士は少なくとも自分の顔と名前をさらして発言している。検察官はこの件について沈黙しているが、それも見識。匿名でしゃべりまくっている警察幹部は、なんら責任をとらずにすむよう、自分を安全圏においての情報発信。なんか卑怯もんぽくないかにゃ。発言するなら、名を名乗れ、名を。

投稿日時：2014年08月11日20時06分10秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787451972747264> RT @amneris84: 匿名の「幹部」たちのコメントは世論誘導にめちゃくちゃ奏功しているようですが、それが警察のためになっているのでせうか RT @motoken\_tw 佐藤弁護士の世論誘導はかなり奏効していると思うけど、それがどれだけ被疑者のためになっているのかはよく分からない。

投稿日時：2014年08月11日20時06分19秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787491436965891> RT @amneris84: 検察が弁解録取の手続きにかこつけて、録音録画をしないまま威嚇的な取り調べを行ったとして、佐藤弁護士、激怒。 <http://pic.twitter.com/aN6A0et96I>

投稿日時：2014年08月11日20時06分40秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787578082897925> RT @amneris84: 佐藤弁護士の意見陳述は、「裁判官は何のために存在するか」を鋭く問うと同時に、この事件がこのような異様な展開をよぎなくされたことの本質を明らかにするものだった。

投稿日時：2014年08月11日20時06分57秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787650501763072> RT @amneris84: @motoken\_tw だから、ついたんです、接見禁止が。佐藤弁護士は、そのことに憤慨されているのではないでしょうか…

投稿日時：2014年08月11日20時07分01秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787667169927168> RT @amneris84: されてませんでしたが RT @motoken\_tw: 片山被告人の再逮捕は、佐藤弁護士も歓迎しているはず。

投稿日時：2014年08月11日20時07分14秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787719804223489> RT @amneris84: 一般的な「刑事弁護人の役割や心理」についてではなく、今回の事件について語っております。先生が、佐藤弁護士よりこの事件に精通されているとは知らず、大変失礼いたしました RT @motoken\_tw 私より刑事弁護人の役割や心理にお詳しいのであれば、私の話など聞く必要はありませんね。

投稿日時：2014年08月11日20時07分22秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787756336619522> RT @amneris84: @motoken\_tw だったら、モトケン先生のご意見として、再逮捕は不可避だとおっしゃればいいんじゃないですか。佐藤弁護士の意見をモトケン先生が勝手に推測して、代弁されることはないのではないか、と

投稿日時：2014年08月11日20時07分30秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787788968304640> RT @amneris84: @motoken\_tw もう一度お尋ねします。佐藤弁護士は歓迎しているはず、というのに対して、歓迎してないと申し上げたら、「想定してなければ無能だ」と返されたのは、なぜですか。歓迎してないことと、層手してないことは別のはずです

投稿日時：2014年08月11日20時07分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787821545480192> RT @amneris84: @discusao そう。弁護士もいろいろ流儀の違いがあるから、再逮捕を歓迎しない佐藤弁護士は無能だ、と言うなら、それはそれでありうることだと思うんですよ　@GoITO @motoken\_tw

投稿日時：2014年08月11日20時07分50秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787872959238146> RT @amneris84: @motoken\_tw いろんな考えあると思うけど、佐藤弁護士が再逮捕を「歓迎」していると言ったところが、そもそも間違いだと思いますよ。今後もう少し言葉には慎重になっていただければ、と

投稿日時：2014年08月11日20時08分04秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498787929372622848> RT @amneris84: わらしも、佐藤弁護士の弁護のやり方が正しいのか、という評価については、よく分からない。批判的な意見も聞く。それも分かる。けど、この人の体を張った対応はほんとすごい、とも思う。自分は安全圏に置きながら、あれこれ理屈を言う人に対しては、違うぞ～と言いたくなるにゃ。

投稿日時：2014年08月11日20時14分20秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789507412418560> RT @amneris84: @motoken\_tw 先生、もう「佐藤弁護士の心情まで勝手に代弁したのは間違いだった。自分だったら再逮捕は喜ぶ。佐藤弁護士の気持ちは分からない」とお認めになったら？

投稿日時：2014年08月11日20時14分33秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789560612970496> RT @amneris84: @takuramix すみませんが、私は「極端な例」ではなく、あくまで本件に関して述べております。それについてモトケンさんが「佐藤弁護士も歓迎しているはず」と言ったことに、疑問を申し立てました。

投稿日時：2014年08月11日20時14分51秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789637909803008> RT @amneris84: 今日の会見で、「裏切られた、という思いはあるか」との質問に、佐藤弁護士は、「当初は否認していた人が、後から『実は…』ということは、刑事事件の弁護では常にあること。こういうことで『裏切られた』とか言うのでは、刑事弁護をやる資格がないと思っています」ときっぱり

投稿日時：2014年08月11日20時15分24秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789778607710209> RT @amneris84: 今後の弁護人について「解任して国選でも」と言う片山氏に対して、佐藤弁護士は「私は君を見捨てることはしない」と

投稿日時：2014年08月11日20時15分38秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789836216487939> RT @amneris84: 佐藤弁護士の記者会見は、記事になるとずいぶん雰囲気が違うな。文脈や語調を考慮せずに、強い表現を抜き出しているから、まるで弁護士が依頼人の人格を罵倒しているかのように受け取ってしまう人が結構いるみたいですにゃ。

投稿日時：2014年08月11日20時15分53秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789900062183424> RT @amneris84: 〈「検察官から、『よく生きて収監させてもらいました』と言われた。私も本当にそう思います」。このとき、佐藤弁護士の目は真っ赤だった。〉　→「真犯人」に戻った瞬間（きょうも傍聴席にいます） - 朝日新聞デジタル <http://t.asahi.com/eso1>

投稿日時：2014年08月11日20時16分10秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498789968941416448> RT @amneris84: .@hn\_knmtmih たとえば、「ウソをつく天才」という言葉ですが、片山被告があまりの巧妙さで弁護団をだましたことに、佐藤弁護士もびっくりというか、舌を巻いていて、うっかり「天才」という賛辞に使う言葉を用いてしまった、というふうに聞こえました、わらしには。

投稿日時：2014年08月11日20時16分30秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498790052520927232> RT @amneris84: 今朝の朝日が佐藤博史弁護士のロングインタビューをやっているが、このインタビュアーが酷い。「スマホを埋めるところを捜査員が目撃していなければ、このまま裁判が進み」「無罪判決になっていたら、弁護人としての責任を果たしたことになりましたか」だと。有実の者が無罪になったら弁護人の責任？

投稿日時：2014年08月11日20時17分16秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498790244930433024> RT @amneris84: 佐藤弁護士は、片山氏を１００％無罪だと信じていましたね。でも、１００％信じてなくても、弁護人を引き受けた以上、無実を訴えていれば、被告人の無罪のために力を尽くすのが弁護人。もし、怪しいからと手抜きすれば、その弁護人は懲戒もの　@cormuu

投稿日時：2014年08月11日20時17分31秒 リンクURL： <https://twitter.com/kk_hirono/status/498790309417857025> RT @amneris84: 佐藤弁護士にも、広報の仕方など反省されるべき点はあるのではないかと思いますが、少なくとも無罪を主張して戦われたことについては、「責任はゼロ」と強調しておきたいと思います。おわり　@cormuu

今回は私の勘違いでご説明より先に、スクリプトでまとめたツイートのURLを連続投稿してしまったようです。

次のリクエストパラメーターを含んだURLの検索結果から一部を除いて、リツイートしたものを使ってTwilogからデータをぬき出しました。次のURLはわかりやすいようにURLデコード処理をしたものですが、Firefoxのブラウザではそのままコピペで使えました。

<https://twitter.com/search?q=佐藤博史弁護士> OR 佐藤弁護士 from:amneris84&src=typd

Twitterの検索ですが、？より後ろは、リクエストパラメーターになっていて、コマンドラインでの引数の指定と同じです。強引な直訳するとユーザ名が江川紹子さんのツイートで、佐藤博史弁護士または佐藤弁護士をキーワードに含むツイートを抽出、というリクエストになります。

投稿日時が、元のツイートのものではなく、私のリツイートの日時になっているのが正直不満ですが、その問題を解消する場合はTwitterのAPIで自作のプログラムを作る必要がありそうです。APIでは一度に20件のデータしか取得出来なかったはずで、その処理も私には手に負い難いところです。

時刻は8月12日0時7分です。予定していたカレーは作らずに、TwitterAPIを使ったスクリプトを作成していました。項目を新しくしてから続きを書きます。

<2014-08-12 火 00:08> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月12日

<2014-08-12 火 00:09> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

とりあえず、指定したTwitterアカウントのツイートをタイムラインで取得し、お決まりの文字列フォーマット（書式化）するというスクリプトを作成しました。試しに小倉秀夫弁護士のツイートを、それで取得したものです。2件のみとコマンドラインの第二引数で指定しました。 投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 23:24 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498837436613402626> ひどい仕打ちを受けても殺意さえ持てない人間に改造されるって、ひどいことだと思わないですかね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 23:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498835257072685058> 普通に要約する能力に欠けるようですね。RT @motoken\_tw: 要するに、髙橋先生が喜ぶネタを提供したいということですか？RT @Hideo\_Ogura: 矢部弁護士はこういう抽象的な個人攻撃で逃げようとしていたんだなあ。

投稿者で始まり、TwitterのURLを含む行だけを、APIで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿しました。これだとリツイートではなく、指定ユーザ自身の投稿になっています。そのユーザがリツイートをしている場合は、行頭にRTがつきますが。

時刻は1時46分です。ようやくツイートの個別URLからAPIでデータを取得し、書式を整形するスクリプトが出来ました。タイムラインから取得するものより単純だったのですが、情報が乏しくて手間取りました。最後は次の英語のサイトからヒントを得ました。

File: README — Documentation for twitter (5.11.0) <http://rdoc.info/gems/twitter>

今までスクリプトでの投稿に使っていた書式では、次のコマンドで必要な部分だけ抽出できそうです。正規表現の書式を変えれば直接Twilogのデータからも取得できます。

% sed -n 's#投稿日時：\*.\*https.\*status/$[0-9]\+$#\1#p' u

uというのは一時的に利用する作業ファイル名です。こういうのは適当な名前をつけておいた方が、後で削除するときも、いらないファイルだと見分けがつけやすいと考えています。

全部ではないですが、ツイッターでのモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と小倉秀夫弁護士のやりとりをリツイートしました。これをTwilogでダウンロードしたデータから、ツイートのIDを取得し、それを使って新しいスクリプトで投稿してみます。

ちょっと想定外のところで手間取りましたが、元のツイートとリツイートしたツイートのIDは異なる値になっているようです。リンクをクリックするとすぐに元のツイートが開くので、元のツイートのIDはTwitter全体で一意になっているのかと、勘違いしていました。

よく考えてみると、それでこそリツートの場合、頭にRTがついて、元のツイートだとつかないという違いができるのかもしれません。使い分けができる分、応用がきく場面もあるかもしれません。

ようやく準備が出来ました。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 23:44 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498842415378493440> 自分も同じことをやってるんだけど実名垢ならいいのかな？RT @herobridge: ネットで匿名で他人を批判する人々は言論が全てで肩書きは関係ないと言う。彼らは、対象を肩書きの制限の中で叩く。「教師なのに」属性に縛られない自由な意見を求めるはずの人々が、属性を元に他人を断罪する

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 23:18 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498835914509275137> あなたは自分に都合のいいように要約というか変造する能力に長けてますね。RT @Hideo\_Ogura: 普通に要約する能力に欠けるようですね。RT @motoken\_tw: 要するに、髙橋先生が喜ぶネタを提供したいということですか？RT @Hideo\_Ogura:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 23:11 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498834196157464576> 要するに、髙橋先生が喜ぶネタを提供したいということですか？RT @Hideo\_Ogura: 矢部弁護士はこういう抽象的な個人攻撃で逃げようとしていたんだなあ。RT @motoken\_tw: もはや、小倉弁護士 @Hideo\_Ogura は法律家同士の議論ができなくなっている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 22:12 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498819205731741696> 他人の文章を読めるようになってから絡もうね。RT @ikemenzaemon: @motoken\_tw @Micheletto\_D あんたが検事だったの？怖いよ

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 22:09 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498818485427134464> この人、何を言ってるのかな？小倉弁護士も髙橋教諭も被害者でも被害者遺族でもないと認識してるんだけど。RT @ikemenzaemon: @motoken\_tw @Micheletto\_D 殺人者の苦悩を知っているから 実際被害にあっている人を許しがたいか 普通の神経じゃないな

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 22:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498817311223349248> そうですね。殺意が実行されたら誰にも取り返しのつかない結果が生じることも。RT @thermalpaper00: @motoken\_tw 加えて言うと殺意を向けられた人の恐怖や衝撃なんかも彼らには理解できないんでしょう。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 21:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498815720713908225> 小倉弁護士にしろ髙橋教諭にしろ、本当の殺意というものに接した経験がどれほどあるのだろう。殺人者の苦悩と後悔をどれほど知っているのだろう。私だって、何人かの殺人者の言葉を通じてしか知らないわけだが、殺意というものを敵対者に対する攻撃の道具として弄ぶ姿勢には許し難い思いを感じる。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 21:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498802141986054145> 他人が言っていることが分からない人間が自分の言っていることを理解できるはずがない、と言うべきか、自分が言っていることを理解できない人間が他人の言っていることを理解できるはずがないと言うべきか？www

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 19:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498783734498615296> 人を殺してはいけないというのは、髙橋氏にとっては正義や倫理ではないのかな？RT @herobridge: そんな事も分からずに自分の正義や倫理で他人を断罪するならば、それは容易に独裁や統制に繋がる。理性はもちろん大事だが、それ以上に人間を規定してしまうのは感情だ。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 19:28 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498778045818605568> もはや、小倉弁護士 @Hideo\_Ogura は法律家同士の議論ができなくなっている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 19:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498777756893986817> 非現実的な想定をして批判した気になっているあなたはバカですか？RT @Hideo\_Ogura: 「お前は、身代金目的でＡさんを誘拐したのか、それとも猥褻目的か？さあ、答えろ！」→「私は誘拐なんかしていませんよ。」→「そんなことは聞いていない！」って言われても困りますね。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/11 19:16 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/498774973201534976> ちなみに、人を殺してはいけないという正義は、刑法１９９条によって強制されていると言える。髙橋氏は、それに反対なのかな？RT @herobridge: 小倉さんとモトケンのやりとりから分かることは、モトケンの中には絶対の正義があり、それを強制することは何ら問題ないと考えていること。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 23:24 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498837436613402626> ひどい仕打ちを受けても殺意さえ持てない人間に改造されるって、ひどいことだと思わないですかね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 23:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498833132800323584> 「あなたは、殺人事件をなくすために、小学生の段階から人間革命を熟読させることに賛成ですか、反対ですか」→「反対です」→「殺人事件がどんなに起こってもいいというのですね」みたいな話をされる前に「そもそも殺人事件をなくすためであれば、他の方法の方が良くないですか？」と聞くのは普通です

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498830761806397440> 日本よりも遥かに凶悪犯がいる諸外国だって、「国民が殺意すら持たないように、思想改造してやれ」という話にはなっていないんだよね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498830262692618243> 二者択一の選択肢がおかしければ、その二者択一に乗ってもらえないなんて当たり前ですよ。検事さんと被疑者との関係なら、無茶な二者択一を押し付けられるかもしれないけど。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498829788165840897> 矢部弁護士はこういう抽象的な個人攻撃で逃げようとしていたんだなあ。RT @motoken\_tw: もはや、小倉弁護士 @Hideo\_Ogura は法律家同士の議論ができなくなっている。

けっこう手間がかかりました。そういえばTwitterのAPIでは、リツイートの場合、元のツイートの情報というかIDを変数として保持しているかもしれないです。それが使えれば処理はだいぶん楽になりそうです。

一応、うまく行ったようなので、テストで投稿してみたいと思います。retweetedstatusというデータの入れ子になった情報を使うことで、リツイートの場合、元のツイートの情報を併せて表示するようにしました。書式としてはまだどうかと思うところもあります。

テストで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿してみましたが、リツイートと元のツイートの時刻が同じになっている様子です。

ソースコードを見直したところ、ごく単純なミスだったようです。コピペした部分の修正が一箇所だけ抜けていました。修正したものをAPIで投稿しました。本書と告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）の内容の順番が、一部食い違うことになります。

元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498829788165840897>

元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498830262692618243>

元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 22:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498830761806397440>

ひとまず思ったようなスクリプトが出来上がりましたが、取得するユーザ名やスクリーンネームの文字数が長すぎると、面倒なことになるのが目に見えています。直接ブラウザから投稿すれば、URLが短縮になるのである程度の文字数は稼げるかもしれません。その時になってまた考えます。

リツイートの本文をAPIから投稿しないために、次のようなフィルターも使いました。→　 % egrep '投稿者：|リツイート）→ 　|元のツイート）→　' a > a2

これでブロックされているツイッターアカウントのツイートも、それらしく特定してご紹介できるようになりました。次のがブロックされているツイートです。ブラウザで試してみましたが、やはりエラーが出てリツイートは出来なかったです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/12 00:27 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/498853150963412993> 自分は、法律家というより、法律作業員だな。笑　今日の作業は、というかもう日も変わったが、これにて終了。今週中に出す訴状と添付書類を4件チェックした。

あっと思いましたが、リツイートを区別するようにしたのは。二つ作成したうちのusertimelineを利用したものでした。個別のツイートを扱うものは、まだ手を付けていなかったです。

直しましたが、リツイートではないので表示はそのまま変わらないと思います。もうひとつ気になるツイートがあったので、それもご紹介しておきます。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/11 21:55 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/498814862483402753> 今時、やめ検が弁護士になってもうかるとか、弁護士にならないかと引っ張られるとか、ドラマとはいえ、そういうのを見ると、リアリティなさ過ぎだったな。笑

ブロックされているとtwitter.comでツイートのURLがサムネイルのような引用として表示されないかもしれないと思ったのですが、問題なさそうです。先ほどリツイートが出来ないことでブロック状態を確認した廣野秀樹（@hironohideki）の方でも確認しました。

時刻は6時43分になっています。うどんを作って食べていました。まだ汁が残っています。次もブロックされている鹿児島大学准教授の弁護士ですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と小倉秀夫弁護士のやりとりに言及しているようです。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/08/11 19:31 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/498778805561872384> モトケンさんのやりとりを見ていて思うのだが、自然犯の概念を無視する法律実務家というのがいて驚く。 世界中が殺人者で埋め尽くされても殺人は罪である、というのは当然のこととされていたはずだ。 これを批判しているO氏はすでに人ではないのだろうか？

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/11 21:38 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/498810774198837248> 検事やめて、同期の検事より実収入多い弁護士は、せいぜい1割か2割くらいでは。

ブロックされている落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートですが、2割いるとしたらかなり意外です。年収200万円以下が何割とか、2,3日前にもネットで情報を見たところでした。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/11 21:10 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/498803585220485120> 被疑者を嘘つきと皆で決めつけているところが、リアル検察庁ぽい。（笑）

実際どうなのかなとは思いますが、この手の検察庁を皮肉るツイートは最近余り見かけていなかったと思いました。

時刻は10時13分になっています。ブロックされている次の弁護士のツイートも気になるところがあるので、ご紹介しておきます。何かの改善を求めて模索しているような方向性はうかがえますが、我田引水の印象も強いです。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/08/09 10:13 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/497913648950411264> 非弁委員やって，常議員やって，思い知ったことは，

弁護士業の自由競争と淘汰が，社会のためになるとか，良い弁護士だけが残るとか，そういう発想は，フィクションないし妄想，あるいは犯罪的想像力の欠如だと思い知った次第。

上記のツイートは中に空行の入った3行になっています。

投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/05/16 15:29 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/467189965516845056> その「つぶやき」は犯罪です―知らないとマズいネットの法律知識― <http://t.co/SRL6kPD9fd>

本日発売です。 ネットの書き込み等がどういうときに犯罪になるのか。 また，ネット上でまことしやかに流れる「神話」「デマ」についても徹底解説しています。

上記は割と最近出来たTwitterの新機能で、トップに固定されたツイートです。アカウントのページを開くと必ず初めに表示されるツイートのことです。3行目に空行を一つ含んだ6行になったツイートです。

この手の一方的な主張をする弁護士は、私としても警戒しなくてはなりません。既にそのようなトラブルも経験していて、それなりの危機感も感じて、発言や行動も萎縮しました。何か起きた時の対処としてツイートの独自の記録、保存にも気を配るようになりました。

具体的にはブログの記事やスクリーンショットのことですが、足場をしっかりと固めてから臨まないと、足元を救われかねない、弁護士はまったく油断がならないと思いました。

そのような問題は「経緯及び社会の反応」という添付資料の直下に位置するディレクトリ（フォルダ）にまとめて保存するようにしています。すでに何度かご説明していると思いますが、画像ファイルの場合、Picasaウェブアルバムのアルバム名にも対応させてあります。

そのご説明に入る前に、先ほどのツイートでブロックされている状態であることを示す。スクリーンショットを掲載しておきます。

2014-08-12-102010この操作は許可されていない可能性があります。　ページを再読み込みしてお試しください。.jpg pic.twitter.com/2sbCawvvya

Twitterはまれにエラーが出ることもあるので、絶対とまでは言いがたいですが、ログインした状態でのリツイートで、上記の文言でエラーが出た場合、ブロックされていると見てまず間違いはないと思います。

いろいろ思いがけないことがあって、手間取ったのですが、問題のツイートを3件取得出来ました。日付で検索をした時はうまく行かず、削除されたのかと諦めかけたのですが、キーワード検索を試みると出てきました。

投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/08/11 23:03 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/234289056316530688> @hirono\_hideki 私は議員等の公人ではありませんので，フォロワーさんでも無い方から執拗にYouTubeのリンクを送られる事に正直恐怖を抱いたことも申し添えます。また先程の貴方個人宛のTWを，貴方がわざわざRTして流したご行為も，明らかにマナー違反であり大変遺憾です。

投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/08/11 23:11 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/234290915630538754> 「告発・再審」などを自己の政治的思想等に基づいて熱心に行っている一般の方らしいが，フォロワーさんでも無いのに，執拗に自分のYouTubeのURLを送り付けてくる（一切見なかった）。不気味すぎて不快感を伝えたら，わざわざご丁寧に公式RT。人間性が窺える。とりあえずスパム報告，と。

投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/12/26 23:59 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/283950151830220800> @kk\_hirono どのような主張をするにも，他人に対するマナーが必要ではないですか？それができないのは，主張以前に人としての礼儀が無いという事でしょう。

上記の日時：2012/12/26 23:59のツイートは、前のツイートのやりとりというか返信でたまたま見つけたのですが、どうも一つのツイートが削除されたらしく、存在しない状況になっているようです。

2014-08-12-112507MinakoTYOに削除されたと思われるツイートのスクリーンショット.jpg pic.twitter.com/YJNq9UC98c

上記のスクリーンショットは、通常のディスクトップのスクリーンショットから削除された可能性の高いツイートの部分を拡大表示したものです。画像ファイルなので画像・写真ファイルビューアのソフトを使っています。

2014-08-12-113225しょう美奈子　@　空飛ぶ弁護士　（MinakoTYO）さんはTwitterを使っています.jpg pic.twitter.com/UNM5cF1t8b

上記は莊美奈子弁護士の現在のツイッターのページです。中世のヨーロッパの貴婦人が読書をするような絵画のアイコンですが、これはご自身の顔写真から元に戻したものだと思います。貴婦人のようなアイコンは私がツイッターを始めた頃から見覚えがあり、lawのリストにも入れていました。

2014-08-12-114130貴方がわざわざRTして流したご行為も，明らかにマナー違反であり大変遺憾です。.jpg pic.twitter.com/o5zapu4a4b

2014-08-12-114240わざわざご丁寧に公式RT。人間性が窺える。とりあえずスパム報告，と。.jpg pic.twitter.com/1XANYI2j28

大事な部分なので上記２つのスクリーンショットを記録しておきました。

次は、莊美奈子弁護士とのツイッターでのやりとりや、それ以前にリツイートしていたものなどをTwilogからまとめました。告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のアカウントでのものが2件、あとは廣野秀樹（@hironohideki）です。

非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）のアカウントはなさそうなので調べてもいません。

比較的、しっかりした法律的な内容をツイートする女性弁護士という認識で、リツイートをしたこともあったのですが、いきなりの抗議のツイートを＠付きで受けた時は、それだけに驚きもしましたし、他に反応を示さなかった弁護士にも同じような受け止めをしている人が多そうだと思いました。

投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2012/12/26 23:58 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/283949852008796161> これが日本の弁護士か！　さればよしもう一度！ @MinakoTYO QT: 「告発・再審」などを自己の政治的思想等に基づいて熱心に行っている一般の方らしいが，フォロワーさんでも無いのに，執拗に自分のYouTu(cont) <http://t.co/zOLTovQ1>

リツイート）→ 　投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2011/01/29 05:03 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/31079904950878208> RT @MinakoTYO: 同感ですね。本日の報道体制には失望を一層深めております。RT @tomotrip 日本のTVにはもうみんなあまり期待していないのは昨年の尖閣問題の件などでほぼ確定事項？しがらみとは関係のない判断基準で動くメディアでないと支持は集まらんだろうな … 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2011/01/29 04:08 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/31066076636774400> 同感ですね。本日の報道体制には失望を一層深めております。RT @tomotrip 日本のTVにはもうみんなあまり期待していないのは昨年の尖閣問題の件などでほぼ確定事項？しがらみとは関係のない判断基準で動くメディアでないと支持は集まらんだろうなあとは思う。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/12/27 00:00 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/283950478440681472> これが日本の弁護士か！　さればよしもう一度！ @MinakoTYO QT:… <http://t.co/zNcsMMQv>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/12/26 23:59 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/283950078211809280> RT @kk\_hirono: これが日本の弁護士か！　さればよしもう一度！ @MinakoTYO QT: 「告発・再審」などを自己の政治的思想等に基づいて熱心に行っている一般の方らしいが，フォロワーさんでも無いのに，執拗に自分のYouTu(cont) <http://t.c> … 元のツイート）→　投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2012/12/26 23:58 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/283949852008796161> これが日本の弁護士か！　さればよしもう一度！ @MinakoTYO QT: 「告発・再審」などを自己の政治的思想等に基づいて熱心に行っている一般の方らしいが，フォロワーさんでも無いのに，執拗に自分のYouTu(cont) <http://t.co/zOLTovQ1>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/12/26 23:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/283949862410674178> これが日本の弁護士か！　さればよしもう一度！ @MinakoTYO QT:… <http://t.co/pLrZ6MjZ>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/05/12 20:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/201276094417080321> RT @MinakoTYO: 【法律のひろば・更新しました】　〔 よもやま話 〕 弁護士という仕事　－　相手の心の受け止め方、自殺を望む方への対処 <http://t.co/75ehrbJQ> @MinakoTYOさんから 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/05/12 20:36 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/201274542147108864> 【法律のひろば・更新しました】　〔 よもやま話 〕 弁護士という仕事　－　相手の心の受け止め方、自殺を望む方への対処 <http://t.co/75ehrbJQ> @MinakoTYOさんから

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/04/26 23:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/195521436159442946> RT @MinakoTYO: 刑事事件の、合理的疑いを入れる余地のない立証レベルと、議員としての倫理的、道徳的評価の乖離を踏まえない議論の多さに呆れる。議員の評価の下し方は、刑事どころか民事裁判の立証よりも判断基準が低くて然るべき。刑事無罪＝議員として倫理的、道徳的にもク … 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/04/26 23:25 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/195519019305021441> 刑事事件の、合理的疑いを入れる余地のない立証レベルと、議員としての倫理的、道徳的評価の乖離を踏まえない議論の多さに呆れる。議員の評価の下し方は、刑事どころか民事裁判の立証よりも判断基準が低くて然るべき。刑事無罪＝議員として倫理的、道徳的にもクリーン＝総理誕生とか言ってる人何なの？

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/04/26 23:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/195521319457128448> まともです。少し安心できました。有難うです。 RT @kamatatylaw: キチガイですね。 RT @MinakoTYO: 刑事無罪＝議員として倫理的、道徳的にもクリーン＝総理誕生とか言ってる人何なの？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/03/24 05:23 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/183287856280776704> RT @MinakoTYO: 今日は昼に打ち合わせがあるんじゃ。今から寝ても5時間。頑張って寝ないと。それもこれも全て帳尻合わせ家事と、スタートが遅すぎる大相撲ダイジェストのせいだ。 #sumo #NHK 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/03/24 05:01 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/183282252933906433> 今日は昼に打ち合わせがあるんじゃ。今から寝ても5時間。頑張って寝ないと。それもこれも全て帳尻合わせ家事と、スタートが遅すぎる大相撲ダイジェストのせいだ。 #sumo #NHK

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/01/26 03:15 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/162237219606769664> RT @MinakoTYO: 〔法律のひろばブログ過去記事です。ご参考なれば幸いです♪〕: （よもやま話）弁護士業務の電子化・インターネット利用について <http://t.co/woCENjvm> #弁護士業務 #電子化 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/01/26 03:10 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/162236017863176192> 〔法律のひろばブログ過去記事です。ご参考なれば幸いです♪〕: （よもやま話）弁護士業務の電子化・インターネット利用について <http://t.co/woCENjvm> #弁護士業務 #電子化

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2012/01/05 04:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/154647079535378434> RT @MinakoTYO: 〔ブログ過去記事です〕: 【WordPress】　ド素人の私でも導入できた！お世話になったお薦め書籍。 <http://t.co/QF3WiAvj> #WordPress 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2012/01/05 04:07 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/154640223580602368> 〔ブログ過去記事です〕: 【WordPress】　ド素人の私でも導入できた！お世話になったお薦め書籍。 <http://t.co/QF3WiAvj> #WordPress

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/03/28 21:11 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/52342123210616832> RT @MinakoTYO: 私も同意見です。国の財源は限られているのですから。 RT @ikarugakun: そもそもこの緊急事態にこども手当必要なんでしょうかね？もっと本当に困っている被災地の孤児の皆さんの為に使うべきでは？学校にいて助かったが、逆に両親を失った子供 … 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2011/03/28 21:10 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/52341823229788160> 私も同意見です。国の財源は限られているのですから。 RT @ikarugakun: そもそもこの緊急事態にこども手当必要なんでしょうかね？もっと本当に困っている被災地の孤児の皆さんの為に使うべきでは？学校にいて助かったが、逆に両親を失った子供達は沢山いるのです。 #jishin

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/03/28 19:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/52320681987293184> RT @MinakoTYO: 陸前高田に看護師さんとして実際に派遣された女性のブログです。被災地現地の様子（報道が放映できない場面など）を気丈に、丁寧に、そしてしっかりと、伝えていらっしゃいます。また、支援に行かれる方々の用意や覚悟についても伝えていらっしゃいます。htt … 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2011/03/28 19:37 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/52318502673072128> 陸前高田に看護師さんとして実際に派遣された女性のブログです。被災地現地の様子（報道が放映できない場面など）を気丈に、丁寧に、そしてしっかりと、伝えていらっしゃいます。また、支援に行かれる方々の用意や覚悟についても伝えていらっしゃいます。http://bit.ly/gO2Vri

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/03/27 20:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/51962001785761792> RT @MinakoTYO: 私も焦りました。RT @kaorit88 今のNHKニュースは衝撃。これまで「大丈夫、落ち着いて対応して」と言い続けてきた原発専門家の1人（放医研元理事長）が、「スリーマイル島、チェルノブイリ事故を超えた」とさらりと言い放ったのだから。#nhk 元のツイート）→　投稿者：MinakoTYO（しょう美奈子 @ 空飛ぶ弁護士） 日時：2011/03/27 19:50 ツイート： <https://twitter.com/MinakoTYO/status/51959218902798336> 私も焦りました。RT @kaorit88 今のNHKニュースは衝撃。これまで「大丈夫、落ち着いて対応して」と言い続けてきた原発専門家の1人（放医研元理事長）が、「スリーマイル島、チェルノブイリ事故を超えた」とさらりと言い放ったのだから。#nhk

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/08/18 23:45 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21495657995> 今まで何故フォローされていたのかも不思議。 RT @hirono\_hideki: 弁護士2名からアンフォロー（リムーブとも）されたらしい。何故のタイミング？？？ @MinakoTYO @kmuramatsu

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/08/18 23:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21495424301> 弁護士2名からアンフォロー（リムーブとも）されたらしい。何故のタイミング？？？ @MinakoTYO @kmuramatsu

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/06/10 13:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/15827117386> RT @MinakoTYO: 知財立国が叫ばれて久しいですが、ITばかりでなく、凄い技を持ったものつくりの現場も大切にして頂きたいです。@SekoHiroshige:… 元のツイート）→　投稿者：（） 日時： ツイート： <https://twitter.com//status/>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/05/30 00:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/14982027816> RT @MinakoTYO: それはとっても遺憾、悲しいです。高慢では弁護士はできません。@nakagaii:… 元のツイート）→　投稿者：（） 日時： ツイート： <https://twitter.com//status/>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/05/24 22:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/14623621986> RT @MinakoTYO: 私は心の痛みを知る方こそもっとも頼ることができる方、信頼できる方だと感じています。そして弁護士としてそうありたいと思っていますが、なかなか容易ではありません・・。RT @miwatakeshi:… 元のツイート）→　投稿者：（） 日時： ツイート： <https://twitter.com//status/>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/05/21 00:58 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/14370050853> 異常者のデータベースってのもあるんだ。RT @MinakoTYO: ネクロフィリア、屍体性愛といった異常性愛が伴う犯罪は過去に幾多もあり、たしかデータベースも公開されていたと思います。人類の不可思議さともあいまる部分です。RT @Abraxas\_Aeon:…

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2010/05/20 21:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/14358284990> 根性が真っ直ぐな弁護士って多いのでしょうか。歪んで見える方に問題のある可能性もありそうな。ジョークでしょうけど。RT @MinakoTYO: 私の同期でそんな方はいないけど。ひどい言われようで残念です。RT @BarlKarth: 女の検事のほとんどは，根性がひん曲がっている。

スクリプトで連続投稿したものをブラウザの告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のページで確認したところ、リツイートの元のツイートが正しく表示されていないものがあるようです。

原因としては元のツイートが削除されたことと、私が非公式RTを使ったことも考えられなくはないですが、たまたまAPIの投稿処理でエラーが発生したという可能性も、ゼロではないと思います。

昼食はまだですが、カレーを作る予定がまだ手もつけていません。そろそろカレーを作る支度にとりかかりますので、しばらく中断になるかと思います。

時刻は14時53分になっています。ようやく片付けも終わり、落ち着きました。予定通りカレーと刻みキャベツを作って食べました。テレビはミヤネ屋をつけています。

「飛び降りてもらおうか」　児童に発言の教諭処分　長崎県雲仙市 - MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140812/crm14081211500005-n1.htm>

ミヤネ屋よりも前にテレビで見ていた上記のニュースですが、その発言のみを問題にした記事になっているようです。

「飛び降りてもらう」教諭、参観の保護者の前で : 社会 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <http://www.yomiuri.co.jp/national/20140812-OYT1T50006.html>

上記の記事にはより詳細な内容が書いてありましたが、6月下旬となっているので佐世保女子高生殺害事件が起こる一月ほど前ということになるかと思います。佐世保女子高生殺害事件の発生を承知の上となれば、何かの目的でわざとやったのかとも考えましたが、そういうことはないようです。

テレビの報道でも一番驚いたのは上記記事にもありますが、次の部分です。一部引用させていただきます。

上記記事引用→）　教諭は、同県佐世保市の小学校で２００４年６月、６年生の少女が同級生の女児を殺害した事件の２人の担任で、当時、佐世保市教委から「一人ひとりに応じた指導ができていなかった」として厳重注意を受けていた。

時刻は16時09分です。テレビを見ながら途中、うとうとと寝ていたりしていました。掲載を忘れていたと思いますが、次のPicasaウェブアルバムは、午前中に作成したものです。現在の方式ではPicasaウェブアルバムにアップロードされていなかったと気が付きました。

経緯及び社会の反応／弁護士　莊（しょう）　美奈子 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/skZydH#>

現在の方式というのは、これまでに何度かご説明していると思いますが、albumid.txtというファイルを作成して管理しているものです。このファイルのあるなしで、Picasaウェブアルバムに登録済みということも確認できます。

たった今気が付きたことですが、2012年の8月12日ということで、ちょうど2年前のことになりそうです。私の感覚としては3年ぐらいは経っているような気もするし、そのように考えていたと思います。

リツイート）→ 　投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/08/12 15:30 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/499080554910715904> RT @niku\_kyu\_puni: 一審で実刑になった事件の控訴審を担当して執行猶予判決を得たのに，国選だと報酬の加算は一切ないんですね。 何もしなければ時間も経費も節約できてお得って報酬体系はおかしいでしょう。 元のツイート）→　投稿者：nikukyupuni（nikukyu puni puni） 日時：2014/08/12 15:28 ツイート： <https://twitter.com/niku_kyu_puni/status/499079862699577344> 一審で実刑になった事件の控訴審を担当して執行猶予判決を得たのに，国選だと報酬の加算は一切ないんですね。 何もしなければ時間も経費も節約できてお得って報酬体系はおかしいでしょう。

リツイートしているだけでブロックされた深澤諭史弁護士がリツイートしてものですが、元のツイートの投稿者のアカウントをみると弁護士とは全くわからない名前とプロフィールになっていました。確かに問題がありそうに見えるところもあるので、バランスの上でもご紹介しておきます。

時刻は18時42分。TwitterAPIで検索をするスクリプトを作っていました。うまくはいったのですが、何故か過去7日分ぐらいのデータしか取得が出来ないようです。Twitterの検索ならではの検索オプションが使えてすごく便利なのですが。

次のモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートも検索結果から見つけたものです。一つは見覚えがありますが、袴田事件に関する最新ニュースに反応したものです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/05 22:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/496649849878503424> そのとおりだ！＞RT

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/05 22:31 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/496649706827575296> RT @terayasan: 検察は収集した手持ちの積極証拠と消極証拠を全て検討した上で、公判が維持できるか否かの観点から起訴・不起訴を決めているはず。 そうであるならば、手持ちの消極証拠の存在を検討してもなお公判維持可能と判断したはずなのだから、その消極証拠を開示したところで… 元のツイート）→　投稿者：terayasan（てらやさん☆） 日時：2014/08/05 22:22 ツイート： <https://twitter.com/terayasan/status/496647384768602114> 検察は収集した手持ちの積極証拠と消極証拠を全て検討した上で、公判が維持できるか否かの観点から起訴・不起訴を決めているはず。 そうであるならば、手持ちの消極証拠の存在を検討してもなお公判維持可能と判断したはずなのだから、その消極証拠を開示したところで、何の痛痒もないはずだ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/05 22:27 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/496648809628192768> こういう検察の御都合主義的な主張は許すべきではないと思うな。少なくとも客観証拠については全面開示すべきだし、それを怠ったら理由の如何を問わず被告人に有利に扱うという制度改正をすべき。＞RT

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/05 22:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/496647679884009473> RT @okumuraosaka: 写真のネガは検察が「存在しない」と説明し続けてきたもので、５日東京高裁で行われた裁判所と弁護団との協議で、検察は警察がネガを保管していたと釈明したうえで、「これまで事実に反する答えをしてきたことを率直に謝罪する」と述べたということです htt… 元のツイート）→　投稿者：okumuraosaka（TORU OKUMURA） 日時：2014/08/05 21:53 ツイート： <https://twitter.com/okumuraosaka/status/496640034024345601> 写真のネガは検察が「存在しない」と説明し続けてきたもので、５日東京高裁で行われた裁判所と弁護団との協議で、検察は警察がネガを保管していたと釈明したうえで、「これまで事実に反する答えをしてきたことを率直に謝罪する」と述べたということです <http://t.co/hc79lmIir4>

これは、'from:motokentw'という単純なキーワードを、APIの自作スクリプトから使ったものです。

'"法" from:motokentw since:2011-09-01 until:2011-09-30'というような日付の範囲を指定した方法もできるはずなのですが、8月12日の今日現在8月5日までしか遡れないようです。日付の範囲指定をしなくても8月5日までになっています。

ブラウザでtwitter.comの検索ボックスに、キーワードを入力すれば過去に遡って検索結果が表示されますが、データの扱いがAPIのように自由にはなりません。

参考も兼ねて先ほど、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のmotokentwから私の廣野秀樹（@hironohideki）に向けて送信されたツイートの検索結果をスクリーンショットにしました。思ったよりずいぶんと数が少ないです。

2014-08-12-182310\_　Twitter　／　検索　-　from：motokentw　to：hironohideki.jpg pic.twitter.com/qFflM2ip3F

スクリプトではTwitterAPIのバージョン1.1で、searchというメソッドを使っているのですが、countを100に指定しているのに、'"法" from:motokentw'とありがちなワードを指定しても、8月8日まで4件しか結果が出ませんでした。

usertimelineメソッドでは、countオプションが機能し、オフセットと思われるpageオプションも機能していることを確認しています。例えば50件ずつのデータで、3ページ目にあたる101件目から150件までのデータを取得するという方法です。

twitter/Search.md at master · sferik/twitter · GitHub <https://github.com/sferik/twitter/blob/master/examples/Search.md>

上記のサンプルをみるとcountなどのオプションは存在しないみたいです。rubyのライブラリですが、他の言語のライブラリを探すか、直接http でAPIを叩き、返却値を取得するしかないのかもしれません。rubyのライブラリもバージョンの違いがあります。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 14:31 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498703307821436928> まあ、そうですね。RT @SQUAREninaritai: 本日の小倉先生とモトケン先生の見てると、確かに検査官が被疑者・被告人に対してこの論法で攻め続けるなら、そりゃ冤罪も生まれるし有罪確定立も上がるに決まってるよなと思った。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/11 14:05 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/498696600890265600> 日本語で答えても日本語で答えてくださいというのがモトケン、日本語で答えると英語で質問し出すのがイトケン。

pythonのスクリプトの方でテストをしていると、出てきたのが上記2件のツイートです。法律家や弁護士はこれほど頭が固く、融通がきかないのかと思うことがありますが、今回もそれをよく物語っていると思います。

「栃木・段ボールの少女遺体　指名手配の30歳男を逮捕」というニュースを今、報道ステーションで見ていますが、夕方のニュースで初めて見るようになった被害者少女の顔写真、事前の似顔絵とは余りにも違いすぎていて、何度も驚きます。

なんとか施設のに入所していて2年ほど前だったか、から行方不明になっていたという報道もありましたが、似顔絵を見ていると知恵遅れの精神薄弱児をイメージしていました。家庭に問題を抱える児童とかの養護施設とのことでした。謎の多い事件です。

一番初めの報道では栃木県佐野市ということと、石灰の発掘が多いの山間の道路とテレビで言っていましたが、平成4年の初めころは、その辺りに石灰を積みに3、4回ぐらい行っていました。七尾市の丸一運輸の仕事だと聞いていました。

石灰の行き先は、七尾市田鶴浜町の国道沿いの倉庫のような会社に2回ぐらい、七尾市内の川沿いで1回、それと松任市の松任駅の近くに1,2回というものでした。松任市の方は橋本商会という会社だったように思うのですが、田鶴浜町の方も同じ社名だったような気がします。

その石灰は、同じ平成4年の2月か3月の初め頃、岐阜県大貝市の町外れの砕石場のようなところからも積んだことが、2回ぐらいあったように思います。一度は被告訴人多田敏明を同乗させていたと記憶しています。

夜中に愛知県小牧市の名古屋北部市場で、被告訴人多田敏明と荷降ろしをしたことをはっきり記憶していますが、荷物は馬鈴薯だったと思うものの、他に小口の荷物を青果の仲買いの売り場のようなところに降ろしてきたというか、置いてきたような記憶があります。

まだ午前中だったと思うのですが、岐阜市内からの主要国道で、関ヶ原町の手前あたりを、被告訴人多田敏明を同乗させながら走行していたという場面も記憶に残っています。3月に近い2月の終わり頃だったと思うのですが、現在は記憶もぼやけています。

七尾市の川の側で石灰を荷降ろしした時は、ウィング車の荷台の中で石灰の粉が粉塵の砂嵐のような状況になり、気分が悪くなったのですが、その後に金沢の市場急配センターの事務所に戻ってきたのが3月5日のことで、正午前に近いような時間帯ではなかったかと記憶しています。指輪の日の一つです。

なにが指輪の日なのかについても、長くなるので続きはまたの機会に記述したいと思います。

時刻は23時30分です。小倉秀夫弁護士の国選弁護に関するツイートをまとめていました。夕食もまだですが、残り物のカレーを温めなおして食べます。スクリプトで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿しますが、本日中に完了しそうです。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/09 12:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/497942168984485889> 起訴前弁護って、虚偽自白とらせないために、ほぼ毎日接見に行かなければならないので、通常の国選より遥かに大変というのが、弁護士の感覚。RT @tanimach: 国選弁護人 国選弁護人の報酬は，１回で終わる被告人が認めている軽微な事件で，簡裁事件（簡裁に起訴された軽微な事件）

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/29 10:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/460947345815769088> そういう意味では、弁護士は当面国選の受任を辞めるべきですよね。RT @sakaima: 就業もそうだし、消費もそうだけど、ブラックだとか、歪曲だとか批判する前に、まず自分で就職しない、買わないことだ、というものは多い。誰も雇えなくなったり、誰も買わなくなれば、企業も変わらざるを得

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/03 02:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/451405965254877184> そこまでドライな社会にするのなら、国選弁護にしても、報酬の範囲内でしか働かないことを容認すべきですよね。RT @amkud: また一般の国民からしても、初年度から企業法務で大金を稼ぐ弁護士も全部まとめて給費制という違和感がなくなるでしょう。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/02/09 22:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/432501422060347392> 自称被害者の人権を尊重している人にどんなに罵声を浴びようとも、被疑者公選や国選弁護人としてその人を弁護することになったらできうる限りのことをする弁護士のことも忘れないであげてください。RT @akoustam: 自称平和主義者にどんなに罵声を浴びせかけられようとも、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/04/11 11:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/322169343100203008> 実際、「国選弁護専業で年収600万」とか、よほど手抜きをしないと実現できない報酬体系は依然維持されたまんまだし。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/04/06 09:29 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/320332328670998528> 「国選弁護したことにつけ込む」って意味がわかりませんね。RT @nyanmayu: 　実名でた。うーん、これは弁護士と被告人だった女性の言い分がだいぶ食い違ってそうだし、県弁としての事実認定には限界がありそうな事案っぽいかな。だから戒告なのかな、と。推測ですが。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/27 01:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/316584470243328000> 迎えに行かないと、そのまま拘置所に逆戻りもあり得ますしね。RT @asty\_md: 僕こないだ迎えに行きましたよ。その足で生保の申請行ったんで RT @nan5o: 国選弁護人って，執行猶予付き判決で拘置施設まで迎えに行っちゃうんだ…　そこまでしたことがない…

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/26 16:22 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/316450153223565312> 判決後ならいいんじゃない？って気もするけど。RT @satoseiichi: 元被告女性と「一晩一緒にいた」弁護士を懲戒へ（読売新聞） <http://t.co/XjtpvbkwCs> 報道によれば，国選弁護人は公判終了後に被告人の女性と深夜まで飲食店などで過ごした後、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/06 18:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/309237150879191040> ジャーナリスト様のご要望に応えることによって増大したコストは、国選弁護報酬の引き下げで賄えば足りますね。RT @akami\_orihime: 注目を浴びている事件に提供される傍聴席の席数はどう考えても少なすぎると思いますが、傍聴席を増やすこと自体がコストになる構図を踏まえると、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/04 17:32 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/308495247179124736> 司法制度改革に携わっている人たちは先刻ご承知です。でも、彼らが弁護士たちに望むのは「地の塩」となり、人々に感謝される代わりに滅び去っていくことなので。RT @oishihi: 国選での受任義務及び報酬の安さと、当番での弁護士会の善意はあまり知られていないのではないでしょうか。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/03/04 16:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/308486713444012034> 国選弁護等は誰も受任しなければ刑事裁判が始まらないだけの話ですね。 RT @oishihi 受任義務はあるのですか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/07/26 01:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/228158631252738048> 東弁の直受の報酬審査担当もひどいものですけどね。RT @lawkus: 某テラス「たしかに現行の国選報酬基準では、真面目にやらない方が相対的に報酬が高くなる場合があるが、そうした不適切な事件処理の誘因を生じない程度に、国選報酬を絶対的に安く設定しているので問題ない(キリッ」

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/06/25 01:33 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/216932049829904385> 国選弁護のような辞任が困難な場合を除くと、そんなでもないんだ。RT @929bluebird: @shiroikiri そもそもある層の弁護士が殊更に「人権と社会正義」を理念に掲げ過ぎたことが、本来「依頼人の『ものいう道具』に徹するのが弁護士としてあるべき職業倫理である」

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/04/22 01:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/193732366290792450> 国選やっている弁護士から、それでいくらになるか聞けばいいのに。RT @shinya\_sena: 結局、Bの収入って、確実なのは民事より刑事の被疑国選ってことなのか。収入を得るための準抗告や異議申し立てを乱発して、P庁やJ所を巻き込むのはやめて欲しい。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/03/03 11:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/175768446372552706> 即日起案に不満をぶちまける司法修習生は多いと思うけど、即日起案で与えられた時間、タイムチャージ制だったら依頼者にいくら請求することになるか考えてみるといいよね。国選だったら、弁論要旨の起案にそんなに時間をかけていたら、それだけで赤がでてしまうんだ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/27 18:25 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/174062672441126912> 問題は、国選を事務所経営の柱に据えようと思うと、多分に手を抜かなければいけないところですね。RT @sakanosi: 私選の１０分の１も費用が出ない経営者弁護士にとっては赤字の種の国選も、今や奪い合いの時代なのだ・・・・・・orz・・・・・。 ホントにこれで良いのか！！

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/21 09:05 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/171747348614090752> 刑事弁護人に求められているのは、記録を読まず、接見もせず、十年一日の決まり切った一般情状を最終弁論で述べるだけの国選おじさんの良識。RT @take\_judge: @brain\_catcat 弁護団が良識のある人たちだったら、結果はどうあれ、裁判は早く終わったでしょうね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/21 00:53 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/171623608832102400> 弁護士を市場原理に晒しておきながら、弁護士が市場原理に基づいて振る舞ったら成り立たない仕組みを温存する方がおかしい。RT @ROBO\_GAKUCHO: が、小倉弁護士のように「国選弁護人しかつけられない貧乏人は冤罪で死刑になっても構わない。市場原理から言って当然」と抜かす

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 16:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167880197956317186> 日本の司法改革を歪めている要因の一つが、「国選報酬の異常な安さ」にあることは否めないけどね。「国から依頼される仕事」にターゲットを絞っていたら事務所が維持できないっているのは、ある種異常だからね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2012/02/10 09:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/167762914051231744> 「この人は無実に違いない」と確信したからって、ろくな報酬をくれない国選弁護でまともに無罪立証してしまうと、労働生産性は低くなります。それを既得権益と呼ぶのですか？RT @SF\_yomi: 平均的な労働生産性を下回るコストパフォーマンスを制度によって得てる人を既得権益と呼びたい

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/12/17 23:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/148042037323759617> たかだか数件の国選事件を傍聴しただけで、その国選弁護人の能力がわかった気になれるものなんだなあ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/11/26 19:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/140383637299408896> 「私が被疑者・被告人となったときは、被害者の望む刑罰を私に加えてください」と望む人は平時に事前登録しておく仕組みってできないかなあ。被害者への配慮こそ最重要という人もいるようだし。乏しい国選弁護費用のリソースを、冤罪での処罰を望まない人に集中した方がいいような。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/10/05 11:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/121409126747213825> 小規模単位会が「地方には弁護士が足りない」と言っていたのは、国選だとか弁護士会の会務だとか、儲からない仕事をやってくれる人が足りないという意味であって、しかし、儲からない仕事だけをしに新人が地方に行っても経済破綻しか待っていませんからね。RT @rionaoki:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/28 11:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/96413572665589761> そうなった場合、国選専門の弁護士が、健康保険診療専門の開業医と同レベルの所得水準になるくらい、国選の報酬基準を上げるんですよね。RT @chokudai2002: 給費制。「高額所得者にまで給費を行う必要はない」との論者は、法曹の養成は国家の責務ではないとの立場と同義。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/15 09:47 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91670280283492352> この種の「弁護士憎し」系の人の目指すポイントってよくわからないんだなあ。RT @Tuba56: 法テラスで国選弁護費を増やしてこの有様ですから、給費制を維持して国選弁護が真っ当になる事は考えられませんね

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/15 02:26 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91559228489203713> 修習生を給費制にしてまで国選弁護を真っ当にしておく必要はないと言うことですよね。RT @snezu: 全然関係のない論点ですね。 RT @Hideo\_Ogura では、国選弁護は、現在の報酬額に見合った時間でちょちょちょい大量処理する国選おじさんに任せておけばいいですね…

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/14 03:14 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91208804699607042> 健康保険を使用する診療だけの開業医と同じ程度の所得を、国選弁護専業の開業弁護士がえられないなんておかしいよね

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/14 02:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91194085766987776> 国選で400時間を費やして、一人の被告人を無罪とする弁護士は、淘汰されるべきというのは、市場原理から言えば、正解なんでしょう。RT @AyReboot: それ、誰かに嫌がらせされて無い限り才覚無いんじゃない？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/07/14 02:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/91193363314905088> 国選中心で活動し、年に数件無罪判決をとるという弁護士は才覚がないのかという論点に移りそうです。RT @AyReboot: それ、誰かに嫌がらせされて無い限り才覚無いんじゃない？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/06/03 01:01 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/76317632529301504> 続けて詠める：忍ぶることの弱りもぞする。“@nyanmayu: ここで一句。「頑張れば　頑張るほどに　赤くなり（国選弁護人）」”

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/03/31 12:31 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/53298433691353088> 国選は手抜き、私選は最低1000万円から、ということになっても、市場原理の結果なら無問題。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/02/22 08:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39833167741325312> それはもうやめようというのが平成の司法改革。でも、国選専業で暮らしていけるほど国選報酬は増えず。RT @blackcat009: 誤解があれば教えて欲しいです。弁護士は他の案件での高い報酬と引換に国選弁護人の責を負ってるのでは無いのですか？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2011/02/22 08:33 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/39830171208908800> 国選専業で事務所を回しても、手抜きをせずに開業医並の所得が確保できる程度に国選の報酬水準が上がれば、弁護士の増員をそこで活かすことはできますよ。RT @Nitakichi: 弁護士は待遇をよくするけれど、というご意見ですね。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/12/26 01:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/18712058048552960> 酒を飲まず、ゴルフをせず、委員会活動をせず、国選弁護を受任せず、なので大丈夫です。RT @hihihirokane: 小倉先生すげーわ。弁護士でここまで喧嘩腰もとい論破腰または説得腰の人がいるもんなのだと理解。空き時間相当使ってるように思うんだけど、大丈夫か？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/18 12:28 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5100019564675073> 国選の報酬体系は個々の弁護士がどうこう言って変わるものではない。マスコミは弁護士に対しては採算割れせよの第合唱。“@NLHippie: 裁判官が無能なのと工夫のコストを合理的に説明して従量制で請求できず、丸めの定額であると言う料金費用体系の問題という事では？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/18 09:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/5049472807608320> 最近痴漢えん罪系では、再現ビデオを作って検察官のストーリーが成立しないことを立証することが増えているけど、国選だと、その費用は、弁護人の持ち出しだね。RT @NLHippie: 国選で出来る範囲では裁判所は正確な判断をしない場合もある？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/11/17 17:58 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/4820633737240576> 採算が合わないので、国選専門の弁護士が成り立たず、検察官と場数の差が生じてしまうのが実情。まあ、経済学的には、国選しか頼めない被告人が適切な弁護を受けられないのはむしろ望ましいわけですが。RT @NLHippie: 採算合わないならば辞めたら良い

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/09/14 01:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/24395577438> その代わり、弁護士は国際標準価格の３分の１の価格で国選弁護とか引き受けてきたから、国は３〜４年で元を取れているはずだけど。RT @t\_aldehyde: 何かおかしいことを言っているようだったら論破して納得させて欲しい。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 10:08 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22397532448> 医師の場合、健康保険の枠内だけで仕事をしていると診療所を維持しつつ、豊かな生活を享受することが可能。弁護士の場合、国選弁護の枠内だけで仕事をしていたら、大変なことに。RT @tamai1961: 医師を見ていると、 @rionaoki @hKodama: RT @taniyama

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 09:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22394471803> 誰が真犯人であるのか確信がもてないときに、富裕者を起訴すると有能な私選弁護人がついて無罪となる危険が高まるが、貧乏人を起訴しておけば国選弁護人がついてささっと上げてくれるということになれば、検察官は迷ったときには貧乏な方を起訴してくれる。 @kobayashi\_masa:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 03:16 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22373475638> 価格調整というと、具体的には、記録を読まず接見もしないという「効率的な」弁護活動をする事業者に合わせて国選弁護の価格が調整され、真面目に無罪弁護を行う非効率的な事業者は、「国選弁護」という市場からは排除されるということでしょう？RT @kazemachiroman:

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:32 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22370552090> それで、既存の弁護士たちは何も困らないような。RT 被告人が無罪を訴えている事件を含めて、初公判の日に初めて被告人と会い、記録の閲覧も事前にしない効率的な経営をしている弁護士に全部国選をお願いしてしまえば、RT @ttakimoto @rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22369669138> まあ、極端だと思うなら、修習生に借金負わせて、プロボノする気を失わせてみたらいいんじゃない？RT @ttakimoto: また、国選全体に占める無罪弁論の比率なども考えると極端な事例から一般論を引き出しているようも思います。 @rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22369451042> 国選報酬が１件あたり２０万円あがれば（これで国際水準）、１５件くらい担当すると、修習時代の貸与分はその差額で返せてしまいますね。RT @ttakimoto: 単純に国選報酬を値上げすればよいと思われます @rionaoki

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/29 02:01 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/22368433099> 現状の国選弁護報酬は、無罪弁護をまともにやるとマクドナルドの時給にも劣るとされていますが、その程度の報酬を払っているのだから満足すべきだということですね。RT @rionaoki: とは思いません。実際に報酬を払えない被告人のために弁護を行った弁護士に国が報酬を支払ったほうがいい

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/24 02:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21929065340> 国選の報酬を私選並みに引き上げることが出来れば、刑事弁護専門の弁護士が各所で開業できます。また、民事の法律扶助予算が拡充すれば、弁護士が手弁当を覚悟しなくとも貧しい人が弁護士を代理人につけて訴訟を提起することができます。RT @Tuba56: 10分の1でも法外に巨額ですが、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 15:12 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21891712877> そこまでいうなら、諸外国並みにまともに国選弁護費用払おうよ。国選１件あたりで国際標準より２０万円くらい安いから、国選弁護費用を国際標準にしてくれれば十数件で元が取れてしまうから。RT @motoyuki: 新しい貸与制度でも非常な厚遇。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 11:04 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21877393311> 朝一で国選取得会場に赴き、楽そうな事件だけをがさっと持って行って大量に受任し、接見もせず、記録も謄写せず、示談交渉もせず、被告人の家族等に情状弁護をお願いすることもなく、ありきたりな一般情状弁護だけを行う超ベテラン弁護士のこと。RT @kaotatsu: こっそり教えて下さい。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/23 10:38 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21875668072> 国選をやらなくとも事務所が維持できる弁護士は国選など引き受けず、国選は国選おじさんだけに任せておけば良いんじゃないの？RT @kaotatsu: 法曹会が優秀な人材を逃すのは社会的な損失だと認知されれば、給付制は維持するということになるかもしれませんし、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 08:07 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21528068264> 生活に余裕がある弁護士がプロボノとして国選を担ってきた時代から、生活に困った弁護士が事務所維持の柱として国選弁護を担う時代に移行させてしまったがゆえの悲劇。RT @GS\_shinryu\_SR: 低廉な国選弁護士報酬を誇る方もいるが、これが今の悲しい現実。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 08:03 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21527786053> 国選報酬自体は接見も準備もしないことを前提に算定されているけど、ほとんどの国選弁護人は接見も事前準備もしているのが実情。 RT @GS\_shinryu\_SR: 安いけど接見していないらしいです（笑）http://t.co/JKJGmtC

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/19 00:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21497396529> なお、国選弁護の基準報酬額が他の先進国並みに３０万円程度になると、年４件国選を受任する弁護士の収入は６０万円程度増える。これなら、修習期間中の生活費相当額を１０年分割で返済しても元が取れてしまう。RT @GS\_shinryu\_SR

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/18 23:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/21494059110> 修習生時代に税金で養っていただいたという意識があるからこそ、低廉な価格で国選弁護等を引き受けてきたのだと思うが（先進国で日本ほど国選弁護報酬が低い国を知らない。）RT @GS\_shinryu\_SR: その割には税金で養ってもらっているという意識が希薄なのでは？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/08/11 01:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/20806001141> 裁判官の大幅増員や国選費用の大幅増額等の形で政府の役割を増やす運動なら大歓迎。さらに弁護士にただ働きをさせようというなら賛成できず。RT @tamai1961: それが市場原理の修正と称して政府の仕事を増やす運動なら、およそ賛成できない。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/07/24 11:54 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/19389481489> 国選は国選で採算を取ろうというヒトたちにおまかせすればいいのでは？丁寧な仕事をする人は市場で淘汰され、結局市場が望む手抜き弁護で御茶を濁す弁護士が国選市場に残るので、国民も本望。RT @bwpotato: 本気で修習給与制を維持したかったら、

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/05/20 15:40 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/14345036504> 採算ベースで考えると、国選弁護では５〜６時間しか使えませんからね。RT @armorpon: つまり弁護士側はじっくり取り組めない台所事情ってことなのか…

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/05/12 13:44 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/13832096668> 例えば、オウム事件の時は、麻原担当国選弁護人の事務所経費の一部を事実上補助したり。RT @isologue: 会計士協会とかもいろいろやってますが、基本は無償奉仕かと。担当弁護士にそれなりにフィーを払ってる負担？スタッフが多い？

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/04/15 09:44 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/12194014162> 生活のために国選を受任している弁護士さんって、一件にどの位の時間をかけているのだろう。また、本格的な否認事件に当たってしまったらどうする気なのだろう。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2010/04/03 20:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/11530182332> 国選等を除けば選べていると思うけど。@HITOMIchang 弁護士も自由業なのだからサービスを商品に淘汰されるべき業界ではないでしょうか？もっとオープンに顧客が先生を選べるべきですよね

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2009/12/10 17:43 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/6526159651> @teramakojp 支部管轄ごとに弁護士過疎か否かを判断する場合、弁護士集中地域との交通の便のよい支部管轄地域は人口あたりの開業弁護士が少なくなりがちです。例えば、千葉地裁一宮支部なんて、国選・被疑者公選を除けば、地元に弁護士が事務所を開いている必要はありませんし。

時刻は8月13日0時42分です。項目を切り替えて続きを書きたいと思います。

<2014-08-13 水 00:42> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月13日

<2014-08-13 水 00:43> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

投稿者：okumuraosaka（TORU OKUMURA） 日時：2014/08/12 22:15 ツイート： <https://twitter.com/okumuraosaka/status/499182269425131521> 遺族の代理人中村和洋弁護士が大阪市内で記者会見し明らかにした　　笹井氏、研究機関解体提言に衝撃　遺族代理人明かす - 47NEWS（よんななニュース） <http://t.co/6S5jDjNVV9>

上記はブロックされている奥村徹弁護士のツイートで知ったところですが、また弁護士の代理人というのが出てきたようです。先ほどニュースZEROだったと思いますが、短いニュースで遺書のことと、マスコミのバッシングに怒り、精神的に追い詰められた、というような報道をしていました。

ちょっと前までは刑事裁判の被害者参加制度での弁護士による代理人というのは見かけることがあったのですが、それ以外の遺族の代理人というのはほとんど見ることがなかったと思います。

民事裁判での訴訟代理人となれば弁護士が代理人になるのは普通かと思いますが、よほど大きいか特殊な事件でない限り、そういう民事裁判でのことが報道されることもなく、代理人という弁護士が表に出てくることもなかったと思えるからです。

マスコミの報道被害の盾になって関係者を守るということになれば、それとともに存在価値をアピールするため、あるいは宣伝のために、ことさらにマスコミや報道を批判するという風潮も、弁護士によって煽られそうです。

笹井氏、研究機関解体提言に衝撃　遺族代理人明かす - 47NEWS（よんななニュース） <http://www.47news.jp/CN/201408/CN2014081201002115.html>

リンクになっていた上記の記事を開いて読んでみると、短い内容でしたが、理研に非を鳴らす論調、下準備という印象を受けました。三木秀夫弁護士が引っ掻き回した分、笹井氏にしわ寄せのような負担がのしかかったという気もするのですが、肝心の小保方氏を一切表に出さなくしているのも三木弁護士かと。

理研は半官半民のような組織であるらしく、とりっぱぐれのない甘い蜜に見える弁護士もいるのかと、勘ぐりたくもなりますし、そうなると笹井氏の苦悩や自殺という結果も、弁護士に都合よく利用されているのではないかという疑いの目も向けたくなります。

時刻は8時6分になっています。起きたのは7時20分ころでした。「スッキリ！！」という情報番組で、万引き犯の顔出しについて、アンケートをしていましたが、賛成71、反対29ということになっていました。

まんだらけ、「万引き犯」の写真公開中止　警視庁が要請：朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/articles/ASG8D56B0G8DUTIL018.html>

繰り返し報道されている上記の問題ですが、園田寿という名前に見覚えのある法学者のようなひとが、公開は犯罪になるといい、若狭勝弁護士は犯罪にならないとコメントしていました。菊池弁護士も脅迫未遂になると話しているかと思います。

昨夜のうちに気になっていた小倉秀夫弁護士のツイートがあるので、それをご紹介しておきたいと思います。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/12 23:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/499199603321741312> この国では、自国が平和で豊かになった時代を蔑み、そうでなかった時代に戻そうと考える人間が自分のことを愛国者であると自認する程度に倒錯している。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/08/12 23:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/499195161742540800> そんなことより、武力に頼らずに世界第二位の経済大国になったということの方がよほど凄いことですね。

弁護士の歴史的な社会活動を高く評価しているようにも見える発言です。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/10/04 01:25 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/385802692355821568> 今の日本があるのは、死んでいかなかった人のおかげです。RT @tritoninbkk: @Hideo\_Ogura @momotarohkun そうでしょうか？戦時中は多くの兵士が「靖国で会おう」と言って死んでいったそうです。そういった人たちがいたおかげで現在の日本がある訳です。

上記も忘れられない小倉秀夫弁護士のツイートです。「おかげ」をキーワードに検索をしていると、似たようなツイートを２つ見つけましたので、そちらもご紹介しておきます。程度の差はあると思いますが、弁護士の価値観、世界観として共通するものがあるかと思います。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/01/08 07:50 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/420688809278205952> 有為の人材が英霊になったおかげで戦後日本が発展したんじゃなくて、有為の人材が英霊にさせられたにもかかわらず、残った人の努力によって、戦後日本が奇跡の発展を遂げたんですよ。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/01/08 07:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/420690693447626752> そういう意味では、戦後の日本の平和を守ったのは、英霊のおかげでも何でもなく、憲法第9条のおかげで、外国に軍隊を派遣してこちらから戦争を仕掛けることができなくなったおかげだといえますね。

現在の日本国憲法を高く評価しているのも、小倉秀夫弁護士の特徴です。弁護士にとってよっぽど都合よく出来ているのかとも、勘ぐりたくなりますし、日頃の小倉秀夫弁護士の発言、ふるまいが、現行の憲法に対してまやかしの役たたずのような悪印象を与えてくれます。

私は非常上告という法的手段を問題の解決の突破口に据えるつもりで、そのための準備をネットで公開しながら進めているところですが、小倉秀夫弁護士などは見向きもせず、歯牙にも掛けていないことでしょう。他のほとんどの弁護士と同じように。

非常上告に関しては適用される事案はわずかで、参考になるような資料も乏しいと思われます。以前調べたところでは、警察官の勘違いで法律の適用を誤った場合、それを検察のトップが是正する措置だという印象です。

私の拙い説明よりも、ネットで情報を拾ってご紹介をしておきたいと思います。再審請求に関しても電話で対応していた金沢地方裁判所の書記官が、しばらく待ってくれるように言われ、その場で条文などを確認していることがありました。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 09:01 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499344868796141568> 2014-08-13-090059非常上告　-　Google　検索.jpg <http://t.co/vuXIurvL7B>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 08:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499344575681409024> 2014-08-13-085949非常上告　-　Google　検索.jpg <http://t.co/6GPm5okrd3>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 08:59 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499344427194667008> 2014-08-13-085908非常上告　-　Google　検索.jpg <http://t.co/FzCWlgfUr0>

上記3件のデータは、自作のスクリプトを次のように使って得たものです。

% h-api-twitter-usertimeline-format.rb shirono 3 | xsel -b

｜の部分はパイプと言って、入出力の切り替えをするものです。本来コマンドを実行した端末で表示されるデータを、クリップボードを操作するxselコマンドに送っています。自分が管理しているTwitterなので、必要なのは直近の3件のみということで、取得するデータの数を指定しています。

非常上告 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9D%9E%E5%B8%B8%E4%B8%8A%E5%91%8A>

上記記事からの引用→）　非常上告（ひじょうじょうこく）とは、日本において、検事総長が、最高裁判所に対して、刑事訴訟における確定判決について、その事件の審判が法令に違反したことを理由としてその違法の是正を求める申立てである（刑事訴訟法454条）。

私が審判における法令違反とするのは憲法37条の条文です。「刑事被告人は、すべての証人に対して審問する機会を充分に与へられ、又、公費で自己のために強制的手続により証人を求める権利を有する。」とあります。

「刑事被告人は、いかなる場合にも、資格を有する弁護人を依頼することができる。被告人が自らこれを依頼することができないときは、国でこれを附する。」ともあります。

「すべて刑事事件においては、被告人は、公平な裁判所の迅速な公開裁判を受ける権利を有する。」とも憲法37条にはあります。

条文の解釈としては素人の手に負えるものではないですが、非常上告の条文（刑事訴訟法454条）を読むと手続きができるのは、検察庁のトップである検事総長のみと読めます。おそらくは検事総長の名において、ということだと思いますが、トップの決裁が必要不可欠とも理解できます。

その検察庁に、批判的、懐疑的、あるいは不信を焚きつけるような発言、行動をやっているのが、一部になりますが、私がTwitterでも取り上げることの多い、弁護士、ジャーナリストです。

批判が的を得ているケースがまるでないとは思っていませんが、ずいぶんと恣意的、独善的で偏っていると感じることが多いです。具体的なところを今まではブログの記事として記録することが多かったのですが、これからは内容そのものを本書のご説明に盛り込んでいくことにしました。

URLのリンクなども、パソコンやスマホの通信機器があって、さらにインターネットに接続できる環境まで揃って初めて意味をもつものです。ローカルに保存したHTMLファイルもブラウザで開いて読むことは出来ますが、常時接続が当たり前となった現在では、そうすることも少ないでしょう。

ローカルのパソコンでもWebサーバを起動させていれば別ですが、開くHTMLのプロトコルはhttpではなく、fileになるはずです。実際にローカルのファイルをブラウザで開くと次のようなURLになります。

<file:///h2014/kk_hirono/index.html> 　これは個別のパソコン環境でのみ有効なアドレスです。ドメインも存在しません。ローカルでWebサーバが稼働していれば、http://localhost というURLを使うことは多いですが、一般的なURLアドレスとは異なるものです。

ローカルなパソコン本体や、閉じられた社内ネットーワークでも、独自のドメインのような名前をつけてアクセスすることも可能ですが、通常、http やhttpsで始まるURLアドレスは、世界中のインターネットに繋がった空間で、一意の存在を示すものです。

私はそういうことを強く意識しながらhttpやhttpsで始まるURLアドレスを使っています。完全に開かれた情報であり、プライベートモードにしているブログは別ですが、判断の資料となる情報は一切の区別を付けず、閲覧しうる状況に置いています。

この先も同じ方針を貫くという保証はありません。Google+ページにおいては、Twitterのフォローに相当するサークルへの追加は自ら出来ない仕様になっているはずです。

ちょっとはっきりと思い出せなくなっているところもあるのですが、自分をサークルに入れた相手のみをサークルに追加できる仕様かと思います。

曖昧な記憶で、不確かなことを書きっぱなしにも出来ないので、ちょっと調べてみます。

Google+ページを作ろう！：基本と使い方ガイド | Social Media Experience <http://socialmediaexperience.jp/4442>

上記ページからの引用→）　ユーザーがGoogle+ ページをサークルに追加した後、Google+ ページはそのユーザーをサークルに追加することができます。

Google+ページは個人のGoogle+とは異なり、企業や会社、お店などの宣伝、集客を前提にしているためと考えられますが、要は主催者からサークルに入れるという勧誘は出来ず、主催者を自分のサークルに入れてきた相手のみを、主催者の特定のサークルに入れることが出来る仕組みのようです。

サークルに入れることになんの意味があるかといえば、Twitterのリスト機能のように関連付けたテーマで絞り込んで情報を集め閲覧するということもありますが、特定のサークルのみを対象に閲覧制限を掛けることが出来ます。投稿時に公開の範囲を決めることになりますが、事実上の制限です。

他にも探せばいろいろあると思いますが、芸能人や有名人の利用も多いブログサービスのアメブロにも、アメンバーというような公開の範囲設定機能があるようです。めったに更新しなくなっていますが、私もずいぶん前からアメブロのブログも持っています。

アポロン対ディオニュソス <http://ameblo.jp/hirono-hideki/> ←　これがそのアメブロのブログです。

今、ページを開いたところ、ページ全体のレイアウトに変更があったのか、私が手を加えたレイアウトの部分が少しずれて表示されています。Flash動画はWikipediaのフリーソフトで自分で作成したものです。

素材に使っている写真は昨年8月15日にデジカメで撮影したものだと思います。これは帰り道に振り返って撮影したものですが、200メートルの崖の上にある猿山岬灯台に行った時のものです。灯台への遊歩道の入り口にあるのが、娑婆捨て峠の看板です。

Bloggerのブログは資料を集めたような内容になっていますが、本来的な情報発信の場としては、アメブロの方をメインのブログとして活用することも考えています。

そういえば3時間ほど前に見かけて、ブラウザで開いたままにしてたブログの記事も、アメブロでした。次の記事です。

カンパの報告｜ろくでなし子支援弁護団のブログ <http://ameblo.jp/rockdenashiko-bengodan/entry-11906161199.html>

上記ブログの引用→）　２０１４年８月６日時点で、１０７件のカンパ、合計１０４万４９５９円をいただきました

上記ブログの引用→）　このカンパは、弁護団の活動費（交通費、会議費、資料作成の諸費用等）に大切に使わせていただきます。詳細な会計報告は、事件終了後にさせていただきます。　引き続いてのカンパの協力をよろしくお願いします。

ぱっと見た感じでは、とても弁護士や弁護団のブログにも見えないのですが、見た範囲では弁護士の名前も見当たりません。これで本当に100万円を超えるカンパが集まったのかも疑問ですが、その辺りも含め言葉では表現できないので、スクリーンショットを撮ってご紹介しておきたいと思います。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:41 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499385243296473088> 2014-08-13-114123弁護団としては，この事件について大きな社会問題として取り上げてくださる皆さまに心から感謝申し上げます。.jpg <http://t.co/QbIc11rouh>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:41 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499385111045877760> 2014-08-13-114053弁護団としては，この事件について大きな社会問題として取り上げてくださる皆さまに心から感謝申し上げます。.jpg <http://t.co/w7sr8WDrxV>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:40 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499384890224177152> 2014-08-13-114001弁護団ブログ開設の報告.jpg <http://t.co/QFbYPjTH5r>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:39 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499384781436514304> 2014-08-13-113935弁護団ブログ開設の報告.jpg <http://t.co/eavw8AQ9CI>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:38 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499384463868964864> 2014-08-13-113819ろくでなし子事件（女性器３Ｄプリンタデータ頒布事件）の弁護団の報告ブログです。.jpg <http://t.co/GdK1qtvQ9x>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:37 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499384145852637185> 2014-08-13-113704このカンパは、弁護団の活動費（交通費、会議費、資料作成の諸費用等）に大切に使わせていただきます。.jpg <http://t.co/ECv81iuzXt>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 11:36 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499383903267069952> 2014-08-13-113604このカンパは、弁護団の活動費（交通費、会議費、資料作成の諸費用等）に大切に使わせていただきます。.jpg <http://t.co/GELt7y1h97>

弁護士や弁護団によるカンパや署名の呼びかけというのは、以前からも見かけていますが、この件に関しては、憲法上の表現の自由を守るという大義名分があって、カンパなどの支援をする人も実際にいるようです。

受任して手がける刑事弁護に事件について、自ら積極的な情報発信をしているという点では、郷原信郎弁護士のツイッターが、とても参考になると思います。数日ぶりの更新もあったようですが、次に最新の10件に絞ってご紹介をしておきたいと思います。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/13 10:54 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/499373320236584960> 続き）検察官の唯一の頼りである中林供述も露骨な誘導と辻褄合わせの経過が歴然。検察官席にいる検事の後輩たちが、何とも気の毒に思えてくる。彼らも、好き好んでこんなヒドイ事件を担当しいるわけではないだろう。名古屋地検は、一体、どうしてこんな事件を起訴してしまったのだろうか？？？

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/13 10:53 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/499373203672690690> 昨日、藤井美濃加茂市長の収賄事件で第１回公判前整理手続【美濃加茂事件、弁護側「争点は現金授受」　公判に向け】http://t.co/4FGoWQ4LtL　事前に開示された検察官請求証拠。予想していたとは言え、内容の希薄さには唖然。当初からの潔白の確信は99.9％に高まる。（続く

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/01 12:53 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/495054675012767745> 【美濃加茂市を脅す愛知県警、「崖っぷち」の名古屋地検】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://t.co/2zXiVlBwLd

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/31 07:49 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/494615721192607744> 八田隆氏対検察国賠訴訟に関する記事⇒【「捜査当局は引き返す勇気を欠いていた」 無罪になった元証券会社部長、国を訴える】http://t.co/b7BUAa6mZK

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/30 19:12 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/494425297966481408> 今夜午後８時からのこの番組でも、美濃加茂市長事件について話します。「ハナタレ小僧」の話も！【Japan Indepth】現金授受はあったのか!?最年少市長収賄事件裁判の行方http://t.co/R6eqQs3FfI

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/30 15:31 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/494369608409694210> 【森厚夫美濃加茂市議会議長に「真意」を聞きたい】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://t.co/v34dWoWoZp

リツイート）→ 　投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/29 23:21 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/494125605399445504> RT @bengo4topics: ＜収賄で逮捕・起訴された美濃加茂市長「辞任する意思はまったくない。早く復帰したい」＞（弁護士ドットコム） <http://t.co/7d9KwZrIzl> 郷原弁護士の記者会見の内容をまとめました。#bengo4topics @nobuogoha… 元のツイート）→　投稿者：bengo4topics（弁護士ドットコムトピックス） 日時：2014/07/29 21:10 ツイート： <https://twitter.com/bengo4topics/status/494092667496562688> ＜収賄で逮捕・起訴された美濃加茂市長「辞任する意思はまったくない。早く復帰したい」＞（弁護士ドットコム） <http://t.co/7d9KwZrIzl> 郷原弁護士の記者会見の内容をまとめました。#bengo4topics @nobuogohara

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/29 14:29 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/493991649601531905> 藤井美濃加茂市長の接見、保釈請求、記者会見のため一週間ぶりに名古屋に向かう。ニコ生⇒【美濃加茂市長収賄事件】保釈請求について 郷原信郎弁護士 記者会見】 <http://t.co/BJZw5iGR8k> 2014/07/29(火) 17：20開場 17：30開演

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/29 11:48 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/493951209053499394> 昨日午後の金融審判での審問について、ロイターの記事が出ています。【⇒増資インサイダー問題、野村元社員は情報伝達「覚えていなかった」】http://t.co/FJCcoUzkIs

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/07/28 12:21 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/493597177420066816> 本日午前、東京地裁で開かれた八田隆氏の国家賠償請求訴訟の第１回口頭弁論期日での原告代理人としての私の意見陳述を、【八田隆氏の対検察国賠訴訟の意義】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」にアップしました。⇒ <http://t.co/aGaOsUcjRj>

時刻は14時35分になっています。昼食を済ませたりしていましたが、3食目となったカレーを食べきり、洗い物も済ませました。その前に用意していたものだと思いますが、郷原信郎弁護士のPC遠隔操作事件に関するツイートを、ご紹介しておきます。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2013/04/06 14:10 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/320403068795637760> 【拡散】八木啓代さんが、ブログで、ＰＣ遠隔操作事件について、重要な発信をしています。⇒【PC遠隔操作事件：猫の首輪の重大な謎】 <http://t.co/eIzfOUi6eT>

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2013/03/04 18:38 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/308511700703928320> PC遠隔操作事件。もし、また誤認逮捕だったら、警察にとって壊滅的なことになるだけに、今の段階で潔く負けを認めることは無理としても、捜査員の十分の一位、別の犯人の捜査に当てても良いのではないか。危機管理の専門の立場からの助言。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2013/03/01 00:23 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/307149057145581568> 【（朝日）警視庁サイトに「高校襲う」　神奈川・静岡の４６校休校】http://t.co/wyt3KpJmHb　⇒ひょっとして、これが、ＰＣ遠隔操作事件の真犯人の仕業ということはないのだろうか。もしそうだとしたら、「警察、検察の面目は丸つぶれ」どころでは済まない。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2013/02/20 12:27 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/304069673383784450> 【ＰＣ遠隔操作事件：反省なき「有罪視報道」の構図】と題してブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒http://t.co/Vps2sKCf

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2013/02/15 22:27 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/302408783504764928> ＰＣ遠隔操作事件について、2月１１日のツイートで、若干遠慮して、「報道を見る限りでは、さすがに今度は間違いなく犯人という感じがしますが、万が一、真犯人が別にいて・・・」と書きましたが、昨日の佐藤弁護士の会見などからすると、「万が一」が現実になる可能性も。（続く

郷原信郎弁護士はご自身で直接、ネット上での情報発信をされていますが、佐藤博史弁護士の場合は、江川紹子さんや岩上安身さんなどのジャーナリストを通じての情報発信という印象が強いです。

PC遠隔操作事件に関しても、片山祐輔被告が土中に埋めたスマホなどでの偽装工作に失敗し全面自供に至る少し前には、外国特派員を集めた会見まで行っていました。

Twilogで検索を始めたところ、次のようなものも出てきました。日付と報道の時期の関係も気になるところです。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/05/29 10:34 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/471826897664344064> 2014-05-29-103418PC遠隔操作事件、今回のスマホ、ニュースを聞いているだけでも警察発表のおかしさ、突っ込みどころ満載だろ.jpg <http://t.co/zkLd20nK7S>

ツイートの本体もあるのかと検索したところ、PC遠隔操作事件をキーワードにした検索結果は次の3件でした。裁判員制度はいらないインコに関しては何度かツイッターで回答を求めたものの、弁護士なのかという質問に対する回答は得られませんでした。

投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2014/05/19 18:00 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/468315123564548096> PC遠隔操作事件、今回のスマホ、ニュースを聞いているだけでも警察発表のおかしさ、突っ込みどころ満載だろ。マスコミは警察の言い分を垂れ流すしか能がないのかね。

投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2013/03/22 10:36 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/314913370346246147> 冤罪事件の作られ方を現在進行形で見ている気がするね　PC遠隔操作事件起訴　http://t.co/CNCSJfrlWn

投稿者：nosaibaninko（裁判員制度はいらないインコ） 日時：2013/02/12 18:16 ツイート： <https://twitter.com/nosaibaninko/status/301258539190607873> 推定無罪もなし。冤罪でっち上げの警察を批判するでもなし RT @crusing21: ＰＣ遠隔操作事件。朝のワイドショーでは、のきなみ犯人であることを前提に、プライバシーを暴く内容だった。警察を愚弄としたということで警察は容疑者を事前にリークに私生活を撮影させて逮捕後に晒し上

時刻は18時41分です。pythonでのスクリプトの修正に時間が掛かっていました。ようやくうまく行ったところです。やれやれですが、やっと出来たので達成感もあります。なんとか夕食や買い物の時間の前に終えることが出来たのも幸いでした。気分の切り替えも出来ます。

pythonのTwitterAPIを使った検索スクリプトでは同じキーワードで8月6日まで遡ってデーターが取得出来ました。rubyのものだと8月12日です。これは当然、ヒットする数による違いもあるようです。

時刻は20時58分です。先ほど銭湯から戻ったところです。初めAコープ能都店に行ったのですが惣菜がほぼ売り切れで、どんたく宇出津店まで向かおうとしたのですが、角田ストアがまだやっていたのでおにぎりなど買い、一度家に戻ってから銭湯に行きました。

だいぶん前に買った三陸産のワカメが、買い物に行く前に確認したところ今日の8月13日で賞味期限切れでした。ネギも2本残っているので、これから何とかしたいと考えています。

全部確認していないのですが、また江川紹子さんが気になるツイートをしていました。スタンスも一向に変わりのない感じですが、同じように変わりがないと検察を見ているようです。

今、気がついたのですが、今夜の「若者たち2014」は「FNS夏のうたの夏祭り」という4時間の特番で中止になっていました。わかっていれば宇出津新港まで足を伸ばしていたと思います。

終章 裁判とメディア – 本庄事件弁護団 <http://www.itsuwarinokioku.jp/?page_id=173>

上記はジャーナリストの江川紹子さんがツイートで紹介していたサイトの記事です。

上記サイトの引用→）　佐藤修一はトリカブトの毒で死んだのではなく利根川で溺死した。「渡辺荘事件」の壮大なストーリーは、武まゆみの記憶の闇が生み出したファンタジーである。

リンクを開くといきなり、上記の引用部分が目に飛び込んできました。結構衝撃的です。たぶん初めて目にしたサイトですが、事件自体がずいぶんと前のことなので、昨日今日にわかに出てきたWebサイトとは思えません。

時刻は23時4分になっています。さきほど小倉秀夫弁護士の次のツイートをツイッターの検索で調べていたのですが、かなり手間取り、その間に記録してご紹介ツイートをいくつも見つけ、廣野秀樹（@hironohideki）でリツイートしました。

投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/05/09 01:48 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/332175121294958592> 「長雨が続きすぎだ。このままでは農作物がダメになってしまう。そうだ！若い娘たちを人柱にして神様の怒りを解こう！」「人柱なんてとんでもない。第一そんなことしたって長雨が収まる保障なんてあるまい」「なら、お前、対案だせよ。出せないんなら、お前のところの18歳になる娘、人柱にするぞ」

初め「神」をキーワードにしたのですが、大量にヒットしたツイートを一つずつ確認していたものの見つからず、次のように「娘」をキーワードにしたところ、これも大量にヒットがありましたが、ようやく見つけることが出来ました。

Twitter / 検索 - "娘" from:HideoOgura <https://twitter.com/search?f=realtime&q=%22%E5%A8%98%22%20from%3AHideo_Ogura&src=typd>

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）のツイートと順番が違ってしまいますが、スクリプトで告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿したところ、連投の9件目でエラーが出ていたので、そのエラーが出たツイートを次に、先立って投稿しておきたいと思います。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551030879584256>

以下がスクリプトでの告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）への連続投稿になります。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:43 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551768938680320> RT @Hideo\_Ogura: 「長雨が続きすぎだ。このままでは農作物がダメになってしまう。そうだ！若い娘たちを人柱にして神様の怒りを解こう！」「人柱なんてとんでもない。第一そんなことしたって長雨が収まる保障なんてあるまい」「なら、お前、対案だせよ。出せないんなら、お前のとこ… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/05/09 01:48 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/332175121294958592> 「長雨が続きすぎだ。このままでは農作物がダメになってしまう。そうだ！若い娘たちを人柱にして神様の怒りを解こう！」「人柱なんてとんでもない。第一そんなことしたって長雨が収まる保障なんてあるまい」「なら、お前、対案だせよ。出せないんなら、お前のところの18歳になる娘、人柱にするぞ」

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:42 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551607244079105> RT @Hideo\_Ogura: 犯罪被害で娘さんの失った両親から「マスコミの方は帰って下さい」といわれても「取材を受けたくないかどうか」なおわからないので葬儀会場等を取り囲み、ご両親の姿を見つけると一斉にカメラを向け、マイクを差し出し、時に被害者である娘さんをなじるような取材… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/08/06 09:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/364539236017373184> 犯罪被害で娘さんの失った両親から「マスコミの方は帰って下さい」といわれても「取材を受けたくないかどうか」なおわからないので葬儀会場等を取り囲み、ご両親の姿を見つけると一斉にカメラを向け、マイクを差し出し、時に被害者である娘さんをなじるような取材をするのですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551381481484288> RT @Hideo\_Ogura: まあ、18歳から20代くらいの娘がいる弁護士なら、あまり人のいない過疎地で開業して案の定生活費も稼げない状態に陥っても、娘を都会に送って売春させて仕送りしてもらえばなんとか生きていけなくはないですね。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 00:17 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397019607522762752> まあ、18歳から20代くらいの娘がいる弁護士なら、あまり人のいない過疎地で開業して案の定生活費も稼げない状態に陥っても、娘を都会に送って売春させて仕送りしてもらえばなんとか生きていけなくはないですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551168188522497> RT @Hideo\_Ogura: まあ、男性弁護士が、過疎地行きを命じられて、そこで餓死する分には、全然気分悪くならないんでしょうね。娘の売春で生き延びてしまうと気分を害するってことで。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 11:10 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397184152727871488> まあ、男性弁護士が、過疎地行きを命じられて、そこで餓死する分には、全然気分悪くならないんでしょうね。娘の売春で生き延びてしまうと気分を害するってことで。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:40 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499551030879584256> RT @Hideo\_Ogura: 実際、弁護士過疎の解消のために自治体が公的資金を使うということは許容されたことがなく、ひたすら弁護士が生活水準を下げることで対処することが求められてきたんですよ。「娘に売春してもらうか餓死するか」もその延長線上ですよ。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 11:30 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397189108964929536> 実際、弁護士過疎の解消のために自治体が公的資金を使うということは許容されたことがなく、ひたすら弁護士が生活水準を下げることで対処することが求められてきたんですよ。「娘に売春してもらうか餓死するか」もその延長線上ですよ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550780202811394> RT @Hideo\_Ogura: 北海道の過疎地での開業を強いられた弁護士に、フェミニストたちから許された唯一の選択肢は、「娘に迷惑をかけず、勝手に餓死すること」である。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 14:56 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397240813370867712> 北海道の過疎地での開業を強いられた弁護士に、フェミニストたちから許された唯一の選択肢は、「娘に迷惑をかけず、勝手に餓死すること」である。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550703291875328> RT @Hideo\_Ogura: 「貧しい人たちを弁護士たちは見捨てるのか？北海道の過疎地を見捨てるのか？弁護士が餓死したって誰も困らないのだから、お前ら弁護士は採算を度外視しろ。娘さえ売春させなければいいんだ。わかったな」っていうのが平成の司法改革の帰結だな。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 15:02 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397242471484121088> 「貧しい人たちを弁護士たちは見捨てるのか？北海道の過疎地を見捨てるのか？弁護士が餓死したって誰も困らないのだから、お前ら弁護士は採算を度外視しろ。娘さえ売春させなければいいんだ。わかったな」っていうのが平成の司法改革の帰結だな。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550625579814915> RT @Hideo\_Ogura: そういう親のところに行って、紐を取り出し「さああ、首をくくれ。これ以上娘に迷惑をかけないように首をくくれ」と強要するのが理想的弁護士。RT @audit\_again: 法律家にして、ああだとがっくり。貧困から親に売春を強要されて、傷ついて訴訟し… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 15:06 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397243440053760000> そういう親のところに行って、紐を取り出し「さああ、首をくくれ。これ以上娘に迷惑をかけないように首をくくれ」と強要するのが理想的弁護士。RT @audit\_again: 法律家にして、ああだとがっくり。貧困から親に売春を強要されて、傷ついて訴訟しようにも、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550488560283649> RT @Hideo\_Ogura: テメエの勝手というか、「北海道の過疎地でも弁護士は開業すべき」と言っている人たちが勝手なんですが。RT @yukiko\_matu: こーゆー親がいるから、貧困は連鎖するのは当然。 ねぇ、娘を売春させてまでしなきゃいけない事って、なに？テメエの… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 21:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397338324043440130> テメエの勝手というか、「北海道の過疎地でも弁護士は開業すべき」と言っている人たちが勝手なんですが。RT @yukiko\_matu: こーゆー親がいるから、貧困は連鎖するのは当然。 ねぇ、娘を売春させてまでしなきゃいけない事って、なに？テメエの勝手に娘付き合わせて、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550380909277185> RT @Hideo\_Ogura: そういう採算を度外視した仕事を弁護士に押しつけようとしているのは、弁護士以外の人たちじゃないですか？RT @yukiko\_matu: ええ、餓死してでも全うしたいお仕事でしたら是非どうぞ。餓死する前にやるべき事は娘を売ることだけですかね？ 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 21:30 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397340046958661632> そういう採算を度外視した仕事を弁護士に押しつけようとしているのは、弁護士以外の人たちじゃないですか？RT @yukiko\_matu: ええ、餓死してでも全うしたいお仕事でしたら是非どうぞ。餓死する前にやるべき事は娘を売ることだけですかね？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550244237869057> RT @Hideo\_Ogura: 今の所は、そこまでして北海道の過疎地で開業する弁護士がいないので、弁護士はお高く止まっていると糾弾され続けています。RT @531meril: 「稼げない仕事を続けるために娘に売春をさせる」弁護士は実際にはいないので、弁護士はドラマのように過疎… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 21:51 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397345284767764480> 今の所は、そこまでして北海道の過疎地で開業する弁護士がいないので、弁護士はお高く止まっていると糾弾され続けています。RT @531meril: 「稼げない仕事を続けるために娘に売春をさせる」弁護士は実際にはいないので、弁護士はドラマのように過疎地域で滅私奉公し続けることはできない

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:37 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550212478619649> RT @Hideo\_Ogura: すべての市町村で開業する弁護士が娘をさせずとも生活できるように弁護士が資金提供するためには、すべての弁護士が子どもに進学を諦めてもらわなければいけないくらいの寄付を迫られるんじゃないですかね。RT @momoyamapk: @Hideo\_Ogu… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 22:19 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397352289796493312> すべての市町村で開業する弁護士が娘をさせずとも生活できるように弁護士が資金提供するためには、すべての弁護士が子どもに進学を諦めてもらわなければいけないくらいの寄付を迫られるんじゃないですかね。RT @momoyamapk: @Hideo\_Ogura 河添誠＆湯浅誠が作った、『反

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:36 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499550015899971584> RT @Hideo\_Ogura: 娘の心配なんて不要。RT @bwpotato: 娘を売春させなくないし。 RT @Hideo\_Ogura: 北海道の過疎地で開業してみては？RT @bwpotato: 疲れたなぁ。自分もどんなぞくせいであれ、ちゃんとした「弁護士」と認められてる… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/04 23:39 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397372659865886720> 娘の心配なんて不要。RT @bwpotato: 娘を売春させなくないし。 RT @Hideo\_Ogura: 北海道の過疎地で開業してみては？RT @bwpotato: 疲れたなぁ。自分もどんなぞくせいであれ、ちゃんとした「弁護士」と認められてる実感があれば、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499549848605970432> RT @Hideo\_Ogura: 弁護士会費だけで半分以上消えていきます。RT @momoyamapk: 生活保護を申請して、却下された場合に、不服申立をすると、何年もかかるのですか？ 娘が大きくなって、妻は働きに出ないのですか？ 依頼１件で100万円とありましたが、２件で… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/05 00:23 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397383568193642496> 弁護士会費だけで半分以上消えていきます。RT @momoyamapk: 生活保護を申請して、却下された場合に、不服申立をすると、何年もかかるのですか？ 娘が大きくなって、妻は働きに出ないのですか？ 依頼１件で100万円とありましたが、２件で200万円なら餓死しません。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499549650202791936> RT @Hideo\_Ogura: 普通に考えれば、「自分が売春せずに済んだ以上、父親が餓死しても悔いなし」で幸せに生きていける娘ってそう多くないわけで、娘の売春さえ阻止できれば、北海道の過疎地での開業を強いられた弁護士が如何なる辛苦を味わおうと構わないという話にはならないと思う… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/05 00:57 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397392195595952129> 普通に考えれば、「自分が売春せずに済んだ以上、父親が餓死しても悔いなし」で幸せに生きていける娘ってそう多くないわけで、娘の売春さえ阻止できれば、北海道の過疎地での開業を強いられた弁護士が如何なる辛苦を味わおうと構わないという話にはならないと思うんだよね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499549574235566080> RT @Hideo\_Ogura: その論理って「ああ、あの弁護士、フェミストたちの活躍で娘からの援助が得られなくなって餓死したってよ。売上を増やす工夫ができなかったんだから自業自得だよね。ああ、無能な弁護士がこの世から淘汰されて良かった、良かった」ってさげすむための論理ですね。… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/05 17:21 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397639905775333376> その論理って「ああ、あの弁護士、フェミストたちの活躍で娘からの援助が得られなくなって餓死したってよ。売上を増やす工夫ができなかったんだから自業自得だよね。ああ、無能な弁護士がこの世から淘汰されて良かった、良かった」ってさげすむための論理ですね。RT @horatio2chsi:

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499549513724338176> RT @Hideo\_Ogura: まあ、娘さえ父親を見捨てておもしろおかしく暮らせるなら、おっさん弁護士は、餓死しようとも、「工夫が足りないお前が悪い」で終わってしまうわけですからね。RT @kani\_base: まだやっとるww 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/05 18:15 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397653288989888512> まあ、娘さえ父親を見捨てておもしろおかしく暮らせるなら、おっさん弁護士は、餓死しようとも、「工夫が足りないお前が悪い」で終わってしまうわけですからね。RT @kani\_base: まだやっとるww

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:34 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499549474662785024> RT @Hideo\_Ogura: 売春するよりは強盗した方が良いということですか？RT @jgvhdh: ｢娘に売春｣よりは大分ましかと RT @Hideo\_Ogura: それならば例として適切なんですか？RT @jgvhdh: だったら｢強盗するしかなくなる｣ でも良かったの… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/05 20:37 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397689071146770433> 売春するよりは強盗した方が良いということですか？RT @jgvhdh: ｢娘に売春｣よりは大分ましかと RT @Hideo\_Ogura: それならば例として適切なんですか？RT @jgvhdh: だったら｢強盗するしかなくなる｣ でも良かったのでは？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:23 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499546845958254592> RT @Hideo\_Ogura: フェミニストの人たちって、娘に売春させる以外の方法があるのであれば、それが弁護士自ら強盗するなどの方法でも、弁護士を強制的に北海道の過疎地で開業させることに賛成するのですね。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/06 04:49 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397812906147848192> フェミニストの人たちって、娘に売春させる以外の方法があるのであれば、それが弁護士自ら強盗するなどの方法でも、弁護士を強制的に北海道の過疎地で開業させることに賛成するのですね。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:23 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499546674952298496> RT @Hideo\_Ogura: とりあえず、「北海道の過疎地での開業を義務づけられた弁護士が貯金を使い果たして餓死する」ことは許容できても、「娘が売春で稼いだ金で仕送りをした結果生き繋ぐ」ことは許容できない人が多いことはわかった。おっさん弁護士の命など、今の日本では何の価値も… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/11/09 12:13 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/399011764416692224> とりあえず、「北海道の過疎地での開業を義務づけられた弁護士が貯金を使い果たして餓死する」ことは許容できても、「娘が売春で稼いだ金で仕送りをした結果生き繋ぐ」ことは許容できない人が多いことはわかった。おっさん弁護士の命など、今の日本では何の価値もないということだ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499546602181103616> RT @Hideo\_Ogura: 農村では口減らしのために嬰児を殺したり娘を身売りしたりしなければならないような状態でも、軍隊があちらこちらに侵攻できていた昔の方が誇らしいのですか？RT @DelcaYahary: @Anonymous\_jp\_ 誇りというものは経済でどうこう… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/01/19 10:11 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/424710744320389120> 農村では口減らしのために嬰児を殺したり娘を身売りしたりしなければならないような状態でも、軍隊があちらこちらに侵攻できていた昔の方が誇らしいのですか？RT @DelcaYahary: @Anonymous\_jp\_ 誇りというものは経済でどうこうというものじゃないからですよ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:22 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499546493095653376> RT @Hideo\_Ogura: 娘を風俗で働かせて北海道の過疎地で開業しようという弁護士向けの広告はまだなのだろうか。RT @kenketsumiyagi: “風俗で働いて奨学金を返済しよう”という求人広告。 <http://t.co/JbCPI975QV> 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/01/23 15:45 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/426244298976145408> 娘を風俗で働かせて北海道の過疎地で開業しようという弁護士向けの広告はまだなのだろうか。RT @kenketsumiyagi: “風俗で働いて奨学金を返済しよう”という求人広告。 <http://t.co/JbCPI975QV>

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 22:21 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499546184931762176> RT @Hideo\_Ogura: 「支配してくれてありがとう。従軍慰安婦になりたいと任意に志願してきた若い娘たちの願いを叶えてくれてありがとう」と韓国政府が大日本帝国に感謝するのを待つって無理じゃないですかね。RT @clock\_one: 自立する国の過程を信じてもらうように勤… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/03/02 11:46 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/439954785517596672> 「支配してくれてありがとう。従軍慰安婦になりたいと任意に志願してきた若い娘たちの願いを叶えてくれてありがとう」と韓国政府が大日本帝国に感謝するのを待つって無理じゃないですかね。RT @clock\_one: 自立する国の過程を信じてもらうように勤めるのが、愛国者ではないですか？

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 21:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499540196803637249> RT @Hideo\_Ogura: マスコミから求められたら、その気が済むまで無償で取材に応ずる（それにより事務所の経営が立ちゆかなくなっても、神が与えた試練だと思い、諦める」というのが、適正な金銭感覚ですね。RT @hosoi\_to: クライアントに「マスコミは一生、取材し続け… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/09/08 13:09 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/376557784558338048> マスコミから求められたら、その気が済むまで無償で取材に応ずる（それにより事務所の経営が立ちゆかなくなっても、神が与えた試練だと思い、諦める」というのが、適正な金銭感覚ですね。RT @hosoi\_to: クライアントに「マスコミは一生、取材し続けるし、

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 21:57 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499540143812780034> RT @Hideo\_Ogura: 「お前ら下々は、神の代理人であるマスメディアの言うことを聞くべきである。その結果、お前らが悲惨な目に遭っても、自己責任であり、マスメディアのせいにしてはならぬ」というのが、神の代理人であるマスメディア関係者の基本認識のようだ。 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2013/09/18 16:00 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/380224723415597057> 「お前ら下々は、神の代理人であるマスメディアの言うことを聞くべきである。その結果、お前らが悲惨な目に遭っても、自己責任であり、マスメディアのせいにしてはならぬ」というのが、神の代理人であるマスメディア関係者の基本認識のようだ。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/13 21:55 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499539844427563008> RT @Hideo\_Ogura: まあ、お賽銭程度のお金では何も叶えませんしね。RT @guchinandayo: 教育勅語には弁護士を神のようにあがめ奉れとは書いていないからなあ。RT @Hideo\_Ogura: 教育勅語に書かれている道徳律がすばらしいという人たちは、なぜ自… 元のツイート）→　投稿者：HideoOgura（小倉秀夫 (Lee mi prof)） 日時：2014/04/19 08:04 ツイート： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/457293656496422912> まあ、お賽銭程度のお金では何も叶えませんしね。RT @guchinandayo: 教育勅語には弁護士を神のようにあがめ奉れとは書いていないからなあ。RT @Hideo\_Ogura: 教育勅語に書かれている道徳律がすばらしいという人たちは、なぜ自分たちでまず実践しないの？

検索結果で出てきた小倉秀夫弁護士のツイートをリツイートしていて気になったのですが、Twilogで調べてみたところ、やはり過去にリツイートしてものを今回再度リツイート出来ていたようです。確認したのは次のスクリーンショットでの操作です。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/13 23:38 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499565748079964160> 2014-08-13-233840\_％　grep　’RT　@HideoOgura：　「長雨が続きすぎだ。’　　hironohideki140813。csv.jpg <http://t.co/RhKpTEC1Vo>

Twilogのデータのフォーマットは一見するだけではわかりにくいかと思いますが、"140813 224317"と"130509 105724"の2件があります。後者は2013年5月9日10時57分24秒という意味になるはずです。規則性はもちろん前者も同じです。

時刻は8月14日8時57分です。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-14 木 08:58> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月14日

<2014-08-14 木 09:01> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

今日は、朝起きてから確認したモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートをいくつかご紹介したところから始めたいと思います。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 21:56 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499539902732595200> 誰のことか知らんけど、そんなことを言う人間を相手にする必要はないんじゃないかな？RT @herobridge: ネトウヨは何故か、侵略されるから防衛しなければならないと言う。自分達は侵略などしない心の清らかな人間で、他国は侵略しか考えていない悪魔のような人間だと言う。…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 20:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499523743996059648> マスコミが裁判の後の被告人の生活や人生を考えていることは絶対にない。＞RT

リツイート）→ 　投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 20:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499523439967760385> RT @aoimanabu: マスコミ「まだ犯人だと確定していないのに顔写真を公開していいのか？私刑ではないのか。警察にまかせればいいのでは？その後の犯人の生活は？」

裁判前の「容疑者」の顔も名前も家庭環境も近所の人の声も卒業文集も全国公開して償った後の容疑者の生活を消し飛ば… 元のツイート）→　投稿者：aoimanabu（あおいまなぶ＠C86日曜東Ｚ26） 日時：2014/08/13 02:07 ツイート： <https://twitter.com/aoimanabu/status/499240866293096450> マスコミ「まだ犯人だと確定していないのに顔写真を公開していいのか？私刑ではないのか。警察にまかせればいいのでは？その後の犯人の生活は？」

裁判前の「容疑者」の顔も名前も家庭環境も近所の人の声も卒業文集も全国公開して償った後の容疑者の生活を消し飛ばしてる人達はいうことが違いますな

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 16:40 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499460572644376576> @kotadon なるほど、ありがとうございます。いかにもマスコミが飛びつきそうな話ですねw

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 16:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499458589116088321> 多くの人達は、「証言」というと、信用できるもの、信ずべきもの、と考えているみたいなのだが、要するに、「人の話」なので、意図的な嘘、記憶違い、忘却、表現の不適切とかが混じってくる可能性が常にあるので、法律実務家は、まず疑ってみるものと考えている。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/12 22:04 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499179552636416000> 犯人が特定されたら窃盗罪で処分されることになると思うが、犯人が店を訴える可能性があるな。同じことをやりたいと思っている店はたくさんあると思うので、これからどうなるか要注目。＞RT

上記の4件目に「いかにもマスコミが飛びつきそうな話ですねw」というツイートがありますが、これだけではなんのことかわからないと思います。URLは個別のツイートのものなので、ブラウザで開くと次のスクリーンショットのように表示されます。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 09:17 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499711352647065601> 2014-08-14-091711いかにもマスコミが飛びつきそうな話ですねw.jpg <http://t.co/8sD0ByXV4b>

上記のツイートの本体を見ると、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の次のツイートにkotadonというアカウントが＠付きで返信をしたことになります。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 16:26 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499456955077771264> おにぎりがどうかしたの？

上記のツイートは＠がついていません。名宛人を特定していない普通のツイートです。？をつけて問いかけているように見えますが、これはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）がたまに使う「ギャラリー」を意識したものでしょう。基本はフォロワーかと思います。

それに反応を＠付きで返したのが次のツイートです。ツイッターの仕様に関する具体的なご説明も兼ねています。

投稿者：kotadon（cotance（お盆なんて嘘さ）） 日時：2014/08/13 16:38 ツイート： <https://twitter.com/kotadon/status/499460007142756355> @motoken\_tw この高校野球のマネージャーさんの件です <http://t.co/TUzQTu8i2c>

「投稿者：　＊　日時：　＊　ツイート：　＊」という書式になっている部分は、私が考えて作ったものです。rubyのソースコードで、この部分は次のようになっています。

puts '投稿者：' + "#{tweet.user.screenname}（#{tweet.user.name}） 日時：#{date} ツイート： #{url}"

TwitterAPIで取得したデータはハッシュの集まりになっています。ハッシュとはキーワードと値が一組になったデータです。次にご紹介するのはプログラム言語pythonの同じ部分のソースコードです。

print '投稿者：' + f.user.screenname + "（" + f.user.name + "）" + " 日時：" + date + " ツイート： " + twurl

tweetとfの部分は同じです。APIから取得したデータを任意の名前をつけたオブジェクトに格納したものです。そのオブジェクトの形式に合わせて、中からデータを取り出しています。中身のキーワードはrubyとpythonのライブラリ、どちらも同じになっていました。

「投稿者：kotadon（cotance（お盆なんて嘘さ））」にこれを当てはめると、スクリーンネームの値が「kotadon」、ユーザネームの部分が「cotance（お盆なんて嘘さ」になります。

このアカウントのこのユーザネームは今回初めてみました、以前は長い間別のものになっていました。正確な記憶ではないですが、「かわいいは正義」というようなものであったと思います。

記憶に従い、次のようにTwitterの検索を使ったところ、該当したのは1件だけでした。記憶にあったのとはちょっと違った感じがしましたし、小倉秀夫弁護士のアカウントが出てきたのも意外でした。

Twitter / 検索 - from:kotadon to:hironohideki <https://twitter.com/search?q=from%3Akotadon%20to%3Ahirono_hideki&src=typd>

ツイートの本体をスクリーンショットにしました。２つのスクリーンショットになっています。この個別というか本体のツイートを見ることで、私が記憶にしていたツイートを発見しました。返信を保留したのでよく憶えています。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 10:10 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499724667192475650> 2014-08-14-101009Twitter　／　kotadon：　@hironohideki　@HideoOgura　。。。.jpg <http://t.co/NSqFgc1hzt>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 10:09 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499724504122159104> 2014-08-14-100929Twitter　／　kotadon：　@hironohideki　@HideoOgura　。。。.jpg <http://t.co/vn5G9eMKjG>

問題のツイートは次のものですが、＠を使ったやりとりとして検索結果にも含まれなかったのは、頭に半角ドットの一文字を含んでいるからです。そう言えば何か目的があっての裏技として情報を見かけたことを思い出しましたが、ずいぶん前でもあり内容を思い出せないです。

投稿者：kotadon（cotance（お盆なんて嘘さ）） 日時：2014/02/16 20:57 ツイート： <https://twitter.com/kotadon/status/435020183493566465> .@hirono\_hideki 実体験でもおありですか？少なくとも、私の乏しい刑事弁護経験からも、警察検察の問題は非常に大きなところがあると思います。弁護士が過剰に検察警察を悪にしていると感じるところがあればそれは、警察検察の秘密体質に対する不信感ですね。

調べたところ、次のページがわかりやすかったです。単純に言えば返信扱いにならず、より多くのフォロワーのタイムラインに流れるという効果。

Twitterでの返信のまとめ - どうにかなるって <http://d.hatena.ne.jp/yukimi1977/20100216/1266289013>

正直これは今まで知らないで来たのですが、問題のツイートに当てはめると、kotadonが＠の返信した場合、kotadonのフォロワーでも私つまりhironohidekiもフォローしているアカウントのタイムラインにしかそのツイートは流れないことになるようです。

先頭はドット以外でもいいそうですが、要するに返信であることを打ち消すことで、すべてのkotadonのタイムラインにそのツイートが流れることになるようです。

もともと私はタイムラインでツイートを見ることは殆ど無いです、5千に近い数のフォローをフォロー返しでしているので、膨大な数のツイートがHOMEのタイムラインには流れるので、すべてに目を通すことは事実上不可能にも近いです。

関心のあるテーマのアカンとは、作成したリストに入れることで、ツイートに目を通していますが、それでも数が多くて、目を通す機会、時間も少なく気が向いた時にもなるので、ほとんどは見落としていることになると思います。

そのリストもHootSuiteのタイムラインで見ることがほとんどです。他人の作成したリストを使うことも出来るのではないかと思いますが、そういうことはやっておらず、自分で作成、管理しているリストです。

HootSuiteの通常表示しているタブのカラムに設定しているのは次の２つのリストです。それ以外のリストは、ほとんど滅多に見ることがありません。タブを切り替えれば別のリストも閲覧できるようにはしています。釣り情報のようなものもあります。

@hirono\_hideki/lawさんはTwitterを利用しています <https://twitter.com/hirono_hideki/lists/law>

@hirono\_hideki/mediaさんはTwitterを利用しています <https://twitter.com/hirono_hideki/lists/media>

簡単にいえば前者は法律関係。弁護士がほとんどですが、法学者や法学部の講師とか、その他、一部ですが司法修習生というプロフのアカウントも含めていると思います。現役の裁判官もお一人含めています。知っている人はよく知っている有名人かとも思います。

後者はmediaとしていますが、報道関係やマスコミ、記者などを加えています。リツイートしたくなるようなツイートというのは意外に少ないです。

一年ほど前といえば、TwitterはもっぱらブラウザのWebアプリであるHootSuiteを使っていました。Twitterの本家とも呼ばれることのあるtwitter.comのページは余り見ることもなかったのですが、ここ一年ほどの間に機能も大幅に強化、充実されているので、現在はそちらでの閲覧が多いです。

廣野秀樹（@hironohideki）のアカウントでの投稿は、ほとんどがHootSuiteを使っていますが、何度かご説明したとおり、Google+ページヘの同時投稿をデフォルトの設定にしているからです。

終章 裁判とメディア – 本庄事件弁護団 <http://www.itsuwarinokioku.jp/?page_id=173> ←　昨夜、ジャーナリストの江川紹子さんがツイートで紹介していた記事です。

半分近くまでまともに読んでいたのですが、改行が少なく文章が読みづらいということもあり、飛ばし読みをするようになって、3分の2ぐらいになると読むのをやめました。警察、検索のことを悪魔の集団のようにあげつらっていますが、カルト的な印象のほうが強いです。

小説のような読み物として割り切れば、それなりに面白いのかもしれないですが、時間を無駄にはしたくないです。内容的にも小説という感じですが、実際に出版された本の内容を掲載しているのかもしれません。

世の中には真面目に読んでいる人もいるのだろうと思いますが、これが正当な主張だとすれば、まさに警察・検察による暗黒国家ということにもなりそうです。

自分の記憶を頼りに、次の単純なキーワードでの検索を行ったところ、すぐに記憶通りの情報が見つかりました。

八木　事件　暴行 - Google 検索 <https://www.google.co.jp/?gws_rd=ssl#q=%E5%85%AB%E6%9C%A8%E3%80%80%E4%BA%8B%E4%BB%B6%E3%80%80%E6%9A%B4%E8%A1%8C>

次がトップに出てきて視聴をしたYouTubeの動画です。タイトルだけでもだいたいの内容はわかると思いますし、将来的に閲覧できなくなる可能性は常にあると思います。

埼玉・本庄保険金殺人事件｜毎日新聞記者への暴行場面 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=c14poGgJeoY>

タイトルとURLを取得するのにもう一度リンクを開くと、再生が始まり、「埼玉県本庄市、去年の夏、この町で保険金疑惑が持ち上がった」というナレーションが聴こえてきました。

3ヶ月ほど前でしょうか、テレビの特番で同じような場面を見ることがありました。テレビをつけたかチャンネルを変えたタイミングだったようにも思うので、途中から見たようにも思います。

ナレーションで去年の夏、疑惑が持ち上がったと、流れていますが、私はこの事件の報道をテレビで見たという記憶がありません。去年といわれてもピンとこないので、改めて調べています。以前にも時期を見る機会はあったように思いますが、忘れています。

調べようと思ったのですが、ブラウザのウィンドウに戻ると、開いていた先ほどのYouTube動画に、説明があってそこに書いてありました。

上記YouTube動画ページからの引用→）　平成12年。連続保険金殺人事件の主犯 八木茂死刑囚(当時50歳)が、逮捕前に自ら開いていた記者会見の様子。この会見への­参加は有料で、逮捕までの約8カ月間（計203回）行われました。

上記YouTube動画ページからの引用→）　一説によると報道陣­が支払った総額は一千万円以上といわれています。2008年7月17日、最高裁で八木の死刑が確定しました。

私は平成11年8月12日の夕方遅くに、富山県魚津市の現場から金沢市玉鉾の会社に戻ったところで、待ち構えていた金沢中警察署の警察官に逮捕され、そのまま金沢中警察署に連れて行かれました。

本来ならば金沢市諸江の会社に戻ってから一般の会社でいる退社で、北安江の自宅に戻るところでした。正規の残業ということで帰りが遅くなったのも、その時が初めてだったと思います。朝は5時半に諸江の会社に行き、家に戻るのは19時以降というのが多かったと思いますが、残業にはならず。

同年の9月の20日頃に、金沢刑務所の拘置所に移送されましたが、その時は服役も同じ金沢刑務所になったので、満期で金沢刑務所の施設から出たのは平成13年12月31日になります。何度か同じことを書いていると思います。

平成12年の11月の初め頃に、第5工場に配役されてからは、独居房でしたが普通の受刑者の生活をしていました。普通の受刑者の生活ではテレビの視聴もけっこうな時間があるのですが、金沢刑務所では2級生でもチャンネルの自由権はなく、ニュースや報道番組の視聴も少なかったと思います。

新聞は閲覧が出来ましたが、福井刑務所のように夜に舎房での回覧板のような回し読みはなかったと思います。レクレーションという運動時間があるときは、じっくりと新聞を読むことが出来ましたが、入浴のある日は、昼食後の回し読みだけでした。

午前中の休憩時間にも新聞の回し読みはあったかもしれませんが、昼食後の休憩時間でも15分か20分程度ではなかったかと思います。60人前後の受刑者がいて、だいたい6人ずつのテーブルに座っていて、そこで1紙のみの新聞を回し読みしていたのです。

新聞など全く関心がないという受刑者が大半だったとは思いますが、社会面の見出しすら見ることの出来ないことも、たまにはあったと思いますし、記事の内容に目を通すことはいつでもできることではありませんでした。

何度かこれも本書において書いていると思いますが、新聞が墨塗りや切り抜きされることは、私の金沢刑務所の受刑中、一度もありませんでした。

現職の検事が痴漢で逮捕されたという報道もありましたが、私の裁判とも関わりの深い古川龍一判事の妻のストーカー事件の報道があったのも、ちょうど受刑中の時期でした。

なかには、受刑している金沢刑務所の刑務官が万引きで捕まったという記事もありましたが、それもそのままの状態で閲覧をしていました。記事自体に実名の記載はなかったですし、軽微な万引きで、書店で本を万引きしたような話だったようにも記憶にはあります。

記憶が薄れているので、はっきりとはしないですが、金沢刑務所でも毎日はテレビではなかったように思います。土日にテレビがあったと思いますが、平日には2日、映画かテレビドラマの録画を放送していたと思います。

この点は、もっと前になる福井刑務所の時のほうがよく憶えています。福井刑務所では土日月とテレビの視聴があり、水曜日と金曜日に、映画かテレビドラマの録画放送があったと思います。

映画かテレビ録画のの放送は、2級生の雑居がある南寮4階では、前日の火曜日と木曜日に放送がされていました、放送される内容は同じだったので、昨夜何が放送されたのか南寮4階で生活する受刑者に尋ねることも多かったです。

土日月の曜日は、3,4級生の場合視聴するチャンネルが決められていましたが、2級生だとそのチャンネル選択が自由になっていました。憶えているのは3,4級生の場合、日曜日はNHKだったということです。19時のニュース番組から始まり、大河ドラマのあとにもニュースがありました。

松本サリン事件の第一報があったのも、Wikipedia95の発売というニュースも、雑居房にいた時に、その大河ドラマのあとのニュースで見たという記憶があります。雑居房にいたのは平成6年の4月から11月に入った頃までおよそ半年ほどの間だけでした。南寮306の雑居房だと記憶しています。

金沢刑務所ではテレビでニュースを見ることは少なかったと思いますが、ラジオ放送ではけっこうあったと思います。拘置所の方ではラジオ放送のみでしたが、受刑者と同じ放送だったと思われます。「浪曲十八番」などが特に印象に残っています。

金沢市北安江の借家での生活は、平成9年の7月の初め、1日か2日のいずれかだったと思いますが、その日から始まり、私は逮捕される先ほどの平成11年8月12日の朝までその生活が続きました。

少し広い台所と1階と2階にそれぞれ部屋が2つずつありましたが、部屋の間取りは6畳ではなかったかと思います。居間にしている台所の部屋だけが少し狭かったと思いますが、テレビもそこに置いていました。

母親との二人暮らしだったので2階の二部屋は私が使っていましたが、階段を登って手前にある部屋は、ほぼ物置状態で、布団を敷いて寝ていたこともあったと思います。

テレビではミヤネ屋を見ています、「速報中継　LINEトラブルで除団処分　山本府議　会見　何を語る？」という見出しで、番組が始まってすぐの14時から会見の中継をやっています。氏名不詳の被疑事実で名誉毀損で刑事告訴したという話も出ていました。

隣りに座って告訴の説明をしている人がいましたが、その前の説明では弁護士がなんとかという言葉が聞こえたので、ラフな格好にも見えましたが、隣で説明していたのは弁護士の可能性がありそうです。

ミヤネ屋は、スイスの山岳列車事故の話題に移ったようですが、会見が終わった後のスタジオでの評価は眠くなって、余り聞いていませんでした。やはり弁護士を伴っていたようですが、それも告訴を含めて疑問の声のような話に聞こえていました。眠かったのですがある程度は聞いていました。

名誉毀損だと指摘する記事は産経新聞ではなかったかと思いますが、その新聞の方は対象にも問題にもせず、情報提供者にのみを告訴したとのことで、記者からの質問にそのように答えていました。隣にいた人物も、フォローするような説明をしていました。

北安江の家のことですが、被告訴人大網健二の紹介というかたちの借家の物件でした。決めたのは実際に住むようになる半月から一月ぐらい前だったと思います。

泊まりがけであったのかはっきり思い出せないですが、当日は午前中の割と早い時間から被告訴人大網健二の車に同乗して、いくつか物件を見に回っていました。現在他に記憶にあるのは西金沢の物件ぐらいですが、他にも何件かは回っていたと思います。

最後に行って決めたのが、その北安江の物件でしたが、家賃もまずまずで、アルプラザ平和堂というデパートにも近く、金沢駅西口にもその気になれば歩いていけるような距離で、日当たりの良いという条件の揃った物件でした。

初めに気になったことは、その物件を見に被告訴人大網健二に連れられて行った時、横の方から家の裏手に回った時のことです。その隣側は敷地の広い木工所のようになっていましたが、それだけに隣との横のスペースも広かったので、簡単に裏手に行けました。

家を正面に見ると左側の横から入っていったのですが、住んでテレビを置いた部屋として使うようになった部屋の窓が、2センチぐらいだったと思いますが、少し開いていたのです。

ややもすれば気づかないような開き具合だったと思いますし、おかしいと思いながらも被告訴人大網健二には気が付かないようにしていたと思います。

確かに条件のよい物件だと思ったこともあり、気に入ったような感想をしていたと思います。それから車では近いところにある不動産屋に行き、鍵をもらって戻り、家の中に入って被告訴人大網健二と一緒に中を見たという記憶があります。

その家に決めたという話になり、あとは不動産が本業でもある被告訴人大網健二に任せるという運びになりました。その家の前だったと場面が記憶にあるのですが、せっかく金沢に来たのだから他も回って宇出津に帰ろう、などと私が口にした時、被告訴人大網健二が命令をするようにすぐに帰れと言いました。

本気で起こった感じでもなかったですが、説教でたしなめるような感じだったと思います。私が他に回りたいという話をしたのは、たぶん書店かパソコン店のことであったと思います。

午後でも早いまだ早い時間だったと思いますが、夕方の早い時間でないと電車では当日中に宇出津には帰れないということもありました。金沢の方の最終になる電車の時間は憶えていないですが、宇出津に着く最終電車の時間というのは午後10時10分頃でした。

金沢に向かう始発の電車となると6時15分ぐらいではなかったかと思います。各駅停車の鈍行という区間も多かったと記憶にありますので、あるいは乗り換えの待ち時間もあって、曖昧な記憶ですが、始発でも金沢駅の到着は10時頃になっていたように思います。

昭和50年代は9時過ぎに着くような電車もあったような気もしますが、車両の数も本数も減っていてダイヤも変わっていたとは思います。日帰りだったとすれば被告訴人大網健二に金沢駅まで迎えに来てもらったことになりそうですが、そういう記憶も思い出せなくなっています。

他に憶えていることといえば、平成14年の9月の10日頃になるかと思いますが、被告訴人大網健二にあずかってもらっていたホンダトゥデイの軽四を引き取りに行った時は、高速バスで金沢駅西口まで行ったことです。

被告訴人大網健二のところに直接引き取りに行ったのではなく、車検を頼んでいた金沢市示野の中古車の車屋に行きました。駅西までは迎えに来てもらっただと思います。示野までバスで行く方法は思いつかず、金石街道のバス停からだと相当に歩かねばならなくなるはず。タクシーを使うこともないです。

ホンダトゥデイを買ったNMの友人のようなブローカーのような人物が、独立した会社でした。既に書いているところがあるはずですが、被告訴人大網健二と富来町出身のOTと非常に仲が悪くなっていると話していた人物です。

NMとの関係もひと通りのことは聞いていたように思いますが、一つか二つ年上とかいうぐらいしか私の記憶には残っていません。被告訴人大網健二とも遊び仲間だったようですが、私は直接遊んだことはなく、会ったのも車の売買に関する話の時だけでした。

一緒に麻雀をしていたとき、被告訴人大網健二とOTが殴り合いのケンカになったという話も、そのTさんに聞いていましたが、それもその軽四を引き取りに行った時かもしれません。

軽四の車検代は10万円を超え、あるいは12万円だったかもしれません。ずいぶんと高いようにも思ったのですが、金沢刑務所の服役中放置していた期間も長かったので、修理もあったのかと思いながら、納得の行くわかりやすい説明というのもなかったと思います。

その後も車の保険のことで連絡があり、それは羽咋市に住んでいる時まで続いていました。年賀状も平成17年か18年、あるいは20年ぐらいまでは毎年届いていました。

今思い返してみると、余り名前を聞かない保険会社でした。車検証と一緒に書類は入っているかもしれないので、ちょっと確認してきます。

なんとか在中という封筒が一つすぐに見つかりましたが、「ニッセイ同和損害保険株式会社」とか書いてありました。もしやと思った「大同生命」とは関係がなさそうです。

「大同生命」について説明する前に、北安江の物件のことで、被告訴人大網健二と一緒に行った不動産屋をGoogleマップで調べてみたいと思います。同じ場所に会社はないかもしれないですが、わかりやすい場所でした。

石川県金沢市七ツ屋町ニ５−６ - Google マップ : <http://bit.ly/1ru7wPB>

だいたいの場所になりますが、上記住所のあたりです。今回初めて知ったのですが、見た感じ七ツ屋の辺りは浅野川にまたがる陸橋ができているらしく、七ツ屋の交差点の側にあったはずの派出所も地図上では見当たりませんでした。

七ツ屋の交差点を北安江の方から来て、右折すると金沢駅前の方に行き、左折すると途中浅野川が見える土手沿いのような道路を走って、内灘に行きました。その内灘の方に左折をして、50メートルか80メートルぐらい行った右側に、不動産屋の小さなビルがありました。

不動産屋の事務所はその小さいビルの2階にあったような記憶も残っています。不動産の情報誌というか賃貸情報誌では、よく見かけるような会社名だったと思います。例えばになりますが「丸和不動産」というような、よく見かけそうな感じです。

ともあれ、被告訴人大網健二は初めから私がその北安江の物件を選ぶことを予定し、その意図をごまかすために、方方の物件を連れて回ったという感じでした。

他のご説明も予定しているので、面倒ですがGoogleマップでマイプレイスをまた一つ作っておきたいと思います。似たようなものは以前にも作っていると思いますが、修正したりするのも手間がかかるので、新規に作っておきたいと思います。

もともとはテレビのことで始めた北安江での生活のことですが、二階にはパソコンを置いていましたが、テレビは一階の居間に一台しかなく、居間にいても本を読んだりしていて、テレビを見ることは余りなかったと思います。

仕事をしているときは休みは日曜日ぐらいでしたし、平成11年2月の下旬からの日雇い人夫の仕事では、日曜日も仕事になることが多かったです。夜は書店に行くことも多かったです。UNIXやプログラム関係の調べ物が多かったですが、被告訴人KYNのところをやめた頃からC++の勉強を始めました。

日雇い人夫の仕事を始めてからは、朝は5時前に起きていたと思いますが、テレビは時計代わりにつけていたという感じでした。新聞も購読していませんでしたが、世の中のことに無関心であったかといえば、そういうこともなかったとは思います。

世間、社会から耳目を塞ぐような生活をしていたとは思いますが、余計な情報を取り込んでしまうことで、不安や危機感を高めてしまっては、逆に関係者の不安と危機感を煽って、危機的状況を招きかねない、という拝領があって、ニュートラルを保つように日々の生活で心がけていました。

それもこれも、福井刑務所で服役中の被告訴人大網健二と被告訴人大網周一兄弟の父親による2少年の殺人事件のことが影を落としていました。2少年と言っても19歳という報道でした。死体が発見された場所から「美川二少年殺人事件」とも呼ばれていたようです。

本書でも何度か取り上げて説明をしていると思いますが、殺害後、被害者宅の縁の下に潜り込んで放火の未遂事件を起こしたということは、なおさら根深い問題のあることを感じさせました。

放火も未遂ということで、それほど大きな問題にはならなかったようですが、新聞の記事にそのように出ていたと記憶しています。新聞というのは私が平成9年1月18日福井刑務所を満期出所後、図書館で見た北國新聞の縮小版です。それ以外には考えられません。

時刻は21時08分になっています。夕方、宇出津の図書館に行き、出たらちょうど18時の音楽が役場から聴こえてきましたが、そのあと旧能都中学校校舎のあった四明ケ丘に行き、そちらから崎山台地を通って、宇出津新港に行き、海を眺めていた後、どんたく宇出津店で買い物をして帰って来ました。

家に戻ったのは19時10分過ぎぐらいだったと思います。半分になっていたレタスをちぎった他は、出来上がりを買ってきたもので夕食を済ませました。今日もお盆休みということで客の数は多かったですが、今回も知っているような顔を見ることは店員以外になかったです。

帰って来てから気になるツイートを幾つか目にしたので、参考にしていただきたく、記録としてご紹介しておきます。まずは江川紹子さんのツイートですが、ここに至って舞鶴女子高生殺人事件に関するツイートを見るとは夢々思ってはいなかったです。お盆と関係があれば良いのですが。

投稿者：amneris84（Shoko Egawa） 日時：2014/08/14 18:18 ツイート： <https://twitter.com/amneris84/status/499847589294915584> 「誘導の有無を後に検証するために録音録画は必要だった」と　→状況証拠、なぜ崩壊　京都・舞鶴高１殺害捜査検証（京都新聞） - Y!ニュース <http://t.co/j8c08wPyAE>

はじめ→から左の部分を江川紹子さんのコメントかと思ったのですが、リンクの記事を読んでから見直すと、どうも引用部分らしいと思いました。「」で囲ってある部分です。可視化とか録音録画にはとりわけ強硬な発言を去れている江川紹子さんなので、初めはご本人のコメントかと思いました。

既に本書においてもツイート本体をご紹介済みかと思いますが、PC遠隔操作事件に関しても警察や検察が可視化や録画録音さえしていれば、こじれずに済んだ問題のように締めくくっていました。ですにゃん、と締めてあったような記憶もあります。

次は落合洋司弁護士（東京弁護士会）の発言ですが、ツイートではなくブログの記事になっています。記事のリンクと引用したものを廣野秀樹（@hironohideki）でツイートしましたが、ツイートではなくブログの発言にした理由とかも、リツイートしてからスクリプトでデータを取得します。

まずは、タイトルとリンクのみになっている落合洋司弁護士（東京弁護士会）のご自身のブログの紹介のようなツイートです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/13 12:53 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499403418486575104> 自殺について思うこと <http://t.co/UP5foCc42w>

2014-08-12 - 弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 <http://d.hatena.ne.jp/yjochi/20140812#p2>

上記がこれから引用等をご紹介するブログ記事のページタイトルとURLですが、Hatena::Diaryの設定で「日記モード」にしているらしく、このような日付単位のページタイトルしか通常の方法では取得できません。

ページ内にあるTwitterのボタンなどを使えば、それらしい記事のタイトルを自動で取得してツイートできる仕様にはなっているようです。それも含めて引用にした記事の内容のツイートを次にご紹介します。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/14 20:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499873980216791040> （引用→）それが自殺の原因の一つになったのではないかと思われますが、そういう「報道被害」に対して、我々弁護士としても、うまくサポートし対処すべきものには対処して、叩かれっぱなしで自滅してしまう、といった事態を防止できるように、 <http://t.co/3sLbMpQef1>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/14 20:03 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499873832673771521> （引用→）上記の研究者に対する、マスコミのバッシングにはすさまじいものがありましたが、中には、違法性があるもの（名誉毀損、プライバシー侵害など）もあったのではないか、それが自殺の原因の一つになったのではないかと思われますが、 <http://t.co/8CHM0yPZ9x>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/14 20:01 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499873555233128448> （引用→）我々弁護士としても、うまくサポートし対処すべきものには対処して、叩かれっぱなしで自滅してしまう、といった事態を防止できるように、そういう存在として依頼が受けられるように、さらに努力しなかればならないということも感じます。 <http://t.co/CaORL3sxFs>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/14 19:59 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499873021524320256> 自殺について思うこと - 弁護士 落合洋司　（東京弁護士会）　の 「日々是好日」 (id:yjochi / @yjochi) <http://t.co/wEGgFSSpEI>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/14 21:29 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/499895656983830529> （引用→）最近、渦中にある研究者が自殺したことでいろいろと報道されていますが、ブログやツイッターでいろいろとコメントすることが、悪影響を与えかねず控えていて、ここでちょっとコメントしておきます。 <http://t.co/MYkkengQDx>

このSTAP細胞問題や笹井氏の自殺に関しては、本書においてもこれまでに言及していると思います。三木秀夫弁護士に対する不信感がベースにある社会問題でもありますが、すさまじいマスコミのバッシングという点でも、よくよく事実を見極めた上で、よくよく考える必要があろうかと思います。

次はかねて注目している京都の若手中堅にも見える谷山智充弁護士のツイートです。こちらはブロックもされていないのでリツイートもできるし、しているとも思うのですが、直接、ユーザ指定したAPIで取得したデータを使いたいと思います。

そのまえに落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートにも他に気になるものが、２，３あったので、そちらを先にご紹介しておきたいと思います。ブロックされているので当然リツイートは出来ないです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/13 20:15 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499514692528652288> またMayJかよ。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/14 00:41 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499581498308038657> 自分の人権には敏感。他人には鈍感。"@mbs\_news: ＬＩＮＥトラブル報道巡り　大阪府議ＢＰＯに申し立て [MBSニュース] <http://t.co/7foe6jyBEQ>"

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/14 09:12 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499710148735037441> 全般的な忍耐力の低下もあるのでは。→移籍、転職　漂う弁護士　若手酷使「ブラック事務所」増加？（神戸新聞NEXT） - Y!ニュース <http://t.co/Y6nL27xsoB>

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/14 09:17 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499711404153118720> 自分が若い頃は、24時間戦えますかと、CMで歌にもなっていた。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/14 09:41 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/499717477572415488> 昔は、若手弁護士の絶対数が少なく、あまりに滅茶苦茶な待遇だと逃げられ補充出来ないということで、ぎりぎり抑制が効いていたのが、今は、人は使い捨て、補充はいくらでも可能、ということで、抑制がはずれてるのかも。

同業者を批判したり、同業者の不祥事をネタとして取り上げる弁護士というのも、ずっと前から少ないと思っていたのですが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関しては、その辺りお構いなしという感じでしたが、近頃は見かけなくなっていたような気もしていました。批判という感じもしませんが。

次はさきほどの谷山智充弁護士です。今、誤変換に気がついたのですが漢字が一つ間違っていました。谷山智充弁護士あらため谷山智光弁護士です。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 20:09 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499875451234299906> 女子中学生ももう少し泳がせて、下心が見せたときに公表してやればよかったのに。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 20:08 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499875121914343424> 「威圧的なメッセージを送ったことについて…謝罪した。」女子中学生とLINEをしていたという点が問題。その意味でテリー伊藤の指摘は当を得ている。 RT @47news 山本府議、維新の処分「疑問」　大阪府庁で会見、辞職を否定 <http://t.co/53jX5rtwDv>

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 16:46 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499824418911035392> （記録を見ておらず，報道だけの情報になるが）舞鶴事件は，検察官請求証拠だけを見たら実に苦しい，弁護士によっては諦めてしまいかねない事件だったと思う。それに負けず証拠開示によりつき崩した弁護人は見事というほかない。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 16:43 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499823633259196416> 「昔は心証を得るため面割りの前に１枚だけ見せることもあった」昔っていつのことだろう？今でもこういうことやってるんじゃないかという疑念は常にある。「状況証拠、なぜ崩壊　京都・舞鶴高１殺害捜査検証」 <http://t.co/lgKQ9hyhZ9>

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 15:49 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499810089323089922> 「石の上にも三年」だろと思っていたが，そういう状況じゃないのかな。「移籍、転職　漂う弁護士　若手酷使「ブラック事務所」増加？」 <http://t.co/fqfBxYemmL>

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 15:45 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499808953732046848> その前に今やってる分野を極めないといけないけどね。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 15:44 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499808764547981314> 裁判官は転勤によって交通部に行ったり，労働部に行ったり，いろんな事件を（しかも集中的に）経験することができる。他方，弁護士にはそれがない。たまに，今とは全然違う分野を（1件や2件ではなく）やってみたいと思うときがある。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/14 12:22 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499757925821198336> 今日はお休みの弁護士が多いのかな。MLのメールが少ない。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/13 16:12 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499453378515042305> 検察官も被害者からのプレッシャーが強いのだろうけど，刑事訴訟法の建前を説明して理解してもらう努力もすべき。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/13 16:07 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499452188570034176> 弁護人としての職務を考えても，このような形で請求され関連性も明らかでないのに同意することは弁護過誤の危険すらある。裁判官だって，このような証拠で「おそらくそうなんだろう」ということで事実認定できないだろう？法律家としてあまりにも大雑把すぎる。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/13 16:03 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499451190824804352> 被害者保護も分かるけど，供述調書には名前しか書かない，あげくの果てには戸籍謄本は名前以外全てマスキングして抄本請求はやりすぎだろう。厳密に考えれば関連性が不明。刑訴法も２９９条の３を規定していることから分かるように，このようなやり方は許容していない。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/13 13:33 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499413413605302272> 国選報酬算定に関して法テラスから電話。判決宣告日に「判決宣告のみ」に丸をしたら，裁判所からは弁論再開があった旨の報告があったと。それなら「実質審理あり」で算定してもらって全然いいんだけど，正直に裁判所が誤っていると思うと申し出たよ。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/12 18:31 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/499126111238774785> 裁判員裁判の実演型研修を申し込んだ。実は初めて。研修受講を裁判員裁判受任の要件にすることは消極派で，その考えには変わりはないが，それとは関係なく今年は受けてみる。弁護活動について検証してもらう機会って少ないからね。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2014/08/11 13:23 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/498686095085666305> 経費の中で人件費は大きな比重を占めるから事務局なしで事務所を開くというのも１つの方法ではある。でも，人件費を払ってでも事務局に細かな事務をやってもらって，その分を弁護士でないとできないことをする時間に回す方が効率的だと思う。

谷山智光弁護士に関しては、忘れられない生涯忘れることのないであろうツイートがあります。今から探しますが、そちらも新しいスクリプトを使った体裁でご紹介をしておきたいと思います。

Twitter / 検索 - "お茶屋" from:taniyama <https://twitter.com/search?q=%22%E3%81%8A%E8%8C%B6%E5%B1%8B%22%20from%3Ataniyama&src=typd>

上記の検索で３つのヒットがありましたが、私が思っていたものは含まれていないかもしれません。とりあえず3件を次にご紹介します。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2013/05/09 22:20 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/332485270630973440> せっかく無罪判決をとったら修習生をお茶屋さんへ連れていってあげようと思ったのに叶わなかった。恨むなら裁判官を恨んでね。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2013/02/28 22:24 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/307119008208019457> 修習生がお茶屋に行けるかは裁判官次第。行けなかったら裁判官のせいと思って下さい。

投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2013/01/12 23:48 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/290107952159928320> 先斗町のお茶屋さんに行ってきた。京都の弁護士たる者、京都の文化を守らないといけない。とりあえず毎日10 分こんぴらふねふねの特訓だ。

ローカルのパソコン環境ですが、次のコマンドで見つけ出すことが出来ました。やはり「お茶屋」になっているようですが、先ほどのブラウザの検索結果には含まれていなかったようです。

リツイート）→ 　投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/06 22:39 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/309297071012343808> RT @taniyama: 無罪判決をとったら修習生をお茶屋に連れていこう。 元のツイート）→　投稿者：taniyama（弁護士 谷山智光） 日時：2013/02/28 22:16 ツイート： <https://twitter.com/taniyama/status/307117053783986178> 無罪判決をとったら修習生をお茶屋に連れていこう。

twitter.comの検索も、その都度、不完全な場合があるのかもしれません。削除されたツイートかとも思ったのですが、元のツイートの情報が取得されているので、それはなさそうです。スクリーンショットも一つ見つかりました。次のツイートです。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2013/03/06 22:44 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/309298466595680258> Twitter / taniyama: 無罪判決をとったら修習生をお茶屋に連れていこう。 … <http://t.co/CNCSAV1moa>

告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）に投稿されたものを確認すると勘違いでした。スクリーンショットではなく、ブログの記事へのリンクでした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 22:33 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499911648904101889> 2014-08-14-223309無罪判決をとったら修習生をお茶屋に連れていこう。.jpg <http://t.co/PNsgLlH1ed>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 22:11 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499906267129733121> 2014-08-14-221144弁護士　谷山智光　（taniyama）さんはTwitterを使っています.jpg <http://t.co/P8PLygSWbU>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/14 20:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499873231646380033> 2014-08-14-200024そういう「報道被害」に対して、我々弁護士としても、うまくサポートし対処すべきものには対処して、叩かれっぱなしで自滅してしま.jpg <http://t.co/eaDEkYzdFo>

せっかくの機会なのでスクリーンショットを撮っておきました、その前に撮っていたスクリーンショットも２つ、合わせてご紹介しておきます。

「無罪判決をとったら修習生をお茶屋に連れていこう。」というツイートですが、リツイートが2件になっていて、アカウントのアイコンが一つだけで、それも私のものになっていました。Twilogでもヒットは１つだったので、2回リツイートが出来たわけでもなさそうですが、わからないです。

同じような作業の繰り返しでちょっと疲れてきましたが、次は坂本正幸弁護士のツイートです。

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/08/14 16:46 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/499824270151655424> 後でfacebookに晒そう（笑）

投稿者：sakamotomasayuk（坂本正幸） 日時：2014/08/14 16:44 ツイート： <https://twitter.com/sakamotomasayuk/status/499823779829137409> ㈱マトリックスという裁判の訴訟代行を委託されたから訴訟だ！というメール（笑） 直属弁護士がいるそうだ（笑） 俺弁護士なんだよ、と返信してやろうかと一瞬思う。 拒否して無視へ(へ´∀`)へ ｶｻｶｻ

弁護士として満ち溢れた自信のようなものがうかがえますが、またひとつ謎も深まるような弁護士界です。

次もさきほど見つけたところの弁護士のツイートですが、リツイートしているのは、私がリツイートしているだけでブロックした深澤諭史弁護士です。元のツイートも弁護士です。プロフィールにあるブログの方では実名と写真も掲載されていました。3週間ほど前のことかと思います。

リツイート）→ 　投稿者：fukazawas（深澤諭史） 日時：2014/08/13 21:29 ツイート： <https://twitter.com/fukazawas/status/499533218903638017> RT @lawkus: 先の修学旅行の話と、小5の頃に俺が担任に楯突いたら放課後クラス全員立たされ「俺が謝罪するまで全員帰宅不可。謝罪したら学級委員が報告に来るように」と言い置いて担任が職員室に引っ込んだので皆を立たせたまま俺だけ帰った話は、話すと引かれる2大エピソード。 元のツイート）→　投稿者：lawkus（ystk） 日時：2014/08/13 03:20 ツイート： <https://twitter.com/lawkus/status/499259155081732098> 先の修学旅行の話と、小5の頃に俺が担任に楯突いたら放課後クラス全員立たされ「俺が謝罪するまで全員帰宅不可。謝罪したら学級委員が報告に来るように」と言い置いて担任が職員室に引っ込んだので皆を立たせたまま俺だけ帰った話は、話すと引かれる2大エピソード。

時刻は0時12分になっています。日付が変わっていますので、項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-15 金 00:12> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月15日

<2014-08-15 金 00:14> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

投稿者：okumuraosaka（TORU OKUMURA） 日時：2014/08/14 22:46 ツイート： <https://twitter.com/okumuraosaka/status/499915072844472321> 　元検事の落合洋司弁護士がこう言う。 「司法手続きではなく、個人が実力で権利回復を果たす『自救行為』は厳格な範囲で適用されるもの。今回のようなケースは、確実に犯人と決まったワケでもなく、強要罪などに当たる可能性のほか <http://t.co/rUaApbjqPd>

上記は奥村徹弁護士のツイートですが、内容としては落合洋司弁護士（東京弁護士会）がコメントをしたネットニュースの記事のようです。ネットニュースの一つになるのだろうと思いますが、次の記事です。

日刊ゲンダイ|まんだらけ、万引犯の「顔写真」公開断念 弁護士の見解は？ <http://www.nikkan-gendai.com/articles/view/geino/152565>

ツイートでもブログの方でも落合洋司弁護士（東京弁護士会）のこの問題に関する発言というのは、見かけていなかったように思われますが、取材を受けて答えたものであろうとは思われます。

同じ元検事の若狭勝弁護士はテレビで繰り返し、犯罪にはならないという見解をコメントしていましたが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）としては真逆の見方をされているようです。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）のいう自救行為における厳格な範囲、というのは具体的にどんなものかと考えてしますが、もう少し具体的に示してもらいたいものです。次に上記記事の落合洋司弁護士（東京弁護士会）のコメント部分を引用しておきたいと思います。

上記記事の引用→）　「司法手続きではなく、個人が実力で権利回復を果たす『自救行為』は厳格な範囲で適用されるもの。今回のようなケースは、確実に犯人と決まったワケでもなく、強要罪などに当たる可能性のほか、

上記記事の引用→）　名誉毀損や肖像権侵害の問題もあります。被害救済のために＜やむを得ない＞＜盗まれ損＞との意見もありますが、

上記記事の引用→）　やはり警察などに動いてもらうべきでしょう。公開された人物が思いがけない行動を取ることも予想され、刑事、民事両面で余計なトラブルを抱えることにもつながりかねません」

テレビの園田寿という法学者のような人は、脅迫未遂と言っていたように思いますが、落合洋司弁護士（東京弁護士会）は強要罪と言っているようです。強要罪は人に義務のないことをさせたり、権利を妨害することで成立する犯罪ではなかったかと思います。

盗んだものを返せ、さもなくば顔写真を公開するというのは、不利な条件を突きつけることで脅迫罪の害悪の告知に当たるのかもしれないですが、証拠も揃って特定できているので盗品を返せという要求が、義務のないことの強要とは余計に理解しがたいところです。

自力救済が横行すれば、法秩序は乱れるかもしれないですが、それでもテレビのアンケートではいずれも7割程度が顔写真の公開に賛成し、万引き被害の経営者が倒産に追い込まれるなどの被害も出ていると報道されていたところです。

これに似た話は宇出津でも聞いたことがあります。私の父方の親戚ですが、宇出津の町の中心部でオモチャ屋をしていました。いつもおばさんが店番をしていましたが、ちょくちょく商品のプラモデルをくれたことがありました。

2009年に職業訓練に通っていた時のことですが、世代の離れた若者に、以前そのオモチャ屋がものすごい万引き被害にあって、それで店を閉めることになったというような話を聞きました。

法律の理屈の上では万引き犯に名誉毀損の保護法益が認められるのかもしれませんが、常識のある人間であれば相当の違和感を覚えるのではないかと思います。

また、この事件に関しては警察の方から捜査の支障になるということで、公開中止の要請があったとテレビでも報道されています。なにが想定された上での支障なのか、これも具体的なところが気になるところですが、園田寿氏が言うような理由での要請でないことはうかがわれるところではないかと思います。

園田寿という名前には見覚えがあります。今から確認する必要がありますが、もしかするとですが、最高裁判事としてその名前を見たことが過去にあったかもしれません。自信はあまりないですが、ちょっと自分の記憶に期待して調べてみます。

園田寿 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%92%E7%94%B0%E5%AF%BF>

上記サイトで確認したところ、最高裁判事の経歴というのは全くなさそうです。やはり法学者ということにはなっています。

園部逸夫 - Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%92%E9%83%A8%E9%80%B8%E5%A4%AB>

私はどうも上記の園部という人物と勘違いしていた可能性がありそうです。

上記ページの引用→）　園部は1989年（平成元年）に判事に復し、1999年（平成11年）に定年退官するまで最高裁判所判事を務めた。

私の裁判の最高裁の決定書にもその名前があったように思っていたのですが、最高裁判事の任期がこれ程長いとは意外な発見でした。長くても3,4年で転勤を繰り返すという検事や最高裁以外の判事とはまるで違うようです。

園田寿法学者に関しては、テレビで見た感じ、年齢的に私の裁判に関与したとは思えないではいました。60から若く見えて70歳ぐらいという感じに見えましたが、テレビに映っている時間がかなり短かったので、しっかりとした観察も出来なかったです。

勘違いは別にして園田寿という法学者の名前にはやはり見覚えがあります。文献の中で名前を見たような記憶ですが、かなり前のことのように思えます。

そういえば落合洋司弁護士（東京弁護士会）は次のようなツイートもしていました。

落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイート→）　自分の人権には敏感。他人には鈍感。"@mbs\_news: ＬＩＮＥトラブル報道巡り　大阪府議ＢＰＯに申し立て [MBSニュース] <http://bit.ly/1prOr27> "

ミヤネ屋で会見を見ていたことは本書でも取り上げて書いていますが、21時からNHKのニュース、22時頃から報道ステーション、23時頃から40分頃までニュースZEROとテレビを見ていて、その会見や問題を取り上げたニュースは全く見なかったように思います。

今年は特に多くて似たような会見を見る機会が多いですが、その中ではまだ本人の言い分にも、正当性があるのかもしれないと感じる部分があったような気がします。眠かったのでよく聞いていないところもあったのですが、少なくとも言いたい気持ちも理解できるようなところがありはしました。

刑事事件になるような問題でもないので他の会見の問題と同列に比較することは出来ませんが、「自分の人権には敏感。他人には鈍感。」というよりは、一時は幟を立てた自転車で逃げたものの、すぐに対応を切り替えて会見を開き、記者の質問にも逸脱なく答えているところを見ると随分ましとも思えました。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/15 01:27 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499955430076846080> 2014-08-15-012707山本景　府議　会見　-　Google　検索　24時間以内.jpg <http://t.co/W09Og1rhFq>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/15 01:26 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/499955115072032768> 2014-08-15-012551山本景　府議　会見　-　Google　検索.jpg <http://t.co/xIoijYG2Bv>

上記2つのスクリーンショットは、次の検索結果のものです。

山本景　府議　会見 - Google 検索 <http://bit.ly/1AgXuGR>

ミヤネ屋で会見を見ていたところ、キモイという人格を否定するような発言まで甘んじて甘受することは出来ないと、隣の同席者と同じように何度か発言を繰り返していたと思います。25万円の万引き犯の名誉と比較の上でも考えさせられるところがあります。

そもそも社会的評価の前提ともなりそうな産経新聞の報道に虚偽が含まれていて、名誉毀損での刑事告訴に及んだという発言もしていましたが、それもほとんど報じられてはいないようです。産経を除外して情報提供者のみを訴えたという辺りも、報道を考える上でも意味のありそうなことだとは思いますが。

会見では社会問題になっているLINEでのいじめの実態調査のつもりで、サインを求められたので名刺にサインを書いて渡していたという話もありましたが、マスコミが先走った誤報の要素も、どれぐらいになるのかはわからないですが含まれているのではないかと注目したいところです。

次の記事はあまり目立たない感じでもありますが、実際に見た会見の内容をかなり忠実に再現し、うまくまとめてあるように思いました。隣に座っていた人の言及がないのが、少し残念ですが。

山本府議「キモい」発言は全人格の否定　中学生とのＬＩＮＥはいじめ把握のため （デイリースポーツ） - Yahoo!ニュース <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140814-00000033-dal-ent>

目立たない感じの記事というのは、ごくたまにツイッターのリンクでの紹介を開いて見かけることのあるようなサイトですが、検索結果で見ることはほとんどなかったような気がしたからです。

もう疲れたので内容はほとんど読んでいませんが、次のブログの記事にざっと目を通したところ、西田弁護士という名前とテレビで見たような顔写真を確認することが出来ました。

「すべての人格を否定するような発言を公共の電波で流していいのか」山本府議が会見 (1/3) <http://blogos.com/article/92380/>

そういえばネットでは「たこ焼き」で「事務所に誘った」というような情報も全く見かけていないですが、それが告訴の具体的理由という会見での説明になったいたことをさきほど思い出しました。マスコミの見方と報道姿勢そのものを誤らせたという趣旨かもしれません。

次の記事は一通り読みました。印象を受けていたより厳しく、具体性を交えた評価という印象を受けました。橋下市長を目の敵にする弁護士は光市母子殺害事件の弁護団懲戒請求扇動問題に関して未だに多いように思いますが、この件では批判のようなコメントは見てもいなかったです。

「選挙で選ばれたという認識が甘い」橋下市長、山本府議を批判 <http://blogos.com/article/92398/>

時刻は11時09分になっています。10時30分ころからテレビでワイド！スクランブルという情報番組を見ていますが、始まりから大阪府魏のLINE問題を取り上げています。基本的に変人扱いのような印象を受けるスタジオの論調と空気かと思います。

次は落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートです。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/15 08:56 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/500068497959833600> 政治家に対する批判で、キモい、では、名誉毀損にも侮辱にもならんだろう。→山本氏、テリー伊藤氏や橋下氏にも反論「いかなる名誉毀損行為も許されるのか」（スポーツ報知） - Y!ニュース <http://t.co/yOWjVJHPxV>

以前、一般のツイッターユーザーに対して、ツイッター上で侮辱罪で訴えるとか発言していたことを思い出しました。

Twitter / 検索 - "侮辱罪" from:yjochi <https://twitter.com/search?q=%22%E4%BE%AE%E8%BE%B1%E7%BD%AA%22%20from%3Ayjochi&src=typd>

モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の方も今朝はヒートアップしたようなツイートを見かけています。私の立場にそのまま当てはめてもらいたいことも書いてありますが、今に始まったことではありません。言葉の強弱や表現の違いはありますが、定期的に同じことを繰り返している印象です。、

時刻は8月16日11時54分になっています。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-16 土 11:54> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月16日

<2014-08-16 土 11:58> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

確認したところ昨日は11時36分から中断をしていたようです。次のツイートになります。

投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/15 11:36 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/500108804587933697> モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の方も今朝はヒートアップしたようなツイートを見かけています。私の立場にそのまま当てはめてもらいたいことも書いてありますが、今に始まったことではありません。言葉の強弱や表現の違いはありますが、定期的に同じことを繰り返している印象です。、

初めに２つほど落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートをご紹介してからモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の方に移りたいと思います。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/15 21:53 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/500263952480083968> 朝日新聞のダメなところは、日本を愛する心が希薄なところだろう。自国が愛せない者は他国も愛せない。歴史を批判的に学んだ先にあるものは、それを自国、さらには世界の平和と繁栄に結びつけることであるべき。批判自体が目的化し、批判しておもしろがっているようでは、先はない。

投稿者：yjochi（落合洋司　Yoji Ochiai） 日時：2014/08/15 22:08 ツイート： <https://twitter.com/yjochi/status/500267900419063808> 日本が歩んだ歴史を批判的に検証する、それを支えるのが、日本を愛し、そこに住む人々を慈しむ、情愛でなければ。朝日新聞に欠けているのはそこだろう。

報道と議論というテーマで、共通するところもあるかと思いますので、先に上記2件のツイートをご紹介しました。昨日のことですが今朝まで、スクリプトを最小の手間で扱いやすいように改良をしていました。GUIのボタン操作で処理し結果を得れるようにしました。

本来は昨日やる予定だったモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートのまとめなのですが、同じ流れで多分取り上げるツイートの数も増えているかと思います。それでは作業に取り掛かって、取り込んだ結果を次に列挙します。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/14 23:54 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499932043887669249> 論理的な反論ができなくなった男の末路。RT @herobridge: 戦争の悲惨さを知るといい年した大人がTwitterで帝国海軍のコスプレをしたアニメ顏の美少女を恥も外聞もなく愛でるようになるのか。倒錯し過ぎていて理解できん。素直に「ロリコンでメカ好きです」と言えばいいのでは…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 00:33 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499941811888984065> ともかく、批判対象がどんなものか知りもしないで批判するのは、その一点において論理的でも科学的でもない、ということは言えるだろうな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 08:58 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500068931781287936> 何度指摘されても帝国海軍と艦これの区別がつかない髙橋氏は、どんなおつむをしているのだろう？ <http://t.co/YtdRHEqxM1>

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 09:00 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500069585799106560> 何と何を比較しているのかが分からないから、議論の土俵にも上がれていない。昨日と同じ議論を教室でしたら、ちょっと頭のいい生徒からは決定的にバカにされると思うけどな。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 09:08 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500071506588995586> 昨日、私が髙橋氏 @herobridge に加えた最も重大かつ根本的な批判は、認識せずに知ったかぶりで批判するな、ということなんだけど、その批判に対して彼は全く答えることができない。美味しんぼのときは、全巻読んでから批判しろと言っていた彼が。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 09:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500083337889722369> 私が髙橋氏 @herobridge にこだわるのは、彼が批判のルールとか考え方を理解していないから。そしてそのような人間が教師をしているから。彼が教師であることにより、彼を見習う人が増えることはとても問題。これは、話に一貫性がないとかダブスタであるとかの彼個人の問題ではない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:05 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500085762390388738> マジで言ってるとしたら、小倉弁護士も終わってるね。RT @Hideo\_Ogura: 反原発だからでは？RT @motoken\_tw: 私が髙橋氏 @herobridge にこだわるのは、彼が批判のルールとか考え方を理解していないから。そしてそのような人間が教師をしているから。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:06 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500085995325255681> 小倉弁護士も高橋教諭並みのレッテル貼り人間になってしまった。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:10 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500086975194333184> 認識せずして批判するな、という基本的なルールを知らないことを自認してどうするつもりだろう？RT @herobridge: てゆうか自分ルールに従わないからと言って粘着されるのは実に迷惑。RT お RT @motoken\_tw: 彼が批判のルールとか考え方を理解していないから。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500088081853083648> 批判対象を理解してから批判するのが批判のルールであり、それは議論のルールでもある。そしてそれは民主主義の基礎の一つ。君の非民主性が表れているんだよ。RT @herobridge: てゆうか自分ルールに従わないからと言って粘着されるのは実に迷惑。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500088216515399681> 毎度のダブスタ。RT @kanenooto7248: @motoken\_tw @herobridge 他人を批判しいおいて、自分の批判への批判は粘着。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:19 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500089349220741120> 初歩的な問題として、ツイッターで相手をブロックしておいて批判するというのもルール違反だと思うな。＞ @herobridge

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:23 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500090429904154624> あれだけ私を批判というか、攻撃しておいて、反論できなくなったらそれですか？いつものことですが。RT @herobridge: とにかく、気持ち悪いので関わりたくない。それだけ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:39 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500094461892775937> 主張すれば当然、反論を受ける事くらい覚悟すべきですね。RT @herobridge: 主張したいことがあるなら、自分で発信すればいい。他人の主張に反論する事で自分を主張する必要はない。また、反論すれば当然、さらに反論を受ける事くらい覚悟すべきなのに、相手の反論には誹謗だのなんだ…

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:49 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500096990186049536> ブロックは自分の目を塞ぐだけで、他人の批判を封じるものではないって、何度も教わってるでしょ。RT @herobridge: 初歩的な問題としてブロックされても延々と粘着するお前が言うなみたいな（笑）RT @motoken\_tw: 初歩的な問題として、ツイッターで相手をブロック

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 10:50 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500097251403116544> あ、また誰も言ってないことを言ってる。捏造癖が染み付いてきたかな。誰かの真似をするからだよ。RT @herobridge: 「俺はブロックされても粘着する。お前はブロックしたんだから反論するな」って、どんな自分ルールよ。。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 11:24 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500105773486465024> 現実を自分に都合のいいようにねじ曲げれば、どんな主張も正当化することができる。ただし、自分の脳内でだけなんだけど。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 11:30 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500107321050419200> 批判とレッテル貼りは違うよ。根拠や理由なしに「自分は批判、相手はレッテル貼り」というのもレッテル貼りの一種。RT @herobridge: …批判するのは自由だが、それは自分も批判されるのを覚悟しろということだ。自分は批判、相手はレッテル貼りじゃ、話にならんのよ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 11:32 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500107825045979138> 「論点ずらし」を論点ずらしと見破ることができることもスキルの一つ。論点ずらしでないのに「論点ずらしだ。」と言うのも論点ずらしだけど。RT @herobridge: 「論点ずらし」も粘着はよく持ち出しますね。要するに議論のスキルがないだけ。RT @ladatata:

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 11:38 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500109147397185536> だから現実とゲームを区別しろ、と誰にでも通用する文脈で批判されてるけど、反論まだ？RT @herobridge: 結局、自分の都合から一歩も外へ出ずに批判しているだけなんだよね。それは批判とは言わない。文句と言う。批判するなら、もう少し一般化して、誰にでも通用する文脈でやらんと。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 11:42 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500110216382672896> 批判に対して有効な反論をしているからじゃないのかな？誰のことか知らんけどRT @herobridge: 「お前は批判を受け入れない」と文句を言ってくるアカウントのTLを見に行っても、個人攻撃Tweetばかりで、自分が批判を受け入れているTweetが見当たらないのは、実に不思議だ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 14:43 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500155871783956480> 小倉先生の私への絡みはどういう立派な動機に基づくものなのだろう？RT @Hideo\_Ogura: 矢部先生は、矢部先生の高橋先生への絡みが何か立派な動機に基づくものだと思ってもらえるのだと思っていたのかなあ。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 19:36 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500229472629436416> 知ったかぶりをする人というのは、知ったかぶりをしているという自覚を持ち得ない人なのだろうか？そうかも知れない。自覚があればしなくなるはずだもんね。かなり恥ずかしいことだから。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 19:37 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500229853904658433> ちなみに、司法試験（に限らないが）の答案の最大のタブーは、曖昧な知識やきちんと理解してないことは絶対に書かないということ。大事なので何度でも書きます。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 19:47 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500232332323069952> 匿名アカウントを相手にする限り、自分のほうが知っている、という自己催眠をかけることが可能かも知れないが、明らかに専門家であることがわかる人を相手にする場合でも俺のほうが知っていると言えるというのは、やはりどこか常軌を逸している部分があると見る他ない。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/15 20:22 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500241166198398976> 知らないことについてはツイートしてはいけない、とまで言うつもりはないのだが、それは違うよ、と指摘されたら、自分の発言を振り返るくらいのことはするべきだろうな、と思う。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/16 10:14 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500450506645721088> これは決定的に間違っている。議論というのは、自分の主張が正しいと思っている者同士が異なる主張を述べ合うことによって生じる。問題はその後だ。 RT @herobridge: いやー、自分は正しいと無意識に思っている人って、議論が成立しないな。。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/16 10:55 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/500460775560183808> ふむふむ、なるほど。RT @dominionjp: うわーこれは無いわ。＞山本景大阪府議の会見での説明に女子中学生「事実と違う」 #ldnews <http://t.co/U1piczjf5E>

時刻は14時03分です。テレビで外国人の男女5人が瀬戸内海の広島県などを旅する番組を見ていました。

郷原信郎弁護士の方も進展があったようです。次のツイートでブログの記事を知りましたが、美濃加茂市長が保釈されていなかったとは意外でした。

投稿者：nobuogohara（郷原信郎） 日時：2014/08/16 10:17 ツイート： <https://twitter.com/nobuogohara/status/500451187775119360> 【藤井市長を人質に籠城する検察】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒ <http://t.co/zJNTbrWGuA>

リンクにあるブログの記事は次になります。知らない人が見出しのタイトルを見れば、驚いて引きつけられるのかもしれないと思いましたが、慣れてくるとまたかという感じです。今回は記事の内容が短かったので、ひと通り読みました。

藤井市長を人質に籠城する検察 | 郷原信郎が斬る <http://bit.ly/1pkNPeo>

上記ブログの引用→）　市長が保釈されたら、当然、記者会見を行うことになる。愛知県警の取調官の「こんなハナタレ小僧を選んだ美濃加茂市民の気がしれない」「美濃加茂を焼け野原にしてやる」などの美濃加茂市民を侮辱する暴言が、市長自身の口から明らかにされるかもしれない。

上記ブログの引用→）　そして、私が初回の接見で市長の潔白を確信したように、会見での市長の姿勢、表情、態度から、多くの人が潔白の印象を強めることになる。検察が最も恐れていることは、市長が保釈によって人前に出ることになり、世論が動かされることだろう。

上記ブログの引用→）　検察がやっていることは、「藤井市長を人質に籠城している」に等しい。人質解放は、そのまま落城につながると考えているからだろう。

上記ブログの引用→）　かくなる上は、検察官の主張立証が崩壊していることを、公判前整理手続の中で具体的に明らかにしていくしかない。

上記ブログの引用→）　次回期日（８月１９日）に向けて、主任弁護人の私を中心とする弁護団は、検察官立証を壊滅させ、藤井市長を奪還すべく、総攻撃を敢行する。

時刻は16時09分です。16時ころまでは、なぜそんなところに日本人、というような番組を見ていました。14時からの2時間でしたが、舞台はバヌアツとミクロネシア。毎回、すごい生き様と感心する人が紹介されている番組です。

次は、これは人としてどうかと思われる問題。どちらも弁護士がらみです。次のリツイートで知りました。

リツイート）→ 　投稿者：yukimasashibata（弁護士 柴田幸正） 日時：2014/08/13 23:54 ツイート： <https://twitter.com/yukimasashibata/status/499569578570043393> RT @okaguchik: フェイスブック「匿名」投稿の発信者情報を開示せよ――東京地裁が仮処分命令 <http://t.co/u5qPUPdUr8> 元のツイート）→　投稿者：okaguchik（岡口基一） 日時：2014/08/12 19:21 ツイート： <https://twitter.com/okaguchik/status/499138713205481472> フェイスブック「匿名」投稿の発信者情報を開示せよ――東京地裁が仮処分命令 <http://t.co/u5qPUPdUr8>

リツイート）→ 　投稿者：yukimasashibata（弁護士 柴田幸正） 日時：2014/08/13 23:53 ツイート： <https://twitter.com/yukimasashibata/status/499569332720922626> RT @okaguchik: 裁判官が書類送検されています　弁護士を強迫した容疑などで <http://t.co/J4XpN604S6> 元のツイート）→　投稿者：okaguchik（岡口基一） 日時：2014/08/13 17:01 ツイート： <https://twitter.com/okaguchik/status/499465811996585985> 裁判官が書類送検されています　弁護士を強迫した容疑などで <http://t.co/J4XpN604S6>

リンクで紹介されている元の記事は次のものです。

フェイスブック「匿名」投稿の発信者情報を開示せよ――東京地裁が仮処分命令|弁護士ドットコムトピックス <http://www.bengo4.com/topics/1895/>

岐阜地裁支部長を書類送検　後見人の弁護士脅迫容疑 - MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140813/crm14081313250010-n1.htm>

上記記事の引用→）　清水弁護士によると、問題となったのは、首都圏のある店舗のフェイスブックページに6月上旬、書き込まれた文で、「キチガイ」など、店舗で働く人に対する「誹謗中傷」といえる表現が含まれていた。

上記記事の引用→）　この書き込みをしたアカウントの名前は、本名とは考えられない不審なものだった。そこで、店舗の経営者から清水弁護士に対して、「書き込んだ人を特定して、慰謝料を請求したい」と、依頼があったのだという

上記記事の引用→）　清水弁護士は「SNSに匿名アカウントをつくって、中傷的な書き込みをする人はあとをたちません。しかし、そのようなアカウントの『匿名性』は完全ではなく、リスクは非常に高いのだということを認識したほうが良いでしょう」と警告していた。

上記記事の引用→）　脅迫を受けたとされるのは、同県弁護士会所属の美和勇夫弁護士（７２）。成年後見人を務めていた同県多治見市の女性の資産管理をめぐり、近田判事から現金を脅し取られそうになったとして、昨年６月に告訴していた。

上記記事の引用→）　告訴状によると、平成２１年３月、女性が周囲に無断で知人に現金３００万円を貸していたことが分かった。美和弁護士はそのうち約２００万円を回収後、後見人を辞任し東濃成年後見センターに引き継いだ。

上記記事の引用→）　家裁支部長を兼務していた近田判事は２４年１１月、後見人辞任により指導監督する権限がなくなったのに、美和弁護士に「センターに未回収分の１００万円を支払え」「払わなければ懲戒の申し立てをする」などと脅したとされる。

どこかに共通点を感じる割り切れなさのある法律問題なので、読んだのもほぼ同時だったのですが、合わせてご紹介しておきたいと思います。「そこも変だよ弁護士さん」とでも言う感じでしょうか、個人的な感想ですが。珍しい事例かとも思いますので参考にもなるのではと思います。

次は先程の記事のサイドメニューにあったリンクの記事です。

＜佐世保女子高生殺害＞元裁判官らが要望「安易な逆送ではなく、家裁で徹底調査を」|弁護士ドットコムトピックス <http://www.bengo4.com/topics/1922/>

まだ、最初の部分を少し読んだだけだったのですが、これも「弁護士ドットコム」の記事だったようです。弁護士の広告や宣伝で成り立っているような印象もあるのですが、詳しいことはわからず調べてもいない、ちょくちょく見かけるサイトです。

上記記事の引用→）　それぞれの立場で少年たちにまなざしを向ける 152名です。こうしたメンバーで主にメーリングリスト機能を使い、過去 13年にわたり少年法の運用や少年司法の実務を研究し討論してまいりました。

上記記事の引用→）　また被害者遺族にとっても、事件に至る事実と当該少年の心が解明され、それを知ることが被害回復の出発点ではないかと考えます。

上記記事の引用→）　裁判員裁判では検察官を中心に、公開の場で非行事実の確認がなされるのみならず、非行事実の残忍さが追及されたり、被告人尋問によって少年の動機を追及し、証言の矛盾を問いただす場面が起こることは容易に予測できます。

上記記事の引用→）　このようにある意味で糾弾的な争いの場に少年を投げ込むことは、少年が非行事実を振り返り、自身のあやまちを認め、被害者に対する贖罪の気持ちを育てるために必要な、静かに内省する機会を奪うことになります。

上記記事の引用→）　これは少年の立ち直りにとって長い期間にわたる障害となるでしょう。こうした情報のリテラシーの観点から見ても、世間の耳目を集める重大な少年事件を公開の刑事裁判にかけることは、少年法の根本理念を大きく裏切ることになります。

上記記事の引用→）　こうしたプロセスの中で、自身の過去や事件についても振り返りが起こり、やがて内面からの気づきが訪れます。究極の目的は、人間性の回復であり、この人間性の回復のプロセスには、全人格のぶつかり合いが必要です。大変な時間とエネルギーがかかります。

上記記事の引用→）　また家庭裁判所・少年院・保護観察所は、それぞれ当該少年の立ち直りのために全力を尽くすと共に、その処遇過程における担当者の判断や評価、立ち直りの過程を詳しく記録する社会的使命があると考えます。

上記記事の引用→）　そうした記録は、まず被害者遺族に対して開示される必要があるでしょう。刑事裁判でなく少年審判が選ばれたことによって、被害者遺族に知るべき情報が渡らず、不遇感をつのらせることのないよう配慮する必要があります。

上記記事の引用→）　また、ある一定の時間をおいたうえで、事件の起こった背景、子育てや教育に応用できる教訓などを広く公開し、事件から学んだものを社会に還元することで、社会不安を払拭し、同じような事件を再発させないための啓蒙活動をするべきです。

少年事件に限らず、刑事裁判と被害者の関係という部分も見受けられたので、より多くの引用にてご紹介をしました。

割と最近、この佐世保の事件より前だったと思いますが、何かの機会に少年審判では、被害者家族は蚊帳の外におかれ何も知ることが出来ない、ということを読んだ憶えがあります。

少年の更生にもっともふさわしい専門家に全面的に任せ、そちらを通じてご遺族のも社会の人々にもご納得、ご理解いただく、というのがその目的、趣旨とも受け取れそうです。また違いもあるでしょうが、成人による刑事事件の更生にも重なる部分と方向性がありそうです。

成人による一般の刑事裁判は公開ということになっていますが、PC遠隔操作事件など世間の耳目を集めた事件を別にすれば、公開となってはいても公判を傍聴する人はわずかで、求刑や判決でさえ報道されない事件が多いのではないかと思われます。

そういえば2,3日前に紹介ししておきたいと思いながら、忘れていたツイートがありました。誰のツイートだったのかもはっきりと思い出せなくなっていますが、今であれば探し出せそうです。

見つけることが出来ましたが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートでした。検察のことかとも思っていたのですが、マスコミのことでした。次のツイートです。

投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2014/08/13 20:51 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/499523743996059648> マスコミが裁判の後の被告人の生活や人生を考えていることは絶対にない。＞RT

数年前からマスコミを批判するインターネット上の発言を見かけることが多くなりましたが、近頃はその数も減ったようには思っています。以前は憎まれ商売でやり過ぎの非もあるのかと漠然と思っていましたが、最近は弁護士がそういう風潮も煽りつけてきたのではと考えるようになりました。

佐世保女子高生殺害事件ですが、テレビでは佐賀県内の病院に鑑定留置のため移送されたという当日のニュースを見て依頼、報道はぴたりと止んでいるように思います。

先ほどの要望書のことですがなかには、「外形的に特異な事象が報道されていることから、世間の耳目を集めており、社会的不安も大きく広がっているものと推察されます。またインターネット空間では、当該少年の情報を含むさまざまな噂話が拡散しています。」という部分もあります。

引用での紹介に抜けていたようですが、最高裁に提出した要望書とのことです。最高裁に対する要望書というのもあまり聞いたことがない気がしました。法律上も裁判官の独立というのは保障されていたように思いますので、それ故の要望という表題なのかもしれませんが、指揮権もなさそうです。

検察庁の場合は、最高検や検事総長の指揮権や通達が地方の検察庁に影響を与える余地はありそうに思いますし、検察官一体の原則とかもあるので、検察庁法など法律上の根拠もありそうです。

逆送を決めるのは家裁の裁判官のようなので、全国の裁判所を統治する最高裁ということになるのでしょうが、少年事件ならではの問題としてもこれまでには見たことも聞いたこともなかったように思います。

あれほどの事件をやった以上、この先社会生活を送っていくのは困難な面も大きいと思いますが、治療も大事でしょうが周りの世間の社会の納得の出来る理解が不可欠に思えます。過去のひた隠しに生きるという方法もあるのかもしれませんが、問題が大きすぎるのでバレた時の影響も大きそうです。

弁護士である父親の情報も事件が起こってから2週間も経たないうちにさっぱりと見かけなくなりましたが、本人は自殺するような気持ちと覚悟で、いわば仲の良かった被害者を道連れにするように事件を起こしたようにも思えます。

この佐世保女子高生殺害事件ですが、父親が弁護士だったためか、弁護士の発言が少なかったり、表面的になぞったような当たり障りのない、具体性のない発言がほとんどであったようにも思えます。

弁護士の家庭事情に関しては私の事件にも似たような問題性が含まれています。被告訴人多田敏明が被害者AAさんの父親を弁護士だと、事実に反する発言を行っていたことです。

既に本書でも書いているように思いますが、金沢西警察署の留置場の担当のような立場であった藤井という定年も近いらしい警察官と一緒にいた坂井という25歳とかの若い警察官の二人にもその話をしました。坂井さんは酒井ではなかったと思います。何かの機会に漢字の名前を見た気がします。

藤井さんと坂井さんはまさに担当という感じで、二人一緒にいることが多かったです。すぐに驚いたような反応で、机の横の壁の前の棚の上のようなところから、帳簿のようなものを即座に取り出し、被害者の苗字での弁護士の登録はないと言っていました。

これも既に何度か書いていることと思いますが、金沢西警察署に出頭した当日夜だけが、自首調書も作成した刑事の取り調べでした。また、その時だけ取調室で二人の刑事がいました。翌日の4月2日からは、ずっと谷内孝志警部補だけの取り調べで、それも一対一による取り調べと供述調書の作成でした。

時刻は8月17日10時19分になっています。早朝には土砂災害警戒の告知放送もあり、昨夜から雨が降り続いていましたが、今は雨もあがっているような感じです。項目を新しくして続きを書きます。

<2014-08-17 日 10:21> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

#### DONE 宇出津あばれ祭りでの被告訴人KYNとの再会と、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）に対する刑事告訴について　2014年8月17日 gblog

<2014-08-17 日 10:23> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

投稿者：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター） 日時：2014/08/16 18:29 ツイート： <https://twitter.com/kk_hirono/status/500575089281081346> これも既に何度か書いていることと思いますが、金沢西警察署に出頭した当日夜だけが、自首調書も作成した刑事の取り調べでした。また、その時だけ取調室で二人の刑事がいました。翌日の4月2日からは、ずっと谷内孝志警部補だけの取り調べで、それも一対一による取り調べと供述調書の作成でした。

昨日は18時29分からの中團になっていたようです。そのあとAコープ能都店に買い物に行ったのですが、出掛けた頃から雨が降り出し、帰りは強い雨になっていてずぶ濡れになって帰って来ました。寝るまではテレビを見て過ごしていました。

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/16 21:13 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/500616264377974784> 土曜プレミアム・ほんとにあった怖い話　15周年スペシャル 2014年8月16日（土）  21時00分～23時10分  の放送内容 <http://t.co/Zw92Mb3QbN>

投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2014/08/16 21:14 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/500616592750039040> 土曜プレミアム - Yahoo!テレビ.Gガイド[テレビ番組表] <http://t.co/dKxjicgDWm> 15周年記念実録心霊ドラマ7本!▽怪奇!悪霊タクシー▽工場に霊の大群▽犯人見える女▽ボットン便所の呪い▽廃銅山のたたり▽止まぬ心霊着信▽腕をちょうだい

上記の番組ですが、初めに「一般のかたが実際に体験した事実をもとに」というような説明が大きく表示されていました。７つあるので1つぐらいは、本当なのかと思えるものがあるのかと期待したのですが、今まで見てきた似たような番組より、フィクション性が高かったように思います。

私の場合、福井刑務所で殺人や傷害致死で服役している人と直に接触していたという特異な体験もあるのですが、現実とのギャップというのは大きく感じます。ただ、子供時代は今よりはるかにお化けや祟りなど信じられやすい環境であったとは思います。

昨夜のオムニバスのドラマには会社や工場を舞台にしたものもありました。平成4年の私の事件ももう少しで傷害致死事件、あるいは殺人事件にもなっていたという大きな経験もあるので、多くの人とは違った見方もしているように思います。

殺人未遂に関しては、金沢西警察署の取り調べを受けた谷内孝志警部補に、被害者を放置して逃げていれば殺人未遂や、とはっきり言われました。

谷内孝志警部補には取り調べが始まってすぐに、正直に話せ、と繰り返し言われ、「被害者が浮かばれんぞ」とも言われました。私が動揺すると失言を取り繕うような態度も見せていましたが、後になると動揺を狙いダメージを与えるため、意図的に発した言葉で会った可能性が高いと思うようになりました。

時刻は8月25日18時11分です。思ったより長い間、中断をしていたことになりそうです。本書の構成及び情報の公開方法に対する大きな方針転換を決めましたので、新たな項目でご説明から始めたいと思います。

<2014-08-25 月 18:29> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 金沢弁護士会所属の弁護士らの対応について

### 原告側訴訟代理人になった長谷川紘之弁護士について

#### TOD自宅が強盗被害に遭ったという長谷川紘之弁護士と福井刑務所での伝聞による受刑中の犯人の話

### 平成4年傷害・準強姦被告事件の控訴審私選弁護人木梨松嗣弁護士に関して

#### 石川県輪島市曽々木海岸に行って思い出したこと。平成4年傷害・準強姦被告事件の顛末に関して＿2014年6月15日

<2014-06-15 日 11:39> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

見出しのタイトルを考えるのにも時間がかかりましたが、顛末という言葉について調べてみました。

《「顛(いただき)」から「末(すえ)」までの意》事の最初から最後までの事情。一部始終。「事件の―」　←　てんまつ【顛末】の意味 - 国語辞書 - goo辞書 <http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/154488/m0u/>

終末という言葉は人生の終わりを意味する言葉であったと思いますが、終末医療という言葉もあったと思います。その人生の終末が近づいている私の母親ですが、1992 - 1929で計算すると、平成4年当時はまだ63歳だったようです。改めて感慨深くもあります。

2014 - 1929で計算すると85歳になりました。63歳とは22年の違いですが、こうやってみるとはるかに大きな違いに感じられます。その母親も2009年の8月31日以来、病院にいます。その朝、脳出血を起こし以来半身不随で寝たきりの状態です。

ちょうど選挙で歴史的な政権交代があった翌朝のことでした。救急車を呼んで向かった先は珠洲市の珠洲市総合病院でした。救急隊員の人は症状を見て脳に問題があると判断し、脳外科の専門設備がある珠洲の病院に向かったとのことです。

2014年6月14日に行った宇出津から珠洲市野々江・大谷パーキング・真浦海岸・曽々木海岸・旧柳田村で宇出津に戻るルート <https://mapsengine.google.com/map/edit?authuser=0&hl=ja&mid=zWXtOqvyZ-Jo.k3kRxu-OiDaA>

上記リンクはGoogleマップのマイプレイスで作成したものです。

時刻は6月16日9時43分になったところです。中断したままになっていました。昨日は買い物に行ったり、草刈りをしているだけでも時間が潰れてしまいましたが、食事をして後片付けをするだけでも、馬鹿にならない時間がかかります。外食に出るというのもめったにしなくなりました。

珠洲市総合病院には翌年（2010年）の1月の20日ころまでいたように思います。受け入れ先の養護施設が決まって、旧柳田村の病院に転院しました。珠洲市の病院にいた時の方が、用意するものが多くて頻繁に病院に行っていました。

珠洲市の中心部は飯田町で、地元では単に飯田と呼ぶことが多いのですが、珠洲市総合病院のあるばしょも住所は野々江で、昔、鉄道の珠洲駅があったのもそうだと思います。

昨日、飯田町が正確なのかと調べていたところ、珠洲警察署も飯田ではなく住所が上戸になっていて、ちょっと驚きました。昔、そういう名前の駅があったということで知っている地名ではありますが、あまり意識したこともなくひと括りに飯田だと思っていました。

母親が脳出血で倒れる前、5月から3ヶ月間、私は飯田の方で職業訓練に通っていました。この時もバスで通っていましたが片道で千円近い料金でした。停留所も多いので時間もけっこうかかっていました。

宇出津新港にある職業安定所から職業訓練に行くことになったのですが、ワープロ検定と表計算検定のいずれも2級をとることが出来ました。合格証書のようなものをとりに、久しぶりに飯田に行き、その一週間ほど後に母親が倒れ、また頻繁にバスで珠洲に通うことになったのです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 珠洲市飯田の用事・大谷パーキング・真浦海岸・曽々木海岸2014年06月14日13時55分46秒.jpg <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/20140614#6024949516283978754>

上が先日撮影した珠洲市総合病院の写真です。「すずなり」という道の駅から歩いて行ったので、空き地のような場所からの撮影になっていますが、すぐ上は病院の駐車場になっているようです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 2014-06-1413.54.31.jpg <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/20140614#6024957234034086242>

駐車場は上記の写真の方がわかりやすいかと思います。ほぼ日付データだけのファイル名ですが、こちらはデジカメではなくスマホで撮影したものです。

Picasaウェブアルバム） ファイル名: 2014-06-1413.56.12.jpg <https://picasaweb.google.com/114099790846205945578/20140614#6024957259880832370>

同じくスマホの撮影ですが、こちらは珠洲市総合病院の正面で入り口です。正面から見る以上に、奥行きのあるけっこう大きな病院です。

2009年8月31日の月曜日の朝に母親は病院に運ばれ、そのまま入院することになったのですが、9月の11日ころには京都の親戚の人が見舞いと今後のことの話し合いを兼ねて車で病院に来ました。その時に車を駐車していたのもその病院前の駐車場でした。

母親は5人兄弟の長女で上から2番目でしたが、その時は京都市内に住む一番上の長男と、同じく京都市内の次女の夫婦、兵庫県に住む次男、そして末の妹の夫婦が愛知県から来ていました。

泊まりがけで来ていたので、その夜は能登町松波のラブロ恋路という旅館のようなホテルで私も一緒に泊まりました。末の妹だけは同窓会の出席を兼ねて来ていたらしく、九十九湾の百楽荘に泊まっていました。

旅館のようなところに宿泊したのは平成10年に被告訴人KYNの配管の仕事で、福井県武生市の民宿に宿泊して以来のことでしたが、それは現場で急に予定が変わって、宿探しをした上での宿泊でした。

さらに遡ると平成4年1月11日の市場急配センターのでの慰安会で、片山津温泉の「せきや」に宿泊して以来のことでした。旅行に行ったことも一度もないですし、飛行機にはまだ一度も乗ったことがなく、海外に出たこともありません。

本書において武生市の仕事のことは長野オリンピックのことなど、わりと詳しく書いたように思いますが、「五分といつつの兄弟分」というのは、あるいは書いていないかもしれません。M君に関しては他にも大事なことを書いていないので、別のところで書く予定です。

せきや、での慰安会のことも少しは書いたように思いますが、大事な時期でもあるのでまた書くことがあると思います。黒部パーキングエリアからの電話のことも書いているか、検索して確認しておきたいと思います。

% grep '黒部' ~/kkhirono/index.org　、というコマンドで調べてみたところ該当は1件でアルミサッシのことが書いてありましたが、黒部パーキングエリアはなく入善パーキングエリアであったと思いだしました。

% grep '入善' ~/kkhirono/index.org　、では該当がないようでした。少しは書いたような気もするのですが、まったくヒットはないようです。

「1月12日」にキーワードを変えると、次のような部分がヒットしましたが、まだ十分な説明は行っていないようです。

次に電話に出たのは年が変わった平成4年1月12日の日曜日の夜のことでした。これも日付をよく覚えているのは、片山津温泉「せきや」であった泊まりがけの新年会の翌日のことであったからです。

その時、長男のおじさんは元気そうに見えていましたが、難病を患ったと聞いたのは亡くなる一年ほど前ではなかったかと思います。自分で食事をとることもできなくなり、管を入れて体内に送り込んでいるとも聞いていました。

私は長い間、平成4年の傷害・準強姦被告事件の控訴審の弁護士費用をその長男のおじさんが出してくれたと思い込んでいたように思います。聞き違えとも考えにくいので、母親の口からそのように説明を受けたとは思うのですが、ずいぶんと前のことになってしまいました。

長男のおじさんは、兄弟の中でも余り田舎の宇出津には遊びにこないような人で子供の頃も会う機会のというのも少なかったと思います。それでも拘置所にいる時、金沢刑務所に一度面会に来てくれたことがあり、その時は意外にも思ったものです。

小学生の低学年の頃までは母親に連れられて京都の親戚の家にも遊びに行った記憶があるのですが、京都タワーのレストランで食事をしたのが京都の親戚のところに行った最後の記憶となっています。

辺田の浜の家にいた頃は、夏になると毎年、京都の妹夫婦が遊びに来ていましたが、宇出津に引っ越してからは余り来なくなり、家に泊まったという記憶も余りありません。

宇出津に引っ越してきたのは昭和50年4月のことでした。もともと母親の家族が住んでいた家らしいのですが、京都と尼崎、愛知県に他の兄弟は移り住み、宇出津に残ったのは私の母親だけでした。戦前に家族で京都から来たらしいですが、母親は京都生まれです。昭和4年1月生まれです。

祖父母に関しては私は見た記憶もなく、たぶん私が生まれる前になくなったのだと思いますが、不思議と余り話を聞いたこともなく、いつ頃になくなったのかもよくわかっていません。私が生まれて物心ついた頃には、宇出津に残っているのは母親だけでした。

京都に住む2軒の親戚は、どちらも西陣織の商売をしていました。宇出津にある家はその西陣織の織物工場でした。7,8人程度だったと思いますが、手織りの織物をやっていました。昭和57年の時点ではまだやっていたことを記憶にしていますが、その2,3年後には工場をやめていたと思います。

私の母親は機織りをすることはなかったですが、糸を紡ぐようなことをやったり、工場で仕事もしていました。工場をやめた頃は、私は金沢市で生活をしていてあまり宇出津に帰ってもいなかったので、いつのまにか工場がなくなっていたという感じでした。

記憶もあいまいなので正確には思い出せないですが、思えばちょうど宇出津新港の埋め立て工事をやっている頃ではなかったかと思います。宇出津新港の埋立地も、私の記憶ではいつの間にか出来上がっていたという感じでした。

思えば昭和58年の夏も宇出津にいることが多かったですが、織物工場をやっていたかどうかも思い出せません。その頃はよく九十九湾の百楽荘に夜、風呂だけ入りに行っていました。その夏の8月の終わりか9月の初めから金沢の観音堂の被告訴人安田敏のアパートに転がり込むようになったのです。

宇出津新港というのはちょうど子供の頃に遊んでいた浜辺の辺りを埋め立てた工事でした。家の窓からも浜辺と海が見えたと思いますが、とにかくゴミの多い、汚い感じの海でした。昔の人ほどマナーが悪く海にゴミを捨てていたのかとも思うのですが、当時はゴミの分別というのもなかった気もします。

母親の妹夫婦は毎年、夏になると遊びに来ていました。私は小学校の低学年でしたが、妹夫婦の長男は高校生になっていたようにも思います。長女の方も中学生でしたが、子供の方は毎年来てはいなかったとも思います。

一番印象に残っているのは、珠洲の三崎に連れて行ってもらっていたことです。詳しい話は聞かなかったですが、母親の妹の旦那の人が、その三崎の出身で、実家かあるいは兄弟の家とも思われました。

その三崎の家には泊まったという記憶はなく、行ったのはすべて真夏の時期で、行くと必ず近くの砂浜の海で泳いでいました。珠洲の三崎と聞いていたので、ずっと三崎だと単純に思っていたのですが、近年知ったところによると三崎は広く、地名も多いようです。

近所の辺田の浜の浜辺に比べると、はるかに広く海もきれいだったと記憶にあります。それとその家では茹でたトウモロコシを食べさせてくれたのですが、当時としては余り見ることもない珍しい食べ物に思われていました。

その妹夫婦には、ほかにも能登の観光地をあちこち車で連れて行ってもらったという記憶があります。曽々木海岸にも行っていると思いますが、当時は車に載って連れて行ってもらっているだけで、どこがどこなのかもよくわかってはいませんでした。

その妹夫婦も何回か、拘置所にいる時金沢刑務所に面会に来てくれたと思います。疎遠にもなっていたと思いますが、三崎の海に行ったことなど、子供の頃のことを思い出すこともありました。

あるいはそこで先走った勘違いも起きたのかもしれないですが、母親の妹の旦那さんの紹介の弁護士が木梨松嗣弁護士で、珠洲の三崎に縁があると思ったのです。その紹介というのを母親の口から聞いたのは間違いないことですが、三崎という部分が思い込みがあったのかもしれないと多少引っかかるのです。

もっとも昭和40年代の後半には京都に生活をしていて石川県内で生活をしたという話も聞いたことはなかったので、金沢の弁護士に知り合いがいるとなれば、同郷である珠洲市三崎のよしみかと考えるのも、自然な解釈かと思います。母の口から三崎という言葉が出たような気もするのですが、はっきりとは。

なお、三崎に関しては私の母親が一緒に行ったことはないと思います。私の母親は車酔いがひどく乗り物が苦手だったのですが、平成に入ったぐらいになると、だいぶん慣れてはいたようです。私自身も小さい頃は、バス遠足にも車酔いの不安を感じ、酔い止めの薬を飲んでいたと記憶しています。

母親は免許を持っておらず、父親は3歳ぐらいの小さい頃に亡くなっているので、車に乗る機会というのも少ないもので、バス遠足以外は京都の親戚が来たた時ぐらいだったと思います。不思議と親戚の車で酔ったという記憶はないですが、中学生の頃も車酔いは不安でした。

時刻は6月17日7時56分になりました。昨日の午後は久しぶりに小木港にアジ釣りに行ってきました。行ってやってみないとわからないもので、驚くほど少しのアジしか釣れずそれも小さいものばかりでした。

きれいな色のアジだったので持ってきて唐揚げにしたのですが、これもすごく手間と時間がかかりました。5月の連休が終わってから始めたサビキでのアジ釣りですが、これも面倒の多い釣りで、おかげで釣りに行く回数も減りました。天気もよく海もきれいで気晴らしにはなります。

母親がその後、輪島市のねぶた温泉で仲居の仕事をしていたことなど書く予定なのですが、気分の状態も変わっているので、より集中できそうな事柄について先に書いておきたいと思います。小木港に行ったのも気分転換になりました。

<2014-06-17 火 08:20> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

# 本書の作成に伴う説明やお知らせについて

## 2014年4月14日の夕方に発生したデータの喪失とその復旧について

<2014-04-14 月 18:56> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

既に問題の起きた箇所*\*平成9年当時における被告訴人OKNと被告訴人KYNの関係*において取り急ぎの説明を行頭に「※」マークをつけて行い、また失われたと思われるデータをTwilogから取得してコピペで貼り付けましたが、状況の補足的な説明を行っておきたいと思います。

<http://twilog.org/kk_hirono/date-140414/allasc> ←　からHTMLのソースコードを取得し、いったんHTMLファイルとして保存したものをブラウザで開き、その表示されている文字列をそのままコピーして貼り付けました。

幸いなことに本日14日分のデータだけが復旧できないことになっていたので、日付を指定し、それを「古い→新しい」順に並び替えると、リクエストのURLが上記のようになっていました。？に続けるパラメーターを指定しないTwilog独自の仕様のようです。

TwitterへのAPIを利用した同時投降で、このようなかたちで救われることがあるというのは、私としても予想外だったのですが、作成中のデータの消失というのも、まったく予想外であり、なおかつ経験してことがないものでした。

結局のところ「告訴の経緯」という最上位の見出しとその階層のデータのみが残り、他がいっぺんに消えてしまいました。同時にフォントのサイズも何故か大きくなりました。おかしいと思ったので保存せずに、いったんファイルを上書きなしで終了しました。「戻す」では戻せませんでした。

Undoという直前の捜査の取り消しのような働きをするのが「戻す」のはずですが、一つも戻れない状態になっていました。これ自体もほとんど経験のないことです。

キーボードのDeleteボタンを押すときに間違って他のキーをいくつか同時押しになってしまったことで、いっぺんにおかしな状態になってしまいました。

バッファの状態がおかしくなったので保存せずに終了させたのですが、ファイルの内容がおかしい状態のまま保存されていました。キー操作を誤った時点でファイルへの保存まで完了していたようです。

幸いなことにシステムが自動保存している〜つきのファイルがあったので、それを開くと4月14日に編集を始める前、つまり13日の最後の上書きと思われる状態になっていました。そこから編集を再開し、Twilogのコピペも行ったのです。

なお、14日の午前中にはorg-modeのファイルをodtのファイルとしてエクスポートし、LibreOfficeのワープロソフトで開いて、多少レイアウトの変更などやっていました。思っていた以上に印刷として使うのに手間が掛からずに済みそうだと思いました。

ページにすると目次の部分をいれて327ページほどになっていました。長い時間を掛けてきた割には少ないとも思いましたが、これだけの量になってくると、正直正確に把握するのも困難です。

org-modeは見出しの部分を折りたたんだり開いたりしながら編集するという特徴もあります。いろいろと複雑な仕組みにもなっているのだと考えますが、ファイルのデータが大きくなると、今後も予期せぬ不具合が発生する可能性もあるのではと、気に掛けています。

今後、ファイルの編集や管理にはこれまで以上に気をつけたいと思っていますし、不具合が生じた場合はそのことを説明しておきたいと考えています。最悪、見出しの階層が丸ごと欠落するということもあり得ないことではないと思えてきたからです。

編集中のファイルはこまめに上書き保存をしているはずなのですが、〜の自動バックアップファイルの内容が、前日の状態になっていたのも気になります。

〜付きのバックアップファイルに関してはVimの場合、設定ファイルに独自の保存場所を指定しているので、Emacsの機能としてバックアップファイルが作成されているのだと思いますが、現在は作業中にパソコンが固まることもほとんどないので、ほとんど意識することなく児童に任せてきました。

そもそもEmacsは一定時間の経過か打鍵数で自動的にバックアップファイルを作っているのではと思われます。無効化も出来るはずですが、特にやったような覚えもないです。

今日も繰り返し上書き保存をしながら編集をしているのですが、確認のため〜付きのバックアップの内容をみたところ、「※Twilogからコピペしたデータの終わり。」という部分が最後の編集箇所になっているようでした。

正直なところ上書き保存をした時点で上書き以前の状態が〜付きのバックアップファイルになるのだと考えていたのですが、少なくともEmacsの場合は違うようです。また私のEmacsの設定ファイルも長年手を加えながら使い込んできたものなので、把握の出来ていない設定があるのかもしれないです。

インターネットで調べて、キー操作が２秒間ないときに自動でファイルを上書き保存するようにしてみました。他に問題が出てくる可能性は否定できないですが、これでバッファとファイルの同期がほぼ同時に自動で行われるかと思います。

バッファというのは編集中の作業内容の状態のことです。機械的には揮発性のメモリ上に存在するデータです。保存や上書き保存という操作をすることで、主にハードディスク上に存在するファイルの内容が変更されることになります。

今後は今まで以上に気をつけると言うことですが、データ量が増えてくると管理も難しくなったり、処理が複雑化することで不具合の発生する確率もいくらか出てくるかと思います。私自身、これだけの文字数、行数のファイルはEmacsでは余り厚かった記憶もないように思います。

不具合と復旧に関する説明はこの辺りにしたいと思いますが、何かあったときにロールバックしやすいように、また、勝利の経過がさかのぼってたどれるようにと、多少の工夫はしていますので、次はそのあたりの説明に移りたいと思います。

<2014-04-15 火 15:54> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 編集作業の開始時刻と終了時刻の記載についての説明

<2014-04-15 火 16:31> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

もう結構前からになっていますが、上記のように記述範囲の開始時刻、そして終了時刻というものを記入するようにしております。どこ範囲をどの時期に作成したものかということを分かりやすく明示しておくのが目的です。

いろいろと考えたのですが、同じ項目での連続性のある記述については、なにもしていない時間を含め２，３日に及ぼうと終了時刻の記入はしませんが、別の項目に移る際にはたとえ10分間でも開始時刻と終了時刻を記入し、そして別の項目に移ってから新たな開始時刻を記入したいと思います。

編集対象は常に一つの項目と言うことになりますし、項目を移動する時間的な流れも分かるようにしておきたいと考えました。時間と状況の変化に対応して、書く内容も異なりうるからです。記憶を辿り思い出しながら書いていること多いので、経過は内容の訂正や説明の補充にもなりうるかと思います。

時刻の方は基本的にorg-modeの(org-time-stamp 1)という関数を使っています。1の部分はコマンドとして呼び出すときの前置引数になるものですが、これを入れることで時刻まで挿入されます。

日付ごとに項目を新規に作っていたらずいぶんと余計な数になってしまいますし、全体的な内容の把握もますます困難になっていくと考えました。

org-modeはアウトラインプロセッサの働きがあるので各項目は木構造の関係があります。ツリー構造とも呼ばれますが、見出しはノードという意味があります。日本語では節や結節点という意味だそうです。見出しの本体部分はブロックというかデータの集まりです。

見出し（ノード）の要旨に対応した本文をブロックとして配置していくように心掛ける積もりでいますが、見出しの内容が完結しない間は、本文のブロックをさらに、記述の時間帯によって区分けしていこうという考えで、その区切りが範囲の開始時刻と終了時刻の記入になるわけです。

org-modeには他にアジェンダという機能が備わっています。予定表とか行動計画、日程管理のような意味があるようです。各項目は特定のキーを組み合わせることで状態の推移をあらわすことができます。ごく基本的な使い方ですが、とりあえずTODOだけを使うようにしています。

TODOというのは、やらなければいけないこと、あるいは予定という意味かと思います。本来は予定を完了したときにDONEという状態にするのですが、項目の数もさほど多くはないので煩雑さをさけるため、追記の予定のないものや完了したものはなにもつけない状態にしておきたいと思います。

本当は分類としての見出しのみを書いていき、内容の編集中のものに関しては「EDTING」つまり編集中というフラグにしておこうとも考えるのですが、作業上の一時的な目印のようなものなので、最終的にはなくする印。今のところ問題になりうるのはTwitterの投稿時ぐらいとも思います。

ややこしくもなるので見出しのTwitterへの投稿時にはTODOなどをつけない状態で送信しようかとも思いますし、これまでもその方が多かったのではと思います。まあ、編集中の段階でもブログの記事として投稿することもあるので、そちらの方ではかなり意味が違ってくるかとも思います。

Emacsのorg-modeとしてはC-c C-tを繰り返す度に「TODO」「EDTING」「DONE」「印なし」と見出しの文字列の先頭に付け加わって、状態が移り変わっていきます。

ブログへの投稿に関しては、近頃はやらなくなっていますが、方針を定めて再開するときにはTODO管理の活用も含めて、またご説明の機会を持ちたいと思います。以上です。

<2014-04-15 火 17:30> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 2014年4月27日、OSの入れ替え時（Ubuntu 14.04）パソコンのデータ移行に伴うファイルのタイムスタンプの喪失について

パソコンの調子が悪かったということもあるのですが、ここ数年間続けていることとしてUbuntuの最新版をクリーンインストールしました。作業自体はおおむね順調に進んだのですが、一つ自分でも信じられないようなミスをして大事なデータを失ってしまいました。

本書つまり告訴状に添付するファイルを一つのディレクトリ（フォルダ）に保存していたのですが、それをバックアップの対象から外してしまっていたのです。

ファイルのタイムスタンプを保持するため今回のデータ移行にはtarコマンドを使用しました。複数のファイルやディレクトリをアーカイブという一つのファイルにまとめ、データーサイズを小さくするため圧縮を加えることの多いコマンドです。

説明のためにパソコンの画面の画像ファイルをTwitterにアップロードしました。これから主流にしたいと考えている説明の方法ですが、これも別に項目を作って細かいことを書いておきたいと思います。次の2行に対象を示します。

Twitter / shirono: 告訴状の参考資料2014-04-2907:48:51S … <https://twitter.com/s_hirono/status/460913869146177537>

告訴状の参考資料2014-04-2907:48:51Screenshot.png pic.twitter.com/eigz4HYBgB

1行目はWebページとして、タイトル名とURLを取得したものです。通常はどのWebページでも持っている情報ですが、私はブラウザで対象のページをアクティブにした状態でキーボードから＠を打つだけで、クリップボードにコピーされるように設定をしています。

このタイトルはTwitterの仕様による書式ですが、事実上ほとんど予告なく変更される可能性もあるかと思います。140文字より少なく余裕を持った文字数になるように自動的に文字数を切り詰めてくれています。

Twitterの場合は、ブログのようにタイトルと本文の区別がなく140時文字という制限があるのですが、その先頭から決まった文字数分をタイトルとして使い他と判別ができるようにされているようです。

2行目がTwitterの本文というか本体のコピペです。見づらかいもしれませんが一つの半角スペースでデータが区切られています。投稿自体はAPIを使った自作のプログラム（スクリプト）で行っています。

これも具体例を示したほうがわかりやすいかと思いますので、実際にコマンドラインから投稿を行ってみます。

<2014-04-29 火 10:09> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

しばらく中断していたのですが開始時刻の記入を忘れていたので、再開した時点で記入しました。

Twitterで確認したところこの項目での最初のツイートは「7:29 - 2014年4月29日」になっていました。

パソコンというかUbuntu 14.04で問題があって中断をしていましたが、2時間近く時間をつぶしたことになりそうです。キーボードの設定が悪かったらしく、バックスラッシュが入力できず、円記号がキーコードとなっていたようです。

キーボードの設定の変更でしたがシステムの設定では見当たらず、結局は入力メソッドの設定で変更できることがわかったのですが、あちこち探しまわって辿り着きました。Linuxではこういう時間の潰し方もよくあることで、それだけ勉強になることも多いです。

先ほどの続きですが、写真付きでツイートするスクリプトの端末での実行をスクリーンショットしたものです。

Twitter / shirono: 告訴状の参考資料2014-04-2907:48:51S … <https://twitter.com/s_hirono/status/460913869146177537>

告訴状の参考資料2014-04-2910:04:05Screenshot.png pic.twitter.com/KnknJMrrR8

ふだんはGUIからコマンドを読みだして使うことが多いのですが、端末ではこのように半角コロンのエスケープが必要になります。エスケープに使うのがバックスラッシュなのですが、これが円記号の文字コードになっていました。フォントによる見かけ上の違いもありますが、Windowsでは円記号。

告訴状の参考資料2014-04-2907:48:51Screenshot.png pic.twitter.com/VUMiTsezbs のtarコマンドの説明に戻します。

8857 h > history-20140427.txt　というのが最後のコマンドになっていますが、はじめの数値はコマンドの履歴番号です。ｈというコマンドを実行していますがこれはhistoryコマンドのエイリアス（別名定義）です。

コマンドの実行結果をリダイレクトでファイルに保存しています。Linuxではソフトというかアプリのインストールや設定もコマンドラインから行うことが多く、実行したコマンドを調べたり、コピペで再利用しています。

添付の資料ファイルはhironohideki.bitbucket.orgというディレクトリとして保存していましたが、gitというディレクトリの中に保存していました。gitの中には他のgitのリポジトリもディレクトリとして保存していました。

gitというのは分散型バージョン管理システムの一つです。Linuxの開発にも使われていると聞きます。「Git　分散型バージョン管理システム」と検索すれば情報が得られると思います。gitだけだと「馬鹿」と自動翻訳される例も何度か見ていますので情報は得られにくいかもしれません。

gitの理解にはリポジトリという概念が不可欠なのですが、情報倉庫というわかりやすい言葉で訳されている例も見かけています。gitはサーバ間のバックアップとしても使えるのですが、私はWeb上のサービスと連携しています。

そのWeb上のサービスのドメインと対応させたかたちでhironohideki.bitbucket.orgという名前を使っています。

次が具体的に利用しているサービスのURLです。めったに見かけることもないので、ほとんそ知られていないサービスではないかと思います。GitHubの方が有名で利用者も多いとは思います。

hironohideki / hironohideki.bitbucket.org — Bitbucket <https://bitbucket.org/hirono_hideki/hirono_hideki.bitbucket.org>

このリポジトリは次のWebサイトというかホームページにも対応しています。hironohideki.bitbucket.orgのディレクトリがWebサーバでのドキュメントルートにも対応しているのです。

告訴状2013（作成途中） <http://hirono_hideki.bitbucket.org/>

Webサーバのディレクトリでは基本的な設定として、ファイルの指定をしなかった場合、index.htmlという名前のファイルを指定したことになる、ということになっています。個人サーバを運用していたこともあるので私は知っていましたが、情報は余りみないので知らない人が多そうです。

自分自身が使っているパソコンのことをローカルとも呼びますが、Web上のサービスを含め、外部のパソコンもしくはコンピュータのことをリモートと呼びます。

gitではまずファイルを編集してもリポジトリには反映されません。編集した内容をリポジトリに反映させるにはコミットという作業を実行することになります。コミットした内容は履歴に保存され、さかのぼって変更を元に戻すこともできます。

ローカルのリポジトリの内容をリモートに反映し同期をはかるには「git push」というコマンドを実行します。事実上のアップロードに相当する操作です。

「git push」を実行することでローカルのリポジトリのの内容をリモートのリポジトリに反映できますが、リモートで変更された内容をローカルに取り込む形での同期は「git pull」を使います。ただ私自身はpullは使わないようにしてきました。タイムスタンプを保持するためです。

つまりローカルのファイルとリモートのリポジトリにあるファイルは内容は同じでもファイルスタンプを同期しない仕組みになっているようです。

なお、私自身最近になって知ったことですが、Linuxではファイルの作成日時に関する情報を保持しないようです。上書き保存をするとそれが新しい更新日時になってしまい、何時に作成されたファイルなのかは辿れないようです。

私自身以前はタイムスタンプに関して無頓着でした。そもそもコマンドで簡単に変更できるはずの情報なのでさほど意味がないとも考えていました。しかし、ファイルの作成日時がはっきりしないと、記憶が混乱するような経験もあり、不都合を感じるようになりました。

それに検察庁の信頼を根底から揺さぶったという前田恒彦検事のフロッピーデータの偽造問題もタイムスタンプの改竄が大問題になったように記憶しています。私自身、問題が報道されていた当時他のことに集中していたためか、未だに内容をよく知らない部分があります。

記憶違いで間違ったことを書いてもいけないので、次のWebページにざっと目を通しました。ほぼ記憶通りというか、だいたいのことは情報を得ていたという感じです。

大阪地検特捜部主任検事証拠改ざん事件 - Wikipedia <http://bit.ly/PNnCq8>

ただ時期についてはけっこうなズレがあったような気もしました。あるいは羽咋市に住んでいた頃で平成21年3月以前かとも考えていたからです。実際は、平成22年の9月頃に発覚した問題だったようです。

平成22年の9月といえば、ちょうどアオリイカ釣りのエギングを始めた頃で、よく釣れた時期でもありよく釣りに出かけていました。アオリイカは昼夜を問わず釣れるときは釣れるという釣りなのですが、当時は夜に電気のついた堤防で釣りをすることが多かったです。

やはり厚労省の村木厚子さんの事件、裁判に絡んだ問題でした。障害者郵便制度悪用事件とのことですが、わかりやすいニュース解説を見たようなこともあり、比較的単純な事件のようにも思えていました。

私の認識では部下が責任をなすりつけようとした巻き込み型という一面と、検察の見込みが外れた政財界の疑獄事件という一面があるように思われた事件、裁判でした。細かく言えば検察がいわゆるガセネタに踊らされたという可能性もあるのかもしれませんが、真相の見えづらい印象でした。

弘中惇一郎弁護士が活躍した事件、裁判としても印象に残るもので、いわゆる陸山会事件もそうではなかったかと記憶しています。ロス疑惑の時の報道では弁護士の名前も見た覚えもなく、村木さんの裁判で注目を集め、それでロス疑惑のことも含めて初めてしったのではないかと思っています。

弘中惇一郎弁護士については、佐藤博史弁護士、落合洋司弁護士（東京弁護士会）と同じ、広島県出身者ということでも注目して来ましたが、他の二人の弁護士にくらべれば、柔和な印象もありタイプも違うように見ています。

先ほどのWindowsの記事で初めて知り、とりわけ印象に残ったのは記事中の次の部分でした。落合洋司弁護士（東京弁護士会）に関する部分です。元検事長の弁護人になったようなことは本人のブログで知ってはいました。

（引用→）9月21日には、朝鮮総連本部ビル売却問題で逮捕された緒方重威の弁護団（落合洋司弁護士ら）が、逮捕された検事及び当時の東京地方検察庁特捜部副部長を、当該事件公判における偽証罪で、10月にも告発する旨を表明した

しばらく中断していました。時刻は4月30日17時59分を過ぎたところです。今日は、午前中に図書館に行き、思わぬ収穫があったのでそのことについて項目を作って記述をしたいと思います。

図書館に出かける前に、先日ご紹介したばかりのgitのWebサービスを、まるごと削除しました。次の使っていたサービスのURLも404のエラーが出て表示されなくなりました。

Oops, you've found a dead link — Bitbucket <https://bitbucket.org/hirono_hideki/hirono_hideki.bitbucket.org>

きっかけは次の新しく見つけたgitのWebサービスのページを読んでいて、やはりプログラムのソースコードの開発というサービスの趣旨を尊重したいと考えたからです。

Gitインストールガイド | Gitの使い方 <https://codebreak.com/ja/contents/guide/#whats_git>

以前もいろいろ調べソースコードに限るという趣旨を見つけることはなかったのですが、なんでもアップロードということになるとサービスに負担も掛かりご迷惑が及ぶかもしれないと考え、早い段階でやめておくことにしました。

ローカルリポジトリからのリモート設定は別のパソコンのリポジトリにに変更しました。次のようにやりました。

git remote set-url origin <ssh://ログインユーザー名@リモートリポジトリのURLとパス・ファイル名>

次のコマンドを実行することでgitのデフォルトのブランチであるmasterの内容がリモートに設定されたoriginに格納されるようです。

git push origin master

ブランチというのは派生バージョンを作ることができるようです。私自身gitを始めた頃は勉強も兼ねて色々やってみた経験はあるのですが、マスター以外のものを作る必要もないので、他にブランチを作るようなことはやっておりません。

リモート側のパソコンでは次のようにして中身のないリポジトリを作成しておきました。あえて一行のコマンドにしましたが、&&は、直前のコマンドが成功すれば次のコマンドを実行するというものです。同名のディレクトリがあればエラーが返るので処理は中断されるはずです。

mkdir kokuso2014.git && cd kokuso2014.git && git –bare init –shared

もう少し具体的に説明しましょう。添付のDVDにはgitのリポジトリをそのままコピーすることになると思いますので、ご自由に使っていただいてけっこうです。Windowsパソコンでもgitは使えると思いますが、UTF-8の文字コードとUNIX改行が問題になるかもしれません。

そういう場合は、別にブランチを作って文字コードと改行を一括変換されてはいかがかと思います。最近のWindowsパソコンのワープロソフトでは文字コードや改行が違っても普通に表示はできると思いますが、あとあと問題が起きてくる可能性はあるかと思います。

ローカルネットワーク内に192.168.11.3というパソコンがあるとして、それをリモートリポジトリとする仮定で説明します。先ほどの方法で、kokuso2014.git というディレクトリを作成しリモートリポジトリとして設定しました。

DVD一枚に余裕があれば、リモートリポジトリのファイルも合わせて添付しようかと思うので、そうすれば新規にリモートリポジトリを作る必要もなく、git cloneだけで事足りるかとも思いますが、ご説明のために具体例を示しておきます。

git remote set-url origin <ssh://root@192.168.11.2/var/git-server/kokuso2014.git>

私自身ｒｏｏｔ権限でやったことはあまりないと思うのですが、独占的な管理としてご紹介してみました。mkdirで始まるリポジトリ作成の作業は、/var/git-serverのディレクトリで置こうなう必要があります。

gitはサーバとしても使えるはずですがサーバとしての設定が必要になるはずです。個人で使う分には必要ないので私は暗号化された通信手段でもあるsshを使っています。sshのサーバが動いている必要があるかと思いますが、UNIX環境では常識に近いかという前提です。

肝心なのはgit cloneです。これはリモートリポジトリの内容の複製になります。sshでログインできる環境であれば、ローカルネットワークにつながったどのパソコンからも実行できるはずだと思われます。100台、千台のパソコンからも同じ方法で実質的なダウンロードができるはず。

git clone <ssh://root@192.168.11.2/var/git-server/kokuso2014.git> kokuso2014local0001

あえてkokuso2014local0001という別名のディレクトリ名で保存しました。同名だと誤って上書き保存する場合や、ローカルネットワーク内の複数のパソコンで管理すると識別が困難になるだろうと予想したからです。私自身、個人以外の複数人ででサーバ管理をした経験はないですが。

gitは本来、共同作業としてのプログラム開発で使われているものかと思いますが、情報の共有、管理として様々な活用のできるツールではないかと私は考えています。よければ使ってもらいたいと思いますし、研究機関等への提供も惜しむものではありません。内容も同じです。

コミットした時点ということになるかと思いますが、作業過程での変遷もリビジョンというかたちで、必要があれば辿ることができるはずかと思います。私自身、プログラムの開発ではいので、状態を元に戻したり、確認するという必要は殆ど無いのですが、透明性は高くなるのあとは思っています。

この項目の本題に戻りますが、バックアップをし忘れたために、git cloneで内容を復活させるというはめになりました。「.git\*」というのは含めていましたが、これはgitの設定ファイルを保存したことになります。どうもこのあたりで勘違いが生じていたのかもしれません。

Linuxを含むUNIX環境ではドットで始まるファイルやディレクトリは設定情報を関するもので隠しファイルという扱いにもなっています。Windowsの環境自体ではドットで始まるファイルやフォルダは作れなかったようにも思います。Cygwinだとやっていますが。

git cloneを実行すると展開されたファイルやディレクトリは、すべてタイムスタンプが実行時になるようです。これで今までのファイルの作成日時や更新日時の情報が失われてしまいました。意図せぬ大失敗ですが、取り返しはつかず仕方のないことです。以上です。

<2014-04-30 水 21:29> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## Google+とPicasa ウェブ アルバムの利用方法と違い、及び本文中で使用するURLについての説明＿2014年6月13日

<2014-06-13 金 14:59> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

Google+ と Picasa ウェブ アルバム - Google+ ヘルプ <https://support.google.com/plus/answer/1361680?hl=ja>

基本的なところは上記のページに書いてあると思います。中身のアルバムや写真自体は同じはずかと思いますが、両者は使い勝っても違いますし、他にも目立たないところに違いがあるように思われます。

どちらもGoogleのサービスですが、Googleのアカウントでログインしている状態としていない状態による、違いがあるはずです。その辺りの仕様に関しては、事実上告知なしの変更というのも、常に考えられるところかと私は考えています。

数年前の情報では、PicasaウェブアルバムからGoogle+の写真サービスへの移行というのもが予定され、その過渡期という位置づけかと考えていたこともあるのですが、最近の情報を見た感じでは、今後も両立する形で２つのサービスは続くのではと思われます。

私自身、今日になって初めて気がついたことですが、Picasaウェブアルバムで写真を特定したURLを、Googleにログインしていない状態で開くと、個別の写真ではなくアルバムそのもののURLにリダイレクト（転送）されるようです。

Picasaウェブアルバムの場合、選択して表示した個別の写真は次のようなURLになっています。

<https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2007721#6024223227942978850>

「#6024223227942978850」の部分がページ内のアンカーになっているようですが、初めから表示されているものではなく、非表示に設定されているID属性のブロック要素かと思われます。

試しにブラウザでJavaScriptを無効に設定してページを再読み込みさせたところ、表示が次のようになりました。本来は全ての写真が表示されるところを、JavaScriptの処理で一つだけにして見せていたようです。

2014-06-13-152441JavaScript無効でPicasaウェブアルバムを表示.jpg pic.twitter.com/ity7shbhgd

次に、同じ写真がGoogle+だとURLは次のようになっています。

<https://plus.google.com/u/0/photos/105782624485753679454/albums/6024221564962846657/6024223227942978850?pid=6024223227942978850&oid=105782624485753679454>

ずいぶんと長いURLになっているので、これだけでもAPIからだと140文字を超えていて投稿は出来ませんでしたが、何度か説明しているとおり、ブラウザから投稿すると長すぎるURLの文字数分はうまく処理され、投稿することが出来ます。

上記のURLの場合、文字数のカウントを仕込んだ自作のスクリプトから投稿を試みると153文字で制限オーバーになるのですが、ブラウザからだと117文字の余裕があるようです。内部的に短縮URLを使っているのではと考えていますが、これは本当にありがたくなりました。

上記のURLをGoogleにログインしていない状態で開くと、一覧のボタンでもこの写真のみの表示ですが、リンクになっているアルバム名の部分をクリックで開くと、アルバムのURLが開くので、そちらから全体を見ることも出来るかと思います。

私が色々と試してみたところ、見落としという可能性も完璧に否定は出来ないのですが、Google+の場合、個別の写真はダウンロードできても、アルバムそのものはダウンロードする機能が備わっていないように思われます。

動作を確認しながら書いているのですが、別のアカウントだと一般公開のアルバムでも、アルバムのダウンロードボタンがグレー表示で実行できないようでした。以前はできていたような気もするのですが、そういうことになっているようです。

管理画面としてはGoogle+よりもPicasaウェブアルバムの方が使い勝手がよいので、アルバムの紹介はPicasaウェブアルバムのURLをこれからも使っていきたいと思います。

PicasaウェブアルバムのURLでも初めはGoogle+の写真にリダイレクトされ、「Picasaウェブアルバムに戻る」というような小さなリンクが表示されることも多いのではと思います。

アルバムの写真そのものはPicasaウェブアルバムで管理をしているので、やはりPicasaウェブアルバムのリンクを使いたいと思いますが、上記の事情で個別の写真の特定にはGoogle+のURLを使うようにしたいと思います。

混乱を避けるため、具体例を示しますが、Picasaウェブアルバムという名称は意味するところもわかりやすく、もともとPicasaウェブアルバムでアップロードしている写真なので、やはり次のような書式を使って、同時にファイル名を特定します。

Picasaウェブアルバム） 撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日18時00分21秒.jpg <https://plus.google.com/u/0/photos/105782624485753679454/albums/6024221564962846657/6024223227942978850?pid=6024223227942978850&oid=105782624485753679454>

まだ、ご紹介していないようですが、次のYouTube動画もご用意しましたので、参考にしていただければと思います。

Googleアカウントにログインしない状態でのPicasaウェブアルバムとGoogle+の写真の閲覧における違い＿2014年06月13日14時23分04秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=O8P11USsyIY&feature=youtu.be>

なお、何度も説明を書いていると思いますが、.jpgというのはファイルの拡張子です。Windowsパソコンではデフォルトの初期状態でファイルの拡張子は表示されないことになっていると思うので、馴染みのない人もいるかと思いますが、ファイルの種類を表すものです。

Windowsパソコンではさらに拡張子と起動するアプリが関連付けられています。Linuxを含めたUNIX環境では拡張子はさほどの意味を持ちませんが、デジカメでも使われている写真のファイル形式です。

ちなみにLinuxではfileというコマンドがあるのですが、例えば次のように結果が出ました。→　2014-06-1311.21.33.jpg: JPEG image data, EXIF standard

デジカメとなると写真ファイルと書いたほうが良さそうな気もするのですが、私はパソコンのスクリーンショットにもjpgファイルを使っています。pngより遥かにデータサイズが小さく収まるからですが、個人的にはその場合同じjpgでも画像ファイルと書いたほうが良さそうにも思っています。

同じくfileコマンドで今度はスクリーンショットのファイルを調べたところ結果は次のようになりました。

% file 2014-06-12-115144それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出して説明したからなのだよ。.jpg

2014-06-12-115144それはこの落合が検察庁へ行って、動いてもらえるように、作った資料を提出して説明したからなのだよ。.jpg: JPEG image data, JFIF standard 1.01

デジカメのの場合だと「JPEG image data, EXIF standard」となっていましたが、やはり違いがあるようです。Exif情報というのは撮影日時から使用したカメラの機種など沢山の情報を持つものです。

ついでに書いておきますと、私がh-rename-jpg-file-Exif-no.shという自作のスクリプトを使ってファイル名を変換するとき、そのExif情報から取得した撮影日時をファイル名の中に含めるようにしています。

Windowsパソコンの場合、最初にファイルを作成した日時をタイムスタンプとして保持しているそうですが、Linuxの場合、最終更新日時と最終アクセス日時の情報しか持たず、いつ作成したものか手掛かりすら失ってしまう可能性があり得るからです。

Exif情報も簡単に書き換えが可能ですが、普通は全くやらないことです。本当はスクリーンショットは写真ではないということでpng形式にしたかったのですが、余りにもファイルサイズが大きくなるので断念しました。一つのファイルで平気で2Mを超えます。

特に区別はしないと思いますが、jpgという拡張子のファイルはデジカメ写真のものとパソコンの表示画面のスクリーンショットのものがあります。末尾に.jpgとある一続きの文字列は、そのようなファイル名だと思ってください。

さらにこれも繰り返し説明を書いてきたと思いますが、Picasaウェブアルバムで使うファイル名は、私がパソコンで使うファイル名、添付のDVDに収録予定のファイル名と同じものです。

ちなみに私は端末から画像ファイルを開く際、eogというコマンドを使うことが多いのですが、試してみると次のような調べ方も出来ました。

▶ 端末からfindコマンドで検索をかけ、まとめて画像ファイルを表示させるワンライナー＿2014年06月13日17時31分03秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=Wow4FFGP-a4&feature=youtu.be>

あとあと調べやすいようにあれこれ工夫しています。一つのファイルを探すのに数時間かけ、それでも見つからなかったような経験もしてきたので、そのあたりは全体的な効率も重視しているつもりであり、手間暇もかけてやってきました。活用していただければ幸いです。

<2014-06-13 金 17:46> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## 非常上告 最高検察庁御中 ツイッター（@s hirono）に写真付きツイートする作業の紹介と記録＿2014年06月23日

<2014-06-23 月 10:29> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

非常上告 最高検察庁御中 ツイッター（@s hirono）に写真付きツイートする作業の紹介と記録＿2014年06月23日10時06分57秒 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=hz9EnHrM6K8&feature=youtu.be>

上記動画にしてYouTubeにアップロードしたものです。見ただけではわかりにくいところもあるかと思うので、補足的な説明をしておきます。

まずlocateコマンドを使ってファイルの検索をしています。バイナリデータとして検索をするのでとても高速ですが、最新の状態を反映させるにはroot権限でupdatedbコマンドを実行する必要があり、findほど汎用性はないかと思います。

ファイル名から調べたディレクトリにcdコマンドで移動。nautilus ./、を実行することでGUIのファイルブラウザで移動したカレントディレクトリを開いています。

あとは写真付きツイートをしたいファイルを探し出し、右クリックメニューのスクリプトに登録したコマンドを実行しています。端末から次のようにコマンドを実行しても結果は同じですし、端末だとエラーが出た場合、メッセージを確認することも出来ます。

% h-shirono-tweet-file.rb ./撮影：金沢港・金沢西警察署・金沢中央市場2007年07月21日17時59分24秒.jpg

コマンドは自作のものでTwitterAPIを使っています。

この動画では2回、投稿の失敗をしています。たぶんすでに投稿したのと同じファイルを指定したので、ファイル名のみを書いたツイートが同じ内容だったので、エラーが出てはねられたのではと思います。

同じ内容のツイートでも一定期間経過後は投稿が出来たようにも思いますが、はっきり確認していませんし、そういうことはなるべく避けたほうがいいとも考えています。

自作のコマンドというかスクリプトでは非常上告-最高検察庁御中ツイッター（@shirono）に写真付きツイートを投稿しています。

そのツイートを実際に開くのは投稿が成功したことの確認のためでもありますが、ツイートには自動で付けられた画像のURLが含まれています。本来リンクにあるはずのhttp というようなプロトコルはないのですが、Twitterの仕様で自動でリンクになるようになっています。

私が使っているパソコン環境はWindowsでもMacでもなくLinuxですが、範囲選択した文字列は、直後の操作でマウスの中ボタンをクリックすることで貼り付けることが出来ます。クリップボードとは似て異なる機能です。

それを本書を編集中のEmacsに貼り付けて、キーボードのF9に割り当てたコマンドで、カーソルのある行のテキストの内容を、告発-金沢地方検察庁御中ツイッター（kkhirono）にツイートしています。

プロトコルのない写真のリンクが機能して、ツイートに写真が表示され、とてもわかり易いかと思います。画像の部分をクリックすると拡大されますが、パソコンの画面が小さいと、それに応じて拡大率も小さくなりますが、風景の識別には問題のないレベルかと思います。

ディスクトップの大きな画面のパソコンだと文字の識別にも不満のない拡大が出来ると私は思っていますが、視力にも個人差があるので、それ以上の拡大が必要な場合は、PicasaウェブアルバムやGoogle+の写真を使ってもらえればと思います。

PicasaウェブアルバムやGoogle+の写真については他にもより詳しい説明を書いていると思いますが、対応するPicasaウェブアルバムのURLは併記するようにしています。

<2014-06-23 月 11:01> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

## DONE 本書（告訴状）の内容の取り扱いに対応させた新規ブログの開設について　2014年8月26日

<2014-08-26 火 08:44> [　←これからの記述範囲の開始時刻]]

昨日になりますが、Bloggerのブログの方で、新規にブログを解説しました。

本書の項目をブログの記事に対応させることは、これまでもやっていたことでありますし、お盆休みが終わってからはスタイルをそちらに戻すつもりでいたのですが、自分でもデータの管理がしづらくなっていたので急遽切り替えました。

従来のブログは次のものです。→　非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://hirono2013s.blogspot.jp/>

こちらが新しく作ったブログです。→　2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版 <http://hirono2014k.blogspot.jp/>

とてもわかりやすい名前にしたかと思いますが、新規にブログを作成すること自体、直前になって思いついたことでした。

ブログの記事は本書の項目に対応させます。一番の目的は過去に書いた部分をご説明に使う際に、項目の見出し名ではなく、記事のURLを使うことです。

基本的に見出し名と記事のタイトル名は同じものとして対応させますが、ブログのタイトル名としては全角のスペースが半角のスペースに置き換わったり、他にも意図せぬところに半角スペースが入り込む場合があるようです。

今確認したところ、編集画面でのタイトル名に問題の半角スペースは見当たりませんでした。表示されたブログのほうで記事のタイトル部分をコピペすると、半角スペースの問題が出るようです。

パソコンで使用されているフォントによる違いも大きいかと思いますが、見た目上、全角と半角のスペースの見分けがつきにくい場合もあるかと思いますが、問題は検索をするときのことで、通常全く異なる扱いを受けるはずなので、正しい検索結果が得られない場合があるのかと気になります。

実際はどうなのかと試した見たところ、Bloggerの検索機能は、なぜか使い物にならない精度です。BloggerはアメリカのブログサービスでGoogleに買収されたという話を5年ほど前に見かけたことがありますが、そもそも日本語での検索には対応していないのかもしれません。

Bloggerのブログの記事はGoogle+ページにリンクを投稿するようにしています。Google+には精度が高く強力な検索機能がありますので、それだと問題なく検索で探し出すことが出来ました。

私の推測になりますが、仮に半角スペースが混じった検索ワードでも、その半角スペースが「またはのOR検索」として扱われ、検索の対象を広げることになるのかもしれません。

これまでと違い項目は、簡潔にまとめ独立した内容として他の項目との関連性を示し、機能的に活用することを心掛けます。

<2014-08-26 火 16:50> [　←これまでの記述範囲の終了時刻]]

# 参考資料

## PICSA 資料写真／若杉幸平弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

データ登録日時；<2014-03-26 水 15:47>

* ID：
  + #LINK-ID1
* ページタイトル：
  + 資料写真／若杉幸平弁護士 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム
* URLリンク：
  + <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/NacWhC>
* 参照元：
* ページ内アンカー MARK-ID-1
  + 備考欄：
    - なし

## PICSA 資料写真／能登町周辺 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

データ登録日時；<2014-03-27 木 11:20>

* ID：
  + #LINK-ID2
* ページタイトル：
  + 資料写真／能登町周辺 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム
* URLリンク：
  + <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/vbnroE>
* 参照元：
* ページ内アンカー [MARK-ID-2](#MARK-ID-2)
  + 備考欄：
    - なし

## PICSA 告訴状作成作業及び閲覧方法に関する説明等／画像ファイル - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

データ登録日時；<2014-04-04 金 13:55>

* ID：
  + #LINK-ID3
* ページタイトル：
  + 告訴状作成作業及び閲覧方法に関する説明等／画像ファイル - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム
* URLリンク：
  + <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/JZZeZH>
* 参照元：
* ページ内アンカー [MARK-ID-3](#MARK-ID-3)
  + 備考欄：
    - なし

## ENTRY あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を記載しており、これらの 人の名誉を侵害しており〜ジェイ | 非常上告-最高検察庁御中Blogger

データ登録日時；<2014-04-21 月 16:10>

* ID：
  + #LINK-ID4
* ページタイトル：
  + あなた自身が被害を与えた被害者その他関係者の実名を | 非常上告-最高検察庁御中Blogger
* URLリンク：
  + <http://hirono2013s.blogspot.jp/2014/04/blog-post_6929.html>
* 参照元：
* ページ内アンカー [MARK-ID-4](#MARK-ID-4)
  + 備考欄：
    - なし

## PICSA 資料写真／平成4年4月2日付け北國新聞夕刊 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

データ登録日時；<2014-05-01 木 17:28>

* ID：
  + #LINK-ID5
* ページタイトル：
  + 資料写真／平成4年4月2日付け北國新聞夕刊 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム
* URLリンク：
  + <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/442>
* 参照元：
* ページ内アンカー [MARK-ID-5](#MARK-ID-5)
  + 備考欄：
    - なし

## PICSA 金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

データ登録日時；<2014-05-18 日 10:05>

* ID：
  + #LINK-ID6
* ページタイトル：
  + 金沢市場輸送：西念の元事務所2013年09月05日作成 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム
* URLリンク：
  + <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/_20130905>
* 参照元：
* ページ内アンカー [MARK-ID-6](#MARK-ID-6)
  + 備考欄：
    - なし

## PICSA 2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 写真資料＞ 一件記録・写真／H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良.html

2014-木梨松嗣弁護士（金沢弁護士会）に対する告訴状（被疑事実殺人未遂）のブログ版: 写真資料＞ 一件記録・写真／H05精神鑑定書金沢大学教授山口成良.html <http://hirono2014k.blogspot.jp/2014/09/h05html.html>

## PICSA　一件記録・写真／2014年作成／訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム

一件記録・写真／2014年作成／訴状　原告訴訟代理人　弁護士　長谷川紘之　平成6年7月5日付　金沢地方裁判所御中 - 廣野秀樹 - Picasa ウェブ アルバム <https://picasaweb.google.com/105782624485753679454/2014675>

# Footnote

# Footnotes

1. Footnotes（脚注） [↑](#footnote-ref-48)
2. 元検弁護士のブログについて＜１＞ （Hatena::Diary　2008-06-23の記事から転載） | 告発／再審請求:<http://bit.ly/hJWy60>

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 10:35 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21379017215057920> @motoken\_tw [2008]元検弁護士のブログについて＜１＞ （Hatena::Diary　2008-06-23の記事から転載） | 告発／再審請求:<http://bit.ly/hJWy60> 見ていますか？　眼中無いですか？　誰に対する私怨なのか聞いておきたいです。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 16:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21470318803558400> そうですか。ご返信ありがとうございます。今回は、基本的なスタンスを確認できただけも良かったです。 RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki 私のブログのコメント欄は私の家の庭です。ただし、新しいブログは新しい家です。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 16:47 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21472716645208064> 自分の家の庭だから遊ばせておいた。新しい家には立ち入るな、ということなのでしょう。全く返答にはなっていないと思っています。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 17:07 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21477777018454016> 普通、家に人を招待したり、祭礼の際には門戸を開放するということもあるはずですが、家の中の会話というのは、外部に伝わらず、ほとんど影響を与えないはずです。看板に元検察官、弁護士と謳って、言いたい放題をやっていたブログの論理には、違和感おおありです。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 17:38 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21485572010803201> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）への質問と回答（2011年1月2日） | <http://hirono-hideki-blog.seesaa.net/article/178083710.html>

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 17:46 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21487564456206336> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）への質問と回答（2011年1月2日／Twitter） | 告発／再審請求:<http://bit.ly/i01Qdu>

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 17:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21488979702448128> モトケンこと矢部善朗（京都弁護士会）にはブログのことも紹介しておきました。継続してお読みになるかどうかはご本人次第です。将来的にご本人には裁判所の法廷で証言していただくことも前々から考えております。立証趣旨は、「世間に全く理解されず、相手にもされなかったこと。」等です。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 22:52 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21564600981917696> 一つ確認をしておきます。あなたのモトケンブログで、禁止を受けてから、自分は一度もコメントしていないですよね。なりすましもなきにしもあらず RT @motoken\_tw: @hirono\_hideki 私のブログのコメント欄は私の家の庭です。ただし、新しいブログは新しい家です。

   投稿者：hironohideki（廣野秀樹） 日時：2011/01/02 23:41 ツイート： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/21576800102514688> 検察庁のことなんですね。文脈からすると。 RT @yjochi: 劣化した人が劣化した人を指揮指導しても、うまく行くはずがないし、裁判所に見放されつつあるのは大きな痛手だと思う。

   投稿者：motokentw（モトケン） 日時：2011/01/02 11:29 ツイート： <https://twitter.com/motoken_tw/status/21392543988056064> @hirono\_hideki 私のブログのコメント欄は私の家の庭です。ただし、新しいブログは新しい家です。 [↑](#footnote-ref-1983)